

授業コード	10300206	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	社会学 [遠隔オンデマンド]				
シラバス執筆(全員)	本間 桃里				
シラバス執筆(主)	本間 桃里				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

個人が抱える様々な生きづらさは社会によってつくられるものであると気づかせてくれる学問が、社会学である。この講義では、立場が異なると見えている世界がどのように異なるのかについて、社会学の知見を応用しながら考える。それを通じて社会の「当たり前」を批判的に問い直し、身の回りに潜む排除や差別に気づくことが、本講義のねらいである。よりよい社会とは何か、社会にどのような働きかけができるのか等についても受講者のみなさんと一緒に探求したい。

★この授業は、オンデマンド型の遠隔授業となります。リアルタイム型の遠隔授業（その授業時間に Zoom 等で参加する方法）ではなく、講義を録画した動画を1週間以内に視聴し、所定の課題を提出していただく形で実施する予定です。

到達目標

1. 社会的な考え方や概念を理解し、自分の言葉で説明することができる。
2. 立場が異なる多様な人々からみた社会がどのようなものなのか、社会を多角的に捉えることができる。
3. さまざまな社会問題に関心を持ち、社会の「当たり前」を批判的に問い直すことができる。

授業計画

- 【第1回】イントロダクション
—社会的な考え方に触れる。
- 【第2回】 家族と社会
—「家族」とは何かを問い、社会における家族の機能について考える。
- 【第3回】 学校と社会①
—「教育」とは何かを問い、社会における教育の機能について考える。
- 【第4回】 学校と社会②
—不登校、不就学、公教育の周縁に置かれた人々について考える。
- 【第5回】 コミュニティと社会
—「コミュニティ」とは何かを問い、社会におけるコミュニティの機能について考える。
- 【第6回】 移民からみた社会①
—「外国人労働者」を取り巻く構造について考える。
- 【第7回】 移民からみた社会②
—移民背景がある子どもを取り巻く構造について考える。
- 【第8回】 移民からみた社会③
—難民、無国籍、非正規滞在の人々を取り巻く構造について考える。
- 【第9回】 「障害」がある人々からみた社会①
—「障害」とは何かを問い、「障害」がある人々を取り巻く構造について考える。
- 【第10回】 「障害」がある人々からみた社会②
—「障害」がある子どもを取り巻く構造について考える。
- 【第11回】 貧困状態にある人々からみた社会①
—貧困とは何かを問い、貧困状態に置かれている人々を取り巻く構造について考える。
- 【第12回】 貧困状態にある人々からみた社会②
—貧困状態に置かれている子どもを取り巻く構造について考える。
- 【第13回】 性的マイノリティの人々からみた社会
—性にまつわる規範を問い直し、性的マイノリティの人々を取り巻く構造について考える。
- 【第14回】 社会運動論
—排除や差別と闘う人々の実践を取り上げ、社会運動とは何かについて考える。
- 【第15回】 社会問題とは
—問題が問題として認識されること／されないことについて考える。

★そのときどきの社会情勢、時事ニュース、受講生の関心などに応じて内容に変更がある可能性があります。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

事前学習：社会問題に関心を持ち、時事ニュースや身の回りの出来事にアンテナを張る。教科書や授業で紹介した文献を読む。(各回2時間)
 事後学習：重要な語彙や概念を復習する。講義および文献や資料等を参照しながら、そのテーマについて考察を深め、リアクションペーパーを提出する。(各回2時間)

課題に対するフィードバックの方法

講義の冒頭で前回分のリアクションペーパーに対するフィードバックをする。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし所定の単位を認定する。
なお、特別な事情がなく授業を5回欠席した場合、単位は認めないものとする。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	毎回の講義後に提出するリアクションペーパー	1,2
授業外での評価	0		
定期試験	50	期末テスト(オンラインで実施。設問には論述も含む。)	1,2,3
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	0		

テキスト	テキストは使用しない。
------	-------------

参考書	必要に応じて適宜紹介するが、特に以下の書籍が授業の理解に役立つ。重要な箇所は授業内でも取り上げるため、購入は必須ではない。 原田琢也・伊藤駿編, 2024, 『インクルーシブな教育と社会 : はじめて学ぶ人のための15章』ミネルヴァ書房. 価格: 3,080円(税込み) ISBN-10 : 4623096556 ISBN-13 : 978-4623096558
-----	---

履修条件・他の科目との関連	履修条件は特にないが、計画的に学習時間を確保すること。
---------------	-----------------------------

授業コード	10300306	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	心理学 [遠隔オンデマンド]				
シラバス執筆(全員)	安原 彰子				
シラバス執筆(主)	安原 彰子				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

心理学は心や行動について科学的に理解し、自分自身や他者といった人間理解に役立つ学問である。本講義では、心理学事象の基礎となる感情、判断と意思決定、パーソナリティについて学ぶ。これらを通して自分や他者の心理を理解するために、人間の心の働きを「説明する」ことを目標とする。
★この授業はオンデマンド型の遠隔授業です。リアルタイム型の遠隔授業（その授業時間にZoom等で参加する方法）ではなく、講義を録画した動画を一定期間中に視聴し、所定の課題を提出していただく形で実施予定です。

到達目標

1. 人間の感情の仕組み、機能について説明することができる。
2. 人間の判断と意思決定に関わる心の働きや思考の仕組みを説明することができる。
3. 人間のパーソナリティに関する理論、測定手法、パーソナリティ障害について説明することができる。

授業計画

- 【第1回】 授業オリエンテーション
 - ・本科目の目的と概要について述べる。
- 【第2回】 感情 1
 - ・感情の定義と理論を紹介する。
- 【第3回】 感情 2
 - ・感情の機能について紹介する。
- 【第4回】 感情 3
 - ・感情と関連のある精神疾患について紹介する。
- 【第5回】 感情 4
 - ・ポジティブ感情と健康の関連について紹介する。
- 【第6回】 判断と意思決定 1
 - ・人の思考のクセを紹介する。
- 【第7回】 判断と意思決定 2
 - ・説得に関わる社会的影響力について紹介する。
- 【第8回】 判断と意思決定 3
 - ・承諾の心理メカニズムを紹介する。
- 【第9回】 判断と意思決定 4
 - ・リスク認知の特徴について紹介する。
- 【第10回】 判断と意思決定 5
 - ・災害発生時の意思決定の特徴、行動について紹介する。
- 【第11回】 パーソナリティ 1
 - ・パーソナリティの理論を紹介する。
- 【第12回】 パーソナリティ 2
 - ・パーソナリティの発達や形成要因について紹介する。
- 【第13回】 パーソナリティ 3
 - ・パーソナリティの測定方法について紹介する。
- 【第14回】 パーソナリティ 4
 - ・パーソナリティ障害について紹介する。
- 【第15回】 最新の研究トピックと応用分野
 - ・最新の心理学研究の紹介と応用分野について紹介する。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

- 第1回
- 【事前】 授業のシラバスを熟読し、授業構成を理解する
 - 【事後】 オリエンテーションの説明内容にもとづき心理学の位置づけを理解し、書きだす
- 第2回
- 【事前】 感情の理論について文献を検索し、その内容を書き出す
 - 【事後】 授業で提示した「感情の理論」についての課題に取り組む。
- 第3回
- 【事前】 自身の経験を振り返り、感情の機能を考え、書き出す。
 - 【事後】 授業で提示した「感情の機能」についての課題に取り組む。
- 第4回
- 【事前】 感情に関連のある精神疾患について検索し、その内容を書き出す。
 - 【事後】 授業で提示した「精神疾患と感情の関連」についての課題に取り組む。
- 第5回
- 【事前】 ポジティブ感情の機能に関する文献を検索し、その内容を書き出す。

【事後】授業で提示した「ポジティブ感情と健康」についての課題に取り組む。

第6回

【事前】2重過程理論について文献を検索し、その内容を書き出す。

【事後】授業で提示した「2つの思考システム」についての課題に取り組む。

第7回

【事前】自身の経験を振り返り、他者の依頼を承諾した時の心理学的メカニズムを考え、書き出す。

【事後】授業で提示した「社会的影響力」についての課題に取り組む。

第8回

【事前】社会的影響力について文献を検索し、その内容を書き出す。

【事後】授業で提示した「承諾の心理」についての課題に取り組む。

第9回

【事前】リスク認知に関する文献を検索し、その内容を書き出す。

【事後】授業で提示した「リスク認知」についての課題に取り組む。

第10回

【事前】災害時の意思決定について文献を検索し、その内容を書き出す

【事後】授業で提示した「災害時の意思決定」についての課題に取り組む。

第11回

【事前】パーソナリティの理論について文献を検索し、その内容を書き出す

【事後】授業で提示した「パーソナリティ理論」についての課題に取り組む。

第12回

【事前】パーソナリティの発達に関する文献を検索し、その内容を書き出す

【事後】授業で提示した「パーソナリティの発達」についての課題に取り組む。

第13回

【事前】性格検査に関する文献を検索し、その内容を書き出す

【事後】授業で提示した「パーソナリティの測定方法」についての課題に取り組む。

第14回

【事前】パーソナリティ障害に関する文献を検索し、その内容を書き出す

【事後】授業で提示した「パーソナリティ障害」についての課題に取り組む。

第15回

【事前】心理学の最新の研究について検索し、その内容を書き出す。

【事後】授業で提示した「心理学の応用分野」についての課題に取り組む。

課題に対するフィードバックの方法

- ・毎回の授業内課題に対して授業内で講評・解説します。
- ・レポートは、評価基準表にもとづく評価結果をフィードバックします。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修(全15回分の授業内課題のうち8回以上の提出)が確保できていない場合は、「K」評価とする。

以下に示す通り、授業内で実施される課題、定期試験に代わるレポートに基づき総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定します。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	毎回の授業内で課す課題(計15回・各4)	1,2,3
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	40	これまでに学習した内容について課題を出す(40)	1,2,3
その他	0		

テキスト テキストは使用せず資料を配布します。

参考書 必要に応じて授業の中で紹介します。

履修条件・他の科目との関連 受講にあたり、特別な配慮を必要とする学生は申し出てください。

授業コード	10300605	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	人間と科学 [遠隔オンデマンド]				
シラバス執筆(全員)	矢島 彰				
シラバス執筆(主)	矢島 彰				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

現代における人間の社会活動は科学を基盤としたものになっています。なぜ人間だけが地球上の他の生物と異なるレベルで科学を活用しているのでしょうか。人間の誕生のプロセスを地球の歴史と共に知ることで、人間の科学の誕生とその根底にある地球の科学が密接に関連していることがわかります。また、人間は今、自分たちの科学では制御できない自然現象にどのように対応すべきかを考える時期に到達しています。人間の存在が地球環境に及ぼす影響が無視できないほど大きくなりました。これからの人間の科学がどうあるべきなのか、災害をキーワードにして考えていきます。

★この授業は、遠隔授業となります。リアルタイム型の遠隔授業（その授業時間にZoom等で参加する方法）ではなく、講義を録画した動画を一定期間中に視聴し、所定の課題を提出していただく形で実施予定です。各回の演習問題は、授業内容について理解し、自分の言葉で説明することができるかを問う記述問題（50字～200字を1問～5問程度）です。

到達目標

1. 科学とは何かを理解し、様々な説や見解が科学的見地に基づいているかを分別できる。
2. 地球誕生から人類の誕生へ至る経緯を理解し、なぜ科学が誕生したかを説明できる。
3. 現在の人類にとって重要な課題である防災の科学を知り、これからの科学のあり方について説明できる。

授業計画

- 【第1回】
テーマ：地球科学の様々な量
内容・方法：資料・映像を見て演習問題に取り組む
- 【第2回】
テーマ：似非科学とのつきあい方
内容・方法：資料・映像を見て演習問題に取り組む
- 【第3回】
テーマ：地震予測に挑む
内容・方法：資料・映像を見て演習問題に取り組む
- 【第4回】
テーマ：地震のしくみと被害
内容・方法：資料・映像を見て演習問題に取り組む
- 【第5回】
テーマ：加速する異常気象との闘い
内容・方法：資料・映像を見て演習問題に取り組む
- 【第6回】
テーマ：大水害・海面上昇と地盤沈下
内容・方法：資料・映像を見て演習問題に取り組む
- 【第7回】
テーマ：大水害・水害に強い都市計画
内容・方法：資料・映像を見て演習問題に取り組む
- 【第8回】
テーマ：地球大進化<第一集>生命の星 大衝突からの始まり
内容・方法：資料・映像を見て演習問題に取り組む
- 【第9回】
テーマ：地球大進化<第二集>全球凍結 大型生物誕生の謎
内容・方法：資料・映像を見て演習問題に取り組む
- 【第10回】
テーマ：地球大進化<第三集>大海からの離脱 そして手が生まれた
内容・方法：資料・映像を見て演習問題に取り組む
- 【第11回】
テーマ：地球大進化<第四集>大量絶滅 巨大噴火がほ乳類を生んだ
内容・方法：資料・映像を見て演習問題に取り組む
- 【第12回】
テーマ：地球大進化<第五集>大陸大分裂 目に秘められた物語
内容・方法：資料・映像を見て演習問題に取り組む
- 【第13回】
テーマ：地球大進化<第六集>ヒト 果てしなき冒険者
内容・方法：資料・映像を見て演習問題に取り組む
- 【第14回】
テーマ：総合演習（防災）
内容・方法：資料・映像を見て演習問題に取り組む
- 【第15回】
テーマ：総合演習（地球大進化）

内容・方法：資料・映像を見て演習問題に取り組む

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

各回、事前学修は2時間、事後学修は2時間を想定しています。

- 【第1回】
①事前学修課題：基本用語事前調べ
②事後学修課題：授業のまとめの作成と提出
- 【第2回】
①事前学修課題：基本用語事前調べ
②事後学修課題：授業のまとめの作成と提出
- 【第3回】
①事前学修課題：基本用語事前調べ
②事後学修課題：授業のまとめの作成と提出
- 【第4回】
①事前学修課題：基本用語事前調べ
②事後学修課題：授業のまとめの作成と提出
- 【第5回】
①事前学修課題：基本用語事前調べ
②事後学修課題：授業のまとめの作成と提出
- 【第6回】
①事前学修課題：基本用語事前調べ
②事後学修課題：授業のまとめの作成と提出
- 【第7回】
①事前学修課題：基本用語事前調べ
②事後学修課題：授業のまとめの作成と提出
- 【第8回】
①事前学修課題：基本用語事前調べ
②事後学修課題：授業のまとめの作成と提出
- 【第9回】
①事前学修課題：基本用語事前調べ
②事後学修課題：授業のまとめの作成と提出
- 【第10回】
①事前学修課題：基本用語事前調べ
②事後学修課題：授業のまとめの作成と提出
- 【第11回】
①事前学修課題：基本用語事前調べ
②事後学修課題：授業のまとめの作成と提出
- 【第12回】
①事前学修課題：基本用語事前調べ
②事後学修課題：授業のまとめの作成と提出
- 【第13回】
①事前学修課題：基本用語事前調べ
②事後学修課題：授業のまとめの作成と提出
- 【第14回】
①事前学修課題：基本用語事前調べ
②事後学修課題：授業のまとめの作成と提出
- 【第15回】
①事前学修課題：基本用語事前調べ
②事後学修課題：授業のまとめの作成と提出

課題に対するフィードバックの方法

GoogleClassroomでの評価・コメントを用いる予定です。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

各授業の課題提出によって評価します。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	0		
授業外での評価	90	授業内容の理解度を問う設問への解答状況や、授業のテーマについての自身の意見表明の内容を評価します。	1, 2, 3
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10	与えられたテーマについて、授業で学んだことを根拠とし、自分の推論も加えて結論を導くレポートになります。授業で学んだことを推論の材料として用いているか、筋道だった結論になっているかを評価します。	1, 2, 3

その他	0		
テキスト	利用しません。		
参考書	授業時に随時紹介します。		
履修条件・他の科目との関連	特になし		

授業コード	10300705	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	人間と環境 [遠隔オンデマンド]				
シラバス執筆(全員)	坂田 啓三				
シラバス執筆(主)	坂田 啓三				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

私たちの暮らしや産業は地球の環境や資源などに支えられて成り立っています。これからも私たちの健康で快適な暮らしを維持するためには地球の環境や資源に関する理解を深めなければいけません。この講義では、人間の産業活動により引き起こされた地球環境への問題や環境を守るための活動について解説します。これらの内容を学ぶことで、地球の環境と共存し、よりよく生きていくための基礎的な知識と思考するためのスキルを身につけることを目的とします。

この授業は、遠隔授業となります。リアルタイム型の遠隔授業（その授業時間にZoom等で参加する方法）ではなく、講義を録画した動画を一定期間中に視聴し、所定の課題を提出する形で実施する予定です。

到達目標

1. 環境科学について基礎的な化学や物理学、生物学の観点から理解し説明できる。
2. 私たち人間は地球の環境を構成する一員であり、私たちの生活は地球の環境に密接に関係していることを理解し、説明できる。
3. 過去に人間の活動によって引き起こされた環境問題について学び、環境の悪化が私たち人間の生存にとって大きな脅威であることを理解し、説明できる。
4. 環境保護の取り組みについて学ぶことで、環境問題の解決のために自分に何ができるのかを考え、行動するというプロセスについて理解し、説明できる。

授業計画

- 第1回 オリエンテーション：「人間と環境」に関するイントロダクションを行います。
- 第2回 環境科学を学ぶ上で必要な化学・物理学の基礎（復習小テスト①を実施）
- 第3回 環境科学を学ぶ上で必要な生物学の基礎（復習小テスト②を実施）
- 第4回 化学物質と健康被害：化学物質が生命に影響を与えるについて説明します。
- 第5回 日本の公害：四大公害を筆頭に、日本で起こっている公害と環境基本法について説明します。
- 第6回 健全な水の循環と利用：上水道・下水道の役割と関連法規について説明します。
- 第7回 地球温暖化・気候変動：地球温暖化など気候に関する諸問題について説明します。
- 第8回 前半のまとめと復習（確認試験①を課題として実施）
- 第9回 プラスチック問題：プラスチックごみ等による海洋の汚染について説明します。
- 第10回 放射能汚染：放射線の有害性を説明し、原発事故による環境への影響について説明します。
- 第11回 農業と環境：農業による環境負荷について説明し、持続可能な食糧生産について考えます。
- 第12回 生物の絶滅と人間社会：人間の活動による生物の絶滅や多様性の低下について説明し、共存可能な社会について考えます。
- 第13回 生物多様性と環境保全①：環境を守るための法律や決まり事を説明し、よりよい共生社会とは何かについて考えます。
- 第14回 生物多様性と環境保全②：環境を守るための具体的な事例を学び、共生社会を目指してどのような取り組みが最善か考えます。
- 第15回 後半のまとめと総復習（確認試験②を課題として実施）

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

2時間程度の事前学習と2時間程度の事後学習が必要です。
事前学習としてインターネットや図書館などで講義の主題に関する基礎的な周辺知識を身に付けておくことが望まれます。
また、講義終了後に講義用資料や自分で取った講義ノートを整理しながら復習し、重要事項を纏めるための事後学習が必要です。

課題に対するフィードバックの方法

リアクションペーパーおよび期末レポートは原則としてGoogle Classroomを用いての提出とします。
復習小テストおよび確認試験はGoogle Classroomを利用して行い、解答例はGoogle Classroomを用いて示します。
質問はメールもしくはGoogle Classroomのコメント機能を利用して受け付けます。回答は同様に、メールもしくはGoogle Classroomのコメント機能を利用して返します。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

正当な理由なく授業を5回以上欠席した場合は評価不能として「K」評価とします。
授業の出欠確認はリアクションペーパーの提出をもって行うものとします。

成績は以下の方法によって評価し、60点を以上を合格として単位を認定します。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	75	1. リアクションペーパー(15) 2. 復習小テスト①(10) 3. 復習小テスト②(10) 4. 確認試験①(20) 5. 確認試験②(20)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	25	期末レポート(25)	2, 3, 4
その他	0		

テキスト テキストは指定しません。

参考書 『文系のための環境科学入門 新版』 有斐閣 ISBN 978-4641174238
『新版 新しい環境科学』 駿河台出版社 ISBN978-4411040398
その他, 適宜授業内で紹介します。

履修条件・他の科目との関連 テキストや配布資料がなく、講義中のノートテイキング重視の講義です。各自がしっかりと自分のノートを作成することが求められます。
状況により授業内容の一部および順番の変更を行う場合もあります。

授業コード	10300801	授業形態	講義	実務家教員	<input type="radio"/>
授業科目名	人間とスポーツ [遠隔オンデマンド]				
シラバス執筆(全員)	佐藤 光子				
シラバス執筆(主)	佐藤 光子				
開講年次	3年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

スポーツには一人一人の健康だけでなく、地域社会再生・経済発展・国際平和貢献など重要な意義と効果があることが期待されている。わが国のスポーツ基本法(2011年制定)をはじめ世界の多くの国では、スポーツを世界共通の人類の文化であるとし、スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことはすべての人々の権利であると謳っている。これらのことをふまえて、スポーツを生涯の友として豊かに暮らすための知識と考察を深めよう。本講義では、講義動画と関連資料を配信し、理解度テストを実施して採点返却する。これまでのあなたの人生で出会ったスポーツを振り返ることから始めるが、競技としてのスポーツだけでなく、健康や楽しみのためのスポーツ、様々な工夫を加えた新たなスポーツなども解説する。スポーツを歴史的・社会的な観点や、医学的・科学的な観点などから幅広く考えることができるよう、様々な資料を提供する。長年に亘り、ランニング学会認定上級指導者として、また日本トレイルランナーズ協会理事として、一般市民のスポーツ指導に携わっている実務家教員としての経験をもとに講義を進めたい。

この授業はオンデマンド型の遠隔授業です。リアルタイム型の遠隔授業(その授業時間にZoom等で参加する方法)ではなく、講義を録画した動画を一定期間中に視聴し、所定の課題を提出していただく形で実施予定です。

到達目標

1. スポーツの歴史をふまえて、現代のスポーツの定義を説明できる
2. スポーツと健康、ケガ、病気、子どもの成長などについて医療と発達科学の観点から説明できる
3. 様々な種類のスポーツについて、その内容を説明できる
4. スポーツと平和、人権、マナーなどについて、その問題点を説明できる
5. 講義で得た知見に加えて、自身で調べたことや考えについて述べられる
6. 講義で得た知見をふまえて、自身のスポーツ観について述べられる

授業計画

この授業はオンデマンド型の遠隔授業です。

【第1回】オリエンテーション

講義の主題、受講や課題提出の方法、到達目標と評価方法について確認する

【第2回】スポーツとは何か

現代社会におけるスポーツの定義について考える

【第3回】スポーツの歴史

古代オリンピックから近代スポーツまでの変遷を学ぶ

【第4回】スポーツと健康

スポーツと健康との基本的な関係について理解する

【第5回】有酸素運動

呼吸循環機能を維持向上させる有酸素運動について理解する

【第6回】レジスタンス運動

筋力を維持向上させるレジスタンス運動について理解する

【第7回】スポーツと病気

貧血などの慢性障害、心停止や熱中症などの急性障害を知り、感染症対策についても理解する

【第8回】スポーツとケガ

捻挫などの急性障害、疲労骨折などの慢性障害を知り、応急処置を身につける

※中間レポート ここまでの講義の中で強く関心を持った内容についてレポートを提出する

【第9回】子どもの成長とスポーツ

成長期の子どもの身体の特徴を知り、スポーツにおける留意点を理解する

【第10回】スポーツの楽しみ方

スポーツを「みる」楽しみとして、スポーツを題材とした小説、映画、マンガなどの作品を探してみる

【第11回】アダプテッドスポーツ

ルールや用具などを参加者の状況に合わせたスポーツ、アダプテッドスポーツの概念を理解する

【第12回】多様化するスポーツ

既存の競技を簡便にしたもの、昔の遊びをスポーツ化したもの、まったく新たな発想で生まれたスポーツなど、現代の様々なスポーツについて調べる

【第13回】スポーツと平和

スポーツと平和や人権について、社会で話題になった事例などをもとに考える

【第14回】スポーツのルールとマナー

厳しい自然の中のアウトドアスポーツを事例としてルールとマナーについて考える

【第15回】講義のまとめ

第10回授業での「スポーツを題材とした作品」の投票結果の発表と講評のほか、講義全体を総括する

※最終レポート すべての講義を通じて強く関心を持った内容、または講義全体を通じてのレポートを提出する

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

事前学習としては、翌週の講義テーマについて自ら調べ、概要を把握しておくこと。
 事後学習としては、授業で紹介したものだけでなく自ら調べた書籍やインターネット情報などを活用し、理解を深めること。特に理解度テストで間違えた事柄についてはきちんと調べておこう。
 毎回の授業につき、事前学習1.5時間程度、事後学習2.5時間程度が必要である。

課題に対するフィードバックの方法

毎回講義後に理解度テストを実施するが、提出期限後に採点し返却する。
 2回のレポートも、提出期限後に採点し返却する。
 評価に対する質問があればClassroomやOIUメールを通じて尋ねること。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする（6回以上の欠席はこれに該当する）。

これらの条件を満たしたうえで、以下に示す評価方法により60点以上獲得したものを合格とする。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	70	毎回の授業後に行う理解度テスト(70)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	15	全講義の前半を終えた時点で提出する中間レポート(15)	5, 6
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	15	全講義終了後に提出する最終レポート(15)	5, 6
その他	0		

テキスト	テキストを使用しない。
参考書	講義内で適宜紹介する。
履修条件・他の科目との関連	特になし。

授業コード	10300901	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	人間と情報 [対面]				
シラバス執筆(全員)	石川 高行				
シラバス執筆(主)	石川 高行				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

現在の情報社会において、情報は大きな価値を持ち、これらはコンピューターを用いた情報システムにより管理・運用されている。特に企業にとっては業務改善に結びつく技術であり、個人にとっては他人との交流に欠かせないものとなっている。

この授業では、効果的な情報デザイン手法、生活・ビジネス・ものづくりを支える情報システム、情報モラル等について解説する。

また、理論だけではなく実際の操作ができることが望ましいため、PC を用いた実際の作業についても学ぶ。

到達目標

1. 会社の仕組みとお金の流れを簡単に説明できる
2. 情報システムの有用性を説明できる
3. ネットワーク上のコミュニケーションの留意点を説明できる
4. ネットワーク上の社会的な問題について説明できる
5. 情報を発信したり他人とコミュニケーションする基礎的な PC 操作ができる

授業計画

1. ビジネスとは何だろうか
2. インターネットのビジネス利用
3. マーケティングとルール
4. 会社とお金
5. システム開発プロセス
6. 情報資産への脅威と対策
7. 情報の検索と共有
8. 情報の信憑性
9. 悪ふざけによる非常識な投稿, インターネット上でのいじめ
10. 情報の守秘義務
11. メディア, Web コミュニケーション, SNS コミュニケーション
12. 情報セキュリティ関連法規
13. コンピュータ犯罪への対策
14. 知的財産権, 著作権
15. 授業のまとめと実技

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

標準的な学生であれば復習・作業を含めて90時間で終了できる分量を想定している。事前学習よりも事後学習が大切であるが、自動採点機能を活かして事前学習し授業進度よりも先に進んでも問題ない。

一部、授業の前日までに行っておくべき作業があり、これは授業内に指示する。

課題に対するフィードバックの方法

座学部分については Moodle における自動採点機能をほぼ全面的に利用する。自分自身の力で正解が導けるまで何度でも挑戦できるので、分かるまで頑張ること。

授業時間外に教員へ質問する際は、e-mail にパソコンの画面を貼り付けて科目担当教員へ送ること。特に、実操作が必要な課題は「行き詰った」と感じた画面と説明文の両方があることが望ましい。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

下記の通り、通常課題と期末レポート課題合わせて 100% で評価するが、それぞれの課題には締切が設定されているため、本来の授業日を大きく過ぎてから課題に取り組みようとしても取り組めないものがある。課題の出来は基本的に Moodle 上で得点として確認することができる。

教室に来ていても授業に参加しているとは言えない取り組み方をしている場合は原則として減点対象となる。毎回の授業で示される到達目標に達するまで課題に集中しているかどうかによる。

授業不参加が5回を超えると K 評価とする。ただし公欠・出席停止・やむを得ない欠席については証明画像を提出することで考慮の対象となる。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
---------	----------	---------	-------------

授業内での評価	95	自動採点課題 (85) 作業課題 (10)	1, 2, 3, 4, 5
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	5	期末レポート (5)	1, 2, 3, 4
その他	0		

テキスト	IT すきま教室 渡辺さき 著『1週間で IT パスポートの基礎が学べる本』(インプレス ブックス, 2021年, ISBN:9784295011620, 税別1360円) https://book.impress.co.jp/books/1120101037 (初回授業では持参不要。電子書籍を推奨するが、紙書籍でも問題ない。)		
------	--	--	--

参考書	定平誠 著『【改訂第2版】例題100でしっかり学ぶ メディアリテラシー 標準テキスト』(技術評論社, 2022年, ISBN:978-4297132712, 税別1600円) https://gihyo.jp/book/2023/978-4-297-13271-2 (初回授業では持参不要。電子書籍を推奨するが、紙書籍でも問題ない。)		
-----	---	--	--

履修条件・他の科目との関連	<p>授業時間外に科目担当教員とやりとりする際には e-mail を使うため、普段から e-mail を1日1回は読んでおくこと。また Universal Passport も1日1回はログインして内容を確認すること。</p> <p>e-mail で質問する際は、自分が困っている場面を写真に撮るかスクリーンショットに撮って e-mail に添付すること。</p> <p>授業は MS-Windows の PC を持参していることを前提に進めるが、MacOS でも殆どの課題に取り組むことが可能である。ただし MacOS の操作などに関しては指導しないので、MacOS を利用する場合は操作などは自分で調べること。</p> <p>マウスを所持していることを前提に授業を進める。マウスなしでの受講はかなり困難である。</p> <p>授業資料は全て Moodle にて配布する。授業に欠席した回も、課題は定められた期限までに提出する必要がある。入院などで長期にわたり課題に取り組むことができなくなった場合は教員へ連絡すること。</p> <p>この授業の前に「情報処理のしくみ」を履修することが望ましい。</p>		
---------------	---	--	--

授業コード	10301001	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	コンピュータ基礎演習 I [対面]				
シラバス執筆(全員)	新谷 廣一				
シラバス執筆(主)	新谷 廣一				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

2020年から全世界でまん延した新型コロナウイルスの影響で、社会生活は一変した。社会ではそれまでもすでに問題とされていた勤務形態の見直しが進み、学校においてもできるだけ接触の少ない授業形態への試みが積極的に行われ、また生活の形態も大きく変貌を遂げた。その結果として社会生活のあらゆる場面を急速に変貌させていったのが、いわゆるDX(デジタルトランスフォーメーション)の波である。私たちは日常生活、仕事や学習、金融や買い物、そして余暇や趣味の世界でさえ、パソコンやスマホに代表される個人用情報端末と、その背景にあるネットワークを最大限に利用することが可能になり、またそれを求められるようになった。2020年代以降を文化的に暮らしていくためには、デジタル社会を十分に理解し、できるだけ安全に、そして効率的に効果的にその仕組みを活用していくための、デジタル・リテラシーを身につけることが重要となったのである。本科目は共通教育科目群の中核において大学の全学部・全学科の初年度において必修となり、現代を生きる誰もが身につけるべき、知識と技術を学習し、大学生としてデジタル環境の中で、それらのしくみを最大限に生かし、自身の学習や研究、文化的活動に生かすことを目的としている。

本授業においては原則として普通教室において対面で、講義形式の授業と、持参PCの操作を中心とした演習形式の授業を混在させて行う。開始当初の3週は、大学から指定・提供されている各種ネットワークサービスの利用方法を習得するために行われ、第4週以降は講義形式の授業を行いつつ、講義内容に即した課題を持参PCにて行う演習形式の授業へとつなげる形態をとる。

到達目標

1. 学内における各種サービスを支障なく利用することができる。
2. Wordの基本的な使用法を修め、文書を作成することができる。
3. PowerPointの基本的な使用法を修め、プレゼンテーション資料を作成することができる。
4. Excelの基本的な使用法を修め、簡単な計算表とグラフを作成することができる。
5. 授業内で修めたPCの基本的な利用法に慣れ、スムーズにコンテンツ制作が行える。
6. PCアプリを効果的に利用して、自身の思考をわかりやすく表現したコンテンツが作成できる。
7. 現代社会とデジタル技術の関りについての基本的な知識を獲得し、ネットワーク内における自分の権利を守り、かつ自分自身の生活に生かすことができる。

授業計画

【第1週】ネットワークサービスの利用

UNIPA、Google Classroom、Microsoft 365、zoom、WWW、OIUメールの活用を習得する。

【第2週】日本語入力と文書作成(1)

Wordにおける日本語入力を学び、簡単な文書を作成、Google Driveに保存するまでを学ぶ(テキストWord編1.1~1.6)。

【第3週】日本語入力と文書作成(2)

Google Driveに保存した文書を再編集し、より高度な文書作成を学ぶ(テキストWord編1.7~1.8、2.1~2.3)。

【第4週】「PCのクリエイティブな利用」と文書作成(3)

(講義) PCによるコンテンツ作成のあらましを学ぶ。
(演習) Wordによるレポート作成を学ぶ(テキストWord編3.1~3.4)。

【第5週】「マルチウィンドウの利用」とプレゼンテーション(1)

(講義) PCの広い画面を最大限に利用して、ブラウザとアプリの同時利用を学ぶ。
(演習) PowerPointによるプレゼンテーションの概要を学ぶ(テキストPowerPoint編2.1~2.3)。

【第6週】「スマホとの連携」とプレゼンテーション(2)

(講義) PCとスマホのそれぞれの特徴を学び、各々でのデータ利用について学ぶ。
(演習) スマホと連携したコンテンツ作りを、PowerPoint上で体験する(テキストPowerPoint編3.1~3.4)。

【第7週】「ネットワーク/メディアの概要」とプレゼンテーション(3)

(講義) ネットワークがメディアとして活用されている実態を学び、ネットワーク上のコンテンツ利用の実際を学ぶ。
(演習) より興味を引くPowerPointによるプレゼンテーションについて学ぶ(テキストPowerPoint編4.1~4.3)。

【第8週】「セキュリティの知識」とセキュリティ管理

(講義) ネットワーク上の脅威や権利侵害について学び、安全なネットワーク利用について考える。
(演習) 自身のパスワードを変更し、自身によるセキュリティ管理を開始する。

【第9週】「バーコード・QRコード・暗号」と文書作成(4)

(講義) 社会における情報利用のしくみを学び、それらの存在意義や安全性について考える。
 (演習) また、その考察の結果をWordにより文章化する(テキストWord編4.1~4.5)。

【第10週】「ICカード・スマホ決済・Webマネー」と高度なWeb検索

(講義) ネットワーク上のお金について、そのあらましを学ぶ。
 (演習) Webの検索機能を用いて、自分自身も利用するIT技術の詳細について調べる。

【第11週】「クラウド」とプレゼンテーション(4)

(講義) Google Driveを代表とするクラウド技術について知る。
 (演習) 自らWebによって収集したデータを交えてプレゼンテーション資料を作成する(テキストPowerPoint編6章)。

【第12週】「データフォーマットと圧縮」と表計算(1)

(講義) 映像、音声、文書などさまざまな場面で使われる多くのデータフォーマットと、その特徴について知る。
 (演習) データ処理の基本としてExcelの使い方を学ぶ(テキストExcel編1.1~1.6、2.1~2.4)。

【第13週】「ゲームビジネス」と表計算(2)

(講義) 多くの学生にとって興味深いゲームコンテンツにおけるビジネスのしくみを知り、その意義を考える。
 (演習) Excelの関数を学ぶ(テキストExcel編3.1~3.2、4.1~4.2)。

【第14週】「シミュレーション」と表計算(3)

(講義) コンピューターシミュレーションの基礎を学び、知的生産における応用を考える。
 (演習) Excelのグラフ機能を使った簡単なシミュレーションを体験してみる(テキストExcel編6.1~6.3)。

【第15週】「デジタル・リテラシー演習Ⅰ・Ⅱの紹介」と表計算(4)

(講義) 科目「デジタル・リテラシー」の結びとして、学習した内容の今後の発展と「デジタル・リテラシー演習Ⅰ・Ⅱ」を紹介する。
 (演習) Excelによって作成したグラフをWord、PowerPointに引用し、アプリを連携したコンテンツ作成を学ぶ(テキストPowerPoint編5章、Word編11.3)。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

事前学習としては、各週の演習授業に備えて、テキストを通読しておき、必要に応じて独習しておくこと。
 事後の学習は、毎回の講義内容に合わせた演習を通じて復習を行い、成果を提出すること。

課題に対するフィードバックの方法

毎回の課題に対して次週授業にて講評を行い、自身の達成度を確認する。またそこからさらに拡張して課題を発展していくことを繰り返す。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

本授業では、課題の達成度、最終課題の完成度について評価を行う。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	授業の受講態度と課題の提出	1, 2, 3, 4, 5
授業外での評価	30	課題の達成度	2, 3, 4, 5, 6, 7
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	最終課題の完成度	6, 7
その他	0		

テキスト	<p>オーム社「Microsoft Office Word & PowerPoint編[改訂版]」花木泰子・浅里京子 / 著 ISBN: 978-4-274-22919-0 2400円+税 オーム社「コンピューターリテラシー Microsoft Office Excel編[改訂版]」多田憲孝・内藤富美子 / 著 ISBN978-4-274-22920-6 2400円+税</p> <p>上記2冊は1年次後期「デジタル・リテラシー演習Ⅰ」および2年次前期「デジタル・リテラシー演習Ⅱ」でも使用される。</p>
------	---

参考書	必要に応じて授業内で紹介する。
-----	-----------------

履修条件・他の科目との関連	<p>本科目は必修科目であり、毎回必ず十分に充電したPCを持参すること。 本科目は1年次後期の必修科目「デジタル・リテラシー演習Ⅰ」並びに2年次前期の選択科目「デジタル・リテラシー演習Ⅱ」の基礎となる内容であり、本科目の単位を取得していないと後の科目は理解できない恐れがある。</p>
---------------	---



授業コード	10301101	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	コンピュータ基礎演習Ⅱ [対面]				
シラバス執筆(全員)	野村 孝久				
シラバス執筆(主)	野村 孝久				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

2020年から全世界でまん延した新型コロナウイルスの影響で、社会生活は一変した。社会ではそれまでもすでに問題とされていた勤務形態の見直しが進み、学校においてもできるだけ接触の少ない授業形態への試みが積極的に行われ、また生活の形態も大きく変貌を遂げた。その結果として社会生活のあらゆる場面に急速に変貌させていったのが、いわゆるDX(デジタルトランスフォーメーション)の波である。私たちは日常生活、仕事や学習、金融や買い物、そして余暇や趣味の世界でさえ、パソコンやスマホに代表される個人用情報端末と、その背景にあるネットワークを最大限に利用することが可能になり、またそれを求められるようになった。2020年代以降を文化的に暮らしていくためには、デジタル社会を十分に理解し、できるだけ安全に、そして効率的に効果的にその仕組みを活用していくための、デジタル・リテラシーを身につけることが重要となったのである。本科目ではすでに「デジタル・リテラシー」において学んだPCの操作技術をより深化させ、PCとアプリを縦横無尽に駆使して、デジタル環境における自己の表現技術をより研鑽することを目的としている。

本授業においては原則として普通教室において対面で、持参PCの操作を中心とした演習形式の授業を行う。Microsoft 365を使用し、「デジタル・リテラシー」において学んだ各アプリの基本的利用法をさらに拡張して、デジタルアプリによるより高い思考力と表現力を身につけていく。また、その際に利用する様々なファイルを、クラウドファイルシステム上で整理し管理することを学ぶ。

到達目標

1. クラウド環境において各種の情報をフォルダに整理整頓し管理することができる。
2. クラウド環境を利用しながら、Wordによる高度な文書作成ができる。
3. クラウド環境を利用しながら、PowerPointによる高度なプレゼンテーション資料を作成できる。
4. クラウド環境を利用しながら、Excelによる高度なワークシートの操作ができる。
5. Officeアプリを連携させて利用し、他者への情報伝達のための資料を作成することができる。

授業計画

【第1週】 ファイルシステム
Google ClassroomとPCのファイルシステムの利用と操作

【第2週】 Word(1)
テキストWord編第5章「表作成Ⅰ」

【第3週】 Word(2)
テキストWord編第6章「表作成Ⅱ」

【第4週】 Word(3)
テキストWord編第7章「社外ビジネス文書」

【第5週】 Word(4)
テキストWord編第8章「図形描画」

【第6週】 PowerPoint(1)
テキストPowerPoint編第1章「プレゼンテーションとは」、第6章「図・画像の挿入」

【第7週】 PowerPoint(2)
テキストPowerPoint編第7章「画面切り替え効果とアニメーション」

【第8週】 Word(5) & PowerPoint(3)
演習問題

【第9週】 Excel(1)
テキストExcel編第4章「基本的な関数」の復習

【第10週】 Excel(2)
テキストExcel編第5章「相対参照と絶対参照」

【第11週】 Excel(3)
テキストExcel編第7章「データベース機能Ⅰ」

【第12週】 Excel(4)
テキストExcel編第8章「判断処理Ⅰ」

【第13週】 Excel(5)
テキストExcel編第9章「複数シートの利用」

【第14週】Excel (6)
テキストExcel編第10章「基礎編総合演習」

【第15週】Officeアプリの連携
最終課題を課し、Officeアプリを連携して資料作成できることを確認する。

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

事前学習としては、各週の演習授業に備えて、テキストを通読しておき、必要に応じて独習しておくこと。
事後の学習は、毎回の講義内容に合わせた演習を通じて復習を行い、成果を提出すること。

課題に対するフィードバックの方法

毎回の課題に対して次週授業にて点検を行い、またそこからさらに拡張して課題を発展していくことを繰り返す。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

本科目は演習授業であり、毎回の課題の提出とその達成度、最終課題の完成度を評価対象とする。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	毎回の課題提出	2, 3, 4, 5
授業外での評価	30	課題の達成度	1, 5
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	最終課題の完成度	1, 2, 3, 4, 5
その他	0		

テキスト	オーム社「Microsoft Office Word & PowerPoint編[改訂版]」花木泰子・浅里京子／著 ISBN: 978-4-274-22919-0 2400円＋税 オーム社「コンピューターリテラシー(改訂版)Microsoft Office Excel編」多田憲孝・内藤富美子／著 ISBN: 978-4-274-22920-6 2400円＋税 上記2冊は1年次前期「デジタル・リテラシー」および2年次前期「デジタル・リテラシー演習Ⅱ」でも使用される。 上記のほかに、必要に応じて電子的資料をGoogle Classroomを通じて配布する。
------	--

参考書	必要に応じて授業内で紹介する。
-----	-----------------

履修条件・他の科目との関連	本科目は必修科目であり、毎回必ず十分に充電したPCを持参すること。 本科目は1年次前期の必修科目「デジタル・リテラシー」を基礎としており、「デジタル・リテラシー」の単位を取得後に履修すべきである。また2年次前期の選択科目「デジタル・リテラシー演習Ⅱ」は、本科目を基礎とした科目であり、本科目の単位取得を前提とした授業内容となる。
---------------	---

授業コード	10301403	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	現代の国際社会 [対面]				
シラバス執筆(全員)	瀬島 誠				
シラバス執筆(主)	瀬島 誠				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

★当授業は、今年度から対面授業となる。今日の世界は大きな変革を求められている。ロシアの軍事力行使によって、世界の軍事的緊張は高まっている。グローバル化とデジタル技術によってビジネスの舞台となる世界が大きく変容した。経済のみならず政治、デジタル空間の間に複雑な相互関係が生まれ、多様なアクターが複雑に絡み合っており、世界の問題は従来にはない様相を示している。この授業では、新たな国際社会の情勢について、戦争、テロ、核拡散、中国の台頭、破綻国家、地政学、人間の安全保障など具体的な問題を取り上げて、説明する。それらの理解はグローバルビジネスには不可欠のものである。

なお、本授業は現代の国際社会が直面する諸問題を取り扱うため、重要な問題が発生した場合には、その問題を授業で取り上げる。そのため、授業計画通りに進まない場合もあり得る。

到達目標

1. 現代の国際社会がどのような諸問題を抱えているかを理解し説明できる。
2. それらの諸問題の解決が容易でないという複雑さを複眼的視点から理解し、説明できる。
3. それらの諸問題を分析する方法を理解し、応用できる。

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：国際関係とは何か？①
 内容・方法：国際関係とは何か？それはアナーキーであることを説明する。
- 【第2回】
 テーマ：国際関係とは何か？②
 内容・方法：国際関係において国家が依然として重要なアクターであることを国連との対比で説明する。
- 【第3回】
 テーマ：国際関係の変化と継続
 内容・方法：国際関係で起こる様々な出来事を正しく理解する第一歩は変化と継続の両面を正しく理解することである。その理解のために、国際関係の歴史を概観する。
- 【第4回】
 テーマ：テロと合理性
 内容・方法：テロや海賊問題の最新事情について説明し、合理性とは何かを考える。
- 【第5回】
 テーマ：戦争はなぜ発生するか
 内容・方法：具体的な戦争を取り上げて、戦争はなぜ起こるのかについて説明する。
- 【第6回】
 テーマ：核兵器とその拡散
 内容・方法：核兵器とは何か。それはどのようになぜその保有国は拡散しているのかを考える。
- 【第7回】
 テーマ：中国の台頭とアジア・太平洋の安全保障環境
 内容・方法：中国の経済力・軍事力の増大がアジア・太平洋地域に及ぼす影響を考える。
- 【第8回】
 テーマ：ナショナリズム
 内容・方法：ナショナリズムとは何か？アメリカやヨーロッパの事例を中心に説明する。
- 【第9回】
 テーマ：国際政治経済
 内容・方法：貿易、金融、エネルギーなど経済問題は高度に政治的であることを説明する。特に、近年注目を集めるgeo-economicsを中心に説明をする。
- 【第10回】
 テーマ：開発と国連ミレニアム開発計画、SDGs
 内容・方法：世界の経済発展は重要な課題である。2016年から、国連は世界の新たな開発計画「持続的開発目標」を立ち上げ、推進している。それは、日本を含め、世界の新たなビジネスチャンスとなっている。その最新事情を説明する
- 【第11回】
 テーマ：破綻国家
 内容・方法：国家として機能しきれない破綻国家を具体的にしてみる。
- 【第12回】
 テーマ：情報とデジタル技術革命
 内容・方法：国際関係を変化させているもう一つの要因はデジタル技術革命である。この変化の側面について検討する。
- 【第13回】
 テーマ：国際秩序とグローバル公共財
 内容・方法：変化する国際関係にどのように秩序を再構築するか。グローバル公共財という視点を説明する。
- 【第14回】
 テーマ：将来の世界を見通す

内容・方法：世界がどのようなになるのか。皆さんと考えましょう。

【第15回】

テーマ：過去、現在、未来の国際社会

内容・方法：これまでの授業を復習しつつ、国際社会の様々な問題を検討しよう。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

以下、各回、事前学修は2時間、事後学修は2時間を目安とする。

【第1回】

①事前学修課題：授業概要を読んでおくこと

②事後学修課題：授業の内容を振り返ること

【第2回】

①事前学修課題：事前にウェブで国際連合について調べてくる。

②事後学修課題：授業内容を振り返ること

【第3回】

①事前学修課題：事前にウェブなどで北朝鮮について調べてくる。

②事後学修課題：授業内容を振り返ること

【第4回】

①事前学修課題：事前にウェブでオウム真理教のテロについて調べてくる。

②事後学修課題：授業内容を振り返ること

【第5回】

①事前学修課題：事前にウェブで第二次世界大戦について調べてくる。

②事後学修課題：授業内容を振り返ること

【第6回】

①事前学修課題：事前にウェブで核兵器について調べてくる。

②事後学修課題：授業内容を振り返ること

【第7回】

①事前学修課題：事前にウェブで中国の軍事力について調べてくる。

②事後学修課題：授業を振り返ること

【第8回】

①事前学修課題：事前にウェブでアメリカ社会について調べてくる。

②事後学修課題：授業を振り返ること

【第9回】

①事前学修課題：事前にウェブで資源、エネルギー問題について調べてくる。

②事後学修課題：授業を振り返ること

【第10回】

①事前学修課題：事前にウェブで「持続可能な開発目標」について調べてくる。

②事後学修課題：授業を振り返ること

【第11回】

①事前学修課題：事前にウェブで破綻国家について調べてくる。

②事後学修課題：授業を振り返ること

【第12回】

①事前学修課題：事前に人工知能について調べてくる。

②事後学修課題：授業内容を振り返ること

【第13回】

①事前学修課題：事前にウェブなどで公共財について調べてくる。

②事後学修課題：授業を振り返ること

【第14回】

①事前学修課題：これまでの授業を復習する。

②事後学修課題：授業内容を振り返ること

【第15回】

①事前学修課題：これまでの授業を復習する。

②事後学修課題：授業内容を振り返ること

課題に対するフィードバックの方法

各回の授業の最後に書いてもらう課題は、評価をつけた後、翌週の授業で返却する。その際、議論や段落の構成、わかりやすい文章の書き方など、どのように質問に答えるべきかなどについても説明をする。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

授業の各回最後に提出する課題の評価点と、試験の結果を中心に成績を決める。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	30	課題の評価点	1, 2, 3
授業外での評価	0		
定期試験	70	定期試験は対面で行う。	1, 2, 3

定期試験に代わるレポート等	0		
その他	0		
テキスト	教科書は使わない。レズメイを配布する。		
参考書	授業の各回の講義の中で、適宜、紹介する。		
履修条件・他の科目との関連	この授業は、日本と世界の今日的課題を履修するための基礎となるものであり、2年生以降の専門科目を理解するための基盤となる。		

授業コード	10301605	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	世界の歴史と文化 [遠隔オンデマンド]				
シラバス執筆(全員)	山本 明志				
シラバス執筆(主)	山本 明志				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

大学を卒業した社会人が、幅広い教養を有していることは当然のごとく期待されている。特に現代社会がいかなる過程を経て形成されてきたのかについての知見を有していることは、非常に重要である。本講義は我々がくらすアジア世界に焦点を当て、それがいかなる歴史的な過程を経て形作られたのかについて検討するものである。その際にはもちろん、ヨーロッパ世界やアメリカ大陸との相互関係は無視できない。またアジア世界の歴史的展開の中からは、様々な文化も生み出されてきた。本講義は歴史学の最新の成果に基づき、世界の中でもアジアを中心に、その歴史的展開と文化的な特質について考えていく。

本講義は学生諸君が大学の専門教育を受けていく上で、またグローバル社会で生きていく上で必要となる、歴史、文化、国際関係に関する知識に触れて、それらの理解を深めるだけでなく、それらを自らの言葉で説明できるようにすることをめざすものである。

★この講義は、オンデマンド型の遠隔授業です。講義を録画した動画で学び、一定期間内に課題を提出してもらいます。

到達目標

1. アジアの歴史に関して、特定のトピックについて説明することができる。
2. アジアの文化に関して、特定のトピックについて説明することができる。
3. アジアをめぐる国際関係について、歴史的な背景を踏まえて説明することができる。

授業計画

本講義は、オンデマンド型遠隔授業として実施されます。

- 第1回 歴史学と世界史：本講義の方針を説明し、歴史学とはどのような学問かについて概説する。
- 第2回 世界の文字文化：世界の文字の発明、伝播、変化について概説する。
- 第3回 古代東アジアの初期王権：中国における国家形成の過程について検討する。
- 第4回 古代東アジアにおける帝国の成立：中国における広域国家の形成過程、その特質について検討する。
- 第5回 漢帝国の社会と遊牧国家：漢帝国の特徴、同時期にモンゴル高原にあった匈奴について検討する。
- 第6回 シルクロード交易と東西文化の交流：ソグド人の活動を中心に、ユーラシア大陸東部における陸上交易について検討する。
- 第7回 古代ユーラシア東部の海上交易の発展：中国・東南アジア・インドをつなぐ海上交易路の歴史について検討する。
- 第8回 モンゴル帝国の成立と展開：空前絶後の大領域を領有したモンゴル帝国の特質について検討する。
- 第9回 世界をつなぐモンゴル：モンゴル帝国の時代における広域交易の様相について検討する。
- 第10回 モンゴル帝国の遺産：モンゴル政権の崩壊の要因について考察し、次の時代に何が継承されたかを検討する。
- 第11回 「大航海時代」とアジア：ヨーロッパ人商人のアジア市場への参入過程について検討する。
- 第12回 「交易の時代」と17世紀の危機：16世紀の世界的な交易の活況、17世紀の経済危機について検討する。
- 第13回 近代化と東アジア：近代国民国家の特質について考察した後、アヘン戦争の歴史的な意味合いについて検討する。
- 第14回 第二次世界大戦期のアジア世界：第二次世界大戦の時期における東南アジアでの日本軍の活動について検討する。
- 第15回 現代の東アジア世界：中華人民共和国と台湾の今に至る過程について検討する。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

大学の講義科目は、単位認定のために、学生が事前・事後学習を行っていることが必要となります。本講義は、以下のような事前学習・事後学習を想定しています。なお事前学習・事後学習は、各回合わせて4時間、全15回の講義に対して60時間を目安とします。

まず、授業を受ける前に毎回配布するレジュメによく目を通して、よくわからない点・疑問点をはどこか、明確にしておいてください(=事前学習)。

次に教材を用いて授業を受けていただきますが、その際には動画の停止ボタンを使いながら、しっかりノートを取っておいてください。(※このノートテイクが、事後学習で役に立ちます)

授業終了後、課題レポートに取り組んでいただきます。その際には、ノートをきちんと整理し、正確な日本語の文章を書くように注意してください。(=事後学習)

興味を持ったテーマがあれば、関連する読書を行ってください。(=事後学習)

15回の授業終了後、期末最終レポートに取り組んでいただきます。すべてのレジュメ・ノートを見直し、理解が不十分な部分の動画教材を見直し、正確な日本語の文章で提出してください。(=事後学習)

課題に対するフィードバックの方法

毎回の講義に関する課題レポートを、Google Classroomに提出してもらいます。課題レポートは毎回10点満点で評価をつけ、返却します。

返却の際、可能な限り日本語の添削指導を行い、書くべきポイントについてもコメントします。
 課題レポートには質問欄も設けますので、講義でわからなかったことは質問欄に書いてください。
 質問については、可能な限り回答して返却します。
 共有すべき感想・質問については、次の回の冒頭で紹介し、回答も行います。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により総合的に判定の上、60点以上を合格とし、所定の単位を認定します。履修登録したものの、課題レポートを一度も出さず、定期試験に代わるレポート（期末最終レポート）も提出しない場合はK評価とします。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	0		
授業外での評価	80	毎回の教材についての課題レポートの内容を評価します	1, 2, 3
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	期末最終レポートの内容を評価します	1, 2, 3
その他	0		

テキスト テキストを使用しない。教員が作成したレジュメを配付する。

参考書 大阪大学歴史教育研究会：編『市民のための世界史 改訂版』大阪大学出版会，2024。
 講談社、中国の歴史シリーズ。
 講談社、興亡の世界史シリーズ。
 山川出版社、世界史リブレットシリーズ。

履修条件・他の科目との関連 履修条件はありません。ただし完全なオンデマンド形式の遠隔授業ですので、いつ教材に取り組むのか、いつ課題レポートに取り組むのかを、自分でコントロールしなくてはなりません。きちんと1週間のスケジュールをたて、しっかりと時間をかけて教材と課題に取り組まないと、良い評価にはつながりません。その意味では、自身の生活を律する力がないと苦勞する部分がありますが、それを鍛えるよい機会ともなりえます。
 毎回の課題レポートでは、皆さん一人一人の教材に対する理解を深め、日本語で表現する力を伸ばすことをめざします。
 課題レポートの作成において、インターネット上の情報を利用したり、生成AIの出力を利用してはいけません。教材の内容理解を課題レポートでは評価しますので、教材の内容を外れた文章を含むレポートは採点対象外とします。
 自分で調べたことにもとづいて議論したい場合は、「感想欄」に書いてもらいます。第1回の教材でこの辺りのルールは丁寧に解説しますので、必ず第1回の教材からスタートしてください。

授業コード	10301704	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	文化人類学 [対面]				
シラバス執筆(全員)	小西 賢吾				
シラバス執筆(主)	小西 賢吾				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

文化人類学は、フィールドワークを通じて、異文化を人びとの生活の「現場」の中から理解しようとする学問分野です。この講義では、世界に住む多様な人びとの生活世界を、文化人類学の基礎理論とともに紹介しながら、自分と異なる「あたりまえ」を理解する手がかりとしてのフィールドワークの方法を検討し、身近な視点への応用を考えることを目的としています。単に「世界にはいろいろな文化がある」ことを知るだけなら、インターネットで動画を検索すればいくらでも出てきます。この授業で目指すのは、自分の「あたりまえ」と異なる価値観や習慣の背後にあるものは一体何なのかを、一歩立ち止まって深く考察する姿勢を養いながら、文化を異にする他者と対話するための方法を学んでいくことだといえます。それは、グローバル社会において、多様な人びとと、ビジネスから日常生活にいたる活動をとともにしていくために必要とされるスキルでもあります。リアクションツールなどを用いて、リアルタイムで受講者からのコメントを踏まえて議論を展開する双方向的な授業を行います。

到達目標

1. 文化人類学の基礎知識を用いて、グローバル社会の諸側面を説明できる。
2. 文化人類学のフィールドワークの方法について理解し、その特徴や背後にある考え方を説明できる。
3. 身近な経験の中から、文化人類学の視点を異文化の理解に応用するための適切な事例を判断でき、その内容について説明できる。

授業計画

- 第1回 イントロダクション：文化の定義を考えることを通じて、文化人類学の特徴を知る。
- 第2回 フィールドワークをはじめ—文化相対主義と参与観察：文化人類学的なフィールドワークの特徴と、文化相対主義について理解する。
- 第3回 家族と婚姻—最も身近な異文化：家族の成り立ちを、文化人類学的な視点から理解する。
- 第4回 国家・民族・言語—アイデンティティのゆくえ：私たちがどのように社会の中でアイデンティティを構築しているのかを、国家、民族（エスニシティ）、言語などをキーワードに考える。
- 第5回 伝統と近代—その「伝統」はいつからはじまった？：現代社会における伝統文化の動態を理解するため、祭りなどを事例にして伝統と近代の関係について理解する。
- 第6回 文化と観光—文化を「見る」ことと、「見られる」こと：観光が文化におよぼす影響や、観光が生み出す文化について学ぶ。
- 第7回 呪術・宗教・科学—多様な「合理性」をとらえる：私たちの生活を成り立たせている「科学的」「非科学的」な価値観について考察する。
- 第8回 人のつながりの人類学—地縁・血縁・縁結び：現代社会における人のつながりの諸相を人類学的に理解する視点を学ぶ。
- 第9回 身体・病気・治療①—医療人類学と、西洋医学の相対化：医療人類学の基礎を学ぶことで、多様な文化におけるこころと身体の捉え方を知る。
- 第10回 身体・病気・治療②—「健康」な生とは何か：「健康」と「病気」の社会的側面について学ぶ。
- 第11回 文化人類学はどのように「役に立つ」のか：文化人類学者がいかに調査地域に貢献し、人びととコラボレーションできるかを考える。
- 第12回 人間と死①—死生観と弔い：葬儀をはじめとする死者儀礼の意味と、それがなぜ必要なのかを考える。
- 第13回 人間と死②—チベットの死生観：異文化の死生観と弔いを知り、その意味を比較文化的に考える。
- 第14回 越境と共生—身近な異文化理解に向けて：グローバル化した社会において、文化を異にする人びとがいかに共生できるかを考える。
- 第15回 まとめ：この授業で学んだことを整理し、内容をまとめる。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

各回、事前学修は2時間、事後学修は2時間を目安とします。
 事前学習：授業の内容に関する小課題が出題されるので、自分でさまざまなツールを用いて情報を収集し、授業前までに課題に取り組む。
 事後学習：毎回の配付資料やスライドの内容を復習し、要点をまとめるとともに、自らの経験にひきつけて解釈し、その応用可能性を考える。

課題に対するフィードバックの方法

小課題の解答やコメントに解説を加え、授業の内容に反映します。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60 点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	授業内で出題する小課題への解答	1, 2, 3
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	50	授業終了後に実施するレポート試験	1, 2, 3
その他	0		

テキスト	使用しません。授業中に適宜資料を配布します。
------	------------------------

参考書	必要に応じて授業中に紹介します。
-----	------------------

履修条件・他の科目との関連	履修条件はとくにありません。授業の中ではリアクションツールなどを用いた双方向的な議論を行いますので、授業で聞いた内容を踏まえて自分の考えをまとめながら受講してください。欠席者には配付資料を別途google classroomにアップロードするなどの配慮を行います。
---------------	--

授業コード	10302101	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	キャリアデザイン I [対面]				
シラバス執筆(全員)	香川 愁吾				
シラバス執筆(主)	香川 愁吾				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

本科目では、職業理解と自己理解を深め、これらを踏まえて自分が目指したいキャリアのあり方について検討していく。このことを通じて、自分の目指したいキャリアを実現するために何が重要なのかに気づき、必要な行動計画を立てる準備をする。さらに、自己洞察を通じて、今後の学生生活を充実させることの意義と、そのためにとるべき行動について認識することを目指す。再履修クラスとして集中講義で行い、個人ワークや個人発表、ペアワークやディスカッションを行う。

到達目標

1. 職業や産業、労働の世界に関する基礎的事項を説明できる。
2. キャリアプランニングに必要な自己理解を行い、将来を展望することができる。
3. キャリアプランニングについての気づきや基礎的知識を言葉や文章で表現することができる。

授業計画

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 社会・経済・雇用の変化
- 第3回 就職活動の変化
- 第4回 働き方の変化
- 第5回 業界、企業への着目
- 第6回 第1回～第5回の振り返り
- 第7回 採用担当者の視点 (1)
- 第8回 採用担当者の視点 (2)
- 第9回 インターンシップの意義と活用法
- 第10回 職業適性とキャリアプランニング
- 第11回 キャリア自己診断の実施と結果の読み取り
- 第12回 自分の持つ強みの理解
- 第13回 今までの人生経験から自己理解を深める
- 第14回 コミュニケーションから自己理解を深める
- 第15回 ライフキャリアと人生の多重役割

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

毎授業で行ったワーク及びレポートを見直すことで、毎回約1時間の学修が必要です。

課題に対するフィードバックの方法

毎回のミニレポートなど、提出された課題は適宜評価やコメントを付して返却する。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

成績評価の方法・基準(方針)

- ・授業でのワーク、ミニレポートおよび適宜課題で評価する。
- ・「理由のある欠席」の場合、その回の授業に関する特別課題によって評価する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	100	ワーク・発表・レポート(70%) 学修に取り組む姿勢(30%)	1, 2, 3
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	0		

テキスト	使用しない。適宜プリントを配布する。
参考書	必要に応じて授業の中で指示する。
履修条件・他の科目との関連	本科目は必修科目である。キャリア基礎Ⅱを受講していることが望ましい。

授業コード	10302201	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	キャリアデザインⅡ [対面]				
シラバス執筆(全員)	香川 愁吾				
シラバス執筆(主)	香川 愁吾				
開講年次	3年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

本科目では、自身の進路・就職を具体的に考え、キャリアプランニングに取り組み、社会的・職業的自立に向けた準備を行うことを目的とする。具体的には、雇用環境や就職活動に関する基礎的知識、実践的な活動内容を学び、今後の就職活動に円滑に進めることを目指す。

到達目標

1. 雇用環境や就職活動に関する基礎的知識、実践的な活動内容を説明できる。
2. 目指す進路・就職を実現するために必要な事柄を理解し、その準備に着手することができる。
3. 社会的・職業的自立に向けての気づきや行動計画を文章で表現することができる。

授業計画

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 自己分析と業界・職種研究を踏まえた今後の準備
- 第3回 業界研究
- 第4回 職種研究
- 第5回 インターンシップ(課外)の活用
- 第6回 筆記試験で求められるもの
- 第7回 就職活動で求められるマナー
- 第8回 自己分析の基本
- 第9回 自己分析の実践
- 第10回 履歴書の作成
- 第11回 エントリーシートの作成
- 第12回 グループディスカッション
- 第13回 面接の基本
- 第14回 面接の実践
- 第15回 今後の行動計画、就職活動に向けた留意事項

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

毎授業で行ったワーク及びレポートを見直すことで、毎回約1時間の学修が必要です。

課題に対するフィードバックの方法

授業でのミニレポートならびに提出された課題は適宜評価やコメントを付して返却する。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

成績評価の方法・基準(方針)

- ・授業でのワーク、ミニレポートおよび適宜課題で評価する。
- ・「理由のある欠席」の場合、その回の授業に関する特別課題によって評価する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	100	ワーク・発表・レポート(70%) 学修に取り組む姿勢(30%)	1, 2, 3
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	0		

テキスト	使用しない。適宜プリントを配布する。
------	--------------------

参考書	必要に応じて授業の中で指示する。
履修条件・他の科目との関連	本科目は必修科目である。キャリアデザイン I を履修していることが望ましい。

授業コード	10302301	授業形態	実習 (学外)	実務家教員	—
授業科目名	インターンシップ I [対面]				
シラバス執筆(全員)	山本 幸一				
シラバス執筆(主)	山本 幸一				
開講年次	2年	開講期	前期、後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

本科目は、実際の企業での仕事体験を通じて仕事理解を深めることを目的とする演習・実習科目である。学期期間中の事前授業、長期休みを中心とした実習（合計3日程度の仕事体験）、実習後の事後授業で構成される。最終的に授業を通じて得た学びを整理した「仕事発見レポート」の作成と発表を行い、経験を振り返る。

到達目標

1. 社会に対する問題意識や興味関心を持つことができる
2. 経験を通じて得た学びを自分の言葉で語るすることができる

授業計画

- 事前授業（学期期間中の土曜日を中心に集中して実施する）
 - 事前授業（1）【第1回】 オリエンテーション
 - 事前授業（2）【第2,3,4回】 受入企業によるゲストトーク
 - 事前授業（3）【第5,6回】 仕事理解ワーク
 - 事前授業（4）【第7,8回】 目標設定
 - 事前授業（5）【第9,10回】 キックオフ
- 実習（長期休みを中心に実施）
 - ・主に長期休みを利用し、合計3日程度（合計24時間以上）の仕事体験を実施する
 - ・具体的なスケジュールは企業と相談の上、決定することとなる
- 事後授業（実習終了後に土曜日を中心に集中して実施する）
 - 事後授業（1）【第11回】 経験の振り返り
 - 事後授業（2）【第12,13回】 仕事発見レポートの発表

事前事後の学習

必要に応じて、担当教員より指示する。

授業と実習以外に合計40時間の事前事後学習が必要となる。企業の協力を得て、学外に出る仕事体験を伴う授業であることから、授業時間外にも必要な活動が発生することを理解しておくこと。

課題に対するフィードバックの方法

課題は授業内で講評するとともに、必要に応じてコメントを付して返却する。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。
【具体的な単認定要件】
すべての事前授業・実習・事後授業への参加と、必要な課題の期限内提出、必要な取り組みへの期限内実施を単認定要件とする。その上で、単認定要件を満たした者に対し、以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	・毎回の授業の振り返りシート 20% ・各種ワークシート・エントリー課題 20% ・仕事発見レポート 20%	1、2
授業外での評価	20	・実習中の活動日誌	1、2
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	・最終レポート課題	1、2
その他	0		

テキスト テキストは使用せずプリント等を配布する。

参考書 必要に応じて授業内で紹介する。

履修条件・他の科目との関連

- ・集中講義のため、年度当初の履修登録はない
- ・受講希望者は4月に開催する説明会に必ず参加すること
- ・説明会の詳細は4月初旬にUNIPAにて案内する
- ・21年度以前の入学生については、「インターンシップ I」と同科目である

授業コード	10302601	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	サービスラーニング論 [対面]				
シラバス執筆(全員)	佐藤 誠之				
シラバス執筆(主)	佐藤 誠之				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

本講では、サービスラーニングの実際を理解し、社会におけるサービスの価値やその方法論を学ぶものである。具体的には、講義と映像を通して、地域社会の課題を探り、自らその課題や問題に触れ、それらの解決に対して組織が担う役割や必要性を理解する。また、その為に必要なコミュニケーション能力の向上、人とヒト・人と地域を結びつけるファシリテーション能力の習得を目指す。

到達目標

1. ボランティアやサービスラーニングの意味と地域社会における必要性を理解する。
2. 実際に地域社会で起こっている諸問題や課題を理解する。
3. 周囲とのコミュニケーションを活性化できるファシリテーション能力を身に付ける。

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：オリエンテーション・学びのイメージ
 内容・方法：授業の内容や評価について
- 【第2回】
 テーマ：サービスラーニングとは
 内容・方法：用語の定義などを理解する
- 【第3回】
 テーマ：ボランティアの効果
 内容・方法：ボランティア活動の意義について
- 【第4回】
 テーマ：ボランティアの心得
 内容・方法：ボランティア活動前の注意事項
- 【第5回】
 テーマ：ボランティアの実際 青少年分野
 内容・方法：事例紹介①
- 【第6回】
 テーマ：ボランティアの実際 スポーツ分野
 内容・方法：事例紹介②
- 【第7回】
 テーマ：ボランティアの実際 野外活動分野
 内容・方法：事例紹介③
- 【第8回】
 テーマ：ボランティアの実際 高齢者福祉分野
 内容・方法：事例紹介④
- 【第9回】
 テーマ：ボランティアの実際 障がい者分野
 内容・方法：事例紹介⑤
- 【第10回】
 テーマ：ボランティアの実際 看護・医療分野
 内容・方法：事例紹介⑥
- 【第11回】
 テーマ：ボランティアの実際 防災支援分野
 内容・方法：事例紹介⑦
- 【第12回】
 テーマ：ボランティアの実際 まちづくり分野
 内容・方法：事例紹介⑧
- 【第13回】
 テーマ：ボランティア受け入れ側の期待
 内容・方法：学生が取り組む地域社会づくりについて
- 【第14回】
 テーマ：ボランティアを通じた学び
 内容・方法：ボランティア参加者の振り返りの紹介
- 【第15回】
 テーマ：ボランティア後に行うこと・ボランティアの探し方
 内容・方法：振り返りの方法と重要性

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

授業内容に関する情報収集など自分なりのイメージを持つ。(各回2時間)

講義の中で説明した内容をまとめ、情報検索を行うなどして知識を深める。(各回2時間)

具体的な事前・事後学習内容は第1回のオリエンテーションにて説明を行うが、授業終了後のレポート作成と事前課題への取り組みを上手く活用すること。

レポート、課題以外にもインターネット等を活用して情報収集に努めること。

特に自分が興味関心を持つ領域へのボランティアについては、積極的に参加することを推奨する。

課題に対するフィードバックの方法

レポート、課題についてはclassroomやグーグルフォームを活用し、授業内でフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。
原則、公欠以外で5回以上欠席した場合は、評価の対象とせず「K」評価とする。

授業内での積極的な取り組みやふりかえりシートを評価する

口頭発表や最終課題レポートと授業内でのレポート、事前課題、配布資料などファイリングしたものを提出し、それを評価する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	30	授業内での積極的な取り組みやふりかえりシートを評価する	1, 2, 3
授業外での評価	40	課題レポートと授業内でのレポート、事前課題、配布資料などファイリングしたものを提出し、それを評価する。	1, 2, 3
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	30	口頭試問(発表および質疑応答)にて評価する	1, 2, 3
その他	0		

テキスト	ボランティアを始める人のための 「サービスマーケティング入門」 ～ボランティアを通じた学び～ 発行:あさひ高速印刷出版部 ※学内書店にて購入して下さい。
------	--

参考書	適宜紹介する
-----	--------

履修条件・他の科目との関連	様々なボランティアを経験できるよう自らでアンテナを張り情報を収集すること。 サービスマーケティングⅠ・Ⅱの関連科目の為、意欲的な受講と積極的な取り組みを求める。 欠席者は各自で教員に申し出て予習復習の指示を受けること。
---------------	---

授業コード	10302901	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	オーラルイングリッシュ I [対面]				
シラバス執筆(全員)	I. M. アレンズワース				
シラバス執筆(主)	I. M. アレンズワース				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

(Regular) The aim of this course is to introduce you to the basics of English conversation. During each class, you will take part in conversations about different topics. Sometimes you will work in pairs or small groups, but other times you will work on your own or in a whole class activity. You are expected to actively participate in each activity. The textbook includes example conversations for different situations and will teach you useful phrases and important vocabulary. There will be regular quizzes and weekly homework assignments. You will need to do at least 1 hour per week of outside studies, such as class preparation and review. Google Classroom will be used for assignments and information about this course.

到達目標

At the end of the course, you will be able to:
 1 develop the ability to converse about various everyday topics.
 2 develop listening and speaking skills related to everyday conversation.
 3 learn vocabulary essential for conversing about various everyday topics.

授業計画

【第1回】
 テーマ: Course orientation. Google Classroom orientation and explanation. Unit 1: How are you?
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 1 Dialog & pair work.

【第2回】
 テーマ: Unit 1: How are you?
 内容・方法: Vocabulary review quiz. Unit 1 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK Unit test.

【第3回】
 テーマ: Unit 2: Do you understand?
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 2 Dialog & pair work.

【第4回】
 テーマ: Unit 2: Do you understand?
 内容・方法: Vocabulary review quiz. Unit 1 & 2 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK - Unit test

【第5回】
 テーマ: Review & Dialog Performance Tests (Units 1, 2)
 内容・方法: Practice test Units 1 & 2. Unit 1 & 2 Games

【第6回】
 テーマ: Unit 3: This is my room
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 3 Dialog & pair work.

【第7回】
 テーマ: Unit 3: This is my room
 内容・方法: Vocabulary review quiz. Unit 3 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK - Unit test.

【第8回】
 テーマ: Unit 4: When do you get up?
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 4 Dialog & pair work.

【第9回】
 テーマ: Unit 4: When do you get up?
 内容・方法: Vocabulary review quiz. Unit 4 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK - Unit test.

【第10回】
 テーマ: Review & Dialog Performance Tests (Units 3, 4)
 内容・方法: Practice test Units 3 & 4. Unit 3 & 4 Games

【第11回】
 テーマ: Unit 5: Who's that?
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 5 Dialog & pair work.

【第12回】
 テーマ: Unit 5: Who's that?
 内容・方法: Vocabulary review quiz. Unit 5 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK - Unit test.

【第13回】
 テーマ: Unit 6: That's a great shirt!
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 6 Dialog & pair work.

【第14回】

テーマ : Unit 6: That's a great shirt!

内容・方法 : Vocabulary review quiz. Unit 6 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK - Unit test.

【第15回】

テーマ : Review & Dialog Performance Tests (Units 5, 6)

内容・方法 : Practice test Units 5 & 6. Unit 5 & 6 Games. Explanation of final test.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

①事前学修課題 : Buy a textbook.

②事後学修課題 : Buy a textbook. Do HWK assignments & Practice Dialog 1

【第2回】

①事前学修課題 : Study for vocabulary quiz. Check you did all your HWK. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 1. Do the unit test.

【第3回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read Unit 2 Vocabulary and read dialog 2. Practice dialog 1.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 2.

【第4回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Study for vocabulary quiz. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialogs 1 & 2. Do the unit test.

【第5回】

①事前学修課題 : Review Unit 1 & 2 for a test. Practice and memorize dialogs 1 & 2 for a test.

②事後学修課題 : Do HWK assignments.

【第6回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read Unit 3 Vocabulary and dialog 3.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 3.

【第7回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Study for vocabulary quiz. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 3. Do the unit test.

【第8回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read Unit 4 Vocabulary and dialog 4. Practice dialog 3.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 4.

【第9回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Study for vocabulary quiz. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialogs 3 & 4. Do the unit test.

【第10回】

①事前学修課題 : Review Unit 3 & 4 for a test. Practice and memorize dialogs 3 & 4 for a test.

②事後学修課題 : Do HWK assignments.

【第11回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read Unit 5 Vocabulary and dialog 5.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 5.

【第12回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Study for vocabulary quiz. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 5. Do the unit test.

【第13回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read Unit 6 Vocabulary and dialog 6. Practice dialog 5.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 6.

【第14回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Study for vocabulary quiz. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialogs 5 & 6. Do the unit test.

【第15回】

①事前学修課題 : Review Unit 5 & 6 for a test. Practice and memorize dialogs 5 & 6 for a test.

②事後学修課題 : Do HWK assignments. Submit the final examination.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.
4. The teacher will tell you your current grade at least three times during the semester. In addition, your grades may also be posted regularly on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。

●必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

「以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する」

General Grade Category Breakdown:

- 1) Participation and class activities (10%)
- 2) Dialog performance tests (30%)
- 2) Homework and unit tests (20%)
- 3) 3 Review tests (30%)
- 4) Final examination (10%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	70	Participation and class activities (10%), 3 unit review tests (30%) and dialog performance tests (30%)	1, 2, 3
授業外での評価	20	Homework and unit tests (20%)	1, 2, 3
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	10	Final examination (10%)	1, 2, 3
その他	0	none	

テキスト	English Firsthand Access Student Book. Student Book with MyMobileWorld. (2018 5th edition), Marc Helgesen, Steven Brown, John Wiltshier, Pearson Longman, ISBN: 978-9813132757
------	--

参考書	Materials will be issued in class as necessary. 必要に応じ授業の中で紹介する
-----	---

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。 2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。 3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。 4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。 5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできるが、欠席扱いとなります。 6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。
---------------	---

授業コード	10302902	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	オーラルイングリッシュ I [対面]				
シラバス執筆(全員)	J. エチャー				
シラバス執筆(主)	J. エチャー				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

(Regular) The aim of this course is to introduce you to the basics of English conversation. During each class, you will take part in conversations about different topics. Sometimes you will work in pairs or small groups, but other times you will work on your own or in a whole class activity. You are expected to actively participate in each activity. The textbook includes example conversations for different situations and will teach you useful phrases and important vocabulary. There will be regular quizzes and weekly homework assignments. You will need to do at least 1 hour per week of outside studies, such as class preparation and review. Google Classroom will be used for assignments and information about this course.

到達目標

At the end of the course, you will be able to:
 1 develop the ability to converse about various everyday topics.
 2 develop listening and speaking skills related to everyday conversation.
 3 learn vocabulary essential for conversing about various everyday topics.

授業計画

【第1回】
 テーマ: Course orientation. Google Classroom orientation and explanation. Unit 1: How are you?
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 1 Dialog & pair work.

【第2回】
 テーマ: Unit 1: How are you?
 内容・方法: Vocabulary review quiz. Unit 1 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK Unit test.

【第3回】
 テーマ: Unit 2: Do you understand?
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 2 Dialog & pair work.

【第4回】
 テーマ: Unit 2: Do you understand?
 内容・方法: Vocabulary review quiz. Unit 1 & 2 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK - Unit test

【第5回】
 テーマ: Review & Dialog Performance Tests (Units 1, 2)
 内容・方法: Practice test Units 1 & 2. Unit 1 & 2 Games

【第6回】
 テーマ: Unit 3: This is my room
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 3 Dialog & pair work.

【第7回】
 テーマ: Unit 3: This is my room
 内容・方法: Vocabulary review quiz. Unit 3 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK - Unit test.

【第8回】
 テーマ: Unit 4: When do you get up?
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 4 Dialog & pair work.

【第9回】
 テーマ: Unit 4: When do you get up?
 内容・方法: Vocabulary review quiz. Unit 4 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK - Unit test.

【第10回】
 テーマ: Review & Dialog Performance Tests (Units 3, 4)
 内容・方法: Practice test Units 3 & 4. Unit 3 & 4 Games

【第11回】
 テーマ: Unit 5: Who's that?
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 5 Dialog & pair work.

【第12回】
 テーマ: Unit 5: Who's that?
 内容・方法: Vocabulary review quiz. Unit 5 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK - Unit test.

【第13回】
 テーマ: Unit 6: That's a great shirt!
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 6 Dialog & pair work.

【第14回】

テーマ : Unit 6: That's a great shirt!

内容・方法 : Vocabulary review quiz. Unit 6 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK - Unit test.

【第15回】

テーマ : Review & Dialog Performance Tests (Units 5, 6)

内容・方法 : Practice test Units 5 & 6. Unit 5 & 6 Games. Explanation of final test.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

①事前学修課題 : Buy a textbook.

②事後学修課題 : Buy a textbook. Do HWK assignments & Practice Dialog 1

【第2回】

①事前学修課題 : Study for vocabulary quiz. Check you did all your HWK. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 1. Do the unit test.

【第3回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read Unit 2 Vocabulary and read dialog 2. Practice dialog 1.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 2.

【第4回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Study for vocabulary quiz. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialogs 1 & 2. Do the unit test.

【第5回】

①事前学修課題 : Review Unit 1 & 2 for a test. Practice and memorize dialogs 1 & 2 for a test.

②事後学修課題 : Do HWK assignments.

【第6回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read Unit 3 Vocabulary and dialog 3.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 3.

【第7回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Study for vocabulary quiz. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 3. Do the unit test.

【第8回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read Unit 4 Vocabulary and dialog 4. Practice dialog 3.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 4.

【第9回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Study for vocabulary quiz. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialogs 3 & 4. Do the unit test.

【第10回】

①事前学修課題 : Review Unit 3 & 4 for a test. Practice and memorize dialogs 3 & 4 for a test.

②事後学修課題 : Do HWK assignments.

【第11回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read Unit 5 Vocabulary and dialog 5.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 5.

【第12回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Study for vocabulary quiz. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 5. Do the unit test.

【第13回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read Unit 6 Vocabulary and dialog 6. Practice dialog 5.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 6.

【第14回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Study for vocabulary quiz. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialogs 5 & 6. Do the unit test.

【第15回】

①事前学修課題 : Review Unit 5 & 6 for a test. Practice and memorize dialogs 5 & 6 for a test.

②事後学修課題 : Do HWK assignments. Submit the final examination.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.
4. The teacher will tell you your current grade at least three times during the semester. In addition, your grades may also be posted regularly on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。

●必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

「以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する」

General Grade Category Breakdown:

- 1) Participation and class activities (10%)
- 2) Dialog performance tests (30%)
- 2) Homework and unit tests (20%)
- 3) 3 Review tests (30%)
- 4) Final examination (10%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	70	Participation and class activities (10%), 3 unit review tests (30%) and dialog performance tests (30%)	1, 2, 3
授業外での評価	20	Homework and unit tests (20%)	1, 2, 3
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	10	Final examination (10%)	1, 2, 3
その他	0	none	

テキスト	English Firsthand Access Student Book. Student Book with MyMobileWorld. (2018 5th edition), Marc Helgesen, Steven Brown, John Wiltshier, Pearson Longman, ISBN: 978-9813132757
------	--

参考書	Materials will be issued in class as necessary. 必要に応じ授業の中で紹介する
-----	---

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	10302903	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	オーラルイングリッシュ I [対面]				
シラバス執筆(全員)	G. S. ジョン=バプティースト				
シラバス執筆(主)	G. S. ジョン=バプティースト				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

(Regular) The aim of this course is to introduce you to the basics of English conversation. During each class, you will take part in conversations about different topics. Sometimes you will work in pairs or small groups, but other times you will work on your own or in a whole class activity. You are expected to actively participate in each activity. The textbook includes example conversations for different situations and will teach you useful phrases and important vocabulary. There will be regular quizzes and weekly homework assignments. You will need to do at least 1 hour per week of outside studies, such as class preparation and review. Google Classroom will be used for assignments and information about this course.

到達目標

At the end of the course, you will be able to:
 1 develop the ability to converse about various everyday topics.
 2 develop listening and speaking skills related to everyday conversation.
 3 learn vocabulary essential for conversing about various everyday topics.

授業計画

【第1回】
 テーマ: Course orientation. Google Classroom orientation and explanation. Unit 1: How are you?
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 1 Dialog & pair work.

【第2回】
 テーマ: Unit 1: How are you?
 内容・方法: Vocabulary review quiz. Unit 1 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK Unit test.

【第3回】
 テーマ: Unit 2: Do you understand?
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 2 Dialog & pair work.

【第4回】
 テーマ: Unit 2: Do you understand?
 内容・方法: Vocabulary review quiz. Unit 1 & 2 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK - Unit test

【第5回】
 テーマ: Review & Dialog Performance Tests (Units 1, 2)
 内容・方法: Practice test Units 1 & 2. Unit 1 & 2 Games

【第6回】
 テーマ: Unit 3: This is my room
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 3 Dialog & pair work.

【第7回】
 テーマ: Unit 3: This is my room
 内容・方法: Vocabulary review quiz. Unit 3 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK - Unit test.

【第8回】
 テーマ: Unit 4: When do you get up?
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 4 Dialog & pair work.

【第9回】
 テーマ: Unit 4: When do you get up?
 内容・方法: Vocabulary review quiz. Unit 4 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK - Unit test.

【第10回】
 テーマ: Review & Dialog Performance Tests (Units 3, 4)
 内容・方法: Practice test Units 3 & 4. Unit 3 & 4 Games

【第11回】
 テーマ: Unit 5: Who's that?
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 5 Dialog & pair work.

【第12回】
 テーマ: Unit 5: Who's that?
 内容・方法: Vocabulary review quiz. Unit 5 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK - Unit test.

【第13回】
 テーマ: Unit 6: That's a great shirt!
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 6 Dialog & pair work.

【第14回】

テーマ : Unit 6: That's a great shirt!

内容・方法 : Vocabulary review quiz. Unit 6 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK - Unit test.

【第15回】

テーマ : Review & Dialog Performance Tests (Units 5, 6)

内容・方法 : Practice test Units 5 & 6. Unit 5 & 6 Games. Explanation of final test.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

①事前学修課題 : Buy a textbook.

②事後学修課題 : Buy a textbook. Do HWK assignments & Practice Dialog 1

【第2回】

①事前学修課題 : Study for vocabulary quiz. Check you did all your HWK. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 1. Do the unit test.

【第3回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read Unit 2 Vocabulary and read dialog 2. Practice dialog 1.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 2.

【第4回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Study for vocabulary quiz. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialogs 1 & 2. Do the unit test.

【第5回】

①事前学修課題 : Review Unit 1 & 2 for a test. Practice and memorize dialogs 1 & 2 for a test.

②事後学修課題 : Do HWK assignments.

【第6回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read Unit 3 Vocabulary and dialog 3.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 3.

【第7回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Study for vocabulary quiz. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 3. Do the unit test.

【第8回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read Unit 4 Vocabulary and dialog 4. Practice dialog 3.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 4.

【第9回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Study for vocabulary quiz. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialogs 3 & 4. Do the unit test.

【第10回】

①事前学修課題 : Review Unit 3 & 4 for a test. Practice and memorize dialogs 3 & 4 for a test.

②事後学修課題 : Do HWK assignments.

【第11回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read Unit 5 Vocabulary and dialog 5.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 5.

【第12回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Study for vocabulary quiz. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 5. Do the unit test.

【第13回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read Unit 6 Vocabulary and dialog 6. Practice dialog 5.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 6.

【第14回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Study for vocabulary quiz. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialogs 5 & 6. Do the unit test.

【第15回】

①事前学修課題 : Review Unit 5 & 6 for a test. Practice and memorize dialogs 5 & 6 for a test.

②事後学修課題 : Do HWK assignments. Submit the final examination.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.
4. The teacher will tell you your current grade at least three times during the semester. In addition, your grades may also be posted regularly on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。

●必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

「以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する」

General Grade Category Breakdown:

- 1) Participation and class activities (10%)
- 2) Dialog performance tests (30%)
- 2) Homework and unit tests (20%)
- 3) 3 Review tests (30%)
- 4) Final examination (10%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	70	Participation and class activities (10%), 3 unit review tests (30%) and dialog performance tests (30%)	1, 2, 3
授業外での評価	20	Homework and unit tests (20%)	1, 2, 3
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	10	Final examination (10%)	1, 2, 3
その他	0	none	

テキスト	English Firsthand Access Student Book. Student Book with MyMobileWorld. (2018 5th edition), Marc Helgesen, Steven Brown, John Wiltshier, Pearson Longman, ISBN: 978-9813132757
------	--

参考書	Materials will be issued in class as necessary. 必要に応じ授業の中で紹介する
-----	---

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	10303001	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	オーラルイングリッシュⅡ [対面]				
シラバス執筆(全員)	I. M. アレンズワース				
シラバス執筆(主)	I. M. アレンズワース				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

(Regular) The aim of this course is to develop to the basics of English conversation and introduce the basic skills of presenting. During each class, students will take part in conversations about different topics and associated vocabulary and grammar. To develop presenting skills, students will receive instruction in posture, eye contact, and voice inflection and will give presentations using Power Point. Sometimes you will work in pairs or small groups, but other times you will work on your own or in a whole class activity. You are expected to actively participate in each activity. There will be regular quizzes, weekly homework assignments and class presentation projects. A final presentation will be done in class and submitted as a Power Point video presentation. You will need to do at least 1 hour per week of outside studies, such as class preparation and review. Google Classroom will be used for assignments and information about this course.

到達目標

At the end of the course, you will be able to:

1. develop the ability to converse about various everyday topics.
2. develop listening and speaking skills related to everyday conversation.
3. learn vocabulary essential for conversing about various everyday topics.
4. improve presentation delivery skills.
5. improve presentation visuals and slides.

授業計画

【第1回】
 テーマ: Course orientation. Google Classroom orientation and explanation. Study of presenting skills.
 内容・方法: Presenting skills, posture, gestures, and voice inflections. Application and practice - introductions. HWK: Self-Introduction power point slide

【第2回】
 テーマ: Presentation skills practice & Self-Introduction Power Point (1 Slide)
 内容・方法: Presentation 1 - group presentations and student checklist & feedback. HWK review text unit

【第3回】
 テーマ: Unit 7: I love weekends!
 内容・方法: Vocabulary building & quiz; Listening/Reading review. Dialog & pair work. HWK Reading and grammar.

【第4回】
 テーマ: Unit 8: Let's eat!
 内容・方法: Vocabulary building & quiz; Listening/Reading review. Dialog & pair work. HWK Reading and grammar.

【第5回】
 テーマ: Review & Dialog Performance Tests (Units 7, 8)
 内容・方法: Review Presentation skills - posture, gestures, and voice inflections. Plan presentation 2 - decide the topic and plan the slides.

【第6回】
 テーマ: Presentation skills practice
 内容・方法: Presentation 2: prepare slides and practice delivery - peer edit slides & pairs give feedback and advice on presentation delivery. HWK: practice presentation 2

【第7回】
 テーマ: Presentation 2
 内容・方法: Presentation 2 - group presentations and student checklist & feedback. HWK review text unit

【第8回】
 テーマ: Unit 9: I really enjoy it!
 内容・方法: Vocabulary building & quiz; Listening/Reading review. Dialog & pair work. HWK Reading and grammar.

【第9回】
 テーマ: Unit 10: welcome to my home.
 内容・方法: Vocabulary building & quiz; Listening/Reading review. Dialog & pair work. HWK Reading and grammar.

【第10回】
 テーマ: Review & Dialog Performance Tests (Units 9, 10)
 内容・方法: Review Presentation skills - posture, gestures, and voice inflections. Plan presentation 3 - decide the topic and plan the slides.

【第11回】

テーマ : Presentation skills practice

内容・方法 : Presentation 3: prepare slides and practice delivery – peer edit slides & pairs give feedback and advice on presentation delivery. HWK: practice presentation 3.

【第12回】

テーマ : Presentation 3

内容・方法 : Presentation 3 – group presentations and student checklist & feedback.

【第13回】

テーマ : Final presentation

内容・方法 : Decide the topic, plan the presentation. Explanation of how to make a power point video presentation.

【第14回】

テーマ : Final Presentation- session 1

内容・方法 : Individual presentations – student feedback and comment.

【第15回】

テーマ : Final Presentation- session 2

内容・方法 : Individual presentations – student feedback and comment. Explanation of final test – submit a power point movie recording of the final presentation.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

①事前学修課題 : Review English studied in the Oral English course.

②事後学修課題 : Review and practice presenting skills. Do HWK presentation assignment

【第2回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Practice and prepare for the presentation.

②事後学修課題 : Review the text unit .

【第3回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read text unit.

②事後学修課題 : Do HWK assignments.

【第4回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read text unit.

②事後学修課題 : Do HWK assignments. Prepare for the unit review.

【第5回】

①事前学修課題 : Review for the unit test.

②事後学修課題 : Review Presentation skills – posture, gestures, and voice inflections. Do HWK presentation assignments.

【第6回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Review presentation skills practice.

②事後学修課題 : Practice and prepare for presentation.

【第7回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Practice your presentation.

②事後学修課題 : Review the text unit .

【第8回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read text unit.

②事後学修課題 : Do HWK assignments.

【第9回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read text unit.

②事後学修課題 : Do HWK assignments. Prepare for the unit review.

【第10回】

①事前学修課題 : Review for the unit test.

②事後学修課題 : Review Presentation skills – posture, gestures, and voice inflections. Do HWK presentation assignments.

【第11回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Review presentation skills practice.

②事後学修課題 : Practice and prepare for presentation.

【第12回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Practice your presentation.

②事後学修課題 : Prepare for final presentation and do HWK presentation assignments.

【第13回】

①事前学修課題 : Prepare for final presentation.

②事後学修課題 : Prepare for final presentation and do HWK presentation assignments.

【第14回】

①事前学修課題 : Prepare for final presentation.

②事後学修課題 : Submit feedback and comments.

【第15回】

② 事前学修課題 : Prepare for final presentation.

②事後学修課題 : Submit feedback and comments. Submit the final presentation power point.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

4. The teacher will tell you your current grade at least three times during the semester. In addition, your grades may also be posted regularly on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

「以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する」

General Grade Category Breakdown:

- 1) Participation and class activities (10%)
- 2) Language (vocabulary & grammar quizzes) (30%)
- 3) Unit reviews (10%)
- 4) 3 Class Presentations (30%)
- 5) Homework assignments (10%)
- 6) Final presentation and video presentation (10%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	80	Participation and class activities (10%), language (vocabulary & grammar quizzes) (30%), unit reviews (10%), and 3 Class Presentations (30%).	1, 2, 3, 4
授業外での評価	10	Homework assignments (10%)	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	10	Final Presentation and video examination (10%)	4, 5
その他	0	none	

テキスト	English Firsthand ACCESS. Student Book with MyMobileWorld (2018 5th edition), Marc Helgesen, Steven Brown, John Wiltshier, Pearson Longman, ISBN: 978-9813132757
------	--

参考書	Materials will be issued in class as necessary. 必要に応じ授業の中で紹介する
-----	---

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。 2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。 3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。 4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。 5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。 6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。
---------------	--

授業コード	10303002	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	オーラルイングリッシュⅡ [対面]				
シラバス執筆(全員)	J. エチャャー				
シラバス執筆(主)	J. エチャャー				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

(Regular) The aim of this course is to develop to the basics of English conversation and introduce the basic skills of presenting. During each class, students will take part in conversations about different topics and associated vocabulary and grammar. To develop presenting skills, students will receive instruction in posture, eye contact, and voice inflection and will give presentations using Power Point. Sometimes you will work in pairs or small groups, but other times you will work on your own or in a whole class activity. You are expected to actively participate in each activity. There will be regular quizzes, weekly homework assignments and class presentation projects. A final presentation will be done in class and submitted as a Power Point video presentation. You will need to do at least 1 hour per week of outside studies, such as class preparation and review. Google Classroom will be used for assignments and information about this course.

到達目標

At the end of the course, you will be able to:

1. develop the ability to converse about various everyday topics.
2. develop listening and speaking skills related to everyday conversation.
3. learn vocabulary essential for conversing about various everyday topics.
4. improve presentation delivery skills.
5. improve presentation visuals and slides.

授業計画

【第1回】
 テーマ: Course orientation. Google Classroom orientation and explanation. Study of presenting skills.
 内容・方法: Presenting skills, posture, gestures, and voice inflections. Application and practice - introductions. HWK: Self-Introduction power point slide

【第2回】
 テーマ: Presentation skills practice & Self-Introduction Power Point (1 Slide)
 内容・方法: Presentation 1 - group presentations and student checklist & feedback. HWK review text unit

【第3回】
 テーマ: Unit 7: I love weekends!
 内容・方法: Vocabulary building & quiz; Listening/Reading review. Dialog & pair work. HWK Reading and grammar.

【第4回】
 テーマ: Unit 8: Let's eat!
 内容・方法: Vocabulary building & quiz; Listening/Reading review. Dialog & pair work. HWK Reading and grammar.

【第5回】
 テーマ: Review & Dialog Performance Tests (Units 7, 8)
 内容・方法: Review Presentation skills - posture, gestures, and voice inflections. Plan presentation 2 - decide the topic and plan the slides.

【第6回】
 テーマ: Presentation skills practice
 内容・方法: Presentation 2: prepare slides and practice delivery - peer edit slides & pairs give feedback and advice on presentation delivery. HWK: practice presentation 2

【第7回】
 テーマ: Presentation 2
 内容・方法: Presentation 2 - group presentations and student checklist & feedback. HWK review text unit

【第8回】
 テーマ: Unit 9: I really enjoy it!
 内容・方法: Vocabulary building & quiz; Listening/Reading review. Dialog & pair work. HWK Reading and grammar.

【第9回】
 テーマ: Unit 10: welcome to my home.
 内容・方法: Vocabulary building & quiz; Listening/Reading review. Dialog & pair work. HWK Reading and grammar.

【第10回】
 テーマ: Review & Dialog Performance Tests (Units 9, 10)
 内容・方法: Review Presentation skills - posture, gestures, and voice inflections. Plan presentation 3 - decide the topic and plan the slides.

【第11回】

テーマ : Presentation skills practice

内容・方法 : Presentation 3: prepare slides and practice delivery – peer edit slides & pairs give feedback and advice on presentation delivery. HWK: practice presentation 3.

【第12回】

テーマ : Presentation 3

内容・方法 : Presentation 3 – group presentations and student checklist & feedback.

【第13回】

テーマ : Final presentation

内容・方法 : Decide the topic, plan the presentation. Explanation of how to make a power point video presentation.

【第14回】

テーマ : Final Presentation- session 1

内容・方法 : Individual presentations – student feedback and comment.

【第15回】

テーマ : Final Presentation- session 2

内容・方法 : Individual presentations – student feedback and comment. Explanation of final test – submit a power point movie recording of the final presentation.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

①事前学修課題 : Review English studied in the Oral English course.

②事後学修課題 : Review and practice presenting skills. Do HWK presentation assignment

【第2回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Practice and prepare for the presentation.

②事後学修課題 : Review the text unit .

【第3回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read text unit.

②事後学修課題 : Do HWK assignments.

【第4回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read text unit.

②事後学修課題 : Do HWK assignments. Prepare for the unit review.

【第5回】

①事前学修課題 : Review for the unit test.

②事後学修課題 : Review Presentation skills – posture, gestures, and voice inflections. Do HWK presentation assignments.

【第6回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Review presentation skills practice.

②事後学修課題 : Practice and prepare for presentation.

【第7回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Practice your presentation.

②事後学修課題 : Review the text unit .

【第8回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read text unit.

②事後学修課題 : Do HWK assignments.

【第9回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read text unit.

②事後学修課題 : Do HWK assignments. Prepare for the unit review.

【第10回】

①事前学修課題 : Review for the unit test.

②事後学修課題 : Review Presentation skills – posture, gestures, and voice inflections. Do HWK presentation assignments.

【第11回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Review presentation skills practice.

②事後学修課題 : Practice and prepare for presentation.

【第12回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Practice your presentation.

②事後学修課題 : Prepare for final presentation and do HWK presentation assignments.

【第13回】

①事前学修課題 : Prepare for final presentation.

②事後学修課題 : Prepare for final presentation and do HWK presentation assignments.

【第14回】

①事前学修課題 : Prepare for final presentation.

②事後学修課題 : Submit feedback and comments.

【第15回】

② 事前学修課題 : Prepare for final presentation.

②事後学修課題 : Submit feedback and comments. Submit the final presentation power point.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

4. The teacher will tell you your current grade at least three times during the semester. In addition, your grades may also be posted regularly on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

「以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する」

General Grade Category Breakdown:

- 1) Participation and class activities (10%)
- 2) Language (vocabulary & grammar quizzes) (30%)
- 3) Unit reviews (10%)
- 4) 3 Class Presentations (30%)
- 5) Homework assignments (10%)
- 6) Final presentation and video presentation (10%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	80	Participation and class activities (10%), language (vocabulary & grammar quizzes) (30%), unit reviews (10%), and 3 Class Presentations (30%).	1, 2, 3, 4
授業外での評価	10	Homework assignments (10%)	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	10	Final Presentation and video examination (10%)	4, 5
その他	0	none	

テキスト	English Firsthand ACCESS. Student Book with MyMobileWorld (2018 5th edition), Marc Helgesen, Steven Brown, John Wiltshier, Pearson Longman, ISBN: 978-9813132757
------	--

参考書	Materials will be issued in class as necessary. 必要に応じ授業の中で紹介する
-----	---

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。 2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。 3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。 4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。 5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。 6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。
---------------	--

授業コード	10303003	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	オーラルイングリッシュⅡ [対面]				
シラバス執筆(全員)	G. S. ジョン=バプティースト				
シラバス執筆(主)	G. S. ジョン=バプティースト				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

(Regular) The aim of this course is to develop to the basics of English conversation and introduce the basic skills of presenting. During each class, students will take part in conversations about different topics and associated vocabulary and grammar. To develop presenting skills, students will receive instruction in posture, eye contact, and voice inflection and will give presentations using Power Point. Sometimes you will work in pairs or small groups, but other times you will work on your own or in a whole class activity. You are expected to actively participate in each activity. There will be regular quizzes, weekly homework assignments and class presentation projects. A final presentation will be done in class and submitted as a Power Point video presentation. You will need to do at least 1 hour per week of outside studies, such as class preparation and review. Google Classroom will be used for assignments and information about this course.

到達目標

At the end of the course, you will be able to:

1. develop the ability to converse about various everyday topics.
2. develop listening and speaking skills related to everyday conversation.
3. learn vocabulary essential for conversing about various everyday topics.
4. improve presentation delivery skills.
5. improve presentation visuals and slides.

授業計画

【第1回】
 テーマ: Course orientation. Google Classroom orientation and explanation. Study of presenting skills.
 内容・方法: Presenting skills, posture, gestures, and voice inflections. Application and practice - introductions. HWK: Self-Introduction power point slide

【第2回】
 テーマ: Presentation skills practice & Self-Introduction Power Point (1 Slide)
 内容・方法: Presentation 1 - group presentations and student checklist & feedback. HWK review text unit

【第3回】
 テーマ: Unit 7: I love weekends!
 内容・方法: Vocabulary building & quiz; Listening/Reading review. Dialog & pair work. HWK Reading and grammar.

【第4回】
 テーマ: Unit 8: Let's eat!
 内容・方法: Vocabulary building & quiz; Listening/Reading review. Dialog & pair work. HWK Reading and grammar.

【第5回】
 テーマ: Review & Dialog Performance Tests (Units 7, 8)
 内容・方法: Review Presentation skills - posture, gestures, and voice inflections. Plan presentation 2 - decide the topic and plan the slides.

【第6回】
 テーマ: Presentation skills practice
 内容・方法: Presentation 2: prepare slides and practice delivery - peer edit slides & pairs give feedback and advice on presentation delivery. HWK: practice presentation 2

【第7回】
 テーマ: Presentation 2
 内容・方法: Presentation 2 - group presentations and student checklist & feedback. HWK review text unit

【第8回】
 テーマ: Unit 9: I really enjoy it!
 内容・方法: Vocabulary building & quiz; Listening/Reading review. Dialog & pair work. HWK Reading and grammar.

【第9回】
 テーマ: Unit 10: welcome to my home.
 内容・方法: Vocabulary building & quiz; Listening/Reading review. Dialog & pair work. HWK Reading and grammar.

【第10回】
 テーマ: Review & Dialog Performance Tests (Units 9, 10)
 内容・方法: Review Presentation skills - posture, gestures, and voice inflections. Plan presentation 3 - decide the topic and plan the slides.

【第11回】

テーマ : Presentation skills practice

内容・方法 : Presentation 3: prepare slides and practice delivery – peer edit slides & pairs give feedback and advice on presentation delivery. HWK: practice presentation 3.

【第12回】

テーマ : Presentation 3

内容・方法 : Presentation 3 – group presentations and student checklist & feedback.

【第13回】

テーマ : Final presentation

内容・方法 : Decide the topic, plan the presentation. Explanation of how to make a power point video presentation.

【第14回】

テーマ : Final Presentation- session 1

内容・方法 : Individual presentations – student feedback and comment.

【第15回】

テーマ : Final Presentation- session 2

内容・方法 : Individual presentations – student feedback and comment. Explanation of final test – submit a power point movie recording of the final presentation.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

①事前学修課題 : Review English studied in the Oral English course.

②事後学修課題 : Review and practice presenting skills. Do HWK presentation assignment

【第2回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Practice and prepare for the presentation.

②事後学修課題 : Review the text unit .

【第3回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read text unit.

②事後学修課題 : Do HWK assignments.

【第4回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read text unit.

②事後学修課題 : Do HWK assignments. Prepare for the unit review.

【第5回】

①事前学修課題 : Review for the unit test.

②事後学修課題 : Review Presentation skills – posture, gestures, and voice inflections. Do HWK presentation assignments.

【第6回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Review presentation skills practice.

②事後学修課題 : Practice and prepare for presentation.

【第7回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Practice your presentation.

②事後学修課題 : Review the text unit .

【第8回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read text unit.

②事後学修課題 : Do HWK assignments.

【第9回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read text unit.

②事後学修課題 : Do HWK assignments. Prepare for the unit review.

【第10回】

①事前学修課題 : Review for the unit test.

②事後学修課題 : Review Presentation skills – posture, gestures, and voice inflections. Do HWK presentation assignments.

【第11回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Review presentation skills practice.

②事後学修課題 : Practice and prepare for presentation.

【第12回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Practice your presentation.

②事後学修課題 : Prepare for final presentation and do HWK presentation assignments.

【第13回】

①事前学修課題 : Prepare for final presentation.

②事後学修課題 : Prepare for final presentation and do HWK presentation assignments.

【第14回】

①事前学修課題 : Prepare for final presentation.

②事後学修課題 : Submit feedback and comments.

【第15回】

② 事前学修課題 : Prepare for final presentation.

②事後学修課題 : Submit feedback and comments. Submit the final presentation power point.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

4. The teacher will tell you your current grade at least three times during the semester. In addition, your grades may also be posted regularly on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

「以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する」

General Grade Category Breakdown:

- 1) Participation and class activities (10%)
- 2) Language (vocabulary & grammar quizzes) (30%)
- 3) Unit reviews (10%)
- 4) 3 Class Presentations (30%)
- 5) Homework assignments (10%)
- 6) Final presentation and video presentation (10%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	80	Participation and class activities (10%), language (vocabulary & grammar quizzes) (30%), unit reviews (10%), and 3 Class Presentations (30%).	1, 2, 3, 4
授業外での評価	10	Homework assignments (10%)	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	10	Final Presentation and video examination (10%)	4, 5
その他	0	none	

テキスト	English Firsthand ACCESS. Student Book with MyMobileWorld (2018 5th edition), Marc Helgesen, Steven Brown, John Wiltshier, Pearson Longman, ISBN: 978-9813132757
------	--

参考書	Materials will be issued in class as necessary. 必要に応じ授業の中で紹介する
-----	---

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。 2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。 3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。 4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。 5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。 6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。
---------------	--

授業コード	10303101	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	オーラルイングリッシュⅢ [対面]				
シラバス執筆(全員)	S. ハティング				
シラバス執筆(主)	S. ハティング				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course will help you continue to improve your English conversation ability. In this course you will have many opportunities to practice speaking, mostly in pairs and small groups. You will also start to learn some strategies for managing conversations in order to make your conversations better, longer, and more correct. You will continue to study useful expressions, vocabulary and improve your grammar usage. Listening and reading activities are included to support your English development. Google Classroom will be used in this course for materials and assignments. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

到達目標

At the end of the course, you will be able to:

- ① converse in English in various situations
- ② carry on longer and longer conversations
- ③ increase your productive vocabulary
- ④ be able to use basic English grammar when speaking

授業計画

- 【第1回】
 テーマ: Course explanation and Google Classroom orientation.
 内容・方法: Scope and sequence.
- 【第2回】
 テーマ: Greetings, Introducing yourself
 内容・方法: Conversation and Language practice, Registration for online practice
- 【第3回】
 テーマ: Greetings, Introducing yourself
 内容・方法: Listening, reading and conversation practice. Quiz.
- 【第4回】
 テーマ: Personal Information
 内容・方法: Conversation and Language practice
- 【第5回】
 テーマ: Personal Information
 内容・方法: Listening, reading and conversation practice. Quiz.
- 【第6回】
 テーマ: Talking about likes and dislikes
 内容・方法: Conversation and Language practice
- 【第7回】
 テーマ: Talking about likes and dislikes
 内容・方法: Listening, reading and conversation practice. Quiz.
- 【第8回】
 テーマ: Mid- semester review & assessment
 内容・方法: Review Units 1-3 and mid-semester assessment.
- 【第9回】
 テーマ: Talking about habits and routines
 内容・方法: Conversation and Language practice
- 【第10回】
 テーマ: Talking about habits and routines
 内容・方法: Listening, reading and conversation practice. Quiz.
- 【第11回】
 テーマ: Describing everyday activities
 内容・方法: Conversation and Language practice
- 【第12回】
 テーマ: Describing everyday activities
 内容・方法: Listening, reading and conversation practice. Quiz.
- 【第13回】
 テーマ: Talking about past events
 内容・方法: Conversation and Language practice
- 【第14回】
 テーマ: Talking about past events
 内容・方法: Listening, reading and conversation practice. Quiz.
- 【第15回】
 テーマ: End-of-semester review & assessment
 内容・方法: Review of units 4-6 and explanation of final assessment.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

- ①事前学修課題: Buy the textbook Register for Google Classroom.
- ②事後学修課題: Homework assignments and Unit 1, 1-5 online vocabulary and grammar activities.

【第2回】

- ①事前学修課題: Do Unit 1-1-5 オンラインOnline Vocabulary and Grammar activities.
- ②事後学修課題: Homework assignment and do Unit 1-All online activities

【第3回】

- ①事前学修課題: Complete all online conversation and video activities for Unit 1.
- ②事後学修課題: Homework assignments and do Unit 2, 1-5 online vocabulary and grammar activities.

【第4回】

- ①事前学修課題: Do Unit 2, 1-5 Online Vocabulary and Grammar activities.
- ②事後学修課題: Homework assignments and complete all Unit 2 online conversation and video activities

【第5回】

- ①事前学修課題: Complete all Unit 2 online conversation and video activities
- ②事後学修課題: Homework assignments do Unit 3, 1-5, online vocabulary and grammar activities.

【第6回】

- ①事前学修課題: Do Unit 3, 1-5, Online Vocabulary and Grammar activities.
- ②事後学修課題: Homework assignments and complete all Unit 3 online conversation and video activities.

【第7回】

- ①事前学修課題: Complete all Unit 3 online conversation and video activities.
- ②事後学修課題: Review Units 1-3 vocabulary, grammar and conversation routines. Prepare for the mid-term assessment.

【第8回】

- ①事前学修課題: Review Units 1-3 vocabulary, grammar and conversation routines for the mid-term assessment.
- ②事後学修課題: Homework assignments and do Unit 4, 1-5 all online vocabulary and grammar activities

【第9回】

- ①事前学修課題: Do Unit 4, 1-5 all Online Vocabulary and Grammar activities
- ②事後学修課題: Homework assignments and complete all Unit 4 online conversation and video activities.

【第10回】

- ①事前学修課題: Complete all Unit 4 online conversation and video activities.
- ②事後学修課題: Homework assignments and do Unit 5, 1-5 online vocabulary and grammar activities.

【第11回】

- ①事前学修課題: Do Unit 5, 1-5 Online Vocabulary and Grammar activities.
- ②事後学修課題: Homework assignments and complete all Unit 5 online conversation and video activities.

【第12回】

- ①事前学修課題: Complete all Unit 5 online conversation and video activities.
- ②事後学修課題: Homework assignments and do Unit 6, 1-5 online vocabulary and grammar activities.

【第13回】

- ①事前学修課題: Do Unit 6, 1-5 Online Vocabulary and Grammar activities.
- ②事後学修課題: Homework assignments and complete all Unit 6 online conversation and video activities.

【第14回】

- ①事前学修課題: Complete all Unit 6 online conversation and video activities.
- ②事後学修課題: Review Units 4-6 vocabulary, grammar and listening. Prepare for the final assessment.

【第15回】

- ①事前学修課題: Review Units 4-6 vocabulary, grammar and listening for the final assessment..
- ②事後学修課題: Submit the final examination. Listen to English during the summer break.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

You will be graded in class on dialog performance, pair work activities and class activities (30%). There will be regular vocabulary and grammar quizzes (20%). Homework and other textbook assignments will also be graded (20%). During the semester there will be 2 tests: a mid-term and end-of-term evaluation (20%). There will be a final examination (10%)

成績評価の種類

評価割合
(%)

評価方法・割合

評価対象となる到達目標

授業内での評価	70	dialog performance, pair work activities and class activities (30%), vocabulary and grammar quizzes (20%), a mid-term and end-of-term evaluation (20%).	1, 2, 3, 4
授業外での評価	20	Homework and other textbook assignments will also be graded (20%)	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	10	final examination (10%)	1, 2, 3, 4
その他	0	none	

テキスト	Smart Choice 1, 4th Edition with Online Practice, 2020, Ken Wilson, Thomas Healy, Oxford University Press, ISBN: 978-0-19-406099-8		
------	--	--	--

参考書	Smart Choice 1 Online Practice (optional)		
-----	---	--	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>		
---------------	--	--	--

授業コード	10303201	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	オーラルイングリッシュⅣ [対面]				
シラバス執筆(全員)	S. ハティング				
シラバス執筆(主)	S. ハティング				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course will help you continue to improve your English conversation ability. In this course you will have many opportunities to practice speaking, mostly in pairs and small groups. You will also start to learn some strategies for managing conversations in order to make your conversations better, longer, and more correct. You will continue to study useful expressions, vocabulary and improve your grammar usage. Listening and reading activities are included to support your English development. You will work on a English presentation project in this course. As you develop your presentation, you will discuss your content, make small group presentations and get ideas and feedback from your peers. Google Classroom will be used in this course for materials and assignments. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

到達目標

At the end of the course, you will be able to:

1. converse in English in various situations
2. carry on longer and longer conversations
3. increase your productive vocabulary
4. be able to use basic English grammar when speaking
5. be able to give a full presentation in English and use appropriate language and phrases for making a presentation.

授業計画

【第1回】

テーマ: Review of Units 1-6. Course explanation and Google Classroom orientation. Course presentation project explanation.

内容・方法: Review conversations Units 1-6, Review of presenting skills, posture, gestures, and voice inflections.

【第2回】

テーマ: Start presentation project.

内容・方法: Decide theme and outline the presentation. Pair practice - present ideas in pairs and get feedback and ideas from peers.

【第3回】

テーマ: Textbook chapter & Presentation Project

内容・方法: Vocabulary, conversation and language practice. HWK: apply unit content to presentation project.

【第4回】

テーマ: Textbook chapter & Presentation Project

内容・方法: Vocabulary, conversation and language practice. HWK: apply unit content to presentation project.

【第5回】

テーマ: Review of textbook chapters. Assessment (1) of units.

内容・方法: Assessment of units. Presentation - Part I (Introduction), peer feedback.

【第6回】

テーマ: Presentation Project Continued

内容・方法: Presentation Project: start body of the presentation. Learn appropriate phrases and language.

【第7回】

テーマ: Textbook chapter & Presentation Project

内容・方法: Vocabulary, conversation and language practice. HWK: apply unit content to presentation project.

【第8回】

テーマ: Textbook chapter & Presentation Project

内容・方法: Vocabulary, conversation and language practice. HWK: apply unit content to presentation project.

【第9回】

テーマ: Review of textbook chapters. Assessment (2) of units.

内容・方法: Assessment of units. Presentation - Part II (Body), peer feedback.

【第10回】

テーマ: Presentation Project Continued

内容・方法: Presentation Project: start conclusion of the presentation. Learn appropriate phrases and language.

【第11回】

テーマ: Presentation Project continued

内容・方法 : Presentation Project: edit, revise and improve final presentation. Peer presentations, feedback, and ideas.

【第12回】

テーマ : Presentation Project continued

内容・方法 : Presentation Project: edit, revise and improve final presentation. Peer presentations, feedback, and ideas.

【第13回】

テーマ : Final Presentation- session 1

内容・方法 : Individual presentations - student feedback and comment.

【第14回】

テーマ : Final Presentation- session 2

内容・方法 : Individual presentations - student feedback and comment.

【第15回】

テーマ : Final Presentation- session 3

内容・方法 : Individual presentations - student feedback and comment. Explanation of final test - submit a power point movie recording of the final presentation.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

①事前学修課題 : Review English studied in the Oral English II course.

②事後学修課題 : Review and practice presenting skills.

【第2回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK.

②事後学修課題 : Decide your project theme and outline your presentation.

【第3回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Work on your presentation project.

②事後学修課題 : Do HWK assignments.

【第4回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Work on your presentation project.

②事後学修課題 : Do HWK assignments. Prepare for the unit review.

【第5回】

①事前学修課題 : Review for the unit test.

②事後学修課題 : Review project presentation Part I (Introduction) Do HWK presentation assignments.

【第6回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Work on your presentation project.

②事後学修課題 : Practice and prepare for presentation.

【第7回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Work on your presentation project.

②事後学修課題 : Review the text unit .

【第8回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Work on your presentation project.

②事後学修課題 : Do HWK assignments. Prepare for the unit review.

【第9回】

①事前学修課題 : Review for the unit test.

②事後学修課題 : Review project presentation Part II (Body) Do HWK presentation assignments.

【第10回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Work on your presentation project.

②事後学修課題 : Practice and prepare for presentation.

【第11回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Work on your presentation project.

②事後学修課題 : Practice and prepare for presentation.

【第12回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Work on your presentation project.

②事後学修課題 : Practice and prepare for presentation.

【第13回】

①事前学修課題 : Prepare for final presentation.

②事後学修課題 : Submit peer evaluations.

【第14回】

①事前学修課題 : Prepare for final presentation.

②事後学修課題 : Submit peer evaluations.

【第15回】

①事前学修課題 : Prepare for final presentation.

②事後学修課題 : Submit peer evaluations. Submit movie of your final presentation power point.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given during the semester and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。

●必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

You will be graded in class on class activities (10%). Semester project work and presentations (30%). Homework and other textbook assignments will also be graded (20%). During the semester there will be 2 assessments (10%). There will be a final project presentation and end of semester task (30%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Class activities (10%), Semester project work and presentations (30%). Semester assessments (10%).	1, 2, 3, 4, 5
授業外での評価	20	Homework and other textbook assignments will also be graded (20%)	1, 2, 3, 4, 5
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	30	Final project presentation and end of semester task (30%)	1, 2, 3, 4, 5
その他	0	none	

テキスト	Smart Choice 1, 4th Edition with Online Practice, 2020, Ken Wilson, Thomas Healy, Oxford University Press, ISBN: 978-0-19-406099-8
------	--

参考書	Smart Choice 1 Online Practice (optional)
-----	---

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	10303702	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	中国語 I [対面]				
シラバス執筆(全員)	夏 嵐				
シラバス執筆(主)	夏 嵐				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

中国語 I では発話の練習と文法の仕組みをバランスよく学習する。

中国語の会話の基本となる発音を正確にマスターするように、会話文を使って繰り返し練習し、単語や例文が「スムーズに発音できる」「聞いて理解できる」レベルを目指す。また、発話による基礎的な中国語コミュニケーション能力を身につけ、中国語で自己紹介ができるように練習する。

中国語講読・作文の基本が身につくように、基礎的な文法を身につけたうえ、初歩的な文章の講読や作文ができるレベルを目指す。講読文の理解を通して、文章による基礎的なコミュニケーション能力を身につける。

到達目標

1. 中国語の発音を習得し、基礎的な文法を理解することができる。
2. 中国語の基礎的な運用能力として、「読み・書き・話し・聞く」ことができる。
3. 中国語圏の社会や文化の基本的な事項について理解し、説明できる。

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：中国語とは
 内容・方法：これからの授業についての説明。中国語についての紹介。
- 【第2回】
 テーマ：声調と母音
 内容・方法：中国語の発音1（母音、複母音と声調）の説明と練習。
- 【第3回】
 テーマ：声調と母音
 内容・方法：中国語の発音1（母音、複母音と声調）の復習と練習。
- 【第4回】
 テーマ：子音
 内容・方法：中国語の発音2（子音1）の説明と練習。
- 【第5回】
 テーマ：子音
 内容・方法：中国語の発音2（子音2）の説明と練習。
- 【第6回】
 テーマ：鼻母音と軽声
 内容・方法：中国語の発音3（鼻母音と軽声）の説明と練習。
- 【第7回】
 テーマ：鼻母音と軽声
 内容・方法：中国語の発音3（鼻母音と軽声）の復習と練習。
- 【第8回】
 テーマ：声調の変化
 内容・方法：中国語の発音4（声調変化1, 2, 3）の説明と練習。
- 【第9回】
 テーマ：r化と声調の組み合わせ
 内容・方法：中国語の発音4（r化と声調の組み合わせ）の説明と練習。
- 【第10回】
 テーマ：中国語発音のまとめ
 内容・方法：中国語の発音の仕方を再確認し、小テストを行う。
- 【第11回】
 テーマ：第5課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第12回】
 テーマ：第5課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第13回】
 テーマ：第6課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第14回】
 テーマ：第6課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第15回】
 テーマ：第5課と第6課のまとめ
 内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。

- 【第16回】
 テーマ：第7課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第17回】
 テーマ：第7課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第18回】
 テーマ：第8課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第19回】
 テーマ：第8課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第20回】
 テーマ：第7課と第8課のまとめ
 内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。
- 【第21回】
 テーマ：第9課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第22回】
 テーマ：第9課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第23回】
 テーマ：第10課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第24回】
 テーマ：第10課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第25回】
 テーマ：第9課と第10課のまとめ
 内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。
- 【第26回】
 テーマ：第11課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第27回】
 テーマ：第11課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第28回】
 テーマ：第12課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第29回】
 テーマ：第12課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第30回】
 テーマ：前期のまとめ
 内容・方法：前期内容の総合テスト（リスニングを含む）を行う。

*授業の進展状況によって、多少調整する可能性がある。

事前事後の学習

授業時間外で、計30時間の事前事後学習が必要です。

事前、事後学習として、下記の内容について毎回、それぞれ1時間以上の学習が必要。

- ・新出語句の暗記
- ・文法要点の予習・復習
- ・録音を繰り返し聞く
- ・練習で気づいた問題などについて再度復習

課題に対するフィードバックの方法

- ・学習相談は授業の前後に対応する。
- ・小テストと期末テストを採点した後、速やかにフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

1. 評価基準 以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。
2. 評価方法 【40%】授業中の小テスト
 【50%】期末テスト（リスニングを含む筆記試験）
 【10%】積極的な授業参加、受講態度

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	授業中の出来栄および小テストの成績を参考にして評	1, 2, 3

		価を行う。	
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	50	期末総合テストの得点を基に計算を行う。	1, 2, 3
その他	0		

テキスト	『大学生のための初級中国語24回(改訂版)』/杉野元子・黄漢青/白帝社/定価 2400円+税/978-4-86398-368-7		
------	--	--	--

参考書	『基礎から発展までよくわかる中国語文法』/丸尾 誠 著		
-----	-----------------------------	--	--

履修条件・他の科目との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・1回でも欠席すると、授業について行けなくなるため、必ず全回出席すること。 ・やむを得ない事情で遅刻や欠席をする場合は、必ず担当教員に連絡すること。 ・正当な理由なく、3分の1以上欠席した場合、または期末試験を欠席した場合は、評価の対象とせず、「K」評価とする。 ・同様に、特段の理由のない遅刻・早退は1/2回分の欠席と数えられるため注意すること。 		
---------------	---	--	--

授業コード	10303703	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	中国語 I [対面]				
シラバス執筆(全員)	鄭 以君				
シラバス執筆(主)	鄭 以君				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

中国語 I では発話の練習と文法の仕組みをバランスよく学習する。

中国語の会話の基本となる発音を正確にマスターするように、会話文を使って繰り返し練習し、単語や例文が「スムーズに発音できる」「聞いて理解できる」レベルを目指す。また、発話による基礎的な中国語コミュニケーション能力を身につけ、中国語で自己紹介ができるように練習する。

中国語講読・作文の基本が身につくように、基礎的な文法を身につけたうえ、初歩的な文章の講読や作文ができるレベルを目指す。講読文の理解を通して、文章による基礎的なコミュニケーション能力を身につける。

到達目標

1. 中国語の発音を習得し、基礎的な文法を理解することができる。
2. 中国語の基礎的な運用能力として、「読み・書き・話し・聞く」ことができる。
3. 中国語圏の社会や文化の基本的な事項について理解し、説明できる。

授業計画

- 【第1回】
テーマ：中国語とは
内容・方法：これからの授業についての説明。中国語についての紹介。
- 【第2回】
テーマ：声調と母音
内容・方法：中国語の発音1（母音、複母音と声調）の説明と練習。
- 【第3回】
テーマ：声調と母音
内容・方法：中国語の発音1（母音、複母音と声調）の復習と練習。
- 【第4回】
テーマ：子音
内容・方法：中国語の発音2（子音1）の説明と練習。
- 【第5回】
テーマ：子音
内容・方法：中国語の発音2（子音2）の説明と練習。
- 【第6回】
テーマ：鼻母音と軽声
内容・方法：中国語の発音3（鼻母音と軽声）の説明と練習。
- 【第7回】
テーマ：鼻母音と軽声
内容・方法：中国語の発音3（鼻母音と軽声）の復習と練習。
- 【第8回】
テーマ：声調の変化
内容・方法：中国語の発音4（声調変化1, 2, 3）の説明と練習。
- 【第9回】
テーマ：r化と声調の組み合わせ
内容・方法：中国語の発音4（r化と声調の組み合わせ）の説明と練習。
- 【第10回】
テーマ：中国語発音のまとめ
内容・方法：中国語の発音の仕方を再確認し、小テストを行う。
- 【第11回】
テーマ：第5課
内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第12回】
テーマ：第5課
内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第13回】
テーマ：第6課
内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第14回】
テーマ：第6課
内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第15回】
テーマ：第5課と第6課のまとめ
内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。

- 【第16回】
 テーマ：第7課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第17回】
 テーマ：第7課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第18回】
 テーマ：第8課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第19回】
 テーマ：第8課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第20回】
 テーマ：第7課と第8課のまとめ
 内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。
- 【第21回】
 テーマ：第9課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第22回】
 テーマ：第9課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第23回】
 テーマ：第10課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第24回】
 テーマ：第10課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第25回】
 テーマ：第9課と第10課のまとめ
 内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。
- 【第26回】
 テーマ：第11課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第27回】
 テーマ：第11課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第28回】
 テーマ：第12課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第29回】
 テーマ：第12課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第30回】
 テーマ：前期のまとめ
 内容・方法：前期内容の総合テスト（リスニングを含む）を行う。

*授業の進展状況によって、多少調整する可能性がある。

事前事後の学習

授業時間外で、計30時間の事前事後学習が必要です。

事前、事後学習として、下記の内容について毎回、それぞれ1時間以上の学習が必要。

- ・新出語句の暗記
- ・文法要点の予習・復習
- ・録音を繰り返し聞く
- ・練習で気づいた問題などについて再度復習

課題に対するフィードバックの方法

- ・学習相談は授業の前後に対応する。
- ・小テストを採点した後、速やかにフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

1. 評価基準 以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。
2. 評価方法 【50%】授業中の小テスト、課題の完成
 【40%】期末テスト（リスニングを含む筆記試験）
 【10%】積極的な授業参加、受講態度

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	授業中の出来栄および課題の完成、小テストの成績を	1, 2, 3

		参考にして評価を行う。	
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	40	期末総合テスト等の得点を基に計算を行う。	1, 2, 3
その他	0		

テキスト	『大学生のための初級中国語24回(改訂版)』/杉野元子・黄漢青/白帝社/定価 2400円+税/978-4-86398-368-7		
------	--	--	--

参考書	『基礎から発展までよくわかる中国語文法』/丸尾 誠 著		
-----	-----------------------------	--	--

履修条件・他の科目との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・1回でも欠席すると、授業について行けなくなるため、必ず全回出席すること。 ・やむを得ない事情で遅刻や欠席をする場合は、必ず担当教員に連絡すること。 ・正当な理由なく、3分の1以上欠席した場合、または期末試験を欠席した場合は、評価の対象とせず、「K」評価とする。 ・同様に、特段の理由のない遅刻・早退は1/2回分の欠席と数えられるため注意すること。 		
---------------	---	--	--

授業コード	10303704	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	中国語 I [対面]				
シラバス執筆(全員)	侯 月琴				
シラバス執筆(主)	侯 月琴				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

中国語 I では発話の練習と文法の仕組みをバランスよく学習する。

中国語の会話の基本となる発音を正確にマスターするように、会話文を使って繰り返し練習し、単語や例文が「スムーズに発音できる」「聞いて理解できる」レベルを目指す。また、発話による基礎的な中国語コミュニケーション能力を身につけ、中国語で自己紹介ができるように練習する。

中国語講読・作文の基本が身につくように、基礎的な文法を身につけたうえ、初歩的な文章の講読や作文ができるレベルを目指す。講読文の理解を通して、文章による基礎的なコミュニケーション能力を身につける。

到達目標

1. 中国語の発音を習得し、基礎的な文法を理解することができる。
2. 中国語の基礎的な運用能力として、「読み・書き・話し・聞く」ことができる。
3. 中国語圏の社会や文化の基本的な事項について理解し、説明できる。

授業計画

- 【第1回】
テーマ：中国語とは
内容・方法：これからの授業についての説明。中国語についての紹介。
- 【第2回】
テーマ：声調と母音
内容・方法：中国語の発音1（母音、複母音と声調）の説明と練習。
- 【第3回】
テーマ：声調と母音
内容・方法：中国語の発音1（母音、複母音と声調）の復習と練習。
- 【第4回】
テーマ：子音
内容・方法：中国語の発音2（子音1）の説明と練習。
- 【第5回】
テーマ：子音
内容・方法：中国語の発音2（子音2）の説明と練習。
- 【第6回】
テーマ：鼻母音と軽声
内容・方法：中国語の発音3（鼻母音と軽声）の説明と練習。
- 【第7回】
テーマ：鼻母音と軽声
内容・方法：中国語の発音3（鼻母音と軽声）の復習と練習。
- 【第8回】
テーマ：声調の変化
内容・方法：中国語の発音4（声調変化1, 2, 3）の説明と練習。
- 【第9回】
テーマ：r化と声調の組み合わせ
内容・方法：中国語の発音4（r化と声調の組み合わせ）の説明と練習。
- 【第10回】
テーマ：中国語発音のまとめ
内容・方法：中国語の発音の仕方を再確認し、小テストを行う。
- 【第11回】
テーマ：第5課
内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第12回】
テーマ：第5課
内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第13回】
テーマ：第6課
内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第14回】
テーマ：第6課
内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第15回】
テーマ：第5課と第6課のまとめ
内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。

- 【第16回】
 テーマ：第7課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第17回】
 テーマ：第7課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第18回】
 テーマ：第8課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第19回】
 テーマ：第8課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第20回】
 テーマ：第7課と第8課のまとめ
 内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。
- 【第21回】
 テーマ：第9課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第22回】
 テーマ：第9課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第23回】
 テーマ：第10課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第24回】
 テーマ：第10課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第25回】
 テーマ：第9課と第10課のまとめ
 内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。
- 【第26回】
 テーマ：第11課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第27回】
 テーマ：第11課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第28回】
 テーマ：第12課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第29回】
 テーマ：第12課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第30回】
 テーマ：前期のまとめ
 内容・方法：前期内容の総合テスト（リスニングを含む）を行う。

*授業の進展状況によって、多少調整する可能性がある。

事前事後の学習

授業時間外で、計30時間の事前事後学習が必要です。

事前、事後学習として、下記の内容について毎回、それぞれ1時間以上の学習が必要。

- ・新出語句の暗記
- ・文法要点の予習・復習
- ・録音を繰り返し聞く
- ・練習で気づいた問題などについて再度復習

課題に対するフィードバックの方法

- ・学習相談は授業の前後に対応する。
- ・小テストと期末テストを採点した後、速やかにフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

1. 評価基準 以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。
2. 評価方法 【40%】授業中の小テスト
 【50%】期末テスト（リスニングを含む筆記試験）
 【10%】積極的な授業参加、受講態度

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	授業中の出来栄および小テストの成績を参考にして評	1, 2, 3

		価を行う。	
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	50	期末総合テストの得点を基に計算を行う。	1, 2, 3
その他	0		

テキスト	『大学生のための初級中国語24回(改訂版)』/杉野元子・黄漢青/白帝社/定価 2400円+税/978-4-86398-368-7		
------	--	--	--

参考書	『基礎から発展までよくわかる中国語文法』/丸尾 誠 著		
-----	-----------------------------	--	--

履修条件・他の科目との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・1回でも欠席すると、授業について行けなくなるため、必ず全回出席すること。 ・やむを得ない事情で遅刻や欠席をする場合は、必ず担当教員に連絡すること。 ・正当な理由なく、3分の1以上欠席した場合、または期末試験を欠席した場合は、評価の対象とせず、「K」評価とする。 ・同様に、特段の理由のない遅刻・早退は1/2回分の欠席と数えられるため注意すること。 		
---------------	---	--	--

授業コード	10303705	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	中国語 I [対面]				
シラバス執筆(全員)	沈 恩明				
シラバス執筆(主)	沈 恩明				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

中国語 I では発話の練習と文法の仕組みをバランスよく学習する。

中国語の会話の基本となる発音を正確にマスターするように、会話文を使って繰り返し練習し、単語や例文が「スムーズに発音できる」「聞いて理解できる」レベルを目指す。また、発話による基礎的な中国語コミュニケーション能力を身につけ、中国語で自己紹介ができるように練習する。

中国語講読・作文の基本が身につくように、基礎的な文法を身につけたうえ、初歩的な文章の講読や作文ができるレベルを目指す。講読文の理解を通して、文章による基礎的なコミュニケーション能力を身につける。

到達目標

1. 中国語の発音を習得し、基礎的な文法を理解することができる。
2. 中国語の基礎的な運用能力として、「読み・書き・話し・聞く」ことができる。
3. 中国語圏の社会や文化の基本的な事項について理解し、説明できる。

授業計画

- 【第1回】
テーマ：中国語とは
内容・方法：これからの授業についての説明。中国語についての紹介。
- 【第2回】
テーマ：声調と母音
内容・方法：中国語の発音1（母音、複母音と声調）の説明と練習。
- 【第3回】
テーマ：声調と母音
内容・方法：中国語の発音1（母音、複母音と声調）の復習と練習。
- 【第4回】
テーマ：子音
内容・方法：中国語の発音2（子音1）の説明と練習。
- 【第5回】
テーマ：子音
内容・方法：中国語の発音2（子音2）の説明と練習。
- 【第6回】
テーマ：鼻母音と軽声
内容・方法：中国語の発音3（鼻母音と軽声）の説明と練習。
- 【第7回】
テーマ：鼻母音と軽声
内容・方法：中国語の発音3（鼻母音と軽声）の復習と練習。
- 【第8回】
テーマ：声調の変化
内容・方法：中国語の発音4（声調変化1, 2, 3）の説明と練習。
- 【第9回】
テーマ：r化と声調の組み合わせ
内容・方法：中国語の発音4（r化と声調の組み合わせ）の説明と練習。
- 【第10回】
テーマ：中国語発音のまとめ
内容・方法：中国語の発音の仕方を再確認し、小テストを行う。
- 【第11回】
テーマ：第5課
内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第12回】
テーマ：第5課
内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第13回】
テーマ：第6課
内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第14回】
テーマ：第6課
内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第15回】
テーマ：第5課と第6課のまとめ
内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。

- 【第16回】
 テーマ：第7課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第17回】
 テーマ：第7課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第18回】
 テーマ：第8課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第19回】
 テーマ：第8課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第20回】
 テーマ：第7課と第8課のまとめ
 内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。
- 【第21回】
 テーマ：第9課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第22回】
 テーマ：第9課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第23回】
 テーマ：第10課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第24回】
 テーマ：第10課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第25回】
 テーマ：第9課と第10課のまとめ
 内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。
- 【第26回】
 テーマ：第11課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第27回】
 テーマ：第11課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第28回】
 テーマ：第12課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第29回】
 テーマ：第12課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第30回】
 テーマ：前期のまとめ
 内容・方法：前期内容の総合テスト（リスニングを含む）を行う。

*授業の進展状況によって、多少調整する可能性がある。

事前事後の学習

授業時間外で、計30時間の事前事後学習が必要です。

事前、事後学習として、下記の内容について毎回、それぞれ1時間以上の学習が必要。

- ・新出語句の暗記
- ・文法要点の予習・復習
- ・録音を繰り返し聞く
- ・練習で気づいた問題などについて再度復習

課題に対するフィードバックの方法

- ・学習相談は授業の前後に対応する。
- ・課題の内容を提出の期限後に、授業で解説を行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

1. 評価基準 以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。
2. 評価方法 【20%】課題完成状況
 【50%】期末テスト（リスニングを含む筆記試験）
 【30%】積極的な授業参加、受講態度

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	30	授業参加の積極度及び受講態度と授業中の出来栄え	1, 2, 3

授業外での評価	20	課題完成状況によって評価する	1,2
定期試験	50	定期試験の点	1, 2, 3
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	0		

テキスト	『大学生のための初級中国語24回(改訂版)』/杉野元子・黄漢青/白帝社/定価 2400円+税/978-4-86398-368-7		
------	--	--	--

参考書	『基礎から発展までよくわかる中国語文法』/丸尾 誠 著		
-----	-----------------------------	--	--

履修条件・他の科目との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・1回でも欠席すると、授業について行けなくなるため、必ず全回出席すること。 ・やむを得ない事情で遅刻や欠席をする場合は、必ず担当教員に連絡すること。 ・正当な理由なく、3分の1以上欠席した場合、または期末試験を欠席した場合は、評価の対象とせず、「K」評価とする。 ・同様に、特段の理由のない遅刻・早退は1/2回分の欠席と数えられるため注意すること。 		
---------------	---	--	--

授業コード	10303802	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	中国語Ⅱ [対面]				
シラバス執筆(全員)	夏 嵐				
シラバス執筆(主)	夏 嵐				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

「中国語Ⅰ」に引き続き、中国語の基本的な文法を学び、平易な中国語を聞き、話すことができるように練習する。

中国語の基礎文法、表現等を復習しながら、新しい文法事項を学習する。発音練習にも力を入れ、初級段階で獲得すべき運用能力を完成させ、中級への足がかりとする。

また、語学的なもの他にその背景となる中国の文化や現在の社会事情などを紹介し、中国社会全体についての興味・関心を育てる。

到達目標

1. 平易な中国語を聞き、話すことができる。
2. 中国語の基礎的な文法項目を運用することができる。
3. 中国語圏の社会や文化の発展的な事項について理解し、説明できる。

授業計画

- 【第1回】
テーマ：中国語Ⅰの復習
内容・方法：中国語Ⅰで習った内容についての復習をする。
- 【第2回】
テーマ：第13課
内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第3回】
テーマ：第13課
内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第4回】
テーマ：第14課
内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第5回】
テーマ：第14課
内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第6回】
テーマ：第13課と第14課のまとめ
内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。
- 【第7回】
テーマ：第15課
内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第8回】
テーマ：第15課
内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第9回】
テーマ：第16課
内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第10回】
テーマ：第16課
内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第11回】
テーマ：第15課と第16課のまとめ
内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。
- 【第12回】
テーマ：第17課
内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第13回】
テーマ：第17課
内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第14回】
テーマ：第18課
内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第15回】
テーマ：第18課
内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第16回】

テーマ：第17課と第18課のまとめ
 内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。
 【第17回】
 テーマ：第19課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
 【第18回】
 テーマ：第19課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
 【第19回】
 テーマ：第20課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
 【第20回】
 テーマ：第20課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
 【第21回】
 テーマ：第19課と第20課のまとめ
 内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。
 【第22回】
 テーマ：第21課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
 【第23回】
 テーマ：第21課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
 【第24回】
 テーマ：第22課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
 【第25回】
 テーマ：第22課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
 【第26回】
 テーマ：第21課と第22課のまとめ
 内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。
 【第27回】
 テーマ：第23課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
 【第28回】
 テーマ：第23課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
 【第29回】
 テーマ：第24課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
 【第30回】
 テーマ：第24課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。

*授業の進展状況によって、多少調整する可能性がある。

事前事後の学習

授業時間外で、計30時間の事前事後学習が必要です。

事前、事後学習として、下記の内容について毎回、それぞれ1時間以上の学習が必要。

- ・新出語句の暗記
- ・文法要点の予習・復習
- ・録音を繰り返し聞く
- ・練習で気づいた問題などについて再度復習

課題に対するフィードバックの方法

- ・学習相談は授業の前後に対応する。
- ・小テストと期末テストを採点した後、速やかにフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

1. 評価基準 以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。
2. 評価方法 【40%】授業中の小テスト
 【50%】期末テスト（リスニングを含む筆記試験）
 【10%】積極的な授業参加、受講態度

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	授業中の出来栄および小テストの成績を参考にして評価を行う。	1, 2, 3

授業外での評価	0		
定期試験	50	期末総合テストの得点を基に計算を行う。	1, 2, 3
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	0		

テキスト	『大学生のための初級中国語24回(改訂版)』/杉野元子・黄漢青/白帝社/定価 2400円+税/978-4-86398-368-7		
------	--	--	--

参考書	『基礎から発展までよくわかる中国語文法』/丸尾 誠 著		
-----	-----------------------------	--	--

履修条件・他の科目との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・「中国語I」の単位を取得していること。 ・1回でも欠席すると、授業について行けなくなるため、必ず全回出席すること。 ・やむを得ない事情で遅刻や欠席をする場合は、必ず担当教員に連絡すること。 ・正当な理由なく、3分の1以上欠席した場合、または期末試験を欠席した場合は、評価の対象とせず、「K」評価とする。 ・同様に、特段の理由のない遅刻・早退は1/2回分の欠席と数えられるため注意すること。 		
---------------	---	--	--

授業コード	10303803	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	中国語Ⅱ [対面]				
シラバス執筆(全員)	鄭 以君				
シラバス執筆(主)	鄭 以君				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

「中国語Ⅰ」に引き続き、中国語の基本的な文法を学び、平易な中国語を聞き、話すことができるように練習する。

中国語の基礎文法、表現等を復習しながら、新しい文法事項を学習する。発音練習にも力を入れ、初級段階で獲得すべき運用能力を完成させ、中級への足がかりとする。

また、語学的なもの他にその背景となる中国の文化や現在の社会事情などを紹介し、中国社会全体についての興味・関心を育てる。

到達目標

1. 平易な中国語を聞き、話すことができる。
2. 中国語の基礎的な文法項目を運用することができる。
3. 中国語圏の社会や文化の発展的な事項について理解し、説明できる。

授業計画

- 【第1回】
テーマ：中国語Ⅰの復習
内容・方法：中国語Ⅰで習った内容についての復習をする。
- 【第2回】
テーマ：第13課
内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第3回】
テーマ：第13課
内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第4回】
テーマ：第14課
内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第5回】
テーマ：第14課
内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第6回】
テーマ：第13課と第14課のまとめ
内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。
- 【第7回】
テーマ：第15課
内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第8回】
テーマ：第15課
内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第9回】
テーマ：第16課
内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第10回】
テーマ：第16課
内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第11回】
テーマ：第15課と第16課のまとめ
内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。
- 【第12回】
テーマ：第17課
内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第13回】
テーマ：第17課
内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第14回】
テーマ：第18課
内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第15回】
テーマ：第18課
内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第16回】

テーマ：第17課と第18課のまとめ
 内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。
 【第17回】
 テーマ：第19課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
 【第18回】
 テーマ：第19課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
 【第19回】
 テーマ：第20課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
 【第20回】
 テーマ：第20課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
 【第21回】
 テーマ：第19課と第20課のまとめ
 内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。
 【第22回】
 テーマ：第21課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
 【第23回】
 テーマ：第21課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
 【第24回】
 テーマ：第22課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
 【第25回】
 テーマ：第22課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
 【第26回】
 テーマ：第21課と第22課のまとめ
 内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。
 【第27回】
 テーマ：第23課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
 【第28回】
 テーマ：第23課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
 【第29回】
 テーマ：第24課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
 【第30回】
 テーマ：第24課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。

*授業の進展状況によって、多少調整する可能性がある。

事前事後の学習

授業時間外で、計30時間の事前事後学習が必要です。

事前、事後学習として、下記の内容について毎回、それぞれ1時間以上の学習が必要。

- ・新出語句の暗記
- ・文法要点の予習・復習
- ・録音を繰り返し聞く
- ・練習で気づいた問題などについて再度復習

課題に対するフィードバックの方法

- ・学習相談は授業の前後に対応する。
- ・小テストを採点した後、速やかにフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

1. 評価基準 以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60 点以上を合格とし、所定の単位を認定する。
2. 評価方法 【50%】 授業中の小テスト、課題の完成
 【40%】 期末テスト（リスニングを含む筆記試験）
 【10%】 積極的な授業参加、受講態度

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	授業中の出来栄および課題の完成、小テストの成績を参考にして評価を行う。	1, 2, 3

授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	40	期末総合テスト等の得点を基に計算を行う。	1, 2, 3
その他	0		

テキスト	『大学生のための初級中国語24回(改訂版)』/杉野元子・黄漢青/白帝社/定価 2400円+税/978-4-86398-368-7		
------	--	--	--

参考書	『基礎から発展までよくわかる中国語文法』/丸尾 誠 著		
-----	-----------------------------	--	--

履修条件・他の科目との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・「中国語I」の単位を取得していること。 ・1回でも欠席すると、授業について行けなくなるため、必ず全回出席すること。 ・やむを得ない事情で遅刻や欠席をする場合は、必ず担当教員に連絡すること。 ・正当な理由なく、3分の1以上欠席した場合、または期末試験を欠席した場合は、評価の対象とせず、「K」評価とする。 ・同様に、特段の理由のない遅刻・早退は1/2回分の欠席と数えられるため注意すること。 		
---------------	---	--	--

授業コード	10303804	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	中国語Ⅱ [対面]				
シラバス執筆(全員)	侯 月琴				
シラバス執筆(主)	侯 月琴				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

「中国語Ⅰ」に引き続き、中国語の基本的な文法を学び、平易な中国語を聞き、話すことができるように練習する。

中国語の基礎文法、表現等を復習しながら、新しい文法事項を学習する。発音練習にも力を入れ、初級段階で獲得すべき運用能力を完成させ、中級への足がかりとする。

また、語学的なもの他にその背景となる中国の文化や現在の社会事情などを紹介し、中国社会全体についての興味・関心を育てる。

到達目標

1. 平易な中国語を聞き、話すことができる。
2. 中国語の基礎的な文法項目を運用することができる。
3. 中国語圏の社会や文化の発展的な事項について理解し、説明できる。

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：中国語Ⅰの復習
 内容・方法：中国語Ⅰで習った内容についての復習をする。
- 【第2回】
 テーマ：第13課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第3回】
 テーマ：第13課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第4回】
 テーマ：第14課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第5回】
 テーマ：第14課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第6回】
 テーマ：第13課と第14課のまとめ
 内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。
- 【第7回】
 テーマ：第15課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第8回】
 テーマ：第15課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第9回】
 テーマ：第16課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第10回】
 テーマ：第16課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第11回】
 テーマ：第15課と第16課のまとめ
 内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。
- 【第12回】
 テーマ：第17課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第13回】
 テーマ：第17課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第14回】
 テーマ：第18課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第15回】
 テーマ：第18課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第16回】

テーマ：第17課と第18課のまとめ
 内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。
 【第17回】
 テーマ：第19課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
 【第18回】
 テーマ：第19課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
 【第19回】
 テーマ：第20課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
 【第20回】
 テーマ：第20課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
 【第21回】
 テーマ：第19課と第20課のまとめ
 内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。
 【第22回】
 テーマ：第21課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
 【第23回】
 テーマ：第21課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
 【第24回】
 テーマ：第22課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
 【第25回】
 テーマ：第22課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
 【第26回】
 テーマ：第21課と第22課のまとめ
 内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。
 【第27回】
 テーマ：第23課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
 【第28回】
 テーマ：第23課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
 【第29回】
 テーマ：第24課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
 【第30回】
 テーマ：第24課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。

*授業の進展状況によって、多少調整する可能性がある。

事前事後の学習

授業時間外で、計30時間の事前事後学習が必要です。

事前、事後学習として、下記の内容について毎回、それぞれ1時間以上の学習が必要。

- ・新出語句の暗記
- ・文法要点の予習・復習
- ・録音を繰り返し聞く
- ・練習で気づいた問題などについて再度復習

課題に対するフィードバックの方法

- ・学習相談は授業の前後に対応する。
- ・小テストと期末テストを採点した後、速やかにフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

1. 評価基準 以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。
2. 評価方法 【40%】授業中の小テスト
 【50%】期末テスト（リスニングを含む筆記試験）
 【10%】積極的な授業参加、受講態度

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	授業中の出来栄および小テストの成績を参考にして評価を行う。	1, 2, 3

授業外での評価	0		
定期試験	50	期末総合テストの得点を基に計算を行う。	1, 2, 3
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	0		

テキスト	『大学生のための初級中国語24回(改訂版)』/杉野元子・黄漢青/白帝社/定価 2400円+税/978-4-86398-368-7		
------	--	--	--

参考書	『基礎から発展までよくわかる中国語文法』/丸尾 誠 著		
-----	-----------------------------	--	--

履修条件・他の科目との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・「中国語I」の単位を取得していること。 ・1回でも欠席すると、授業について行けなくなるため、必ず全回出席すること。 ・やむを得ない事情で遅刻や欠席をする場合は、必ず担当教員に連絡すること。 ・正当な理由なく、3分の1以上欠席した場合、または期末試験を欠席した場合は、評価の対象とせず、「K」評価とする。 ・同様に、特段の理由のない遅刻・早退は1/2回分の欠席と数えられるため注意すること。 		
---------------	---	--	--

授業コード	10303805	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	中国語Ⅱ [対面]				
シラバス執筆(全員)	沈 恩明				
シラバス執筆(主)	沈 恩明				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

「中国語Ⅰ」に引き続き、中国語の基本的な文法を学び、平易な中国語を聞き、話すことができるように練習する。

中国語の基礎文法、表現等を復習しながら、新しい文法事項を学習する。発音練習にも力を入れ、初級段階で獲得すべき運用能力を完成させ、中級への足がかりとする。

また、語学的なもの他にその背景となる中国の文化や現在の社会事情などを紹介し、中国社会全体についての興味・関心を育てる。

到達目標

1. 平易な中国語を聞き、話すことができる。
2. 中国語の基礎的な文法項目を運用することができる。
3. 中国語圏の社会や文化の発展的な事項について理解し、説明できる。

授業計画

- 【第1回】
テーマ：中国語Ⅰの復習
内容・方法：中国語Ⅰで習った内容についての復習をする。
- 【第2回】
テーマ：第13課
内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第3回】
テーマ：第13課
内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第4回】
テーマ：第14課
内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第5回】
テーマ：第14課
内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第6回】
テーマ：第13課と第14課のまとめ
内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。
- 【第7回】
テーマ：第15課
内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第8回】
テーマ：第15課
内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第9回】
テーマ：第16課
内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第10回】
テーマ：第16課
内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第11回】
テーマ：第15課と第16課のまとめ
内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。
- 【第12回】
テーマ：第17課
内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第13回】
テーマ：第17課
内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第14回】
テーマ：第18課
内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第15回】
テーマ：第18課
内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第16回】

テーマ：第17課と第18課のまとめ
 内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。
 【第17回】
 テーマ：第19課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
 【第18回】
 テーマ：第19課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
 【第19回】
 テーマ：第20課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
 【第20回】
 テーマ：第20課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
 【第21回】
 テーマ：第19課と第20課のまとめ
 内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。
 【第22回】
 テーマ：第21課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
 【第23回】
 テーマ：第21課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
 【第24回】
 テーマ：第22課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
 【第25回】
 テーマ：第22課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
 【第26回】
 テーマ：第21課と第22課のまとめ
 内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。
 【第27回】
 テーマ：第23課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
 【第28回】
 テーマ：第23課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
 【第29回】
 テーマ：第24課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
 【第30回】
 テーマ：第24課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。

*授業の進展状況によって、多少調整する可能性がある。

事前事後の学習

授業時間外で、計30時間の事前事後学習が必要です。

事前、事後学習として、下記の内容について毎回、それぞれ1時間以上の学習が必要。

- ・新出語句の暗記
- ・文法要点の予習・復習
- ・録音を繰り返し聞く
- ・練習で気づいた問題などについて再度復習

課題に対するフィードバックの方法

- ・学習相談は授業の前後に対応する。
- ・小テストと期末テストを採点した後、速やかにフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

1. 評価基準 以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。
2. 評価方法 【30%】授業中の小テスト
 【50%】期末テスト（リスニングを含む筆記試験）
 【20%】積極的な授業参加、受講態度

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	30	授業参加の積極度、受講態度及び授業中の出来栄を参考にして評価を行う。	1, 2, 3

授業外での評価	20	課題完成状況によって評価する	1, 2, 3
定期試験	50	期末総合テストの得点を基に計算を行う。	1, 2, 3
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	0		

テキスト	『大学生のための初級中国語24回(改訂版)』/杉野元子・黄漢青/白帝社/定価 2400円+税/978-4-86398-368-7		
------	--	--	--

参考書	『基礎から発展までよくわかる中国語文法』/丸尾 誠 著		
-----	-----------------------------	--	--

履修条件・他の科目との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・「中国語I」の単位を取得していること。 ・1回でも欠席すると、授業について行けなくなるため、必ず全回出席すること。 ・やむを得ない事情で遅刻や欠席をする場合は、必ず担当教員に連絡すること。 ・正当な理由なく、3分の1以上欠席した場合、または期末試験を欠席した場合は、評価の対象とせず、「K」評価とする。 ・同様に、特段の理由のない遅刻・早退は1/2回分の欠席と数えられるため注意すること。 		
---------------	---	--	--

授業コード	11100201	授業形態	演習	実務家教員	<input type="radio"/>
授業科目名	ビジネス基礎演習 [対面]				
シラバス執筆(全員)	三次 亜紀子				
シラバス執筆(主)	三次 亜紀子				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

社会で活躍するためには、社会を理解し、さまざまな実務の基本スキル、物事に取り組む姿勢と知識を習得することが必要である。この授業では社会に出る準備として、具体的な仕事の進め方やビジネスコミュニケーションスキルをグループ演習で体験する。また、自分のキャリアや生活を築いていくために必要な社会保険や税金の基礎知識・時代に沿ったビジネス用語などの理解を、個人演習で深める。同時に、社会人の姿勢として「遅刻・欠席をしない、期限を守る」こと、きちんとした文章が書けることが信頼獲得の大前提であることを理解し、課題の期限内提出、文章の見直し習慣をこの授業期間を通じ身につける。現在、官公庁、企業、医療機関などで人材育成を行い、ビジネスマナー・コミュニケーション研修を行っている実務家教員が、その経験をもとに指導する。学生各々が社会人生活を具体的にイメージでき、今後の自分にどのような知識やスキルの強化が必要か把握し、取り組む意識を持てる授業としたい。

到達目標

1. 周囲に信頼を与える仕事の進め方について理解し、説明ができる
2. ビジネスコミュニケーションの基礎を身につけ、実行できる
3. ビジネスマナーの基本を体得し、実行にうつせる
4. ビジネス文書の基本を理解し、メール作成に応用できる
5. 社会保険・業種・業界の知識が説明できる

授業計画

- 第1回 キャリア形成と就業意識
内容・方法：仕事・キャリア形成のための考え方や意識を学ぶ
- 第2回 職場コミュニケーション (1)
内容・方法：人間関係を構築するコミュニケーションの基本スキルを学ぶ
- 第3回 職場コミュニケーション (2)
内容・方法：気持ちの伝わる敬語・相手が受け入れやすい心配り表現を学ぶ
- 第4回 報告・連絡・相談
内容・方法：確実に言うポイントと、相手が理解しやすい話法を学ぶ
- 第5回 会議業務
内容・方法：主催・参加の知識と心構え、会議を円滑に進める進行役のポイントを学ぶ
- 第6回 来客対応と訪問マナー
内容・方法：好印象を与える立ち居振る舞いを学ぶ
- 第7回 電話対応
内容・方法：基本マナーと架電・受電の流れ、場面ごとの具体的フレーズを学ぶ
- 第8回 プレゼンテーション
内容・方法：プレゼンテーションの基本と、相手に伝わるスピーチ技法を学ぶ
- 第9回 仕事の取り組み方 (1)
内容・方法：PDCAサイクルの役立て方・職場のルール・法律を学ぶ
- 第10回 仕事の取り組み方 (2)
内容・方法：社会保険と税金の基礎知識・給与明細の見方を学ぶ
- 第11回 ビジネス文書とメール
内容・方法：個人SNSとの明確な区別、社会人にふさわしい文章とメールの書き方を学ぶ
- 第12回 社内文書・社外文書の知識
内容・方法：書式と文書の種類、ビジネス文書特有の慣用句を学ぶ
- 第13回 業種・業界の知識
内容・方法：就職活動の業界研究に役立つ知識と情報の探し方を学ぶ
- 第14回 会社の仕組みと経営の基本
内容・方法：会社組織、株式会社の特徴、マーケティングの基本的事項を学ぶ
- 第15回 交際業務とコミュニケーションまとめ
内容・方法：社会人として必要な慶弔のマナーを学ぶ

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

- 毎回1時間の事前学習が必要。テキストの該当部分について不明点や質問を準備の上、授業に参加する。
- 毎回2時間ほどの事後学習が必要。内容としては以下の通り。
- ・ 授業での説明と演習を行った後は理解が深まっているため、「テキストの読み返し、考察」により内容の定着を図ること
- ・ 興味を持った内容について書籍・インターネットなどで調べたり実践するなどして知見を広め、社会に出るための準備を進めること
- ・ 計4回の課題を作成すること

●さらに計4回の授業内小テスト対策として、15時間ほどの学習を要する。

課題に対するフィードバックの方法

- 各回の振り返りシートや4回の提出課題は、次回授業でフィードバックする。
- 小テストは採点后、返却し解説をする。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により総合的に判定の上、60点以上を合格とし所定の単位を認定する。
なお、演習を中心に授業を進めるため遅刻を禁じ、欠席時は事前連絡を必須とする。また正当な理由なく欠席回数が5回を超えた場合は「K」評価とする。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	70	①グループ/ペアワーク、その他演習への積極的な取り組み姿勢と貢献度、授業で学んだ事柄(マナー面)の積極的な実践(20) ②毎回の振り返りシート(完成度と期限内提出の状況を評価)(10) ③小テスト(40)	1, 2, 3, 4, 5
授業外での評価	20	授業に関連した計4回の課題(完成度と期限内提出状況を評価)	2, 3, 4, 5
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10	授業全体の理解を問うレポート	1, 2, 3, 4, 5
その他	0		

テキスト

『よくわかる社会人の基礎知識 ～マナー・文書・仕事のキホン～』
著者名:岡野絹枝 出版社:ぎょうせい 定価:2,420円(税込み)
発行日 2019年04月25日 ISBN 978-4-324-10599-3

参考書

必要に応じて授業内で紹介する。

履修条件・他の科目との関連

- 毎回の授業で演習を実施するため、積極的に取り組むことを必須条件とする。
- 科目の趣旨を理解し、授業で学んだ事柄は確実に実践にうつすことが求められる。

授業コード	11100304	授業形態	講義	実務家教員	<input type="radio"/>
授業科目名	経営学入門 [対面]				
シラバス執筆(全員)	佐々木 一雄				
シラバス執筆(主)	佐々木 一雄				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

経営学は、企業や会社を研究対象とし「良いことを上手に実現するための方法」を学ぶ学問である。経営学の基礎を網羅的に学習することにより企業経営について理解を深めるだけでなく、これからより良き人生を歩んでいくために必要な方法論や知見を身につけることができる。

この授業では、初年次教育として経営学の基本的な要素と企業活動の特徴や諸課題について学修する。具体的には、企業のしくみや経営資源、それらを最適配分しながら製品・サービスを顧客に提供し、利益を得て発展していく経営活動の全体像について解説する。また、コーポレート・ガバナンス（企業統治）の仕組みや企業の社会的責任の基本となる考え方について説明する。日頃から「企業」や「経営」に関心を持って新聞や雑誌の記事を読み、授業テーマについての知識を蓄えることを推奨する。なお、適宜、課題を与えるので、学生の皆さんには、積極的に取り組むことを期待する。

担当教員が長年にわたり、企業において「経理および経営管理」業務に従事してきた経験をもとに、実務家教員として、「経営」に関する理論と実践への応用を関連付けながら講義を展開する。

到達目標

1. 企業経営の仕組みと経営管理に関する基礎的な概念について説明することができる。
2. 企業経営の基礎知識および遂行のための諸課題について説明することができる。
3. 経営学の基礎知識をもとに、企業経営の実態を把握し、課題を考察することができる。
4. ビジネスを理解するうえで、論理的、複眼的に判断する素養を身につけている。

授業計画

※授業計画については変更する可能性もある。

【第1回】イントロダクション

内容：授業概要、経営学が扱うテーマ、経営学を学ぶ意義、授業の進め方や評価方法などについて説明する。

【第2回】企業経営の全体像

内容：製品・サービス市場、経営資源、金融・資本市場、労働市場、組織のマネジメントについて解説する。

【第3回】企業と会社の制度的な特徴

内容：企業の種類、会社の種類、株式会社の機能、所有と経営の分離について解説する。

【第4回】コーポレート・ガバナンスと企業の社会的責任

内容：企業統治の目的としくみ、企業の社会的責任、SDGsについて解説する。

【第5回】経営理念と経営戦略

内容：経営理念とビジョン、経営理念と経営戦略との関連、経営戦略の3つの階層について解説する。

【第6回】企業戦略

内容：アンゾフの成長ベクトル、多角化、事業の定義、ライフ・サイクルとポートフォリオ・プランニングについて解説する。

【第7回】競争戦略

内容：経験曲線、ポーターの5フォース、競争戦略の種類、経営戦略の概念について解説する。

【第8回】マーケティング

内容：セグメンテーションとターゲティング、マーケティング・ミックス(4P)について解説する。

【第9回】ビジネスモデル

内容：ビジネスモデルの「4つの箱」、ビジネスモデル・キャンパス、事業による利益発生メカニズムについて解説する。

【第10回】組織構造

内容：組織の目的、組織形態の基本モデルについて解説する。

【第11回】組織文化

内容：組織文化の概念、組織文化の機能と逆機能、組織文化の変革について解説する。

【第12回】リーダーシップ

内容：リーダーシップの基本概念とリーダーシップに関する諸理論について解説する。

【第13回】モチベーション

内容：モチベーションに関する諸理論、リーダーシップとモチベーションとの関係について解説する。

【第14回】企業経営実践事例

内容：これまで学んだ内容をベースに、企業経営の実践事例を紹介する。

【第15回】まとめ

内容：第14回までの重要な論点について解説し、定期試験の実施要領について説明する。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

事前学習課題：シラバスを熟読し、授業構成を理解する。

事後学習課題：講義内容を参照しながら自分のノートを作成し、まとめる。
 【第2回】 から 【第14回】
 事前学習課題：テキストの該当部分を読んで、疑問点を整理しておく。
 事後学習課題：講義内容を参照しながら自分のノートを作成し、まとめる。
 【第15回】
 事前学習課題：これまで学んだことをしっかりと復習し、質問したいことを列挙する。
 事後学習課題：講義内容を振り返り、定期試験に備える。

課題に対するフィードバックの方法

課題レポートについては、Google classroomを通じて、限定コメントをつけてフィードバックする。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	小テスト(60)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	10	レポート(10)	1, 2, 3, 4
定期試験	30	筆記試験(30)	1, 2, 3, 4
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	0		

テキスト	藤田誠(2015)『経営学入門(第1版)』中央経済社 2,400円(税別) ISBN978-4-502-13391-6
参考書	必要に応じて、適宜紹介する。
履修条件・他の科目との関連	Google classroomにプリントを掲載するが、必ずテキストを購入して、予習・復習を行うこと。

授業コード	11100602	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	マーケティング入門 [対面]				
シラバス執筆(全員)	山下 純				
シラバス執筆(主)	山下 純				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

マーケティングの概念やフレームワークは、ビジネスの世界では洋の東西を問わず世界共通言語である。実際に、マーケティングの概念やフレームワークはビジネスの現場で幅広く用いられていて、さまざまな企業活動を推し進めていく上で非常に大きな役割を果たしている。ピーター・ドラッカーが述べた「販売とマーケティングは逆である。マーケティングの理想は、販売を不要にすることである。マーケティングが目指すものは、顧客を理解し、製品とサービスを顧客に合わせ、おのずから売れるようにすることである」という言葉がマーケティングの本質を表している。本講義では、入門としてマーケティングの基礎的な内容を学び、発展応用へつなげることを目指す。

本講義の目的は、下記2点とする。

- 1) マーケティングが企業の活動において果たす役割の重要性を理解すること
 - 2) マーケティングの発展過程を踏まえつつ、マーケティングに関する基本的な知識を幅広く習得すること
- 本講義では、企業経営におけるマーケティングの重要性、及び立案、実行までのプロセスを学ぶ。担当教員が長年にわたりビジネスに従事して培ってきた社会経験および現地の実際に即した豊富な知見やスキルをもとに、マーケティングに関する理論と実践への応用を関連づけながら講義を展開する。

到達目標

- 1 企業の活動においてなぜマーケティングが重要なのかについて説明できる
- 2 マーケティングの基本的な概念、フレームワークについて説明できる
- 3 企業のマーケティング戦略について授業で習得したフレームワークを用いながら説明できる

授業計画

各回のテーマ案は、状況によっては変更する可能性がある。

【第1回】

テーマ：オリエンテーション

内容・方法：シラバスの説明（講義の構成、進め方、評価方法、参考書など）

【第2回】

テーマ：マーケティングとは何か

内容・方法：マーケティングの目的、定義、コンセプト、販売とのちがい、基本的用語等について学ぶ

【第3回】

テーマ：マーケティングの手順

内容・方法：マーケティングの手順について学ぶ

【第4回】

テーマ：マーケティングのための情報収集・環境分析

内容・方法：マーケティングのための情報収集・環境分析の意義、フレームワークについて学ぶ

【第5回】

テーマ：3C分析

内容・方法：3C分析について学ぶ

【第6回】

テーマ：ファイブフォース分析

内容・方法：ファイブフォース分析について学ぶ

【第7回】

テーマ：SWOT分析とクロスSWOT分析

内容・方法：SWOT分析とクロスSWOT分析について学ぶ

【第8回】

テーマ：プロダクト・ライフサイクル (PLC)

内容・方法：プロダクト・ライフサイクル (PLC) について学ぶ

【第9回】

テーマ：プロダクト・ポートフォリオ・マネジメント (PPM)

内容・方法：プロダクト・ポートフォリオ・マネジメント (PPM) について学ぶ

【第10回】

テーマ：STP (1) (Segmentation, Targeting)

内容・方法：STPにおけるSegmentation, Targetingについて学ぶ

【第11回】

テーマ：STP (2) (Positioning)

内容・方法：STPにおけるPositioningについて学ぶ

【第12回】

テーマ：マーケティングミックスの4P

内容・方法：マーケティングミックスの4Pについて学ぶ

【第13回】

テーマ：マーケティングミックスの4Cとサービスマーケティングの7P

内容・方法：マーケティングミックスの4Cとサービスマーケティングの7Pについて学ぶ

【第14回】

テーマ：企業向け市場（B2B）のマーケティング
 内容・方法：B2CとB2Bのマーケティング比較等について学ぶ
 【第15回】
 テーマ：振り返りとまとめ
 内容・方法：振り返りとまとめを行なう

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

- 【第1回】
- ① 事前学修課題：シラバスを読み、学修する内容について理解する
 - ② 事後学修課題：授業の復習を行なう
- 【第2回】
- ① 事前学修課題：マーケティングとは何かについて調べる
 - ② 事後学修課題：授業で学んだ内容を復習する
- 【第3回】
- ① 事前学修課題：マーケティングの手順について調べる
 - ② 事後学修課題：マーケティングの手順について学んだ内容を復習する
- 【第4回】
- ① 事前学修課題：マーケティングのための情報収集・環境分析について調べる
 - ② 事後学修課題：マーケティングのための情報収集・環境分析の意義等について学んだ内容を復習する
- 【第5回】
- ① 事前学修課題：3C分析について調べる
 - ② 事後学修課題：3C分析について学んだ内容を復習する
- 【第6回】
- ① 事前学修課題：ファイブフォース分析について調べる
 - ② 事後学修課題：ファイブフォース分析について学んだ内容を復習する
- 【第7回】
- ① 事前学修課題：SWOT分析とクロスSWOT分析について調べる
 - ② 事後学修課題：SWOT分析とクロスSWOT分析について学んだ内容を復習する
- 【第8回】
- ① 事前学修課題：プロダクト・ライフサイクル（PLC）分析について調べる
 - ② 事後学修課題：プロダクト・ライフサイクル（PLC）について学んだ内容を復習する
- 【第9回】
- ① 事前学修課題：プロダクト・ポートフォリオ・マネジメント（PPM）について調べる
 - ② 事後学修課題：プロダクト・ポートフォリオ・マネジメント（PPM）について学んだ内容を復習する
- 【第10回】
- ① 事前学修課題：STPにおけるSegmentation、Targetingについて調べる
 - ② 事後学修課題：STPにおけるSegmentation、Targetingについて学んだ内容を復習する
- 【第11回】
- ① 事前学修課題：STPにおけるPositioningについて調べる
 - ② 事後学修課題：STPにおけるPositioningについて学んだ内容を復習する
- 【第12回】
- ① 事前学修課題：マーケティングミックスの4P とサービスマーケティングの7Pについて調べる
 - ② 事後学修課題：マーケティングミックスの4P とサービスマーケティングの7Pについて学んだ内容を復習する
- 【第13回】
- ① 事前学修課題：マーケティングミックスの4C について調べる
 - ② 事後学修課題：マーケティングミックスの4C について学んだ内容を復習する
- 【第14回】
- ① 事前学修課題：企業向け市場（B2B）のマーケティング等について調べる
 - ② 事後学修課題：B2CとB2Bのマーケティング比較等について学んだ内容を復習する
- 【第15回】
- ① 事前学修課題：授業全体で学んだことを復習し、理解の抜けもれを確認する
 - ② 事後学修課題：授業全体で学んだ内容を振り返り定期試験に備える

課題に対するフィードバックの方法

レポートにはコメントをつけて返却する。
 授業での発言については適宜コメントをする。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

授業内のミニテスト（30）
 期中のレポート課題（30）
 定期試験（40）

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	30	授業内で課されるミニテスト(6回×5点)	1、2、3
授業外での評価	30	期中のレポート課題	1、2、3

定期試験	40	全体授業終了後の試験	1、2、3
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	0		
テキスト	特になし		
参考書	授業の中で適宜紹介する		
履修条件・他の科目との関連	出席を重視する		

授業コード	11100701	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	法学入門 [対面]				
シラバス執筆(全員)	三輪 淳之				
シラバス執筆(主)	三輪 淳之				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

「法律」は、我々が社会の中で守らなければならないルールである。
「法学」は、そのようなルールを学ぶもので、その知識と法的なものの考え方を身に付けておくことで、これからの人生でトラブルが起こった場合でも冷静に対処できる。
本授業では、皆さんの多くが経験していくであろう場面や身近なテーマについて、担当教員が長年に亘り、企業において「国際法務」業務に従事してきた経験をもとに、実務家教員として、実際に経験した実例を取り入れながら概説し、「役に立つ法学」とすることを目標とし、「役に立つことを学んで得をした」、と感じることがができる実践的な学びの場とすることを狙いとする。
新聞やインターネット上の新聞記事に普段から目を通して、日常生活の中での法律・ルールに関連するトピックについて意識をしてピックアップするとともに、何がとりあげられてどのような焦点が当てられているのかについて理解と関心を高めておくこと。

到達目標

1. 法律やルールの存在意義・基本的な枠組みについて記述することができる
2. 法律を日常生活の武器として活用し、自分を守るための法的思考力を身につけることにより、社会的・政治的問題について主体的に考え、説明することができる。

授業計画

- 第1回：ガイダンス - 法学への招待
「法律とは何なのか、法律の種類にはどのようなものがあるのか、私たちの生活に法律はどのような影響を及ぼしているのかについて学ぶ。」
- 第2回：民法（契約法） - 契約は守るべき？
「契約はどのようにすれば成立するのか、契約はなぜ守らなければならないのか、契約から解放されたいときはどのような手段があるのかについて学ぶ。」
- 第3回：民法（消費者法） - 身近な生活の中で
「消費者法とはどのような法律を指しているのかや民法の一般的なルールとは異なり消費者が特に手厚く保護されている理由を学ぶ。」
- 第4回：民法（不法行為） - もしケガをさせてしまったら？
「どのような行為をすれば損害賠償を請求することができるのか、また損害賠償はどのような形で請求することができるのかを学ぶ。」
- 第5回：民法（家族法）
「家族法とは何を指すのか、結婚が認められるのはどのような時か、また子の保護をどのように行っているのかについて学ぶ。」
- 第6回：刑法（犯罪と刑罰） - 民法と刑法はどう違う？
「民法と刑法の違い、刑罰の種類、罪が認められる条件にはどのようなものがあるのかについて学ぶ。」
- 第7回：刑法（性犯罪関係） - トラブルに巻き込まれたら
「性犯罪を題材に、刑法典に規定されている罪だけではなく、その周辺の特例法の罪についても学ぶ。」
- 第8回：憲法（統治） - 選挙、大切な一票
「憲法とはどのような法律なのか、主権者である国民はどのように政治に参加するのか、国会・内閣・裁判所はどのような仕事をしているのかについて学ぶ。」
- 第9回：憲法（人権） - 憲法で人権を保障するということ
「憲法上の人権は誰に対して保障されるのか、人権の種類、人権の制約が許されるのはどのような時であるのかについて学ぶ。」
- 第10回：会社法 - 企業は社会でどう活動するの？
「株式会社が資金を調達する方法や株式会社を適切に運営するための組織の仕組みについて学ぶ。」
- 第11回：労働法 - 職業選択の自由、アルバイトも正社員も労働者
「株式会社が資金を調達する方法や株式会社を適切に運営するための組織の仕組みについて学ぶ。」
- 第12回：国際連合と国際法 - SDGsと日本
「条約と国際慣習法や、国内法と国際法の関係、SDGsについて学ぶ。」
- 第13回：国際法と人権 - グローバル化と法
「人権は国際的にどのように保障されているのか、外国人労働者は法的にどのように保護されるのかについて学ぶ。」
- 第14回：法律学習リテラシー - より本格的に学びたい人のために
「インターネット時代の法律のあり方や新たに出現した人権などを中心に時代に即した法律について学ぶ。」
- 第15回：振り返り・まとめ
「14回目まで学んできた法律を総ざらいし、あらためて私たちの生活と法律の関係について学ぶ。」

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

各回、事前学修は2時間、事後学修は2時間を目安とする。

- ・事前学習；
テキストの該当箇所を読んで、疑問点を整理しておくこと。
- ・事後学習；
毎授業の理解を深めるために、ノートを整理して授業資料を読み返すこと。

課題に対するフィードバックの方法

各理解度テストについては、次回の授業において解答や解説、講評等をおこなう。
詳細は初回授業の際に説明する。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
 - 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。
- 具体的には、以下に示すとおり、授業期間内に実施される理解度テスト、定期試験等を総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。
正当な理由なく理解度テストを4回以上未提出の場合、又は定期試験を受験・提出しなかったか のいずれかの場合、評価の対象とせず、「K」評価とする。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	40	毎授業後の理解度テスト(40)	1, 2
授業外での評価	0		
定期試験	60	全授業終了後に実施する試験(60)	1, 2
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	0		

テキスト	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「プレステップ 法学 第6版」池田 真朗(弘文堂) ¥2100(税別) ISBN 978-4-335-00160-4 2. 上記1. に加えて、必要に応じて授業で資料を配布する。
------	---

参考書	ポケット六法などの六法があれば望ましい
-----	---------------------

履修条件・他の科目との関連	<p>法律についての知識がない学生を歓迎します。 新聞やインターネット上の新聞記事に普段から目を通して、日常生活の中での法律・ルールに関連するトピックについて意識をしてピックアップするとともに、何がとりあげられてどのような焦点が当てられているのかについて理解と関心を高めておくこと。 欠席学生への配布資料等の対応：Google Classroomに配布資料はアップロードします。</p>
---------------	---

授業コード	11100801	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	情報学入門 [対面]				
シラバス執筆(全員)	下條 善史				
シラバス執筆(主)	下條 善史				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

情報学は、現在においても、唯一の明快な定義は無く、主に自然界や人工物の分野における情報に関する学問の領域であるとされている。それだけ「情報」というのは多義性があり、世の中すべてを対象とするとってもよいほどあいまいなものである。本講義では、社会のすべてについて情報との関わりを探究することを目標とするが、特に人間と人間、人間と社会、および人間と機械のインターフェイスとしての情報の役割や今後の発展について考察する。

到達目標

1. 情報学の基礎概念を理解し、情報関連のニュースを読めるようになること。
2. 情報技術の進歩の歴史について知り、現代社会を動かしている情報技術の成り立ちを理解すること。
3. 情報技術の進歩についての概要を知り、今後の社会の変化について議論できるようになること。

授業計画

【第1回】

テーマ：オリエンテーション

内容・方法：科目の概要、目的、達成目標やスケジュールなどについて説明する。

【第2回】

テーマ：情報とはなにか

内容・方法：情報とは何か。身の回りの情報とコンピュータにおける内部表現について。

【第3回】

テーマ：ハードウェアとソフトウェア

内容・方法：コンピューターのハードウェアとソフトウェアについて分類し、解説する。

【第4回】

テーマ：プログラムとアルゴリズム

内容・方法：ソフトウェアを2つに分けたうちのひとつ、プログラムについて。

【第5回】

テーマ：データベース

内容・方法：ソフトウェアを2つに分けたうちのもうひとつ、データについて。

【第6回】

テーマ：ネットワークのしくみ

内容・方法：ネットワークの分類、プロトコル、サービス、伝送速度について。

【第7回】

テーマ：ネットワークの利用

内容・方法：ネットワークのハードウェアと、メールやWEBなどネットワークアプリケーションについて。

【第8回】

テーマ：ネットワークのセキュリティ

内容・方法：セキュリティとリスク、暗号技術など。

【第9回】

テーマ：コンピューターシステムの進化

内容・方法：コンピューターの歴史を振り返り、この先を予想する。

【第10回】

テーマ：メディアとしてのコンピューター

内容・方法：コンピューターとインターネットがもたらした新しいメディアについて。

【第11回】

テーマ：ネットワークと著作権

内容・方法：コンピューターネットワークが変えた、法律と社会。

【第12回】

テーマ：ヒューマンインタフェース

内容・方法：高度に専門的な機械が廉価になり大衆化していった経緯。

【第13回】

テーマ：ロボットと人工知能

内容・方法：ロボットなどの事例を通して機器を人工知能技術で制御することについて。

【第14回】

テーマ：社会を変える情報ネットワーク

内容・方法：情報ネットワークがもたらす、高度に情報化された社会。

【第15回】

テーマ：まとめと最終レポート

内容・方法：この授業全体を通して総括するとともに、理解度の確認を行い、最終レポートを課す。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

事前学修：事前に配布された資料について内容を確認し、疑問点等をまとめておく。
事後学修：授業中に出された課題についてまとめ、提出する。

課題に対するフィードバックの方法

授業中に出した課題について解説を行い、理解度の確認を行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

本授業では、授業内で適宜質問を投げかけ、その解答をフォームへ入力することで、授業の理解度と積極的な参加の度合いを測る方法とする。また、期末には全授業にまたがった簡単なレポートを課し、この解答によって授業の達成度を測る。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	毎回の授業の理解度と授業への参加の積極度を見る問題を課す。	1, 2
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	40	最終レポート課題	1, 3
その他	0		

テキスト 資料としてPPTXファイルをGoogle Classroomにて配布する。

参考書 必要な都度にプリントを配布したり、書籍などを紹介する。

履修条件・他の科目との関連 5回以上の欠席者は不合格とする。

授業コード	10400121	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナー I a (課題解決) [対面]				
シラバス執筆(全員)	木村 真人、下條 善史				
シラバス執筆(主)	木村 真人				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

〈セミナー I a の目的と概要〉

本授業は、本学園の建学の精神である「全人教育」の理解から始まる、大阪国際大学における4年間の学修スタイルの確立を目指した演習授業である。

大学での学びは、自らの意思で計画し、考え、行動するという能動的・積極的な姿勢が求められる。本授業では大学及び学部・学科が目指す人材像やそのために設定された教育課程、成績評価の方法、進級・卒業要件などの教育制度の説明を行った後、演習を進めるうえで必要な個人及びグループでの学習方法、情報収集の技法やレポートの作成法等についての解説を行う。

また、それらの学習スキルをベースに、自分が生活している社会に対する理解を深めるとともに、大学での学びが社会とどのように繋がっているのかを学ぶ。テキストや本学オリジナルテーマよりいくつかの課題を取り上げ、個人の学習スキルとグループでの学習スキルを用いた課題解決の過程において、「聴く」「纏める」「伝える」力を高めていく。

到達目標

1. 大学の教育方針を理解し、主体的な学びを実践できる。
2. 個人及びグループでの学習スキルを身につけ、課題に取り組むことができる。
3. 他者とのコミュニケーション及びグループ活動の意義を理解し、その活動に参加できる。
4. 課題に対して論理的に思考し、ICTを活用して解決を図ることができる。
5. 大学初年次学生として自らの学びを計画し、学修に取り組むことができる。

授業計画

第01回	オリエンテーション1	自校教育「建学の精神」、LMSの設定確認、履修について
第02回	オリエンテーション2	大学における学びについて、学修目標の設定、学科別ワークの説明
第03回	セミナー I a 共通プログラム1	社会人基礎力の測定
第04回	学科別ワーク1a	ライブラリーツアー、学内ツアー、クラス企画、面談、等
第05回	学科別ワーク1b	ライブラリーツアー、学内ツアー、クラス企画、面談、等
第06回	学科別ワーク2	グループ学習の準備、クラス企画、面談、等
第07回	グループ学習1	相互理解のワーク、基礎力自己評価1回目
第08回	セミナー I a 共通プログラム2	社会人基礎力の解説、履修取消制度の説明
第09回	学科別ワーク3	学科別ワーク企画
第10回	グループ学習2	議論(意見交換)のワーク
第11回	グループ学習3	企画立案のワーク
第12回	グループ学習4	プレゼンテーションのワーク
第13回	セミナー I a 共通プログラム3a	企画の推進、人権啓発研修の実施、調査への回答、等
第14回	セミナー I a 共通プログラム3b	企画の推進、人権啓発研修の実施、調査への回答、等
第15回	前期振り返り	まとめ、学修目標の到達状況の確認

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

各回の復習や準備のため毎回3時間ほどの学習が求められる。
またグループ学習やグループワークの発表資料作成のため計15時間ほどを要する。

課題に対するフィードバックの方法

個別面談及びGoogle Classroomなどで課題に関するフィードバックをおこなう。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示すとおり、授業内に実施される課題と、定期試験に代わるレポートの評価結果に基づき総合的に判定のうち60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	90	課題への取組・活動への参加	1, 2, 3, 4
授業外での評価	0		

定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10	授業内での課題の取り組み・今後の学修計画の策定	2, 3, 4, 5
その他	0		

テキスト	タクナル
------	------

参考書	各担当教員より参考書に関する指示が示される。
-----	------------------------

履修条件・他の科目との関連	本科目は1年次前期開講の「教養演習」、「デジタルリテラシー」と関連している。
---------------	--

授業コード	10400122	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナー I a (課題解決) [対面]				
シラバス執筆(全員)	岩崎 真哉、杉寄 聡紀				
シラバス執筆(主)	岩崎 真哉				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

〈セミナー I a の目的と概要〉

本授業は、本学園の建学の精神である「全人教育」の理解から始まる、大阪国際大学における4年間の学修スタイルの確立を目指した演習授業である。

大学での学びは、自らの意思で計画し、考え、行動するという能動的・積極的な姿勢が求められる。本授業では大学及び学部・学科が目指す人材像やそのために設定された教育課程、成績評価の方法、進級・卒業要件などの教育制度の説明を行った後、演習を進めるうえで必要な個人及びグループでの学習方法、情報収集の技法やレポートの作成法等についての解説を行う。

また、それらの学習スキルをベースに、自分が生活している社会に対する理解を深めるとともに、大学での学びが社会とどのように繋がっているのかを学ぶ。テキストや本学オリジナルテーマよりいくつかの課題を取り上げ、個人の学習スキルとグループでの学習スキルを用いた課題解決の過程において、「聴く」「纏める」「伝える」力を高めていく。

到達目標

1. 大学の教育方針を理解し、主体的な学びを実践できる。
2. 個人及びグループでの学習スキルを身につけ、課題に取り組むことができる。
3. 他者とのコミュニケーション及びグループ活動の意義を理解し、その活動に参加できる。
4. 課題に対して論理的に思考し、ICTを活用して解決を図ることができる。
5. 大学初年次学生として自らの学びを計画し、学修に取り組むことができる。

授業計画

第01回	オリエンテーション1	自校教育「建学の精神」、LMSの設定確認、履修について
第02回	オリエンテーション2	大学における学びについて、学修目標の設定、学科別ワークの説明
第03回	セミナー I a 共通プログラム1	社会人基礎力の測定
第04回	学科別ワーク1a	ライブラリーツアー、学内ツアー、クラス企画、面談、等
第05回	学科別ワーク1b	ライブラリーツアー、学内ツアー、クラス企画、面談、等
第06回	学科別ワーク2	グループ学習の準備、クラス企画、面談、等
第07回	グループ学習1	相互理解のワーク、基礎力自己評価1回目
第08回	セミナー I a 共通プログラム2	社会人基礎力の解説、履修取消制度の説明
第09回	学科別ワーク3	学科別ワーク企画
第10回	グループ学習2	議論(意見交換)のワーク
第11回	グループ学習3	企画立案のワーク
第12回	グループ学習4	プレゼンテーションのワーク
第13回	セミナー I a 共通プログラム3a	企画の推進、人権啓発研修の実施、調査への回答、等
第14回	セミナー I a 共通プログラム3b	企画の推進、人権啓発研修の実施、調査への回答、等
第15回	前期振り返り	まとめ、学修目標の到達状況の確認

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

各回の復習や準備のため毎回3時間ほどの学習が求められる。
またグループ学習やグループワークの発表資料作成のため計15時間ほどを要する。

課題に対するフィードバックの方法

個別面談及びGoogle Classroomなどで課題に関するフィードバックをおこなう。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示すとおり、授業内に実施される課題と、定期試験に代わるレポートの評価結果に基づき総合的に判定のうち60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	90	課題への取組・活動への参加	1, 2, 3, 4
授業外での評価	0		

定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10	授業内での課題の取り組み・今後の学修計画の策定	2, 3, 4, 5
その他	0		

テキスト	タクナル
------	------

参考書	各担当教員より参考書に関する指示が示される。
-----	------------------------

履修条件・他の科目との関連	本科目は1年次前期開講の「教養演習」、「デジタルリテラシー」と関連している。
---------------	--

授業コード	10400123	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナー I a (課題解決) [対面]				
シラバス執筆(全員)	香川 愁吾、小瀬木 えりの				
シラバス執筆(主)	香川 愁吾				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

〈セミナー I a の目的と概要〉

本授業は、本学園の建学の精神である「全人教育」の理解から始まる、大阪国際大学における4年間の学修スタイルの確立を目指した演習授業である。

大学での学びは、自らの意思で計画し、考え、行動するという能動的・積極的な姿勢が求められる。本授業では大学及び学部・学科が目指す人材像やそのために設定された教育課程、成績評価の方法、進級・卒業要件などの教育制度の説明を行った後、演習を進めるうえで必要な個人及びグループでの学習方法、情報収集の技法やレポートの作成法等についての解説を行う。

また、それらの学習スキルをベースに、自分が生活している社会に対する理解を深めるとともに、大学での学びが社会とどのように繋がっているのかを学ぶ。テキストや本学オリジナルテーマよりいくつかの課題を取り上げ、個人の学習スキルとグループでの学習スキルを用いた課題解決の過程において、「聴く」「纏める」「伝える」力を高めていく。

到達目標

1. 大学の教育方針を理解し、主体的な学びを実践できる。
2. 個人及びグループでの学習スキルを身につけ、課題に取り組むことができる。
3. 他者とのコミュニケーション及びグループ活動の意義を理解し、その活動に参加できる。
4. 課題に対して論理的に思考し、ICTを活用して解決を図ることができる。
5. 大学初年次学生として自らの学びを計画し、学修に取り組むことができる。

授業計画

第01回	オリエンテーション1	自校教育「建学の精神」、LMSの設定確認、履修について
第02回	オリエンテーション2	大学における学びについて、学修目標の設定、学科別ワークの説明
第03回	セミナー I a 共通プログラム1	社会人基礎力の測定
第04回	学科別ワーク1a	ライブラリーツアー、学内ツアー、クラス企画、面談、等
第05回	学科別ワーク1b	ライブラリーツアー、学内ツアー、クラス企画、面談、等
第06回	学科別ワーク2	グループ学習の準備、クラス企画、面談、等
第07回	グループ学習1	相互理解のワーク、基礎力自己評価1回目
第08回	セミナー I a 共通プログラム2	社会人基礎力の解説、履修取消制度の説明
第09回	学科別ワーク3	学科別ワーク企画
第10回	グループ学習2	議論(意見交換)のワーク
第11回	グループ学習3	企画立案のワーク
第12回	グループ学習4	プレゼンテーションのワーク
第13回	セミナー I a 共通プログラム3a	企画の推進、人権啓発研修の実施、調査への回答、等
第14回	セミナー I a 共通プログラム3b	企画の推進、人権啓発研修の実施、調査への回答、等
第15回	前期振り返り	まとめ、学修目標の到達状況の確認

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

各回の復習や準備のため毎回3時間ほどの学習が求められる。
またグループ学習やグループワークの発表資料作成のため計15時間ほどを要する。

課題に対するフィードバックの方法

個別面談及びGoogle Classroomなどで課題に関するフィードバックをおこなう。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示すとおり、授業内に実施される課題と、定期試験に代わるレポートの評価結果に基づき総合的に判定のうち60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	90	課題への取組・活動への参加	1, 2, 3, 4
授業外での評価	0		

定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10	授業内での課題の取り組み・今後の学修計画の策定	2, 3, 4, 5
その他	0		

テキスト	タクナル
------	------

参考書	各担当教員より参考書に関する指示が示される。
-----	------------------------

履修条件・他の科目との関連	本科目は1年次前期開講の「教養演習」、「デジタルリテラシー」と関連している。
---------------	--

授業コード	10400124	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナー I a (課題解決) [対面]				
シラバス執筆(全員)	森上 幸夫、山下 純				
シラバス執筆(主)	森上 幸夫				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

〈セミナー I a の目的と概要〉

本授業は、本学園の建学の精神である「全人教育」の理解から始まる、大阪国際大学における4年間の学修スタイルの確立を目指した演習授業である。

大学での学びは、自らの意思で計画し、考え、行動するという能動的・積極的な姿勢が求められる。本授業では大学及び学部・学科が目指す人材像やそのために設定された教育課程、成績評価の方法、進級・卒業要件などの教育制度の説明を行った後、演習を進めるうえで必要な個人及びグループでの学習方法、情報収集の技法やレポートの作成法等についての解説を行う。

また、それらの学習スキルをベースに、自分が生活している社会に対する理解を深めるとともに、大学での学びが社会とどのように繋がっているのかを学ぶ。テキストや本学オリジナルテーマよりいくつかの課題を取り上げ、個人の学習スキルとグループでの学習スキルを用いた課題解決の過程において、「聴く」「纏める」「伝える」力を高めていく。

到達目標

1. 大学の教育方針を理解し、主体的な学びを実践できる。
2. 個人及びグループでの学習スキルを身につけ、課題に取り組むことができる。
3. 他者とのコミュニケーション及びグループ活動の意義を理解し、その活動に参加できる。
4. 課題に対して論理的に思考し、ICTを活用して解決を図ることができる。
5. 大学初年次学生として自らの学びを計画し、学修に取り組むことができる。

授業計画

第01回	オリエンテーション1	自校教育「建学の精神」、LMSの設定確認、履修について
第02回	オリエンテーション2	大学における学びについて、学修目標の設定、学科別ワークの説明
第03回	セミナー I a 共通プログラム1	社会人基礎力の測定
第04回	学科別ワーク1a	ライブラリーツアー、学内ツアー、クラス企画、面談、等
第05回	学科別ワーク1b	ライブラリーツアー、学内ツアー、クラス企画、面談、等
第06回	学科別ワーク2	グループ学習の準備、クラス企画、面談、等
第07回	グループ学習1	相互理解のワーク、基礎力自己評価1回目
第08回	セミナー I a 共通プログラム2	社会人基礎力の解説、履修取消制度の説明
第09回	学科別ワーク3	学科別ワーク企画
第10回	グループ学習2	議論(意見交換)のワーク
第11回	グループ学習3	企画立案のワーク
第12回	グループ学習4	プレゼンテーションのワーク
第13回	セミナー I a 共通プログラム3a	企画の推進、人権啓発研修の実施、調査への回答、等
第14回	セミナー I a 共通プログラム3b	企画の推進、人権啓発研修の実施、調査への回答、等
第15回	前期振り返り	まとめ、学修目標の到達状況の確認

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

各回の復習や準備のため毎回3時間ほどの学習が求められる。
またグループ学習やグループワークの発表資料作成のため計15時間ほどを要する。

課題に対するフィードバックの方法

個別面談及びGoogle Classroomなどで課題に関するフィードバックをおこなう。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示すとおり、授業内に実施される課題と、定期試験に代わるレポートの評価結果に基づき総合的に判定のうち60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	90	課題への取組・活動への参加	1, 2, 3, 4
授業外での評価	0		

定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10	授業内での課題の取り組み・今後の学修計画の策定	2, 3, 4, 5
その他	0		

テキスト	タクナル		
------	------	--	--

参考書	各担当教員より参考書に関する指示が示される。		
-----	------------------------	--	--

履修条件・他の科目との関連	本科目は1年次前期開講の「教養演習」、「デジタルリテラシー」と関連している。		
---------------	--	--	--

授業コード	10400125	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナー I a (課題解決) [対面]				
シラバス執筆(全員)	山本 幸一、長谷川 順一郎				
シラバス執筆(主)	山本 幸一				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

〈セミナー I a の目的と概要〉

本授業は、本学園の建学の精神である「全人教育」の理解から始まる、大阪国際大学における4年間の学修スタイルの確立を目指した演習授業である。

大学での学びは、自らの意思で計画し、考え、行動するという能動的・積極的な姿勢が求められる。本授業では大学及び学部・学科が目指す人材像やそのために設定された教育課程、成績評価の方法、進級・卒業要件などの教育制度の説明を行った後、演習を進めるうえで必要な個人及びグループでの学習方法、情報収集の技法やレポートの作成法等についての解説を行う。

また、それらの学習スキルをベースに、自分が生活している社会に対する理解を深めるとともに、大学での学びが社会とどのように繋がっているのかを学ぶ。テキストや本学オリジナルテーマよりいくつかの課題を取り上げ、個人の学習スキルとグループでの学習スキルを用いた課題解決の過程において、「聴く」「纏める」「伝える」力を高めていく。

到達目標

1. 大学の教育方針を理解し、主体的な学びを実践できる。
2. 個人及びグループでの学習スキルを身につけ、課題に取り組むことができる。
3. 他者とのコミュニケーション及びグループ活動の意義を理解し、その活動に参加できる。
4. 課題に対して論理的に思考し、ICTを活用して解決を図ることができる。
5. 大学初年次学生として自らの学びを計画し、学修に取り組むことができる。

授業計画

第01回	オリエンテーション1	自校教育「建学の精神」、LMSの設定確認、履修について
第02回	オリエンテーション2	大学における学びについて、学修目標の設定、学科別ワークの説明
第03回	セミナー I a 共通プログラム1	社会人基礎力の測定
第04回	学科別ワーク1a	ライブラリーツアー、学内ツアー、クラス企画、面談、等
第05回	学科別ワーク1b	ライブラリーツアー、学内ツアー、クラス企画、面談、等
第06回	学科別ワーク2	グループ学習の準備、クラス企画、面談、等
第07回	グループ学習1	相互理解のワーク、基礎力自己評価1回目
第08回	セミナー I a 共通プログラム2	社会人基礎力の解説、履修取消制度の説明
第09回	学科別ワーク3	学科別ワーク企画
第10回	グループ学習2	議論(意見交換)のワーク
第11回	グループ学習3	企画立案のワーク
第12回	グループ学習4	プレゼンテーションのワーク
第13回	セミナー I a 共通プログラム3a	企画の推進、人権啓発研修の実施、調査への回答、等
第14回	セミナー I a 共通プログラム3b	企画の推進、人権啓発研修の実施、調査への回答、等
第15回	前期振り返り	まとめ、学修目標の到達状況の確認

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

各回の復習や準備のため毎回3時間ほどの学習が求められる。
またグループ学習やグループワークの発表資料作成のため計15時間ほどを要する。

課題に対するフィードバックの方法

個別面談及びGoogle Classroomなどで課題に関するフィードバックをおこなう。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示すとおり、授業内に実施される課題と、定期試験に代わるレポートの評価結果に基づき総合的に判定のうち60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	90	課題への取組・活動への参加	1, 2, 3, 4
授業外での評価	0		

定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10	授業内での課題の取り組み・今後の学修計画の策定	2, 3, 4, 5
その他	0		

テキスト	タクナル
------	------

参考書	各担当教員より参考書に関する指示が示される。
-----	------------------------

履修条件・他の科目との関連	本科目は1年次前期開講の「教養演習」、「デジタルリテラシー」と関連している。
---------------	--

授業コード	10400126	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナー I a (課題解決) [対面]				
シラバス執筆(全員)	安達 康生、五月女 賢司				
シラバス執筆(主)	安達 康生				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

〈セミナー I a の目的と概要〉

本授業は、本学園の建学の精神である「全人教育」の理解から始まる、大阪国際大学における4年間の学修スタイルの確立を目指した演習授業である。

大学での学びは、自らの意思で計画し、考え、行動するという能動的・積極的な姿勢が求められる。本授業では大学及び学部・学科が目指す人材像やそのために設定された教育課程、成績評価の方法、進級・卒業要件などの教育制度の説明を行った後、演習を進めるうえで必要な個人及びグループでの学習方法、情報収集の技法やレポートの作成法等についての解説を行う。

また、それらの学習スキルをベースに、自分が生活している社会に対する理解を深めるとともに、大学での学びが社会とどのように繋がっているのかを学ぶ。テキストや本学オリジナルテーマよりいくつかの課題を取り上げ、個人の学習スキルとグループでの学習スキルを用いた課題解決の過程において、「聴く」「纏める」「伝える」力を高めていく。

到達目標

1. 大学の教育方針を理解し、主体的な学びを実践できる。
2. 個人及びグループでの学習スキルを身につけ、課題に取り組むことができる。
3. 他者とのコミュニケーション及びグループ活動の意義を理解し、その活動に参加できる。
4. 課題に対して論理的に思考し、ICTを活用して解決を図ることができる。
5. 大学初年次学生として自らの学びを計画し、学修に取り組むことができる。

授業計画

第01回	オリエンテーション1	自校教育「建学の精神」、LMSの設定確認、履修について
第02回	オリエンテーション2	大学における学びについて、学修目標の設定、学科別ワークの説明
第03回	セミナー I a 共通プログラム1	社会人基礎力の測定
第04回	学科別ワーク1a	ライブラリーツアー、学内ツアー、クラス企画、面談、等
第05回	学科別ワーク1b	ライブラリーツアー、学内ツアー、クラス企画、面談、等
第06回	学科別ワーク2	グループ学習の準備、クラス企画、面談、等
第07回	グループ学習1	相互理解のワーク、基礎力自己評価1回目
第08回	セミナー I a 共通プログラム2	社会人基礎力の解説、履修取消制度の説明
第09回	学科別ワーク3	学科別ワーク企画
第10回	グループ学習2	議論(意見交換)のワーク
第11回	グループ学習3	企画立案のワーク
第12回	グループ学習4	プレゼンテーションのワーク
第13回	セミナー I a 共通プログラム3a	企画の推進、人権啓発研修の実施、調査への回答、等
第14回	セミナー I a 共通プログラム3b	企画の推進、人権啓発研修の実施、調査への回答、等
第15回	前期振り返り	まとめ、学修目標の到達状況の確認

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

各回の復習や準備のため毎回3時間ほどの学習が求められる。
またグループ学習やグループワークの発表資料作成のため計15時間ほどを要する。

課題に対するフィードバックの方法

個別面談及びGoogle Classroomなどで課題に関するフィードバックをおこなう。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示すとおり、授業内に実施される課題と、定期試験に代わるレポートの評価結果に基づき総合的に判定のうち60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	90	課題への取組・活動への参加	1, 2, 3, 4
授業外での評価	0		

定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10	授業内での課題の取り組み・今後の学修計画の策定	2, 3, 4, 5
その他	0		

テキスト	タクナル
------	------

参考書	各担当教員より参考書に関する指示が示される。
-----	------------------------

履修条件・他の科目との関連	本科目は1年次前期開講の「教養演習」、「デジタルリテラシー」と関連している。
---------------	--

授業コード	10400127	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナー I a (課題解決) [対面]				
シラバス執筆(全員)	山本 明志、森田 浩司				
シラバス執筆(主)	山本 明志				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

〈セミナー I a の目的と概要〉

本授業は、本学園の建学の精神である「全人教育」の理解から始まる、大阪国際大学における4年間の学修スタイルの確立を目指した演習授業である。

大学での学びは、自らの意思で計画し、考え、行動するという能動的・積極的な姿勢が求められる。本授業では大学及び学部・学科が目指す人材像やそのために設定された教育課程、成績評価の方法、進級・卒業要件などの教育制度の説明を行った後、演習を進めるうえで必要な個人及びグループでの学習方法、情報収集の技法やレポートの作成法等についての解説を行う。

また、それらの学習スキルをベースに、自分が生活している社会に対する理解を深めるとともに、大学での学びが社会とどのように繋がっているのかを学ぶ。テキストや本学オリジナルテーマよりいくつかの課題を取り上げ、個人の学習スキルとグループでの学習スキルを用いた課題解決の過程において、「聴く」「纏める」「伝える」力を高めていく。

到達目標

1. 大学の教育方針を理解し、主体的な学びを実践できる。
2. 個人及びグループでの学習スキルを身につけ、課題に取り組むことができる。
3. 他者とのコミュニケーション及びグループ活動の意義を理解し、その活動に参加できる。
4. 課題に対して論理的に思考し、ICTを活用して解決を図ることができる。
5. 大学初年次学生として自らの学びを計画し、学修に取り組むことができる。

授業計画

第01回	オリエンテーション1	自校教育「建学の精神」、LMSの設定確認、履修について
第02回	オリエンテーション2	大学における学びについて、学修目標の設定、学科別ワークの説明
第03回	セミナー I a 共通プログラム1	社会人基礎力の測定
第04回	学科別ワーク1a	ライブラリーツアー、学内ツアー、クラス企画、面談、等
第05回	学科別ワーク1b	ライブラリーツアー、学内ツアー、クラス企画、面談、等
第06回	学科別ワーク2	グループ学習の準備、クラス企画、面談、等
第07回	グループ学習1	相互理解のワーク、基礎力自己評価1回目
第08回	セミナー I a 共通プログラム2	社会人基礎力の解説、履修取消制度の説明
第09回	学科別ワーク3	学科別ワーク企画
第10回	グループ学習2	議論(意見交換)のワーク
第11回	グループ学習3	企画立案のワーク
第12回	グループ学習4	プレゼンテーションのワーク
第13回	セミナー I a 共通プログラム3a	企画の推進、人権啓発研修の実施、調査への回答、等
第14回	セミナー I a 共通プログラム3b	企画の推進、人権啓発研修の実施、調査への回答、等
第15回	前期振り返り	まとめ、学修目標の到達状況の確認

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

各回の復習や準備のため毎回3時間ほどの学習が求められる。
またグループ学習やグループワークの発表資料作成のため計15時間ほどを要する。

課題に対するフィードバックの方法

個別面談及びGoogle Classroomなどで課題に関するフィードバックをおこなう。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示すとおり、授業内に実施される課題と、定期試験に代わるレポートの評価結果に基づき総合的に判定のうち60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	90	課題への取組・活動への参加	1, 2, 3, 4
授業外での評価	0		

定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10	授業内での課題の取り組み・今後の学修計画の策定	2, 3, 4, 5
その他	0		

テキスト	タクナル
------	------

参考書	各担当教員より参考書に関する指示が示される。
-----	------------------------

履修条件・他の科目との関連	本科目は1年次前期開講の「教養演習」、「デジタルリテラシー」と関連している。
---------------	--

授業コード	10400128	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナー I a (課題解決) [対面]				
シラバス執筆(全員)	宮本 佳奈、岸脇 誠				
シラバス執筆(主)	宮本 佳奈				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

〈セミナー I a の目的と概要〉

本授業は、本学園の建学の精神である「全人教育」の理解から始まる、大阪国際大学における4年間の学修スタイルの確立を目指した演習授業である。

大学での学びは、自らの意思で計画し、考え、行動するという能動的・積極的な姿勢が求められる。本授業では大学及び学部・学科が目指す人材像やそのために設定された教育課程、成績評価の方法、進級・卒業要件などの教育制度の説明を行った後、演習を進めるうえで必要な個人及びグループでの学習方法、情報収集の技法やレポートの作成法等についての解説を行う。

また、それらの学習スキルをベースに、自分が生活している社会に対する理解を深めるとともに、大学での学びが社会とどのように繋がっているのかを学ぶ。テキストや本学オリジナルテーマよりいくつかの課題を取り上げ、個人の学習スキルとグループでの学習スキルを用いた課題解決の過程において、「聴く」「纏める」「伝える」力を高めていく。

到達目標

1. 大学の教育方針を理解し、主体的な学びを実践できる。
2. 個人及びグループでの学習スキルを身につけ、課題に取り組むことができる。
3. 他者とのコミュニケーション及びグループ活動の意義を理解し、その活動に参加できる。
4. 課題に対して論理的に思考し、ICTを活用して解決を図ることができる。
5. 大学初年次学生として自らの学びを計画し、学修に取り組むことができる。

授業計画

第01回	オリエンテーション1	自校教育「建学の精神」、LMSの設定確認、履修について
第02回	オリエンテーション2	大学における学びについて、学修目標の設定、学科別ワークの説明
第03回	セミナー I a 共通プログラム1	社会人基礎力の測定
第04回	学科別ワーク1a	ライブラリーツアー、学内ツアー、クラス企画、面談、等
第05回	学科別ワーク1b	ライブラリーツアー、学内ツアー、クラス企画、面談、等
第06回	学科別ワーク2	グループ学習の準備、クラス企画、面談、等
第07回	グループ学習1	相互理解のワーク、基礎力自己評価1回目
第08回	セミナー I a 共通プログラム2	社会人基礎力の解説、履修取消制度の説明
第09回	学科別ワーク3	学科別ワーク企画
第10回	グループ学習2	議論(意見交換)のワーク
第11回	グループ学習3	企画立案のワーク
第12回	グループ学習4	プレゼンテーションのワーク
第13回	セミナー I a 共通プログラム3a	企画の推進、人権啓発研修の実施、調査への回答、等
第14回	セミナー I a 共通プログラム3b	企画の推進、人権啓発研修の実施、調査への回答、等
第15回	前期振り返り	まとめ、学修目標の到達状況の確認

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

各回の復習や準備のため毎回3時間ほどの学習が求められる。
またグループ学習やグループワークの発表資料作成のため計15時間ほどを要する。

課題に対するフィードバックの方法

個別面談及びGoogle Classroomなどで課題に関するフィードバックをおこなう。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示すとおり、授業内に実施される課題と、定期試験に代わるレポートの評価結果に基づき総合的に判定のうち60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	90	課題への取組・活動への参加	1, 2, 3, 4
授業外での評価	0		

定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10	授業内での課題の取り組み・今後の学修計画の策定	2, 3, 4, 5
その他	0		

テキスト	担当教員よりテキストに関する指示が示される。		
------	------------------------	--	--

参考書	担当教員より参考書に関する指示が示される。		
-----	-----------------------	--	--

履修条件・他の科目との関連	本科目は1年次前期開講の「教養演習」、「デジタルリテラシー」と関連している。		
---------------	--	--	--

授業コード	10400130	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナー I a (課題解決) [対面]				
シラバス執筆(全員)	森上 幸夫、村田 菜穂子				
シラバス執筆(主)	森上 幸夫				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

〈セミナー I a の目的と概要〉

本授業は、本学園の建学の精神である「全人教育」の理解から始まる、大阪国際大学における4年間の学修スタイルの確立を目指した演習授業である。

大学での学びは、自らの意思で計画し、考え、行動するという能動的・積極的な姿勢が求められる。本授業では大学及び学部・学科が目指す人材像やそのために設定された教育課程、成績評価の方法、進級・卒業要件などの教育制度の説明を行った後、演習を進めるうえで必要な個人及びグループでの学習方法、情報収集の技法やレポートの作成法等についての解説を行う。

また、それらの学習スキルをベースに、自分が生活している社会に対する理解を深めるとともに、大学での学びが社会とどのように繋がっているのかを学ぶ。テキストや本学オリジナルテーマよりいくつかの課題を取り上げ、個人の学習スキルとグループでの学習スキルを用いた課題解決の過程において、「聴く」「纏める」「伝える」力を高めていく。

到達目標

1. 大学の教育方針を理解し、主体的な学びを実践できる。
2. 個人及びグループでの学習スキルを身につけ、課題に取り組むことができる。
3. 他者とのコミュニケーション及びグループ活動の意義を理解し、その活動に参加できる。
4. 課題に対して論理的に思考し、ICTを活用して解決を図ることができる。
5. 大学初年次学生として自らの学びを計画し、学修に取り組むことができる。

授業計画

第01回	オリエンテーション1	自校教育「建学の精神」、LMSの設定確認、履修について
第02回	オリエンテーション2	大学における学びについて、学修目標の設定、学科別ワークの説明
第03回	セミナー I a 共通プログラム1	社会人基礎力の測定
第04回	学科別ワーク1a	ライブラリーツアー、学内ツアー、クラス企画、面談、等
第05回	学科別ワーク1b	ライブラリーツアー、学内ツアー、クラス企画、面談、等
第06回	学科別ワーク2	グループ学習の準備、クラス企画、面談、等
第07回	グループ学習1	相互理解のワーク、基礎力自己評価1回目
第08回	セミナー I a 共通プログラム2	社会人基礎力の解説、履修取消制度の説明
第09回	学科別ワーク3	学科別ワーク企画
第10回	グループ学習2	議論(意見交換)のワーク
第11回	グループ学習3	企画立案のワーク
第12回	グループ学習4	プレゼンテーションのワーク
第13回	セミナー I a 共通プログラム3a	企画の推進、人権啓発研修の実施、調査への回答、等
第14回	セミナー I a 共通プログラム3b	企画の推進、人権啓発研修の実施、調査への回答、等
第15回	前期振り返り	まとめ、学修目標の到達状況の確認

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

各回の復習や準備のため毎回3時間ほどの学習が求められる。
またグループ学習やグループワークの発表資料作成のため計15時間ほどを要する。

課題に対するフィードバックの方法

個別面談及びGoogle Classroomなどで課題に関するフィードバックをおこなう。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示すとおり、授業内に実施される課題と、定期試験に代わるレポートの評価結果に基づき総合的に判定のうち60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	90	課題への取組・活動への参加	1, 2, 3, 4
授業外での評価	0		

定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10	授業内での課題の取り組み・今後の学修計画の策定	2, 3, 4, 5
その他	0		

テキスト	タクナル
------	------

参考書	各担当教員より参考書に関する指示が示される。
-----	------------------------

履修条件・他の科目との関連	本科目は1年次前期開講の「教養演習」、「デジタルリテラシー」と関連している。
---------------	--

授業コード	10400221	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナー I b (課題解決) [対面]				
シラバス執筆(全員)	木村 真人、下條 善史				
シラバス執筆(主)	木村 真人				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

<セミナー I b の目的と概要>

この授業は、大学における学修スタイルの確立を目指した演習授業である。

本授業ではセミナー I a における学びを継続・発展させ、テキスト及び大学オリジナルテーマよりいくつかの課題を取り上げ、個人及びグループでその課題を解決する過程で、「聴く」「纏める」「伝える」力を高めていく。同時に、自らの社会的基礎力の向上に取り組み、グループにおける課題解決の活動について他者との関係を構築し、具体的な解決への貢献の仕方を考え、論理的な思考にもとづいた方法を採用するといった応用的なスキルを身につけていく。

それらの学習スキルをベースに、自分が生活している社会に対する理解を深め、大学での学びが社会とどのように繋がっているのかを学び、期末には大学初年次学生として自らの学修成果をまとめることができるようにする。

到達目標

1. 自らの学修成果と社会的基礎力を理解し、その改善と向上に取り組むことができる。
2. 個人及びグループでの学習スキルを用いて課題に取り組むことができる。
3. グループ活動の課題を理解し、その解決に貢献できる。
4. 課題に対して論理的に思考し、ICTを応用して解決することができる。
5. 大学初年次学生として自らの学びを振り返り、学修成果をまとめることができる。

授業計画

第01回	オリエンテーション	前期成績評価、履修修正、学修目標の設定
第02回	グループ学習1	自己主張のワーク、基礎力自己評価2回目
第03回	学科別ワーク1	「情報収集」の課題
第04回	学科別ワーク2	「討議」の課題
第05回	学科別ワーク3	「総括・発表」の課題
第06回	グループ学習2	情報収集のワーク(企画)
第07回	グループ学習3	情報収集のワーク(発表)
第08回	セミナー I b 共通プログラム1	履修取消制度の説明、成績評価の説明
第09回	グループ学習4	情報分析のワーク(企画)
第10回	グループ学習5	情報分析のワーク(発表)
第11回	グループ学習6	問題提起のワーク(企画)
第12回	グループ学習7	問題提起のワーク(発表)
第13回	グループ学習8	自分と仲間の成長のワーク、基礎力自己評価3回目
第14回	セミナー I b 共通プログラム2	自校教育「OIUの学び」、調査への回答
第15回	後期振り返り	まとめ、学修目標の到達状況の確認

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

各回の復習や準備のため毎回3時間ほどの学習が求められる。
またグループ学習やグループワークの発表資料作成のため計15時間ほどを要する。

課題に対するフィードバックの方法

個別面談及びGoogleClassroomなどで課題に関するフィードバックをおこなう。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示すとおり、授業内に実施される課題と、定期試験に代わるレポートの評価結果に基づき総合的に判定のうえ60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	90	課題への取組・活動への参加	1, 2, 3, 4
授業外での評価	0		

定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10	授業内での課題の取り組み・学びの振り返りと学修成果のまとめ	1, 2, 3, 4, 5
その他	0		

テキスト	タクナル
------	------

参考書	各担当教員より参考書に関する指示が示される。
-----	------------------------

履修条件・他の科目との関連	本科目は1年次後期開講の「デジタルリテラシー演習 I」と関連している。
---------------	-------------------------------------

授業コード	10400222	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナー I b (課題解決) [対面]				
シラバス執筆(全員)	岩崎 真哉、杉寄 聡紀				
シラバス執筆(主)	岩崎 真哉				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

〈セミナー I b の目的と概要〉

この授業は、大学における学修スタイルの確立を目指した演習授業である。

本授業ではセミナー I a における学びを継続・発展させ、テキスト及び大学オリジナルテーマよりいくつかの課題を取り上げ、個人及びグループでその課題を解決する過程で、「聴く」「纏める」「伝える」力を高めていく。同時に、自らの社会的基礎力の向上に取り組み、グループにおける課題解決の活動について他者との関係を構築し、具体的な解決への貢献の仕方を考え、論理的な思考にもとづいた方法を採用するといった応用的なスキルを身につけていく。

それらの学習スキルをベースに、自分が生活している社会に対する理解を深め、大学での学びが社会とどのように繋がっているのかを学び、期末には大学初年次学生として自らの学修成果をまとめることができるようにする。

到達目標

1. 自らの学修成果と社会的基礎力を理解し、その改善と向上に取り組むことができる。
2. 個人及びグループでの学習スキルを用いて課題に取り組むことができる。
3. グループ活動の課題を理解し、その解決に貢献できる。
4. 課題に対して論理的に思考し、ICTを応用して解決することができる。
5. 大学初年次学生として自らの学びを振り返り、学修成果をまとめることができる。

授業計画

第01回	オリエンテーション	前期成績評価、履修修正、学修目標の設定
第02回	グループ学習1	自己主張のワーク、基礎力自己評価2回目
第03回	学科別ワーク1	「情報収集」の課題
第04回	学科別ワーク2	「討議」の課題
第05回	学科別ワーク3	「総括・発表」の課題
第06回	グループ学習2	情報収集のワーク(企画)
第07回	グループ学習3	情報収集のワーク(発表)
第08回	セミナー I b 共通プログラム1	履修取消制度の説明、成績評価の説明
第09回	グループ学習4	情報分析のワーク(企画)
第10回	グループ学習5	情報分析のワーク(発表)
第11回	グループ学習6	問題提起のワーク(企画)
第12回	グループ学習7	問題提起のワーク(発表)
第13回	グループ学習8	自分と仲間の成長のワーク、基礎力自己評価3回目
第14回	セミナー I b 共通プログラム2	自校教育「OIUの学び」、調査への回答
第15回	後期振り返り	まとめ、学修目標の到達状況の確認

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

各回の復習や準備のため毎回3時間ほどの学習が求められる。
またグループ学習やグループワークの発表資料作成のため計15時間ほどを要する。

課題に対するフィードバックの方法

個別面談及びGoogleClassroomなどで課題に関するフィードバックをおこなう。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示すとおり、授業内に実施される課題と、定期試験に代わるレポートの評価結果に基づき総合的に判定のうえ60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	90	課題への取組・活動への参加	1, 2, 3, 4
授業外での評価	0		

定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10	授業内での課題の取り組み・学びの振り返りと学修成果のまとめ	1, 2, 3, 4, 5
その他	0		

テキスト	タクナル		
------	------	--	--

参考書	各担当教員より参考書に関する指示が示される。		
-----	------------------------	--	--

履修条件・他の科目との関連	本科目は1年次後期開講の「デジタルリテラシー演習 I」と関連している。		
---------------	-------------------------------------	--	--

授業コード	10400223	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナー I b (課題解決) [対面]				
シラバス執筆(全員)	香川 愁吾、小瀬木 えりの				
シラバス執筆(主)	香川 愁吾				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

<セミナー I b の目的と概要>

この授業は、大学における学修スタイルの確立を目指した演習授業である。

本授業ではセミナー I a における学びを継続・発展させ、テキスト及び大学オリジナルテーマよりいくつかの課題を取り上げ、個人及びグループでその課題を解決する過程で、「聴く」「纏める」「伝える」力を高めていく。同時に、自らの社会的基礎力の向上に取り組み、グループにおける課題解決の活動について他者との関係を構築し、具体的な解決への貢献の仕方を考え、論理的な思考にもとづいた方法を採用するといった応用的なスキルを身につけていく。

それらの学習スキルをベースに、自分が生活している社会に対する理解を深め、大学での学びが社会とどのように繋がっているのかを学び、期末には大学初年次学生として自らの学修成果をまとめることができるようにする。

到達目標

1. 自らの学修成果と社会的基礎力を理解し、その改善と向上に取り組むことができる。
2. 個人及びグループでの学習スキルを用いて課題に取り組むことができる。
3. グループ活動の課題を理解し、その解決に貢献できる。
4. 課題に対して論理的に思考し、ICTを応用して解決することができる。
5. 大学初年次学生として自らの学びを振り返り、学修成果をまとめることができる。

授業計画

第01回	オリエンテーション	前期成績評価、履修修正、学修目標の設定
第02回	グループ学習1	自己主張のワーク、基礎力自己評価2回目
第03回	学科別ワーク1	「情報収集」の課題
第04回	学科別ワーク2	「討議」の課題
第05回	学科別ワーク3	「総括・発表」の課題
第06回	グループ学習2	情報収集のワーク(企画)
第07回	グループ学習3	情報収集のワーク(発表)
第08回	セミナー I b 共通プログラム1	履修取消制度の説明、成績評価の説明
第09回	グループ学習4	情報分析のワーク(企画)
第10回	グループ学習5	情報分析のワーク(発表)
第11回	グループ学習6	問題提起のワーク(企画)
第12回	グループ学習7	問題提起のワーク(発表)
第13回	グループ学習8	自分と仲間の成長のワーク、基礎力自己評価3回目
第14回	セミナー I b 共通プログラム2	自校教育「OIUの学び」、調査への回答
第15回	後期振り返り	まとめ、学修目標の到達状況の確認

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

各回の復習や準備のため毎回3時間ほどの学習が求められる。
またグループ学習やグループワークの発表資料作成のため計15時間ほどを要する。

課題に対するフィードバックの方法

個別面談及びGoogle Classroomなどで課題に関するフィードバックをおこなう。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示すとおり、授業内に実施される課題と、定期試験に代わるレポートの評価結果に基づき総合的に判定のうえ60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	90	課題への取組・活動への参加	1, 2, 3, 4
授業外での評価	0		

定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10	授業内での課題の取り組み・学びの振り返りと学修成果のまとめ	1, 2, 3, 4, 5
その他	0		

テキスト	タクナル		
------	------	--	--

参考書	各担当教員より参考書に関する指示が示される。		
-----	------------------------	--	--

履修条件・他の科目との関連	本科目は1年次後期開講の「デジタルリテラシー演習 I」と関連している。		
---------------	-------------------------------------	--	--

授業コード	10400224	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナー I b (課題解決) [対面]				
シラバス執筆(全員)	森上 幸夫、山下 純				
シラバス執筆(主)	森上 幸夫				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

<セミナー I b の目的と概要>

この授業は、大学における学修スタイルの確立を目指した演習授業である。

本授業ではセミナー I a における学びを継続・発展させ、テキスト及び大学オリジナルテーマよりいくつかの課題を取り上げ、個人及びグループでその課題を解決する過程で、「聴く」「纏める」「伝える」力を高めていく。同時に、自らの社会的基礎力の向上に取り組み、グループにおける課題解決の活動について他者との関係を構築し、具体的な解決への貢献の仕方を考え、論理的な思考にもとづいた方法を採用するといった応用的なスキルを身につけていく。

それらの学習スキルをベースに、自分が生活している社会に対する理解を深め、大学での学びが社会とどのように繋がっているのかを学び、期末には大学初年次学生として自らの学修成果をまとめることができるようにする。

到達目標

1. 自らの学修成果と社会的基礎力を理解し、その改善と向上に取り組むことができる。
2. 個人及びグループでの学習スキルを用いて課題に取り組むことができる。
3. グループ活動の課題を理解し、その解決に貢献できる。
4. 課題に対して論理的に思考し、ICTを応用して解決することができる。
5. 大学初年次学生として自らの学びを振り返り、学修成果をまとめることができる。

授業計画

第01回	オリエンテーション	前期成績評価、履修修正、学修目標の設定
第02回	グループ学習1	自己主張のワーク、基礎力自己評価2回目
第03回	学科別ワーク1	「情報収集」の課題
第04回	学科別ワーク2	「討議」の課題
第05回	学科別ワーク3	「総括・発表」の課題
第06回	グループ学習2	情報収集のワーク(企画)
第07回	グループ学習3	情報収集のワーク(発表)
第08回	セミナー I b 共通プログラム1	履修取消制度の説明、成績評価の説明
第09回	グループ学習4	情報分析のワーク(企画)
第10回	グループ学習5	情報分析のワーク(発表)
第11回	グループ学習6	問題提起のワーク(企画)
第12回	グループ学習7	問題提起のワーク(発表)
第13回	グループ学習8	自分と仲間の成長のワーク、基礎力自己評価3回目
第14回	セミナー I b 共通プログラム2	自校教育「OIUの学び」、調査への回答
第15回	後期振り返り	まとめ、学修目標の到達状況の確認

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

各回の復習や準備のため毎回3時間ほどの学習が求められる。
またグループ学習やグループワークの発表資料作成のため計15時間ほどを要する。

課題に対するフィードバックの方法

個別面談及びGoogle Classroomなどで課題に関するフィードバックをおこなう。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示すとおり、授業内に実施される課題と、定期試験に代わるレポートの評価結果に基づき総合的に判定のうえ60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	90	課題への取組・活動への参加	1, 2, 3, 4
授業外での評価	0		

定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10	授業内での課題の取り組み・学びの振り返りと学修成果のまとめ	1, 2, 3, 4, 5
その他	0		

テキスト	タクナル
------	------

参考書	各担当教員より参考書に関する指示が示される。
-----	------------------------

履修条件・他の科目との関連	本科目は1年次後期開講の「デジタルリテラシー演習 I」と関連している。
---------------	-------------------------------------

授業コード	10400225	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナー I b (課題解決) [対面]				
シラバス執筆(全員)	山本 幸一、長谷川 順一郎				
シラバス執筆(主)	山本 幸一				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

<セミナー I b の目的と概要>

この授業は、大学における学修スタイルの確立を目指した演習授業である。

本授業ではセミナー I a における学びを継続・発展させ、テキスト及び大学オリジナルテーマよりいくつかの課題を取り上げ、個人及びグループでその課題を解決する過程で、「聴く」「纏める」「伝える」力を高めていく。同時に、自らの社会的基礎力の向上に取り組み、グループにおける課題解決の活動について他者との関係を構築し、具体的な解決への貢献の仕方を考え、論理的な思考にもとづいた方法を採用するといった応用的なスキルを身につけていく。

それらの学習スキルをベースに、自分が生活している社会に対する理解を深め、大学での学びが社会とどのように繋がっているのかを学び、期末には大学初年次学生として自らの学修成果をまとめることができるようにする。

到達目標

1. 自らの学修成果と社会的基礎力を理解し、その改善と向上に取り組むことができる。
2. 個人及びグループでの学習スキルを用いて課題に取り組むことができる。
3. グループ活動の課題を理解し、その解決に貢献できる。
4. 課題に対して論理的に思考し、ICTを応用して解決することができる。
5. 大学初年次学生として自らの学びを振り返り、学修成果をまとめることができる。

授業計画

第01回	オリエンテーション	前期成績評価、履修修正、学修目標の設定
第02回	グループ学習1	自己主張のワーク、基礎力自己評価2回目
第03回	学科別ワーク1	「情報収集」の課題
第04回	学科別ワーク2	「討議」の課題
第05回	学科別ワーク3	「総括・発表」の課題
第06回	グループ学習2	情報収集のワーク(企画)
第07回	グループ学習3	情報収集のワーク(発表)
第08回	セミナー I b 共通プログラム1	履修取消制度の説明、成績評価の説明
第09回	グループ学習4	情報分析のワーク(企画)
第10回	グループ学習5	情報分析のワーク(発表)
第11回	グループ学習6	問題提起のワーク(企画)
第12回	グループ学習7	問題提起のワーク(発表)
第13回	グループ学習8	自分と仲間の成長のワーク、基礎力自己評価3回目
第14回	セミナー I b 共通プログラム2	自校教育「OIUの学び」、調査への回答
第15回	後期振り返り	まとめ、学修目標の到達状況の確認

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

各回の復習や準備のため毎回3時間ほどの学習が求められる。
またグループ学習やグループワークの発表資料作成のため計15時間ほどを要する。

課題に対するフィードバックの方法

個別面談及びGoogleClassroomなどで課題に関するフィードバックをおこなう。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示すとおり、授業内に実施される課題と、定期試験に代わるレポートの評価結果に基づき総合的に判定のうえ60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	90	課題への取組・活動への参加	1, 2, 3, 4
授業外での評価	0		

定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10	授業内での課題の取り組み・学びの振り返りと学修成果のまとめ	1, 2, 3, 4, 5
その他	0		

テキスト	タクナル
------	------

参考書	各担当教員より参考書に関する指示が示される。
-----	------------------------

履修条件・他の科目との関連	本科目は1年次後期開講の「デジタルリテラシー演習 I」と関連している。
---------------	-------------------------------------

授業コード	10400226	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナー I b (課題解決) [対面]				
シラバス執筆(全員)	安達 康生、五月女 賢司				
シラバス執筆(主)	安達 康生				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

<セミナー I b の目的と概要>

この授業は、大学における学修スタイルの確立を目指した演習授業である。

本授業ではセミナー I a における学びを継続・発展させ、テキスト及び大学オリジナルテーマよりいくつかの課題を取り上げ、個人及びグループでその課題を解決する過程で、「聴く」「纏める」「伝える」力を高めていく。同時に、自らの社会的基礎力の向上に取り組み、グループにおける課題解決の活動について他者との関係を構築し、具体的な解決への貢献の仕方を考え、論理的な思考にもとづいた方法を採用するといった応用的なスキルを身につけていく。

それらの学習スキルをベースに、自分が生活している社会に対する理解を深め、大学での学びが社会とどのように繋がっているのかを学び、期末には大学初年次学生として自らの学修成果をまとめることができるようにする。

到達目標

1. 自らの学修成果と社会的基礎力を理解し、その改善と向上に取り組むことができる。
2. 個人及びグループでの学習スキルを用いて課題に取り組むことができる。
3. グループ活動の課題を理解し、その解決に貢献できる。
4. 課題に対して論理的に思考し、ICTを応用して解決することができる。
5. 大学初年次学生として自らの学びを振り返り、学修成果をまとめることができる。

授業計画

第01回	オリエンテーション	前期成績評価、履修修正、学修目標の設定
第02回	グループ学習1	自己主張のワーク、基礎力自己評価2回目
第03回	学科別ワーク1	「情報収集」の課題
第04回	学科別ワーク2	「討議」の課題
第05回	学科別ワーク3	「総括・発表」の課題
第06回	グループ学習2	情報収集のワーク(企画)
第07回	グループ学習3	情報収集のワーク(発表)
第08回	セミナー I b 共通プログラム1	履修取消制度の説明、成績評価の説明
第09回	グループ学習4	情報分析のワーク(企画)
第10回	グループ学習5	情報分析のワーク(発表)
第11回	グループ学習6	問題提起のワーク(企画)
第12回	グループ学習7	問題提起のワーク(発表)
第13回	グループ学習8	自分と仲間の成長のワーク、基礎力自己評価3回目
第14回	セミナー I b 共通プログラム2	自校教育「OIUの学び」、調査への回答
第15回	後期振り返り	まとめ、学修目標の到達状況の確認

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

各回の復習や準備のため毎回3時間ほどの学習が求められる。
またグループ学習やグループワークの発表資料作成のため計15時間ほどを要する。

課題に対するフィードバックの方法

個別面談及びGoogleClassroomなどで課題に関するフィードバックをおこなう。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示すとおり、授業内に実施される課題と、定期試験に代わるレポートの評価結果に基づき総合的に判定のうえ60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	90	課題への取組・活動への参加	1, 2, 3, 4
授業外での評価	0		

定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10	授業内での課題の取り組み・学びの振り返りと学修成果のまとめ	1, 2, 3, 4, 5
その他	0		

テキスト	タクナル
------	------

参考書	各担当教員より参考書に関する指示が示される。
-----	------------------------

履修条件・他の科目との関連	本科目は1年次後期開講の「デジタルリテラシー演習 I」と関連している。
---------------	-------------------------------------

授業コード	10400227	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナー I b (課題解決) [対面]				
シラバス執筆(全員)	山本 明志、森田 浩司				
シラバス執筆(主)	山本 明志				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

<セミナー I b の目的と概要>

この授業は、大学における学修スタイルの確立を目指した演習授業である。

本授業ではセミナー I a における学びを継続・発展させ、テキスト及び大学オリジナルテーマよりいくつかの課題を取り上げ、個人及びグループでその課題を解決する過程で、「聴く」「纏める」「伝える」力を高めていく。同時に、自らの社会的基礎力の向上に取り組み、グループにおける課題解決の活動について他者との関係を構築し、具体的な解決への貢献の仕方を考え、論理的な思考にもとづいた方法を採用するといった応用的なスキルを身につけていく。

それらの学習スキルをベースに、自分が生活している社会に対する理解を深め、大学での学びが社会とどのように繋がっているのかを学び、期末には大学初年次学生として自らの学修成果をまとめることができるようにする。

到達目標

1. 自らの学修成果と社会的基礎力を理解し、その改善と向上に取り組むことができる。
2. 個人及びグループでの学習スキルを用いて課題に取り組むことができる。
3. グループ活動の課題を理解し、その解決に貢献できる。
4. 課題に対して論理的に思考し、ICTを応用して解決することができる。
5. 大学初年次学生として自らの学びを振り返り、学修成果をまとめることができる。

授業計画

第01回	オリエンテーション	前期成績評価、履修修正、学修目標の設定
第02回	グループ学習1	自己主張のワーク、基礎力自己評価2回目
第03回	学科別ワーク1	「情報収集」の課題
第04回	学科別ワーク2	「討議」の課題
第05回	学科別ワーク3	「総括・発表」の課題
第06回	グループ学習2	情報収集のワーク(企画)
第07回	グループ学習3	情報収集のワーク(発表)
第08回	セミナー I b 共通プログラム1	履修取消制度の説明、成績評価の説明
第09回	グループ学習4	情報分析のワーク(企画)
第10回	グループ学習5	情報分析のワーク(発表)
第11回	グループ学習6	問題提起のワーク(企画)
第12回	グループ学習7	問題提起のワーク(発表)
第13回	グループ学習8	自分と仲間の成長のワーク、基礎力自己評価3回目
第14回	セミナー I b 共通プログラム2	自校教育「OIUの学び」、調査への回答
第15回	後期振り返り	まとめ、学修目標の到達状況の確認

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

各回の復習や準備のため毎回3時間ほどの学習が求められる。
またグループ学習やグループワークの発表資料作成のため計15時間ほどを要する。

課題に対するフィードバックの方法

個別面談及びGoogleClassroomなどで課題に関するフィードバックをおこなう。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示すとおり、授業内に実施される課題と、定期試験に代わるレポートの評価結果に基づき総合的に判定のうえ60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	90	課題への取組・活動への参加	1, 2, 3, 4
授業外での評価	0		

定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10	授業内での課題の取り組み・学びの振り返りと学修成果のまとめ	1, 2, 3, 4, 5
その他	0		

テキスト	タクナル
------	------

参考書	各担当教員より参考書に関する指示が示される。
-----	------------------------

履修条件・他の科目との関連	本科目は1年次後期開講の「デジタルリテラシー演習 I」と関連している。
---------------	-------------------------------------

授業コード	10400228	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナー I b (課題解決) [対面]				
シラバス執筆(全員)	宮本 佳奈、岸脇 誠				
シラバス執筆(主)	宮本 佳奈				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

<セミナー I b の目的と概要>

この授業は、大学における学修スタイルの確立を目指した演習授業である。

本授業ではセミナー I a における学びを継続・発展させ、テキスト及び大学オリジナルテーマよりいくつかの課題を取り上げ、個人及びグループでその課題を解決する過程で、「聴く」「纏める」「伝える」力を高めていく。同時に、自らの社会的基礎力の向上に取り組み、グループにおける課題解決の活動について他者との関係を構築し、具体的な解決への貢献の仕方を考え、論理的な思考にもとづいた方法を採用するといった応用的なスキルを身につけていく。

それらの学習スキルをベースに、自分が生活している社会に対する理解を深め、大学での学びが社会とどのように繋がっているのかを学び、期末には大学初年次学生として自らの学修成果をまとめることができるようにする。

到達目標

1. 自らの学修成果と社会的基礎力を理解し、その改善と向上に取り組むことができる。
2. 個人及びグループでの学習スキルを用いて課題に取り組むことができる。
3. グループ活動の課題を理解し、その解決に貢献できる。
4. 課題に対して論理的に思考し、ICTを応用して解決することができる。
5. 大学初年次学生として自らの学びを振り返り、学修成果をまとめることができる。

授業計画

第01回	オリエンテーション	前期成績評価、履修修正、学修目標の設定
第02回	グループ学習1	自己主張のワーク、基礎力自己評価2回目
第03回	学科別ワーク1	「情報収集」の課題
第04回	学科別ワーク2	「討議」の課題
第05回	学科別ワーク3	「総括・発表」の課題
第06回	グループ学習2	情報収集のワーク(企画)
第07回	グループ学習3	情報収集のワーク(発表)
第08回	セミナー I b 共通プログラム1	履修取消制度の説明、成績評価の説明
第09回	グループ学習4	情報分析のワーク(企画)
第10回	グループ学習5	情報分析のワーク(発表)
第11回	グループ学習6	問題提起のワーク(企画)
第12回	グループ学習7	問題提起のワーク(発表)
第13回	グループ学習8	自分と仲間の成長のワーク、基礎力自己評価3回目
第14回	セミナー I b 共通プログラム2	自校教育「OIUの学び」、調査への回答
第15回	後期振り返り	まとめ、学修目標の到達状況の確認

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

各回の復習や準備のため毎回3時間ほどの学習が求められる。
またグループ学習やグループワークの発表資料作成のため計15時間ほどを要する。

課題に対するフィードバックの方法

個別面談及びGoogle Classroomなどで課題に関するフィードバックをおこなう。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示すとおり、授業内に実施される課題と、定期試験に代わるレポートの評価結果に基づき総合的に判定のうえ60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	90	課題への取組・活動への参加	1. 2. 3. 4.
授業外での評価	0	0	0

定期試験	0	0	0
定期試験に代わるレポート等	10	授業内での課題の取り組み・学びの振り返りと学修成果のまとめ	1. 2. 3. 4. 5.
その他	0	0	0

テキスト	担当教員よりテキストに関する指示が示される。
------	------------------------

参考書	担当教員より参考書に関する指示が示される。
-----	-----------------------

履修条件・他の科目との関連	本科目は1年次後期開講の「デジタルリテラシー演習 I」と関連している。
---------------	-------------------------------------

授業コード	10400230	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナー I b (課題解決) [対面]				
シラバス執筆(全員)	森上 幸夫、村田 菜穂子				
シラバス執筆(主)	森上 幸夫				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

<セミナー I b の目的と概要>

この授業は、大学における学修スタイルの確立を目指した演習授業である。

本授業ではセミナー I a における学びを継続・発展させ、テキスト及び大学オリジナルテーマよりいくつかの課題を取り上げ、個人及びグループでその課題を解決する過程で、「聴く」「纏める」「伝える」力を高めていく。同時に、自らの社会的基礎力の向上に取り組み、グループにおける課題解決の活動について他者との関係を構築し、具体的な解決への貢献の仕方を考え、論理的な思考にもとづいた方法を採用するといった応用的なスキルを身につけていく。

それらの学習スキルをベースに、自分が生活している社会に対する理解を深め、大学での学びが社会とどのように繋がっているのかを学び、期末には大学初年次学生として自らの学修成果をまとめることができるようにする。

到達目標

1. 自らの学修成果と社会的基礎力を理解し、その改善と向上に取り組むことができる。
2. 個人及びグループでの学習スキルを用いて課題に取り組むことができる。
3. グループ活動の課題を理解し、その解決に貢献できる。
4. 課題に対して論理的に思考し、ICTを応用して解決することができる。
5. 大学初年次学生として自らの学びを振り返り、学修成果をまとめることができる。

授業計画

第01回	オリエンテーション	前期成績評価、履修修正、学修目標の設定
第02回	グループ学習1	自己主張のワーク、基礎力自己評価2回目
第03回	学科別ワーク1	「情報収集」の課題
第04回	学科別ワーク2	「討議」の課題
第05回	学科別ワーク3	「総括・発表」の課題
第06回	グループ学習2	情報収集のワーク(企画)
第07回	グループ学習3	情報収集のワーク(発表)
第08回	セミナー I b 共通プログラム1	履修取消制度の説明、成績評価の説明
第09回	グループ学習4	情報分析のワーク(企画)
第10回	グループ学習5	情報分析のワーク(発表)
第11回	グループ学習6	問題提起のワーク(企画)
第12回	グループ学習7	問題提起のワーク(発表)
第13回	グループ学習8	自分と仲間の成長のワーク、基礎力自己評価3回目
第14回	セミナー I b 共通プログラム2	自校教育「OIUの学び」、調査への回答
第15回	後期振り返り	まとめ、学修目標の到達状況の確認

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

各回の復習や準備のため毎回3時間ほどの学習が求められる。
またグループ学習やグループワークの発表資料作成のため計15時間ほどを要する。

課題に対するフィードバックの方法

個別面談及びGoogle Classroomなどで課題に関するフィードバックをおこなう。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示すとおり、授業内に実施される課題と、定期試験に代わるレポートの評価結果に基づき総合的に判定のうえ60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	90	課題への取組・活動への参加	1, 2, 3, 4
授業外での評価	0		

定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10	授業内での課題の取り組み・学びの振り返りと学修成果のまとめ	1, 2, 3, 4, 5
その他	0		

テキスト	タクナル
------	------

参考書	各担当教員より参考書に関する指示が示される。
-----	------------------------

履修条件・他の科目との関連	本科目は1年次後期開講の「デジタルリテラシー演習 I」と関連している。
---------------	-------------------------------------

授業コード	10400351	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅡa (課題探究) [対面]				
シラバス執筆(全員)	董 玉テイ				
シラバス執筆(主)	董 玉テイ				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

このセミナーでは、主にアカデミック・ライティングの基礎と社会人の基礎力の養成を中心に進める。

大学生や社会人には、論理的な文章(＝アカデミック・ライティング)を書くことが求められる場面が多い。そのため、前期は主にアカデミック・ライティングの基礎づくりをテーマにする。セミナーでは、論理的な文章を書くうえで基本となる「表現上のルール」から、説得の「根拠」となる「資料」の活用まで取り組んでいく。また、2025年度は、大阪万博の開催を機に、学外学習としてパビリオンの見学を行って予定である。

※ 開講期のはじめとおわりの頃の回に、共通プログラムとして「学修目標の設定、学修目標に達成に関する振り返り」等の講義及び作業を実施する。

到達目標

1. 文章体の表現に慣れること。
2. 資料の調べ方を習得すること。
3. 調べた内容について、その概要をまとめることができること。
4. まとめた概要をプレゼンテーションすることができること。

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：イントロダクション
 内容・方法：各自の自己紹介、セミナーについてのオリエンテーション。
- 【第2回】
 テーマ：アカデミック・ライティングの表現について
 内容・方法：配布資料を読み、表現上のルールを学ぶ。
- 【第3回】
 テーマ：ライブラリーツアー
 内容・方法：図書館やインターネットを利用した調査方法を身につける。
- 【第4回】
 テーマ：資料になじむ
 内容・方法：図書館で調べた資料を活用する。
- 【第5回】
 テーマ：万博の歴史に関する学習
 内容・方法：専門家の先生による授業を実施する。
- 【第6回】
 テーマ：学外学習：万博へ行こう
 内容・方法：大阪万博の現地見学会を実施する。
- 【第7回】
 テーマ：学外学習の振り返り
 内容・方法：大阪万博を見学した感想をプレゼンする。
- 【第8回】
 テーマ：レポートの特徴をつかもう
 内容・方法：レポートには3つの特徴があることを把握する。
- 【第9回】
 テーマ：レポートを書いてみよう①
 内容・方法：学んだ「レポートの特徴」を確認しながら書く練習をする。
- 【第10回】
 テーマ：レポートをチェックし合おう
 内容・方法：学生同士でピア・レスポンス(相互チェック)を通じて学び合う。
- 【第11回】
 テーマ：レポートを書いてみよう②
 内容・方法：資料なしでレポートを書いてみる
- 【第12回】
 テーマ：資料の集め方を学ぶ
 内容・方法：レポートに必要な資料を集めるスキルを身につける
- 【第13回】
 テーマ：資料を読む力(読解力)をつけよう①
 内容・方法：資料のキーワードを見つける、文同士の論理的関係をつかむためのヒントとなる「接続語」の意味・役割を理解する
- 【第14回】
 テーマ：資料を読む力(読解力)をつけよう②
 内容・方法：「接続語」に注目しながら、文と文の「論理的な関係」をつかみ、文章全体の内容を理解する
- 【第15回】

テーマ：資料をまとめる力（要約力）をつけよう
内容・方法：「キーセンテンス」同士をつなげて、要約する力をつける

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

事前、事後学習として、下記の内容について毎回、それぞれ1時間以上の学習が必要。
事前学修課題：与えられた課題について、しっかりと資料などを調べ、読み込むこと。
事後学修課題：自分あるいは他の学生の発表した内容について再確認し、発表時に答えられなかった質問などについて再度調べる。

課題に対するフィードバックの方法

それぞれの調査・発表についてコメントするとともに、補足説明などを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	70	セミナーへの取り組み方や事前準備の出来具合、調査・発表時の態度などによって評価する。	1, 2, 3, 4
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	30	期末レポートの出来栄によって評価をする。	1, 2, 3, 4
その他	0		

テキスト 授業中にプリントを配布する。

参考書 取り上げる内容に応じてセミナーの時に指示する。
『論文・レポートの基本』/石黒 圭 著

履修条件・他の科目との関連

- ・積極的に討論に参加すること。
- ・毎回のレポートをきちんと提出すること。
- ・やむを得ない事情で遅刻したり欠席する場合には、必ず担当教員に連絡すること。
- ・15回の授業のうち、三分の一、つまり5回以上欠席した場合は、単位を取得できない。
- ・同様に、特段の理由のない遅刻・早退は1/2回分の欠席と数えられるため注意すること。

授業コード	10400352	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅡa (課題探究) [対面]				
シラバス執筆(全員)	山下 純				
シラバス執筆(主)	山下 純				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

当セミナーでは、受講生の皆さんがさまざまな分野や領域について自ら問いを立てて課題を探求する力を培うことを最大の目的とする。その基礎的スキルとして、調べる、整理してまとめる、発表する、という社会活動でも役に立つ力を身につける。個人またはグループでの調査、整理、プレゼンテーション等のワークの実践を通じたスキルアップを図る。特にプレゼンテーションは一定のスキル理解と経験を積めば効果的に行えるようになる。受講生の皆さんがその道筋をつける場としたい。グループ発表については、それぞれのグループが自分たちのルールを設定して遵守する意識・習慣を醸成したい。

到達目標

- 1 所定のテーマについて調べ方を身につける。
- 2 調べた内容を整理して、概要をまとめることができる。
- 3 整理してまとめた内容と自分の意見を自分の言葉でプレゼンテーションすることができる。

授業計画

各回のテーマ案は、状況によっては変更する可能性がある。

【第1回】

テーマ：オリエンテーション

内容・方法：各自の自己紹介、セミナーのオリエンテーション

【第2回】

テーマ：プレゼンテーションの基本的なスキル

内容・方法：プレゼンテーションの基本的なスキルについて説明する

【第3回】

テーマ：ユニット1 テーマ案 自分の出身地について

内容・方法：講義・グループワーク

【第4回】

テーマ：ライブラリーツアー

内容・方法：図書館での論文・文献の探し方など

【第5回】

テーマ：ユニット1 個人での発表を実践する

内容・方法：各自が指示されたことを調べて、その内容について発表する。質疑を通じて理解を深める

【第6回】

テーマ：ユニット2 テーマ案 日本の世界遺産について

内容・方法：講義・グループワーク

【第7回】

テーマ：ユニット2 個人での発表を実践する

内容・方法：各自が指示されたことを調べて、その内容について発表する。質疑を通じて理解を深める

【第8回】

テーマ：前半のふりかえり

内容・方法：前半の振り返りと後半の展望を検討する

【第9回】

テーマ：ユニット3 テーマ案 日本の食文化について

内容・方法：講義・グループワーク

【第10回】

テーマ：ユニット3 個人での発表を実践する

内容・方法：各自が指示されたことを調べて、その内容について発表する。質疑を通じて理解を深める

【第11回】

テーマ：ユニット4 テーマ案 日本の企業・会社法人について

内容・方法：講義・グループワーク

【第12回】

テーマ：ユニット4 グループでの発表を実践する

内容・方法：前回決めた発表者が指示されたことを調べて、その内容について発表する。質疑を通じて理解を深める

【第13回】

テーマ：ユニット5 テーマ案 グローバル企業について

内容・方法：講義・グループワーク

【第14回】

テーマ：ユニット5 グループでの発表を実践する

内容・方法：前回決めた発表者が指示されたことを調べて、その内容について発表する。質疑を通じて理解を深める

【第15回】

テーマ：前期の振り返りとまとめ

内容・方法：前期の振り返りとまとめを行ない、後期の学修につなげる

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

- ① 事前学修課題：シラバスを読んで内容を理解する
- ② 事後学修課題：授業の内容を復習する

【第2回】

- ① 事前学修課題：効果的なプレゼンテーションとはどのようなものか調べる
- ② 事後学修課題：効果的なプレゼンテーションを行なうために必要な基本的なスキルについて復習する

【第3回】

- ① 事前学修課題：課題について事前に調べる
- ② 事後学修課題：課題について調べる、整理してまとめる、発表する準備をする

【第4回】

- ① 事前学修課題：ライブラリーツアーで調べたいトピックを考えておく
- ② 事後学修課題：ライブラリーツアーで学んだことを復習する

【第5回】

- ① 事前学修課題：発表する準備を行ない、自分の発表の練習をする
- ② 事後学修課題：自分の発表の良かったところ、改善すべきところなどの振り返りを行なう

【第6回】

- ① 事前学修課題：課題について事前に調べる
- ② 事後学修課題：課題について調べる、整理してまとめる、発表する準備をする

【第7回】

- ① 事前学修課題：発表する準備を行ない、自分の発表の練習をする
- ② 事後学修課題：自分の発表の良かったところ、改善すべきところなどの振り返りを行なう

【第8回】

- ① 事前学修課題：前半の振り返りを行なう
- ② 事後学修課題：前半の振り返りを行ない、後半への展望を検討する

【第9回】

- ① 事前学修課題：課題について事前に調べる
- ② 事後学修課題：課題について調べる、整理してまとめる、発表する準備をする

【第10回】

- ① 事前学修課題：発表する準備を行ない、自分の発表の練習をする
- ② 事後学修課題：自分の発表の良かったところ、改善すべきところなどの振り返りを行なう

【第11回】

- ① 事前学修課題：課題について事前に調べる
- ② 事後学修課題：課題についてグループで調べる、整理してまとめる、発表する準備をする

【第12回】

- ① 事前学修課題：発表する準備を行ない、グループメンバーと発表の練習をする
- ② 事後学修課題：自分のグループの発表の良かったところ、改善すべきところなどの振り返りを行なう

【第13回】

- ① 事前学修課題：課題について事前に調べる
- ② 事後学修課題：課題についてグループで調べる、整理してまとめる、発表する準備をする

【第14回】

- ① 事前学修課題：発表する準備を行ない、グループメンバーと発表の練習をする
- ② 事後学修課題：自分のグループの発表の良かったところ、改善すべきところなどの振り返りを行なう

【第15回】

- ① 事前学修課題：前期の授業全体の振り返りを行なう
- ② 事後学修課題：後期の授業に向けた自分の課題や展望を整理する

課題に対するフィードバックの方法

プレゼンテーションやレポートなどに関して、適宜コメントを行なう。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

発表、発言、クラスへの建設的な貢献 30%

期中のレポート 40%

振り返りのレポート 30%

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	30	発表、発言などクラスへの貢献	1、2、3
授業外での評価	40	期中のレポート	1、2、3
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	30	授業の振り返りについてまとめたものを提出する	1、2、3
その他	0		

テキスト	担当教員がプリント等を用意する。
参考書	授業の中で適宜紹介する。
履修条件・他の科目との関連	授業を欠席した場合は、その回のプリントを次回に渡す。その内容は自分でクラスメートや担当教員に確認する。

授業コード	10400353	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅡ a (課題探究) [対面]				
シラバス執筆(全員)	小瀬木 えりの				
シラバス執筆(主)	小瀬木 えりの				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

1年次のセミナー1a/bに引き続き、大学で必要とされる基礎的学習能力を養い、3年次以降の専門セミナーでの卒業研究を中心とした学習に必要な能力を養う。具体的には、発表（プレゼンテーション）を行うのに必要な、文献や情報収集等の調査、要約、資料作成、口頭での発表、質疑応答のやり方を中心に学ぶ。ただし、大学行事や学部学科の行事、人権教育センターの催事などにより、セミナーの時間が使われ、若干の変更がありうる。その場合には、あらかじめ連絡がある。

※ 開講期のはじめとおわりの頃の回に、共通プログラムとして「学修目標の設定、学修目標に達成に関する振り返り」等の講義及び作業を実施する

到達目標

1. 文献や情報の収集法を学ぶ
2. 文章読解力と適切な要約能力を身につける
3. PPTなどでの発表資料の作成方法と技法を学ぶ
4. 口頭での適切な発表のし方を学ぶ
5. 他者の発表に対して質問やコメントができる集中力・理解力・構想力を身につける
6. 学習の目標設定と実現に向けての自己管理、ふり返りの習慣と能力を身につける

授業計画

- 【第1回】
テーマ：オリエンテーション
内容・方法：セミナー2aのオリエンテーション
- 【第2回】
テーマ：プレゼンテーションとは
内容・方法：自己紹介を通じたプレゼンテーション練習
- 【第3回】
テーマ：様々なプレゼンテーション
内容・方法：プレゼンテーションの種類、目的、手段、方法等について
- 【第4回】
テーマ：情報収集について
内容・方法：情報収集の概念と必要性について
- 【第5回】
テーマ：大学図書館における情報収集
内容・方法：本学図書館のライブラリツアーに参加し、実際に図書館の利用法を学ぶ、またILLで他の機関からの文献収集方法についても学ぶ
- 【第6回】
テーマ：文献表記のルールと方法について
内容・方法：発表資料及び卒業研究における文献リストの作成方法について
- 【第7回】
テーマ：インターネットからの情報収集
内容・方法：インターネットで事項を調べることについて、情報リスト作成方法について
- 【第8回】
テーマ：調査における拡散と収束（情報整理の必要性）
内容・方法：文献及び情報収集における拡散と収束について
- 【第9回】
テーマ：文献と情報の要約
内容・方法：集めた文献や情報を理解し要約する方法について
- 【第10回】
テーマ：発表資料の作成について
内容・方法：発表資料の作成方法について
- 【第11回】
テーマ：発表練習 1
内容・方法：受講者による発表の実践と質疑応答の練習 1
- 【第12回】
テーマ：発表練習 1 2
内容・方法：受講者による発表の実践と質疑応答の練習 2
- 【第13回】
テーマ：発表練習 3
内容・方法：受講者による発表の実践と質疑応答の練習 3
- 【第14回】
テーマ：発表練習 4

内容・方法：受講者による発表の実践と質疑応答の練習 4

【第15回】

テーマ：セミナー2a授業のまとめ

内容・方法：セミナー2aで学んだことの振り返り、夏期休暇中の課題について

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

各回、事前学習は2時間、事後学習は2時間を目安とする。

【第1回】

①事前学修課題：特になし

②事後学修課題：セミナー2aでの学習課題について理解を深める

【第2回】

①事前学修課題：自己紹介のプレゼンテーションの準備をする

②事後学修課題：自己紹介の意味と方法を考え定着させておく

【第3回】

①事前学修課題：プレゼンテーションについて自分なりに調べてくる

②事後学修課題：様々なプレゼンテーションの種類と目的や方法を理解する

【第4回】

①事前学修課題：情報収集について調べておく

②事後学修課題：情報収集の必要性について理解する

【第5回】

①事前学修課題：1年次に行った図書館ツアーで学んだ内容を復習しておく

②事後学修課題：図書館の利用方法についてよく理解しておく

【第6回】

①事前学修課題：文献リストを多くの本で見えておく

②事後学修課題：文献リスト作成方法を理解する

【第7回】

①事前学修課題：インターネットでの検索方法を調べておく

②事後学修課題：インターネットで物事を調べる方法について復習しておく

【第8回】

①事前学修課題：特になし

②事後学修課題：文献収集における拡散と収束について理解する

【第9回】

①事前学修課題：文献要約について調べて予習しておく

②事後学修課題：文献の要約方法と技術について理解を深める

【第10回】

①事前学修課題：発表について調べておく

②事後学修課題：発表資料の作成方法についてよく理解しておく

【第11回】

①事前学修課題：文献リストの必要性を理解する。

②事後学修課題：文献リストの作成に必要な情報を理解する。

【第12回】

①事前学修課題：発表準備をする

②事後学修課題：行った発表と質疑応答についての振り返り

【第13回】

①事前学修課題：発表準備をする

②事後学修課題：行った発表と質疑応答についての振り返り

【第14回】

①事前学修課題：発表準備をする

②事後学修課題：行った発表と質疑応答についての振り返り

【第15回】

①事前学修課題：セミナー2aの最初に立てた目標の達成度についての振り返り

②事後学修課題：セミナー2aで学んだことの振り返り学習、夏期休暇中の課題への取り組み

課題に対するフィードバックの方法

プレゼンテーションなどに関して、授業時に適宜、コメントを通じておこなう。この他に、必要に応じてgoogle classroomやメール等で、担当者から受講者に対して個別に提出期限前のコメントやアドバイスを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。セミナー2aは、原則としてほぼ毎回授業に出席することが単位認定の基本的な条件となる。公欠や公共交通機関の遅延や運行停止などの受講者の責に帰せられない事情、客観的なエビデンスを提示できる病気や怪我によるやむを得ない欠席、また特別配慮願などにより配慮される必要のある特例を除き、全授業回の2/3以上に出席しない場合は単位不認定となる。なお、前記の理由に該当しない自己都合による遅刻は2回で欠席1回に該当するものと見なされるため注意すること。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	75	課題への取り組み(15)、質問やコメントなどでのディスカッション	1, 2, 3, 4, 5, 6

		シオンへの参加(30)、授業に必要なPC等のツールや資料を忘れずに用意できているかどうか(15)、発表(15)	
授業外での評価	20	提出課題の調べもの作成、期限に間に合って提出できるかどうか(10)、PPTでの発表資料の準備・作成、期限に間に合って提出できるかどうか(10)	1, 2, 3, 6
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	5	15回の全授業終了後に期限までに提出するレポート	6
その他	0		

テキスト	テキストは使用しない、必要に応じてプリントを配付する
------	----------------------------

参考書	参考書：必要に応じて授業時に紹介する
-----	--------------------

履修条件・他の科目との関連	セミナー2aとセミナー2bは連続している。やむを得ず遅刻や欠席をする場合は必ず事前に連絡すること。また、常に適切なタイミングでの報連相を心がけること。この科目はBYOD対応であるため、毎回、大学推奨以上のスペックを備えたPCを持参して授業に臨むこと。PCを用いないスマホでの受講は原則として認めない。また、スマホで課題を作成・提出しようとした場合の不都合はすべて自己責任として配慮されないため注意すること。
---------------	---

授業コード	10400354	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅡ a (課題探究) [対面]				
シラバス執筆(全員)	O. J. クロー				
シラバス執筆(主)	O. J. クロー				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

This seminar will mainly build knowledge of global issues and English communication ability. All students are expected to participate actively in researching, discussing, and presenting on each topic introduced. Each of the four skills (reading, writing, listening, and speaking) will be used in this course. このセミナーでは、主にグローバル社会問題に関する知識と英語のコミュニケーション能力を養います。受講生は全員、紹介された各トピックについて、リサーチ、ディスカッション、プレゼンテーションに積極的に参加することが期待されています。このコースでは、4つのスキル(読む、書く、聞く、話す)のそれぞれが使用されます。

※ 開講期のはじめとおわりの頃の回に、共通プログラムとして「学修目標の設定、学修目標に達成に関する振り返り」等の講義及び作業を実施する

到達目標

1. Build understanding of current global issues
2. Expose students to various topics and global issues
3. Develop presentation skills
4. Further enhance writing skills through summaries and note-taking

授業計画

- 【第1回】
テーマ: Orientation・The Cashless Society (1)
内容・方法: Course introduction, Ice-breaker Activity, Get Ready, Vocabulary
- 【第2回】
テーマ: The Cashless Society (2)
内容・方法: Listening, Conversation, Discussion, Review
- 【第3回】
テーマ: Fast Fashion (1)
内容・方法: Get Ready, Vocabulary, Listening
- 【第4回】
テーマ: Fast Fashion (2)
内容・方法: Conversation, Discussion, Review
- 【第5回】
テーマ: Week 5 Assessment
内容・方法: Preparation, Discussion, Presentation
- 【第6回】
テーマ: Plastic Packaging (1)
内容・方法: Course introduction, Get Ready, Vocabulary
- 【第7回】
テーマ: Plastic Packaging (2)
内容・方法: Listening, Conversation, Discussion, Review
- 【第8回】
テーマ: Cell Phone Etiquette (1)
内容・方法: Get Ready, Vocabulary, Listening
- 【第9回】
テーマ: Cell Phone Etiquette (2)
内容・方法: Conversation, Discussion, Review
- 【第10回】
テーマ: Week 10 Assessment
内容・方法: Preparation, Discussion, Presentation
- 【第11回】
テーマ: Vegetarianism (1)
内容・方法: Course introduction, Get Ready, Vocabulary
- 【第12回】
テーマ: Vegetarianism (2)
内容・方法: Listening, Conversation, Discussion, Review
- 【第13回】
テーマ: Social Media (1)
内容・方法: Get Ready, Vocabulary, Listening
- 【第14回】
テーマ: Social Media (2)
内容・方法: Conversation, Discussion, Review
- 【第15回】

テーマ: Week 15 Assessment
内容・方法: Review Units 1-6, Review Test

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

- ①事前学修課題: Bring materials to study
- ②事後学修課題: Register for Google Classroom

【第2回】

- ①事前学修課題: Preview class content
- ②事後学修課題: Review class content, Complete worksheet

【第3回】

- ①事前学修課題: Preview class content
- ②事後学修課題: Review class content

【第4回】

- ①事前学修課題: Preview class content
- ②事後学修課題: Review class content, Complete worksheet

【第5回】

- ①事前学修課題: Prepare presentation
- ②事後学修課題: Preview next class content

【第6回】

- ①事前学修課題: Preview class content
- ②事後学修課題: Review class content

【第7回】

- ①事前学修課題: Preview class content
- ②事後学修課題: Review class content, Complete worksheet

【第8回】

- ①事前学修課題: Preview class content
- ②事後学修課題: Review class content

【第9回】

- ①事前学修課題: Preview class content
- ②事後学修課題: Review class content, Complete worksheet

【第10回】

- ①事前学修課題: Prepare presentation
- ②事後学修課題: Preview next class content

【第11回】

- ①事前学修課題: Prepare presentation
- ②事後学修課題: Preview next class content

【第12回】

- ①事前学修課題: Preview class content
- ②事後学修課題: Review class content, Complete worksheet

【第13回】

- ①事前学修課題: Preview class content
- ②事後学修課題: Review class content

【第14回】

- ①事前学修課題: Preview class content
- ②事後学修課題: Review class content, Complete worksheet

【第15回】

- ①事前学修課題: Review class content
- ②事後学修課題: Review topics over the summer, Complete worksheet

課題に対するフィードバックの方法

Feedback on assignments will be provided regularly via instructor comments on Google Classroom. Your overall grade will also be visible on Google Classroom to check at any time. Overall feedback on course progress will be provided at midterm (8th class) and before the end of the term (14th class).

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on participation during in-class discussion, research activities, group reports & presentations, and a final term report. Students with marks of 60 or more will pass and get credit for the course. If a student is absent more than 4 times without a valid excuse, a [K] will be awarded.

以下に示す通り、成績は授業中の議論やグループレポート・発表、研究課題、そして期末レポートの結果に基づく総合的な評価により決定される。60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。正当な理由のない欠席が4回を超える場合は、「K」評価（不合格）とする。

成績評価の種類

評価割合
(%)

評価方法・割合

評価対象となる到達目標

授業内での評価	50	Class participation and attitude (20), Presentation 1 (15), Presentation 2 (15)	1, 2
授業外での評価	20	Review Worksheets (10), Presentation Preparation (10)	3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	30	Review Test (15), Final report (15)	3, 4
その他	0		

テキスト	Google Classroom プリントを配布する		
------	-------------------------------	--	--

参考書			
-----	--	--	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>		
---------------	--	--	--

授業コード	10400361	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅡa (課題探究) [対面]				
シラバス執筆(全員)	韓 尚秀				
シラバス執筆(主)	韓 尚秀				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

経営学を基礎としながらも、経済学、情報学、政治学、法学など幅広い分野におけるビジネスに関するテーマを掲げ、問題解決のための情報の収集および調査方法に関する能力を身に付ける。また、研究テーマに関する的確な文献及び資料を検索でき、それらの文献資料等を科学的根拠に基づいてレポートできることが求められる。

※ 開講期のはじめとおわりの頃の回に、共通プログラムとして「学修目標の設定、学修目標に達成に関する振り返り」等の講義及び作業を実施する

到達目標

- ①研究テーマに関する的確な文献及び資料を検索でき、それらの文献資料等を科学的根拠に基づいてレポートできることが求められる。
- ②シミュレーションゲームを通じて、多様なビジネスモデルを体験すると同時に、特にコンテンツ関連など新しいビジネスモデルの提案及びルール作成を試みる。ベンチャーなど起業を目指している学生を歓迎する。

授業計画

- 【第1回】
テーマ：ガイダンス
内容・方法：年間予定の詳細・自己紹介など
- 【第2回】
テーマ：(共通) 自己発見レポート
内容・方法：(共通) レポートを作成する
- 【第3回】
テーマ：(共通) SPI模試
内容・方法：言語と非言語分野を実施する
- 【第4回】
テーマ：シミュレーションゲームのルール学習(営業1)
内容・方法：シミュレーションゲームのルールを学習する。
- 【第5回】
テーマ：シミュレーションゲームのルール学習(営業2)
内容・方法：シミュレーションゲームのルールを学習する。
- 【第6回】
テーマ：シミュレーションゲームのルール学習(生産1)
内容・方法：シミュレーションゲームのルールを学習する。
- 【第7回】
テーマ：(合同) 自己発見レポート結果報告
内容・方法：(合同) 4月に実施したレポートの個々の結果を配布
- 【第8回】
テーマ：シミュレーションゲームのルール学習(生産2)
内容・方法：シミュレーションゲームのルールを学習する。
- 【第9回】
テーマ：シミュレーションゲームのルール学習(財務1)
内容・方法：シミュレーションゲームのルールを学習する。
- 【第10回】
テーマ：シミュレーションゲームのルール学習(財務2)
内容・方法：シミュレーションゲームのルールを学習する。
- 【第11回】
テーマ：(合同) 人権に関する映画鑑賞会
内容・方法：(合同) 映像により人権の意味を考える
- 【第12回】
テーマ：(共通) 今後のキャリアを考える
内容・方法：(共通) 就職部より情報を得て今後のキャリアを考える
- 【第13回】
テーマ：シミュレーションゲームのルール学習(練習ゲーム1)
内容・方法：シミュレーションゲームのルールを学習する。
- 【第14回】
テーマ：シミュレーションゲームのルール学習(練習ゲーム2)
内容・方法：シミュレーションゲームのルールを学習する。
- 【第15回】
テーマ：まとめ
内容・方法：まとめ

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

- ①事前学修課題：シラバスを読む。2時間
- ②事後学修課題：年間予定からスケジュール調整。2時間

【第2回】

- ①事前学修課題：過去に実施した自己発見レポートの結果を確認しておく。2時間
- ②事後学修課題：授業中に配布された資料を再読する。2時間

【第3回】

- ①事前学修課題：SPIの意義について確認しておく。2時間
- ②事後学修課題：模試の問題を見直す。2時間

【第4回】

- ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
- ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間

【第5回】

- ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
- ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間

【第6回】

- ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
- ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間

【第7回】

- ①事前学修課題：過去に実施した自己発見レポートの結果を確認しておく。2時間
- ②事後学修課題：今回の自己発見レポートの結果を過去の結果と比較検討する。2時間

【第8回】

- ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
- ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間

【第9回】

- ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
- ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間

【第10回】

- ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
- ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間

【第11回】

- ①事前学修課題：4月に配布された人権に関するリーフレットを再読する。2時間
- ②事後学修課題：映画の内容を振り返る。2時間

【第12回】

- ①事前学修課題：キャリアの意味を再確認しておく。2時間
- ②事後学修課題：自分自身の今後の将来を考える。2時間

【第13回】

- ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
- ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間

【第14回】

- ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
- ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間

【第15回】

- ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
- ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間

課題に対するフィードバックの方法

Google Classのレポート機能を活用する。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

平常点 30%・レポート課題30%・授業内試験 0%・期末試験 20%・その他 タイピング20%評価を義務付ける。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	30	平常点	1, 2
授業外での評価	30	レポート点	1
定期試験	0	なし	
定期試験に代わるレポート等	20	期末レポート点	1, 2
その他	20	タイピング点	1, 2

テキスト プリントを配布する。

参考書 『コンピュータの利用の経営シミュレーション研修Gom21(Ver-3)コンピュータの利用の経営シミュレーション研修Gom21(Ver-3)』 ¥2000

履修条件・他の科目との関連

意欲的に取り組み、予習復習を行うこと。

授業コード	10400362	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅡa (課題探究) [対面]				
シラバス執筆(全員)	長谷川 順一郎				
シラバス執筆(主)	長谷川 順一郎				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

観光ホスピタリティに関する基礎知識を身に付けつつ、発表、討議の方法について学修します。特に、観光ホスピタリティに関連する新聞記事を探し、精読し、関連した事項についても調べます。そして、それらをパワーポイント等にて発表し、その発表をもとに皆で討議します。

※ 開講期のはじめとおわりの頃の回に、共通プログラムとして「学修目標の設定、学修目標に達成に関する振り返り」等の講義及び作業を実施します。

到達目標

1. 観光ホスピタリティに関する情報や文献を収集し、それをもとに調べ、論点を整理できるようになります。
2. レジюмеやパワーポイントを作成し発表が行えるようになります。また、討議にしっかりと参加できるようになります。

授業計画

- 【第1回】
 テーマ： ガイダンス
 内容： 授業の目標、課題、受講上の注意等について説明する。
- 【第2回】
 テーマ： 卒業後の目標の発表
 内容： 目標設定の大切さを学び、その内容を踏まえて発表を行う。
- 【第3回】
 テーマ： ライブラリーツアー
 内容： 図書館の活用方法について学ぶ。
- 【第4回】
 テーマ： 関心のある観光地または出身地についての発表①
 内容： 興味・関心のある観光地等について調べ、発表する。それをもとに討議する。
- 【第5回】
 テーマ： 関心のある観光地または出身地についての発表②
 内容： 興味・関心のある観光地等について調べ、発表する。それをもとに討議する。
- 【第6回】
 テーマ： 関心のある観光地または出身地についての発表③
 内容： 興味・関心のある観光地等について調べ、発表する。それをもとに討議する。
- 【第7回】
 テーマ： 関心のある観光地または出身地についての発表④
 内容： 興味・関心のある観光地等について調べ、発表する。それをもとに討議する。
- 【第8回】
 テーマ： 観光ホスピタリティに関する新聞記事についての発表①
 内容： 自分が興味を持った新聞記事について考察し、調べ、論点を整理して発表する。それをもとに討議する。
- 【第9回】
 テーマ： 観光ホスピタリティに関する新聞記事についての発表②
 内容： 自分が興味を持った新聞記事について考察し、調べ、論点を整理して発表する。それをもとに討議する。
- 【第10回】
 テーマ： 観光ホスピタリティに関する新聞記事についての発表③
 内容： 自分が興味を持った新聞記事について考察し、調べ、論点を整理して発表する。それをもとに討議する。
- 【第11回】
 テーマ： 観光ホスピタリティに関する新聞記事についての発表④
 内容： 自分が興味を持った新聞記事について考察し、調べ、論点を整理して発表する。それをもとに討議する。
- 【第12回】
 テーマ： 学術論文作成の準備①
 内容： 学術論文作成のための基礎知識を学ぶ。
- 【第13回】
 テーマ： 学術論文作成の準備②
 内容： 学術論文作成のための基礎知識を学ぶ。
- 【第14回】
 テーマ： 学術論文作成の準備③
 内容： 学術論文作成のための基礎知識を学ぶ。
- 【第15回】
 テーマ： 総括
 内容： これまでの授業内容を総括する。夏季休業中の課題を提示する。

* 授業計画はクラスの状況、授業の進行状況によって変更することがあります。あらかじめご理解ください。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。本授業は2単位科目ですので、事前事後の学修としては、週あたり4時間必要となります。授業中に解説されたことはもちろん、授業を通じて気づいたこと、確認したいことなどをめれなくノートに記します。それをもとにした復習と、指示された課題（配布物の精読が中心となります）を含めた予習をしっかりと行います。そして、学んだこと、調べたことなどを常に整理し、意見発信できるよう準備することが大切です。

課題に対するフィードバックの方法

発表、討議後は講評を行います。提出物については随時講評を行います。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となります。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価となります。

中間（第8回を予定）、期末にレポートが課されます。授業への参加度、予習、復習など、自身の取り組みについての「自己評価」が含まれます。この「自己評価」が期限までに提出されない場合、「K」評価となります。総授業回数の1/3以上欠席した場合、また、連続3回欠席した場合も、成績評価の対象とならず「K」評価となります。授業は定刻に開始します。遅刻2回で1回分の欠席扱いとします。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	発表・報告	1, 2
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	50	中間および期末レポート	1
その他	0		

テキスト 特指定しません。適宜プリントを配布します。

参考書 特指定しません。

履修条件・他の科目との関連 毎回出席し授業に参加することが単位認定の基本的な条件となります。冠婚葬祭等でやむを得ず欠席する場合は、必ず事前に連絡してください。セミナーIIaとセミナーIIbは連続しています。
第1回の授業にて受講に関する重要な説明を行いますので必ず出席してください。いずれの授業回においても、理由のいかんに関わらず欠席した場合は、本授業の履修者(複数)に授業内容を聞いてください。配布物は複写させてもらい、課題にも取り組んでください。講義時間は厳守とします。

授業コード	10400363	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅡ a (課題探究) [対面]				
シラバス執筆(全員)	森田 浩司				
シラバス執筆(主)	森田 浩司				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

2年次前期で、3年次以降の専門セミナーでの活動や卒業研究を中心とした学習で必要とされる基礎的学習能力「アカデミックスキル」を養うことを目的とする。
 また、2年次後期には3年次以降の専門セミナーの選択が行われるため、それまでに自身の3年次以降の学修・研究の専門分野や将来の方向性を定めていくための取り組みも行う。
 あわせて、3年次以降のセミナー活動や就職活動で求められる「マナーや常識をはじめとした社会人基礎力」を養成する。

※ 開講期のはじめとおわりの頃の回に、共通プログラムとして「学修目標の設定、学修目標に達成に関する振り返り」等の講義及び作業を実施する

到達目標

- 3年次以降の専門セミナーでの活動や卒業研究を中心とした学習で必要とされる基礎的学習能力「アカデミックスキル」を習得し活用出来るようになる
- 自身の3年次以降の学修・研究の専門分野や将来の方向性を定め、説明・発表出来るようになる
- 3年次以降のセミナー活動や就職活動で求められる「マナーや常識をはじめとした社会人基礎力」が身につくようになる

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：オリエンテーション
 内容・方法：授業の目的、目標、ルール、評価基準等の説明、大学セミナーⅡ共通プログラムの実施、レポート課題
- 【第2回】
 テーマ：自己紹介、レポート課題講評、メール作成スキル、ノートテイキングスキル
 内容・方法：自己紹介、第1回の課題の講評の概説、メール作成スキル、ノートテイキングスキルに関する講義・演習
- 【第3回】
 テーマ：大学図書館における情報収集（ライブラリツアー）*
 内容・方法：本学図書館のライブラリツアーに参加し、実際に図書館の利用法を学ぶ
- 【第4回】
 テーマ：レポートとは、レポート作成演習1
 内容・方法：レポートとは何か、レポートの構成、型、作成方法と注意点等の説明と、与えられた課題に対するレポートの作成演習
- 【第5回】
 テーマ：文献表記のルールと方法1
 内容・方法：文献表記のルールの学修と引用表記についての講義と演習
- 【第6回】
 テーマ：文献表記のルールと方法2
 内容・方法：参考文献リストについての講義と演習
- 【第7回】
 テーマ：文献表記のルールと方法3
 内容・方法：文献表記のルール、引用表記、参考文献リストについての総復習と演習
- 【第8回】
 テーマ：文献と情報の要約、レポート作成演習2についての説明
 内容・方法：集めた文献や情報を理解し要約する方法の講義と演習、レポート作成演習2についての説明
- 【第9回】
 テーマ：レポート作成演習2
 内容・方法：与えられた課題に対するレポートの作成
- 【第10回】
 テーマ：プレゼンテーションスキル
 内容・方法：プレゼンテーションの種類、目的、手段、方法等について講義・演習
- 【第11回】
 テーマ：プレゼンテーションスキルの復習と発表資料作成方法
 内容・方法：発表練習に備えたプレゼンテーションスキルの復習と発表資料の作成方法について講義・演習
- 【第12回】
 テーマ：発表資料の作成
 内容・方法：発表練習に向けての自身の発表資料の作成
- 【第13回】
 テーマ：発表練習1
 内容・方法：受講者による発表の実践と質疑応答の演習1

【第14回】

テーマ：発表練習 2

内容・方法：受講者による発表の実践と質疑応答の演習 2

【第15回】

テーマ：自身の学修・研究の専門分野や将来の方向性の検討、大学セミナーⅡ共通プログラムの実施、課題の説明

内容・方法：国際観光学科での学びの説明、自身の研究の専門分野将来の方向性の検討、大学セミナーⅡ共通プログラムの実施

定期試験に代わるレポートと夏期休暇課題についての説明

*第3回 大学図書館における情報収集（ライブラリーツアー）については予定です。図書館と学部内各セミナーとの実施回の割り当て上の都合等により実施回が変更になる場合がある。

※大学や学部学科の行事、合同セミナーの実施、学生の学修の進捗状況等により、授業計画が変更になる可能性がある。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

各自、各回の授業内容の復習、課題の作成、次回授業までに行うよう指示された内容、その他次回授業に必要な情報の収集などの準備を、自らで考え主体的に行うこと

課題に対するフィードバックの方法

演習、提出物、発表、ディスカッション後に、適宜、講評やアドバイス、指導を行っていく

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

・主体的で積極的なゼミへの参加を最大の評価基準とし、ゼミへの貢献度、成果物やディスカッション・発表の内容、定期試験に代わるレポート、社会人基礎力の到達度合を踏まえて、総合的に判定して評価する。
 (欠席・遅刻の頻発、居眠りの過多、不適切な受講態度などは、「主体的で積極的なゼミへの参加」部分に影響することとなるので、十分理解して取り組むこと)

・3年次以降のセミナー活動や就職活動で求められる「マナーや常識をはじめとした社会人基礎力」を要求した授業進行や評価を行う。

・教員が認めた正当な理由がない欠席の回数が、全授業回の3分の1を超過した場合は、「K」評価となり、単位を取得できない
 (公欠などがなく通常の15回の受講機会の場合、教員が認めない欠席が6回となった時点で「K」評価となる)

・同じような指導・注意を複数回行なっても繰り返す場合、改善の意思や対応する社会人基礎力がないと判断して、著しく評価を下げることになるので、十分に注意して取り組むこと

・セミナーⅡの単位取得が3年次に進級するための必須要件となっており、セミナーⅡの単位が取れないと留年となって、4年間で大学卒業が出来なくなるので、十分に注意して取り組むこと

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	0		
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10	第15回のセミナーを終了した後に期限までに提出するレポートの内容	1, 2, 3
その他	90	・セミナー時間内外での主体的で積極的なゼミ活動への取組状況・円滑なゼミ活動のための貢献度(50) ・セミナー時間内外の活動での成果物やディスカッション・発表の内容(30) ・社会人基礎力の到達度合(10)	1, 2, 3

テキスト テキストは使用しない。必要に応じて資料を配付する

参考書 必要に応じて適宜紹介する

履修条件・他の科目との関連
 ・ゼミへの毎回の定時出席、授業内ルールの遵守は当然の条件となる
 (授業内ルールを守らない行為、主体的に前向きに学ぶ学生の学びの妨げになる行為を行った場合は単位取得不可となり、4年では卒業出来なくなって卒業年次が遅れることになる)
 ・欠席学生はGoogle Classroom 授業ページ内に掲載の授業資料を確認すること。

授業コード	10400364	授業形態	演習	実務家教員	<input type="radio"/>
授業科目名	セミナーⅡ a (課題探究) [対面]				
シラバス執筆(全員)	杉寄 聡紀				
シラバス執筆(主)	杉寄 聡紀				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

- ・自らの力で課題を設定・深掘りし、アウトプットすることを通じて物事を多面的に捉える力を養う。
- ・卒業後の就職や起業などを見据え、社会人として必要となる基礎的な能力やルールについて身につける。
- ・担当教員がテーマパーク運営会社(合同会社ユー・エス・ジェイ)において立ち上げから19年にわたり、「テーマパーク運營業務」に従事してきた経験をもとに、実務家教員としてテーマパーク業界を事例として解説を行うが、その他業界の事例研究や探究を妨げるものではない。
- ・発案・発言を必要とするグループワーク・プレゼンテーション、対話・対論などを組み合わせて進めていく。
- ・必要に応じてゲストスピーカーをお招きし、プロフェッショナル視点での解説や考えについて学ぶ機会を設ける。

※行事や合同セミナーの実施、学修の進捗状況、セミナー内での相談等により、授業計画が変更になる可能性がある。

到達目標

1. 調査・研究について理解するとともに、自身が取り組むテーマや興味関心のある事柄について説明することができる
2. 業界研究を通じその業界を理解し、説明することができる
3. プレゼンテーションを通じて、自身の考えを正確に伝えることができる

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：ガイダンス・オリエンテーション及び全学共通プログラムの実施
 内容：全15回の進め方・内容、到達目標、ルール、評価基準等の説明。セミナー運営方法について全員で相談し、セミナーとしての目標を設定する。また、全学共通プログラムとして学修目標の設定(マイステップ入力)を行う。
- 【第2回】
 テーマ：自己紹介・「伝わる伝え方」について考える、キャリアプランを考える
 内容：プレゼンテーション形式で自己もしくは他己紹介を行い、「伝えなかったこと」「伝わったこと」を分析し、伝わるプレゼンテーションについて考える。また1年次を振り返り、これからのキャンパスライフ、キャリアプランについてディスカッションし、プランを策定する
- 【第3回】
 テーマ：ワークショップ
 複数グループに分かれて、1つの課題に向かって取り組む
- 【第4回】
 分析&プレゼンテーション(1) 「好きなもの」
 内容：自身の興味あるもの、好きなものについて調べ、ディスカッションを行う
- 【第5回】
 分析&プレゼンテーション(2) 「商品研究」
 内容：興味ある商品について調べ、プレゼンテーションを行う
- 【第6回】
 テーマ：調査・研究方法(1) 情報収集の方法(ライブラリーツアー)
 内容・方法：図書館のライブラリーツアーに参加し、情報収集・探索の方法を知る
- 【第7回】
 テーマ：調査・研究方法(2) 調査・情報収集実践
 内容・方法：図書館やオンラインデータベースにて文献探索を行い、対象業界についてまとめる準備をする
- 【第8回】
 テーマ：業界研究(1) プレゼンテーション準備
 内容・方法：プレゼンテーションの方法や内容について考え、次週のプレゼンテーションに向けて準備を行う
- 【第9回】
 テーマ：業界研究(2) プレゼンテーション
 内容：興味ある業界について発表する
- 【第10回】
 テーマ：前半のまとめと後半に向けて・感想文・レポート・卒業論文について考える
 内容・方法：前半を振り返り、後半の計画を行う。また、違いを理解し、書く力と考え方を身につける時間とする
- 【第11回】
 テーマ：研究テーマについて考える
 内容・方法：もしくは調査・研究を理解し、テーマを決める。業界研究をブラッシュアップするもしくは、3年次に取り組みたいと思うテーマについて考える。
- 【第12回】
 テーマ：研究テーマ発表に向けた準備
 内容・方法：プレゼンテーションに向けた調査や準備

- 【第13回】
 テーマ：研究テーマについてのプレゼンテーション
 内容・方法：研究テーマを発表する
- 【第14回】
 テーマ：研究テーマについてのプレゼンテーション
 内容・方法：研究テーマを発表する
- 【第15回】
 テーマ：学修目標達成に関する振り返りと夏期課題の確認
 内容・方法：全15回を振り返り、夏期休業中の課題について確認する

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

- 【第1回】
 事前学習課題：シラバスを読んで内容を理解する
 事後学習課題：授業内容を復習しまとめる
- 【第2回】
 事前学習課題：自己紹介の内容を考え、まとめておく。また今までの大学生活を振り返り、今後のプランを考えておく。
 事後学習課題：プレゼンテーションの良かったところ、改善すべきところなどの振り返りを行なう
- 【第3回】
 事前学習課題：協力して作業が進められるよう、コミュニケーションについて考える
 事後学習課題：ワークショップを振り返り、キャリアプランについて考える
- 【第4回】
 事前学習課題：必要な情報をWEBなどで収集する
 事後学習課題：授業内容を復習しまとめる
- 【第5回】・【第8回】・【第9回】
 事前学習課題：必要な情報を集めプレゼンテーションの準備をしておく
 事後学習課題：プレゼンテーションの良かったところ、改善すべきところなどの振り返りを行なう
- 【第6回】
 事前学習課題：ライブラリツアーで調べたいトピックを考えておく
 事後学習課題：ライブラリツアーで学んだことを復習する
- 【第7回】
 事前学習課題：図書館で調べたい内容を考えておく
 事後学習課題：ライブラリツアーで学んだことを復習する
- 【第10回】
 事前学習課題：前半を振り返る
 事後学習課題：後半に向けた準備をする
- 【第10回】
 事前学習課題：感想文・レポート・卒業論文の違いについて調べておく
 事後学習課題：授業内容を復習しまとめる
- 【第11回】
 事前学習課題：興味のある分野について考えておく
 事後学習課題：授業内容を復習しまとめる
- 【第12回】
 事前学習課題：興味のある分野について考えておく
 事後学習課題：発表に向けた準備を進める
- 【第13回】・【第14回】
 事前学習課題：発表の準備をしておく
 事後学習課題：発表を振り返り、不足する部分があれば調べておくこと
- 【第15回】
 事前学習課題：前期を振り返り不明点がないか確認しておくこと
 事後学習課題：前期のまとめと、夏期課題について準備をすること

課題に対するフィードバックの方法

プレゼンテーションやレポートなどに関して、適宜コメントやフィードバックを行う

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

課題やプレゼンテーションへの積極的な取り組みを重視し、評価します。受け身ではなく、積極的にセミナーに参加するようにしてください。
 以下に示す評価方法により総合的に判定の上、60点以上を合格とし所定の単位を認定する。なお、正当な理由なく全授業回数の3分の1以上(5回以上)欠席した場合は「K」評価とする。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	70	プレゼンテーションの内容(30)・プレゼンテーションのパフォーマンス(30)・課題への取り組み姿勢(10)	1, 2, 3
授業外での評価	0		

定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	レポート課題	1
その他	10	授業内における発言や取組姿勢	1, 2, 3

テキスト	テキストは使用せず、Google Classroomに資料をセミナー終了後に投稿する。(投稿がない場合もある)
------	---

参考書	<p>購入の必要はありません。必要に応じて各自で購入を判断してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎からわかる 論文の書き方 (小熊 英二/講談社) ・社会科学系論文の書き方 (明石芳彦/ミネルヴァ書房) ・文献レビューのきほん—看護研究・看護実践の質を高める (大木 秀一/医歯薬出版) ・テーマパーク・アミューズメント事業 知っておきたい最新トレンドと成功の秘訣 (清水群・杉崎聡紀/セルバ出版)
-----	---

履修条件・他の科目との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・アクティブラーニング(聞くだけではなく、能動的に学修する)&グループワークを中心に進めますので、主体的で積極的な参加が必要です ・遅刻はほかの学生にも迷惑がかかります。特段の理由がない限り、遅刻することなく積極的に毎回講義に参画するようにしてください ・授業内ルールを守らない行為、主体的に前向きに学ぶ学生の学びの妨げになる行為を行った場合は、単位取得不可とします ・3年次以降のセミナー活動や就職活動で求められるマナーや常識、言葉遣い、時間や期限の遵守など社会人基礎力を要求した授業進行や評価を行います ・セミナーに関する連絡や資料の共有、課題の提出は Google Classroomを使用します。PC(推奨)やスマートフォンで閲覧・回答することを前提に準備をお願いします ・欠席した場合は、Google Classroomに投稿する資料を確認すること(資料の投稿がない場合もある)
---------------	---

授業コード	10400365	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅡa (課題探究) [対面]				
シラバス執筆(全員)	辻 有美子				
シラバス執筆(主)	辻 有美子				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

1. 大学で観光学を学ぶ基礎力を身につける
2. レポート・論文の書き方
3. プレゼンテーション演習

到達目標

1. 論文作成に向けた情報収集やデータ分析について学ぶ
2. 優れた日本語表現を身につける
3. レジюмеやスライドを作成し、プレゼンテーションを行う

授業計画

- 【第1回】テーマ：セミナーオリエンテーション
内容・方法：大学での学びやセミナーへの心構えについて講義する。
- 【第2回】テーマ：情報リテラシー
内容・方法：SNSへの関わり、インターネットリテラシーについて学ぶ。
- 【第3回】テーマ：ライブラリーツアー
内容・方法：図書館の司書による図書館の活用方法についての講義を聞く。
- 【第4回】テーマ：文献収集の方法
内容・方法：文献の種類と収集方法、情報プラットフォームなどについて学ぶ。
- 【第5回】テーマ：論文・レポートの書き方と引用の方法
内容・方法：論文の基本的な構造を理解する。また論文やレポートでの引用の方法を学ぶ。
- 【第6回】テーマ：日本語表現の演習①
内容・方法：話し言葉と書き言葉、敬語など日本語表現の基礎ワークシートに取り組む。
- 【第7回】テーマ：日本語表現の演習②
内容・方法：文章構成についてワークシートに取り組む。
- 【第8回】テーマ：日本語表現の演習③
内容・方法：時事問題など新聞記事の要約を行う。
- 【第9回】テーマ：論点を見つける
内容・方法：ディベートを行い、視点・論点の幅を広げる。
- 【第10回】テーマ：研究テーマの決め方
内容・方法：卒業論文に向けてどのようにテーマを設定するかを講義する。
- 【第11回】テーマ：学術論文作成のための基礎知識
内容・方法：論文作成、アカデミックライティングについて学ぶ。
- 【第12回】テーマ：効果的なプレゼンテーション
内容・方法：効果的なプレゼンテーションについて学ぶ。
- 【第13回】テーマ：プレゼンテーション①
内容・方法：観光関連のテーマに沿った内容を調べ発表する。
- 【第14回】テーマ：プレゼンテーション②
内容・方法：観光関連のテーマに沿った内容を調べ発表する。
- 【第15回】テーマ：前期のまとめ
内容・方法：これまでの復習

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。
授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。
授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり70時間が必要です。

課題に対するフィードバックの方法

授業内で課題を分析し、指導する

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

計画的に研究を進めているか
授業内のワークに真摯に取り組んでいるか
自ら調査・文献研究をおこなっているか

評価については、積極的、また継続的な研究姿勢を重要視する

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	70	プレゼンテーションの内容 40 プレゼンテーション パフォーマンス 30	1,2,3
授業外での評価	10	レポート課題	1,2
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10		
その他	10	課題への取り組み姿勢	1,2,3

テキスト 適宜、資料やプリントを配布

参考書 佐藤望編著(2020)『アカデミック・スキルズ(第3版) —大学生のための知的技法入門』慶應義塾大学出版会
佐藤郁哉(2024)『リサーチ・クエスチョンとは何か？(ちくま新書1826)』筑摩書房

履修条件・他の科目との関連 レポート提出、課題発表を正統な理由なく、延期または中止した場合 ならびに 学外研修を正統な理由なく欠席した場合など、受講態度によっては単位取得は困難となる。

授業コード	10400451	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅡb (課題探究) [対面]				
シラバス執筆(全員)	董 玉テイ				
シラバス執筆(主)	董 玉テイ				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

このセミナーでは、主にアカデミック・ライティングの基礎と社会人の基礎力の養成を中心に進める。

大学生は、これから社会人として多様な人々と関わりながら生きていくため、社会人基礎力を身につけることが重要である。授業では、経済産業省が提唱する「社会人基礎力3つの能力12の能力要素」の定義に基づき、様々な事例を通してチームディスカッションを取り入れながら、複合的に学習する。

※ 開講期のはじめとおわりの頃の回に、共通プログラムとして「学修目標の設定、学修目標に達成に関する振り返り」等の講義及び作業を実施する。

到達目標

1. 資料の読解力を身につけること。
2. 社会人としての考え方や心構えを養うこと。
3. チームで話し合い、意見を共有ができること。

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：前期の内容について振り返り、後期のオリエンテーションを行う。
 内容・方法：セミナーⅡaの振り返りと今学期に取り上げる内容などについて説明する。
- 【第2回】
 テーマ：人生設計とキャリアデザイン
 内容・方法：ケーススタディ、ディスカッション、講義、振り返り
- 【第3回】
 テーマ：社会人になるということ
 内容・方法：ケーススタディ、ディスカッション、講義、振り返り
- 【第4回】
 テーマ：前に踏み出す力(1)ー主体性ー
 内容・方法：ケーススタディ、ディスカッション、講義、振り返り
- 【第5回】
 テーマ：前に踏み出す力(2)ー働きかけ力ー
 内容・方法：ケーススタディ、ディスカッション、講義、振り返り
- 【第6回】
 テーマ：前に踏み出す力(3)ー実行力ー
 内容・方法：ケーススタディ、ディスカッション、講義、振り返り
- 【第7回】
 テーマ：セミナーⅢ選択の説明会
 内容・方法：説明会を聞いて、セミナーⅢの選択について考える
- 【第8回】
 テーマ：考え抜く力(1)ー課題発見力ー
 内容・方法：ケーススタディ、ディスカッション、講義、振り返り
- 【第9回】
 テーマ：考え抜く力(2)ー計画力ー
 内容・方法：ケーススタディ、ディスカッション、講義、振り返り
- 【第10回】
 テーマ：考え抜く力(3)ー創造力ー
 内容・方法：ケーススタディ、ディスカッション、講義、振り返り
- 【第11回】
 テーマ：チームで働く力(1)ー発信力ー
 内容・方法：ケーススタディ、ディスカッション、講義、振り返り
- 【第12回】
 テーマ：チームで働く力(2)ー傾聴力ー
 内容・方法：ケーススタディ、ディスカッション、講義、振り返り
- 【第13回】
 テーマ：チームで働く力(3)ー柔軟性ー
 内容・方法：ケーススタディ、ディスカッション、講義、振り返り
- 【第14回】
 テーマ：チームで働く力(4)ー状況把握力ー
 内容・方法：ケーススタディ、ディスカッション、講義、振り返り
- 【第15回】
 テーマ：後期授業内容の振り返り
 内容・方法：学んだ知識を再確認し、期末の課題を指示する

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

事前、事後学習として、下記の内容について毎回、それぞれ1時間以上の学習が必要。
事前学修課題：与えられた課題について、しっかりと資料などを調べ、読み込むこと。
事後学修課題：自分あるいは他の学生の発表した内容について再確認し、発表時に答えられなかった質問などについて再度調べる。

課題に対するフィードバックの方法

それぞれの調査・発表についてコメントするとともに、補足説明などを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	70	セミナーへの取り組み方や事前準備の出来具合、調査・発表時の態度などによって評価する。	1, 2, 3
授業外での評価	0		1, 2, 3
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	30	期末レポートの出来栄によって評価する。	1, 2, 3
その他	0		

テキスト

授業中にプリントを配布する。

参考書

取り上げる内容に応じて、参考書などをセミナー時に指示する。

履修条件・他の科目との関連

- ・積極的に討論に参加すること。
- ・毎回のレポートをきちんと提出すること。
- ・やむを得ない事情で遅刻したり欠席する場合には、必ず担当教員に連絡すること。
- ・15回の授業のうち、三分の一、つまり5回以上欠席した場合は、単位を取得できない。
- ・同様に、特段の理由のない遅刻・早退は1/2回分の欠席と数えられるため注意すること。

授業コード	10400452	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅡb（課題探究） [対面]				
シラバス執筆(全員)	山下 純				
シラバス執筆(主)	山下 純				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

当セミナーでは、前期に引き続いて、受講生の皆さんがさまざまな分野や領域について自ら問いを立てて課題を探究する力を培うことを最大の目的とする。その基礎的スキルとして、調べる、整理してまとめる、発表する、という社会活動でも役に立つ力を身につけるトレーニングを行なう。具体的には、グループでの調査、整理、プレゼンテーション等のワークの実践を通じたスキルアップを図る。受講生の皆さんがそれぞれ試行錯誤しながら経験を積むことで、スキルの定着を促進し、セミナーⅢへのステップアップにつなげてもらいたい。

到達目標

- 1 所定のテーマについて調べ方を身につける。
- 2 調べた内容を整理して、概要をまとめることができる。
- 3 整理してまとめた内容と自分の意見を自分の言葉でプレゼンテーションすることができる。

授業計画

各回のテーマ案は、状況によっては変更する可能性がある。

【第1回】

テーマ：前期の振り返りと後期の展望

内容・方法：前期の振り返りを行ない、後期の展望について説明する

【第2回】

テーマ：ライブラリーツアー

内容・方法：図書館での論文・文献の探し方など

【第3回】

テーマ：ユニット1 テーマ案 アジア諸国関連について（社会、文化、経済、ビジネスなど）

内容・方法：講義・グループワーク

【第4回】

テーマ：ユニット1 個人またはグループでの発表を実践する

内容・方法：前回決めた発表者が指示されたことを調べて、その内容について発表する。質疑を通じて理解を深める

【第5回】

テーマ：ユニット2 テーマ案 中国の地域性関連について（社会、文化、経済、ビジネスなど）

内容・方法：講義・グループワーク

【第6回】

テーマ：ユニット2 個人またはグループでの発表を実践する

内容・方法：前回決めた発表者が指示されたことを調べて、その内容について発表する。質疑を通じて理解を深める

【第7回】

テーマ：セミナーⅢの選択への準備

内容・方法：セミナーⅢの選択への準備を行なう

【第8回】

テーマ：セミナーⅢの選択への準備

内容・方法：セミナーⅢの選択への準備を行なう

【第9回】

テーマ：ユニット3 テーマ案 ヨーロッパ諸国関連について（社会、文化、経済、ビジネスなど）

内容・方法：講義・グループワーク

【第10回】

テーマ：ユニット3 個人またはグループでの発表を実践する

内容・方法：前回決めた発表者が指示されたことを調べて、その内容について発表する。質疑を通じて理解を深める

【第11回】

テーマ：ユニット4 テーマ案 北米および中南米諸国関連について（社会、文化、経済、ビジネスなど）

内容・方法：講義・グループワーク

【第12回】

テーマ：ユニット4 個人またはグループでの発表を実践する

内容・方法：前回決めた発表者が指示されたことを調べて、その内容について発表する。質疑を通じて理解を深める

【第13回】

テーマ：ユニット5 テーマ案 アフリカ諸国関連について（社会、文化、経済、ビジネスなど）

内容・方法：講義・グループワーク

【第14回】

テーマ：ユニット5 個人またはグループでの発表を実践する

内容・方法：前回決めた発表者が指示されたことを調べて、その内容について発表する。質疑を通じて理解を深める

【第15回】

テーマ：振り返りとまとめ

内容・方法：振り返りとまとめを行ない、セミナーⅢを中心とする3年生に向けた学修につなげる

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

① 事前学修課題：前期の振り返りを行なう

② 事後学修課題：授業の内容を復習する

【第2回】

① 事前学修課題：ライブラリツアーで調べたいトピックを考えておく

② 事後学修課題：ライブラリツアーで学んだことを復習する

【第3回】

① 事前学修課題：課題について事前に調べる

② 事後学修課題：課題について調べる、整理してまとめる、発表する準備をする

【第4回】

① 事前学修課題：発表する準備を行ない、発表の練習をする

② 事後学修課題：自分の発表の良かったところ、改善すべきところなどの振り返りを行なう

【第5回】

① 事前学修課題：課題について事前に調べる

② 事後学修課題：課題について調べる、整理してまとめる、発表する準備をする

【第6回】

① 事前学修課題：発表する準備を行ない、発表の練習をする

② 事後学修課題：自分の発表の良かったところ、改善すべきところなどの振り返りを行なう

【第7回】

① 事前学修課題：セミナーⅢの選択希望を検討する

② 事後学修課題：セミナーⅢの選択希望を検討する

【第8回】

① 事前学修課題：セミナーⅢの選択希望を検討する

② 事後学修課題：セミナーⅢの選択希望を検討する

【第9回】

① 事前学修課題：課題について事前に調べる

② 事後学修課題：課題について調べる、整理してまとめる、発表する

【第10回】

① 事前学修課題：発表する準備を行ない、発表の練習をする

② 事後学修課題：自分の発表の良かったところ、改善すべきところなどの振り返りを行なう

【第11回】

① 事前学修課題：課題について事前に調べる

② 事後学修課題：課題について調べる、整理してまとめる、発表する

【第12回】

① 事前学修課題：発表する準備を行ない、発表の練習をする

② 事後学修課題：自分の発表の良かったところ、改善すべきところなどの振り返りを行なう

【第13回】

① 事前学修課題：課題について事前に調べる

② 事後学修課題：課題について調べる、整理してまとめる、発表する

【第14回】

① 事前学修課題：発表する準備を行ない、発表の練習をする

② 事後学修課題：自分の発表の良かったところ、改善すべきところなどの振り返りを行なう

【第15回】

① 事前学修課題：後期の授業全体の振り返りを行なう

② 事後学修課題：年間全体の振り返りを行ない、セミナーⅢに向けた自分の課題や展望を整理する

課題に対するフィードバックの方法

プレゼンテーションやレポートなどに関して、適宜コメントを行なう。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

発表、発言、クラスへの建設的な貢献 30%

期中のレポート 40%

振り返りのレポート 30%

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	30	発表、発言などクラスへの貢献	1、2、3
授業外での評価	40	期中のレポート	1、2、3
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	30	授業の振り返りについてまとめたものを提出する	1、2、3

その他	0		
テキスト	担当教員がプリント等を用意する。		
参考書	授業の中で適宜紹介する。		
履修条件・他の科目との関連	授業を欠席した場合は、その回のプリントを次回に渡す。その内容は自分でクラスメートや担当教員に確認する。		

授業コード	10400453	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅡb（課題探究） [対面]				
シラバス執筆(全員)	小瀬木 えりの				
シラバス執筆(主)	小瀬木 えりの				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

セミナー2aに引き続き大学で学ぶのに必要な基礎的学習能力を養う。具体的には、発表（プレゼンテーション）に必要な技能を養う。それにより、3年次以降の専門セミナーで必要とされる卒業研究に備えた学習能力を培う。ただし、大学行事や学部学科の行事、人権教育センターの催事などにより、セミナーの時間が使われることがあり、若干の変更がありうる。その場合にはあらかじめ連絡がある。

※ 開講期のはじめとおわりの頃の回に、共通プログラムとして「学修目標の設定、学修目標に達成に関する振り返り」等の講義及び作業を実施する

到達目標

1. 文献や情報の収集法を学ぶ
2. 文章読解力と適切な要約能力を身につける
3. PPTなどでの発表資料の作成方法と技法を学ぶ
4. 口頭での適切な発表のし方を学ぶ
5. 他者の発表に対して質問やコメントができる集中力・理解力・構想力を身につける
6. 学習の目標設定と実現に向けての自己管理、ふり返りの習慣と能力を身につける

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：セミナー2bのイントロダクション
 内容・方法：セミナー2bでの学習目標について、夏期休暇中の課題について
- 【第2回】
 テーマ：発表方法について
 内容・方法：今後の授業での発表順序と方法について
- 【第3回】
 テーマ：発表練習1
 内容・方法：受講者による発表実践と質疑応答の練習1
- 【第4回】
 テーマ：発表練習2
 内容・方法：受講者による発表実践と質疑応答の練習2
- 【第5回】
 テーマ：発表練習3
 内容・方法：受講者による発表実践と質疑応答の練習3
- 【第6回】
 テーマ：発表練習4
 内容・方法：受講者による発表実践と質疑応答の練習4
- 【第7回】
 テーマ：発表練習5
 内容・方法：受講者による発表実践と質疑応答の練習5
- 【第8回】
 テーマ：発表練習6
 内容・方法：受講者による発表実践と質疑応答の練習6
- 【第9回】
 テーマ：発表練習7
 内容・方法：受講者による発表実践と質疑応答の練習7
- 【第10回】
 テーマ：発表（プレゼンテーション）学習の振り返り
 内容・方法：わかりやすいプレゼンテーションとは？
- 【第11回】
 テーマ：発表練習（応用）
 内容・方法：就職活動に必要なプレゼンテーションについて
- 【第12回】
 テーマ：課題レポートの作成1
 内容・方法：与えられた課題のレポート作成について1
- 【第13回】
 テーマ：課題レポートの作成2
 内容・方法：与えられた課題のレポート作成について2
- 【第14回】
 テーマ：課題レポートの作成3
 内容・方法：与えられた課題のレポート作成について3
- 【第15回】
 テーマ：セミナー2bのまとめ

内容・方法：セミナー2b全体で学んだことについての振り返り

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

各回、事前学習は2時間、事後学習は2時間を目安とする。

【第1回】

- ①事前学修課題：夏期休暇中の課題に取り組む
- ②事後学修課題：セミナー2bの学習課題について理解する

【第2回】

- ①事前学修課題：発表について改めて調べておく
- ②事後学修課題：発表準備を行う

【第3回】

- ①事前学修課題：発表準備を行う
- ②事後学修課題：行った発表と質疑応答についての振り返り

【第4回】

- ①事前学修課題：発表準備を行う
- ②事後学修課題：行った発表と質疑応答についての振り返り

【第5回】

- ①事前学修課題：発表準備を行う
- ②事後学修課題：行った発表と質疑応答についての振り返り

【第6回】

- ①事前学修課題：発表準備を行う
- ②事後学修課題：行った発表と質疑応答についての振り返り

【第7回】

- ①事前学修課題：発表準備を行う
- ②事後学修課題：行った発表と質疑応答についての振り返り

【第8回】

- ①事前学修課題：発表準備を行う
- ②事後学修課題：行った発表と質疑応答についての振り返り

【第9回】

- ①事前学修課題：発表準備を行う
- ②事後学修課題：行った発表と質疑応答についての振り返り

【第10回】

- ①事前学修課題：発表練習全体を通じての振り返り
- ②事後学修課題：わかりやすい発表（プレゼンテーション）について理解しておく

【第11回】

- ①事前学修課題：就職活動で行うことを調べておく
- ②事後学修課題：就職活動時に必要なプレゼンテーションについて理解する

【第12回】

- ①事前学修課題：レポート作成方法について図書館等で調べておく
- ②事後学修課題：実際に課題レポートを作成する

【第13回】

- ①事前学修課題：レポート課題を完成する
- ②事後学修課題：授業時に指導された改善点についての振り返り

【第14回】

- ①事前学修課題：レポート課題を完成する
- ②事後学修課題：授業時に指導された改善点についての振り返り

【第15回】

- ①事前学修課題：セミナー2bで学んだこと全体を思い出して整理してくる
- ②事後学修課題：セミナー2bで学んだこと全体を理解し定着させる

課題に対するフィードバックの方法

レポートやプレゼンテーションなどに関して、授業時に適宜、コメントやアドバイスをおこなう。この他に、必要に応じてgoogle classroomやメール等で、担当者から受講者に対して個別に提出期限前のコメントやアドバイスを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。セミナー2bは、原則としてほぼ毎回授業に出席することが単位認定の基本的な条件となる。公欠や公共交通機関の遅延や運行停止などの受講者の責に帰せられない事情、客観的なエビデンスを提示できる病気や怪我によるやむを得ない欠席、また特別配慮願などにより配慮される必要のある特例を除き、全授業回の2/3以上に出席しない場合は単位不認定となる。なお、前記の理由に該当しない自己都合による遅刻は2回で欠席1回に該当するものと見なされるため注意すること。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	75	課題への取り組み(15)、質問やコメントなどでのディスカッションへの参加(30)、授業に必要なPC等のツールや資料を忘れずに用意できているかどうか(15)、発表(15)	1, 2, 3, 4, 5, 6

授業外での評価	20	提出課題の調べもの・作成、期限に間に合って提出できるかどうか(10)、PPTでの発表資料の準備・作成、期限に間に合って提出できるかどうか(10)	1, 2, 3, 6
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	5	15回の全授業終了後に期限までに提出するレポート	6
その他	0		

テキスト	必要に応じてプリントを配付する		
------	-----------------	--	--

参考書	参考書：必要に応じて授業時に紹介する		
-----	--------------------	--	--

履修条件・他の科目との関連	<p>セミナー2bは前期のセミナー2aと連続している。やむを得ず遅刻や欠席をする場合は必ず事前に連絡すること。また、常に適切なタイミングでの報連相を心がけること。この科目はBYOD対応であるため、毎回、大学推奨以上のスペックを備えたPCを持参して授業に臨むこと。PCを用いないスマホでの受講は原則として認めない。また、スマホで課題を作成・提出しようとした場合の不都合はすべて自己責任として配慮されないため注意すること。</p>		
---------------	---	--	--

授業コード	10400454	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅡb (課題探究) [対面]				
シラバス執筆(全員)	O. J. クロー				
シラバス執筆(主)	O. J. クロー				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

This seminar will mainly build knowledge of global issues and English communication ability. All students are expected to participate actively in researching, discussing, and presenting on each topic introduced. Each of the four skills (reading, writing, listening, and speaking) will be used in this course. このセミナーでは、主にグローバル社会問題に関する知識と英語のコミュニケーション能力を養います。受講生は全員、紹介された各トピックについて、リサーチ、ディスカッション、プレゼンテーションに積極的に参加することが期待されています。このコースでは、4つのスキル（読む、書く、聞く、話す）のそれぞれが使用されます。

※ 開講期のはじめとおわりの頃の回に、共通プログラムとして「学修目標の設定、学修目標に達成に関する振り返り」等の講義及び作業を実施する

到達目標

1. Build understanding of current global issues
2. Expose students to various topics and view points on global issues
3. Develop discussion and presentation skills
4. Further enhance writing skills through summaries and note-taking

授業計画

- 【第1回】
テーマ: Orientation・Overtourism (1)
内容・方法: Course introduction, Get Ready, Vocabulary
- 【第2回】
テーマ: Overtourism (2)
内容・方法: Listening, Conversation, Discussion, Review
- 【第3回】
テーマ: Improving Education (1)
内容・方法: Get Ready, Vocabulary, Listening
- 【第4回】
テーマ: Improving Education (2)
内容・方法: Conversation, Discussion, Review
- 【第5回】
テーマ: Week 5 Assessment
内容・方法: Preparation, Discussion, Presentation
- 【第6回】
テーマ: Voting Age (1)
内容・方法: Course introduction, Get Ready, Vocabulary
- 【第7回】
テーマ: Voting Age (2)
内容・方法: Listening, Conversation, Discussion, Review
- 【第8回】
テーマ: Rethinking Zoos (1)
内容・方法: Get Ready, Vocabulary, Listening
- 【第9回】
テーマ: Rethinking Zoos (2)
内容・方法: Conversation, Discussion, Review
- 【第10回】
テーマ: Week 10 Assessment
内容・方法: Preparation, Discussion, Presentation
- 【第11回】
テーマ: Alternative Energy (1)
内容・方法: Course introduction, Get Ready, Vocabulary
- 【第12回】
テーマ: Alternative Energy (2)
内容・方法: Listening, Conversation, Discussion, Review
- 【第13回】
テーマ: Equal Pay in Sports (1)
内容・方法: Get Ready, Vocabulary, Listening
- 【第14回】
テーマ: Equal Pay in Sports (2)
内容・方法: Conversation, Discussion, Review
- 【第15回】

テーマ: Week 15 Assessment
内容・方法: Review Units 8-13, Review Test

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

- ①事前学修課題: Bring materials to study
- ②事後学修課題: Register for Google Classroom

【第2回】

- ①事前学修課題: Preview class content
- ②事後学修課題: Review class content, Complete worksheet

【第3回】

- ①事前学修課題: Preview class content
- ②事後学修課題: Review class content

【第4回】

- ①事前学修課題: Preview class content
- ②事後学修課題: Review class content, Complete worksheet

【第5回】

- ①事前学修課題: Prepare presentation
- ②事後学修課題: Preview next class content

【第6回】

- ①事前学修課題: Preview class content
- ②事後学修課題: Review class content

【第7回】

- ①事前学修課題: Preview class content
- ②事後学修課題: Review class content, Complete worksheet

【第8回】

- ①事前学修課題: Preview class content
- ②事後学修課題: Review class content

【第9回】

- ①事前学修課題: Preview class content
- ②事後学修課題: Review class content, Complete worksheet

【第10回】

- ①事前学修課題: Prepare presentation
- ②事後学修課題: Preview next class content

【第11回】

- ①事前学修課題: Prepare presentation
- ②事後学修課題: Preview next class content

【第12回】

- ①事前学修課題: Preview class content
- ②事後学修課題: Review class content, Complete worksheet

【第13回】

- ①事前学修課題: Preview class content
- ②事後学修課題: Review class content

【第14回】

- ①事前学修課題: Preview class content
- ②事後学修課題: Review class content, Complete worksheet

【第15回】

- ①事前学修課題: Review class content
- ②事後学修課題: Review topics over the summer, Complete worksheet

課題に対するフィードバックの方法

Feedback on assignments will be provided regularly via instructor comments on Google Classroom. Your overall grade will also be visible on Google Classroom to check at any time. Overall feedback on course progress will be provided at midterm (8th class) and before the end of the term (14th class).

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on participation during in-class discussion, research activities, group reports & presentations, and a final term report. Students with marks of 60 or more will pass and get credit for the course. If a student is absent more than 4 times without a valid excuse, a [K] will be awarded.

以下に示す通り、成績は授業中の議論やグループレポート・発表、研究課題、そして期末レポートの結果に基づく総合的な評価により決定される。60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。正当な理由のない欠席が4回を超える場合は、「K」評価(不合格)とする。

成績評価の種類

評価割合
(%)

評価方法・割合

評価対象となる到達目標

授業内での評価	50	Class participation and attitude (20), Presentation 1 (15), Presentation 2 (15)	1, 2
授業外での評価	20	Review Worksheets (10), Presentation Preparation (10)	3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	30	Review Test (15), Final report (15)	3, 4
その他	0		

テキスト	Google Classroom プリントを配布する		
------	-------------------------------	--	--

参考書			
-----	--	--	--

履修条件・他の科目との関連	Attendance Policy & Notes: 1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。 2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。 3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。 4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。 5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。 6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。		
---------------	--	--	--

授業コード	10400461	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅡb（課題探究） [対面]				
シラバス執筆(全員)	韓 尚秀				
シラバス執筆(主)	韓 尚秀				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

セミナーⅡaで身に付けた能力を活用して、各担当教員のもとで、研究テーマの基礎知識を確認するとともに、高い専門性を身につける。研究テーマがグローバルに進展するビジネス社会において、どのような意義があり、今後どのように発展するかを見極めることに主眼が置かれ、グローバルビジネス学部としての卒業研究に拡充していくことが目的の一つである。

※ 開講期のはじめとおわりの頃の回に、共通プログラムとして「学修目標の設定、学修目標に達成に関する振り返り」等の講義及び作業を実施する

到達目標

- ①研究テーマがグローバルに進展するビジネス社会において、どのような意義があり、今後どのように発展するかを見極めること
- ②シミュレーションゲームを通じて、多様なビジネスモデルを体験すると同時に、特にコンテンツ関連など新しいビジネスモデルの提案及びルール作成を試みる。ベンチャーなど起業を目指している学生を歓迎する。

授業計画

- 【第1回】
テーマ：オリエンテーション
内容・方法：オリエンテーション
- 【第2回】
テーマ：（共通）SPI模試
内容・方法：（共通）言語分野と非言語分野を実施する
- 【第3回】
テーマ：中期計画作成演習
内容・方法：練習ゲームの中期計画を作成する。
- 【第4回】
テーマ：5期経営計画作成演習
内容・方法：練習ゲームの5期経営計画を作成する。
- 【第5回】
テーマ：5期シミュレーション実施及び分析
内容・方法：練習ゲームの5期シミュレーション実施後分析する。
- 【第6回】
テーマ：本番中期計画作成
内容・方法：本番ゲーム用の中期計画を作成する。
- 【第7回】
テーマ：本番5期経営計画の作成
内容・方法：本番ゲーム用の5期経営計画の作成する。
- 【第8回】
テーマ：本番5期の実績分析
内容・方法：シミュレーション実施後5期の実績を分析する。
- 【第9回】
テーマ：リサーチプロジェクト：研究テーマ発表会準備（1）
内容・方法：研究テーマの決定
- 【第10回】
テーマ：リサーチプロジェクト：研究テーマ発表会準備（2）
内容・方法：発表設計を考える
- 【第11回】
テーマ：リサーチプロジェクト：研究テーマ発表会準備（3）
内容・方法：発表ポスター作成（1）
- 【第12回】
テーマ：リサーチプロジェクト：研究テーマ発表会準備（4）
内容・方法：発表ポスター作成（2）
- 【第13回】
テーマ：（合同）リサーチプロジェクト：研究テーマ発表会
内容・方法：各分野に別れ、ポスター発表を実施する
- 【第14回】
テーマ：ゲーム発表会
内容・方法：模擬株主総会の練習
- 【第15回】
テーマ：まとめ。
内容・方法：まとめ。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

- ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
- ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間

【第2回】

- ①事前学修課題：SPI問題を継続して実施する。2時間
- ②事後学修課題：授業で解答した問題を再確認する。2時間

【第3回】

- ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
- ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間

【第4回】

- ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
- ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間

【第5回】

- ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
- ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間

【第6回】

- ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
- ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間

【第7回】

- ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
- ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間

【第8回】

- ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
- ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間

【第9回】

- ①事前学修課題：研究テーマを予め決定しておく。2時間
- ②事後学修課題：参考資料の収集。2時間

【第10回】

- ①事前学修課題：発表に向け各自の準備をする。2時間
- ②事後学修課題：発表に向け各自の準備をする。2時間

【第11回】

- ①事前学修課題：発表に向け各自の準備をする。2時間
- ②事後学修課題：発表に向け各自の準備をする。2時間

【第12回】

- ①事前学修課題：それぞれのポスターの最終チェックしておく。2時間
- ②事後学修課題：各自の準備を遂行する。2時間

【第13回】

- ①事前学修課題：発表原稿を最終チェックしておく。2時間
- ②事後学修課題：発表時に受けた質問や回答をまとめておく。2時間

【第14回】

- ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
- ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間

【第15回】

- ①事前学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間
- ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間

課題に対するフィードバックの方法

Google Classのレポート機能を活用する。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

平常点 30%・レポート課題30%・授業内試験 0%・期末試験 20%・その他 タイピング20%評価を義務付ける。

(共通) リサーチプロジェクトⅡの発表をしない、あるいは合格基準に達していない場合、単位取得を認めない。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	30	平常点	1, 2
授業外での評価	30	レポート点	1
定期試験	0	なし	なし
定期試験に代わるレポート等	20	期末レポート点	1, 2
その他	20	タイピング点	1

テキスト	プリントを配布する。
参考書	『コンピュータの利用の経営シミュレーション研修Gom21(Ver-3)コンピュータの利用の経営シミュレーション研修Gom21(Ver-3)』 ¥ 2000
履修条件・他の科目との関連	生産管理、マーケティング、財務管理関連

授業コード	10400462	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅡb（課題探究） [対面]				
シラバス執筆(全員)	長谷川 順一郎				
シラバス執筆(主)	長谷川 順一郎				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

前学期で学んだ内容の精度をさらに高めていきます。扱う文献・資料は主に英文とします。また、観光ホスピタリティの現場で使用する実践的な英会話を学修します。その際に求められるノンヴァーバルコミュニケーション能力についても涵養させます。さらに、卒業後のキャリア開発を視野に入れつつ、社会人基礎力（主にビジネスマナー）の向上を目指します。

※ 開講期のはじめとおわりの頃の回に、共通プログラムとして「学修目標の設定、学修目標に達成に関する振り返り」等の講義及び作業を実施します。

到達目標

1. 観光ホスピタリティに関する英語の文献を精読し、論点を整理できるようになります。
2. 丁寧な英語とノンヴァーバルコミュニケーションを活かしてホスピタリティを提供できるようになります。
3. ビジネスマナーを中心とした社会人基礎力が身につきます。

授業計画

- 【第1回】
テーマ： ガイダンス
内容： 授業の目標、課題、受講上の注意等について説明する。
- 【第2回】
テーマ： 夏季休業中の課題の振り返り①
内容： 夏季休業中の課題について振り返り、発表・討議する。
- 【第3回】
テーマ： 夏季休業中の課題の振り返り②
内容： 夏季休業中の課題について振り返り、発表・討議する。
- 【第4回】
テーマ： 観光ホスピタリティに関する英語文献の講読①
内容： 観光ホスピタリティに関する英語文献を精読し、調べ、発表・討議する。
- 【第5回】
テーマ： 観光ホスピタリティに関する英語文献の講読②
内容： 観光ホスピタリティに関する英語文献を精読し、調べ、発表・討議する。
- 【第6回】
テーマ： 観光ホスピタリティに関する英語文献の講読③
内容： 観光ホスピタリティに関する英語文献を精読し、調べ、発表・討議する。
- 【第7回】
テーマ： キャリアサポートセンター・ツアー
内容： キャリアサポートセンターを訪問し、キャリア開発についての基礎知識を学ぶ。
- 【第8回】
テーマ： 社会人基礎力の涵養①
内容： 主にビジネスマナーの基礎を学ぶ。
- 【第9回】
テーマ： 社会人基礎力の涵養②
内容： 主にビジネスマナーの基礎を学ぶ。
- 【第10回】
テーマ： ノンヴァーバルコミュニケーション①
内容： ホスピタリティ提供時に求められるノンヴァーバルコミュニケーションの基礎を学ぶ。
- 【第11回】
テーマ： ノンヴァーバルコミュニケーション②
内容： ホスピタリティ提供時に求められるノンヴァーバルコミュニケーションの基礎を学ぶ。
- 【第12回】
テーマ： 観光ホスピタリティ実務英会話①
内容： 観光ホスピタリティの現場で使用する実践的な英会話を学ぶ。その際、ノンヴァーバルコミュニケーションも活用する。
- 【第13回】
テーマ： 観光ホスピタリティ実務英会話②
内容： 観光ホスピタリティの現場で使用する実践的な英会話を学ぶ。その際、ノンヴァーバルコミュニケーションも活用する。
- 【第14回】
テーマ： 観光ホスピタリティ実務英会話③
内容： 観光ホスピタリティの現場で使用する実践的な英会話を学ぶ。その際、ノンヴァーバルコミュニケーションも活用する。
- 【第15回】
テーマ： 総括

内容：これまでの授業内容を総括する。

* 授業計画はクラスの状況、授業の進行状況によって変更することがあります。あらかじめご理解ください。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。本授業は2単位科目ですので、事前事後の学修としては、週あたり4時間必要となります。授業中に解説されたことはもちろん、授業を通して気づいたこと、確認したいことなどをもれなくノートに記します。それをもとにした復習と、指示された課題（配布物の精読が中心となります）を含めた予習をしっかりと行います。そして、学んだこと、調べたことなどを常に整理し、意見発信できるよう準備することが大切です。

課題に対するフィードバックの方法

発表、討議後は講評を行います。提出物については随時講評を行います。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となります。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価となります。

中間（第8回を予定）、期末にレポートが課されます。授業への参加度、予習、復習など、自身の取り組みについての「自己評価」が含まれます。この「自己評価」が期限までに提出されない場合、「K」評価となります。総授業回数の1/3以上欠席した場合、また、連続3回欠席した場合も、成績評価の対象とならず「K」評価となります。授業は定刻に開始します。遅刻2回で1回分の欠席扱いとします。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	発表・報告	1, 2, 3
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	50	中間および期末レポート	1
その他	0		

テキスト 特に指定しません。適宜プリントを配布します。

参考書 特に指定しません。

履修条件・他の科目との関連 毎回出席し授業に参加することが単位認定の基本的な条件となります。冠婚葬祭等でやむを得ず欠席する場合は、必ず事前に連絡してください。セミナーIIaとセミナーIIbは連続しています。

第1回の授業にて受講に関する重要な説明を行いますので必ず出席してください。いずれの授業回においても、理由のいかんに関わらず欠席した場合は、本授業の履修者(複数)に授業内容を聞いてください。配布物は複写させてもらい、課題にも取り組んでください。講義時間は厳守とします。

授業コード	10400463	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅡb（課題探究） [対面]				
シラバス執筆(全員)	森田 浩司				
シラバス執筆(主)	森田 浩司				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

国際観光学科に在籍する学生として、また3年次からの国際観光学科の専門研究に取り組んでいくために必要な、基礎学力や知識、概念を理解していくことを目的とする。
事例については、可能または必要な範囲でタイムリーな題材について取り扱い、昨今の基本的な「国際」「観光」「国際観光」事象について、国際観光学科在籍の学生として、正しく理解し見解を述べる事が出来る素地を養っていく。
また、3年次以降の専門セミナーの選択に向けて、自身の3年次以降の学修・研究の専門分野や将来の方向性を定めていくための取り組みも行う。
あわせて、3年次以降のセミナー活動や就職活動で求められる「マナーや常識をはじめとした社会人基礎力」を養成する。

※ 開講期のはじめとおわりの頃の回に、共通プログラムとして「学修目標の設定、学修目標に達成に関する振り返り」等の講義及び作業を実施する

到達目標

1. 国際観光学科に在籍する学生として、また3年次からの国際観光学科の専門研究に取り組んでいくために必要な基礎学力や知識、概念を理解し活用出来るようになる
2. 昨今の基本的な「国際」「観光」「国際観光」事象について、国際観光学科在籍の学生として、正しく理解し見解を述べる事が出来るようになる
3. 3年次以降のセミナー活動や就職活動で求められる「マナーや常識をはじめとした社会人基礎力」が身につくようになる

授業計画

- 【第1回】
テーマ：オリエンテーション、大学セミナーⅡ共通プログラムの実施
内容・方法：授業の目的、目標、ルール、評価基準等の説明、大学セミナーⅡ共通プログラムの実施
- 【第2回】
テーマ：「国際」について①
内容・方法：「国際」に関する基本事項、最新の時事問題事例等の説明、ディスカッション、レポート作成
- 【第3回】
テーマ：「国際」について②
内容・方法：「国際」に関する基本事項、最新の時事問題事例等の説明、ディスカッション、次回のプレゼン発表資料作成
- 【第4回】
テーマ：「国際」について③
内容・方法：「国際」に関するテーマのプレゼン発表
- 【第5回】
テーマ：自身の学修・研究の専門分野や将来の方向性の検討
内容・方法：3年次セミナー選択を控え、国際観光学科での学びの復習、自身の研究の専門分野・将来の方向性の検討
- 【第6回】
テーマ：次年度セミナーⅢ選択説明会*
内容・方法：次年度セミナーⅢ選択に関する説明会に参加
- 【第7回】
テーマ：「観光」について①
内容・方法：比較的新しい学問で多岐にわたる「観光学」についての概要説明、レポート作成
- 【第8回】
テーマ：「観光」について②
内容・方法：多岐にわたる「観光産業」についての概要説明、ディスカッション、レポート作成
- 【第9回】
テーマ：「観光」について③
内容・方法：「観光まちづくり」および「観光」に関連する事象・現象についての概要説明、ディスカッション、レポート作成
- 【第10回】
テーマ：「国際観光」について①
内容・方法：国際観光の概要とアウトバウンド観光の概要説明、ディスカッション、レポート作成、発表演習課題の説明
- 【第11回】
テーマ：「国際観光」について②
内容・方法：インバウンド観光の概要説明、ディスカッション、レポート作成
- 【第12回】
テーマ：発表（プレゼンテーション）演習 準備回

内容・方法：第13回、第14回の発表（プレゼンテーション）資料の作成・準備

【第13回】

テーマ：発表（プレゼンテーション）演習①

内容・方法：「国際」「観光」「国際観光」の中から自分が関心のある内容を調査し、調査内容をセミナー生に発表する

【第14回】

テーマ：発表（プレゼンテーション）演習②（つづき）

内容・方法：「国際」「観光」「国際観光」の中から自分が関心のある内容を調査し、調査内容をセミナー生に発表する

【第15回】

テーマ：、セミナーⅡの学修のふりかえり、大学セミナーⅡ共通プログラムの実施

内容・方法：セミナーⅡの学修を総まとめでふりかえる、定期試験に代わるレポート課題発表、大学セミナーⅡ共通プログラムの実施

*第6回 次年度セミナーⅢ選択説明会 は予定です。後期に学部・学科が設定する回での実施となり、回が前後する可能性がある。

※大学や学部学科の行事、合同セミナーの実施、学生の学修の進捗状況等により、授業計画が変更になる可能性がある。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

各自、各回の授業内容の復習、課題の作成、発表の準備、次回授業までに行うよう指示された内容、その他次回授業に必要な情報の収集などの準備を、自らで考え主体的に行うこと。

学んだ内容を理解、応用できるように復習し、実践の機会の際に学んだ内容を活用できるようにしておくこと。

課題に対するフィードバックの方法

演習、提出物、発表、ディスカッション後に、適宜、講評やアドバイス、指導を行っていく

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

・主体的で積極的なゼミへの参加を最大の評価基準とし、ゼミへの貢献度、成果物やディスカッション・発表の内容、定期試験に代わるレポート、社会人基礎力の到達度合を踏まえて、総合的に判定して評価する。

（欠席・遅刻の頻発、居眠りの過多、不適切な受講態度などは、「主体的で積極的なゼミへの参加」部分に影響することとなるので十分理解して取り組むこと）

・3年次以降のセミナー活動や就職活動で求められる「マナーや常識をはじめとした社会人基礎力」を要求した授業進行や評価を行う。

・教員が認めた正当な理由がない欠席の回数が、全授業回の3分の1を超過した場合は、「K」評価となり、単位を取得できない

（公欠などがなく通常の15回の受講機会の場合、教員が認めない欠席が6回となった時点で「K」評価となる）

・同じような指導・注意を複数回行っても繰り返す場合、改善の意思や対応する社会人基礎力がないと判断して、著しく評価を下げることになるので、十分に注意して取り組むこと

・セミナーⅡの単位取得が3年次に進級するための必須要件となっており、セミナーⅡの単位が取れないと留年となって、4年間で大学卒業が出来なくなるので、十分に注意して取り組むこと

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	0		
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10	第15回のセミナーを終了した後に期限までに提出するレポート内容	1, 2, 3
その他	90	・セミナー時間内外での主体的で積極的なゼミ活動への取組状況・円滑なゼミ活動のための貢献度(50) ・セミナー時間内外の活動での成果物やディスカッション・発表の内容(30) ・社会人基礎力の到達度合(10)	1, 2, 3

テキスト テキストは使用しない。必要に応じて資料を配付する

参考書 必要に応じて適宜紹介する

履修条件・他の科目との関連

- ・ゼミへの毎回の定時出席、授業内ルールの遵守は当然の条件となる
(授業内ルールを守らない行為、主体的に前向きに学ぶ学生の学びの妨げになる行為を行った場合は単位取得不可となり、4年では卒業出来なくなって卒業年次が遅れることになる)
- ・欠席学生はGoogle Classroom 授業ページ内に掲載の授業資料を確認すること。

授業コード	10400464	授業形態	演習	実務家教員	<input type="radio"/>
授業科目名	セミナーⅡb (課題探究) [対面]				
シラバス執筆(全員)	杉寄 聡紀				
シラバス執筆(主)	杉寄 聡紀				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

セミナーⅡaで身につけたスキルや知識をさらに伸長させることを目的とし、セミナーⅡaに続き以下の内容についてさらに取り組みを深める。

- ・自らの力で課題を設定・深掘りし、アウトプットすることを通じて物事を多面的に捉える力を養う。
- ・卒業後の就職や起業などを見据え、社会人として必要となる基礎的な能力やルールについて身につける。
- ・担当教員がテーマパーク運営会社(合同会社ユー・エス・ジェイ)において立ち上げから19年にわたり、「テーマパーク運営業務」に従事してきた経験をもとに、実務家教員としてテーマパーク業界を事例として解説を行うが、その他業界の事例研究や探究を妨げるものではない。
- ・発案・発言を必要とするグループワーク・プレゼンテーション、対話・対論などを組み合わせて進めていく。
- ・必要に応じてゲストスピーカーをお招きし、プロフェッショナル視点での解説や考えについて学ぶ機会を設ける。

※行事や合同セミナーの実施、学修の進捗状況、セミナー内での相談等により、授業計画が変更になる可能性がある。

到達目標

1. 3年次のセミナー活動及び卒業研究に向けて必要なことを理解し、説明することができる
2. プレゼンテーションを聞き、他者の考えを理解し、ディスカッションすることができる
3. 調査内容を整理して、概要をまとめることができる

授業計画

【第1回】

テーマ：前期及び夏期休業中の課題についての振り返り、全学共通プログラムの実施(予定)
内容：全15回の進め方・内容、到達目標、ルール、評価基準等の説明。夏期休業中の課題について確認を行う。また全学共通プログラムを実施する。

【第2回】

テーマ：夏期休業中の課題についてのプレゼンテーション①
内容：夏期休業中の課題についてまとめ、発表する。

【第3回】

テーマ：夏期休業中の課題についてのプレゼンテーション②
内容：夏期休業中の課題についてまとめ、発表する。

【第4回】

テーマ：ディスカッション・トレーニング①「観光とは何か？」(準備)
内容：「観光」について体系的にまとめ、ディスカッションを通じてその必要性や役割について議論するための準備を行う

【第5回】

テーマ：ディスカッション・トレーニング②「観光とは何か？」
内容：「観光」について体系的にまとめ、ディスカッションを通じてその必要性や役割について議論する

【第6回】

テーマ：キャリア・サポートセンター訪問
内容：キャリア・サポートセンターの役割・使い方を知り、キャリアプランを実現するための一助とする

【第7回】

テーマ：キャリア・サポートセンターについて考える(1)
内容：キャリア・サポートセンターについてのディスカッションを行う

【第8回】

テーマ：次年度セミナーⅢ選択説明会
内容：次年度セミナーⅢ選択に関する説明会に参加
(学部・学科全体で実施予定のため、開催回は前後する可能性がある)

【第9回】

テーマ：キャリア・サポートセンターについて考える(2)
内容：キャリア・サポートセンターについてプレゼンテーションを行う

【第10回】

テーマ：ディスカッション・トレーニング③「テーマパークとは何か？」(準備)
内容：「テーマパーク」について体系的にまとめ、ディスカッションを通じてその必要性や役割について議論するための準備を行う

【第11回】

テーマ：ディスカッション・トレーニング④「テーマパークとは何か？」
内容：「テーマパーク」について体系的にまとめ、ディスカッションを通じてその必要性や役割について議論する

【第12回】

テーマ：論文の書き方①「卒業論文・研究とは」
内容：目的・目標設定、スケジュール管理の重要性や基本的な構成、リサーチクエスチョン、仮説について知る。また、データの信憑性、引用・参考文献の大切さや表記方法について考える

【第13回】

テーマ：論文の書き方② 「研究計画を策定する」

内容：研究計画を策定し、発表準備を行う

【第14回】

テーマ：論文の書き方③ 「研究計画を策定する」

内容：研究計画を策定し、発表する

【第15回】

テーマ：セミナーⅡabの振り返り及び3年次に向けて・全学共通プログラムの実施（予定）

内容：セミナーⅡ全体を振り返り、3年次やキャリアを考える時間とする。全学共通プログラムの実施を予定。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

毎回の授業前に必要と思われる事前調査や情報探索、プレゼンテーション実施の場合は準備をして臨む必要があります。また事後学習として授業の振り返りを行い、理解を深める必要があります。必要に応じて追加情報の収集や探索を行いまとめておく必要があります。

課題に対するフィードバックの方法

プレゼンテーションやレポートなどに関して、適宜コメントやフィードバックを行う

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

課題やプレゼンテーションへの積極的な取り組みを重視し、評価します。受け身ではなく、積極的にセミナーに参加するようにしてください。

以下に示す評価方法により総合的に判定の上、60点以上を合格とし所定の単位を認定する。なお、正当な理由なく全授業回数の3分の1以上（5回以上）欠席した場合は「K」評価とする。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	70	プレゼンテーションの内容(30)・プレゼンテーションのパフォーマンス(30)・課題への取り組み姿勢(10)	1, 2, 3
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	レポート課題	1, 3
その他	10	授業内における発言や取組姿勢	1, 2, 3

テキスト
テキストは使用せず、Google Classroomに資料をセミナー終了後に投稿する。(投稿がない場合もある)

参考書
購入の必要はありません。必要に応じて各自で購入を判断してください。
 ・基礎からわかる 論文の書き方 (小熊 英二/講談社)
 ・社会科学系論文の書き方 (明石 芳彦/ミネルヴァ書房)
 ・文献レビューのきほん—看護研究・看護実践の質を高める (大木 秀一/医歯薬出版)
 ・テーマパーク・アミューズメント事業 知っておきたい最新トレンドと成功の秘訣 (清水群・杉崎聡紀/セルバ出版)

履修条件・他の科目との関連
 ・アクティブラーニング(聞くだけではなく、能動的に学修する)&グループワークを中心に進めますので、主体的で積極的な参加が必要です
 ・遅刻はほかの学生にも迷惑がかかります。特段の理由がない限り、遅刻することなく積極的に毎回講義に参画するようにしてください
 ・授業内ルールを守らない行為、主体的に前向きに学ぶ学生の学びの妨げになる行為を行った場合は、単位取得不可とします
 ・3年次以降のセミナー活動や就職活動で求められるマナーや常識、言葉遣い、時間や期限の遵守など社会人基礎力を要求した授業進行や評価を行います
 ・セミナーに関する連絡や資料の共有、課題の提出は Google Classroomを使用します。PC(推奨)やスマートフォンで閲覧・回答することを前提に準備をお願いします
 ・欠席した場合は、Google Classroomに投稿する資料を確認すること(資料の投稿がない場合もある)

授業コード	10400465	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅡb（課題探究） [対面]				
シラバス執筆(全員)	辻 有美子				
シラバス執筆(主)	辻 有美子				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

観光振興についての研究を主におこなう。フィールドワークを通して実践力を身につける。レポート・論文の書き方を段階的に指導するとともに、プレゼンテーション演習を行う。

到達目標

1. 現代社会が直面しているさまざまな問題に関する基礎知識や分析枠組みを習得する。
2. その問題に関する情報やデータを収集し、論点を整理する。
3. その問題に関してどのような対策が必要か、自分なりの意見を表明できる。
4. レジюмеやスライドを作成し、プレゼンテーションを行う。

授業計画

- 【第1回】テーマ：オリエンテーション
内容・方法：セミナーへの心構えについて講義する。
- 【第2回】テーマ：キャリアデザイン教育①
内容・方法：キャリアパスにおける自己分析。
- 【第3回】テーマ：キャリアデザイン教育②
内容・方法：キャリアパスにおける自己分析。
- 【第4回】テーマ：キャリアデザイン教育③
内容・方法：キャリアパスにおける自己分析。
- 【第5回】テーマ：課題発表
内容・方法：各自のプレゼンテーション、バズセッションと総評。
- 【第6回】テーマ：プレゼンテーション力を身につける
内容・方法：課題発表に向けて、プレゼンテーションに必要な知識や技術を講義する。
- 【第7回】テーマ：課題発表
内容・方法：各自のプレゼンテーション、バズセッションと総評。
- 【第8回】テーマ：課題発表
内容・方法：各自のプレゼンテーション、バズセッションと総評。
- 【第9回】テーマ：フィールドワーク①準備
内容・方法：フィールドワークの事前学習を行う。
- 【第10回】テーマ：フィールドワーク②視察
内容・方法：フィールドワークに出掛け調査する。
- 【第11回】テーマ：フィールドワーク③発表
内容・方法：フィールドワークで得た情報をまとめプレゼンテーションする。
- 【第12回】テーマ：論文の書き方
内容・方法：調査・分析方法
- 【第13回】テーマ：論文の書き方
内容・方法：調査・分析方法
- 【第14回】テーマ：論文の書き方
内容・方法：論文の組み立て方
- 【第15回】テーマ：セミナーⅡのふりかえりとまとめ
内容・方法：これまでの復習とセミナーⅢへの心構えを講義する主体的学び・プレゼンテーションやグループワークなどで自ら研究することが求められる

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

事前事後の学習

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要
授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり70時間が必要

課題に対するフィードバックの方法

個人指導とともに、研究発表会を通してゼミで分析、論議する

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により、総合的に判定の上、60点以上を合格として所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	プレゼンテーション内容 40 プレゼンテーション パフォーマンス 20	1,2,3,4
授業外での評価	10	観光フィールドワークへの参加 10	1,2,3,4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	内容:10 論理性:5 書き方:5	1,2,3,4
その他	10	課題への取り組み姿勢	1,2,3,4

テキスト	適宜、資料やプリントを配布する
------	-----------------

参考書	佐藤望編著(2020)『アカデミック・スキルズ(第3版) —大学生のための知的技法入門』慶應義塾大学出版会 佐藤郁哉(2024)『リサーチ・クエスチョンとは何か? (ちくま新書1826)』筑摩書房
-----	---

履修条件・他の科目との関連	参加型講義である 調査研究・プレゼンテーション・観光フィールドワークなど、自主的な学習が求められる。 評価については、積極的、また継続的な研究姿勢を重要視する。 レポート提出、課題発表を正統な理由なく、延期または中止した場合 ならびに 学外研修を正統な理由なく欠席した場合など、受講態度によっては単位取得は困難となる。
---------------	--

授業コード	10400507	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	教養総合講義 [対面]				
シラバス執筆(全員)	辻 有美子、山本 明志、西村 真由子				
シラバス執筆(主)	辻 有美子				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

＜教養総合講義の目的と概要＞

本授業は、特定の教養科目を個別に学ぶのではなく、人文・社会等の諸科学の分野、それらを横断した学際的な分野における学問的な問題、方法、対象の理解を通して総合的な教養の知を修得することが目的である。加えて、与えられた問題の正解を求めるような高校までの「勉強」から、ものごとや現象の本質・真理を絶えず考究するような大学での「主体的かつ探究的な学びの態度」へと、学生諸君の姿勢が変化することも目指している。

授業は、種々の分野を広く包含するように3名の教員が5回ずつ担当するオムニバス形式で展開する。自らが所属する学科の専門性に近い内容を学ぶ場合は自らの関心をさらに深めることを意識しながら、また所属学科の専門性と異なる内容を学ぶ場合は学問的視野を広げて自らの関心につながる点を見出すことを意識しながら受講することが求められる。

到達目標

1. 講義を受ける学問分野における問題、方法、対象に関する知識や概念を説明できる。
2. 講義を受ける学問分野において研究されているテーマについて論理的に説明できる。
3. 教養特定科目（1年次後期以降の配当科目）を中心に学修計画をたてることのできる。

授業計画

担当：辻 有美子（国際観光学科）

テーマ：世界遺産の基礎知識

①イントロダクション：「世界遺産の基礎知識」

ユネスコの文化事業である世界遺産について概説し、世界遺産の登録や制度の歴史、分類のカテゴリーなどを学ぶ。

②世界遺産の分類(1)：「文化遺産」

登録物件の中で多くを占める「文化遺産」について、主な物件の例を挙げて概説する。

③世界遺産の分類(2)：「自然遺産」と「複合遺産」

「自然遺産」および「複合遺産」として登録されている主な物件の例を挙げて概説する。

④世界遺産の分類(3)：「危機遺産」や「文化的景観」

「文化遺産」「自然遺産」「複合遺産」に登録されつつも、遺産を取り巻く状況によっては「危機遺産」リストに加えられることもある。また「文化的景観」などの概念をもつ遺産もある。それらについて概説し、世界遺産の多様な側面を学ぶ。

⑤世界遺産の課題：「世界遺産登録の功罪」

世界遺産登録の目的は遺産の保全・保護であるが、多くは観光地となっているのが実情である。有名観光地となっている世界遺産登録物件を実例に、観光の弊害やオーバーツーリズムの出現について概説し課題についてディスカッションを行う。

担当：山本明志（基幹教育機構）

テーマ：東アジアの文化を理解する中から、「我々の普通」を相対化する

①中華人民共和国の風土と漢民族の文化

「中国」は南北に分けて理解することが有効であり、それぞれに文化的特性があることを検討する。さらに、「中国」の多数民族である漢民族の世界観について、日本と比較しながら考察する。

②モンゴルの遊牧文化

モンゴル人遊牧民の生活について家畜との関わりから検討し、その合理性と環境への影響について検討する。また、日本とモンゴルが関わるいくつかの「商品」について考察する。

③チベットの仏教文化

日本人も仏教やお寺には多少馴染みがあるだろうが、ヒマラヤ山脈の北側に住むチベット人たちはどのような仏教文化を育んできたのか、輪廻の考え方・鳥葬の文化などから検討する。

④「照葉樹林文化論」の射程

「日本文化」をより大きな地域設定の中でとらえる「照葉樹林文化論」は、日本文化の「固有性」「特異性」認識をいかに変えうるのかを検討する。

⑤「少数民族」と近代国民国家

国民国家の中において文化的少数者集団が出現するしくみを解説し、特に中華人民共和国における「少数民族」の問題について検討する。

担当：西村真由子（基幹教育機構）

テーマ：「運動・スポーツの必要性について」学ぶ

①スポーツとは何か

スポーツの歴史、スポーツが生まれた背景を概説し、スポーツとは何かを考察する。

②スポーツで何を学ぶのか

社会人基礎力、ライフスキルの観点について概説し、自身の行動のヒントに活かすことができるように考察する。

③スポーツの必要性について

運動・スポーツの効果、社会の変化から運動・スポーツへの期待が高まっていることを概説する。

- ④健康づくりを目的とした運動・スポーツについて①（運動、栄養、ダイエット）
 コロナ禍における健康管理として、自分自身をコンディショニングできる基本的な知識を概説する。SNSなど多くの情報の中から選別できるようにする。
- ⑤健康づくりを目的とした運動・スポーツについて②（筋肉、レジスタンス運動）
 コロナ禍における健康管理として、自分自身をコンディショニングできる基本的な知識を概説する。SNSなど多くの情報の中から選別できるようにする。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

各担当教員より事前事後の学習の内容が示される。

課題に対するフィードバックの方法

各担当教員より課題に対するフィードバックの方法が示される。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

各担当教員より「授業内での評価」の方法・基準（方針）が示される。
 ただし各教員は担当5回分で25点の「授業内での評価」の点数をもつが、3回以上の欠席があった場合、その教員の担当5回分の成績は0点となる。科目の評定・GPAの低下につながるので注意すること。
 また「定期試験に代わるレポート」は25点の配点で、科目全クラスの授業終了後 GoogleClassroom にて課題が掲示される。このレポートを提出しない場合、ただちに「K評価（評価不能）」にはならないが、科目の評定・GPAの低下につながるので注意すること。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	75	担当教員3名×25	1, 2
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	25	25	1, 2, 3
その他	0		

テキスト	原則テキストは使わない。
参考書	参考書については各担当教員から示される。
履修条件・他の科目との関連	3名の担当教員によるオムニバス科目であるので、課題に関する指示や提出の方法が異なるので注意すること。また、本科目は1年次後期以降開講の「教養特定科目」群の各科目と関連している。

授業コード	10400508	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	教養総合講義 [対面]				
シラバス執筆(全員)	西村 真由子、山本 明志、辻 有美子				
シラバス執筆(主)	西村 真由子				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

＜教養総合講義の目的と概要＞

本授業は、特定の教養科目を個別に学ぶのではなく、人文・社会等の諸科学の分野、それらを横断した学際的な分野における学問的な問題、方法、対象の理解を通して総合的な教養の知を修得することが目的である。加えて、与えられた問題の正解を求めるような高校までの「勉強」から、ものごとや現象の本質・真理を絶えず考究するような大学での「主体的かつ探究的な学びの態度」へと、学生諸君の姿勢が変化することも目指している。

授業は、種々の分野を広く含むように3名の教員が5回ずつ担当するオムニバス形式で展開する。自らが所属する学科の専門性に近い内容を学ぶ場合は自らの関心をさらに深めることを意識しながら、また所属学科の専門性と異なる内容を学ぶ場合は学問的視野を広げて自らの関心につながる点を見出すことを意識しながら受講することが求められる。

到達目標

1. 講義を受ける学問分野における問題、方法、対象に関する知識や概念を説明できる。
2. 講義を受ける学問分野において研究されているテーマについて論理的に説明できる。
3. 教養特定科目（1年次後期以降の配当科目）を中心に学修計画をたてることのできる。

授業計画

担当：西村真由子（基幹教育機構）

テーマ：「運動・スポーツの必要性について」学ぶ

- ①スポーツとは何か
スポーツの歴史、スポーツが生まれた背景を概説し、スポーツとは何かを考察する。
- ②スポーツで何を学ぶのか
社会人基礎力、ライフスキルの観点について概説し、自身の行動のヒントに活かすことができるように考察する。
- ③スポーツの必要性について
運動・スポーツの効果、社会の変化から運動・スポーツへの期待が高まっていることを概説する。
- ④健康づくりを目的とした運動・スポーツについて①（運動、栄養、ダイエット）
コロナ禍における健康管理として、自分自身をコンディショニングできる基本的な知識を概説する。SNSなど多くの情報の中から選別できるようにする。
- ⑤健康づくりを目的とした運動・スポーツについて②（筋肉、レジスタンス運動）
コロナ禍における健康管理として、自分自身をコンディショニングできる基本的な知識を概説する。SNSなど多くの情報の中から選別できるようにする。

担当：辻 有美子（国際観光学科）

テーマ：世界遺産の基礎知識

- ①イントロダクション：「世界遺産の基礎知識」
ユネスコの文化事業である世界遺産について概説し、世界遺産の登録や制度の歴史、分類のカテゴリーなどを学ぶ。
- ②世界遺産の分類(1)：「文化遺産」
登録物件の中で多くを占める「文化遺産」について、主な物件の例を挙げて概説する。
- ③世界遺産の分類(2)：「自然遺産」と「複合遺産」
「自然遺産」および「複合遺産」として登録されている主な物件の例を挙げて概説する。
- ④世界遺産の分類(3)：「危機遺産」や「文化的景観」
「文化遺産」「自然遺産」「複合遺産」に登録されつつも、遺産を取り巻く状況によっては「危機遺産」リストに加えられることもある。また「文化的景観」などの概念をもつ遺産もある。それらについて概説し、世界遺産の多様な側面を学ぶ。
- ⑤世界遺産の課題：「世界遺産登録の功罪」
世界遺産登録の目的は遺産の保全・保護であるが、多くは観光地となっているのが実情である。有名観光地となっている世界遺産登録物件を実例に、観光の弊害やオーバーツーリズムの出現について概説し課題についてディスカッションを行う。

担当：山本明志（基幹教育機構）

テーマ：東アジアの文化を理解する中から、「我々の普通」を相対化する

- ①中華人民共和国の風土と漢民族の文化
「中国」は南北に分けて理解することが有効であり、それぞれに文化的特性があることを検討する。さらに、「中国」の多数民族である漢民族の世界観について、日本と比較しながら考察する。
- ②モンゴルの遊牧文化
モンゴル人遊牧民の生活について家畜との関わりから検討し、その合理性と環境への影響について検討する。また、日本とモンゴルに関わるいくつかの「商品」について考察する。
- ③チベットの仏教文化
日本人も仏教やお寺には多少馴染みがあるだろうが、ヒマラヤ山脈の北側に住むチベット人たちはどのような仏教文化を育んできたのか、輪廻の考え方・鳥葬の文化などから検討する。

- ④「照葉樹林文化論」の射程
「日本文化」をより大きな地域設定の中でとらえる「照葉樹林文化論」は、日本文化の「固有性」「特異性」認識をいかに変えるのかを検討する。
- ⑤「少数民族」と近代国民国家
国民国家の中において文化的少数者集団が出現するしくみを解説し、特に中華人民共和国における「少数民族」の問題について検討する。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

各担当教員より事前事後の学習の内容が示される。

課題に対するフィードバックの方法

各担当教員より課題に対するフィードバックの方法が示される。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

各担当教員より「授業内での評価」の方法・基準(方針)が示される。
ただし各教員は担当5回分で25点の「授業内での評価」の点数をもつが、3回以上の欠席があった場合、その教員の担当5回分の成績は0点となる。科目の評定・GPAの低下につながるので注意すること。
また「定期試験に代わるレポート」は25点の配点で、科目全クラスの授業終了後 GoogleClassroom にて課題が掲示される。このレポートを提出しない場合、ただちに「K評価(評価不能)」にはならないが、科目の評定・GPAの低下につながるので注意すること。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	75	担当教員3名×25	1, 2
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	25	25	1, 2, 3
その他	0		

テキスト	原則テキストは使わない。
参考書	参考書については各担当教員から示される。
履修条件・他の科目との関連	3名の担当教員によるオムニバス科目であるので、課題に関する指示や提出の方法が異なるので注意すること。また、本科目は1年次後期以降開講の「教養特定科目」群の各科目と関連している。

授業コード	10400509	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	教養総合講義 [対面]				
シラバス執筆(全員)	杉寄 聡紀、仲村 直人、森上 幸夫				
シラバス執筆(主)	杉寄 聡紀				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

<教養総合講義の目的と概要>

本授業は、特定の教養科目を個別に学ぶのではなく、人文・社会等の諸科学の分野、それらを横断した学際的な分野における学問的な問題、方法、対象の理解を通して総合的な教養の知を修得することが目的である。加えて、与えられた問題の正解を求めるような高校までの「勉強」から、ものごとや現象の本質・真理を絶えず考究するような大学での「主体的かつ探究的な学びの態度」へと、学生諸君の姿勢が変化することも目指している。

授業は、種々の分野を広く包含するように3名の教員が5回ずつ担当するオムニバス形式で展開する。自らが所属する学科の専門性に近い内容を学ぶ場合は自らの関心をさらに深めることを意識しながら、また所属学科の専門性と異なる内容を学ぶ場合は学問的視野を広げて自らの関心につながる点を見出すことを意識しながら受講することが求められる。

到達目標

1. 講義を受ける学問分野における問題、方法、対象に関する知識や概念を説明できる。
2. 講義を受ける学問分野において研究されているテーマについて論理的に説明できる。
3. 教養特定科目（1年次後期以降の配当科目）を中心に学修計画をたてることのできる。

授業計画

担当：杉寄聡紀（国際観光学科）

テーマ：テーマパークをビジネス視点で考える

①イントロダクション「テーマパークと遊園地の違い」

テーマパークの定義やテーマパークを構成する要素について概説し、遊びに行く場所から、ビジネス視点への転換を図る。

②テーマパークは必要か？

レジャー（余暇）視点でテーマパークを見つめ、ディスカッションを通じてテーマパークやレジャーの必要性について考える機会とする。

③テーマパークビジネスの特徴

テーマパークに人が集まる理由とその仕組み・仕掛けについて概説する。

④海外テーマパーク事例研究

海外と日本のテーマパークの比較から、ビジネスのヒントや求められるレジャー・観光について考える機会とする。

⑤コンクルージョン「テーマパークから事業構想とキャリアを考える」

テーマパークを実例に、事業の発想・構想そして実現の方法を知り、自身の今後のキャリア形成について考える機会とする。

担当：仲村直人（基幹教育機構）

テーマ：運動・スポーツの文化的特徴、学び方について

①文化としてのスポーツ

スポーツを文化としてとらえることの意味を解説する。

②スポーツと経済

スポーツが経済に影響を与えるようになった経緯と現状を解説する。

③技能の上達過程と練習

技能がどのようなステップを経て上達するかを解説する。

④効果的な動きのメカニズム

技能や体力を効果的に高めるために、体のしくみや動きのメカニズムを解説する。

⑤体カトレーニング

目的に応じたさまざまなトレーニング方法を解説する。

担当：森上幸夫（基幹教育機構）

テーマ：心のリスクにいかに向き合うか

①イントロダクション「心の科学とは何か」

人間の心に対する研究アプローチは、自然科学、人文科学、社会科学のいずれが適切なのかという議論、そして心の定義と心理的な問題・課題（心のリスク）について概説する。

②加齢の心理

人間が高齢になることで生じる心身の変化を概説し、加齢および高齢に対する適応の仕方であるサクセフル・エイジングを概説する。

③被災の心理

災害に対する準備の程度により個人および社会のダメージが異なってくる。人間は、災害に対していかなる心理的な準備と対応が必要であるのかを概説する。

④罹患の心理

健康は現代の人間において最大の興味・関心の対象であるとも言える。健康が損なわれたり失われたりするときの心の状態について概説する。

⑤コンクルージョン「心のリスクへの対処」

生きていくうえで体験する、衰え・災害・不健康などから生じる心理的な問題や課題（心のリスク）に対して、人間はいかに対処しているのか、いかに生きることを意味づけているのかを考察する。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

各担当教員より事前事後の学習の内容が示される。

課題に対するフィードバックの方法

各担当教員より課題に対するフィードバックの方法が示される。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

各担当教員より「授業内での評価」の方法・基準（方針）が示される。
ただし各教員は担当5回分で25点の「授業内での評価」の点数をもつが、3回以上の欠席があった場合、その教員の担当5回分の成績は0点となる。科目の評定・GPAの低下につながるので注意すること。
また「定期試験に代わるレポート」は25点の配点で、科目全クラスの授業終了後 GoogleClassroom にて課題が掲示される。このレポートを提出しない場合、ただちに「K評価（評価不能）」にはならないが、科目の評定・GPAの低下につながるので注意すること。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	75	担当教員3名×25	1, 2
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	25	25	1, 2, 3
その他	0		

テキスト 原則テキストは使わない。

参考書 参考書については各担当教員から示される。

履修条件・他の科目との関連 3名の担当教員によるオムニバス科目であるので、課題に関する指示や提出の方法が異なるので注意すること。また、本科目は1年次後期以降開講の「教養特定科目」群の各科目と関連している。

授業コード	10400601	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	教養演習 [対面]				
シラバス執筆(全員)	中村 昌子、幸川 由美子、村田 菜穂子				
シラバス執筆(主)	中村 昌子				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

<教養演習の目的>

大学生として必須の基本的な技能（スキル）である「文章読解、文章表現、数的処理」は教養を修得する根幹であると捉え、それを身につけることを目的とした授業である。基本的技能である日本語を用いたコミュニケーション・スキル及び数的処理に関わるスキルを大学初年次の間で適切に運用できること、そしてこれらのスキルが礎となり今後本学での専門教育で必要となる専門的スキルや進路先となる社会で求められる高度なスキルの修得が容易になることも目指している。

<教養演習の概要>

授業は、それぞれのスキルに関する専門の複数教員がオムニバスで授業を担当する形式である。また、各教員から指定される授業内容の予習復習や本学のドリル教材を用いた学習など事前事後の学習を重視する。

さらに、本授業の学習成果目標に到達しそうな場合は学修支援プログラムと連携して、これらの基本スキルを必ず修得するための補習機会を準備している。

到達目標

1. 論理的に考えることができる
2. 筋道を立てて説明することができる
3. 文章を読み解くことができる
4. 学術的文章を書くことができる
5. 表・グラフなどの統計資料を読み解くことができる

授業計画

<文章読解の基礎>

担当：中村昌子

- 第1回：情報の整理（文章の構造の理解）
 第2回：文章の理解の基本（記述と説明の区別、事実と意見の区別）
 第3回：文章を読み解く（パラグラフの理解と分析）
 第4回：文章を要約する（パラグラフの要点の整理）
 第5回：文章を解釈する（パラグラフの関係の理解）

<数的処理の基礎>

担当：幸川由美子

- 第1回：論理表の活用（文章の内容を表で整理し、論理的に正しい関係性を導く）
 第2回：推論（3段論法や論理式を活用し、論理的に物事を推理する）
 第3回：集合と論理（集合論のベン図などを用いて、論理的に物事の関係性を導く）
 第4回：表とグラフの基礎（表やグラフの見方など、統計の基礎を学ぶ）
 第5回：図形の基礎（平面図形・立体図形について、空間把握の基礎を学ぶ）

<文章表現の基礎>

担当：村田菜穂子

- 第1回：大学生のレポートとは（学術的なレポートの内容、アカデミックワード、データと意見の区別）
 第2回：レポートの基本構成（レポートの基本構成、アウトライン、先行研究の役割）
 第3回：レポートを書く（アウトラインからレポートへ、推敲の観点）
 第4回：レポート作成における細かなルール（引用の方法、注のつけ方、参考文献の書き方）
 第5回：Eメールの書き方（基本的なEメールの書き方、連絡する、返信を求める）

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

各担当教員より事前事後の学習の内容が示される。

課題に対するフィードバックの方法

各担当教員より課題に対するフィードバックの方法が示される。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

各担当教員より「授業内での評価」の方法・基準（方針）が示される。

ただし各教員は担当5回分で25点の「授業内での評価」の点数をもつが、3回以上の欠席があった場合、その教員の担当5回分の成績は0点となる。科目の評定・GPAの低下につながるので注意すること。

また「定期試験に代わるレポート」は25点の配点で、科目全クラスの授業終了後 GoogleClassroom にて課題が掲示される。このレポートを提出しない場合、ただちに「K評価（評価不能）」にはならないが、科目の評定・GPAの低下につながるので注意すること。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	75	担当教員3名×25	1, 2, 3, 4, 5
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	25	25	1, 2, 3, 4, 5
その他	0		

テキスト	なし
------	----

参考書	参考書については各担当教員から示される。
-----	----------------------

履修条件・他の科目との関連	3名の担当教員によるオムニバス科目であるので、課題に関する指示や提出の方法が異なるので注意すること。また、本科目はセミナー I a(課題解決)、セミナー I b(課題解決)と関連している。
---------------	--

授業コード	10400604	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	教養演習 [対面]				
シラバス執筆(全員)	中村 昌子、幸川 由美子、奥田 和子				
シラバス執筆(主)	中村 昌子				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

＜教養演習の目的＞

大学生として必須の基本的な技能（スキル）である「文章読解、文章表現、数的処理」は教養を修得する根幹であると捉え、それを身につけることを目的とした授業である。基本的技能である日本語を用いたコミュニケーション・スキル及び数的処理に関わるスキルを大学初年次の間で適切に運用できること、そしてこれらのスキルが礎となり今後本学での専門教育で必要となる専門的スキルや進路先となる社会で求められる高度なスキルの修得が容易になることも目指している。

＜教養演習の概要＞

授業は、それぞれのスキルに関する専門の複数教員がオムニバスで授業を担当する形式である。また、各教員から指定される授業内容の予習復習や本学のドリル教材を用いた学習など事前事後の学習を重視する。

さらに、本授業の学習成果目標に到達しそうな場合は学修支援プログラムと連携して、これらの基本スキルを必ず修得するための補習機会を準備している。

到達目標

1. 論理的に考えることができる
2. 筋道を立てて説明することができる
3. 文章を読み解くことができる
4. 学術的文章を書くことができる
5. 表・グラフなどの統計資料を読み解くことができる

授業計画

＜文章読解の基礎＞

担当：中村昌子

- 第1回：情報の整理（文章の構造の理解）
 第2回：文章の理解の基本（記述と説明の区別、事実と意見の区別）
 第3回：文章を読み解く（パラグラフの理解と分析）
 第4回：文章を要約する（パラグラフの要点の整理）
 第5回：文章を解釈する（パラグラフの関係の理解）

＜数的処理の基礎＞

担当：幸川由美子

- 第1回：論理表の活用（文章の内容を表で整理し、論理的に正しい関係性を導く）
 第2回：推論（3段論法や論理式を活用し、論理的に物事を推理する）
 第3回：集合と論理（集合論のベン図などを用いて、論理的に物事の関係性を導く）
 第4回：表とグラフの基礎（表やグラフの見方など、統計の基礎を学ぶ）
 第5回：図形の基礎（平面図形・立体図形について、空間把握の基礎を学ぶ）

＜文章表現の基礎＞

担当：奥田和子

- 第1回：大学生のレポートとは（学術的なレポートの内容、アカデミックワード、データと意見の区別）
 第2回：レポートの基本構成（レポートの基本構成、アウトライン、先行研究の役割）
 第3回：レポートを書く（アウトラインからレポートへ、推敲の観点）
 第4回：レポート作成における細かなルール（引用の方法、注のつけ方、参考文献の書き方）
 第5回：Eメールの書き方（基本的なEメールの書き方、連絡する、返信を求める）

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

各担当教員より事前事後の学習の内容が示される。

課題に対するフィードバックの方法

各担当教員より課題に対するフィードバックの方法が示される。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

各担当教員より「授業内での評価」の方法・基準（方針）が示される。

ただし各教員は担当5回分で25点の「授業内での評価」の点数をもつが、3回以上の欠席があった場合、その教員の担当5回分の成績は0点となる。科目の評定・GPAの低下につながるので注意すること。

また「定期試験に代わるレポート」は25点の配点で、科目全クラスの授業終了後 GoogleClassroom にて課題が掲示される。このレポートを提出しない場合、ただちに「K評価（評価不能）」にはならないが、科目の評定・GPAの低下につながるので注意すること。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	75	担当教員3名×25	1, 2, 3, 4, 5
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	25	25	1, 2, 3, 4, 5
その他	0		

テキスト	なし
------	----

参考書	参考書については各担当教員から示される。
-----	----------------------

履修条件・他の科目との関連	3名の担当教員によるオムニバス科目であるので、課題に関する指示や提出の方法が異なるので注意すること。また、本科目はセミナー I a(課題解決)、セミナー I b(課題解決)と関連している。
---------------	--

授業コード	10400701	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	日本の文化 [対面]				
シラバス執筆(全員)	北山 航				
シラバス執筆(主)	北山 航				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

本講義では、日本の古代から近代までの時代から幅広くテーマを取り上げ、日本の文化について概観していく。その際、各時代で特徴的な文化が出来上がり広まる背景について、東アジアを中心とする国際情勢や国内の政治・社会状況に注目することで、歴史的な文脈の中で理解・解釈することを主眼とする。さらに、現代における社会問題や現代文化との共通点にも着目することで、一見すると遠い「過去」として片づけられがちな歴史的な文化について、より「自分ごとの歴史」として把握することを目的とする。それらによって、歴史学を学ぶ現代的な意義や、ひいては現代社会の抱える問題を歴史的に考える方法を学ぶ意義を伝えていきたい。

なお、授業の進度や受講生の興味・関心に応じて、授業内容を変更する可能性がある。

到達目標

1. 日本の文化について、それぞれの時代の特徴や代表的な作品について説明できる。
2. 各時代の文化について、それが生まれる背景を当時の事情に即して説明できる。
3. 授業で扱った様々な事象や事例について、現代社会とのつながりや相違点に着目しつつ、その性格を説明できる。

授業計画

- 【第1回】テーマ：オリエンテーション
内容：本授業の進め方、評価方法について説明する。あわせて、日本史を学ぶ方法について大まかに説明する。
- 【第2回】テーマ：古代の日本と「日本文化」
内容：日本の文化の特徴を理解するための前提として、古代（主に奈良時代～平安時代）の日本の歴史を概観する。
- 【第3回】テーマ：奈良時代の文化と遣唐使
内容：奈良時代の代表的な文化財や作品を取り上げ、中国からの影響やその歴史的意義について考察する。
- 【第4回】テーマ：平安時代の貴族文化
内容：平安時代の宮廷文化について、主だった文学作品を取り上げ、そうした作品が出来上がる背景を考察する。
- 【第5回】テーマ：中世の始まりとその展開
内容：日本の文化の特徴を理解するための前提として、中世（鎌倉時代～戦国時代）の日本の歴史を概観する。
- 【第6回】テーマ：鎌倉時代の「戦争」と日本文化
内容：源平の内乱やモンゴル襲来が繰り広げられた鎌倉時代について、仏教文化などから時代の特徴を考察する。
- 【第7回】テーマ：室町時代の政治と文化
内容：室町時代に特徴的な文化・芸能を取り上げ、それらが成立・展開した背景を考察する。
- 【第8回】テーマ：戦国大名の文化と南蛮貿易
内容：戦国時代における南蛮文化の特徴について、戦国大名の政策やグローバルな視点から考察する。
- 【第9回】テーマ：近世社会の特徴
内容：日本の文化の特徴を理解するための前提として、近世（江戸時代）の日本の歴史を概観する。
- 【第10回】テーマ：江戸時代の都市文化
内容：近世に江戸や大坂で花開いた都市文化・町人文化について、その特徴や歴史的な背景を考察する。
- 【第11回】テーマ：幕末維新の流れと日本の思想
内容：ペリー来航後における政治情勢を確認し、現代へつながる価値観・思想が形成される背景について考察する。
- 【第12回】テーマ：日本の「近代化」
内容：日本の文化の特徴を理解するための前提として、近代（明治時代～現代）の日本の歴史を概観する。
- 【第13回】テーマ：日清・日露戦争とマスメディア
内容：近代に大きく発達したメディア文化について、日清・日露戦争がもたらした影響やその特徴について考察する。
- 【第14回】テーマ：戦争への道と人々の生活
内容：大正から昭和時代に日本が対外戦争へ突き進んでいく流れを押さえ、当時の人々の文化について考察する。
- 【第15回】テーマ：本授業のまとめ
内容：授業で取り扱ったテーマを振り返りながら、日本文化の様々な特徴をまとめ、現代への展望を示す。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

- ・第1回目については、事前学習としてシラバスに目を通しておく。
- ・第1回目の事後学習、第2回目～第14回目までの事前事後学習、第15回目の事前学習では、授業で配布された資料をよく確認し、内容を復習しておく。
- ・第15回目の事後学習では、これまでの授業で配布された資料を熟読し、内容を振り返っておく。

課題に対するフィードバックの方法

- ・ 課題内で出された疑問・意見については、可能な限り次回授業の冒頭にて回答する。
- ・ 期末レポートの評価については、希望があれば個別に開示する。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

授業それぞれの回ごと提示する課題や感想ペーパーと、期末レポートにより総合的に評価したうえ、100点満点に換算して60点以上を合格とし、単位を認定する。
正当な理由なく5回以上欠席した場合、もしくは期末レポートを提出しなかった場合は「K」評価とする。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	40	各回の課題の解答内容(40)によって評価する。	1, 2
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	60	期末レポート(60)により評価する。	3
その他	0		

テキスト	各授業でレジュメ等の講義資料を配布する。
参考書	必要に応じて、各授業のなかで紹介する。
履修条件・他の科目との関連	<ul style="list-style-type: none">・ 日本史の知識に不安のある学生も歓迎する。・ 授業にて指示する課題やレポート課題に真面目に取り組み、期限を厳守して提出すること。

授業コード	10400702	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	日本の文化 [対面]				
シラバス執筆(全員)	鷲見 涼太				
シラバス執筆(主)	鷲見 涼太				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

本講義では、日本の文化を構成した要素の1つとして、古代から現代に至るまでの「文字文化」を主たるテーマとしてとりあげる。その際、時代ごとに、文字の役割や担い手、文字を書く道具など、文字文化を構成した様々な側面を取り上げつつ、歴史学の観点から文字文化の展開過程を明らかにしていく。あわせて、文字文化の背後にあった政治・社会情勢にも言及することで、日本史を学び直すきっかけも作っていききたい。

さらに、現代に生きる我々が「あたりまえ」のように文字を操ることができるようになるまでの歴史を学ぶことによって、現代における文字の役割や、社会や文化が多様化するなかでの文字の意義を再確認することを目指す。これにより、歴史学を学ぶ意義や、歴史学が現代社会を考える際にも有用であることを伝えていきたい。以上を通してこの講義は、各受講生が所属する学科の専門の学びを深めるうえで基盤となる人文科学に関する知の世界の形成を促し、かつグローバル社会で必要とされる文化や歴史についての理解の促進を目指すものである。

なお、授業の進度や受講者の興味・関心などに応じて、授業計画は変更することがある。また、この講義では主体的に内容を理解していくため、適宜グループワークも行う予定である。

到達目標

1. それぞれの時代における文字文化の特徴や、文字文化の構成要素について説明できる。
2. それぞれの時代における政治・社会状況との関連から、日本の文字文化について説明できる。
3. 授業で取り扱った事項について、現代社会とのつながりや相違点の観点から説明できる。

授業計画

- 【第1回】：オリエンテーション
内容：本講義の進め方、評価方法について説明したのち、歴史学を学ぶ意義や、文字文化の意義を概説する。
- 【第2回】：日本古代史概説
内容：日本古代の文字文化を理解するための前提として、古代（旧石器時代～平安時代）の歴史を概説する。
- 【第3回】：文字文化のはじまり
内容：日本列島に文字文化が伝来した弥生時代に注目し、この時代における文字の役割を概説する。
- 【第4回】：文字文化の担い手
内容：日本列島内での文字使用が拡大した古墳時代に注目し、この時代における文字の担い手を概説する。
- 【第5回】：語り継ぐ歴史
内容：日本古代において、文字とともに並立した音声に注目し、その役割について概説する。
- 【第6回】：文字文化の定着
内容：文字文化のさらなる拡大が起きた奈良時代に注目し、この時期に文字文化が拡大した要因を概説する。
- 【第7回】：日本古代の文房具
内容：文字を書くための道具である文房具という視点から、日本古代の文字文化を概説する。
- 【第8回】：ひらがな・カタカナの出現
内容：ひらがな・カタカナが生まれた平安時代に注目し、これらが生まれた要因を概説する。
- 【第9回】：日本中世史概説
内容：日本中世の文字文化を理解するための前提として、中世（鎌倉時代～戦国時代）の歴史を概説する。
- 【第10回】：証明書としての文字
内容：土地の権利や自身の功績などを示す証明書における文字の機能について概説する。
- 【第11回】：鑑賞対象としての文字
内容：書道に代表される「書」の文化の展開に注目することで、鑑賞対象としての文字について概説する。
- 【第12回】：日本近世史概説
内容：日本近世の文字文化を理解するための前提として、近世（江戸時代）の歴史を概説する。
- 【第13回】：印刷・出版の展開
内容：広く民衆にまで文字文化が広がる要因となった印刷・出版の文化について概説する。
- 【第14回】：創られた文字
内容：江戸時代に創られた文字を取り上げ、この時期にこのような創作文字が生まれた要因を概説する。
- 【第15回】：本講義のまとめ
内容：講義で取り扱ったテーマを振り返りながら、文字文化の様々な側面をまとめ、現代への展望を示す。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

- ・第1回目については、事前学習としてシラバスに目を通しておく。
- ・第1回目の事後学習、第2～14回目までの事前事後学習、第15回目の事前学習では、授業で配布された資料をよく確認し、内容を復習しておく。
- ・第15回目の事後学習では、これまでの授業で配布された資料を熟読し、内容を振り返っておく。

課題に対するフィードバックの方法

- ・授業ごとの課題の解答例については、次回の授業中にて適宜解説する。
- ・課題内で出された疑問・意見などについては、可能な限り次回の授業の冒頭にて回答する。
- ・期末レポートの評価については、希望があれば個別に開示する。

成績評価の方法・基準(方針)

- ・全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- ・必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。
- ・授業それぞれの回ごとに提示する課題と、期末レポートにより総合的に評価のうえ、100点満点に換算して60点以上を合格とし、単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	40	毎回の課題の解答内容(40)によって評価する。	1, 2, 3
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	60	期末レポート(60)によって評価する。	1, 2, 3
その他	0		

テキスト 授業ごとに資料を配布する。

参考書 必要に応じて、各授業のなかで紹介する。

履修条件・他の科目との関連

- ・配布する資料を用いて、真面目に授業を受けること。
- ・授業にて指示するグループワークに真面目に取り組むこと。
- ・毎回の授業にて提示する課題や、期末レポートの期限を厳守して提出すること。

授業コード	10400803	授業形態	講義	実務家教員	<input type="radio"/>
授業科目名	心理学 [遠隔オンデマンド]				
シラバス執筆(全員)	飯田 香織				
シラバス執筆(主)	飯田 香織				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

まず、心理学の基礎的な理論として、臨床心理学や心理学の全体像、心理学の研究や実験などについて学ぶ。その後、心理学の幅広い分野として、認知や学習、感情、人格や脳・神経などの身体的側面についても学ぶ。最終的には、教育分野、産業分野、司法分野などの各分野にまつわる心理学について学び、心理学の基礎を幅広く学ぶことを目的とする。講義全体を通して、学んだことが日常の生活に活かせることを目的とする。担当教員が長年にわたり現場で心理支援を行ってきた経験をもとに、実務家教員として、理論的理解に加えて実践や事例を交えて、できるだけわかりやすく講義を展開する。

★この授業は、遠隔授業となります。

リアルタイム型の遠隔授業（その授業時間にZoom等で参加する方法）ではなく、講義を録画した動画を一定期間中に視聴し、所定の課題を提出する形で実施する予定です。

到達目標

- 1, 基本的な心理学の理論や支援のポイントなどについて理解し、説明することができる
- 2, 毎回の授業の内容を理解し、その授業のポイントを説明することができる
- 3, 授業で習った内容を、実感をもって理解し、どのように自身の人間関係や生活に役立てられるかを説明することができる

授業計画

- 【第1回】 心理学・臨床心理学の全体像 1
内容：生理学から実験心理学、精神分析への発展の過程や、その過程の種々の理論について学ぶ。
- 【第2回】 心理学・臨床心理学の全体像 2
内容：ユング心理学、パーソン・センタードアプローチ、行動主義、認知行動療法などについて学ぶ。
- 【第3回】 心理学・臨床心理学の全体像 3
内容：人間性心理学、ゲシュタルト心理学、認知神経科学、社会構成主義などについて学ぶ。
- 【第4回】 心理学における研究
内容：心理学における主な研究法や研究倫理などについて学ぶ。
- 【第5回】 心理学に関する実験
内容：心理学における実験計画の立て方、実験の方法、実験結果の解釈と報告書の作成などについて学ぶ。
- 【第6回】 知覚および認知
内容：人の感覚・知覚の機序とそれぞれの器官に障害が出た場合の理解などについて学ぶ。
- 【第7回】 学習および言語
内容：人の行動に影響する学習の概念や言語の習得について学ぶ。
- 【第8回】 感情および性格、人格
内容：感情とはどのようなものか、性格や人格について学ぶ。
- 【第9回】 社会および集団に関する心理学
内容：対人関係や集団における人の意識や行動などについて学ぶ。
- 【第10回】 脳・神経の働き
内容：脳や神経系の構造や機能、記憶などについて学ぶ。
- 【第11回】 障がい者（児）の心理学
内容：障がいの国際的分類や障がいに関する法律等について学び、障がい者（児）の心理社会的課題と支援について学ぶ。
- 【第12回】 教育に関する心理学
内容：教育にかかわる法律や教育現場における心理支援について学ぶ。
- 【第13回】 発達
内容：人の発達に関する主要な理論と生涯発達について学ぶ。
- 【第14回】 産業・組織に関する心理学
内容：産業分野に関する法律と職場でのメンタルヘルス支援などについて学ぶ。
- 【第15回】 司法・犯罪に関する心理学
内容：司法分野の制度や必要な心理支援について学ぶ。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後の合わせて1単位45時間の学習が必要です。毎回の事前学習として、関連する文献・資料を読んでおくこと（1.5時間）。そして事後学習として授業中に追記した資料を使って復習し、授業で習った概要について説明できる程度に理解を深めておくことが必要である（2.5時間）。

課題に対するフィードバックの方法

毎回の提出課題を採点し、必要に応じてフィードバックする。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。正当な理由なく5回以上期限内の課題の未提出があった場合は、評価の対象とせず、「K」評価とする。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	授業内で課されるミニレポート(60)。第1回～第15回の授業の最後にミニレポート(各4点)を実施する(4×15=60)。	1, 2, 3
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	40	期末レポート	1, 2
その他	0		

テキスト	教員が作成した資料をGoogle Classroomに掲示する。
参考書	必要に応じて授業内で紹介する。
履修条件・他の科目との関連	心理学関連の科目を履修していることが望ましい。 新型コロナウイルスの感染状況等により、進め方や内容を一部変更する場合があります。その場合は随時連絡します。 5回以上の欠席(未提出)は認めません。自分で予定を管理して、課題の提出を行ってください。

授業コード	10400806	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	心理学 [遠隔オンデマンド]				
シラバス執筆(全員)	安原 彰子				
シラバス執筆(主)	安原 彰子				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

心理学は心や行動について科学的に理解し、自分自身や他者といった人間理解に役立つ学問である。本講義では、心理学事象の基礎となる感情、判断と意思決定、パーソナリティについて学ぶ。これらを通して自分や他者の心理を理解するために、人間の心の働きを「説明する」ことを目標とする。
★この授業はオンデマンド型の遠隔授業です。リアルタイム型の遠隔授業（その授業時間にZoom等で参加する方法）ではなく、講義を録画した動画を一定期間中に視聴し、所定の課題を提出していただく形で実施予定です。

到達目標

1. 人間の感情の仕組み、機能について説明することができる。
2. 人間の判断と意思決定に関わる心の働きや思考の仕組みを説明することができる。
3. 人間のパーソナリティに関する理論、測定手法、パーソナリティ障害について説明することができる。

授業計画

- 【第1回】 授業オリエンテーション
 - ・本科目の目的と概要について述べる。
- 【第2回】 感情 1
 - ・感情の定義と理論を紹介する。
- 【第3回】 感情 2
 - ・感情の機能について紹介する。
- 【第4回】 感情 3
 - ・感情と関連のある精神疾患について紹介する。
- 【第5回】 感情 4
 - ・ポジティブ感情と健康の関連について紹介する。
- 【第6回】 判断と意思決定 1
 - ・人の思考のクセを紹介する。
- 【第7回】 判断と意思決定 2
 - ・説得に関わる社会的影響力について紹介する。
- 【第8回】 判断と意思決定 3
 - ・承諾の心理メカニズムを紹介する。
- 【第9回】 判断と意思決定 4
 - ・リスク認知の特徴について紹介する。
- 【第10回】 判断と意思決定 5
 - ・災害発生時の意思決定の特徴、行動について紹介する。
- 【第11回】 パーソナリティ 1
 - ・パーソナリティの理論を紹介する。
- 【第12回】 パーソナリティ 2
 - ・パーソナリティの発達や形成要因について紹介する。
- 【第13回】 パーソナリティ 3
 - ・パーソナリティの測定方法について紹介する。
- 【第14回】 パーソナリティ 4
 - ・パーソナリティ障害について紹介する。
- 【第15回】 最新の研究トピックと応用分野
 - ・最新の心理学研究の紹介と応用分野について紹介する。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

- 第1回
 - 【事前】 授業のシラバスを熟読し、授業構成を理解する
 - 【事後】 オリエンテーションの説明内容にもとづき心理学の位置づけを理解し、書き出す
- 第2回
 - 【事前】 感情の理論について文献を検索し、その内容を書き出す
 - 【事後】 授業で提示した「感情の理論」についての課題に取り組む。
- 第3回
 - 【事前】 自身の経験を振り返り、感情の機能を考え、書き出す。
 - 【事後】 授業で提示した「感情の機能」についての課題に取り組む。
- 第4回
 - 【事前】 感情に関連のある精神疾患について検索し、その内容を書き出す。
 - 【事後】 授業で提示した「精神疾患と感情の関連」についての課題に取り組む。
- 第5回
 - 【事前】 ポジティブ感情の機能に関する文献を検索し、その内容を書き出す。

【事後】授業で提示した「ポジティブ感情と健康」についての課題に取り組む。

第6回

【事前】2重過程理論について文献を検索し、その内容を書き出す。

【事後】授業で提示した「2つの思考システム」についての課題に取り組む。

第7回

【事前】自身の経験を振り返り、他者の依頼を承諾した時の心理学的メカニズムを考え、書き出す。

【事後】授業で提示した「社会的影響力」についての課題に取り組む。

第8回

【事前】社会的影響力について文献を検索し、その内容を書き出す。

【事後】授業で提示した「承諾の心理」についての課題に取り組む。

第9回

【事前】リスク認知に関する文献を検索し、その内容を書き出す。

【事後】授業で提示した「リスク認知」についての課題に取り組む。

第10回

【事前】災害時の意思決定について文献を検索し、その内容を書き出す

【事後】授業で提示した「災害時の意思決定」についての課題に取り組む。

第11回

【事前】パーソナリティの理論について文献を検索し、その内容を書き出す

【事後】授業で提示した「パーソナリティ理論」についての課題に取り組む。

第12回

【事前】パーソナリティの発達に関する文献を検索し、その内容を書き出す

【事後】授業で提示した「パーソナリティの発達」についての課題に取り組む。

第13回

【事前】性格検査に関する文献を検索し、その内容を書き出す

【事後】授業で提示した「パーソナリティの測定方法」についての課題に取り組む。

第14回

【事前】パーソナリティ障害に関する文献を検索し、その内容を書き出す

【事後】授業で提示した「パーソナリティ障害」についての課題に取り組む。

第15回

【事前】心理学の最新の研究について検索し、その内容を書き出す。

【事後】授業で提示した「心理学の応用分野」についての課題に取り組む。

課題に対するフィードバックの方法

- ・毎回の授業内課題に対して授業内で講評・解説します。
- ・レポートは、評価基準表にもとづく評価結果をフィードバックします。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修(全15回分の授業内課題のうち8回以上の提出)が確保できていない場合は、「K」評価とする。

以下に示す通り、授業内で実施される課題、定期試験に代わるレポートに基づき総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定します。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	毎回の授業内で課す課題(計15回・各4)	1,2,3
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	40	これまでに学習した内容について課題を出す(40)	1,2,3
その他	0		

テキスト テキストは使用せず資料を配布します。

参考書 必要に応じて授業の中で紹介します。

履修条件・他の科目との関連 受講にあたり、特別な配慮を必要とする学生は申し出てください。

授業コード	10400902	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	社会学 [遠隔オンデマンド]				
シラバス執筆(全員)	遠藤 正敬				
シラバス執筆(主)	遠藤 正敬				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

本講義では、近現代の社会においてさまざまな形で現れてきた人間の営みを政治、法、制度、慣習など多角的にとらえてみる。自由や平等など正の面と、紛争や差別や犯罪など負の面の両方に目を向け、現在自分が生きている社会がどのような特徴をもっているのかを理解することで、あるべき共生社会を考える手がかりをさぐることを目的とする。人種、民族、国籍、ジェンダー、宗教、職業などいろいろな論点を取り上げ、豊かな議論を行いたい。

★この授業は、遠隔授業となります。リアルタイム型の遠隔授業（その授業時間にZoom等で参加する方法）ではなく、講義を録画した動画を一定期間中に視聴し、所定の課題を提出する形で実施する予定です。

到達目標

- 1、現在の自分を取り巻く世界の情勢がどのようなものであるかを社会学的観点から説明できる。
- 2、何事にも多様な価値観をもって評価することができる。
- 3、社会の動きや人間の営みを自分なりの意見をもって説明できる。

授業計画

- 【第1回】
テーマ：授業のねらい
内容・方法：文化の異同からみえてくるもの
- 【第2回】
テーマ：近代社会の形成 ①
内容・方法：「革命」とは何か
- 【第3回】
テーマ：近代社会の形成 ②
内容・方法：宗教と個人の自由
- 【第4回】
テーマ：「国民」とは誰か
内容・方法：国籍と市民権、外国人の人権
- 【第5回】
テーマ：法と裁判の社会史
内容・方法：神明裁判から「法の裁き」へ
- 【第6回】
テーマ：「奴隷」とは何か
内容・方法：奴隷制度の歴史にみる「人間」観
- 【第7回】
テーマ：食文化と社会
内容・方法：肉食をめぐる文化比較
- 【第8回】
テーマ：社会とステレオタイプ
内容・方法：「人種」や「民族」の描かれ方
- 【第9回】
テーマ：「障害者」とは誰か
内容・方法：社会や法における障害者の歴史
- 【第10回】
テーマ：「家族」のかたちと社会 ①
内容・方法：結婚と戸籍、夫婦別姓
- 【第11回】
テーマ：「家族」のかたちと社会 ②
内容・方法：同性婚をめぐる世界の流れ
- 【第12回】
テーマ：「優生思想」とは何か
内容・方法：進化論から強制不妊まで
- 【第13回】
テーマ：「無戸籍」とは何か
内容・方法：日本における無戸籍問題の意味
- 【第14回】
テーマ：グローバル化と社会の変容
内容・方法：移民、難民、重国籍
- 【第15回】
テーマ：まとめ
内容・方法：講義の総括

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

- 【第1回】
 ①事前学修課題：ニュースや時事問題に目を通し、問題を掴んでおく 2時間
 ②事後学修課題：疑問点の整理 2時間
- 【第2回】
 ①事前学修課題：多文化社会の観察 2時間
 ②事後学修課題：多文化社会の発見 2時間
- 【第3回】
 ①事前学修課題：ニュースの確認 2時間
 ②事後学修課題：講義内容の復習 2時間
- 【第4回】
 ①事前学修課題：ニュースの確認 2時間
 ②事後学修課題：講義内容の復習 2時間
- 【第5回】
 ①事前学修課題：資料の予習 2時間
 ②事後学修課題：資料の理解 2時間
- 【第6回】
 ①事前学修課題：歴史の復習 2時間
 ②事後学修課題：テキストの理解 2時間
- 【第7回】
 ①事前学修課題：予備知識の確認 2時間
 ②事後学修課題：テキストの理解 2時間
- 【第8回】
 ①事前学修課題：予備知識の確認 2時間
 ②事後学修課題：テキストの理解 2時間
- 【第9回】
 ①事前学修課題：予備知識の確認 2時間
 ②事後学修課題：テキストの理解 2時間
- 【第10回】
 ①事前学修課題：予備知識の確認 2時間
 ②事後学修課題：テキストの理解 2時間
- 【第11回】
 ①事前学修課題：ニュースの確認 2時間
 ②事後学修課題：テキストの理解 2時間
- 【第12回】
 ①事前学修課題：予備知識の確認 2時間
 ②事後学修課題：テキストの理解 2時間
- 【第13回】
 ①事前学修課題：予備知識の確認 2時間
 ②事後学修課題：テキストの理解 2時間
- 【第14回】
 ①事前学修課題：予備知識の確認 2時間
 ②事後学修課題：テキストの理解 2時間
- 【第15回】
 ①事前学修課題：これまでの復習 2時間
 ②事後学修課題：何を理解できたかを確認してみる 2時間

課題に対するフィードバックの方法

前回の授業内容の整理を毎回授業内の冒頭で行うとともに、毎回の授業内課題については各自の解答を採点した上で、課題のポイントはどこにあったのかを次回の授業内で説明する。履修者から寄せられた質問については個別に解答し、共有すべき質問については授業内で解答する。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により、課題および最終レポート等によって到達目標に即して総合的に判定の上、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。正当な理由なく5回以上欠席した場合は「K」評価とする。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	授業内課題(60)	1, 2, 3
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	40	最終レポート(40)	1, 2, 3
その他	0		

テキスト 毎回、レジュメを配布する。

参考書	適宜、授業内で指示する。
履修条件・他の科目との関連	積極的に授業への意見や質問、自分の関心事などを投じてくれることを期待する。

授業コード	10400903	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	社会学 [遠隔オンデマンド]				
シラバス執筆(全員)	尾添 侑太				
シラバス執筆(主)	尾添 侑太				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

社会とは何か、われわれは社会とどうかかわっているのか。社会学とは「社会」についての学問であるが、とりわけ「私たちの社会における常識」の成り立ちを問い直す学問である。本講義は社会学の代表的理論や現代の社会問題を概説しながら、学生が社会学の基本的な考え方を習得することを目的とする。ただし社会学の入門編として位置づけ、映像メディアや新聞記事、身近で日常的な事例を多く用いながら、われわれが生きる現代社会を読み解くツールとしての社会学を学ぶ。

★この授業は、オンデマンド型の遠隔授業となります。リアルタイム型の遠隔授業（その授業時間に Zoom 等に参加する方法）ではなく、講義を録画した動画を一定期間中に視聴し、所定の課題を提出していただく形で実施する予定です。

到達目標

1. さまざまな社会学者の基本的な考え方や用いられる概念を理解し、説明できる。
2. 社会学的想像力を養い、社会状況や自分の立ち位置を判断できる。
3. 現代の社会問題について深く考察し、説明できる。

授業計画

- 第1回 インTRODakション-社会学とは何か
 第2回 家族の社会学
 一近代家族の成立と変容を踏まえ、現代の家族が抱えている問題について解説する
 第3回 ジェンダーの社会学
 一性愛関係の多様性や日本の社会規範の問題について、A・ギデンズの学説を取り上げて解説する
 第4回 学校の社会学
 一I・イリイチの脱学校化、土井隆義のキャラ化やカースト化の議論を踏まえ、学校の自明性を問い直す
 第5回 労働の社会学
 一日本型経営や制度を踏まえ、これから求められる働き方や労働のありかたを解説する
 第6回 都市と地域の社会学
 一都市化がもたらす生活様式の変容を踏まえて、都市・地域におけるコミュニティの問題を解説する
 第7回 医療と福祉の社会学
 一近代施設としての病院や医療福祉の制度の問題について、医療化の議論を取り上げ解説する
 第8回 小括-前半内容を振り返る
 第9回 格差の社会学
 一現代の貧困問題を「不可視化」というキーワードを用いて解説する
 第10回 メディアの社会学
 一インターネットやSNSの普及がわれわれの生活や関わり方に与えた影響と問題について解説する
 第11回 消費の社会学
 一1980年以降の高度消費社会化の議論を踏まえ、現代のアイデンティティについて考える
 第12回 監視と排除の社会学
 一D・ライアンの監視社会化の議論を踏まえたうえで、監視がもたらす社会的排除の問題を解説する
 第13回 若者と社会学
 一社会学における若者論を概観し、日本の若者が抱える問題や困難について解説する
 第14回 「幸せ」について考える
 一他国の様々な社会制度や実践と比較して、われわれが生きている日本社会における「幸福」を考える
 第15回 まとめ-われわれはいかなる時代を生きているか

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

事前学習：社会問題に関心を持ち、現代社会の生きづらさについての情報を収集する（各2時間）
 事後学習：授業内容を踏まえて、社会問題やわれわれの日常生活を問い直し文章化する（各2時間）

課題に対するフィードバックの方法

授業冒頭にコメントペーパーをフィードバックする。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	70	リアクションペーパー(70)	1, 2
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	30	期末レポート(30)	1, 2, 3
その他	0		

テキスト	テキストは使用しない
参考書	必要に応じて授業の中で紹介する
履修条件・他の科目との関連	新聞の社会面などを読み、時事問題に対して関心をもつこと。

授業コード	10400904	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	社会学 [遠隔オンデマンド]				
シラバス執筆(全員)	古川 岳志				
シラバス執筆(主)	古川 岳志				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

社会学は、その名の通り社会を考える学問である。私たちは社会の中で、社会に影響を受けながら生き、それによって社会を形作る一翼を担っている。社会は私たちにとっておなじみのものだが、それだけにかえて、客観的に捉えるのが難しいものでもある。社会学は、この身近だけれど曖昧で捕まえにくい「社会」という対象に真正面から取り組み、考察、分析し、さまざまな問題を発見し解決の道を探求してきた。この講義では、社会学の基本的な概念を学んだ上で、テーマとして主に家族と都市に関する現代社会の課題をとりあげ、社会学の視点から考察していく。

[この授業は、オンデマンド型の遠隔授業となります。リアルタイム型の遠隔授業（その授業時間にZoom等で参加する方法）ではなく、講義を録画した動画を一定期間中に視聴し、所定の課題を提出していただく形で実施する予定です。]

到達目標

1. 現代の家族や都市をめぐる社会問題について概要を説明できる。
2. 身近な社会問題について社会学の概念を使って考察できる。

授業計画

- 【第1回】社会学とは何か：社会学の基本的な考え方について概説する
- 【第2回】近代社会と社会学：社会学がどのように誕生したのか。歴史について概説する。
- 【第3回】社会学の基本概念1：社会的行為・社会的役割などの基本概念について学ぶ。
- 【第4回】社会学の基本概念2：社会集団・官僚制などの基本概念について学ぶ。
- 【第5回】家族の社会学1（家族を考えるための基礎概念）：社会学の中で家族がどのように問題化されてきたのかを概説する。
- 【第6回】家族の社会学2（家族の近代）：近代家族という概念について説明する。
- 【第7回】家族の社会学3（家族の変容）：近代以降、家族がどのように変化してきたのかを説明する。
- 【第8回】ジェンダーの社会学（女性解放運動と現代社会）：男女平等はどのように進んできたのか。歴史的過程を含めて解説する。
- 【第9回】都市の社会学1（都市と農村）：社会学において都市はどのように考えられてきたのかを概説する。
- 【第10回】都市の社会学2（都市の匿名性と自由）：ゴッフマンの社会学理論を通じて、都市における匿名性について学ぶ。
- 【第11回】都市の社会学3（都市のサブカルチャー）：都市空間において雑種の文化がどのように形成されるのかについて考察する。
- 【第12回】文化の社会学1（近代社会とスポーツ）：近代スポーツという概念が何を意味するのかを学ぶ。
- 【第13回】文化の社会学2（スポーツとメディア）：スポーツの発展とマス・メディアの関係について学ぶ。
- 【第14回】文化の社会学3（越境する文化）：国境を超えたポピュラーカルチャーの広がりについて考察する。
- 【第15回】全体のまとめ

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

事前学習：各回のテーマについて、予備知識を得ておく。2回目以降は、前回の復習をしておくこと。各回ごとに2時間程度を要する。

事後学習：講義内容をノートにまとめ、復習しておくこと。各回ごとに2時間程度を要する。

課題に対するフィードバックの方法

小テストの解説は、次回の講義中に行う。ミニレポートに関しては授業内で適宜フィードバックを行う。希望者には最終レポートの講評を行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	80	毎回課する小テスト(70) 数回実施するミニレポート(10)	1, 2

授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	最終レポート試験(20)	1, 2
その他	0		

テキスト	テキストは使用せず資料等を配布する。
------	--------------------

参考書	講義中に適宜指示する。
-----	-------------

履修条件・他の科目との関連	社会に関するあらゆる科目と関連がある。毎回積極的に受講すること。
---------------	----------------------------------

授業コード	10400906	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	社会学 [遠隔オンデマンド]				
シラバス執筆(全員)	本間 桃里				
シラバス執筆(主)	本間 桃里				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

個人が抱える様々な生きづらさは社会によってつくられるものであると気づかせてくれる学問が、社会学である。この講義では、立場が異なると見えている世界がどのように異なるのかについて、社会学の知見を応用しながら考える。それを通じて社会の「当たり前」を批判的に問い直し、身の回りに潜む排除や差別に気づくことが、本講義のねらいである。よりよい社会とは何か、社会にどのような働きかけができるのか等についても受講者のみなさんと一緒に探求したい。

★この授業は、オンデマンド型の遠隔授業となります。リアルタイム型の遠隔授業（その授業時間に Zoom 等で参加する方法）ではなく、講義を録画した動画を1週間以内に視聴し、所定の課題を提出していただく形で実施する予定です。

到達目標

1. 社会的な考え方や概念を理解し、自分の言葉で説明することができる。
2. 立場が異なる多様な人々からみた社会がどのようなものなのか、社会を多角的に捉えることができる。
3. さまざまな社会問題に関心を持ち、社会の「当たり前」を批判的に問い直すことができる。

授業計画

- 【第1回】イントロダクション
—社会的な考え方に触れる。
- 【第2回】 家族と社会
—「家族」とは何かを問い、社会における家族の機能について考える。
- 【第3回】 学校と社会①
—「教育」とは何かを問い、社会における教育の機能について考える。
- 【第4回】 学校と社会②
—不登校、不就学、公教育の周縁に置かれた人々について考える。
- 【第5回】 コミュニティと社会
—「コミュニティ」とは何かを問い、社会におけるコミュニティの機能について考える。
- 【第6回】 移民からみた社会①
—「外国人労働者」を取り巻く構造について考える。
- 【第7回】 移民からみた社会②
—移民背景がある子どもを取り巻く構造について考える。
- 【第8回】 移民からみた社会③
—難民、無国籍、非正規滞在の人々を取り巻く構造について考える。
- 【第9回】 「障害」がある人々からみた社会①
—「障害」とは何かを問い、「障害」がある人々を取り巻く構造について考える。
- 【第10回】 「障害」がある人々からみた社会②
—「障害」がある子どもを取り巻く構造について考える。
- 【第11回】 貧困状態にある人々からみた社会①
—貧困とは何かを問い、貧困状態に置かれている人々を取り巻く構造について考える。
- 【第12回】 貧困状態にある人々からみた社会②
—貧困状態に置かれている子どもを取り巻く構造について考える。
- 【第13回】 性的マイノリティの人々からみた社会
—性にまつわる規範を問い直し、性的マイノリティの人々を取り巻く構造について考える。
- 【第14回】 社会運動論
—排除や差別と闘う人々の実践を取り上げ、社会運動とは何かについて考える。
- 【第15回】 社会問題とは
—問題が問題として認識されること／されないことについて考える。

★そのときどきの社会情勢、時事ニュース、受講生の関心などに応じて内容に変更がある可能性があります。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

事前学習：社会問題に関心を持ち、時事ニュースや身の回りの出来事にアンテナを張る。教科書や授業で紹介した文献を読む。（各回2時間）
事後学習：重要な語彙や概念を復習する。講義および文献や資料等を参照しながら、そのテーマについて考察を深め、リアクションペーパーを提出する。（各回2時間）

課題に対するフィードバックの方法

講義の冒頭で前回分のリアクションペーパーに対するフィードバックをする。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし所定の単位を認定する。
なお、特別な事情がなく授業を5回欠席した場合、単位は認めないものとする。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	毎回の講義後に提出するリアクションペーパー	1,2
授業外での評価	0		
定期試験	50	期末テスト(オンラインで実施。設問には論述も含む。)	1,2,3
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	0		

テキスト	テキストは使用しない。
------	-------------

参考書	必要に応じて適宜紹介するが、特に以下の書籍が授業の理解に役立つ。重要な箇所は授業内でも取り上げるため、購入は必須ではない。 原田琢也・伊藤駿編, 2024, 『インクルーシブな教育と社会 : はじめて学ぶ人のための15章』ミネルヴァ書房. 価格: 3,080円(税込み) ISBN-10 : 4623096556 ISBN-13 : 978-4623096558
-----	---

履修条件・他の科目との関連	履修条件は特にないが、計画的に学習時間を確保すること。
---------------	-----------------------------

授業コード	10401003	授業形態	講義	実務家教員	○
授業科目名	暮らしのなかの憲法 [対面]				
シラバス執筆(全員)	三輪 淳之				
シラバス執筆(主)	三輪 淳之				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

憲法というと、自分たちにとっては遠い存在のように感じられ、あるいは法律の中でもとっつきにくいイメージがあるが、実際には憲法は、私たちが社会活動を行う中で大いに影響があり、無意識のうちに私たちも憲法の規律のもとにおかれている。

本授業では、遠い存在である憲法について、担当教員が長年に亘り企業において「国際法務」業務に従事してきた経験をもとに、実務家教員として、実際に経験した実例を取り入れながら講義を展開する。その際、憲法の存在意義、暮らしのなかでの憲法の適用のされ方やありかたについて理解を深めるため、双方向授業の形式を取り入れる。

双方向型の授業を通じ、受講生が自らの頭で思考して出す意見もふまえ、日常生活における法律行為や時事問題について解説をしていく。

本講義は憲法を身近なものとすることをめざすものであり、そのための実践的な学びの場とすることを狙っている。

到達目標

1. 憲法そのものの存在意義や基本的な枠組みについて記述することができる。
2. 憲法的視点を身につけることにより、社会的・政治的問題について主体的に考え、説明することができる。
3. 憲法という題材を通して、社会のあらゆる立場にある人の利害調整について多角的視点を持って分析結果を発表することができる。

授業計画

第1回；ガイダンス - 日本国憲法とは？

1. 憲法の定義と目的
2. 憲法の基本原理と構造
「憲法の目的、法律の中の憲法の位置づけや大まかな構成について学ぶ」

第2回；天皇と象徴

1. 天皇の位置付け
2. 天皇の仕事
「天皇の立場や仕事内容、財産を学ぶ」

第3回；人権の制限

1. 外国人
2. 公務員
3. 受刑者
4. 未成年

「日本人と外国人の人権は同じか、公務員の人権はどのように保障されるか；猿払事件等の判例をとりあげて解説する」

第4回；信教の自由

1. 思想良心の自由
2. 信教の自由

「国による宗教的行為とは何なのか；津地鎮祭事件等の判例を取り上げて解説する」

第5回；表現の自由とプライバシーの侵害

1. 表現の自由と知る権利（インターネット上の表現）
2. 検閲の禁止
3. 通信の秘密
4. プライバシー権（個人情報保護等）と肖像権
5. 学問の自由
6. 教育を受ける権利と義務教育

「プライバシーのあり方の変化と最近のネット社会での動きや、チャタレイ夫人事件等の判例を取り上げて表現の自由について解説し、大学の自治についても触れる」

第6回；婚姻の自由と男女平等

1. 婚姻の自由
2. 男女平等（社会・企業における取り組み）
3. 再婚禁止期間
4. 積極的是正措置

「男女平等の歴史に触れ、女性の再婚禁止期間変更の法改正や、子供の父親確定ルール等について解説する」

第7回；勤労の権利・義務と生存権

1. 勤労の権利・義務と過重労働問題等
2. 職業選択の自由
3. 生存権（生活保護制度等）・財産権
4. 労働権（労働三権）

「働く権利と義務や職業を選ぶ自由について、そして過労死とブラック企業等について解説する」

第8回；立法と国会

1. 立法の仕事（選挙制度のあり方、国会組織・運営）
2. 国会議員の特権

「法律やルールができるまでの動きや、政治家の仕事・役割等について解説する」

第9回；行政と内閣

1. 行政権
2. 議院内閣制
3. 内閣総理大臣の役割と権限
4. 独立行政委員会

「首相や大臣はどうやって選ばれるのか、政治とは何か等について解説する」

第10回；司法と裁判所

1. 司法権
2. 裁判員制度
3. 違憲立法審査権
4. 裁判官の独立・権限

- 「裁判とは何か；裁判所の仕組みについて解説し、国民参加の裁判員制度等について解説する」
- 第11回；地方自治
1. 地方自治・住民投票（地方自治体の組織、大阪都構想）
- 「国と地方の政治や最近の大阪都構想と住民投票等について解説する」
- 第12回；憲法9条と自衛隊
1. 憲法9条 2. 自衛隊の位置付け 3. 自衛権
「戦争放棄とは何を意味するのか；自衛隊の位置づけについて、砂川事件判例や百里基地事件判例等と
りあげて解説する」
- 第13回；憲法改正
1. 現在議論されているトピック 2. 憲法改正手続
「世界の憲法改正状況と日本の憲法改正の議論について解説する」
- 第14回；国民の義務、新しい人権
「憲法制定時には想定しなかった新しいプライバシー権やLGBTの権利等について解説する」
- 第15回；「暮らしのなかの憲法」まとめ
「14回目までの総ざらいをする」

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

各回、事前学修は2時間、事後学修は2時間を目安とする。

- ・事前学習；
テキストの該当箇所を読んで、疑問点を整理しておくこと。
- ・事後学習；
毎授業の理解を深めるために、ノートを整理して授業資料を読み返すこと。

課題に対するフィードバックの方法

各回の理解度テストについては、次回の授業において解答や解説、講評等をおこなう。
詳細は初回授業の際に説明する。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
 - 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。
- 具体的には、以下に示すとおり、授業期間内に実施される理解度テスト、定期試験等を総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。
正当な理由なく理解度テストを4回以上未提出の場合、又は定期試験を受験・提出しなかったか のいずれかの場合、評価の対象とせず、「K」評価とする。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	40	毎授業後の理解度テスト(40)	1, 2, 3
授業外での評価	0		
定期試験	60	全授業終了後に実施する試験(60)	1, 2, 3
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	0		

テキスト	1. 「大学生のための日本国憲法入門」吉田 成利(慶應義塾大学出版会) 1,500円(税別) ISBN978-4-7664-2647-2 2. 上記1. に加えて、必要に応じて授業で資料を配布する。
------	---

参考書	ポケット六法などの六法があれば望ましい
-----	---------------------

履修条件・他の科目との関連	憲法についての知識がまったくない学生を歓迎します。 新聞やインターネットの新聞記事に普段から目を通して、憲法に関連するトピックについてピックアップするとともに、何がとりあげられてどのような焦点が当てられているのかについて理解と関心を高めておくこと。 欠席学生への配布資料等の対応：Google Classroomに配布資料はアップロードします。
---------------	--

授業コード	10401105	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	人権教育論 [対面]				
シラバス執筆(全員)	長澤 敦士				
シラバス執筆(主)	長澤 敦士				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

【概要】 「深夜3時の人権論」
 例えば、この社会には深夜3時になると明日を生きるのではなく、いま・ここで自ら命を絶つという選択をしようとする人たちがいます。少なくとも、わたしの人生ではそういう他者（ひと）とかかわる機会が何度かありました。わたしは彼ら／彼女らとどれだけかかわっても、彼ら／彼女らがそう思うに至る背景を説明するための道筋をつくるのが出来ずにいます。なぜなら、彼ら／彼女らのことを「理解する」道筋には、いくつもの困難が付きまとうからです。それでも、わたしは彼ら／彼女らの背景にあるものを「理解」したいとは思っています。

ところで、一般的に人権とは「人が生きるためにどうしても必要なもの、奪われてはならないもの」（森田 2000：31）と言われていています。今日の社会では、この意味での「人権」が実現されるためにさまざまな法律や政策が制定／策定され施行／実施されています。そうした法律や政策はとても大切です。しかし、これらの法律や政策はときにわたしたちの日常において「人権」を実現しようとするものの弊害になることがあるのも事実です。そこで、この講義では「そもそも「人権」を日常の中で保障するとはどのようなことなのか」という問いを基盤にして、例えば、深夜3時に自ら命を絶つという選択しようとしたけれども、最終的に明日を生きることを選択した人を「メンヘラ」や「躁鬱病」といった名前を付けて理解してしまうのではなく（もちろん、そうした理解の可能性も残しつつ）、そうした人々の個別具体的な人生や生活に光を当てることで日常実践（≠政策や法律）として実現される「人権」の在り処（ありか）を受講者のみなさんと一緒に探究します。

【講義形態】 この講義は基本的に講義形式で行う予定ですが、受講者数によっては受講生同士のディスカッションを中心とした形式で行う可能性があります。

到達目標

1. 人権にかかわる社会問題についての基本的な事項を自分の言葉で説明することができる。
2. 人権にかかわる社会問題について複眼的に考え、自分なりの意見を述べるすることができる。

授業計画

【第1回】 はじめに ―― この社会に絶望することについて
 キーワード 「答え」のない問い、複眼的思考

【第2回】 「人間らしくある」とはどのようなことか ―― 理想／理念としての人権について考える
 キーワード 世界人権宣言、国際人権規約、社会権と自由権

【第3回】 踏まれた足の痛みは踏まれ者にしかわからないのか ―― 社会問題について考える視座としての社会学
 キーワード 差別／排除、マイノリティとマジョリティ、差別の日常

【第4回】 なぜオフィスでラブなのか ―― 性について考える①
 キーワード ジェンダー、性別役割分業、フェミニズム

【第5回】 みんな違って、みんないい、のか？ ―― 性について考える②
 キーワード LGBT+、SOGIE、アセクシュアル/アロマンティック

【第6回】 『カラコエの花』 ―― 性について考える③
 キーワード カミングアウト、アウティング、ALLY

【第7回】 「お前のためを思って」という言い訳 ―― 「加害者になること」について考える①
 キーワード DV、ハラスメント、二次加害/二次被害

【第8回】 “No means No!” でいいのか ―― 「加害者になること」について考える②
 キーワード 中絶/避妊、性的同意、リプロダクティブ・ヘルス/ライツ

【第9回】 無駄とされる人々 ―― 障害について考える①
 キーワード 障害の社会モデル、当事者主権、生活自立運動

【第10回】 「愛と正義を否定」された先に何をどうすればいいのか ―― 障害について考える②
 キーワード 障害児・者支援、合理的配慮、インクルーシブ社会

【第11回】 ホームレスにすらなれない女性たち ―― 貧困について考える①
 キーワード 絶対的貧困／相対的貧困、世帯の中に隠れた貧困、社会的排除

【第12回】 家族に足を引っ張られる人生 ―― 貧困について考える②
 キーワード 子ども・若者の貧困、貧困の連鎖（貧困の世代的再生産）、生活保護制度

【第13回】 「移民」でも、「難民」でもなく ―― 外国にもつながりがある人々について考える
 キーワード 移民／難民、非正規移民、同化主義/多文化主義

【第14回】 「メンヘラ」と呼ばれる人々をつくりだすもの ―― 「深夜3時の人権論」の応用問題
 キーワード パパ活、自傷行為（リストカット）、依存症、売春防止法

【第15回】 おわりに ―― この社会で希望を持つことについて
 キーワード トラウマの環状島、レジリエンス、生活史法

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

事前学習：自らの日々の日常生活（例えば、サークル活動やバイト、ボランティア、家族、パートナー、など）

に潜む差別や排除にまつわる事象に敏感になること。各回で2時間程度。
 事後学習：講義で共有したことや考えたことを念頭に、改めて自らの日々の日常生活を「人権」の視点で捉え返すこと。必要に応じて講義内で紹介した参考書籍なども読むこと。各回で2時間程度。

課題に対するフィードバックの方法

提出されたコメントシートに対しては、適宜、講義内でコメントを付します。
 また、実施した課題について採点后、希望者についてはコメントを付して返却することも考えています。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す授業内外での評価及びレポート試験により総合的に評価します。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	30	毎回の授業後に提出するコメントシート	1, 2
授業外での評価	10	中間レポート	1, 2
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	60	全授業終了後に実施するレポート試験	1, 2
その他	0		

テキスト 特に指定はありません。

参考書 必要に応じて授業の中で紹介します。ただし、以下の書籍は本講義との関連で参考になるものです。①と②の書籍は本学の図書館で借りることができます。興味のある方は手に取ってみてください。
 ① 森山至貴(2020)『10代から知っておきたい あなたを閉じこめる「ずるい言葉」』、WAVE出版。
 ② 宮地尚子(2013)『トラウマ』、岩波書店。
 ③ 好井裕明(2007)『差別原論：〈わたし〉のなかの権力とつきあう』(平凡社新書)、平凡社。

履修条件・他の科目との関連 履修条件はとくに指定しませんが、社会問題について自分なりの視点から考える意欲のある学生を歓迎します。
 また、この講義の担当者が依拠する学問的立場は社会学や人類学と呼ばれる立場であり、心理学や精神医学ではないことには注意が必要です。

授業コード	10401205	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	人間と科学 [遠隔オンデマンド]				
シラバス執筆(全員)	矢島 彰				
シラバス執筆(主)	矢島 彰				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

現代における人間の社会活動は科学を基盤としたものになっています。なぜ人間だけが地球上の他の生物と異なるレベルで科学を活用しているのでしょうか。人間の誕生のプロセスを地球の歴史と共に知ることで、人間の科学の誕生とその根底にある地球の科学が密接に関連していることがわかります。また、人間は今、自分たちの科学では制御できない自然現象にどのように対応すべきかを考える時期に到達しています。人間の存在が地球環境に及ぼす影響が無視できないほど大きくなりました。これからの人間の科学がどうあるべきなのか、災害をキーワードにして考えていきます。

★この授業は、遠隔授業となります。リアルタイム型の遠隔授業（その授業時間にZoom等で参加する方法）ではなく、講義を録画した動画を一定期間中に視聴し、所定の課題を提出していただく形で実施予定です。各回の演習問題は、授業内容について理解し、自分の言葉で説明することができるかを問う記述問題（50字～200字を1問～5問程度）です。

到達目標

1. 科学とは何かを理解し、様々な説や見解が科学的見地に基づいているかを分別できる。
2. 地球誕生から人類の誕生へ至る経緯を理解し、なぜ科学が誕生したかを説明できる。
3. 現在の人類にとって重要な課題である防災の科学を知り、これからの科学のあり方について説明できる。

授業計画

- 【第1回】
テーマ：地球科学の様々な量
内容・方法：資料・映像を見て演習問題に取り組む
- 【第2回】
テーマ：似非科学とのつきあい方
内容・方法：資料・映像を見て演習問題に取り組む
- 【第3回】
テーマ：地震予測に挑む
内容・方法：資料・映像を見て演習問題に取り組む
- 【第4回】
テーマ：地震のしくみと被害
内容・方法：資料・映像を見て演習問題に取り組む
- 【第5回】
テーマ：加速する異常気象との闘い
内容・方法：資料・映像を見て演習問題に取り組む
- 【第6回】
テーマ：大水害・海面上昇と地盤沈下
内容・方法：資料・映像を見て演習問題に取り組む
- 【第7回】
テーマ：大水害・水害に強い都市計画
内容・方法：資料・映像を見て演習問題に取り組む
- 【第8回】
テーマ：地球大進化<第一集>生命の星 大衝突からの始まり
内容・方法：資料・映像を見て演習問題に取り組む
- 【第9回】
テーマ：地球大進化<第二集>全球凍結 大型生物誕生の謎
内容・方法：資料・映像を見て演習問題に取り組む
- 【第10回】
テーマ：地球大進化<第三集>大海からの離脱 そして手が生まれた
内容・方法：資料・映像を見て演習問題に取り組む
- 【第11回】
テーマ：地球大進化<第四集> 大量絶滅 巨大噴火がほ乳類を生んだ
内容・方法：資料・映像を見て演習問題に取り組む
- 【第12回】
テーマ：地球大進化<第五集> 大陸大分裂 目に秘められた物語
内容・方法：資料・映像を見て演習問題に取り組む
- 【第13回】
テーマ：地球大進化<第六集> ヒト 果てしなき冒険者
内容・方法：資料・映像を見て演習問題に取り組む
- 【第14回】
テーマ：総合演習（防災）
内容・方法：資料・映像を見て演習問題に取り組む
- 【第15回】
テーマ：総合演習（地球大進化）

内容・方法：資料・映像を見て演習問題に取り組む

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

各回、事前学修は2時間、事後学修は2時間を想定しています。

- 【第1回】
①事前学修課題：基本用語事前調べ
②事後学修課題：授業のまとめの作成と提出
- 【第2回】
①事前学修課題：基本用語事前調べ
②事後学修課題：授業のまとめの作成と提出
- 【第3回】
①事前学修課題：基本用語事前調べ
②事後学修課題：授業のまとめの作成と提出
- 【第4回】
①事前学修課題：基本用語事前調べ
②事後学修課題：授業のまとめの作成と提出
- 【第5回】
①事前学修課題：基本用語事前調べ
②事後学修課題：授業のまとめの作成と提出
- 【第6回】
①事前学修課題：基本用語事前調べ
②事後学修課題：授業のまとめの作成と提出
- 【第7回】
①事前学修課題：基本用語事前調べ
②事後学修課題：授業のまとめの作成と提出
- 【第8回】
①事前学修課題：基本用語事前調べ
②事後学修課題：授業のまとめの作成と提出
- 【第9回】
①事前学修課題：基本用語事前調べ
②事後学修課題：授業のまとめの作成と提出
- 【第10回】
①事前学修課題：基本用語事前調べ
②事後学修課題：授業のまとめの作成と提出
- 【第11回】
①事前学修課題：基本用語事前調べ
②事後学修課題：授業のまとめの作成と提出
- 【第12回】
①事前学修課題：基本用語事前調べ
②事後学修課題：授業のまとめの作成と提出
- 【第13回】
①事前学修課題：基本用語事前調べ
②事後学修課題：授業のまとめの作成と提出
- 【第14回】
①事前学修課題：基本用語事前調べ
②事後学修課題：授業のまとめの作成と提出
- 【第15回】
①事前学修課題：基本用語事前調べ
②事後学修課題：授業のまとめの作成と提出

課題に対するフィードバックの方法

GoogleClassroomでの評価・コメントを用いる予定です。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

各授業の課題提出によって評価します。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	0		
授業外での評価	90	授業内容の理解度を問う設問への解答状況や、授業のテーマについての自身の意見表明の内容を評価します。	1, 2, 3
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10	与えられたテーマについて、授業で学んだことを根拠とし、自分の推論も加えて結論を導くレポートになります。授業で学んだことを推論の材料として用いているか、筋道だった結論になっているかを評価します。	1, 2, 3

その他	0		
テキスト	利用しません。		
参考書	授業時に随時紹介します。		
履修条件・他の科目との関連	特になし		

授業コード	10401305	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	人間と環境 [遠隔オンデマンド]				
シラバス執筆(全員)	坂田 啓三				
シラバス執筆(主)	坂田 啓三				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

私たちの暮らしや産業は地球の環境や資源などに支えられて成り立っています。これからも私たちの健康で快適な暮らしを維持するためには地球の環境や資源に関する理解を深めなければいけません。この講義では、人間の産業活動により引き起こされた地球環境への問題や環境を守るための活動について解説します。これらの内容を学ぶことで、地球の環境と共存し、よりよく生きていくための基礎的な知識と思考するためのスキルを身につけることを目的とします。

この授業は、遠隔授業となります。リアルタイム型の遠隔授業（その授業時間にZoom等で参加する方法）ではなく、講義を録画した動画を一定期間中に視聴し、所定の課題を提出する形で実施する予定です。

到達目標

1. 環境科学について基礎的な化学や物理学、生物学の観点から理解し説明できる。
2. 私たち人間は地球の環境を構成する一員であり、私たちの生活は地球の環境に密接に関係していることを理解し、説明できる。
3. 過去に人間の活動によって引き起こされた環境問題について学び、環境の悪化が私たち人間の生存にとって大きな脅威であることを理解し、説明できる。
4. 環境保護の取り組みについて学ぶことで、環境問題の解決のために自分に何ができるのかを考え、行動するというプロセスについて理解し、説明できる。

授業計画

- 第1回 オリエンテーション：「人間と環境」に関するイントロダクションを行います。
- 第2回 環境科学を学ぶ上で必要な化学・物理学の基礎（復習小テスト①を実施）
- 第3回 環境科学を学ぶ上で必要な生物学の基礎（復習小テスト②を実施）
- 第4回 化学物質と健康被害：化学物質が生命に影響を与えるについて説明します。
- 第5回 日本の公害：四大公害を筆頭に、日本で起こっている公害と環境基本法について説明します。
- 第6回 健全な水の循環と利用：上水道・下水道の役割と関連法規について説明します。
- 第7回 地球温暖化・気候変動：地球温暖化など気候に関する諸問題について説明します。
- 第8回 前半のまとめと復習（確認試験①を課題として実施）
- 第9回 プラスチック問題：プラスチックごみ等による海洋の汚染について説明します。
- 第10回 放射能汚染：放射線の有害性を説明し、原発事故による環境への影響について説明します。
- 第11回 農業と環境：農業による環境負荷について説明し、持続可能な食糧生産について考えます。
- 第12回 生物の絶滅と人間社会：人間の活動による生物の絶滅や多様性の低下について説明し、共存可能な社会について考えます。
- 第13回 生物多様性と環境保全①：環境を守るための法律や決まり事を説明し、よりよい共生社会とは何かについて考えます。
- 第14回 生物多様性と環境保全②：環境を守るための具体的な事例を学び、共生社会を目指してどのような取り組みが最善か考えます。
- 第15回 後半のまとめと総復習（確認試験②を課題として実施）

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

2時間程度の事前学習と2時間程度の事後学習が必要です。
事前学習としてインターネットや図書館などで講義の主題に関する基礎的な周辺知識を身に付けておくことが望まれます。
また、講義終了後に講義用資料や自分で取った講義ノートを整理しながら復習し、重要事項を纏めるための事後学習が必要です。

課題に対するフィードバックの方法

リアクションペーパーおよび期末レポートは原則としてGoogle Classroomを用いての提出とします。
復習小テストおよび確認試験はGoogle Classroomを利用して行い、解答例はGoogle Classroomを用いて示します。
質問はメールもしくはGoogle Classroomのコメント機能を利用して受け付けます。回答は同様に、メールもしくはGoogle Classroomのコメント機能を利用して返します。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

正当な理由なく授業を5回以上欠席した場合は評価不能として「K」評価とします。
授業の出欠確認はリアクションペーパーの提出をもって行うものとします。

成績は以下の方法によって評価し、60点を以上を合格として単位を認定します。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	75	1. リアクションペーパー(15) 2. 復習小テスト①(10) 3. 復習小テスト②(10) 4. 確認試験①(20) 5. 確認試験②(20)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	25	期末レポート(25)	2, 3, 4
その他	0		

テキスト	テキストは指定しません。
参考書	『文系のための環境科学入門 新版』 有斐閣 ISBN 978-4641174238 『新版 新しい環境科学』 駿河台出版社 ISBN978-4411040398 その他, 適宜授業内で紹介します。
履修条件・他の科目との関連	テキストや配布資料がなく、講義中のノートテイキング重視の講義です。各自がしっかりと自分のノートを作成することが求められます。 状況により授業内容の一部および順番の変更を行う場合もあります。

授業コード	10401404	授業形態	講義	実務家教員	<input type="radio"/>
授業科目名	生涯スポーツ論 [対面]				
シラバス執筆(全員)	仲村 直人				
シラバス執筆(主)	仲村 直人				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

スポーツには一人一人の健康だけでなく、地域社会再生・経済発展・国際平和貢献など重要な意義と効果があることが期待されている。わが国のスポーツ基本法(2011年制定)をはじめ世界の多くの国では、スポーツを世界共通の人類の文化であるとし、スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことはすべての人々の権利であると謳っている。これらのことをふまえて、スポーツを生涯の友として豊かに暮らすための知識と考察を深める。これまでの人生で出会ったスポーツを振り返ることから始めるが、競技としてのスポーツだけでなく、健康や楽しみのためのスポーツ、様々な工夫を加えた新たなスポーツなども解説する。スポーツを歴史的・社会的な観点や医学的・科学的な観点などから幅広く考えることができるよう、長年にわたりプロスポーツの世界で活動を続けてきた実務家教員として、様々な資料を提供しつつ授業を展開していく。

到達目標

1. スポーツの歴史をふまえて、現代のスポーツの定義を説明できる
2. スポーツと健康、ケガ、病気、子供の成長などについて医療と発達科学の観点から説明できる
3. 様々な種類のスポーツについて、その内容を説明できる
4. スポーツと平和、人権、マナーなどについてその問題点を説明できる
5. 講義で得た知見に加えて、自信で調べたことや考えについて述べられる
6. 講義で得た知見をふまえて、自信のスポーツ観について述べられる

授業計画

【第1回】オリエンテーション
講義の主題、受講や課題提出の方法、到達目標と評価方法について確認する

【第2回】人間にとって「動く」とは何か？
人間にとって体を動かすことがどのような意味をもっているかを解説する

【第3回】スポーツの始まりと変遷
スポーツとは何か、その始まりについて解説する

【第4回】文化としてのスポーツ
スポーツを文化としてとらえることの意味を解説する

【第5回】オリンピックと国際理解
オリンピズム、オリンピックムーブメントについて解説する

【第6回】「スポーツと経済」
スポーツの経済波及効果について具体的に解説する

【第7回】ドーピングとスポーツ倫理
スポーツ倫理が求められる理由について解説する

【第8回】生涯スポーツの見方・考え方
ライフステージに対応したスポーツの楽しみ方を解説する

【第9回】ライフスタイルに応じたスポーツ
多様なスポーツとのかかわり方を解説する

【第10回】日本のスポーツ振興
国や地方自治体がおこなっているさまざまなスポーツ振興の施策を解説する

【第11回】スポーツと環境
スポーツの発展につれ環境にさまざまな影響を与えていることを解説する

【第12回】スポーツの技術と戦術
技術と技能の違いや技能の発揮の仕方を解説する

【第13回】技能と体力
技能と体力の関係について解説する

【第14回】運動やスポーツでの安全確保
運動やスポーツによるケガや病気の原因について解説する

【第15回】講義のまとめ
第1回から第14回の講義内容について確認をする

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

事前学習としては、翌週の講義のテーマについて自ら調べ、概要を把握しておくこと。
事後学習としては、授業で紹介したものだけでなく自ら調べた書籍やインターネット情報などを活用し、理解を深めること。特に理解度テストで間違えた事柄についてはきちんと調べておこう。

課題に対するフィードバックの方法

毎回講義後に理解度テストを実施し、解答例は翌週の講義冒頭で提示する。
評価に対する質問があれば授業時に直接尋ねること。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	75	毎回の授業後に行う理解度テスト(75)	1,2,3,4
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	25	全講義終了後に実施するレポート課題 (25)	5,6
その他	0		

テキスト	テキストを使用せず必要に応じてプリントを配布する。
参考書	必要に応じて授業の中で紹介する。
履修条件・他の科目との関連	特になし

授業コード	10401501	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	文化人類学 [対面]				
シラバス執筆(全員)	土田 亮				
シラバス執筆(主)	土田 亮				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

文化人類学とは何でしょうか。ひとまず、文化人類学を「他者・他なるものに出会い、それらとともに学び考え、自らの見方や立場、振る舞いを内省する学問」と定義します。そう定義すると、文化人類学という学問がもつ面白さの一つは、あたりまえを疑うことにあると私は考えます。

「なぜあたりまえを疑うの？それは誰にとって何の意味があるの？役に立つの？」そのような考えがもしかしたら学生の皆さんから浮かぶかもしれません。あえてその考えに私なりに率直に答えるならば、文化人類学を学んだからといって、就活やビジネス、みなさんの専門にすぐには役に立たないかもしれません。何事も効率的に理解して物事を進めたいなら、わざわざあたりまえのことに目を向ける必要なんてないでしょう。だって、それをわざわざ考えることは私たちにとって時間の無駄だったり、遠回りだったりするのもかもしれないのだから。しかし、急ぎ足で関心のあることにだけ目を向けて前に進もうとせず、一度立ち止まってあたりまえそのものをじっくり考えてみる、ということをお授業では提案します。だからこそ、「なぜあたりまえを疑うの？」という問いかけに少しでも何かを感じた学生のみなさんにはぜひ受講してほしいですし、学生のみなさんと一緒に、ありふれたあたりまえとなぜそれを疑うのか、それを問うたらどんな考え方や見方が得られ、私たちの生活や社会を見つめ直すことになるのかをお授業を通してともに対話しながら考えてみたいのです。

本授業では、文化人類学とは何か？○○とは何か？と問うて文化人類学の見方を学ぶこと、その見方を取り入れることによって今日の生活や社会などがどのように変わって見えるかを探究します。また、文化人類学を通して自らの知識や文化だけでなく、どのように見方や立場、振る舞いを変えることが可能なのか、キーワードや問いをもとに文化人類学の基本的な知識と私たちのなかにあるあたりまえを考え直すための道具の使い方を習得することを目指していきます。さらに、本授業は学生のみなさんのコースに結びつく概念、例えば、異文化理解、医療、ビジネスなどの現代的なテーマについても交えて文化人類学の見方を提示することに力点を置き、学生のみなさんとともに考えていきます。こうした具体と抽象、問いと事例/経験、テキストと自分/身の回りのことを行き来することで、今の文化人類学が何を考え、目指しているのかを説明していきます。

到達目標

1. 文化人類学の見方を通じて、自らの考えやこれまで持っていた見方、立場、振る舞いについて考えて、表現することができる。
2. 文化人類学に関する初歩的な知識や考え、事例をテキストで読んだり、授業を受講したりして、自らの言葉で説明することができる。
3. 文化人類学の見方を応用することで、今日の社会や身の回りの生活に関する課題を発見し、課題を考察し、書くことができる。

授業計画

第1回 イントロダクション：世界を考える道具をつくろう（対面）

-文化人類学とは何か？

○本講義の全体的な流れを紹介し、受講者が文化人類学を通して何をともに学び、考えるか、その目標を言語化します。

（以降、授業担当者のフィールドワーク出張に伴い、遠隔オンデマンド授業が入る予定です。事前に対面かオンデマンドか授業後ないしgoogle classroomでお知らせしますのでしっかり確認してください）

第2回 世界のとらえ方①：自然と知識

-自然と文化は対義語か？自然は一つ、文化は複数か？

○これまでの自然と文化に関する見方、関係性、世界の見方について考えます。

第3回 世界のとらえ方②：技術と環境

-スマホのような技術や道具は、人間や動物、身体、環境をどのように変えたのか？

○技術との関わり方やそれがもたらす世界の見方を人類学から考えます。

第4回 世界のとらえ方③：呪術と科学+世界のとらえ方④：現実と異世界

-呪術は誤りなのか？呪術は科学と何が同じで違うか？

-まったく異なる文化と世界を生きる人びとの感じ方ってどうなんだろう？

○呪術やおまじないのような科学とは縁遠いものが、どのようにして存在しているのかを考えます。

また、他者や異文化とはそもそも何で、自らがそれらを理解するとはどういうことか考えます。

第5回 インタールード①：医療と治療

-他者の痛みや苦しみは、いかにして理解できるのか？

○痛みを理解しようとする/理解してほしいという振る舞いは、お互いに何を意味しているのかを考えます。

小課題①：ここまでのテーマの解説を踏まえて、文化人類学を学ぶ前のイメージと実際に学んだ時の気づきを述べてください。

第6回 価値と秩序が生まれるとき①：モノと芸術

-ただのモノがいつ、どうやって芸術になるのか？

○美しさや質素さなどの芸術の価値が織り込まれていく関係性が生まれる過程を考えます。

第7回 価値と秩序が生まれるとき②：贈り物と負債+価値と秩序が生まれるとき③：貨幣と信用

-プレゼントはもらったり返さないといけない雰囲気の意味は何か？

-物々交換の仕組みってどうなっているのだろうか？

○モノやお金を介した人と人、モノと人とのコミュニケーションの秩序を考えます。

また、モノとお金の価値が形成・維持されていくシステムについて考えます。

第8回 価値と秩序が生まれるとき④：国家とグローバルゼーション

-ルールや権力支配のない社会とはどのような社会なのか？

○グローバルゼーションという言葉が私たちの生活に広まっていくなか、人びとや社会はどのように対応してきたのかを考えます。

第9回 インターロード②：リスクと災害

-災害は私たちの生活をどのように変えるのか？

○現代的なリスクが抱える問題としての災害を文化人類学の見方から考えます。

第10回 インターロード③：ビジネスと組織

-組織はどのように動くのか？アイデアはどのように生まれていくのか？

○ビジネスにも活かされつつある文化人類学の見方と役割を考えます。

小課題②：ここまでの解説と得られた文化人類学の知識を用いて、身の回りの生活やあたりまえを文化人類学の視点から解釈してみてください。

第11回 あらたな共同性へ①：子どもと大人

-子どもはいつから、何をもって大人になるのだろうか？

○子ども、大人、家族、労働の役割とそれらから見出せる関係性について考えます。

第12回 あらたな共同性へ②：親族と名前

-人との関係性とその名称はどのようにして生まれるのか？

○文化人類学が見てきた伝統的な家族観と今日の家族観を比較して考えます。

第13回 あらたな共同性へ③：ケアと共同性

-身近に存在するケアって何だろう？

○老い、病い、障害、福祉など、人の生死や生き方におけるケアのあり方について考えます。

第14回 あらたな共同性へ④：市民社会と政治

-市民とは誰で、何のために政治はあるのか？

○社会の何かがおかしいと感じた人たちが集うデモクラシー運動と政治の関係性について考えます。

第15回 アウトロダクション

-結局、文化人類学はあなたの何にどう役に立ったか？

○これまでの授業を振り返り、今後の生活や思考法に活かしていくために言語化します。

最終レポート：これまで取り扱ったテーマから現代社会の問題を一つ取り上げて、文化人類学の観点から考察してください。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

各回、事前学修は2時間、事後学修は2時間を目安とし、例えば以下のようなことをおこなってください。

主な事前学習として、前の授業で伝えた疑問点や課題、事例について調べてくること、指定の教科書、必要に応じて参考書を一通り声に出して読んでみる事が挙げられます。

主な事後学習として、授業内容をノートにまとめること、授業で示したリアクション・ペーパーに取り組むこと、ツールを用いて振り返りを丁寧におこなうこと、また、小課題・最終レポートに取り組むことが挙げられます。

また、各回で出てきたキーワードをもとに自分の生活や体験、ニュース、動画、本、調べたこと、家族や友人、身近な人との議論などと照らし合わせることもお勧めします。

加えて、次回学習に関して、授業動画後に出るキーワードや問いをもとに、自分の中で想像力をもって考えたり感じたりすることもお勧めします。

課題に対するフィードバックの方法

小課題は評価基準表(google classroomに掲載したチェックリスト、ルーブリック等)にもとづく評価結果、必要に応じてコメントを付して個別に返却します。

毎回、課題に対するフィードバックは履修人数と時間の都合上すべてを取り上げることは難しいですが、とりわけ多かった意見や興味深い意見、補足が必要な意見などがあれば、次の回の授業の冒頭でできるかぎりフィードバックします。

必要に応じて追加資料や参考になる動画を配布・紹介します。必ずしも追加資料・動画を読破したり最後まで視聴したりしなくてもよいですが、読んだり見たりすると理解が一層深まります。

また、授業後は対面授業の場合は質疑応答・相談を含めたオフィスアワーを小1時間ほど設ける予定です。また、遠隔オンデマンドの際はgoogle classroomのchatを通じて適宜フィードバックいたします。

成績評価の方法・基準(方針)

●全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。

●必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定します。
各回のリアクション・ペーパーの量と質(5×12=60%)、最終レポート(20%)、小課題(10×2=20%)

各授業の後に、リアクション・ペーパー (google form) の記入を求めます。リアクション・ペーパーは1回ごとに5点満点×12回(第5回、第10回、第15回の3回分を除く)、ペーパーの提出期限は次の授業が始まる前までとし、提出をもって出席とみなします。
また最終レポートは20点満点で採点を行います。
その他、小課題(1回10点)を2回課します。期末レポートおよび小課題の提出期限、文字数やフォーマットなどは、レポートを課すときに説明します。これらの合計により成績評価を行います。
小課題と最終レポートは、①意見の表示、②文章の体裁、③表現の推敲、④汎用的技能と態度、志向、文章作成能力の4つの観点から評価します。詳細は、提出前にgoogle classroomを通じて案内しますので、よく確認してください。

特に、引用なく明らかな資料や文章のコピー&ペーストはgoogle classroomの機能によって特定することができます。そのような不正が見られた時は、適宜処分を下します。

また、大学が出した指針にもとづき、Chat GPTをはじめとする生成AIの利活用に関しては、本授業では原則レポート作成では認めません。これも確認や疑いがあり次第、適宜処分を下しますので、十分に気をつけてください。

利活用に関しては小課題・最終レポート提出前の授業の回およびgoogle classroomに前もって周知・掲示しますので、必ず確認して扱ってください。

欠席やリアクション・ペーパー、小課題、最終レポートの提出が遅れる場合は、正直に教員に、その理由とどのように対処するか/したいかを添えてメールで提出してください。

正当な理由なく5回以上欠席(リアクションペーパーの提出がないこと)した場合はK評価(評価不能)とします。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	リアクションペーパー(60)	1,2,3
授業外での評価	20	小課題(20)	1,2,3
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	最終レポート(20)	1,2,3
その他	0		

テキスト	<p>テキスト指定はしませんが、松村圭一郎、中川理、石井美保・編『文化人類学の思考法』世界思想社、2019年、価格1,800円＋税、ISBN978-4-7907-1733-1を中心に解説を進めていきます。毎回コピーした章をgoogle classroomにまとめて配布します。 ただし、教員の許可なく、無断で授業を履修していない人に対してコピーしたものを配布・二次利用することは禁止ですし、法律で禁じられていますので、注意してください。 より熱心に授業内容やテキストの内容を知りたい人はぜひ購入してください。</p>
------	--

参考書	<p>必要に応じて授業の中で紹介します。例えば、初学者向けのわかりやすく内容が充実したものとして、以下のような本が挙げられます。近年は人類学ブームもあいまって、高校生や人類学を学ばなかった大学生・社会人に向けた入門書が多く出版されています。 本の内容や書き方によっては好みや読みやすさ、相性があるかと思います。これらは文章や内容のわかりやすさや理解前提のレベルもありますから、表紙やネットの評判だけでなく、ぜひ手に取って読んでから検討してみてください。もちろん全てを買ったり読んだりする必要はありません。 授業内容を深く理解したり、もっと学びたいと感じたりした人はぜひ図書館で借りたり、図書館の購入リクエストを出したり、実際に購入したりして、手元に置いて気が向いた時に読んでみてください。 ・綾部恒雄、桑山敬己 編『よくわかる文化人類学[第3版]』ミネルヴァ書房、2025年 ・箕曲在弘『自分のあたりまえを切り崩す文化人類学入門』大和書房、2025年 ・里見龍樹『入門講義 現代人類学の冒険』平凡社、2024年 ・山口未花子、ケイトリン・コーカー、小田博志・編『生きる智慧はフィールドで学んだ』ナカニシヤ出版、2023年 ・吉野晃・監修『ダメになる人類学』北樹出版、2020年 ・岸上伸啓・編『はじめて学ぶ文化人類学』ミネルヴァ書房、2018年 ・川口幸大『ようこそ文化人類学へ』昭和堂、2017年 ・松村圭一郎『ブックガイドシリーズ基本の30冊 文化人類学』人文書院、2011年</p>
-----	--

履修条件・他の科目との関連	<p>本授業では、履修条件や他の科目との関連については特にありません。ただし、授業を確実に履修したい人は必ず第1回の対面授業を受講してください。 対面(時折遠隔オンデマンド)の授業ですから、どうしてもただ聞くだけであったり、教員とのコミュニケーションがやりづらかったりするという問題は想定されます。 それでも、私から受講生のみなさんに問いかけやあたりまえを考え直すきっかけを作っていくので、皆さんも積極的にその力であたりまえを問い直したりすることや熱意を期待しています。 メールやgoogle classroom、オフィスパワーでの質問やコメントは大歓迎です。</p> <p>また、機械・システム上のトラブルはどうしても直接対応しきれない点があると思います。すべてに対して十分に対応できないことはご了承いただいた上で、問題や気になる点などがあれば、遠慮なく、そしてなるべく早く私や事務、リアクションペーパーの末尾やメール、オフィスパワー、授業評価アンケートなどでお問い合わせください。 特に履修関係は私だけではどうにもならないことが多くありますので、心配な人は事務に必ず連絡・相談してください。</p>
---------------	---

授業コード	10401502	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	文化人類学 [対面]				
シラバス執筆(全員)	小西 賢吾				
シラバス執筆(主)	小西 賢吾				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

文化人類学は、フィールドワークを通じて、異文化を人びとの生活の「現場」の中から理解しようとする学問分野です。この講義では、世界に住む多様な人びとの生活世界を、文化人類学の基礎理論とともに紹介しながら、自分と異なる「あたりまえ」を理解する手がかりとしてのフィールドワークの方法を検討し、身近な視点への応用を考えることを目的としています。単に「世界にはいろいろな文化がある」ことを知るだけなら、インターネットで動画を検索すればいくらでも出てきます。この授業で目指すのは、自分の「あたりまえ」と異なる価値観や習慣の背後にあるものは一体何なのかを、一歩立ち止まって深く考察する姿勢を養いながら、文化を異にする他者と対話するための方法を学んでいくことだといえます。それは、グローバル社会において、多様な人びとと、ビジネスから日常生活にいたる活動をとともにしていくために必要とされるスキルでもあります。リアクションツールなどを用いて、リアルタイムで受講者からのコメントを踏まえて議論を展開する双方向的な授業を行います。

到達目標

1. 文化人類学の基礎知識を用いて、グローバル社会の諸側面を説明できる。
2. 文化人類学のフィールドワークの方法について理解し、その特徴や背後にある考え方を説明できる。
3. 身近な経験の中から、文化人類学の視点を異文化の理解に応用するための適切な事例を判断でき、その内容について説明できる。

授業計画

- 第1回 イントロダクション：文化の定義を考えることを通じて、文化人類学の特徴を知る。
- 第2回 フィールドワークをはじめ—文化相対主義と参与観察：文化人類学的なフィールドワークの特徴と、文化相対主義について理解する。
- 第3回 家族と婚姻—最も身近な異文化：家族の成り立ちを、文化人類学的な視点から理解する。
- 第4回 国家・民族・言語—アイデンティティのゆくえ：私たちがどのように社会の中でアイデンティティを構築しているのかを、国家、民族（エスニシティ）、言語などをキーワードに考える。
- 第5回 伝統と近代—その「伝統」はいつからはじまった？：現代社会における伝統文化の動態を理解するため、祭りなどを事例にして伝統と近代の関係について理解する。
- 第6回 文化と観光—文化を「見る」ことと、「見られる」こと：観光が文化におよぼす影響や、観光が生み出す文化について学ぶ。
- 第7回 呪術・宗教・科学—多様な「合理性」をとらえる：私たちの生活を成り立たせている「科学的」「非科学的」な価値観について考察する。
- 第8回 人のつながりの人類学—地縁・血縁・縁結び：現代社会における人のつながりの諸相を人類学的に理解する視点を学ぶ。
- 第9回 身体・病気・治療①—医療人類学と、西洋医学の相対化：医療人類学の基礎を学ぶことで、多様な文化におけることと身体の捉え方を知る。
- 第10回 身体・病気・治療②—「健康」な生とは何か：「健康」と「病気」の社会的側面について学ぶ。
- 第11回 文化人類学はどのように「役に立つ」のか：文化人類学者がいかに調査地域に貢献し、人びととコラボレーションできるかを考える。
- 第12回 人間と死①—死生観と弔い：葬儀をはじめとする死者儀礼の意味と、それがなぜ必要なのかを考える。
- 第13回 人間と死②—チベットの死生観：異文化の死生観と弔いを知り、その意味を比較文化的に考える。
- 第14回 越境と共生—身近な異文化理解に向けて：グローバル化した社会において、文化を異にする人びとがいかに共生できるかを考える。
- 第15回 まとめ：この授業で学んだことを整理し、内容をまとめる。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

各回、事前学修は2時間、事後学修は2時間を目安とします。
 事前学習：授業の内容に関する小課題が出題されるので、自分でさまざまなツールを用いて情報を収集し、授業前までに課題に取り組む。
 事後学習：毎回の配付資料やスライドの内容を復習し、要点をまとめるとともに、自らの経験にひきつけて解釈し、その応用可能性を考える。

課題に対するフィードバックの方法

小課題の解答やコメントに解説を加え、授業の内容に反映します。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60 点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	授業内で出題する小課題への解答	1, 2, 3
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	50	授業終了後に実施するレポート試験	1, 2, 3
その他	0		

テキスト	使用しません。授業中に適宜資料を配布します。
------	------------------------

参考書	必要に応じて授業中に紹介します。
-----	------------------

履修条件・他の科目との関連	履修条件はとくにありません。授業の中ではリアクションツールなどを用いた双方向的な議論を行いますので、授業で聞いた内容を踏まえて自分の考えをまとめながら受講してください。欠席者には配付資料を別途google classroomにアップロードするなどの配慮を行います。
---------------	--

授業コード	10401605	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	世界の歴史と文化 [遠隔オンデマンド]				
シラバス執筆(全員)	山本 明志				
シラバス執筆(主)	山本 明志				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

大学を卒業した社会人が、幅広い教養を有していることは当然のごとく期待されている。特に現代社会がいかなる過程を経て形成されてきたのかについての知見を有していることは、非常に重要である。本講義は我々がくらすアジア世界に焦点を当て、それがいかなる歴史的な過程を経て形作られたのかについて検討するものである。その際にはもちろん、ヨーロッパ世界やアメリカ大陸との相互関係は無視できない。またアジア世界の歴史的展開の中からは、様々な文化も生み出されてきた。本講義は歴史学の最新の成果に基づき、世界の中でもアジアを中心に、その歴史的展開と文化的な特質について考えていく。

本講義は学生諸君が大学の専門教育を受けていく上で、またグローバル社会で生きていく上で必要となる、歴史、文化、国際関係に関する知識に触れて、それらの理解を深めるだけでなく、それらを自らの言葉で説明できるようにすることをめざすものである。

★この講義は、オンデマンド型の遠隔授業です。講義を録画した動画で学び、一定期間内に課題を提出してもらいます。

到達目標

1. アジアの歴史に関して、特定のトピックについて説明することができる。
2. アジアの文化に関して、特定のトピックについて説明することができる。
3. アジアをめぐる国際関係について、歴史的な背景を踏まえて説明することができる。

授業計画

本講義は、オンデマンド型遠隔授業として実施されます。

- 第1回 歴史学と世界史：本講義の方針を説明し、歴史学とはどのような学問かについて概説する。
- 第2回 世界の文字文化：世界の文字の発明、伝播、変化について概説する。
- 第3回 古代東アジアの初期王権：中国における国家形成の過程について検討する。
- 第4回 古代東アジアにおける帝国の成立：中国における広域国家の形成過程、その特質について検討する。
- 第5回 漢帝国の社会と遊牧国家：漢帝国の特徴、同時期にモンゴル高原にあった匈奴について検討する。
- 第6回 シルクロード交易と東西文化の交流：ソグド人の活動を中心に、ユーラシア大陸東部における陸上交易について検討する。
- 第7回 古代ユーラシア東部の海上交易の発展：中国・東南アジア・インドをつなぐ海上交易路の歴史について検討する。
- 第8回 モンゴル帝国の成立と展開：空前絶後の大領域を領有したモンゴル帝国の特質について検討する。
- 第9回 世界をつなぐモンゴル：モンゴル帝国の時代における広域交易の様相について検討する。
- 第10回 モンゴル帝国の遺産：モンゴル政権の崩壊の要因について考察し、次の時代に何が継承されたかを検討する。
- 第11回 「大航海時代」とアジア：ヨーロッパ人商人のアジア市場への参入過程について検討する。
- 第12回 「交易の時代」と17世紀の危機：16世紀の世界的な交易の活況、17世紀の経済危機について検討する。
- 第13回 近代化と東アジア：近代国民国家の特質について考察した後、アヘン戦争の歴史的な意味合いについて検討する。
- 第14回 第二次世界大戦期のアジア世界：第二次世界大戦の時期における東南アジアでの日本軍の活動について検討する。
- 第15回 現代の東アジア世界：中華人民共和国と台湾の今に至る過程について検討する。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

大学の講義科目は、単位認定のために、学生が事前・事後学習を行っていることが必要となります。本講義は、以下のような事前学習・事後学習を想定しています。なお事前学習・事後学習は、各回合わせて4時間、全15回の講義に対して60時間を目安とします。

まず、授業を受ける前に毎回配布するレジュメによく目を通して、よくわからない点・疑問点をはどこか、明確にしておいてください（＝事前学習）。

次に教材を用いて授業を受けていただきますが、その際には動画の停止ボタンを使いながら、しっかりノートを取っておいてください。（※このノートテイクが、事後学習で役に立ちます）

授業終了後、課題レポートに取り組んでいただきます。その際には、ノートをきちんと整理し、正確な日本語の文章を書くように注意してください。（＝事後学習）

興味を持ったテーマがあれば、関連する読書を行ってください。（＝事後学習）

15回の授業終了後、期末最終レポートに取り組んでいただきます。すべてのレジュメ・ノートを見直し、理解が不十分な部分の動画教材を見直し、正確な日本語の文章で提出してください。（＝事後学習）

課題に対するフィードバックの方法

毎回の講義に関する課題レポートを、Google Classroomに提出してもらいます。課題レポートは毎回10点満点で評価をつけ、返却します。

返却の際、可能な限り日本語の添削指導を行い、書くべきポイントについてもコメントします。
 課題レポートには質問欄も設けますので、講義でわからなかったことは質問欄に書いてください。
 質問については、可能な限り回答して返却します。
 共有すべき感想・質問については、次の回の冒頭で紹介し、回答も行います。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により総合的に判定の上、60点以上を合格とし、所定の単位を認定します。履修登録したものの、課題レポートを一度も出さず、定期試験に代わるレポート（期末最終レポート）も提出しない場合はK評価とします。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	0		
授業外での評価	80	毎回の教材についての課題レポートの内容を評価します	1, 2, 3
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	期末最終レポートの内容を評価します	1, 2, 3
その他	0		

テキスト テキストを使用しない。教員が作成したレジュメを配付する。

参考書 大阪大学歴史教育研究会：編『市民のための世界史 改訂版』大阪大学出版会，2024。
 講談社、中国の歴史シリーズ。
 講談社、興亡の世界史シリーズ。
 山川出版社、世界史リブレットシリーズ。

履修条件・他の科目との関連 履修条件はありません。ただし完全なオンデマンド形式の遠隔授業ですので、いつ教材に取り組むのか、いつ課題レポートに取り組むのかを、自分でコントロールしなくてはなりません。きちんと1週間のスケジュールをたて、しっかりと時間をかけて教材と課題に取り組まないと、良い評価にはつながりません。その意味では、自身の生活を律する力がないと苦勞する部分がありますが、それを鍛えるよい機会ともなりえます。
 毎回の課題レポートでは、皆さん一人一人の教材に対する理解を深め、日本語で表現する力を伸ばすことをめざします。
 課題レポートの作成において、インターネット上の情報を利用したり、生成AIの出力を利用してはいけません。教材の内容理解を課題レポートでは評価しますので、教材の内容を外れた文章を含むレポートは採点対象外とします。
 自分で調べたことにもとづいて議論したい場合は、「感想欄」に書いてもらいます。第1回の教材でこの辺りのルールは丁寧に解説しますので、必ず第1回の教材からスタートしてください。

授業コード	10401703	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	現代の国際社会 [対面]				
シラバス執筆(全員)	瀬島 誠				
シラバス執筆(主)	瀬島 誠				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

★当授業は、今年度から対面授業となる。今日の世界は大きな変革を求められている。ロシアの軍事力行使によって、世界の軍事的緊張は高まっている。グローバル化とデジタル技術によってビジネスの舞台となる世界が大きく変容した。経済のみならず政治、デジタル空間の間に複雑な相互関係が生まれ、多様なアクターが複雑に絡み合っており、世界の問題は従来にはない様相を示している。この授業では、新たな国際社会の情勢について、戦争、テロ、核拡散、中国の台頭、破綻国家、地政学、人間の安全保障など具体的な問題を取り上げて、説明する。それらの理解はグローバルビジネスには不可欠のものである。

なお、本授業は現代の国際社会が直面する諸問題を取り扱うため、重要な問題が発生した場合には、その問題を授業で取り上げる。そのため、授業計画通りに進まない場合もあり得る。

到達目標

1. 現代の国際社会がどのような諸問題を抱えているかを理解し説明できる。
2. それらの諸問題の解決が容易でないという複雑さを複眼的視点から理解し、説明できる。
3. それらの諸問題を分析する方法を理解し、応用できる。

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：国際関係とは何か？①
 内容・方法：国際関係とは何か？それはアナーキーであることを説明する。
- 【第2回】
 テーマ：国際関係とは何か？②
 内容・方法：国際関係において国家が依然として重要なアクターであることを国連との対比で説明する。
- 【第3回】
 テーマ：国際関係の変化と継続
 内容・方法：国際関係で起こる様々な出来事を正しく理解する第一歩は変化と継続の両面を正しく理解することである。その理解のために、国際関係の歴史を概観する。
- 【第4回】
 テーマ：テロと合理性
 内容・方法：テロや海賊問題の最新事情について説明し、合理性とは何かを考える。
- 【第5回】
 テーマ：戦争はなぜ発生するか
 内容・方法：具体的な戦争を取り上げて、戦争はなぜ起こるのかについて説明する。
- 【第6回】
 テーマ：核兵器とその拡散
 内容・方法：核兵器とは何か。それはどのようになぜその保有国は拡散しているのかを考える。
- 【第7回】
 テーマ：中国の台頭とアジア・太平洋の安全保障環境
 内容・方法：中国の経済力・軍事力の増大がアジア・太平洋地域に及ぼす影響を考える。
- 【第8回】
 テーマ：ナショナリズム
 内容・方法：ナショナリズムとは何か？アメリカやヨーロッパの事例を中心に説明する。
- 【第9回】
 テーマ：国際政治経済
 内容・方法：貿易、金融、エネルギーなど経済問題は高度に政治的であることを説明する。特に、近年注目を集めるgeo-economicsを中心に説明をする。
- 【第10回】
 テーマ：開発と国連ミレニアム開発計画、SDGs
 内容・方法：世界の経済発展は重要な課題である。2016年から、国連は世界の新たな開発計画「持続的開発目標」を立ち上げ、推進している。それは、日本を含め、世界の新たなビジネスチャンスとなっている。その最新事情を説明する
- 【第11回】
 テーマ：破綻国家
 内容・方法：国家として機能しきれない破綻国家を具体的にしてみる。
- 【第12回】
 テーマ：情報とデジタル技術革命
 内容・方法：国際関係を変化させているもう一つの要因はデジタル技術革命である。この変化の側面について検討する。
- 【第13回】
 テーマ：国際秩序とグローバル公共財
 内容・方法：変化する国際関係にどのように秩序を再構築するか。グローバル公共財という視点を説明する。
- 【第14回】
 テーマ：将来の世界を見通す

内容・方法：世界がどのようなになるのか。皆さんと考えましょう。

【第15回】

テーマ：過去、現在、未来の国際社会

内容・方法：これまでの授業を復習しつつ、国際社会の様々な問題を検討しよう。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

以下、各回、事前学修は2時間、事後学修は2時間を目安とする。

【第1回】

①事前学修課題：授業概要を読んでおくこと

②事後学修課題：授業の内容を振り返ること

【第2回】

①事前学修課題：事前にウェブで国際連合について調べてくる。

②事後学修課題：授業内容を振り返ること

【第3回】

①事前学修課題：事前にウェブなどで北朝鮮について調べてくる。

②事後学修課題：授業内容を振り返ること

【第4回】

①事前学修課題：事前にウェブでオウム真理教のテロについて調べてくる。

②事後学修課題：授業内容を振り返ること

【第5回】

①事前学修課題：事前にウェブで第二次世界大戦について調べてくる。

②事後学修課題：授業内容を振り返ること

【第6回】

①事前学修課題：事前にウェブで核兵器について調べてくる。

②事後学修課題：授業内容を振り返ること

【第7回】

①事前学修課題：事前にウェブで中国の軍事力について調べてくる。

②事後学修課題：授業を振り返ること

【第8回】

①事前学修課題：事前にウェブでアメリカ社会について調べてくる。

②事後学修課題：授業を振り返ること

【第9回】

①事前学修課題：事前にウェブで資源、エネルギー問題について調べてくる。

②事後学修課題：授業を振り返ること

【第10回】

①事前学修課題：事前にウェブで「持続可能な開発目標」について調べてくる。

②事後学修課題：授業を振り返ること

【第11回】

①事前学修課題：事前にウェブで破綻国家について調べてくる。

②事後学修課題：授業を振り返ること

【第12回】

①事前学修課題：事前に人工知能について調べてくる。

②事後学修課題：授業内容を振り返ること

【第13回】

①事前学修課題：事前にウェブなどで公共財について調べてくる。

②事後学修課題：授業を振り返ること

【第14回】

①事前学修課題：これまでの授業を復習する。

②事後学修課題：授業内容を振り返ること

【第15回】

①事前学修課題：これまでの授業を復習する。

②事後学修課題：授業内容を振り返ること

課題に対するフィードバックの方法

各回の授業の最後に書いてもらう課題は、評価をつけた後、翌週の授業で返却する。その際、議論や段落の構成、わかりやすい文章の書き方など、どのように質問に答えるべきかなどについても説明をする。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

授業の各回最後に提出する課題の評価点と、試験の結果を中心に成績を決める。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	30	課題の評価点	1, 2, 3
授業外での評価	0		
定期試験	70	定期試験は対面で行う。	1, 2, 3

定期試験に代わるレポート等	0		
その他	0		
テキスト	教科書は使わない。レズメイを配布する。		
参考書	授業の各回の講義の中で、適宜、紹介する。		
履修条件・他の科目との関連	この授業は、日本と世界の今日的課題を履修するための基礎となるものであり、2年生以降の専門科目を理解するための基盤となる。		

授業コード	10401812	授業形態	講義・演習	実務家教員	—
授業科目名	デジタル・リテラシー [対面]				
シラバス執筆(全員)	野村 孝久				
シラバス執筆(主)	野村 孝久				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

2020年から全世界でまん延した新型コロナウイルスの影響で、社会生活は一変した。社会ではそれまでもすでに問題とされていた勤務形態の見直しが進み、学校においてもできるだけ接触の少ない授業形態への試みが積極的に行われ、また生活の形態も大きく変貌を遂げた。その結果として社会生活のあらゆる場面を急速に変貌させていったのが、いわゆるDX(デジタルトランスフォーメーション)の波である。私たちは日常生活、仕事や学習、金融や買い物、そして余暇や趣味の世界でさえ、パソコンやスマホに代表される個人用情報端末と、その背景にあるネットワークを最大限に利用することが可能になり、またそれを求められるようになった。2020年代以降を文化的に暮らしていくためには、デジタル社会を十分に理解し、できるだけ安全に、そして効率的に効果的にその仕組みを活用していくための、デジタル・リテラシーを身につけることが重要となったのである。本科目は共通教育科目群の中核において大学の全学部・全学科の初年度において必修となり、現代を生きる誰もが身につけるべき、知識と技術を学習し、大学生としてデジタル環境の中で、それらのしくみを最大限に生かし、自身の学習や研究、文化的活動に生かすことを目的としている。

本授業においては原則として普通教室において対面で、講義形式の授業と、持参PCの操作を中心とした演習形式の授業を混在させて行う。

開始当初の3週は、大学から指定・提供されている各種ネットワークサービスの利用方法を習得するために行われ、第4週以降は講義形式の授業を行いつつ、講義内容に即した課題を持参PCにて行う演習形式の授業へとつなげる形態をとる。

到達目標

1. 学内における各種サービスを支障なく利用することができる。
2. Wordの基本的な使用法を修め、文書を作成することができる。
3. PowerPointの基本的な使用法を修め、プレゼンテーション資料を作成することができる。
4. Excelの基本的な使用法を修め、簡単な計算表とグラフを作成することができる。
5. 授業内で修めたPCの基本的な利用法に慣れ、スムーズにコンテンツ制作が行える。
6. PCアプリを効果的に利用して、自身の思考をわかりやすく表現したコンテンツが作成できる。
7. 現代社会とデジタル技術の関りについての基本的な知識を獲得し、ネットワーク内における自分の権利を守り、かつ自分自身の生活に生かすことができる。

授業計画

【第1週】ネットワークサービスの利用

UNIPA、Google Classroom、Microsoft 365、zoom、WWW、OIUメールの活用を習得する。

【第2週】日本語入力と文書作成(1)

Wordにおける日本語入力を学び、簡単な文書を作成、Google Driveに保存するまでを学ぶ(テキストWord編1.1~1.6)。

【第3週】日本語入力と文書作成(2)

Google Driveに保存した文書を再編集し、より高度な文書作成を学ぶ(テキストWord編1.7~1.8、2.1~2.3)。

【第4週】「PCのクリエイティブな利用」と文書作成(3)

(講義) PCによるコンテンツ作成のあらましを学ぶ。
(演習) Wordによるレポート作成を学ぶ(テキストWord編3.1~3.4)。

【第5週】「マルチウィンドウの利用」とプレゼンテーション(1)

(講義) PCの広い画面を最大限に利用して、ブラウザとアプリの同時利用を学ぶ。
(演習) PowerPointによるプレゼンテーションの概要を学ぶ(テキストPowerPoint編2.1~2.3)。

【第6週】「スマホとの連携」とプレゼンテーション(2)

(講義) PCとスマホのそれぞれの特徴を学び、各々でのデータ利用について学ぶ。
(演習) スマホと連携したコンテンツ作りを、PowerPoint上で体験する(テキストPowerPoint編3.1~3.4)。

【第7週】「ネットワーク/メディアの概要」とプレゼンテーション(3)

(講義) ネットワークがメディアとして活用されている実態を学び、ネットワーク上のコンテンツ利用の実際を学ぶ。

(演習) より興味を引くPowerPointによるプレゼンテーションについて学ぶ(テキストPowerPoint編4.1~4.3)。

【第8週】「セキュリティの知識」とセキュリティ管理

(講義) ネットワーク上の脅威や権利侵害について学び、安全なネットワーク利用について考える。
(演習) 自身のパスワードを変更し、自身によるセキュリティ管理を開始する。

【第9週】「バーコード・QRコード・暗号」と文書作成(4)

(講義) 社会における情報利用のしくみを学び、それらの存在意義や安全性について考える。
(演習) また、その考察の結果をWordにより文章化する(テキストWord編4.1~4.5)。

【第10週】「ICカード・スマホ決済・Webマネー」と高度なWeb検索

(講義) ネットワーク上のお金について、そのあらましを学ぶ。

(演習) Webの検索機能を用いて、自分自身も利用するIT技術の詳細について調べる。

【第11週】「クラウド」とプレゼンテーション(4)

(講義) Google Driveを代表とするクラウド技術について知る。

(演習) 自らWebによって収集したデータを交えてプレゼンテーション資料を作成する(テキストPowerPoint編6章)。

【第12週】「データフォーマットと圧縮」と表計算(1)

(講義) 映像、音声、文書などさまざまな場面で使われる多くのデータフォーマットと、その特徴について知る。

(演習) データ処理の基本としてExcelの使い方を学ぶ(テキストExcel編1.1~1.6、2.1~2.4)。

【第13週】「ゲームビジネス」と表計算(2)

(講義) 多くの学生にとって興味深いゲームコンテンツにおけるビジネスのしくみを知り、その意義を考える。

(演習) Excelの関数を学ぶ(テキストExcel編3.1~3.2、4.1~4.2)。

【第14週】「シミュレーション」と表計算(3)

(講義) コンピューターシミュレーションの基礎を学び、知的生産における応用を考える。

(演習) Excelのグラフ機能を使った簡単なシミュレーションを体験してみる(テキストExcel編6.1~6.3)。

【第15週】「デジタル・リテラシー演習Ⅰ・Ⅱの紹介」と表計算(4)

(講義) 科目「デジタル・リテラシー」の結びとして、学習した内容の今後の発展と「デジタル・リテラシー演習Ⅰ・Ⅱ」を紹介する。

(演習) Excelによって作成したグラフをWord、PowerPointに引用し、アプリを連携したコンテンツ作成を学ぶ(テキストPowerPoint編5章、Word編11.3)。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

事前学習としては、各週の演習授業に備えて、テキストを通読しておき、必要に応じて独習しておくこと。
事後の学習は、毎回の講義内容に合わせた演習を通じて復習を行い、成果を提出すること。

課題に対するフィードバックの方法

毎回の課題に対して次週授業にて講評を行い、自身の達成度を確認する。またそこからさらに拡張して課題を発展していくことを繰り返す。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

本授業では、課題の達成度、最終課題の完成度について評価を行う。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	授業の受講態度と課題の提出	1, 2, 3, 4, 5
授業外での評価	30	課題の達成度	2, 3, 4, 5, 6, 7
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	最終課題の完成度	6, 7
その他	0		

テキスト	オーム社「Microsoft Office Word & PowerPoint編[改訂版]」花木泰子・浅里京子 / 著 ISBN: 978-4-274-22919-0 2400円+税 オーム社「コンピューターリテラシー Microsoft Office Excel編[改訂版]」多田憲孝・内藤富美子 / 著 ISBN978-4-274-22920-6 2400円+税 上記2冊は1年次後期「デジタル・リテラシー演習Ⅰ」および2年次前期「デジタル・リテラシー演習Ⅱ」でも使用される。
------	--

参考書	必要に応じて授業内で紹介する。
-----	-----------------

履修条件・他の科目との関連	本科目は必修科目であり、毎回必ず十分に充電したPCを持参すること。 本科目は1年次後期の必修科目「デジタル・リテラシー演習Ⅰ」並びに2年次前期の選択科目「デジタル・リテラシー演習Ⅱ」の基礎となる内容であり、本科目の単位を取得していないと後の科目は理解できない恐れがある。
---------------	--



授業コード	10401813	授業形態	講義・演習	実務家教員	—
授業科目名	デジタル・リテラシー [対面]				
シラバス執筆(全員)	下條 善史				
シラバス執筆(主)	下條 善史				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

2020年から全世界でまん延した新型コロナウイルスの影響で、社会生活は一変した。社会ではそれまでもすでに問題とされていた勤務形態の見直しが進み、学校においてもできるだけ接触の少ない授業形態への試みが積極的に行われ、また生活の形態も大きく変貌を遂げた。その結果として社会生活のあらゆる場面を急速に変貌させていったのが、いわゆるDX(デジタルトランスフォーメーション)の波である。私たちは日常生活、仕事や学習、金融や買い物、そして余暇や趣味の世界でさえ、パソコンやスマホに代表される個人用情報端末と、その背景にあるネットワークを最大限に利用することが可能になり、またそれを求められるようになった。2020年代以降を文化的に暮らしていくためには、デジタル社会を十分に理解し、できるだけ安全に、そして効率的に効果的にその仕組みを活用していくための、デジタル・リテラシーを身につけることが重要となったのである。本科目は共通教育科目群の中核において大学の全学部・全学科の初年度において必修となり、現代を生きる誰もが身につけるべき、知識と技術を学習し、大学生としてデジタル環境の中で、それらのしくみを最大限に生かし、自身の学習や研究、文化的活動に生かすことを目的としている。

本授業においては原則として普通教室において対面で、講義形式の授業と、持参PCの操作を中心とした演習形式の授業を混在させて行う。

開始当初の3週は、大学から指定・提供されている各種ネットワークサービスの利用方法を習得するために行われ、第4週以降は講義形式の授業を行いつつ、講義内容に即した課題を持参PCにて行う演習形式の授業へとつなげる形態をとる。

到達目標

1. 学内における各種サービスを支障なく利用することができる。
2. Wordの基本的な使用法を修め、文書を作成することができる。
3. PowerPointの基本的な使用法を修め、プレゼンテーション資料を作成することができる。
4. Excelの基本的な使用法を修め、簡単な計算表とグラフを作成することができる。
5. 授業内で修めたPCの基本的な利用法に慣れ、スムーズにコンテンツ制作が行える。
6. PCアプリを効果的に利用して、自身の思考をわかりやすく表現したコンテンツが作成できる。
7. 現代社会とデジタル技術の関りについての基本的な知識を獲得し、ネットワーク内における自分の権利を守り、かつ自分自身の生活に生かすことができる。

授業計画

【第1週】ネットワークサービスの利用

UNIPA、Google Classroom、Microsoft 365、zoom、WWW、OIUメールの活用を習得する。

【第2週】日本語入力と文書作成(1)

Wordにおける日本語入力を学び、簡単な文書を作成、Google Driveに保存するまでを学ぶ(テキストWord編1.1~1.6)。

【第3週】日本語入力と文書作成(2)

Google Driveに保存した文書を再編集し、より高度な文書作成を学ぶ(テキストWord編1.7~1.8、2.1~2.3)。

【第4週】「PCのクリエイティブな利用」と文書作成(3)

(講義) PCによるコンテンツ作成のあらましを学ぶ。

(演習) Wordによるレポート作成を学ぶ(テキストWord編3.1~3.4)。

【第5週】「マルチウィンドウの利用」とプレゼンテーション(1)

(講義) PCの広い画面を最大限に利用して、ブラウザとアプリの同時利用を学ぶ。

(演習) PowerPointによるプレゼンテーションの概要を学ぶ(テキストPowerPoint編2.1~2.3)。

【第6週】「スマホとの連携」とプレゼンテーション(2)

(講義) PCとスマホのそれぞれの特徴を学び、各々でのデータ利用について学ぶ。

(演習) スマホと連携したコンテンツ作りを、PowerPoint上で体験する(テキストPowerPoint編3.1~3.4)。

【第7週】「ネットワーク/メディアの概要」とプレゼンテーション(3)

(講義) ネットワークがメディアとして活用されている実態を学び、ネットワーク上のコンテンツ利用の実際を学ぶ。

(演習) より興味を引くPowerPointによるプレゼンテーションについて学ぶ(テキストPowerPoint編4.1~4.3)。

【第8週】「セキュリティの知識」とセキュリティ管理

(講義) ネットワーク上の脅威や権利侵害について学び、安全なネットワーク利用について考える。

(演習) 自身のパスワードを変更し、自身によるセキュリティ管理を開始する。

【第9週】「バーコード・QRコード・暗号」と文書作成(4)

(講義) 社会における情報利用のしくみを学び、それらの存在意義や安全性について考える。
(演習) また、その考察の結果をWordにより文章化する(テキストWord編4.1~4.5)。

【第10週】「ICカード・スマホ決済・Webマネー」と高度なWeb検索

(講義) ネットワーク上のお金について、そのあらましを学ぶ。

(演習) Webの検索機能を用いて、自分自身も利用するIT技術の詳細について調べる。

【第11週】「クラウド」とプレゼンテーション(4)

(講義) Google Driveを代表とするクラウド技術について知る。

(演習) 自らWebによって収集したデータを交えてプレゼンテーション資料を作成する(テキストPowerPoint編6章)。

【第12週】「データフォーマットと圧縮」と表計算(1)

(講義) 映像、音声、文書などさまざまな場面で使われる多くのデータフォーマットと、その特徴について知る。

(演習) データ処理の基本としてExcelの使い方を学ぶ(テキストExcel編1.1~1.6、2.1~2.4)。

【第13週】「ゲームビジネス」と表計算(2)

(講義) 多くの学生にとって興味深いゲームコンテンツにおけるビジネスのしくみを知り、その意義を考える。

(演習) Excelの関数を学ぶ(テキストExcel編3.1~3.2、4.1~4.2)。

【第14週】「シミュレーション」と表計算(3)

(講義) コンピューターシミュレーションの基礎を学び、知的生産における応用を考える。

(演習) Excelのグラフ機能を使った簡単なシミュレーションを体験してみる(テキストExcel編6.1~6.3)。

【第15週】「デジタル・リテラシー演習Ⅰ・Ⅱの紹介」と表計算(4)

(講義) 科目「デジタル・リテラシー」の結びとして、学習した内容の今後の発展と「デジタル・リテラシー演習Ⅰ・Ⅱ」を紹介する。

(演習) Excelによって作成したグラフをWord、PowerPointに引用し、アプリを連携したコンテンツ作成を学ぶ(テキストPowerPoint編5章、Word編11.3)。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

事前学習としては、各週の演習授業に備えて、テキストを通読しておき、必要に応じて独習しておくこと。
事後の学習は、毎回の講義内容に合わせた演習を通じて復習を行い、成果を提出すること。

課題に対するフィードバックの方法

毎回の課題に対して次週授業にて講評を行い、自身の達成度を確認する。またそこからさらに拡張して課題を発展していくことを繰り返す。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

本授業では、課題の達成度、最終課題の完成度について評価を行う。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	授業の受講態度と課題の提出	1, 2, 3, 4, 5
授業外での評価	30	課題の達成度	2, 3, 4, 5, 6, 7
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	最終課題の完成度	6, 7
その他	0		

テキスト	オーム社「Microsoft Office Word & PowerPoint編[改訂版]」花木泰子・浅里京子 / 著 ISBN: 978-4-274-22919-0 2400円+税 オーム社「コンピューターリテラシー Microsoft Office Excel編[改訂版]」多田憲孝・内藤富美子 / 著 ISBN978-4-274-22920-6 2400円+税 上記2冊は1年次後期「デジタル・リテラシー演習Ⅰ」および2年次前期「デジタル・リテラシー演習Ⅱ」でも使用される。
------	--

参考書	必要に応じて授業内で紹介する。
-----	-----------------

履修条件・他の科目との関連	本科目は必修科目であり、毎回必ず十分に充電したPCを持参すること。 本科目は1年次後期の必修科目「デジタル・リテラシー演習Ⅰ」並びに2年次前期の選択科目「デジタル・リテラシー演習Ⅱ」の基礎となる内容であり、本科目の単位を取得していないと後の科目は理解できない恐れがある。
---------------	--



授業コード	10401814	授業形態	講義・演習	実務家教員	—
授業科目名	デジタル・リテラシー [対面]				
シラバス執筆(全員)	三宅 香代子				
シラバス執筆(主)	三宅 香代子				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

2020年から全世界でまん延した新型コロナウイルスの影響で、社会生活は一変した。社会ではそれまでもすでに問題とされていた勤務形態の見直しが進み、学校においてもできるだけ接触の少ない授業形態への試みが積極的に行われ、また生活の形態も大きく変貌を遂げた。その結果として社会生活のあらゆる場面を急速に変貌させていったのが、いわゆるDX(デジタルトランスフォーメーション)の波である。私たちは日常生活、仕事や学習、金融や買い物、そして余暇や趣味の世界でさえ、パソコンやスマホに代表される個人用情報端末と、その背景にあるネットワークを最大限に利用することが可能になり、またそれを求められるようになった。2020年代以降を文化的に暮らしていくためには、デジタル社会を十分に理解し、できるだけ安全に、そして効率的に効果的にその仕組みを活用していくための、デジタル・リテラシーを身につけることが重要となったのである。本科目は共通教育科目群の中核において大学の全学部・全学科の初年度において必修となり、現代を生きる誰もが身につけるべき、知識と技術を学習し、大学生としてデジタル環境の中で、それらのしくみを最大限に生かし、自身の学習や研究、文化的活動に生かすことを目的としている。

本授業においては原則として普通教室において対面で、講義形式の授業と、持参PCの操作を中心とした演習形式の授業を混在させて行う。開始当初の3週は、大学から指定・提供されている各種ネットワークサービスの利用方法を習得するために行われ、第4週以降は講義形式の授業を行いつつ、講義内容に即した課題を持参PCにて行う演習形式の授業へとつなげる形態をとる。

到達目標

1. 学内における各種サービスを支障なく利用することができる。
2. Wordの基本的な使用法を修め、文書を作成することができる。
3. PowerPointの基本的な使用法を修め、プレゼンテーション資料を作成することができる。
4. Excelの基本的な使用法を修め、簡単な計算表とグラフを作成することができる。
5. 授業内で修めたPCの基本的な利用法に慣れ、スムーズにコンテンツ制作が行える。
6. PCアプリを効果的に利用して、自身の思考をわかりやすく表現したコンテンツが作成できる。
7. 現代社会とデジタル技術の関りについての基本的な知識を獲得し、ネットワーク内における自分の権利を守り、かつ自分自身の生活に生かすことができる。

授業計画

【第1週】ネットワークサービスの利用

UNIPA、Google Classroom、Microsoft 365、zoom、WWW、OIUメールの活用を習得する。

【第2週】日本語入力と文書作成(1)

Wordにおける日本語入力を学び、簡単な文書を作成、Google Driveに保存するまでを学ぶ(テキストWord編1.1~1.6)。

【第3週】日本語入力と文書作成(2)

Google Driveに保存した文書を再編集し、より高度な文書作成を学ぶ(テキストWord編1.7~1.8、2.1~2.3)。

【第4週】「PCのクリエイティブな利用」と文書作成(3)

(講義) PCによるコンテンツ作成のあらましを学ぶ。
(演習) Wordによるレポート作成を学ぶ(テキストWord編3.1~3.4)。

【第5週】「マルチウィンドウの利用」とプレゼンテーション(1)

(講義) PCの広い画面を最大限に利用して、ブラウザとアプリの同時利用を学ぶ。
(演習) PowerPointによるプレゼンテーションの概要を学ぶ(テキストPowerPoint編2.1~2.3)。

【第6週】「スマホとの連携」とプレゼンテーション(2)

(講義) PCとスマホのそれぞれの特徴を学び、各々でのデータ利用について学ぶ。
(演習) スマホと連携したコンテンツ作りを、PowerPoint上で体験する(テキストPowerPoint編3.1~3.4)。

【第7週】「ネットワーク/メディアの概要」とプレゼンテーション(3)

(講義) ネットワークがメディアとして活用されている実態を学び、ネットワーク上のコンテンツ利用の実際を学ぶ。
(演習) より興味を引くPowerPointによるプレゼンテーションについて学ぶ(テキストPowerPoint編4.1~4.3)。

【第8週】「セキュリティの知識」とセキュリティ管理

(講義) ネットワーク上の脅威や権利侵害について学び、安全なネットワーク利用について考える。
(演習) 自身のパスワードを変更し、自身によるセキュリティ管理を開始する。

【第9週】「バーコード・QRコード・暗号」と文書作成(4)

(講義) 社会における情報利用のしくみを学び、それらの存在意義や安全性について考える。
(演習) また、その考察の結果をWordにより文章化する(テキストWord編4.1~4.5)。

【第10週】「ICカード・スマホ決済・Webマネー」と高度なWeb検索

(講義) ネットワーク上のお金について、そのあらましを学ぶ。

(演習) Webの検索機能を用いて、自分自身も利用するIT技術の詳細について調べる。

【第11週】「クラウド」とプレゼンテーション(4)

(講義) Google Driveを代表とするクラウド技術について知る。

(演習) 自らWebによって収集したデータを交えてプレゼンテーション資料を作成する(テキストPowerPoint編6章)。

【第12週】「データフォーマットと圧縮」と表計算(1)

(講義) 映像、音声、文書などさまざまな場面で使われる多くのデータフォーマットと、その特徴について知る。

(演習) データ処理の基本としてExcelの使い方を学ぶ(テキストExcel編1.1~1.6、2.1~2.4)。

【第13週】「ゲームビジネス」と表計算(2)

(講義) 多くの学生にとって興味深いゲームコンテンツにおけるビジネスのしくみを知り、その意義を考える。

(演習) Excelの関数を学ぶ(テキストExcel編3.1~3.2、4.1~4.2)。

【第14週】「シミュレーション」と表計算(3)

(講義) コンピューターシミュレーションの基礎を学び、知的生産における応用を考える。

(演習) Excelのグラフ機能を使った簡単なシミュレーションを体験してみる(テキストExcel編6.1~6.3)。

【第15週】「デジタル・リテラシー演習Ⅰ・Ⅱの紹介」と表計算(4)

(講義) 科目「デジタル・リテラシー」の結びとして、学習した内容の今後の発展と「デジタル・リテラシー演習Ⅰ・Ⅱ」を紹介する。

(演習) Excelによって作成したグラフをWord、PowerPointに引用し、アプリを連携したコンテンツ作成を学ぶ(テキストPowerPoint編5章、Word編11.3)。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

事前学習としては、各週の演習授業に備えて、テキストを通読しておき、必要に応じて独習しておくこと。
事後の学習は、毎回の講義内容に合わせた演習を通じて復習を行い、成果を提出すること。

課題に対するフィードバックの方法

毎回の課題に対して次週授業にて講評を行い、自身の達成度を確認する。またそこからさらに拡張して課題を発展していくことを繰り返す。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

本授業では、課題の達成度、最終課題の完成度について評価を行う。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	授業の受講態度と課題の提出	1, 2, 3, 4, 5
授業外での評価	30	課題の達成度	2, 3, 4, 5, 6, 7
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	最終課題の完成度	6, 7
その他	0		

テキスト	オーム社「Microsoft Office Word & PowerPoint編[改訂版]」花木泰子・浅里京子 / 著 ISBN: 978-4-274-22919-0 2400円+税 オーム社「コンピューターリテラシー Microsoft Office Excel編[改訂版]」多田憲孝・内藤富美子 / 著 ISBN978-4-274-22920-6 2400円+税 上記2冊は1年次後期「デジタル・リテラシー演習Ⅰ」および2年次前期「デジタル・リテラシー演習Ⅱ」でも使用される。
------	--

参考書	必要に応じて授業内で紹介する。
-----	-----------------

履修条件・他の科目との関連	本科目は必修科目であり、毎回必ず十分に充電したPCを持参すること。 本科目は1年次後期の必修科目「デジタル・リテラシー演習Ⅰ」並びに2年次前期の選択科目「デジタル・リテラシー演習Ⅱ」の基礎となる内容であり、本科目の単位を取得していないと後の科目は理解できない恐れがある。
---------------	--



授業コード	10401815	授業形態	講義・演習	実務家教員	—
授業科目名	デジタル・リテラシー [対面]				
シラバス執筆(全員)	韓 尚秀				
シラバス執筆(主)	韓 尚秀				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

2020年から全世界でまん延した新型コロナウイルスの影響で、社会生活は一変した。社会ではそれまでもすでに問題とされていた勤務形態の見直しが進み、学校においてもできるだけ接触の少ない授業形態への試みが積極的に行われ、また生活の形態も大きく変貌を遂げた。その結果として社会生活のあらゆる場面を急速に変貌させていったのが、いわゆるDX(デジタルトランスフォーメーション)の波である。私たちは日常生活、仕事や学習、金融や買い物、そして余暇や趣味の世界でさえ、パソコンやスマホに代表される個人用情報端末と、その背景にあるネットワークを最大限に利用することが可能になり、またそれを求められるようになった。2020年代以降を文化的に暮らしていくためには、デジタル社会を十分に理解し、できるだけ安全に、そして効率的に効果的にその仕組みを活用していくための、デジタル・リテラシーを身につけることが重要となったのである。本科目は共通教育科目群の中核において大学の全学部・全学科の初年度において必修となり、現代を生きる誰もが身につけるべき、知識と技術を学習し、大学生としてデジタル環境の中で、それらのしくみを最大限に生かし、自身の学習や研究、文化的活動に生かすことを目的としている。

本授業においては原則として普通教室において対面で、講義形式の授業と、持参PCの操作を中心とした演習形式の授業を混在させて行う。

開始当初の3週は、大学から指定・提供されている各種ネットワークサービスの利用方法を習得するために行われ、第4週以降は講義形式の授業を行いつつ、講義内容に即した課題を持参PCにて行う演習形式の授業へとつなげる形態をとる。

到達目標

1. 学内における各種サービスを支障なく利用することができる。
2. Wordの基本的な使用法を修め、文書を作成することができる。
3. PowerPointの基本的な使用法を修め、プレゼンテーション資料を作成することができる。
4. Excelの基本的な使用法を修め、簡単な計算表とグラフを作成することができる。
5. 授業内で修めたPCの基本的な利用法に慣れ、スムーズにコンテンツ制作が行える。
6. PCアプリを効果的に利用して、自身の思考をわかりやすく表現したコンテンツが作成できる。
7. 現代社会とデジタル技術の関りについての基本的な知識を獲得し、ネットワーク内における自分の権利を守り、かつ自分自身の生活に生かすことができる。

授業計画

【第1週】ネットワークサービスの利用

UNIPA、Google Classroom、Microsoft 365、zoom、WWW、OIUメールの活用を習得する。

【第2週】日本語入力と文書作成(1)

Wordにおける日本語入力を学び、簡単な文書を作成、Google Driveに保存するまでを学ぶ(テキストWord編1.1~1.6)。

【第3週】日本語入力と文書作成(2)

Google Driveに保存した文書を再編集し、より高度な文書作成を学ぶ(テキストWord編1.7~1.8、2.1~2.3)。

【第4週】「PCのクリエイティブな利用」と文書作成(3)

(講義) PCによるコンテンツ作成のあらましを学ぶ。

(演習) Wordによるレポート作成を学ぶ(テキストWord編3.1~3.4)。

【第5週】「マルチウィンドウの利用」とプレゼンテーション(1)

(講義) PCの広い画面を最大限に利用して、ブラウザとアプリの同時利用を学ぶ。

(演習) PowerPointによるプレゼンテーションの概要を学ぶ(テキストPowerPoint編2.1~2.3)。

【第6週】「スマホとの連携」とプレゼンテーション(2)

(講義) PCとスマホのそれぞれの特徴を学び、各々でのデータ利用について学ぶ。

(演習) スマホと連携したコンテンツ作りを、PowerPoint上で体験する(テキストPowerPoint編3.1~3.4)。

【第7週】「ネットワーク/メディアの概要」とプレゼンテーション(3)

(講義) ネットワークがメディアとして活用されている実態を学び、ネットワーク上のコンテンツ利用の実際を学ぶ。

(演習) より興味を引くPowerPointによるプレゼンテーションについて学ぶ(テキストPowerPoint編4.1~4.3)。

【第8週】「セキュリティの知識」とセキュリティ管理

(講義) ネットワーク上の脅威や権利侵害について学び、安全なネットワーク利用について考える。

(演習) 自身のパスワードを変更し、自身によるセキュリティ管理を開始する。

【第9週】「バーコード・QRコード・暗号」と文書作成(4)

(講義) 社会における情報利用のしくみを学び、それらの存在意義や安全性について考える。
(演習) また、その考察の結果をWordにより文章化する(テキストWord編4.1~4.5)。

【第10週】「ICカード・スマホ決済・Webマネー」と高度なWeb検索

(講義) ネットワーク上のお金について、そのあらましを学ぶ。

(演習) Webの検索機能を用いて、自分自身も利用するIT技術の詳細について調べる。

【第11週】「クラウド」とプレゼンテーション(4)

(講義) Google Driveを代表とするクラウド技術について知る。

(演習) 自らWebによって収集したデータを交えてプレゼンテーション資料を作成する(テキストPowerPoint編6章)。

【第12週】「データフォーマットと圧縮」と表計算(1)

(講義) 映像、音声、文書などさまざまな場面で使われる多くのデータフォーマットと、その特徴について知る。

(演習) データ処理の基本としてExcelの使い方を学ぶ(テキストExcel編1.1~1.6、2.1~2.4)。

【第13週】「ゲームビジネス」と表計算(2)

(講義) 多くの学生にとって興味深いゲームコンテンツにおけるビジネスのしくみを知り、その意義を考える。

(演習) Excelの関数を学ぶ(テキストExcel編3.1~3.2、4.1~4.2)。

【第14週】「シミュレーション」と表計算(3)

(講義) コンピューターシミュレーションの基礎を学び、知的生産における応用を考える。

(演習) Excelのグラフ機能を使った簡単なシミュレーションを体験してみる(テキストExcel編6.1~6.3)。

【第15週】「デジタル・リテラシー演習Ⅰ・Ⅱの紹介」と表計算(4)

(講義) 科目「デジタル・リテラシー」の結びとして、学習した内容の今後の発展と「デジタル・リテラシー演習Ⅰ・Ⅱ」を紹介する。

(演習) Excelによって作成したグラフをWord、PowerPointに引用し、アプリを連携したコンテンツ作成を学ぶ(テキストPowerPoint編5章、Word編11.3)。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

事前学習としては、各週の演習授業に備えて、テキストを通読しておき、必要に応じて独習しておくこと。
事後の学習は、毎回の講義内容に合わせた演習を通じて復習を行い、成果を提出すること。

課題に対するフィードバックの方法

毎回の課題に対して次週授業にて講評を行い、自身の達成度を確認する。またそこからさらに拡張して課題を発展していくことを繰り返す。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

本授業では、課題の達成度、最終課題の完成度について評価を行う。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	授業の受講態度と課題の提出	1, 2, 3, 4, 5
授業外での評価	30	課題の達成度	2, 3, 4, 5, 6, 7
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	最終課題の完成度	6, 7
その他	0		

テキスト	オーム社「Microsoft Office Word & PowerPoint編[改訂版]」花木泰子・浅里京子 / 著 ISBN: 978-4-274-22919-0 2400円+税 オーム社「コンピューターリテラシー Microsoft Office Excel編[改訂版]」多田憲孝・内藤富美子 / 著 ISBN978-4-274-22920-6 2400円+税 上記2冊は1年次後期「デジタル・リテラシー演習Ⅰ」および2年次前期「デジタル・リテラシー演習Ⅱ」でも使用される。
------	--

参考書	必要に応じて授業内で紹介する。
-----	-----------------

履修条件・他の科目との関連	本科目は必修科目であり、毎回必ず十分に充電したPCを持参すること。 本科目は1年次後期の必修科目「デジタル・リテラシー演習Ⅰ」並びに2年次前期の選択科目「デジタル・リテラシー演習Ⅱ」の基礎となる内容であり、本科目の単位を取得していないと後の科目は理解できない恐れがある。
---------------	--



授業コード	10401851	授業形態	講義・演習	実務家教員	—
授業科目名	デジタル・リテラシー [対面]				
シラバス執筆(全員)	新谷 廣一				
シラバス執筆(主)	新谷 廣一				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

2020年から全世界でまん延した新型コロナウイルスの影響で、社会生活は一変した。社会ではそれまでもすでに問題とされていた勤務形態の見直しが進み、学校においてもできるだけ接触の少ない授業形態への試みが積極的に行われ、また生活の形態も大きく変貌を遂げた。その結果として社会生活のあらゆる場面を急速に変貌させていったのが、いわゆるDX(デジタルトランスフォーメーション)の波である。私たちは日常生活、仕事や学習、金融や買い物、そして余暇や趣味の世界でさえ、パソコンやスマホに代表される個人用情報端末と、その背景にあるネットワークを最大限に利用することが可能になり、またそれを求められるようになった。2020年代以降を文化的に暮らしていくためには、デジタル社会を十分に理解し、できるだけ安全に、そして効率的に効果的にその仕組みを活用していくための、デジタル・リテラシーを身につけることが重要となったのである。本科目は共通教育科目群の中核において大学の全学部・全学科の初年度において必修となり、現代を生きる誰もが身につけるべき、知識と技術を学習し、大学生としてデジタル環境の中で、それらのしくみを最大限に生かし、自身の学習や研究、文化的活動に生かすことを目的としている。

本授業においては原則として普通教室において対面で、講義形式の授業と、持参PCの操作を中心とした演習形式の授業を混在させて行う。

開始当初の3週は、大学から指定・提供されている各種ネットワークサービスの利用方法を習得するために行われ、第4週以降は講義形式の授業を行いつつ、講義内容に即した課題を持参PCにて行う演習形式の授業へとつなげる形態をとる。

到達目標

1. 学内における各種サービスを支障なく利用することができる。
2. Wordの基本的な使用法を修め、文書を作成することができる。
3. PowerPointの基本的な使用法を修め、プレゼンテーション資料を作成することができる。
4. Excelの基本的な使用法を修め、簡単な計算表とグラフを作成することができる。
5. 授業内で修めたPCの基本的な利用法に慣れ、スムーズにコンテンツ制作が行える。
6. PCアプリを効果的に利用して、自身の思考をわかりやすく表現したコンテンツが作成できる。
7. 現代社会とデジタル技術の関りについての基本的な知識を獲得し、ネットワーク内における自分の権利を守り、かつ自分自身の生活に生かすことができる。

授業計画

【第1週】 ネットワークサービスの利用

UNIPA、Google Classroom、Microsoft 365、zoom、WWW、OIUメールの活用を習得する。

【第2週】 日本語入力と文書作成(1)

Wordにおける日本語入力を学び、簡単な文書を作成、Google Driveに保存するまでを学ぶ(テキストWord編1.1～1.6)。

【第3週】 日本語入力と文書作成(2)

Google Driveに保存した文書を再編集し、より高度な文書作成を学ぶ(テキストWord編1.7～1.8、2.1～2.3)。

【第4週】 「PCのクリエイティブな利用」と文書作成(3)

(講義) PCによるコンテンツ作成のあらましを学ぶ。
(演習) Wordによるレポート作成を学ぶ(テキストWord編3.1～3.4)。

【第5週】 「マルチウィンドウの利用」とプレゼンテーション(1)

(講義) PCの広い画面を最大限に利用して、ブラウザとアプリの同時利用を学ぶ。
(演習) PowerPointによるプレゼンテーションの概要を学ぶ(テキストPowerPoint編2.1～2.3)。

【第6週】 「スマホとの連携」とプレゼンテーション(2)

(講義) PCとスマホのそれぞれの特徴を学び、各々でのデータ利用について学ぶ。
(演習) スマホと連携したコンテンツ作りを、PowerPoint上で体験する(テキストPowerPoint編3.1～3.4)。

【第7週】 「ネットワーク／メディアの概要」とプレゼンテーション(3)

(講義) ネットワークがメディアとして活用されている実態を学び、ネットワーク上のコンテンツ利用の実際を学ぶ。
(演習) より興味を引くPowerPointによるプレゼンテーションについて学ぶ(テキストPowerPoint編4.1～4.3)。

【第8週】 「セキュリティの知識」とセキュリティ管理

(講義) ネットワーク上の脅威や権利侵害について学び、安全なネットワーク利用について考える。
(演習) 自身のパスワードを変更し、自身によるセキュリティ管理を開始する。

【第9週】 「バーコード・QRコード・暗号」と文書作成(4)

(講義) 社会における情報利用のしくみを学び、それらの存在意義や安全性について考える。
(演習) また、その考察の結果をWordにより文章化する(テキストWord編4.1~4.5)。

【第10週】「ICカード・スマホ決済・Webマネー」と高度なWeb検索

(講義) ネットワーク上のお金について、そのあらましを学ぶ。

(演習) Webの検索機能を用いて、自分自身も利用するIT技術の詳細について調べる。

【第11週】「クラウド」とプレゼンテーション(4)

(講義) Google Driveを代表とするクラウド技術について知る。

(演習) 自らWebによって収集したデータを交えてプレゼンテーション資料を作成する(テキストPowerPoint編6章)。

【第12週】「データフォーマットと圧縮」と表計算(1)

(講義) 映像、音声、文書などさまざまな場面で使われる多くのデータフォーマットと、その特徴について知る。

(演習) データ処理の基本としてExcelの使い方を学ぶ(テキストExcel編1.1~1.6、2.1~2.4)。

【第13週】「ゲームビジネス」と表計算(2)

(講義) 多くの学生にとって興味深いゲームコンテンツにおけるビジネスのしくみを知り、その意義を考える。

(演習) Excelの関数を学ぶ(テキストExcel編3.1~3.2、4.1~4.2)。

【第14週】「シミュレーション」と表計算(3)

(講義) コンピューターシミュレーションの基礎を学び、知的生産における応用を考える。

(演習) Excelのグラフ機能を使った簡単なシミュレーションを体験してみる(テキストExcel編6.1~6.3)。

【第15週】「デジタル・リテラシー演習Ⅰ・Ⅱの紹介」と表計算(4)

(講義) 科目「デジタル・リテラシー」の結びとして、学習した内容の今後の発展と「デジタル・リテラシー演習Ⅰ・Ⅱ」を紹介する。

(演習) Excelによって作成したグラフをWord、PowerPointに引用し、アプリを連携したコンテンツ作成を学ぶ(テキストPowerPoint編5章、Word編11.3)。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

事前学習としては、各週の演習授業に備えて、テキストを通読しておき、必要に応じて独習しておくこと。
事後の学習は、毎回の講義内容に合わせた演習を通じて復習を行い、成果を提出すること。

課題に対するフィードバックの方法

毎回の課題に対して次週授業にて講評を行い、自身の達成度を確認する。またそこからさらに拡張して課題を発展していくことを繰り返す。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

本授業では、課題の達成度、最終課題の完成度について評価を行う。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	授業の受講態度と課題の提出	1, 2, 3, 4, 5
授業外での評価	30	課題の達成度	2, 3, 4, 5, 6, 7
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	最終課題の完成度	6, 7
その他	0		

テキスト	オーム社「Microsoft Office Word & PowerPoint編[改訂版]」花木泰子・浅里京子 / 著 ISBN: 978-4-274-22919-0 2400円+税 オーム社「コンピューターリテラシー Microsoft Office Excel編[改訂版]」多田憲孝・内藤富美子 / 著 ISBN978-4-274-22920-6 2400円+税 上記2冊は1年次後期「デジタル・リテラシー演習Ⅰ」および2年次前期「デジタル・リテラシー演習Ⅱ」でも使用される。
------	--

参考書	必要に応じて授業内で紹介する。
-----	-----------------

履修条件・他の科目との関連	本科目は必修科目であり、毎回必ず十分に充電したPCを持参すること。 本科目は1年次後期の必修科目「デジタル・リテラシー演習Ⅰ」並びに2年次前期の選択科目「デジタル・リテラシー演習Ⅱ」の基礎となる内容であり、本科目の単位を取得していないと後の科目は理解できない恐れがある。
---------------	--



授業コード	10401912	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	デジタル・リテラシー演習Ⅰ [対面]				
シラバス執筆(全員)	内藤 富美子				
シラバス執筆(主)	内藤 富美子				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

2020年から全世界でまん延した新型コロナウイルスの影響で、社会生活は一変した。社会ではそれまでもすでに問題とされていた勤務形態の見直しが進み、学校においてもできるだけ接触の少ない授業形態への試みが積極的に行われ、また生活の形態も大きく変貌を遂げた。その結果として社会生活のあらゆる場面に急速に変貌させていったのが、いわゆるDX(デジタルトランスフォーメーション)の波である。私たちは日常生活、仕事や学習、金融や買い物、そして余暇や趣味の世界でさえ、パソコンやスマホに代表される個人用情報端末と、その背景にあるネットワークを最大限に利用することが可能になり、またそれを求められるようになった。2020年代以降を文化的に暮らしていくためには、デジタル社会を十分に理解し、できるだけ安全に、そして効率的に効果的にその仕組みを活用していくための、デジタル・リテラシーを身につけることが重要となったのである。本科目ではすでに「デジタル・リテラシー」において学んだPCの操作技術をより深化させ、PCとアプリを縦横無尽に駆使して、デジタル環境における自己の表現技術をより研鑽することを目的としている。

本授業においては原則として普通教室において対面で、持参PCの操作を中心とした演習形式の授業を行う。Microsoft 365を使用し、「デジタル・リテラシー」において学んだ各アプリの基本的利用法をさらに拡張して、デジタルアプリによるより高い思考力と表現力を身につけていく。また、その際に利用する様々なファイルを、クラウドファイルシステム上で整理し管理することを学ぶ。

到達目標

1. クラウド環境において各種の情報をフォルダに整理整頓し管理することができる。
2. クラウド環境を利用しながら、Wordによる高度な文書作成ができる。
3. クラウド環境を利用しながら、PowerPointによる高度なプレゼンテーション資料を作成できる。
4. クラウド環境を利用しながら、Excelによる高度なワークシートの操作ができる。
5. Officeアプリを連携させて利用し、他者への情報伝達のための資料を作成することができる。

授業計画

【第1週】 ファイルシステム
Google ClassroomとPCのファイルシステムの利用と操作

【第2週】 Word(1)
テキストWord編第5章「表作成Ⅰ」

【第3週】 Word(2)
テキストWord編第6章「表作成Ⅱ」

【第4週】 Word(3)
テキストWord編第7章「社外ビジネス文書」

【第5週】 Word(4)
テキストWord編第8章「図形描画」

【第6週】 PowerPoint(1)
テキストPowerPoint編第1章「プレゼンテーションとは」、第6章「図・画像の挿入」

【第7週】 PowerPoint(2)
テキストPowerPoint編第7章「画面切り替え効果とアニメーション」

【第8週】 Word(5) & PowerPoint(3)
演習問題

【第9週】 Excel(1)
テキストExcel編第4章「基本的な関数」の復習

【第10週】 Excel(2)
テキストExcel編第5章「相対参照と絶対参照」

【第11週】 Excel(3)
テキストExcel編第7章「データベース機能Ⅰ」

【第12週】 Excel(4)
テキストExcel編第8章「判断処理Ⅰ」

【第13週】 Excel(5)
テキストExcel編第9章「複数シートの利用」

【第14週】Excel (6)
テキストExcel編第10章「基礎編総合演習」

【第15週】Officeアプリの連携
最終課題を課し、Officeアプリを連携して資料作成できることを確認する。

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

事前学習としては、各週の演習授業に備えて、テキストを通読しておき、必要に応じて独習しておくこと。
事後の学習は、毎回の講義内容に合わせた演習を通じて復習を行い、成果を提出すること。

課題に対するフィードバックの方法

毎回の課題に対して次週授業にて点検を行い、またそこからさらに拡張して課題を発展していくことを繰り返す。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

本科目は演習授業であり、毎回の課題の提出とその達成度、最終課題の完成度を評価対象とする。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	毎回の課題提出	2, 3, 4, 5
授業外での評価	30	課題の達成度	1, 5
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	最終課題の完成度	1, 2, 3, 4, 5
その他	0		

テキスト	オーム社「Microsoft Office Word & PowerPoint編[改訂版]」花木泰子・浅里京子／著 ISBN: 978-4-274-22919-0 2400円＋税 オーム社「コンピューターリテラシー(改訂版)Microsoft Office Excel編」多田憲孝・内藤富美子／著 ISBN: 978-4-274-22920-6 2400円＋税 上記2冊は1年次前期「デジタル・リテラシー」および2年次前期「デジタル・リテラシー演習Ⅱ」でも使用される。 上記のほかに、必要に応じて電子的資料をGoogle Classroomを通じて配布する。
------	--

参考書	必要に応じて授業内で紹介する。
-----	-----------------

履修条件・他の科目との関連	本科目は必修科目であり、毎回必ず十分に充電したPCを持参すること。 本科目は1年次前期の必修科目「デジタル・リテラシー」を基礎としており、「デジタル・リテラシー」の単位を取得後に履修すべきである。また2年次前期の選択科目「デジタル・リテラシー演習Ⅱ」は、本科目を基礎とした科目であり、本科目の単位取得を前提とした授業内容となる。
---------------	---

授業コード	10401913	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	デジタル・リテラシー演習 I [対面]				
シラバス執筆(全員)	下條 善史				
シラバス執筆(主)	下條 善史				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

2020年から全世界でまん延した新型コロナウイルスの影響で、社会生活は一変した。社会ではそれまでもすでに問題とされていた勤務形態の見直しが進み、学校においてもできるだけ接触の少ない授業形態への試みが積極的に行われ、また生活の形態も大きく変貌を遂げた。その結果として社会生活のあらゆる場面に急速に変貌させていったのが、いわゆるDX(デジタルトランスフォーメーション)の波である。私たちは日常生活、仕事や学習、金融や買い物、そして余暇や趣味の世界でさえ、パソコンやスマホに代表される個人用情報端末と、その背景にあるネットワークを最大限に利用することが可能になり、またそれを求められるようになった。2020年代以降を文化的に暮らしていくためには、デジタル社会を十分に理解し、できるだけ安全に、そして効率的に効果的にその仕組みを活用していくための、デジタル・リテラシーを身につけることが重要となったのである。本科目ではすでに「デジタル・リテラシー」において学んだPCの操作技術をより深化させ、PCとアプリを縦横無尽に駆使して、デジタル環境における自己の表現技術をより研鑽することを目的としている。

本授業においては原則として普通教室において対面で、持参PCの操作を中心とした演習形式の授業を行う。Microsoft 365を使用し、「デジタル・リテラシー」において学んだ各アプリの基本的利用法をさらに拡張して、デジタルアプリによるより高い思考力と表現力を身につけていく。また、その際に利用する様々なファイルを、クラウドファイルシステム上で整理し管理することを学ぶ。

到達目標

1. クラウド環境において各種の情報をフォルダに整理整頓し管理することができる。
2. クラウド環境を利用しながら、Wordによる高度な文書作成ができる。
3. クラウド環境を利用しながら、PowerPointによる高度なプレゼンテーション資料を作成できる。
4. クラウド環境を利用しながら、Excelによる高度なワークシートの操作ができる。
5. Officeアプリを連携させて利用し、他者への情報伝達のための資料を作成することができる。

授業計画

【第1週】 ファイルシステム
Google ClassroomとPCのファイルシステムの利用と操作

【第2週】 Word(1)
テキストWord編第5章「表作成 I」

【第3週】 Word(2)
テキストWord編第6章「表作成 II」

【第4週】 Word(3)
テキストWord編第7章「社外ビジネス文書」

【第5週】 Word(4)
テキストWord編第8章「図形描画」

【第6週】 PowerPoint(1)
テキストPowerPoint編第1章「プレゼンテーションとは」、第6章「図・画像の挿入」

【第7週】 PowerPoint(2)
テキストPowerPoint編第7章「画面切り替え効果とアニメーション」

【第8週】 Word(5) & PowerPoint(3)
演習問題

【第9週】 Excel(1)
テキストExcel編第4章「基本的な関数」の復習

【第10週】 Excel(2)
テキストExcel編第5章「相対参照と絶対参照」

【第11週】 Excel(3)
テキストExcel編第7章「データベース機能 I」

【第12週】 Excel(4)
テキストExcel編第8章「判断処理 I」

【第13週】 Excel(5)
テキストExcel編第9章「複数シートの利用」

【第14週】Excel (6)
テキストExcel編第10章「基礎編総合演習」

【第15週】Officeアプリの連携
最終課題を課し、Officeアプリを連携して資料作成できることを確認する。

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

事前学習としては、各週の演習授業に備えて、テキストを通読しておき、必要に応じて独習しておくこと。
事後の学習は、毎回の講義内容に合わせた演習を通じて復習を行い、成果を提出すること。

課題に対するフィードバックの方法

毎回の課題に対して次週授業にて点検を行い、またそこからさらに拡張して課題を発展していくことを繰り返す。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

本科目は演習授業であり、毎回の課題の提出とその達成度、最終課題の完成度を評価対象とする。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	毎回の課題提出	2, 3, 4, 5
授業外での評価	30	課題の達成度	1, 5
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	最終課題の完成度	1, 2, 3, 4, 5
その他	0		

テキスト	オーム社「Microsoft Office Word & PowerPoint編[改訂版]」花木泰子・浅里京子／著 ISBN: 978-4-274-22919-0 2400円＋税 オーム社「コンピューターリテラシー(改訂版)Microsoft Office Excel編」多田憲孝・内藤富美子／著 ISBN: 978-4-274-22920-6 2400円＋税 上記2冊は1年次前期「デジタル・リテラシー」および2年次前期「デジタル・リテラシー演習Ⅱ」でも使用される。 上記のほかに、必要に応じて電子的資料をGoogle Classroomを通じて配布する。
------	--

参考書	必要に応じて授業内で紹介する。
-----	-----------------

履修条件・他の科目との関連	本科目は必修科目であり、毎回必ず十分に充電したPCを持参すること。 本科目は1年次前期の必修科目「デジタル・リテラシー」を基礎としており、「デジタル・リテラシー」の単位を取得後に履修すべきである。また2年次前期の選択科目「デジタル・リテラシー演習Ⅱ」は、本科目を基礎とした科目であり、本科目の単位取得を前提とした授業内容となる。
---------------	---

授業コード	10401914	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	デジタル・リテラシー演習 I [対面]				
シラバス執筆(全員)	新谷 廣一				
シラバス執筆(主)	新谷 廣一				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

2020年から全世界でまん延した新型コロナウイルスの影響で、社会生活は一変した。社会ではそれまでもすでに問題とされていた勤務形態の見直しが進み、学校においてもできるだけ接触の少ない授業形態への試みが積極的に行われ、また生活の形態も大きく変貌を遂げた。その結果として社会生活のあらゆる場面に急速に変貌させていったのが、いわゆるDX(デジタルトランスフォーメーション)の波である。私たちは日常生活、仕事や学習、金融や買い物、そして余暇や趣味の世界でさえ、パソコンやスマホに代表される個人用情報端末と、その背景にあるネットワークを最大限に利用することが可能になり、またそれを求められるようになった。2020年代以降を文化的に暮らしていくためには、デジタル社会を十分に理解し、できるだけ安全に、そして効率的に効果的にその仕組みを活用していくための、デジタル・リテラシーを身につけることが重要となったのである。本科目ではすでに「デジタル・リテラシー」において学んだPCの操作技術をより深化させ、PCとアプリを縦横無尽に駆使して、デジタル環境における自己の表現技術をより研鑽することを目的としている。

本授業においては原則として普通教室において対面で、持参PCの操作を中心とした演習形式の授業を行う。Microsoft 365を使用し、「デジタル・リテラシー」において学んだ各アプリの基本的利用法をさらに拡張して、デジタルアプリによるより高い思考力と表現力を身につけていく。また、その際に利用する様々なファイルを、クラウドファイルシステム上で整理し管理することを学ぶ。

到達目標

1. クラウド環境において各種の情報をフォルダに整理整頓し管理することができる。
2. クラウド環境を利用しながら、Wordによる高度な文書作成ができる。
3. クラウド環境を利用しながら、PowerPointによる高度なプレゼンテーション資料を作成できる。
4. クラウド環境を利用しながら、Excelによる高度なワークシートの操作ができる。
5. Officeアプリを連携させて利用し、他者への情報伝達のための資料を作成することができる。

授業計画

【第1週】 ファイルシステム
Google ClassroomとPCのファイルシステムの利用と操作

【第2週】 Word(1)
テキストWord編第5章「表作成 I」

【第3週】 Word(2)
テキストWord編第6章「表作成 II」

【第4週】 Word(3)
テキストWord編第7章「社外ビジネス文書」

【第5週】 Word(4)
テキストWord編第8章「図形描画」

【第6週】 PowerPoint(1)
テキストPowerPoint編第1章「プレゼンテーションとは」、第6章「図・画像の挿入」

【第7週】 PowerPoint(2)
テキストPowerPoint編第7章「画面切り替え効果とアニメーション」

【第8週】 Word(5) & PowerPoint(3)
演習問題

【第9週】 Excel(1)
テキストExcel編第4章「基本的な関数」の復習

【第10週】 Excel(2)
テキストExcel編第5章「相対参照と絶対参照」

【第11週】 Excel(3)
テキストExcel編第7章「データベース機能 I」

【第12週】 Excel(4)
テキストExcel編第8章「判断処理 I」

【第13週】 Excel(5)
テキストExcel編第9章「複数シートの利用」

【第14週】Excel (6)
テキストExcel編第10章「基礎編総合演習」

【第15週】Officeアプリの連携
最終課題を課し、Officeアプリを連携して資料作成できることを確認する。

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

事前学習としては、各週の演習授業に備えて、テキストを通読しておき、必要に応じて独習しておくこと。
事後の学習は、毎回の講義内容に合わせた演習を通じて復習を行い、成果を提出すること。

課題に対するフィードバックの方法

毎回の課題に対して次週授業にて点検を行い、またそこからさらに拡張して課題を発展していくことを繰り返す。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

本科目は演習授業であり、毎回の課題の提出とその達成度、最終課題の完成度を評価対象とする。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	毎回の課題提出	2, 3, 4, 5
授業外での評価	30	課題の達成度	1, 5
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	最終課題の完成度	1, 2, 3, 4, 5
その他	0		

テキスト	オーム社「Microsoft Office Word & PowerPoint編[改訂版]」花木泰子・浅里京子／著 ISBN: 978-4-274-22919-0 2400円＋税 オーム社「コンピューターリテラシー(改訂版)Microsoft Office Excel編」多田憲孝・内藤富美子／著 ISBN: 978-4-274-22920-6 2400円＋税 上記2冊は1年次前期「デジタル・リテラシー」および2年次前期「デジタル・リテラシー演習Ⅱ」でも使用される。 上記のほかに、必要に応じて電子的資料をGoogle Classroomを通じて配布する。
------	--

参考書	必要に応じて授業内で紹介する。
-----	-----------------

履修条件・他の科目との関連	本科目は必修科目であり、毎回必ず十分に充電したPCを持参すること。 本科目は1年次前期の必修科目「デジタル・リテラシー」を基礎としており、「デジタル・リテラシー」の単位を取得後に履修すべきである。また2年次前期の選択科目「デジタル・リテラシー演習Ⅱ」は、本科目を基礎とした科目であり、本科目の単位取得を前提とした授業内容となる。
---------------	---

授業コード	10401951	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	デジタル・リテラシー演習 I [対面]				
シラバス執筆(全員)	野村 孝久				
シラバス執筆(主)	野村 孝久				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

2020年から全世界でまん延した新型コロナウイルスの影響で、社会生活は一変した。社会ではそれまでもすでに問題とされていた勤務形態の見直しが進み、学校においてもできるだけ接触の少ない授業形態への試みが積極的に行われ、また生活の形態も大きく変貌を遂げた。その結果として社会生活のあらゆる場面を急速に変貌させていったのが、いわゆるDX(デジタルトランスフォーメーション)の波である。私たちは日常生活、仕事や学習、金融や買い物、そして余暇や趣味の世界でさえ、パソコンやスマホに代表される個人用情報端末と、その背景にあるネットワークを最大限に利用することが可能になり、またそれを求められるようになった。2020年代以降を文化的に暮らしていくためには、デジタル社会を十分に理解し、できるだけ安全に、そして効率的に効果的にその仕組みを活用していくための、デジタル・リテラシーを身につけることが重要となったのである。本科目ではすでに「デジタル・リテラシー」において学んだPCの操作技術をより深化させ、PCとアプリを縦横無尽に駆使して、デジタル環境における自己の表現技術をより研鑽することを目的としている。

本授業においては原則として普通教室において対面で、持参PCの操作を中心とした演習形式の授業を行う。Microsoft 365を使用し、「デジタル・リテラシー」において学んだ各アプリの基本的利用法をさらに拡張して、デジタルアプリによるより高い思考力と表現力を身につけていく。また、その際に利用する様々なファイルを、クラウドファイルシステム上で整理し管理することを学ぶ。

到達目標

1. クラウド環境において各種の情報をフォルダに整理整頓し管理することができる。
2. クラウド環境を利用しながら、Wordによる高度な文書作成ができる。
3. クラウド環境を利用しながら、PowerPointによる高度なプレゼンテーション資料を作成できる。
4. クラウド環境を利用しながら、Excelによる高度なワークシートの操作ができる。
5. Officeアプリを連携させて利用し、他者への情報伝達のための資料を作成することができる。

授業計画

【第1週】 ファイルシステム
Google ClassroomとPCのファイルシステムの利用と操作

【第2週】 Word(1)
テキストWord編第5章「表作成 I」

【第3週】 Word(2)
テキストWord編第6章「表作成 II」

【第4週】 Word(3)
テキストWord編第7章「社外ビジネス文書」

【第5週】 Word(4)
テキストWord編第8章「図形描画」

【第6週】 PowerPoint(1)
テキストPowerPoint編第1章「プレゼンテーションとは」、第6章「図・画像の挿入」

【第7週】 PowerPoint(2)
テキストPowerPoint編第7章「画面切り替え効果とアニメーション」

【第8週】 Word(5) & PowerPoint(3)
演習問題

【第9週】 Excel(1)
テキストExcel編第4章「基本的な関数」の復習

【第10週】 Excel(2)
テキストExcel編第5章「相対参照と絶対参照」

【第11週】 Excel(3)
テキストExcel編第7章「データベース機能 I」

【第12週】 Excel(4)
テキストExcel編第8章「判断処理 I」

【第13週】 Excel(5)
テキストExcel編第9章「複数シートの利用」

【第14週】Excel (6)
テキストExcel編第10章「基礎編総合演習」

【第15週】Officeアプリの連携
最終課題を課し、Officeアプリを連携して資料作成できることを確認する。

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

事前学習としては、各週の演習授業に備えて、テキストを通読しておき、必要に応じて独習しておくこと。
事後の学習は、毎回の講義内容に合わせた演習を通じて復習を行い、成果を提出すること。

課題に対するフィードバックの方法

毎回の課題に対して次週授業にて点検を行い、またそこからさらに拡張して課題を発展していくことを繰り返す。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

本科目は演習授業であり、毎回の課題の提出とその達成度、最終課題の完成度を評価対象とする。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	毎回の課題提出	2, 3, 4, 5
授業外での評価	30	課題の達成度	1, 5
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	最終課題の完成度	1, 2, 3, 4, 5
その他	0		

テキスト	オーム社「Microsoft Office Word & PowerPoint編[改訂版]」花木泰子・浅里京子／著 ISBN: 978-4-274-22919-0 2400円＋税 オーム社「コンピューターリテラシー(改訂版)Microsoft Office Excel編」多田憲孝・内藤富美子／著 ISBN: 978-4-274-22920-6 2400円＋税 上記2冊は1年次前期「デジタル・リテラシー」および2年次前期「デジタル・リテラシー演習Ⅱ」でも使用される。 上記のほかに、必要に応じて電子的資料をGoogle Classroomを通じて配布する。
------	--

参考書	必要に応じて授業内で紹介する。
-----	-----------------

履修条件・他の科目との関連	本科目は必修科目であり、毎回必ず十分に充電したPCを持参すること。 本科目は1年次前期の必修科目「デジタル・リテラシー」を基礎としており、「デジタル・リテラシー」の単位を取得後に履修すべきである。また2年次前期の選択科目「デジタル・リテラシー演習Ⅱ」は、本科目を基礎とした科目であり、本科目の単位取得を前提とした授業内容となる。
---------------	---

授業コード	10402003	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	デジタル・リテラシー演習Ⅱ [対面]				
シラバス執筆(全員)	笠田 真由美				
シラバス執筆(主)	笠田 真由美				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

2020年から全世界でまん延した新型コロナウイルスの影響で、社会生活は一変した。社会ではそれまでもすでに問題とされていた勤務形態の見直しが進み、学校においてもできるだけ接触の少ない授業形態への試みが積極的に行われ、また生活の形態も大きく変貌を遂げた。その結果として社会生活のあらゆる場面を急速に変貌させていったのが、いわゆるDX(デジタルトランスフォーメーション)の波である。私たちは日常生活、仕事や学習、金融や買い物、そして余暇や趣味の世界でさえ、パソコンやスマホに代表される個人用情報端末と、その背景にあるネットワークを最大限に利用することが可能になり、またそれを求められるようになった。2020年代以降を文化的に暮らしていくためには、デジタル社会を十分に理解し、できるだけ安全に、そして効率的に効果的にその仕組みを活用していくための、デジタル・リテラシーを身につけることが重要となったのである。本科目ではすでに「デジタル・リテラシー」および「デジタル・リテラシー演習Ⅰ」において学んだPCの操作技術をより深化させ、PCとアプリを縦横無尽に駆使して、デジタル環境における自己の表現技術をより研鑽することを目的としている。

本授業においては原則として普通教室において対面で、持参したPCの操作を中心とした演習形式の授業を行う。

Microsoft 365を使用し、「デジタル・リテラシー」および「デジタル・リテラシー演習Ⅰ」において学んだ各アプリの基本的利用法をさらに拡張して、デジタルアプリによるより高い思考力と表現力を身につけていく。また、その際に利用する様々なファイルを、クラウドファイルシステム上で整理し管理することを学ぶ。

到達目標

1. クラウド環境において各種の情報をフォルダに整理整頓し管理することができる。
2. クラウド環境を利用しながら、Wordによる高度な文書作成ができる。
3. クラウド環境を利用しながら、PowerPointによる高度なプレゼンテーション資料を作成できる。
4. クラウド環境を利用しながら、Excelによる高度なワークシートの操作ができる。
5. Officeアプリを連携させて利用し、他者への情報伝達のための資料を作成することができる。

授業計画

- 【第1週】ファイルシステム
Google ClassroomとPCのファイルシステムの利用と操作(オリエンテーション)
- 【第2週】Word(1)
テキストWord編 第9章「ビジュアルな文書の作成」
- 【第3週】Word(2)
テキストWord編 第10章「レポート・論文に役立つ機能Ⅰ」
- 【第4週】Word(3)
テキストWord編 第11章「レポート・論文に役立つ機能Ⅱ」
- 【第5週】PowerPoint(1)
テキストPowerPoint編 第8章「スライドショーの準備と実行」
- 【第6週】PowerPoint(2)
テキストPowerPoint編 第9章「資料の作成と印刷」
- 【第7週】PowerPoint(3)
テキストPowerPoint編 第10章「テンプレートの利用」
- 【第8週】Word(3) & PowerPoint(3)
演習問題
- 【第9週】Excel(1)
テキストExcel編 第11章「日付・時刻に関する処理」
- 【第10週】Excel(2)
テキストExcel編 第12章「文字列に関する処理」
- 【第11週】Excel(3)
テキストExcel編 第13章「グラフ機能Ⅱ」
- 【第12週】Excel(4)
テキストExcel編 第14章「判断処理Ⅱ」

【第13週】Excel (5)
テキストExcel編 第15章「データベース機能Ⅱ」

【第14週】Excel (6)
テキストExcel編 第16章「表検索処理」

【第15週】Officeアプリの連携
最終課題を課し、Officeアプリを連携して資料作成できることを確認する。

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

事前学習としては、各週の演習授業に備えて、テキストを通読しておき、必要に応じて独習しておくこと。
事後の学習は、毎回の講義内容に合わせた演習を通じて復習を行い、成果を提出すること。

課題に対するフィードバックの方法

毎回の課題に対して次週授業にて点検を行い、またそこからさらに拡張して課題を発展していくことを繰り返す。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

本科目は演習授業であり、毎回の課題の提出とその達成度、最終課題の完成度を評価対象とする。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	毎回の課題提出	2, 3, 4, 5
授業外での評価	30	課題の達成度	1, 5
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	最終課題の完成度	1, 2, 3, 4, 5
その他	0		

テキスト
オーム社「Microsoft Office Word&PowerPoint編[改訂版]」花木泰子・浅里京子／著 ISBN: 978-4-274-22919-0 2400円＋税
オーム社「コンピューターリテラシー(改訂版)Microsoft Office Excel編」多田憲孝・内藤富美子／著 ISBN: 978-4-274-22920-6 2400円＋税
上記のほかに、必要に応じて電子的資料をGoogle Classroomを通じて配布する。

参考書
必要に応じて授業内で紹介する。

履修条件・他の科目との関連
本科目を受講するにあたり、毎回必ず十分に充電したPCを持参すること。
本科目は1年次前期の必修科目「デジタル・リテラシー」「デジタル・リテラシー演習Ⅰ」を基礎としており、この2科目の単位を取得後に履修すべきである。

授業コード	10402101	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Oral English I [対面]				
シラバス執筆(全員)	T. पीート				
シラバス執筆(主)	T. पीート				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

(Upper) The aim of this course is to introduce you to the basics of English conversation. During each class, you will take part in conversations about different topics. Sometimes you will work in pairs or small groups, but other times you will work on your own or in a whole class activity. You are expected to actively participate in each activity. The textbook includes example conversations for different situations and will teach you useful phrases and important vocabulary. There will be regular quizzes and weekly homework assignments. You will need to do at least 1 hour per week of outside studies, such as class preparation and review. Google Classroom will be used for assignments and information about this course.

到達目標

At the end of the course, you will be able to:

1. develop the ability to converse about various everyday topics.
2. develop listening and speaking skills related to everyday conversation.
3. learn vocabulary essential for conversing about various everyday topics.

授業計画

- 【第1回】
 テーマ: Course orientation. Google Classroom orientation and explanation. Unit 1: What is your name?
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 1 Dialog & pair work.
- 【第2回】
 テーマ: Unit 1: What is your name?
 内容・方法: Vocabulary review quiz. Unit 1 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK Unit test.
- 【第3回】
 テーマ: Unit 2: I love fashion!
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 2 Dialog & pair work.
- 【第4回】
 テーマ: Unit 2: I love fashion!
 内容・方法: Vocabulary review quiz. Unit 1 & 2 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK - Unit test
- 【第5回】
 テーマ: Review & Dialog Performance Tests (Units 1, 2)
 内容・方法: Practice test Units 1 & 2. Unit 1 & 2 Games
- 【第6回】
 テーマ: Unit 3: How do you stay healthy?
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 3 Dialog & pair work.
- 【第7回】
 テーマ: Unit 3: How do you stay healthy?
 内容・方法: Vocabulary review quiz. Unit 3 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK - Unit test.
- 【第8回】
 テーマ: Unit 4: How do I get there?
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 4 Dialog & pair work.
- 【第9回】
 テーマ: Unit 4: How do I get there?
 内容・方法: Vocabulary review quiz. Unit 4 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK - Unit test.
- 【第10回】
 テーマ: Review & Dialog Performance Tests (Units 3, 4)
 内容・方法: Practice test Units 3 & 4. Unit 3 & 4 Games
- 【第11回】
 テーマ: Unit 5: What's that?
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 5 Dialog & pair work.
- 【第12回】
 テーマ: Unit 5: What's that?
 内容・方法: Vocabulary review quiz. Unit 5 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK - Unit test.
- 【第13回】
 テーマ: Unit 6: What's your dream?
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 6 Dialog & pair work.
- 【第14回】

テーマ : Unit 6: What's your dream?

内容・方法 : Vocabulary review quiz. Unit 6 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK - Unit test.

【第15回】

テーマ : Review & Dialog Performance Tests (Units 5, 6)

内容・方法 : Practice test Units 5 & 6. Unit 5 & 6 Games. Explanation of final test.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

①事前学修課題 : Buy a textbook.

②事後学修課題 : Buy a textbook. Do HWK assignments & Practice Dialog 1

【第2回】

①事前学修課題 : Study for vocabulary quiz. Check you did all your HWK. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 1. Do the unit test.

【第3回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read Unit 2 Vocabulary and read dialog 2. Practice dialog 1.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 2.

【第4回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Study for vocabulary quiz. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialogs 1 & 2. Do the unit test.

【第5回】

①事前学修課題 : Review Unit 1 & 2 for a test. Practice and memorize dialogs 1 & 2 for a test.

②事後学修課題 : Do HWK assignments.

【第6回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read Unit 3 Vocabulary and dialog 3.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 3.

【第7回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Study for vocabulary quiz. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 3. Do the unit test.

【第8回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read Unit 4 Vocabulary and dialog 4. Practice dialog 3.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 4.

【第9回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Study for vocabulary quiz. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialogs 3 & 4. Do the unit test.

【第10回】

①事前学修課題 : Review Unit 3 & 4 for a test. Practice and memorize dialogs 3 & 4 for a test.

②事後学修課題 : Do HWK assignments.

【第11回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read Unit 5 Vocabulary and dialog 5.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 5.

【第12回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Study for vocabulary quiz. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 5. Do the unit test.

【第13回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read Unit 6 Vocabulary and dialog 6. Practice dialog 5.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 6.

【第14回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Study for vocabulary quiz. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialogs 5 & 6. Do the unit test.

【第15回】

①事前学修課題 : Review Unit 5 & 6 for a test. Practice and memorize dialogs 5 & 6 for a test.

②事後学修課題 : Do HWK assignments. Submit the final examination.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.
4. The teacher will tell you your current grade at least three times during the semester. In addition, your grades may also be posted regularly on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。

●必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

「以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する」

General Grade Category Breakdown:

- 1) Participation and class activities (10%)
- 2) Dialog performance tests (30%)
- 2) Homework and unit tests (20%)
- 3) 3 Review tests (30%)
- 4) Final examination (10%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	70	Participation and class activities (10%), 3 unit review tests (30%) and dialog performance tests (30%)	1, 2, 3
授業外での評価	20	Homework and unit tests (20%)	1, 2, 3
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	10	Final examination (10%)	1, 2, 3
その他	0	none	

テキスト	English Firsthand SUCCESS with MyMobile World (2018 5th edition), Marc Helgesen, Steven Brown, John Wiltshier, Pearson Longman, ISBN: 9789813132764
------	---

参考書	Mymobileworld: Online study (optional) your instructor will help you sign up if you are using it in this course.
-----	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。 2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。 3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。 4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。 5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできるが、欠席扱いとなります。 6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。
---------------	---

授業コード	10402102	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Oral English I [対面]				
シラバス執筆(全員)	N. J. ドーバー				
シラバス執筆(主)	N. J. ドーバー				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

(Regular) The aim of this course is to introduce you to the basics of English conversation. During each class, you will take part in conversations about different topics. Sometimes you will work in pairs or small groups, but other times you will work on your own or in a whole class activity. You are expected to actively participate in each activity. The textbook includes example conversations for different situations and will teach you useful phrases and important vocabulary. There will be regular quizzes and weekly homework assignments. You will need to do at least 1 hour per week of outside studies, such as class preparation and review. Google Classroom will be used for assignments and information about this course.

到達目標

At the end of the course, you will be able to:
 1 develop the ability to converse about various everyday topics.
 2 develop listening and speaking skills related to everyday conversation.
 3 learn vocabulary essential for conversing about various everyday topics.

授業計画

【第1回】
 テーマ: Course orientation. Google Classroom orientation and explanation. Unit 1: How are you?
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 1 Dialog & pair work.

【第2回】
 テーマ: Unit 1: How are you?
 内容・方法: Vocabulary review quiz. Unit 1 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK Unit test.

【第3回】
 テーマ: Unit 2: Do you understand?
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 2 Dialog & pair work.

【第4回】
 テーマ: Unit 2: Do you understand?
 内容・方法: Vocabulary review quiz. Unit 1 & 2 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK - Unit test

【第5回】
 テーマ: Review & Dialog Performance Tests (Units 1, 2)
 内容・方法: Practice test Units 1 & 2. Unit 1 & 2 Games

【第6回】
 テーマ: Unit 3: This is my room
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 3 Dialog & pair work.

【第7回】
 テーマ: Unit 3: This is my room
 内容・方法: Vocabulary review quiz. Unit 3 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK - Unit test.

【第8回】
 テーマ: Unit 4: When do you get up?
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 4 Dialog & pair work.

【第9回】
 テーマ: Unit 4: When do you get up?
 内容・方法: Vocabulary review quiz. Unit 4 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK - Unit test.

【第10回】
 テーマ: Review & Dialog Performance Tests (Units 3, 4)
 内容・方法: Practice test Units 3 & 4. Unit 3 & 4 Games

【第11回】
 テーマ: Unit 5: Who's that?
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 5 Dialog & pair work.

【第12回】
 テーマ: Unit 5: Who's that?
 内容・方法: Vocabulary review quiz. Unit 5 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK - Unit test.

【第13回】
 テーマ: Unit 6: That's a great shirt!
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 6 Dialog & pair work.

【第14回】

テーマ : Unit 6: That's a great shirt!

内容・方法 : Vocabulary review quiz. Unit 6 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK - Unit test.

【第15回】

テーマ : Review & Dialog Performance Tests (Units 5, 6)

内容・方法 : Practice test Units 5 & 6. Unit 5 & 6 Games. Explanation of final test.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

①事前学修課題 : Buy a textbook.

②事後学修課題 : Buy a textbook. Do HWK assignments & Practice Dialog 1

【第2回】

①事前学修課題 : Study for vocabulary quiz. Check you did all your HWK. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 1. Do the unit test.

【第3回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read Unit 2 Vocabulary and read dialog 2. Practice dialog 1.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 2.

【第4回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Study for vocabulary quiz. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialogs 1 & 2. Do the unit test.

【第5回】

①事前学修課題 : Review Unit 1 & 2 for a test. Practice and memorize dialogs 1 & 2 for a test.

②事後学修課題 : Do HWK assignments.

【第6回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read Unit 3 Vocabulary and dialog 3.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 3.

【第7回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Study for vocabulary quiz. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 3. Do the unit test.

【第8回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read Unit 4 Vocabulary and dialog 4. Practice dialog 3.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 4.

【第9回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Study for vocabulary quiz. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialogs 3 & 4. Do the unit test.

【第10回】

①事前学修課題 : Review Unit 3 & 4 for a test. Practice and memorize dialogs 3 & 4 for a test.

②事後学修課題 : Do HWK assignments.

【第11回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read Unit 5 Vocabulary and dialog 5.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 5.

【第12回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Study for vocabulary quiz. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 5. Do the unit test.

【第13回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read Unit 6 Vocabulary and dialog 6. Practice dialog 5.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 6.

【第14回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Study for vocabulary quiz. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialogs 5 & 6. Do the unit test.

【第15回】

①事前学修課題 : Review Unit 5 & 6 for a test. Practice and memorize dialogs 5 & 6 for a test.

②事後学修課題 : Do HWK assignments. Submit the final examination.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.
4. The teacher will tell you your current grade at least three times during the semester. In addition, your grades may also be posted regularly on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。

●必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

「以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する」

General Grade Category Breakdown:

- 1) Participation and class activities (10%)
- 2) Dialog performance tests (30%)
- 2) Homework and unit tests (20%)
- 3) 3 Review tests (30%)
- 4) Final examination (10%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	70	Participation and class activities (10%), 3 unit review tests (30%) and dialog performance tests (30%)	1, 2, 3
授業外での評価	20	Homework and unit tests (20%)	1, 2, 3
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	10	Final examination (10%)	1, 2, 3
その他	0	none	

テキスト	English Firsthand Access Student Book. Student Book with MyMobileWorld. (2018 5th edition), Marc Helgesen, Steven Brown, John Wiltshier, Pearson Longman, ISBN: 978-9813132757
------	--

参考書	Materials will be issued in class as necessary. 必要に応じ授業の中で紹介する
-----	---

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできるが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	10402103	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Oral English I [対面]				
シラバス執筆(全員)	J. エチャー				
シラバス執筆(主)	J. エチャー				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

(Regular) The aim of this course is to introduce you to the basics of English conversation. During each class, you will take part in conversations about different topics. Sometimes you will work in pairs or small groups, but other times you will work on your own or in a whole class activity. You are expected to actively participate in each activity. The textbook includes example conversations for different situations and will teach you useful phrases and important vocabulary. There will be regular quizzes and weekly homework assignments. You will need to do at least 1 hour per week of outside studies, such as class preparation and review. Google Classroom will be used for assignments and information about this course.

到達目標

At the end of the course, you will be able to:
 1 develop the ability to converse about various everyday topics.
 2 develop listening and speaking skills related to everyday conversation.
 3 learn vocabulary essential for conversing about various everyday topics.

授業計画

【第1回】
 テーマ: Course orientation. Google Classroom orientation and explanation. Unit 1: How are you?
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 1 Dialog & pair work.

【第2回】
 テーマ: Unit 1: How are you?
 内容・方法: Vocabulary review quiz. Unit 1 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK Unit test.

【第3回】
 テーマ: Unit 2: Do you understand?
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 2 Dialog & pair work.

【第4回】
 テーマ: Unit 2: Do you understand?
 内容・方法: Vocabulary review quiz. Unit 1 & 2 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK - Unit test

【第5回】
 テーマ: Review & Dialog Performance Tests (Units 1, 2)
 内容・方法: Practice test Units 1 & 2. Unit 1 & 2 Games

【第6回】
 テーマ: Unit 3: This is my room
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 3 Dialog & pair work.

【第7回】
 テーマ: Unit 3: This is my room
 内容・方法: Vocabulary review quiz. Unit 3 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK - Unit test.

【第8回】
 テーマ: Unit 4: When do you get up?
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 4 Dialog & pair work.

【第9回】
 テーマ: Unit 4: When do you get up?
 内容・方法: Vocabulary review quiz. Unit 4 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK - Unit test.

【第10回】
 テーマ: Review & Dialog Performance Tests (Units 3, 4)
 内容・方法: Practice test Units 3 & 4. Unit 3 & 4 Games

【第11回】
 テーマ: Unit 5: Who's that?
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 5 Dialog & pair work.

【第12回】
 テーマ: Unit 5: Who's that?
 内容・方法: Vocabulary review quiz. Unit 5 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK - Unit test.

【第13回】
 テーマ: Unit 6: That's a great shirt!
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 6 Dialog & pair work.

【第14回】

テーマ : Unit 6: That's a great shirt!

内容・方法 : Vocabulary review quiz. Unit 6 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK - Unit test.

【第15回】

テーマ : Review & Dialog Performance Tests (Units 5, 6)

内容・方法 : Practice test Units 5 & 6. Unit 5 & 6 Games. Explanation of final test.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

①事前学修課題 : Buy a textbook.

②事後学修課題 : Buy a textbook. Do HWK assignments & Practice Dialog 1

【第2回】

①事前学修課題 : Study for vocabulary quiz. Check you did all your HWK. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 1. Do the unit test.

【第3回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read Unit 2 Vocabulary and read dialog 2. Practice dialog 1.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 2.

【第4回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Study for vocabulary quiz. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialogs 1 & 2. Do the unit test.

【第5回】

①事前学修課題 : Review Unit 1 & 2 for a test. Practice and memorize dialogs 1 & 2 for a test.

②事後学修課題 : Do HWK assignments.

【第6回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read Unit 3 Vocabulary and dialog 3.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 3.

【第7回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Study for vocabulary quiz. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 3. Do the unit test.

【第8回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read Unit 4 Vocabulary and dialog 4. Practice dialog 3.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 4.

【第9回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Study for vocabulary quiz. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialogs 3 & 4. Do the unit test.

【第10回】

①事前学修課題 : Review Unit 3 & 4 for a test. Practice and memorize dialogs 3 & 4 for a test.

②事後学修課題 : Do HWK assignments.

【第11回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read Unit 5 Vocabulary and dialog 5.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 5.

【第12回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Study for vocabulary quiz. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 5. Do the unit test.

【第13回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read Unit 6 Vocabulary and dialog 6. Practice dialog 5.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 6.

【第14回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Study for vocabulary quiz. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialogs 5 & 6. Do the unit test.

【第15回】

①事前学修課題 : Review Unit 5 & 6 for a test. Practice and memorize dialogs 5 & 6 for a test.

②事後学修課題 : Do HWK assignments. Submit the final examination.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.
4. The teacher will tell you your current grade at least three times during the semester. In addition, your grades may also be posted regularly on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。

●必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

「以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する」

General Grade Category Breakdown:

- 1) Participation and class activities (10%)
- 2) Dialog performance tests (30%)
- 2) Homework and unit tests (20%)
- 3) 3 Review tests (30%)
- 4) Final examination (10%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	70	Participation and class activities (10%), 3 unit review tests (30%) and dialog performance tests (30%)	1, 2, 3
授業外での評価	20	Homework and unit tests (20%)	1, 2, 3
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	10	Final examination (10%)	1, 2, 3
その他	0	none	

テキスト	English Firsthand Access Student Book. Student Book with MyMobileWorld. (2018 5th edition), Marc Helgesen, Steven Brown, John Wiltshier, Pearson Longman, ISBN: 978-9813132757
------	--

参考書	Materials will be issued in class as necessary. 必要に応じ授業の中で紹介する
-----	---

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできるが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	10402104	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Oral English I [対面]				
シラバス執筆(全員)	J.M.パーメンター				
シラバス執筆(主)	J.M.パーメンター				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

(Regular) The aim of this course is to introduce you to the basics of English conversation. During each class, you will take part in conversations about different topics. Sometimes you will work in pairs or small groups, but other times you will work on your own or in a whole class activity. You are expected to actively participate in each activity. The textbook includes example conversations for different situations and will teach you useful phrases and important vocabulary. There will be regular quizzes and weekly homework assignments. You will need to do at least 1 hour per week of outside studies, such as class preparation and review. Google Classroom will be used for assignments and information about this course.

到達目標

At the end of the course, you will be able to:
 1 develop the ability to converse about various everyday topics.
 2 develop listening and speaking skills related to everyday conversation.
 3 learn vocabulary essential for conversing about various everyday topics.

授業計画

【第1回】
 テーマ: Course orientation. Google Classroom orientation and explanation. Unit 1: How are you?
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 1 Dialog & pair work.

【第2回】
 テーマ: Unit 1: How are you?
 内容・方法: Vocabulary review quiz. Unit 1 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK Unit test.

【第3回】
 テーマ: Unit 2: Do you understand?
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 2 Dialog & pair work.

【第4回】
 テーマ: Unit 2: Do you understand?
 内容・方法: Vocabulary review quiz. Unit 1 & 2 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK - Unit test

【第5回】
 テーマ: Review & Dialog Performance Tests (Units 1, 2)
 内容・方法: Practice test Units 1 & 2. Unit 1 & 2 Games

【第6回】
 テーマ: Unit 3: This is my room
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 3 Dialog & pair work.

【第7回】
 テーマ: Unit 3: This is my room
 内容・方法: Vocabulary review quiz. Unit 3 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK - Unit test.

【第8回】
 テーマ: Unit 4: When do you get up?
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 4 Dialog & pair work.

【第9回】
 テーマ: Unit 4: When do you get up?
 内容・方法: Vocabulary review quiz. Unit 4 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK - Unit test.

【第10回】
 テーマ: Review & Dialog Performance Tests (Units 3, 4)
 内容・方法: Practice test Units 3 & 4. Unit 3 & 4 Games

【第11回】
 テーマ: Unit 5: Who's that?
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 5 Dialog & pair work.

【第12回】
 テーマ: Unit 5: Who's that?
 内容・方法: Vocabulary review quiz. Unit 5 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK - Unit test.

【第13回】
 テーマ: Unit 6: That's a great shirt!
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 6 Dialog & pair work.

【第14回】

テーマ : Unit 6: That's a great shirt!

内容・方法 : Vocabulary review quiz. Unit 6 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK - Unit test.

【第15回】

テーマ : Review & Dialog Performance Tests (Units 5, 6)

内容・方法 : Practice test Units 5 & 6. Unit 5 & 6 Games. Explanation of final test.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

①事前学修課題 : Buy a textbook.

②事後学修課題 : Buy a textbook. Do HWK assignments & Practice Dialog 1

【第2回】

①事前学修課題 : Study for vocabulary quiz. Check you did all your HWK. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 1. Do the unit test.

【第3回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read Unit 2 Vocabulary and read dialog 2. Practice dialog 1.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 2.

【第4回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Study for vocabulary quiz. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialogs 1 & 2. Do the unit test.

【第5回】

①事前学修課題 : Review Unit 1 & 2 for a test. Practice and memorize dialogs 1 & 2 for a test.

②事後学修課題 : Do HWK assignments.

【第6回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read Unit 3 Vocabulary and dialog 3.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 3.

【第7回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Study for vocabulary quiz. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 3. Do the unit test.

【第8回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read Unit 4 Vocabulary and dialog 4. Practice dialog 3.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 4.

【第9回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Study for vocabulary quiz. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialogs 3 & 4. Do the unit test.

【第10回】

①事前学修課題 : Review Unit 3 & 4 for a test. Practice and memorize dialogs 3 & 4 for a test.

②事後学修課題 : Do HWK assignments.

【第11回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read Unit 5 Vocabulary and dialog 5.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 5.

【第12回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Study for vocabulary quiz. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 5. Do the unit test.

【第13回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read Unit 6 Vocabulary and dialog 6. Practice dialog 5.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 6.

【第14回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Study for vocabulary quiz. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialogs 5 & 6. Do the unit test.

【第15回】

①事前学修課題 : Review Unit 5 & 6 for a test. Practice and memorize dialogs 5 & 6 for a test.

②事後学修課題 : Do HWK assignments. Submit the final examination.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.
4. The teacher will tell you your current grade at least three times during the semester. In addition, your grades may also be posted regularly on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。

●必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

「以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する」

General Grade Category Breakdown:

- 1) Participation and class activities (10%)
- 2) Dialog performance tests (30%)
- 2) Homework and unit tests (20%)
- 3) 3 Review tests (30%)
- 4) Final examination (10%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	70	Participation and class activities (10%), 3 unit review tests (30%) and dialog performance tests (30%)	1, 2, 3
授業外での評価	20	Homework and unit tests (20%)	1, 2, 3
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	10	Final examination (10%)	1, 2, 3
その他	0	none	

テキスト	English Firsthand Access Student Book. Student Book with MyMobileWorld. (2018 5th edition), Marc Helgesen, Steven Brown, John Wiltshier, Pearson Longman, ISBN: 978-9813132757
------	--

参考書	Materials will be issued in class as necessary. 必要に応じ授業の中で紹介する
-----	---

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできるが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	10402105	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Oral English I [対面]				
シラバス執筆(全員)	G. S. ジョン=バプティースト				
シラバス執筆(主)	G. S. ジョン=バプティースト				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

(Regular) The aim of this course is to introduce you to the basics of English conversation. During each class, you will take part in conversations about different topics. Sometimes you will work in pairs or small groups, but other times you will work on your own or in a whole class activity. You are expected to actively participate in each activity. The textbook includes example conversations for different situations and will teach you useful phrases and important vocabulary. There will be regular quizzes and weekly homework assignments. You will need to do at least 1 hour per week of outside studies, such as class preparation and review. Google Classroom will be used for assignments and information about this course.

到達目標

At the end of the course, you will be able to:
 1 develop the ability to converse about various everyday topics.
 2 develop listening and speaking skills related to everyday conversation.
 3 learn vocabulary essential for conversing about various everyday topics.

授業計画

【第1回】
 テーマ: Course orientation. Google Classroom orientation and explanation. Unit 1: How are you?
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 1 Dialog & pair work.

【第2回】
 テーマ: Unit 1: How are you?
 内容・方法: Vocabulary review quiz. Unit 1 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK Unit test.

【第3回】
 テーマ: Unit 2: Do you understand?
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 2 Dialog & pair work.

【第4回】
 テーマ: Unit 2: Do you understand?
 内容・方法: Vocabulary review quiz. Unit 1 & 2 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK - Unit test

【第5回】
 テーマ: Review & Dialog Performance Tests (Units 1, 2)
 内容・方法: Practice test Units 1 & 2. Unit 1 & 2 Games

【第6回】
 テーマ: Unit 3: This is my room
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 3 Dialog & pair work.

【第7回】
 テーマ: Unit 3: This is my room
 内容・方法: Vocabulary review quiz. Unit 3 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK - Unit test.

【第8回】
 テーマ: Unit 4: When do you get up?
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 4 Dialog & pair work.

【第9回】
 テーマ: Unit 4: When do you get up?
 内容・方法: Vocabulary review quiz. Unit 4 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK - Unit test.

【第10回】
 テーマ: Review & Dialog Performance Tests (Units 3, 4)
 内容・方法: Practice test Units 3 & 4. Unit 3 & 4 Games

【第11回】
 テーマ: Unit 5: Who's that?
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 5 Dialog & pair work.

【第12回】
 テーマ: Unit 5: Who's that?
 内容・方法: Vocabulary review quiz. Unit 5 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK - Unit test.

【第13回】
 テーマ: Unit 6: That's a great shirt!
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 6 Dialog & pair work.

【第14回】

テーマ : Unit 6: That's a great shirt!

内容・方法 : Vocabulary review quiz. Unit 6 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK - Unit test.

【第15回】

テーマ : Review & Dialog Performance Tests (Units 5, 6)

内容・方法 : Practice test Units 5 & 6. Unit 5 & 6 Games. Explanation of final test.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

①事前学修課題 : Buy a textbook.

②事後学修課題 : Buy a textbook. Do HWK assignments & Practice Dialog 1

【第2回】

①事前学修課題 : Study for vocabulary quiz. Check you did all your HWK. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 1. Do the unit test.

【第3回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read Unit 2 Vocabulary and read dialog 2. Practice dialog 1.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 2.

【第4回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Study for vocabulary quiz. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialogs 1 & 2. Do the unit test.

【第5回】

①事前学修課題 : Review Unit 1 & 2 for a test. Practice and memorize dialogs 1 & 2 for a test.

②事後学修課題 : Do HWK assignments.

【第6回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read Unit 3 Vocabulary and dialog 3.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 3.

【第7回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Study for vocabulary quiz. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 3. Do the unit test.

【第8回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read Unit 4 Vocabulary and dialog 4. Practice dialog 3.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 4.

【第9回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Study for vocabulary quiz. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialogs 3 & 4. Do the unit test.

【第10回】

①事前学修課題 : Review Unit 3 & 4 for a test. Practice and memorize dialogs 3 & 4 for a test.

②事後学修課題 : Do HWK assignments.

【第11回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read Unit 5 Vocabulary and dialog 5.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 5.

【第12回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Study for vocabulary quiz. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 5. Do the unit test.

【第13回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read Unit 6 Vocabulary and dialog 6. Practice dialog 5.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 6.

【第14回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Study for vocabulary quiz. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialogs 5 & 6. Do the unit test.

【第15回】

①事前学修課題 : Review Unit 5 & 6 for a test. Practice and memorize dialogs 5 & 6 for a test.

②事後学修課題 : Do HWK assignments. Submit the final examination.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.
4. The teacher will tell you your current grade at least three times during the semester. In addition, your grades may also be posted regularly on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。

●必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

「以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する」

General Grade Category Breakdown:

- 1) Participation and class activities (10%)
- 2) Dialog performance tests (30%)
- 2) Homework and unit tests (20%)
- 3) 3 Review tests (30%)
- 4) Final examination (10%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	70	Participation and class activities (10%), 3 unit review tests (30%) and dialog performance tests (30%)	1, 2, 3
授業外での評価	20	Homework and unit tests (20%)	1, 2, 3
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	10	Final examination (10%)	1, 2, 3
その他	0	none	

テキスト	English Firsthand Access Student Book. Student Book with MyMobileWorld. (2018 5th edition), Marc Helgesen, Steven Brown, John Wiltshier, Pearson Longman, ISBN: 978-9813132757
------	--

参考書	Materials will be issued in class as necessary. 必要に応じ授業の中で紹介する
-----	---

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	10402106	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Oral English I [対面]				
シラバス執筆(全員)	A. ナデュー				
シラバス執筆(主)	A. ナデュー				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

(Regular) The aim of this course is to introduce you to the basics of English conversation. During each class, you will take part in conversations about different topics. Sometimes you will work in pairs or small groups, but other times you will work on your own or in a whole class activity. You are expected to actively participate in each activity. The textbook includes example conversations for different situations and will teach you useful phrases and important vocabulary. There will be regular quizzes and weekly homework assignments. You will need to do at least 1 hour per week of outside studies, such as class preparation and review. Google Classroom will be used for assignments and information about this course.

到達目標

At the end of the course, you will be able to:
 1 develop the ability to converse about various everyday topics.
 2 develop listening and speaking skills related to everyday conversation.
 3 learn vocabulary essential for conversing about various everyday topics.

授業計画

【第1回】
 テーマ: Course orientation. Google Classroom orientation and explanation. Unit 1: How are you?
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 1 Dialog & pair work.

【第2回】
 テーマ: Unit 1: How are you?
 内容・方法: Vocabulary review quiz. Unit 1 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK Unit test.

【第3回】
 テーマ: Unit 2: Do you understand?
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 2 Dialog & pair work.

【第4回】
 テーマ: Unit 2: Do you understand?
 内容・方法: Vocabulary review quiz. Unit 1 & 2 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK - Unit test

【第5回】
 テーマ: Review & Dialog Performance Tests (Units 1, 2)
 内容・方法: Practice test Units 1 & 2. Unit 1 & 2 Games

【第6回】
 テーマ: Unit 3: This is my room
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 3 Dialog & pair work.

【第7回】
 テーマ: Unit 3: This is my room
 内容・方法: Vocabulary review quiz. Unit 3 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK - Unit test.

【第8回】
 テーマ: Unit 4: When do you get up?
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 4 Dialog & pair work.

【第9回】
 テーマ: Unit 4: When do you get up?
 内容・方法: Vocabulary review quiz. Unit 4 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK - Unit test.

【第10回】
 テーマ: Review & Dialog Performance Tests (Units 3, 4)
 内容・方法: Practice test Units 3 & 4. Unit 3 & 4 Games

【第11回】
 テーマ: Unit 5: Who's that?
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 5 Dialog & pair work.

【第12回】
 テーマ: Unit 5: Who's that?
 内容・方法: Vocabulary review quiz. Unit 5 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK - Unit test.

【第13回】
 テーマ: Unit 6: That's a great shirt!
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 6 Dialog & pair work.

【第14回】

テーマ : Unit 6: That's a great shirt!

内容・方法 : Vocabulary review quiz. Unit 6 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK - Unit test.

【第15回】

テーマ : Review & Dialog Performance Tests (Units 5, 6)

内容・方法 : Practice test Units 5 & 6. Unit 5 & 6 Games. Explanation of final test.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

①事前学修課題 : Buy a textbook.

②事後学修課題 : Buy a textbook. Do HWK assignments & Practice Dialog 1

【第2回】

①事前学修課題 : Study for vocabulary quiz. Check you did all your HWK. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 1. Do the unit test.

【第3回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read Unit 2 Vocabulary and read dialog 2. Practice dialog 1.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 2.

【第4回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Study for vocabulary quiz. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialogs 1 & 2. Do the unit test.

【第5回】

①事前学修課題 : Review Unit 1 & 2 for a test. Practice and memorize dialogs 1 & 2 for a test.

②事後学修課題 : Do HWK assignments.

【第6回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read Unit 3 Vocabulary and dialog 3.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 3.

【第7回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Study for vocabulary quiz. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 3. Do the unit test.

【第8回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read Unit 4 Vocabulary and dialog 4. Practice dialog 3.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 4.

【第9回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Study for vocabulary quiz. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialogs 3 & 4. Do the unit test.

【第10回】

①事前学修課題 : Review Unit 3 & 4 for a test. Practice and memorize dialogs 3 & 4 for a test.

②事後学修課題 : Do HWK assignments.

【第11回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read Unit 5 Vocabulary and dialog 5.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 5.

【第12回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Study for vocabulary quiz. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 5. Do the unit test.

【第13回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read Unit 6 Vocabulary and dialog 6. Practice dialog 5.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 6.

【第14回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Study for vocabulary quiz. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialogs 5 & 6. Do the unit test.

【第15回】

①事前学修課題 : Review Unit 5 & 6 for a test. Practice and memorize dialogs 5 & 6 for a test.

②事後学修課題 : Do HWK assignments. Submit the final examination.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.
4. The teacher will tell you your current grade at least three times during the semester. In addition, your grades may also be posted regularly on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。

●必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

「以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する」

General Grade Category Breakdown:

- 1) Participation and class activities (10%)
- 2) Dialog performance tests (30%)
- 2) Homework and unit tests (20%)
- 3) 3 Review tests (30%)
- 4) Final examination (10%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	70	Participation and class activities (10%), 3 unit review tests (30%) and dialog performance tests (30%)	1, 2, 3
授業外での評価	20	Homework and unit tests (20%)	1, 2, 3
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	10	Final examination (10%)	1, 2, 3
その他	0	none	

テキスト	English Firsthand Access Student Book. Student Book with MyMobileWorld. (2018 5th edition), Marc Helgesen, Steven Brown, John Wiltshier, Pearson Longman, ISBN: 978-9813132757
------	--

参考書	Materials will be issued in class as necessary. 必要に応じ授業の中で紹介する
-----	---

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	10402131	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Oral English I [対面]				
シラバス執筆(全員)	I. M. アレンズワース				
シラバス執筆(主)	I. M. アレンズワース				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

(Regular) The aim of this course is to introduce you to the basics of English conversation. During each class, you will take part in conversations about different topics. Sometimes you will work in pairs or small groups, but other times you will work on your own or in a whole class activity. You are expected to actively participate in each activity. The textbook includes example conversations for different situations and will teach you useful phrases and important vocabulary. There will be regular quizzes and weekly homework assignments. You will need to do at least 1 hour per week of outside studies, such as class preparation and review. Google Classroom will be used for assignments and information about this course.

到達目標

At the end of the course, you will be able to:
 1 develop the ability to converse about various everyday topics.
 2 develop listening and speaking skills related to everyday conversation.
 3 learn vocabulary essential for conversing about various everyday topics.

授業計画

【第1回】
 テーマ: Course orientation. Google Classroom orientation and explanation. Unit 1: How are you?
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 1 Dialog & pair work.

【第2回】
 テーマ: Unit 1: How are you?
 内容・方法: Vocabulary review quiz. Unit 1 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK Unit test.

【第3回】
 テーマ: Unit 2: Do you understand?
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 2 Dialog & pair work.

【第4回】
 テーマ: Unit 2: Do you understand?
 内容・方法: Vocabulary review quiz. Unit 1 & 2 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK - Unit test

【第5回】
 テーマ: Review & Dialog Performance Tests (Units 1, 2)
 内容・方法: Practice test Units 1 & 2. Unit 1 & 2 Games

【第6回】
 テーマ: Unit 3: This is my room
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 3 Dialog & pair work.

【第7回】
 テーマ: Unit 3: This is my room
 内容・方法: Vocabulary review quiz. Unit 3 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK - Unit test.

【第8回】
 テーマ: Unit 4: When do you get up?
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 4 Dialog & pair work.

【第9回】
 テーマ: Unit 4: When do you get up?
 内容・方法: Vocabulary review quiz. Unit 4 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK - Unit test.

【第10回】
 テーマ: Review & Dialog Performance Tests (Units 3, 4)
 内容・方法: Practice test Units 3 & 4. Unit 3 & 4 Games

【第11回】
 テーマ: Unit 5: Who's that?
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 5 Dialog & pair work.

【第12回】
 テーマ: Unit 5: Who's that?
 内容・方法: Vocabulary review quiz. Unit 5 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK - Unit test.

【第13回】
 テーマ: Unit 6: That's a great shirt!
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 6 Dialog & pair work.

【第14回】

テーマ : Unit 6: That's a great shirt!

内容・方法 : Vocabulary review quiz. Unit 6 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK - Unit test.

【第15回】

テーマ : Review & Dialog Performance Tests (Units 5, 6)

内容・方法 : Practice test Units 5 & 6. Unit 5 & 6 Games. Explanation of final test.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

①事前学修課題 : Buy a textbook.

②事後学修課題 : Buy a textbook. Do HWK assignments & Practice Dialog 1

【第2回】

①事前学修課題 : Study for vocabulary quiz. Check you did all your HWK. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 1. Do the unit test.

【第3回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read Unit 2 Vocabulary and read dialog 2. Practice dialog 1.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 2.

【第4回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Study for vocabulary quiz. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialogs 1 & 2. Do the unit test.

【第5回】

①事前学修課題 : Review Unit 1 & 2 for a test. Practice and memorize dialogs 1 & 2 for a test.

②事後学修課題 : Do HWK assignments.

【第6回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read Unit 3 Vocabulary and dialog 3.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 3.

【第7回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Study for vocabulary quiz. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 3. Do the unit test.

【第8回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read Unit 4 Vocabulary and dialog 4. Practice dialog 3.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 4.

【第9回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Study for vocabulary quiz. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialogs 3 & 4. Do the unit test.

【第10回】

①事前学修課題 : Review Unit 3 & 4 for a test. Practice and memorize dialogs 3 & 4 for a test.

②事後学修課題 : Do HWK assignments.

【第11回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read Unit 5 Vocabulary and dialog 5.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 5.

【第12回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Study for vocabulary quiz. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 5. Do the unit test.

【第13回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read Unit 6 Vocabulary and dialog 6. Practice dialog 5.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 6.

【第14回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Study for vocabulary quiz. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialogs 5 & 6. Do the unit test.

【第15回】

①事前学修課題 : Review Unit 5 & 6 for a test. Practice and memorize dialogs 5 & 6 for a test.

②事後学修課題 : Do HWK assignments. Submit the final examination.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.
4. The teacher will tell you your current grade at least three times during the semester. In addition, your grades may also be posted regularly on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。

●必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

「以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する」

General Grade Category Breakdown:

- 1) Participation and class activities (10%)
- 2) Dialog performance tests (30%)
- 2) Homework and unit tests (20%)
- 3) 3 Review tests (30%)
- 4) Final examination (10%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	70	Participation and class activities (10%), 3 unit review tests (30%) and dialog performance tests (30%)	1, 2, 3
授業外での評価	20	Homework and unit tests (20%)	1, 2, 3
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	10	Final examination (10%)	1, 2, 3
その他	0	none	

テキスト	English Firsthand Access Student Book. Student Book with MyMobileWorld. (2018 5th edition), Marc Helgesen, Steven Brown, John Wiltshier, Pearson Longman, ISBN: 978-9813132757
------	--

参考書	Materials will be issued in class as necessary. 必要に応じ授業の中で紹介する
-----	---

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできるが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	10402132	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Oral English I [対面]				
シラバス執筆(全員)	J. エチャー				
シラバス執筆(主)	J. エチャー				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

(Regular) The aim of this course is to introduce you to the basics of English conversation. During each class, you will take part in conversations about different topics. Sometimes you will work in pairs or small groups, but other times you will work on your own or in a whole class activity. You are expected to actively participate in each activity. The textbook includes example conversations for different situations and will teach you useful phrases and important vocabulary. There will be regular quizzes and weekly homework assignments. You will need to do at least 1 hour per week of outside studies, such as class preparation and review. Google Classroom will be used for assignments and information about this course.

到達目標

At the end of the course, you will be able to:
 1 develop the ability to converse about various everyday topics.
 2 develop listening and speaking skills related to everyday conversation.
 3 learn vocabulary essential for conversing about various everyday topics.

授業計画

【第1回】
 テーマ: Course orientation. Google Classroom orientation and explanation. Unit 1: How are you?
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 1 Dialog & pair work.

【第2回】
 テーマ: Unit 1: How are you?
 内容・方法: Vocabulary review quiz. Unit 1 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK Unit test.

【第3回】
 テーマ: Unit 2: Do you understand?
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 2 Dialog & pair work.

【第4回】
 テーマ: Unit 2: Do you understand?
 内容・方法: Vocabulary review quiz. Unit 1 & 2 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK - Unit test

【第5回】
 テーマ: Review & Dialog Performance Tests (Units 1, 2)
 内容・方法: Practice test Units 1 & 2. Unit 1 & 2 Games

【第6回】
 テーマ: Unit 3: This is my room
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 3 Dialog & pair work.

【第7回】
 テーマ: Unit 3: This is my room
 内容・方法: Vocabulary review quiz. Unit 3 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK - Unit test.

【第8回】
 テーマ: Unit 4: When do you get up?
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 4 Dialog & pair work.

【第9回】
 テーマ: Unit 4: When do you get up?
 内容・方法: Vocabulary review quiz. Unit 4 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK - Unit test.

【第10回】
 テーマ: Review & Dialog Performance Tests (Units 3, 4)
 内容・方法: Practice test Units 3 & 4. Unit 3 & 4 Games

【第11回】
 テーマ: Unit 5: Who's that?
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 5 Dialog & pair work.

【第12回】
 テーマ: Unit 5: Who's that?
 内容・方法: Vocabulary review quiz. Unit 5 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK - Unit test.

【第13回】
 テーマ: Unit 6: That's a great shirt!
 内容・方法: Vocabulary building; Listening. Unit 6 Dialog & pair work.

【第14回】

テーマ : Unit 6: That's a great shirt!

内容・方法 : Vocabulary review quiz. Unit 6 Dialog practice and memorization. Language Check (grammar). Group Work. Real stories (reading). HWK - Unit test.

【第15回】

テーマ : Review & Dialog Performance Tests (Units 5, 6)

内容・方法 : Practice test Units 5 & 6. Unit 5 & 6 Games. Explanation of final test.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

①事前学修課題 : Buy a textbook.

②事後学修課題 : Buy a textbook. Do HWK assignments & Practice Dialog 1

【第2回】

①事前学修課題 : Study for vocabulary quiz. Check you did all your HWK. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 1. Do the unit test.

【第3回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read Unit 2 Vocabulary and read dialog 2. Practice dialog 1.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 2.

【第4回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Study for vocabulary quiz. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialogs 1 & 2. Do the unit test.

【第5回】

①事前学修課題 : Review Unit 1 & 2 for a test. Practice and memorize dialogs 1 & 2 for a test.

②事後学修課題 : Do HWK assignments.

【第6回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read Unit 3 Vocabulary and dialog 3.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 3.

【第7回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Study for vocabulary quiz. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 3. Do the unit test.

【第8回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read Unit 4 Vocabulary and dialog 4. Practice dialog 3.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 4.

【第9回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Study for vocabulary quiz. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialogs 3 & 4. Do the unit test.

【第10回】

①事前学修課題 : Review Unit 3 & 4 for a test. Practice and memorize dialogs 3 & 4 for a test.

②事後学修課題 : Do HWK assignments.

【第11回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read Unit 5 Vocabulary and dialog 5.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 5.

【第12回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Study for vocabulary quiz. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 5. Do the unit test.

【第13回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read Unit 6 Vocabulary and dialog 6. Practice dialog 5.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialog 6.

【第14回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Study for vocabulary quiz. Read the Real Stories passage.

②事後学修課題 : Practice and memorize dialogs 5 & 6. Do the unit test.

【第15回】

①事前学修課題 : Review Unit 5 & 6 for a test. Practice and memorize dialogs 5 & 6 for a test.

②事後学修課題 : Do HWK assignments. Submit the final examination.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.
4. The teacher will tell you your current grade at least three times during the semester. In addition, your grades may also be posted regularly on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。

●必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

「以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する」

General Grade Category Breakdown:

- 1) Participation and class activities (10%)
- 2) Dialog performance tests (30%)
- 2) Homework and unit tests (20%)
- 3) 3 Review tests (30%)
- 4) Final examination (10%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	70	Participation and class activities (10%), 3 unit review tests (30%) and dialog performance tests (30%)	1, 2, 3
授業外での評価	20	Homework and unit tests (20%)	1, 2, 3
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	10	Final examination (10%)	1, 2, 3
その他	0	none	

テキスト	English Firsthand Access Student Book. Student Book with MyMobileWorld. (2018 5th edition), Marc Helgesen, Steven Brown, John Wiltshier, Pearson Longman, ISBN: 978-9813132757
------	--

参考書	Materials will be issued in class as necessary. 必要に応じ授業の中で紹介する
-----	---

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできるが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	10402151	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Oral English I [対面]				
シラバス執筆(全員)	S. ハティング				
シラバス執筆(主)	S. ハティング				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course focuses on presentation, public speaking, and general academic skills. Students will develop effective presenting skills, learning how to deliver their presentation well and how to explain their visuals comprehensibly. Students will learn accurate vocabulary, grammar, and useful expressions for presenting. Students will learn and practice the appropriate use of gestures, voice inflection, posture and eye contact when presenting. Students will learn to plan presentations through a process of brainstorming and organizing ideas, and will learn how to make informative, demonstration and comparison presentations using power point. Finally, students will develop academic skills and strategies for taking effective notes, as well as critical thinking skills for questioning speakers and recognizing alternative viewpoints. Students will be required to do class presentations and submit recorded power point videos of their presentations. Google Classroom will be used for assignments and information about this course.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to...

1. Prepare and make presentations (organize ideas, use proper public speaking techniques, effectively use PowerPoints, etc.)
2. Develop academic and presentation skills (effectively deliver a presentation and explain the slides.)
3. Understand and be able to make an informative, demonstration, or comparison presentation.
4. Demonstrate the appropriate use of gestures, voice inflection, posture and eye contact.

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：Course orientation. Google Classroom orientation and explanation.
 内容・方法：Introductions: -preparing a self-introduction and making one slide self-introduction using PowerPoint. Making a PP video file.
- 【第2回】
 テーマ：Unit 1: Physical message – posture and eye contact (p11-18) & gestures.
 内容・方法：Textbook activity and application. Useful gestures for presenting (YouTube) and class application.
- 【第3回】
 テーマ：Informative presentation 1 (p19-23) (My City)
 内容・方法：Textbook activities, Video about Informative presentation. Planning PowerPoint Presentation 1: My City. HWK PP Presentation 1 PP & PP video (with gestures)
- 【第4回】
 テーマ：Performance of PP Presentation 1: My City –slide and presentation evaluation.
 内容・方法：Group presentations and peer evaluations (posture, eye contact & gestures; slides). HWK: Review gestures YouTube video and find & recommend another.
- 【第5回】
 テーマ：Unit 2 Gestures (p24-30) – Gesture Workshop
 内容・方法：Report on and demonstrate gestures learned from YouTube videos. Text activities using gestures.
- 【第6回】
 テーマ：Informative presentation 2 (My Hero)
 内容・方法：Planning Power Point Presentation 2: My Hero. HWK PP Presentation 2 PP & PP video (with gestures).
- 【第7回】
 テーマ：Performance of PP Presentation 2: My Hero –slide and presentation evaluation.
 内容・方法：Group presentations and peer evaluations (posture, eye contact & gestures; slides). HWK: OIU campus map-write about useful places on campus.
- 【第8回】
 テーマ：Layout Presentation 3: (p31-35) (Useful places on OIU campus)
 内容・方法：Review of grades and course progress. Video about Layout presentation. Planning PP Presentation 3: Useful places on OIU campus. HWK PP Presentation 3 PP & PP video (with gestures).
- 【第9回】
 テーマ：Layout Presentation 4: (p31-35) (My Dream Mansion)
 内容・方法：Planning PP Presentation 4: My Dream Mansion. Making PP Presentation 4 PP. HWK: PP video (with gestures).
- 【第10回】
 テーマ：Performance of PP Presentation 3: Useful places on OIU campus or PP Presentation 4: My Dream Mansion –slide and presentation evaluation.

内容・方法 : Group presentations and peer evaluations (posture, eye contact & gestures; slides).

【第11回】

テーマ : Unit 3: Voice Inflection (p36-43) - Speaking Workshop.

内容・方法 : Textbook activities practicing voice inflection. HWK: Sentences spoken with voice inflection & gestures (p40/43)

【第12回】

テーマ : Demonstration Presentation (p44-48)

内容・方法 : Video about Layout presentation. Analysis of Cooking Hot Chocolate YouTube video. Describe how to make Hot Chocolate. (voice inflection and gestures)

【第13回】

テーマ : Demonstration Presentation 5 (cooking demonstration)

内容・方法 : View various cooking demonstration. Select a video and plan PP Presentation 5: Cooking demonstration. HWK PP Presentation 5 PP & PP video (with voice inflection & gestures).

【第14回】

テーマ : Performance of PP Presentation 5

内容・方法 : Review of grades and course progress. Group presentations and peer evaluations (posture, eye contact & gestures; slides). HWK: study for review test.

【第15回】

テーマ : Review Test (Review worksheets on the Physical Message)

内容・方法 : Final examination explanation.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a 1-credit (1単位) course, which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

①事前学修課題 : Buy the textbook, Register for Google Classroom. Review the syllabus.

②事後学修課題 : Review the class content. Self-introductions.

【第2回】

①事前学修課題 : Read Unit 1.

②事後学修課題 : Using gestures.

【第3回】

①事前学修課題 : Check you have done your assignments correctly.

②事後学修課題 : HWK PP Presentation 1 PP & PP video (with gestures)

【第4回】

①事前学修課題 : Check you have done your assignments correctly.

②事後学修課題 : HWK: Review gestures YouTube video and find & recommend another.

【第5回】

①事前学修課題 : Read Unit 2

②事後学修課題 : Demonstrate gestures in sentences p30

【第6回】

①事前学修課題 : Check you have done your assignments correctly.

②事後学修課題 : HWK PP Presentation 2 PP & PP video (with gestures).

【第7回】

①事前学修課題 : Check you have done your assignments correctly.

②事後学修課題 : Short speech introducing places on OIU campus.

【第8回】

①事前学修課題 : Review your grades and course progress.

②事後学修課題 : HWK PP Presentation 3 PP & PP video (with gestures).

【第9回】

①事前学修課題 : Check you have done your assignments correctly.

②事後学修課題 : HWK: Presentation 4: My Dream Mansion PP & PP video (with gestures).

【第10回】

①事前学修課題 : Check you have done your assignments correctly.

②事後学修課題 : Review previous units

【第11回】

①事前学修課題 : Read Unit 3.

②事後学修課題 : HWK: Sentences spoken with voice inflection & gestures (p40/43)

【第12回】

①事前学修課題 : Check you have done your assignments correctly.

②事後学修課題 : Describe how to make Hot Chocolate. (voice inflection and gestures)

【第13回】

①事前学修課題 : Check you have done your assignments correctly.

②事後学修課題 : HWK PP Presentation 5 PP & PP video (with voice inflection & gestures).

【第14回】

①事前学修課題 : Review your grades and course progress. Check you have done your assignments correctly.

②事後学修課題 : Study for review test.

【第15回】

①事前学修課題 : Check you have done your assignments correctly.

②事後学修課題 : Submit final examination presentation.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on classwork, PowerPoint slides and recorded presentations completed as homework assignments, in-class presentations, and a final test and presentation. Students with marks of 60 or more will pass and get credit for the course. If a student is absent more than 4 times without a valid excuse, (s)he will be given a “K” (failing mark).

Grade Breakdown:

- 1) Class participation and textbook activities (20%)
- 2) PowerPoint Slides (20%)
- 3) PowerPoint videos (20%)
- 4) Classroom presentations (25%)
- 5) Review test (5%)
- 6) Final Presentation (10%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Class participation and textbook activities (20%), classroom presentations (25%), review test (5%).	1, 2, 3, 4, 5
授業外での評価	40	Homework PowerPoint slides (20%), PowerPoint Videos (20%)	1, 2, 3, 4, 5
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	10	Final examination – PP slide presentation & Power point video (10%)	1, 2, 3, 4, 5
その他	0	none	

テキスト	Speaking of Speech (Premium Edition), Charles LeBeau, 2021; National Geographic Learning/Gengage Cengage Learning; ISBN: 978-4-86312-385-4
------	--

参考書	
-----	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。 2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。 3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。 4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。 5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。 6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD – 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。
---------------	---

授業コード	10402152	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Oral English I [対面]				
シラバス執筆(全員)	S. J. カー				
シラバス執筆(主)	S. J. カー				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course focuses on presentation, public speaking, and general academic skills. Students will develop effective presenting skills, learning how to deliver their presentation well and how to explain their visuals comprehensibly. Students will learn accurate vocabulary, grammar, and useful expressions for presenting. Students will learn and practice the appropriate use of gestures, voice inflection, posture and eye contact when presenting. Students will learn to plan presentations through a process of brainstorming and organizing ideas, and will learn how to make informative, demonstration and comparison presentations using power point. Finally, students will develop academic skills and strategies for taking effective notes, as well as critical thinking skills for questioning speakers and recognizing alternative viewpoints. Students will be required to do class presentations and submit recorded power point videos of their presentations. Google Classroom will be used for assignments and information about this course.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to...

1. Prepare and make presentations (organize ideas, use proper public speaking techniques, effectively use PowerPoints, etc.)
2. Develop academic and presentation skills (effectively deliver a presentation and explain the slides.)
3. Understand and be able to make an informative, demonstration, or comparison presentation.
4. Demonstrate the appropriate use of gestures, voice inflection, posture and eye contact.

授業計画

【第1回】
 テーマ：Course orientation. Google Classroom orientation and explanation.
 内容・方法：Introductions: -preparing a self-introduction and making one slide self-introduction using PowerPoint. Making a PP video file.

【第2回】
 テーマ：Unit 1: Physical message – posture and eye contact (p11-18) & gestures.
 内容・方法：Textbook activity and application. Useful gestures for presenting (YouTube) and class application.

【第3回】
 テーマ：Informative presentation 1 (p19-23) (My City)
 内容・方法：Textbook activities, Video about Informative presentation. Planning PowerPoint Presentation 1: My City. HWK PP Presentation 1 PP & PP video (with gestures)

【第4回】
 テーマ：Performance of PP Presentation 1: My City –slide and presentation evaluation.
 内容・方法：Group presentations and peer evaluations (posture, eye contact & gestures; slides). HWK: Review gestures YouTube video and find & recommend another.

【第5回】
 テーマ：Unit 2 Gestures (p24-30) – Gesture Workshop
 内容・方法：Report on and demonstrate gestures learned from YouTube videos. Text activities using gestures.

【第6回】
 テーマ：Informative presentation 2 (My Hero)
 内容・方法：Planning Power Point Presentation 2: My Hero. HWK PP Presentation 2 PP & PP video (with gestures).

【第7回】
 テーマ：Performance of PP Presentation 2: My Hero –slide and presentation evaluation.
 内容・方法：Group presentations and peer evaluations (posture, eye contact & gestures; slides). HWK: OIU campus map-write about useful places on campus.

【第8回】
 テーマ：Layout Presentation 3: (p31-35) (Useful places on OIU campus)
 内容・方法：Review of grades and course progress. Video about Layout presentation. Planning PP Presentation 3: Useful places on OIU campus. HWK PP Presentation 3 PP & PP video (with gestures).

【第9回】
 テーマ：Layout Presentation 4: (p31-35) (My Dream Mansion)
 内容・方法：Planning PP Presentation 4: My Dream Mansion. Making PP Presentation 4 PP. HWK: PP video (with gestures).

【第10回】
 テーマ：Performance of PP Presentation 3: Useful places on OIU campus or PP Presentation 4: My Dream Mansion –slide and presentation evaluation.

内容・方法 : Group presentations and peer evaluations (posture, eye contact & gestures; slides).

【第11回】

テーマ : Unit 3: Voice Inflection (p36-43) - Speaking Workshop.

内容・方法 : Textbook activities practicing voice inflection. HWK: Sentences spoken with voice inflection & gestures (p40/43)

【第12回】

テーマ : Demonstration Presentation (p44-48)

内容・方法 : Video about Layout presentation. Analysis of Cooking Hot Chocolate YouTube video. Describe how to make Hot Chocolate. (voice inflection and gestures)

【第13回】

テーマ : Demonstration Presentation 5 (cooking demonstration)

内容・方法 : View various cooking demonstration. Select a video and plan PP Presentation 5: Cooking demonstration. HWK PP Presentation 5 PP & PP video (with voice inflection & gestures).

【第14回】

テーマ : Performance of PP Presentation 5

内容・方法 : Review of grades and course progress. Group presentations and peer evaluations (posture, eye contact & gestures; slides). HWK: study for review test.

【第15回】

テーマ : Review Test (Review worksheets on the Physical Message)

内容・方法 : Final examination explanation.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a 1-credit (1単位) course, which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

①事前学修課題 : Buy the textbook, Register for Google Classroom. Review the syllabus.

②事後学修課題 : Review the class content. Self-introductions.

【第2回】

①事前学修課題 : Read Unit 1.

②事後学修課題 : Using gestures.

【第3回】

①事前学修課題 : Check you have done your assignments correctly.

②事後学修課題 : HWK PP Presentation 1 PP & PP video (with gestures)

【第4回】

①事前学修課題 : Check you have done your assignments correctly.

②事後学修課題 : HWK: Review gestures YouTube video and find & recommend another.

【第5回】

①事前学修課題 : Read Unit 2

②事後学修課題 : Demonstrate gestures in sentences p30

【第6回】

①事前学修課題 : Check you have done your assignments correctly.

②事後学修課題 : HWK PP Presentation 2 PP & PP video (with gestures).

【第7回】

①事前学修課題 : Check you have done your assignments correctly.

②事後学修課題 : Short speech introducing places on OIU campus.

【第8回】

①事前学修課題 : Review your grades and course progress.

②事後学修課題 : HWK PP Presentation 3 PP & PP video (with gestures).

【第9回】

①事前学修課題 : Check you have done your assignments correctly.

②事後学修課題 : HWK: Presentation 4: My Dream Mansion PP & PP video (with gestures).

【第10回】

①事前学修課題 : Check you have done your assignments correctly.

②事後学修課題 : Review previous units

【第11回】

①事前学修課題 : Read Unit 3.

②事後学修課題 : HWK: Sentences spoken with voice inflection & gestures (p40/43)

【第12回】

①事前学修課題 : Check you have done your assignments correctly.

②事後学修課題 : Describe how to make Hot Chocolate. (voice inflection and gestures)

【第13回】

①事前学修課題 : Check you have done your assignments correctly.

②事後学修課題 : HWK PP Presentation 5 PP & PP video (with voice inflection & gestures).

【第14回】

①事前学修課題 : Review your grades and course progress. Check you have done your assignments correctly.

②事後学修課題 : Study for review test.

【第15回】

①事前学修課題 : Check you have done your assignments correctly.

②事後学修課題 : Submit final examination presentation.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on classwork, PowerPoint slides and recorded presentations completed as homework assignments, in-class presentations, and a final test and presentation. Students with marks of 60 or more will pass and get credit for the course. If a student is absent more than 4 times without a valid excuse, (s)he will be given a “K” (failing mark).

Grade Breakdown:

- 1) Class participation and textbook activities (20%)
- 2) PowerPoint Slides (20%)
- 3) PowerPoint videos (20%)
- 4) Classroom presentations (25%)
- 5) Review test (5%)
- 6) Final Presentation (10%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Class participation and textbook activities (20%), classroom presentations (25%), review test (5%).	1, 2, 3, 4, 5
授業外での評価	40	Homework PowerPoint slides (20%), PowerPoint Videos (20%)	1, 2, 3, 4, 5
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	10	Final examination – PP slide presentation & Power point video (10%)	1, 2, 3, 4, 5
その他	0	none	

テキスト	Speaking of Speech (Premium Edition), Charles LeBeau, 2021; National Geographic Learning/Gengage Cengage Learning; ISBN: 978-4-86312-385-4
------	--

参考書	
-----	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。 2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。 3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。 4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。 5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。 6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD – 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。
---------------	---

授業コード	10402201	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Presenting Skills [対面]				
シラバス執筆(全員)	T. ピート				
シラバス執筆(主)	T. ピート				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

(Upper) The aim of this course is to develop to the basics of English conversation and introduce the basic skills of presenting. During each class, students will take part in conversations about different topics and associated vocabulary and grammar. To develop presenting skills, students will receive instruction in posture, eye contact, and voice inflection and will give presentations using Power Point. Sometimes you will work in pairs or small groups, but other times you will work on your own or in a whole class activity. You are expected to actively participate in each activity. There will be regular quizzes, weekly homework assignments and class presentation projects. A final presentation will be done in class and submitted as a Power Point video presentation. You will need to do at least 1 hour per week of outside studies, such as class preparation and review. Google Classroom will be used for assignments and information about this course.

到達目標

At the end of the course, you will be able to:

1. develop the ability to converse about various everyday topics.
2. develop listening and speaking skills related to everyday conversation.
3. learn vocabulary essential for conversing about various everyday topics.
4. improve presentation delivery skills.
5. improve presentation visuals and slides.

授業計画

【第1回】
 テーマ: Course orientation. Google Classroom orientation and explanation. Study of presenting skills.
 内容・方法: Presenting skills, posture, gestures, and voice inflections. Application and practice - introductions. HWK: Self-Introduction power point slide

【第2回】
 テーマ: Presentation skills practice & Self-Introduction Power Point (1 Slide)
 内容・方法: Presentation 1 - group presentations and student checklist & feedback. HWK review text unit

【第3回】
 テーマ: Unit 7: It was great!
 内容・方法: Vocabulary building & quiz; Listening/Reading review. Dialog & pair work. HWK Reading and grammar

【第4回】
 テーマ: Unit 8: How much do you know?
 内容・方法: Vocabulary building & quiz; Listening/Reading review. Dialog & pair work. HWK Reading and grammar

【第5回】
 テーマ: Review & Dialog Performance Tests (Units 7, 8)
 内容・方法: Review Presentation skills - posture, gestures, and voice inflections. Plan presentation 2 - decide the topic and plan the slides.

【第6回】
 テーマ: Presentation skills practice
 内容・方法: Presentation 2: prepare slides and practice delivery - peer edit slides & pairs give feedback and advice on presentation delivery. HWK: practice presentation 2

【第7回】
 テーマ: Presentation 2
 内容・方法: Presentation 2 - group presentations and student checklist & feedback. HWK review text unit

【第8回】
 テーマ: Unit 9: She really can sing?
 内容・方法: Vocabulary building & quiz; Listening/Reading review. Dialog & pair work. HWK Reading and grammar

【第9回】
 テーマ: Unit 10 What do you like to do?
 内容・方法: Vocabulary building & quiz; Listening/Reading review. Dialog & pair work. HWK Reading and grammar

【第10回】
 テーマ: Review & Dialog Performance Tests (Units 9 & 10)
 内容・方法: Review Presentation skills - posture, gestures, and voice inflections. Plan presentation 3 - decide the topic and plan the slides.

【第11回】

テーマ : Presentation skills practice

内容・方法 : Presentation 3: prepare slides and practice delivery – peer edit slides & pairs give feedback and advice on presentation delivery. HWK: practice presentation 3

【第12回】

テーマ : Presentation 3

内容・方法 : Presentation 3 – group presentations and student checklist & feedback.

【第13回】

テーマ : Final presentation

内容・方法 : Decide the topic, plan the presentation. Explanation of how to make a power point video presentation.

【第14回】

テーマ : Final Presentation- session 1

内容・方法 : Individual presentations – student feedback and comment.

【第15回】

テーマ : Final Presentation- session 2

内容・方法 : Individual presentations – student feedback and comment. Explanation of final test – submit a power point movie recording of the final presentation

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

①事前学修課題 : Review English studied in the Oral English course.

②事後学修課題 : Review and practice presenting skills. Do HWK presentation assignment

【第2回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Practice and prepare for the presentation.

②事後学修課題 : Review the text unit .

【第3回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read text unit.

②事後学修課題 : Do HWK assignments.

【第4回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read text unit.

②事後学修課題 : Do HWK assignments. Prepare for the unit review.

【第5回】

①事前学修課題 : Review for the unit test.

②事後学修課題 : Review Presentation skills – posture, gestures, and voice inflections. Do HWK presentation assignments.

【第6回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Review presentation skills practice.

②事後学修課題 : Practice and prepare for presentation.

【第7回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Practice your presentation.

②事後学修課題 : Review the text unit .

【第8回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read text unit.

②事後学修課題 : Do HWK assignments.

【第9回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read text unit.

②事後学修課題 : Do HWK assignments. Prepare for the unit review.

【第10回】

①事前学修課題 : Review for the unit test.

②事後学修課題 : Review Presentation skills – posture, gestures, and voice inflections. Do HWK presentation assignments.

【第11回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Review presentation skills practice.

②事後学修課題 : Practice and prepare for presentation.

【第12回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Practice your presentation.

②事後学修課題 : Prepare for final presentation and do HWK presentation assignments.

【第13回】

①事前学修課題 : Prepare for final presentation.

②事後学修課題 : Prepare for final presentation and do HWK presentation assignments.

【第14回】

①事前学修課題 : Prepare for final presentation.

②事後学修課題 : Submit feedback and comments.

【第15回】

①事前学修課題 : Prepare for final presentation.

②事後学修課題 : Submit feedback and comments. Submit the final presentation power point.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

4. The teacher will tell you your current grade at least three times during the semester. In addition, your grades may also be posted regularly on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

「以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する」

General Grade Category Breakdown:

- 1) Participation and class activities (10%)
- 2) Language (vocabulary & grammar quizzes) (30%)
- 3) Unit reviews (10%)
- 4) 3 Class Presentations (30%)
- 5) Homework assignments (10%)
- 6) Final presentation and video presentation (10%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	80	Participation and class activities (10%), Language (vocabulary & grammar quizzes) (30%), Unit reviews (10%) and 3 Class Presentations (30%).	1, 2, 3, 4
授業外での評価	10	Homework assignments (10%)	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	10	Final presentation and video presentation (10%)	4, 5
その他	0	none	

テキスト	English Firsthand SUCCESS with MyMobile World (2018 5th edition), Marc Helgesen, Steven Brown, John Wiltshier, Pearson Longman, ISBN: 9789813132764
------	---

参考書	Mymobileworld: Online study (optional) your instructor will help you sign up if you are using it in this course. Your teacher will give handouts on presenting.
-----	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。 2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。 3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。 4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。 5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。 6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。
---------------	---

授業コード	10402202	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Presenting Skills [対面]				
シラバス執筆(全員)	N. J. ドーバー				
シラバス執筆(主)	N. J. ドーバー				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

(Regular) The aim of this course is to develop to the basics of English conversation and introduce the basic skills of presenting. During each class, students will take part in conversations about different topics and associated vocabulary and grammar. To develop presenting skills, students will receive instruction in posture, eye contact, and voice inflection and will give presentations using Power Point. Sometimes you will work in pairs or small groups, but other times you will work on your own or in a whole class activity. You are expected to actively participate in each activity. There will be regular quizzes, weekly homework assignments and class presentation projects. A final presentation will be done in class and submitted as a Power Point video presentation. You will need to do at least 1 hour per week of outside studies, such as class preparation and review. Google Classroom will be used for assignments and information about this course.

到達目標

At the end of the course, you will be able to:

1. develop the ability to converse about various everyday topics.
2. develop listening and speaking skills related to everyday conversation.
3. learn vocabulary essential for conversing about various everyday topics.
4. improve presentation delivery skills.
5. improve presentation visuals and slides.

授業計画

【第1回】
 テーマ: Course orientation. Google Classroom orientation and explanation. Study of presenting skills.
 内容・方法: Presenting skills, posture, gestures, and voice inflections. Application and practice – introductions. HWK: Self-Introduction power point slide

【第2回】
 テーマ: Presentation skills practice & Self-Introduction Power Point (1 Slide)
 内容・方法: Presentation 1 – group presentations and student checklist & feedback. HWK review text unit

【第3回】
 テーマ: Unit 7: I love weekends!
 内容・方法: Vocabulary building & quiz; Listening/Reading review. Dialog & pair work. HWK Reading and grammar.

【第4回】
 テーマ: Unit 8: Let's eat!
 内容・方法: Vocabulary building & quiz; Listening/Reading review. Dialog & pair work. HWK Reading and grammar.

【第5回】
 テーマ: Review & Dialog Performance Tests (Units 7, 8)
 内容・方法: Review Presentation skills – posture, gestures, and voice inflections. Plan presentation 2 – decide the topic and plan the slides.

【第6回】
 テーマ: Presentation skills practice
 内容・方法: Presentation 2: prepare slides and practice delivery – peer edit slides & pairs give feedback and advice on presentation delivery. HWK: practice presentation 2

【第7回】
 テーマ: Presentation 2
 内容・方法: Presentation 2 – group presentations and student checklist & feedback. HWK review text unit

【第8回】
 テーマ: Unit 9: I really enjoy it!
 内容・方法: Vocabulary building & quiz; Listening/Reading review. Dialog & pair work. HWK Reading and grammar.

【第9回】
 テーマ: Unit 10: welcome to my home.
 内容・方法: Vocabulary building & quiz; Listening/Reading review. Dialog & pair work. HWK Reading and grammar.

【第10回】
 テーマ: Review & Dialog Performance Tests (Units 9, 10)
 内容・方法: Review Presentation skills – posture, gestures, and voice inflections. Plan presentation 3 – decide the topic and plan the slides.

【第11回】

テーマ : Presentation skills practice

内容・方法 : Presentation 3: prepare slides and practice delivery – peer edit slides & pairs give feedback and advice on presentation delivery. HWK: practice presentation 3.

【第12回】

テーマ : Presentation 3

内容・方法 : Presentation 3 – group presentations and student checklist & feedback.

【第13回】

テーマ : Final presentation

内容・方法 : Decide the topic, plan the presentation. Explanation of how to make a power point video presentation.

【第14回】

テーマ : Final Presentation- session 1

内容・方法 : Individual presentations – student feedback and comment.

【第15回】

テーマ : Final Presentation- session 2

内容・方法 : Individual presentations – student feedback and comment. Explanation of final test – submit a power point movie recording of the final presentation.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

①事前学修課題 : Review English studied in the Oral English course.

②事後学修課題 : Review and practice presenting skills. Do HWK presentation assignment

【第2回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Practice and prepare for the presentation.

②事後学修課題 : Review the text unit .

【第3回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read text unit.

②事後学修課題 : Do HWK assignments.

【第4回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read text unit.

②事後学修課題 : Do HWK assignments. Prepare for the unit review.

【第5回】

①事前学修課題 : Review for the unit test.

②事後学修課題 : Review Presentation skills – posture, gestures, and voice inflections. Do HWK presentation assignments.

【第6回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Review presentation skills practice.

②事後学修課題 : Practice and prepare for presentation.

【第7回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Practice your presentation.

②事後学修課題 : Review the text unit .

【第8回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read text unit.

②事後学修課題 : Do HWK assignments.

【第9回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read text unit.

②事後学修課題 : Do HWK assignments. Prepare for the unit review.

【第10回】

①事前学修課題 : Review for the unit test.

②事後学修課題 : Review Presentation skills – posture, gestures, and voice inflections. Do HWK presentation assignments.

【第11回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Review presentation skills practice.

②事後学修課題 : Practice and prepare for presentation.

【第12回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Practice your presentation.

②事後学修課題 : Prepare for final presentation and do HWK presentation assignments.

【第13回】

①事前学修課題 : Prepare for final presentation.

②事後学修課題 : Prepare for final presentation and do HWK presentation assignments.

【第14回】

①事前学修課題 : Prepare for final presentation.

②事後学修課題 : Submit feedback and comments.

【第15回】

②事前学修課題 : Prepare for final presentation.

②事後学修課題 : Submit feedback and comments. Submit the final presentation power point.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

4. The teacher will tell you your current grade at least three times during the semester. In addition, your grades may also be posted regularly on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

「以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する」

General Grade Category Breakdown:

- 1) Participation and class activities (10%)
- 2) Language (vocabulary & grammar quizzes) (30%)
- 3) Unit reviews (10%)
- 4) 3 Class Presentations (30%)
- 5) Homework assignments (10%)
- 6) Final presentation and video presentation (10%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	80	Participation and class activities (10%), language (vocabulary & grammar quizzes) (30%), unit reviews (10%), and 3 Class Presentations (30%).	1, 2, 3, 4
授業外での評価	10	Homework assignments (10%)	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	10	Final Presentation and video examination (10%)	4, 5
その他	0	none	

テキスト	English Firsthand ACCESS. Student Book with MyMobileWorld (2018 5th edition), Marc Helgesen, Steven Brown, John Wiltshier, Pearson Longman, ISBN: 978-9813132757
------	--

参考書	Materials will be issued in class as necessary. 必要に応じ授業の中で紹介する
-----	---

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。 2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。 3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。 4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。 5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。 6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。
---------------	--

授業コード	10402203	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Presenting Skills [対面]				
シラバス執筆(全員)	J. エチャャー				
シラバス執筆(主)	J. エチャャー				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

(Regular) The aim of this course is to develop to the basics of English conversation and introduce the basic skills of presenting. During each class, students will take part in conversations about different topics and associated vocabulary and grammar. To develop presenting skills, students will receive instruction in posture, eye contact, and voice inflection and will give presentations using Power Point. Sometimes you will work in pairs or small groups, but other times you will work on your own or in a whole class activity. You are expected to actively participate in each activity. There will be regular quizzes, weekly homework assignments and class presentation projects. A final presentation will be done in class and submitted as a Power Point video presentation. You will need to do at least 1 hour per week of outside studies, such as class preparation and review. Google Classroom will be used for assignments and information about this course.

到達目標

At the end of the course, you will be able to:

1. develop the ability to converse about various everyday topics.
2. develop listening and speaking skills related to everyday conversation.
3. learn vocabulary essential for conversing about various everyday topics.
4. improve presentation delivery skills.
5. improve presentation visuals and slides.

授業計画

- 【第1回】
 テーマ: Course orientation. Google Classroom orientation and explanation. Study of presenting skills.
 内容・方法: Presenting skills, posture, gestures, and voice inflections. Application and practice - introductions. HWK: Self-Introduction power point slide
- 【第2回】
 テーマ: Presentation skills practice & Self-Introduction Power Point (1 Slide)
 内容・方法: Presentation 1 - group presentations and student checklist & feedback. HWK review text unit
- 【第3回】
 テーマ: Unit 7: I love weekends!
 内容・方法: Vocabulary building & quiz; Listening/Reading review. Dialog & pair work. HWK Reading and grammar.
- 【第4回】
 テーマ: Unit 8: Let's eat!
 内容・方法: Vocabulary building & quiz; Listening/Reading review. Dialog & pair work. HWK Reading and grammar.
- 【第5回】
 テーマ: Review & Dialog Performance Tests (Units 7, 8)
 内容・方法: Review Presentation skills - posture, gestures, and voice inflections. Plan presentation 2 - decide the topic and plan the slides.
- 【第6回】
 テーマ: Presentation skills practice
 内容・方法: Presentation 2: prepare slides and practice delivery - peer edit slides & pairs give feedback and advice on presentation delivery. HWK: practice presentation 2
- 【第7回】
 テーマ: Presentation 2
 内容・方法: Presentation 2 - group presentations and student checklist & feedback. HWK review text unit
- 【第8回】
 テーマ: Unit 9: I really enjoy it!
 内容・方法: Vocabulary building & quiz; Listening/Reading review. Dialog & pair work. HWK Reading and grammar.
- 【第9回】
 テーマ: Unit 10: welcome to my home.
 内容・方法: Vocabulary building & quiz; Listening/Reading review. Dialog & pair work. HWK Reading and grammar.
- 【第10回】
 テーマ: Review & Dialog Performance Tests (Units 9, 10)
 内容・方法: Review Presentation skills - posture, gestures, and voice inflections. Plan presentation 3 - decide the topic and plan the slides.
- 【第11回】

テーマ : Presentation skills practice

内容・方法 : Presentation 3: prepare slides and practice delivery – peer edit slides & pairs give feedback and advice on presentation delivery. HWK: practice presentation 3.

【第12回】

テーマ : Presentation 3

内容・方法 : Presentation 3 – group presentations and student checklist & feedback.

【第13回】

テーマ : Final presentation

内容・方法 : Decide the topic, plan the presentation. Explanation of how to make a power point video presentation.

【第14回】

テーマ : Final Presentation- session 1

内容・方法 : Individual presentations – student feedback and comment.

【第15回】

テーマ : Final Presentation- session 2

内容・方法 : Individual presentations – student feedback and comment. Explanation of final test – submit a power point movie recording of the final presentation.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

①事前学修課題 : Review English studied in the Oral English course.

②事後学修課題 : Review and practice presenting skills. Do HWK presentation assignment

【第2回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Practice and prepare for the presentation.

②事後学修課題 : Review the text unit .

【第3回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read text unit.

②事後学修課題 : Do HWK assignments.

【第4回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read text unit.

②事後学修課題 : Do HWK assignments. Prepare for the unit review.

【第5回】

①事前学修課題 : Review for the unit test.

②事後学修課題 : Review Presentation skills – posture, gestures, and voice inflections. Do HWK presentation assignments.

【第6回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Review presentation skills practice.

②事後学修課題 : Practice and prepare for presentation.

【第7回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Practice your presentation.

②事後学修課題 : Review the text unit .

【第8回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read text unit.

②事後学修課題 : Do HWK assignments.

【第9回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read text unit.

②事後学修課題 : Do HWK assignments. Prepare for the unit review.

【第10回】

①事前学修課題 : Review for the unit test.

②事後学修課題 : Review Presentation skills – posture, gestures, and voice inflections. Do HWK presentation assignments.

【第11回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Review presentation skills practice.

②事後学修課題 : Practice and prepare for presentation.

【第12回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Practice your presentation.

②事後学修課題 : Prepare for final presentation and do HWK presentation assignments.

【第13回】

①事前学修課題 : Prepare for final presentation.

②事後学修課題 : Prepare for final presentation and do HWK presentation assignments.

【第14回】

①事前学修課題 : Prepare for final presentation.

②事後学修課題 : Submit feedback and comments.

【第15回】

②事前学修課題 : Prepare for final presentation.

②事後学修課題 : Submit feedback and comments. Submit the final presentation power point.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

4. The teacher will tell you your current grade at least three times during the semester. In addition, your grades may also be posted regularly on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

「以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する」

General Grade Category Breakdown:

- 1) Participation and class activities (10%)
- 2) Language (vocabulary & grammar quizzes) (30%)
- 3) Unit reviews (10%)
- 4) 3 Class Presentations (30%)
- 5) Homework assignments (10%)
- 6) Final presentation and video presentation (10%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	80	Participation and class activities (10%), language (vocabulary & grammar quizzes) (30%), unit reviews (10%), and 3 Class Presentations (30%).	1, 2, 3, 4
授業外での評価	10	Homework assignments (10%)	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	10	Final Presentation and video examination (10%)	4, 5
その他	0	none	

テキスト	English Firsthand ACCESS. Student Book with MyMobileWorld (2018 5th edition), Marc Helgesen, Steven Brown, John Wiltshier, Pearson Longman, ISBN: 978-9813132757
------	--

参考書	Materials will be issued in class as necessary. 必要に応じ授業の中で紹介する
-----	---

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。 2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。 3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。 4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。 5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。 6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。
---------------	---

授業コード	10402204	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Presenting Skills [対面]				
シラバス執筆(全員)	J. M. パーマンター				
シラバス執筆(主)	J. M. パーマンター				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

(Regular) The aim of this course is to develop to the basics of English conversation and introduce the basic skills of presenting. During each class, students will take part in conversations about different topics and associated vocabulary and grammar. To develop presenting skills, students will receive instruction in posture, eye contact, and voice inflection and will give presentations using Power Point. Sometimes you will work in pairs or small groups, but other times you will work on your own or in a whole class activity. You are expected to actively participate in each activity. There will be regular quizzes, weekly homework assignments and class presentation projects. A final presentation will be done in class and submitted as a Power Point video presentation. You will need to do at least 1 hour per week of outside studies, such as class preparation and review. Google Classroom will be used for assignments and information about this course.

到達目標

At the end of the course, you will be able to:

1. develop the ability to converse about various everyday topics.
2. develop listening and speaking skills related to everyday conversation.
3. learn vocabulary essential for conversing about various everyday topics.
4. improve presentation delivery skills.
5. improve presentation visuals and slides.

授業計画

【第1回】
 テーマ: Course orientation. Google Classroom orientation and explanation. Study of presenting skills.
 内容・方法: Presenting skills, posture, gestures, and voice inflections. Application and practice - introductions. HWK: Self-Introduction power point slide

【第2回】
 テーマ: Presentation skills practice & Self-Introduction Power Point (1 Slide)
 内容・方法: Presentation 1 - group presentations and student checklist & feedback. HWK review text unit

【第3回】
 テーマ: Unit 7: I love weekends!
 内容・方法: Vocabulary building & quiz; Listening/Reading review. Dialog & pair work. HWK Reading and grammar.

【第4回】
 テーマ: Unit 8: Let's eat!
 内容・方法: Vocabulary building & quiz; Listening/Reading review. Dialog & pair work. HWK Reading and grammar.

【第5回】
 テーマ: Review & Dialog Performance Tests (Units 7, 8)
 内容・方法: Review Presentation skills - posture, gestures, and voice inflections. Plan presentation 2 - decide the topic and plan the slides.

【第6回】
 テーマ: Presentation skills practice
 内容・方法: Presentation 2: prepare slides and practice delivery - peer edit slides & pairs give feedback and advice on presentation delivery. HWK: practice presentation 2

【第7回】
 テーマ: Presentation 2
 内容・方法: Presentation 2 - group presentations and student checklist & feedback. HWK review text unit

【第8回】
 テーマ: Unit 9: I really enjoy it!
 内容・方法: Vocabulary building & quiz; Listening/Reading review. Dialog & pair work. HWK Reading and grammar.

【第9回】
 テーマ: Unit 10: welcome to my home.
 内容・方法: Vocabulary building & quiz; Listening/Reading review. Dialog & pair work. HWK Reading and grammar.

【第10回】
 テーマ: Review & Dialog Performance Tests (Units 9, 10)
 内容・方法: Review Presentation skills - posture, gestures, and voice inflections. Plan presentation 3 - decide the topic and plan the slides.

【第11回】

テーマ : Presentation skills practice

内容・方法 : Presentation 3: prepare slides and practice delivery – peer edit slides & pairs give feedback and advice on presentation delivery. HWK: practice presentation 3.

【第12回】

テーマ : Presentation 3

内容・方法 : Presentation 3 – group presentations and student checklist & feedback.

【第13回】

テーマ : Final presentation

内容・方法 : Decide the topic, plan the presentation. Explanation of how to make a power point video presentation.

【第14回】

テーマ : Final Presentation- session 1

内容・方法 : Individual presentations – student feedback and comment.

【第15回】

テーマ : Final Presentation- session 2

内容・方法 : Individual presentations – student feedback and comment. Explanation of final test – submit a power point movie recording of the final presentation.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

①事前学修課題 : Review English studied in the Oral English course.

②事後学修課題 : Review and practice presenting skills. Do HWK presentation assignment

【第2回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Practice and prepare for the presentation.

②事後学修課題 : Review the text unit .

【第3回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read text unit.

②事後学修課題 : Do HWK assignments.

【第4回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read text unit.

②事後学修課題 : Do HWK assignments. Prepare for the unit review.

【第5回】

①事前学修課題 : Review for the unit test.

②事後学修課題 : Review Presentation skills – posture, gestures, and voice inflections. Do HWK presentation assignments.

【第6回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Review presentation skills practice.

②事後学修課題 : Practice and prepare for presentation.

【第7回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Practice your presentation.

②事後学修課題 : Review the text unit .

【第8回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read text unit.

②事後学修課題 : Do HWK assignments.

【第9回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read text unit.

②事後学修課題 : Do HWK assignments. Prepare for the unit review.

【第10回】

①事前学修課題 : Review for the unit test.

②事後学修課題 : Review Presentation skills – posture, gestures, and voice inflections. Do HWK presentation assignments.

【第11回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Review presentation skills practice.

②事後学修課題 : Practice and prepare for presentation.

【第12回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Practice your presentation.

②事後学修課題 : Prepare for final presentation and do HWK presentation assignments.

【第13回】

①事前学修課題 : Prepare for final presentation.

②事後学修課題 : Prepare for final presentation and do HWK presentation assignments.

【第14回】

①事前学修課題 : Prepare for final presentation.

②事後学修課題 : Submit feedback and comments.

【第15回】

② 事前学修課題 : Prepare for final presentation.

②事後学修課題 : Submit feedback and comments. Submit the final presentation power point.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

4. The teacher will tell you your current grade at least three times during the semester. In addition, your grades may also be posted regularly on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

「以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する」

General Grade Category Breakdown:

- 1) Participation and class activities (10%)
- 2) Language (vocabulary & grammar quizzes) (30%)
- 3) Unit reviews (10%)
- 4) 3 Class Presentations (30%)
- 5) Homework assignments (10%)
- 6) Final presentation and video presentation (10%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	80	Participation and class activities (10%), language (vocabulary & grammar quizzes) (30%), unit reviews (10%), and 3 Class Presentations (30%).	1, 2, 3, 4
授業外での評価	10	Homework assignments (10%)	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	10	Final Presentation and video examination (10%)	4, 5
その他	0	none	

テキスト	English Firsthand ACCESS. Student Book with MyMobileWorld (2018 5th edition), Marc Helgesen, Steven Brown, John Wiltshier, Pearson Longman, ISBN: 978-9813132757
------	--

参考書	Materials will be issued in class as necessary. 必要に応じ授業の中で紹介する
-----	---

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。 2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。 3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。 4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。 5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。 6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。
---------------	---

授業コード	10402205	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Presenting Skills [対面]				
シラバス執筆(全員)	G.S. ジョン=バプティースト				
シラバス執筆(主)	G.S. ジョン=バプティースト				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

(Regular) The aim of this course is to develop to the basics of English conversation and introduce the basic skills of presenting. During each class, students will take part in conversations about different topics and associated vocabulary and grammar. To develop presenting skills, students will receive instruction in posture, eye contact, and voice inflection and will give presentations using Power Point. Sometimes you will work in pairs or small groups, but other times you will work on your own or in a whole class activity. You are expected to actively participate in each activity. There will be regular quizzes, weekly homework assignments and class presentation projects. A final presentation will be done in class and submitted as a Power Point video presentation. You will need to do at least 1 hour per week of outside studies, such as class preparation and review. Google Classroom will be used for assignments and information about this course.

到達目標

At the end of the course, you will be able to:

1. develop the ability to converse about various everyday topics.
2. develop listening and speaking skills related to everyday conversation.
3. learn vocabulary essential for conversing about various everyday topics.
4. improve presentation delivery skills.
5. improve presentation visuals and slides.

授業計画

【第1回】
 テーマ: Course orientation. Google Classroom orientation and explanation. Study of presenting skills.
 内容・方法: Presenting skills, posture, gestures, and voice inflections. Application and practice - introductions. HWK: Self-Introduction power point slide

【第2回】
 テーマ: Presentation skills practice & Self-Introduction Power Point (1 Slide)
 内容・方法: Presentation 1 - group presentations and student checklist & feedback. HWK review text unit

【第3回】
 テーマ: Unit 7: I love weekends!
 内容・方法: Vocabulary building & quiz; Listening/Reading review. Dialog & pair work. HWK Reading and grammar.

【第4回】
 テーマ: Unit 8: Let's eat!
 内容・方法: Vocabulary building & quiz; Listening/Reading review. Dialog & pair work. HWK Reading and grammar.

【第5回】
 テーマ: Review & Dialog Performance Tests (Units 7, 8)
 内容・方法: Review Presentation skills - posture, gestures, and voice inflections. Plan presentation 2 - decide the topic and plan the slides.

【第6回】
 テーマ: Presentation skills practice
 内容・方法: Presentation 2: prepare slides and practice delivery - peer edit slides & pairs give feedback and advice on presentation delivery. HWK: practice presentation 2

【第7回】
 テーマ: Presentation 2
 内容・方法: Presentation 2 - group presentations and student checklist & feedback. HWK review text unit

【第8回】
 テーマ: Unit 9: I really enjoy it!
 内容・方法: Vocabulary building & quiz; Listening/Reading review. Dialog & pair work. HWK Reading and grammar.

【第9回】
 テーマ: Unit 10: welcome to my home.
 内容・方法: Vocabulary building & quiz; Listening/Reading review. Dialog & pair work. HWK Reading and grammar.

【第10回】
 テーマ: Review & Dialog Performance Tests (Units 9, 10)
 内容・方法: Review Presentation skills - posture, gestures, and voice inflections. Plan presentation 3 - decide the topic and plan the slides.

【第11回】

テーマ : Presentation skills practice

内容・方法 : Presentation 3: prepare slides and practice delivery – peer edit slides & pairs give feedback and advice on presentation delivery. HWK: practice presentation 3.

【第12回】

テーマ : Presentation 3

内容・方法 : Presentation 3 – group presentations and student checklist & feedback.

【第13回】

テーマ : Final presentation

内容・方法 : Decide the topic, plan the presentation. Explanation of how to make a power point video presentation.

【第14回】

テーマ : Final Presentation- session 1

内容・方法 : Individual presentations – student feedback and comment.

【第15回】

テーマ : Final Presentation- session 2

内容・方法 : Individual presentations – student feedback and comment. Explanation of final test – submit a power point movie recording of the final presentation.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

①事前学修課題 : Review English studied in the Oral English course.

②事後学修課題 : Review and practice presenting skills. Do HWK presentation assignment

【第2回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Practice and prepare for the presentation.

②事後学修課題 : Review the text unit .

【第3回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read text unit.

②事後学修課題 : Do HWK assignments.

【第4回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read text unit.

②事後学修課題 : Do HWK assignments. Prepare for the unit review.

【第5回】

①事前学修課題 : Review for the unit test.

②事後学修課題 : Review Presentation skills – posture, gestures, and voice inflections. Do HWK presentation assignments.

【第6回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Review presentation skills practice.

②事後学修課題 : Practice and prepare for presentation.

【第7回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Practice your presentation.

②事後学修課題 : Review the text unit .

【第8回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read text unit.

②事後学修課題 : Do HWK assignments.

【第9回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read text unit.

②事後学修課題 : Do HWK assignments. Prepare for the unit review.

【第10回】

①事前学修課題 : Review for the unit test.

②事後学修課題 : Review Presentation skills – posture, gestures, and voice inflections. Do HWK presentation assignments.

【第11回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Review presentation skills practice.

②事後学修課題 : Practice and prepare for presentation.

【第12回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Practice your presentation.

②事後学修課題 : Prepare for final presentation and do HWK presentation assignments.

【第13回】

①事前学修課題 : Prepare for final presentation.

②事後学修課題 : Prepare for final presentation and do HWK presentation assignments.

【第14回】

①事前学修課題 : Prepare for final presentation.

②事後学修課題 : Submit feedback and comments.

【第15回】

②事前学修課題 : Prepare for final presentation.

②事後学修課題 : Submit feedback and comments. Submit the final presentation power point.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

4. The teacher will tell you your current grade at least three times during the semester. In addition, your grades may also be posted regularly on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

「以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する」

General Grade Category Breakdown:

- 1) Participation and class activities (10%)
- 2) Language (vocabulary & grammar quizzes) (30%)
- 3) Unit reviews (10%)
- 4) 3 Class Presentations (30%)
- 5) Homework assignments (10%)
- 6) Final presentation and video presentation (10%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	80	Participation and class activities (10%), language (vocabulary & grammar quizzes) (30%), unit reviews (10%), and 3 Class Presentations (30%).	1, 2, 3, 4
授業外での評価	10	Homework assignments (10%)	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	10	Final Presentation and video examination (10%)	4, 5
その他	0	none	

テキスト	English Firsthand ACCESS. Student Book with MyMobileWorld (2018 5th edition), Marc Helgesen, Steven Brown, John Wiltshier, Pearson Longman, ISBN: 978-9813132757
------	--

参考書	Materials will be issued in class as necessary. 必要に応じ授業の中で紹介する
-----	---

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。 2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。 3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。 4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。 5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。 6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。
---------------	--

授業コード	10402206	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Presenting Skills [対面]				
シラバス執筆(全員)	A. ナデュー				
シラバス執筆(主)	A. ナデュー				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

(Regular) The aim of this course is to develop to the basics of English conversation and introduce the basic skills of presenting. During each class, students will take part in conversations about different topics and associated vocabulary and grammar. To develop presenting skills, students will receive instruction in posture, eye contact, and voice inflection and will give presentations using Power Point. Sometimes you will work in pairs or small groups, but other times you will work on your own or in a whole class activity. You are expected to actively participate in each activity. There will be regular quizzes, weekly homework assignments and class presentation projects. A final presentation will be done in class and submitted as a Power Point video presentation. You will need to do at least 1 hour per week of outside studies, such as class preparation and review. Google Classroom will be used for assignments and information about this course.

到達目標

At the end of the course, you will be able to:

1. develop the ability to converse about various everyday topics.
2. develop listening and speaking skills related to everyday conversation.
3. learn vocabulary essential for conversing about various everyday topics.
4. improve presentation delivery skills.
5. improve presentation visuals and slides.

授業計画

- 【第1回】
 テーマ: Course orientation. Google Classroom orientation and explanation. Study of presenting skills.
 内容・方法: Presenting skills, posture, gestures, and voice inflections. Application and practice - introductions. HWK: Self-Introduction power point slide
- 【第2回】
 テーマ: Presentation skills practice & Self-Introduction Power Point (1 Slide)
 内容・方法: Presentation 1 - group presentations and student checklist & feedback. HWK review text unit
- 【第3回】
 テーマ: Unit 7: I love weekends!
 内容・方法: Vocabulary building & quiz; Listening/Reading review. Dialog & pair work. HWK Reading and grammar.
- 【第4回】
 テーマ: Unit 8: Let's eat!
 内容・方法: Vocabulary building & quiz; Listening/Reading review. Dialog & pair work. HWK Reading and grammar.
- 【第5回】
 テーマ: Review & Dialog Performance Tests (Units 7, 8)
 内容・方法: Review Presentation skills - posture, gestures, and voice inflections. Plan presentation 2 - decide the topic and plan the slides.
- 【第6回】
 テーマ: Presentation skills practice
 内容・方法: Presentation 2: prepare slides and practice delivery - peer edit slides & pairs give feedback and advice on presentation delivery. HWK: practice presentation 2
- 【第7回】
 テーマ: Presentation 2
 内容・方法: Presentation 2 - group presentations and student checklist & feedback. HWK review text unit
- 【第8回】
 テーマ: Unit 9: I really enjoy it!
 内容・方法: Vocabulary building & quiz; Listening/Reading review. Dialog & pair work. HWK Reading and grammar.
- 【第9回】
 テーマ: Unit 10: welcome to my home.
 内容・方法: Vocabulary building & quiz; Listening/Reading review. Dialog & pair work. HWK Reading and grammar.
- 【第10回】
 テーマ: Review & Dialog Performance Tests (Units 9, 10)
 内容・方法: Review Presentation skills - posture, gestures, and voice inflections. Plan presentation 3 - decide the topic and plan the slides.
- 【第11回】

テーマ : Presentation skills practice

内容・方法 : Presentation 3: prepare slides and practice delivery – peer edit slides & pairs give feedback and advice on presentation delivery. HWK: practice presentation 3.

【第12回】

テーマ : Presentation 3

内容・方法 : Presentation 3 – group presentations and student checklist & feedback.

【第13回】

テーマ : Final presentation

内容・方法 : Decide the topic, plan the presentation. Explanation of how to make a power point video presentation.

【第14回】

テーマ : Final Presentation- session 1

内容・方法 : Individual presentations – student feedback and comment.

【第15回】

テーマ : Final Presentation- session 2

内容・方法 : Individual presentations – student feedback and comment. Explanation of final test – submit a power point movie recording of the final presentation.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

①事前学修課題 : Review English studied in the Oral English course.

②事後学修課題 : Review and practice presenting skills. Do HWK presentation assignment

【第2回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Practice and prepare for the presentation.

②事後学修課題 : Review the text unit .

【第3回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read text unit.

②事後学修課題 : Do HWK assignments.

【第4回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read text unit.

②事後学修課題 : Do HWK assignments. Prepare for the unit review.

【第5回】

①事前学修課題 : Review for the unit test.

②事後学修課題 : Review Presentation skills – posture, gestures, and voice inflections. Do HWK presentation assignments.

【第6回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Review presentation skills practice.

②事後学修課題 : Practice and prepare for presentation.

【第7回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Practice your presentation.

②事後学修課題 : Review the text unit .

【第8回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read text unit.

②事後学修課題 : Do HWK assignments.

【第9回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read text unit.

②事後学修課題 : Do HWK assignments. Prepare for the unit review.

【第10回】

①事前学修課題 : Review for the unit test.

②事後学修課題 : Review Presentation skills – posture, gestures, and voice inflections. Do HWK presentation assignments.

【第11回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Review presentation skills practice.

②事後学修課題 : Practice and prepare for presentation.

【第12回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Practice your presentation.

②事後学修課題 : Prepare for final presentation and do HWK presentation assignments.

【第13回】

①事前学修課題 : Prepare for final presentation.

②事後学修課題 : Prepare for final presentation and do HWK presentation assignments.

【第14回】

①事前学修課題 : Prepare for final presentation.

②事後学修課題 : Submit feedback and comments.

【第15回】

②事前学修課題 : Prepare for final presentation.

②事後学修課題 : Submit feedback and comments. Submit the final presentation power point.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

4. The teacher will tell you your current grade at least three times during the semester. In addition, your grades may also be posted regularly on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

「以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する」

General Grade Category Breakdown:

- 1) Participation and class activities (10%)
- 2) Language (vocabulary & grammar quizzes) (30%)
- 3) Unit reviews (10%)
- 4) 3 Class Presentations (30%)
- 5) Homework assignments (10%)
- 6) Final presentation and video presentation (10%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	80	Participation and class activities (10%), language (vocabulary & grammar quizzes) (30%), unit reviews (10%), and 3 Class Presentations (30%).	1, 2, 3, 4
授業外での評価	10	Homework assignments (10%)	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	10	Final Presentation and video examination (10%)	4, 5
その他	0	none	

テキスト	English Firsthand ACCESS. Student Book with MyMobileWorld (2018 5th edition), Marc Helgesen, Steven Brown, John Wiltshier, Pearson Longman, ISBN: 978-9813132757
------	--

参考書	Materials will be issued in class as necessary. 必要に応じ授業の中で紹介する
-----	---

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。 2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。 3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。 4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。 5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。 6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。
---------------	--

授業コード	10402231	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Presenting Skills [対面]				
シラバス執筆(全員)	I. M. アレンズワース				
シラバス執筆(主)	I. M. アレンズワース				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

(Regular) The aim of this course is to develop to the basics of English conversation and introduce the basic skills of presenting. During each class, students will take part in conversations about different topics and associated vocabulary and grammar. To develop presenting skills, students will receive instruction in posture, eye contact, and voice inflection and will give presentations using Power Point. Sometimes you will work in pairs or small groups, but other times you will work on your own or in a whole class activity. You are expected to actively participate in each activity. There will be regular quizzes, weekly homework assignments and class presentation projects. A final presentation will be done in class and submitted as a Power Point video presentation. You will need to do at least 1 hour per week of outside studies, such as class preparation and review. Google Classroom will be used for assignments and information about this course.

到達目標

At the end of the course, you will be able to:

1. develop the ability to converse about various everyday topics.
2. develop listening and speaking skills related to everyday conversation.
3. learn vocabulary essential for conversing about various everyday topics.
4. improve presentation delivery skills.
5. improve presentation visuals and slides.

授業計画

- 【第1回】
 テーマ: Course orientation. Google Classroom orientation and explanation. Study of presenting skills.
 内容・方法: Presenting skills, posture, gestures, and voice inflections. Application and practice - introductions. HWK: Self-Introduction power point slide
- 【第2回】
 テーマ: Presentation skills practice & Self-Introduction Power Point (1 Slide)
 内容・方法: Presentation 1 - group presentations and student checklist & feedback. HWK review text unit
- 【第3回】
 テーマ: Unit 7: I love weekends!
 内容・方法: Vocabulary building & quiz; Listening/Reading review. Dialog & pair work. HWK Reading and grammar.
- 【第4回】
 テーマ: Unit 8: Let's eat!
 内容・方法: Vocabulary building & quiz; Listening/Reading review. Dialog & pair work. HWK Reading and grammar.
- 【第5回】
 テーマ: Review & Dialog Performance Tests (Units 7, 8)
 内容・方法: Review Presentation skills - posture, gestures, and voice inflections. Plan presentation 2 - decide the topic and plan the slides.
- 【第6回】
 テーマ: Presentation skills practice
 内容・方法: Presentation 2: prepare slides and practice delivery - peer edit slides & pairs give feedback and advice on presentation delivery. HWK: practice presentation 2
- 【第7回】
 テーマ: Presentation 2
 内容・方法: Presentation 2 - group presentations and student checklist & feedback. HWK review text unit
- 【第8回】
 テーマ: Unit 9: I really enjoy it!
 内容・方法: Vocabulary building & quiz; Listening/Reading review. Dialog & pair work. HWK Reading and grammar.
- 【第9回】
 テーマ: Unit 10: welcome to my home.
 内容・方法: Vocabulary building & quiz; Listening/Reading review. Dialog & pair work. HWK Reading and grammar.
- 【第10回】
 テーマ: Review & Dialog Performance Tests (Units 9, 10)
 内容・方法: Review Presentation skills - posture, gestures, and voice inflections. Plan presentation 3 - decide the topic and plan the slides.
- 【第11回】

テーマ : Presentation skills practice

内容・方法 : Presentation 3: prepare slides and practice delivery – peer edit slides & pairs give feedback and advice on presentation delivery. HWK: practice presentation 3.

【第12回】

テーマ : Presentation 3

内容・方法 : Presentation 3 – group presentations and student checklist & feedback.

【第13回】

テーマ : Final presentation

内容・方法 : Decide the topic, plan the presentation. Explanation of how to make a power point video presentation.

【第14回】

テーマ : Final Presentation- session 1

内容・方法 : Individual presentations – student feedback and comment.

【第15回】

テーマ : Final Presentation- session 2

内容・方法 : Individual presentations – student feedback and comment. Explanation of final test – submit a power point movie recording of the final presentation.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

①事前学修課題 : Review English studied in the Oral English course.

②事後学修課題 : Review and practice presenting skills. Do HWK presentation assignment

【第2回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Practice and prepare for the presentation.

②事後学修課題 : Review the text unit .

【第3回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read text unit.

②事後学修課題 : Do HWK assignments.

【第4回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read text unit.

②事後学修課題 : Do HWK assignments. Prepare for the unit review.

【第5回】

①事前学修課題 : Review for the unit test.

②事後学修課題 : Review Presentation skills – posture, gestures, and voice inflections. Do HWK presentation assignments.

【第6回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Review presentation skills practice.

②事後学修課題 : Practice and prepare for presentation.

【第7回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Practice your presentation.

②事後学修課題 : Review the text unit .

【第8回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read text unit.

②事後学修課題 : Do HWK assignments.

【第9回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read text unit.

②事後学修課題 : Do HWK assignments. Prepare for the unit review.

【第10回】

①事前学修課題 : Review for the unit test.

②事後学修課題 : Review Presentation skills – posture, gestures, and voice inflections. Do HWK presentation assignments.

【第11回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Review presentation skills practice.

②事後学修課題 : Practice and prepare for presentation.

【第12回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Practice your presentation.

②事後学修課題 : Prepare for final presentation and do HWK presentation assignments.

【第13回】

①事前学修課題 : Prepare for final presentation.

②事後学修課題 : Prepare for final presentation and do HWK presentation assignments.

【第14回】

①事前学修課題 : Prepare for final presentation.

②事後学修課題 : Submit feedback and comments.

【第15回】

②事前学修課題 : Prepare for final presentation.

②事後学修課題 : Submit feedback and comments. Submit the final presentation power point.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

4. The teacher will tell you your current grade at least three times during the semester. In addition, your grades may also be posted regularly on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

「以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する」

General Grade Category Breakdown:

- 1) Participation and class activities (10%)
- 2) Language (vocabulary & grammar quizzes) (30%)
- 3) Unit reviews (10%)
- 4) 3 Class Presentations (30%)
- 5) Homework assignments (10%)
- 6) Final presentation and video presentation (10%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	80	Participation and class activities (10%), language (vocabulary & grammar quizzes) (30%), unit reviews (10%), and 3 Class Presentations (30%).	1, 2, 3, 4
授業外での評価	10	Homework assignments (10%)	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	10	Final Presentation and video examination (10%)	4, 5
その他	0	none	

テキスト	English Firsthand ACCESS. Student Book with MyMobileWorld (2018 5th edition), Marc Helgesen, Steven Brown, John Wiltshier, Pearson Longman, ISBN: 978-9813132757
------	--

参考書	Materials will be issued in class as necessary. 必要に応じ授業の中で紹介する
-----	---

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。 2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。 3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。 4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。 5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。 6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。
---------------	--

授業コード	10402232	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Presenting Skills [対面]				
シラバス執筆(全員)	J. エチャャー				
シラバス執筆(主)	J. エチャャー				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

(Regular) The aim of this course is to develop to the basics of English conversation and introduce the basic skills of presenting. During each class, students will take part in conversations about different topics and associated vocabulary and grammar. To develop presenting skills, students will receive instruction in posture, eye contact, and voice inflection and will give presentations using Power Point. Sometimes you will work in pairs or small groups, but other times you will work on your own or in a whole class activity. You are expected to actively participate in each activity. There will be regular quizzes, weekly homework assignments and class presentation projects. A final presentation will be done in class and submitted as a Power Point video presentation. You will need to do at least 1 hour per week of outside studies, such as class preparation and review. Google Classroom will be used for assignments and information about this course.

到達目標

At the end of the course, you will be able to:

1. develop the ability to converse about various everyday topics.
2. develop listening and speaking skills related to everyday conversation.
3. learn vocabulary essential for conversing about various everyday topics.
4. improve presentation delivery skills.
5. improve presentation visuals and slides.

授業計画

【第1回】
 テーマ: Course orientation. Google Classroom orientation and explanation. Study of presenting skills.
 内容・方法: Presenting skills, posture, gestures, and voice inflections. Application and practice - introductions. HWK: Self-Introduction power point slide

【第2回】
 テーマ: Presentation skills practice & Self-Introduction Power Point (1 Slide)
 内容・方法: Presentation 1 - group presentations and student checklist & feedback. HWK review text unit

【第3回】
 テーマ: Unit 7: I love weekends!
 内容・方法: Vocabulary building & quiz; Listening/Reading review. Dialog & pair work. HWK Reading and grammar.

【第4回】
 テーマ: Unit 8: Let's eat!
 内容・方法: Vocabulary building & quiz; Listening/Reading review. Dialog & pair work. HWK Reading and grammar.

【第5回】
 テーマ: Review & Dialog Performance Tests (Units 7, 8)
 内容・方法: Review Presentation skills - posture, gestures, and voice inflections. Plan presentation 2 - decide the topic and plan the slides.

【第6回】
 テーマ: Presentation skills practice
 内容・方法: Presentation 2: prepare slides and practice delivery - peer edit slides & pairs give feedback and advice on presentation delivery. HWK: practice presentation 2

【第7回】
 テーマ: Presentation 2
 内容・方法: Presentation 2 - group presentations and student checklist & feedback. HWK review text unit

【第8回】
 テーマ: Unit 9: I really enjoy it!
 内容・方法: Vocabulary building & quiz; Listening/Reading review. Dialog & pair work. HWK Reading and grammar.

【第9回】
 テーマ: Unit 10: welcome to my home.
 内容・方法: Vocabulary building & quiz; Listening/Reading review. Dialog & pair work. HWK Reading and grammar.

【第10回】
 テーマ: Review & Dialog Performance Tests (Units 9, 10)
 内容・方法: Review Presentation skills - posture, gestures, and voice inflections. Plan presentation 3 - decide the topic and plan the slides.

【第11回】

テーマ : Presentation skills practice

内容・方法 : Presentation 3: prepare slides and practice delivery – peer edit slides & pairs give feedback and advice on presentation delivery. HWK: practice presentation 3.

【第12回】

テーマ : Presentation 3

内容・方法 : Presentation 3 – group presentations and student checklist & feedback.

【第13回】

テーマ : Final presentation

内容・方法 : Decide the topic, plan the presentation. Explanation of how to make a power point video presentation.

【第14回】

テーマ : Final Presentation- session 1

内容・方法 : Individual presentations – student feedback and comment.

【第15回】

テーマ : Final Presentation- session 2

内容・方法 : Individual presentations – student feedback and comment. Explanation of final test – submit a power point movie recording of the final presentation.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

①事前学修課題 : Review English studied in the Oral English course.

②事後学修課題 : Review and practice presenting skills. Do HWK presentation assignment

【第2回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Practice and prepare for the presentation.

②事後学修課題 : Review the text unit .

【第3回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read text unit.

②事後学修課題 : Do HWK assignments.

【第4回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read text unit.

②事後学修課題 : Do HWK assignments. Prepare for the unit review.

【第5回】

①事前学修課題 : Review for the unit test.

②事後学修課題 : Review Presentation skills – posture, gestures, and voice inflections. Do HWK presentation assignments.

【第6回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Review presentation skills practice.

②事後学修課題 : Practice and prepare for presentation.

【第7回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Practice your presentation.

②事後学修課題 : Review the text unit .

【第8回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read text unit.

②事後学修課題 : Do HWK assignments.

【第9回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Read text unit.

②事後学修課題 : Do HWK assignments. Prepare for the unit review.

【第10回】

①事前学修課題 : Review for the unit test.

②事後学修課題 : Review Presentation skills – posture, gestures, and voice inflections. Do HWK presentation assignments.

【第11回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Review presentation skills practice.

②事後学修課題 : Practice and prepare for presentation.

【第12回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Practice your presentation.

②事後学修課題 : Prepare for final presentation and do HWK presentation assignments.

【第13回】

①事前学修課題 : Prepare for final presentation.

②事後学修課題 : Prepare for final presentation and do HWK presentation assignments.

【第14回】

①事前学修課題 : Prepare for final presentation.

②事後学修課題 : Submit feedback and comments.

【第15回】

② 事前学修課題 : Prepare for final presentation.

②事後学修課題 : Submit feedback and comments. Submit the final presentation power point.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

4. The teacher will tell you your current grade at least three times during the semester. In addition, your grades may also be posted regularly on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

「以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する」

General Grade Category Breakdown:

- 1) Participation and class activities (10%)
- 2) Language (vocabulary & grammar quizzes) (30%)
- 3) Unit reviews (10%)
- 4) 3 Class Presentations (30%)
- 5) Homework assignments (10%)
- 6) Final presentation and video presentation (10%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	80	Participation and class activities (10%), language (vocabulary & grammar quizzes) (30%), unit reviews (10%), and 3 Class Presentations (30%).	1, 2, 3, 4
授業外での評価	10	Homework assignments (10%)	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	10	Final Presentation and video examination (10%)	4, 5
その他	0	none	

テキスト	English Firsthand ACCESS. Student Book with MyMobileWorld (2018 5th edition), Marc Helgesen, Steven Brown, John Wiltshier, Pearson Longman, ISBN: 978-9813132757
------	--

参考書	Materials will be issued in class as necessary. 必要に応じ授業の中で紹介する
-----	---

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。 2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。 3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。 4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。 5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。 6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。
---------------	--

授業コード	10402251	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Presenting Skills [対面]				
シラバス執筆(全員)	S. ハティング				
シラバス執筆(主)	S. ハティング				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course focuses on presentation, public speaking, and general academic skills. Students will develop effective presenting skills, learning how to deliver their presentation well and how to explain their visuals comprehensibly. Students will learn accurate vocabulary, grammar, and useful expressions for presenting. Students will learn and practice the appropriate use of gestures, voice inflection, posture and eye contact when presenting. Students will learn to plan presentations through a process of brainstorming and organizing ideas, and will learn how to make informative, demonstration and comparison presentations using power point. Finally, students will develop academic skills and strategies for taking effective notes, as well as critical thinking skills for questioning speakers and recognizing alternative viewpoints. Students will be required to do class presentations and submit recorded power point videos of their presentations. Google Classroom will be used for assignments and information about this course.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to...

1. Prepare and make presentations (organize ideas, use proper public speaking techniques, effectively use PowerPoints, etc.)
2. Develop academic and presentation skills (effectively deliver a presentation and explain the slides.)
3. Understand and be able to make an informative, demonstration, or comparison presentation.
4. Demonstrate the appropriate use of gestures, voice inflection, posture and eye contact.

授業計画

【第1回】
 テーマ：Course orientation. Google Classroom orientation and explanation. The visual message.
 内容・方法：Review of spring semester material. Watch and discuss visual Youtube videos: Your list of what makes a good visual aid.

【第2回】
 テーマ：Unit 4: Effective visual aids (pp 50-59)
 内容・方法：Textbook activities and application. Visual aids textbook video Episode 4 part 1.

【第3回】
 テーマ：Unit 5: Explaining Visual aids (pp 60-63)
 内容・方法：Textbook activities, Practice and application of IEET - explaining power point slides.
 IEET: Video of explaining a powerpoint slide

【第4回】
 テーマ：Comparison Presentation (pp 64-68)
 内容・方法：Country comparisons slides preparation. Powerpoint slides preparation. HWK: Powerpoint video - practice explaining the slides.

【第5回】
 テーマ：Presentation 1: Country comparison preparations
 内容・方法：Class presentation activity and evaluation: presentation market. Reflection: What I have learned about making presentations

【第6回】
 テーマ：Story message (pp 69-73) -Term powerpoint project start
 内容・方法：Term power point project explanation and introduction. Presentation structure. My favorite restaurant and student feedback

【第7回】
 テーマ：Unit 6: Introduction (p 74-81)
 内容・方法：Textbook activities. Understanding the introduction and introductory phrases.

【第8回】
 テーマ：Term Presentation Part 1 (first draft): Introduction (p 82). Grade review.
 内容・方法：Discussion of themes, brainstorming and sourcing information. Preparing information and citing sources. Preparing slides and writing speech content. HWK: Complete slides and make a powerpoint video

【第9回】
 テーマ：Term Presentation Part 1 (first draft): Introduction (continued)
 内容・方法：Present in groups - peer feedback and evaluation. HWK: review tests 6 & 7

【第10回】
 テーマ：Unit 7: Body (pp 83-93)
 内容・方法：Textbook activities. Understanding the body and useful body phrases, transitions and sequencers.

【第11回】

テーマ : Term Presentation Part 2 (first draft): Body (pp 94-101).
内容・方法 : Sourcing information and citing sources. Preparing slides and writing speech content.
HWK: Complete slides and make a power point video.

【第12回】

テーマ : Term Presentation Part 2 (first draft): Introduction (continued)
内容・方法 : Present in groups - peer feedback and evaluation. HWK: review tests 8 & 9

【第13回】

テーマ : Unit 8: Conclusion (pp 103-113)
内容・方法 : Textbook activities. Understanding the Conclusion and useful conclusion phrases.

【第14回】

テーマ : Term Presentation Part 3 (first draft): Body (pp 111-113).
内容・方法 : Sourcing information and citing sources. Preparing slides and writing speech content.
HWK: Complete slides and make a power point video.

【第15回】

テーマ : Term Presentation Part 2 (first draft): Introduction (continued)
内容・方法 : Present in groups - peer feedback and evaluation. HWK: review tests 10. Final examination: submission of the Term presentation (final draft).

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

- ①事前学修課題 : Register for Google Classroom. Review the textbook physical message.
- ②事後学修課題 : Review the class content. Your list of what makes a good visual aid.

【第2回】

- ①事前学修課題 : Check you have done your assignments correctly. Read Unit 4.
- ②事後学修課題 : Complete HWK assignments.

【第3回】

- ①事前学修課題 : Check you have done your assignments correctly. Read Unit 5.
- ②事後学修課題 : IEET: Video of explaining a power point slide

【第4回】

- ①事前学修課題 : Check you have done your assignments correctly.
- ②事後学修課題 : HWK: Power point video - practice explaining the slides.

【第5回】

- ①事前学修課題 : Prepare for presentation 1.
- ②事後学修課題 : Reflection: What I have learned about making presentations

【第6回】

- ①事前学修課題 : Check you have done your assignments correctly.
- ②事後学修課題 : My favorite restaurant and student feedback

【第7回】

- ①事前学修課題 : Check you have done your assignments correctly. Read Unit 6.
- ②事後学修課題 : Complete HWK assignments.

【第8回】

- ①事前学修課題 : Check you have done your assignments correctly. Review your grades and course progress.
- ②事後学修課題 : HWK: Complete slides and make a power point video.

【第9回】

- ①事前学修課題 : Prepare for Term Presentation Part 1.
- ②事後学修課題 : HWK: review tests 6 & 7

【第10回】

- ①事前学修課題 : Check you have done your assignments correctly. Read unit 7.
- ②事後学修課題 : Complete HWK assignments.

【第11回】

- ①事前学修課題 : Check you have done your assignments correctly.
- ②事後学修課題 : HWK: Complete slides and make a power point video.

【第12回】

- ①事前学修課題 : Prepare for Term Presentation Part 2.
- ②事後学修課題 : HWK: review tests 8 & 9

【第13回】

- ①事前学修課題 : Check you have done your assignments correctly. Read Unit 8.
- ②事後学修課題 : Complete HWK assignments.

【第14回】

- ①事前学修課題 : Review your grades and course progress. Prepare for Term Presentation Part 3.
- ②事後学修課題 : HWK: Complete slides and make a power point video.

【第15回】

- ①事前学修課題 : Check you have done your assignments correctly.
- ②事後学修課題 : HWK: review tests 10. Final examination: submission of the Term presentation (final draft).

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on classwork, PowerPoint slides and recorded presentations completed as homework assignments, in-class presentations, and a final test and presentation. Students with marks of 60 or more will pass and get credit for the course. If a student is absent more than 4 times without a valid excuse, (s)he will be given a “K” (failing mark).

Grade Breakdown:

- 1) Class participation and textbook activities (20%)
- 2) PowerPoint Slides (20%)
- 3) PowerPoint videos (20%)
- 4) Classroom presentations (25%)
- 5) Review test (5%)
- 6) Final Presentation (10%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Class participation and textbook activities (20%), classroom presentations (25%), review test (5%).	1, 2, 3, 4, 5
授業外での評価	40	Homework PowerPoint slides (20%), PowerPoint Videos (20%)	1, 2, 3, 4, 5
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	10	Final examination – PP slide presentation & Power point video (10%)	1, 2, 3, 4, 5
その他	0	none	

テキスト	Speaking of Speech (Premium Edition), Charles LeBeau, 2021; National Geographic Learning/Gengage Cengage Learning; ISBN: 978-4-86312-385-4
------	--

参考書	
-----	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。 2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。 3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。 4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。 5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。 6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD – 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。
---------------	---

授業コード	10402252	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Presenting Skills [対面]				
シラバス執筆(全員)	S. J. カー				
シラバス執筆(主)	S. J. カー				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course focuses on presentation, public speaking, and general academic skills. Students will develop effective presenting skills, learning how to deliver their presentation well and how to explain their visuals comprehensibly. Students will learn accurate vocabulary, grammar, and useful expressions for presenting. Students will learn and practice the appropriate use of gestures, voice inflection, posture and eye contact when presenting. Students will learn to plan presentations through a process of brainstorming and organizing ideas, and will learn how to make informative, demonstration and comparison presentations using power point. Finally, students will develop academic skills and strategies for taking effective notes, as well as critical thinking skills for questioning speakers and recognizing alternative viewpoints. Students will be required to do class presentations and submit recorded power point videos of their presentations. Google Classroom will be used for assignments and information about this course.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to...

1. Prepare and make presentations (organize ideas, use proper public speaking techniques, effectively use PowerPoints, etc.)
2. Develop academic and presentation skills (effectively deliver a presentation and explain the slides.)
3. Understand and be able to make an informative, demonstration, or comparison presentation.
4. Demonstrate the appropriate use of gestures, voice inflection, posture and eye contact.

授業計画

【第1回】
 テーマ：Course orientation. Google Classroom orientation and explanation. The visual message.
 内容・方法：Review of spring semester material. Watch and discuss visual Youtube videos: Your list of what makes a good visual aid.

【第2回】
 テーマ：Unit 4: Effective visual aids (pp 50-59)
 内容・方法：Textbook activities and application. Visual aids textbook video Episode 4 part 1.

【第3回】
 テーマ：Unit 5: Explaining Visual aids (pp 60-63)
 内容・方法：Textbook activities, Practice and application of IEET - explaining power point slides.
 IEET: Video of explaining a powerpoint slide

【第4回】
 テーマ：Comparison Presentation (pp 64-68)
 内容・方法：Country comparisons slides preparation. Powerpoint slides preparation. HWK: Powerpoint video - practice explaining the slides.

【第5回】
 テーマ：Presentation 1: Country comparison preparations
 内容・方法：Class presentation activity and evaluation: presentation market. Reflection: What I have learned about making presentations

【第6回】
 テーマ：Story message (pp 69-73) -Term powerpoint project start
 内容・方法：Term power point project explanation and introduction. Presentation structure. My favorite restaurant and student feedback

【第7回】
 テーマ：Unit 6: Introduction (p 74-81)
 内容・方法：Textbook activities. Understanding the introduction and introductory phrases.

【第8回】
 テーマ：Term Presentation Part 1 (first draft): Introduction (p 82). Grade review.
 内容・方法：Discussion of themes, brainstorming and sourcing information. Preparing information and citing sources. Preparing slides and writing speech content. HWK: Complete slides and make a powerpoint video

【第9回】
 テーマ：Term Presentation Part 1 (first draft): Introduction (continued)
 内容・方法：Present in groups - peer feedback and evaluation. HWK: review tests 6 & 7

【第10回】
 テーマ：Unit 7: Body (pp 83-93)
 内容・方法：Textbook activities. Understanding the body and useful body phrases, transitions and sequencers.

【第11回】

テーマ : Term Presentation Part 2 (first draft): Body (pp 94-101).
内容・方法 : Sourcing information and citing sources. Preparing slides and writing speech content.
HWK: Complete slides and make a power point video.

【第12回】

テーマ : Term Presentation Part 2 (first draft): Introduction (continued)
内容・方法 : Present in groups – peer feedback and evaluation. HWK: review tests 8 & 9

【第13回】

テーマ : Unit 8: Conclusion (pp 103-113)
内容・方法 : Textbook activities. Understanding the Conclusion and useful conclusion phrases.

【第14回】

テーマ : Term Presentation Part 3 (first draft): Body (pp 111-113).
内容・方法 : Sourcing information and citing sources. Preparing slides and writing speech content.
HWK: Complete slides and make a power point video.

【第15回】

テーマ : Term Presentation Part 2 (first draft): Introduction (continued)
内容・方法 : Present in groups – peer feedback and evaluation. HWK: review tests 10. Final examination: submission of the Term presentation (final draft).

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

- ①事前学修課題 : Register for Google Classroom. Review the textbook physical message.
- ②事後学修課題 : Review the class content. Your list of what makes a good visual aid.

【第2回】

- ①事前学修課題 : Check you have done your assignments correctly. Read Unit 4.
- ②事後学修課題 : Complete HWK assignments.

【第3回】

- ①事前学修課題 : Check you have done your assignments correctly. Read Unit 5.
- ②事後学修課題 : IEET: Video of explaining a power point slide

【第4回】

- ①事前学修課題 : Check you have done your assignments correctly.
- ②事後学修課題 : HWK: Power point video – practice explaining the slides.

【第5回】

- ①事前学修課題 : Prepare for presentation 1.
- ②事後学修課題 : Reflection: What I have learned about making presentations

【第6回】

- ①事前学修課題 : Check you have done your assignments correctly.
- ②事後学修課題 : My favorite restaurant and student feedback

【第7回】

- ①事前学修課題 : Check you have done your assignments correctly. Read Unit 6.
- ②事後学修課題 : Complete HWK assignments.

【第8回】

- ①事前学修課題 : Check you have done your assignments correctly. Review your grades and course progress.
- ②事後学修課題 : HWK: Complete slides and make a power point video.

【第9回】

- ①事前学修課題 : Prepare for Term Presentation Part 1.
- ②事後学修課題 : HWK: review tests 6 & 7

【第10回】

- ①事前学修課題 : Check you have done your assignments correctly. Read unit 7.
- ②事後学修課題 : Complete HWK assignments.

【第11回】

- ①事前学修課題 : Check you have done your assignments correctly.
- ②事後学修課題 : HWK: Complete slides and make a power point video.

【第12回】

- ①事前学修課題 : Prepare for Term Presentation Part 2.
- ②事後学修課題 : HWK: review tests 8 & 9

【第13回】

- ①事前学修課題 : Check you have done your assignments correctly. Read Unit 8.
- ②事後学修課題 : Complete HWK assignments.

【第14回】

- ①事前学修課題 : Review your grades and course progress. Prepare for Term Presentation Part 3.
- ②事後学修課題 : HWK: Complete slides and make a power point video.

【第15回】

- ①事前学修課題 : Check you have done your assignments correctly.
- ②事後学修課題 : HWK: review tests 10. Final examination: submission of the Term presentation (final draft).

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on classwork, PowerPoint slides and recorded presentations completed as homework assignments, in-class presentations, and a final test and presentation. Students with marks of 60 or more will pass and get credit for the course. If a student is absent more than 4 times without a valid excuse, (s)he will be given a “K” (failing mark).

Grade Breakdown:

- 1) Class participation and textbook activities (20%)
- 2) PowerPoint Slides (20%)
- 3) PowerPoint videos (20%)
- 4) Classroom presentations (25%)
- 5) Review test (5%)
- 6) Final Presentation (10%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Class participation and textbook activities (20%), classroom presentations (25%), review test (5%).	1, 2, 3, 4, 5
授業外での評価	40	Homework PowerPoint slides (20%), PowerPoint Videos (20%)	1, 2, 3, 4, 5
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	10	Final examination – PP slide presentation & Power point video (10%)	1, 2, 3, 4, 5
その他	0	none	

テキスト	Speaking of Speech (Premium Edition), Charles LeBeau, 2021; National Geographic Learning/Gengage Cengage Learning; ISBN: 978-4-86312-385-4
------	--

参考書	
-----	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。 2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。 3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。 4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。 5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。 6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD – 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。
---------------	---

授業コード	10402307	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Oral English II [対面]				
シラバス執筆(全員)	P.L. ストリックランド				
シラバス執筆(主)	P.L. ストリックランド				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course will help you continue to improve your English conversation ability. In this course you will have many opportunities to practice speaking, mostly in pairs and small groups. You will also start to learn some strategies for managing conversations in order to make your conversations better, longer, and more correct. You will continue to study useful expressions, vocabulary and improve your grammar usage. Listening and reading activities are included to support your English development. Google Classroom will be used in this course for materials and assignments. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

到達目標

At the end of the course, you will be able to:

- ① converse in English in various situations
- ② carry on longer and longer conversations
- ③ increase your productive vocabulary
- ④ be able to use basic English grammar when speaking

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：Course explanation and Google Classroom orientation.
 内容・方法：Scope and sequence.
- 【第2回】
 テーマ：Greetings, Introducing yourself
 内容・方法：Conversation and Language practice, Registration for online practice
- 【第3回】
 テーマ：Greetings, Introducing yourself
 内容・方法：Listening, reading and conversation practice. Quiz.
- 【第4回】
 テーマ：Personal Information
 内容・方法：Conversation and Language practice
- 【第5回】
 テーマ：Personal Information
 内容・方法：Listening, reading and conversation practice. Quiz.
- 【第6回】
 テーマ：Talking about likes and dislikes
 内容・方法：Conversation and Language practice
- 【第7回】
 テーマ：Talking about likes and dislikes
 内容・方法：Listening, reading and conversation practice. Quiz.
- 【第8回】
 テーマ：Mid- semester review & assessment
 内容・方法：Review Units 1-3 and mid-semester assessment.
- 【第9回】
 テーマ：Talking about habits and routines
 内容・方法：Conversation and Language practice
- 【第10回】
 テーマ：Talking about habits and routines
 内容・方法：Listening, reading and conversation practice. Quiz.
- 【第11回】
 テーマ：Describing everyday activities
 内容・方法：Conversation and Language practice
- 【第12回】
 テーマ：Describing everyday activities
 内容・方法：Listening, reading and conversation practice. Quiz.
- 【第13回】
 テーマ：Talking about past events
 内容・方法：Conversation and Language practice
- 【第14回】
 テーマ：Talking about past events
 内容・方法：Listening, reading and conversation practice. Quiz.
- 【第15回】
 テーマ：End-of-semester review & assessment
 内容・方法：Review of units 4-6 and explanation of final assessment.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

- ①事前学修課題: Buy the textbook Register for Google Classroom.
- ②事後学修課題: Homework assignments and Unit 1, 1-5 online vocabulary and grammar activities.

【第2回】

- ①事前学修課題: Do Unit 1-1-5 オンラインOnline Vocabulary and Grammar activities.
- ②事後学修課題: Homework assignment and do Unit 1-All online activities

【第3回】

- ①事前学修課題: Complete all online conversation and video activities for Unit 1.
- ②事後学修課題: Homework assignments and do Unit 2, 1-5 online vocabulary and grammar activities.

【第4回】

- ①事前学修課題: Do Unit 2, 1-5 Online Vocabulary and Grammar activities.
- ②事後学修課題: Homework assignments and complete all Unit 2 online conversation and video activities

【第5回】

- ①事前学修課題: Complete all Unit 2 online conversation and video activities
- ②事後学修課題: Homework assignments do Unit 3, 1-5, online vocabulary and grammar activities.

【第6回】

- ①事前学修課題: Do Unit 3, 1-5, Online Vocabulary and Grammar activities.
- ②事後学修課題: Homework assignments and complete all Unit 3 online conversation and video activities.

【第7回】

- ①事前学修課題: Complete all Unit 3 online conversation and video activities.
- ②事後学修課題: Review Units 1-3 vocabulary, grammar and conversation routines. Prepare for the mid-term assessment.

【第8回】

- ①事前学修課題: Review Units 1-3 vocabulary, grammar and conversation routines for the mid-term assessment.
- ②事後学修課題: Homework assignments and do Unit 4, 1-5 all online vocabulary and grammar activities

【第9回】

- ①事前学修課題: Do Unit 4, 1-5 all Online Vocabulary and Grammar activities
- ②事後学修課題: Homework assignments and complete all Unit 4 online conversation and video activities.

【第10回】

- ①事前学修課題: Complete all Unit 4 online conversation and video activities.
- ②事後学修課題: Homework assignments and do Unit 5, 1-5 online vocabulary and grammar activities.

【第11回】

- ①事前学修課題: Do Unit 5, 1-5 Online Vocabulary and Grammar activities.
- ②事後学修課題: Homework assignments and complete all Unit 5 online conversation and video activities.

【第12回】

- ①事前学修課題: Complete all Unit 5 online conversation and video activities.
- ②事後学修課題: Homework assignments and do Unit 6, 1-5 online vocabulary and grammar activities.

【第13回】

- ①事前学修課題: Do Unit 6, 1-5 Online Vocabulary and Grammar activities.
- ②事後学修課題: Homework assignments and complete all Unit 6 online conversation and video activities.

【第14回】

- ①事前学修課題: Complete all Unit 6 online conversation and video activities.
- ②事後学修課題: Review Units 4-6 vocabulary, grammar and listening. Prepare for the final assessment.

【第15回】

- ①事前学修課題: Review Units 4-6 vocabulary, grammar and listening for the final assessment..
- ②事後学修課題: Submit the final examination. Listen to English during the summer break.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

You will be graded in class on dialog performance, pair work activities and class activities (30%). There will be regular vocabulary and grammar quizzes (20%). Homework and other textbook assignments will also be graded (20%). During the semester there will be 2 tests: a mid-term and end-of-term evaluation (20%). There will be a final examination (10%)

成績評価の種類

評価割合
(%)

評価方法・割合

評価対象となる到達目標

授業内での評価	70	dialog performance, pair work activities and class activities (30%), vocabulary and grammar quizzes (20%), a mid-term and end-of-term evaluation (20%).	1, 2, 3, 4
授業外での評価	20	Homework and other textbook assignments will also be graded (20%)	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	10	final examination (10%)	1, 2, 3, 4
その他	0	none	

テキスト	SMART CHOICE 1, 4th Edition with Online Practice, 2020, Ken Wilson, Thomas Healy, Oxford University Press, ISBN: 978-0-19-406099-8		
------	--	--	--

参考書	Smart Choice 1 Online Practice (optional)		
-----	---	--	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>		
---------------	--	--	--

授業コード	10402308	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Oral English II [対面]				
シラバス執筆(全員)	J. エチャャー				
シラバス執筆(主)	J. エチャャー				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course will help you continue to improve your English conversation ability. In this course you will have many opportunities to practice speaking, mostly in pairs and small groups. You will also start to learn some strategies for managing conversations in order to make your conversations better, longer, and more correct. You will continue to study useful expressions, vocabulary and improve your grammar usage. Listening and reading activities are included to support your English development. Google Classroom will be used in this course for materials and assignments. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

到達目標

At the end of the course, you will be able to:

- ① converse in English in various situations
- ② carry on longer and longer conversations
- ③ increase your productive vocabulary
- ④ be able to use basic English grammar when speaking

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：Course explanation and Google Classroom orientation.
 内容・方法：Scope and sequence.
- 【第2回】
 テーマ：Greetings, Introducing yourself
 内容・方法：Conversation and Language practice, Registration for online practice
- 【第3回】
 テーマ：Greetings, Introducing yourself
 内容・方法：Listening, reading and conversation practice. Quiz.
- 【第4回】
 テーマ：Personal Information
 内容・方法：Conversation and Language practice
- 【第5回】
 テーマ：Personal Information
 内容・方法：Listening, reading and conversation practice. Quiz.
- 【第6回】
 テーマ：Talking about likes and dislikes
 内容・方法：Conversation and Language practice
- 【第7回】
 テーマ：Talking about likes and dislikes
 内容・方法：Listening, reading and conversation practice. Quiz.
- 【第8回】
 テーマ：Mid- semester review & assessment
 内容・方法：Review Units 1-3 and mid-semester assessment.
- 【第9回】
 テーマ：Talking about habits and routines
 内容・方法：Conversation and Language practice
- 【第10回】
 テーマ：Talking about habits and routines
 内容・方法：Listening, reading and conversation practice. Quiz.
- 【第11回】
 テーマ：Describing everyday activities
 内容・方法：Conversation and Language practice
- 【第12回】
 テーマ：Describing everyday activities
 内容・方法：Listening, reading and conversation practice. Quiz.
- 【第13回】
 テーマ：Talking about past events
 内容・方法：Conversation and Language practice
- 【第14回】
 テーマ：Talking about past events
 内容・方法：Listening, reading and conversation practice. Quiz.
- 【第15回】
 テーマ：End-of-semester review & assessment
 内容・方法：Review of units 4-6 and explanation of final assessment.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

- ①事前学修課題: Buy the textbook Register for Google Classroom.
- ②事後学修課題: Homework assignments and Unit 1, 1-5 online vocabulary and grammar activities.

【第2回】

- ①事前学修課題: Do Unit 1-1-5 オンラインOnline Vocabulary and Grammar activities.
- ②事後学修課題: Homework assignment and do Unit 1-All online activities

【第3回】

- ①事前学修課題: Complete all online conversation and video activities for Unit 1.
- ②事後学修課題: Homework assignments and do Unit 2, 1-5 online vocabulary and grammar activities.

【第4回】

- ①事前学修課題: Do Unit 2, 1-5 Online Vocabulary and Grammar activities.
- ②事後学修課題: Homework assignments and complete all Unit 2 online conversation and video activities

【第5回】

- ①事前学修課題: Complete all Unit 2 online conversation and video activities
- ②事後学修課題: Homework assignments do Unit 3, 1-5, online vocabulary and grammar activities.

【第6回】

- ①事前学修課題: Do Unit 3, 1-5, Online Vocabulary and Grammar activities.
- ②事後学修課題: Homework assignments and complete all Unit 3 online conversation and video activities.

【第7回】

- ①事前学修課題: Complete all Unit 3 online conversation and video activities.
- ②事後学修課題: Review Units 1-3 vocabulary, grammar and conversation routines. Prepare for the mid-term assessment.

【第8回】

- ①事前学修課題: Review Units 1-3 vocabulary, grammar and conversation routines for the mid-term assessment.
- ②事後学修課題: Homework assignments and do Unit 4, 1-5 all online vocabulary and grammar activities

【第9回】

- ①事前学修課題: Do Unit 4, 1-5 all Online Vocabulary and Grammar activities
- ②事後学修課題: Homework assignments and complete all Unit 4 online conversation and video activities.

【第10回】

- ①事前学修課題: Complete all Unit 4 online conversation and video activities.
- ②事後学修課題: Homework assignments and do Unit 5, 1-5 online vocabulary and grammar activities.

【第11回】

- ①事前学修課題: Do Unit 5, 1-5 Online Vocabulary and Grammar activities.
- ②事後学修課題: Homework assignments and complete all Unit 5 online conversation and video activities.

【第12回】

- ①事前学修課題: Complete all Unit 5 online conversation and video activities.
- ②事後学修課題: Homework assignments and do Unit 6, 1-5 online vocabulary and grammar activities.

【第13回】

- ①事前学修課題: Do Unit 6, 1-5 Online Vocabulary and Grammar activities.
- ②事後学修課題: Homework assignments and complete all Unit 6 online conversation and video activities.

【第14回】

- ①事前学修課題: Complete all Unit 6 online conversation and video activities.
- ②事後学修課題: Review Units 4-6 vocabulary, grammar and listening. Prepare for the final assessment.

【第15回】

- ①事前学修課題: Review Units 4-6 vocabulary, grammar and listening for the final assessment..
- ②事後学修課題: Submit the final examination. Listen to English during the summer break.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

You will be graded in class on dialog performance, pair work activities and class activities (30%). There will be regular vocabulary and grammar quizzes (20%). Homework and other textbook assignments will also be graded (20%). During the semester there will be 2 tests: a mid-term and end-of-term evaluation (20%). There will be a final examination (10%)

成績評価の種類

評価割合
(%)

評価方法・割合

評価対象となる到達目標

授業内での評価	70	dialog performance, pair work activities and class activities (30%), vocabulary and grammar quizzes (20%), a mid-term and end-of-term evaluation (20%).	1, 2, 3, 4
授業外での評価	20	Homework and other textbook assignments will also be graded (20%)	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	10	final examination (10%)	1, 2, 3, 4
その他	0	none	

テキスト	SMART CHOICE 1, 4th Edition with Online Practice, 2020, Ken Wilson, Thomas Healy, Oxford University Press, ISBN: 978-0-19-406099-8		
------	--	--	--

参考書	Smart Choice 1 Online Practice (optional)		
-----	---	--	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>		
---------------	--	--	--

授業コード	10402309	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Oral English II [対面]				
シラバス執筆(全員)	J. M. ラッセル				
シラバス執筆(主)	J. M. ラッセル				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course will help you continue to improve your English conversation ability. In this course you will have many opportunities to practice speaking, mostly in pairs and small groups. You will also start to learn some strategies for managing conversations in order to make your conversations better, longer, and more correct. You will continue to study useful expressions, vocabulary and improve your grammar usage. Listening and reading activities are included to support your English development. Google Classroom will be used in this course for materials and assignments. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

到達目標

At the end of the course, you will be able to:

- ① converse in English in various situations
- ② carry on longer and longer conversations
- ③ increase your productive vocabulary
- ④ be able to use basic English grammar when speaking

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：Course explanation and Google Classroom orientation.
 内容・方法：Scope and sequence.
- 【第2回】
 テーマ：Greetings, Introducing yourself
 内容・方法：Conversation and Language practice, Registration for online practice
- 【第3回】
 テーマ：Greetings, Introducing yourself
 内容・方法：Listening, reading and conversation practice. Quiz.
- 【第4回】
 テーマ：Personal Information
 内容・方法：Conversation and Language practice
- 【第5回】
 テーマ：Personal Information
 内容・方法：Listening, reading and conversation practice. Quiz.
- 【第6回】
 テーマ：Talking about likes and dislikes
 内容・方法：Conversation and Language practice
- 【第7回】
 テーマ：Talking about likes and dislikes
 内容・方法：Listening, reading and conversation practice. Quiz.
- 【第8回】
 テーマ：Mid- semester review & assessment
 内容・方法：Review Units 1-3 and mid-semester assessment.
- 【第9回】
 テーマ：Talking about habits and routines
 内容・方法：Conversation and Language practice
- 【第10回】
 テーマ：Talking about habits and routines
 内容・方法：Listening, reading and conversation practice. Quiz.
- 【第11回】
 テーマ：Describing everyday activities
 内容・方法：Conversation and Language practice
- 【第12回】
 テーマ：Describing everyday activities
 内容・方法：Listening, reading and conversation practice. Quiz.
- 【第13回】
 テーマ：Talking about past events
 内容・方法：Conversation and Language practice
- 【第14回】
 テーマ：Talking about past events
 内容・方法：Listening, reading and conversation practice. Quiz.
- 【第15回】
 テーマ：End-of-semester review & assessment
 内容・方法：Review of units 4-6 and explanation of final assessment.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

- ①事前学修課題: Buy the textbook Register for Google Classroom.
- ②事後学修課題: Homework assignments and Unit 1, 1-5 online vocabulary and grammar activities.

【第2回】

- ①事前学修課題: Do Unit 1-1-5 オンラインOnline Vocabulary and Grammar activities.
- ②事後学修課題: Homework assignment and do Unit 1-All online activities

【第3回】

- ①事前学修課題: Complete all online conversation and video activities for Unit 1.
- ②事後学修課題: Homework assignments and do Unit 2, 1-5 online vocabulary and grammar activities.

【第4回】

- ①事前学修課題: Do Unit 2, 1-5 Online Vocabulary and Grammar activities.
- ②事後学修課題: Homework assignments and complete all Unit 2 online conversation and video activities

【第5回】

- ①事前学修課題: Complete all Unit 2 online conversation and video activities
- ②事後学修課題: Homework assignments do Unit 3, 1-5, online vocabulary and grammar activities.

【第6回】

- ①事前学修課題: Do Unit 3, 1-5, Online Vocabulary and Grammar activities.
- ②事後学修課題: Homework assignments and complete all Unit 3 online conversation and video activities.

【第7回】

- ①事前学修課題: Complete all Unit 3 online conversation and video activities.
- ②事後学修課題: Review Units 1-3 vocabulary, grammar and conversation routines. Prepare for the mid-term assessment.

【第8回】

- ①事前学修課題: Review Units 1-3 vocabulary, grammar and conversation routines for the mid-term assessment.
- ②事後学修課題: Homework assignments and do Unit 4, 1-5 all online vocabulary and grammar activities

【第9回】

- ①事前学修課題: Do Unit 4, 1-5 all Online Vocabulary and Grammar activities
- ②事後学修課題: Homework assignments and complete all Unit 4 online conversation and video activities.

【第10回】

- ①事前学修課題: Complete all Unit 4 online conversation and video activities.
- ②事後学修課題: Homework assignments and do Unit 5, 1-5 online vocabulary and grammar activities.

【第11回】

- ①事前学修課題: Do Unit 5, 1-5 Online Vocabulary and Grammar activities.
- ②事後学修課題: Homework assignments and complete all Unit 5 online conversation and video activities.

【第12回】

- ①事前学修課題: Complete all Unit 5 online conversation and video activities.
- ②事後学修課題: Homework assignments and do Unit 6, 1-5 online vocabulary and grammar activities.

【第13回】

- ①事前学修課題: Do Unit 6, 1-5 Online Vocabulary and Grammar activities.
- ②事後学修課題: Homework assignments and complete all Unit 6 online conversation and video activities.

【第14回】

- ①事前学修課題: Complete all Unit 6 online conversation and video activities.
- ②事後学修課題: Review Units 4-6 vocabulary, grammar and listening. Prepare for the final assessment.

【第15回】

- ①事前学修課題: Review Units 4-6 vocabulary, grammar and listening for the final assessment..
- ②事後学修課題: Submit the final examination. Listen to English during the summer break.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

You will be graded in class on dialog performance, pair work activities and class activities (30%). There will be regular vocabulary and grammar quizzes (20%). Homework and other textbook assignments will also be graded (20%). During the semester there will be 2 tests: a mid-term and end-of-term evaluation (20%). There will be a final examination (10%)

成績評価の種類

評価割合
(%)

評価方法・割合

評価対象となる到達目標

授業内での評価	70	dialog performance, pair work activities and class activities (30%), vocabulary and grammar quizzes (20%), a mid-term and end-of-term evaluation (20%).	1, 2, 3, 4
授業外での評価	20	Homework and other textbook assignments will also be graded (20%)	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	10	final examination (10%)	1, 2, 3, 4
その他	0	none	

テキスト	SMART CHOICE 1, 4th Edition with Online Practice, 2020, Ken Wilson, Thomas Healy, Oxford University Press, ISBN: 978-0-19-406099-8		
------	--	--	--

参考書	Smart Choice 1 Online Practice (optional)		
-----	---	--	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>		
---------------	--	--	--

授業コード	10402310	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Oral English II [対面]				
シラバス執筆(全員)	G. S. ジョン=バプティースト				
シラバス執筆(主)	G. S. ジョン=バプティースト				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course will help you continue to improve your English conversation ability. In this course you will have many opportunities to practice speaking, mostly in pairs and small groups. You will also start to learn some strategies for managing conversations in order to make your conversations better, longer, and more correct. You will continue to study useful expressions, vocabulary and improve your grammar usage. Listening and reading activities are included to support your English development. Google Classroom will be used in this course for materials and assignments. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

到達目標

At the end of the course, you will be able to:

- ① converse in English in various situations
- ② carry on longer and longer conversations
- ③ increase your productive vocabulary
- ④ be able to use basic English grammar when speaking

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：Course explanation and Google Classroom orientation.
 内容・方法：Scope and sequence.
- 【第2回】
 テーマ：Greetings, Introducing yourself
 内容・方法：Conversation and Language practice, Registration for online practice
- 【第3回】
 テーマ：Greetings, Introducing yourself
 内容・方法：Listening, reading and conversation practice. Quiz.
- 【第4回】
 テーマ：Personal Information
 内容・方法：Conversation and Language practice
- 【第5回】
 テーマ：Personal Information
 内容・方法：Listening, reading and conversation practice. Quiz.
- 【第6回】
 テーマ：Talking about likes and dislikes
 内容・方法：Conversation and Language practice
- 【第7回】
 テーマ：Talking about likes and dislikes
 内容・方法：Listening, reading and conversation practice. Quiz.
- 【第8回】
 テーマ：Mid- semester review & assessment
 内容・方法：Review Units 1-3 and mid-semester assessment.
- 【第9回】
 テーマ：Talking about habits and routines
 内容・方法：Conversation and Language practice
- 【第10回】
 テーマ：Talking about habits and routines
 内容・方法：Listening, reading and conversation practice. Quiz.
- 【第11回】
 テーマ：Describing everyday activities
 内容・方法：Conversation and Language practice
- 【第12回】
 テーマ：Describing everyday activities
 内容・方法：Listening, reading and conversation practice. Quiz.
- 【第13回】
 テーマ：Talking about past events
 内容・方法：Conversation and Language practice
- 【第14回】
 テーマ：Talking about past events
 内容・方法：Listening, reading and conversation practice. Quiz.
- 【第15回】
 テーマ：End-of-semester review & assessment
 内容・方法：Review of units 4-6 and explanation of final assessment.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

- ①事前学修課題: Buy the textbook Register for Google Classroom.
- ②事後学修課題: Homework assignments and Unit 1, 1-5 online vocabulary and grammar activities.

【第2回】

- ①事前学修課題: Do Unit 1-1-5 オンラインOnline Vocabulary and Grammar activities.
- ②事後学修課題: Homework assignment and do Unit 1-All online activities

【第3回】

- ①事前学修課題: Complete all online conversation and video activities for Unit 1.
- ②事後学修課題: Homework assignments and do Unit 2, 1-5 online vocabulary and grammar activities.

【第4回】

- ①事前学修課題: Do Unit 2, 1-5 Online Vocabulary and Grammar activities.
- ②事後学修課題: Homework assignments and complete all Unit 2 online conversation and video activities

【第5回】

- ①事前学修課題: Complete all Unit 2 online conversation and video activities
- ②事後学修課題: Homework assignments do Unit 3, 1-5, online vocabulary and grammar activities.

【第6回】

- ①事前学修課題: Do Unit 3, 1-5, Online Vocabulary and Grammar activities.
- ②事後学修課題: Homework assignments and complete all Unit 3 online conversation and video activities.

【第7回】

- ①事前学修課題: Complete all Unit 3 online conversation and video activities.
- ②事後学修課題: Review Units 1-3 vocabulary, grammar and conversation routines. Prepare for the mid-term assessment.

【第8回】

- ①事前学修課題: Review Units 1-3 vocabulary, grammar and conversation routines for the mid-term assessment.
- ②事後学修課題: Homework assignments and do Unit 4, 1-5 all online vocabulary and grammar activities

【第9回】

- ①事前学修課題: Do Unit 4, 1-5 all Online Vocabulary and Grammar activities
- ②事後学修課題: Homework assignments and complete all Unit 4 online conversation and video activities.

【第10回】

- ①事前学修課題: Complete all Unit 4 online conversation and video activities.
- ②事後学修課題: Homework assignments and do Unit 5, 1-5 online vocabulary and grammar activities.

【第11回】

- ①事前学修課題: Do Unit 5, 1-5 Online Vocabulary and Grammar activities.
- ②事後学修課題: Homework assignments and complete all Unit 5 online conversation and video activities.

【第12回】

- ①事前学修課題: Complete all Unit 5 online conversation and video activities.
- ②事後学修課題: Homework assignments and do Unit 6, 1-5 online vocabulary and grammar activities.

【第13回】

- ①事前学修課題: Do Unit 6, 1-5 Online Vocabulary and Grammar activities.
- ②事後学修課題: Homework assignments and complete all Unit 6 online conversation and video activities.

【第14回】

- ①事前学修課題: Complete all Unit 6 online conversation and video activities.
- ②事後学修課題: Review Units 4-6 vocabulary, grammar and listening. Prepare for the final assessment.

【第15回】

- ①事前学修課題: Review Units 4-6 vocabulary, grammar and listening for the final assessment..
- ②事後学修課題: Submit the final examination. Listen to English during the summer break.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

You will be graded in class on dialog performance, pair work activities and class activities (30%). There will be regular vocabulary and grammar quizzes (20%). Homework and other textbook assignments will also be graded (20%). During the semester there will be 2 tests: a mid-term and end-of-term evaluation (20%). There will be a final examination (10%)

成績評価の種類

評価割合
(%)

評価方法・割合

評価対象となる到達目標

授業内での評価	70	dialog performance, pair work activities and class activities (30%), vocabulary and grammar quizzes (20%), a mid-term and end-of-term evaluation (20%).	1, 2, 3, 4
授業外での評価	20	Homework and other textbook assignments will also be graded (20%)	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	10	final examination (10%)	1, 2, 3, 4
その他	0	none	

テキスト	SMART CHOICE 1, 4th Edition with Online Practice, 2020, Ken Wilson, Thomas Healy, Oxford University Press, ISBN: 978-0-19-406099-8		
------	--	--	--

参考書	Smart Choice 1 Online Practice (optional)		
-----	---	--	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>		
---------------	--	--	--

授業コード	10402351	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Oral English II [対面]				
シラバス執筆(全員)	N. J. ドーバー				
シラバス執筆(主)	N. J. ドーバー				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

The main focus of this course is English debates. Students will build on discussion skills from previous courses to learn how to support points, give convincing arguments, and refute others' opinions. There will be several debates throughout the semester. In addition, students are encouraged to participate in English Island 15 times each semester.

到達目標

1. Complete first 5 units of the textbook
2. Complete a 10-minute group discussion
3. Complete several small projects with supporting evidence
4. Complete a 10-minute debate as the final project
5. Use TOEIC vocabulary with confidence
6. Complete vocabulary tasks with 13 weekly quizzes

授業計画

- [第1回]
 テーマ: Course Introduction, English Island Enrollment, Review discussion skills, Explain textbook format.
 内容・方法: Explain discussion vs debate, Provide examples, Conduct several discussions
- [第2回]
 テーマ: Unit 1: Have an opinion
 内容・方法: Vocabulary Quiz, Textbook activities
- [第3回]
 テーマ: Unit 1: Have an opinion
 内容・方法: Vocabulary Quiz, Textbook activities
- [第4回]
 テーマ: Unit 2: Explaining your opinion
 内容・方法: Vocabulary Quiz, Textbook activities
- [第5回]
 テーマ: Unit 2: Explaining your opinion
 内容・方法: Vocabulary Quiz, Textbook activities
- [第6回]
 テーマ: Unit 3: Supporting your opinion
 内容・方法: Vocabulary, Textbook activities
- [第7回]
 テーマ: Unit 3: Supporting your opinion
 内容・方法: Vocabulary Quiz, Textbook activities
- [第8回]
 テーマ: Discussion Day: Problem Solving
 内容・方法: Vocabulary Quiz, Group discussions based on problem solving (personal, local, national)
- [第9回]
 テーマ: Unit 4: Organizing your opinion
 内容・方法: Vocabulary Quiz, Textbook activities
- [第10回]
 テーマ: Unit 4: Organizing your opinion
 内容・方法: Vocabulary Quiz, Textbook activities
- [第11回]
 テーマ: Unit 5: Refuting Explanations
 内容・方法: Vocabulary Quiz, Textbook activities
- [第12回]
 テーマ: Unit 5: Refuting Explanations
 内容・方法: Vocabulary Quiz, Textbook activities
- [第13回]
 テーマ: Final Debate Preparation (organize arguments)
 内容・方法: Vocabulary Quiz, Explain debate format, form teams, develop ideas
- [第14回]
 テーマ: Final Debate Preparation (organize counterarguments) and Practice
 内容・方法: Vocabulary Quiz, Meet with other team, discuss, develop rebuttals with teammate.
- [第15回]
 テーマ: Final Debate: Class Performances
 内容・方法: Students perform their debate in class

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a one-credit (1単位) course, which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

[第1回]

- ①事前学修課題: Review discussion language from last semester, Buy textbook
- ②事後学修課題: Complete homework, study Vocabulary, reserve and attend English Island

[第2回]

- ①事前学修課題: Study Vocabulary, review the previous lesson's content
- ②事後学修課題: Complete homework, study Vocabulary, reserve and attend English Island

[第3回]

- ①事前学修課題: Study Vocabulary, review the previous lesson's content
- ②事後学修課題: Complete homework, study Vocabulary, reserve and attend English Island

[第4回]

- ①事前学修課題: Study Vocabulary, review the previous lesson's content
- ②事後学修課題: Complete homework, study Vocabulary, reserve and attend English Island

[第5回]

- ①事前学修課題: Study Vocabulary, review the previous lesson's content
- ②事後学修課題: Complete homework, study Vocabulary, reserve and attend English Island

[第6回]

- ①事前学修課題: Study Vocabulary, review the previous lesson's content
- ②事後学修課題: Complete homework, study Vocabulary, reserve and attend English Island

[第7回]

- ①事前学修課題: Study Vocabulary, review the previous lesson's content
- ②事後学修課題: Complete homework, study Vocabulary, reserve and attend English Island

[第8回]

- ①事前学修課題: Review discussion phrases, review unit 1-3
- ②事後学修課題: Submit recording and transcript, complete reflection, study Vocabulary, reserve and attend English Island

[第9回]

- ①事前学修課題: Study Vocabulary, review the previous lesson's content
- ②事後学修課題: Complete homework, study Vocabulary, reserve and attend English

[第10回]

- ①事前学修課題: Study Vocabulary, review the previous lesson's content
- ②事後学修課題: Complete homework, study Vocabulary, reserve and attend English

[第11回]

- ①事前学修課題: Study Vocabulary, review the previous lesson's content
- ②事後学修課題: Complete homework, study Vocabulary, reserve and attend English

[第12回]

- ①事前学修課題: Study Vocabulary, review the previous lesson's content
- ②事後学修課題: Complete homework, study Vocabulary, reserve and attend English

[第13回]

- ①事前学修課題: Review debate structure and useful language
- ②事後学修課題: Organize debate ideas and gather evidence with your partner

[第14回]

- ①事前学修課題: Review debate ideas and debate language
- ②事後学修課題: Organize debate counterarguments and gather evidence with your partner

[第15回]

- ①事前学修課題: Practice many times with your partner. Use a stopwatch.
- ②事後学修課題: Complete reflection on course progress

課題に対するフィードバックの方法

Points will be given on assignments (sometimes through the use of rubrics), and comments will be given as much as possible. This information will be viewable to students on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Credit for this course will be awarded to students who achieve an overall score of 60% or greater in the following categories. If a student is absent more than four times or does not participate in the major projects and assignments of the course, a [K] will be awarded.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	40	Participation 10%, Classwork 10%, Problem-solution discussion 20%	1, 2, 3
授業外での評価	40	Vocabulary Quizzes 10% Homework 30%	5, 6

定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final Debate(20%)	4
その他	0		

テキスト	Discover Debate, 978-1929274420
------	---------------------------------

参考書	None
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	10402352	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Oral English II [対面]				
シラバス執筆(全員)	A. ナデュー				
シラバス執筆(主)	A. ナデュー				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

The main focus of this course is English debates. Students will build on discussion skills from previous courses to learn how to support points, give convincing arguments, and refute others' opinions. There will be several debates throughout the semester. In addition, students are encouraged to participate in English Island 15 times each semester.

到達目標

1. Complete first 5 units of the textbook
2. Complete a 10-minute group discussion
3. Complete several small projects with supporting evidence
4. Complete a 10-minute debate as the final project
5. Use TOEIC vocabulary with confidence
6. Complete vocabulary tasks with 13 weekly quizzes

授業計画

- [第1回]
 テーマ: Course Introduction, English Island Enrollment, Review discussion skills, Explain textbook format.
 内容・方法: Explain discussion vs debate, Provide examples, Conduct several discussions
- [第2回]
 テーマ: Unit 1: Have an opinion
 内容・方法: Vocabulary Quiz, Textbook activities
- [第3回]
 テーマ: Unit 1: Have an opinion
 内容・方法: Vocabulary Quiz, Textbook activities
- [第4回]
 テーマ: Unit 2: Explaining your opinion
 内容・方法: Vocabulary Quiz, Textbook activities
- [第5回]
 テーマ: Unit 2: Explaining your opinion
 内容・方法: Vocabulary Quiz, Textbook activities
- [第6回]
 テーマ: Unit 3: Supporting your opinion
 内容・方法: Vocabulary, Textbook activities
- [第7回]
 テーマ: Unit 3: Supporting your opinion
 内容・方法: Vocabulary Quiz, Textbook activities
- [第8回]
 テーマ: Discussion Day: Problem Solving
 内容・方法: Vocabulary Quiz, Group discussions based on problem solving (personal, local, national)
- [第9回]
 テーマ: Unit 4: Organizing your opinion
 内容・方法: Vocabulary Quiz, Textbook activities
- [第10回]
 テーマ: Unit 4: Organizing your opinion
 内容・方法: Vocabulary Quiz, Textbook activities
- [第11回]
 テーマ: Unit 5: Refuting Explanations
 内容・方法: Vocabulary Quiz, Textbook activities
- [第12回]
 テーマ: Unit 5: Refuting Explanations
 内容・方法: Vocabulary Quiz, Textbook activities
- [第13回]
 テーマ: Final Debate Preparation (organize arguments)
 内容・方法: Vocabulary Quiz, Explain debate format, form teams, develop ideas
- [第14回]
 テーマ: Final Debate Preparation (organize counterarguments) and Practice
 内容・方法: Vocabulary Quiz, Meet with other team, discuss, develop rebuttals with teammate.
- [第15回]
 テーマ: Final Debate: Class Performances
 内容・方法: Students perform their debate in class

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a one-credit (1単位) course, which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

[第1回]

- ①事前学修課題: Review discussion language from last semester, Buy textbook
- ②事後学修課題: Complete homework, study Vocabulary, reserve and attend English Island

[第2回]

- ①事前学修課題: Study Vocabulary, review the previous lesson's content
- ②事後学修課題: Complete homework, study Vocabulary, reserve and attend English Island

[第3回]

- ①事前学修課題: Study Vocabulary, review the previous lesson's content
- ②事後学修課題: Complete homework, study Vocabulary, reserve and attend English Island

[第4回]

- ①事前学修課題: Study Vocabulary, review the previous lesson's content
- ②事後学修課題: Complete homework, study Vocabulary, reserve and attend English Island

[第5回]

- ①事前学修課題: Study Vocabulary, review the previous lesson's content
- ②事後学修課題: Complete homework, study Vocabulary, reserve and attend English Island

[第6回]

- ①事前学修課題: Study Vocabulary, review the previous lesson's content
- ②事後学修課題: Complete homework, study Vocabulary, reserve and attend English Island

[第7回]

- ①事前学修課題: Study Vocabulary, review the previous lesson's content
- ②事後学修課題: Complete homework, study Vocabulary, reserve and attend English Island

[第8回]

- ①事前学修課題: Review discussion phrases, review unit 1-3
- ②事後学修課題: Submit recording and transcript, complete reflection, study Vocabulary, reserve and attend English Island

[第9回]

- ①事前学修課題: Study Vocabulary, review the previous lesson's content
- ②事後学修課題: Complete homework, study Vocabulary, reserve and attend English

[第10回]

- ①事前学修課題: Study Vocabulary, review the previous lesson's content
- ②事後学修課題: Complete homework, study Vocabulary, reserve and attend English

[第11回]

- ①事前学修課題: Study Vocabulary, review the previous lesson's content
- ②事後学修課題: Complete homework, study Vocabulary, reserve and attend English

[第12回]

- ①事前学修課題: Study Vocabulary, review the previous lesson's content
- ②事後学修課題: Complete homework, study Vocabulary, reserve and attend English

[第13回]

- ①事前学修課題: Review debate structure and useful language
- ②事後学修課題: Organize debate ideas and gather evidence with your partner

[第14回]

- ①事前学修課題: Review debate ideas and debate language
- ②事後学修課題: Organize debate counterarguments and gather evidence with your partner

[第15回]

- ①事前学修課題: Practice many times with your partner. Use a stopwatch.
- ②事後学修課題: Complete reflection on course progress

課題に対するフィードバックの方法

Points will be given on assignments (sometimes through the use of rubrics), and comments will be given as much as possible. This information will be viewable to students on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Credit for this course will be awarded to students who achieve an overall score of 60% or greater in the following categories. If a student is absent more than four times or does not participate in the major projects and assignments of the course, a [K] will be awarded.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	40	Participation 10%, Classwork 10%, Problem-solution discussion 20%	1, 2, 3
授業外での評価	40	Vocabulary Quizzes 10% Homework 30%	5, 6

定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final Debate(20%)	4
その他	0		

テキスト	Discover Debate, 978-1929274420
------	---------------------------------

参考書	None
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	10402407	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Project Based English [対面]				
シラバス執筆(全員)	P.L. ストリックランド				
シラバス執筆(主)	P.L. ストリックランド				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course will help you continue to improve your English conversation ability. In this course you will have many opportunities to practice speaking, mostly in pairs and small groups. You will also start to learn some strategies for managing conversations in order to make your conversations better, longer, and more correct. You will continue to study useful expressions, vocabulary and improve your grammar usage. Listening and reading activities are included to support your English development. You will work on a English presentation project in this course. As you develop your presentation, you will discuss your content, make small group presentations and get ideas and feedback from your peers. Google Classroom will be used in this course for materials and assignments. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

到達目標

At the end of the course, you will be able to:

1. converse in English in various situations
2. carry on longer and longer conversations
3. increase your productive vocabulary
4. be able to use basic English grammar when speaking
5. be able to give a full presentation in English and use appropriate language and phrases for making a presentation.

授業計画

【第1回】

テーマ: Review of Units 1-6. Course explanation and Google Classroom orientation. Course presentation project explanation.

内容・方法: Review conversations Units 1-6, Review of presenting skills, posture, gestures, and voice inflections.

【第2回】

テーマ: Start presentation project.

内容・方法: Decide theme and outline the presentation. Pair practice - present ideas in pairs and get feedback and ideas from peers.

【第3回】

テーマ: Textbook chapter & Presentation Project

内容・方法: Vocabulary, conversation and language practice. HWK: apply unit content to presentation project.

【第4回】

テーマ: Textbook chapter & Presentation Project

内容・方法: Vocabulary, conversation and language practice. HWK: apply unit content to presentation project.

【第5回】

テーマ: Review of textbook chapters. Assessment (1) of units.

内容・方法: Assessment of units. Presentation - Part I (Introduction), peer feedback.

【第6回】

テーマ: Presentation Project Continued

内容・方法: Presentation Project: start body of the presentation. Learn appropriate phrases and language.

【第7回】

テーマ: Textbook chapter & Presentation Project

内容・方法: Vocabulary, conversation and language practice. HWK: apply unit content to presentation project.

【第8回】

テーマ: Textbook chapter & Presentation Project

内容・方法: Vocabulary, conversation and language practice. HWK: apply unit content to presentation project.

【第9回】

テーマ: Review of textbook chapters. Assessment (2) of units.

内容・方法: Assessment of units. Presentation - Part II (Body), peer feedback.

【第10回】

テーマ: Presentation Project Continued

内容・方法: Presentation Project: start conclusion of the presentation. Learn appropriate phrases and language.

【第11回】

テーマ: Presentation Project continued

内容・方法 : Presentation Project: edit, revise and improve final presentation. Peer presentations, feedback, and ideas.

【第12回】

テーマ : Presentation Project continued

内容・方法 : Presentation Project: edit, revise and improve final presentation. Peer presentations, feedback, and ideas.

【第13回】

テーマ : Final Presentation- session 1

内容・方法 : Individual presentations - student feedback and comment.

【第14回】

テーマ : Final Presentation- session 2

内容・方法 : Individual presentations - student feedback and comment.

【第15回】

テーマ : Final Presentation- session 3

内容・方法 : Individual presentations - student feedback and comment. Explanation of final test - submit a power point movie recording of the final presentation.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

①事前学修課題 : Review English studied in the Oral English II course.

②事後学修課題 : Review and practice presenting skills.

【第2回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK.

②事後学修課題 : Decide your project theme and outline your presentation.

【第3回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Work on your presentation project.

②事後学修課題 : Do HWK assignments.

【第4回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Work on your presentation project.

②事後学修課題 : Do HWK assignments. Prepare for the unit review.

【第5回】

①事前学修課題 : Review for the unit test.

②事後学修課題 : Review project presentation Part I (Introduction) Do HWK presentation assignments.

【第6回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Work on your presentation project.

②事後学修課題 : Practice and prepare for presentation.

【第7回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Work on your presentation project.

②事後学修課題 : Review the text unit .

【第8回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Work on your presentation project.

②事後学修課題 : Do HWK assignments. Prepare for the unit review.

【第9回】

①事前学修課題 : Review for the unit test.

②事後学修課題 : Review project presentation Part II (Body) Do HWK presentation assignments.

【第10回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Work on your presentation project.

②事後学修課題 : Practice and prepare for presentation.

【第11回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Work on your presentation project.

②事後学修課題 : Practice and prepare for presentation.

【第12回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Work on your presentation project.

②事後学修課題 : Practice and prepare for presentation.

【第13回】

①事前学修課題 : Prepare for final presentation.

②事後学修課題 : Submit peer evaluations.

【第14回】

①事前学修課題 : Prepare for final presentation.

②事後学修課題 : Submit peer evaluations.

【第15回】

①事前学修課題 : Prepare for final presentation.

②事後学修課題 : Submit peer evaluations. Submit movie of your final presentation power point.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given during the semester and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。

●必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

You will be graded in class on class activities (10%). Semester project work and presentations (30%). Homework and other textbook assignments will also be graded (20%). During the semester there will be 2 assessments (10%). There will be a final project presentation and end of semester task (30%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Class activities (10%), Semester project work and presentations (30%). Semester assessments (10%).	1, 2, 3, 4, 5
授業外での評価	20	Homework and other textbook assignments will also be graded (20%)	1, 2, 3, 4, 5
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	30	Final project presentation and end of semester task (30%)	1, 2, 3, 4, 5
その他	0	none	

テキスト	Smart Choice 1, 4th Edition with Online Practice, 2020, Ken Wilson, Thomas Healy, Oxford University Press, ISBN: 978-0-19-406099-8
------	--

参考書	Smart Choice 1 Online Practice (optional)
-----	---

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	10402408	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Project Based English [対面]				
シラバス執筆(全員)	J. エチャャー				
シラバス執筆(主)	J. エチャャー				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course will help you continue to improve your English conversation ability. In this course you will have many opportunities to practice speaking, mostly in pairs and small groups. You will also start to learn some strategies for managing conversations in order to make your conversations better, longer, and more correct. You will continue to study useful expressions, vocabulary and improve your grammar usage. Listening and reading activities are included to support your English development. You will work on a English presentation project in this course. As you develop your presentation, you will discuss your content, make small group presentations and get ideas and feedback from your peers. Google Classroom will be used in this course for materials and assignments. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

到達目標

At the end of the course, you will be able to:

1. converse in English in various situations
2. carry on longer and longer conversations
3. increase your productive vocabulary
4. be able to use basic English grammar when speaking
5. be able to give a full presentation in English and use appropriate language and phrases for making a presentation.

授業計画

- 【第1回】
 テーマ: Review of Units 1-6. Course explanation and Google Classroom orientation. Course presentation project explanation.
 内容・方法: Review conversations Units 1-6, Review of presenting skills, posture, gestures, and voice inflections.
- 【第2回】
 テーマ: Start presentation project.
 内容・方法: Decide theme and outline the presentation. Pair practice - present ideas in pairs and get feedback and ideas from peers.
- 【第3回】
 テーマ: Textbook chapter & Presentation Project
 内容・方法: Vocabulary, conversation and language practice. HWK: apply unit content to presentation project.
- 【第4回】
 テーマ: Textbook chapter & Presentation Project
 内容・方法: Vocabulary, conversation and language practice. HWK: apply unit content to presentation project.
- 【第5回】
 テーマ: Review of textbook chapters. Assessment (1) of units.
 内容・方法: Assessment of units. Presentation - Part I (Introduction), peer feedback.
- 【第6回】
 テーマ: Presentation Project Continued
 内容・方法: Presentation Project: start body of the presentation. Learn appropriate phrases and language.
- 【第7回】
 テーマ: Textbook chapter & Presentation Project
 内容・方法: Vocabulary, conversation and language practice. HWK: apply unit content to presentation project.
- 【第8回】
 テーマ: Textbook chapter & Presentation Project
 内容・方法: Vocabulary, conversation and language practice. HWK: apply unit content to presentation project.
- 【第9回】
 テーマ: Review of textbook chapters. Assessment (2) of units.
 内容・方法: Assessment of units. Presentation - Part II (Body), peer feedback.
- 【第10回】
 テーマ: Presentation Project Continued
 内容・方法: Presentation Project: start conclusion of the presentation. Learn appropriate phrases and language.
- 【第11回】
 テーマ: Presentation Project continued

内容・方法 : Presentation Project: edit, revise and improve final presentation. Peer presentations, feedback, and ideas.

【第12回】

テーマ : Presentation Project continued

内容・方法 : Presentation Project: edit, revise and improve final presentation. Peer presentations, feedback, and ideas.

【第13回】

テーマ : Final Presentation- session 1

内容・方法 : Individual presentations - student feedback and comment.

【第14回】

テーマ : Final Presentation- session 2

内容・方法 : Individual presentations - student feedback and comment.

【第15回】

テーマ : Final Presentation- session 3

内容・方法 : Individual presentations - student feedback and comment. Explanation of final test - submit a power point movie recording of the final presentation.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

①事前学修課題 : Review English studied in the Oral English II course.

②事後学修課題 : Review and practice presenting skills.

【第2回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK.

②事後学修課題 : Decide your project theme and outline your presentation.

【第3回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Work on your presentation project.

②事後学修課題 : Do HWK assignments.

【第4回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Work on your presentation project.

②事後学修課題 : Do HWK assignments. Prepare for the unit review.

【第5回】

①事前学修課題 : Review for the unit test.

②事後学修課題 : Review project presentation Part I (Introduction) Do HWK presentation assignments.

【第6回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Work on your presentation project.

②事後学修課題 : Practice and prepare for presentation.

【第7回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Work on your presentation project.

②事後学修課題 : Review the text unit .

【第8回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Work on your presentation project.

②事後学修課題 : Do HWK assignments. Prepare for the unit review.

【第9回】

①事前学修課題 : Review for the unit test.

②事後学修課題 : Review project presentation Part II (Body) Do HWK presentation assignments.

【第10回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Work on your presentation project.

②事後学修課題 : Practice and prepare for presentation.

【第11回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Work on your presentation project.

②事後学修課題 : Practice and prepare for presentation.

【第12回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Work on your presentation project.

②事後学修課題 : Practice and prepare for presentation.

【第13回】

①事前学修課題 : Prepare for final presentation.

②事後学修課題 : Submit peer evaluations.

【第14回】

①事前学修課題 : Prepare for final presentation.

②事後学修課題 : Submit peer evaluations.

【第15回】

①事前学修課題 : Prepare for final presentation.

②事後学修課題 : Submit peer evaluations. Submit movie of your final presentation power point.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given during the semester and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。

●必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

You will be graded in class on class activities (10%). Semester project work and presentations (30%). Homework and other textbook assignments will also be graded (20%). During the semester there will be 2 assessments (10%). There will be a final project presentation and end of semester task (30%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Class activities (10%), Semester project work and presentations (30%). Semester assessments (10%).	1, 2, 3, 4, 5
授業外での評価	20	Homework and other textbook assignments will also be graded (20%)	1, 2, 3, 4, 5
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	30	Final project presentation and end of semester task (30%)	1, 2, 3, 4, 5
その他	0	none	

テキスト	Smart Choice 1, 4th Edition with Online Practice, 2020, Ken Wilson, Thomas Healy, Oxford University Press, ISBN: 978-0-19-406099-8
------	--

参考書	Smart Choice 1 Online Practice (optional)
-----	---

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	---

授業コード	10402409	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Project Based English [対面]				
シラバス執筆(全員)	J. M. ラッセル				
シラバス執筆(主)	J. M. ラッセル				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course will help you continue to improve your English conversation ability. In this course you will have many opportunities to practice speaking, mostly in pairs and small groups. You will also start to learn some strategies for managing conversations in order to make your conversations better, longer, and more correct. You will continue to study useful expressions, vocabulary and improve your grammar usage. Listening and reading activities are included to support your English development. You will work on a English presentation project in this course. As you develop your presentation, you will discuss your content, make small group presentations and get ideas and feedback from your peers. Google Classroom will be used in this course for materials and assignments. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

到達目標

At the end of the course, you will be able to:

1. converse in English in various situations
2. carry on longer and longer conversations
3. increase your productive vocabulary
4. be able to use basic English grammar when speaking
5. be able to give a full presentation in English and use appropriate language and phrases for making a presentation.

授業計画

【第1回】

テーマ: Review of Units 1-6. Course explanation and Google Classroom orientation. Course presentation project explanation.

内容・方法: Review conversations Units 1-6, Review of presenting skills, posture, gestures, and voice inflections.

【第2回】

テーマ: Start presentation project.

内容・方法: Decide theme and outline the presentation. Pair practice - present ideas in pairs and get feedback and ideas from peers.

【第3回】

テーマ: Textbook chapter & Presentation Project

内容・方法: Vocabulary, conversation and language practice. HWK: apply unit content to presentation project.

【第4回】

テーマ: Textbook chapter & Presentation Project

内容・方法: Vocabulary, conversation and language practice. HWK: apply unit content to presentation project.

【第5回】

テーマ: Review of textbook chapters. Assessment (1) of units.

内容・方法: Assessment of units. Presentation - Part I (Introduction), peer feedback.

【第6回】

テーマ: Presentation Project Continued

内容・方法: Presentation Project: start body of the presentation. Learn appropriate phrases and language.

【第7回】

テーマ: Textbook chapter & Presentation Project

内容・方法: Vocabulary, conversation and language practice. HWK: apply unit content to presentation project.

【第8回】

テーマ: Textbook chapter & Presentation Project

内容・方法: Vocabulary, conversation and language practice. HWK: apply unit content to presentation project.

【第9回】

テーマ: Review of textbook chapters. Assessment (2) of units.

内容・方法: Assessment of units. Presentation - Part II (Body), peer feedback.

【第10回】

テーマ: Presentation Project Continued

内容・方法: Presentation Project: start conclusion of the presentation. Learn appropriate phrases and language.

【第11回】

テーマ: Presentation Project continued

内容・方法 : Presentation Project: edit, revise and improve final presentation. Peer presentations, feedback, and ideas.

【第12回】

テーマ : Presentation Project continued

内容・方法 : Presentation Project: edit, revise and improve final presentation. Peer presentations, feedback, and ideas.

【第13回】

テーマ : Final Presentation- session 1

内容・方法 : Individual presentations - student feedback and comment.

【第14回】

テーマ : Final Presentation- session 2

内容・方法 : Individual presentations - student feedback and comment.

【第15回】

テーマ : Final Presentation- session 3

内容・方法 : Individual presentations - student feedback and comment. Explanation of final test - submit a power point movie recording of the final presentation.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

①事前学修課題 : Review English studied in the Oral English II course.

②事後学修課題 : Review and practice presenting skills.

【第2回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK.

②事後学修課題 : Decide your project theme and outline your presentation.

【第3回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Work on your presentation project.

②事後学修課題 : Do HWK assignments.

【第4回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Work on your presentation project.

②事後学修課題 : Do HWK assignments. Prepare for the unit review.

【第5回】

①事前学修課題 : Review for the unit test.

②事後学修課題 : Review project presentation Part I (Introduction) Do HWK presentation assignments.

【第6回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Work on your presentation project.

②事後学修課題 : Practice and prepare for presentation.

【第7回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Work on your presentation project.

②事後学修課題 : Review the text unit .

【第8回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Work on your presentation project.

②事後学修課題 : Do HWK assignments. Prepare for the unit review.

【第9回】

①事前学修課題 : Review for the unit test.

②事後学修課題 : Review project presentation Part II (Body) Do HWK presentation assignments.

【第10回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Work on your presentation project.

②事後学修課題 : Practice and prepare for presentation.

【第11回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Work on your presentation project.

②事後学修課題 : Practice and prepare for presentation.

【第12回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Work on your presentation project.

②事後学修課題 : Practice and prepare for presentation.

【第13回】

①事前学修課題 : Prepare for final presentation.

②事後学修課題 : Submit peer evaluations.

【第14回】

①事前学修課題 : Prepare for final presentation.

②事後学修課題 : Submit peer evaluations.

【第15回】

①事前学修課題 : Prepare for final presentation.

②事後学修課題 : Submit peer evaluations. Submit movie of your final presentation power point.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given during the semester and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。

●必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

You will be graded in class on class activities (10%). Semester project work and presentations (30%). Homework and other textbook assignments will also be graded (20%). During the semester there will be 2 assessments (10%). There will be a final project presentation and end of semester task (30%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Class activities (10%), Semester project work and presentations (30%). Semester assessments (10%).	1, 2, 3, 4, 5
授業外での評価	20	Homework and other textbook assignments will also be graded (20%)	1, 2, 3, 4, 5
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	30	Final project presentation and end of semester task (30%)	1, 2, 3, 4, 5
その他	0	none	

テキスト	Smart Choice 1, 4th Edition with Online Practice, 2020, Ken Wilson, Thomas Healy, Oxford University Press, ISBN: 978-0-19-406099-8
------	--

参考書	Smart Choice 1 Online Practice (optional)
-----	---

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	10402410	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Project Based English [対面]				
シラバス執筆(全員)	G. S. ジョン=バプティースト				
シラバス執筆(主)	G. S. ジョン=バプティースト				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course will help you continue to improve your English conversation ability. In this course you will have many opportunities to practice speaking, mostly in pairs and small groups. You will also start to learn some strategies for managing conversations in order to make your conversations better, longer, and more correct. You will continue to study useful expressions, vocabulary and improve your grammar usage. Listening and reading activities are included to support your English development. You will work on a English presentation project in this course. As you develop your presentation, you will discuss your content, make small group presentations and get ideas and feedback from your peers. Google Classroom will be used in this course for materials and assignments. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

到達目標

At the end of the course, you will be able to:

1. converse in English in various situations
2. carry on longer and longer conversations
3. increase your productive vocabulary
4. be able to use basic English grammar when speaking
5. be able to give a full presentation in English and use appropriate language and phrases for making a presentation.

授業計画

【第1回】

テーマ: Review of Units 1-6. Course explanation and Google Classroom orientation. Course presentation project explanation.

内容・方法: Review conversations Units 1-6, Review of presenting skills, posture, gestures, and voice inflections.

【第2回】

テーマ: Start presentation project.

内容・方法: Decide theme and outline the presentation. Pair practice - present ideas in pairs and get feedback and ideas from peers.

【第3回】

テーマ: Textbook chapter & Presentation Project

内容・方法: Vocabulary, conversation and language practice. HWK: apply unit content to presentation project.

【第4回】

テーマ: Textbook chapter & Presentation Project

内容・方法: Vocabulary, conversation and language practice. HWK: apply unit content to presentation project.

【第5回】

テーマ: Review of textbook chapters. Assessment (1) of units.

内容・方法: Assessment of units. Presentation - Part I (Introduction), peer feedback.

【第6回】

テーマ: Presentation Project Continued

内容・方法: Presentation Project: start body of the presentation. Learn appropriate phrases and language.

【第7回】

テーマ: Textbook chapter & Presentation Project

内容・方法: Vocabulary, conversation and language practice. HWK: apply unit content to presentation project.

【第8回】

テーマ: Textbook chapter & Presentation Project

内容・方法: Vocabulary, conversation and language practice. HWK: apply unit content to presentation project.

【第9回】

テーマ: Review of textbook chapters. Assessment (2) of units.

内容・方法: Assessment of units. Presentation - Part II (Body), peer feedback.

【第10回】

テーマ: Presentation Project Continued

内容・方法: Presentation Project: start conclusion of the presentation. Learn appropriate phrases and language.

【第11回】

テーマ: Presentation Project continued

内容・方法 : Presentation Project: edit, revise and improve final presentation. Peer presentations, feedback, and ideas.

【第12回】

テーマ : Presentation Project continued

内容・方法 : Presentation Project: edit, revise and improve final presentation. Peer presentations, feedback, and ideas.

【第13回】

テーマ : Final Presentation- session 1

内容・方法 : Individual presentations - student feedback and comment.

【第14回】

テーマ : Final Presentation- session 2

内容・方法 : Individual presentations - student feedback and comment.

【第15回】

テーマ : Final Presentation- session 3

内容・方法 : Individual presentations - student feedback and comment. Explanation of final test - submit a power point movie recording of the final presentation.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

①事前学修課題 : Review English studied in the Oral English II course.

②事後学修課題 : Review and practice presenting skills.

【第2回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK.

②事後学修課題 : Decide your project theme and outline your presentation.

【第3回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Work on your presentation project.

②事後学修課題 : Do HWK assignments.

【第4回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Work on your presentation project.

②事後学修課題 : Do HWK assignments. Prepare for the unit review.

【第5回】

①事前学修課題 : Review for the unit test.

②事後学修課題 : Review project presentation Part I (Introduction) Do HWK presentation assignments.

【第6回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Work on your presentation project.

②事後学修課題 : Practice and prepare for presentation.

【第7回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Work on your presentation project.

②事後学修課題 : Review the text unit .

【第8回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Work on your presentation project.

②事後学修課題 : Do HWK assignments. Prepare for the unit review.

【第9回】

①事前学修課題 : Review for the unit test.

②事後学修課題 : Review project presentation Part II (Body) Do HWK presentation assignments.

【第10回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Work on your presentation project.

②事後学修課題 : Practice and prepare for presentation.

【第11回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Work on your presentation project.

②事後学修課題 : Practice and prepare for presentation.

【第12回】

①事前学修課題 : Check you did all your HWK. Work on your presentation project.

②事後学修課題 : Practice and prepare for presentation.

【第13回】

①事前学修課題 : Prepare for final presentation.

②事後学修課題 : Submit peer evaluations.

【第14回】

①事前学修課題 : Prepare for final presentation.

②事後学修課題 : Submit peer evaluations.

【第15回】

①事前学修課題 : Prepare for final presentation.

②事後学修課題 : Submit peer evaluations. Submit movie of your final presentation power point.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given during the semester and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。

●必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

You will be graded in class on class activities (10%). Semester project work and presentations (30%). Homework and other textbook assignments will also be graded (20%). During the semester there will be 2 assessments (10%). There will be a final project presentation and end of semester task (30%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Class activities (10%), Semester project work and presentations (30%). Semester assessments (10%).	1, 2, 3, 4, 5
授業外での評価	20	Homework and other textbook assignments will also be graded (20%)	1, 2, 3, 4, 5
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	30	Final project presentation and end of semester task (30%)	1, 2, 3, 4, 5
その他	0	none	

テキスト	Smart Choice 1, 4th Edition with Online Practice, 2020, Ken Wilson, Thomas Healy, Oxford University Press, ISBN: 978-0-19-406099-8
------	--

参考書	Smart Choice 1 Online Practice (optional)
-----	---

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	10402451	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Project Based English [対面]				
シラバス執筆(全員)	N. J. ドーバー				
シラバス執筆(主)	N. J. ドーバー				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

Building on discussion and debate skills from last semester, students will focus on developing clearer arguments and communicating effectively with limited time. In addition, students are encouraged to participate in English Island 15 times each semester.

到達目標

1. Complete units 6-9 of the textbook
2. Complete several small projects with supporting evidence
3. Perform two complete 10-minute debates
4. Use TOEIC vocabulary with confidence
5. Complete vocabulary tasks with 13 weekly quizzes

授業計画

- [第1回]
 テーマ: Course Introduction, Vocabulary Quiz and English Island Review, Review debate structure, skills and phrases.
 内容・方法: Debate skill exercises, Conduct several small discussions
- [第2回]
 テーマ: Unit 6: Challenging supports
 内容・方法: Vocabulary Quiz, Textbook activities
- [第3回]
 テーマ: Unit 6: Challenging supports
 内容・方法: Vocabulary Quiz, Textbook activities
- [第4回]
 テーマ: Unit 6: Challenging supports
 内容・方法: Vocabulary Quiz, Textbook activities
- [第5回]
 テーマ: Unit 7: Organizing your refutation
 内容・方法: Vocabulary Quiz, Textbook activities
- [第6回]
 テーマ: Unit 7: Organizing your refutation
 内容・方法: Vocabulary Quiz, Textbook activities
- [第7回]
 テーマ: Unit 7: Organizing your refutation
 内容・方法: Vocabulary Quiz, Textbook activities
- [第8回]
 テーマ: Class Debate 1: Preparation Day
 内容・方法: Vocabulary Quiz, Team assignment, light research, and practice.
- [第9回]
 テーマ: Class Debate 1: Performance Day
 内容・方法: Vocabulary Quiz, Practice and performance in class, self-reflection
- [第10回]
 テーマ: Unit 8: Debating an opinion
 内容・方法: Vocabulary Quiz, Textbook activities
- [第11回]
 テーマ: Unit 8: Debating an opinion
 内容・方法: Vocabulary Quiz, Textbook activities
- [第12回]
 テーマ: Unit 9: Discover debate
 内容・方法: Vocabulary Quiz, Textbook activities
- [第13回]
 テーマ: Unit 9: Discover debate/Class Debate 2 Preparation Day
 内容・方法: Vocabulary Quiz, Explain debate format, form teams, develop ideas
- [第14回]
 テーマ: Final Debate Preparation (organize counterarguments) and Practice
 内容・方法: Vocabulary Quiz, Meet with other team, discuss, develop rebuttals with teammate.
- [第15回]
 テーマ: Final Debate: Class Performances
 内容・方法: Students perform their debate in class, self-reflection

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a one-credit (1単位) course, which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

“[第1回]

- ①事前学修課題: Review debate language and idea development process from last semester
- ②事後学修課題: Complete homework, study Vocabulary, reserve and attend English Island

[第2回]

- ①事前学修課題: Study Vocabulary, review the previous lesson's content
- ②事後学修課題: Complete homework, study Vocabulary, reserve and attend English Island

[第3回]

- ①事前学修課題: Study Vocabulary, review the previous lesson's content
- ②事後学修課題: Complete homework, study Vocabulary, reserve and attend English Island

[第4回]

- ①事前学修課題: Study Vocabulary, review the previous lesson's content
- ②事後学修課題: Complete homework, study Vocabulary, reserve and attend English Island

[第5回]

- ①事前学修課題: Study Vocabulary, review the previous lesson's content
- ②事後学修課題: Complete homework, study Vocabulary, reserve and attend English Island

[第6回]

- ①事前学修課題: Study Vocabulary, review the previous lesson's content
- ②事後学修課題: Complete homework, study Vocabulary, reserve and attend English Island

[第7回]

- ①事前学修課題: Study Vocabulary, review the previous lesson's content
- ②事後学修課題: Review debate process, study Vocabulary, reserve and attend English Island

[第8回]

- ①事前学修課題: Practice debate with your partners, review Vocabulary words
- ②事後学修課題: Complete debate self-reflection, study Vocabulary, reserve and attend English Island

[第9回]

- ①事前学修課題: Study Vocabulary, review the previous lesson's content
- ②事後学修課題: Complete homework, study Vocabulary, reserve and attend English Island

[第10回]

- ①事前学修課題: Study Vocabulary, review the previous lesson's content
- ②事後学修課題: Complete homework, study Vocabulary, reserve and attend English Island

[第11回]

- ①事前学修課題: Study Vocabulary, review the previous lesson's content
- ②事後学修課題: Complete homework, study Vocabulary, reserve and attend English Island

[第12回]

- ①事前学修課題: Study Vocabulary, review the previous lesson's content
- ②事後学修課題: Complete homework, study Vocabulary, reserve and attend English Island

[第13回]

- ①事前学修課題: Review debate structure and useful language, brainstorm possible topics
- ②事後学修課題: Organize debate ideas and gather evidence with your partner

[第14回]

- ①事前学修課題: Review debate ideas and debate language
- ②事後学修課題: Organize debate counterarguments and gather evidence with your partner

[第15回]

- ①事前学修課題: Practice many times with your partner. Use a stopwatch.
- ②事後学修課題: Complete reflection on course progress”

課題に対するフィードバックの方法

Points will be given on assignments (sometimes through the use of rubrics), and comments will given as much as possible. This information will be viewable to students on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Credit for this course will be awarded to students who achieve an overall score of 60% or greater in the following categories. If a student is absent more than four times or does not participate in the major projects and assignments of the course, a [K] will be awarded.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	40	Participation 10%, Classwork 10%, Class Debate 1 20%	1, 2, 3
授業外での評価	40	Vocabulary Quizzes 10%, Homework 30%	4, 5
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Class Debate 2 20%	4

その他	0	
テキスト	Discover Debate, 978-1929274420	
参考書	None	
履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD – 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>	

授業コード	10402452	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Project Based English [対面]				
シラバス執筆(全員)	A. ナデュー				
シラバス執筆(主)	A. ナデュー				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

Building on discussion and debate skills from last semester, students will focus on developing clearer arguments and communicating effectively with limited time. In addition, students are encouraged to participate in English Island 15 times each semester.

到達目標

1. Complete units 6-9 of the textbook
2. Complete several small projects with supporting evidence
3. Perform two complete 10-minute debates
4. Use TOEIC vocabulary with confidence
5. Complete vocabulary tasks with 13 weekly quizzes

授業計画

- [第1回]
 テーマ: Course Introduction, Vocabulary Quiz and English Island Review, Review debate structure, skills and phrases.
 内容・方法: Debate skill exercises, Conduct several small discussions
- [第2回]
 テーマ: Unit 6: Challenging supports
 内容・方法: Vocabulary Quiz, Textbook activities
- [第3回]
 テーマ: Unit 6: Challenging supports
 内容・方法: Vocabulary Quiz, Textbook activities
- [第4回]
 テーマ: Unit 6: Challenging supports
 内容・方法: Vocabulary Quiz, Textbook activities
- [第5回]
 テーマ: Unit 7: Organizing your refutation
 内容・方法: Vocabulary Quiz, Textbook activities
- [第6回]
 テーマ: Unit 7: Organizing your refutation
 内容・方法: Vocabulary Quiz, Textbook activities
- [第7回]
 テーマ: Unit 7: Organizing your refutation
 内容・方法: Vocabulary Quiz, Textbook activities
- [第8回]
 テーマ: Class Debate 1: Preparation Day
 内容・方法: Vocabulary Quiz, Team assignment, light research, and practice.
- [第9回]
 テーマ: Class Debate 1: Performance Day
 内容・方法: Vocabulary Quiz, Practice and performance in class, self-reflection
- [第10回]
 テーマ: Unit 8: Debating an opinion
 内容・方法: Vocabulary Quiz, Textbook activities
- [第11回]
 テーマ: Unit 8: Debating an opinion
 内容・方法: Vocabulary Quiz, Textbook activities
- [第12回]
 テーマ: Unit 9: Discover debate
 内容・方法: Vocabulary Quiz, Textbook activities
- [第13回]
 テーマ: Unit 9: Discover debate/Class Debate 2 Preparation Day
 内容・方法: Vocabulary Quiz, Explain debate format, form teams, develop ideas
- [第14回]
 テーマ: Final Debate Preparation (organize counterarguments) and Practice
 内容・方法: Vocabulary Quiz, Meet with other team, discuss, develop rebuttals with teammate.
- [第15回]
 テーマ: Final Debate: Class Performances
 内容・方法: Students perform their debate in class, self-reflection

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a one-credit (1単位) course, which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

“[第1回]

- ①事前学修課題: Review debate language and idea development process from last semester
- ②事後学修課題: Complete homework, study Vocabulary, reserve and attend English Island

[第2回]

- ①事前学修課題: Study Vocabulary, review the previous lesson's content
- ②事後学修課題: Complete homework, study Vocabulary, reserve and attend English Island

[第3回]

- ①事前学修課題: Study Vocabulary, review the previous lesson's content
- ②事後学修課題: Complete homework, study Vocabulary, reserve and attend English Island

[第4回]

- ①事前学修課題: Study Vocabulary, review the previous lesson's content
- ②事後学修課題: Complete homework, study Vocabulary, reserve and attend English Island

[第5回]

- ①事前学修課題: Study Vocabulary, review the previous lesson's content
- ②事後学修課題: Complete homework, study Vocabulary, reserve and attend English Island

[第6回]

- ①事前学修課題: Study Vocabulary, review the previous lesson's content
- ②事後学修課題: Complete homework, study Vocabulary, reserve and attend English Island

[第7回]

- ①事前学修課題: Study Vocabulary, review the previous lesson's content
- ②事後学修課題: Review debate process, study Vocabulary, reserve and attend English Island

[第8回]

- ①事前学修課題: Practice debate with your partners, review Vocabulary words
- ②事後学修課題: Complete debate self-reflection, study Vocabulary, reserve and attend English Island

[第9回]

- ①事前学修課題: Study Vocabulary, review the previous lesson's content
- ②事後学修課題: Complete homework, study Vocabulary, reserve and attend English Island

[第10回]

- ①事前学修課題: Study Vocabulary, review the previous lesson's content
- ②事後学修課題: Complete homework, study Vocabulary, reserve and attend English Island

[第11回]

- ①事前学修課題: Study Vocabulary, review the previous lesson's content
- ②事後学修課題: Complete homework, study Vocabulary, reserve and attend English Island

[第12回]

- ①事前学修課題: Study Vocabulary, review the previous lesson's content
- ②事後学修課題: Complete homework, study Vocabulary, reserve and attend English Island

[第13回]

- ①事前学修課題: Review debate structure and useful language, brainstorm possible topics
- ②事後学修課題: Organize debate ideas and gather evidence with your partner

[第14回]

- ①事前学修課題: Review debate ideas and debate language
- ②事後学修課題: Organize debate counterarguments and gather evidence with your partner

[第15回]

- ①事前学修課題: Practice many times with your partner. Use a stopwatch.
- ②事後学修課題: Complete reflection on course progress”

課題に対するフィードバックの方法

Points will be given on assignments (sometimes through the use of rubrics), and comments will given as much as possible. This information will be viewable to students on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Credit for this course will be awarded to students who achieve an overall score of 60% or greater in the following categories. If a student is absent more than four times or does not participate in the major projects and assignments of the course, a [K] will be awarded.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	40	Participation 10%, Classwork 10%, Class Debate 1 20%	1, 2, 3
授業外での評価	40	Vocabulary Quizzes 10%, Homework 30%	4, 5
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Class Debate 2 20%	4

その他	0		
テキスト	Discover Debate, 978-1929274420		
参考書	None		
履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD – 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>		

授業コード	10402502	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	中国語 I [対面]				
シラバス執筆(全員)	夏 嵐				
シラバス執筆(主)	夏 嵐				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

中国語 I では発話の練習と文法の仕組みをバランスよく学習する。

中国語の会話の基本となる発音を正確にマスターするように、会話文を使って繰り返し練習し、単語や例文が「スムーズに発音できる」「聞いて理解できる」レベルを目指す。また、発話による基礎的な中国語コミュニケーション能力を身につけ、中国語で自己紹介ができるように練習する。

中国語講読・作文の基本が身につくように、基礎的な文法を身につけたうえ、初歩的な文章の講読や作文ができるレベルを目指す。講読文の理解を通して、文章による基礎的なコミュニケーション能力を身につける。

到達目標

1. 中国語の発音を習得し、基礎的な文法を理解することができる。
2. 中国語の基礎的な運用能力として、「読み・書き・話し・聞く」ことができる。
3. 中国語圏の社会や文化の基本的な事項について理解し、説明できる。

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：中国語とは
 内容・方法：これからの授業についての説明。中国語についての紹介。
- 【第2回】
 テーマ：声調と母音
 内容・方法：中国語の発音1（母音、複母音と声調）の説明と練習。
- 【第3回】
 テーマ：声調と母音
 内容・方法：中国語の発音1（母音、複母音と声調）の復習と練習。
- 【第4回】
 テーマ：子音
 内容・方法：中国語の発音2（子音1）の説明と練習。
- 【第5回】
 テーマ：子音
 内容・方法：中国語の発音2（子音2）の説明と練習。
- 【第6回】
 テーマ：鼻母音と軽声
 内容・方法：中国語の発音3（鼻母音と軽声）の説明と練習。
- 【第7回】
 テーマ：鼻母音と軽声
 内容・方法：中国語の発音3（鼻母音と軽声）の復習と練習。
- 【第8回】
 テーマ：声調の変化
 内容・方法：中国語の発音4（声調変化1, 2, 3）の説明と練習。
- 【第9回】
 テーマ：r化と声調の組み合わせ
 内容・方法：中国語の発音4（r化と声調の組み合わせ）の説明と練習。
- 【第10回】
 テーマ：中国語発音のまとめ
 内容・方法：中国語の発音の仕方を再確認し、小テストを行う。
- 【第11回】
 テーマ：第5課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第12回】
 テーマ：第5課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第13回】
 テーマ：第6課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第14回】
 テーマ：第6課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第15回】
 テーマ：第5課と第6課のまとめ

内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。

【第16回】

テーマ：第7課

内容・方法：文法の説明とドリル練習。

【第17回】

テーマ：第7課

内容・方法：本文の説明と会話練習。

【第18回】

テーマ：第8課

内容・方法：文法の説明とドリル練習。

【第19回】

テーマ：第8課

内容・方法：本文の説明と会話練習。

【第20回】

テーマ：第7課と第8課のまとめ

内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。

【第21回】

テーマ：第9課

内容・方法：文法の説明とドリル練習。

【第22回】

テーマ：第9課

内容・方法：本文の説明と会話練習。

【第23回】

テーマ：第10課

内容・方法：文法の説明とドリル練習。

【第24回】

テーマ：第10課

内容・方法：本文の説明と会話練習。

【第25回】

テーマ：第9課と第10課のまとめ

内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。

【第26回】

テーマ：第11課

内容・方法：文法の説明とドリル練習。

【第27回】

テーマ：第11課

内容・方法：本文の説明と会話練習。

【第28回】

テーマ：第12課

内容・方法：文法の説明とドリル練習。

【第29回】

テーマ：第12課

内容・方法：本文の説明と会話練習。

【第30回】

テーマ：前期のまとめ

内容・方法：前期内容の総合テスト（リスニングを含む）を行う。

*授業の進展状況によって、多少調整する可能性がある。

事前事後の学習

授業時間外で、計30時間の事前事後学習が必要です。

事前、事後学習として、下記の内容について毎回、それぞれ1時間以上の学習が必要。

- ・新出語句の暗記
- ・文法要点の予習・復習
- ・録音を繰り返し聞く
- ・練習で気づいた問題などについて再度復習

課題に対するフィードバックの方法

- ・学習相談は授業の前後に対応する。
- ・小テストと期末テストを採点した後、速やかにフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

1. 評価基準 以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。
2. 評価方法 【40%】授業中の小テスト
【50%】期末テスト（リスニングを含む筆記試験）
【10%】積極的な授業参加、受講態度

成績評価の種類

評価割合
(%)

評価方法・割合

評価対象となる到達目標

授業内での評価	50	授業中の出来栄および小テストの成績を参考にして評価を行う。	1, 2, 3
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	50	期末総合テストの得点を基に計算を行う。	1, 2, 3
その他	0		

テキスト	『大学生のための初級中国語24回(改訂版)』/杉野元子・黄漢青/白帝社/定価 2400円+税/978-4-86398-368-7		
参考書	『基礎から発展までよくわかる中国語文法』/丸尾 誠 著		
履修条件・他の科目との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・1回でも欠席すると、授業について行けなくなるため、必ず全回出席すること。 ・やむを得ない事情で遅刻や欠席をする場合は、必ず担当教員に連絡すること。 ・正当な理由なく、3分の1以上欠席した場合、または期末試験を欠席した場合は、評価の対象とせず、「K」評価とする。 ・同様に、特段の理由のない遅刻・早退は1/2回分の欠席と数えられるため注意すること。 		

授業コード	10402503	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	中国語 I [対面]				
シラバス執筆(全員)	鄭 以君				
シラバス執筆(主)	鄭 以君				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

中国語 I では発話の練習と文法の仕組みをバランスよく学習する。

中国語の会話の基本となる発音を正確にマスターするように、会話文を使って繰り返し練習し、単語や例文が「スムーズに発音できる」「聞いて理解できる」レベルを目指す。また、発話による基礎的な中国語コミュニケーション能力を身につけ、中国語で自己紹介ができるように練習する。

中国語講読・作文の基本が身につくように、基礎的な文法を身につけたうえ、初歩的な文章の講読や作文ができるレベルを目指す。講読文の理解を通して、文章による基礎的なコミュニケーション能力を身につける。

到達目標

1. 中国語の発音を習得し、基礎的な文法を理解することができる。
2. 中国語の基礎的な運用能力として、「読み・書き・話し・聞く」ことができる。
3. 中国語圏の社会や文化の基本的な事項について理解し、説明できる。

授業計画

- 【第1回】
テーマ：中国語とは
内容・方法：これからの授業についての説明。中国語についての紹介。
- 【第2回】
テーマ：声調と母音
内容・方法：中国語の発音1（母音、複母音と声調）の説明と練習。
- 【第3回】
テーマ：声調と母音
内容・方法：中国語の発音1（母音、複母音と声調）の復習と練習。
- 【第4回】
テーマ：子音
内容・方法：中国語の発音2（子音1）の説明と練習。
- 【第5回】
テーマ：子音
内容・方法：中国語の発音2（子音2）の説明と練習。
- 【第6回】
テーマ：鼻母音と軽声
内容・方法：中国語の発音3（鼻母音と軽声）の説明と練習。
- 【第7回】
テーマ：鼻母音と軽声
内容・方法：中国語の発音3（鼻母音と軽声）の復習と練習。
- 【第8回】
テーマ：声調の変化
内容・方法：中国語の発音4（声調変化1, 2, 3）の説明と練習。
- 【第9回】
テーマ：r化と声調の組み合わせ
内容・方法：中国語の発音4（r化と声調の組み合わせ）の説明と練習。
- 【第10回】
テーマ：中国語発音のまとめ
内容・方法：中国語の発音の仕方を再確認し、小テストを行う。
- 【第11回】
テーマ：第5課
内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第12回】
テーマ：第5課
内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第13回】
テーマ：第6課
内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第14回】
テーマ：第6課
内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第15回】
テーマ：第5課と第6課のまとめ

内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。

【第16回】

テーマ：第7課

内容・方法：文法の説明とドリル練習。

【第17回】

テーマ：第7課

内容・方法：本文の説明と会話練習。

【第18回】

テーマ：第8課

内容・方法：文法の説明とドリル練習。

【第19回】

テーマ：第8課

内容・方法：本文の説明と会話練習。

【第20回】

テーマ：第7課と第8課のまとめ

内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。

【第21回】

テーマ：第9課

内容・方法：文法の説明とドリル練習。

【第22回】

テーマ：第9課

内容・方法：本文の説明と会話練習。

【第23回】

テーマ：第10課

内容・方法：文法の説明とドリル練習。

【第24回】

テーマ：第10課

内容・方法：本文の説明と会話練習。

【第25回】

テーマ：第9課と第10課のまとめ

内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。

【第26回】

テーマ：第11課

内容・方法：文法の説明とドリル練習。

【第27回】

テーマ：第11課

内容・方法：本文の説明と会話練習。

【第28回】

テーマ：第12課

内容・方法：文法の説明とドリル練習。

【第29回】

テーマ：第12課

内容・方法：本文の説明と会話練習。

【第30回】

テーマ：前期のまとめ

内容・方法：前期内容の総合テスト（リスニングを含む）を行う。

*授業の進展状況によって、多少調整する可能性がある。

事前事後の学習

授業時間外で、計30時間の事前事後学習が必要です。

事前、事後学習として、下記の内容について毎回、それぞれ1時間以上の学習が必要。

- ・新出語句の暗記
- ・文法要点の予習・復習
- ・録音を繰り返し聞く
- ・練習で気づいた問題などについて再度復習

課題に対するフィードバックの方法

- ・学習相談は授業の前後に対応する。
- ・小テストを採点した後、速やかにフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

1. 評価基準 以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。
2. 評価方法 【50%】授業中の小テスト、課題の完成
【40%】期末テスト（リスニングを含む筆記試験）
【10%】積極的な授業参加、受講態度

成績評価の種類

評価割合
(%)

評価方法・割合

評価対象となる到達目標

授業内での評価	60	授業中の出来栄および課題の完成、小テストの成績を参考にして評価を行う。	1, 2, 3
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	40	期末総合テスト等の得点を基に計算を行う。	1, 2, 3
その他	0		

テキスト	『大学生のための初級中国語24回(改訂版)』/杉野元子・黄漢青/白帝社/定価 2400円+税/978-4-86398-368-7		
参考書	『基礎から発展までよくわかる中国語文法』/丸尾 誠 著		
履修条件・他の科目との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・1回でも欠席すると、授業について行けなくなるため、必ず全回出席すること。 ・やむを得ない事情で遅刻や欠席をする場合は、必ず担当教員に連絡すること。 ・正当な理由なく、3分の1以上欠席した場合、または期末試験を欠席した場合は、評価の対象とせず、「K」評価とする。 ・同様に、特段の理由のない遅刻・早退は1/2回分の欠席と数えられるため注意すること。 		

授業コード	10402504	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	中国語 I [対面]				
シラバス執筆(全員)	侯 月琴				
シラバス執筆(主)	侯 月琴				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

中国語 I では発話の練習と文法の仕組みをバランスよく学習する。

中国語の会話の基本となる発音を正確にマスターするように、会話文を使って繰り返し練習し、単語や例文が「スムーズに発音できる」「聞いて理解できる」レベルを目指す。また、発話による基礎的な中国語コミュニケーション能力を身につけ、中国語で自己紹介ができるように練習する。

中国語講読・作文の基本が身につくように、基礎的な文法を身につけたうえ、初歩的な文章の講読や作文ができるレベルを目指す。講読文の理解を通して、文章による基礎的なコミュニケーション能力を身につける。

到達目標

1. 中国語の発音を習得し、基礎的な文法を理解することができる。
2. 中国語の基礎的な運用能力として、「読み・書き・話し・聞く」ことができる。
3. 中国語圏の社会や文化の基本的な事項について理解し、説明できる。

授業計画

- 【第1回】
テーマ：中国語とは
内容・方法：これからの授業についての説明。中国語についての紹介。
- 【第2回】
テーマ：声調と母音
内容・方法：中国語の発音1（母音、複母音と声調）の説明と練習。
- 【第3回】
テーマ：声調と母音
内容・方法：中国語の発音1（母音、複母音と声調）の復習と練習。
- 【第4回】
テーマ：子音
内容・方法：中国語の発音2（子音1）の説明と練習。
- 【第5回】
テーマ：子音
内容・方法：中国語の発音2（子音2）の説明と練習。
- 【第6回】
テーマ：鼻母音と軽声
内容・方法：中国語の発音3（鼻母音と軽声）の説明と練習。
- 【第7回】
テーマ：鼻母音と軽声
内容・方法：中国語の発音3（鼻母音と軽声）の復習と練習。
- 【第8回】
テーマ：声調の変化
内容・方法：中国語の発音4（声調変化1, 2, 3）の説明と練習。
- 【第9回】
テーマ：r化と声調の組み合わせ
内容・方法：中国語の発音4（r化と声調の組み合わせ）の説明と練習。
- 【第10回】
テーマ：中国語発音のまとめ
内容・方法：中国語の発音の仕方を再確認し、小テストを行う。
- 【第11回】
テーマ：第5課
内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第12回】
テーマ：第5課
内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第13回】
テーマ：第6課
内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第14回】
テーマ：第6課
内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第15回】
テーマ：第5課と第6課のまとめ

内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。

【第16回】

テーマ：第7課

内容・方法：文法の説明とドリル練習。

【第17回】

テーマ：第7課

内容・方法：本文の説明と会話練習。

【第18回】

テーマ：第8課

内容・方法：文法の説明とドリル練習。

【第19回】

テーマ：第8課

内容・方法：本文の説明と会話練習。

【第20回】

テーマ：第7課と第8課のまとめ

内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。

【第21回】

テーマ：第9課

内容・方法：文法の説明とドリル練習。

【第22回】

テーマ：第9課

内容・方法：本文の説明と会話練習。

【第23回】

テーマ：第10課

内容・方法：文法の説明とドリル練習。

【第24回】

テーマ：第10課

内容・方法：本文の説明と会話練習。

【第25回】

テーマ：第9課と第10課のまとめ

内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。

【第26回】

テーマ：第11課

内容・方法：文法の説明とドリル練習。

【第27回】

テーマ：第11課

内容・方法：本文の説明と会話練習。

【第28回】

テーマ：第12課

内容・方法：文法の説明とドリル練習。

【第29回】

テーマ：第12課

内容・方法：本文の説明と会話練習。

【第30回】

テーマ：前期のまとめ

内容・方法：前期内容の総合テスト（リスニングを含む）を行う。

*授業の進展状況によって、多少調整する可能性がある。

事前事後の学習

授業時間外で、計30時間の事前事後学習が必要です。

事前、事後学習として、下記の内容について毎回、それぞれ1時間以上の学習が必要。

- ・新出語句の暗記
- ・文法要点の予習・復習
- ・録音を繰り返し聞く
- ・練習で気づいた問題などについて再度復習

課題に対するフィードバックの方法

- ・学習相談は授業の前後に対応する。
- ・小テストと期末テストを採点した後、速やかにフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

1. 評価基準 以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。
2. 評価方法 【40%】授業中の小テスト
【50%】期末テスト（リスニングを含む筆記試験）
【10%】積極的な授業参加、受講態度

成績評価の種類

評価割合
(%)

評価方法・割合

評価対象となる到達目標

授業内での評価	50	授業中の出来栄および小テストの成績を参考にして評価を行う。	1, 2, 3
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	50	期末総合テストの得点を基に計算を行う。	1, 2, 3
その他	0		

テキスト	『大学生のための初級中国語24回(改訂版)』/杉野元子・黄漢青/白帝社/定価 2400円+税/978-4-86398-368-7		
------	--	--	--

参考書	『基礎から発展までよくわかる中国語文法』/丸尾 誠 著		
-----	-----------------------------	--	--

履修条件・他の科目との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・1回でも欠席すると、授業について行けなくなるため、必ず全回出席すること。 ・やむを得ない事情で遅刻や欠席をする場合は、必ず担当教員に連絡すること。 ・正当な理由なく、3分の1以上欠席した場合、または期末試験を欠席した場合は、評価の対象とせず、「K」評価とする。 ・同様に、特段の理由のない遅刻・早退は1/2回分の欠席と数えられるため注意すること。 		
---------------	---	--	--

授業コード	10402505	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	中国語 I [対面]				
シラバス執筆(全員)	沈 恩明				
シラバス執筆(主)	沈 恩明				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

中国語 I では発話の練習と文法の仕組みをバランスよく学習する。

中国語の会話の基本となる発音を正確にマスターするように、会話文を使って繰り返し練習し、単語や例文が「スムーズに発音できる」「聞いて理解できる」レベルを目指す。また、発話による基礎的な中国語コミュニケーション能力を身につけ、中国語で自己紹介ができるように練習する。

中国語講読・作文の基本が身につくように、基礎的な文法を身につけたうえ、初歩的な文章の講読や作文ができるレベルを目指す。講読文の理解を通して、文章による基礎的なコミュニケーション能力を身につける。

到達目標

1. 中国語の発音を習得し、基礎的な文法を理解することができる。
2. 中国語の基礎的な運用能力として、「読み・書き・話し・聞く」ことができる。
3. 中国語圏の社会や文化の基本的な事項について理解し、説明できる。

授業計画

- 【第1回】
テーマ：中国語とは
内容・方法：これからの授業についての説明。中国語についての紹介。
- 【第2回】
テーマ：声調と母音
内容・方法：中国語の発音1（母音、複母音と声調）の説明と練習。
- 【第3回】
テーマ：声調と母音
内容・方法：中国語の発音1（母音、複母音と声調）の復習と練習。
- 【第4回】
テーマ：子音
内容・方法：中国語の発音2（子音1）の説明と練習。
- 【第5回】
テーマ：子音
内容・方法：中国語の発音2（子音2）の説明と練習。
- 【第6回】
テーマ：鼻母音と軽声
内容・方法：中国語の発音3（鼻母音と軽声）の説明と練習。
- 【第7回】
テーマ：鼻母音と軽声
内容・方法：中国語の発音3（鼻母音と軽声）の復習と練習。
- 【第8回】
テーマ：声調の変化
内容・方法：中国語の発音4（声調変化1, 2, 3）の説明と練習。
- 【第9回】
テーマ：r化と声調の組み合わせ
内容・方法：中国語の発音4（r化と声調の組み合わせ）の説明と練習。
- 【第10回】
テーマ：中国語発音のまとめ
内容・方法：中国語の発音の仕方を再確認し、小テストを行う。
- 【第11回】
テーマ：第5課
内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第12回】
テーマ：第5課
内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第13回】
テーマ：第6課
内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第14回】
テーマ：第6課
内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第15回】
テーマ：第5課と第6課のまとめ

内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。

【第16回】

テーマ：第7課

内容・方法：文法の説明とドリル練習。

【第17回】

テーマ：第7課

内容・方法：本文の説明と会話練習。

【第18回】

テーマ：第8課

内容・方法：文法の説明とドリル練習。

【第19回】

テーマ：第8課

内容・方法：本文の説明と会話練習。

【第20回】

テーマ：第7課と第8課のまとめ

内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。

【第21回】

テーマ：第9課

内容・方法：文法の説明とドリル練習。

【第22回】

テーマ：第9課

内容・方法：本文の説明と会話練習。

【第23回】

テーマ：第10課

内容・方法：文法の説明とドリル練習。

【第24回】

テーマ：第10課

内容・方法：本文の説明と会話練習。

【第25回】

テーマ：第9課と第10課のまとめ

内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。

【第26回】

テーマ：第11課

内容・方法：文法の説明とドリル練習。

【第27回】

テーマ：第11課

内容・方法：本文の説明と会話練習。

【第28回】

テーマ：第12課

内容・方法：文法の説明とドリル練習。

【第29回】

テーマ：第12課

内容・方法：本文の説明と会話練習。

【第30回】

テーマ：前期のまとめ

内容・方法：前期内容の総合テスト（リスニングを含む）を行う。

*授業の進展状況によって、多少調整する可能性がある。

事前事後の学習

授業時間外で、計30時間の事前事後学習が必要です。

事前、事後学習として、下記の内容について毎回、それぞれ1時間以上の学習が必要。

- ・新出語句の暗記
- ・文法要点の予習・復習
- ・録音を繰り返し聞く
- ・練習で気づいた問題などについて再度復習

課題に対するフィードバックの方法

- ・学習相談は授業の前後に対応する。
- ・課題の内容を提出の期限後に、授業で解説を行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

1. 評価基準 以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。
2. 評価方法 【20%】課題完成状況
【50%】期末テスト（リスニングを含む筆記試験）
【30%】積極的な授業参加、受講態度

成績評価の種類

評価割合
(%)

評価方法・割合

評価対象となる到達目標

授業内での評価	30	授業参加の積極度及び受講態度と授業中の出来栄	1, 2, 3
授業外での評価	20	課題完成状況によって評価する	1,2
定期試験	50	定期試験の点	1, 2, 3
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	0		

テキスト	『大学生のための初級中国語24回(改訂版)』/杉野元子・黄漢青/白帝社/定価 2400円＋税/978-4-86398-368-7
------	--

参考書	『基礎から発展までよくわかる中国語文法』/丸尾 誠 著
-----	-----------------------------

履修条件・他の科目との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・1回でも欠席すると、授業について行けなくなるため、必ず全回出席すること。 ・やむを得ない事情で遅刻や欠席をする場合は、必ず担当教員に連絡すること。 ・正当な理由なく、3分の1以上欠席した場合、または期末試験を欠席した場合は、評価の対象とせず、「K」評価とする。 ・同様に、特段の理由のない遅刻・早退は1/2回分の欠席と数えられるため注意すること。
---------------	---

授業コード	10402508	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	中国語 I [対面]				
シラバス執筆(全員)	董 玉テイ				
シラバス執筆(主)	董 玉テイ				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

中国語 I では発話の練習と文法の仕組みをバランスよく学習する。

中国語の会話の基本となる発音を正確にマスターするように、会話文を使って繰り返し練習し、単語や例文が「スムーズに発音できる」「聞いて理解できる」レベルを目指す。また、発話による基礎的な中国語コミュニケーション能力を身につけ、中国語で自己紹介ができるように練習する。

中国語講読・作文の基本が身につくように、基礎的な文法を身につけたうえ、初歩的な文章の講読や作文ができるレベルを目指す。講読文の理解を通して、文章による基礎的なコミュニケーション能力を身につける。

到達目標

1. 中国語の発音を習得し、基礎的な文法を理解することができる。
2. 中国語の基礎的な運用能力として、「読み・書き・話し・聞く」ことができる。
3. 中国語圏の社会や文化の基本的な事項について理解し、説明できる。

授業計画

- 【第1回】
テーマ：中国語とは
内容・方法：これからの授業についての説明。中国語についての紹介。
- 【第2回】
テーマ：声調と母音
内容・方法：中国語の発音1（母音、複母音と声調）の説明と練習。
- 【第3回】
テーマ：声調と母音
内容・方法：中国語の発音1（母音、複母音と声調）の復習と練習。
- 【第4回】
テーマ：子音
内容・方法：中国語の発音2（子音1）の説明と練習。
- 【第5回】
テーマ：子音
内容・方法：中国語の発音2（子音2）の説明と練習。
- 【第6回】
テーマ：鼻母音と軽声
内容・方法：中国語の発音3（鼻母音と軽声）の説明と練習。
- 【第7回】
テーマ：鼻母音と軽声
内容・方法：中国語の発音3（鼻母音と軽声）の復習と練習。
- 【第8回】
テーマ：声調の変化
内容・方法：中国語の発音4（声調変化1, 2, 3）の説明と練習。
- 【第9回】
テーマ：r化と声調の組み合わせ
内容・方法：中国語の発音4（r化と声調の組み合わせ）の説明と練習。
- 【第10回】
テーマ：中国語発音のまとめ
内容・方法：中国語の発音の仕方を再確認し、小テストを行う。
- 【第11回】
テーマ：第5課
内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第12回】
テーマ：第5課
内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第13回】
テーマ：第6課
内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第14回】
テーマ：第6課
内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第15回】
テーマ：第5課と第6課のまとめ

内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。

【第16回】

テーマ：第7課

内容・方法：文法の説明とドリル練習。

【第17回】

テーマ：第7課

内容・方法：本文の説明と会話練習。

【第18回】

テーマ：第8課

内容・方法：文法の説明とドリル練習。

【第19回】

テーマ：第8課

内容・方法：本文の説明と会話練習。

【第20回】

テーマ：第7課と第8課のまとめ

内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。

【第21回】

テーマ：第9課

内容・方法：文法の説明とドリル練習。

【第22回】

テーマ：第9課

内容・方法：本文の説明と会話練習。

【第23回】

テーマ：第10課

内容・方法：文法の説明とドリル練習。

【第24回】

テーマ：第10課

内容・方法：本文の説明と会話練習。

【第25回】

テーマ：第9課と第10課のまとめ

内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。

【第26回】

テーマ：第11課

内容・方法：文法の説明とドリル練習。

【第27回】

テーマ：第11課

内容・方法：本文の説明と会話練習。

【第28回】

テーマ：第12課

内容・方法：文法の説明とドリル練習。

【第29回】

テーマ：第12課

内容・方法：本文の説明と会話練習。

【第30回】

テーマ：前期のまとめ

内容・方法：前期内容の総合テスト（リスニングを含む）を行う。

*授業の進展状況によって、多少調整する可能性がある。

事前事後の学習

授業時間外で、計30時間の事前事後学習が必要です。

事前、事後学習として、下記の内容について毎回、それぞれ1時間以上の学習が必要。

- ・新出語句の暗記
- ・文法要点の予習・復習
- ・録音を繰り返し聞く
- ・練習で気づいた問題などについて再度復習

課題に対するフィードバックの方法

- ・学習相談は授業の前後に対応する。
- ・小テストと期末テストを採点した後、速やかにフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

1. 評価基準 以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。
2. 評価方法 【40%】授業中の小テスト
【50%】期末テスト（リスニングを含む筆記試験）
【10%】積極的な授業参加、受講態度

成績評価の種類

評価割合
(%)

評価方法・割合

評価対象となる到達目標

授業内での評価	50	授業中の出来栄および小テストの成績を参考にして評価を行う。	1, 2, 3
授業外での評価	0		
定期試験	50	期末総合テストの得点を基に計算を行う。	1, 2, 3
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	0		

テキスト	『大学生のための初級中国語24回(改訂版)』/杉野元子・黄漢青/白帝社/定価 2400円+税/978-4-86398-368-7		
------	--	--	--

参考書	『基礎から発展までよくわかる中国語文法』/丸尾 誠 著		
-----	-----------------------------	--	--

履修条件・他の科目との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・1回でも欠席すると、授業について行けなくなるため、必ず全回出席すること。 ・やむを得ない事情で遅刻や欠席をする場合は、必ず担当教員に連絡すること。 ・正当な理由なく、3分の1以上欠席した場合、または定期試験を欠席した場合は、評価の対象とせず、「K」評価とする。 ・同様に、特段の理由のない遅刻・早退は1/2回分の欠席と数えられるため注意すること。 		
---------------	---	--	--

授業コード	10402602	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	中国語Ⅱ [対面]				
シラバス執筆(全員)	夏 嵐				
シラバス執筆(主)	夏 嵐				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

「中国語Ⅰ」に引き続き、中国語の基本的な文法を学び、平易な中国語を聞き、話すことができるように練習する。

中国語の基礎文法、表現等を復習しながら、新しい文法事項を学習する。発音練習にも力を入れ、初級段階で獲得すべき運用能力を完成させ、中級への足がかりとする。

また、語学的なもの他にその背景となる中国の文化や現在の社会事情などを紹介し、中国社会全体についての興味・関心を育てる。

到達目標

1. 平易な中国語を聞き、話すことができる。
2. 中国語の基礎的な文法項目を運用することができる。
3. 中国語圏の社会や文化の発展的な事項について理解し、説明できる。

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：中国語Ⅰの復習
 内容・方法：中国語Ⅰで習った内容についての復習をする。
- 【第2回】
 テーマ：第13課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第3回】
 テーマ：第13課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第4回】
 テーマ：第14課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第5回】
 テーマ：第14課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第6回】
 テーマ：第13課と第14課のまとめ
 内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。
- 【第7回】
 テーマ：第15課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第8回】
 テーマ：第15課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第9回】
 テーマ：第16課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第10回】
 テーマ：第16課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第11回】
 テーマ：第15課と第16課のまとめ
 内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。
- 【第12回】
 テーマ：第17課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第13回】
 テーマ：第17課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第14回】
 テーマ：第18課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第15回】
 テーマ：第18課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第16回】

テーマ：第17課と第18課のまとめ
 内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。
 【第17回】
 テーマ：第19課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
 【第18回】
 テーマ：第19課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
 【第19回】
 テーマ：第20課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
 【第20回】
 テーマ：第20課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
 【第21回】
 テーマ：第19課と第20課のまとめ
 内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。
 【第22回】
 テーマ：第21課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
 【第23回】
 テーマ：第21課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
 【第24回】
 テーマ：第22課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
 【第25回】
 テーマ：第22課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
 【第26回】
 テーマ：第21課と第22課のまとめ
 内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。
 【第27回】
 テーマ：第23課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
 【第28回】
 テーマ：第23課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
 【第29回】
 テーマ：第24課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
 【第30回】
 テーマ：第24課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。

*授業の進展状況によって、多少調整する可能性がある。

事前事後の学習

授業時間外で、計30時間の事前事後学習が必要です。

事前、事後学習として、下記の内容について毎回、それぞれ1時間以上の学習が必要。

- ・新出語句の暗記
- ・文法要点の予習・復習
- ・録音を繰り返し聞く
- ・練習で気づいた問題などについて再度復習

課題に対するフィードバックの方法

- ・学習相談は授業の前後に対応する。
- ・小テストと期末テストを採点した後、速やかにフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

1. 評価基準 以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。
2. 評価方法 【40%】授業中の小テスト
 【50%】期末テスト（リスニングを含む筆記試験）
 【10%】積極的な授業参加、受講態度

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	授業中の出来栄および小テストの成績を参考にして評価を行う。	1, 2, 3

授業外での評価	0		
定期試験	50	期末総合テストの得点を基に計算を行う。	1, 2, 3
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	0		

テキスト	『大学生のための初級中国語24回(改訂版)』/杉野元子・黄漢青/白帝社/定価 2400円+税/978-4-86398-368-7		
------	--	--	--

参考書	『基礎から発展までよくわかる中国語文法』/丸尾 誠 著		
-----	-----------------------------	--	--

履修条件・他の科目との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・「中国語I」の単位を取得していること。 ・1回でも欠席すると、授業について行けなくなるため、必ず全回出席すること。 ・やむを得ない事情で遅刻や欠席をする場合は、必ず担当教員に連絡すること。 ・正当な理由なく、3分の1以上欠席した場合、または期末試験を欠席した場合は、評価の対象とせず、「K」評価とする。 ・同様に、特段の理由のない遅刻・早退は1/2回分の欠席と数えられるため注意すること。 		
---------------	---	--	--

授業コード	10402603	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	中国語Ⅱ [対面]				
シラバス執筆(全員)	鄭 以君				
シラバス執筆(主)	鄭 以君				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

「中国語Ⅰ」に引き続き、中国語の基本的な文法を学び、平易な中国語を聞き、話すことができるように練習する。

中国語の基礎文法、表現等を復習しながら、新しい文法事項を学習する。発音練習にも力を入れ、初級段階で獲得すべき運用能力を完成させ、中級への足がかりとする。

また、語学的なもの他にその背景となる中国の文化や現在の社会事情などを紹介し、中国社会全体についての興味・関心を育てる。

到達目標

1. 平易な中国語を聞き、話すことができる。
2. 中国語の基礎的な文法項目を運用することができる。
3. 中国語圏の社会や文化の発展的な事項について理解し、説明できる。

授業計画

- 【第1回】
テーマ：中国語Ⅰの復習
内容・方法：中国語Ⅰで習った内容についての復習をする。
- 【第2回】
テーマ：第13課
内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第3回】
テーマ：第13課
内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第4回】
テーマ：第14課
内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第5回】
テーマ：第14課
内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第6回】
テーマ：第13課と第14課のまとめ
内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。
- 【第7回】
テーマ：第15課
内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第8回】
テーマ：第15課
内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第9回】
テーマ：第16課
内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第10回】
テーマ：第16課
内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第11回】
テーマ：第15課と第16課のまとめ
内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。
- 【第12回】
テーマ：第17課
内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第13回】
テーマ：第17課
内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第14回】
テーマ：第18課
内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第15回】
テーマ：第18課
内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第16回】

テーマ：第17課と第18課のまとめ
 内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。
 【第17回】
 テーマ：第19課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
 【第18回】
 テーマ：第19課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
 【第19回】
 テーマ：第20課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
 【第20回】
 テーマ：第20課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
 【第21回】
 テーマ：第19課と第20課のまとめ
 内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。
 【第22回】
 テーマ：第21課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
 【第23回】
 テーマ：第21課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
 【第24回】
 テーマ：第22課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
 【第25回】
 テーマ：第22課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
 【第26回】
 テーマ：第21課と第22課のまとめ
 内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。
 【第27回】
 テーマ：第23課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
 【第28回】
 テーマ：第23課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
 【第29回】
 テーマ：第24課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
 【第30回】
 テーマ：第24課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。

*授業の進展状況によって、多少調整する可能性がある。

事前事後の学習

授業時間外で、計30時間の事前事後学習が必要です。

事前、事後学習として、下記の内容について毎回、それぞれ1時間以上の学習が必要。

- ・新出語句の暗記
- ・文法要点の予習・復習
- ・録音を繰り返し聞く
- ・練習で気づいた問題などについて再度復習

課題に対するフィードバックの方法

- ・学習相談は授業の前後に対応する。
- ・小テストを採点した後、速やかにフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

1. 評価基準 以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。
2. 評価方法 【50%】授業中の小テスト、課題の完成
 【40%】期末テスト（リスニングを含む筆記試験）
 【10%】積極的な授業参加、受講態度

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	授業中の出来栄および課題の完成、小テストの成績を参考にして評価を行う。	1, 2, 3

授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	40	期末総合テスト等の得点を基に計算を行う。	1, 2, 3
その他	0		

テキスト	『大学生のための初級中国語24回(改訂版)』/杉野元子・黄漢青/白帝社/定価 2400円+税/978-4-86398-368-7		
------	--	--	--

参考書	『基礎から発展までよくわかる中国語文法』/丸尾 誠 著		
-----	-----------------------------	--	--

履修条件・他の科目との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・「中国語I」の単位を取得していること。 ・1回でも欠席すると、授業について行けなくなるため、必ず全回出席すること。 ・やむを得ない事情で遅刻や欠席をする場合は、必ず担当教員に連絡すること。 ・正当な理由なく、3分の1以上欠席した場合、または期末試験を欠席した場合は、評価の対象とせず、「K」評価とする。 ・同様に、特段の理由のない遅刻・早退は1/2回分の欠席と数えられるため注意すること。 		
---------------	---	--	--

授業コード	10402604	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	中国語Ⅱ [対面]				
シラバス執筆(全員)	侯 月琴				
シラバス執筆(主)	侯 月琴				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

「中国語Ⅰ」に引き続き、中国語の基本的な文法を学び、平易な中国語を聞き、話すことができるように練習する。

中国語の基礎文法、表現等を復習しながら、新しい文法事項を学習する。発音練習にも力を入れ、初級段階で獲得すべき運用能力を完成させ、中級への足がかりとする。

また、語学的なもの他にその背景となる中国の文化や現在の社会事情などを紹介し、中国社会全体についての興味・関心を育てる。

到達目標

1. 平易な中国語を聞き、話すことができる。
2. 中国語の基礎的な文法項目を運用することができる。
3. 中国語圏の社会や文化の発展的な事項について理解し、説明できる。

授業計画

- 【第1回】
テーマ：中国語Ⅰの復習
内容・方法：中国語Ⅰで習った内容についての復習をする。
- 【第2回】
テーマ：第13課
内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第3回】
テーマ：第13課
内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第4回】
テーマ：第14課
内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第5回】
テーマ：第14課
内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第6回】
テーマ：第13課と第14課のまとめ
内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。
- 【第7回】
テーマ：第15課
内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第8回】
テーマ：第15課
内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第9回】
テーマ：第16課
内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第10回】
テーマ：第16課
内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第11回】
テーマ：第15課と第16課のまとめ
内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。
- 【第12回】
テーマ：第17課
内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第13回】
テーマ：第17課
内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第14回】
テーマ：第18課
内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第15回】
テーマ：第18課
内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第16回】

テーマ：第17課と第18課のまとめ
 内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。
 【第17回】
 テーマ：第19課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
 【第18回】
 テーマ：第19課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
 【第19回】
 テーマ：第20課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
 【第20回】
 テーマ：第20課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
 【第21回】
 テーマ：第19課と第20課のまとめ
 内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。
 【第22回】
 テーマ：第21課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
 【第23回】
 テーマ：第21課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
 【第24回】
 テーマ：第22課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
 【第25回】
 テーマ：第22課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
 【第26回】
 テーマ：第21課と第22課のまとめ
 内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。
 【第27回】
 テーマ：第23課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
 【第28回】
 テーマ：第23課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
 【第29回】
 テーマ：第24課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
 【第30回】
 テーマ：第24課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。

*授業の進展状況によって、多少調整する可能性がある。

事前事後の学習

授業時間外で、計30時間の事前事後学習が必要です。

事前、事後学習として、下記の内容について毎回、それぞれ1時間以上の学習が必要。

- ・新出語句の暗記
- ・文法要点の予習・復習
- ・録音を繰り返し聞く
- ・練習で気づいた問題などについて再度復習

課題に対するフィードバックの方法

- ・学習相談は授業の前後に対応する。
- ・小テストと期末テストを採点した後、速やかにフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

1. 評価基準 以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60 点以上を合格とし、所定の単位を認定する。
2. 評価方法 【40%】 授業中の小テスト
 【50%】 期末テスト（リスニングを含む筆記試験）
 【10%】 積極的な授業参加、受講態度

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	授業中の出来栄および小テストの成績を参考にして評価を行う。	1, 2, 3

授業外での評価	0		
定期試験	50	期末総合テストの得点を基に計算を行う。	1, 2, 3
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	0		

テキスト	『大学生のための初級中国語24回(改訂版)』/杉野元子・黄漢青/白帝社/定価 2400円+税/978-4-86398-368-7		
------	--	--	--

参考書	『基礎から発展までよくわかる中国語文法』/丸尾 誠 著		
-----	-----------------------------	--	--

履修条件・他の科目との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・「中国語I」の単位を取得していること。 ・1回でも欠席すると、授業について行けなくなるため、必ず全回出席すること。 ・やむを得ない事情で遅刻や欠席をする場合は、必ず担当教員に連絡すること。 ・正当な理由なく、3分の1以上欠席した場合、または期末試験を欠席した場合は、評価の対象とせず、「K」評価とする。 ・同様に、特段の理由のない遅刻・早退は1/2回分の欠席と数えられるため注意すること。 		
---------------	---	--	--

授業コード	10402605	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	中国語Ⅱ [対面]				
シラバス執筆(全員)	沈 恩明				
シラバス執筆(主)	沈 恩明				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

「中国語Ⅰ」に引き続き、中国語の基本的な文法を学び、平易な中国語を聞き、話すことができるように練習する。

中国語の基礎文法、表現等を復習しながら、新しい文法事項を学習する。発音練習にも力を入れ、初級段階で獲得すべき運用能力を完成させ、中級への足がかりとする。

また、語学的なもの他にその背景となる中国の文化や現在の社会事情などを紹介し、中国社会全体についての興味・関心を育てる。

到達目標

1. 平易な中国語を聞き、話すことができる。
2. 中国語の基礎的な文法項目を運用することができる。
3. 中国語圏の社会や文化の発展的な事項について理解し、説明できる。

授業計画

- 【第1回】
テーマ：中国語Ⅰの復習
内容・方法：中国語Ⅰで習った内容についての復習をする。
- 【第2回】
テーマ：第13課
内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第3回】
テーマ：第13課
内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第4回】
テーマ：第14課
内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第5回】
テーマ：第14課
内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第6回】
テーマ：第13課と第14課のまとめ
内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。
- 【第7回】
テーマ：第15課
内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第8回】
テーマ：第15課
内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第9回】
テーマ：第16課
内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第10回】
テーマ：第16課
内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第11回】
テーマ：第15課と第16課のまとめ
内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。
- 【第12回】
テーマ：第17課
内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第13回】
テーマ：第17課
内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第14回】
テーマ：第18課
内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第15回】
テーマ：第18課
内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第16回】

テーマ：第17課と第18課のまとめ
 内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。
 【第17回】
 テーマ：第19課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
 【第18回】
 テーマ：第19課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
 【第19回】
 テーマ：第20課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
 【第20回】
 テーマ：第20課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
 【第21回】
 テーマ：第19課と第20課のまとめ
 内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。
 【第22回】
 テーマ：第21課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
 【第23回】
 テーマ：第21課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
 【第24回】
 テーマ：第22課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
 【第25回】
 テーマ：第22課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
 【第26回】
 テーマ：第21課と第22課のまとめ
 内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。
 【第27回】
 テーマ：第23課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
 【第28回】
 テーマ：第23課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
 【第29回】
 テーマ：第24課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
 【第30回】
 テーマ：第24課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。

*授業の進展状況によって、多少調整する可能性がある。

事前事後の学習

授業時間外で、計30時間の事前事後学習が必要です。

事前、事後学習として、下記の内容について毎回、それぞれ1時間以上の学習が必要。

- ・新出語句の暗記
- ・文法要点の予習・復習
- ・録音を繰り返し聞く
- ・練習で気づいた問題などについて再度復習

課題に対するフィードバックの方法

- ・学習相談は授業の前後に対応する。
- ・小テストと期末テストを採点した後、速やかにフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

1. 評価基準 以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。
2. 評価方法 【30%】授業中の小テスト
 【50%】期末テスト（リスニングを含む筆記試験）
 【20%】積極的な授業参加、受講態度

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	30	授業参加の積極度、受講態度及び授業中の出来栄を参考にして評価を行う。	1, 2, 3

授業外での評価	20	課題完成状況によって評価する	1, 2, 3
定期試験	50	期末総合テストの得点を基に計算を行う。	1, 2, 3
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	0		

テキスト	『大学生のための初級中国語24回(改訂版)』/杉野元子・黄漢青/白帝社/定価 2400円+税/978-4-86398-368-7		
------	--	--	--

参考書	『基礎から発展までよくわかる中国語文法』/丸尾 誠 著		
-----	-----------------------------	--	--

履修条件・他の科目との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・「中国語I」の単位を取得していること。 ・1回でも欠席すると、授業について行けなくなるため、必ず全回出席すること。 ・やむを得ない事情で遅刻や欠席をする場合は、必ず担当教員に連絡すること。 ・正当な理由なく、3分の1以上欠席した場合、または期末試験を欠席した場合は、評価の対象とせず、「K」評価とする。 ・同様に、特段の理由のない遅刻・早退は1/2回分の欠席と数えられるため注意すること。 		
---------------	---	--	--

授業コード	10402608	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	中国語Ⅱ [対面]				
シラバス執筆(全員)	董 玉テイ				
シラバス執筆(主)	董 玉テイ				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

「中国語Ⅰ」に引き続き、中国語の基本的な文法を学び、平易な中国語を聞き、話すことができるように練習する。

中国語の基礎文法、表現等を復習しながら、新しい文法事項を学習する。発音練習にも力を入れ、初級段階で獲得すべき運用能力を完成させ、中級への足がかりとする。

また、語学的なもの他にその背景となる中国の文化や現在の社会事情などを紹介し、中国社会全体についての興味・関心を育てる。

到達目標

1. 平易な中国語を聞き、話すことができる。
2. 中国語の基礎的な文法項目を運用することができる。
3. 中国語圏の社会や文化の発展的な事項について理解し、説明できる。

授業計画

- 【第1回】
テーマ：中国語Ⅰの復習
内容・方法：中国語Ⅰで習った内容についての復習をする。
- 【第2回】
テーマ：第13課
内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第3回】
テーマ：第13課
内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第4回】
テーマ：第14課
内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第5回】
テーマ：第14課
内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第6回】
テーマ：第13課と第14課のまとめ
内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。
- 【第7回】
テーマ：第15課
内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第8回】
テーマ：第15課
内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第9回】
テーマ：第16課
内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第10回】
テーマ：第16課
内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第11回】
テーマ：第15課と第16課のまとめ
内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。
- 【第12回】
テーマ：第17課
内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第13回】
テーマ：第17課
内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第14回】
テーマ：第18課
内容・方法：文法の説明とドリル練習。
- 【第15回】
テーマ：第18課
内容・方法：本文の説明と会話練習。
- 【第16回】

テーマ：第17課と第18課のまとめ
 内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。
 【第17回】
 テーマ：第19課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
 【第18回】
 テーマ：第19課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
 【第19回】
 テーマ：第20課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
 【第20回】
 テーマ：第20課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
 【第21回】
 テーマ：第19課と第20課のまとめ
 内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。
 【第22回】
 テーマ：第21課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
 【第23回】
 テーマ：第21課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
 【第24回】
 テーマ：第22課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
 【第25回】
 テーマ：第22課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
 【第26回】
 テーマ：第21課と第22課のまとめ
 内容・方法：各文法要点を再確認し、小テストを行う。
 【第27回】
 テーマ：第23課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
 【第28回】
 テーマ：第23課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。
 【第29回】
 テーマ：第24課
 内容・方法：文法の説明とドリル練習。
 【第30回】
 テーマ：第24課
 内容・方法：本文の説明と会話練習。

*授業の進展状況によって、多少調整する可能性がある。

事前事後の学習

授業時間外で、計30時間の事前事後学習が必要です。

事前、事後学習として、下記の内容について毎回、それぞれ1時間以上の学習が必要。

- ・新出語句の暗記
- ・文法要点の予習・復習
- ・録音を繰り返し聞く
- ・練習で気づいた問題などについて再度復習

課題に対するフィードバックの方法

- ・学習相談は授業の前後に対応する。
- ・小テストと期末テストを採点した後、速やかにフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

1. 評価基準 以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。
2. 評価方法 【40%】授業中の小テスト
 【50%】期末テスト（リスニングを含む筆記試験）
 【10%】積極的な授業参加、受講態度

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	授業中の出来栄および小テストの成績を参考にして評価を行う。	1, 2, 3

授業外での評価	0		
定期試験	50	期末総合テストの得点を基に計算を行う。	1, 2, 3
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	0		

テキスト	『大学生のための初級中国語24回(改訂版)』/杉野元子・黄漢青/白帝社/定価 2400円+税/978-4-86398-368-7		
------	--	--	--

参考書	『基礎から発展までよくわかる中国語文法』/丸尾 誠 著		
-----	-----------------------------	--	--

履修条件・他の科目との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・「中国語I」の単位を取得していること。 ・1回でも欠席すると、授業について行けなくなるため、必ず全回出席すること。 ・やむを得ない事情で遅刻や欠席をする場合は、必ず担当教員に連絡すること。 ・正当な理由なく、3分の1以上欠席した場合、または定期試験を欠席した場合は、評価の対象とせず、「K」評価とする。 ・同様に、特段の理由のない遅刻・早退は1/2回分の欠席と数えられるため注意すること。 		
---------------	---	--	--

授業コード	10402704	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	韓国語 I [対面]				
シラバス執筆(全員)	韓 尚秀、鄭 徳姫				
シラバス執筆(主)	韓 尚秀				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

韓国語をはじめて学ぶ学生を対象とする科目であり、聞き・読み・書き・話す機能を基礎から総合的に養うことに主眼を置く。今期は、ハングル文字の母音と子音の成り立ちや仕組みから、自己紹介の表現などを学ぶことで、韓国語の基本的な骨格を身につけることを目指す。

到達目標

①韓国語の文字を覚え、②正しく発音できるようになること。また、③簡単な自己紹介ができるようになること。

授業計画

- 【第1回】
テーマ：ガイダンスと基礎第1課 韓国語について。
内容・方法：韓国語の特徴及び創製原理。
- 【第2回】
テーマ：基礎第2課 出会いの挨拶と基本母音。
内容・方法：文字と発音。
- 【第3回】
テーマ：基礎第3課 別れの挨拶と基本子音。
内容・方法：激音・濃音。
- 【第4回】
テーマ：基本母音と子音の確認。
内容・方法：歌による発音の練習。
- 【第5回】
テーマ：基礎第4課 感謝の表現と複合母音。
内容・方法：文字と発音。
- 【第6回】
テーマ：基礎第5課 謝罪の表現とパッチム。
内容・方法：終音。
- 【第7回】
テーマ：基礎第6課 発音規則①。
内容・方法：連音化・鼻音化。
- 【第8回】
テーマ：基礎第6課 発音規則②。
内容・方法：流音化・濃音化。
- 【第9回】
テーマ：基礎第6課 発音規則③。
内容・方法：激音化・口蓋音化。
- 【第10回】
テーマ：日本語のハングル表記。
内容・方法：名前をハングルで。
- 【第11回】
テーマ：前半のまとめと小テスト。
内容・方法：基礎第1から6課までの復習。
- 【第12回】
テーマ：第1課 私は浅井ゆかりです。
内容・方法：簡単な自己紹介。
- 【第13回】
テーマ：第1課 私は浅井ゆかりです。
内容・方法：～は/～です。
- 【第14回】
テーマ：第2課 出身はソウルですか。
内容・方法：～ですか。
- 【第15回】
テーマ：第2課 出身はソウルですか。
内容・方法：疑問形。
- 【第16回】
テーマ：第3課 図書館ではありません。
内容・方法：～ではありません。
- 【第17回】
テーマ：第3課 図書館ではありません。
内容・方法：否定文。
- 【第18回】

テーマ：第4課 時間がありますか。
内容・方法：あります/ありません。
【第19回】

テーマ：第4課 時間がありますか。
内容・方法：いますか/いませんか。
【第20回】

テーマ：第5課 何をしますか。
内容・方法：します/しますか。
【第21回】

テーマ：第5課 何をしますか。
内容・方法：丁寧形の文作り。
【第22回】

テーマ：第6課 貿易会社で働いています。
内容・方法：います/あります。
【第23回】

テーマ：第6課 貿易会社で働いています。
内容・方法：現在進行形。
【第24回】

テーマ：第7課 服を買います。
内容・方法：動詞、形容詞。
【第25回】

テーマ：第7課 服を買います。
内容・方法：存在詞・指定詞。
【第26回】

テーマ：第8課 スーパーでよく買います。
内容・方法：用言のヨ体。
【第27回】

テーマ：第8課 スーパーでよく買います。
内容・方法：平叙・疑問・勧誘・丁寧な命令。
【第28回】

テーマ：第9課 2万5千ウォンです。
内容・方法：漢数詞。
【第29回】

テーマ：第9課 2万5千ウォンです。
内容・方法：縮約形。
【第30回】

テーマ：前期のまとめ インタビューテスト。
内容・方法：第I課から第9課まで復習する。

事前事後の学習

授業時間外で、計30時間の事前事後学習が必要です。

- 【第1回】
事前学習課題：授業の概要を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書基礎第1課を読んでおくこと。1時間
- 【第2回】
事前学習課題：教科書基礎第2課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
- 【第3回】
事前学習課題：教科書基礎第3課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
- 【第4回】
事前学習課題：教科書基礎第I、2、3課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
- 【第5回】
事前学習課題：教科書基礎第4課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
- 【第6回】
事前学習課題：教科書基礎第5課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
- 【第7回】
事前学習課題：教科書基礎第6課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
- 【第8回】
事前学習課題：教科書基礎第6課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
- 【第9回】
事前学習課題：教科書基礎第6課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
- 【第10回】
事前学習課題：教科書基礎第4、5、6課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
- 【第11回】
事前学習課題：教科書基礎第1課から第6課の小テスト勉強をしておくこと。1時間
事後学習課題：教科書基礎第1課から第6課を読んでおくこと。1時間
- 【第12回】

事前学習課題：教科書第1課を読んでおくこと。1時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
 【第13回】
 事前学習課題：教科書第1課を読んでおくこと。1時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
 【第14回】
 事前学習課題：教科書第2課を読んでおくこと。1時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
 【第15回】
 事前学習課題：教科書第2課を読んでおくこと。1時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
 【第16回】
 事前学習課題：教科書第3課を読んでおくこと。1時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
 【第17回】
 事前学習課題：教科書第3課を読んでおくこと。1時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
 【第18回】
 事前学習課題：教科書第4課を読んでおくこと。1時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
 【第19回】
 事前学習課題：教科書第4課を読んでおくこと。1時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
 【第20回】
 事前学習課題：教科書第5課を読んでおくこと。1時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
 【第21回】
 事前学習課題：教科書第5課を読んでおくこと。1時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
 【第22回】
 事前学習課題：教科書第6課を読んでおくこと。1時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
 【第23回】
 事前学習課題：教科書第6課を読んでおくこと。1時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
 【第24回】
 事前学習課題：教科書第7課を読んでおくこと。1時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
 【第25回】
 事前学習課題：教科書第7課を読んでおくこと。1時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
 【第26回】
 事前学習課題：教科書第8課を読んでおくこと。1時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
 【第27回】
 事前学習課題：教科書第8課を読んでおくこと。1時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
 【第28回】
 事前学習課題：教科書第9課を読んでおくこと。1時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
 【第29回】
 事前学習課題：教科書第9課を読んでおくこと。1時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
 【第30回】
 事前学習課題：教科書第1課から第9課のインタビューテストの勉強をしておくこと。1時間
 事後学習課題：教科書第1課から第9課を読んでおくこと。1時間

課題に対するフィードバックの方法

授業中に実施した小テストを返却し、間違った箇所を確認して覚えなおす。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

授業への参加態度と小テスト、インタビューテスト及び期末レポートの結果から総合的に評価する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	平常点	1, 2, 3
授業外での評価	20	レポート点	1, 2
定期試験	0	なし	なし

定期試験に代わるレポート等	30	期末レポート点	1, 2, 3
その他	0	なし	なし
テキスト	基礎から学ぶ「韓国語講座」初級[改訂版]/木内明 著/国書刊行会/978-4-336-05750-1		
参考書	適宜、教員が紹介する。		
履修条件・他の科目との関連	外国語の習得は毎回の授業の積み重ねが必須であることから、授業に積極的に参加すること。		

授業コード	10402705	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	韓国語 I [対面]				
シラバス執筆(全員)	金 文洙、沈 玉均				
シラバス執筆(主)	金 文洙				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

韓国語をはじめて学ぶ学生を対象とする科目であり、聞き・読み・書き・話す機能を基礎から総合的に養うことに主眼を置く。今期は、ハングル文字の母音と子音の成り立ちや仕組みから、自己紹介の表現などを学ぶことで、韓国語の基本的な骨格を身につけることを目指す。

到達目標

①韓国語の文字を覚え、②正しく発音できるようになること。また、③簡単な自己紹介ができるようになること。

授業計画

- 【第1回】
テーマ：ガイダンスと基礎第1課 韓国語について。
内容・方法：韓国語の特徴及び創製原理。
- 【第2回】
テーマ：基礎第2課 出会いの挨拶と基本母音。
内容・方法：文字と発音。
- 【第3回】
テーマ：基礎第3課 別れの挨拶と基本子音。
内容・方法：激音・濃音。
- 【第4回】
テーマ：基本母音と子音の確認。
内容・方法：歌による発音の練習。
- 【第5回】
テーマ：基礎第4課 感謝の表現と複合母音。
内容・方法：文字と発音。
- 【第6回】
テーマ：基礎第5課 謝罪の表現とパッチム。
内容・方法：終音。
- 【第7回】
テーマ：基礎第6課 発音規則①。
内容・方法：連音化・鼻音化。
- 【第8回】
テーマ：基礎第6課 発音規則②。
内容・方法：流音化・濃音化。
- 【第9回】
テーマ：基礎第6課 発音規則③。
内容・方法：激音化・口蓋音化。
- 【第10回】
テーマ：日本語のハングル表記。
内容・方法：名前をハングルで。
- 【第11回】
テーマ：前半のまとめと小テスト。
内容・方法：基礎第1から6課までの復習。
- 【第12回】
テーマ：第1課 私は浅井ゆかりです。
内容・方法：簡単な自己紹介。
- 【第13回】
テーマ：第1課 私は浅井ゆかりです。
内容・方法：～は/～です。
- 【第14回】
テーマ：第2課 出身はソウルですか。
内容・方法：～ですか。
- 【第15回】
テーマ：第2課 出身はソウルですか。
内容・方法：疑問形。
- 【第16回】
テーマ：第3課 図書館ではありません。
内容・方法：～ではありません。
- 【第17回】
テーマ：第3課 図書館ではありません。
内容・方法：否定文。
- 【第18回】

テーマ：第4課 時間がありますか。
内容・方法：あります/ありません。
【第19回】

テーマ：第4課 時間がありますか。
内容・方法：いますか/いませんか。
【第20回】

テーマ：第5課 何をしますか。
内容・方法：します/しますか。
【第21回】

テーマ：第5課 何をしますか。
内容・方法：丁寧形の文作り。
【第22回】

テーマ：第6課 貿易会社で働いています。
内容・方法：います/あります。
【第23回】

テーマ：第6課 貿易会社で働いています。
内容・方法：現在進行形。
【第24回】

テーマ：第7課 服を買います。
内容・方法：動詞、形容詞。
【第25回】

テーマ：第7課 服を買います。
内容・方法：存在詞・指定詞。
【第26回】

テーマ：第8課 スーパーでよく買います。
内容・方法：用言のヨ体。
【第27回】

テーマ：第8課 スーパーでよく買います。
内容・方法：平叙・疑問・勧誘・丁寧な命令。
【第28回】

テーマ：第9課 2万5千ウォンです。
内容・方法：漢数詞。
【第29回】

テーマ：第9課 2万5千ウォンです。
内容・方法：縮約形。
【第30回】

テーマ：前期のまとめ インタビューテスト。
内容・方法：第I課から第9課まで復習する。

事前事後の学習

授業時間外で、計30時間の事前事後学習が必要です。

- 【第1回】
事前学習課題：授業の概要を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書基礎第1課を読んでおくこと。1時間
- 【第2回】
事前学習課題：教科書基礎第2課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
- 【第3回】
事前学習課題：教科書基礎第3課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
- 【第4回】
事前学習課題：教科書基礎第I、2、3課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
- 【第5回】
事前学習課題：教科書基礎第4課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
- 【第6回】
事前学習課題：教科書基礎第5課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
- 【第7回】
事前学習課題：教科書基礎第6課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
- 【第8回】
事前学習課題：教科書基礎第6課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
- 【第9回】
事前学習課題：教科書基礎第6課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
- 【第10回】
事前学習課題：教科書基礎第4、5、6課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
- 【第11回】
事前学習課題：教科書基礎第1課から第6課の小テスト勉強をしておくこと。1時間
事後学習課題：教科書基礎第1課から第6課を読んでおくこと。1時間
- 【第12回】

事前学習課題：教科書第1課を読んでおくこと。1時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
 【第13回】
 事前学習課題：教科書第1課を読んでおくこと。1時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
 【第14回】
 事前学習課題：教科書第2課を読んでおくこと。1時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
 【第15回】
 事前学習課題：教科書第2課を読んでおくこと。1時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
 【第16回】
 事前学習課題：教科書第3課を読んでおくこと。1時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
 【第17回】
 事前学習課題：教科書第3課を読んでおくこと。1時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
 【第18回】
 事前学習課題：教科書第4課を読んでおくこと。1時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
 【第19回】
 事前学習課題：教科書第4課を読んでおくこと。1時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
 【第20回】
 事前学習課題：教科書第5課を読んでおくこと。1時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
 【第21回】
 事前学習課題：教科書第5課を読んでおくこと。1時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
 【第22回】
 事前学習課題：教科書第6課を読んでおくこと。1時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
 【第23回】
 事前学習課題：教科書第6課を読んでおくこと。1時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
 【第24回】
 事前学習課題：教科書第7課を読んでおくこと。1時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
 【第25回】
 事前学習課題：教科書第7課を読んでおくこと。1時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
 【第26回】
 事前学習課題：教科書第8課を読んでおくこと。1時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
 【第27回】
 事前学習課題：教科書第8課を読んでおくこと。1時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
 【第28回】
 事前学習課題：教科書第9課を読んでおくこと。1時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
 【第29回】
 事前学習課題：教科書第9課を読んでおくこと。1時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
 【第30回】
 事前学習課題：教科書第1課から第9課のインタビューテストの勉強をしておくこと。1時間
 事後学習課題：教科書第1課から第9課を読んでおくこと。1時間

課題に対するフィードバックの方法

授業中に実施した小テストを返却し、間違った箇所を確認して覚えなおす。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

授業への参加態度と小テスト、インタビューテスト及び期末レポートの結果から総合的に評価する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	平常点	1, 2, 3
授業外での評価	20	レポート点	1, 2
定期試験	0	なし	なし

定期試験に代わるレポート等	30	期末レポート点	1, 2, 3
その他	0	なし	なし
テキスト	基礎から学ぶ「韓国語講座」初級[改訂版]/木内明 著/国書刊行会/978-4-336-05750-1		
参考書	適宜、教員が紹介する。		
履修条件・他の科目との関連	外国語の習得は毎回の授業の積み重ねが必須であることから、授業に積極的に参加すること。		

授業コード	10402804	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	韓国語Ⅱ [対面]				
シラバス執筆(全員)	韓 尚秀、鄭 徳姫				
シラバス執筆(主)	韓 尚秀				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

韓国語を初歩から学ぶ学生を対象とする科目であり、前期の韓国語Ⅰに続く内容である。聞き・読み・書き・話す力を総合的に養うことを主眼とする。今期は、家族や日常生活、好き嫌い、将来の目標などの表現やそれに関連する語彙を習得し、身の回りのことが一通り韓国語で述べられるようになることを目指す。

到達目標

様々な場面で使える表現を学ぶ中で、①コミュニケーション能力や②隣国への関心を高めること。

授業計画

- 【第1回】
テーマ：ガイダンスと自己紹介。
内容・方法：子音と母音の確認。
- 【第2回】
テーマ：挨拶。
内容・方法：出会いと別れの挨拶など。
- 【第3回】
テーマ：前期の復習。
内容・方法：基礎第1課から第6課まで。
- 【第4回】
テーマ：前期の復習。
内容・方法：本文第1課から9課まで。
- 【第5回】
テーマ：第10課 今、何時ですか。
内容・方法：固有数詞。
- 【第6回】
テーマ：第10課 今、何時ですか。
内容・方法：時計の読み方。
- 【第7回】
テーマ：第11課 日本語を話されますか。
内容・方法：敬語。
- 【第8回】
テーマ：第11課 日本語を話されますか。
内容・方法：～といます。
- 【第9回】
テーマ：前半のまとめと小テスト。
内容・方法：第10から11課までの復習。
- 【第10回】
テーマ：第12課 バスは行きません。
内容・方法：動詞や形容詞の否定文。
- 【第11回】
テーマ：第12課 バスは行きません。
内容・方法：～するといひ。
- 【第12回】
テーマ：第13課 いつ韓国に来ましたか。
内容・方法：過去形。
- 【第13回】
テーマ：第13課 いつ韓国に来ましたか。
内容・方法：敬語の過去形。
- 【第14回】
テーマ：第14課 一緒にお昼を食べましょう。
内容・方法：勧誘の言葉。
- 【第15回】
テーマ：第14課 一緒にお昼を食べましょう。
内容・方法：～しましょう。
- 【第16回】
テーマ：第15課 パーティーの準備をしています。
内容・方法：現在進行形。
- 【第17回】
テーマ：第15課 パーティーの準備をしています。
内容・方法：～してください。
- 【第18回】
テーマ：第16課 何も食べられませんでした。

内容・方法：可能/不可能表現。

【第19回】

テーマ：第16課 何も食べられませんでした。

内容・方法：～できる/～できない。

【第20回】

テーマ：第17課 陶磁器が見たいです。

内容・方法：～したい。

【第21回】

テーマ：第17課 陶磁器が見たいです。

内容・方法：観望の意志を表す表現。

【第22回】

テーマ：第18課 写真を撮ってもいいですか。

内容・方法：禁止の表現。

【第23回】

テーマ：第18課 写真を撮ってもいいですか。

内容・方法：～しないでください。

【第24回】

テーマ：第19課 帰国しなければいけません。

内容・方法：義務の表現。

【第25回】

テーマ：第19課 帰国しなければいけません。

内容・方法：～しなければならない。

【第26回】

テーマ：第20課 手紙を書きますよ。

内容・方法：意志・推量・未来。

【第27回】

テーマ：第20課 手紙を書きますよ。

内容・方法：～するつもりです。

【第28回】

テーマ：後期のまとめ インタビューテスト。

内容・方法：第10課から第20課まで復習する。

【第29回】

テーマ：韓国語座談(I)。

内容・方法：決めたテーマについて発表できるように練習する。

【第30回】

テーマ：韓国語座談(II)。

内容・方法：決めたテーマについて発表できるように練習する。

事前事後の学習

授業時間外で、計30時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

事前学習課題：自己紹介の内容を考えておくこと。1時間

事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間

【第2回】

事前学習課題：挨拶の内容を考えておくこと。1時間

事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間

【第3回】

事前学習課題：教科書基礎第1課から7課を読んでおくこと。1時間

事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間

【第4回】

事前学習課題：教科書本文第1課から9課までを読んでおくこと。1時間

事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間

【第5回】

事前学習課題：教科書基礎第10課を読んでおくこと。1時間

事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間

【第6回】

事前学習課題：教科書基礎第10課を読んでおくこと。1時間

事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間

【第7回】

事前学習課題：教科書基礎第11課を読んでおくこと。1時間

事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間

【第8回】

事前学習課題：教科書基礎第11課を読んでおくこと。1時間

事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間

【第9回】

事前学習課題：教科書基礎第10、11課の小テスト勉強をしておくこと。1時間

事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間

【第10回】

事前学習課題：教科書基礎第12課を読んでおくこと。1時間

事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間

【第11回】

事前学習課題：教科書基礎第12課を読んでおくこと。1時間

事後学習課題：教科書基礎第1課から第6課を読んでおくこと。1時間

【第12回】

事前学習課題：教科書第13課を読んでおくこと。1時間

事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
【第13回】
事前学習課題：教科書第13課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
【第14回】
事前学習課題：教科書第14課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
【第15回】
事前学習課題：教科書第14課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
【第16回】
事前学習課題：教科書第15課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
【第17回】
事前学習課題：教科書第15課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
【第18回】
事前学習課題：教科書第16課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
【第19回】
事前学習課題：教科書第16課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
【第20回】
事前学習課題：教科書第17課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
【第21回】
事前学習課題：教科書第17課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
【第22回】
事前学習課題：教科書第18課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
【第23回】
事前学習課題：教科書第18課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
【第24回】
事前学習課題：教科書第19課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
【第25回】
事前学習課題：教科書第19課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
【第26回】
事前学習課題：教科書第20課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
【第27回】
事前学習課題：教科書第20課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
【第28回】
事前学習課題：教科書基礎第10から20課の小テスト勉強をしておくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
【第29回】
事前学習課題：決めたテーマについて発表できるように練習すること。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
【第30回】
事前学習課題：決めたテーマについて発表できるように練習すること。1時間
事後学習課題：教科書第1課から第9課を読んでおくこと。1時間

課題に対するフィードバックの方法

授業中に実施した小テストを返却し、間違った箇所を確認して覚えなおす。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

授業への参加態度と小テスト、インタビューテスト及び期末レポートの結果から総合的に評価する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	平常点	1, 2
授業外での評価	20	レポート点	1, 2
定期試験	0	なし	なし
定期試験に代わるレポート等	30	期末レポート点	1, 2

その他	0	なし	なし
テキスト	基礎から学ぶ「韓国語講座」初級[改訂版]/木内明 著/国書刊行会/978-4-336-05750-1		
参考書	適宜、教員が紹介する。		
履修条件・他の科目との関連	外国語の習得は毎回の授業の積み重ねが必須であることから、授業に積極的に参加すること。		

授業コード	10402805	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	韓国語Ⅱ [対面]				
シラバス執筆(全員)	金 文洙、沈 玉均				
シラバス執筆(主)	金 文洙				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

韓国語を初歩から学ぶ学生を対象とする科目であり、前期の韓国語Ⅰに続く内容である。聞き・読み・書き・話す力を総合的に養うことを主眼とする。今期は、家族や日常生活、好き嫌い、将来の目標などの表現やそれに関連する語彙を習得し、身の回りのことが一通り韓国語で述べられるようになることを目指す。

到達目標

様々な場面で使える表現を学ぶ中で、①コミュニケーション能力や②隣国への関心を高めること。

授業計画

- 【第1回】
テーマ：ガイダンスと自己紹介。
内容・方法：子音と母音の確認。
- 【第2回】
テーマ：挨拶。
内容・方法：出会いと別れの挨拶など。
- 【第3回】
テーマ：前期の復習。
内容・方法：基礎第1課から第6課まで。
- 【第4回】
テーマ：前期の復習。
内容・方法：本文第1課から9課まで。
- 【第5回】
テーマ：第10課 今、何時ですか。
内容・方法：固有数詞。
- 【第6回】
テーマ：第10課 今、何時ですか。
内容・方法：時計の読み方。
- 【第7回】
テーマ：第11課 日本語を話されますか。
内容・方法：敬語。
- 【第8回】
テーマ：第11課 日本語を話されますか。
内容・方法：～といます。
- 【第9回】
テーマ：前半のまとめと小テスト。
内容・方法：第10から11課までの復習。
- 【第10回】
テーマ：第12課 バスは行きません。
内容・方法：動詞や形容詞の否定文。
- 【第11回】
テーマ：第12課 バスは行きません。
内容・方法：～するといひ。
- 【第12回】
テーマ：第13課 いつ韓国に来ましたか。
内容・方法：過去形。
- 【第13回】
テーマ：第13課 いつ韓国に来ましたか。
内容・方法：敬語の過去形。
- 【第14回】
テーマ：第14課 一緒にお昼を食べましょう。
内容・方法：勧誘の言葉。
- 【第15回】
テーマ：第14課 一緒にお昼を食べましょう。
内容・方法：～しましょう。
- 【第16回】
テーマ：第15課 パーティーの準備をしています。
内容・方法：現在進行形。
- 【第17回】
テーマ：第15課 パーティーの準備をしています。
内容・方法：～してください。
- 【第18回】
テーマ：第16課 何も食べられませんでした。

内容・方法：可能/不可能表現。

【第19回】

テーマ：第16課 何も食べられませんでした。

内容・方法：～できる/～できない。

【第20回】

テーマ：第17課 陶磁器が見たいです。

内容・方法：～したい。

【第21回】

テーマ：第17課 陶磁器が見たいです。

内容・方法：観望の意志を表す表現。

【第22回】

テーマ：第18課 写真を撮ってもいいですか。

内容・方法：禁止の表現。

【第23回】

テーマ：第18課 写真を撮ってもいいですか。

内容・方法：～しないでください。

【第24回】

テーマ：第19課 帰国しなければいけません。

内容・方法：義務の表現。

【第25回】

テーマ：第19課 帰国しなければいけません。

内容・方法：～しなければならない。

【第26回】

テーマ：第20課 手紙を書きますよ。

内容・方法：意志・推量・未来。

【第27回】

テーマ：第20課 手紙を書きますよ。

内容・方法：～するつもりです。

【第28回】

テーマ：後期のまとめ インタビューテスト。

内容・方法：第10課から第20課まで復習する。

【第29回】

テーマ：韓国語座談(I)。

内容・方法：決めたテーマについて発表できるように練習する。

【第30回】

テーマ：韓国語座談(II)。

内容・方法：決めたテーマについて発表できるように練習する。

事前事後の学習

授業時間外で、計30時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

事前学習課題：自己紹介の内容を考えておくこと。1時間

事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間

【第2回】

事前学習課題：挨拶の内容を考えておくこと。1時間

事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間

【第3回】

事前学習課題：教科書基礎第1課から7課を読んでおくこと。1時間

事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間

【第4回】

事前学習課題：教科書本文第1課から9課までを読んでおくこと。1時間

事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間

【第5回】

事前学習課題：教科書基礎第10課を読んでおくこと。1時間

事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間

【第6回】

事前学習課題：教科書基礎第10課を読んでおくこと。1時間

事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間

【第7回】

事前学習課題：教科書基礎第11課を読んでおくこと。1時間

事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間

【第8回】

事前学習課題：教科書基礎第11課を読んでおくこと。1時間

事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間

【第9回】

事前学習課題：教科書基礎第10、11課の小テスト勉強をしておくこと。1時間

事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間

【第10回】

事前学習課題：教科書基礎第12課を読んでおくこと。1時間

事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間

【第11回】

事前学習課題：教科書基礎第12課を読んでおくこと。1時間

事後学習課題：教科書基礎第1課から第6課を読んでおくこと。1時間

【第12回】

事前学習課題：教科書第13課を読んでおくこと。1時間

事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
【第13回】
事前学習課題：教科書第13課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
【第14回】
事前学習課題：教科書第14課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
【第15回】
事前学習課題：教科書第14課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
【第16回】
事前学習課題：教科書第15課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
【第17回】
事前学習課題：教科書第15課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
【第18回】
事前学習課題：教科書第16課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
【第19回】
事前学習課題：教科書第16課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
【第20回】
事前学習課題：教科書第17課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
【第21回】
事前学習課題：教科書第17課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
【第22回】
事前学習課題：教科書第18課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
【第23回】
事前学習課題：教科書第18課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
【第24回】
事前学習課題：教科書第19課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
【第25回】
事前学習課題：教科書第19課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
【第26回】
事前学習課題：教科書第20課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
【第27回】
事前学習課題：教科書第20課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
【第28回】
事前学習課題：教科書基礎第10から20課の小テスト勉強をしておくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
【第29回】
事前学習課題：決めたテーマについて発表できるように練習すること。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
【第30回】
事前学習課題：決めたテーマについて発表できるように練習すること。1時間
事後学習課題：教科書第1課から第9課を読んでおくこと。1時間

課題に対するフィードバックの方法

授業中に実施した小テストを返却し、間違った箇所を確認して覚えなおす。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

授業への参加態度と小テスト、インタビューテスト及び期末レポートの結果から総合的に評価する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	平常点	1, 2
授業外での評価	20	レポート点	1, 2
定期試験	0	なし	なし
定期試験に代わるレポート等	30	期末レポート点	1, 2

その他	0	なし	なし
テキスト	基礎から学ぶ「韓国語講座」初級[改訂版]/木内明 著/国書刊行会/978-4-336-05750-1		
参考書	適宜、教員が紹介する。		
履修条件・他の科目との関連	外国語の習得は毎回の授業の積み重ねが必須であることから、授業に積極的に参加すること。		

授業コード	10402901	授業形態	実習	実務家教員	—
授業科目名	スタディアブロード I [対面]				
シラバス執筆(全員)	佐々木 一雄				
シラバス執筆(主)	佐々木 一雄				
開講年次	1年	開講期	前期、後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

日本とは違う海外での生活体験・学習体験・職業体験を通じて、日本社会・文化を捉えなおし、多文化理解を進めるとともに、グローバルマインドを持った国際的に活躍する人材を育成する

【研修メニュー】

- ・海外チャレンジ研修（アメリカ、カナダ、オーストラリア、イギリスなど世界22カ国・地域）
- ・日本語教員アシスタント研修（ベトナム、韓国など）
- ・グローバル短期研修（インドネシア、ベトナム、カンボジア、シンガポール）
- ・ハワイブライダル研修（1単位）、海外スポーツ交流（シンガポール）（1単位）

到達目標

1. 海外を経験することによって、グローバルマインドを持った国際人となる。
2. 海外体験によって、多文化理解に関心を持つとともに、日本社会・文化の更なる理解を進める。

授業計画

【前期出発（8月・9月出発）】

- <5月中旬～下旬>説明会：研修内容の確認、申込書の作成、提出
- <6月中旬～7月上旬>オリエンテーション（生活、ホームステイ、危機管理など）
- <8月上旬>最終オリエンテーション（病気・怪我、渡航手続きなど）
- <8月中旬～9月中旬>各研修プログラム実施
- <10月下旬>事後レポート提出、事後報告会

【後期出発（2月・3月出発）】

- <10月中旬～下旬>説明会：研修内容の確認、申込書の作成、提出
- <11月中旬～2月上旬>オリエンテーション（生活、ホームステイ、危機管理など）
- <2月中旬>最終オリエンテーション（病気・怪我、渡航手続きなど）
- <2月下旬～3月下旬>各研修プログラム実施
- <4月下旬>事後レポート提出、事後報告会

事前事後の学習

必要に応じて、担当教員より指示する。

出発前に行われる研修会に参加し、事前学習をする。事後にはレポート提出をし、振り返りワークショップや事後報告会などを行うことで、事後学習をする。

課題に対するフィードバックの方法

研修レポート他、提出物については、講評を記して返却する。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

研修参加者は定められた期間内に、事後レポートを提出すること（A4用紙800字以上）。

- ・事前事後研修と事後報告会での発表と積極性（30%）
- ・現地プログラムを通じた理解度、積極性（50%）
- ・事後レポート評価（20%）

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	0		
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	100	・事前事後研修と事後報告会での発表と積極性(30%) ・現地プログラムを通じた理解度、積極性(50%) ・事後レポート評価(A4用紙800字以上)(20%)	1, 2

テキスト	なし
参考書	参考図書は、各研修ごとにオリエンテーション中に紹介する。
履修条件・他の科目との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・参加希望者は申し込みの後、スタディアブロード参加についての許可に関する選考がある。 ・I、IIは参加回数を表す。初めて参加のプログラムで単位認定された場合はスタディアブロードI、2回目はスタディアブロードIIとなる。 ・この科目に参加する場合は別途研修参加費用が必要となるので、説明会で研修内容、費用などを必ず確認すること。 ・選考により奨学金を得ることが可能である。 ・スタディアブロードプログラムは国際交流センターが窓口となっている。掲示なども国際交流センターから案内されるので、履修希望者は注意すること。 ・事前研修の出席が不良の場合は研修参加を許可しないことがある。

授業コード	10403001	授業形態	実習	実務家教員	—
授業科目名	スタディアブロードⅡ [対面]				
シラバス執筆(全員)	佐々木 一雄				
シラバス執筆(主)	佐々木 一雄				
開講年次	1年	開講期	前期、後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

日本とは違う海外での生活体験・学習体験・職業体験を通じて、日本社会・文化を捉えなおし、多文化理解を進めるとともに、グローバルマインドを持った国際的に活躍する人材を育成する

【研修メニュー】

- ・海外チャレンジ研修（アメリカ、カナダ、オーストラリア、イギリスなど世界22カ国・地域）
- ・日本語教員アシスタント研修（ベトナム、韓国など）
- ・グローバル短期研修（インドネシア、ベトナム、カンボジア、シンガポール）
- ・ハワイブライダル研修（1単位）、海外スポーツ交流（シンガポール）（1単位）

到達目標

1. 海外を経験することによって、グローバルマインドを持った国際人となる。
2. 海外体験によって、多文化理解に関心を持つとともに、日本社会・文化の更なる理解を進める。

授業計画

【前期出発（8月・9月出発）】

- <5月中旬～下旬>説明会：研修内容の確認、申込書の作成、提出
- <6月中旬～7月上旬>オリエンテーション（生活、ホームステイ、危機管理など）
- <8月上旬>最終オリエンテーション（病気・怪我、渡航手続きなど）
- <8月中旬～9月中旬>各研修プログラム実施
- <10月下旬>事後レポート提出、事後報告会

【後期出発（2月・3月出発）】

- <10月中旬～下旬>説明会：研修内容の確認、申込書の作成、提出
- <11月中旬～2月上旬>オリエンテーション（生活、ホームステイ、危機管理など）
- <2月中旬>最終オリエンテーション（病気・怪我、渡航手続きなど）
- <2月下旬～3月下旬>各研修プログラム実施
- <4月下旬>事後レポート提出、事後報告会

事前事後の学習

必要に応じて、担当教員より指示する。

出発前に行われる研修会に参加し、事前学習をする。事後にはレポート提出をし、振り返りワークショップや事後報告会などを行うことで、事後学習をする。

課題に対するフィードバックの方法

研修レポート他、提出物については、講評を記して返却する。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

研修参加者は定められた期間内に、事後レポートを提出すること（A4用紙800字以上）。

- ・事前事後研修と事後報告会での発表と積極性（30%）
- ・現地プログラムを通じた理解度、積極性（50%）
- ・事後レポート評価（20%）

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	0		
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	100	<ul style="list-style-type: none"> ・事前事後研修と事後報告会での発表と積極性(30%) ・現地プログラムを通じた理解度、積極性(50%) ・事後レポート評価(A4用紙800字以上)(20%) 	1, 2

テキスト	なし
参考書	参考図書は、各研修ごとにオリエンテーション中に紹介する。
履修条件・他の科目との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・参加希望者は申し込みの後、スタディアブロード参加についての許可に関する選考がある。 ・I、IIは参加回数を表す。初めて参加のプログラムで単位認定された場合はスタディアブロードI、2回目はスタディアブロードIIとなる。 ・この科目に参加する場合は別途研修参加費用が必要となるので、説明会で研修内容、費用などを必ず確認すること。 ・選考により奨学金を得ることが可能である。 ・スタディアブロードプログラムは国際交流センターが窓口となっている。掲示なども国際交流センターから案内されるので、履修希望者は注意すること。 ・事前研修の出席が不良の場合は研修参加を許可しないことがある。

授業コード	10403101	授業形態	実習	実務家教員	—
授業科目名	スタディアブロードⅢ [対面]				
シラバス執筆(全員)	佐々木 一雄				
シラバス執筆(主)	佐々木 一雄				
開講年次	1年	開講期	前期、後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

日本とは違う海外での生活体験・学習体験・職業体験を通じて、日本社会・文化を捉えなおし、多文化理解を進めるとともに、グローバルマインドを持った国際的に活躍する人材を育成する

【研修メニュー】

- ・海外チャレンジ研修（アメリカ、カナダ、オーストラリア、イギリスなど世界22カ国・地域）
- ・日本語教員アシスタント研修（ベトナム、韓国など）
- ・グローバル短期研修（インドネシア、ベトナム、カンボジア、シンガポール）
- ・ハワイブライダル研修（1単位）、海外スポーツ交流（シンガポール）（1単位）

到達目標

1. 海外を経験することによって、グローバルマインドを持った国際人となる。
2. 海外体験によって、多文化理解に関心を持つとともに、日本社会・文化の更なる理解を進める。

授業計画

【前期出発（8月・9月出発）】

- <5月中旬～下旬>説明会：研修内容の確認、申込書の作成、提出
- <6月中旬～7月上旬>オリエンテーション（生活、ホームステイ、危機管理など）
- <8月上旬>最終オリエンテーション（病気・怪我、渡航手続きなど）
- <8月中旬～9月中旬>各研修プログラム実施
- <10月下旬>事後レポート提出、事後報告会

【後期出発（2月・3月出発）】

- <10月中旬～下旬>説明会：研修内容の確認、申込書の作成、提出
- <11月中旬～2月上旬>オリエンテーション（生活、ホームステイ、危機管理など）
- <2月中旬>最終オリエンテーション（病気・怪我、渡航手続きなど）
- <2月下旬～3月下旬>各研修プログラム実施
- <4月下旬>事後レポート提出、事後報告会

事前事後の学習

必要に応じて、担当教員より指示する。

出発前に行われる研修会に参加し、事前学習をする。事後にはレポート提出をし、振り返りワークショップや事後報告会などを行うことで、事後学習をする。

課題に対するフィードバックの方法

研修レポート他、提出物については、講評を記して返却する。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

研修参加者は定められた期間内に、事後レポートを提出すること（A4用紙800字以上）。

- ・事前事後研修と事後報告会での発表と積極性（30%）
- ・現地プログラムを通じた理解度、積極性（50%）
- ・事後レポート評価（20%）

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	0		
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	100	・事前事後研修と事後報告会での発表と積極性(30%) ・現地プログラムを通じた理解度、積極性(50%) ・事後レポート評価(A4用紙800字以上)(20%)	1, 2

テキスト	なし
参考書	参考図書は、各研修ごとにオリエンテーション中に紹介する。
履修条件・他の科目との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・参加希望者は申し込みの後、スタディアブロード参加についての許可に関する選考がある。 ・I、IIは参加回数を表す。初めて参加のプログラムで単位認定された場合はスタディアブロードI、2回目はスタディアブロードIIとなる。 ・この科目に参加する場合は別途研修参加費用が必要となるので、説明会で研修内容、費用などを必ず確認すること。 ・選考により奨学金を得ることが可能である。 ・スタディアブロードプログラムは国際交流センターが窓口となっている。掲示なども国際交流センターから案内されるので、履修希望者は注意すること。 ・事前研修の出席が不良の場合は研修参加を許可しないことがある。

授業コード	10403206	授業形態	演習	実務家教員	○
授業科目名	ビジネススキル演習 [対面]				
シラバス執筆(全員)	山田 敏子				
シラバス執筆(主)	山田 敏子				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

社会で活躍するためには、社会を理解し、さまざまな実務の基本スキル、物事に取り組む姿勢と知識を習得することが必要である。この授業では社会に出る準備として、具体的な仕事の進め方やビジネスコミュニケーションスキルをグループ演習で体験する。また、自分のキャリアや生活を築いていくために必要な社会保険や税金の基礎知識・時代に沿ったビジネス用語などの理解を、個人演習で深める。同時に、社会人の姿勢として「遅刻・欠席をしない、期限を守る」こと、きちんとした文章が書けることが信頼獲得の大前提であることを理解し、課題の期限内提出、文章の見直し習慣をこの授業期間を通じ身につける。現在、官公庁、企業、医療機関などで人材育成を行い、ビジネスマナー・コミュニケーション研修を行っている実務家教員が、その経験をもとに指導する。学生各々が社会人生活を具体的にイメージでき、今後の自分にどのような知識やスキルの強化が必要か把握し、取り組む意識を持てる授業としたい。

到達目標

1. 周囲に信頼を与える仕事の進め方について理解し、説明ができる
2. ビジネスコミュニケーションの基礎を身につけ、実行できる
3. ビジネスマナーの基本を体得し、実行にうつせる
4. ビジネス文書の基本を理解し、メール作成に応用できる
5. 社会保険・業種・業界の知識が説明できる

授業計画

- 第1回 キャリア形成と就業意識
内容・方法：仕事・キャリア形成のための考え方や意識を学ぶ
- 第2回 職場コミュニケーション (1)
内容・方法：人間関係を構築するコミュニケーションの基本スキルを学ぶ
- 第3回 職場コミュニケーション (2)
内容・方法：気持ちの伝わる敬語・相手が受け入れやすい心配り表現を学ぶ
- 第4回 報告・連絡・相談
内容・方法：確実に行うポイントと、相手が理解しやすい話法を学ぶ
- 第5回 会議業務
内容・方法：主催・参加の知識と心構え、会議を円滑に進める進行役のポイントを学ぶ
- 第6回 来客対応と訪問マナー
内容・方法：好印象を与える立ち居振る舞いを学ぶ
- 第7回 電話対応
内容・方法：基本マナーと架電・受電の流れ、場面ごとの具体的フレーズを学ぶ
- 第8回 プレゼンテーション
内容・方法：プレゼンテーションの基本と、相手に伝わるスピーチ技法を学ぶ
- 第9回 仕事の取組み方 (1)
内容・方法：PDCAサイクルの役立て方・職場のルール・法律を学ぶ
- 第10回 仕事の取組み方 (2)
内容・方法：社会保険と税金の基礎知識・給与明細の見方を学ぶ
- 第11回 ビジネス文書とメール
内容・方法：個人SNSとの明確な区別、社会人にふさわしい文章とメールの書き方を学ぶ
- 第12回 社内文書・社外文書の知識
内容・方法：書式と文書の種類、ビジネス文書特有の慣用句を学ぶ
- 第13回 業種・業界の知識
内容・方法：就職活動の業界研究に役立つ知識と情報の探し方を学ぶ
- 第14回 会社の仕組みと経営の基本
内容・方法：会社組織、株式会社の特徴、マーケティングの基本的事項を学ぶ
- 第15回 交際業務とコミュニケーションまとめ
内容・方法：社会人として必要な慶弔のマナーを学ぶ

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

- 毎回1時間の事前学習が必要。テキストの該当部分について不明点や質問を準備の上、授業に参加する。
- 毎回2時間ほどの事後学習が必要。内容としては以下の通り。
- ・ 授業での説明と演習を行った後は理解が深まっているため、「テキストの読み返し、考察」により内容の定着を図ること
- ・ 興味を持った内容について書籍・インターネットなどで調べたり実践するなどして知見を広め、社会に出るための準備を進めること
- ・ 計4回の課題を作成すること

●さらに計4回の授業内小テスト対策として、15時間ほどの学習を要する。

課題に対するフィードバックの方法

- 各回の振り返りシートや4回の提出課題は、次回授業でフィードバックする。
- 小テストは採点后、返却し解説をする。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により総合的に判定の上、60点以上を合格とし所定の単位を認定する。
 なお、演習を中心に授業を進めるため遅刻を禁じ、欠席時は事前連絡を必須とする。また正当な理由なく欠席回数が5回を超えた場合は「K」評価とする。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	70	①グループ/ペアワーク、その他演習への積極的な取り組み姿勢と貢献度、授業で学んだ事柄(マナー面)の積極的な実践(20) ②毎回の振り返りシート(完成度と期限内提出の状況を評価)(10) ③小テスト(40)	1, 2, 3, 4, 5
授業外での評価	20	授業に関連した計4回の課題(完成度と期限内提出状況を評価)	2, 3, 4, 5
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10	授業全体の理解を問うレポート	1, 2, 3, 4, 5
その他	0		

テキスト

『よくわかる社会人の基礎知識 ～マナー・文書・仕事のキホン～』
 著者名:岡野絹枝 出版社:ぎょうせい 定価:2,420円(税込み)
 発行日 2019年04月25日 ISBN 978-4-324-10599-3

参考書

必要に応じて授業内で紹介する。

履修条件・他の科目との関連

- 毎回の授業で演習を実施するため、積極的に取り組むことを必須条件とする。
- 科目の趣旨を理解し、授業で学んだ事柄は確実に実践にうつすことが求められる。

授業コード	10403301	授業形態	実習	実務家教員	—
授業科目名	グローバルビジネス研修 [対面]				
シラバス執筆(全員)	佐々木 一雄				
シラバス執筆(主)	佐々木 一雄				
開講年次	2年	開講期	前期、後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

グローバルビジネス研修では、受講生は、海外の企業の現地法人、公的機関、民間企業等にインターン生として派遣される。例えば、国際交流センターのホテルインターンシップ（上級）、同（中級）、同（初級）などがある。あるいは、教育機関のアシスタントなど研修等を実施することもある。実際に、業務を体験することで、学生が実社会に目を向ける機会を提供する。また「実際の仕事や職場の状況を理解することで、自己の職業適性を知り、職業選択について深く考えることが出来、学習意欲が刺激される」という効果が期待できる。グローバルビジネス研修の事前研修として、海外での生活の心構え、職場における基本的なビジネスルールやマナー、そして危機管理などについて担当教員らが指導を行なう。また、希望する実習先企業や組織については、それぞれの担当者が個別に対応する。

到達目標

1. グローバルに活躍できる企業への就職の準備をする。
2. 海外の企業でインターンを経験することによって、卒業後の将来を検討する。
3. 海外でインターンを経験することによって、多文化理解の重要性などを理解する。

授業計画

<授業の構成>

- ①オリエンテーション
- ②研修先決定のための学習
- ③事前研修
- ④インターンシップの担当者との面接
- ⑤研修先事前訪問
- ⑥実習（期間はそれぞれの研修によって異なっている。その期間によって、単位数も異なっている。）
- ⑦研修日誌・研修レポート提出
- ⑧全体報告会

事前事後の学習

必要に応じて、担当教員より指示する。

実習先を決めるための研修もある。そして事前の学習をしてから面接を経て、実習先が決めるので、それに合わせた研修をする必要がある。しっかりと研修をして、インターンシップ先で学ぶ。事後には全体報告会で、発表する必要があり、担当者の指導を得ながら、インターンシップで得たことをしっかりと自分のものとして表現する必要がある。（実習の前後において<授業の構成>に示された項目を事前学習あるいは事後学習として計30時間予定する）

課題に対するフィードバックの方法

インターンシップで得たものを事後の発表練習で、自分のものとしながら、発表会で、意見やアドバイスを得て、さらによいものにするようにしていく。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

事前事後研修の参加態度と実習先からの評価を総合的に判定する。
原則として、オリエンテーションから事前研修、学科教員との面談、実習、全体報告会のすべてに出席、参加することを単位認定の条件とする。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	0		
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	100	事前事後の研修での参加態度を40%、実習先からの評価を60%として、総合的に評価する	1, 2, 3

テキスト	プリントを配布する。
参考書	資料はオリエンテーション、事前研修時に配布する。
履修条件・他の科目との関連	インターンシップ先での実習時間により、12単位を上限として単位を取得できる。

授業コード	10403401	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	フューチャー・スキルズ・プロジェクト(FSP) [対面]				
シラバス執筆(全員)	香川 愁吾				
シラバス執筆(主)	香川 愁吾				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

本科目は、大学と企業が連携する「産学連携」による、社会で実際にある課題の解決に向けて挑戦する「課題解決型」(Project Based Learning: PBL)の授業である。協力企業2社から示される課題テーマに対して提案を行うため、授業内外でプロジェクト活動(情報収集、チーム議論、発表)に取り組んでいく。協力企業の方がそれぞれ来学され、発表に対する評価やコメントをいただく。この授業のプロジェクトの経験によって、「大学でいかに学ぶべきか」「学んだことをどのように役立てるか」を考え、自分のキャリアを形成していくことにつながる。

到達目標

1. 目的意識を持って主体的に学ぶ姿勢を身につける。
2. 大学での学びを「社会」や「社会で求められる能力」と結び付けて考えることができる。
3. 課題解決に必要な基本的な能力を身につけ、チームで力を合わせて課題を遂行することができる。

授業計画

第1回	オリエンテーション
第2回	マインドセット・チーム編成・課題の進め方
第3回	プロジェクトA(協力企業A)】①協力企業からの課題提示
第4回	【プロジェクトA(協力企業A)】②チーム活動
第5回	【プロジェクトA(協力企業A)】③協力企業への一次提案
第6回	【プロジェクトA(協力企業A)】④チーム活動
第7回	【プロジェクトA(協力企業A)】⑤企業への最終提案・評価
第8回	プロジェクトAの振り返り
第9回	チーム再編・スキル紹介
第10回	【プロジェクトB(協力企業B)】①協力企業からの課題提示
第11回	【プロジェクトB(協力企業B)】②チーム活動
第12回	【プロジェクトB(協力企業B)】③協力企業への一次提案
第13回	【プロジェクトB(協力企業B)】④チーム活動
第14回	【プロジェクトB(協力企業B)】⑤企業への最終提案・評価
第15回	全体の振り返り・今後の学びの検討

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

図書館で新聞、雑誌、本を読み、自宅や大学で様々な情報を調べるなど、大学生としてしっかり勉強する姿勢が重要となる。また課題に対してチームで検討し、提案することになるため、授業時間以外の場でも自主的に集まり、準備に取り組むことが必須となる。

課題に対するフィードバックの方法

毎回提出するリアクションシートに書かれた質問等に対して、次回授業の冒頭で回答する。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。
- 授業への参加度、チーム活動、期末レポート、プレゼンテーションによって評価する。

成績評価の種類	評価割合(%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	受講姿勢、チーム活動	1, 2, 3
授業外での評価	20	チーム活動	1, 2, 3
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	期末レポート	1, 2
その他	0		

テキスト

「Project Support Notebook」(ベネッセコーポレーション)

参考書

履修条件・他の科目との関連

本科目は1年次生を対象とし、企業が実際に抱える課題解決に向けたプロジェクトにチャレンジしていく。本科目を受講するための専門知識は必要としないので、ご安心を。なお、履修者数の上限が設定されているため、初回の授業で説明する。

授業コード	10403501	授業形態	演習・実習（学外）	実務家教員	—
授業科目名	コーオプ I [対面]				
シラバス執筆(全員)	山本 幸一				
シラバス執筆(主)	山本 幸一				
開講年次	1年	開講期	前期、後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

本科目は、実際の企業での仕事体験を通じて仕事理解を深めることを目的とする演習・実習科目である。学期期間中の事前授業、長期休みを中心とした実習（合計3日程度の仕事体験）、実習後の事後授業で構成される。最終的に授業を通じて得た学びを整理した「仕事発見レポート」の作成と発表を行い、経験を振り返る。

到達目標

1. 社会に対する問題意識や興味関心を持つことができる
2. 経験を通じて得た学びを自分の言葉で語るすることができる

授業計画

- 事前授業（学期期間中の土曜日を中心に集中して実施する）
 - 事前授業（1）【第1回】 オリエンテーション
 - 事前授業（2）【第2,3,4回】 受入企業によるゲストトーク
 - 事前授業（3）【第5,6回】 仕事理解ワーク
 - 事前授業（4）【第7,8回】 目標設定
 - 事前授業（5）【第9,10回】 キックオフ
- 実習（長期休みを中心に実施）
 - ・主に長期休みを利用し、合計3日程度（合計24時間以上）の仕事体験を実施する
 - ・具体的なスケジュールは企業と相談の上、決定することとなる
- 事後授業（実習終了後に土曜日を中心に集中して実施する）
 - 事後授業（1）【第11回】 経験の振り返り
 - 事後授業（2）【第12,13回】 仕事発見レポートの発表

事前事後の学習

必要に応じて、担当教員より指示する。

授業と実習以外に合計40時間の事前事後学習が必要となる。企業の協力を得て、学外に出る仕事体験を伴う授業であることから、授業時間外にも必要な活動が発生することを理解しておくこと。

課題に対するフィードバックの方法

課題は授業内で講評するとともに、必要に応じてコメントを付して返却する。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。
【具体的な単認定要件】
すべての事前授業・実習・事後授業への参加と、必要な課題の期限内提出、必要な取り組みへの期限内実施を単認定要件とする。その上で、単認定要件を満たした者に対し、以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	・毎回の授業の振り返りシート 20% ・各種ワークシート・エントリー課題 20% ・仕事発見レポート 20%	1、2
授業外での評価	20	・実習中の活動日誌	1、2
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	・最終レポート課題	1、2
その他	0		

テキスト テキストは使用せずプリント等を配布する。

参考書 必要に応じて授業内で紹介する。

履修条件・他の科目との関連

- ・集中講義のため、年度当初の履修登録はない
- ・受講希望者は4月に開催する説明会に必ず参加すること
- ・説明会の詳細は4月初旬にUNIPAにて案内する
- ・21年度以前の入学生については、「インターンシップ I」と同科目である

授業コード	10403601	授業形態	演習・実習（学外）	実務家教員	—
授業科目名	コーオプⅡ [対面]				
シラバス執筆(全員)	山本 幸一				
シラバス執筆(主)	山本 幸一				
開講年次	2年	開講期	前期、後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

長期休暇期間を中心に、実際の企業活動の現場で行われる事業に参画する「実践型インターンシップ」に挑戦する実習科目である。挑戦の中に生まれる成功体験や失敗体験から自分が社会で働くことの意味／あり方を考えることを目的とする。受け入れ先は日本全国の地域の中小企業・ベンチャー企業を想定し、期間は企業のプログラムごとに異なる。また、実習中は連携するコーディネート機関のサポートを受ける。学期期間中に行われる事前授業、長期休暇期間を中心とした実習、実習後の事後授業への参加に加え、必要な課題の期限内提出が単位認定要件となる。

到達目標

1. インターンシップの中で任された仕事や役割を、責任を持って取り組むことができる
2. 企業の事業と社会的意義について自分なりに語る事ができる
3. 自身の強みと弱みに気づくことができる

授業計画

○事前授業

- 事前授業（1）【第1回】オリエンテーション
 事前授業（2）【第2,3,4回】 マッチングイベントへの参加
 事前授業（3）【第5回】目標設定
 事前授業（4）【第6回】キックオフ研修

○実習

長期休暇を中心とした実践型インターンシップ
 （※期間と活動スケジュールは企業のプログラムごとに異なる。具体的には企業と相談の上、決定することとなる）

○事後授業

- 事後授業（1）【第7回】経験の振り返り
 事後授業（2）【第8,9,10回】実践型インターンシップ報告会

事前事後の学習

必要に応じて、担当教員より指示する。

授業・実習を合わせて合計90時間の学修時間が必要となる。外部の企業の協力を得て、学外に出る仕事体験を伴う授業であることから、授業時間外にも必要な活動が発生することを理解しておくこと。

課題に対するフィードバックの方法

課題は授業内で講評する。また、個人面談の機会に直接フィードバックする。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

【具体的な単位認定要件】

すべての事前授業・実習・事後授業への参加と、必要な課題の期限内提出、必要な取り組みへの期限内実施を単位認定要件とする。その上で、単位認定要件を満たした者に対し、以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	20	・毎回の授業の振り返りシート	1、2、3
授業外での評価	60	・各種エントリー課題 40% ・実習中の活動日誌 20%	1、2、3
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	・最終レポート課題	1、2、3
その他	0		

テキスト

テキストは使用せずプリント等を配布する。

参考書	必要に応じて授業内で紹介する。
履修条件・他の科目との関連	<ul style="list-style-type: none">・集中講義のため、年度当初の履修登録はない・受講希望者は4月に開催する説明会に必ず参加すること・説明会の詳細は4月初旬にUNIPAにて案内する・受講人数に制限は設けませんが、企業側の合否結果により実習に参加できないことがある・21年度以前の入学生については、「インターンシップⅡ」と同科目である

授業コード	10403701	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	サービスラーニング論 [対面]				
シラバス執筆(全員)	佐藤 誠之				
シラバス執筆(主)	佐藤 誠之				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

本講では、サービスラーニングの実際を理解し、社会におけるサービスの価値やその方法論を学ぶものである。具体的には、講義と映像を通して、地域社会の課題を探り、自らその課題や問題に触れ、それらの解決に対して組織が担う役割や必要性を理解する。また、その為に必要なコミュニケーション能力の向上、人とヒト・人と地域を結びつけるファシリテーション能力の習得を目指す。

到達目標

1. ボランティアやサービスラーニングの意味と地域社会における必要性を理解する。
2. 実際に地域社会で起こっている諸問題や課題を理解する。
3. 周囲とのコミュニケーションを活性化できるファシリテーション能力を身に付ける。

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：オリエンテーション・学びのイメージ
 内容・方法：授業の内容や評価について
- 【第2回】
 テーマ：サービスラーニングとは
 内容・方法：用語の定義などを理解する
- 【第3回】
 テーマ：ボランティアの効果
 内容・方法：ボランティア活動の意義について
- 【第4回】
 テーマ：ボランティアの心得
 内容・方法：ボランティア活動前の注意事項
- 【第5回】
 テーマ：ボランティアの実際 青少年分野
 内容・方法：事例紹介①
- 【第6回】
 テーマ：ボランティアの実際 スポーツ分野
 内容・方法：事例紹介②
- 【第7回】
 テーマ：ボランティアの実際 野外活動分野
 内容・方法：事例紹介③
- 【第8回】
 テーマ：ボランティアの実際 高齢者福祉分野
 内容・方法：事例紹介④
- 【第9回】
 テーマ：ボランティアの実際 障がい者分野
 内容・方法：事例紹介⑤
- 【第10回】
 テーマ：ボランティアの実際 看護・医療分野
 内容・方法：事例紹介⑥
- 【第11回】
 テーマ：ボランティアの実際 防災支援分野
 内容・方法：事例紹介⑦
- 【第12回】
 テーマ：ボランティアの実際 まちづくり分野
 内容・方法：事例紹介⑧
- 【第13回】
 テーマ：ボランティア受け入れ側の期待
 内容・方法：学生が取り組む地域社会づくりについて
- 【第14回】
 テーマ：ボランティアを通じた学び
 内容・方法：ボランティア参加者の振り返りの紹介
- 【第15回】
 テーマ：ボランティア後に行うこと・ボランティアの探し方
 内容・方法：振り返りの方法と重要性

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

〈事前学修課題〉

授業内容に関する情報収集など自分なりのイメージを持つ。(各回2時間)

〈事後学修課題〉

講義の中で説明した内容をまとめ、情報検索を行うなどして知識を深める。(各回2時間)

具体的な事前・事後学習内容は第1回のオリエンテーションにて説明を行うが、授業終了後のレポート作成と事前課題への取り組みを上手く活用すること。

レポート、課題以外にもインターネット等を活用して情報収集に努めること。

特に自分が興味関心を持つ領域へのボランティアについては、積極的に参加することを推奨する。

課題に対するフィードバックの方法

レポート、課題についてはclassroomやグーグルフォームを活用し、授業内でフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。
原則、公欠以外で5回以上欠席した場合は、評価の対象とせず「K」評価とする。

授業内での積極的な取り組みやふりかえりシートを評価する

口頭発表や最終課題レポートと授業内でのレポート、事前課題、配布資料などファイリングしたものを提出し、それを評価する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	30	授業内での積極的な取り組みやふりかえりシートを評価する	1, 2, 3
授業外での評価	40	課題レポートと授業内でのレポート、事前課題、配布資料などファイリングしたものを提出し、それを評価する。	1, 2, 3
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	30	口頭試問(発表および質疑応答)にて評価する	1, 2, 3
その他	0		

テキスト	ボランティアを始める人のための 「サービスマーケティング入門」 ～ボランティアを通じた学び～ 発行:あさひ高速印刷出版部 ※学内書店にて購入して下さい。
------	--

参考書	適宜紹介する
-----	--------

履修条件・他の科目との関連	様々なボランティアを経験できるよう自らでアンテナを張り情報を収集すること。 サービスマーケティング I・II の関連科目の為、意欲的な受講と積極的な取り組みを求める。 欠席者は各自で教員に申し出て予習復習の指示を受けること。
---------------	--

授業コード	10403801	授業形態	演習・実習	実務家教員	—
授業科目名	サービスラーニング I [対面]				
シラバス執筆(全員)	加藤 淳一、横山 誠				
シラバス執筆(主)	加藤 淳一				
開講年次	2年	開講期	前期、後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

本科目は、地域・社会貢献活動（ボランティア活動＝サービス）での経験と、関連した学習（ラーニング）を通して、視野を広げ、学びを深めることを目指す授業であり、事前研修・ボランティア活動・事後研修から構成される。事前研修では、ボランティアに関する基礎的理解や心構えの確認に加え、各自が参加する活動の背景や関連する問題について調べ、理解を深める。その後、各自で一定時間以上のボランティア活動を実施するとともに、日誌の記入や担当教員とのやり取り、中間振り返り会等を通じて学びや内省を深める。事後研修では、各々の活動の成果や学びを振り返り、活動報告を行う。

到達目標

1. ボランティアやサービスラーニングに関する基礎的事項について説明できる。
 2. 自分が行うボランティア活動の社会的背景や関連する問題について説明できる。
 3. ボランティア活動での学びを、その後どのように活かしていくか説明できる。
 4. 自分がどのように地域や社会に参加・貢献していきたいか説明できる。
- * そのほか、各自が設定した具体的な目標の達成に向けて、内省や自己評価をしながら自律的・主体的に活動を進めていくことが期待される。

授業計画

- 第1回 事前研修1（ガイダンス、自己紹介／関係づくり、ボランティア／サービスラーニングとは何か）
 第2回 事前研修2（活動の背景や関連する問題の調査）
 第3回 事前研修3（活動の背景や活動を通して学びたいことを発表する）
 第4回 事前研修4（ボランティア参加にあたっての心構え、手続きなど）
 第5回～第8回 ボランティア活動の実施（前半） * 活動日誌に記入しながら学びや内省を深める
 第9回 中間振り返り会
 第10回～第12回 ボランティア活動の実施（後半） * 活動日誌に記入しながら学びや内省を深める
 第13回 事後研修1（活動の振り返り）
 第14回 事後研修2（活動報告の準備）
 第15回 まとめと総括

事前事後の学習

必要に応じて、担当教員より指示する。

ボランティア活動前は、事前研修の内容に沿って、活動に関する調査や予復習等の課題を課す（計16時間）。ボランティア活動中は、活動の準備や、活動日誌の記入を通じた振り返りに取り組む。ボランティア活動後は、活動報告の発表準備やまとめのレポートの作成を課す（計14時間）。

課題に対するフィードバックの方法

ボランティアの計画段階から実施中の報告、事後レポート等、対面指導やその他個別指導を中心に行います。事前学習、事後学習もレポートだけでなく、自らの言葉でしっかりと評価できるよう心がけて下さい。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	20	事前研修・事後研修等での課題や発表(20)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	50	ボランティア活動への取り組み状況(30)、活動日誌(20)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	30	口頭試問(15)、総括レポート(15)	1, 2, 3, 4
その他	0		

テキスト	テキストを使用しない。適宜プリントや資料等を提示する。
参考書	授業内で適宜紹介する。
履修条件・他の科目との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・授業開始に先立ち、説明会を実施する(4月後半を予定)。履修希望者は必ず参加すること。実施方法(対面／遠隔)や日時・場所・参加方法等については、UNIPAの掲示等を確認すること。 ・一定の責任感をもって参加することが求められる。活動はもちろん、事前研修・事後研修等においても、無断欠席をした場合や、受講態度が著しく不適切な場合は、単位を認めないことがある。 ・学外での活動は、授業内で示す所定の手続きを行った場合のみ認定されるため、必ず事前の承認手続きが必要となる。 ・質問や相談があれば、担当教員宛にメールで連絡するか、研究室に入室すること。 横山 誠 (m-yoko@oiu.jp) 研究室: 1号館523教室 加藤 淳一 (j-kato@oiu.jp) 研究室: 4号館517号室

授業コード	10403901	授業形態	演習・実習	実務家教員	—
授業科目名	サービスラーニングⅡ [対面]				
シラバス執筆(全員)	加藤 淳一				
シラバス執筆(主)	加藤 淳一				
開講年次	カリキュラムによる	開講期	前期、後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

本科目は、地域・社会貢献活動（ボランティア活動＝サービス）での経験と、関連した学習（ラーニング）を通して、視野を広げ、学びを深めることを目指す授業であり、事前研修・ボランティア活動・事後研修から構成される。事前研修では、ボランティアに関する基礎的理解や心構えの確認に加え、各自が参加する活動の背景や関連する問題について調べ、理解を深める。その後、各自で一定時間以上のボランティア活動を実施するとともに、日誌の記入や担当教員とのやり取り、中間振り返り会等を通じて学びや内省を深める。事後研修では、各々の活動の成果や学びを振り返り、活動報告を行う。

到達目標

1. ボランティアやサービスラーニングに関する基礎的事項について説明できる。
 2. 自分が行うボランティア活動の社会的背景や関連する問題について説明できる。
 3. ボランティア活動での学びを、その後どのように活かしていくか説明できる。
 4. 自分がどのように地域や社会に参加・貢献していきたいか説明できる。
 5. ボランティア活動の際、運営者側の視点を持って、活動全体をマネジメントすることができる。
- * そのほか、各自が設定した具体的な目標の達成に向けて、内省や自己評価をしながら自律的・主体的に活動を進めていくことが期待される。

授業計画

- 第1回 事前研修1（ガイダンス、自己紹介／関係づくり、ボランティア／サービスラーニングとは何か）
 第2回 事前研修2（活動の背景や関連する問題の調査）
 第3回 事前研修3（活動の背景や活動を通して学びたいことを発表する）
 第4回 事前研修4（ボランティア参加にあたっての心構え、手続きなど）
 第5回～第8回 ボランティア活動の実施（前半） * 活動日誌に記入しながら学びや内省を深める
 第9回 中間振り返り会
 第10回～第12回 ボランティア活動の実施（後半） * 活動日誌に記入しながら学びや内省を深める
 第13回 事後研修1（活動の振り返り）
 第14回 事後研修2（活動報告の準備）
 第15回 まとめと総括

事前事後の学習

必要に応じて、担当教員より指示する。

ボランティア活動前は、事前研修の内容に沿って、活動に関する調査や予復習等の課題を課す（計16時間）。ボランティア活動中は、活動の準備や、活動日誌の記入を通じた振り返りに取り組む。ボランティア活動後は、活動報告の発表準備やまとめのレポートの作成を課す（計14時間）。

課題に対するフィードバックの方法

ボランティアの計画段階から実施中の報告、事後レポート等、対面指導やその他個別指導を中心に行います。事前学習、事後学習もレポートだけでなく、自らの言葉でしっかりと評価できるよう心がけて下さい。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	20	事前研修・事後研修等での課題や発表(20)	1, 2, 3, 4, 5
授業外での評価	50	ボランティア活動への取り組み状況(30)、活動日誌(20)	1, 2, 3, 4, 5
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	30	口頭試問(15)、総括レポート(15)	1, 2, 3, 4, 5
その他	0		

テキスト	テキストを使用しない。適宜プリントや資料等を提示する。
参考書	授業内で適宜紹介する。
履修条件・他の科目との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・授業開始に先立ち、説明会を実施する(4月後半を予定)。履修希望者は必ず参加すること。実施方法(対面／遠隔)や日時・場所・参加方法等については、UNIPAの掲示等を確認すること。 ・一定の責任感をもって参加することが求められる。活動はもちろん、事前研修・事後研修等においても、無断欠席をした場合や、受講態度が著しく不適切な場合は、単位を認めないことがある。 ・学外での活動は、授業内で示す所定の手続きを行った場合のみ認定されるため、必ず事前の承認手続きが必要となる。 ・質問や相談があれば、担当教員宛にメールで連絡するか、研究室に入室すること。 横山 誠 (m-yoko@oiu.jp) 研究室: 1号館523教室 加藤 淳一 (j-kato@oiu.jp) 研究室: 4号館517号室

授業コード	10404107	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	キャリアデザインA [対面]				
シラバス執筆(全員)	高木 知香				
シラバス執筆(主)	高木 知香				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

卒業後の進路・就職に向け、自律的にキャリアを描く力を養うことを目的とする。キャリア形成科目の基礎となる本授業では、広く社会の姿と仕事の世界に目を向け、社会や仕事と自分をつなげるために必要な視点を養う。

到達目標

- (1) 社会の姿や仕事の世界についての基礎的事柄を説明することができる
- (2) キャリアの問題について深く考えることができる
- (3) 将来のキャリアを見据えた学生生活を実践することができる

授業計画

第1回	オリエンテーション
第2回	私たちが生きる社会
第3回	学生生活とキャリア
第4回	お金とキャリア
第5回	仕事の世界
第6回	様々な働き方 (1)
第7回	様々な働き方 (2)
第8回	様々な働き方 (3)
第9回	職業調べ
第10回	ライフキャリア
第11回	個人特性とキャリア
第12回	学生生活での挑戦
第13回	就職活動
第14回	ワークルール
第15回	まとめ

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

授業資料・ワークシート・ミニレポートの見直しなど、毎回4時間の事前事後学習が必要となる。

課題に対するフィードバックの方法

毎回のミニレポート及び提出課題は、適宜必要に応じてコメントや授業内での解説等を行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。
- 「配慮すべき理由のある欠席」の場合、特別課題を提出することによって評価する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	85	・毎回のプリント・ワークシート・ミニレポートの内容(75%) ・授業内での発言、質問、受講態度、マナー等を評価(10%)	1、2、3
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	15	・全授業終了後に実施する期末レポート	1、2、3
その他	0		

テキスト	使用しない。適宜、プリントを配布する。
参考書	必要に応じて授業内で紹介する。
履修条件・他の科目との関連	本科目は必修科目である。

授業コード	10404108	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	キャリアデザインA [対面]				
シラバス執筆(全員)	高橋 広明				
シラバス執筆(主)	高橋 広明				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

卒業後の進路・就職に向け、自律的にキャリアを描く力を養うことを目的とする。キャリア形成科目の基礎となる本授業では、広く社会の姿と仕事の世界に目を向け、社会や仕事と自分をつなげるために必要な視点を養う。

到達目標

- (1) 社会の姿や仕事の世界についての基礎的事柄を説明することができる
- (2) キャリアの問題について深く考えることができる
- (3) 将来のキャリアを見据えた学生生活を実践することができる

授業計画

第1回	オリエンテーション
第2回	私たちが生きる社会
第3回	学生生活とキャリア
第4回	お金とキャリア
第5回	仕事の世界
第6回	様々な働き方 (1)
第7回	様々な働き方 (2)
第8回	様々な働き方 (3)
第9回	職業調べ
第10回	ライフキャリア
第11回	個人特性とキャリア
第12回	学生生活での挑戦
第13回	就職活動
第14回	ワークルール
第15回	まとめ

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

授業資料・ワークシート・ミニレポートの見直しなど、毎回4時間の事前事後学習が必要となる。

課題に対するフィードバックの方法

毎回のミニレポート及び提出課題は、適宜必要に応じてコメントや授業内での解説等を行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。
- 「配慮すべき理由のある欠席」の場合、特別課題を提出することによって評価する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	85	・毎回のプリント・ワークシート・ミニレポートの内容(75%) ・授業内での発言、質問、受講態度、マナー等を評価(10%)	1、2、3
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	15	・全授業終了後に実施する期末レポート	1、2、3
その他	0		

テキスト	使用しない。適宜、プリントを配布する。
参考書	必要に応じて授業内で紹介する。
履修条件・他の科目との関連	本科目は必修科目である。

授業コード	10404207	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	キャリアデザインB [対面]				
シラバス執筆(全員)	中農 敬雄				
シラバス執筆(主)	中農 敬雄				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

本科目では、自己理解、社会・職業理解を深め、自らのキャリアの価値基準を形づくことで、自分が目指したいキャリアのあり方について検討していく。このことを通じて、自分が目指したいキャリアに実現するために何が必要なのかに気づき、自らがとるべき行動について認識し、必要な行動計画を立てる準備をする。授業は講義による基礎的項目の解説、資料学習による情報探索と収集、授業課題による学びの整理・考察・自己表現などで構成する。

到達目標

1. 産業や職業、就職環境に関する基礎的事項を説明できる。
2. キャリアプランニングに必要な自己理解、社会・職業理解を行い、将来を展望することができる。
3. キャリアプランニングについての気づきや基礎的知識を言葉や文章で表現することができる。

授業計画

- 第1回 オリエンテーション
 第2回 過去から現在までの人生の振り返り
 第3回 卒業後の人生設計
 第4回 自分の性格、興味・関心、価値観の理解
 第5回 働く上で大切にしたいこと
 第6回 自己理解まとめ
 第7回 現代社会の特徴
 第8回 大学生の進路
 第9回 様々な働き方 (1)
 第10回 様々な働き方 (2)
 第11回 様々な働き方 (3)
 第12回 様々な働き方 (4)
 第13回 社会で求められる力
 第14回 就職活動の準備
 第15回 今後のキャリアデザインに向けて

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

社会・職業理解、自己理解を深め、キャリアプランニングの基礎的知識を獲得するために、授業で扱った資料やワーク、ミニレポートを見直すことで、毎回約4時間の学修が必要である。

課題に対するフィードバックの方法

毎回のミニレポート及び提出課題は、適宜必要に応じてコメントや授業内での解説を行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。
- 「配慮すべき理由のある欠席」の場合、その回の授業に関する特別課題によって評価する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	85	・毎回のミニレポート・ワークの内容(75%) ・授業に関する発言・質問、受講態度・マナー等(10%)	1, 2, 3
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	15	期末レポート	1, 2, 3
その他	0		

テキスト	使用しない。適宜プリントを配布する。
------	--------------------

参考書	必要に応じて授業の中で指示する。
履修条件・他の科目との関連	本科目は必修科目である。キャリアデザインAを履修していることが望ましい。

授業コード	10404208	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	キャリアデザインB [対面]				
シラバス執筆(全員)	高木 知香				
シラバス執筆(主)	高木 知香				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

本科目では、自己理解、社会・職業理解を深め、自らのキャリアの価値基準を形づくることで、自分が目指したいキャリアのあり方について検討していく。このことを通じて、自分が目指したいキャリアに実現するために何が必要なのかに気づき、自らがとるべき行動について認識し、必要な行動計画を立てる準備をする。授業は講義による基礎的項目の解説、資料学習による情報探索と収集、授業課題による学びの整理・考察・自己表現などで構成する。

到達目標

1. 産業や職業、就職環境に関する基礎的事項を説明できる。
2. キャリアプランニングに必要な自己理解、社会・職業理解を行い、将来を展望することができる。
3. キャリアプランニングについての気づきや基礎的知識を言葉や文章で表現することができる。

授業計画

- 第1回 オリエンテーション
 第2回 過去から現在までの人生の振り返り
 第3回 卒業後の人生設計
 第4回 自分の性格、興味・関心、価値観の理解
 第5回 働く上で大切にしたいこと
 第6回 自己理解まとめ
 第7回 現代社会の特徴
 第8回 大学生の進路
 第9回 様々な働き方 (1)
 第10回 様々な働き方 (2)
 第11回 様々な働き方 (3)
 第12回 様々な働き方 (4)
 第13回 社会で求められる力
 第14回 就職活動の準備
 第15回 今後のキャリアデザインに向けて

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

社会・職業理解、自己理解を深め、キャリアプランニングの基礎的知識を獲得するために、授業で扱った資料やワーク、ミニレポートを見直すことで、毎回約4時間の学修が必要である。

課題に対するフィードバックの方法

毎回のミニレポート及び提出課題は、適宜必要に応じてコメントや授業内での解説を行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。
- 「配慮すべき理由のある欠席」の場合、その回の授業に関する特別課題によって評価する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	85	・毎回のミニレポート・ワークの内容(75%) ・授業に関する発言・質問、受講態度・マナー等(10%)	1, 2, 3
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	15	期末レポート	1, 2, 3
その他	0		

テキスト	使用しない。適宜プリントを配布する。
------	--------------------

参考書	必要に応じて授業の中で指示する。
履修条件・他の科目との関連	本科目は必修科目である。キャリアデザインAを履修していることが望ましい。

授業コード	10404307	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	キャリアデザインC [対面]				
シラバス執筆(全員)	中農 敬雄				
シラバス執筆(主)	中農 敬雄				
開講年次	3年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

本科目では、自身の進路・就職を具体的に考え、キャリアプランニングに取り組み、社会的・職業的自立に向けた準備を行うことを目的とする。具体的には、雇用環境や就職活動に関する基礎的知識、インターンシップを含む実践的な活動内容を学び、今後の就職活動に円滑に進めることを目指す。本科目は4月の第1回目の授業以降、隔週で実施し、計7回の授業構成とする。

到達目標

1. 雇用環境や就職活動に関する基礎的知識、インターンシップを含む実践的な活動内容を説明できる。
2. 目指すキャリアを実現するために必要な事柄を理解し、その準備に着手することができる。
3. 社会的・職業的自立に向けての気づきや行動計画を言葉や文章で表現することができる。

授業計画

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 インターンシップ
- 第3回 業界企業研究
- 第4回 ビジネスマナー
- 第5回 グループディスカッション
- 第6回 自己PR作成
- 第7回 エントリーシート作成

事前事後の学習

授業時間外で、計30時間の事前事後学習が必要です。

社会・職業理解と自己理解を深めるために、授業で扱った資料やワーク、ミニレポートを見直すことで、毎回約4時間の学修が必要である。

課題に対するフィードバックの方法

毎回のミニレポート及び提出課題は、適宜必要に応じてコメントや授業内での解説を行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。
- 「理由のある欠席」の場合、その回の授業に関する特別課題によって評価する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	80	・毎回のミニレポート・ワークの内容(70%) ・授業に関する発言・質問、受講態度・マナー等(10%)	1, 2, 3
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	期末レポート	1, 2, 3
その他	0		

テキスト	初回の授業で配布する「就活ガイドブック」を使用する。ほか適宜プリントを配布する。
参考書	必要に応じて授業の中で指示する。
履修条件・他の科目との関連	本科目は必修科目である。キャリアデザインA・Bを履修していることが望ましい。

授業コード	10404308	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	キャリアデザインC [対面]				
シラバス執筆(全員)	山本 幸一				
シラバス執筆(主)	山本 幸一				
開講年次	3年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

本科目では、自身の進路・就職を具体的に考え、キャリアプランニングに取り組み、社会的・職業的自立に向けた準備を行うことを目的とする。具体的には、雇用環境や就職活動に関する基礎的知識、インターンシップを含む実践的な活動内容を学び、今後の就職活動に円滑に進めることを目指す。本科目は4月の第1回目の授業以降、隔週で実施し、計7回の授業構成とする。

到達目標

1. 雇用環境や就職活動に関する基礎的知識、インターンシップを含む実践的な活動内容を説明できる。
2. 目指すキャリアを実現するために必要な事柄を理解し、その準備に着手することができる。
3. 社会的・職業的自立に向けての気づきや行動計画を言葉や文章で表現することができる。

授業計画

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 インターンシップ
- 第3回 業界企業研究
- 第4回 ビジネスマナー
- 第5回 グループディスカッション
- 第6回 自己PR作成
- 第7回 エントリーシート作成

事前事後の学習

授業時間外で、計30時間の事前事後学習が必要です。

社会・職業理解と自己理解を深めるために、授業で扱った資料やワーク、ミニレポートを見直すことで、毎回約4時間の学修が必要である。

課題に対するフィードバックの方法

毎回のミニレポート及び提出課題は、適宜必要に応じてコメントや授業内での解説を行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。
- 「理由のある欠席」の場合、その回の授業に関する特別課題によって評価する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	80	・毎回のミニレポート・ワークの内容(70%) ・授業に関する発言・質問、受講態度・マナー等(10%)	1, 2, 3
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	期末レポート	1, 2, 3
その他	0		

テキスト	初回の授業で配布する「就活ガイドブック」を使用する。ほか適宜プリントを配布する。
参考書	必要に応じて授業の中で指示する。
履修条件・他の科目との関連	本科目は必修科目である。キャリアデザインA・Bを履修していることが望ましい。

授業コード	10404407	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	キャリアデザインD [対面]				
シラバス執筆(全員)	中農 敬雄				
シラバス執筆(主)	中農 敬雄				
開講年次	3年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

本科目では、自身の進路・就職を具体的に考え、キャリアプランニングに取り組み、社会的・職業的自立に向けた準備を行うことを目的とする。具体的には、採用選考に向けた実践的な活動内容を学び、今後の就職活動に円滑に進めることを目指す。本科目は9月の第1回目の授業以降、隔週で実施し、計8回の授業構成とする。

到達目標

1. 雇用環境や就職活動に関する基礎的知識、実践的な活動内容を説明できる。
2. 目指すキャリアを実現するために必要な事柄を理解し、その準備に着手することができる。
3. 社会的・職業的自立に向けての気づきや行動計画に基づき、行動に移すことができる。

授業計画

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 先輩の就職活動
- 第3回 業界企業研究
- 第4回 履歴書作成
- 第5回 面接
- 第6回 卒業後のキャリアデザイン (1)
- 第7回 卒業後のキャリアデザイン (2)
- 第8回 まとめ

事前事後の学習

授業時間外で、計30時間の事前事後学習が必要です。

社会・職業理解と自己理解を深めるために、授業で扱った資料やワーク、ミニレポートを見直すことで、毎回約4時間の学修が必要である。

課題に対するフィードバックの方法

毎回のミニレポート及び提出課題は、適宜必要に応じてコメントや授業内での解説を行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。
- 「理由のある欠席」の場合、その回の授業に関する特別課題によって評価する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	90	・毎回のミニレポート・ワークの内容(80%) ・授業に関する発言・質問、受講態度・マナー等(10%)	1, 2, 3
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10	期末レポート	1, 2, 3
その他	0		

テキスト キャリアデザインCの初回の授業で配布する「就活ガイドブック」を使用。ほか適宜プリントを配布する。

参考書 必要に応じて授業の中で指示する。

履修条件・他の科目との関連 本科目は必修科目である。キャリアデザインA・B・Cを履修していることが望ましい。

授業コード	10404408	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	キャリアデザインD [対面]				
シラバス執筆(全員)	山本 幸一				
シラバス執筆(主)	山本 幸一				
開講年次	3年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

本科目では、自身の進路・就職を具体的に考え、キャリアプランニングに取り組み、社会的・職業的自立に向けた準備を行うことを目的とする。具体的には、採用選考に向けた実践的な活動内容を学び、今後の就職活動に円滑に進めることを目指す。本科目は9月の第1回目の授業以降、隔週で実施し、計8回の授業構成とする。

到達目標

1. 雇用環境や就職活動に関する基礎的知識、実践的な活動内容を説明できる。
2. 目指すキャリアを実現するために必要な事柄を理解し、その準備に着手することができる。
3. 社会的・職業的自立に向けての気づきや行動計画に基づき、行動に移すことができる。

授業計画

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 先輩の就職活動
- 第3回 業界企業研究
- 第4回 履歴書作成
- 第5回 面接
- 第6回 卒業後のキャリアデザイン (1)
- 第7回 卒業後のキャリアデザイン (2)
- 第8回 まとめ

事前事後の学習

授業時間外で、計30時間の事前事後学習が必要です。

社会・職業理解と自己理解を深めるために、授業で扱った資料やワーク、ミニレポートを見直すことで、毎回約4時間の学修が必要である。

課題に対するフィードバックの方法

毎回のミニレポート及び提出課題は、適宜必要に応じてコメントや授業内での解説を行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。
- 「理由のある欠席」の場合、その回の授業に関する特別課題によって評価する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	90	・毎回のミニレポート・ワークの内容(80%) ・授業に関する発言・質問、受講態度・マナー等(10%)	1, 2, 3
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10	期末レポート	1, 2, 3
その他	0		

テキスト キャリアデザインCの初回の授業で配布する「就活ガイドブック」を使用。ほか適宜プリントを配布する。

参考書 必要に応じて授業の中で指示する。

履修条件・他の科目との関連 本科目は必修科目である。キャリアデザインA・B・Cを履修していることが望ましい。

授業コード	13091001	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	国際経済学 [対面]				
シラバス執筆(全員)	浅居 孝彦				
シラバス執筆(主)	浅居 孝彦				
開講年次	3年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

「国際経済学」では、国際貿易（＝国境を越えた財・サービスの取引）に関する理論・制度・現状を理解することを目的としている。具体的には、貿易の利益とは何か、貿易における国際的な制度がどのように形成されてきたか、多国籍企業が貿易にどういった影響を与えているかといった問題について学習する。加えて、グローバル化が国際経済にもたらした影響や課題についても解説する。

到達目標

1. 国際貿易に関する理論的枠組みが理解できる。
2. 国際貿易における制度の形成・変遷について説明できる。
3. グローバル化が国際経済にもたらした影響や課題に対して多角的な視点で考えることができる。

授業計画

【第1回】

テーマ：イントロダクション

内容：国際経済学で学習する内容の説明（授業の進め方、成績評価の方法についての説明を含む）

【第2回】

テーマ：貿易の利益：閉鎖経済、自由貿易

内容：貿易自由化の影響

【第3回】

テーマ：貿易政策：保護貿易

内容：貿易政策の効果

【第4回】

テーマ：比較優位(1)：分業の利益

内容：絶対優位と比較優位の概念、分業の利益

【第5回】

テーマ：比較優位(2)：国際貿易

内容：リカード・モデル

【第6回】

テーマ：多国籍企業と直接投資

内容：直接投資の目的、受入国・投資国に与える影響、プロダクト・ライフサイクル論

【第7回】

テーマ：グローバル・バリューチェーン

内容：多国籍企業の国境を越えた生産ネットワークの形成、フラグメンテーション

【第8回】

テーマ：GATT/WTOの歴史・現状・制度

内容：GATTの関税交渉の歴史、WTOの設立、GATT/WTOのルール、紛争解決手続き

【第9回】

テーマ：地域貿易協定

内容：地域貿易協定の現状・経済的影響

【第10回】

テーマ：グローバル化と開発途上国

内容：グローバル化が進展する状況下での開発途上国の変化

【第11回】

テーマ：グローバルな経済格差

内容：グローバル化が進展する状況下での経済格差の構造の変化

【第12回】

テーマ：国際労働移動

内容：グローバル化が進展する状況下での国際労働移動の変化

【第13回】

テーマ：地球環境問題

内 容：国際的な環境問題への取り組みの歴史・現状

【第14回】

テーマ：貿易と環境

内 容：貿易と環境政策の関係

【第15回】

テーマ：「国際経済学」のまとめ

内 容：「国際経済学」の総復習

*授業の進捗状況によって内容を一部変更する場合がある。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

授業で配布した資料の内容を自分で説明できるようになるまで繰り返し復習すること。理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。以下の指示にしたがって、事前・事後学習をそれぞれ2時間程度することが望ましい。

【第1回】

①事前学習課題：なし

②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、学習した内容を復習し、知識の定着を図ること。その上で、理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。

【第2回】

①事前学習課題：貿易をすることのメリット、デメリットについて考えておくこと。

②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、学習した内容を復習し、知識の定着を図ること。その上で、理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。

【第3回】

①事前学習課題：貿易政策に関する事例を調べておくこと。

②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、学習した内容を復習し、知識の定着を図ること。その上で、理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。

【第4回】

①事前学習課題：それぞれの国で貿易の構造が異なる理由について考えておくこと。

②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、学習した内容を復習し、知識の定着を図ること。その上で、理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。

【第5回】

①事前学習課題：絶対優位と比較優位の概念を正確に理解しておくこと。

②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、学習した内容を復習し、知識の定着を図ること。その上で、理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。

【第6回】

①事前学習課題：多国籍企業の海外での事業活動に関する事例を調べておくこと。

②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、学習した内容を復習し、知識の定着を図ること。その上で、理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。

【第7回】

①事前学習課題：多国籍企業の（製品の）生産がどこで、どのように行われているかを調べておくこと。

②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、学習した内容を復習し、知識の定着を図ること。その上で、理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。

【第8回】

①事前学習課題：WTOの役割・現状について調べておくこと。

②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、学習した内容を復習し、知識の定着を図ること。その上で、理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。

【第9回】

①事前学習課題：地域貿易協定とは何か、どのようなものがあるかを調べておくこと。

②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、学習した内容を復習し、知識の定着を図ること。その上で、理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。

【第10回】

①事前学習課題：グローバル化とはどのような状況か、開発途上国にどのような影響があったかを考えておくこと。

②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、学習した内容を復習し、知識の定着を図ること。その上で、理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。

【第11回】

①事前学習課題：前回授業で学習したグローバル化と開発途上国の変化をふまえて、世界全体の経済格差の構造がどのように変化しているかを考えておくこと。

②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、学習した内容を復習し、知識の定着を図ること。その上で、理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。

【第12回】

- ①事前学習課題：日本社会の変化と外国人労働者の問題について調べておくこと。
- ②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、学習した内容を復習し、知識の定着を図ること。その上で、理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。

【第13回】

- ①事前学習課題：国際的な地球環境問題に関する取り組みについて調べておくこと。
- ②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、学習した内容を復習し、知識の定着を図ること。その上で、理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。

【第14回】

- ①事前学習課題：経済活動（＝貿易、直接投資）と環境政策の関係について考えておくこと。
- ②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、学習した内容を復習し、知識の定着を図ること。その上で、理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。

【第15回】

- ①事前学習課題：これまでの内容を総復習して、知識を定着させておくこと。
- ②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、理解が不十分であった内容を復習すること。

課題に対するフィードバックの方法

授業内で授業内容（事前・事後の学習課題を含む）の理解度を確認するための小テスト・小レポートを実施する。翌週の授業で小テスト・小レポートの結果に対するフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

授業内課題（＝小テスト・小レポート）とレポートで評価する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	40	授業内課題(＝小テスト・小レポート)	1, 2
授業外での評価	0	なし	なし
定期試験	0	なし	なし
定期試験に代わるレポート等	60	定期試験は行わずにレポートで評価する。	1, 2
その他	0	なし	なし

テキスト テキストは指定しないが、必要に応じて下記の参考書を読むこと。

参考書 石川城太・椋寛・菊池徹[2013]『国際経済学をつかむ(第2版)』、有斐閣。(ISBN:978-4-641-17719-2)
伊藤恵子・伊藤匡・小森谷徳純[2022]『国際経済学15講』、新世社。(ISBN:978-4-88384-357-2)
* その他の参考書については、必要に応じて授業の中で適宜紹介する。

履修条件・他の科目との関連 「国際経済学」では経済学の考え方に基づいて基礎的な理論の解説を行うため、「経済学概論」を履修しておくことが望ましい。

授業コード	13091101	授業形態	講義	実務家教員	○
授業科目名	ビジネスマネジメント [対面]				
シラバス執筆(全員)	佐々木 一雄				
シラバス執筆(主)	佐々木 一雄				
開講年次	3年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

私たちの日々の生活は企業活動によって支えられている。そして、企業活動を効率よく進めるためには、マネジメントに関する知識とそれを応用する知見を身につけておく必要がある。これは、経営者や経営幹部だけでなく、現代社会に生きるすべての人々にとって必要な教養であると言える。

この授業では、経営管理の基礎理論と実践的知識を幅広く学修し、ビジネスパーソンに必要な教養を身につけることを目的とする。学生の皆さんには、日頃から企業経営に関心を持って新聞や雑誌の記事を読み、ビジネスに対する感度を上げてほしい。なお、適宜、課題を与えるので、積極的に取り組むことを期待する。

担当教員が長年にわたり、企業において「経理および経営管理」業務に従事してきた経験をもとに、実務家教員として、学生の皆さんがビジネスの現場で役立つ実践的な知識を幅広く学修できるように講義を展開する。

到達目標

1. 経営管理に関する基礎的な概念について説明することができる。
2. 組織のマネジメントに関する諸理論について説明することができる。
3. 経営戦略に関する諸理論について理解し、それらを使って企業を分析することができる。
4. 日本の経営の特徴と諸課題について説明することができる。

授業計画

※授業計画については変更する可能性もある。

【第1回】イントロダクション

内容：授業計画、授業の進め方と評価方法について説明し、ビジネスマネジメントの扱うテーマとそれを学ぶ意義について解説する。

【第2回】企業という存在とコーポレート・ガバナンス

内容：企業と会社の種類、株式会社の特徴、株式会社におけるトップ・マネジメントの組織、日本企業とコーポレート・ガバナンスについて解説する。

【第3回】経営管理理論（1）古典的管理論

内容：テイラーの科学的管理法、フォード・システム、人間関係論とホーソン実験等について解説する。

【第4回】経営管理理論（2）組織マネジメント論

内容：バーナードの組織定義、サイモンの意思決定モデル等について解説する。

【第5回】経営管理理論（3）モチベーション論

内容：マズローの欲求段階説、内発的動機付け理論、ブルームの期待理論、ハーズバーグの動機づけ・衛星理論等について解説する。

【第6回】経営管理理論（4）リーダーシップ論

内容：ミシガン研究とオハイオ研究、フィドラー・モデルとSL理論、サーバント・リーダーシップ等について解説する。

【第7回】組織構造のマネジメント

内容：組織構造の基本変数、官僚制組織、組織形態（職能別組織、事業部別組織、マトリックス組織）等について解説する。

【第8回】組織文化のマネジメント

内容：組織文化の定義、組織文化の機能と逆機能、組織文化の形成と変革について解説する。

【第9回】企業戦略のマネジメント

内容：ドメインの設定、企業戦略と多角化、プロダクト・ポートフォリオ・マネジメント（PPM）等について解説する。

【第10回】競争戦略のマネジメント

内容：競争戦略の基本的概念、ポジショニング・アプローチ、経営資源アプローチ、ポーターの競争戦略の類型等について解説する。

【第11回】イノベーションのマネジメント

内容：シュンペーターとドラッカーのイノベーション論、イノベーションの源泉、オープン・イノベーション等について解説する。

【第12回】日本企業における人のマネジメント

内容：日本的経営の三種の神器、人事制度の日米比較、ダイバーシティ・マネジメント等について解説する。

【第13回】企業経営実践事例①

内容：企業経営の実践事例を紹介する。

【第14回】企業経営実践事例②

内容：企業経営の実践事例を紹介する。

【第15回】まとめ

内容：第12回までの重要な論点について解説し、定期試験の実施要領について説明する。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

事前学習課題：シラバスを熟読し、授業構成を理解する。

事後学習課題：講義内容を参照しながら自分のノートを作成し、まとめる。

【第2回】 から 【第12回】

事前学習課題：テキストの該当部分を読んで、疑問点を整理しておく。

事後学習課題：講義内容を参照しながら自分のノートを作成し、まとめる。

【第13回】 から 【第14回】

事前学習課題：これまで学んだことをしっかりと復習しておく。

事後学習課題：講義内容を参照しながら自分のノートを作成し、まとめる。

【第15回】

事前学習課題：これまで学んだことをしっかりと復習し、質問したいことを列挙する。

事後学習課題：講義内容を振り返り、定期試験に備える。

課題に対するフィードバックの方法

課題レポートについては、Google classroomを通じて、限定コメントをつけてフィードバックする。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	小テスト(60)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	10	レポート(10)	1, 2, 3, 4
定期試験	30	筆記試験(30)	1, 2, 3, 4
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	0		

テキスト	上野恭裕、馬場大治編著(2016)『経営管理論』中央経済社 2,400円(税別) ISBN978-4-502-19061-2
------	--

参考書	必要に応じて適宜紹介する。
-----	---------------

履修条件・他の科目との関連	Google classroomにプリントを掲載するが、必ずテキストを購入して、予習・復習を行うこと。
---------------	---

授業コード	13100802	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	総合英語 I [対面]				
シラバス執筆(全員)	J. エチャー				
シラバス執筆(主)	J. エチャー				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course students will explicitly learn and practice skills and strategies to enhance reading comprehension. This will be done by working with a variety of reading passages from the textbook as well as graded readers. Students will focus on using and applying reading strategies and skills. As vocabulary is essential to reading, there will be a strong focus on building vocabulary including regular vocabulary quizzes and assignments.

Extensive reading helps build vocabulary and understand grammar. It also builds reading speed and reading fluency. Students will read graded readers on a weekly basis and take the quizzes with the aim to achieve a specific target of words (30,000 words) read per semester. Course information, class materials and assignments will be on Google Classroom.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Build reading skills including previewing, predicting, skimming, scanning, identifying the main idea, identifying key details, and making inferences about a passage from the textbook
2. Use strategies for organizing information including in charts and summaries
3. Apply reading strategies to other texts including graded readers, websites, news articles, etc.
4. Employ a variety of vocabulary-learning strategies and develop vocabulary skills.
5. Read extensively to develop reading speed and fluency.

授業計画

- 【第1回】
 テーマ： Class Orientation / Unit 1A
 内容・方法： Registration for Google Classroom. Introduction to course goals. Introduction to textbook (Unit 1A, Reading Skill practice). Explanation of vocabulary study, homework & how to prepare for next class.
- 【第2回】
 テーマ： Unit 1B
 内容・方法： Vocabulary review. Unit 1B. Reading Skill practice. Explanation of vocabulary quizzes. Graded Reader and Moodle Quiz explanation. Graded Reader reading time.
- 【第3回】
 テーマ： Unit 1 Review & Video
 内容・方法： Vocabulary review and Vocabulary Quiz 1. Review Unit 1 reading skills. Video activities. Graded Reader reading time.
- 【第4回】
 テーマ： Unit 2A
 内容・方法： Unit 2A. Reading Skill practice. Graded Reader reading time.
- 【第5回】
 テーマ： Unit 2B
 内容・方法： Vocabulary review. Unit 2B. Reading Skill practice.
- 【第6回】
 テーマ： Unit 2 Review & Video
 内容・方法： Vocabulary review and Vocabulary Quiz 2. Review Unit 2 reading skills. Video activities.
- 【第7回】
 テーマ： Unit 3A
 内容・方法： Unit 3A. Reading Skill practice. Graded Reader reading time.
- 【第8回】
 テーマ： Unit 3B
 内容・方法： Vocabulary review. Unit 3B. Reading Skill practice.
- 【第9回】
 テーマ： Midterm in-class evaluation
 内容・方法： Review of Units 1-3, midterm in-class evaluation. Review of Graded Reader reading goals & progress check. Grade review.
- 【第10回】
 テーマ： Unit 4A
 内容・方法： Unit 4A. Reading Skill practice. Graded Reader reading time.
- 【第11回】
 テーマ： Unit 4B
 内容・方法： Vocabulary review. Unit 4B. Reading Skill practice.
- 【第12回】
 テーマ： Unit 4 Review & Video

内容・方法： Vocabulary review and Vocabulary Quiz 3. Review Unit 4 reading skills. Video activities.
 【第13回】
 テーマ： Unit 5A
 内容・方法： Unit 5A. Reading Skill practice. Graded Reader reading time.
 【第14回】
 テーマ： Unit 5B
 内容・方法： Vocabulary Review; Unit 5B. Reading Skill practice.
 【第15回】
 テーマ： Course Review, Final in-class evaluation
 内容・方法： Review of Units 4-5, final in-class evaluation. Review of Graded Reader reading goals. Grade review. Explanation of final evaluation report.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。
 A total of 45 hours of study is required per 1-credit course, including class (calculated as 2 hours per session) and pre- and post-work study. Any text activities not completed during the class time will be assigned.

【第1回】
 事前学修課題： Read the course outline.
 事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第2回】
 事前学修課題： Review the units studied.
 事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第3回】
 事前学修課題： Review the units studied
 事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第4回】
 事前学修課題： Review the units studied.
 事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第5回】
 事前学修課題： Review the units studied.
 事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第6回】
 事前学修課題： Review the units studied.
 事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第7回】
 事前学修課題： Review the units studied.
 事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第8回】
 事前学修課題： Review & Evaluation.
 事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader. Prepare for Evaluation.

【第9回】
 事前学修課題： Review the units studied.
 事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第10回】
 事前学修課題： Review the units studied.
 事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第11回】
 事前学修課題： Review the units studied.
 事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第12回】
 事前学修課題： Review the units studied.
 事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第13回】
 事前学修課題： Review the units studied.
 事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第14回】
 事前学修課題： Review & Evaluation.
 事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader. Prepare for Evaluation.

【第15回】
 事前学修課題： Semester Review.
 事後学修課題： Final report submission.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.
4. Extensive reading word count will be reported on a weekly basis.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。

●必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed as homework and graded reader reading assignments, and midterm and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse will be given a “K” (failing mark).

Grade breakdown:

1. Weekly assignments (30%)
2. Vocabulary quizzes (20%)
3. Graded Reader reading reflection assignments & Moodle Quizzes (10%)
4. In-class reading evaluations (20%)
5. Final evaluation report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	40	Vocabulary quizzes (20%); In-class evaluations (20%)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	40	Weekly assignments (30%); Graded Reader reading reflection assignments & Moodle Quizzes (10%)	1, 2, 3, 4, 5
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final evaluation report (20%)	1, 2, 3, 4
その他	0	none	

テキスト	Reading Explorer Foundations (3rd Edition) Student Book. David Bohlke; Becky Tarver Chase (2020). National Geographic Learning (Cengage Learning). ISBN: 978-0-357-11628-9
------	--

参考書	Provided by the instructor as needed.
-----	---------------------------------------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD – 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13100902	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	総合英語Ⅱ [対面]				
シラバス執筆(全員)	J. エチャー				
シラバス執筆(主)	J. エチャー				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course students will explicitly learn and practice skills and strategies to enhance reading comprehension. This will be done by working with a variety of reading passages from the textbook as well as graded readers. Students will focus on using and applying reading strategies and skills. As vocabulary is essential to reading, there will be a strong focus on building vocabulary including regular vocabulary quizzes and assignments.

Extensive reading helps build vocabulary and understand grammar. It also builds reading speed and reading fluency. Students will read graded readers on a weekly basis and take the quizzes with the aim to achieve a specific target of words (30,000 words) read per semester. Course information, class materials and assignments will be on Google Classroom.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Build reading skills including previewing, predicting, skimming, scanning, identifying the main idea, identifying key details, and making inferences about a passage from the textbook
2. Use strategies for organizing information including in charts and summaries
3. Apply reading strategies to other texts including graded readers, websites, news articles, etc.
4. Employ a variety of vocabulary-learning strategies and develop vocabulary skills.
5. Read extensively to develop reading speed and fluency.

授業計画

【第1回】

テーマ： Class Orientation / Unit 7A

内容・方法： Registration for Google Classroom. Introduction to course goals. Introduction to textbook (Unit 1A, Reading Skill practice). Explanation of vocabulary study, homework & how to prepare for next class.

【第2回】

テーマ： Unit 7B

内容・方法： Vocabulary review. Unit 7B. Reading Skill practice. Explanation of vocabulary quizzes. Graded Reader and Moodle Quiz explanation. Graded Reader reading time.

【第3回】

テーマ： Unit 7 Review & Video

内容・方法： Vocabulary review and Vocabulary Quiz 1. Review Unit 7 reading skills. Video activities. Graded Reader reading time.

【第4回】

テーマ： Unit 8A

内容・方法： Unit 2A. Reading Skill practice. Graded Reader reading time.

【第5回】

テーマ： Unit 8B

内容・方法： Vocabulary review. Unit 8B. Reading Skill practice.

【第6回】

テーマ： Unit 8 Review & Video

内容・方法： Vocabulary review and Vocabulary Quiz 2. Review Unit 8 reading skills. Video activities.

【第7回】

テーマ： Unit 9A

内容・方法： Unit 9A. Reading Skill practice. Graded Reader reading time.

【第8回】

テーマ： Unit 9B

内容・方法： Vocabulary review. Unit 9B. Reading Skill practice.

【第9回】

テーマ： Midterm in-class evaluation

内容・方法： Review of Units 7-9, midterm in-class evaluation. Review of Graded Reader reading goals & progress check. Grade review.

【第10回】

テーマ： Unit 10A

内容・方法： Unit 10A. Reading Skill practice. Graded Reader reading time.

【第11回】

テーマ： Unit 10B

内容・方法： Vocabulary review. Unit 10B. Reading Skill practice.

【第12回】

テーマ： Unit 10 Review & Video

内容・方法：Vocabulary review and Vocabulary Quiz 3. Review Unit 10 reading skills. Video activities.

【第13回】

テーマ：Unit 11A

内容・方法：Unit 11A. Reading Skill practice. Graded Reader reading time.

【第14回】

テーマ：Unit 11B

内容・方法：Vocabulary Review; Unit 11B. Reading Skill practice.

【第15回】

テーマ：Course Review, Final in-class evaluation

内容・方法：Review of Units 10-11, final in-class evaluation. Review of Graded Reader reading goals. Grade review. Explanation of final evaluation report.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。

A total of 45 hours of study is required per 1-credit course, including class (calculated as 2 hours per session) and pre- and post-work study. Any text activities not completed during the class time will be assigned.

【第1回】

事前学修課題：Read the course outline.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises.

【第2回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第3回】

事前学修課題：Review the units studied

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第4回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第5回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第6回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第7回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第8回】

事前学修課題：Review & Evaluation.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader. Prepare for Evaluation.

【第9回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第10回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第11回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第12回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第13回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第14回】

事前学修課題：Review & Evaluation.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader. Prepare for Evaluation.

【第15回】

事前学修課題：Semester Review.

事後学修課題：Final report submission.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.
4. Extensive reading word count will be reported on a weekly basis.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。

●必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed as homework and graded reader reading assignments, and midterm and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse will be given a “K” (failing mark).

Grade breakdown:

1. Weekly assignments (30%)
2. Vocabulary quizzes (20%)
3. Graded Reader reading reflection assignments & Moodle Quizzes (10%)
4. In-class reading evaluations (20%)
5. Final evaluation report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	40	Vocabulary quizzes (20%); In-class evaluations (20%)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	40	Weekly assignments (30%); Graded Reader reading reflection assignments & Moodle Quizzes (10%)	1, 2, 3, 4, 5
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final evaluation report (20%)	1, 2, 3, 4
その他	0	none	

テキスト	Reading Explorer Foundations (3rd Edition) Student Book. David Bohlke; Becky Tarver Chase (2020). National Geographic Learning (Cengage Learning). ISBN: 978-0-357-11628-9
------	--

参考書	Provided by the instructor as needed.
-----	---------------------------------------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD – 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13086302	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	英語プレゼンテーション I [対面]				
シラバス執筆(全員)	S. J. カー				
シラバス執筆(主)	S. J. カー				
開講年次	カリキュラムによる	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course, students will learn basic speaking and listening skills by communicating in real-life situations on a variety of topics. There will be opportunities for discussion and idea development, but the focus of the course will be on listening. Vocabulary and grammar related to the topics and how to express opinions on the topics will also be focused on. With practice, students will become comfortable dealing with difficult content and vocabulary that they have not learned yet.

到達目標

The objectives of this class are to

- (1) develop basic English communication skills for everyday situations and
- (2) enable students to speak about a variety of topics.
- (3) build vocabulary
- (4) build grammar

授業計画

- 【第1回】 Introductions, course explanation, Google Classroom registration
- 【第2回】 Unit 1: Families
- 【第3回】 Unit 1: Jobs (introduction)
- 【第4回】 Unit 1: Countries
- 【第5回】 Unit 2: Seasons & Weather
- 【第6回】 Unit 2: Colors
- 【第7回】 Unit 2: Travel
- 【第8回】 Review Test Units 1-2
- 【第9回】 Unit 3: Verbs & Time Expressions
- 【第10回】 Unit 3: Lifestyle
- 【第11回】 Unit 3: Education
- 【第12回】 Unit 4: Places
- 【第13回】 Unit 4: Giving Directions
- 【第14回】 Unit 4: Geography
- 【第15回】 Review Test Units 3-4, final project explanation

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

- 【第1回】
- ①事前学修課題: buy the textbook. Review the first unit.
 - ②事後学修課題: Homework assignments and study for quiz

- 【第2回】 - 【第7回】
- ①事前学修課題: Review previous class content
 - ②事後学修課題: Homework assignments and study for quiz

- 【第8回】
- ①事前学修課題: Review test Units 1-2
 - ②事後学修課題: Homework assignments and study for quiz

- 【第9回】 - 【第14回】
- ①事前学修課題: Review previous class content
 - ②事後学修課題: Homework assignments and study for quiz

- 【第15回】
- ①事前学修課題: Review test Units 3-4
 - ②事後学修課題: Check grades on Google Classroom, Submit the final evaluation

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given during the semester and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

Active participation in class (10%)
 Vocabulary quizzes (10%),
 Semester evaluations (30%)
 Homework assignments (25%)
 Final evaluation exam (25%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Active participation in class (10%), vocabulary quizzes (10%) and semester evaluations (30%)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	25	Homework assignments (25%)	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	25	Final evaluation exam (25%)	1, 2, 3, 4
その他	0	none	

テキスト	Unlock Level 1 Listening, Speaking & Critical Thinking Student's Book, Mob App and Online Workbook w/ Downloadable Audio and Video. N. M. White , Susan Peterson, Nancy Jordan, Chris Sowton, Cambridge University Press; 2nd edition (December 29, 2018), 9781009031455
------	--

参考書	
-----	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13086402	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	英語プレゼンテーションⅡ [対面]				
シラバス執筆(全員)	S. J. カー				
シラバス執筆(主)	S. J. カー				
開講年次	カリキュラムによる	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course, students will learn basic speaking and listening skills by communicating in real-life situations on a variety of topics. There will be opportunities for discussion and idea development, but the focus of the course will be on listening. Vocabulary and grammar related to the topics and how to express opinions on the topics will also be focused on. With practice, students will become comfortable dealing with difficult content and vocabulary that they have not learned yet.

到達目標

The objectives of this class are to

- (1) develop basic English communication skills for everyday situations and
- (2) enable students to speak about a variety of topics.
- (3) build vocabulary
- (4) build grammar

授業計画

- 【第1回】 Introductions, course explanation, Google Classroom registration, Review of Semester course
- 【第2回】 Unit 5: Jobs (details)
- 【第3回】 Unit 5: Comparing
- 【第4回】 Unit 5: Opinions I
- 【第5回】 Unit 6: Furniture
- 【第6回】 Unit 6: Opinions II
- 【第7回】 Unit 6: Prepositions
- 【第8回】 Review Test Units 5-6
- 【第9回】 Unit 7: Likes/Dislikes
- 【第10回】 Unit 7: Food
- 【第11回】 Unit 7: Numbers
- 【第12回】 Unit 8: Transportation
- 【第13回】 Unit 8: Urban Life
- 【第14回】 Unit 8: Problems & Solutions
- 【第15回】 Review Test Units 7-8, final project explanation

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

- ①事前学修課題: buy the textbook. Review the first unit
- ②事後学修課題: Homework assignments and study for quiz

【第2回】 - 【第7回】

- ①事前学修課題: Review previous class content
- ②事後学修課題: Homework assignments and study for quiz

【第8回】

- ①事前学修課題: Review test Units 5-6
- ②事後学修課題: Homework assignments and study for quiz

【第9回】 - 【第14回】

- ①事前学修課題: Review previous class content
- ②事後学修課題: Homework assignments and study for quiz

【第15回】

- ①事前学修課題: Review test Units 7-8
- ②事後学修課題: Check grades on Google Classroom, Submit the final evaluation

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given during the semester and before the final class.

3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

Active participation in class (10%)
 Vocabulary quizzes (10%),
 Semester evaluations (30%)
 Homework assignments (25%)
 Final evaluation exam (25%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Active participation in class (10%), vocabulary quizzes (10%) and semester evaluations (30%)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	25	Homework assignments (25%)	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	25	Final evaluation exam (25%)	1, 2, 3, 4
その他	0	none	

テキスト	Unlock Level 1 Listening, Speaking & Critical Thinking Student's Book, Mob App and Online Workbook w/ Downloadable Audio and Video. N. M. White , Susan Peterson, Nancy Jordan, Chris Sowton, Cambridge University Press; 2nd edition (December 29, 2018), 9781009031455
------	--

参考書	
-----	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできるが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13099701	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	異文化間英語コミュニケーション [対面]				
シラバス執筆(全員)	P. J. ベイリー				
シラバス執筆(主)	P. J. ベイリー				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

Through the practice of active learning in the classroom in every class throughout the semester, students will develop their skills in both conversation and public speaking to better prepare them for real life speaking situations, both informal and formal. To succeed in these goals, students will be involved in conversation and presentation tasks in pairs and groups, as well as performing evaluated presentations. All activities will be completed in English and will include individual, pair, and group work.

This is an advanced English course for 3rd and 4th year IEP students or those who have a TOEIC score of 550 or higher.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Organise and deliver presentations confidently in English
2. Use eye contact, posture, and gestures effectively
3. Create visually effective slideshows
4. Develop their knowledge of the language used in presentations

授業計画

- 【第1回】
 テーマ: Course Orientation and Summer Vacation
 内容・方法: Assigned materials and writing/speaking tasks to be completed as instructed by the teacher.
- 【第2回】
 テーマ: Unit 6
 内容・方法: Assigned materials and writing/speaking tasks to be completed as instructed by the teacher.
- 【第3回】
 テーマ: Unit 6
 内容・方法: Assigned materials and writing/speaking tasks to be completed as instructed by the teacher.
- 【第4回】
 テーマ: Unit 7
 内容・方法: Assigned materials and writing/speaking tasks to be completed as instructed by the teacher.
- 【第5回】
 テーマ: Unit 7
 内容・方法: Assigned materials and writing/speaking tasks to be completed as instructed by the teacher.
- 【第6回】
 テーマ: Unit 8
 内容・方法: Assigned materials and writing/speaking tasks to be completed as instructed by the teacher.
- 【第7回】
 テーマ: Unit 8
 内容・方法: Assigned materials and writing/speaking tasks to be completed as instructed by the teacher.
- 【第8回】
 テーマ: Unit 9
 内容・方法: Assigned materials and writing/speaking tasks to be completed as instructed by the teacher.
- 【第9回】
 テーマ: Unit 9
 内容・方法: Assigned materials and writing/speaking tasks to be completed as instructed by the teacher.
- 【第10回】
 テーマ: Unit 10
 内容・方法: Assigned materials and writing/speaking tasks to be completed as instructed by the teacher.
- 【第11回】
 テーマ: Unit 10
 内容・方法: Assigned materials and writing/speaking tasks to be completed as instructed by the teacher.

teacher.

【第12回】

テーマ：Units 6 - 10 Review Test

内容・方法：Assigned materials and writing/speaking tasks to be completed as instructed by the teacher.

【第13回】

テーマ：Final Presentation Planning

内容・方法：Assigned materials and writing/speaking tasks to be completed as instructed by the teacher.

【第14回】

テーマ：Final Presentation Planning and Practice

内容・方法：Assigned materials and writing/speaking tasks to be completed as instructed by the teacher.

【第15回】

テーマ：Final Presentation

内容・方法：Final Presentations, feedback and reflection.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a 1-credit (1単位) course which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題：None

事後学修課題：Review

【第2回】

事前学修課題：Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題：Review lesson content and complete online study assignments.

【第3回】

事前学修課題：Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題：Review lesson content and complete online study assignments.

【第4回】

事前学修課題：Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題：Review lesson content and complete online study assignments.

【第5回】

事前学修課題：Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題：Review lesson content and complete online study assignments.

【第6回】

事前学修課題：Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題：Review lesson content and complete online study assignments.

【第7回】

事前学修課題：Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題：Review lesson content and complete online study assignments.

【第8回】

事前学修課題：Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題：事後学修課題：Review lesson content and complete online study assignments.

【第9回】

事前学修課題：Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題：Review lesson content and complete online study assignments.

【第10回】

事前学修課題：Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題：Review lesson content and complete online study assignments.

【第11回】

事前学修課題：Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題：Review Units 6 - 10

【第12回】

事前学修課題：Review Units 6 - 10

事後学修課題：Complete self-reflection

【第13回】

事前学修課題：Review

事後学修課題：Complete final presentation outline and slideshow

【第14回】

事前学修課題：Practice presentation

事後学修課題：Practice presentation

【第15回】

事前学修課題：Practice presentation

事後学修課題：Complete end-of-semester self-reflection

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly during classes and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class speaking and writing activities, online assignments completed as homework, vocabulary quizzes, mini-presentations and a final presentation. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse cannot pass (see attendance policy below).

In-class activities and active participation (20%)

Mini-presentations (10%)

Vocabulary quizzes (10%)

Units 1-5 Review Test (20%)

Online homework assignments (20%)

Final Presentation (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	In-class activities and active participation (20%), Mini-presentations (10%), vocabulary quizzes (10%), Units 1-5 Review Test (20%).	1, 2, 3, 4
授業外での評価	20	Online homework assignments (20%)	3, 4
定期試験	0	None.	
定期試験に代わるレポート等	20	Final Presentation (20%)	1, 2, 3, 4
その他	0	None.	

テキスト	Talking Point 2. Justin Harris / Paul Leeming. Abax ELT Publishing. 978-1-78547-064-6
------	---

参考書	Provided by instructor as necessary.
-----	--------------------------------------

履修条件・他の科目との関連	<p>This is an advanced English course for 3rd and 4th year IEP students or those who have a TOEIC score of 550 or higher.</p> <p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできるが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13085902	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	ライティング応用 I [対面]				
シラバス執筆(全員)	S. D. ラーダー				
シラバス執筆(主)	S. D. ラーダー				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course will help you improve the writing skills needed to express your ideas clearly and accurately. The writings are short and the skills gained will be useful for future writing tests. The skills include brainstorming, organizing, planning, formatting, and writing on given topics. You will learn about and practise language at sentence and paragraph level. You are expected to finish all writing and homework assignments. Handing in all your work is essential for passing this course.

到達目標

- By successfully completing this course, students will be able to:
1. Write paragraphs (original, well-formed paragraphs of 10–20 sentences including topic sentences, supporting details, and concluding sentences)
 2. Edit paragraphs (peer editing as well as editing their own work based on teacher comments)
 3. Use correct grammar in writing a variety of paragraph types
 4. Build vocabulary (vocabulary words and language terms to talk about grammar and writing)

授業計画

- 【第 1 回】
 テーマ: Unit 1
 内容・方法: Introduction and Formatting
- 【第 2 回】
 テーマ: Unit 1
 内容・方法: Topic Sentences and Structure
- 【第 3 回】
 テーマ: Unit 1
 内容・方法: Vocabulary Quiz 1; Writing Rules and Brainstorming
- 【第 4 回】
 テーマ: Unit 2
 内容・方法: Supporting Sentences
- 【第 5 回】
 テーマ: Unit 2
 内容・方法: Punctuation
- 【第 6 回】
 テーマ: Unit 3
 内容・方法: Concluding Sentences and Outlining
- 【第 7 回】
 テーマ: Unit 3
 内容・方法: Vocabulary Quiz 2; Paragraph 1
- 【第 8 回】
 テーマ: In-class Midterm Evaluation
 内容・方法: Writing & Editing review, Unit 1–3 Evaluation
- 【第 9 回】
 テーマ: Unit 4
 内容・方法: Adding Details, Adjectives
- 【第 10 回】
 テーマ: Unit 4
 内容・方法: Vocabulary Quiz 3; Paragraph 2
- 【第 11 回】
 テーマ: Unit 5
 内容・方法: Comparison Signals
- 【第 12 回】
 テーマ: Unit 5
 内容・方法: Paragraph 3
- 【第 13 回】
 テーマ: Unit 6
 内容・方法: Vocabulary Quiz 4; Contrast Signals
- 【第 14 回】
 テーマ: Unit 6
 内容・方法: Textbook review, Paragraph 4
- 【第 15 回】
 テーマ: In-class final evaluation
 内容・方法: End of term evaluation for Units 1–6 & writing. Explanation of final report assignment.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。毎回の授業前に約30分の予習課題を行い、授業後に約30分の復習課題を行います。

A total of 45 hours of study is required per 1-credit course, including class (calculated as 2 hours per session) and pre- and post-work study. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題: None

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第2回】

事前学修課題: Pre-read textbook p. 6

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第3回】

事前学修課題: Pre-read textbook pp. 9-10

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第4回】

事前学修課題: Pre-read textbook p. 12

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第5回】

事前学修課題: Pre-read textbook pp. 15-16

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第6回】

事前学修課題: Pre-read textbook p. 18

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第7回】

事前学修課題: Pre-read textbook pp. 21-22

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments. Prepare for midterm evaluation.

【第8回】

前学修課題: Review Units 1-3 for test.

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第9回】

事前学修課題: Pre-read textbook p. 24

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第10回】

事前学修課題: Pre-read textbook pp. 27-28

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第11回】

事前学修課題: Pre-read textbook p. 32

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第12回】

事前学修課題: Pre-read textbook pp. 36-37

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第13回】

事前学修課題: Pre-read textbook p. 40

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第14回】

事前学修課題: Pre-read textbook pp. 43-44

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第15回】

事前学修課題: Review Units 4-6 for final evaluation. Prepare for end of term evaluation.

事後学修課題: Complete and submit the final evaluation assignment

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed as homework, and midterm and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course if they comply with the attendance policy (see below).

Grade Breakdown:

1) Active participation (10%)

This means actively taking part in all in-class and Google Classroom writing activities. You are expected to enter on time, continue to participate for the whole class, and respond to the teacher and other students orally or through feedback options of the software.

2) Homework and preparation for classes (25%)

- 3) In-class evaluations and other in-class assignments (40), vocabulary quizzes (15)
 4) Final Evaluation Assignment (10%)

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Please contact your individual instructor for information about coursework and grading policy.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	55	In-class evaluations and other in-class assignments (40), vocabulary quizzes (15)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	25	Homework assignments (25)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10	Final Evaluation (10)	1, 2, 3
その他	10	Active participation during in-class activities (10)	1, 2, 3, 4

テキスト	Real Writing, Mariko Kawasaki, Ayed Hasian, Samuel Haugh, Yoko Nakano, Seishirou Ibaraki; Nan'un-do 2019 978-4-523-17886-6
------	---

参考書	None
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	---

授業コード	13086002	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	ライティング応用Ⅱ [対面]				
シラバス執筆(全員)	S. D. ラーダー				
シラバス執筆(主)	S. D. ラーダー				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course will help you improve the writing skills needed to express your ideas clearly and accurately. The writings are short and the skills gained will be useful for future writing tests. The skills include brainstorming, organizing, planning, formatting, and writing on given topics. You will learn about and practise language at sentence, paragraph, and short essay level. You are expected to finish all writing and homework assignments. Handing in all your work is essential for passing this course.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Write paragraphs (original, well-formed paragraphs of ~20 sentences including topic sentences, supporting details, and concluding sentences, and original essays of 3 - 4 paragraphs)
2. Edit paragraphs and essays (peer editing as well as editing their own work based on teacher comments)
3. Use correct grammar in writing a variety of paragraph and essay types
4. Build vocabulary (vocabulary words and language terms to talk about grammar and writing)

授業計画

【第 1 回】
 テーマ： Unit 7
 内容・方法： Review Units 1-6, Cause and Effect Signals

【第 2 回】
 テーマ： Unit 7
 内容・方法： Paragraph 1

【第 3 回】
 テーマ： Unit 8
 内容・方法： Vocabulary Quiz 1; Evidence Signals

【第 4 回】
 テーマ： Unit 8
 内容・方法： Paragraph 2

【第 5 回】
 テーマ： Unit 9
 内容・方法： Auxiliary Verbs, Structure

【第 6 回】
 テーマ： Unit 9
 内容・方法： Paragraph 3

【第 7 回】
 テーマ： In-class Midterm Evaluation
 内容・方法： Vocabulary Quiz 2; Units 7-9 Evaluation

【第 8 回】
 テーマ： Unit 10
 内容・方法： Time Order Signals

【第 9 回】
 テーマ： Unit 10
 内容・方法： Paragraph 4

【第 10 回】
 テーマ： Unit 11
 内容・方法： Vocabulary Quiz 3; Process Signals

【第 11 回】
 テーマ： Unit 11
 内容・方法： Paragraph 5

【第 12 回】
 テーマ： Unit 13
 内容・方法： Essay Structure

【第 13 回】
 テーマ： Unit 13
 内容・方法： Vocabulary Quiz 4; Citations

【第 14 回】
 テーマ： Units 13 & 14
 内容・方法： Essay 1

【第 15 回】
 テーマ： Review and Final Evaluation

内容・方法 : End of term evaluation. Review Units 10-14. Explanation of Final Report Exam & Begin writing

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。毎回の授業前に約30分の予習課題を行い、授業後に約30分の復習課題を行います。
A total of 45 hours of study is required per 1-credit course, including class (calculated as 2 hours per session) and pre- and post-work study. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題 : None

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第2回】

事前学修課題 : Pre-read textbook pp. 52-53

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第3回】

事前学修課題 : Pre-read textbook p. 56

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第4回】

事前学修課題 : Pre-read textbook pp. 59-60

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第5回】

事前学修課題 : Pre-read textbook p. 64

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第6回】

事前学修課題 : Pre-read textbook pp. 68-69

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第7回】

事前学修課題 : Review Units 7-9 for Test. Prepare for midterm evaluation.

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第8回】

事前学修課題 : Pre-read textbook p. 72

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第9回】

事前学修課題 : Pre-read textbook pp. 75-77

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第10回】

事前学修課題 : Pre-read textbook p. 80

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第11回】

事前学修課題 : Pre-read textbook pp. 84-85

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第12回】

事前学修課題 : Pre-read textbook p. 96

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第13回】

事前学修課題 : Pre-read textbook pp. 100-101

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第14回】

事前学修課題 : Pre-read textbook pp. 104, 107, 109

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments.

【第15回】

事前学修課題 : Review Units 10-14 for final evaluation. Prepare for end of term evaluation.

事後学修課題 : Submit Final Evaluation

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed as homework, and midterm, end of term, and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course if they comply with the attendance policy (see below).

Grade Breakdown:

1) Positive participation (10%)

This means actively taking part in all in-class and Google Classroom writing activities. You are

expected to enter on time, continue to participate for the whole class, and respond to the teacher and other students orally or through feedback options of the software.

2) Homework and preparation for classes (25%)

3) Midterm and End of Term evaluations and other in-class assignments (40%), vocabulary quizzes (15%)

4) Final Evaluation Assignment (10%)

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Please contact your individual instructor for information about coursework and grading policy.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	55	Midterm and End of Term Evaluations and other in-class assignments (40), vocabulary quizzes (15)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	25	Homework assignments (25)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10	Final Evaluation (10)	1, 2, 3
その他	10	Active participation during in-class activities (10)	1, 2, 3, 4

テキスト	Real Writing, Mariko Kawasaki, Ayed Hasian, Samuel Haugh, Yoko Nakano, Seishirou Ibaraki; Nan'un-do 2019 978-4-523-17886-6
------	---

参考書	None
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13101202	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	プラクティカル・リスニング I [対面]				
シラバス執筆(全員)	G. S. ジョン=バプティースト				
シラバス執筆(主)	G. S. ジョン=バプティースト				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course you will develop your listening skills. To improve this language skill, you must learn to listen for specific facts, details, and reasons, as well as learn to understand how speakers show interest and understanding. There will be many listening assignments in class and for homework. As strong vocabulary is also necessary for good listening, this course includes vocabulary building. Particular attention is paid to strategy development for listening during testing situations and in academic settings, as well as differentiating specific sounds of English. Course information and homework assignments will be on Google Classroom.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to...

1. Learn a variety of listening strategies for general comprehension of conversations about everyday themes
2. Apply listening strategies to other contexts
3. Practice bottom-up skills through pronunciation, intonation, and dictation exercises
4. Improve grammar and vocabulary for listening

授業計画

- 【第1回】
 テーマ： Unit 1 & Course Introduction. Google Class registration and explanation.
 内容・方法： “The Weekend” : Listening and conversation practice
- 【第2回】
 テーマ： Unit 2
 内容・方法： “City Transportation” : Listening and conversation practice
- 【第3回】
 テーマ： Unit 3
 内容・方法： “Neighbors” : Listening and conversation practice
- 【第4回】
 テーマ： Unit 4
 内容・方法： “Celebrations” : Listening and conversation practice
- 【第5回】
 テーマ： Evaluation 1: Units 1-4
 内容・方法： Chapter review test.
- 【第6回】
 テーマ： Unit 5
 内容・方法： “Restaurants” : Listening and conversation practice
- 【第7回】
 テーマ： Unit 6
 内容・方法： “Gifts” : Listening and conversation practice
- 【第8回】
 テーマ： Unit 7
 内容・方法： “Air Travel” : Listening and conversation practice
- 【第9回】
 テーマ： Unit 8
 内容・方法： “Mishaps” : Listening and conversation practice
- 【第10回】
 テーマ： Evaluation 2: Units 5-8
 内容・方法： Chapter review test.
- 【第11回】
 テーマ： Unit 9
 内容・方法： “Jobs” : Listening and conversation practice
- 【第12回】
 テーマ： Unit 10
 内容・方法： “Keeping Fit” : Listening and conversation practice
- 【第13回】
 テーマ： Unit 11
 内容・方法： “Invitations” : Listening and conversation practice
- 【第14回】
 テーマ： Unit 12
 内容・方法： “Campus Life” : Listening and conversation practice
- 【第15回】
 テーマ： Evaluation 3: Units 9-12

内容・方法： Chapter review test.
Final Evaluation explanation.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

- 【第1回】
事前学修課題： Review the syllabus. Purchase the textbook.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第2回】
事前学修課題： Read Unit 2 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第3回】
事前学修課題： Read Unit 3 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第4回】
事前学修課題： Read Unit 4 and check word meanings.
事後学修課題： Review chapters 1-4
- 【第5回】
事前学修課題： Prepare for Evaluation 1
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第6回】
事前学修課題： Read Unit 5 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第7回】
事前学修課題： Read Unit 6 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第8回】
事前学修課題： Read Unit 7 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第9回】
事前学修課題： Read Unit 8 and check word meanings.
事後学修課題： Review chapters 5-8
- 【第10回】
事前学修課題： Prepare for Evaluation 2
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第11回】
事前学修課題： Read Unit 9 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第12回】
事前学修課題： Read Unit 10 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments
- 【第13回】
事前学修課題： Read Unit 11 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第14回】
事前学修課題： Read Unit 12 and check word meanings.
事後学修課題： Review chapters 9-12
- 【第15回】
事前学修課題： Prepare for Evaluation 3
事後学修課題： Prepare for Final Evaluation

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

Active participation in class (10%)
Vocabulary and Dictation quizzes (10%),
Semester evaluations (30%)
Homework assignments (20%)
Self-study units (10%)
Final evaluation exam (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Active participation in class (10%), vocabulary and	1, 3

		dictation quizzes (10%) and semester evaluations (30%)	
授業外での評価	30	Homework assignments (20%) and self-study units (10%)	2, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final evaluation exam (20%)	1, 3, 4
その他	0	none	

テキスト	Tactics for Listening Developing Student Book, Third Edition: Jack C Richards with Grant Trew; 2011, (Oxford University Press) ISBN: 978-0-19-401385-7		
------	--	--	--

参考書	none		
-----	------	--	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>		
---------------	--	--	--

授業コード	13101302	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	プラクティカル・リスニングⅡ [対面]				
シラバス執筆(全員)	G. S. ジョン=バプティースト				
シラバス執筆(主)	G. S. ジョン=バプティースト				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course you will develop your listening skills. To improve this language skill, you must learn to listen for specific facts, details, and reasons, as well as learn to understand how speakers show interest and understanding. There will be many listening assignments in class and for homework. As strong vocabulary is also necessary for good listening, this course includes vocabulary building. Particular attention is paid to strategy development for listening during testing situations and in academic settings, as well as differentiating specific sounds of English. In class, we will focus on:

- Predicting what you will hear from pictures / context
- Listening for general understanding
- Listening for details
- Making inferences about speaker mood & intention
- Applying listening strategies to TOEIC Test question types
- Identify linking, contraction, intonation patterns introduced in the textbook
- Analyze vowel sounds using English Central, song lyrics, and videos

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to...

1. Learn top-down listening strategies for general comprehension of conversations about everyday themes.
2. Build bottom-up listening skills through pronunciation, intonation, and dictation practice
3. Improve note-taking skills for lectures and videos
4. Learn vocabulary items and phrases from each unit

授業計画

- 【第1回】
テーマ： Unit 13
内容・方法： Course orientation and explanation of grading policy and assignments. Unit 13 activities.
- 【第2回】
テーマ： Unit 14
内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation.
- 【第3回】
テーマ： Unit 15
内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation. Vocab/Dictation Quiz 1.
- 【第4回】
テーマ： Unit 16
内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation. English Central study.
- 【第5回】
テーマ： Evaluation Units 13-16
内容・方法： Evaluation based on Units 13 - 16, listening through music activity.
- 【第6回】
テーマ： Unit 17
内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation.
- 【第7回】
テーマ： Unit 18
内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation.
- 【第8回】
テーマ： Unit 19
内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation. Vocab/Dictation Quiz 2.
- 【第9回】
テーマ： Unit 20
内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation. English Central study.
- 【第10回】
テーマ： Evaluation Units 17-20
内容・方法： Evaluation based on Units 17-20. Listening through music activity.
- 【第11回】
テーマ： Unit 21
内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation.
- 【第12回】
テーマ： Unit 22
内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation. English Central study.
- 【第13回】

テーマ : Unit 23

内容・方法 : Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation. Vocab/Dictation Quiz 3

【第14回】

テーマ : Unit 24

内容・方法 : Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation. Final Listening through music presentations.

【第15回】

テーマ : Evaluation Units 21-24

内容・方法 : Evaluation based on Units 21-24, Final Listening through music presentations.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

事前学修課題 : None

事後学修課題 : English Central and Vocabulary Preview HW assignments

【第2回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第3回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview. Study for Vocab/Dictation Quiz 1

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第4回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第5回】

事前学修課題 : Study for Evaluation (Units 13-16)

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第6回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第7回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第8回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview. Study for Vocab/Dictation Quiz 2

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第9回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第10回】

事前学修課題 : Study for Evaluation (units 17-20)

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第11回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第12回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第13回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview. Study for Vocab/Dictation Quiz 3

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第14回】

事前学修課題 : Prepare for listening through music presentation

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第15回】

事前学修課題 : Study for Evaluation (units 21-24)

事後学修課題 : English Central and Final Report

課題に対するフィードバックの方法

Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed outside of class, and unit evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course if they comply with the attendance policy (see below).

Grade Breakdown:

Active participation (10%)

Vocab / Dictation Quizzes (15%)
 Midterm Evaluations (30%)
 Homework assignments (15%)
 English Central course completion (10%)
 Final Evaluation Report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	55	Active Participation (10), Vocab / Dictation quizzes (15), Midterm unit evaluations (30)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	25	Homework assignments (15), English Central course completion (10)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final Evaluation (20)	1, 2, 3, 4
その他	0		

テキスト	Tactics for Listening Expanding Student Book Third Edition: Jack C Richards with Grant Trew; 2011 (Oxford University Press) ISBN: 978-0-19-401386-4
------	---

参考書	None.
-----	-------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13101701	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	データサイエンス入門 [対面]				
シラバス執筆(全員)	岡本 容典				
シラバス執筆(主)	岡本 容典				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

データサイエンスとは、数学、統計学、情報科学、プログラミングなど、さまざまな学問領域の手法を組み合わせ、データを分析し、実世界の問題を解決するための知識と技術を提供する新しい学問分野である。近年、膨大なデータがあらゆる分野で生成され、その中から有益な情報を引き出すために、データサイエンスは重要な役割を果たしている。

本講義では、データサイエンスを学ぶ上で欠かせない数学的な基礎から始め、これを実際のデータ分析にどのように応用するかを学んでいく。特に、Pythonというプログラミング言語を使用して、実際にデータを取り扱いながら、さまざまな統計的手法を用いて数量データを解析する方法について詳細に解説する。そして、データの分析に必要なライブラリを使いこなし、実際にデータを解析して、洞察を得るためのスキルを習得することを目指す。

到達目標

1. データ分析に必要な数学を理解できる。
2. プログラミング言語Pythonの基本的な使い方を理解できる。
3. 確率統計の手法を用いてデータを分析できる。

授業計画

- 【第1回】 ガイダンス
- 【第2回】 データの種類と可視化
- 【第3回】 データの要約（平均・中央値・最頻値）
- 【第4回】 データのばらつき（分散・標準偏差）
- 【第5回】 データの分布と正規分布
- 【第6回】 相関関係と因果関係
- 【第7回】 仮説検定の基本
- 【第8回】 中間テスト
- 【第9回】 機械学習の基礎
- 【第10回】 分類問題（ロジスティック回帰・決定木）
- 【第11回】 クラスタリング（教師なし学習）
- 【第12回】 時系列データ分析
- 【第13回】 データ前処理と特微量エンジニアリング
- 【第14回】 実データによる分析演習
- 【第15回】 まとめ

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

毎回の授業で課題を課すので、次回の授業時に提出すること。

課題に対するフィードバックの方法

授業内の課題については机間巡視により理解度を把握し、間違いや優れた点の指摘、助言等を行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す通り、授業期間中に実施される課題と、全授業終了後に実施される定期試験の評価結果に基づき総合的に判定の上、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	授業期間中に実施される課題	1、2、3
授業外での評価	0		
定期試験	40	全授業終了後に実施される定期試験	1、2、3
定期試験に代わるレポート等	0		

その他	0		
テキスト	必要に応じてPDFプリントを配布する。		
参考書	必要に応じて授業の中で紹介する。		
履修条件・他の科目との関連	数学やプログラミングに関する前提知識は不要ですが、強い関心を持つ人を歓迎します。演習を併用しますので、ノートPCは毎回持参してください。		

授業コード	13102601	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	A I 産業論 [対面]				
シラバス執筆(全員)	下條 善史				
シラバス執筆(主)	下條 善史				
開講年次	3年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

2022年になって、ようやくAI（人工知能）が実用的なサービスとしてインターネット上に登場し、外国語翻訳、問い合わせに対する自動応答から、会話を楽しむためのエージェント、イラスト生成、説明文書の生成などさまざまな方向性をもって利用できるまでに発展、普及しつつある。現在がAIサービスの黎明期であるとするれば、今後は価値の高い情報を作り出すための実用性のあるアプリケーション・サービスとして、実用化され、ビジネスとして成立させていく動きが加速度的に進んでいくと予想される。本授業においては、まず発展しつつあるAIエージェントの実力や実用性を図りながら、その利用法と制限事項について考え、今後の新産業としてどのように成立させていくか、またその前提条件や環境整備などについても想像を膨らませていく。最終的には、過去に新しい産業が起こしたさまざまな害悪を教訓として、人類と人間に幸福をもたらすための産業として成立させていく道筋を明確にしていくことを目標とする。

到達目標

1. AI（人工知能）の発展過程を学び、AIの将来像、そして完成形を想起していく。
2. 新技術が社会に浸透するときにクリアすべき課題、そしてそれがもたらすメリットとデメリットについて理解する。
3. AI技術や産業を未来に向けて育てていくために必要な考え方、環境、留意点などをまとめ上げる。

授業計画

- 第1回：知能とはなにか
- 第2回：人間と道具の関係性
- 第3回：人工知能の目標と人間との関係
- 第4回：人工知能の発展経緯
- 第5回：AIと社会問題
- 第6回：シンギュラリティ
- 第7回：AIアプリケーションの紹介
- 第8回：機械翻訳
- 第9回：音声アシスタント
- 第10回：自動運転車
- 第11回：人間との対話
- 第12回：クリエイティブなAI
- 第13回：ロボットとAI
- 第14回：知識の透明性
- 第15回：理想のAI

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

AIに関する話題は、ほとんどが現在まさに進行中かあるいはまだその姿があきらかになっていないものに関する話題である。したがって、講義の中に含まれる「事実」と「予想（予測）」を正しく峻別することが重要である。本講義では、それぞれの話題に関して最新の事例を数多く紹介して論を進めて行くが、そのための前提となる知識が十分でないと、時に誤解を誘引してしまうことにもなりかねない。毎回のトピックに関して事前に各々の知識をインターネットの記事などから獲得しておくことを推奨する。また授業後には、そこで語られた技術や社会の未来像に関して、自身の中でよく咀嚼して改めて理解を深めるための復習の時間を取ることを推奨する。

課題に対するフィードバックの方法

本講義では、それぞれのトピックに対してそれぞれの自分なりの考えを広く集めていく。授業内でそれを互いに発表しあう機会を設けるが、その考えに成否はなく、いかに考えを深めて行けたかを互いに評価し合うことで、各々へのフィードバックとする。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

本授業における評価は次の3つのポイントで行う。

1. 毎回のトピックに対して十分に理解し、基本的な知識を得られたか。
 2. 得られた知識と、現在の知識を総合して未来をどこまで深く思索できたか。
 3. 未来の技術と、社会や自分自身の将来との関係性について想像を広げることができたか。
- これらを表現してもらうための短い作文を毎回の課題として課すこととする。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	毎回のトピックに関する設問に対して、作文をもって解答してもらおう。	1, 2, 3
授業外での評価	10	毎回の授業のトピックに関する予習状況を問う質問を行う。	1, 2, 3
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	30	最終レポートにて、AI産業に関する自身の考えを聞く。	1, 2, 3
その他	0		
テキスト	特にテキストは指定せず、毎回の授業において必要な資料を提示、または指示する。		
参考書	必要に応じて提示、または指示する。		
履修条件・他の科目との関連	授業の成果は主に文章として出力されることとなるので、一定の文章構成力を必要とする。		

授業コード	13092502	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	アカデミック英語 I [対面]				
シラバス執筆(全員)	S. D. ラーダー				
シラバス執筆(主)	S. D. ラーダー				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

In this course you will develop your general English ability and learn about business through studying movie scenes. Students will learn simple expressions that are frequently used not only in business situations but also in daily conversation. After mastering simple expressions through listening and writing exercises, students are introduced to expressions used in movie scenes as an application of the expressions learned in each chapter.

到達目標

The objectives of this course are to:

1. Learn simple expressions used in business situations and daily conversation.
2. Expand and develop vocabulary.
3. Develop listening and writing skills.
4. Expose students to American culture.
5. Introduce various industries and fields of business through film.

授業計画

【第1回】

テーマ: Chapter 1 - Catch Me If You Can

内容・方法: Course Introduction and Google Classroom orientation. Explanation of grades, and group project explained. Pronunciation of business expressions; study vocabulary; role play movie scenes; listening and writing activities. Movie summary speech. Group work.

【第2回】

テーマ: Chapter 2 - Maid in Manhattan

内容・方法: Pronunciation of business expressions; study vocabulary & class quiz; role play movie scenes; listening and writing activities. Movie summary speech. Group work.

【第3回】

テーマ: Chapter 3 - The Wedding Planner

内容・方法: Pronunciation of business expressions; study vocabulary & class quiz; role play movie scenes; listening and writing activities. Movie summary speech. Group work.

【第4回】

テーマ: Chapter 4 - School of Rock

内容・方法: Pronunciation of business expressions; study vocabulary & class quiz; role play movie scenes; listening and writing activities. Movie summary speech. Group work.

【第5回】

テーマ: Review week

内容・方法: Vocabulary quiz, useful expression review and quiz. Short presentations. Group project and planning.

【第6回】

テーマ: Chapter 5 - Jerry Maguire

内容・方法: Pronunciation of business expressions; study vocabulary & class quiz; role play movie scenes; listening and writing activities. Movie summary speech. Group work.

【第7回】

テーマ: Chapter 6 - What Women Want

内容・方法: Pronunciation of business expressions; study vocabulary & class quiz; role play movie scenes; listening and writing activities. Movie summary speech. Group work.

【第8回】

テーマ: Chapter 7 - Miracle on 34th Street

内容・方法: Pronunciation of business expressions; study vocabulary & class quiz; role play movie scenes; listening and writing activities. Movie summary speech. Group work.

【第9回】

テーマ: Chapter 8 - Trading Places

内容・方法: Pronunciation of business expressions; study vocabulary & class quiz; role play movie scenes; listening and writing activities. Movie summary speech. Group work.

【第10回】;

テーマ: Review week

内容・方法: Vocabulary quiz, useful expression review and quiz. Short presentations. Group project and planning.

【第11回】

テーマ: Chapter 9 - The Fugitive

内容・方法: Pronunciation of business expressions; study vocabulary & class quiz; role play movie scenes; listening and writing activities. Movie summary speech. Group work.

【第12回】

テーマ： Chapter 10 - The Firm

内容・方法： Pronunciation of business expressions; study vocabulary & class quiz; role play movie scenes; listening and writing activities. Movie summary speech. Group work.

【第13回】

テーマ： Chapter 11 - Ghost

内容・方法： Pronunciation of business expressions; study vocabulary & class quiz; role play movie scenes; listening and writing activities. Movie summary speech.

Group work.

【第14回】

テーマ： Chapter 13 - Baby Boom

内容・方法： Pronunciation of business expressions; study vocabulary & class quiz; role play movie scenes; listening and writing activities. Movie summary speech. Group work.

【第15回】

テーマ： Review week

内容・方法： Vocabulary quiz, useful expression review and quiz. Short presentations. Group project and planning.

Final Evaluation explanation.

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

事前学修課題： Review the syllabus. Purchase the textbook.

事後学修課題： Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases introduced.

【第2回】

事前学修課題： Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Read about the movie "Maid in Manhattan" on the internet.

事後学修課題： Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on group project.

【第3回】

事前学修課題： Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Read about the movie "The Wedding Planner" on the internet.

事後学修課題： Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on group project.

【第4回】

事前学修課題： Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Read about the movie "School of Rock" on the internet.

事後学修課題： Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on group project. Prepare for the review week and speech presentations.

【第5回】

事前学修課題： Prepare for Evaluation 1

事後学修課題： Review results of Evaluation 1

【第6回】

事前学修課題： Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Read about the movie "Jerry Maguire" on the internet.

事後学修課題： Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on group project.

【第7回】

事前学修課題： Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Read about the movie "What Women Want" on the internet.

事後学修課題： Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on group project.

【第8回】

事前学修課題： Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Read about the movie "Miracle of 34th Street" on the internet.

事後学修課題： Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on group project.

【第9回】

事前学修課題： Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Read about the movie "Trading Places" on the internet.

事後学修課題： Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on group project. Prepare for the review week and speech presentations.

【第10回】

事前学修課題： Prepare for Evaluation 2

事後学修課題： Review results of Evaluation 2

【第11回】

事前学修課題： Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Read about the movie "The Fugitive" on the internet.

事後学修課題： Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on group project.

【第12回】

事前学修課題： Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Read about the movie "The Firm" on the internet.

事後学修課題： Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on group project.

【第13回】

事前学修課題 : Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Read about the movie "Ghost" on the internet.

事後学修課題 : Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on group project.

【第14回】

事前学修課題 : Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Read about the movie "Baby Boom" on the internet.

事後学修課題 : Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on group project. Prepare for the review week and speech presentations.

【第15回】

事前学修課題 : Prepare for Evaluation 3

事後学修課題 : Submission of Final Evaluation

課題に対するフィードバックの方法

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.
4. The teacher will tell you your current grade at least three times during the semester. In addition, your grades may also be posted regularly on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

The grade breakdown for this course is as follows:

1. Active participation in class (15%)
2. Vocabulary quizzes (10%)
3. Homework assignments (20%)
4. Semester evaluations (30%)
5. Group project (10%)
6. Final presentation evaluation (15%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	55	Active participation in class (15%), Vocabulary quizzes (10%), semester evaluations (30%)	1, 3, 4
授業外での評価	30	Homework assignments (20%), group project (10%)	2, 4, 5
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	15	Final presentation evaluation (15%)	1, 2, 3, 4, 5
その他	0	none	

テキスト	American Business Scenes; Reiko Akiyoshi, Mariko Boku et. al. 2014, (Kinseido Press) ISBN: 978-4-7647-3846-1
------	--

参考書	none
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできるが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業</p>
---------------	---

履修条件・他の科目との関連

に適用しません。

授業コード	13092602	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	アカデミック英語Ⅱ [対面]				
シラバス執筆(全員)	S. D. ラーダー				
シラバス執筆(主)	S. D. ラーダー				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

In this course you will develop your general English ability by studying movie scenes. Through a variety of film-related activities such as dictation, role-playing, subtitling, reviewing, etc., we aim to cultivate the four skills, including not only the ability to comprehend but also the ability to produce language and think critically.

到達目標

The objectives of this course are to:

1. Learn simple expressions used in business situations.
2. Expand and develop vocabulary.
3. Develop listening and writing skills.
4. Help students express their opinions creatively.
5. Expose students to different types of industries and businesses through film.

授業計画

第1回】

テーマ: Unit 1 - Forming the Band, Queen (start)

内容・方法: Course Introduction and Google Classroom orientation. Explanation of grades, and writing portfolio explained. Plot synopsis; vocabulary check; reading and comprehension review; study expressions.

【第2回】

テーマ: Unit 1 - Forming the Band, Queen (finish)

内容・方法: Movie viewing 1・2・3. Critical thinking and discussion. Active learning and group work.

【第3回】

テーマ: Unit 2 - Bohemian Rhapsody

内容・方法: Movie review; vocabulary check; reading and comprehension review; study expressions; movie viewing 1・2・3. Critical thinking and discussion. Active learning and group work.

【第4回】

テーマ: Unit 3 - Drifting Apart

内容・方法: Movie review; vocabulary check; reading and comprehension review; study expressions; movie viewing 1・2・3. Critical thinking and discussion. Active learning and group work.

【第5回】

テーマ: Unit 4 - The Truth Comes Out

内容・方法: Background information; vocabulary check; reading and comprehension review; study expressions; movie viewing 1・2・3・4. Critical thinking and discussion. Active learning and group work.

【第6回】

テーマ: Unit 5 - Performing in Live Aid

内容・方法: Background information; vocabulary check; reading and comprehension review; study expressions; movie viewing 1・2・3・4. Critical thinking and discussion. Active learning and group work.

【第7回】

テーマ: Review Week - Bohemian Rhapsody

内容・方法: Film review; writing and portfolio preparation.

【第8回】

テーマ: Evaluation 1: Units 1-5

内容・方法: Chapter review test.

【第9回】

テーマ: Unit 6 - Applying for a Senior Internship

内容・方法: Plot synopsis; vocabulary check; reading and comprehension review; study expressions; movie viewing 1・2・3. Critical thinking and discussion. Active learning and group work.

【第10回】

テーマ: Unit 7 - The Working Environment at ATF

内容・方法: Movie review; vocabulary check; reading and comprehension review; study expressions; movie viewing 1・2・3. Critical thinking and discussion. Active learning and group work.

【第11回】

テーマ: Unit 8 - The Problems ATF Faces

内容・方法: Movie review; vocabulary check; reading and comprehension review; study expressions; movie viewing 1・2・3. Critical thinking and discussion. Active learning and group work.

【第12回】

テーマ: Unit 9 - Working Women & Work-Life Balance

内容・方法: Background information; vocabulary check; reading and comprehension review; study

expressions; movie viewing 1・2・3・4. Critical thinking and discussion. Active learning and group work.

【第13回】

テーマ：Unit 10 - The Possibility of Hiring a New CEO

内容・方法：Background information; vocabulary check; reading and comprehension review; study expressions; movie viewing 1・2・3. Critical thinking and discussion. Active learning and group work.

【第14回】

テーマ：Review Week - The Intern

内容・方法：Film review; writing and portfolio preparation.

【第15回】

テーマ：Evaluation 2: Units 6-10

内容・方法：Chapter review test. Final Evaluation explanation.

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。

【第1回】

事前学修課題：Review the syllabus. Purchase the textbook.

事後学修課題：Complete Homework assignments.

【第2回】

事前学修課題：Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Preview the movie scenes to be watched in class.

事後学修課題：Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on portfolio.

【第3回】

事前学修課題：Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Preview the movie scenes to be watched in class.

事後学修課題：Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on portfolio.

【第4回】

事前学修課題：Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Preview the movie scenes to be watched in class.

事後学修課題：Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on portfolio.

【第5回】

事前学修課題：Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Preview the movie scenes to be watched in class.

事後学修課題：Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on portfolio.

【第6回】

事前学修課題：Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Preview the movie scenes to be watched in class.

事後学修課題：Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on portfolio.

【第7回】

事前学修課題：Review chapters 1-5

事後学修課題：Work on portfolio.

【第8回】

事前学修課題：Prepare for Evaluation 1

事後学修課題：Review results of Evaluation 1

【第9回】

事前学修課題：Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Preview the movie scenes to be watched in class.

事後学修課題：Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on portfolio.

【第10回】

事前学修課題：Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Preview the movie scenes to be watched in class.

事後学修課題：Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on portfolio.

【第11回】

事前学修課題：Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Preview the movie scenes to be watched in class.

事後学修課題：Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on portfolio.

【第12回】

事前学修課題：Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Preview the movie scenes to be watched in class.

事後学修課題：Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on portfolio.

【第13回】

事前学修課題：Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Preview the movie scenes to be watched in class.

事後学修課題：Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the

phrases. Work on portfolio.

【第14回】

事前学修課題: Review chapters 6-10

事後学修課題: Work on portfolio.

【第15回】

事前学修課題: Prepare for Evaluation 2

事後学修課題: Submission of Final Evaluation

課題に対するフィードバックの方法

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.
4. The teacher will tell you your current grade at least three times during the semester. In addition, your grades may also be posted regularly on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

The grade breakdown for this course is as follows:

1. Active participation in class (10%).
2. Vocabulary and Dictation quizzes (10%).
3. Evaluations (30%).
4. Homework assignments (20%).
5. Self-study units (10%).
6. Final writing portfolio (20%).

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Active participation in class (10%), vocabulary and dictation quizzes (10%), evaluations (30%).	1, 3, 4, 5
授業外での評価	30	homework assignments (20%), self-study units (10%).	2, 3
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final writing portfolio evaluation (20%)	4
その他	0	none	

テキスト	Active English through Movies, Kayoko Shiomi, Matthew Coomber, Kanako Miyabayashi, 2021, Kinseido ISBN: 978-4-7647-4125-6
------	---

参考書	none
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <ol style="list-style-type: none">1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。
---------------	--

授業コード	13092702	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	アカデミック英語Ⅲ [対面]				
シラバス執筆(全員)	M. H. バナム				
シラバス執筆(主)	M. H. バナム				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

Business is an important part of daily life for everyone. In this seminar style course, students will study in English about how to design a business and create their own company using the Business Model Canvas (BMC). The BMC is one of the most well-known business models used to help entrepreneurs transform a business idea into an organized strategy and an actionable business plan. By the end of this course, students will gain a basic understanding of the different aspects of the BMC and an understanding of the nine business segments from the value proposition and customer segments to operations and the financials that the BMC lays out as essential to establishing a business. In this seminar course, students will employ note-taking skills, read and summarize articles, establishing working groups to discuss the segments of the BMC, give short presentations. There are weekly writing homework assignments and a BMC coffee shop group project. Additional business vocabulary will be acquired through weekly mini-lectures. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

到達目標

Course Goals:

1. Learn information about business design using a business model canvas (BMC).
2. Experience mini-lectures, practice note-taking, participate in discussions and give presentations.
3. Complete a two-part task-based project involving a business model canvas.
4. Complete weekly writing assignments discussing BMC components and applying them.
5. Learn to present summaries of articles read

授業計画

[第1回]

テーマ: Course introduction and overview. Google Classroom registration.

内容・方法: Group Discussion - Coffee shops (favorites, likes, dislikes, products, services, target customers). Mini-lecture/note taking 1: What is a business model, what is the BMC. HWK Writing assignment: Find a definition of a business model (paraphrase & quote source) & a definition of the BMC (paraphrase & quote source).

[第2回]

テーマ: Coffee shop ideas - BMC Project groups - defining the group's coffee shop business. MLA format

内容・方法: Learning how to cite a source: (website MLA format). Mini-lecture/note taking 2: Coffee shops businesses. Pair work: students present ideas for a coffee shop - my ideal coffee shop. BMC Project: Discussions on types (standard and niche) of coffee shops and forming groups. HWK Writing assignment: Make a comparison table of two coffee shop businesses and your coffee shop and show the similarities and differences.

[第3回]

テーマ: BMC: Value Proposition 1, Citing YouTube sources MLA format

内容・方法: Mini-lecture/note taking 3: Value Proposition. Business vocabulary worksheet. BMC project: Discussion of your company's value proposition. HWK Writing assignment: Write a paragraph explaining and defining the BMC Value Proposition (cite 2 website sources and 1 YouTube source) and write short description of your company's value proposition.

[第4回]

テーマ: BMC: Value Proposition 2, Citing YouTube sources MLA format

内容・方法: Mini-lecture/note taking 4: Value Proposition. Business vocabulary Quiz. BMC project: Refining and clarifying your company's value proposition. Groups present their company's Value Proposition. Group Presentation Project: Value Proposition Power Point slides (one to explain BMC-VP, another to apply VP to their coffee shop).

[第5回]

テーマ: BMC: Customer Segments 1, Using quotes vs. paraphrasing

内容・方法: Mini-lecture/note taking 4: Customer Segments 1. Business vocabulary worksheet. BMC project: Discussion of your company's customer segment. HWK Writing assignment: Write a paragraph explaining and defining the BMC Customer Segment (cite 2 website sources and 1 YouTube source) and write short description of your company's customer segment.

[第6回]

テーマ: BMC: Customer Segments 2, Using quotes vs. paraphrasing.

内容・方法: Mini-lecture/note taking 5: Customer relationships 2. Business vocabulary Quiz. BMC project: Refining and clarifying your company's customer segment. Groups present their company's Customer Segment. Group Presentation Project: Customer Segments Power Point slides (one to explain BMC-CS, another to apply to CS their coffee shop).

[第7回]

テーマ: BMC: Customer relationships part 1, Note taking and paraphrasing

内容・方法: Mini-lecture/note taking 6: Customer Relationships 1. Business vocabulary worksheet.

BMC project: Discussion of your company's Customer Relationships. HWK Writing assignment: Find and watch a YouTube video that explains and defines the BMC Customer Relationship (cite YouTube source), take notes and write a paragraph paraphrasing the CR concept.

[第8回]

テーマ: BMC: Customer relationships part 2, Citations from articles Grade Review.

内容・方法: Mini-lecture/note taking 7: Customer Relationships 2. Business vocabulary worksheet - students contribute vocabulary from their HWK videos. BMC project: Refining and clarifying your company's Customer Relationships. HWK Writing assignment: write a paragraph about the BMC CR, mention types of CR (cite article sources) and discuss which are best for your company.

[第9回]

テーマ: BMC: Customer relationships part 3, Citations in slides

内容・方法: Mini-lecture/note taking 8: Customer Relationships 3. Business vocabulary Quiz. BMC project: Refining and clarifying your company's Customer Relationships. Groups present their company's Customer Relationships. Group Presentation Project: Customer Relationships Power Point slides (one to explain BMC-CR, another to apply to CR their coffee shop).

[第10回]

テーマ: BMC: Channels part 1, Citations from articles

内容・方法: Mini-lecture/note taking 9: Channels 1. Business vocabulary worksheet. BMC project: Discussion of your company's Channels. HWK Writing assignment: Write a paragraph explaining and defining the BMC Channels (cite 2 articles) and write short description of your company's channels.

[第11回]

テーマ: BMC: Channels part 2. Quotes and citations in slides

内容・方法: Mini-lecture/note taking 10: Customer channels 2. Business vocabulary Quiz. BMC project: Refining and clarifying your company's Channels. Groups present their company's Channels. Group Presentation Project: Channels Power Point slides (one to explain BMC-CH, another to apply to CH their coffee shop, use quotes & cite them),

[第12回]

テーマ: BMC: Revenue streams part 1. Citations review, articles, websites, YouTube (MLA)

内容・方法: Mini-lecture/note taking 11: Channels 1. Business vocabulary worksheet. BMC project: Discussion of your company's Revenue streams. HWK Writing assignment: Write a paragraph explaining and defining the BMC RS (cite 2 sources) and write short description of your company's revenue stream.

[第13回]

テーマ: BMC: Revenue streams part 2.

内容・方法: Mini-lecture/note taking 12: Customer channels 2. Business vocabulary Quiz. BMC project: Refining and clarifying your company's Revenue Sources. Groups present their company's Revenue Sources. Group Presentation Project: Revenue Sources Power Point slides (one to explain BMC-RS, another to apply to RS their coffee shop, use quotes & cite them),

[第14回]

テーマ: BMC: Review of Building blocks - VP; CS; CH; CR & RS. Power Point slide content & visual presentation. Evaluation criteria. Grade Review.

内容・方法: , Groups prepare their final Power Point presentation. HWK: submit the final Power Point presentation.

[第15回]

テーマ: Final BMC presentations by group.

内容・方法: Explanation of final examination. Essay describing their coffee shop business in terms of the BMC model.

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a 2-credit (2単位) course which requires a total of 90 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 2 hours for preparation assignments before each class AND an additional 2 hours for review assignments after each class.

[第1回]

①事前学修課題: Preview syllabus, Register for Google Classroom

②事後学修課題: Compile and tidy up lecture notes, Review information on Google Classroom. HWK Writing assignment

[第2回]

①事前学修課題: Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.

②事後学修課題: Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.

[第3回]

①事前学修課題: Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.

②事後学修課題: Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.

[第4回]

①事前学修課題: Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.

②事後学修課題: Compile and tidy up lecture notes, Group Presentation Project.

[第5回]

①事前学修課題: Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.

②事後学修課題: Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.

[第6回]

①事前学修課題: Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.

- ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Group Presentation Project.
 [第7回]
 ①事前学修課題 : Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.
 [第8回]
 ①事前学修課題 : . Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.
 [第9回]
 ①事前学修課題 : Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Group Presentation Project.
 [第10回]
 ①事前学修課題 : Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.
 [第11回]
 ①事前学修課題 : Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Group Presentation Project.
 [第12回]
 ①事前学修課題 : Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Complete homework, listen to material again
 [第13回]
 ①事前学修課題 : Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Review all class notes. HWK Writing assignment.
 [第14回]
 ①事前学修課題 : Review your previous class notes of the course. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Prepare for presentation. Submit power point presentation
 [第15回]
 ①事前学修課題 : Prepare for the final presentation
 ②事後学修課題 : Submit final essay examination.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.
4. The teacher will tell you your current grade at least three times during the semester. In addition, your grades may also be posted regularly on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

The grade breakdown for this course is as follows:

1. Project part 1, bi-weekly presentations - 20%
2. Project part 2, final power point presentation - 20%
3. Homework Writing Assignments - 20%
4. Class Activities and discussions - 20%
5. Final Examination - 20%

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	Project part 1 (20%), Project part 2 (20%) Class activities and discussions (20%).	1, 2, 3, 4, 5
授業外での評価	20	Writing Assignments (20%)	5
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final Examination Essay (20%)	4
その他	0	none	

テキスト	Handouts and class materials
------	------------------------------

参考書	none
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will</p>
---------------	--

履修条件・他の科目との関連

make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course.

授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。

4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence.

遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。

5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent.

90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできるが、欠席扱いとなります。

6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities.

BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。

授業コード	13092802	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	アカデミック英語Ⅳ [対面]				
シラバス執筆(全員)	M.H. バナム				
シラバス執筆(主)	M.H. バナム				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

Business is an important part of daily life for everyone. In this seminar style course, students will study in English about how to design a business and create their own company using the Business Model Canvas (BMC). The BMC is one of the most well-known business models used to help entrepreneurs transform a business idea into an organized strategy and an actionable business plan. By the end of this course, students will gain a basic understanding of the different aspects of the BMC and an understanding of the nine business segments from the value proposition and customer segments to operations and the financials that the BMC lays out as essential to establishing a business. In this seminar course, students will employ note-taking skills, read and summarize articles, establishing working groups to discuss the segments of the BMC, give short presentations. There are weekly writing homework assignments and a BMC coffee shop group project. Additional business vocabulary will be acquired through weekly mini-lectures. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

到達目標

Course Goals:

1. Learn information about business design using a business model canvas (BMC).
2. Experience mini-lectures, practice note-taking, participate in discussions and give presentations.
3. Complete a two-part task-based project involving a business model canvas.
4. Complete weekly writing assignments discussing BMC components and applying them.
5. Learn to present summaries of articles read

授業計画

[第1回]

テーマ: Course introduction and overview. Google Classroom registration. Review of Business Model Canvas and its elements.

内容・方法: Groups Review of BMC project form spring semester. Student pair work: review and explain VP, CS, CH, CR and RS.

[第2回]

テーマ: Coffee shop ideas – The business side of a coffee shop.

内容・方法: Review how to cite a source: (articles, websites, YouTube MLA format). Group discussion: What do staff do at a coffee shop, what does a coffee shop need to do a business, who are a coffee shop's partners or supplier? HWK Writing assignment: Write an short essay about the key activities and partners of a coffee shop business (cite 2 sources).

[第3回]

テーマ: Coffee shop ideas – The business side of a coffee shop.

内容・方法: Review how to cite a source: (articles, websites, YouTube MLA format). Mini-lecture/note taking 1: Coffee shop key activities and key resources. Group discussion: What are the key resources of a coffee shop and what are the costs? HWK Writing assignment: HWK Writing assignment: Write a paragraph about the key activities, key resources and costs of your coffee shop. Who would be your partners?

[第4回]

テーマ: BMC: Key Activities 1, Citing YouTube sources MLA format

内容・方法: Mini-lecture/note taking 2: Key Activities 1. Business vocabulary worksheet. BMC project: Discussion of your company's Key Activities. HWK Writing assignment: Write a paragraph explaining and defining the BMC Key Activities 1 (cite 2 website sources and 1 YouTube source) and write short description of your company's Key Activities 1.

[第5回]

テーマ: BMC: Key Activities 2, Citing YouTube sources MLA format

内容・方法: Mini-lecture/note taking 3: Key Activities 2. Business vocabulary Quiz. BMC project: Refining and clarifying your company's Key Activities. Groups present their company's Key Activities. Group Presentation Project: Key Activities Power Point slides (one to explain BMC-KA another to apply KA to their coffee shop).

[第6回]

テーマ: BMC: Key Partners part 1, Using quotes vs. paraphrasing

内容・方法: Mini-lecture/note taking 4: Key Partners part 1. Business vocabulary worksheet. BMC project: Discussion of your company's Key Partners. HWK Writing assignment: Find and watch a YouTube video that explains and defines the BMC Key Partners (cite YouTube source), take notes and write a paragraph paraphrasing the KP concept.

[第7回]

テーマ: BMC: Key Partners part 2, Using quotes vs. paraphrasing.

内容・方法 : Mini-lecture/note taking 5: Key Partners part 2. Business vocabulary worksheet- students add vocabulary from YouTube. BMC project: Refining and clarifying your company's Key Partners. Groups present their company's Key Partners. HWK Writing assignment: Write a paragraph explaining and defining the BMC Key Partners (cite 2 website sources and 1 YouTube source) and write short description of your company's Key Partners.

[第8回]

テーマ : BMC: Key Partners part 3, Using quotes vs. paraphrasing.

内容・方法 : Mini-lecture/note taking 6: Key Partners part 3. Business vocabulary Quiz. BMC project: Refining and clarifying your company's Key Partners. Groups present their company's Key Partners. Group Presentation Project: Key Partners Power Point slides (one to explain BMC-KP, another to apply to KP their coffee shop).

[第9回]

テーマ : BMC: Key Resources part 1, Citations from articles. Grade Review.

内容・方法 : Mini-lecture/note taking 7: Key Resources part 1. Business vocabulary worksheet - students contribute vocabulary from their HWK videos. BMC project: Discussion of your company's Key Resources. HWK Writing assignment: write a paragraph about the BMC KR, mention types of KR (cite article sources) and discuss the KR of your company.

[第10回]

テーマ : BMC: Key Resources part 2, Citations in slides

内容・方法 : Mini-lecture/note taking 8: Key Resources part 2. Business vocabulary Quiz. BMC project: Refining and clarifying your company's Key Resources. Groups present their company's Customer Relationships. Group Presentation Project: Customer Relationships Power Point slides (one to explain BMC-KR, another to apply to KR their coffee shop).

[第11回]

テーマ : BMC: Costs part 1, Citations from articles

内容・方法 : Mini-lecture/note taking 9: Costs 1. Business vocabulary worksheet. BMC project: Discussion of your company's Costs. HWK Writing assignment: Write a paragraph explaining and defining the BMC Costs (cite 2 articles) and write short description of your company's Costs.

[第12回]

テーマ : BMC: Costs part 2. Quotes and citations in slides

内容・方法 : Mini-lecture/note taking 10: Costs 2. Business vocabulary Quiz. BMC project: Refining and clarifying your company's Channels. Groups present their company's Channels. Group Presentation Project: Costs Power Point slides (one to explain BMC-C, another to apply to C their coffee shop, use quotes & cite them),

[第13回]

テーマ : BMC: Review of Building blocks - KA; KP; KR & C. Review, citing and referencing articles, websites, YouTube (MLA)

内容・方法 : BMC project: Discussion of your company's KA; KP; KR & C. BMC project: revise power point slides and prepare for presentation.

[第14回]

テーマ : BMC Project final preparation.

内容・方法 : Prepare for groups presentation, edit power point slides, consider visual presentation, decide presenting roles.

[第15回]

テーマ : Final Presentations.

内容・方法 : Final Essay Examination explained.

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a 2-credit (2単位) course which requires a total of 90 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 2 hours for preparation assignments before each class AND an additional 2 hours for review assignments after each class.

[第1回]

①事前学修課題 : Preview syllabus, Register for Google Classroom

②事後学修課題 : Review information on Google Classroom.

[第2回]

①事前学修課題 : Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.

②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.

[第3回]

①事前学修課題 : Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.

②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.

[第4回]

①事前学修課題 : Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.

②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.

[第5回]

①事前学修課題 : Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.

②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Group Presentation Project.

[第6回]

①事前学修課題 : Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.

②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.

[第7回]

①事前学修課題 : Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.

②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.

[第8回]

- ①事前学修課題 : Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Group Presentation Project.
 [第9回]
 ①事前学修課題 : Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.
 [第10回]
 ①事前学修課題 : Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Group Presentation Project.
 [第11回]
 ①事前学修課題 : Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Group Presentation Project.
 [第12回]
 ①事前学修課題 : Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.
 [第13回]
 ①事前学修課題 : Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Prepare for presentation.
 [第14回]
 ①事前学修課題 : Review your previous class notes of the course. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Prepare for presentation. Submit power point presentation
 [第15回]
 ①事前学修課題 : Prepare for the final presentation
 ②事後学修課題 : Submit final essay examination.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.
4. The teacher will tell you your current grade at least three times during the semester. In addition, your grades may also be posted regularly on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

The grade breakdown for this course is as follows:

1. Project part 1, bi-weekly presentations - 20%
2. Project part 2, final power point presentation - 20%
3. Homework Writing Assignments - 20%
4. Class Activities and discussions - 20%
5. Final Examination - 20%

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	Project part 1 (20%), Project part 2 (20%) Class activities and discussions (20%).	1, 2, 3, 4, 5
授業外での評価	20	Writing Assignments (20%)	5
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final Examination Essay (20%)	4
その他	0	none	

テキスト	Handouts and class materials
------	------------------------------

参考書	none
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence.</p>
---------------	---

履修条件・他の科目との関連

遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。

5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent.

90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。

6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities.

BYOD – 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。

授業コード	13087501	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	中日翻訳研究 I [対面]				
シラバス執筆(全員)	孫 盈盈				
シラバス執筆(主)	孫 盈盈				
開講年次	3年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

この授業は中国語、あるいは日本語を外国語として学習している学生を対象とする。

授業の目的は、中国語を日本語に翻訳・日本語を中国語に翻訳する練習を通じて、目標言語（母語以外で習っている言語）の読解力と作文力を身につけるとともに、翻訳におけるスキルと翻訳理論を習得することである。

授業では映画『ライオン少年』を鑑賞し、それに関するテキストを利用し、中国語のセリフを日本語翻訳することによって、専門的な語彙を含むより高度な語彙とその使い方を習得していく。それと同時に、中国語と日本語の文法構造をより正確に理解し、目標言語を使いこなせる訓練も行う。

到達目標

1. 辞書を参考にしながら、中級レベルの中国語の日常会話を理解できること。
2. 中国語検定2級程度の運用能力に到達すること。

授業計画

【第1回】 テーマ：この授業についてのオリエンテーション 内容・方法：学生への注意事項とポテンシャルテストなどを行う。
【第2回】 テーマ：第1課と第2課 内容・方法：朗読、文法ポイントの説明、翻訳練習、映画鑑賞
【第3回】 テーマ：第3課と第4課 内容・方法：朗読、文法ポイントの説明、翻訳練習、映画鑑賞
【第4回】 テーマ：第5課と第6課 内容・方法：朗読、文法ポイントの説明、翻訳練習、映画鑑賞
【第5回】 テーマ：第7課と第8課 内容・方法：朗読、文法ポイントの説明、翻訳練習、映画鑑賞
【第6回】 テーマ：第9課と第10課 内容・方法：朗読、文法ポイントの説明、翻訳練習、映画鑑賞
【第7回】 テーマ：第11課と第12課 内容・方法：朗読、文法ポイントの説明、翻訳練習、映画鑑賞
【第8回】 テーマ：第13課と第14課 内容・方法：朗読、文法ポイントの説明、翻訳練習、映画鑑賞
【第9回】 テーマ：第15課と第16課 内容・方法：朗読、文法ポイントの説明、翻訳練習、映画鑑賞
【第10回】 テーマ：第17課と第18課 内容・方法：朗読、文法ポイントの説明、翻訳練習、映画鑑賞
【第11回】 テーマ：第19課と第20課 内容・方法：朗読、文法ポイントの説明、翻訳練習、映画鑑賞
【第12回】 テーマ：第21課と第22課 内容・方法：朗読、文法ポイントの説明、翻訳練習、映画鑑賞
【第13回】 テーマ：第23課と第24課 内容・方法：朗読、文法ポイントの説明、翻訳練習、映画鑑賞
【第14回】 テーマ：今までの翻訳について振り返り、翻訳における文法構造の理解や、加訳や減訳、文化に係る目標言語への訳し方などについての総括。 内容・方法：今まで議論や討議のあった翻訳文を振り返ってもう一度の確認、映画鑑賞
【第15回】 テーマ：総合復習 内容・方法：これまでの内容について総合復習を行う。

*授業の進展状況によって、多少調整する可能性がある。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

事前、事後学習として、下記の内容について毎回、それぞれ2時間以上の学習が必要。

事前学習：テキストを予習する。辞書などを調べて音読できるようにしておく。

事後学習：翻訳課題を完成する。自分が翻訳したものとほかの学生の翻訳文との違い、それから授業中で説明のあった模範翻訳文との違いを再度確認し、理解を深める。

課題に対するフィードバックの方法

提出された翻訳課題にきちんとフィードバックする。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

授業への取り組み方、課題の完成度及び課題提出状況などによって総合的に評価する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	与えられた翻訳の完成度及び授業の取り組み方などを参考に評価する。	1, 2
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	40	期末提出課題の出来栄によって評価する。	1, 2
その他	0		

テキスト	プリント配布
------	--------

参考書	『日中・中日翻訳トレーニングブック』/高田裕子・毛燕著/定価 1900円+税/大修館書店
-----	--

履修条件・他の科目との関連	<ul style="list-style-type: none">・高度な中国語能力及び日本語能力が要求されるので、日本人学生の場合は最低でも中国語検定3級以上、または留学経験があること。留学生の場合は最低でも日本語能力試験N2以上の能力があること。初回の授業で語学のポテンシャルテストを実施する。・1回でも欠席すると、授業について行けなくなるから、必ず全回出席すること。・やむを得ない事情で遅刻したり欠席する場合には、必ず担当教員に連絡すること。・正当な理由なく、3分の1以上欠席した場合は、評価の対象とせず、「K」評価とする。・同様に、特段の理由のない遅刻・早退は1/2回分の欠席と数えられるため注意すること。
---------------	--

授業コード	13087601	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	中日翻訳研究Ⅱ [対面]				
シラバス執筆(全員)	孫 盈盈				
シラバス執筆(主)	孫 盈盈				
開講年次	4年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

この授業は中国語、あるいは日本語を外国語として学習している学生を対象とする。

授業の目的は、中国語を日本語に翻訳・日本語を中国語に翻訳する練習を通じて、目標言語（母語以外で習っている言語）の読解力と作文力を身につけるとともに、翻訳におけるスキルと翻訳理論を習得することである。

授業では中国の神話、歴史遺産、伝統、食文化等をテーマとした文章体による15課の課文を利用し、その文章を翻訳することによって専門的な語彙を含むより高度な語彙とその使い方を習得していく。それと同時に、中国語と日本語の文法構造をより正確に理解し目標言語を使いこなせる訓練も行う。

到達目標

1. 辞書を使用しながら、中国語の神話、歴史遺産、伝統、食文化等を読解できること。
2. 少しレベルの高い中国語を正確に日本語に翻訳できること。
3. 中国語検定2級以上の運用能力を身につけること。

授業計画

- 【第1回】
テーマ：この授業についてのオリエンテーション
内容・方法：学生への注意事項と語学のポテンシャルテストなどを行う。
- 【第2回】
テーマ：第 1 課 女媧— 古代传说中造人、补天的创世女神
内容・方法：表現のポイントを説明し、日本語の訳文について確認し、その正確さなどについて議論する。
- 【第3回】
テーマ：第10 課 清明节— 祭祖扫墓、踏青、放风筝的传统节日
内容・方法：表現のポイントを説明し、日本語の訳文について確認し、その正確さなどについて議論する。
- 【第4回】
テーマ：第 12 課 普洱茶— 来源于一个意外的错误
内容・方法：表現のポイントを説明し、日本語の訳文について確認し、その正確さなどについて議論する。
- 【第5回】
テーマ：第 4 課 孟姜女哭长城— 感天动地的民间爱情传奇
内容・方法：表現のポイントを説明し、日本語の訳文について確認し、その正確さなどについて議論する。
- 【第6回】
テーマ：第 5 課 北京故宫— 含有神秘数字的古代皇宮
内容・方法：表現のポイントを説明し、日本語の訳文について確認し、その正確さなどについて議論する。
- 【第7回】
テーマ：第 6 課 秦始皇兵马俑— 威武壮观的庞大地下军团
内容・方法：表現のポイントを説明し、日本語の訳文について確認し、その正確さなどについて議論する。
- 【第8回】
テーマ：第 7 課 敦煌莫高窟— 享誉全球的“墙壁上的图书馆”
内容・方法：表現のポイントを説明し、日本語の訳文について確認し、その正確さなどについて議論する。
- 【第9回】
テーマ：第 11 課 端午节— 吃粽子、赛龙舟、纪念屈原的传统节日
内容・方法：表現のポイントを説明し、日本語の訳文について確認し、その正確さなどについて議論する。
- 【第10回】
テーマ：第 9 課 “年”— 华夏民族几千年来口头传说
内容・方法：表現のポイントを説明し、日本語の訳文について確認し、その正確さなどについて議論する。
- 【第11回】
テーマ：第 2 課 嫦娥奔月— 优美动人的民间爱情神话故事
内容・方法：表現のポイントを説明し、日本語の訳文について確認し、その正確さなどについて議論する。
- 【第12回】
テーマ：第 8 課 布达拉宮— 世界屋脊上的璀璨明珠
内容・方法：表現のポイントを説明し、日本語の訳文について確認し、その正確さなどについて議論する。
- 【第13回】
テーマ：第 3 課 牛郎织女— 一年一度鹊桥相会的民间爱情传说
内容・方法：表現のポイントを説明し、日本語の訳文について確認し、その正確さなどについて議論する。
- 【第14回】
テーマ：15 課 涮羊肉— 其乐融融、最具人情味的佳肴
内容・方法：表現のポイントを説明し、日本語の訳文について確認し、その正確さなどについて議論する。
- 【第15回】
テーマ：期末発表
内容・方法：取り上げた内容から一つの文章を選び、朗読の発表を行う。

*授業の進展状況によって、多少調整する可能性がある。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

事前、事後学習として、下記の内容について毎回、それぞれ2時間以上の学習が必要。

事前学習：指定した課文を翻訳し、音読できるようにしておく。

事後学習：自分が翻訳したものとほかの学生の翻訳文との違い、それから授業中で説明のあった模範翻訳文との違いを再度確認し、理解を深める。

課題に対するフィードバックの方法

学習相談を授業前後で対応する。提出物の添削を速やかにフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

授業への取り組み方、課題の完成度と課題の提出状況などによって総合的に評価する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	70	授業への取り組み方及び課題の提出状況と完成度および期末発表などを参考に評価する。	1, 2, 3
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	30	与えられた課題の提出状況と完成度を参考に評価する。	1, 2, 3
その他	0		

テキスト	『中国文化15話』/上野恵司 監修・顧莉 著/定価 2,750円(本体2,500円+税) /ISBN 9784863981423
------	---

参考書	『日中・中日翻訳トレーニングブック』/高田裕子・毛燕著/定価 1900円+税/大修館書店/ISBN 9784469232561
-----	---

履修条件・他の科目との関連	<ul style="list-style-type: none">・高度な中国語能力及び日本語能力が要求されるので、日本人学生の場合は中国語検定2級あるいはHSK5級程度のレベル。留学生の場合は日本語能力試験N1程度の能力があること。初回の授業でポテンシャルテストを実施する。・1回でも欠席すると、授業について行けなくなるから、必ず全回出席すること。・やむを得ない事情で遅刻したり欠席する場合には、必ず担当教員に連絡すること。・正当な理由なく、3分の1以上欠席した場合は、評価の対象とせず、「K」評価とする。・同様に、特段の理由のない遅刻・早退は1/2回分の欠席と数えられるため注意すること。
---------------	---

授業コード	13101001	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	中級韓国語 [対面]				
シラバス執筆(全員)	韓 尚秀				
シラバス執筆(主)	韓 尚秀				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

本講義は、韓国語初級で学んだ基礎を土台に、学習者が独力でも韓国語学習を深められるように韓国語の基礎能力の定着に力を入れる。各授業では各時間のテーマについて概説し、練習問題を解きながら理解を深める。

到達目標

電話やお願い程度の①日常生活に必要な言語（ハングル）や、郵便局、銀行などの②公共機関での会話ができる程度の韓国語学習を目指す。

授業計画

- 【第1回】
テーマ：ガイダンス
内容・方法：基礎第1課 韓国語の特徴及び創製原理。
- 【第2回】
テーマ：第1課 遅れて申し訳ありません。
内容・方法：文字と発音。
- 【第3回】
テーマ：第2課 この背の高い人がご主人ですか。
内容・方法：激音・濃音。
- 【第4回】
テーマ：第3課 付き合っている人もいませんでした。
内容・方法：文字と発音。
- 【第5回】
テーマ：第4課 通いながら勉強したんだけど。
内容・方法：終音。
- 【第6回】
テーマ：第5課 予約する予定です。
内容・方法：有声音化・激音化・濃音化。
- 【第7回】
テーマ：第6課 大会に出ることもあるんですよ。
内容・方法：1課から6課までの復習。
- 【第8回】
テーマ：第7課 韓国が勝ちそうですよ①。
内容・方法：簡単な自己紹介。
- 【第9回】
テーマ：第7課 韓国が勝ちそうですよ②。
内容・方法：～ですか。
- 【第10回】
テーマ：第8課 買おうとしたんだけど①。
内容・方法：否定文。
- 【第11回】
テーマ：第8課 買おうとしたんだけど②。
内容・方法：あります/ありません。
- 【第12回】
テーマ：第9課 雨が降り始めますね①。
内容・方法：します/しますか。
- 【第13回】
テーマ：第9課 雨が降り始めますね②。
内容・方法：います/あります。
- 【第14回】
テーマ：第10課 食事しに行きましようか。
内容・方法：動詞、形容詞。
- 【第15回】
テーマ：前期のまとめと韓国語座談。
内容・方法：自分の紹介ができるように練習する。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

毎回の授業では、事前・事後学習として1時間から1時間半の学習が必要です。

【第1回】
事前学習課題：授業の概要と基礎第1課を読んでおくこと。0.5時間

事後学習課題：復習でわからなかったところをよくおさらいしておくこと。0.5時間
 【第2回】
 事前学習課題：教科書基礎第2課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第3回】
 事前学習課題：教科書基礎第3課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第4回】
 事前学習課題：教科書基礎第4課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第5回】
 事前学習課題：教科書基礎第5課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第6回】
 事前学習課題：教科書基礎第6課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第7回】
 事前学習課題：教科書基礎第1課から6課までを読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第8回】
 事前学習課題：教科書本文第1課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：わからなかったところをよくおさらいしておくこと。0.5時間
 【第9回】
 事前学習課題：教科書本文第2課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第10回】
 事前学習課題：教科書本文第3課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第11回】
 事前学習課題：教科書本文第4課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第12回】
 事前学習課題：教科書本文第5課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第13回】
 事前学習課題：教科書本文第6課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第14回】
 事前学習課題：教科書本文第7課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第15回】
 事前学習課題：教科書本文第1課から第7課のインタビューテストの勉強をしておくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書本文第1課から第7課を読んでおくこと。0.5時間

課題に対するフィードバックの方法

授業中に実施した小テストを返却し、間違った箇所を確認して覚えなおす。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

授業への参加態度と小テスト、インタビューテスト及び期末レポートの結果から総合的に評価する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	平常点	1, 2
授業外での評価	20	レポート課題	1
定期試験	0	なし	なし
定期試験に代わるレポート等	30	期末レポート点	1, 2
その他	0	なし	なし

テキスト 基礎から学ぶ「韓国語講座」中級[改訂版]/木内明 著/国書刊行会/978-4-336-05941-3

参考書 適宜、教員が紹介する。

履修条件・他の科目との関連 外国語の習得は毎回の授業の積み重ねが必須であることから、授業に積極的に参加すること。
 注意:原則韓国語ⅠもしくはⅡの単位を持っている方が受講対象になる。

授業コード	13101101	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	上級韓国語 [対面]				
シラバス執筆(全員)	鄭 徳姫				
シラバス執筆(主)	鄭 徳姫				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

本講義は、韓国語初級で学んだ基礎を土台に、より複雑な文型や語彙を学び、それを話すこと、聞くこと、書くこと、読む力の向上に結びつける。各授業では各時間のテーマについて概説し、練習問題を解きながら理解を深める。

到達目標

- ①約1,500～2,000語程度の語彙を用いた文章を理解でき、使用できる。
- ②公式的な状況か非公式的な状況かの言語（ハングル）を区分し、使用できる。

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：ガイドダンス
 内容・方法：基礎第1課 韓国語の特徴及び創製原理。
- 【第2回】
 テーマ：第11課 夢が壊れなければいいですね。
 内容・方法：文字と発音。
- 【第3回】
 テーマ：第12課 高校の時に修学旅行で来ました。
 内容・方法：激音・濃音。
- 【第4回】
 テーマ：第13課 開かれるそうですよ。
 内容・方法：文字と発音。
- 【第5回】
 テーマ：第14課 肌がきれいになりましたね。
 内容・方法：終音。
- 【第6回】
 テーマ：第15課 建てられて以来どのくらいたちましたか。
 内容・方法：有声音化・激音化・濃音化。
- 【第7回】
 テーマ：第16課 疲れているようですね。
 内容・方法：1課から6課までの復習。
- 【第8回】
 テーマ：第17課 同じ年かもしれません。
 内容・方法：簡単な自己紹介。
- 【第9回】
 テーマ：第18課 タレでも作っておいて①。
 内容・方法：～ですか。
- 【第10回】
 テーマ：第18課 タレでも作っておいて②。
 内容・方法：否定文。
- 【第11回】
 テーマ：第19課 痩せようと思うなら我慢しなきゃ①。
 内容・方法：あります/ありません。
- 【第12回】
 テーマ：第19課 痩せようと思うなら我慢しなきゃ②。
 内容・方法：します/しますか。
- 【第13回】
 テーマ：第20課 招待状を送るつもりだから①。
 内容・方法：います/あります。
- 【第14回】
 テーマ：第20課 招待状を送るつもりだから②。
 内容・方法：動詞、形容詞。
- 【第15回】
 テーマ：前期のまとめと韓国語座談。
 内容・方法：自分の紹介ができるように練習する。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

毎回の授業では、事前・事後学習として1時間から1時間半の学習が必要です。

【第1回】

事前学習課題：授業の概要と基礎第1課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：復習でわからなかったところをよくおさらいしておくこと。0.5時間
 【第2回】
 事前学習課題：教科書基礎第2課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第3回】
 事前学習課題：教科書基礎第3課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第4回】
 事前学習課題：教科書基礎第4課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第5回】
 事前学習課題：教科書基礎第5課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第6回】
 事前学習課題：教科書基礎第6課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第7回】
 事前学習課題：教科書基礎第1課から6課までを読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第8回】
 事前学習課題：教科書本文第1課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：わからなかったところをよくおさらいしておくこと。0.5時間
 【第9回】
 事前学習課題：教科書本文第2課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第10回】
 事前学習課題：教科書本文第3課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第11回】
 事前学習課題：教科書本文第4課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第12回】
 事前学習課題：教科書本文第5課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第13回】
 事前学習課題：教科書本文第6課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第14回】
 事前学習課題：教科書本文第7課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第15回】
 事前学習課題：教科書本文第1課から第7課のインタビューテストの勉強をしておくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書本文第1課から第7課を読んでおくこと。0.5時間

課題に対するフィードバックの方法

授業中に実施した小テストを返却し、間違った箇所を確認して覚えなおす。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

授業への参加態度と小テスト、インタビューテスト及び期末レポートの結果から総合的に評価する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	平常点	1, 2
授業外での評価	20	レポート課題	1
定期試験	0	なし	なし
定期試験に代わるレポート等	30	期末レポート点	1, 2
その他	0	なし	なし

テキスト 基礎から学ぶ「韓国語講座」中級[改訂版]/木内明 著/国書刊行会/978-4-336-05941-3

参考書 適宜、教員が紹介する。

履修条件・他の科目との関連 外国語の習得は毎回の授業の積み重ねが必須であることから、授業に積極的に参加すること。
 注意:原則韓国語 I もしくは II の単位を持っている方が受講対象になる。

授業コード	13102701	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	韓国の現代社会 [対面]				
シラバス執筆(全員)	韓 尚秀				
シラバス執筆(主)	韓 尚秀				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

隣国である韓国の現状を理解することは、国際交流やビジネス場において非常に重要である。本講義では、現代韓国の社会、教育、政治、経済、法律、歴史、地理などについて基礎的な内容を優しく講義する。

到達目標

1. 現代の韓国について理解を深める。
2. 豊かな国際性を身につける。

授業計画

- 【【第1回】
テーマ：ガイダンス
内容・方法：講義に関する注意事項について案内する。
- 【第2回】
テーマ：韓国の社会
内容・方法：韓国の象徴、家族関係、都市と農村、福医療と安全について講義する。
- 【第3回】
テーマ：韓国の教育
内容・方法：保育制度、小中高教育、高等教育と入試、平生教育について講義する。
- 【第4回】
テーマ：韓国の文化Ⅰ
内容・方法：伝統価値、伝統衣食住、現代衣食住、儀礼、名節について講義する。
- 【第5回】
テーマ：韓国の文化Ⅱ
内容・方法：宗教、大衆文化、余暇文化について講義する。
- 【第6回】
テーマ：韓国の政治
内容・方法：韓国の民主政治、選挙と地自治体について講義する。
- 【第7回】
テーマ：韓国の経済Ⅰ
内容・方法：経済活動と成長、消費者保護、金融機関について講義する。
- 【第8回】
テーマ：韓国の経済Ⅱ
内容・方法：就職実情について講義する。
- 【第9回】
テーマ：韓国の法律
内容・方法：韓国国籍と法、家族と法、財産と法、生活法律、犯罪と法、権利保護と法について講義する。
- 【第10回】
テーマ：韓国の歴史Ⅰ
内容・方法：古朝鮮の建国、三国時代と南北朝時代、高麗時代、朝鮮の建国と発展を講義する。
- 【第11回】
テーマ：韓国の歴史Ⅱ
内容・方法：韓国の歴史人物、韓国の文化遺産について講義する。
- 【第12回】
テーマ：韓国の地理Ⅰ
内容・方法：韓国の気候と地形、首都圏、忠清道地域について講義する。
- 【第13回】
テーマ：韓国の地理Ⅱ
内容・方法：全羅道地域、慶尚道地域、江原道地域、済州道地域について講義する。
- 【第14回】
テーマ：期末テスト
内容・方法：試験もしくはレポート。
- 【第15回】
テーマ：まとめ
内容・方法：まとめ。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

- 【第1回】
- ①事前学修課題：講義概要を予め読んでおくこと。2時間
 - ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間

- 【第2回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間
- 【第3回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間
- 【第4回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間
- 【第5回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間
- 【第6回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間
- 【第7回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間
- 【第8回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間
- 【第9回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間
- 【第10回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間
- 【第11回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間
- 【第12回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間
- 【第13回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間
- 【第14回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間
- 【第15回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間

課題に対するフィードバックの方法

OIUUNIPAのレポート機能を活用する。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

平常点50%、最後の時間の簡単なテスト及びレポート50%で評価する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	平常点(授業中に実施する小テスト)	1, 2
授業外での評価	30	レポート	2
定期試験	0	なし	なし
定期試験に代わるレポート等	20	期末レポート点	1, 2
その他	0	なし	なし

テキスト 必要に応じて資料を配布する。

参考書 必要に応じて資料を配布する。

履修条件・他の科目との関連 韓国語関連授業、世界史等

授業コード	13087701	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	英語文学 I [対面]				
シラバス執筆(全員)	A. ナデュー				
シラバス執筆(主)	A. ナデュー				
開講年次	カリキュラムによる	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

本授業では、独立当初から20世紀後期までのアメリカ文学の軌跡を、キャノンとされる主要作品の解説を通して通時的に概観するとともに、文学テクストを、アメリカ文化・社会の諸相を照射するメディアとして捉えることで、アメリカ文化の基盤を成す、様々な歴史的背景、現代社会に通底する概念や問識を学びます。授業内では、歴史的コンテクスト、文学作品を紹介、解説するだけでなく、実際に紹介する作品の英文、日本語訳を読むことによって、作品に触れる機会を設けることで、自身で問題意識や作品そのものへの興味を抱く機会を設けています。こうした予習を行うことで分析を伴ったアプローチを実際に行い、自分で考えることを習慣づけるとともに、文学テクストを通じてアメリカを多角的に捉えることを、本授業の目的としています。

到達目標

- (1) アメリカ文学について、その時代を特徴付けた作家とその代表的作品が理解できている
- (2) 作家と代表的作品に関する内容・主要なテーマが理解できている
- (3) 主要なテーマに関する文学用語が理解できている

授業計画

【第1回】
 テーマ：オリエンテーション
 内容・方法：オリエンテーション（授業方法の説明・自己紹介など。受講希望者は出席すること）

【第2回】
 第1章 植民地時代の文学、第2章 アメリカ文学

【第3回】
 第3章 アメリカ文学の開花（1）

【第4回】
 第3章 アメリカ文学の開花（2）

【第5回】
 第3章 アメリカ文学の開花（3）

【第6回】
 第4章 リアリズムと自然主義の文学（1）

【第7回】
 第4章 リアリズムと自然主義の文学（2）

【第8回】
 第1章～第4章の総復習、前半授業内容復習テスト

【第9回】
 第5章 アメリカ文学の成熟（1）

【第10回】
 第5章 アメリカ文学の成熟（2）

【第11回】
 第6章 第二次大戦後の文学（1）

【第12回】
 第6章 第二次大戦後の文学（2）

【第13回】
 第7章 アメリカ文学の現在（1）

【第14回】
 第7章 アメリカ文学の現在（2）

【第15回】
 第5章～第7章の総復習、後半授業内容復習テスト

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

課題に対するフィードバックの方法

授業冒頭で必要があれば、質問などへのフィードバックを行います。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

各授業後に提出してもらった小テストと、学期中に二度行う授業内容復習テスト、レポートによって成績を評価します。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	授業内容復習テスト(計2回、30、30) 基本的な用語、作品名、作家名だけでなく、説明を求める問題もあります。	1, 2, 3
授業外での評価	20	各授業後に行う小テスト その日の授業で解説した作家名、作品名、用語などを答える、基礎問題です。	1, 2, 3
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	期末レポート	1, 2, 3
その他	0		

テキスト テキストを使用しない

参考書

履修条件・他の科目との関連 欠席回数3回を超えると、単位を認定しません。また、15回すべて出席したからと言って、単位の認定が約束されるとは限りません。小テスト、復習テスト、レポートの内容によってのみ、成績は決定いたします。ご注意ください。
耳慣れない単語、用語が多く教科書に登場するかとされます。自らわからないものを見つけ、調べ、そのうえで必要であれば質問し、理解する、という積極的な学びの態度が必要です。
この授業はアメリカ文学史の授業ですが、アメリカ文学のみならず、アメリカの社会・政治・文化・歴史・経済第アメリカの様々な側面にも幅広く触れます。アメリカ文学だけではなく、アメリカの様々な分野に興味がある学生の受講を歓迎します。アメリカの様々な諸相を、アメリカ文学を通じて調査・探求していき、受講生が各々の興味関心を深めていく。この授業がそのような橋渡しの授業になれば幸いです。

授業コード	13087801	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	英語文学Ⅱ [対面]				
シラバス執筆(全員)	A. ナデュー				
シラバス執筆(主)	A. ナデュー				
開講年次	カリキュラムによる	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

本授業では、独立当初から20世紀後期までのアメリカ文学の軌跡を、アメリカン・ドラマ（アメリカ演劇作品）というメディアを通して通時的に概観するとともに、劇文学テキストを、アメリカ文化・社会の諸相を照射するメディアとして捉えることで、アメリカ文化の基盤を成す、様々な歴史的背景、現代社会に通底する概念や問題意識を学びます。

授業内では、歴史的コンテキスト、文学作品を紹介、解説するだけでなく、実際に紹介する作品の英文、日本語訳を読むことによって、作品に触れる機会を設けることで、自身で問題意識や作品そのものへの興味を抱く機会を設けています。

こうした予習を行うことで分析を伴ったアプローチを実際に行い、自分で考えることを習慣づけるとともに、文学テキストを通じてアメリカを多角的に捉えることを、本授業の目的としています。

到達目標

- (1) アメリカ演劇について、その時代を特徴付けた作家とその代表的作品が理解できている
- (2) 作家と代表的作品に関する内容・主要なテーマが理解できている
- (3) 主要なテーマに関する文学用語が理解できている

授業計画

【第1回】
 テーマ：オリエンテーション
 内容・方法：オリエンテーション（授業方法の説明・自己紹介など。受講希望者は出席すること）

【第2回】
 Edward Albeeのキャリアとその特色、『動物園物語』紹介

【第3回】
 『動物園物語』解説

【第4回】
 『アメリカの夢』紹介

【第5回】
 『アメリカの夢』解説

【第6回】
 『ヴァージニア・ウルフなんかこわくない』紹介

【第7回】
 『ヴァージニア・ウルフなんかこわくない』解説

【第8回】
 第1章～第4章の総復習、前半授業内容復習テスト

【第9回】
 『海景』紹介

【第10回】
 『海景』解説

【第11回】
 『三人の背の高い女』紹介

【第12回】
 『三人の背の高い女』解説

【第13回】
 『山羊、シルヴィアってだれ？』紹介

【第14回】
 『山羊、シルヴィアってだれ？』解説

【第15回】
 第5章～第8章の総復習、後半授業内容復習テスト

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

課題に対するフィードバックの方法

授業冒頭で必要があれば、質問などへのフィードバックを行います。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

各授業後に提出してもらう小テストと、学期中に二度行う授業内容復習テスト、レポートによって成績を評価します。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	授業内容復習テスト(計2回、30, 30) 基本的な用語、作品名、作家名だけでなく、説明を求める問題もあります。	1, 2, 3
授業外での評価	20	各授業後に行う小テスト その日の授業で解説した作品名、用語などを答える、基礎問題です。	1, 2, 3
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	期末レポート	1, 2, 3
その他	0		

テキスト	テキストは使用せず、授業ごとにGoogle Classroomから資料を配布する。
------	---

参考書	
-----	--

履修条件・他の科目との関連	<p>欠席回数が3回を超えると、単位を認定しません。また、15回すべて出席したからと言って、単位の認定が約束されるとは限りません。小テスト、復習テスト、レポートの内容によってのみ、成績は決定いたします。ご注意ください。</p> <p>耳慣れない単語、用語が多く教科書に登場するかと思われます。自らわからないものを見つけ、調べ、そのうえでさらに必要であれば質問し、理解する、という積極的な学びの態度が必要です。</p> <p>この授業はアメリカ文学史の授業ですが、アメリカ演劇のみならず、アメリカの社会・政治・文化・歴史・経済等、アメリカの様々な側面にも幅広く触れます。アメリカ文学だけではなく、アメリカの様々な分野に興味がある学生の受講を歓迎します。アメリカの様々な諸相を、アメリカ文学を通じて調査・探求していき、受講生が各々の興味・関心を深めていく。この授業がそのような橋渡しの授業になれば幸いです。</p>
---------------	---

授業コード	13085501	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Four Skills in English I [対面]				
シラバス執筆(全員)	I. M. アレンズワース				
シラバス執筆(主)	I. M. アレンズワース				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course students will be introduced to four basic skills for listening, reading, writing, and speaking English. 4 modules (topics) have been chosen for this semester. Students will have time to become familiar with each topic while they practice the four skills. After each topic has been completed, students will complete and practice presenting individual and/or group projects to help them improve their ability to use the four skills in everyday situations (social, academic, and professional). Students will work in pairs or groups for some class activities.

到達目標

Students will be able to:

1. Summarize the main points of a listening or reading text.
2. Formulate some of their thoughts and ideas about a familiar topic in written form.
3. Articulate some of their opinions and ideas about a familiar topic in small group discussions.

授業計画

- 【第1回】
 テーマ: Course introduction. Google Classroom registration and explanation. Diagnostics test. Module 1 - Unit 1, Part 1
 内容・方法: Diagnostics test.
- 【第2回】
 テーマ: Module 1 - Introductions Part 1
 内容・方法: Vocabulary review, listening skills practice, pronunciation.
- 【第3回】
 テーマ: Module 1 - Introductions Part 2
 内容・方法: Reading comprehension skills practice, writing skills practice.
- 【第4回】
 テーマ: Module 1 - Introductions Part 3
 内容・方法: Four skills consolidation - Student project preparation (Introductions).
- 【第5回】
 テーマ: Module 1 - Introductions Part 4
 内容・方法: Student project presentation.
- 【第6回】
 テーマ: Module 2 - Food Part 1
 内容・方法: Module 1 review quiz / Vocabulary review, listening skills practice, pronunciation.
- 【第7回】
 テーマ: Module 2 - Food Part 2
 内容・方法: Reading comprehension skills practice, writing skills practice.
- 【第8回】
 テーマ: Module 2 - Food Part 3
 内容・方法: Four skills consolidation - student project preparation (Food).
- 【第9回】
 テーマ: Module 2 - Food Part 4
 内容・方法: Student project presentation.
- 【第10回】
 テーマ: Module 3 - Fashion Part 1
 内容・方法: Module 2 review quiz / Vocabulary review, listening skills practice, pronunciation.
- 【第11回】
 テーマ: Module 3 - Fashion Part 2
 内容・方法: Reading comprehension skills practice, writing skills practice.
- 【第12回】
 テーマ: Module 3 - Fashion Part 3
 内容・方法: Four skills consolidation - student project preparation (Fashion).
- 【第13回】
 テーマ: Module 3 - Fashion Part 4
 内容・方法: Student project presentation.
- 【第14回】
 テーマ: Module 4 - Health Part 1
 内容・方法: Module 3 Review quiz / Vocabulary review, listening skills practice, pronunciation.
- 【第15回】
 テーマ: Module 4 - Health Part 2
 内容・方法: Reading comprehension skills practice, writing skills practice.

Explain the final test

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。

【第1回】

①事前学修課題：Buy the textbook. Google classroom registration. Carefully read the syllabus and grading information.

②事後学修課題：Buy a class journal for note taking, Self study.

【第2回】

①事前学修課題：Review Module 1 Vocabulary/Grammar pages 9-10 in the textbook.

②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第3回】

①事前学修課題：Homework.

②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第4回】

①事前学修課題：Practice for student/group presentation.

②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第5回】

①事前学修課題：Study for Module 1 review quiz.

②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第6回】

①事前学修課題：Review Module 2 Vocabulary/Grammar pages 25-26 in the textbook.

②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第7回】

①事前学修課題：Homework.

②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第8回】

①事前学修課題：Practice for student/group presentation.

②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第9回】

①事前学修課題：Study for Module 2 review quiz.

②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第10回】

①事前学修課題：Review Module 3 Vocabulary/Grammar pages 41-42 in the textbook.

②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第11回】

①事前学修課題：Homework.

②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第12回】

①事前学修課題：Practice for student/group presentation.

②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第13回】

①事前学修課題：Study for Module 3 review quiz.

②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第14回】

①事前学修課題：Review Module 4 Vocabulary/Grammar pages 57-58 in the textbook.

②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第15回】

①事前学修課題：Semester review.

②事後学修課題：Review for the final test. Submit the final evaluation.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

1. Module review quizzes 40%
2. Participation: Individual and/or group projects 40%
3. Final test 20%

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	40	Module review quizzes	1, 2
授業外での評価	0	none	

定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final test	1, 2, 3
その他	40	Participation: Individual and/or group projects	1, 2

テキスト	Framework for English, Colin Thompson, Tim Woolstencroft, Kinseido, 2020, ISBN: 978-4-7647-4107-2		
------	---	--	--

参考書			
-----	--	--	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>		
---------------	--	--	--

授業コード	13085502	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Four Skills in English I [対面]				
シラバス執筆(全員)	J. エチャャー				
シラバス執筆(主)	J. エチャャー				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course students will be introduced to four basic skills for listening, reading, writing, and speaking English. 4 modules (topics) have been chosen for this semester. Students will have time to become familiar with each topic while they practice the four skills. After each topic has been completed, students will complete and practice presenting individual and/or group projects to help them improve their ability to use the four skills in everyday situations (social, academic, and professional). Students will work in pairs or groups for some class activities.

到達目標

Students will be able to:

1. Summarize the main points of a listening or reading text.
2. Formulate some of their thoughts and ideas about a familiar topic in written form.
3. Articulate some of their opinions and ideas about a familiar topic in small group discussions.

授業計画

- 【第1回】
 テーマ: Course introduction. Google Classroom registration and explanation. Diagnostics test. Module 1 - Unit 1, Part 1
 内容・方法: Diagnostics test.
- 【第2回】
 テーマ: Module 1 - Introductions Part 1
 内容・方法: Vocabulary review, listening skills practice, pronunciation.
- 【第3回】
 テーマ: Module 1 - Introductions Part 2
 内容・方法: Reading comprehension skills practice, writing skills practice.
- 【第4回】
 テーマ: Module 1 - Introductions Part 3
 内容・方法: Four skills consolidation - Student project preparation (Introductions).
- 【第5回】
 テーマ: Module 1 - Introductions Part 4
 内容・方法: Student project presentation.
- 【第6回】
 テーマ: Module 2 - Food Part 1
 内容・方法: Module 1 review quiz / Vocabulary review, listening skills practice, pronunciation.
- 【第7回】
 テーマ: Module 2 - Food Part 2
 内容・方法: Reading comprehension skills practice, writing skills practice.
- 【第8回】
 テーマ: Module 2 - Food Part 3
 内容・方法: Four skills consolidation - student project preparation (Food).
- 【第9回】
 テーマ: Module 2 - Food Part 4
 内容・方法: Student project presentation.
- 【第10回】
 テーマ: Module 3 - Fashion Part 1
 内容・方法: Module 2 review quiz / Vocabulary review, listening skills practice, pronunciation.
- 【第11回】
 テーマ: Module 3 - Fashion Part 2
 内容・方法: Reading comprehension skills practice, writing skills practice.
- 【第12回】
 テーマ: Module 3 - Fashion Part 3
 内容・方法: Four skills consolidation - student project preparation (Fashion).
- 【第13回】
 テーマ: Module 3 - Fashion Part 4
 内容・方法: Student project presentation.
- 【第14回】
 テーマ: Module 4 - Health Part 1
 内容・方法: Module 3 Review quiz / Vocabulary review, listening skills practice, pronunciation.
- 【第15回】
 テーマ: Module 4 - Health Part 2
 内容・方法: Reading comprehension skills practice, writing skills practice.

Explain the final test

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。

【第1回】

①事前学修課題：Buy the textbook. Google classroom registration. Carefully read the syllabus and grading information.

②事後学修課題：Buy a class journal for note taking, Self study.

【第2回】

①事前学修課題：Review Module 1 Vocabulary/Grammar pages 9-10 in the textbook.

②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第3回】

①事前学修課題：Homework.

②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第4回】

①事前学修課題：Practice for student/group presentation.

②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第5回】

①事前学修課題：Study for Module 1 review quiz.

②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第6回】

①事前学修課題：Review Module 2 Vocabulary/Grammar pages 25-26 in the textbook.

②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第7回】

①事前学修課題：Homework.

②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第8回】

①事前学修課題：Practice for student/group presentation.

②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第9回】

①事前学修課題：Study for Module 2 review quiz.

②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第10回】

①事前学修課題：Review Module 3 Vocabulary/Grammar pages 41-42 in the textbook.

②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第11回】

①事前学修課題：Homework.

②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第12回】

①事前学修課題：Practice for student/group presentation.

②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第13回】

①事前学修課題：Study for Module 3 review quiz.

②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第14回】

①事前学修課題：Review Module 4 Vocabulary/Grammar pages 57-58 in the textbook.

②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第15回】

①事前学修課題：Semester review.

②事後学修課題：Review for the final test. Submit the final evaluation.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

1. Module review quizzes 40%
2. Participation: Individual and/or group projects 40%
3. Final test 20%

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	40	Module review quizzes	1, 2
授業外での評価	0	none	

定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final test	1, 2, 3
その他	40	Participation: Individual and/or group projects	1, 2

テキスト	Framework for English, Colin Thompson, Tim Woolstencroft, Kinseido, 2020, ISBN: 978-4-7647-4107-2		
------	---	--	--

参考書			
-----	--	--	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>		
---------------	--	--	--

授業コード	13085503	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Four Skills in English I [対面]				
シラバス執筆(全員)	岩崎 真哉				
シラバス執筆(主)	岩崎 真哉				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

日常的な話題や場面を想定して、英語でコミュニケーションができる力を養う。そのために必要な文法の基本、語彙、表現を学習する。英語で指示を与えたり、聴く、話すを含めた授業内活動を展開して、英語能力を総合的に向上させる。英語の基本的な4技能、speaking, listening, reading, writing の統合を目指している。

到達目標

1. 場面、状況に応じた適切な語彙、表現を覚えて、実際にある程度英語を運用できる。
2. 中級レベルの聞き取りや会話ができるようになる。
3. 読み書くという作業を通して文法の基本事項を習得し、使いこなすことができる。

授業計画

- 第1回：Making friends (1)：英語でお互い自己紹介を行う。単純現在形を中心とした表現を覚える。
 第2回：Making friends (2)：身の回りのものに関する語彙を増やす。actuallyを含んだ会話を学ぶ。テーマに関するreadingとwriting活動を行う。
 第3回：Interests (1)：相手に趣味を尋ねる会話を行う。一般動詞を中心とした表現を覚える。
 第4回：Interests (2)：趣味に関する語彙を増やす。優しく断る表現を学ぶ。テーマに関するreadingとwriting活動を行う。
 第5回：Health (1)：健康に関する会話を学ぶ。現在進行形を中心とした表現を覚える。
 第6回：Health (2)：健康に関する語彙を増やす。会話が続くような表現を学ぶ。テーマに関するreadingとwriting活動を行う。
 第7回：Celebrations (1)：お祝いに関する会話を学ぶ。be going to を中心とした表現を覚える。
 第8回：Celebrations (2)：お祝いに関する語彙を増やす。自信がない時に使う表現を学ぶ。テーマに関するreadingとwriting活動を行う。
 第9回：Growing up (1)：成長に関する会話を学ぶ。過去形を中心とした表現を覚える。
 第10回：Growing up (2)：成長に関する語彙を増やす。正しく言い直す表現を学ぶ。テーマに関するreadingとwriting活動を行う。
 第11回：Around town (1)：道を尋ね、答える会話を学ぶ。代名詞を中心とした表現を覚える。
 第12回：Around town (2)：道を尋ね、答える際に使う語彙を増やす。確認表現を学ぶ。テーマに関するreadingとwriting活動を行う。
 第13回：Free talk (1)：Me too, The games of likes and dislikes, Are you taking care of your health? のタスクを行い、それらに関する語彙を増やし、readingとwriting活動を行う。
 第14回：Free talk (2)：A new celebration, Summer fun, In the past のタスクを行い、それらに関する語彙を増やし、readingとwriting活動を行う。
 第15回：本授業のまとめと復習を行う。

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

毎回の授業では、事前学習として、課題の解答が求められる。この事前学習と復習を合わせて、約1.5時間の学習が必要である。

課題に対するフィードバックの方法

授業内での課題については、授業内に、その他の課題やレポートについては、Google Classroom等を用いてフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

課題、クイズ、レポート内容などにより総合的に評価する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	授業での発表、発言	1, 2, 3
授業外での評価	30	課題	1, 2, 3
定期試験	0		

定期試験に代わるレポート等	20	レポート	1, 2, 3
その他	0		
テキスト	プリントを配布する。		
参考書	必要に応じて授業の中で紹介する。		
履修条件・他の科目との関連	後期にFour Skills in English IIがあり両方を受講することが望ましい。 授業を欠席した場合は、その回のハンドアウトを次回に渡す。		

授業コード	13085551	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Four Skills in English I [対面]				
シラバス執筆(全員)	A. E. リオン				
シラバス執筆(主)	A. E. リオン				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this class, you will develop your English reading, writing, listening, and speaking skills. You will do activities that integrate the four skills with grammar, vocabulary, and pronunciation study to improve your overall English ability. Class time will be devoted to working on linked skills tasks with specific focus given to extensive reading and English Central vocabulary study tasks. The course focuses heavily on group work and you are expected to take responsibility for your own success as well as the success of your group.

The class involves regular individual counseling sessions with the professor. During these sessions, you will be asked to proactively demonstrate what you have been studying and make plans of action to improve. The counseling sessions will also be a time to think about future goals. You will develop writing and speaking skills through projects related to your personal goals and interests (especially related to goals for English study abroad and volunteering).

Several class meetings may be used to hold joint events such as orientations, presentations, explanations of study abroad programs, etc. The TOEIC-IP Test will be held during this period.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Use classroom technology effectively, including Google Classroom, English Central, and Moodle Reader
2. Meet weekly completion targets for English Central study
3. Meet Extensive Reading goals (including Moodle quizzes and reflection/discussion activities)
4. Complete regular Language Lab missions and form a regular study group

授業計画

【第1回】

テーマ: Joint Orientation

内容・方法: Explanation of course goals and classroom technology (Google Classroom, English Central, Extensive Reading assignments)

【第2回】

テーマ: Reading Skills

内容・方法: Counseling workbook, LL Missions, Extensive Reading

【第3回】

テーマ: Reading Skills

内容・方法: Counseling workbook, Extensive Reading, English Central Study

【第4回】

テーマ: Vocabulary

内容・方法: Counseling workbook, LL Missions, Extensive Reading

【第5回】

テーマ: Vocabulary

内容・方法: Counseling workbook, Extensive Reading, English Central Study, Individual counseling sessions

【第6回】

テーマ: Speaking Skills

内容・方法: Counseling workbook, LL Missions, Extensive Reading

【第7回】

テーマ: Speaking Skills

内容・方法: Vocabulary Quiz 1. Extensive Reading & English Central grade deadline. Counseling workbook, Individual counseling sessions

【第8回】

テーマ: Midterm Reflection, Senior talk

内容・方法: IEP 2nd or 3rd year presentation about volunteer & internship opportunities, reflection assignment & grade check

【第9回】

テーマ: Writing Skills

内容・方法: Counseling workbook, LL Missions, Extensive Reading

【第10回】

テーマ: Writing Skills

内容・方法: Counseling workbook, Extensive Reading, English Central Study, Individual counseling sessions

【第11回】

テーマ : Listening Skills

内容・方法 : Counseling workbook, LL Missions, Extensive Reading

【第12回】

テーマ : Listening Skills

内容・方法 : Counseling workbook, Extensive Reading, English Central Study, Individual counseling sessions

【第13回】

テーマ : Grammar study

内容・方法 : Counseling workbook, LL Missions, Extensive Reading

【第14回】

テーマ : Joint Class (This class will be used to hold the TOEIC-IP Test)

内容・方法 : TOEIC-IP Test

【第15回】

テーマ : Final Presentation & Year Review

内容・方法 : Vocabulary Quiz 2, students share their final project presentation

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a 1-credit (1単位) course, which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題 : None

事後学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

【第2回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第3回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第4回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第5回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第6回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第7回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第8回】

事前学修課題 : English Central, Prepare for Joint Class

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments, midterm reflection assignment

【第9回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第10回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第11回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第12回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第13回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第14回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第15回】

事前学修課題 : Review, final reflection assignment

事後学修課題 : Personal Goals for Spring Vacation

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed as homework, course completion goals (English Central and Extensive Reading). Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse will not pass the course (see attendance policy below).

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Please contact your individual instructor for information about coursework and grading policy.

Active participation & group work (20%)

Vocabulary Quizzes (10%)

Counseling reports (10%)

English Central assignments (20%)

Extensive reading assignments (20%)

Final Report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	40	Active participation & group work (20), Vocabulary Quizzes (10), Counseling reports (10)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	40	English Central assignments (20), Extensive reading assignments (20)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final Report	1, 2, 3, 4
その他	0		

テキスト	Handouts provided by instructor
------	---------------------------------

参考書	Provided by the instructor as necessary
-----	---

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13085552	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Four Skills in English I [対面]				
シラバス執筆(全員)	S. ハティング				
シラバス執筆(主)	S. ハティング				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this class, you will develop your English reading, writing, listening, and speaking skills. You will do activities that integrate the four skills with grammar, vocabulary, and pronunciation study to improve your overall English ability. Class time will be devoted to working on linked skills tasks with specific focus given to extensive reading and English Central vocabulary study tasks. The course focuses heavily on group work and you are expected to take responsibility for your own success as well as the success of your group.

The class involves regular individual counseling sessions with the professor. During these sessions, you will be asked to proactively demonstrate what you have been studying and make plans of action to improve. The counseling sessions will also be a time to think about future goals. You will develop writing and speaking skills through projects related to your personal goals and interests (especially related to goals for English study abroad and volunteering).

Several class meetings may be used to hold joint events such as orientations, presentations, explanations of study abroad programs, etc. The TOEIC-IP Test will be held during this period.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Use classroom technology effectively, including Google Classroom, English Central, and Moodle Reader
2. Meet weekly completion targets for English Central study
3. Meet Extensive Reading goals (including Moodle quizzes and reflection/discussion activities)
4. Complete regular Language Lab missions and form a regular study group

授業計画

- 【第1回】
 テーマ: Joint Orientation
 内容・方法: Explanation of course goals and classroom technology (Google Classroom, English Central, Extensive Reading assignments)
- 【第2回】
 テーマ: Reading Skills
 内容・方法: Counseling workbook, LL Missions, Extensive Reading
- 【第3回】
 テーマ: Reading Skills
 内容・方法: Counseling workbook, Extensive Reading, English Central Study
- 【第4回】
 テーマ: Vocabulary
 内容・方法: Counseling workbook, LL Missions, Extensive Reading
- 【第5回】
 テーマ: Vocabulary
 内容・方法: Counseling workbook, Extensive Reading, English Central Study, Individual counseling sessions
- 【第6回】
 テーマ: Speaking Skills
 内容・方法: Counseling workbook, LL Missions, Extensive Reading
- 【第7回】
 テーマ: Speaking Skills
 内容・方法: Vocabulary Quiz 1. Extensive Reading & English Central grade deadline. Counseling workbook, Individual counseling sessions
- 【第8回】
 テーマ: Midterm Reflection, Senior talk
 内容・方法: IEP 2nd or 3rd year presentation about volunteer & internship opportunities, reflection assignment & grade check
- 【第9回】
 テーマ: Writing Skills
 内容・方法: Counseling workbook, LL Missions, Extensive Reading
- 【第10回】
 テーマ: Writing Skills
 内容・方法: Counseling workbook, Extensive Reading, English Central Study, Individual counseling sessions
- 【第11回】

テーマ : Listening Skills

内容・方法 : Counseling workbook, LL Missions, Extensive Reading

【第12回】

テーマ : Listening Skills

内容・方法 : Counseling workbook, Extensive Reading, English Central Study, Individual counseling sessions

【第13回】

テーマ : Grammar study

内容・方法 : Counseling workbook, LL Missions, Extensive Reading

【第14回】

テーマ : Joint Class (This class will be used to hold the TOEIC-IP Test)

内容・方法 : TOEIC-IP Test

【第15回】

テーマ : Final Presentation & Year Review

内容・方法 : Vocabulary Quiz 2, students share their final project presentation

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a 1-credit (1単位) course, which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題 : None

事後学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

【第2回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第3回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第4回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第5回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第6回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第7回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第8回】

事前学修課題 : English Central, Prepare for Joint Class

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments, midterm reflection assignment

【第9回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第10回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第11回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第12回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第13回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第14回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第15回】

事前学修課題 : Review, final reflection assignment

事後学修課題 : Personal Goals for Spring Vacation

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed as homework, course completion goals (English Central and Extensive Reading). Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse will not pass the course (see attendance policy below).

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Please contact your individual instructor for information about coursework and grading policy.

Active participation & group work (20%)

Vocabulary Quizzes (10%)

Counseling reports (10%)

English Central assignments (20%)

Extensive reading assignments (20%)

Final Report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	40	Active participation & group work (20), Vocabulary Quizzes (10), Counseling reports (10)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	40	English Central assignments (20), Extensive reading assignments (20)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final Report	1, 2, 3, 4
その他	0		

テキスト	Handouts provided by instructor
------	---------------------------------

参考書	Provided by the instructor as necessary
-----	---

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13085601	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Four Skills in English II [対面]				
シラバス執筆(全員)	I. M. アレンズワース				
シラバス執筆(主)	I. M. アレンズワース				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course students will be introduced to four basic skills for listening, reading, writing, and speaking English. As in semester one, 4 topics will be studied. Students will have time to become familiar with each topic while they practice the four skills. After each topic has been completed, students will complete and practice presenting individual and/or group projects to help them improve their ability to use the four skills in everyday situations (social, academic, and professional).

到達目標

Students will be able to:

1. Summarize the main points of a listening or reading text.
2. Formulate their thoughts and ideas about familiar topics in written form.
3. Articulate their opinions and ideas about familiar topics in small group discussions.

授業計画

【第1回】
 テーマ: Google Classroom registration and explanation.
 内容・方法: Semester 1 reflection tasks and activities

【第2回】
 テーマ: Module 4 - Health Part 3
 内容・方法: Four skills consolidation - Review semester 1 topics, student project preparation (Health).

【第3回】
 テーマ: Module 4 - Health Part 4
 内容・方法: Student project presentation.

【第4回】
 テーマ: Module 5 - Travel Part 1
 内容・方法: Module 4 quiz /Vocabulary review, listening skills practice, pronunciation.

【第5回】
 テーマ: Module 5 - Travel Part 2
 内容・方法: Reading comprehension skills practice, writing skills practice.

【第6回】
 テーマ: Module 5 - Travel Part 3
 内容・方法: Four skills consolidation - student project preparation (Travel).

【第7回】
 テーマ: Module 5 - Travel Part 4
 内容・方法: Student project presentation.

【第8回】
 テーマ: Module 6 - Rules Part 1
 内容・方法: Module 5 quiz / Vocabulary review, listening skills practice, pronunciation.

【第9回】
 テーマ: Module 6 - Rules Part 2
 内容・方法: Reading comprehension skills practice, writing skills practice.

【第10回】
 テーマ: Module 6 - Rules Part 3
 内容・方法: Four skills consolidation - student project preparation (Rules).

【第11回】
 テーマ: Module 6 - Rules Part 4
 内容・方法: Student project presentation.

【第12回】
 テーマ: Module 7 - Culture Part 1
 内容・方法: Module 6 quiz / Vocabulary review, listening skills practice, pronunciation.

【第13回】
 テーマ: Module 7 - Culture Part 2
 内容・方法: Reading comprehension skills practice, writing skills practice.

【第14回】
 テーマ: Module 7 - Culture Part 3
 内容・方法: Four skills consolidation - student project preparation (Culture).

【第15回】
 テーマ: Module 7 - Culture Part 4
 内容・方法: Student project presentation.

Explanation of final test.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。

【第1回】

- ①事前学修課題：Review textbook topics for this semester. Begin self-study.
- ②事後学修課題：Review Module 4 Vocabulary/Grammar pages 57-58 in the textbook.

【第2回】

- ①事前学修課題：Practice for student/group presentation.
- ②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第3回】

- ①事前学修課題：Study for Module 4 review quiz.
- ②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第4回】

- ①事前学修課題：Review Module 5 Vocabulary/Grammar pages 73-74 in the textbook.
- ②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第5回】

- ①事前学修課題：Homework.
- ②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第6回】

- ①事前学修課題：Practice for student/group presentation.
- ②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第7回】

- ①事前学修課題：Study for Module 5 review quiz.
- ②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson Self-study.

【第8回】

- ①事前学修課題：Review Module 6 Vocabulary/Grammar pages 89-90 in the textbook.
- ②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第9回】

- ①事前学修課題：Homework.
- ②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第10回】

- ①事前学修課題：Practice for student/group presentation.
- ②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第11回】

- ①事前学修課題：Study for Module 6 review quiz.
- ②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第12回】

- ①事前学修課題：Review Module 7 Vocabulary/Grammar pages 105-106 in the textbook.
- ②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第13回】

- ①事前学修課題：Homework.
- ②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第14回】

- ①事前学修課題：Practice for student/group presentation.
- ②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第15回】

- ①事前学修課題：Semester review.
- ②事後学修課題：Explain the final test. Submit the final evaluation.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

1. Module review quizzes 40%
2. Participation: Individual and/or group projects 40%
3. Final test 20%

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	40	Module review quizzes	1
授業外での評価	0	none	
定期試験	0	none	

定期試験に代わるレポート等	20	Final test	1, 2, 3
その他	40	Participation: Individual and/or group project grades	1, 2

テキスト	Framework for English, Colin Thompson, Tim Woolstencroft, Kinseido, 2020, ISBN: 978-4-7647-4107-2		
------	---	--	--

参考書			
-----	--	--	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD – 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>		
---------------	--	--	--

授業コード	13085602	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Four Skills in English II [対面]				
シラバス執筆(全員)	J. エチャャー				
シラバス執筆(主)	J. エチャャー				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course students will be introduced to four basic skills for listening, reading, writing, and speaking English. As in semester one, 4 topics will be studied. Students will have time to become familiar with each topic while they practice the four skills. After each topic has been completed, students will complete and practice presenting individual and/or group projects to help them improve their ability to use the four skills in everyday situations (social, academic, and professional).

到達目標

Students will be able to:

1. Summarize the main points of a listening or reading text.
2. Formulate their thoughts and ideas about familiar topics in written form.
3. Articulate their opinions and ideas about familiar topics in small group discussions.

授業計画

- 【第1回】
 テーマ: Google Classroom registration and explanation.
 内容・方法: Semester 1 reflection tasks and activities
- 【第2回】
 テーマ: Module 4 - Health Part 3
 内容・方法: Four skills consolidation - Review semester 1 topics, student project preparation (Health).
- 【第3回】
 テーマ: Module 4 - Health Part 4
 内容・方法: Student project presentation.
- 【第4回】
 テーマ: Module 5 - Travel Part 1
 内容・方法: Module 4 quiz /Vocabulary review, listening skills practice, pronunciation.
- 【第5回】
 テーマ: Module 5 - Travel Part 2
 内容・方法: Reading comprehension skills practice, writing skills practice.
- 【第6回】
 テーマ: Module 5 - Travel Part 3
 内容・方法: Four skills consolidation - student project preparation (Travel).
- 【第7回】
 テーマ: Module 5 - Travel Part 4
 内容・方法: Student project presentation.
- 【第8回】
 テーマ: Module 6 - Rules Part 1
 内容・方法: Module 5 quiz / Vocabulary review, listening skills practice, pronunciation.
- 【第9回】
 テーマ: Module 6 - Rules Part 2
 内容・方法: Reading comprehension skills practice, writing skills practice.
- 【第10回】
 テーマ: Module 6 - Rules Part 3
 内容・方法: Four skills consolidation - student project preparation (Rules).
- 【第11回】
 テーマ: Module 6 - Rules Part 4
 内容・方法: Student project presentation.
- 【第12回】
 テーマ: Module 7 - Culture Part 1
 内容・方法: Module 6 quiz / Vocabulary review, listening skills practice, pronunciation.
- 【第13回】
 テーマ: Module 7 - Culture Part 2
 内容・方法: Reading comprehension skills practice, writing skills practice.
- 【第14回】
 テーマ: Module 7 - Culture Part 3
 内容・方法: Four skills consolidation - student project preparation (Culture).
- 【第15回】
 テーマ: Module 7 - Culture Part 4
 内容・方法: Student project presentation.

Explanation of final test.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。

【第1回】

- ①事前学修課題：Review textbook topics for this semester. Begin self-study.
- ②事後学修課題：Review Module 4 Vocabulary/Grammar pages 57-58 in the textbook.

【第2回】

- ①事前学修課題：Practice for student/group presentation.
- ②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第3回】

- ①事前学修課題：Study for Module 4 review quiz.
- ②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第4回】

- ①事前学修課題：Review Module 5 Vocabulary/Grammar pages 73-74 in the textbook.
- ②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第5回】

- ①事前学修課題：Homework.
- ②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第6回】

- ①事前学修課題：Practice for student/group presentation.
- ②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第7回】

- ①事前学修課題：Study for Module 5 review quiz.
- ②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson Self-study.

【第8回】

- ①事前学修課題：Review Module 6 Vocabulary/Grammar pages 89-90 in the textbook.
- ②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第9回】

- ①事前学修課題：Homework.
- ②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第10回】

- ①事前学修課題：Practice for student/group presentation.
- ②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第11回】

- ①事前学修課題：Study for Module 6 review quiz.
- ②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第12回】

- ①事前学修課題：Review Module 7 Vocabulary/Grammar pages 105-106 in the textbook.
- ②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第13回】

- ①事前学修課題：Homework.
- ②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第14回】

- ①事前学修課題：Practice for student/group presentation.
- ②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第15回】

- ①事前学修課題：Semester review.
- ②事後学修課題：Explain the final test. Submit the final evaluation.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

1. Module review quizzes 40%
2. Participation: Individual and/or group projects 40%
3. Final test 20%

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	40	Module review quizzes	1
授業外での評価	0	none	
定期試験	0	none	

定期試験に代わるレポート等	20	Final test	1, 2, 3
その他	40	Participation: Individual and/or group project grades	1, 2

テキスト	Framework for English, Colin Thompson, Tim Woolstencroft, Kinseido, 2020, ISBN: 978-4-7647-4107-2		
------	---	--	--

参考書			
-----	--	--	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD – 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>		
---------------	--	--	--

授業コード	13085603	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Four Skills in English II [対面]				
シラバス執筆(全員)	岩崎 真哉				
シラバス執筆(主)	岩崎 真哉				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

日常的な話題や場面を想定して、英語でコミュニケーションができる力を養う。そのために必要な文法の基本、語彙、表現を学習する。英語で指示を与えたり、聴く、話すを含めた授業内活動を展開して、英語能力を総合的に向上させる。英語の基本的な4技能、speaking, listening, reading, writing の統合を目指す。

到達目標

1. 場面、状況に応じた適切な語彙、表現を覚えて、実際にある程度英語を運用できる。
2. 中級レベルの聞き取りや会話ができるようになる。
3. 読み書くという作業を通して文法の基本事項を習得し、使いこなすことができる。

授業計画

- 第1回：Going away (1)：旅行に関する会話を学ぶ。不定詞を中心とした表現を覚える。
 第2回：Going away (2)：旅行に関する語彙を増やす。提案とそれに答える表現を学ぶ。テーマに関するreadingとwriting活動を行う。
 第3回：At home (1)：家にいる時に使う会話を学ぶ。所有疑問詞・代名詞を中心とした表現を覚える。
 第4回：At home (2)：家にあるものを英語で言えるようにする。丁寧な頼む表現を学ぶ。テーマに関するreadingとwriting活動を行う。
 第5回：Things happen (1)：失敗談を語る会話を学ぶ。過去進行形を中心とした表現を覚える。
 第6回：Things happen (2)：失敗談に関する語彙を増やす。応答表現を学ぶ。テーマに関するreadingとwriting活動を行う。
 第7回：Communication (1)：主に電話で意思伝達を行う会話を学ぶ。比較級を中心とした表現を覚える。
 第8回：Communication (2)：電話をする際の語彙を増やす。電話を途中で止めたり、再開する際の表現を学ぶ。テーマに関するreadingとwriting活動を行う。
 第9回：Appearances (1)：人の外観についての会話を学ぶ。動名詞を中心とした表現を覚える。
 第10回：Appearances (2)：人の外観についての語彙を増やす。謝罪表現を学ぶ。テーマに関するreadingとwriting活動を行う。
 第11回：Looking ahead (1)：将来について語る会話を学ぶ。未来表現を中心とした表現を覚える。
 第12回：Looking ahead (2)：将来について語る際に使う語彙を増やす。申し出の表現を学ぶ。テーマに関するreadingとwriting活動を行う。
 第13回：Free talk (1)：Travel smart!, All about home, What was happening? のタスクを行い、それらに関する語彙を増やし、readingとwriting活動を行う。
 第14回：Free talk (2)：Which is better?, What's different?, I might do that. のタスクを行い、それらに関する語彙を増やし、readingとwriting活動を行う。
 第15回：本授業のまとめと復習を行う。

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

毎回の授業では、事前学習として、課題の解答が求められる。この事前学習と復習を合わせて、約1.5時間の学習が必要である。

課題に対するフィードバックの方法

授業内での課題については、授業内に、その他の課題やレポートについては、Google Classroom等を用いてフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

課題、クイズ、レポート内容などにより総合的に評価する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	授業での発表、発言	1, 2, 3
授業外での評価	30	課題	1, 2, 3

定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	レポート	1, 2, 3
その他	0		
テキスト	プリントを配布する。		
参考書	必要に応じて授業の中で紹介する。		
履修条件・他の科目との関連	前期にFour Skills in English Iを受講していることが望ましい。 授業を欠席した場合は、その回のハンドアウトを次回に渡す。		

授業コード	13085651	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Four Skills in English II [対面]				
シラバス執筆(全員)	A. E. リオン				
シラバス執筆(主)	A. E. リオン				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this class, you will develop your English reading, writing, listening, and speaking skills. You will do activities that integrate the four skills with grammar, vocabulary, and pronunciation study to improve your overall English ability. Class time will be devoted to working on linked skills tasks with specific focus given to extensive reading and English Central vocabulary study tasks. The course focuses heavily on group work and you are expected to take responsibility for your own success as well as the success of your group.

The class involves regular individual counseling sessions with the professor. During these sessions, you will be asked to proactively demonstrate what you have been studying and make plans of action to improve. The counseling sessions will also be a time to think about future goals. You will develop writing and speaking skills through projects related to your personal goals and interests (especially related to goals for English study abroad and volunteering).

Several class meetings may be used to hold joint events such as orientations, presentations, explanations of study abroad programs, etc. The TOEIC-IP Test will be held during this period.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Use classroom technology effectively, including Google Classroom, English Central, and Moodle Reader
2. Meet weekly completion targets for English Central study
3. Meet Extensive Reading goals (including Moodle quizzes and reflection/discussion activities)
4. Complete regular Language Lab missions and form a regular study group

授業計画

【第1回】

テーマ: Joint Orientation

内容・方法: Explanation of course goals and classroom technology (Google Classroom, English Central, Extensive Reading assignments)

【第2回】

テーマ: Reading Skills

内容・方法: Counseling workbook, LL Missions, Extensive Reading

【第3回】

テーマ: Reading Skills

内容・方法: Counseling workbook, Extensive Reading, English Central Study

【第4回】

テーマ: Vocabulary

内容・方法: Counseling workbook, LL Missions, Extensive Reading

【第5回】

テーマ: Vocabulary

内容・方法: Counseling workbook, Extensive Reading, English Central Study, Individual counseling sessions

【第6回】

テーマ: Speaking Skills

内容・方法: Counseling workbook, LL Missions, Extensive Reading

【第7回】

テーマ: Speaking Skills

内容・方法: Vocabulary Quiz 1. Extensive Reading & English Central grade deadline. Counseling workbook, Individual counseling sessions

【第8回】

テーマ: Midterm Reflection, Senior talk

内容・方法: IEP 2nd or 3rd year presentation about volunteer & internship opportunities, reflection assignment & grade check

【第9回】

テーマ: Writing Skills

内容・方法: Counseling workbook, LL Missions, Extensive Reading

【第10回】

テーマ: Writing Skills

内容・方法: Counseling workbook, Extensive Reading, English Central Study, Individual counseling sessions

【第11回】

テーマ : Listening Skills

内容・方法 : Counseling workbook, LL Missions, Extensive Reading

【第12回】

テーマ : Listening Skills

内容・方法 : Counseling workbook, Extensive Reading, English Central Study, Individual counseling sessions

【第13回】

テーマ : Grammar study

内容・方法 : Counseling workbook, LL Missions, Extensive Reading

【第14回】

テーマ : Joint Class (This class will be used to hold the TOEIC-IP Test)

内容・方法 : TOEIC-IP Test

【第15回】

テーマ : Final Presentation & Year Review

内容・方法 : Vocabulary Quiz 2, students share their final project presentation

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a 1-credit (1単位) course, which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題 : None

事後学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

【第2回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第3回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第4回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第5回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第6回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第7回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第8回】

事前学修課題 : English Central, Prepare for Joint Class

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments, midterm reflection assignment

【第9回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第10回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第11回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第12回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第13回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第14回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第15回】

事前学修課題 : Review, final reflection assignment

事後学修課題 : Personal Goals for Spring Vacation

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed as homework, course completion goals (English Central and Extensive Reading). Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse will not pass the course (see attendance policy below).

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Please contact your individual instructor for information about coursework and grading policy.

Active participation & group work (20%)

Vocabulary Quizzes (10%)

Counseling reports (10%)

English Central assignments (20%)

Extensive reading assignments (20%)

Final Report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	40	Active participation & group work (20), Vocabulary Quizzes (10), Counseling reports (10)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	40	English Central assignments (20), Extensive reading assignments (20)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final Report	1, 2, 3, 4
その他	0		

テキスト	Handouts provided by instructor
------	---------------------------------

参考書	Provided by the instructor as necessary
-----	---

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13085652	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Four Skills in English II [対面]				
シラバス執筆(全員)	S. ハティング				
シラバス執筆(主)	S. ハティング				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this class, you will develop your English reading, writing, listening, and speaking skills. You will do activities that integrate the four skills with grammar, vocabulary, and pronunciation study to improve your overall English ability. Class time will be devoted to working on linked skills tasks with specific focus given to extensive reading and English Central vocabulary study tasks. The course focuses heavily on group work and you are expected to take responsibility for your own success as well as the success of your group.

The class involves regular individual counseling sessions with the professor. During these sessions, you will be asked to proactively demonstrate what you have been studying and make plans of action to improve. The counseling sessions will also be a time to think about future goals. You will develop writing and speaking skills through projects related to your personal goals and interests (especially related to goals for English study abroad and volunteering).

Several class meetings may be used to hold joint events such as orientations, presentations, explanations of study abroad programs, etc. The TOEIC-IP Test will be held during this period.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Use classroom technology effectively, including Google Classroom, English Central, and Moodle Reader
2. Meet weekly completion targets for English Central study
3. Meet Extensive Reading goals (including Moodle quizzes and reflection/discussion activities)
4. Complete regular Language Lab missions and form a regular study group

授業計画

- 【第1回】
 テーマ: Joint Orientation
 内容・方法: Explanation of course goals and classroom technology (Google Classroom, English Central, Extensive Reading assignments)
- 【第2回】
 テーマ: Reading Skills
 内容・方法: Counseling workbook, LL Missions, Extensive Reading
- 【第3回】
 テーマ: Reading Skills
 内容・方法: Counseling workbook, Extensive Reading, English Central Study
- 【第4回】
 テーマ: Vocabulary
 内容・方法: Counseling workbook, LL Missions, Extensive Reading
- 【第5回】
 テーマ: Vocabulary
 内容・方法: Counseling workbook, Extensive Reading, English Central Study, Individual counseling sessions
- 【第6回】
 テーマ: Speaking Skills
 内容・方法: Counseling workbook, LL Missions, Extensive Reading
- 【第7回】
 テーマ: Speaking Skills
 内容・方法: Vocabulary Quiz 1. Extensive Reading & English Central grade deadline. Counseling workbook, Individual counseling sessions
- 【第8回】
 テーマ: Midterm Reflection, Senior talk
 内容・方法: IEP 2nd or 3rd year presentation about volunteer & internship opportunities, reflection assignment & grade check
- 【第9回】
 テーマ: Writing Skills
 内容・方法: Counseling workbook, LL Missions, Extensive Reading
- 【第10回】
 テーマ: Writing Skills
 内容・方法: Counseling workbook, Extensive Reading, English Central Study, Individual counseling sessions
- 【第11回】

テーマ : Listening Skills

内容・方法 : Counseling workbook, LL Missions, Extensive Reading

【第12回】

テーマ : Listening Skills

内容・方法 : Counseling workbook, Extensive Reading, English Central Study, Individual counseling sessions

【第13回】

テーマ : Grammar study

内容・方法 : Counseling workbook, LL Missions, Extensive Reading

【第14回】

テーマ : Joint Class (This class will be used to hold the TOEIC-IP Test)

内容・方法 : TOEIC-IP Test

【第15回】

テーマ : Final Presentation & Year Review

内容・方法 : Vocabulary Quiz 2, students share their final project presentation

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a 1-credit (1単位) course, which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題 : None

事後学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

【第2回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第3回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第4回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第5回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第6回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第7回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第8回】

事前学修課題 : English Central, Prepare for Joint Class

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments, midterm reflection assignment

【第9回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第10回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第11回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第12回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第13回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第14回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第15回】

事前学修課題 : Review, final reflection assignment

事後学修課題 : Personal Goals for Spring Vacation

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed as homework, course completion goals (English Central and Extensive Reading). Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse will not pass the course (see attendance policy below).

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Please contact your individual instructor for information about coursework and grading policy.

Active participation & group work (20%)

Vocabulary Quizzes (10%)

Counseling reports (10%)

English Central assignments (20%)

Extensive reading assignments (20%)

Final Report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	40	Active participation & group work (20), Vocabulary Quizzes (10), Counseling reports (10)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	40	English Central assignments (20), Extensive reading assignments (20)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final Report	1, 2, 3, 4
その他	0		

テキスト	Handouts provided by instructor
------	---------------------------------

参考書	Provided by the instructor as necessary
-----	---

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13103501	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Listening I [対面]				
シラバス執筆(全員)	T. ピート				
シラバス執筆(主)	T. ピート				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course you will develop your listening skills. To improve this language skill, you must learn to listen for specific facts, details, and reasons, as well as learn to understand how speakers show interest and understanding. There will be many listening assignments in class and for homework. As strong vocabulary is also necessary for good listening, this course includes vocabulary building. Particular attention is paid to strategy development for listening during testing situations and in academic settings, as well as differentiating specific sounds of English. Course information and homework assignments will be on Google Classroom.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to...

1. Learn a variety of listening strategies for general comprehension of conversations about everyday themes
2. Apply listening strategies to other contexts
3. Practice bottom-up skills through pronunciation, intonation, and dictation exercises
4. Improve grammar and vocabulary for listening

授業計画

- 【第1回】
 テーマ： Unit 1 & Course Introduction. Google Class registration and explanation.
 内容・方法： “The Weekend” : Listening and conversation practice
- 【第2回】
 テーマ： Unit 2
 内容・方法： “City Transportation” : Listening and conversation practice
- 【第3回】
 テーマ： Unit 3
 内容・方法： “Neighbors” : Listening and conversation practice
- 【第4回】
 テーマ： Unit 4
 内容・方法： “Celebrations” : Listening and conversation practice
- 【第5回】
 テーマ： Evaluation 1: Units 1-4
 内容・方法： Chapter review test.
- 【第6回】
 テーマ： Unit 5
 内容・方法： “Restaurants” : Listening and conversation practice
- 【第7回】
 テーマ： Unit 6
 内容・方法： “Gifts” : Listening and conversation practice
- 【第8回】
 テーマ： Unit 7
 内容・方法： “Air Travel” : Listening and conversation practice
- 【第9回】
 テーマ： Unit 8
 内容・方法： “Mishaps” : Listening and conversation practice
- 【第10回】
 テーマ： Evaluation 2: Units 5-8
 内容・方法： Chapter review test.
- 【第11回】
 テーマ： Unit 9
 内容・方法： “Jobs” : Listening and conversation practice
- 【第12回】
 テーマ： Unit 10
 内容・方法： “Keeping Fit” : Listening and conversation practice
- 【第13回】
 テーマ： Unit 11
 内容・方法： “Invitations” : Listening and conversation practice
- 【第14回】
 テーマ： Unit 12
 内容・方法： “Campus Life” : Listening and conversation practice
- 【第15回】
 テーマ： Evaluation 3: Units 9-12

内容・方法： Chapter review test.
Final Evaluation explanation.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

- 【第1回】
事前学修課題： Review the syllabus. Purchase the textbook.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第2回】
事前学修課題： Read Unit 2 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第3回】
事前学修課題： Read Unit 3 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第4回】
事前学修課題： Read Unit 4 and check word meanings.
事後学修課題： Review chapters 1-4
- 【第5回】
事前学修課題： Prepare for Evaluation 1
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第6回】
事前学修課題： Read Unit 5 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第7回】
事前学修課題： Read Unit 6 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第8回】
事前学修課題： Read Unit 7 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第9回】
事前学修課題： Read Unit 8 and check word meanings.
事後学修課題： Review chapters 5-8
- 【第10回】
事前学修課題： Prepare for Evaluation 2
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第11回】
事前学修課題： Read Unit 9 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第12回】
事前学修課題： Read Unit 10 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments
- 【第13回】
事前学修課題： Read Unit 11 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第14回】
事前学修課題： Read Unit 12 and check word meanings.
事後学修課題： Review chapters 9-12
- 【第15回】
事前学修課題： Prepare for Evaluation 3
事後学修課題： Prepare for Final Evaluation

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

Active participation in class (10%)
Vocabulary and Dictation quizzes (10%),
Semester evaluations (30%)
Homework assignments (20%)
Self-study units (10%)
Final evaluation exam (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Active participation in class (10%), vocabulary and	1, 3

		dictation quizzes (10%) and semester evaluations (30%)	
授業外での評価	30	Homework assignments (20%) and self-study units (10%)	2, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final evaluation exam (20%)	1, 3, 4
その他	0	none	

テキスト	Tactics for Listening Developing Student Book, Third Edition: Jack C Richards with Grant Trew; 2011, (Oxford University Press) ISBN: 978-0-19-401385-7		
------	--	--	--

参考書	none		
-----	------	--	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>		
---------------	--	--	--

授業コード	13103502	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Listening I [対面]				
シラバス執筆(全員)	G. S. ジョン=バプティースト				
シラバス執筆(主)	G. S. ジョン=バプティースト				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course you will develop your listening skills. To improve this language skill, you must learn to listen for specific facts, details, and reasons, as well as learn to understand how speakers show interest and understanding. There will be many listening assignments in class and for homework. As strong vocabulary is also necessary for good listening, this course includes vocabulary building. Particular attention is paid to strategy development for listening during testing situations and in academic settings, as well as differentiating specific sounds of English. Course information and homework assignments will be on Google Classroom.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to...

1. Learn a variety of listening strategies for general comprehension of conversations about everyday themes
2. Apply listening strategies to other contexts
3. Practice bottom-up skills through pronunciation, intonation, and dictation exercises
4. Improve grammar and vocabulary for listening

授業計画

- 【第1回】
 テーマ： Unit 1 & Course Introduction. Google Class registration and explanation.
 内容・方法： “The Weekend” : Listening and conversation practice
- 【第2回】
 テーマ： Unit 2
 内容・方法： “City Transportation” : Listening and conversation practice
- 【第3回】
 テーマ： Unit 3
 内容・方法： “Neighbors” : Listening and conversation practice
- 【第4回】
 テーマ： Unit 4
 内容・方法： “Celebrations” : Listening and conversation practice
- 【第5回】
 テーマ： Evaluation 1: Units 1-4
 内容・方法： Chapter review test.
- 【第6回】
 テーマ： Unit 5
 内容・方法： “Restaurants” : Listening and conversation practice
- 【第7回】
 テーマ： Unit 6
 内容・方法： “Gifts” : Listening and conversation practice
- 【第8回】
 テーマ： Unit 7
 内容・方法： “Air Travel” : Listening and conversation practice
- 【第9回】
 テーマ： Unit 8
 内容・方法： “Mishaps” : Listening and conversation practice
- 【第10回】
 テーマ： Evaluation 2: Units 5-8
 内容・方法： Chapter review test.
- 【第11回】
 テーマ： Unit 9
 内容・方法： “Jobs” : Listening and conversation practice
- 【第12回】
 テーマ： Unit 10
 内容・方法： “Keeping Fit” : Listening and conversation practice
- 【第13回】
 テーマ： Unit 11
 内容・方法： “Invitations” : Listening and conversation practice
- 【第14回】
 テーマ： Unit 12
 内容・方法： “Campus Life” : Listening and conversation practice
- 【第15回】
 テーマ： Evaluation 3: Units 9-12

内容・方法： Chapter review test.
Final Evaluation explanation.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

- 【第1回】
事前学修課題： Review the syllabus. Purchase the textbook.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第2回】
事前学修課題： Read Unit 2 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第3回】
事前学修課題： Read Unit 3 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第4回】
事前学修課題： Read Unit 4 and check word meanings.
事後学修課題： Review chapters 1-4
- 【第5回】
事前学修課題： Prepare for Evaluation 1
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第6回】
事前学修課題： Read Unit 5 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第7回】
事前学修課題： Read Unit 6 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第8回】
事前学修課題： Read Unit 7 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第9回】
事前学修課題： Read Unit 8 and check word meanings.
事後学修課題： Review chapters 5-8
- 【第10回】
事前学修課題： Prepare for Evaluation 2
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第11回】
事前学修課題： Read Unit 9 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第12回】
事前学修課題： Read Unit 10 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments
- 【第13回】
事前学修課題： Read Unit 11 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第14回】
事前学修課題： Read Unit 12 and check word meanings.
事後学修課題： Review chapters 9-12
- 【第15回】
事前学修課題： Prepare for Evaluation 3
事後学修課題： Prepare for Final Evaluation

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

Active participation in class (10%)
Vocabulary and Dictation quizzes (10%),
Semester evaluations (30%)
Homework assignments (20%)
Self-study units (10%)
Final evaluation exam (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Active participation in class (10%), vocabulary and	1, 3

		dictation quizzes (10%) and semester evaluations (30%)	
授業外での評価	30	Homework assignments (20%) and self-study units (10%)	2, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final evaluation exam (20%)	1, 3, 4
その他	0	none	

テキスト	Tactics for Listening Developing Student Book, Third Edition: Jack C Richards with Grant Trew; 2011, (Oxford University Press) ISBN: 978-0-19-401385-7
------	--

参考書	none
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13103551	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Listening I [対面]				
シラバス執筆(全員)	O. J. クロー				
シラバス執筆(主)	O. J. クロー				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course you will develop your listening skills. To improve this language skill, you must learn to listen for specific facts, details, and reasons, as well as learn to understand how speakers show interest and understanding. There will be many listening assignments in class and for homework. As strong vocabulary is also necessary for good listening, this course includes vocabulary building. Particular attention is paid to strategy development for listening during testing situations and in academic settings, as well as differentiating specific sounds of English. In class, we will focus on:

- Predicting what you will hear from pictures / context
- Listening for general understanding
- Listening for details
- Making inferences about speaker mood & intention
- Applying listening strategies to TOEIC Test question types
- Identify linking, contraction, intonation patterns introduced in the textbook
- Analyze vowel sounds using English Central, song lyrics, and videos

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to...

1. Learn top-down listening strategies for general comprehension of conversations about everyday themes.
2. Build bottom-up listening skills through pronunciation, intonation, and dictation practice
3. Improve note-taking skills for lectures and videos
4. Learn vocabulary items and phrases from each unit

授業計画

- 【第1回】
 テーマ： Unit 1
 内容・方法： Course orientation and explanation of grading policy and assignments; Unit 1 activities and homework explanation
- 【第2回】
 テーマ： Unit 2
 内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation
- 【第3回】
 テーマ： Unit 3
 内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation; Vocab/Dictation Quiz 1
- 【第4回】
 テーマ： Unit 4
 内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation; English Central study
- 【第5回】
 テーマ： Evaluation Units 1-4
 内容・方法： Evaluation based on Units 1 - 4; listening through music activity
- 【第6回】
 テーマ： Unit 5
 内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation
- 【第7回】
 テーマ： Unit 6
 内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation
- 【第8回】
 テーマ： Unit 7
 内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation; Vocab/Dictation Quiz 2
- 【第9回】
 テーマ： Unit 8
 内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation; English Central study
- 【第10回】；
 テーマ： Evaluation Units 5-8
 内容・方法： Evaluation based on Units 5 - 8; Tactics for Test Taking; listening through music activity
- 【第11回】
 テーマ： Unit 9
 内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation
- 【第12回】
 テーマ： Unit 10

内容・方法 : Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation

【第13回】

テーマ : Unit 11

内容・方法 : Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation: Vocab/Dictation Quiz 3

【第14回】

テーマ : Unit 12

内容・方法 : Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation: listening study through music presentations

【第15回】

テーマ : Final evaluation

内容・方法 : Final evaluation conducted in class: Explanation of final reflection report

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a 1-credit (1単位) course, which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題 : None

事後学修課題 : English Central and Vocabulary Preview HW assignments

【第2回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第3回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview. Study for Vocab/Dictation Quiz 1

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第4回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第5回】

事前学修課題 : Study for Evaluation (Units 1-4)

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第6回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第7回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第8回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview. Study for Vocab/Dictation Quiz 2

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第9回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第10回】

事前学修課題 : Study for Evaluation (units 5-8)

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第11回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第12回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第13回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview. Study for Vocab/Dictation Quiz 3

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第14回】

事前学修課題 : Prepare for listening through music presentation

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第15回】

事前学修課題 : Study for Evaluation (units 9-12)

事後学修課題 : English Central and final reflection report

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments

completed outside of class, and unit evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course if they comply with the attendance policy (see below).

Grade Breakdown:

Active participation (10%)

Midterm evaluations & Quizzes (40%)

Homework assignments & English Central (30%)

Final Evaluation Report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Active participation (10), Midterm evaluations & Quizzes (40)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	30	Homework assignments & English Central (30)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final Evaluation (20)	1, 2, 3, 4
その他	0		

テキスト	Tactics for Listening Expanding Student Book Third Edition: Jack C Richards with Grant Trew; 2011 (Oxford University Press) ISBN: 978-0-19-401386-4
------	---

参考書	None.
-----	-------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13103552	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Listening I [対面]				
シラバス執筆(全員)	A. E. リオン				
シラバス執筆(主)	A. E. リオン				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course you will develop your listening skills. To improve this language skill, you must learn to listen for specific facts, details, and reasons, as well as learn to understand how speakers show interest and understanding. There will be many listening assignments in class and for homework. As strong vocabulary is also necessary for good listening, this course includes vocabulary building. Particular attention is paid to strategy development for listening during testing situations and in academic settings, as well as differentiating specific sounds of English. In class, we will focus on:

- Predicting what you will hear from pictures / context
- Listening for general understanding
- Listening for details
- Making inferences about speaker mood & intention
- Applying listening strategies to TOEIC Test question types
- Identify linking, contraction, intonation patterns introduced in the textbook
- Analyze vowel sounds using English Central, song lyrics, and videos

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to...

1. Learn top-down listening strategies for general comprehension of conversations about everyday themes.
2. Build bottom-up listening skills through pronunciation, intonation, and dictation practice
3. Improve note-taking skills for lectures and videos
4. Learn vocabulary items and phrases from each unit

授業計画

- 【第1回】
テーマ：Unit 1
内容・方法：Course orientation and explanation of grading policy and assignments; Unit 1 activities and homework explanation
- 【第2回】
テーマ：Unit 2
内容・方法：Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation
- 【第3回】
テーマ：Unit 3
内容・方法：Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation; Vocab/Dictation Quiz 1
- 【第4回】
テーマ：Unit 4
内容・方法：Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation; English Central study
- 【第5回】
テーマ：Evaluation Units 1-4
内容・方法：Evaluation based on Units 1 - 4; listening through music activity
- 【第6回】
テーマ：Unit 5
内容・方法：Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation
- 【第7回】
テーマ：Unit 6
内容・方法：Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation
- 【第8回】
テーマ：Unit 7
内容・方法：Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation; Vocab/Dictation Quiz 2
- 【第9回】
テーマ：Unit 8
内容・方法：Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation; English Central study
- 【第10回】；
テーマ：Evaluation Units 5-8
内容・方法：Evaluation based on Units 5 - 8; Tactics for Test Taking; listening through music activity
- 【第11回】
テーマ：Unit 9
内容・方法：Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation
- 【第12回】
テーマ：Unit 10

内容・方法 : Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation

【第13回】

テーマ : Unit 11

内容・方法 : Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation: Vocab/Dictation Quiz 3

【第14回】

テーマ : Unit 12

内容・方法 : Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation: listening study through music presentations

【第15回】

テーマ : Final evaluation

内容・方法 : Final evaluation conducted in class: Explanation of final reflection report

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a 1-credit (1単位) course, which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題 : None

事後学修課題 : English Central and Vocabulary Preview HW assignments

【第2回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第3回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview. Study for Vocab/Dictation Quiz 1

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第4回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第5回】

事前学修課題 : Study for Evaluation (Units 1-4)

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第6回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第7回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第8回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview. Study for Vocab/Dictation Quiz 2

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第9回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第10回】

事前学修課題 : Study for Evaluation (units 5-8)

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第11回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第12回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第13回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview. Study for Vocab/Dictation Quiz 3

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第14回】

事前学修課題 : Prepare for listening through music presentation

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第15回】

事前学修課題 : Study for Evaluation (units 9-12)

事後学修課題 : English Central and final reflection report

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments

completed outside of class, and unit evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course if they comply with the attendance policy (see below).

Grade Breakdown:

Active participation (10%)

Midterm evaluations & Quizzes (40%)

Homework assignments & English Central (30%)

Final Evaluation Report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Active participation (10), Midterm evaluations & Quizzes (40)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	30	Homework assignments & English Central (30)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final Evaluation (20)	1, 2, 3, 4
その他	0		

テキスト	Tactics for Listening Expanding Student Book Third Edition: Jack C Richards with Grant Trew; 2011 (Oxford University Press) ISBN: 978-0-19-401386-4
------	---

参考書	None.
-----	-------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13103601	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Listening II [対面]				
シラバス執筆(全員)	T. ピート				
シラバス執筆(主)	T. ピート				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course you will develop your listening skills. To improve this language skill, you must learn to listen for specific facts, details, and reasons, as well as learn to understand how speakers show interest and understanding. There will be many listening assignments in class and for homework. As strong vocabulary is also necessary for good listening, this course includes vocabulary building. Particular attention is paid to strategy development for listening during testing situations and in academic settings, as well as differentiating specific sounds of English. Course information and homework assignments will be on Google Classroom.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to...

1. Learn a variety of listening strategies for general comprehension of conversations about everyday themes
2. Apply listening strategies to other contexts
3. Practice bottom-up skills through pronunciation, intonation, and dictation exercises
4. Improve grammar and vocabulary for listening

授業計画

- 【第1回】
 テーマ： Unit 13 & Course Introduction.
 内容・方法：“Hobbies and Pastimes”：Listening and conversation practice
- 【第2回】
 テーマ： Unit 14
 内容・方法：“Shopping Problems”：Listening and conversation practice
- 【第3回】
 テーマ： Unit 15
 内容・方法：“Hotel Services”：Listening and conversation practice
- 【第4回】
 テーマ： Unit 16
 内容・方法：“Movies”：Listening and conversation practice
- 【第5回】
 テーマ： Evaluation 1: Units 13-16
 内容・方法：Chapter review test.
- 【第6回】
 テーマ： Unit 17
 内容・方法：“Fears”：Listening and conversation practice
- 【第7回】
 テーマ： Unit 18
 内容・方法：“Phone Messages”：Listening and conversation practice
- 【第8回】
 テーマ： Unit 19
 内容・方法：“Touring a City”：Listening and conversation practice
- 【第9回】
 テーマ： Unit 20
 内容・方法：“Airports”：Listening and conversation practice
- 【第10回】
 テーマ： Evaluation 2: Units 17-20
 内容・方法：Chapter review test.
- 【第11回】
 テーマ： Unit 21
 内容・方法：“Hotels”：Listening and conversation practice
- 【第12回】
 テーマ： Unit 22
 内容・方法：“Traffic”：Listening and conversation practice
- 【第13回】
 テーマ： Unit 23
 内容・方法：“Roommates”：Listening and conversation practice
- 【第14回】
 テーマ： Unit 24
 内容・方法：“Travel”：Listening and conversation practice
- 【第15回】
 テーマ： Evaluation 3: Units 21-24

内容・方法： Chapter review test.
Final Evaluation explanation.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

- 【第1回】
事前学修課題： Review the syllabus. Purchase the textbook.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第2回】
事前学修課題： Read Unit 14 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第3回】
事前学修課題： Read Unit 15 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第4回】
事前学修課題： Read Unit 16 and check word meanings.
事後学修課題： Review chapters 13-16
- 【第5回】
事前学修課題： Prepare for Evaluation 1
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第6回】
事前学修課題： Read Unit 17 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第7回】
事前学修課題： Read Unit 18 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第8回】
事前学修課題： Read Unit 19 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第9回】
事前学修課題： Read Unit 20 and check word meanings.
事後学修課題： Review chapters 17-20
- 【第10回】
事前学修課題： Prepare for Evaluation 2
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第11回】
事前学修課題： Read Unit 21 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第12回】
事前学修課題： Read Unit 22 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments
- 【第13回】
事前学修課題： Read Unit 23 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第14回】
事前学修課題： Read Unit 24 and check word meanings.
事後学修課題： Review chapters 21-24
- 【第15回】
事前学修課題： Prepare for Evaluation 3
事後学修課題： Prepare for Final Evaluation

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

Active participation in class (10%)
Vocabulary and Dictation quizzes (10%),
Semester evaluations (30%)
Homework assignments (20%)
Self-study units (10%)
Final evaluation exam (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Active participation in class (10%), vocabulary and	1, 3

		dictation quizzes (10%) and semester evaluations (30%)	
授業外での評価	30	Homework assignments (20%) and self-study units (10%)	2, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final evaluation exam (20%)	1, 3, 4
その他	0	none	

テキスト	Tactics for Listening Developing Student Book, Third Edition: Jack C Richards with Grant Trew; 2011, (Oxford University Press) ISBN: 978-0-19-401385-7		
------	--	--	--

参考書	none		
-----	------	--	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>		
---------------	--	--	--

授業コード	13103602	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Listening II [対面]				
シラバス執筆(全員)	G. S. ジョン=バプティースト				
シラバス執筆(主)	G. S. ジョン=バプティースト				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course you will develop your listening skills. To improve this language skill, you must learn to listen for specific facts, details, and reasons, as well as learn to understand how speakers show interest and understanding. There will be many listening assignments in class and for homework. As strong vocabulary is also necessary for good listening, this course includes vocabulary building. Particular attention is paid to strategy development for listening during testing situations and in academic settings, as well as differentiating specific sounds of English. In class, we will focus on:

- Predicting what you will hear from pictures / context
- Listening for general understanding
- Listening for details
- Making inferences about speaker mood & intention
- Applying listening strategies to TOEIC Test question types
- Identify linking, contraction, intonation patterns introduced in the textbook
- Analyze vowel sounds using English Central, song lyrics, and videos

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to...

1. Learn top-down listening strategies for general comprehension of conversations about everyday themes.
2. Build bottom-up listening skills through pronunciation, intonation, and dictation practice
3. Improve note-taking skills for lectures and videos
4. Learn vocabulary items and phrases from each unit

授業計画

- 【第1回】
 テーマ： Unit 13
 内容・方法： Course orientation and explanation of grading policy and assignments. Unit 13 activities.
- 【第2回】
 テーマ： Unit 14
 内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation.
- 【第3回】
 テーマ： Unit 15
 内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation. Vocab/Dictation Quiz 1.
- 【第4回】
 テーマ： Unit 16
 内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation. English Central study.
- 【第5回】
 テーマ： Evaluation Units 13-16
 内容・方法： Evaluation based on Units 13 - 16, listening through music activity.
- 【第6回】
 テーマ： Unit 17
 内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation.
- 【第7回】
 テーマ： Unit 18
 内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation.
- 【第8回】
 テーマ： Unit 19
 内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation. Vocab/Dictation Quiz 2.
- 【第9回】
 テーマ： Unit 20
 内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation. English Central study.
- 【第10回】
 テーマ： Evaluation Units 17-20
 内容・方法： Evaluation based on Units 17-20. Listening through music activity.
- 【第11回】
 テーマ： Unit 21
 内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation.
- 【第12回】
 テーマ： Unit 22
 内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation. English Central study.
- 【第13回】

テーマ : Unit 23

内容・方法 : Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation. Vocab/Dictation Quiz 3

【第14回】

テーマ : Unit 24

内容・方法 : Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation. Final Listening through music presentations.

【第15回】

テーマ : Evaluation Units 21-24

内容・方法 : Evaluation based on Units 21-24, Final Listening through music presentations.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

事前学修課題 : None

事後学修課題 : English Central and Vocabulary Preview HW assignments

【第2回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第3回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview. Study for Vocab/Dictation Quiz 1

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第4回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第5回】

事前学修課題 : Study for Evaluation (Units 13-16)

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第6回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第7回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第8回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview. Study for Vocab/Dictation Quiz 2

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第9回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第10回】

事前学修課題 : Study for Evaluation (units 17-20)

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第11回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第12回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第13回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview. Study for Vocab/Dictation Quiz 3

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第14回】

事前学修課題 : Prepare for listening through music presentation

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第15回】

事前学修課題 : Study for Evaluation (units 21-24)

事後学修課題 : English Central and Final Report

課題に対するフィードバックの方法

Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed outside of class, and unit evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course if they comply with the attendance policy (see below).

Grade Breakdown:

Active participation (10%)

Vocab / Dictation Quizzes (15%)
 Midterm Evaluations (30%)
 Homework assignments (15%)
 English Central course completion (10%)
 Final Evaluation Report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	55	Active Participation (10), Vocab / Dictation quizzes (15), Midterm unit evaluations (30)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	25	Homework assignments (15), English Central course completion (10)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final Evaluation (20)	1, 2, 3, 4
その他	0		

テキスト	Tactics for Listening Expanding Student Book Third Edition: Jack C Richards with Grant Trew; 2011 (Oxford University Press) ISBN: 978-0-19-401386-4
------	---

参考書	None.
-----	-------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	---

授業コード	13103651	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Listening II [対面]				
シラバス執筆(全員)	O. J. クロー				
シラバス執筆(主)	O. J. クロー				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course you will develop your listening skills. To improve this language skill, you must learn to listen for specific facts, details, and reasons, as well as learn to understand how speakers show interest and understanding. There will be many listening assignments in class and for homework. As strong vocabulary is also necessary for good listening, this course includes vocabulary building. Particular attention is paid to strategy development for listening during testing situations and in academic settings, as well as differentiating specific sounds of English. In class, we will focus on:

- Predicting what you will hear from pictures / context
- Listening for general understanding
- Listening for details
- Making inferences about speaker mood & intention
- Applying listening strategies to TOEIC Test question types
- Identify linking, contraction, intonation patterns introduced in the textbook
- Analyze vowel sounds using English Central, song lyrics, and videos

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to...

1. Learn top-down listening strategies for general comprehension of conversations about everyday themes.
2. Build bottom-up listening skills through pronunciation, intonation, and dictation practice
3. Improve note-taking skills for lectures and videos
4. Learn vocabulary items and phrases from each unit

授業計画

- 【第1回】
テーマ： Unit 13
内容・方法： Course orientation and explanation of grading policy and assignments. Unit 13 activities.
- 【第2回】
テーマ： Unit 14
内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation.
- 【第3回】
テーマ： Unit 15
内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation. Vocab/Dictation Quiz 1.
- 【第4回】
テーマ： Unit 16
内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation. English Central study.
- 【第5回】
テーマ： Evaluation Units 13-16
内容・方法： Evaluation based on Units 13 - 16, listening through music activity.
- 【第6回】
テーマ： Unit 17
内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation.
- 【第7回】
テーマ： Unit 18
内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation.
- 【第8回】
テーマ： Unit 19
内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation. Vocab/Dictation Quiz 2.
- 【第9回】
テーマ： Unit 20
内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation. English Central study.
- 【第10回】
テーマ： Evaluation Units 17-20
内容・方法： Evaluation based on Units 17-20. Listening through music activity.
- 【第11回】
テーマ： Unit 21
内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation.
- 【第12回】
テーマ： Unit 22
内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation. English Central study.
- 【第13回】

テーマ : Unit 23

内容・方法 : Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation. Vocab/Dictation Quiz 3

【第14回】

テーマ : Unit 24

内容・方法 : Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation. Final Listening through music presentations.

【第15回】

テーマ : Evaluation Units 21-24

内容・方法 : Evaluation based on Units 21-24, Final Listening through music presentations.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

事前学修課題 : None

事後学修課題 : English Central and Vocabulary Preview HW assignments

【第2回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第3回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview. Study for Vocab/Dictation Quiz 1

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第4回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第5回】

事前学修課題 : Study for Evaluation (Units 13-16)

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第6回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第7回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第8回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview. Study for Vocab/Dictation Quiz 2

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第9回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第10回】

事前学修課題 : Study for Evaluation (units 17-20)

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第11回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第12回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第13回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview. Study for Vocab/Dictation Quiz 3

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第14回】

事前学修課題 : Prepare for listening through music presentation

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第15回】

事前学修課題 : Study for Evaluation (units 21-24)

事後学修課題 : English Central and Final Report

課題に対するフィードバックの方法

Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed outside of class, and unit evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course if they comply with the attendance policy (see below).

Grade Breakdown:

Active participation (10%)

Midterm evaluations & Quizzes (40%)
 Homework assignments & English Central (30%)
 Final Evaluation Report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Active participation (10%) Midterm evaluations & Quizzes (40%)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	30	Homework assignments & English Central (30%)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final Evaluation (20)	1, 2, 3, 4
その他	0		

テキスト	Tactics for Listening Expanding Student Book Third Edition: Jack C Richards with Grant Trew; 2011 (Oxford University Press) ISBN: 978-0-19-401386-4
------	---

参考書	None.
-----	-------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13103652	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Listening II [対面]				
シラバス執筆(全員)	A. E. リオン				
シラバス執筆(主)	A. E. リオン				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course you will develop your listening skills. To improve this language skill, you must learn to listen for specific facts, details, and reasons, as well as learn to understand how speakers show interest and understanding. There will be many listening assignments in class and for homework. As strong vocabulary is also necessary for good listening, this course includes vocabulary building. Particular attention is paid to strategy development for listening during testing situations and in academic settings, as well as differentiating specific sounds of English. In class, we will focus on:

- Predicting what you will hear from pictures / context
- Listening for general understanding
- Listening for details
- Making inferences about speaker mood & intention
- Applying listening strategies to TOEIC Test question types
- Identify linking, contraction, intonation patterns introduced in the textbook
- Analyze vowel sounds using English Central, song lyrics, and videos

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to...

1. Learn top-down listening strategies for general comprehension of conversations about everyday themes.
2. Build bottom-up listening skills through pronunciation, intonation, and dictation practice
3. Improve note-taking skills for lectures and videos
4. Learn vocabulary items and phrases from each unit

授業計画

- 【第1回】
テーマ： Unit 13
内容・方法： Course orientation and explanation of grading policy and assignments. Unit 13 activities.
- 【第2回】
テーマ： Unit 14
内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation.
- 【第3回】
テーマ： Unit 15
内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation. Vocab/Dictation Quiz 1.
- 【第4回】
テーマ： Unit 16
内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation. English Central study.
- 【第5回】
テーマ： Evaluation Units 13-16
内容・方法： Evaluation based on Units 13 - 16, listening through music activity.
- 【第6回】
テーマ： Unit 17
内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation.
- 【第7回】
テーマ： Unit 18
内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation.
- 【第8回】
テーマ： Unit 19
内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation. Vocab/Dictation Quiz 2.
- 【第9回】
テーマ： Unit 20
内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation. English Central study.
- 【第10回】
テーマ： Evaluation Units 17-20
内容・方法： Evaluation based on Units 17-20. Listening through music activity.
- 【第11回】
テーマ： Unit 21
内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation.
- 【第12回】
テーマ： Unit 22
内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation. English Central study.
- 【第13回】

テーマ : Unit 23

内容・方法 : Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation. Vocab/Dictation Quiz 3

【第14回】

テーマ : Unit 24

内容・方法 : Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation. Final Listening through music presentations.

【第15回】

テーマ : Evaluation Units 21-24

内容・方法 : Evaluation based on Units 21-24, Final Listening through music presentations.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

事前学修課題 : None

事後学修課題 : English Central and Vocabulary Preview HW assignments

【第2回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第3回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview. Study for Vocab/Dictation Quiz 1

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第4回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第5回】

事前学修課題 : Study for Evaluation (Units 13-16)

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第6回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第7回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第8回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview. Study for Vocab/Dictation Quiz 2

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第9回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第10回】

事前学修課題 : Study for Evaluation (units 17-20)

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第11回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第12回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第13回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview. Study for Vocab/Dictation Quiz 3

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第14回】

事前学修課題 : Prepare for listening through music presentation

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第15回】

事前学修課題 : Study for Evaluation (units 21-24)

事後学修課題 : English Central and Final Report

課題に対するフィードバックの方法

Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed outside of class, and unit evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course if they comply with the attendance policy (see below).

Grade Breakdown:

Active participation (10%)

Midterm evaluations & Quizzes (40%)
 Homework assignments & English Central (30%)
 Final Evaluation Report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Active participation (10%) Midterm evaluations & Quizzes (40%)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	30	Homework assignments & English Central (30%)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final Evaluation (20)	1, 2, 3, 4
その他	0		

テキスト	Tactics for Listening Expanding Student Book Third Edition: Jack C Richards with Grant Trew; 2011 (Oxford University Press) ISBN: 978-0-19-401386-4
------	---

参考書	None.
-----	-------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13103301	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Vocabulary I [対面]				
シラバス執筆(全員)	J. M. パーマンター				
シラバス執筆(主)	J. M. パーマンター				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course helps students expand their vocabulary and strengthen their reading skills while gaining practical language skills. Students will practice and learn to use the vocabulary learned in their textbook as well as to increase basic reading fluency. This will be done by working with a variety of reading passages and exercises in the textbook. As the major goal of this course is building core vocabulary, weekly vocabulary quizzes on vocabulary from the units will be given. There will be a Vocabulary Study Project. Students will keep a vocabulary notebook or use a vocabulary study app to review vocabulary learned in the course (to be determined by the course instructor). Other activities to support language learning and reading development will be done. Reading out loud will also be practiced with emphasis placed on intonation and pronunciation as well as fluency, thereby helping not only with reading comprehension, but speaking and listening as well. Grammar to support reading and vocabulary usage will also be covered in textbook units. There will be 3 term evaluations and a final examination. Course information and homework assignments will be on Google Classroom.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Expand general vocabulary knowledge.
2. Improve vocabulary meaning and usage.
3. Develop and expand vocabulary to improve reading.
4. Improve grammar that supports reading and word usage.

授業計画

- 【第1回】
 テーマ: Course introduction: Syllabus explanation. Vocabulary study project - Vocabulary notebook/study app explanation. Google Class orientation and registration.
 内容・方法: Class Orientation, Introduction to textbook/study project
- 【第2回】
 テーマ: Unit 1, Lesson 1
 内容・方法: Animals and Numbers / Subject-verb agreement / Vocabulary Project Progress Check
- 【第3回】
 テーマ: Unit 1, Lesson 2
 内容・方法: Weather and the Arctic / Possessive Pronouns / Vocabulary Project Progress Check
- 【第4回】
 テーマ: Unit 1, Lesson 3
 内容・方法: Sea Life and Communication / Conjunction: but / Vocabulary Project Progress Check
- 【第5回】
 テーマ: Unit 2, Lesson 1
 内容・方法: Feelings and Movement / Do, Does / Vocabulary Project Progress Check
- 【第6回】
 テーマ: Unit 2, Lesson 2
 内容・方法: Good Times and Relaxation / Relative Pronoun: that / Vocabulary Project Progress Check
- 【第7回】
 テーマ: Unit 2, Lesson 3
 内容・方法: Sleeping and Dreaming / There is / There are / Vocabulary Project Progress Check
- 【第8回】
 テーマ: Evaluation and Review
 内容・方法: 1st Evaluation & vocabulary learning discussions and student reports on their vocabulary study project.
- 【第9回】
 テーマ: Unit 3, Lesson 1
 内容・方法: Past and Present / Past Simple Tense / Vocabulary Project Progress Check
- 【第10回】
 テーマ: Unit 3, Lesson 2
 内容・方法: Countries and Continents / Place Names / Vocabulary Project Progress Check
- 【第11回】
 テーマ: Unit 3, Lesson 3
 内容・方法: Food and Health / Verb + Infinitive / Gerund / Vocabulary Project Progress Check
- 【第12回】
 テーマ: Unit 4, Lesson 1
 内容・方法: Popular Music / Prepositions of Time / Vocabulary Project Progress Check
- 【第13回】

テーマ : Unit 4, Lesson 2

内容・方法 : Musical Performers and Recordings / Adverbs / Vocabulary Project Progress Check

【第14回】

テーマ : Unit 4, Lesson 3

内容・方法 : Hip-hop and Dance / Past Simple Tense / Vocabulary Project Progress Check

【第15回】

テーマ : Semester Review; Vocabulary Project; Semester Evaluation

内容・方法 : Review of vocabulary learning, discussions and student reports on the Vocabulary Study Project. Final Evaluation explanation.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

事前学修課題 : Read the course outline.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第2回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第3回】

事前学修課題 : Review the units studied

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第4回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第5回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第6回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project. Prepare for Evaluation.

【第7回】

事前学修課題 : Review & Evaluation. Vocabulary Project reporting.

事後学修課題 : Review units studied. Vocabulary homework exercises.

【第8回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第9回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第10回】

事前学修課題 : Review the units studied

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第11回】

事前学修課題 : Review the units studied

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第12回】

事前学修課題 : Review the units studied

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第13回】

事前学修課題 : Review the units studied

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project. Prepare for Evaluation.

【第14回】

事前学修課題 : Review & Evaluation. Vocabulary Project reporting.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第15回】

事前学修課題 : Semester Review; Vocabulary Project submission.

事後学修課題 : Final Evaluation submission.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Students will earn a course grade based on the following grade breakdown:

In-class assignments (10%)

Vocabulary quizzes (20%)

Semester evaluations (20%)

HWK assignments (10%)

Vocabulary study project (20%)
Final examination (20%)

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	In-class assignments (10%), semester evaluations (20%) and vocabulary quizzes (20%).	1, 2, 3, 4
授業外での評価	30	HWK assignments (10%); Vocabulary study project (20%).	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final examination (20%)	1, 2, 3, 4
その他	0	none	

テキスト	Reading and Vocabulary Development Series, 4e (2020), Patricia Ackert, Linda Lee, Eric Hawkins, Harry Haynes, Jessica Beck, Stefan Kostarelis, National Geographic Learning (Cengage Learning). ISBN: 978-981-48-9653-5
------	---

参考書	none
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	---

授業コード	13103302	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Vocabulary I [対面]				
シラバス執筆(全員)	C. A. スミス				
シラバス執筆(主)	C. A. スミス				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course helps students expand their vocabulary and strengthen their reading skills while gaining practical language skills. Students will practice and learn to use the vocabulary learned in their textbook as well as to increase basic reading fluency. This will be done by working with a variety of reading passages and exercises in the textbook. As the major goal of this course is building core vocabulary, weekly vocabulary quizzes on vocabulary from the units will be given. There will be a Vocabulary Study Project. Students will keep a vocabulary notebook or use a vocabulary study app to review vocabulary learned in the course (to be determined by the course instructor). Other activities to support language learning and reading development will be done. Reading out loud will also be practiced with emphasis placed on intonation and pronunciation as well as fluency, thereby helping not only with reading comprehension, but speaking and listening as well. Grammar to support reading and vocabulary usage will also be covered in textbook units. There will be 3 term evaluations and a final examination. Course information and homework assignments will be on Google Classroom.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Expand general vocabulary knowledge.
2. Improve vocabulary meaning and usage.
3. Develop and expand vocabulary to improve reading.
4. Improve grammar that supports reading and word usage.

授業計画

- 【第1回】
 テーマ: Course introduction: Syllabus explanation. Vocabulary study project - Vocabulary notebook/study app explanation. Google Class orientation and registration.
 内容・方法: Class Orientation, Introduction to textbook/study project
- 【第2回】
 テーマ: Unit 1, Lesson 1
 内容・方法: Animals and Numbers / Subject-verb agreement / Vocabulary Project Progress Check
- 【第3回】
 テーマ: Unit 1, Lesson 2
 内容・方法: Weather and the Arctic / Possessive Pronouns / Vocabulary Project Progress Check
- 【第4回】
 テーマ: Unit 1, Lesson 3
 内容・方法: Sea Life and Communication / Conjunction: but / Vocabulary Project Progress Check
- 【第5回】
 テーマ: Unit 2, Lesson 1
 内容・方法: Feelings and Movement / Do, Does / Vocabulary Project Progress Check
- 【第6回】
 テーマ: Unit 2, Lesson 2
 内容・方法: Good Times and Relaxation / Relative Pronoun: that / Vocabulary Project Progress Check
- 【第7回】
 テーマ: Unit 2, Lesson 3
 内容・方法: Sleeping and Dreaming / There is / There are / Vocabulary Project Progress Check
- 【第8回】
 テーマ: Evaluation and Review
 内容・方法: 1st Evaluation & vocabulary learning discussions and student reports on their vocabulary study project.
- 【第9回】
 テーマ: Unit 3, Lesson 1
 内容・方法: Past and Present / Past Simple Tense / Vocabulary Project Progress Check
- 【第10回】
 テーマ: Unit 3, Lesson 2
 内容・方法: Countries and Continents / Place Names / Vocabulary Project Progress Check
- 【第11回】
 テーマ: Unit 3, Lesson 3
 内容・方法: Food and Health / Verb + Infinitive / Gerund / Vocabulary Project Progress Check
- 【第12回】
 テーマ: Unit 4, Lesson 1
 内容・方法: Popular Music / Prepositions of Time / Vocabulary Project Progress Check
- 【第13回】

テーマ : Unit 4, Lesson 2

内容・方法 : Musical Performers and Recordings / Adverbs / Vocabulary Project Progress Check

【第14回】

テーマ : Unit 4, Lesson 3

内容・方法 : Hip-hop and Dance / Past Simple Tense / Vocabulary Project Progress Check

【第15回】

テーマ : Semester Review; Vocabulary Project; Semester Evaluation

内容・方法 : Review of vocabulary learning, discussions and student reports on the Vocabulary Study Project. Final Evaluation explanation.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

事前学修課題 : Read the course outline.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第2回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第3回】

事前学修課題 : Review the units studied

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第4回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第5回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第6回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project. Prepare for Evaluation.

【第7回】

事前学修課題 : Review & Evaluation. Vocabulary Project reporting.

事後学修課題 : Review units studied. Vocabulary homework exercises.

【第8回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第9回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第10回】

事前学修課題 : Review the units studied

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第11回】

事前学修課題 : Review the units studied

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第12回】

事前学修課題 : Review the units studied

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第13回】

事前学修課題 : Review the units studied

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project. Prepare for Evaluation.

【第14回】

事前学修課題 : Review & Evaluation. Vocabulary Project reporting.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第15回】

事前学修課題 : Semester Review; Vocabulary Project submission.

事後学修課題 : Final Evaluation submission.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Students will earn a course grade based on the following grade breakdown:

In-class assignments (10%)

Vocabulary quizzes (20%)

Semester evaluations (20%)

HWK assignments (10%)

Vocabulary study project (20%)
Final examination (20%)

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	In-class assignments (10%), semester evaluations (20%) and vocabulary quizzes (20%).	1, 2, 3, 4
授業外での評価	30	HWK assignments (10%); Vocabulary study project (20%).	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final examination (20%)	1, 2, 3, 4
その他	0	none	

テキスト	Reading and Vocabulary Development Series, 4e (2020), Patricia Ackert, Linda Lee, Eric Hawkins, Harry Haynes, Jessica Beck, Stefan Kostarelis, National Geographic Learning (Cengage Learning). ISBN: 978-981-48-9653-5
------	---

参考書	none
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <ol style="list-style-type: none">1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。
---------------	---

授業コード	13103303	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Vocabulary I [対面]				
シラバス執筆(全員)	L. J. ピッチャー				
シラバス執筆(主)	L. J. ピッチャー				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course helps students expand their vocabulary and strengthen their reading skills while gaining practical language skills. Students will practice and learn to use the vocabulary learned in their textbook as well as to increase basic reading fluency. This will be done by working with a variety of reading passages and exercises in the textbook. As the major goal of this course is building core vocabulary, weekly vocabulary quizzes on vocabulary from the units will be given. There will be a Vocabulary Study Project. Students will keep a vocabulary notebook or use a vocabulary study app to review vocabulary learned in the course (to be determined by the course instructor). Other activities to support language learning and reading development will be done. Reading out loud will also be practiced with emphasis placed on intonation and pronunciation as well as fluency, thereby helping not only with reading comprehension, but speaking and listening as well. Grammar to support reading and vocabulary usage will also be covered in textbook units. There will be 3 term evaluations and a final examination. Course information and homework assignments will be on Google Classroom.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Expand general vocabulary knowledge.
2. Improve vocabulary meaning and usage.
3. Develop and expand vocabulary to improve reading.
4. Improve grammar that supports reading and word usage.

授業計画

- 【第1回】
 テーマ: Course introduction: Syllabus explanation. Vocabulary study project - Vocabulary notebook/study app explanation. Google Class orientation and registration.
 内容・方法: Class Orientation, Introduction to textbook/study project
- 【第2回】
 テーマ: Unit 1, Lesson 1
 内容・方法: Animals and Numbers / Subject-verb agreement / Vocabulary Project Progress Check
- 【第3回】
 テーマ: Unit 1, Lesson 2
 内容・方法: Weather and the Arctic / Possessive Pronouns / Vocabulary Project Progress Check
- 【第4回】
 テーマ: Unit 1, Lesson 3
 内容・方法: Sea Life and Communication / Conjunction: but / Vocabulary Project Progress Check
- 【第5回】
 テーマ: Unit 2, Lesson 1
 内容・方法: Feelings and Movement / Do, Does / Vocabulary Project Progress Check
- 【第6回】
 テーマ: Unit 2, Lesson 2
 内容・方法: Good Times and Relaxation / Relative Pronoun: that / Vocabulary Project Progress Check
- 【第7回】
 テーマ: Unit 2, Lesson 3
 内容・方法: Sleeping and Dreaming / There is / There are / Vocabulary Project Progress Check
- 【第8回】
 テーマ: Evaluation and Review
 内容・方法: 1st Evaluation & vocabulary learning discussions and student reports on their vocabulary study project.
- 【第9回】
 テーマ: Unit 3, Lesson 1
 内容・方法: Past and Present / Past Simple Tense / Vocabulary Project Progress Check
- 【第10回】
 テーマ: Unit 3, Lesson 2
 内容・方法: Countries and Continents / Place Names / Vocabulary Project Progress Check
- 【第11回】
 テーマ: Unit 3, Lesson 3
 内容・方法: Food and Health / Verb + Infinitive / Gerund / Vocabulary Project Progress Check
- 【第12回】
 テーマ: Unit 4, Lesson 1
 内容・方法: Popular Music / Prepositions of Time / Vocabulary Project Progress Check
- 【第13回】

テーマ : Unit 4, Lesson 2

内容・方法 : Musical Performers and Recordings / Adverbs / Vocabulary Project Progress Check

【第14回】

テーマ : Unit 4, Lesson 3

内容・方法 : Hip-hop and Dance / Past Simple Tense / Vocabulary Project Progress Check

【第15回】

テーマ : Semester Review; Vocabulary Project; Semester Evaluation

内容・方法 : Review of vocabulary learning, discussions and student reports on the Vocabulary Study Project. Final Evaluation explanation.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

事前学修課題 : Read the course outline.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第2回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第3回】

事前学修課題 : Review the units studied

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第4回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第5回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第6回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project. Prepare for Evaluation.

【第7回】

事前学修課題 : Review & Evaluation. Vocabulary Project reporting.

事後学修課題 : Review units studied. Vocabulary homework exercises.

【第8回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第9回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第10回】

事前学修課題 : Review the units studied

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第11回】

事前学修課題 : Review the units studied

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第12回】

事前学修課題 : Review the units studied

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第13回】

事前学修課題 : Review the units studied

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project. Prepare for Evaluation.

【第14回】

事前学修課題 : Review & Evaluation. Vocabulary Project reporting.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第15回】

事前学修課題 : Semester Review; Vocabulary Project submission.

事後学修課題 : Final Evaluation submission.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Students will earn a course grade based on the following grade breakdown:

In-class assignments (10%)

Vocabulary quizzes (20%)

Semester evaluations (20%)

HWK assignments (10%)

Vocabulary study project (20%)
Final examination (20%)

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	In-class assignments (10%), semester evaluations (20%) and vocabulary quizzes (20%).	1, 2, 3, 4
授業外での評価	30	HWK assignments (10%); Vocabulary study project (20%).	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final examination (20%)	1, 2, 3, 4
その他	0	none	

テキスト	Reading and Vocabulary Development Series, 4e (2020), Patricia Ackert, Linda Lee, Eric Hawkins, Harry Haynes, Jessica Beck, Stefan Kostarelis, National Geographic Learning (Cengage Learning). ISBN: 978-981-48-9653-5
------	---

参考書	none
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	---

授業コード	13103351	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Vocabulary I [対面]				
シラバス執筆(全員)	S. ハティング				
シラバス執筆(主)	S. ハティング				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

Vocabulary I & II focus on explicit vocabulary study of digital word cards as well as instruction in speed-reading to help students learn to quickly recognize vocabulary in context. The course uses the English Central Vocabulary Builder app and quizzes to help students fill in gaps in knowledge of the most frequent words in the English language using the New General Service List (NGSL). Students commit approximately 30 minutes every class to vocabulary study strategies and activities.

During instruction using the speed-reading text, students will practice reading quickly and silently for general understanding, as well as reading aloud with proper pronunciation at a good pace. Skill building activities will progressively push students to internalize core sub-skills of reading, including:

- Predicting content from titles and pictures
- Skimming for gist
- Scanning a passage to quickly identify key information such as dates, names, locations, etc.
- Monitoring comprehension: Guessing and checking word meaning, answering comprehension questions to evaluate comprehension
- Using margin notes to identify main ideas, supporting ideas, and examples
- Summarizing a passage orally and in writing
- Relating reading to personal experience with expansion questions and discussion

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Expand general vocabulary knowledge of the most common ~2000 words in English (English Central study)
2. Learn strategies for building vocabulary
3. Increase reading speed and fluency through speed reading training
4. Develop core reading skills such as skimming, scanning, taking notes, and summarizing

授業計画

【第1回】

テーマ: Course introduction: Syllabus explanation, components of course: English Central Vocabulary Quizzes, Speed Reading, Reading skills.

内容・方法: Learning how to do the speed reading and how to record and calculate your reading speed. English Central Quiz explanation. Speed Reading #1 (#2 is for HW)

【第2回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading #3. Reading Skills: Identifying main idea (paragraph-level).

【第3回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading #5. Reading Skills: Identifying main idea (paragraph-level).

【第4回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading #7. Reading Skills: Identifying main idea (paragraph-level).

【第5回】

テーマ: Evaluation

内容・方法: English Central Quiz. Evaluation: Speed Reading (identifying main idea)

【第6回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading #9. Reading Skills: Scanning.

【第7回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading #11. Reading Skills: Scanning.

【第8回】

テーマ: Mid-semester reflection and grade check

内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading #13. Reading Skills: notetaking & summary. Review a reading skills reflection sheet and evaluate progress

【第9回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading #15. Reading Skills: notetaking & summary.

【第10回】

テーマ : Evaluation

内容・方法 : English Central Quiz. Evaluation: Speed Reading (notetaking & summary)

【第11回】

テーマ : Reading skills training

内容・方法 : English Central Quiz. Speed Reading #17. Reading Skills: identifying reasons & examples.

【第12回】

テーマ : Reading skills training

内容・方法 : English Central Quiz. Speed Reading #19. Reading Skills: identifying reasons & examples.

【第13回】

テーマ : Reading skills review

内容・方法 : English Central Quiz. Review of Reading Skills (previously studied chapters).

【第14回】

テーマ : Semester final reflection and grade check

内容・方法 : English Central Quiz. Review of Reading Skills (previously studied chapters). Review a reading skills reflection sheet and evaluate progress

【第15回】

テーマ : Reading skills review

内容・方法 : Final Evaluation & Review of semester

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a 1-credit (1単位) course, which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題 : Look at textbook and syllabus.

事後学修課題 : English Central

【第2回】 -

事前学修課題 : Speed Reading HW #2 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第3回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #4 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第4回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #6 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第5回】

事前学修課題 : Review vocabulary of chapters, prepare for evaluation (summary/main ideas)

事後学修課題 : English Central

【第6回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #8 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第7回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #10 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第8回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #12 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第9回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #14 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第10回】

事前学修課題 : Review vocabulary of chapters, prepare for evaluation (notetaking & summary)

事後学修課題 : English Central

【第11回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #16 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第12回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #18 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第13回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #20 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第14回】

事前学修課題 : Review skills

事後学修課題 : Review for evaluation

【第15回】

事前学修課題 : Prepare for evaluation

事後学修課題 : None

課題に対するフィードバックの方法

Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom. Overall course

progress and feedback will be given at mid-term and before the final class. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on assignments completed in and out of class, in-class vocabulary quizzes, and reading skills evaluation. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course if they comply with the attendance policy.

Grade Breakdown:

Active participation & in-class activities (20%)
 English Central quizzes (20%)
 Midterm reading skill evaluations (20%)
 Homework assignments (20%)
 Final evaluation / reflection report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	Active participation & in-class activities (20), English Central quizzes (20), midterm reading skill evaluations (20)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	20	Homework assignments (20)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final evaluation / reflection report (20)	1, 2, 3, 4
その他	0		

テキスト	Reading for Speed and Fluency Book 4, 2nd edition, Paul Nation, Marcos Benevides, James Broadbridge, Joseph Siegel, Compass Publishing, 2018. 978-1-64015-070-6
------	---

参考書	
-----	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回とみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13103352	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Vocabulary I [対面]				
シラバス執筆(全員)	A. ナデュー				
シラバス執筆(主)	A. ナデュー				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

Vocabulary I & II focus on explicit vocabulary study of digital word cards as well as instruction in speed-reading to help students learn to quickly recognize vocabulary in context. The course uses the English Central Vocabulary Builder app and quizzes to help students fill in gaps in knowledge of the most frequent words in the English language using the New General Service List (NGSL). Students commit approximately 30 minutes every class to vocabulary study strategies and activities.

During instruction using the speed-reading text, students will practice reading quickly and silently for general understanding, as well as reading aloud with proper pronunciation at a good pace. Skill building activities will progressively push students to internalize core sub-skills of reading, including:

- Predicting content from titles and pictures
- Skimming for gist
- Scanning a passage to quickly identify key information such as dates, names, locations, etc.
- Monitoring comprehension: Guessing and checking word meaning, answering comprehension questions to evaluate comprehension
- Using margin notes to identify main ideas, supporting ideas, and examples
- Summarizing a passage orally and in writing
- Relating reading to personal experience with expansion questions and discussion

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Expand general vocabulary knowledge of the most common ~2000 words in English (English Central study)
2. Learn strategies for building vocabulary
3. Increase reading speed and fluency through speed reading training
4. Develop core reading skills such as skimming, scanning, taking notes, and summarizing

授業計画

【第1回】

テーマ: Course introduction: Syllabus explanation, components of course: English Central Vocabulary Quizzes, Speed Reading, Reading skills.

内容・方法: Learning how to do the speed reading and how to record and calculate your reading speed. English Central Quiz explanation. Speed Reading #1 (#2 is for HW)

【第2回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading #3. Reading Skills: Identifying main idea (paragraph-level).

【第3回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading #5. Reading Skills: Identifying main idea (paragraph-level).

【第4回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading #7. Reading Skills: Identifying main idea (paragraph-level).

【第5回】

テーマ: Evaluation

内容・方法: English Central Quiz. Evaluation: Speed Reading (identifying main idea)

【第6回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading #9. Reading Skills: Scanning.

【第7回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading #11. Reading Skills: Scanning.

【第8回】

テーマ: Mid-semester reflection and grade check

内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading #13. Reading Skills: notetaking & summary. Review a reading skills reflection sheet and evaluate progress

【第9回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading #15. Reading Skills: notetaking & summary.

【第10回】

テーマ: Evaluation

内容・方法: English Central Quiz. Evaluation: Speed Reading (notetaking & summary)

【第11回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading #17. Reading Skills: identifying reasons & examples.

【第12回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading #19. Reading Skills: identifying reasons & examples.

【第13回】

テーマ: Reading skills review

内容・方法: English Central Quiz. Review of Reading Skills (previously studied chapters).

【第14回】

テーマ: Semester final reflection and grade check

内容・方法: English Central Quiz. Review of Reading Skills (previously studied chapters). Review a reading skills reflection sheet and evaluate progress

【第15回】

テーマ: Reading skills review

内容・方法: Final Evaluation & Review of semester

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a 1-credit (1単位) course, which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題: Look at textbook and syllabus.

事後学修課題: English Central

【第2回】

事前学修課題: Speed Reading HW #2 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題: English Central

【第3回】

事前学修課題: Speed Reading HW #4 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題: English Central

【第4回】

事前学修課題: Speed Reading HW #6 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題: English Central

【第5回】

事前学修課題: Review vocabulary of chapters, prepare for evaluation (summary/main ideas)

事後学修課題: English Central

【第6回】

事前学修課題: Speed Reading HW #8 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題: English Central

【第7回】

事前学修課題: Speed Reading HW #10 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題: English Central

【第8回】

事前学修課題: Speed Reading HW #12 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題: English Central

【第9回】

事前学修課題: Speed Reading HW #14 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題: English Central

【第10回】

事前学修課題: Review vocabulary of chapters, prepare for evaluation (notetaking & summary)

事後学修課題: English Central

【第11回】

事前学修課題: Speed Reading HW #16 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題: English Central

【第12回】

事前学修課題: Speed Reading HW #18 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題: English Central

【第13回】

事前学修課題: Speed Reading HW #20 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題: English Central

【第14回】

事前学修課題: Review skills

事後学修課題: Review for evaluation

【第15回】

事前学修課題: Prepare for evaluation

事後学修課題: None

課題に対するフィードバックの方法

Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom. Overall course

progress and feedback will be given at mid-term and before the final class. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on assignments completed in and out of class, in-class vocabulary quizzes, and reading skills evaluation. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course if they comply with the attendance policy.

Grade Breakdown:

Active participation & in-class activities (20%)
 English Central quizzes (20%)
 Midterm reading skill evaluations (20%)
 Homework assignments (20%)
 Final evaluation / reflection report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	Active participation & in-class activities (20), English Central quizzes (20), midterm reading skill evaluations (20)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	20	Homework assignments (20)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final evaluation / reflection report (20)	1, 2, 3, 4
その他	0		

テキスト	Reading for Speed and Fluency Book 4, 2nd edition, Paul Nation, Marcos Benevides, James Broadbridge, Joseph Siegel, Compass Publishing, 2018. 978-1-64015-070-6
------	---

参考書	
-----	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回とみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13103401	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Vocabulary II [対面]				
シラバス執筆(全員)	J. M. パーマンター				
シラバス執筆(主)	J. M. パーマンター				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course helps students expand their vocabulary and strengthen their reading skills while gaining practical language skills. Students will practice and learn to use the vocabulary learned in their textbook as well as to increase basic reading fluency. This will be done by working with a variety of reading passages and exercises in the textbook. As the major goal of this course is building core vocabulary, weekly vocabulary quizzes on vocabulary from the units will be given. There will be a Vocabulary Study Project. Students will keep a vocabulary notebook or use a vocabulary study app to review vocabulary learned in the course (to be determined by the course instructor). Other activities to support language learning and reading development will be done. Reading out loud will also be practiced with emphasis placed on intonation and pronunciation as well as fluency, thereby helping not only with reading comprehension, but speaking and listening as well. Grammar to support reading and vocabulary usage will also be covered in textbook units. There will be 3 term evaluations and a final examination. Course information and homework assignments will be on Google Classroom.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Expand general vocabulary knowledge.
2. Improve vocabulary meaning and usage.
3. Develop and expand vocabulary to improve reading.
4. Improve grammar that supports reading and word usage.

授業計画

【第1回】
 テーマ: Course introduction: Syllabus explanation. Vocabulary study project - Vocabulary notebook/study app explanation. Google Classroom registration and orientation.
 内容・方法: Class Orientation, Introduction to textbook/study project

【第2回】
 テーマ: Unit 5, Lesson 1
 内容・方法: Jobs and Travel / Conjunction: so / Vocabulary Project Progress Check

【第3回】
 テーマ: Unit 5, Lesson 2
 内容・方法: Jobs and Work Benefits / Superlatives / Vocabulary Project Progress Check

【第4回】
 テーマ: Unit 5, Lesson 3
 内容・方法: Schedules and Salaries / Present Continuous Tense / Vocabulary Project Progress Check

【第5回】
 テーマ: Unit 6, Lesson 1
 内容・方法: Climbing / Modal Verbs / Vocabulary Project Progress Check

【第6回】
 テーマ: Unit 6, Lesson 2
 内容・方法: Online Games and the Internet / Plural Nouns / Vocabulary Project Progress Check

【第7回】
 テーマ: Unit 6, Lesson 3
 内容・方法: Anime and Costumes / Phrasal Verbs / Vocabulary Project Progress Check

【第8回】
 テーマ: Review and evaluation
 内容・方法: 1st Evaluation & vocabulary learning discussions and student reports on their vocabulary study project.

【第9回】
 テーマ: Unit 7, Lesson 1
 内容・方法: Celebrations / Prepositions of Place / Vocabulary Project Progress Check

【第10回】
 テーマ: Unit 7, Lesson 2
 内容・方法: Appearance and Ways of Life / Compound Nouns / Vocabulary Project Progress Check

【第11回】
 テーマ: Unit 7, Lesson 3
 内容・方法: Culture and Occasions / Adjective, Noun Collocations / Vocabulary Project Progress Check

【第12回】
 テーマ: Unit 8, Lesson 1
 内容・方法: Difficult and Special Journeys / Relative Pronoun: which / Vocabulary Project Progress Check

【第13回】

テーマ：Unit 8, Lesson 2

内容・方法：Leadership and Gifts / Verb, Noun Collocations / Vocabulary Project Progress Check

【第14回】

テーマ：Unit 8, Lesson 3

内容・方法：Communication and Equipment / Reflexive Pronouns / Vocabulary Project Progress Check

【第15回】

テーマ：Semester Review; Vocabulary Project; Evaluation

内容・方法：Review of vocabulary learning, discussions and student reports on their vocabulary study project. Final Evaluation explanation.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

第1回】

事前学修課題：Read the course outline.

事後学修課題：

【第2回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第3回】

事前学修課題：Review the units studied

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第4回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project..

【第5回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第6回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project. Prepare for Evaluation.

【第7回】

事前学修課題：Review & Evaluation. Vocabulary Project reporting.

事後学修課題：Review units studied. Vocabulary homework exercises.

【第8回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第9回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第10回】

事前学修課題：Review the units studied

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project

【第11回】

事前学修課題：Review the units studied

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

第12回】

事前学修課題：Review the units studied

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第13回】

事前学修課題：Review the units studied

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project. Prepare for Evaluation.

【第14回】

事前学修課題：Review & Evaluation. Vocabulary Project reporting.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第15回】

事前学修課題：Semester Review; Vocabulary Project submission.

事後学修課題：Final Evaluation submission

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Students will earn a course grade based on the following grade breakdown:

- In-class assignments (10%)
- Vocabulary quizzes (20%)
- Semester evaluations (20%)

HWK assignments (10%)
 Vocabulary study project (20%)
 Final examination (20%)

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	In-class assignments (10%), semester evaluations (20%) and vocabulary quizzes (20%).	1, 2, 3, 4
授業外での評価	30	HWK assignments (10%); Vocabulary study project (20%).	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final examination (20%)	1, 2, 3, 4
その他	0	none	

テキスト	Reading and Vocabulary Development Series, 4e (2020), Patricia Ackert, Linda Lee, Eric Hawkins, Harry Haynes, Jessica Beck, Stefan Kostarelis, National Geographic Learning (Cengage Learning). ISBN: 978-981-48-9653-5
------	---

参考書	none
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	---

授業コード	13103402	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Vocabulary II [対面]				
シラバス執筆(全員)	C. A. スミス				
シラバス執筆(主)	C. A. スミス				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course helps students expand their vocabulary and strengthen their reading skills while gaining practical language skills. Students will practice and learn to use the vocabulary learned in their textbook as well as to increase basic reading fluency. This will be done by working with a variety of reading passages and exercises in the textbook. As the major goal of this course is building core vocabulary, weekly vocabulary quizzes on vocabulary from the units will be given. There will be a Vocabulary Study Project. Students will keep a vocabulary notebook or use a vocabulary study app to review vocabulary learned in the course (to be determined by the course instructor). Other activities to support language learning and reading development will be done. Reading out loud will also be practiced with emphasis placed on intonation and pronunciation as well as fluency, thereby helping not only with reading comprehension, but speaking and listening as well. Grammar to support reading and vocabulary usage will also be covered in textbook units. There will be 3 term evaluations and a final examination. Course information and homework assignments will be on Google Classroom.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Expand general vocabulary knowledge.
2. Improve vocabulary meaning and usage.
3. Develop and expand vocabulary to improve reading.
4. Improve grammar that supports reading and word usage.

授業計画

【第1回】
 テーマ: Course introduction: Syllabus explanation. Vocabulary study project - Vocabulary notebook/study app explanation. Google Classroom registration and orientation.
 内容・方法: Class Orientation, Introduction to textbook/study project

【第2回】
 テーマ: Unit 5, Lesson 1
 内容・方法: Jobs and Travel / Conjunction: so / Vocabulary Project Progress Check

【第3回】
 テーマ: Unit 5, Lesson 2
 内容・方法: Jobs and Work Benefits / Superlatives / Vocabulary Project Progress Check

【第4回】
 テーマ: Unit 5, Lesson 3
 内容・方法: Schedules and Salaries / Present Continuous Tense / Vocabulary Project Progress Check

【第5回】
 テーマ: Unit 6, Lesson 1
 内容・方法: Climbing / Modal Verbs / Vocabulary Project Progress Check

【第6回】
 テーマ: Unit 6, Lesson 2
 内容・方法: Online Games and the Internet / Plural Nouns / Vocabulary Project Progress Check

【第7回】
 テーマ: Unit 6, Lesson 3
 内容・方法: Anime and Costumes / Phrasal Verbs / Vocabulary Project Progress Check

【第8回】
 テーマ: Review and evaluation
 内容・方法: 1st Evaluation & vocabulary learning discussions and student reports on their vocabulary study project.

【第9回】
 テーマ: Unit 7, Lesson 1
 内容・方法: Celebrations / Prepositions of Place / Vocabulary Project Progress Check

【第10回】
 テーマ: Unit 7, Lesson 2
 内容・方法: Appearance and Ways of Life / Compound Nouns / Vocabulary Project Progress Check

【第11回】
 テーマ: Unit 7, Lesson 3
 内容・方法: Culture and Occasions / Adjective, Noun Collocations / Vocabulary Project Progress Check

【第12回】
 テーマ: Unit 8, Lesson 1
 内容・方法: Difficult and Special Journeys / Relative Pronoun: which / Vocabulary Project Progress Check

【第13回】

テーマ：Unit 8, Lesson 2

内容・方法：Leadership and Gifts / Verb, Noun Collocations / Vocabulary Project Progress Check

【第14回】

テーマ：Unit 8, Lesson 3

内容・方法：Communication and Equipment / Reflexive Pronouns / Vocabulary Project Progress Check

【第15回】

テーマ：Semester Review; Vocabulary Project; Evaluation

内容・方法：Review of vocabulary learning, discussions and student reports on their vocabulary study project. Final Evaluation explanation.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

第1回】

事前学修課題：Read the course outline.

事後学修課題：

【第2回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第3回】

事前学修課題：Review the units studied

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第4回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project..

【第5回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第6回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project. Prepare for Evaluation.

【第7回】

事前学修課題：Review & Evaluation. Vocabulary Project reporting.

事後学修課題：Review units studied. Vocabulary homework exercises.

【第8回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第9回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第10回】

事前学修課題：Review the units studied

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project

【第11回】

事前学修課題：Review the units studied

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第12回】

事前学修課題：Review the units studied

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第13回】

事前学修課題：Review the units studied

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project. Prepare for Evaluation.

【第14回】

事前学修課題：Review & Evaluation. Vocabulary Project reporting.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第15回】

事前学修課題：Semester Review; Vocabulary Project submission.

事後学修課題：Final Evaluation submission

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Students will earn a course grade based on the following grade breakdown:

- In-class assignments (10%)
- Vocabulary quizzes (20%)
- Semester evaluations (20%)

HWK assignments (10%)
 Vocabulary study project (20%)
 Final examination (20%)

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	In-class assignments (10%), semester evaluations (20%) and vocabulary quizzes (20%).	1, 2, 3, 4
授業外での評価	30	HWK assignments (10%); Vocabulary study project (20%).	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final examination (20%)	1, 2, 3, 4
その他	0	none	

テキスト	Reading and Vocabulary Development Series, 4e (2020), Patricia Ackert, Linda Lee, Eric Hawkins, Harry Haynes, Jessica Beck, Stefan Kostarelis, National Geographic Learning (Cengage Learning). ISBN: 978-981-48-9653-5
------	---

参考書	none
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	---

授業コード	13103403	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Vocabulary II [対面]				
シラバス執筆(全員)	L. J. ピッチャー				
シラバス執筆(主)	L. J. ピッチャー				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course helps students expand their vocabulary and strengthen their reading skills while gaining practical language skills. Students will practice and learn to use the vocabulary learned in their textbook as well as to increase basic reading fluency. This will be done by working with a variety of reading passages and exercises in the textbook. As the major goal of this course is building core vocabulary, weekly vocabulary quizzes on vocabulary from the units will be given. There will be a Vocabulary Study Project. Students will keep a vocabulary notebook or use a vocabulary study app to review vocabulary learned in the course (to be determined by the course instructor). Other activities to support language learning and reading development will be done. Reading out loud will also be practiced with emphasis placed on intonation and pronunciation as well as fluency, thereby helping not only with reading comprehension, but speaking and listening as well. Grammar to support reading and vocabulary usage will also be covered in textbook units. There will be 3 term evaluations and a final examination. Course information and homework assignments will be on Google Classroom.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Expand general vocabulary knowledge.
2. Improve vocabulary meaning and usage.
3. Develop and expand vocabulary to improve reading.
4. Improve grammar that supports reading and word usage.

授業計画

【第1回】
 テーマ: Course introduction: Syllabus explanation. Vocabulary study project - Vocabulary notebook/study app explanation. Google Classroom registration and orientation.
 内容・方法: Class Orientation, Introduction to textbook/study project

【第2回】
 テーマ: Unit 5, Lesson 1
 内容・方法: Jobs and Travel / Conjunction: so / Vocabulary Project Progress Check

【第3回】
 テーマ: Unit 5, Lesson 2
 内容・方法: Jobs and Work Benefits / Superlatives / Vocabulary Project Progress Check

【第4回】
 テーマ: Unit 5, Lesson 3
 内容・方法: Schedules and Salaries / Present Continuous Tense / Vocabulary Project Progress Check

【第5回】
 テーマ: Unit 6, Lesson 1
 内容・方法: Climbing / Modal Verbs / Vocabulary Project Progress Check

【第6回】
 テーマ: Unit 6, Lesson 2
 内容・方法: Online Games and the Internet / Plural Nouns / Vocabulary Project Progress Check

【第7回】
 テーマ: Unit 6, Lesson 3
 内容・方法: Anime and Costumes / Phrasal Verbs / Vocabulary Project Progress Check

【第8回】
 テーマ: Review and evaluation
 内容・方法: 1st Evaluation & vocabulary learning discussions and student reports on their vocabulary study project.

【第9回】
 テーマ: Unit 7, Lesson 1
 内容・方法: Celebrations / Prepositions of Place / Vocabulary Project Progress Check

【第10回】
 テーマ: Unit 7, Lesson 2
 内容・方法: Appearance and Ways of Life / Compound Nouns / Vocabulary Project Progress Check

【第11回】
 テーマ: Unit 7, Lesson 3
 内容・方法: Culture and Occasions / Adjective, Noun Collocations / Vocabulary Project Progress Check

【第12回】
 テーマ: Unit 8, Lesson 1
 内容・方法: Difficult and Special Journeys / Relative Pronoun: which / Vocabulary Project Progress Check

【第13回】

テーマ : Unit 8, Lesson 2

内容・方法 : Leadership and Gifts / Verb, Noun Collocations / Vocabulary Project Progress Check

【第14回】

テーマ : Unit 8, Lesson 3

内容・方法 : Communication and Equipment / Reflexive Pronouns / Vocabulary Project Progress Check

【第15回】

テーマ : Semester Review; Vocabulary Project; Evaluation

内容・方法 : Review of vocabulary learning, discussions and student reports on their vocabulary study project. Final Evaluation explanation.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

第1回】

事前学修課題 : Read the course outline.

事後学修課題 :

【第2回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第3回】

事前学修課題 : Review the units studied

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第4回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project..

【第5回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第6回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project. Prepare for Evaluation.

【第7回】

事前学修課題 : Review & Evaluation. Vocabulary Project reporting.

事後学修課題 : Review units studied. Vocabulary homework exercises.

【第8回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第9回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第10回】

事前学修課題 : Review the units studied

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project

【第11回】

事前学修課題 : Review the units studied

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

第12回】

事前学修課題 : Review the units studied

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第13回】

事前学修課題 : Review the units studied

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project. Prepare for Evaluation.

【第14回】

事前学修課題 : Review & Evaluation. Vocabulary Project reporting.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第15回】

事前学修課題 : Semester Review; Vocabulary Project submission.

事後学修課題 : Final Evaluation submission

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Students will earn a course grade based on the following grade breakdown:

- In-class assignments (10%)
- Vocabulary quizzes (20%)
- Semester evaluations (20%)

HWK assignments (10%)
 Vocabulary study project (20%)
 Final examination (20%)

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	In-class assignments (10%), semester evaluations (20%) and vocabulary quizzes (20%).	1, 2, 3, 4
授業外での評価	30	HWK assignments (10%); Vocabulary study project (20%).	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final examination (20%)	1, 2, 3, 4
その他	0	none	

テキスト	Reading and Vocabulary Development Series, 4e (2020), Patricia Ackert, Linda Lee, Eric Hawkins, Harry Haynes, Jessica Beck, Stefan Kostarelis, National Geographic Learning (Cengage Learning). ISBN: 978-981-48-9653-5
------	---

参考書	none
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	---

授業コード	13103451	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Vocabulary II [対面]				
シラバス執筆(全員)	S. ハティング				
シラバス執筆(主)	S. ハティング				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

Vocabulary I & II focus on explicit vocabulary study of digital word cards as well as instruction in speed-reading to help students learn to quickly recognize vocabulary in context. The course uses the English Central Vocabulary Builder app and quizzes to help students fill in gaps in knowledge of the most frequent words in the English language using the New General Service List (NGSL). Students commit approximately 30 minutes every class to vocabulary study strategies and activities.

During instruction using the speed-reading text, students will practice reading quickly and silently for general understanding, as well as reading aloud with proper pronunciation at a good pace. Skill building activities will progressively push students to internalize core sub-skills of reading, including:

- Predicting content from titles and pictures
- Skimming for gist
- Scanning a passage to quickly identify key information such as dates, names, locations, etc.
- Monitoring comprehension: Guessing and checking word meaning, answering comprehension questions to evaluate comprehension
- Using margin notes to identify main ideas, supporting ideas, and examples
- Summarizing a passage orally and in writing
- Relating reading to personal experience with expansion questions and discussion

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Expand general vocabulary knowledge of the most common ~2000 words in English (English Central study)
2. Learn strategies for building vocabulary
3. Increase reading speed and fluency through speed reading training
4. Develop core reading skills such as skimming, scanning, taking notes, and summarizing

授業計画

- 【第1回】
 テーマ: Course introduction: Syllabus explanation, components of course: English Central, Speed Reading, Reading skills, Grammar study.
 内容・方法: Reviewing how to do the speed reading. Speed Reading #21 (#22 for HW)
- 【第2回】
 テーマ: Reading skills training
 内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading #23. Reading Skills: Margin notes & summary.
- 【第3回】
 テーマ: Reading skills training
 内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading #25. Reading Skills: Margin notes & summary
- 【第4回】
 テーマ: Reading skills training
 内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading #27 in class. Reading Skills: Margin notes & summary
- 【第5回】
 テーマ: Reading skills evaluation
 内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading Evaluation: Margin notes & summary (using review passages from 1st semester)
- 【第6回】
 テーマ: Reading skills training
 内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading #29. Reading Skills: Skimming for main idea
- 【第7回】
 テーマ: Reading skills training
 内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading #31. Reading Skills: Scanning for answers
- 【第8回】
 テーマ: Mid-semester grade check and reflection
 内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading #33. Reading Skills: Skimming for main idea. Review grades and complete reflection on course goals.
- 【第9回】
 テーマ: Reading skills training
 内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading #35. Reading Skills: Scanning for answers
- 【第10回】
 テーマ: Reading skills evaluation
 内容・方法: English Central Quiz: Fluency evaluation

【第11回】

テーマ : Reading skills training

内容・方法 : English Central Quiz. Speed Reading #37. Reading Skills: identifying details.

【第12回】

テーマ : Reading skills training

内容・方法 : English Central Quiz. Speed Reading #39 in class. Reading Skills: identifying details.

【第13回】

テーマ : Reading skills review

内容・方法 : English Central Quiz. Review of all Reading Skills w/ review passages

【第14回】

テーマ : Final grade check and reflection

内容・方法 : English Central Quiz. Vocabulary and reading skills training review. Review grades and complete reflection on course goals.

【第15回】

テーマ : Reading skills review evaluation

内容・方法 : Review of semester

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a 1-credit (1単位) course, which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題 : None

事後学修課題 : English Central

【第2回】 -

事前学修課題 : Speed Reading HW #22 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第2回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #24 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第4回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #26 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第5回】

事前学修課題 : Review chapters, prepare for evaluation

事後学修課題 : English Central

【第6回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #28 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第7回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #30 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第8回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #32 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第9回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #34 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第10回】

事前学修課題 : Prepare for evaluation (TOEIC practice)

事後学修課題 : English Central

【第11回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #36 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第12回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #38 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第13回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #40 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第14回】

事前学修課題 : Review reading passages and vocabulary

事後学修課題 : Review reading passages and vocabulary

【第15回】

事前学修課題 : Review reading passages and vocabulary

事後学修課題 : None

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at mid-term and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on assignments completed in and out of class, in-class vocabulary quizzes, and reading skills evaluation. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course if they comply with the attendance policy.

Grade Breakdown:

Active participation & in-class activities (20%)
 English Central quizzes (20%)
 Midterm reading skill evaluations (20%)
 Homework assignments (20%)
 Final evaluation / reflection report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	Active participation & in-class activities (20), English Central quizzes (20), midterm reading skill evaluations (20)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	20	Homework assignments (20)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final evaluation / reflection report (20)	1, 2, 3, 4
その他	0		

テキスト	Reading for Speed and Fluency Book 4, 2nd edition, Paul Nation, Marcos Benevides, James Broadbridge, Joseph Siegel, Compass Publishing, 2018. 978-1-64015-070-6
------	---

参考書	
-----	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできるが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13103452	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Vocabulary II [対面]				
シラバス執筆(全員)	A. ナデュー				
シラバス執筆(主)	A. ナデュー				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

Vocabulary I & II focus on explicit vocabulary study of digital word cards as well as instruction in speed-reading to help students learn to quickly recognize vocabulary in context. The course uses the English Central Vocabulary Builder app and quizzes to help students fill in gaps in knowledge of the most frequent words in the English language using the New General Service List (NGSL). Students commit approximately 30 minutes every class to vocabulary study strategies and activities.

During instruction using the speed-reading text, students will practice reading quickly and silently for general understanding, as well as reading aloud with proper pronunciation at a good pace. Skill building activities will progressively push students to internalize core sub-skills of reading, including:

- Predicting content from titles and pictures
- Skimming for gist
- Scanning a passage to quickly identify key information such as dates, names, locations, etc.
- Monitoring comprehension: Guessing and checking word meaning, answering comprehension questions to evaluate comprehension
- Using margin notes to identify main ideas, supporting ideas, and examples
- Summarizing a passage orally and in writing
- Relating reading to personal experience with expansion questions and discussion

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Expand general vocabulary knowledge of the most common ~2000 words in English (English Central study)
2. Learn strategies for building vocabulary
3. Increase reading speed and fluency through speed reading training
4. Develop core reading skills such as skimming, scanning, taking notes, and summarizing

授業計画

【第1回】

テーマ: Course introduction: Syllabus explanation, components of course: English Central, Speed Reading, Reading skills, Grammar study.

内容・方法: Reviewing how to do the speed reading. Speed Reading #21 (#22 for HW)

【第2回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading #23. Reading Skills: Margin notes & summary.

【第3回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading #25. Reading Skills: Margin notes & summary

【第4回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading #27 in class. Reading Skills: Margin notes & summary

【第5回】

テーマ: Reading skills evaluation

内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading Evaluation: Margin notes & summary (using review passages from 1st semester)

【第6回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading #29. Reading Skills: Skimming for main idea

【第7回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading #31. Reading Skills: Scanning for answers

【第8回】

テーマ: Mid-semester grade check and reflection

内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading #33. Reading Skills: Skimming for main idea. Review grades and complete reflection on course goals.

【第9回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading #35. Reading Skills: Scanning for answers

【第10回】

テーマ: Reading skills evaluation

内容・方法: English Central Quiz: Fluency evaluation

【第11回】

テーマ : Reading skills training

内容・方法 : English Central Quiz. Speed Reading #37. Reading Skills: identifying details.

【第12回】

テーマ : Reading skills training

内容・方法 : English Central Quiz. Speed Reading #39 in class. Reading Skills: identifying details.

【第13回】

テーマ : Reading skills review

内容・方法 : English Central Quiz. Review of all Reading Skills w/ review passages

【第14回】

テーマ : Final grade check and reflection

内容・方法 : English Central Quiz. Vocabulary and reading skills training review. Review grades and complete reflection on course goals.

【第15回】

テーマ : Reading skills review evaluation

内容・方法 : Review of semester

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a 1-credit (1単位) course, which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題 : None

事後学修課題 : English Central

【第2回】 -

事前学修課題 : Speed Reading HW #22 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第2回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #24 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第4回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #26 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第5回】

事前学修課題 : Review chapters, prepare for evaluation

事後学修課題 : English Central

【第6回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #28 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第7回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #30 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第8回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #32 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第9回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #34 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第10回】

事前学修課題 : Prepare for evaluation (TOEIC practice)

事後学修課題 : English Central

【第11回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #36 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第12回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #38 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第13回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #40 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第14回】

事前学修課題 : Review reading passages and vocabulary

事後学修課題 : Review reading passages and vocabulary

【第15回】

事前学修課題 : Review reading passages and vocabulary

事後学修課題 : None

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at mid-term and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on assignments completed in and out of class, in-class vocabulary quizzes, and reading skills evaluation. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course if they comply with the attendance policy.

Grade Breakdown:

Active participation & in-class activities (20%)
 English Central quizzes (20%)
 Midterm reading skill evaluations (20%)
 Homework assignments (20%)
 Final evaluation / reflection report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	Active participation & in-class activities (20), English Central quizzes (20), midterm reading skill evaluations (20)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	20	Homework assignments (20)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final evaluation / reflection report (20)	1, 2, 3, 4
その他	0		

テキスト	Reading for Speed and Fluency Book 4, 2nd edition, Paul Nation, Marcos Benevides, James Broadbridge, Joseph Siegel, Compass Publishing, 2018. 978-1-64015-070-6
------	---

参考書	
-----	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできるが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13103901	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Reading I [対面]				
シラバス執筆(全員)	G. S. ジョン=バプティースト				
シラバス執筆(主)	G. S. ジョン=バプティースト				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course students will explicitly learn and practice skills and strategies to enhance reading comprehension. This will be done by working with a variety of reading passages from the textbook as well as graded readers. Students will focus on using and applying reading strategies and skills. As vocabulary is essential to reading, there will be a strong focus on building vocabulary including regular vocabulary quizzes and assignments.

Extensive reading helps build vocabulary and understand grammar. It also builds reading speed and reading fluency. Students will read graded readers on a weekly basis and take the quizzes with the aim to achieve a specific target of words (30,000 words) read per semester. Course information, class materials and assignments will be on Google Classroom.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Build reading skills including previewing, predicting, skimming, scanning, identifying the main idea, identifying key details, and making inferences about a passage from the textbook
2. Use strategies for organizing information including in charts and summaries
3. Apply reading strategies to other texts including graded readers, websites, news articles, etc.
4. Employ a variety of vocabulary-learning strategies and develop vocabulary skills.
5. Read extensively to develop reading speed and fluency.

授業計画

【第1回】

テーマ: Class Orientation / Unit 1A

内容・方法: Registration for Google Classroom. Introduction to course goals. Introduction to textbook (Unit 1A, Reading Skill practice). Explanation of vocabulary study, homework & how to prepare for next class.

【第2回】

テーマ: Unit 1B

内容・方法: Vocabulary review. Unit 1B. Reading Skill practice. Explanation of vocabulary quizzes. Graded Reader and Moodle Quiz explanation. Graded Reader reading time.

【第3回】

テーマ: Unit 1 Review & Video

内容・方法: Vocabulary review and Vocabulary Quiz 1. Review Unit 1 reading skills. Video activities. Graded Reader reading time.

【第4回】

テーマ: Unit 2A

内容・方法: Unit 2A. Reading Skill practice. Graded Reader reading time.

【第5回】

テーマ: Unit 2B

内容・方法: Vocabulary review. Unit 2B. Reading Skill practice.

【第6回】

テーマ: Unit 2 Review & Video

内容・方法: Vocabulary review and Vocabulary Quiz 2. Review Unit 2 reading skills. Video activities.

【第7回】

テーマ: Unit 3A

内容・方法: Unit 3A. Reading Skill practice. Graded Reader reading time.

【第8回】

テーマ: Unit 3B

内容・方法: Vocabulary review. Unit 3B. Reading Skill practice.

【第9回】

テーマ: Midterm in-class evaluation

内容・方法: Review of Units 1-3, midterm in-class evaluation. Review of Graded Reader reading goals & progress check. Grade review.

【第10回】

テーマ: Unit 4A

内容・方法: Unit 4A. Reading Skill practice. Graded Reader reading time.

【第11回】

テーマ: Unit 4B

内容・方法: Vocabulary review. Unit 4B. Reading Skill practice.

【第12回】

テーマ: Unit 4 Review & Video

内容・方法： Vocabulary review and Vocabulary Quiz 3. Review Unit 4 reading skills. Video activities.

【第13回】

テーマ： Unit 5A

内容・方法： Unit 5A. Reading Skill practice. Graded Reader reading time.

【第14回】

テーマ： Unit 5B

内容・方法： Vocabulary Review: Unit 5B. Reading Skill practice.

【第15回】

テーマ： Course Review, Final in-class evaluation

内容・方法： Review of Units 4-5, final in-class evaluation. Review of Graded Reader reading goals. Grade review. Explanation of final evaluation report.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。

A total of 45 hours of study is required per 1-credit course, including class (calculated as 2 hours per session) and pre- and post-work study. Any text activities not completed during the class time will be assigned.

【第1回】

事前学修課題： Read the course outline.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第2回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第3回】

事前学修課題： Review the units studied

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第4回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第5回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第6回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第7回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第8回】

事前学修課題： Review & Evaluation.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader. Prepare for Evaluation.

【第9回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第10回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第11回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第12回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第13回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第14回】

事前学修課題： Review & Evaluation.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader. Prepare for Evaluation.

【第15回】

事前学修課題： Semester Review.

事後学修課題： Final report submission.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.
4. Extensive reading word count will be reported on a weekly basis.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。

●必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed as homework and graded reader reading assignments, and midterm and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse will be given a “K” (failing mark).

Grade breakdown:

1. Weekly assignments (30%)
2. Vocabulary quizzes (20%)
3. Graded Reader reading reflection assignments & Moodle Quizzes (10%)
4. In-class reading evaluations (20%)
5. Final evaluation report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	40	Vocabulary quizzes (20%); In-class evaluations (20%)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	40	Weekly assignments (30%); Graded Reader reading reflection assignments & Moodle Quizzes (10%)	1, 2, 3, 4, 5
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final evaluation report (20%)	1, 2, 3, 4
その他	0	none	

テキスト	Reading Explorer Foundations (3rd Edition) Student Book. David Bohlke; Becky Tarver Chase (2020). National Geographic Learning (Cengage Learning). ISBN: 978-0-357-11628-9
------	--

参考書	Provided by the instructor as needed.
-----	---------------------------------------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD – 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13103902	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Reading I [対面]				
シラバス執筆(全員)	J. エチャー				
シラバス執筆(主)	J. エチャー				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course students will explicitly learn and practice skills and strategies to enhance reading comprehension. This will be done by working with a variety of reading passages from the textbook as well as graded readers. Students will focus on using and applying reading strategies and skills. As vocabulary is essential to reading, there will be a strong focus on building vocabulary including regular vocabulary quizzes and assignments.

Extensive reading helps build vocabulary and understand grammar. It also builds reading speed and reading fluency. Students will read graded readers on a weekly basis and take the quizzes with the aim to achieve a specific target of words (30,000 words) read per semester. Course information, class materials and assignments will be on Google Classroom.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Build reading skills including previewing, predicting, skimming, scanning, identifying the main idea, identifying key details, and making inferences about a passage from the textbook
2. Use strategies for organizing information including in charts and summaries
3. Apply reading strategies to other texts including graded readers, websites, news articles, etc.
4. Employ a variety of vocabulary-learning strategies and develop vocabulary skills.
5. Read extensively to develop reading speed and fluency.

授業計画

- 【第1回】
 テーマ： Class Orientation / Unit 1A
 内容・方法： Registration for Google Classroom. Introduction to course goals. Introduction to textbook (Unit 1A, Reading Skill practice). Explanation of vocabulary study, homework & how to prepare for next class.
- 【第2回】
 テーマ： Unit 1B
 内容・方法： Vocabulary review. Unit 1B. Reading Skill practice. Explanation of vocabulary quizzes. Graded Reader and Moodle Quiz explanation. Graded Reader reading time.
- 【第3回】
 テーマ： Unit 1 Review & Video
 内容・方法： Vocabulary review and Vocabulary Quiz 1. Review Unit 1 reading skills. Video activities. Graded Reader reading time.
- 【第4回】
 テーマ： Unit 2A
 内容・方法： Unit 2A. Reading Skill practice. Graded Reader reading time.
- 【第5回】
 テーマ： Unit 2B
 内容・方法： Vocabulary review. Unit 2B. Reading Skill practice.
- 【第6回】
 テーマ： Unit 2 Review & Video
 内容・方法： Vocabulary review and Vocabulary Quiz 2. Review Unit 2 reading skills. Video activities.
- 【第7回】
 テーマ： Unit 3A
 内容・方法： Unit 3A. Reading Skill practice. Graded Reader reading time.
- 【第8回】
 テーマ： Unit 3B
 内容・方法： Vocabulary review. Unit 3B. Reading Skill practice.
- 【第9回】
 テーマ： Midterm in-class evaluation
 内容・方法： Review of Units 1-3, midterm in-class evaluation. Review of Graded Reader reading goals & progress check. Grade review.
- 【第10回】
 テーマ： Unit 4A
 内容・方法： Unit 4A. Reading Skill practice. Graded Reader reading time.
- 【第11回】
 テーマ： Unit 4B
 内容・方法： Vocabulary review. Unit 4B. Reading Skill practice.
- 【第12回】
 テーマ： Unit 4 Review & Video

内容・方法： Vocabulary review and Vocabulary Quiz 3. Review Unit 4 reading skills. Video activities.

【第13回】

テーマ： Unit 5A

内容・方法： Unit 5A. Reading Skill practice. Graded Reader reading time.

【第14回】

テーマ： Unit 5B

内容・方法： Vocabulary Review; Unit 5B. Reading Skill practice.

【第15回】

テーマ： Course Review, Final in-class evaluation

内容・方法： Review of Units 4-5, final in-class evaluation. Review of Graded Reader reading goals. Grade review. Explanation of final evaluation report.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。

A total of 45 hours of study is required per 1-credit course, including class (calculated as 2 hours per session) and pre- and post-work study. Any text activities not completed during the class time will be assigned.

【第1回】

事前学修課題： Read the course outline.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第2回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第3回】

事前学修課題： Review the units studied

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第4回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第5回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第6回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第7回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第8回】

事前学修課題： Review & Evaluation.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader. Prepare for Evaluation.

【第9回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第10回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第11回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第12回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第13回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第14回】

事前学修課題： Review & Evaluation.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader. Prepare for Evaluation.

【第15回】

事前学修課題： Semester Review.

事後学修課題： Final report submission.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.
4. Extensive reading word count will be reported on a weekly basis.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。

●必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed as homework and graded reader reading assignments, and midterm and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse will be given a “K” (failing mark).

Grade breakdown:

1. Weekly assignments (30%)
2. Vocabulary quizzes (20%)
3. Graded Reader reading reflection assignments & Moodle Quizzes (10%)
4. In-class reading evaluations (20%)
5. Final evaluation report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	40	Vocabulary quizzes (20%); In-class evaluations (20%)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	40	Weekly assignments (30%); Graded Reader reading reflection assignments & Moodle Quizzes (10%)	1, 2, 3, 4, 5
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final evaluation report (20%)	1, 2, 3, 4
その他	0	none	

テキスト	Reading Explorer Foundations (3rd Edition) Student Book. David Bohlke; Becky Tarver Chase (2020). National Geographic Learning (Cengage Learning). ISBN: 978-0-357-11628-9
------	--

参考書	Provided by the instructor as needed.
-----	---------------------------------------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD – 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13103951	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Reading I [対面]				
シラバス執筆(全員)	N. J. ドーバー				
シラバス執筆(主)	N. J. ドーバー				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course students will explicitly learn and practice skills and strategies to enhance reading comprehension. This will be done by working with a variety of reading passages from the textbook as well as passages from websites, newspapers, etc. Learners will focus on using and applying reading strategies and skills. As vocabulary is essential to building reading comprehension, there will be a strong focus on building vocabulary through regular quizzes and assignments. Course information, class materials and assignments will be on Google Classroom.

Reading skill building activities will help students learn about and practice a variety of sub-skills of reading, including:

- Predicting content from titles and pictures
- Skimming for gist, Scanning for details
- Guessing the meaning of words from context
- Understanding relations within and between sentences
- Utilizing surface-level features such as layout, color, font style, etc.
- Identifying writer's assumptions and making inferences
- Identifying main ideas, supporting ideas, and examples
- Selecting relevant information to effectively summarize and discuss content

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Build reading skills including previewing, predicting, skimming, scanning, identifying the main idea, identifying key details, and making inferences about a passage from the textbook
2. Use strategies for organizing information including in charts and summaries
3. Apply reading strategies to other texts including websites, news articles, etc.
4. Employ a variety of vocabulary-learning strategies and develop vocabulary skills.

授業計画

【第1回】

テーマ: Class Orientation / Unit 1A

内容・方法: Registration for Google Classroom. Introduction to course goals. Introduction to textbook (Unit 1A, Reading Skill practice). Explanation of vocabulary study, homework & how to prepare for next class.

【第2回】

テーマ: Unit 1B

内容・方法: Vocabulary review. Unit 1B. Reading Skill practice. Explanation of vocabulary quizzes. Reading skill application activity.

【第3回】

テーマ: Unit 1 Review & Video

内容・方法: Vocabulary review and Vocabulary Quiz 1. Review Unit 1 reading skills. Video activities. Reading skill application activity.

【第4回】

テーマ: Unit 2A

内容・方法: Unit 2A. Reading Skill practice. Reading skill application activity.

【第5回】

テーマ: Unit 2B

内容・方法: Vocabulary review. Unit 2B. Reading Skill practice.

【第6回】

テーマ: Unit 2 Review & Video

内容・方法: Vocabulary review and Vocabulary Quiz 2. Review Unit 2 reading skills. Video activities.

【第7回】

テーマ: Unit 3A

内容・方法: Unit 3A. Reading Skill practice. Reading skill application activity.

【第8回】

テーマ: Unit 3B

内容・方法: Vocabulary review. Unit 3B. Reading Skill practice.

【第9回】

テーマ: Midterm in-class evaluation

内容・方法: Review of Units 1-3, midterm in-class evaluation. Progress check. Grade review.

【第10回】

テーマ: Unit 4A

内容・方法: Unit 4A. Reading Skill practice. Reading skill application activity.

【第11回】

テーマ： Unit 4B

内容・方法： Vocabulary review. Unit 4B. Reading Skill practice.

【第12回】

テーマ： Unit 4 Review & Video

内容・方法： Vocabulary review and Vocabulary Quiz 3. Review Unit 4 reading skills. Video activities.

【第13回】

テーマ： Unit 5A

内容・方法： Unit 5A. Reading Skill practice. Reading skill application activity.

【第14回】

テーマ： Unit 5B

内容・方法： Vocabulary Review; Unit 5B. Reading Skill practice.

【第15回】

テーマ： Course Review, Final in-class evaluation

内容・方法： Review of Units 4-5, final in-class evaluation. Grade review. Explanation of final evaluation report.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。

A total of 45 hours of study is required per 1-credit course, including class (calculated as 2 hours per session) and pre- and post-work study. Any text activities not completed during the class time will be assigned.

【第1回】

事前学修課題： Read the course outline.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第2回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第3回】

事前学修課題： Review the units studied

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第4回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第5回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第6回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第7回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第8回】

事前学修課題： Review & Evaluation.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Prepare for Evaluation.

【第9回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第10回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第11回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第12回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第13回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第14回】

事前学修課題： Review & Evaluation.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Prepare for Evaluation.

【第15回】

事前学修課題： Semester Review.

事後学修課題： Final report submission.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed as homework and graded reader reading assignments, and midterm and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse will be given a “K” (failing mark).

Grade breakdown:

1. Active participation (10%)
2. Textbook preparation and reading project assignments (30%)
3. Vocabulary quizzes (20%)
4. In-class reading evaluations (20%)
5. Final evaluation report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Active Participation (10%) Vocabulary quizzes (20%); In-class evaluations (20%)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	30	Textbook preparation and reading project assignments (30%)	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final evaluation report (20%)	1, 2, 3, 4
その他	0	none	

テキスト	Reading Explorer 1 (3rd Edition) Student Book. Douglas, Nancy & Bohlke, David, (2020). National Geographic Learning (Gengage Learning) ISBN: 978-0357116258
------	---

参考書	Provided by the instructor as needed.
-----	---------------------------------------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。 2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。 3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。 4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。 5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできるが、欠席扱いとなります。 6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD – 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。
---------------	---

授業コード	13103952	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Reading I [対面]				
シラバス執筆(全員)	P.L. ストリックランド				
シラバス執筆(主)	P.L. ストリックランド				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course students will explicitly learn and practice skills and strategies to enhance reading comprehension. This will be done by working with a variety of reading passages from the textbook as well as passages from websites, newspapers, etc. Learners will focus on using and applying reading strategies and skills. As vocabulary is essential to building reading comprehension, there will be a strong focus on building vocabulary through regular quizzes and assignments. Course information, class materials and assignments will be on Google Classroom.

Reading skill building activities will help students learn about and practice a variety of sub-skills of reading, including:

- Predicting content from titles and pictures
- Skimming for gist, Scanning for details
- Guessing the meaning of words from context
- Understanding relations within and between sentences
- Utilizing surface-level features such as layout, color, font style, etc.
- Identifying writer's assumptions and making inferences
- Identifying main ideas, supporting ideas, and examples
- Selecting relevant information to effectively summarize and discuss content

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Build reading skills including previewing, predicting, skimming, scanning, identifying the main idea, identifying key details, and making inferences about a passage from the textbook
2. Use strategies for organizing information including in charts and summaries
3. Apply reading strategies to other texts including websites, news articles, etc.
4. Employ a variety of vocabulary-learning strategies and develop vocabulary skills.

授業計画

【第1回】

テーマ: Class Orientation / Unit 1A

内容・方法: Registration for Google Classroom. Introduction to course goals. Introduction to textbook (Unit 1A, Reading Skill practice). Explanation of vocabulary study, homework & how to prepare for next class.

【第2回】

テーマ: Unit 1B

内容・方法: Vocabulary review. Unit 1B. Reading Skill practice. Explanation of vocabulary quizzes. Reading skill application activity.

【第3回】

テーマ: Unit 1 Review & Video

内容・方法: Vocabulary review and Vocabulary Quiz 1. Review Unit 1 reading skills. Video activities. Reading skill application activity.

【第4回】

テーマ: Unit 2A

内容・方法: Unit 2A. Reading Skill practice. Reading skill application activity.

【第5回】

テーマ: Unit 2B

内容・方法: Vocabulary review. Unit 2B. Reading Skill practice.

【第6回】

テーマ: Unit 2 Review & Video

内容・方法: Vocabulary review and Vocabulary Quiz 2. Review Unit 2 reading skills. Video activities.

【第7回】

テーマ: Unit 3A

内容・方法: Unit 3A. Reading Skill practice. Reading skill application activity.

【第8回】

テーマ: Unit 3B

内容・方法: Vocabulary review. Unit 3B. Reading Skill practice.

【第9回】

テーマ: Midterm in-class evaluation

内容・方法: Review of Units 1-3, midterm in-class evaluation. Progress check. Grade review.

【第10回】

テーマ: Unit 4A

内容・方法: Unit 4A. Reading Skill practice. Reading skill application activity.

【第11回】

テーマ： Unit 4B

内容・方法： Vocabulary review. Unit 4B. Reading Skill practice.

【第12回】

テーマ： Unit 4 Review & Video

内容・方法： Vocabulary review and Vocabulary Quiz 3. Review Unit 4 reading skills. Video activities.

【第13回】

テーマ： Unit 5A

内容・方法： Unit 5A. Reading Skill practice. Reading skill application activity.

【第14回】

テーマ： Unit 5B

内容・方法： Vocabulary Review; Unit 5B. Reading Skill practice.

【第15回】

テーマ： Course Review, Final in-class evaluation

内容・方法： Review of Units 4-5, final in-class evaluation. Grade review. Explanation of final evaluation report.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。

A total of 45 hours of study is required per 1-credit course, including class (calculated as 2 hours per session) and pre- and post-work study. Any text activities not completed during the class time will be assigned.

【第1回】

事前学修課題： Read the course outline.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第2回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第3回】

事前学修課題： Review the units studied

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第4回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第5回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第6回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第7回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第8回】

事前学修課題： Review & Evaluation.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Prepare for Evaluation.

【第9回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第10回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第11回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第12回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第13回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第14回】

事前学修課題： Review & Evaluation.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Prepare for Evaluation.

【第15回】

事前学修課題： Semester Review.

事後学修課題： Final report submission.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed as homework and graded reader reading assignments, and midterm and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse will be given a “K” (failing mark).

Grade breakdown:

1. Active participation (10%)
2. Textbook preparation and reading project assignments (30%)
3. Vocabulary quizzes (20%)
4. In-class reading evaluations (20%)
5. Final evaluation report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Active Participation (10%) Vocabulary quizzes (20%); In-class evaluations (20%)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	30	Textbook preparation and reading project assignments (30%)	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final evaluation report (20%)	1, 2, 3, 4
その他	0	none	

テキスト	Reading Explorer 1 (3rd Edition) Student Book. Douglas, Nancy & Bohlke, David, (2020). National Geographic Learning (Gengage Learning) ISBN: 978-0357116258
------	---

参考書	Provided by the instructor as needed.
-----	---------------------------------------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。 2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。 3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。 4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。 5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできるが、欠席扱いとなります。 6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD – 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。
---------------	---

授業コード	13104001	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Reading II [対面]				
シラバス執筆(全員)	G. S. ジョン=バプティースト				
シラバス執筆(主)	G. S. ジョン=バプティースト				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course students will explicitly learn and practice skills and strategies to enhance reading comprehension. This will be done by working with a variety of reading passages from the textbook as well as graded readers. Students will focus on using and applying reading strategies and skills. As vocabulary is essential to reading, there will be a strong focus on building vocabulary including regular vocabulary quizzes and assignments.

Extensive reading helps build vocabulary and understand grammar. It also builds reading speed and reading fluency. Students will read graded readers on a weekly basis and take the quizzes with the aim to achieve a specific target of words (30,000 words) read per semester. Course information, class materials and assignments will be on Google Classroom.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Build reading skills including previewing, predicting, skimming, scanning, identifying the main idea, identifying key details, and making inferences about a passage from the textbook
2. Use strategies for organizing information including in charts and summaries
3. Apply reading strategies to other texts including graded readers, websites, news articles, etc.
4. Employ a variety of vocabulary-learning strategies and develop vocabulary skills.
5. Read extensively to develop reading speed and fluency.

授業計画

【第1回】

テーマ: Class Orientation / Unit 7A

内容・方法: Registration for Google Classroom. Introduction to course goals. Introduction to textbook (Unit 1A, Reading Skill practice). Explanation of vocabulary study, homework & how to prepare for next class.

【第2回】

テーマ: Unit 7B

内容・方法: Vocabulary review. Unit 7B. Reading Skill practice. Explanation of vocabulary quizzes. Graded Reader and Moodle Quiz explanation. Graded Reader reading time.

【第3回】

テーマ: Unit 7 Review & Video

内容・方法: Vocabulary review and Vocabulary Quiz 1. Review Unit 7 reading skills. Video activities. Graded Reader reading time.

【第4回】

テーマ: Unit 8A

内容・方法: Unit 2A. Reading Skill practice. Graded Reader reading time.

【第5回】

テーマ: Unit 8B

内容・方法: Vocabulary review. Unit 8B. Reading Skill practice.

【第6回】

テーマ: Unit 8 Review & Video

内容・方法: Vocabulary review and Vocabulary Quiz 2. Review Unit 8 reading skills. Video activities.

【第7回】

テーマ: Unit 9A

内容・方法: Unit 9A. Reading Skill practice. Graded Reader reading time.

【第8回】

テーマ: Unit 9B

内容・方法: Vocabulary review. Unit 9B. Reading Skill practice.

【第9回】

テーマ: Midterm in-class evaluation

内容・方法: Review of Units 7-9, midterm in-class evaluation. Review of Graded Reader reading goals & progress check. Grade review.

【第10回】

テーマ: Unit 10A

内容・方法: Unit 10A. Reading Skill practice. Graded Reader reading time.

【第11回】

テーマ: Unit 10B

内容・方法: Vocabulary review. Unit 10B. Reading Skill practice.

【第12回】

テーマ: Unit 10 Review & Video

内容・方法：Vocabulary review and Vocabulary Quiz 3. Review Unit 10 reading skills. Video activities.

【第13回】

テーマ：Unit 11A

内容・方法：Unit 11A. Reading Skill practice. Graded Reader reading time.

【第14回】

テーマ：Unit 11B

内容・方法：Vocabulary Review; Unit 11B. Reading Skill practice.

【第15回】

テーマ：Course Review, Final in-class evaluation

内容・方法：Review of Units 10-11, final in-class evaluation. Review of Graded Reader reading goals. Grade review. Explanation of final evaluation report.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。

A total of 45 hours of study is required per 1-credit course, including class (calculated as 2 hours per session) and pre- and post-work study. Any text activities not completed during the class time will be assigned.

【第1回】

事前学修課題：Read the course outline.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises.

【第2回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第3回】

事前学修課題：Review the units studied

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第4回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第5回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第6回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第7回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第8回】

事前学修課題：Review & Evaluation.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader. Prepare for Evaluation.

【第9回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第10回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第11回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第12回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第13回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第14回】

事前学修課題：Review & Evaluation.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader. Prepare for Evaluation.

【第15回】

事前学修課題：Semester Review.

事後学修課題：Final report submission.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.
4. Extensive reading word count will be reported on a weekly basis.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。

●必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed as homework and graded reader reading assignments, and midterm and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse will be given a “K” (failing mark).

Grade breakdown:

1. Weekly assignments (30%)
2. Vocabulary quizzes (20%)
3. Graded Reader reading reflection assignments & Moodle Quizzes (10%)
4. In-class reading evaluations (20%)
5. Final evaluation report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	40	Vocabulary quizzes (20%); In-class evaluations (20%)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	40	Weekly assignments (30%); Graded Reader reading reflection assignments & Moodle Quizzes (10%)	1, 2, 3, 4, 5
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final evaluation report (20%)	1, 2, 3, 4
その他	0	none	

テキスト	Reading Explorer Foundations (3rd Edition) Student Book. David Bohlke; Becky Tarver Chase (2020). National Geographic Learning (Cengage Learning). ISBN: 978-0-357-11628-9
------	--

参考書	Provided by the instructor as needed.
-----	---------------------------------------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD – 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13104002	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Reading II [対面]				
シラバス執筆(全員)	J. エチャー				
シラバス執筆(主)	J. エチャー				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course students will explicitly learn and practice skills and strategies to enhance reading comprehension. This will be done by working with a variety of reading passages from the textbook as well as graded readers. Students will focus on using and applying reading strategies and skills. As vocabulary is essential to reading, there will be a strong focus on building vocabulary including regular vocabulary quizzes and assignments.

Extensive reading helps build vocabulary and understand grammar. It also builds reading speed and reading fluency. Students will read graded readers on a weekly basis and take the quizzes with the aim to achieve a specific target of words (30,000 words) read per semester. Course information, class materials and assignments will be on Google Classroom.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Build reading skills including previewing, predicting, skimming, scanning, identifying the main idea, identifying key details, and making inferences about a passage from the textbook
2. Use strategies for organizing information including in charts and summaries
3. Apply reading strategies to other texts including graded readers, websites, news articles, etc.
4. Employ a variety of vocabulary-learning strategies and develop vocabulary skills.
5. Read extensively to develop reading speed and fluency.

授業計画

【第1回】

テーマ: Class Orientation / Unit 7A

内容・方法: Registration for Google Classroom. Introduction to course goals. Introduction to textbook (Unit 1A, Reading Skill practice). Explanation of vocabulary study, homework & how to prepare for next class.

【第2回】

テーマ: Unit 7B

内容・方法: Vocabulary review. Unit 7B. Reading Skill practice. Explanation of vocabulary quizzes. Graded Reader and Moodle Quiz explanation. Graded Reader reading time.

【第3回】

テーマ: Unit 7 Review & Video

内容・方法: Vocabulary review and Vocabulary Quiz 1. Review Unit 7 reading skills. Video activities. Graded Reader reading time.

【第4回】

テーマ: Unit 8A

内容・方法: Unit 2A. Reading Skill practice. Graded Reader reading time.

【第5回】

テーマ: Unit 8B

内容・方法: Vocabulary review. Unit 8B. Reading Skill practice.

【第6回】

テーマ: Unit 8 Review & Video

内容・方法: Vocabulary review and Vocabulary Quiz 2. Review Unit 8 reading skills. Video activities.

【第7回】

テーマ: Unit 9A

内容・方法: Unit 9A. Reading Skill practice. Graded Reader reading time.

【第8回】

テーマ: Unit 9B

内容・方法: Vocabulary review. Unit 9B. Reading Skill practice.

【第9回】

テーマ: Midterm in-class evaluation

内容・方法: Review of Units 7-9, midterm in-class evaluation. Review of Graded Reader reading goals & progress check. Grade review.

【第10回】

テーマ: Unit 10A

内容・方法: Unit 10A. Reading Skill practice. Graded Reader reading time.

【第11回】

テーマ: Unit 10B

内容・方法: Vocabulary review. Unit 10B. Reading Skill practice.

【第12回】

テーマ: Unit 10 Review & Video

内容・方法： Vocabulary review and Vocabulary Quiz 3. Review Unit 10 reading skills. Video activities.

【第13回】

テーマ： Unit 11A

内容・方法： Unit 11A. Reading Skill practice. Graded Reader reading time.

【第14回】

テーマ： Unit 11B

内容・方法： Vocabulary Review; Unit 11B. Reading Skill practice.

【第15回】

テーマ： Course Review, Final in-class evaluation

内容・方法： Review of Units 10-11, final in-class evaluation. Review of Graded Reader reading goals. Grade review. Explanation of final evaluation report.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。

A total of 45 hours of study is required per 1-credit course, including class (calculated as 2 hours per session) and pre- and post-work study. Any text activities not completed during the class time will be assigned.

【第1回】

事前学修課題： Read the course outline.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第2回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第3回】

事前学修課題： Review the units studied

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第4回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第5回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第6回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第7回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第8回】

事前学修課題： Review & Evaluation.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader. Prepare for Evaluation.

【第9回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第10回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第11回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第12回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第13回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第14回】

事前学修課題： Review & Evaluation.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader. Prepare for Evaluation.

【第15回】

事前学修課題： Semester Review.

事後学修課題： Final report submission.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.
4. Extensive reading word count will be reported on a weekly basis.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。

●必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed as homework and graded reader reading assignments, and midterm and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse will be given a “K” (failing mark).

Grade breakdown:

1. Weekly assignments (30%)
2. Vocabulary quizzes (20%)
3. Graded Reader reading reflection assignments & Moodle Quizzes (10%)
4. In-class reading evaluations (20%)
5. Final evaluation report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	40	Vocabulary quizzes (20%); In-class evaluations (20%)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	40	Weekly assignments (30%); Graded Reader reading reflection assignments & Moodle Quizzes (10%)	1, 2, 3, 4, 5
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final evaluation report (20%)	1, 2, 3, 4
その他	0	none	

テキスト	Reading Explorer Foundations (3rd Edition) Student Book. David Bohlke; Becky Tarver Chase (2020). National Geographic Learning (Cengage Learning). ISBN: 978-0-357-11628-9
------	--

参考書	Provided by the instructor as needed.
-----	---------------------------------------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD – 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13104051	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Reading II [対面]				
シラバス執筆(全員)	N. J. ドーバー				
シラバス執筆(主)	N. J. ドーバー				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course students will explicitly learn and practice skills and strategies to enhance reading comprehension. This will be done by working with a variety of reading passages from the textbook as well as passages from websites, newspapers, and picture books. Learners will focus on using and applying reading strategies and skills. As vocabulary is essential to building reading comprehension, there will be a strong focus on building vocabulary through regular quizzes and assignments. Course information, class materials and assignments will be on Google Classroom.

Reading skill building activities will help students learn about and practice a variety of sub-skills of reading, including:

- Predicting content from titles and pictures
- Skimming for gist, Scanning for details
- Guessing the meaning of words from context
- Understanding relations within and between sentences
- Utilizing surface-level features such as layout, color, font style, etc.
- Identifying writer's assumptions and making inferences
- Identifying main ideas, supporting ideas, and examples
- Selecting relevant information to effectively summarize and discuss content

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Build reading skills including previewing, predicting, skimming, scanning, identifying the main idea, identifying key details, and making inferences about a passage from the textbook
2. Use strategies for organizing information including in charts and summaries
3. Apply reading strategies to other texts including websites and news articles
4. Employ a variety of vocabulary-learning strategies and develop vocabulary skills.

授業計画

【第1回】

テーマ: Class Orientation / Unit 7A

内容・方法: Registration for Google Classroom. Introduction to course goals. Introduction to textbook (Unit 7A, Reading Skill practice). Explanation of vocabulary study, homework & how to prepare for next class.

【第2回】

テーマ: Unit 7B

内容・方法: Vocabulary review. Unit 7B. Reading Skill practice. Explanation of vocabulary quizzes. Reading skill application activity.

【第3回】

テーマ: Unit 7 Review & Video

内容・方法: Vocabulary review and Vocabulary Quiz 1. Review Unit 7 reading skills. Video activities. Reading skill application activity.

【第4回】

テーマ: Unit 8A

内容・方法: Unit 2A. Reading Skill practice. Reading skill application activity.

【第5回】

テーマ: Unit 8B

内容・方法: Vocabulary review. Unit 8B. Reading Skill practice.

【第6回】

テーマ: Unit 8 Review & Video

内容・方法: Vocabulary review and Vocabulary Quiz 2. Review Unit 8 reading skills. Video activities.

【第7回】

テーマ: Unit 9A

内容・方法: Unit 9A. Reading Skill practice. Reading skill application activity.

【第8回】

テーマ: Unit 9B

内容・方法: Vocabulary review. Unit 9B. Reading Skill practice.

【第9回】

テーマ: Midterm in-class evaluation

内容・方法: Review of Units 7-9, midterm in-class evaluation. Grade review.

【第10回】

テーマ: Unit 10A

内容・方法: Unit 10A. Reading Skill practice. Reading skill application activity.

【第11回】

テーマ： Unit 10B

内容・方法： Vocabulary review. Unit 10B. Reading Skill practice.

【第12回】

テーマ： Unit 10 Review & Video

内容・方法： Vocabulary review and Vocabulary Quiz 3. Review Unit 10 reading skills. Video activities.

【第13回】

テーマ： Unit 11A

内容・方法： Unit 11A. Reading Skill practice. Reading skill application activity.

【第14回】

テーマ： Unit 11B

内容・方法： Vocabulary Review; Unit 11B. Reading Skill practice.

【第15回】

テーマ： Course Review, Final in-class evaluation

内容・方法： Review of Units 10-11, final in-class evaluation. Grade review. Explanation of final evaluation report.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

事前学修課題： Read the course outline.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第2回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第3回】

事前学修課題： Review the units studied

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第4回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第5回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第6回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第7回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第8回】

事前学修課題： Review & Evaluation.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Prepare for Evaluation.

【第9回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第10回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第11回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第12回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第13回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第14回】

事前学修課題： Review & Evaluation.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Prepare for Evaluation.

【第15回】

事前学修課題： Semester Review.

事後学修課題： Final report submission.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。

●必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Grade breakdown:

1. Active participation (10%)
2. Textbook preparation and reading project assignments (30%)
3. Vocabulary quizzes (20%)
4. In-class reading evaluations (20%)
5. Final evaluation report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Active Participation (10%) Vocabulary quizzes (20%); In-class evaluations (20%)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	30	Textbook preparation and reading project assignments (30%)	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final evaluation report (20%)	1, 2, 3, 4
その他	0	none	

テキスト	Reading Explorer 1 (3rd Edition) Student Book. Douglas, Nancy & Bohlke, David, (2020). National Geographic Learning (Cengage Learning) ISBN: 9780357116258
------	--

参考書	Provided by the instructor as needed.
-----	---------------------------------------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13104052	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Reading II [対面]				
シラバス執筆(全員)	P.L. ストリックランド				
シラバス執筆(主)	P.L. ストリックランド				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course students will explicitly learn and practice skills and strategies to enhance reading comprehension. This will be done by working with a variety of reading passages from the textbook as well as passages from websites, newspapers, and picture books. Learners will focus on using and applying reading strategies and skills. As vocabulary is essential to building reading comprehension, there will be a strong focus on building vocabulary through regular quizzes and assignments. Course information, class materials and assignments will be on Google Classroom.

Reading skill building activities will help students learn about and practice a variety of sub-skills of reading, including:

- Predicting content from titles and pictures
- Skimming for gist, Scanning for details
- Guessing the meaning of words from context
- Understanding relations within and between sentences
- Utilizing surface-level features such as layout, color, font style, etc.
- Identifying writer's assumptions and making inferences
- Identifying main ideas, supporting ideas, and examples
- Selecting relevant information to effectively summarize and discuss content

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Build reading skills including previewing, predicting, skimming, scanning, identifying the main idea, identifying key details, and making inferences about a passage from the textbook
2. Use strategies for organizing information including in charts and summaries
3. Apply reading strategies to other texts including websites and news articles
4. Employ a variety of vocabulary-learning strategies and develop vocabulary skills.

授業計画

【第1回】

テーマ: Class Orientation / Unit 7A

内容・方法: Registration for Google Classroom. Introduction to course goals. Introduction to textbook (Unit 7A, Reading Skill practice). Explanation of vocabulary study, homework & how to prepare for next class.

【第2回】

テーマ: Unit 7B

内容・方法: Vocabulary review. Unit 7B. Reading Skill practice. Explanation of vocabulary quizzes. Reading skill application activity.

【第3回】

テーマ: Unit 7 Review & Video

内容・方法: Vocabulary review and Vocabulary Quiz 1. Review Unit 7 reading skills. Video activities. Reading skill application activity.

【第4回】

テーマ: Unit 8A

内容・方法: Unit 2A. Reading Skill practice. Reading skill application activity.

【第5回】

テーマ: Unit 8B

内容・方法: Vocabulary review. Unit 8B. Reading Skill practice.

【第6回】

テーマ: Unit 8 Review & Video

内容・方法: Vocabulary review and Vocabulary Quiz 2. Review Unit 8 reading skills. Video activities.

【第7回】

テーマ: Unit 9A

内容・方法: Unit 9A. Reading Skill practice. Reading skill application activity.

【第8回】

テーマ: Unit 9B

内容・方法: Vocabulary review. Unit 9B. Reading Skill practice.

【第9回】

テーマ: Midterm in-class evaluation

内容・方法: Review of Units 7-9, midterm in-class evaluation. Grade review.

【第10回】

テーマ: Unit 10A

内容・方法: Unit 10A. Reading Skill practice. Reading skill application activity.

【第11回】

テーマ： Unit 10B

内容・方法： Vocabulary review. Unit 10B. Reading Skill practice.

【第12回】

テーマ： Unit 10 Review & Video

内容・方法： Vocabulary review and Vocabulary Quiz 3. Review Unit 10 reading skills. Video activities.

【第13回】

テーマ： Unit 11A

内容・方法： Unit 11A. Reading Skill practice. Reading skill application activity.

【第14回】

テーマ： Unit 11B

内容・方法： Vocabulary Review; Unit 11B. Reading Skill practice.

【第15回】

テーマ： Course Review, Final in-class evaluation

内容・方法： Review of Units 10-11, final in-class evaluation. Grade review. Explanation of final evaluation report.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

事前学修課題： Read the course outline.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第2回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第3回】

事前学修課題： Review the units studied

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第4回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第5回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第6回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第7回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第8回】

事前学修課題： Review & Evaluation.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Prepare for Evaluation.

【第9回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第10回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第11回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第12回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第13回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第14回】

事前学修課題： Review & Evaluation.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Prepare for Evaluation.

【第15回】

事前学修課題： Semester Review.

事後学修課題： Final report submission.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。

●必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Grade breakdown:

1. Active participation (10%)
2. Textbook preparation and reading project assignments (30%)
3. Vocabulary quizzes (20%)
4. In-class reading evaluations (20%)
5. Final evaluation report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Active Participation (10%) Vocabulary quizzes (20%); In-class evaluations (20%)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	30	Textbook preparation and reading project assignments (30%)	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final evaluation report (20%)	1, 2, 3, 4
その他	0	none	

テキスト	Reading Explorer 1 (3rd Edition) Student Book. Douglas, Nancy & Bohlke, David, (2020). National Geographic Learning (Cengage Learning) ISBN: 9780357116258
------	--

参考書	Provided by the instructor as needed.
-----	---------------------------------------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13104301	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Writing I [対面]				
シラバス執筆(全員)	P.L. ストリックランド				
シラバス執筆(主)	P.L. ストリックランド				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course will help you improve your writing skills and your ability to produce accurate written English. It will also help you to write more freely and clearly. You will master standard organizational patterns for sentences and paragraphs; plan, organize, draft, revise, and edit paragraphs; use grammar and vocabulary correctly; gain accuracy in your use of punctuation. A weekly Writing Journal will be kept. Students will write a paragraph per week on assigned topics to be submitted to Google Classroom. Google Classroom will be used for assignments and information about this course.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Write paragraphs (original, well-formed paragraphs of ~10 sentences including topic sentences, supporting details, and concluding sentences)
2. Edit paragraphs (peer editing as well as editing their own work based on teacher comments)
3. Use correct grammar in writing a variety of paragraph types
4. Build vocabulary (~150 CEFR A1/A2 vocabulary words and language terms to talk about grammar and writing)

授業計画

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

【第1回】

テーマ: Course introduction. Google Classroom registration and explanation.

内容・方法: Explanation of course goals and syllabus. Explanation of Journal Writing and writing checklist. Intro to textbook. Journal Topic 1 (in class) and check. Submit on Google Classroom.

【第2回】

テーマ: Unit 1: Sentences

内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 2 (HWK)

【第3回】

テーマ: Unit 1: Sentences

内容・方法: Vocabulary & Writing Quiz 1 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 2 peer editing

【第4回】

テーマ: Unit 2: Simple Present Tense

内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 3 (HWK)

【第5回】

テーマ: Unit 2: Simple Present

内容・方法: Vocabulary & Writing Quiz 2 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 3 peer editing

【第6回】

テーマ: Unit 3: Simple Present

内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 4 (HWK)

【第7回】

テーマ: Unit 3: Simple Present Tense

内容・方法: Vocabulary & Writing Quiz 3 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 4 peer editing

【第8回】

テーマ: Mid-semester evaluation: review of Units 1-3

内容・方法: Review Vocabulary & Writing test 1. Paragraph writing test 1 on 3 topics and peer editing.

【第9回】

テーマ: Unit 4: Nouns

内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 5 (HWK)

【第10回】

テーマ: Unit 4: Nouns

内容・方法: Vocabulary & Writing Quiz 4 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 5 peer editing

【第11回】

テーマ: Unit 5: Pronouns

内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 6 (HWK)

【第12回】

テーマ: Unit 5: Pronouns

内容・方法： Vocabulary & Writing Quiz 5 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 6 peer editing

【第13回】

テーマ： Unit 6: Adjectives

内容・方法： Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 7 (HWK)

【第14回】

テーマ： Unit 6: Adjectives

内容・方法： Vocabulary & Writing Quiz 6 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 6 peer editing

【第15回】

テーマ： End-of-semester evaluation: review of Units 4-6

内容・方法： Review Vocabulary & Writing test 2. Paragraph writing test 2 on 3 topics and peer editing. Explanation of final examination: paragraph writing.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。毎回の授業前に約30分の予習課題を行い、授業後に約30分の復習課題を行います。

A total of 45 hours of study is required per 1-credit course, including class (calculated as 2 hours per session) and pre- and post-work study. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題： Buy the textbook.

事後学修課題： Buy the textbook. Review, HWK. Journal assignment

【第2回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第3回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments

【第4回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第5回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments

【第6回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第7回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments. Prepare for mid-semester evaluation

【第8回】

事前学修課題： Review for mid-semester evaluation.

事後学修課題： Review,

【第9回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第10回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments

【第11回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第12回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments

【第13回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第14回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments. Prepare for end-of-semester evaluation

【第15回】

事前学修課題： Review for end-of-semester evaluation.

事後学修課題： Submit final examination paragraph writing.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, writing assignments completed as homework, and in-class and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse will be given a “K” (failing mark).

Grade Breakdown:

1. In-class activities and active participation (10%)
2. Vocabulary and writing quizzes (20%)
3. Textbook homework assignments (10%)
4. Journal Writing assignments (30%)
5. In-class evaluations (20%) and final examination (10%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	In-class activities and active participation (10%), vocabulary and writing quizzes (20%), In-class evaluations (20%).	1, 2, 3, 4
授業外での評価	40	Textbook homework assignments (10%), Journal Writing assignments (30%).	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	10	Final examination (10%).	1, 3
その他	0	none	

テキスト	Great Writing Foundations, Keith S. Folse, 5th edition, 2019, National Geographic/Cengage Learning Company, ISBN: 978-0357020814
------	--

参考書	None
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13104302	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Writing I [対面]				
シラバス執筆(全員)	I. M. アレンズワース				
シラバス執筆(主)	I. M. アレンズワース				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course will help you improve your writing skills and your ability to produce accurate written English. It will also help you to write more freely and clearly. You will master standard organizational patterns for sentences and paragraphs; plan, organize, draft, revise, and edit paragraphs; use grammar and vocabulary correctly; gain accuracy in your use of punctuation. A weekly Writing Journal will be kept. Students will write a paragraph per week on assigned topics to be submitted to Google Classroom. Google Classroom will be used for assignments and information about this course.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Write paragraphs (original, well-formed paragraphs of ~10 sentences including topic sentences, supporting details, and concluding sentences)
2. Edit paragraphs (peer editing as well as editing their own work based on teacher comments)
3. Use correct grammar in writing a variety of paragraph types
4. Build vocabulary (~150 CEFR A1/A2 vocabulary words and language terms to talk about grammar and writing)

授業計画

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

【第1回】

テーマ: Course introduction. Google Classroom registration and explanation.

内容・方法: Explanation of course goals and syllabus. Explanation of Journal Writing and writing checklist. Intro to textbook. Journal Topic 1 (in class) and check. Submit on Google Classroom.

【第2回】

テーマ: Unit 1: Sentences

内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 2 (HWK)

【第3回】

テーマ: Unit 1: Sentences

内容・方法: Vocabulary & Writing Quiz 1 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 2 peer editing

【第4回】

テーマ: Unit 2: Simple Present Tense

内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 3 (HWK)

【第5回】

テーマ: Unit 2: Simple Present

内容・方法: Vocabulary & Writing Quiz 2 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 3 peer editing

【第6回】

テーマ: Unit 3: Simple Present

内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 4 (HWK)

【第7回】

テーマ: Unit 3: Simple Present Tense

内容・方法: Vocabulary & Writing Quiz 3 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 4 peer editing

【第8回】

テーマ: Mid-semester evaluation: review of Units 1-3

内容・方法: Review Vocabulary & Writing test 1. Paragraph writing test 1 on 3 topics and peer editing.

【第9回】

テーマ: Unit 4: Nouns

内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 5 (HWK)

【第10回】

テーマ: Unit 4: Nouns

内容・方法: Vocabulary & Writing Quiz 4 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 5 peer editing

【第11回】

テーマ: Unit 5: Pronouns

内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 6 (HWK)

【第12回】

テーマ: Unit 5: Pronouns

内容・方法： Vocabulary & Writing Quiz 5 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 6 peer editing

【第13回】

テーマ： Unit 6: Adjectives

内容・方法： Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 7 (HWK)

【第14回】

テーマ： Unit 6: Adjectives

内容・方法： Vocabulary & Writing Quiz 6 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 6 peer editing

【第15回】

テーマ： End-of-semester evaluation: review of Units 4-6

内容・方法： Review Vocabulary & Writing test 2. Paragraph writing test 2 on 3 topics and peer editing. Explanation of final examination: paragraph writing.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。毎回の授業前に約30分の予習課題を行い、授業後に約30分の復習課題を行います。

A total of 45 hours of study is required per 1-credit course, including class (calculated as 2 hours per session) and pre- and post-work study. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題： Buy the textbook.

事後学修課題： Buy the textbook. Review, HWK. Journal assignment

【第2回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第3回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments

【第4回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第5回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments

【第6回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第7回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments. Prepare for mid-semester evaluation

【第8回】

事前学修課題： Review for mid-semester evaluation.

事後学修課題： Review,

【第9回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第10回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments

【第11回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第12回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments

【第13回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第14回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments. Prepare for end-of-semester evaluation

【第15回】

事前学修課題： Review for end-of-semester evaluation.

事後学修課題： Submit final examination paragraph writing.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, writing assignments completed as homework, and in-class and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse will be given a “K” (failing mark).

Grade Breakdown:

1. In-class activities and active participation (10%)
2. Vocabulary and writing quizzes (20%)
3. Textbook homework assignments (10%)
4. Journal Writing assignments (30%)
5. In-class evaluations (20%) and final examination (10%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	In-class activities and active participation (10%), vocabulary and writing quizzes (20%), In-class evaluations (20%).	1, 2, 3, 4
授業外での評価	40	Textbook homework assignments (10%), Journal Writing assignments (30%).	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	10	Final examination (10%).	1, 3
その他	0	none	

テキスト	Great Writing Foundations, Keith S. Folse, 5th edition, 2019, National Geographic/Cengage Learning Company, ISBN: 978-0357020814
------	--

参考書	None
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13104303	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Writing I [対面]				
シラバス執筆(全員)	C. A. スミス				
シラバス執筆(主)	C. A. スミス				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course will help you improve your writing skills and your ability to produce accurate written English. It will also help you to write more freely and clearly. You will master standard organizational patterns for sentences and paragraphs; plan, organize, draft, revise, and edit paragraphs; use grammar and vocabulary correctly; gain accuracy in your use of punctuation. A weekly Writing Journal will be kept. Students will write a paragraph per week on assigned topics to be submitted to Google Classroom. Google Classroom will be used for assignments and information about this course.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Write paragraphs (original, well-formed paragraphs of ~10 sentences including topic sentences, supporting details, and concluding sentences)
2. Edit paragraphs (peer editing as well as editing their own work based on teacher comments)
3. Use correct grammar in writing a variety of paragraph types
4. Build vocabulary (~150 CEFR A1/A2 vocabulary words and language terms to talk about grammar and writing)

授業計画

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

【第1回】

テーマ: Course introduction. Google Classroom registration and explanation.

内容・方法: Explanation of course goals and syllabus. Explanation of Journal Writing and writing checklist. Intro to textbook. Journal Topic 1 (in class) and check. Submit on Google Classroom.

【第2回】

テーマ: Unit 1: Sentences

内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 2 (HWK)

【第3回】

テーマ: Unit 1: Sentences

内容・方法: Vocabulary & Writing Quiz 1 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 2 peer editing

【第4回】

テーマ: Unit 2: Simple Present Tense

内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 3 (HWK)

【第5回】

テーマ: Unit 2: Simple Present

内容・方法: Vocabulary & Writing Quiz 2 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 3 peer editing

【第6回】

テーマ: Unit 3: Simple Present

内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 4 (HWK)

【第7回】

テーマ: Unit 3: Simple Present Tense

内容・方法: Vocabulary & Writing Quiz 3 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 4 peer editing

【第8回】

テーマ: Mid-semester evaluation: review of Units 1-3

内容・方法: Review Vocabulary & Writing test 1. Paragraph writing test 1 on 3 topics and peer editing.

【第9回】

テーマ: Unit 4: Nouns

内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 5 (HWK)

【第10回】

テーマ: Unit 4: Nouns

内容・方法: Vocabulary & Writing Quiz 4 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 5 peer editing

【第11回】

テーマ: Unit 5: Pronouns

内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 6 (HWK)

【第12回】

テーマ: Unit 5: Pronouns

内容・方法： Vocabulary & Writing Quiz 5 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 6 peer editing

【第13回】

テーマ： Unit 6: Adjectives

内容・方法： Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 7 (HWK)

【第14回】

テーマ： Unit 6: Adjectives

内容・方法： Vocabulary & Writing Quiz 6 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 6 peer editing

【第15回】

テーマ： End-of-semester evaluation: review of Units 4-6

内容・方法： Review Vocabulary & Writing test 2. Paragraph writing test 2 on 3 topics and peer editing. Explanation of final examination: paragraph writing.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。毎回の授業前に約30分の予習課題を行い、授業後に約30分の復習課題を行います。

A total of 45 hours of study is required per 1-credit course, including class (calculated as 2 hours per session) and pre- and post-work study. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題： Buy the textbook.

事後学修課題： Buy the textbook. Review, HWK. Journal assignment

【第2回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第3回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments

【第4回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第5回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments

【第6回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第7回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments. Prepare for mid-semester evaluation

【第8回】

事前学修課題： Review for mid-semester evaluation.

事後学修課題： Review,

【第9回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第10回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments

【第11回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第12回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments

【第13回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第14回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments. Prepare for end-of-semester evaluation

【第15回】

事前学修課題： Review for end-of-semester evaluation.

事後学修課題： Submit final examination paragraph writing.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, writing assignments completed as homework, and in-class and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse will be given a “K” (failing mark).

Grade Breakdown:

1. In-class activities and active participation (10%)
2. Vocabulary and writing quizzes (20%)
3. Textbook homework assignments (10%)
4. Journal Writing assignments (30%)
5. In-class evaluations (20%) and final examination (10%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	In-class activities and active participation (10%), vocabulary and writing quizzes (20%), In-class evaluations (20%).	1, 2, 3, 4
授業外での評価	40	Textbook homework assignments (10%), Journal Writing assignments (30%).	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	10	Final examination (10%).	1, 3
その他	0	none	

テキスト	Great Writing Foundations, Keith S. Folse, 5th edition, 2019, National Geographic/Cengage Learning Company, ISBN: 978-0357020814
------	--

参考書	None
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13104351	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Writing I [対面]				
シラバス執筆(全員)	P.L. ストリックランド				
シラバス執筆(主)	P.L. ストリックランド				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course will help you improve your writing skills and your ability to produce accurate written English. It will also help you to write more freely and clearly. You will master standard organizational patterns for sentences and paragraphs; plan, organize, draft, revise, and edit paragraphs; use grammar and vocabulary correctly; gain accuracy in your use of punctuation.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Write paragraphs (original, well-formed paragraphs of ~10 sentences including topic sentences, supporting details, and concluding sentences)
2. Edit paragraphs (peer editing as well as editing their own work based on teacher comments)
3. Use correct grammar in writing a variety of paragraph types
4. Build vocabulary (~150 CEFR A2/B1 vocabulary words and language terms to talk about grammar and writing)

授業計画

- 【第1回】
 テーマ: Introduction
 内容・方法: Explanation of course goals and syllabus. Intro to textbook Unit 1, sentence structure
- 【第2回】
 テーマ: Unit 1
 内容・方法: Sentence Structure, Fragments, Subject- Verb Agreement
- 【第3回】
 テーマ: Unit 1
 内容・方法: Vocabulary Quiz 1 (Building Better Vocabulary); Prepositional phrases, There is/are
- 【第4回】
 テーマ: Unit 1
 内容・方法: Editing, Unit Evaluation (Test Prep)
- 【第5回】
 テーマ: Unit 2
 内容・方法: Analyzing Paragraphs (main idea / topic sentences); Word Order and Adjectives
- 【第6回】
 テーマ: Unit 2
 内容・方法: Analyzing Paragraphs (supporting sentences); Sequence words and Pronouns
- 【第7回】
 テーマ: Unit 2
 内容・方法: Vocabulary Quiz 2 (Building Better Vocabulary); Concluding sentences; Possessive adjectives
- 【第8回】
 テーマ: Unit 2
 内容・方法: Editing, Unit Evaluation (Unit 2 Test Prep)
- 【第9回】
 テーマ: Unit 3
 内容・方法: Simple Present Tense (affirmative & negative)
- 【第10回】
 テーマ: Unit 3
 内容・方法: Vocabulary Quiz 3 (Building Better Vocabulary); Simple and Compound Sentences
- 【第11回】
 テーマ: Unit 3
 内容・方法: Articles, Unit Evaluation: Writing & Editing
- 【第12回】
 テーマ: Unit 4
 内容・方法: Past Tense (affirmative & negative)
- 【第13回】
 テーマ: Unit 4
 内容・方法: Vocabulary Quiz 4 (Building Better Vocabulary); Adverbs of manner
- 【第14回】
 テーマ: Unit 4
 内容・方法: Complex sentences (Connectors for time clauses), Editing & error correction
- 【第15回】
 テーマ: Prepare for final evaluation
 内容・方法: Unit Evaluation: Writing, editing & Error correction

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。毎回の授業前に約30分の予習課題を行い、授業後に約30分の復習課題を行います。
This is a 1-credit (1単位) course, which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題：None

事後学修課題：Review, Grammar and writing assignments

【第2回】

事前学修課題：Pre-read textbook to p. 14

事後学修課題：Review, Grammar and writing assignments

【第3回】

事前学修課題：Pre-read textbook to p. 25, Study for Vocabulary Quiz 1 (p. 19)

事後学修課題：Review, Grammar and writing assignments

【第4回】

事前学修課題：Review Unit 1 for evaluation

事後学修課題：Review, Grammar and writing assignments

【第5回】

事前学修課題：Pre-read textbook to p. 41

事後学修課題：Review, Grammar and writing assignments

【第6回】

事前学修課題：Pre-read textbook to p. 50

事後学修課題：Review, Grammar and writing assignments

【第7回】

事前学修課題：Pre-read textbook to p. 57. Study for Vocabulary Quiz 2 (p. 52), Review Unit 2 for evaluation.

事後学修課題：Review, Grammar and writing assignments

【第8回】

事前学修課題：Review Unit 2 for evaluation.

事後学修課題：Review, Grammar and writing assignments

【第9回】

事前学修課題：Pre-read textbook to p. 68.

事後学修課題：Review, Grammar and writing assignments

【第10回】

事前学修課題：Pre-read textbook to p. 76. Study for Vocabulary Quiz 3 (p. 76)

事後学修課題：Review, Grammar and writing assignments

【第11回】

事前学修課題：Pre-read textbook to p. 81, Review for Unit 3 Evaluation

事後学修課題：Review, Grammar and writing assignments

【第12回】

事前学修課題：Pre-read textbook to p. 92

事後学修課題：Review, Grammar and writing assignments

【第13回】

事前学修課題：Pre-read textbook to p. 99. Study for Vocabulary Quiz 3 (p. 98)

事後学修課題：Review, Grammar and writing assignments

【第14回】

事前学修課題：Pre-read textbook to p. 103. Review Units 1-4 for final evaluation.

事後学修課題：Review, Grammar and writing assignments

【第15回】

事前学修課題：Review Units 1-4 for final evaluation.

事後学修課題：None

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed as homework, and midterm and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course if they comply with the attendance policy (see below).

Grade Breakdown:

- Active participation during in-class activities (10%)
- Midterm evaluations and other in-class assignments (20%)
- Vocabulary quizzes (20%)
- Homework assignments (30%)
- Final Evaluation (20%)

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Please contact your individual instructor for information about coursework and grading policy.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Active participation during in-class activities (10) Midterm evaluations and other in-class assignments (20), vocabulary quizzes (20)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	30	Homework assignments (30)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final Evaluation (20)	1, 2, 3
その他	0		

テキスト	Great Writing 1, Fifth Edition. Keith S. Folse, April Muchmore-Vokoun & Elena Vestri Solomon; Cengage 2020; 978-0357020821
------	--

参考書	None
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13104352	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Writing I [対面]				
シラバス執筆(全員)	C. A. スミス				
シラバス執筆(主)	C. A. スミス				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course will help you improve your writing skills and your ability to produce accurate written English. It will also help you to write more freely and clearly. You will master standard organizational patterns for sentences and paragraphs; plan, organize, draft, revise, and edit paragraphs; use grammar and vocabulary correctly; gain accuracy in your use of punctuation.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Write paragraphs (original, well-formed paragraphs of ~10 sentences including topic sentences, supporting details, and concluding sentences)
2. Edit paragraphs (peer editing as well as editing their own work based on teacher comments)
3. Use correct grammar in writing a variety of paragraph types
4. Build vocabulary (~150 CEFR A2/B1 vocabulary words and language terms to talk about grammar and writing)

授業計画

- 【第1回】
 テーマ: Introduction
 内容・方法: Explanation of course goals and syllabus. Intro to textbook Unit 1, sentence structure
- 【第2回】
 テーマ: Unit 1
 内容・方法: Sentence Structure, Fragments, Subject- Verb Agreement
- 【第3回】
 テーマ: Unit 1
 内容・方法: Vocabulary Quiz 1 (Building Better Vocabulary); Prepositional phrases, There is/are
- 【第4回】
 テーマ: Unit 1
 内容・方法: Editing, Unit Evaluation (Test Prep)
- 【第5回】
 テーマ: Unit 2
 内容・方法: Analyzing Paragraphs (main idea / topic sentences); Word Order and Adjectives
- 【第6回】
 テーマ: Unit 2
 内容・方法: Analyzing Paragraphs (supporting sentences); Sequence words and Pronouns
- 【第7回】
 テーマ: Unit 2
 内容・方法: Vocabulary Quiz 2 (Building Better Vocabulary); Concluding sentences; Possessive adjectives
- 【第8回】
 テーマ: Unit 2
 内容・方法: Editing, Unit Evaluation (Unit 2 Test Prep)
- 【第9回】
 テーマ: Unit 3
 内容・方法: Simple Present Tense (affirmative & negative)
- 【第10回】
 テーマ: Unit 3
 内容・方法: Vocabulary Quiz 3 (Building Better Vocabulary); Simple and Compound Sentences
- 【第11回】
 テーマ: Unit 3
 内容・方法: Articles, Unit Evaluation: Writing & Editing
- 【第12回】
 テーマ: Unit 4
 内容・方法: Past Tense (affirmative & negative)
- 【第13回】
 テーマ: Unit 4
 内容・方法: Vocabulary Quiz 4 (Building Better Vocabulary); Adverbs of manner
- 【第14回】
 テーマ: Unit 4
 内容・方法: Complex sentences (Connectors for time clauses), Editing & error correction
- 【第15回】
 テーマ: Prepare for final evaluation
 内容・方法: Unit Evaluation: Writing, editing & Error correction

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。毎回の授業前に約30分の予習課題を行い、授業後に約30分の復習課題を行います。
This is a 1-credit (1単位) course, which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題：None

事後学修課題：Review, Grammar and writing assignments

【第2回】

事前学修課題：Pre-read textbook to p. 14

事後学修課題：Review, Grammar and writing assignments

【第3回】

事前学修課題：Pre-read textbook to p. 25, Study for Vocabulary Quiz 1 (p. 19)

事後学修課題：Review, Grammar and writing assignments

【第4回】

事前学修課題：Review Unit 1 for evaluation

事後学修課題：Review, Grammar and writing assignments

【第5回】

事前学修課題：Pre-read textbook to p. 41

事後学修課題：Review, Grammar and writing assignments

【第6回】

事前学修課題：Pre-read textbook to p. 50

事後学修課題：Review, Grammar and writing assignments

【第7回】

事前学修課題：Pre-read textbook to p. 57. Study for Vocabulary Quiz 2 (p. 52), Review Unit 2 for evaluation.

事後学修課題：Review, Grammar and writing assignments

【第8回】

事前学修課題：Review Unit 2 for evaluation.

事後学修課題：Review, Grammar and writing assignments

【第9回】

事前学修課題：Pre-read textbook to p. 68.

事後学修課題：Review, Grammar and writing assignments

【第10回】

事前学修課題：Pre-read textbook to p. 76. Study for Vocabulary Quiz 3 (p. 76)

事後学修課題：Review, Grammar and writing assignments

【第11回】

事前学修課題：Pre-read textbook to p. 81, Review for Unit 3 Evaluation

事後学修課題：Review, Grammar and writing assignments

【第12回】

事前学修課題：Pre-read textbook to p. 92

事後学修課題：Review, Grammar and writing assignments

【第13回】

事前学修課題：Pre-read textbook to p. 99. Study for Vocabulary Quiz 3 (p. 98)

事後学修課題：Review, Grammar and writing assignments

【第14回】

事前学修課題：Pre-read textbook to p. 103. Review Units 1-4 for final evaluation.

事後学修課題：Review, Grammar and writing assignments

【第15回】

事前学修課題：Review Units 1-4 for final evaluation.

事後学修課題：None

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed as homework, and midterm and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course if they comply with the attendance policy (see below).

Grade Breakdown:

- Active participation during in-class activities (10%)
- Midterm evaluations and other in-class assignments (20%)
- Vocabulary quizzes (20%)
- Homework assignments (30%)
- Final Evaluation (20%)

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Please contact your individual instructor for information about coursework and grading policy.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Active participation during in-class activities (10) Midterm evaluations and other in-class assignments (20), vocabulary quizzes (20)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	30	Homework assignments (30)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final Evaluation (20)	1, 2, 3
その他	0		

テキスト	Great Writing 1, Fifth Edition. Keith S. Folse, April Muchmore-Vokoun & Elena Vestri Solomon; Cengage 2020; 978-0357020821
------	--

参考書	None
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13104401	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Writing II [対面]				
シラバス執筆(全員)	P.L. ストリックランド				
シラバス執筆(主)	P.L. ストリックランド				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course will help you improve your writing skills and your ability to produce accurate written English. It will also help you to write more freely and clearly. You will master standard organizational patterns for sentences and paragraphs; plan, organize, draft, revise, and edit paragraphs; use grammar and vocabulary correctly; gain accuracy in your use of punctuation. A weekly Writing Journal will be kept. Students will write a paragraph per week on assigned topics to be submitted to Google Classroom. Google Classroom will be used for assignments and information about this course.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Write paragraphs (original, well-formed paragraphs of ~10 sentences including topic sentences, supporting details, and concluding sentences)
2. Edit paragraphs (peer editing as well as editing their own work based on teacher comments)
3. Use correct grammar in writing a variety of paragraph types
4. Build vocabulary (vocabulary words and language terms to talk about grammar and writing)

授業計画

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

【第1回】

テーマ: Course introduction. Google Classroom registration and explanation.

内容・方法: Explanation of course goals and syllabus. Spring semester review. Explanation of Journal Writing and writing checklist. Intro to textbook. Journal Topic 1 (in class) and check. Submit on Google Classroom.

【第2回】

テーマ: Unit 7: Conjunction- And

内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 2 (HWK)

【第3回】

テーマ: Unit 7: Conjunction- And

内容・方法: Vocabulary & Writing Quiz 1 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 2 peer editing

【第4回】

テーマ: Unit 10: Simple and Compound Sentences

内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 3 (HWK)

【第5回】

テーマ: Unit 10: Simple and Compound Sentences

内容・方法: Vocabulary & Writing Quiz 2 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 3 peer editing

【第6回】

テーマ: Unit 11: Simple Past

内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 4 (HWK)

【第7回】

テーマ: Unit 11: Simple Past

内容・方法: Vocabulary & Writing Quiz 3 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 4 peer editing

【第8回】

テーマ: Mid-semester evaluation: review of Units 7, 10-11

内容・方法: Review Vocabulary & Writing test 1. Paragraph writing test 1 on 3 topics and peer editing.

【第9回】

テーマ: Unit 12: Complex Sentences

内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 5 (HWK)

【第10回】

テーマ: Unit 12: Complex Sentences

内容・方法: Vocabulary & Writing Quiz 4 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 5 peer editing

【第11回】

テーマ: Unit 13: Adverbs

内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 6 (HWK)

【第12回】

テーマ: Unit 13: Adverbs

内容・方法： Vocabulary & Writing Quiz 5 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 6 peer editing

【第13回】

テーマ： Unit 14: The Present Progressive

内容・方法： Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 7 (HWK)

【第14回】

テーマ： Unit 14: The Present Progressive

内容・方法： Vocabulary & Writing Quiz 6 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 6 peer editing

【第15回】

テーマ： End-of-semester evaluation: review of Units 12-14

内容・方法： Review Vocabulary & Writing test 2. Paragraph writing test 2 on 3 topics and peer editing. Explanation of final examination: paragraph writing.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。毎回の授業前に約30分の予習課題を行い、授業後に約30分の復習課題を行います。

A total of 45 hours of study is required per 1-credit course, including class (calculated as 2 hours per session) and pre- and post-work study. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題： Review spring semester.

事後学修課題： Review, HWK. Journal assignment

【第2回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第3回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments

【第4回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第5回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments

【第6回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第7回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments. Prepare for mid-semester evaluation

【第8回】

事前学修課題： Review for mid-semester evaluation.

事後学修課題： Review,

【第9回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第10回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments

【第11回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第12回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments

【第13回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第14回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments. Prepare for end-of-semester evaluation

【第15回】

事前学修課題： Review for end-of-semester evaluation.

事後学修課題： Submit final examination paragraph writing.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, writing assignments completed as homework, and in-class and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse will be given a “K” (failing mark).

Grade Breakdown:

1. In-class activities and active participation (10%)
2. Vocabulary and writing quizzes (20%)
3. Textbook homework assignments (10%)
4. Journal Writing assignments (30%)
5. In-class evaluations (20%) and final examination (10%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	In-class activities and active participation (10%), vocabulary and writing quizzes (20%), Semester evaluations (20%).	1, 2, 3, 4
授業外での評価	40	Textbook homework assignments (10%), Journal Writing assignments (30%).	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	10	Final examination (10%).	1, 3
その他	0	none	

テキスト	Great Writing Foundations, Keith S. Folse, 5th edition, 2019, National Geographic/Cengage Learning Company, ISBN: 978-0357020814
------	--

参考書	None
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13104402	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Writing II [対面]				
シラバス執筆(全員)	I. M. アレンズワース				
シラバス執筆(主)	I. M. アレンズワース				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course will help you improve your writing skills and your ability to produce accurate written English. It will also help you to write more freely and clearly. You will master standard organizational patterns for sentences and paragraphs; plan, organize, draft, revise, and edit paragraphs; use grammar and vocabulary correctly; gain accuracy in your use of punctuation. A weekly Writing Journal will be kept. Students will write a paragraph per week on assigned topics to be submitted to Google Classroom. Google Classroom will be used for assignments and information about this course.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Write paragraphs (original, well-formed paragraphs of ~10 sentences including topic sentences, supporting details, and concluding sentences)
2. Edit paragraphs (peer editing as well as editing their own work based on teacher comments)
3. Use correct grammar in writing a variety of paragraph types
4. Build vocabulary (vocabulary words and language terms to talk about grammar and writing)

授業計画

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

【第1回】

テーマ: Course introduction. Google Classroom registration and explanation.

内容・方法: Explanation of course goals and syllabus. Spring semester review. Explanation of Journal Writing and writing checklist. Intro to textbook. Journal Topic 1 (in class) and check. Submit on Google Classroom.

【第2回】

テーマ: Unit 7: Conjunction- And

内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 2 (HWK)

【第3回】

テーマ: Unit 7: Conjunction- And

内容・方法: Vocabulary & Writing Quiz 1 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 2 peer editing

【第4回】

テーマ: Unit 10: Simple and Compound Sentences

内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 3 (HWK)

【第5回】

テーマ: Unit 10: Simple and Compound Sentences

内容・方法: Vocabulary & Writing Quiz 2 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 3 peer editing

【第6回】

テーマ: Unit 11: Simple Past

内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 4 (HWK)

【第7回】

テーマ: Unit 11: Simple Past

内容・方法: Vocabulary & Writing Quiz 3 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 4 peer editing

【第8回】

テーマ: Mid-semester evaluation: review of Units 7, 10-11

内容・方法: Review Vocabulary & Writing test 1. Paragraph writing test 1 on 3 topics and peer editing.

【第9回】

テーマ: Unit 12: Complex Sentences

内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 5 (HWK)

【第10回】

テーマ: Unit 12: Complex Sentences

内容・方法: Vocabulary & Writing Quiz 4 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 5 peer editing

【第11回】

テーマ: Unit 13: Adverbs

内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 6 (HWK)

【第12回】

テーマ: Unit 13: Adverbs

内容・方法： Vocabulary & Writing Quiz 5 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 6 peer editing

【第13回】

テーマ： Unit 14: The Present Progressive

内容・方法： Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 7 (HWK)

【第14回】

テーマ： Unit 14: The Present Progressive

内容・方法： Vocabulary & Writing Quiz 6 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 6 peer editing

【第15回】

テーマ： End-of-semester evaluation: review of Units 12-14

内容・方法： Review Vocabulary & Writing test 2. Paragraph writing test 2 on 3 topics and peer editing. Explanation of final examination: paragraph writing.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。毎回の授業前に約30分の予習課題を行い、授業後に約30分の復習課題を行います。

A total of 45 hours of study is required per 1-credit course, including class (calculated as 2 hours per session) and pre- and post-work study. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題： Review spring semester.

事後学修課題： Review, HWK. Journal assignment

【第2回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第3回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments

【第4回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第5回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments

【第6回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第7回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments. Prepare for mid-semester evaluation

【第8回】

事前学修課題： Review for mid-semester evaluation.

事後学修課題： Review,

【第9回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第10回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments

【第11回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第12回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments

【第13回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第14回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments. Prepare for end-of-semester evaluation

【第15回】

事前学修課題： Review for end-of-semester evaluation.

事後学修課題： Submit final examination paragraph writing.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, writing assignments completed as homework, and in-class and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse will be given a “K” (failing mark).

Grade Breakdown:

1. In-class activities and active participation (10%)
2. Vocabulary and writing quizzes (20%)
3. Textbook homework assignments (10%)
4. Journal Writing assignments (30%)
5. In-class evaluations (20%) and final examination (10%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	In-class activities and active participation (10%), vocabulary and writing quizzes (20%), Semester evaluations (20%).	1, 2, 3, 4
授業外での評価	40	Textbook homework assignments (10%), Journal Writing assignments (30%).	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	10	Final examination (10%).	1, 3
その他	0	none	

テキスト	Great Writing Foundations, Keith S. Folse, 5th edition, 2019, National Geographic/Cengage Learning Company, ISBN: 978-0357020814
------	--

参考書	None
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13104403	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Writing II [対面]				
シラバス執筆(全員)	C. A. スミス				
シラバス執筆(主)	C. A. スミス				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course will help you improve your writing skills and your ability to produce accurate written English. It will also help you to write more freely and clearly. You will master standard organizational patterns for sentences and paragraphs; plan, organize, draft, revise, and edit paragraphs; use grammar and vocabulary correctly; gain accuracy in your use of punctuation. A weekly Writing Journal will be kept. Students will write a paragraph per week on assigned topics to be submitted to Google Classroom. Google Classroom will be used for assignments and information about this course.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Write paragraphs (original, well-formed paragraphs of ~10 sentences including topic sentences, supporting details, and concluding sentences)
2. Edit paragraphs (peer editing as well as editing their own work based on teacher comments)
3. Use correct grammar in writing a variety of paragraph types
4. Build vocabulary (vocabulary words and language terms to talk about grammar and writing)

授業計画

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

【第1回】

テーマ: Course introduction. Google Classroom registration and explanation.

内容・方法: Explanation of course goals and syllabus. Spring semester review. Explanation of Journal Writing and writing checklist. Intro to textbook. Journal Topic 1 (in class) and check. Submit on Google Classroom.

【第2回】

テーマ: Unit 7: Conjunction- And

内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 2 (HWK)

【第3回】

テーマ: Unit 7: Conjunction- And

内容・方法: Vocabulary & Writing Quiz 1 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 2 peer editing

【第4回】

テーマ: Unit 10: Simple and Compound Sentences

内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 3 (HWK)

【第5回】

テーマ: Unit 10: Simple and Compound Sentences

内容・方法: Vocabulary & Writing Quiz 2 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 3 peer editing

【第6回】

テーマ: Unit 11: Simple Past

内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 4 (HWK)

【第7回】

テーマ: Unit 11: Simple Past

内容・方法: Vocabulary & Writing Quiz 3 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 4 peer editing

【第8回】

テーマ: Mid-semester evaluation: review of Units 7, 10-11

内容・方法: Review Vocabulary & Writing test 1. Paragraph writing test 1 on 3 topics and peer editing.

【第9回】

テーマ: Unit 12: Complex Sentences

内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 5 (HWK)

【第10回】

テーマ: Unit 12: Complex Sentences

内容・方法: Vocabulary & Writing Quiz 4 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 5 peer editing

【第11回】

テーマ: Unit 13: Adverbs

内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 6 (HWK)

【第12回】

テーマ: Unit 13: Adverbs

内容・方法： Vocabulary & Writing Quiz 5 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 6 peer editing

【第13回】

テーマ： Unit 14: The Present Progressive

内容・方法： Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 7 (HWK)

【第14回】

テーマ： Unit 14: The Present Progressive

内容・方法： Vocabulary & Writing Quiz 6 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 6 peer editing

【第15回】

テーマ： End-of-semester evaluation: review of Units 12-14

内容・方法： Review Vocabulary & Writing test 2. Paragraph writing test 2 on 3 topics and peer editing. Explanation of final examination: paragraph writing.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。毎回の授業前に約30分の予習課題を行い、授業後に約30分の復習課題を行います。

A total of 45 hours of study is required per 1-credit course, including class (calculated as 2 hours per session) and pre- and post-work study. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題： Review spring semester.

事後学修課題： Review, HWK. Journal assignment

【第2回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第3回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments

【第4回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第5回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments

【第6回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第7回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments. Prepare for mid-semester evaluation

【第8回】

事前学修課題： Review for mid-semester evaluation.

事後学修課題： Review,

【第9回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第10回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments

【第11回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第12回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments

【第13回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第14回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments. Prepare for end-of-semester evaluation

【第15回】

事前学修課題： Review for end-of-semester evaluation.

事後学修課題： Submit final examination paragraph writing.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, writing assignments completed as homework, and in-class and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse will be given a “K” (failing mark).

Grade Breakdown:

1. In-class activities and active participation (10%)
2. Vocabulary and writing quizzes (20%)
3. Textbook homework assignments (10%)
4. Journal Writing assignments (30%)
5. In-class evaluations (20%) and final examination (10%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	In-class activities and active participation (10%), vocabulary and writing quizzes (20%), Semester evaluations (20%).	1, 2, 3, 4
授業外での評価	40	Textbook homework assignments (10%), Journal Writing assignments (30%).	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	10	Final examination (10%).	1, 3
その他	0	none	

テキスト	Great Writing Foundations, Keith S. Folse, 5th edition, 2019, National Geographic/Cengage Learning Company, ISBN: 978-0357020814
------	--

参考書	None
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD – 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13104451	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Writing II [対面]				
シラバス執筆(全員)	P.L. ストリックランド				
シラバス執筆(主)	P.L. ストリックランド				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course will help you improve your writing skills and your ability to produce accurate written English. It will also help you to write more freely and clearly. You will master standard organizational patterns for sentences and paragraphs; plan, organize, draft, revise, and edit paragraphs; use grammar and vocabulary correctly; gain accuracy in your use of punctuation.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Write paragraphs (original, well-formed paragraphs of ~10 sentences including topic sentences, supporting details, and concluding sentences)
2. Edit paragraphs (peer editing as well as editing their own work based on teacher comments)
3. Use correct grammar in writing a variety of paragraph types
4. Build vocabulary (~150 CEFR A2/B1 vocabulary words and language terms to talk about grammar and writing)

授業計画

- 【第 1 回】
 テーマ： Unit 5
 内容・方法： Complex Sentences
- 【第 2 回】
 テーマ： Unit 5
 内容・方法： Adverbs and Prepositions
- 【第 3 回】
 テーマ： Unit 5
 内容・方法： Vocabulary Quiz 1; Collocations and Parts of Speech
- 【第 4 回】
 テーマ： Unit 5
 内容・方法： Editing & Unit Evaluation
- 【第 5 回】
 テーマ： Unit 6
 内容・方法： Time Phrases and Tenses
- 【第 6 回】
 テーマ： Unit 6
 内容・方法： Articles
- 【第 7 回】
 テーマ： Unit 6
 内容・方法： Vocabulary Quiz 2; Modifiers
- 【第 8 回】
 テーマ： Midterm Evaluation
 内容・方法： Writing & Editing review, Unit Evaluation
- 【第 9 回】
 テーマ： Unit 7
 内容・方法： Adjectival Clauses
- 【第 10 回】
 テーマ： Unit 7
 内容・方法： Vocabulary Quiz 3; Modals
- 【第 11 回】
 テーマ： Unit 7
 内容・方法： Sentence Variety
- 【第 12 回】
 テーマ： Unit 7
 内容・方法： Unit Evaluation
- 【第 13 回】
 テーマ： Unit 8
 内容・方法： Vocabulary Quiz 4; Parts of a Paragraph
- 【第 14 回】
 テーマ： Unit 8
 内容・方法： Textbook review
- 【第 15 回】
 テーマ： Unit 8
 内容・方法： Final evaluation & writing

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。毎回の授業前に約30分の予習課題を行い、授業後に約30分の復習課題を行います。

A total of 45 hours of study is required per 1-credit course, including class (calculated as 2 hours per session) and pre- and post-work study. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題: None

事後学修課題: Review, Grammar and writing assignments

【第2回】

事前学修課題: Pre-read textbook to p. 134

事後学修課題: Review, Grammar and writing assignments

【第3回】

事前学修課題: Pre-read textbook to p. 146

事後学修課題: Review, Grammar and writing assignments

【第4回】

事前学修課題: Review Unit 5 for test

事後学修課題: Review, Grammar and writing assignments

【第5回】

事前学修課題: Pre-read textbook to p. 160

事後学修課題: Review, Grammar and writing assignments

【第6回】

事前学修課題: Pre-read textbook to p. 168

事後学修課題: Review, Grammar and writing assignments

【第7回】

事前学修課題: Pre-read textbook to p. 176

事後学修課題: Review, Grammar and writing assignments

【第8回】

前学修課題: Review Unit 6 for test.

事後学修課題: Review, Grammar and writing assignments

【第9回】

事前学修課題: Pre-read textbook to p. 189.

事後学修課題: Review, Grammar and writing assignments

【第10回】

事前学修課題: Pre-read textbook to p. 197.

事後学修課題: Review, Grammar and writing assignments

【第11回】

事前学修課題: Pre-read textbook to p. 204

事後学修課題: Review, Grammar and writing assignments

【第12回】

事前学修課題: Review Unit 7 for test.

事後学修課題: Review, Grammar and writing assignments

【第13回】

事前学修課題: Pre-read textbook to p. 214

事後学修課題: Review, Grammar and writing assignments

【第14回】

事前学修課題: Pre-read textbook to p. 226

事後学修課題: Review, Grammar and writing assignments

【第15回】

事前学修課題: Review Units 5-8 for final evaluation.

事後学修課題: None

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed as homework, and midterm and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course if they comply with the attendance policy (see below).

Grade Breakdown:

- Active participation during in-class activities (10%)
- Midterm evaluations and other in-class assignments (20%)
- Vocabulary quizzes (20%)
- Homework assignments (30%)
- Final Evaluation (20%)

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Please contact your individual instructor for information about coursework and grading policy.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Active participation during in-class activities (10), Midterm evaluations and other in-class assignments (20), vocabulary quizzes (20)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	30	Homework assignments (30)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final Evaluation (20)	1, 2, 3
その他	0		

テキスト	Great Writing 1, Fifth Edition. Keith S. Folse, April Muchmore-Vokoun & Elena Vestri Solomon; Cengage 2020; 978-0357020821
------	--

参考書	None
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13104452	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Writing II [対面]				
シラバス執筆(全員)	C. A. スミス				
シラバス執筆(主)	C. A. スミス				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course will help you improve your writing skills and your ability to produce accurate written English. It will also help you to write more freely and clearly. You will master standard organizational patterns for sentences and paragraphs; plan, organize, draft, revise, and edit paragraphs; use grammar and vocabulary correctly; gain accuracy in your use of punctuation.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Write paragraphs (original, well-formed paragraphs of ~10 sentences including topic sentences, supporting details, and concluding sentences)
2. Edit paragraphs (peer editing as well as editing their own work based on teacher comments)
3. Use correct grammar in writing a variety of paragraph types
4. Build vocabulary (~150 CEFR A2/B1 vocabulary words and language terms to talk about grammar and writing)

授業計画

- 【第 1 回】
 テーマ： Unit 5
 内容・方法： Complex Sentences
- 【第 2 回】
 テーマ： Unit 5
 内容・方法： Adverbs and Prepositions
- 【第 3 回】
 テーマ： Unit 5
 内容・方法： Vocabulary Quiz 1; Collocations and Parts of Speech
- 【第 4 回】
 テーマ： Unit 5
 内容・方法： Editing & Unit Evaluation
- 【第 5 回】
 テーマ： Unit 6
 内容・方法： Time Phrases and Tenses
- 【第 6 回】
 テーマ： Unit 6
 内容・方法： Articles
- 【第 7 回】
 テーマ： Unit 6
 内容・方法： Vocabulary Quiz 2; Modifiers
- 【第 8 回】
 テーマ： Midterm Evaluation
 内容・方法： Writing & Editing review, Unit Evaluation
- 【第 9 回】
 テーマ： Unit 7
 内容・方法： Adjectival Clauses
- 【第 10 回】
 テーマ： Unit 7
 内容・方法： Vocabulary Quiz 3; Modals
- 【第 11 回】
 テーマ： Unit 7
 内容・方法： Sentence Variety
- 【第 12 回】
 テーマ： Unit 7
 内容・方法： Unit Evaluation
- 【第 13 回】
 テーマ： Unit 8
 内容・方法： Vocabulary Quiz 4; Parts of a Paragraph
- 【第 14 回】
 テーマ： Unit 8
 内容・方法： Textbook review
- 【第 15 回】
 テーマ： Unit 8
 内容・方法： Final evaluation & writing

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。毎回の授業前に約30分の予習課題を行い、授業後に約30分の復習課題を行います。

A total of 45 hours of study is required per 1-credit course, including class (calculated as 2 hours per session) and pre- and post-work study. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題: None

事後学修課題: Review, Grammar and writing assignments

【第2回】

事前学修課題: Pre-read textbook to p. 134

事後学修課題: Review, Grammar and writing assignments

【第3回】

事前学修課題: Pre-read textbook to p. 146

事後学修課題: Review, Grammar and writing assignments

【第4回】

事前学修課題: Review Unit 5 for test

事後学修課題: Review, Grammar and writing assignments

【第5回】

事前学修課題: Pre-read textbook to p. 160

事後学修課題: Review, Grammar and writing assignments

【第6回】

事前学修課題: Pre-read textbook to p. 168

事後学修課題: Review, Grammar and writing assignments

【第7回】

事前学修課題: Pre-read textbook to p. 176

事後学修課題: Review, Grammar and writing assignments

【第8回】

前学修課題: Review Unit 6 for test.

事後学修課題: Review, Grammar and writing assignments

【第9回】

事前学修課題: Pre-read textbook to p. 189.

事後学修課題: Review, Grammar and writing assignments

【第10回】

事前学修課題: Pre-read textbook to p. 197.

事後学修課題: Review, Grammar and writing assignments

【第11回】

事前学修課題: Pre-read textbook to p. 204

事後学修課題: Review, Grammar and writing assignments

【第12回】

事前学修課題: Review Unit 7 for test.

事後学修課題: Review, Grammar and writing assignments

【第13回】

事前学修課題: Pre-read textbook to p. 214

事後学修課題: Review, Grammar and writing assignments

【第14回】

事前学修課題: Pre-read textbook to p. 226

事後学修課題: Review, Grammar and writing assignments

【第15回】

事前学修課題: Review Units 5-8 for final evaluation.

事後学修課題: None

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed as homework, and midterm and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course if they comply with the attendance policy (see below).

Grade Breakdown:

- Active participation during in-class activities (10%)
- Midterm evaluations and other in-class assignments (20%)
- Vocabulary quizzes (20%)
- Homework assignments (30%)
- Final Evaluation (20%)

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Please contact your individual instructor for information about coursework and grading policy.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Active participation during in-class activities (10), Midterm evaluations and other in-class assignments (20), vocabulary quizzes (20)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	30	Homework assignments (30)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final Evaluation (20)	1, 2, 3
その他	0		

テキスト	Great Writing 1, Fifth Edition. Keith S. Folse, April Muchmore-Vokoun & Elena Vestri Solomon; Cengage 2020; 978-0357020821
------	--

参考書	None
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD – 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13101401	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	英文法 I [対面]				
シラバス執筆(全員)	S. J. カー				
シラバス執筆(主)	S. J. カー				
開講年次	カリキュラムによる	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

A solid understanding of grammar is essential for reading, writing, listening, and speaking English. This course is designed to improve students' knowledge and understanding of basic grammar and to enhance their four skills. In each class, students will review grammar topics and then engage in a variety of writing, reading and speaking activities in order to consolidate their grammar knowledge. Grammar topics include be verbs, general verbs, progressive tense, future tense, auxiliary verbs, nouns, articles, pronouns, prepositions, adjectives, adverbs, comparisons, imperatives, and exclamations. The goal is to acquire a solid working grammar ability through a variety of class activities. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

到達目標

1. Develop the language skills needed to communicate accurately, meaningfully, and appropriately.
2. Demonstrate understanding of grammar through term tests and final examination.
3. Build fluency and accuracy through grammar homework.
4. Students should be able demonstrate a basic understanding of English grammar through usage, and be able to do simple writing, reading and speaking activities.

授業計画

- 【第1回】
 テーマ: Course Introduction and orientation. Google Classroom registration and explanation.
 内容・方法: Introducing yourself
- 【第2回】
 テーマ: Unit 1: The Verb Be
 内容・方法: Affirmative Statements, Subject Pronouns
- 【第3回】
 テーマ: Unit 2: The Verb Be
 内容・方法: Yes/No Questions, Be + Adjective, Negative Statements
- 【第4回】
 テーマ: Unit 3: The Verb Be
 内容・方法: Informative Questions, It, and Prepositions of Location
- 【第5回】
 テーマ: Term Test 1
 内容・方法: Review of units studied in class and for homework. Term Test.
- 【第6回】
 テーマ: Unit 4: Nouns
 内容・方法: Count and Noncount Nouns
- 【第7回】
 テーマ: Unit 4: Nouns
 内容・方法: Be + Adjective + Noun
- 【第8回】
 テーマ: Unit 5: The Verb Have
 内容・方法: Statements, Questions, Answers
- 【第9回】
 テーマ: Unit 5: The Verb Have
 内容・方法: Some/Any
- 【第10回】
 テーマ: Term Test 2
 内容・方法:
- 【第11回】
 テーマ: Unit 6: This/That/Those
 内容・方法: Using each form correctly
- 【第12回】
 テーマ: Unit 6: Possessives
 内容・方法: Pronouns, Adjectives, Questions with whose
- 【第13回】
 テーマ: Unit 7: There is/ There are
 内容・方法: Asking and answering questions
- 【第14回】
 テーマ: Unit 7: Articles
 内容・方法: A/An versus The
- 【第15回】

テーマ : Term Test 3
内容・方法 : Final examination explanation.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題 : Read the course outline. Buy the textbook.

事後学修課題 : Buy the textbook. Homework assignment.

【第2回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第3回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第4回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments. Prepare for term test 1

【第5回】

事前学修課題 : Review previous lessons for the term test 1.

事後学修課題 : Review your test errors and make corrections. Do the HWK assignments.

【第6回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第7回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第8回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第9回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments. Prepare for term test 2

【第10回】

事前学修課題 : Review previous lessons for the term test 2.

事後学修課題 : Review your test errors and make corrections. Do the HWK assignments.

【第11回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第12回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第13回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第14回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments. Prepare for term test 3

【第15回】

事前学修課題 : Review previous lessons for the term test 3.

事後学修課題 : Review your test errors and make corrections. Submit the final examination.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.
4. The teacher will tell you your current grade at least three times during the semester. In addition, your grades may also be posted regularly on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

The course grade breakdown is as follows:

1. Class participation and classwork activities (30%),
2. 3 term tests (30%)
3. Grammar homework assignments (20%)
4. Final Examination (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	Class participation and classwork activities (30%), 3 term tests (30%).	1, 2, 4
授業外での評価	20	Grammar homework assignments(20%)	3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final Examination (20%)	2, 4
その他	0	none	

テキスト	プリント配布
------	--------

参考書	none
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	---

授業コード	13101402	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	英文法 I [対面]				
シラバス執筆(全員)	J. D. ラッセル				
シラバス執筆(主)	J. D. ラッセル				
開講年次	カリキュラムによる	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

A solid understanding of grammar is essential for reading, writing, listening, and speaking English. This course is designed to improve students' knowledge and understanding of basic grammar and to enhance their four skills. In each class, students will review grammar topics and then engage in a variety of writing, reading and speaking activities in order to consolidate their grammar knowledge. Grammar topics include be verbs, general verbs, progressive tense, future tense, auxiliary verbs, nouns, articles, pronouns, prepositions, adjectives, adverbs, comparisons, imperatives, and exclamations. The goal is to acquire a solid working grammar ability through a variety of class activities. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

到達目標

1. Develop the language skills needed to communicate accurately, meaningfully, and appropriately.
2. Demonstrate understanding of grammar through term tests and final examination.
3. Build fluency and accuracy through grammar homework.
4. Students should be able demonstrate a basic understanding of English grammar through usage, and be able to do simple writing, reading and speaking activities.

授業計画

- 【第1回】
 テーマ: Course Introduction and orientation. Google Classroom registration and explanation.
 内容・方法: Introducing yourself
- 【第2回】
 テーマ: Unit 1: The Verb Be
 内容・方法: Affirmative Statements, Subject Pronouns
- 【第3回】
 テーマ: Unit 2: The Verb Be
 内容・方法: Yes/No Questions, Be + Adjective, Negative Statements
- 【第4回】
 テーマ: Unit 3: The Verb Be
 内容・方法: Informative Questions, It, and Prepositions of Location
- 【第5回】
 テーマ: Term Test 1
 内容・方法: Review of units studied in class and for homework. Term Test.
- 【第6回】
 テーマ: Unit 4: Nouns
 内容・方法: Count and Noncount Nouns
- 【第7回】
 テーマ: Unit 4: Nouns
 内容・方法: Be + Adjective + Noun
- 【第8回】
 テーマ: Unit 5: The Verb Have
 内容・方法: Statements, Questions, Answers
- 【第9回】
 テーマ: Unit 5: The Verb Have
 内容・方法: Some/Any
- 【第10回】
 テーマ: Term Test 2
 内容・方法:
- 【第11回】
 テーマ: Unit 6: This/That/Those
 内容・方法: Using each form correctly
- 【第12回】
 テーマ: Unit 6: Possessives
 内容・方法: Pronouns, Adjectives, Questions with whose
- 【第13回】
 テーマ: Unit 7: There is/ There are
 内容・方法: Asking and answering questions
- 【第14回】
 テーマ: Unit 7: Articles
 内容・方法: A/An versus The
- 【第15回】

テーマ : Term Test 3
内容・方法 : Final examination explanation.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題 : Read the course outline. Buy the textbook.

事後学修課題 : Buy the textbook. Homework assignment.

【第2回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第3回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第4回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments. Prepare for term test 1

【第5回】

事前学修課題 : Review previous lessons for the term test 1.

事後学修課題 : Review your test errors and make corrections. Do the HWK assignments.

【第6回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第7回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第8回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第9回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments. Prepare for term test 2

【第10回】

事前学修課題 : Review previous lessons for the term test 2.

事後学修課題 : Review your test errors and make corrections. Do the HWK assignments.

【第11回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第12回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第13回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第14回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments. Prepare for term test 3

【第15回】

事前学修課題 : Review previous lessons for the term test 3.

事後学修課題 : Review your test errors and make corrections. Submit the final examination.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.
4. The teacher will tell you your current grade at least three times during the semester. In addition, your grades may also be posted regularly on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

The course grade breakdown is as follows:

1. Class participation and classwork activities (30%),
2. 3 term tests (30%)
3. Grammar homework assignments (20%)
4. Final Examination (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	Class participation and classwork activities (30%), 3 term tests (30%).	1, 2, 4
授業外での評価	20	Grammar homework assignments(20%)	3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final Examination (20%)	2, 4
その他	0	none	

テキスト	プリント配布
------	--------

参考書	none
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	---

授業コード	13101451	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	英文法 I [対面]				
シラバス執筆(全員)	P.L. ストリックランド				
シラバス執筆(主)	P.L. ストリックランド				
開講年次	カリキュラムによる	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

Through this course students will work systematically through a grammar textbook, with the aim of understanding English grammar taught in English. The teacher will select at least 15 out of the first 30 units from the textbook to focus on. Grammar activities will include a focus on speaking aloud, read-and-look-up, group quizzes, and partner dictation activities in order to maintain a focus on communication and help students develop confidence in their speaking ability.

The course will also include a focus on writing; students will become familiar with a six-step writing process to produce essays, creative writing, and simple research reports. Students will regularly share their work with classmates, and practice discussion skills by focusing on follow-up questions. The course aims to have students build on their knowledge of paragraph writing to produce essays of multiple paragraphs. Students will write for real audiences by submitting work to the IEP Times publication.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Review familiar grammar patterns and learn new grammar usage through individual and pair work
2. Complete at least 15 out of the first 30 units in the textbook (teacher should select units based on students' needs and interests)
3. Apply grammar knowledge to produce accurate writing
4. Use a 6-step writing process (Brainstorm, Outline, Research, Rough Draft, Editing, Final Draft)
5. Improve grammatical accuracy in speaking by using grammatical patterns during speaking drills and short conversation activities.

授業計画

【第1回】

テーマ: Course orientation

内容・方法: Introduce students to Grammar textbook, explain the importance of studying English grammar *in English.* Introduction to writing process (6 steps). Introduce activity types using one of the early units.

【第2回】

テーマ: Topic 1.1: Self-introduction / About my hometown

内容・方法: Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Writing topic brainstorming. Create a bullet-point outline of self-introduction. HW: Write a paragraph based on outline.

【第3回】

テーマ: Topic 1.2: Self-introduction / My new life at university (weekly schedule)

内容・方法: Share previous week's essay and discuss (follow-up questions). Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Writing topic brainstorming. Bullet-point outline. HW: Write a paragraph based on outline.

【第4回】

テーマ: Topic 1.3: Self-introduction / My short-term and long-term goals

内容・方法: Share previous week's essay and discuss (follow-up questions). Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Writing topic brainstorming. Bullet-point outline. HW: Write two short paragraphs based on outline.

【第5回】

テーマ: Topic 1.4 Evaluation 1: Self-introduction Final Draft

内容・方法: In-class review of Topic 1 paragraphs (double check teacher comments, correct and submit as a final draft for a grade). Speaking fluency activity: Summary of topic 1 essay (in groups without looking at script). Grammar review quiz.

【第6回】

テーマ: Topic 2.1 Talking about the past / Anecdote or personal story: Intro

内容・方法: Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Topic brainstorming. Bullet point outline for a three-paragraph essay. HW: Write the introduction paragraph

【第7回】

テーマ: Topic 2.2 Talking about the past / Anecdote: Body

内容・方法: Peer sharing / discussion. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Write rough draft of body paragraph in class, student-teacher conferencing.

【第8回】

テーマ: Topic 2.3 Talking about the past / Anecdote: Conclusion. Midterm grade check

内容・方法 : Peer sharing / discussion. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Write rough draft of concluding paragraph in class, student-teacher conferencing. Midterm grade check / reflection.

【第9回】

テーマ : Topic 2.4 Evaluation 2 / Anecdote or story: Final draft

内容・方法 : In-class review of Topic 2 paragraphs (double check teacher comments, correct and submit as a final draft for a grade). Speaking fluency activity: Summary of topic 2 essay (in groups without looking at script). Grammar review quiz. Submit final draft for IEP Times.

【第10回】

テーマ : Topic 3.1 Persuasive essay: How I will spend my summer (brainstorming & outline)

内容・方法 : This topic was previously used in the OIU English Essay Contest. Instructors should use it as an opportunity to introduce students to the contest and familiarize them with the rubrics, deadlines, etc. Topic brainstorming. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Bullet point outline for a four-paragraph essay: "How should students spend their summer break" HW: Research options for part-time work, internship, travel, etc.

【第11回】

テーマ : Topic 3.2 Persuasive essay: How to spend your summer break (intro)

内容・方法 : Peer sharing / discussion of outlines. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Write rough draft of intro paragraph in class, student-teacher conferencing.

【第12回】

テーマ : Topic 3.3 Persuasive essay: How to spend your summer break (body)

内容・方法 : Peer sharing / discussion. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Write rough draft of body paragraph 1 in class, student-teacher conferencing.

【第13回】

テーマ : Topic 3.4 Persuasive essay: How to spend your summer break (body)

内容・方法 : Peer sharing / discussion. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Write rough draft of body paragraph 2 in class, student-teacher conferencing.

【第14回】

テーマ : Topic 3.5 Persuasive essay: How to spend your summer break (conclusion). Final grade check / reflection.

内容・方法 : Peer sharing / discussion. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Write conclusion paragraph, student-teacher conferencing. Final grade check / reflection.

【第15回】

テーマ : Topic 3.6 Evaluation 3 / Final draft

内容・方法 : In-class review of Topic 3 paragraphs (double check teacher comments, correct and submit as a final draft, either in class or for homework). Speaking fluency activity: Summary of topic 3 essay (in groups without looking at script). Grammar review quiz.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a 1-credit (1単位) course which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題 : None

事後学修課題 : Review

【第2回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week' s topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 1.1

【第3回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week' s topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 1.2

【第4回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week' s topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 1.3

【第5回】

事前学修課題 : Prepare for speaking & grammar evaluation.

事後学修課題 : Review

【第6回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week' s topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 2.1

【第7回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week' s topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 2.2

【第8回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week' s topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 2.3

【第9回】

事前学修課題 : Prepare for speaking & grammar evaluation.

事後学修課題 : Review

- 【第10回】
 事前学修課題：Prepare to speak about previous week's topic.
 事後学修課題：Review, completion and revision of in-class writing 3.1
- 【第11回】
 事前学修課題：Prepare to speak about previous week's topic.
 事後学修課題：Review, completion and revision of in-class writing 3.2
- 【第12回】
 事前学修課題：Prepare to speak about previous week's topic.
 事後学修課題：Review, completion and revision of in-class writing 3.3
- 【第13回】
 事前学修課題：Prepare to speak about previous week's topic.
 事後学修課題：Review, completion and revision of in-class writing 3.4
- 【第14回】
 事前学修課題：Prepare to speak about previous week's topic.
 事後学修課題：Review, preparation for final evaluation
- 【第15回】
 事前学修課題：Review for final evaluation
 事後学修課題：Final review assignment

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly during counseling sessions and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class writing activities, grammar assignments completed as homework, and midterm and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse cannot pass (see attendance policy below).

Grade Breakdown:

Active participation, in-class speaking and grammar activities (20%)
 Weekly paragraph writing assignments (30%)
 Writing evaluations (20%)
 Grammar quizzes (10%)
 Final Report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Active participation, in-class grammar and speaking activities (20), Grammar quizzes (10), Writing evaluations (20)	1, 2, 3, 4, 5
授業外での評価	30	Weekly paragraph writing assignments (30)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final report assignment (20)	1, 2, 3, 4
その他	0		

テキスト	None
参考書	Macmillan English Grammar In Context— Essential with Key; Michael Vince Macmillan Education (January 1, 2008), ISBN 978-1-4050-7051-5 Prints provided by instructor as necessary

履修条件・他の科目との関連	Attendance Policy & Notes: 1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。 2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。 3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。
---------------	---

履修条件・他の科目との関連

4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence.

遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。

5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent.

90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできるが、欠席扱いとなります。

6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities.

BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。

授業コード	13101452	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	英文法 I [対面]				
シラバス執筆(全員)	C. A. スミス				
シラバス執筆(主)	C. A. スミス				
開講年次	カリキュラムによる	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

Through this course students will work systematically through a grammar textbook, with the aim of understanding English grammar taught in English. The teacher will select at least 15 out of the first 30 units from the textbook to focus on. Grammar activities will include a focus on speaking aloud, read-and-look-up, group quizzes, and partner dictation activities in order to maintain a focus on communication and help students develop confidence in their speaking ability.

The course will also include a focus on writing; students will become familiar with a six-step writing process to produce essays, creative writing, and simple research reports. Students will regularly share their work with classmates, and practice discussion skills by focusing on follow-up questions. The course aims to have students build on their knowledge of paragraph writing to produce essays of multiple paragraphs. Students will write for real audiences by submitting work to the IEP Times publication.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Review familiar grammar patterns and learn new grammar usage through individual and pair work
2. Complete at least 15 out of the first 30 units in the textbook (teacher should select units based on students' needs and interests)
3. Apply grammar knowledge to produce accurate writing
4. Use a 6-step writing process (Brainstorm, Outline, Research, Rough Draft, Editing, Final Draft)
5. Improve grammatical accuracy in speaking by using grammatical patterns during speaking drills and short conversation activities.

授業計画

【第1回】

テーマ: Course orientation

内容・方法: Introduce students to Grammar textbook, explain the importance of studying English grammar *in English.* Introduction to writing process (6 steps). Introduce activity types using one of the early units.

【第2回】

テーマ: Topic 1.1: Self-introduction / About my hometown

内容・方法: Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Writing topic brainstorming. Create a bullet-point outline of self-introduction. HW: Write a paragraph based on outline.

【第3回】

テーマ: Topic 1.2: Self-introduction / My new life at university (weekly schedule)

内容・方法: Share previous week's essay and discuss (follow-up questions). Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Writing topic brainstorming. Bullet-point outline. HW: Write a paragraph based on outline.

【第4回】

テーマ: Topic 1.3: Self-introduction / My short-term and long-term goals

内容・方法: Share previous week's essay and discuss (follow-up questions). Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Writing topic brainstorming. Bullet-point outline. HW: Write two short paragraphs based on outline.

【第5回】

テーマ: Topic 1.4 Evaluation 1: Self-introduction Final Draft

内容・方法: In-class review of Topic 1 paragraphs (double check teacher comments, correct and submit as a final draft for a grade). Speaking fluency activity: Summary of topic 1 essay (in groups without looking at script). Grammar review quiz.

【第6回】

テーマ: Topic 2.1 Talking about the past / Anecdote or personal story: Intro

内容・方法: Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Topic brainstorming. Bullet point outline for a three-paragraph essay. HW: Write the introduction paragraph

【第7回】

テーマ: Topic 2.2 Talking about the past / Anecdote: Body

内容・方法: Peer sharing / discussion. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Write rough draft of body paragraph in class, student-teacher conferencing.

【第8回】

テーマ: Topic 2.3 Talking about the past / Anecdote: Conclusion. Midterm grade check

内容・方法 : Peer sharing / discussion. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Write rough draft of concluding paragraph in class, student-teacher conferencing. Midterm grade check / reflection.

【第9回】

テーマ : Topic 2.4 Evaluation 2 / Anecdote or story: Final draft

内容・方法 : In-class review of Topic 2 paragraphs (double check teacher comments, correct and submit as a final draft for a grade). Speaking fluency activity: Summary of topic 2 essay (in groups without looking at script). Grammar review quiz. Submit final draft for IEP Times.

【第10回】

テーマ : Topic 3.1 Persuasive essay: How I will spend my summer (brainstorming & outline)

内容・方法 : This topic was previously used in the OIU English Essay Contest. Instructors should use it as an opportunity to introduce students to the contest and familiarize them with the rubrics, deadlines, etc. Topic brainstorming. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Bullet point outline for a four-paragraph essay: "How should students spend their summer break" HW: Research options for part-time work, internship, travel, etc.

【第11回】

テーマ : Topic 3.2 Persuasive essay: How to spend your summer break (intro)

内容・方法 : Peer sharing / discussion of outlines. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Write rough draft of intro paragraph in class, student-teacher conferencing.

【第12回】

テーマ : Topic 3.3 Persuasive essay: How to spend your summer break (body)

内容・方法 : Peer sharing / discussion. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Write rough draft of body paragraph 1 in class, student-teacher conferencing.

【第13回】

テーマ : Topic 3.4 Persuasive essay: How to spend your summer break (body)

内容・方法 : Peer sharing / discussion. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Write rough draft of body paragraph 2 in class, student-teacher conferencing.

【第14回】

テーマ : Topic 3.5 Persuasive essay: How to spend your summer break (conclusion). Final grade check / reflection.

内容・方法 : Peer sharing / discussion. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Write conclusion paragraph, student-teacher conferencing. Final grade check / reflection.

【第15回】

テーマ : Topic 3.6 Evaluation 3 / Final draft

内容・方法 : In-class review of Topic 3 paragraphs (double check teacher comments, correct and submit as a final draft, either in class or for homework). Speaking fluency activity: Summary of topic 3 essay (in groups without looking at script). Grammar review quiz.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a 1-credit (1単位) course which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題 : None

事後学修課題 : Review

【第2回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week' s topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 1.1

【第3回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week' s topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 1.2

【第4回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week' s topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 1.3

【第5回】

事前学修課題 : Prepare for speaking & grammar evaluation.

事後学修課題 : Review

【第6回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week' s topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 2.1

【第7回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week' s topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 2.2

【第8回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week' s topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 2.3

【第9回】

事前学修課題 : Prepare for speaking & grammar evaluation.

事後学修課題 : Review

- 【第10回】
 事前学修課題：Prepare to speak about previous week's topic.
 事後学修課題：Review, completion and revision of in-class writing 3.1
- 【第11回】
 事前学修課題：Prepare to speak about previous week's topic.
 事後学修課題：Review, completion and revision of in-class writing 3.2
- 【第12回】
 事前学修課題：Prepare to speak about previous week's topic.
 事後学修課題：Review, completion and revision of in-class writing 3.3
- 【第13回】
 事前学修課題：Prepare to speak about previous week's topic.
 事後学修課題：Review, completion and revision of in-class writing 3.4
- 【第14回】
 事前学修課題：Prepare to speak about previous week's topic.
 事後学修課題：Review, preparation for final evaluation
- 【第15回】
 事前学修課題：Review for final evaluation
 事後学修課題：Final review assignment

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly during counseling sessions and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class writing activities, grammar assignments completed as homework, and midterm and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse cannot pass (see attendance policy below).

Grade Breakdown:

Active participation, in-class speaking and grammar activities (20%)
 Weekly paragraph writing assignments (30%)
 Writing evaluations (20%)
 Grammar quizzes (10%)
 Final Report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Active participation, in-class grammar and speaking activities (20), Grammar quizzes (10), Writing evaluations (20)	1, 2, 3, 4, 5
授業外での評価	30	Weekly paragraph writing assignments (30)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final report assignment (20)	1, 2, 3, 4
その他	0		

テキスト	None
参考書	Macmillan English Grammar In Context— Essential with Key; Michael Vince Macmillan Education (January 1, 2008), ISBN 978-1-4050-7051-5 Prints provided by instructor as necessary

履修条件・他の科目との関連	Attendance Policy & Notes: 1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。 2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。 3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。
---------------	---

履修条件・他の科目との関連

4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence.

遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。

5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent.

90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできるが、欠席扱いとなります。

6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities.

BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。

授業コード	13101501	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	英文法Ⅱ [対面]				
シラバス執筆(全員)	S. J. カー				
シラバス執筆(主)	S. J. カー				
開講年次	カリキュラムによる	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

A solid understanding of grammar is essential for reading, writing, listening, and speaking English. This course is designed to improve students' knowledge and understanding of basic grammar and to enhance their four skills. In each class, students will review grammar topics and then engage in a variety of writing, reading and speaking activities in order to consolidate their grammar knowledge. Grammar topics include be verbs, general verbs, progressive tense, future tense, auxiliary verbs, nouns, articles, pronouns, prepositions, adjectives, adverbs, comparisons, imperatives, and exclamations. The goal is to acquire a solid working grammar ability through a variety of class activities. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

到達目標

1. Develop the language skills needed to communicate accurately, meaningfully, and appropriately.
2. Demonstrate understanding of grammar through term tests and final examination.
3. Build fluency and accuracy through grammar homework.
4. Students should be able demonstrate a basic understanding of English grammar through usage, and be able to do simple writing, reading and speaking activities.

授業計画

- 【第1回】
 テーマ: Course Introduction and orientation. Google Classroom registration and explanation.
 内容・方法:
- 【第2回】
 テーマ: Unit 8
 内容・方法: Simple Past Tense
- 【第3回】
 テーマ: Unit 9
 内容・方法: Wh- questions
- 【第4回】
 テーマ: Unit 10
 内容・方法: Imperatives and Prepositions of Direction
- 【第5回】
 テーマ: Term Test 1
 内容・方法: Review of units studied in class and for homework. Term Test.
- 【第6回】
 テーマ: Unit 14
 内容・方法: Can, Know How To, Be Able To, Connectors
- 【第7回】
 テーマ: Unit 15
 内容・方法: Present Progressive Tense
- 【第8回】
 テーマ: Unit 18
 内容・方法: Past Tense
- 【第9回】
 テーマ: Unit 20
 内容・方法: Future Time
- 【第10回】
 テーマ: Term Test 2
 内容・方法:
- 【第11回】
 テーマ: Unit 22
 内容・方法: Comparative Adjectives
- 【第12回】
 テーマ: Unit 22
 内容・方法: Expressing Similarities and Differences
- 【第13回】
 テーマ: Unit 23
 内容・方法: Comparative Adverbs
- 【第14回】
 テーマ: Unit 24
 内容・方法: Superlatives
- 【第15回】

テーマ : Term Test 3
内容・方法 : Final examination explanation.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題 : Read the course outline. Buy the textbook.

事後学修課題 : Buy the textbook. Homework assignment.

【第2回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第3回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第4回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments. Prepare for term test 1

【第5回】

事前学修課題 : Review previous lessons for the term test 1.

事後学修課題 : Review your test errors and make corrections. Do the HWK assignments.

【第6回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第7回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第8回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第9回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments. Prepare for term test 2

【第10回】

事前学修課題 : Review previous lessons for the term test 2.

事後学修課題 : Review your test errors and make corrections. Do the HWK assignments.

【第11回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第12回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第13回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第14回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments. Prepare for term test 3

【第15回】

事前学修課題 : Review previous lessons for the term test 3.

事後学修課題 : Review your test errors and make corrections. Submit the final examination.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.
4. The teacher will tell you your current grade at least three times during the semester. In addition, your grades may also be posted regularly on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

The course grade breakdown is as follows:

1. Class participation and classwork activities (30%),
2. 3 term tests (30%)
3. Grammar homework assignments (20%)
4. Final Examination (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	Class participation and classwork activities (30%), 3 term tests (30%).	1, 2, & 4
授業外での評価	20	Grammar homework assignments(20%)	3 & 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final Examination (20%)	2 & 4
その他	0	none	

テキスト	プリント配布
------	--------

参考書	none
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	---

授業コード	13101502	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	英文法Ⅱ [対面]				
シラバス執筆(全員)	J.D. ラッセル				
シラバス執筆(主)	J.D. ラッセル				
開講年次	カリキュラムによる	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

A solid understanding of grammar is essential for reading, writing, listening, and speaking English. This course is designed to improve students' knowledge and understanding of basic grammar and to enhance their four skills. In each class, students will review grammar topics and then engage in a variety of writing, reading and speaking activities in order to consolidate their grammar knowledge. Grammar topics include be verbs, general verbs, progressive tense, future tense, auxiliary verbs, nouns, articles, pronouns, prepositions, adjectives, adverbs, comparisons, imperatives, and exclamations. The goal is to acquire a solid working grammar ability through a variety of class activities. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

到達目標

1. Develop the language skills needed to communicate accurately, meaningfully, and appropriately.
2. Demonstrate understanding of grammar through term tests and final examination.
3. Build fluency and accuracy through grammar homework.
4. Students should be able demonstrate a basic understanding of English grammar through usage, and be able to do simple writing, reading and speaking activities.

授業計画

- 【第1回】
 テーマ: Course Introduction and orientation. Google Classroom registration and explanation.
 内容・方法:
- 【第2回】
 テーマ: Unit 8
 内容・方法: Simple Past Tense
- 【第3回】
 テーマ: Unit 9
 内容・方法: Wh- questions
- 【第4回】
 テーマ: Unit 10
 内容・方法: Imperatives and Prepositions of Direction
- 【第5回】
 テーマ: Term Test 1
 内容・方法: Review of units studied in class and for homework. Term Test.
- 【第6回】
 テーマ: Unit 14
 内容・方法: Can, Know How To, Be Able To, Connectors
- 【第7回】
 テーマ: Unit 15
 内容・方法: Present Progressive Tense
- 【第8回】
 テーマ: Unit 18
 内容・方法: Past Tense
- 【第9回】
 テーマ: Unit 20
 内容・方法: Future Time
- 【第10回】
 テーマ: Term Test 2
 内容・方法:
- 【第11回】
 テーマ: Unit 22
 内容・方法: Comparative Adjectives
- 【第12回】
 テーマ: Unit 22
 内容・方法: Expressing Similarities and Differences
- 【第13回】
 テーマ: Unit 23
 内容・方法: Comparative Adverbs
- 【第14回】
 テーマ: Unit 24
 内容・方法: Superlatives
- 【第15回】

テーマ : Term Test 3
内容・方法 : Final examination explanation.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題 : Read the course outline. Buy the textbook.

事後学修課題 : Buy the textbook. Homework assignment.

【第2回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第3回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第4回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments. Prepare for term test 1

【第5回】

事前学修課題 : Review previous lessons for the term test 1.

事後学修課題 : Review your test errors and make corrections. Do the HWK assignments.

【第6回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第7回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第8回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第9回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments. Prepare for term test 2

【第10回】

事前学修課題 : Review previous lessons for the term test 2.

事後学修課題 : Review your test errors and make corrections. Do the HWK assignments.

【第11回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第12回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第13回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第14回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments. Prepare for term test 3

【第15回】

事前学修課題 : Review previous lessons for the term test 3.

事後学修課題 : Review your test errors and make corrections. Submit the final examination.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.
4. The teacher will tell you your current grade at least three times during the semester. In addition, your grades may also be posted regularly on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

The course grade breakdown is as follows:

1. Class participation and classwork activities (30%),
2. 3 term tests (30%)
3. Grammar homework assignments (20%)
4. Final Examination (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	Class participation and classwork activities (30%), 3 term tests (30%).	1, 2, & 4
授業外での評価	20	Grammar homework assignments(20%)	3 & 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final Examination (20%)	2 & 4
その他	0	none	

テキスト	プリント配布
------	--------

参考書	none
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	---

授業コード	13101551	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	英文法Ⅱ [対面]				
シラバス執筆(全員)	P.L. ストリックランド				
シラバス執筆(主)	P.L. ストリックランド				
開講年次	カリキュラムによる	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

Through this course students will work systematically through a grammar textbook, with the aim of understanding English grammar taught in English. The teacher will select at least 15 out of the latter 30 units from the textbook to focus on. Grammar activities will include a focus on speaking aloud, read-and-look-up, group quizzes, and partner dictation activities in order to maintain a focus on communication and help students develop confidence in their speaking ability.

The course will also include a focus on writing; students will become familiar with a six-step writing process to produce essays, creative writing, and simple research reports. Students will regularly share their work with classmates, and practice speaking skills by focusing on follow-up questions. The course aims to have students build on their knowledge of paragraph writing to produce essays of multiple paragraphs. Students will write for real audiences by submitting work to the IEP Times publication.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Review familiar grammar patterns and learn new grammar usage through individual and pair work
2. Complete at least 15 units from the latter half of the textbook (teacher should select units based on students' needs and interests)
3. Apply grammar knowledge to produce accurate writing
4. Use a 6-step writing process (Brainstorm, Outline, Research, Rough Draft, Editing, Final Draft)
5. Improve grammatical accuracy in speaking by using grammatical patterns during speaking drills and short conversation activities.

授業計画

【第1回】

テーマ: Review Summer & Course Goals. Topic 1.1 Intro & Brainstorming

内容・方法: Grammar, Writing Process Review. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Topic brainstorming: "Short-term and long-term study abroad programs." HW: Research about study abroad options, Bullet point outline for a four-paragraph essay.

【第2回】

テーマ: Topic 1.2 Research essay: Study abroad programs (research & intro)

内容・方法: Peer sharing / discussion of outlines. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Continue research, write rough draft of intro paragraph (reasons to study abroad) in class, student-teacher conferencing. Contact IEP upperclassmen who participated in a study abroad program the previous semester for interviews. IEP coordinator can provide a list of contacts.

【第3回】

テーマ: Topic 1.3 Research essay: Study abroad programs (body)

内容・方法: Peer sharing / discussion. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Write rough draft of body paragraphs in class (short-term and long-term study abroad programs), student-teacher conferencing.

【第4回】

テーマ: Topic 1.4 Research essay: Study abroad programs (conclusion)

内容・方法: Peer sharing / discussion. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Write conclusion paragraph (which study abroad program is most interesting to you and why), student-teacher conferencing.

【第5回】

テーマ: Topic 1.5 Evaluation 1 / Study abroad programs: Final draft

内容・方法: In-class review of Topic 1 paragraphs (double check teacher comments, correct and submit as a final draft for a grade). Speaking fluency activity: Oral summary of topic 1 essay (in groups without looking at script). Grammar review quiz.

【第6回】

テーマ: Topic 2.1 - Creative writing (IEP Times English Haiku Assignment)

内容・方法: Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Topic brainstorming. Complete Haiku worksheet #1 - Analyzing English Haiku & favorite seasons

【第7回】

テーマ: Topic 2.2 - Creative writing

内容・方法: Peer sharing / discussion. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Complete Haiku worksheet #2 - Brainstorm ideas and begin Haiku

【第8回】

テーマ: Topic 2.3 - Creative writing. Midterm grade check

内容・方法 : Peer sharing / discussion. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Finish Haiku and complete paragraph explanation rough draft. Teacher conferencing, midterm grade check / reflection.

【第9回】

テーマ : Topic 2.4 Evaluation 2

内容・方法 : In-class review of Haiku & paragraphs (double check teacher comments, correct and submit). Speaking fluency activity: Recitation of Haiku and explanation (in groups without looking at script). Grammar review quiz. Submit final draft for IEP Times.

【第10回】

テーマ : Topic 3.1 Self-selected writing project - Topic brainstorming

内容・方法 : Topic brainstorming. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activities).

【第11回】

テーマ : Topic 3.2 Self-selected writing project - Topic research & outlining

内容・方法 : Peer sharing / discussion. Topic research and outline. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activities).

【第12回】

テーマ : Topic 3.3 Self-selected writing project - 1st draft

内容・方法 : Peer sharing / discussion. Continue topic research and write 1st draft based on outline. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activities).

【第13回】

テーマ : Topic 3.4 Self-selected writing project - Editing & revising

内容・方法 : Peer sharing / discussion. Peer editing. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activities)

【第14回】

テーマ : Topic 3.5 Self-selected writing project - Final draft & grade check

内容・方法 : In-class review of writing project (double check teacher comments, correct and submit as a final draft, either in class or for homework). Grammar review quiz. Final grade check / reflection.

【第15回】

テーマ : Final writing project presentations / discussion

内容・方法 : Project presentations

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a 1-credit (1単位) course which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題 : None

事後学修課題 : Review

【第2回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 1.1

【第3回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 1.2

【第4回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 1.3

【第5回】

事前学修課題 : Prepare for speaking & grammar evaluation.

事後学修課題 : Review

【第6回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 2.1

【第7回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 2.2

【第8回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 2.3

【第9回】

事前学修課題 : Prepare for speaking & grammar evaluation.

事後学修課題 : Review

【第10回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 3.1

【第11回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 3.2

【第12回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 3.3

【第13回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week' s topic.
 事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 3.4
 【第14回】
 事前学修課題 : Prepare to speak about previous week' s topic.
 事後学修課題 : Review, preparation for final evaluation
 【第15回】
 事前学修課題 : Review for final evaluation
 事後学修課題 : Final review assignment

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly during counseling sessions and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class writing activities, grammar assignments completed as homework, and midterm and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse cannot pass (see attendance policy below).

Grade Breakdown:

Active participation, in-class speaking and grammar activities (20%)
 Weekly paragraph writing assignments (30%)
 Writing evaluations (20%)
 Grammar quizzes (10%)
 Final Report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Active participation, in-class grammar and speaking activities (20), Grammar quizzes (10), Writing evaluations (20)	1, 2, 3, 4, 5
授業外での評価	30	Weekly paragraph writing assignments (30)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final report assignment (20)	1, 2, 3, 4
その他	0		

テキスト	None
------	------

参考書	Macmillan English Grammar In Context— Essential with Key; Michael Vince Macmillan Education (January 1, 2008), ISBN 978-1-4050-7051-5 Prints provided by instructor as necessary
-----	---

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできるが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13101552	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	英文法Ⅱ [対面]				
シラバス執筆(全員)	C. A. スミス				
シラバス執筆(主)	C. A. スミス				
開講年次	カリキュラムによる	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

Through this course students will work systematically through a grammar textbook, with the aim of understanding English grammar taught in English. The teacher will select at least 15 out of the latter 30 units from the textbook to focus on. Grammar activities will include a focus on speaking aloud, read-and-look-up, group quizzes, and partner dictation activities in order to maintain a focus on communication and help students develop confidence in their speaking ability.

The course will also include a focus on writing; students will become familiar with a six-step writing process to produce essays, creative writing, and simple research reports. Students will regularly share their work with classmates, and practice speaking skills by focusing on follow-up questions. The course aims to have students build on their knowledge of paragraph writing to produce essays of multiple paragraphs. Students will write for real audiences by submitting work to the IEP Times publication.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Review familiar grammar patterns and learn new grammar usage through individual and pair work
2. Complete at least 15 units from the latter half of the textbook (teacher should select units based on students' needs and interests)
3. Apply grammar knowledge to produce accurate writing
4. Use a 6-step writing process (Brainstorm, Outline, Research, Rough Draft, Editing, Final Draft)
5. Improve grammatical accuracy in speaking by using grammatical patterns during speaking drills and short conversation activities.

授業計画

【第1回】

テーマ: Review Summer & Course Goals. Topic 1.1 Intro & Brainstorming

内容・方法: Grammar, Writing Process Review. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Topic brainstorming: "Short-term and long-term study abroad programs." HW: Research about study abroad options, Bullet point outline for a four-paragraph essay.

【第2回】

テーマ: Topic 1.2 Research essay: Study abroad programs (research & intro)

内容・方法: Peer sharing / discussion of outlines. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Continue research, write rough draft of intro paragraph (reasons to study abroad) in class, student-teacher conferencing. Contact IEP upperclassmen who participated in a study abroad program the previous semester for interviews. IEP coordinator can provide a list of contacts.

【第3回】

テーマ: Topic 1.3 Research essay: Study abroad programs (body)

内容・方法: Peer sharing / discussion. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Write rough draft of body paragraphs in class (short-term and long-term study abroad programs), student-teacher conferencing.

【第4回】

テーマ: Topic 1.4 Research essay: Study abroad programs (conclusion)

内容・方法: Peer sharing / discussion. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Write conclusion paragraph (which study abroad program is most interesting to you and why), student-teacher conferencing.

【第5回】

テーマ: Topic 1.5 Evaluation 1 / Study abroad programs: Final draft

内容・方法: In-class review of Topic 1 paragraphs (double check teacher comments, correct and submit as a final draft for a grade). Speaking fluency activity: Oral summary of topic 1 essay (in groups without looking at script). Grammar review quiz.

【第6回】

テーマ: Topic 2.1 - Creative writing (IEP Times English Haiku Assignment)

内容・方法: Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Topic brainstorming. Complete Haiku worksheet #1 - Analyzing English Haiku & favorite seasons

【第7回】

テーマ: Topic 2.2 - Creative writing

内容・方法: Peer sharing / discussion. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Complete Haiku worksheet #2 - Brainstorm ideas and begin Haiku

【第8回】

テーマ: Topic 2.3 - Creative writing. Midterm grade check

内容・方法 : Peer sharing / discussion. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Finish Haiku and complete paragraph explanation rough draft. Teacher conferencing, midterm grade check / reflection.

【第9回】

テーマ : Topic 2.4 Evaluation 2

内容・方法 : In-class review of Haiku & paragraphs (double check teacher comments, correct and submit). Speaking fluency activity: Recitation of Haiku and explanation (in groups without looking at script). Grammar review quiz. Submit final draft for IEP Times.

【第10回】

テーマ : Topic 3.1 Self-selected writing project - Topic brainstorming

内容・方法 : Topic brainstorming. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activities).

【第11回】

テーマ : Topic 3.2 Self-selected writing project - Topic research & outlining

内容・方法 : Peer sharing / discussion. Topic research and outline. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activities).

【第12回】

テーマ : Topic 3.3 Self-selected writing project - 1st draft

内容・方法 : Peer sharing / discussion. Continue topic research and write 1st draft based on outline. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activities).

【第13回】

テーマ : Topic 3.4 Self-selected writing project - Editing & revising

内容・方法 : Peer sharing / discussion. Peer editing. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activities)

【第14回】

テーマ : Topic 3.5 Self-selected writing project - Final draft & grade check

内容・方法 : In-class review of writing project (double check teacher comments, correct and submit as a final draft, either in class or for homework). Grammar review quiz. Final grade check / reflection.

【第15回】

テーマ : Final writing project presentations / discussion

内容・方法 : Project presentations

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a 1-credit (1単位) course which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題 : None

事後学修課題 : Review

【第2回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 1.1

【第3回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 1.2

【第4回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 1.3

【第5回】

事前学修課題 : Prepare for speaking & grammar evaluation.

事後学修課題 : Review

【第6回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 2.1

【第7回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 2.2

【第8回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 2.3

【第9回】

事前学修課題 : Prepare for speaking & grammar evaluation.

事後学修課題 : Review

【第10回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 3.1

【第11回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 3.2

【第12回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 3.3

【第13回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week' s topic.
 事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 3.4
 【第14回】
 事前学修課題 : Prepare to speak about previous week' s topic.
 事後学修課題 : Review, preparation for final evaluation
 【第15回】
 事前学修課題 : Review for final evaluation
 事後学修課題 : Final review assignment

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly during counseling sessions and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class writing activities, grammar assignments completed as homework, and midterm and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse cannot pass (see attendance policy below).

Grade Breakdown:

Active participation, in-class speaking and grammar activities (20%)
 Weekly paragraph writing assignments (30%)
 Writing evaluations (20%)
 Grammar quizzes (10%)
 Final Report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Active participation, in-class grammar and speaking activities (20), Grammar quizzes (10), Writing evaluations (20)	1, 2, 3, 4, 5
授業外での評価	30	Weekly paragraph writing assignments (30)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final report assignment (20)	1, 2, 3, 4
その他	0		

テキスト	None
参考書	Macmillan English Grammar In Context— Essential with Key; Michael Vince Macmillan Education (January 1, 2008), ISBN 978-1-4050-7051-5 Prints provided by instructor as necessary

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来るのが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできるが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	---

授業コード	13104701	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Integrated English I [対面]				
シラバス執筆(全員)	S. ハティング				
シラバス執筆(主)	S. ハティング				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this class, you will develop your English listening and reading skills in order to improve understanding of how English is used in business and professional situations. This course will also introduce you to strategies to improve performance on the TOEIC test. Specifically, you will do the following:

- Learn the structure and format of the TOEIC Listening and Reading sections
- Actively use test-taking strategies for each section
- Study a variety of grammatical forms and vocabulary commonly used in professional communication
- Regularly practice TOEIC questions and take practice tests

Several class meetings may be used to hold joint events such as orientations, group presentations, explanations of study abroad programs and the TOEIC-IP Test

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Improve listening and reading skills for professional situations
2. Build knowledge of vocabulary and grammatical structures used in business communication
3. Apply their knowledge and skills to the TOEIC Listening and Reading test

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：IEP Orientation
 内容・方法：Explanation of TOEIC Listening and Reading Test
- 【第2回】
 テーマ：Unit 1 Photographs
 内容・方法：Textbook pages 9-16,
- 【第3回】
 テーマ：Unit 2 Question Response
 内容・方法：Textbook pages 17-22
- 【第4回】
 テーマ：Unit 3 Short Conversations
 内容・方法：Textbook pages 23-30
- 【第5回】
 テーマ：Unit 4 Short Talks
 内容・方法：Textbook pages 31-38
- 【第6回】
 テーマ：Review
 内容・方法：Textbook Review
- 【第7回】
 テーマ：Evaluation
 内容・方法：Practice TOEIC Test A (Listening)
- 【第8回】
 テーマ：Midterm check
 内容・方法：Midterm grade check & reflection.
- 【第9回】
 テーマ：Unit 5 Incomplete Sentences
 内容・方法：Textbook pages 39-45
- 【第10回】
 テーマ：Unit 6 Text Completion
 内容・方法：Textbook pages 46-55
- 【第11回】
 テーマ：Unit 7 Reading Comprehension
 内容・方法：Textbook pages 56-65.
- 【第12回】
 テーマ：Evaluation
 内容・方法：Practice TOEIC Test A (Reading)
- 【第13回】
 テーマ：Review
 内容・方法：Textbook Review
- 【第14回】
 テーマ：Final Evaluation
 内容・方法：TOEIC Review Test 1, Review of semester. Final grade check & reflection.

【第15回】

テーマ： Joint Class (This class will be used to hold the TOEIC-IP Test)

内容・方法： TOEIC-IP Test

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。毎回の授業前に約30分の予習課題を行い、授業後に約30分の復習課題を行います。

A total of 45 hours of study is required per 1-credit course, including class (calculated as 2 hours per session) and pre- and post-work study. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題： Purchase the Textbook

事後学修課題： Review vocabulary and strategies

【第2回】

事前学修課題： Pre-study pages 9-16

事後学修課題： Review vocabulary and strategies

【第3回】

事前学修課題： Pre-study pages 17-22

事後学修課題： Review vocabulary and strategies

【第4回】

事前学修課題： Pre-study pages 23-30

事後学修課題： Review vocabulary and strategies

【第5回】

事前学修課題 Pre-study pages 31-38

事後学修課題： Review vocabulary and strategies

【第6回】

事前学修課題： Review Textbook, study for Practice Test

事後学修課題： Review vocabulary and strategies

【第7回】

事前学修課題： Review Textbook

事後学修課題： Review vocabulary and strategies, catch up on any missed work

【第8回】

事前学修課題： Pre-study pages 39-45

事後学修課題： Review vocabulary and strategies

【第9回】

事前学修課題： Pre-study pages 46-55

事後学修課題： Review vocabulary and strategies

【第10回】

事前学修課題： Pre-study pages 56-65

事後学修課題： Review vocabulary and strategies

【第11回】

事前学修課題： Review Photographs and Complete Sentences

事後学修課題： Review vocabulary and strategies

【第12回】

事前学修課題： Review Textbook, study for Practice Test

事後学修課題： Review vocabulary and strategies

【第13回】

事前学修課題： Review Conversations, Talks, and Reading Comprehension

事後学修課題： Review vocabulary and strategies

【第14回】

事前学修課題： Review for Final Evaluation

事後学修課題： Prepare for TOEIC-IP

【第15回】

事前学修課題： Prepare for TOEIC-IP

事後学修課題： Final Evaluation Report

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on assignments completed in and out of class, in-class vocabulary quizzes, and reading skills evaluation. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course if they comply with the attendance policy (see below).

Grade Breakdown:

Active participation and in-class work (40)

TOEIC practice exam sections (20)
 Homework assignments (30)
 Final Evaluation (10)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	Active participation and in-class work (40), TOEIC practice exam sections (20)	1, 2, 3
授業外での評価	30	Homework assignments (30)	1, 2, 3
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10	Final Evaluation	1, 2, 3
その他	0		

テキスト	Tactics for the TOEIC® Test, Reading and Listening Test, Introductory Course: Student's Book Grant Trew. 2007 Oxford University Press. ISBN: 978-0-19-452976-1
------	---

参考書	None
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13104702	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Integrated English I [対面]				
シラバス執筆(全員)	J. エチャャー				
シラバス執筆(主)	J. エチャャー				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this class, you will develop your English listening and reading skills in order to improve understanding of how English is used in business and professional situations. This course will also introduce you to strategies to improve performance on the TOEIC test. Specifically, you will do the following:

- Learn the structure and format of the TOEIC Listening and Reading sections
- Actively use test-taking strategies for each section
- Study a variety of grammatical forms and vocabulary commonly used in professional communication
- Regularly practice TOEIC questions and take practice tests

Several class meetings may be used to hold joint events such as orientations, group presentations, explanations of study abroad programs and the TOEIC-IP Test

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Improve listening and reading skills for professional situations
2. Build knowledge of vocabulary and grammatical structures used in business communication
3. Apply their knowledge and skills to the TOEIC Listening and Reading test

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：IEP Orientation
 内容・方法：Explanation of TOEIC Listening and Reading Test
- 【第2回】
 テーマ：Unit 1 Photographs
 内容・方法：Textbook pages 9-16,
- 【第3回】
 テーマ：Unit 2 Question Response
 内容・方法：Textbook pages 17-22
- 【第4回】
 テーマ：Unit 3 Short Conversations
 内容・方法：Textbook pages 23-30
- 【第5回】
 テーマ：Unit 4 Short Talks
 内容・方法：Textbook pages 31-38
- 【第6回】
 テーマ：Review
 内容・方法：Textbook Review
- 【第7回】
 テーマ：Evaluation
 内容・方法：Practice TOEIC Test A (Listening)
- 【第8回】
 テーマ：Midterm check
 内容・方法：Midterm grade check & reflection.
- 【第9回】
 テーマ：Unit 5 Incomplete Sentences
 内容・方法：Textbook pages 39-45
- 【第10回】
 テーマ：Unit 6 Text Completion
 内容・方法：Textbook pages 46-55
- 【第11回】
 テーマ：Unit 7 Reading Comprehension
 内容・方法：Textbook pages 56-65.
- 【第12回】
 テーマ：Evaluation
 内容・方法：Practice TOEIC Test A (Reading)
- 【第13回】
 テーマ：Review
 内容・方法：Textbook Review
- 【第14回】
 テーマ：Final Evaluation
 内容・方法：TOEIC Review Test 1, Review of semester. Final grade check & reflection.

【第15回】

テーマ： Joint Class (This class will be used to hold the TOEIC-IP Test)

内容・方法： TOEIC-IP Test

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。毎回の授業前に約30分の予習課題を行い、授業後に約30分の復習課題を行います。

A total of 45 hours of study is required per 1-credit course, including class (calculated as 2 hours per session) and pre- and post-work study. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題： Purchase the Textbook

事後学修課題： Review vocabulary and strategies

【第2回】

事前学修課題： Pre-study pages 9-16

事後学修課題： Review vocabulary and strategies

【第3回】

事前学修課題： Pre-study pages 17-22

事後学修課題： Review vocabulary and strategies

【第4回】

事前学修課題： Pre-study pages 23-30

事後学修課題： Review vocabulary and strategies

【第5回】

事前学修課題 Pre-study pages 31-38

事後学修課題： Review vocabulary and strategies

【第6回】

事前学修課題： Review Textbook, study for Practice Test

事後学修課題： Review vocabulary and strategies

【第7回】

事前学修課題： Review Textbook

事後学修課題： Review vocabulary and strategies, catch up on any missed work

【第8回】

事前学修課題： Pre-study pages 39-45

事後学修課題： Review vocabulary and strategies

【第9回】

事前学修課題： Pre-study pages 46-55

事後学修課題： Review vocabulary and strategies

【第10回】

事前学修課題： Pre-study pages 56-65

事後学修課題： Review vocabulary and strategies

【第11回】

事前学修課題： Review Photographs and Complete Sentences

事後学修課題： Review vocabulary and strategies

【第12回】

事前学修課題： Review Textbook, study for Practice Test

事後学修課題： Review vocabulary and strategies

【第13回】

事前学修課題： Review Conversations, Talks, and Reading Comprehension

事後学修課題： Review vocabulary and strategies

【第14回】

事前学修課題： Review for Final Evaluation

事後学修課題： Prepare for TOEIC-IP

【第15回】

事前学修課題： Prepare for TOEIC-IP

事後学修課題： Final Evaluation Report

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on assignments completed in and out of class, in-class vocabulary quizzes, and reading skills evaluation. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course if they comply with the attendance policy (see below).

Grade Breakdown:

Active participation and in-class work (40)

TOEIC practice exam sections (20)
 Homework assignments (30)
 Final Evaluation (10)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	Active participation and in-class work (40), TOEIC practice exam sections (20)	1, 2, 3
授業外での評価	30	Homework assignments (30)	1, 2, 3
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10	Final Evaluation	1, 2, 3
その他	0		

テキスト	Tactics for the TOEIC® Test, Reading and Listening Test, Introductory Course: Student's Book Grant Trew. 2007 Oxford University Press. ISBN: 978-0-19-452976-1
------	---

参考書	None
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13104801	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Integrated English II [対面]				
シラバス執筆(全員)	S. ハティング				
シラバス執筆(主)	S. ハティング				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this class, you will develop your English listening and reading skills in order to improve understanding of how English is used in business and professional situations. This course will also introduce you to strategies to improve performance on the TOEIC test. Specifically, you will do the following:

- Learn the structure and format of the TOEIC Listening and Reading sections
- Actively use test-taking strategies for each section
- Study a variety of grammatical forms and vocabulary commonly used in professional communication
- Regularly practice TOEIC questions and take practice tests

Several class meetings may be used to hold joint events such as orientations, group presentations, explanations of study abroad programs and the TOEIC-IP Test

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Improve listening and reading skills for professional situations
2. Build knowledge of vocabulary and grammatical structures used in business communication
3. Apply their knowledge and skills to the TOEIC Listening and Reading test

授業計画

- 【第1回】
 テーマ: Review summer TOEIC results, Unit 8 Photographs
 内容・方法: Textbook pages 66-72
- 【第2回】
 テーマ: Possible student exchange activity (Nanyang Polytech)
 内容・方法: Textbook pages 66-72
- 【第3回】
 テーマ: Unit 9 Question-Response
 内容・方法: Textbook pages 73-79
- 【第4回】
 テーマ: Unit 10 Short Conversations
 内容・方法: Textbook pages 80-86
- 【第5回】
 テーマ: Unit 11 Short Talks
 内容・方法: Textbook pages 87-93
- 【第6回】
 テーマ: Review
 内容・方法: Textbook Review
- 【第7回】
 テーマ: Evaluation
 内容・方法: Practice TOEIC Test B (Listening)
- 【第8回】
 テーマ: Unit 12 Incomplete Sentences
 内容・方法: Textbook pages 94-101
- 【第9回】
 テーマ: Unit 13 Text Completion
 内容・方法: Textbook pages 102-111
- 【第10回】
 テーマ: Unit 14 Reading Comprehension
 内容・方法: Textbook pages 112-121
- 【第11回】
 テーマ: Evaluation
 内容・方法: Practice TOEIC Test B (Reading)
- 【第12回】
 テーマ: Review
 内容・方法: Review textbook and practice tests
- 【第13回】
 テーマ: Review
 内容・方法: Review Test 2 in class, group activities
- 【第14回】
 テーマ: TOEIC-IP
 内容・方法: (This class will be used to hold the TOEIC-IP Test)

【第15回】

テーマ : Semester Review

内容・方法 : Final grade check, reflection, and goal setting.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。毎回の授業前に約30分の予習課題を行い、授業後に約30分の復習課題を行います。

A total of 45 hours of study is required per 1-credit course, including class (calculated as 2 hours per session) and pre- and post-work study. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題 : Prepare report on summer projects

事後学修課題 : Review

【第2回】

事前学修課題 : Pre-study pages 66-72

事後学修課題 : Review vocabulary and strategies

【第3回】

事前学修課題 : Pre-study pages 73-79

事後学修課題 : Review vocabulary and strategies

【第4回】

事前学修課題 : Pre-study pages 80-86

事後学修課題 : Review vocabulary and strategies

【第5回】

事前学修課題 : Pre-study pages 87-93

事後学修課題 : Review vocabulary and strategies

【第6回】

事前学修課題 : Review Textbook, study for Practice Test

事後学修課題 : Review vocabulary and strategies

【第7回】

事前学修課題 : Review Textbook

事後学修課題 : Review vocabulary and strategies

【第8回】

事前学修課題 : Pre-study pages 94-101

事後学修課題 : Review vocabulary and strategies

【第9回】

事前学修課題 : Pre-study pages 102-111

事後学修課題 : Review vocabulary and strategies

【第10回】

事前学修課題 : Pre-study pages 112-121

事後学修課題 : Review vocabulary and strategies

【第11回】

事前学修課題 : Review Photographs and Complete Sentences

事後学修課題 : Review vocabulary and strategies

【第12回】

事前学修課題 : Review Textbook, study for Practice Test

事後学修課題 : Review vocabulary and strategies

【第13回】

事前学修課題 : Review for TOEIC-IP

事後学修課題 : Review vocabulary and strategies

【第14回】

事前学修課題 : Review Conversations, Talks, and Reading Comprehension

事後学修課題 : None

【第15回】

事前学修課題 : Review Textbook, study for Practice Test

事後学修課題 : Final reflection report

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on assignments completed in and out of class, in-class vocabulary quizzes, and reading skills evaluation. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course if they comply with the attendance policy (see below).

Grade Breakdown:

Active participation and in-class work (40)

TOEIC practice exam sections (20)
 Homework assignments (30)
 Final Evaluation (10)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	Active participation and in-class work (40), TOEIC practice exam sections (20)	1, 2, 3
授業外での評価	30	Homework assignments (30)	1, 2, 3
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10	Final Evaluation (10)	1, 2, 3
その他	0		

テキスト	Tactics for the TOEIC® Test, Reading and Listening Test, Introductory Course: Student's Book Grant Trew. 2007 Oxford University Press. ISBN: 978-0-19-452976-1
------	---

参考書	None
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13104802	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Integrated English II [対面]				
シラバス執筆(全員)	J. エチャャー				
シラバス執筆(主)	J. エチャャー				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this class, you will develop your English listening and reading skills in order to improve understanding of how English is used in business and professional situations. This course will also introduce you to strategies to improve performance on the TOEIC test. Specifically, you will do the following:

- Learn the structure and format of the TOEIC Listening and Reading sections
- Actively use test-taking strategies for each section
- Study a variety of grammatical forms and vocabulary commonly used in professional communication
- Regularly practice TOEIC questions and take practice tests

Several class meetings may be used to hold joint events such as orientations, group presentations, explanations of study abroad programs and the TOEIC-IP Test

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Improve listening and reading skills for professional situations
2. Build knowledge of vocabulary and grammatical structures used in business communication
3. Apply their knowledge and skills to the TOEIC Listening and Reading test

授業計画

- 【第1回】
 テーマ: Review summer TOEIC results, Unit 8 Photographs
 内容・方法: Textbook pages 66-72
- 【第2回】
 テーマ: Possible student exchange activity (Nanyang Polytech)
 内容・方法: Textbook pages 66-72
- 【第3回】
 テーマ: Unit 9 Question-Response
 内容・方法: Textbook pages 73-79
- 【第4回】
 テーマ: Unit 10 Short Conversations
 内容・方法: Textbook pages 80-86
- 【第5回】
 テーマ: Unit 11 Short Talks
 内容・方法: Textbook pages 87-93
- 【第6回】
 テーマ: Review
 内容・方法: Textbook Review
- 【第7回】
 テーマ: Evaluation
 内容・方法: Practice TOEIC Test B (Listening)
- 【第8回】
 テーマ: Unit 12 Incomplete Sentences
 内容・方法: Textbook pages 94-101
- 【第9回】
 テーマ: Unit 13 Text Completion
 内容・方法: Textbook pages 102-111
- 【第10回】
 テーマ: Unit 14 Reading Comprehension
 内容・方法: Textbook pages 112-121
- 【第11回】
 テーマ: Evaluation
 内容・方法: Practice TOEIC Test B (Reading)
- 【第12回】
 テーマ: Review
 内容・方法: Review textbook and practice tests
- 【第13回】
 テーマ: Review
 内容・方法: Review Test 2 in class, group activities
- 【第14回】
 テーマ: TOEIC-IP
 内容・方法: (This class will be used to hold the TOEIC-IP Test)

【第15回】

テーマ : Semester Review

内容・方法 : Final grade check, reflection, and goal setting.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。毎回の授業前に約30分の予習課題を行い、授業後に約30分の復習課題を行います。

A total of 45 hours of study is required per 1-credit course, including class (calculated as 2 hours per session) and pre- and post-work study. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題 : Prepare report on summer projects

事後学修課題 : Review

【第2回】

事前学修課題 : Pre-study pages 66-72

事後学修課題 : Review vocabulary and strategies

【第3回】

事前学修課題 : Pre-study pages 73-79

事後学修課題 : Review vocabulary and strategies

【第4回】

事前学修課題 : Pre-study pages 80-86

事後学修課題 : Review vocabulary and strategies

【第5回】

事前学修課題 : Pre-study pages 87-93

事後学修課題 : Review vocabulary and strategies

【第6回】

事前学修課題 : Review Textbook, study for Practice Test

事後学修課題 : Review vocabulary and strategies

【第7回】

事前学修課題 : Review Textbook

事後学修課題 : Review vocabulary and strategies

【第8回】

事前学修課題 : Pre-study pages 94-101

事後学修課題 : Review vocabulary and strategies

【第9回】

事前学修課題 : Pre-study pages 102-111

事後学修課題 : Review vocabulary and strategies

【第10回】

事前学修課題 : Pre-study pages 112-121

事後学修課題 : Review vocabulary and strategies

【第11回】

事前学修課題 : Review Photographs and Complete Sentences

事後学修課題 : Review vocabulary and strategies

【第12回】

事前学修課題 : Review Textbook, study for Practice Test

事後学修課題 : Review vocabulary and strategies

【第13回】

事前学修課題 : Review for TOEIC-IP

事後学修課題 : Review vocabulary and strategies

【第14回】

事前学修課題 : Review Conversations, Talks, and Reading Comprehension

事後学修課題 : None

【第15回】

事前学修課題 : Review Textbook, study for Practice Test

事後学修課題 : Final reflection report

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on assignments completed in and out of class, in-class vocabulary quizzes, and reading skills evaluation. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course if they comply with the attendance policy (see below).

Grade Breakdown:

Active participation and in-class work (40)

TOEIC practice exam sections (20)
 Homework assignments (30)
 Final Evaluation (10)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	Active participation and in-class work (40), TOEIC practice exam sections (20)	1, 2, 3
授業外での評価	30	Homework assignments (30)	1, 2, 3
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10	Final Evaluation (10)	1, 2, 3
その他	0		

テキスト	Tactics for the TOEIC® Test, Reading and Listening Test, Introductory Course: Student's Book Grant Trew. 2007 Oxford University Press. ISBN: 978-0-19-452976-1
------	---

参考書	None
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13086701	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	中国語Ⅲ a [対面]				
シラバス執筆(全員)	宋 穎				
シラバス執筆(主)	宋 穎				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

準中級レベルの中国語の文法・語彙を身につけ、「自分の言葉で」会話できる力を養う。
1年生で学んだ中国語から一歩進んで、準中級の会話スタイルのテキストの学習と練習を通して、中国語の会話のしくみを理解して「自分のことばで」会話できるように訓練します。また、テキストの内容を通して、ことばの文化背景についても知識を深めます。

到達目標

1. 中国語の語彙を増やすとともに文法の仕組みを理解すること。
2. 様々な場面に相応しい中国語の会話ができる能力が身につけること。
3. 言葉の文化背景についても客観的な知識を持つこと。

授業計画

- 第1回 オリエンテーション 本授業の特徴、目的及び授業方法など
 第2回 1課 単語、会話「自我介绍」本文の解説と会話の表現練習
 第3回 1課 ポイント(動詞の「上」など4項目)の理解を会話の表現練習
 第4回 2課 単語、会話「找工作」本文の解説と会話の表現練習授業計画
 第5回 2課 ポイント(動詞の「進行表現」など4項目)の理解を会話の表現練習
 第6回 第1課+第2課の復習、補充練習また小テスト
 第7回 3課 会話「我的新工作」本文の解説と会話の表現練習
 第8回 3課 ポイント(動詞の「方位詞」～上“など4項目)の理解を会話の表現練習
 第9回 4課 会話「我们学校的图书馆」本文の解説と会話の表現練習
 第10回 4課 ポイント(動詞の「“听说”“听～说”など4項目)の理解を会話の表現練習
 第11回 第3課+第4課の復習、補充練習また小テスト
 第12回 第5課 会話「我们学校的图书馆」本文の解説と会話の表現練習
 第13回 第5課 ポイント(「“听说”“听～说”など4項目)の理解を会話の表現練習
 第14回 第5課の復習、補充練習また小テスト
 第15回 今学期のまとめ

この科目は後期も6課から継続して学習します。テキストは全12課に各課・巻末の2種類の練習問題がセットになっていますので、進度に合わせて適宜活用します。

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

予習は、テキストをよむとか単語を調べて覚える
 復習は、新たに習ったものを復習し、定着させる。また、あたえられた課題をこなす。

課題に対するフィードバックの方法

試験後、希望者に説明し、試験用紙を返却する。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

授業への取り組み方、テスト、宿題などの平常成績とテストなどの総合評価。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	語彙と文法の理解、授業中の質問に対する回答など	1, 2, 3
授業外での評価	10	予習、復習等の宿題	1
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	授業内の小テスト	1, 2, 3
その他	10	本学期的学習内容によって総合的に判断する	1, 2, 3

テキスト	準中級中国語(会話編) 奥村佳代子・塩山正純・張軼欧 金星堂出版社 ISBN978-4-7647-0711-5C1087 ¥2300
参考書	
履修条件・他の科目との関連	「中国語Ⅰ」と「中国語Ⅱ」を履修した者を対象とする。 「中国語Ⅳ」の同時履修が望ましい。

授業コード	13086801	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	中国語Ⅲb [対面]				
シラバス執筆(全員)	宋 穎				
シラバス執筆(主)	宋 穎				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

準中級レベルの中国語の文法・語彙を身につけ、「自分の言葉で」会話できる力を養う。
1年生で学んだ中国語から一歩進んで、準中級の会話スタイルのテキストの学習と練習を通して、中国語の会話のしくみを理解して「自分のことばで」会話できるように訓練します。また、テキストの内容を通して、ことばの文化背景についても知識を深めます。

到達目標

1. 中国語の語彙を増やすとともに文法の仕組みを理解すること。
2. 様々な場面に相応しい中国語の会話ができる能力が身につけること。
3. 言葉の文化背景についても客観的な知識を持つこと。

授業計画

- 第1回 オリエンテーション 前期内容の復習
 第2回 6課 単語、会話「考试后的放松」本文の解説と会話の表現練習
 第3回 6課 ポイント(“连也/都~”など4項目)の理解を会話の表現練習
 第4回 7課 単語、会話「暑假生活」本文の解説と会話の表現練習
 第5回 7課 ポイント(使役「让」など4項目)の理解を会話の表現練習
 第6回 6課+7課の補足練習、小テストなど
 第7回 8課 単語、会話「一天实习」本文の解説と会話の表現練習 授業計画
 第8回 8課 ポイント(「会~的」など4項目)の理解を会話の表現練習
 第9回 9課 単語、会話「做PPT报告」本文の解説と会話の表現練習
 第10回 9課 ポイント(結果補語 動詞+“成”など4項目)の理解を会話の表現練習
 第11回 8課+9課の補足練習、小テストなど
 第12回 10課 単語、会話「过圣诞节」本文の解説と会話の表現練習
 第13回 10課 ポイント(動詞の“是~的”構文など4項目)の理解を会話の表現練習
 第14回 10課の補足練習、小テストなど
 第15回 今学期のまとめ

テキストは全12課に各課・巻末の2種類の練習問題がセットになっていますので、進度に合わせて適宜活用します。

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

予習は、テキストをよむとか単語を調べて覚える
 復習は、新たに習ったものを復習し、定着させる。また、あたえられた課題をこなす。

課題に対するフィードバックの方法

試験後、希望者に説明し、試験用紙を返却する。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

授業への取り組み方、テスト、宿題などの平常成績とテストなどの総合評価。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	語彙、文法の理解、授業中に対する質問の回答、小テストの成績	1, 2, 3
授業外での評価	10	予習、復習、宿題など	1, 2, 3
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	レポートの完成度	1, 2, 3
その他	10	課題の完成度	1, 2, 3

テキスト	準中級中国語(会話編) 奥村佳代子・塩山正純・張軼欧 金星堂出版社 ISBN978-4-7647-0711-5C108 ¥2300
参考書	
履修条件・他の科目との関連	「中国語Ⅰ」と「中国語Ⅱ」を履修した者を対象とする。 「中国語Ⅳ」の同時履修が望ましい。

授業コード	13086901	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	中国語Ⅳ a [対面]				
シラバス執筆(全員)	侯 月琴				
シラバス執筆(主)	侯 月琴				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

本講義は主に中国語Ⅰと中国語Ⅱをマスターした受講生を対象にする。受講生のニーズに応じて中国語会話を学ぶ。中国へ渡航した際遭遇する場面、例えば入国審査・両替・タクシー・電話・買い物・病院などの様々な日常会話を想定し、学んだ中国語の基礎を応用してもらう。将来中国旅行あるいは卒業後の仕事などにおいて中国人とコミュニケーションするのに少しでも役に立てるようにする。受講生に無理なく日中両語における文型・発想の違いを意識し、理解してもらうために、「会話文」を中国語に訳してもらい、それから、各課の「使ってみる」練習を繰り返すことにより、パターンとなる基本文法を強化し、自ら同じパターンで中国語を書いたり話したりすることができるようにする。徐々に一定のレベルの中国語（話すこと&書くこと）で意思伝達ができるようになってもらう。尚、中国語検定試験（主に4級と3級）を受ける受講生に個別に指導する。

到達目標

1. 中国語の語順を正しく並べる。
2. 筆談で中国語の日常会話ができる。
3. 口頭で簡単な日常中国語会話ができる。

授業計画

- 【第1回】入国審査
 テーマ：入国審査のカウンターで審査官に質問される。
 内容・方法：動作が行われる時間がどのぐらいの長さなのかを知りたい時に用いる「多长时间？」（どのぐらいの時間？）を学習し、練習する。
- 【第2回】
 テーマ：荷物の紛失
 内容・方法：荷物が見つからず、空港のスタッフに探してもらう。
 人やものについてどのような様子なのかを聞く時に用いる「什么样的+人/ものですか？」を学習し、練習する。
- 【第3回】
 テーマ：両替
 内容・方法：日本円を人民元に両替したいことを伝える。
 両替する時によく用いるパターン「请把A换成B」（AをBに替えて下さい）を学習し、練習する。
- 【第4回】
 テーマ：タクシーに乗る
 内容・方法：タクシーの運転手は行き先が分からないようだ。
 使役態を表す表現の一つ「A让B～」(AはBに～させます)を学習し、練習する。
- 【第5回】
 テーマ：タクシーの中で①
 内容・方法：そろそろ目的地に着きそうだが、もう少し先で停めてほしい。
 二つの動作する順番を表すパターン「先～, 然后再…」(まず～して、それから…します)を学習し、練習する。
- 【第6回】
 テーマ：タクシーの中で②
 内容・方法：タクシーの運転手と話す。
 動作を禁止する表現「別+動詞～」/「不要+動詞～」(～するな) or (～しないで下さい)を学習し、練習する。
- 【第7回】
 テーマ：チェックイン
 内容・方法：ホテルで何泊するかを伝える。
 予定を表す言い方「我+打算+動詞～」(私は～するつもりです)を学習し、練習する。
- 【第8回】
 テーマ：部屋を換える
 内容・方法：エアコンの調子が悪く、部屋を換えてほしいことを伝える。
 仮定表現の一つ「如果～的话, …」(もし～ならば, …)を学習し、練習する。
- 【第9回】
 テーマ：鍵を部屋に忘れる
 内容・方法：鍵を持たずに部屋を出てしまった。
 過去・現在・未来の「とき」を修飾するパターン「～的+时候」(～のとき)を学習し、練習する。
- 【第10回】
 テーマ：チェックアウト
 内容・方法：支払いは現金以外でもいいか聞く。
 排除関係や添加関係を表す「除了～以外, …」(～のほかに…)を学習し、練習する。
- 【第11回】
 テーマ：雑談する①

内容・方法：①自分の趣味について話す。
趣味を表す表現「我的爱好是～」(私の趣味は～です) / 「我爱好～」(私は～趣味を持っています) & 「对～感兴趣」(～に対して興味があります)を学習し、練習する。

②中国に来たことがあることを話す。
経験を表す表現「動詞+过」(～したことがあります)を学習し、練習する。

【第12回】

テーマ：雑談する②

内容・方法：近況について話す。

助詞「着」のパターンを学習し、練習する。

パターン₁：動作の結果・状態の継続を表す「瞬間動詞+着」(～ています)；

パターン₂：一定時間継続する動作を表す「正(在)+継続動詞+着(呢)」(～ています)；

パターン₃：存現文を表す表現「場所+動詞+着+名詞」(場所に～が他動詞+てあります)

【第13回】

テーマ：雑談する③

内容・方法：①勉強と仕事を両立しているようだ。

二つ以上の動作が平行して行われることを表す表現「一边～，一边…」(～しながら、…する)を学習し、練習する。

②万里の長城について話す。

逆接関係を表す表現の一つ「虽然～，但是…」(～だけれどもしかし…)を学習し、練習する。

【第14回】

テーマ：復習

内容・方法：第1回から第13回までの内容を復習し、総合練習する。

【第15回】 考査

内容・方法：日常会話文を中国語に訳してもらう。

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

事前学習として、毎回の課題に出ているパターンの説明に目を通しておくこと & 発音やイントネーションを正しく覚えるためにCDを聞いておくことを求める。
事後学習として、毎回学んだ内容を暗記することを求める。

課題に対するフィードバックの方法

毎回の課題について、クラス全員に対して1人ずつチェックする。そして個々の問題点を明らかにし、理解してもらう。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。
学習態度や課題の提出量及びその質により評価する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	80	授業への取り組み方及び課題の出来具合を参考に評価する。	1.2.3
授業外での評価	0	0	0
定期試験	0	0	0
定期試験に代わるレポート等	20	課題提出	1.2
その他	0	0	0

テキスト 教室で毎回の勉強する内容のプリントを配布する。

参考書 別途指示する。

履修条件・他の科目との関連 中国語I&IIを単位取得したこと。

授業コード	13087001	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	中国語IV b [対面]				
シラバス執筆(全員)	侯 月琴				
シラバス執筆(主)	侯 月琴				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

中国語IVbの学習内容は中国語IVaの続きである。授業の進め方は前期と同じく受講生に無理なく日中両語における文型・発想の違いを意識し、理解してもらうために、「会話文」を中国語に訳してもらう。それから、各課の「使ってみる」練習を繰り返すことによって、パターンとなる基本文法を強化し、自ら同じパターンで中国語を書いたり話したりすることができるようにする。徐々に一定のレベルの中国語で意思伝達ができるようになってもらう。将来中国旅行あるいは卒業後の仕事などにおいて中国人とコミュニケーションするのに少しでも役に立てるようにする。
尚、中国語検定試験（主に4級と3級）を受ける受講生に個別に指導する。

到達目標

1. 中国語の語順を正しく並べる。
2. 筆談で中国語の日常会話ができる。
3. 口頭で簡単な日常中国語会話ができる。

授業計画

- 【第1回】
テーマ：料理を注文する①
内容・方法：メニューを見て料理を決めているところだ。
ある動作がちょうど進行していることを表す表現「在＋動詞～（呢）」（～しているところです）を学習し、練習する。
- 【第2回】
テーマ：料理を注文する②
内容・方法：料理はまだ出て来ないので、店員に伝える。
近い将来に対する判断を表す表現「快要～了」（もうすぐ～です）を学習し、練習する。
- 【第3回】
テーマ：道に迷う
内容・方法：道に迷ってしまったため、通行人に聞く。
ある事柄を強制的に例示することによって、他の場合は当然であると類推させる意味を表す表現「连～也／都…」（～さえも…）を学習し、練習する。
- 【第4回】
テーマ：買い物①
内容・方法：近くにいいスーパーがあるか聞く。
いくつかの動作・状況・状態が重なることを表す表現「又～又…」（～でかつ…）を学習し、練習する。
- 【第5回】
テーマ：買い物②
内容・方法：試着してもいいか聞く。
全面肯定と全面否定を表す表現「什么都～」（何でも～）を学習し、練習する。
- 【第6回】
テーマ：空港で
内容・方法：飛行機に間に合うかどうか聞く。
可能補語で慣用表現として用いられる「来得及／来不及」（間に合います／間に合いません）を学習し、練習する。
- 【第7回】
テーマ：空港で切符を買う
内容・方法：上海から北京までどのくらい時間がかかるか聞く。
時間が必要とされることを表す表現「要～小时」（～時間かかります）を学習し、練習する。
- 【第8回】
テーマ：バスに乗る
内容・方法：バスの行き先を確認する。
バスや電車が目的地に向かって発車する「开往～」（～行き）パターンを学習し、練習する。
- 【第9回】
テーマ：電車で
内容・方法：電車が出発しないので、隣の人に話しかける。
原因と理由を述べる場合に用いる表現「因为～，所以…」（～なので、ゆえに…）を学習し、練習する。
- 【第10回】
テーマ：駅で
内容・方法：列車が何番ホームから出発するか聞く。
比較文表現の一種。二つのものを比較して同じであることを表す表現「跟～一样…」（～と同じで…）を学習し、練習する。
- 【第11回】
テーマ：病院で
内容・方法：頭が痛くて内科にかかる。

程度が時間の推移とともに高まることを表す表現「越来越～」(ますます～になる) & 条件の発展に従って程度が高まることを表す表現「越～越…」(～すればするほど…)を学習し、練習する。

【第12回】

テーマ：大使館で

内容・方法：パスポートをなくしたので、大使館に来た。

動作の時間、場所、方法を強調する表現「是～的」(～は～のです)を学習し、練習する。

【第13回】

テーマ：タクシーで空港へ

内容・方法：タクシーで空港へ向かっているが、道を間違えたようだ。

可能性があることを表す表現「会～的」(きっと～でしょう)を学習し、練習する。

【第14回】

テーマ：復習

内容・方法：第1回から第13回までの内容を復習し、総合練習する。

【第15回】

テーマ：考査

内容・方法：日常会話文を中国語に訳してもらう。

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

事前学習として、毎回の課題に出ているパターンの説明に目を通しておくこと & 発音やイントネーションを正しく覚えるためにCDを聞いておくことを求める。
事後学習として、毎回学んだ内容を暗記することを求める。

課題に対するフィードバックの方法

毎回の課題について、クラス全員に対して1人ずつチェックする。そして個々の問題点を明らかにし、理解してもらう。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。
学習態度や課題の提出量及びその質により評価する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	80	授業への取り組み方及び課題の出来具合を参考に評価する。	1.2.3
授業外での評価	0	0	0
定期試験	0	0	0
定期試験に代わるレポート等	20	課題提出	1.2
その他	0	0	0

テキスト	教室で毎回の勉強する内容のプリントを配布する。
参考書	別途指示する。
履修条件・他の科目との関連	中国語I&IIを単位取得したこと。

授業コード	13087101	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	中国語Ⅴa [対面]				
シラバス執筆(全員)	鄭 以君				
シラバス執筆(主)	鄭 以君				
開講年次	3年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

この授業では、これまでに勉強してきた中国語の基礎知識を軸に、初級から中級へのレベルアップを目標に、中国語の豊かな表現を反映する語彙や文法事項を繰り返しながら身に付けるように学んでいくと同時に、現代中国についての理解を深めることを目指す。

到達目標

1. 文法ポイントと重要表現をマスターし、読解力を高める。文法ポイントと重要表現を正しく使って、短文作りができる。
2. 授業で取り上げた日常的な表現や中国人の考え方などを知ることにより、中国人とのコミュニケーション力を身につける。
3. 中国語での作文および中国語的な表現の日本語訳ができること。

授業計画

【第1回】
基礎復習
内容・方法：オリエンテーション（授業の進め方）

【第2回】
第1課
内容：新出語句、学習ポイントの習得

【第3回】
第1課
内容：本文の解読、練習問題の完成

【第4回】
第2課
内容：新出語句、学習ポイントの習得

【第5回】
第2課
内容：本文の解読、練習問題の完成

【第6回】
第3課
内容：新出語句、学習ポイントの習得

【第7回】
第3課
内容：本文の解読、練習問題の完成

【第8回】
内容：第1～3課のまとめ復習・小テ復習及び解説

【第9回】
第4課
内容：新出語句、学習ポイントの習得

【第10回】
第4課
内容：本文の解読、練習問題の完成

【第11回】
第5課
内容：新出語句、学習ポイントの習得

【第12回】
第5課
内容：本文の解読、練習問題の完成

【第13回】
第6課
内容：新出語句、学習ポイントの習得

【第14回】
第6課
内容：本文の解読、練習問題の完成

【第15回】
総合復習、考査、質疑応答

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

- ①事前課題：これまでに習った中国語の基礎内容を確認・復習する。
 ②事後課題：授業で説明されたことを確認する。
- 【第2回】
- ①事前課題：第1課の新出語句とポイントを予習する。
 ②事後課題：授業の内容を再度確認し、復習する。
- 【第3回】
- ①事前課題：第1課の本文と練習問題内容を予習する。
 ②事後課題：授業の内容を再度確認し、復習する。
- 【第4回】
- ①事前課題：第2課の新出語句とポイントを予習する。
 ②事後課題：授業の内容を再度確認し、復習する。
- 【第5回】
- ①事前課題：第2課の本文と練習問題内容を予習する。
 ②事後課題：授業の内容を再度確認し、復習する。
- 【第6回】
- ①事前課題：第3課の新出語句とポイントを予習する。
 ②事後課題：授業の内容を再度確認し、復習する。
- 【第7回】
- ①事前課題：第3課の本文と練習問題内容を予習する。
 ②事後課題：授業の内容を再度確認し、復習する。
- 【第8回】
- ①事前課題：第1課～第3課について復習する。
 ②事後課題：これまでの学習内容を再確認する。
- 【第9回】
- ①事前課題：第4課の新出語句とポイントを予習する。
 ②事後課題：授業の内容を再度確認し、復習する。
- 【第10回】
- ①事前課題：第4課の本文と練習問題内容を予習する。
 ②事後課題：授業の内容を再度確認し、復習する。
- 【第11回】
- ①事前課題：第5課の新出語句とポイントを予習する。
 ②事後課題：授業の内容を再度確認し、復習する。
- 【第12回】
- ①事前課題：第5課の本文と練習問題内容を予習する。
 ②事後課題：授業の内容を再度確認し、復習する。
- 【第13回】
- ①事前課題：第6課の新出語句とポイントを予習する。
 ②事後課題：授業の内容を再度確認し、復習する。
- 【第14回】
- ①事前課題：第6課の本文と練習問題内容を予習する。
 ②事後課題：授業の内容を再度確認し、復習する。
- 【第15回】
- ①事前課題：第1課～第6課について復習し、総合考査に備える。
 ②事後課題：前期で気づいた問題点を再確認し、練習する。

課題に対するフィードバックの方法

小テストや提出した課題などを添削後フィードバックを行い、注意点についての説明をする。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

授業への取り組み方、課題レポートの完成、期末試験による総合評価とする。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	授業への取り組み方、課題の完成、小テスト	1, 2, 3
授業外での評価	10	事前事後の予習・復習	1, 2, 3
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	30	レポートの完成度	1, 2, 3
その他	10	課題の完成度	1, 2, 3

テキスト 【16テーマで読む現代中国】及川淳子・朱力 白水社

参考書 日中・中日辞典(出版社の指定は無し)。

履修条件・他の科目との関連 中国語の基礎を習得した者を対象とする。
 中国語V1aの同時履修が望ましい。
 進捗状況によって授業計画を調整する場合がある。

授業コード	13087201	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	中国語Ⅴb [対面]				
シラバス執筆(全員)	鄭 以君				
シラバス執筆(主)	鄭 以君				
開講年次	3年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

前期（中国語Ⅴa）に引き続き、これまでに勉強してきた中国語の基礎知識を軸に、初級から中級へのレベルアップを目標に、中国語の豊かな表現を反映する語彙や文法事項を繰り返しながら身に付けるように学んでいくと同時に、現代中国についての理解を深めることを目指す。

到達目標

1. 文法ポイントと重要表現をマスターし、読解力を高める。文法ポイントと重要表現を正しく使って、短文作りができる。
2. 授業で取り上げた日常的な表現や中国人の考え方などを知ることにより、中国人とのコミュニケーション力を身につける。
3. 中国語での作文および中国語的な表現の日本語訳ができること。

授業計画

- 【第1回】
前期の復習
- 【第2回】
第9課
内容：新出語句、学習ポイントの習得
- 【第3回】
第9課
内容：本文の解説、練習問題の完成
- 【第4回】
第10課
内容：新出語句、学習ポイントの習得
- 【第5回】
第10課
内容：本文の解説、練習問題の完成
- 【第6回】
第11課
内容：新出語句、学習ポイントの習得
- 【第7回】
第11課
内容：本文の解説、練習問題の完成
- 【第8回】
内容：第7～9課のまとめ復習・小テ復習及び解説
- 【第9回】
第12課
内容：新出語句、学習ポイントの習得
- 【第10回】
第12課
内容：本文の解説、練習問題の完成
- 【第11回】
第13課
内容：新出語句、学習ポイントの習得
- 【第12回】
第13課
内容：本文の解説、練習問題の完成
- 【第13回】
第14課
内容：新出語句、学習ポイントの習得
- 【第14回】
第14課
内容：本文の解説、練習問題の完成
- 【第15回】
第9～14課の総合復習、考査、質疑応答

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

- 【第1回】
①事前課題：これまでに習った中国語の基礎内容を確認・復習する。

- ②事後課題：授業で説明されたことを確認する。
【第2回】
 ①事前課題：第9課の新出語句とポイントを予習する。
 ②事後課題：授業の内容を再度確認し、復習する。
【第3回】
 ①事前課題：第9課の本文と練習問題内容を予習する。
 ②事後課題：授業の内容を再度確認し、復習する。
【第4回】
 ①事前課題：第10課の新出語句とポイントを予習する。
 ②事後課題：授業の内容を再度確認し、復習する。
【第5回】
 ①事前課題：第10課の本文と練習問題内容を予習する。
 ②事後課題：授業の内容を再度確認し、復習する。
【第6回】
 ①事前課題：第11課の新出語句とポイントを予習する。
 ②事後課題：授業の内容を再度確認し、復習する。
【第7回】
 ①事前課題：第11課の本文と練習問題内容を予習する。
 ②事後課題：授業の内容を再度確認し、復習する。
【第8回】
 ①事前課題：第9課～第11課について復習する。
 ②事後課題：これまでの学習内容を再確認する。
【第9回】
 ①事前課題：第12課の新出語句とポイントを予習する。
 ②事後課題：授業の内容を再度確認し、復習する。
【第10回】
 ①事前課題：第12課の本文と練習問題内容を予習する。
 ②事後課題：授業内容を再度確認し、復習する。
【第11回】
 ①事前課題：第13課の新出語句とポイントを予習する。
 ②事後課題：授業の内容を再度確認し、復習する。
【第12回】
 ①事前課題：第13課の本文と練習問題内容を予習する。
 ②事後課題：授業の内容を再度確認し、復習する。
【第13回】
 ①事前課題：第14課の新出語句とポイントを予習する。
 ②事後課題：授業の内容を再度確認し、復習する。
【第14回】
 ①事前課題：第14課の本文と練習問題内容を予習する。
 ②事後課題：授業の内容を再度確認し、復習する。
【第15回】
 ①事前課題：第9課～第14課について復習し、総合考査に備える。
 ②事後課題：後期で気づいた問題点を再確認し、練習する。

課題に対するフィードバックの方法

小テストや提出した課題などを添削後フィードバックを行い、注意点についての説明をする。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

授業への取り組み方、課題レポートの完成、期末試験による総合評価とする。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	授業への取り組み方、課題の完成、小テストの成績	1, 2, 3
授業外での評価	10	事前事後の予習・復習	1, 2, 3
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	30	レポートの完成度	1, 2, 3
その他	10	課題の完成度	1, 2, 3

テキスト 【16テーマで読む現代中国】及川淳子・朱力 白水社

参考書 日中・中日辞典(出版社の指定は無し)。

履修条件・他の科目との関連 中国語の基礎を習得した者を対象とする。
 中国語VIbの同時履修が望ましい。
 進捗状況によって授業計画を調整する場合がある。

授業コード	13087301	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	中国語Ⅵa [対面]				
シラバス執筆(全員)	宋 穎				
シラバス執筆(主)	宋 穎				
開講年次	3年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

二年間勉強してきた中国語を、ただ習っただけで終わることなく、中国語を実際に使えるように聴く、読む、書く、話すと全般的に習得することを目的とする。授業では四技能のうち、特に聴解と会話を重視する。また、就職時のことをも視野に入れて中国語の資格獲得ができるように資格の参考書等も取り入れる。授業で、映像を見ながら、会話文と読解文を学習します。中国語を学ぶことと同時に、中国文化への理解も深めてもらうねらいです。

到達目標

1. 中国語でコミュニケーション能力（話す力、聴く力）を高めること。
2. 言葉の文化背景についても客観的な知識を持つこと。

授業計画

- 【第1回】 授業のオリエンテーション：授業方法、成績評価などの説明
【第2回】 Unit 1 「新環境・新朋友」 (1-1) 会話文の解説と会話練習
【第3回】 Unit 1 「新環境・新朋友」 (1-2) 会話文の解説と会話練習
【第4回】 自己紹介に関する補足練習と復習 Unit 1に関する筆記テスト①
【第5回】 Unit 2 「哥哥还是大学生」 (2-1) 会話文の解説と会話練習
【第6回】 Unit 2 「哥哥还是大学生」 (2-2) 会話文の解説と会話練習
【第7回】 家庭に関する表現、趣味等の表現と会話練習 Unit 2に関する筆記テスト②
【第8回】 Unit 3 「祝你生日快乐」 (3-1) 会話文の解説と会話練習
【第9回】 Unit 3 「祝你生日快乐」 (3-2) 会話文の解説と会話練習
【第10回】 時刻、年齢、スケジュールの言い方などの表現について会話練習 Unit 3に関する筆記テスト③
【第11回】 Unit 4 「你会踢足球?!」 (4-1) 会話文の解説と会話練習
【第12回】 Unit 4 「你会踢足球?!」 (4-2) 会話文の解説と会話練習
【第13回】 スポーツに関する表現などの会話練習 Unit 4に関する筆記テスト④
【第14回】 まとめ これまで習った内容の復習
【第15回】 テスト 総合練習、口頭発表

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

予習は、テキストをよむとか単語を調べて覚える
復習は、新たに習ったものを復習し、定着させる。また、あたえられた課題をこなす。

課題に対するフィードバックの方法

試験後、希望者に説明し、試験用紙を返却する。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

授業への取り組み方、テスト、宿題などの平常成績とテストなどの総合評価。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	授業中の練習、質問など	1, 2
授業外での評価	10	予習、復習など	1, 2
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	レポートの完成度により	1, 2
その他	20	口頭発表	1, 2

テキスト

中級中国語会話「新版トーク・トピックス」 沈国威・安力著 白帝社
ISBN978-4-89174-636-0
C3887 ¥ 2500

参考書	必要に応じて授業中に指示する。
履修条件・他の科目との関連	※ 「中国語Ⅲ」以上を履修した者が望ましい。 ※ 「中国Ⅴ」の同時履修が望ましい。

授業コード	13087401	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	中国語VI b [対面]				
シラバス執筆(全員)	宋 穎				
シラバス執筆(主)	宋 穎				
開講年次	3年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

二年間勉強してきた中国語を、ただ習っただけで終わることなく、中国語を実際に使えるように聴く、読む、書く、話すと全般的に習得することを目的とする。授業では四技能のうち、特に聴解と会話を重視する。また、就職時のことをも視野に入れて中国語の資格獲得ができるように資格の参考書等も取り入れる。
授業で、中国語を学ぶことと同時に、中国文化への理解も深めてもらうねらいです。

到達目標

1. 中国語でコミュニケーション能力（話す力、聴く力）を高めること。
2. 言葉の文化背景についても客観的な知識を持つこと。

授業計画

- 【第1回】 授業のオリエンテーション：授業方法、成績評価などの説明
【第2回】 Unit 5 「味道好极了」(5-1) 会話文の解説と会話練習
【第3回】 Unit 5 「味道好极了」(5-2) 会話文の解説と会話練習
【第4回】 食事に関する補足表現と会話練習、Unit 5に関する筆記テスト①
【第5回】 Unit 6 「我不买,随便看看」(6-1) 会話文の解説と会話練習
【第6回】 Unit 6 「我不买,随便看看」(6-2) 会話文の解説と会話練習
【第7回】 日常生活、買い物などの補足表現と対応を会話練習 Unit 6に関する筆記テスト②
【第8回】 Unit 7 「哪儿有麦当劳？」(7-1) 会話文の解説と会話練習
【第9回】 Unit 7 「哪儿有麦当劳？」(7-2) 会話文の解説と会話練習
【第10回】 道を尋ねるなどの表現と会話練習 Unit 7に関する筆記テスト③
【第11回】 Unit 8 「小心拉肚子」(8-1) 会話文の解説と会話練習
【第12回】 Unit 8 「小心拉肚子」(8-2) 会話文の解説と会話練習
【第13回】 体の具合、病気などに関する表現、会話練習 Unit 8に関する筆記テスト④
【第14回】 まとめ これまで習った内容の復習
【第15回】 テスト 総合練習、口頭発表

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

予習は、テキストを読むとか単語を調べて覚える。
復習は、新たに習ったものを復習し、定着させる。また、与えられた課題をこなす。

課題に対するフィードバックの方法

試験後、希望者に説明し、試験用紙を返却する。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

授業への取り組み方、テスト、宿題などの平常成績とテストなどの総合評価

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	授業中の会話練習、質問、小テストの成績など	1, 2
授業外での評価	10	予習、復習等	1, 2
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	レポートの完成度	1, 2
その他	20	口頭発表	1, 2

テキスト

中級中国語会話「新版トーク・トピックス」 沈国威・安力著 白帝社
ISBN978-4-89174-636-0
C3887 ¥2500

参考書	必要に応じて授業中に指示する。
履修条件・他の科目との関連	※ 「中国語Ⅲ」以上を履修した者が望ましい。 ※ 「中国Ⅴ」の同時履修が望ましい。

授業コード	13103701	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	ListeningⅢ [対面]				
シラバス執筆(全員)	J.D. ラッセル				
シラバス執筆(主)	J.D. ラッセル				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course, students will learn basic speaking and listening skills by communicating in real-life situations on a variety of topics. There will be opportunities for discussion and idea development, but the focus of the course will be on listening. Vocabulary and grammar related to the topics and how to express opinions on the topics will also be focused on. With practice, students will become comfortable dealing with difficult content and vocabulary that they have not learned yet.

到達目標

The objectives of this class are to

- (1) develop basic English communication skills for everyday situations and
- (2) enable students to speak about a variety of topics.
- (3) build vocabulary
- (4) build grammar

授業計画

- 【第1回】 Introductions, course explanation, Google Classroom registration
- 【第2回】 Unit 1: Families
- 【第3回】 Unit 1: Jobs (introduction)
- 【第4回】 Unit 1: Countries
- 【第5回】 Unit 2: Seasons & Weather
- 【第6回】 Unit 2: Colors
- 【第7回】 Unit 2: Travel
- 【第8回】 Review Test Units 1-2
- 【第9回】 Unit 3: Verbs & Time Expressions
- 【第10回】 Unit 3: Lifestyle
- 【第11回】 Unit 3: Education
- 【第12回】 Unit 4: Places
- 【第13回】 Unit 4: Giving Directions
- 【第14回】 Unit 4: Geography
- 【第15回】 Review Test Units 3-4, final project explanation

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

- ①事前学修課題: buy the textbook. Review the first unit.
- ②事後学修課題: Homework assignments and study for quiz

【第2回】 - 【第7回】

- ①事前学修課題: Review previous class content
- ②事後学修課題: Homework assignments and study for quiz

【第8回】

- ①事前学修課題: Review test Units 1-2
- ②事後学修課題: Homework assignments and study for quiz

【第9回】 - 【第14回】

- ①事前学修課題: Review previous class content
- ②事後学修課題: Homework assignments and study for quiz

【第15回】

- ①事前学修課題: Review test Units 3-4
- ②事後学修課題: Check grades on Google Classroom, Submit the final evaluation

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given during the semester and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

Active participation in class (10%)
 Vocabulary quizzes (10%),
 Semester evaluations (30%)
 Homework assignments (25%)
 Final evaluation exam (25%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Active participation in class (10%), vocabulary quizzes (10%) and semester evaluations (30%)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	25	Homework assignments (25%)	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	25	Final evaluation exam (25%)	1, 2, 3, 4
その他	0	none	

テキスト
 Unlock Level 1 Listening, Speaking & Critical Thinking Student's Book, Mob App and Online Workbook w/ Downloadable Audio and Video. N. M. White, Susan Peterson, Nancy Jordan, Chris Sowton, Cambridge University Press; 2nd edition (December 29, 2018), 9781009031455

参考書

履修条件・他の科目との関連

Attendance Policy & Notes:

- 1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes.
履修人数により、クラスが変わる場合があります。
- 2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class.
詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。
- 3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course.
授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。
- 4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence.
遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。
- 5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent.
90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。
- 6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities.
BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。

授業コード	13103702	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	ListeningⅢ [対面]				
シラバス執筆(全員)	S. J. カー				
シラバス執筆(主)	S. J. カー				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course, students will learn basic speaking and listening skills by communicating in real-life situations on a variety of topics. There will be opportunities for discussion and idea development, but the focus of the course will be on listening. Vocabulary and grammar related to the topics and how to express opinions on the topics will also be focused on. With practice, students will become comfortable dealing with difficult content and vocabulary that they have not learned yet.

到達目標

The objectives of this class are to

- (1) develop basic English communication skills for everyday situations and
- (2) enable students to speak about a variety of topics.
- (3) build vocabulary
- (4) build grammar

授業計画

- 【第1回】 Introductions, course explanation, Google Classroom registration
- 【第2回】 Unit 1: Families
- 【第3回】 Unit 1: Jobs (introduction)
- 【第4回】 Unit 1: Countries
- 【第5回】 Unit 2: Seasons & Weather
- 【第6回】 Unit 2: Colors
- 【第7回】 Unit 2: Travel
- 【第8回】 Review Test Units 1-2
- 【第9回】 Unit 3: Verbs & Time Expressions
- 【第10回】 Unit 3: Lifestyle
- 【第11回】 Unit 3: Education
- 【第12回】 Unit 4: Places
- 【第13回】 Unit 4: Giving Directions
- 【第14回】 Unit 4: Geography
- 【第15回】 Review Test Units 3-4, final project explanation

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

- ①事前学修課題: buy the textbook. Review the first unit.
- ②事後学修課題: Homework assignments and study for quiz

【第2回】 - 【第7回】

- ①事前学修課題: Review previous class content
- ②事後学修課題: Homework assignments and study for quiz

【第8回】

- ①事前学修課題: Review test Units 1-2
- ②事後学修課題: Homework assignments and study for quiz

【第9回】 - 【第14回】

- ①事前学修課題: Review previous class content
- ②事後学修課題: Homework assignments and study for quiz

【第15回】

- ①事前学修課題: Review test Units 3-4
- ②事後学修課題: Check grades on Google Classroom, Submit the final evaluation

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given during the semester and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

Active participation in class (10%)
 Vocabulary quizzes (10%),
 Semester evaluations (30%)
 Homework assignments (25%)
 Final evaluation exam (25%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Active participation in class (10%), vocabulary quizzes (10%) and semester evaluations (30%)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	25	Homework assignments (25%)	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	25	Final evaluation exam (25%)	1, 2, 3, 4
その他	0	none	

テキスト
 Unlock Level 1 Listening, Speaking & Critical Thinking Student's Book, Mob App and Online Workbook w/ Downloadable Audio and Video. N. M. White, Susan Peterson, Nancy Jordan, Chris Sowton, Cambridge University Press; 2nd edition (December 29, 2018), 9781009031455

参考書

履修条件・他の科目との関連

Attendance Policy & Notes:

- 1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。
- 2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。
- 3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。
- 4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。
- 5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。
- 6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。

授業コード	13103751	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	ListeningⅢ [対面]				
シラバス執筆(全員)	P. J. ベイリー				
シラバス執筆(主)	P. J. ベイリー				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course, students will listen to academic lectures on a variety of topics. There will be opportunities for discussion and idea development, but the focus of the course will be on listening and note-taking strategies. With practice, students will become comfortable dealing with difficult content and vocabulary that they have not learned yet. To help improve more quickly, short news clips and other native-level media will be introduced when possible.

到達目標

1. Complete the first six units of the textbook
2. Master intermediate note-taking strategies – comparison, topics/subtopics, keywords, lists, dates
3. Take notes on academic lectures about a variety of topics, and use them to answer questions
4. Extensive listening goal – minimum 13 hours per semester
5. Watch selected, short new stories, then write summaries and discussion questions for class

授業計画

[第1回]

テーマ: Course introduction, review extensive vs intensive listening, review listening strategies.

内容・方法: Practice several listening skills from previous course, practice extensive listening

[第2回]

テーマ: Unit 1: Psychology

内容・方法: Topic introduction, note-taking strategy, video lecture

[第3回]

テーマ: Unit 1: Psychology

内容・方法: Second listening, note completion, intensive listening practice/additional activities

[第4回]

テーマ: Unit 2: Linguistics

内容・方法: Topic introduction, note-taking strategy, video lecture

[第5回]

テーマ: Unit 2: Linguistics

内容・方法: Second listening, note completion, intensive listening practice/additional activities

[第6回]

テーマ: Unit 3: Public Health

内容・方法: Topic introduction, note-taking strategy, video lecture

[第7回]

テーマ: Unit 3: Public Health

内容・方法: Second listening, note completion, intensive listening practice/additional activities

[第8回]

テーマ: Mid-term Listening Quiz

内容・方法: Review session and quiz in class. Self-reflection. Introduce next topic.

[第9回]

テーマ: Unit 4: Business

内容・方法: Note-taking strategy, video lecture

[第10回]

テーマ: Unit 4: Business

内容・方法: Second listening, note completion, intensive listening practice/additional activities

[第11回]

テーマ: Unit 5: Art History

内容・方法: Topic introduction, note-taking strategy, video lecture

[第12回]

テーマ: Unit 5: Art History

内容・方法: Second listening, note completion, intensive listening practice/additional activities

[第13回]

テーマ: Unit 6: Engineering

内容・方法: Topic introduction, note-taking strategy, video lecture

[第14回]

テーマ: Unit 6: Engineering

内容・方法: Second listening, note completion, intensive listening practice/additional activities

[第15回]

テーマ: Final Listening Quiz

内容・方法: Review session and quiz in class. Self-reflection.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a one-credit (1単位) course, which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

[第1回]

- ①事前学修課題: Review note-taking skills from previous course.
- ②事後学修課題: Extensive listening homework

[第2回]

- ①事前学修課題: Review notes of extensive listening, preview the unit
- ②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第3回]

- ①事前学修課題: Listen to lecture again, review homework
- ②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第4回]

- ①事前学修課題: Review notes of extensive listening, preview the unit
- ②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第5回]

- ①事前学修課題: Listen to lecture again, review homework
- ②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第6回]

- ①事前学修課題: Review notes of extensive listening, preview the unit
- ②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第7回]

- ①事前学修課題: Listen to lecture again, review homework
- ②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第8回]

- ①事前学修課題: Review note-taking skills, review lecture videos, prepare for quiz
- ②事後学修課題: Complete self-reflection

[第9回]

- ①事前学修課題: Review notes of extensive listening, preview the unit
- ②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第10回]

- ①事前学修課題: Listen to lecture again, review homework
- ②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第11回]

- ①事前学修課題: Review notes of extensive listening, preview the unit
- ②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第12回]

- ①事前学修課題: Listen to lecture again, review homework
- ②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第13回]

- ①事前学修課題: Review notes of extensive listening, preview the unit
- ②事後学修課題: Complete homework, study for final quiz

[第14回]

- ①事前学修課題: Listen to lectures again, review homework
- ②事後学修課題: Review homework

[第15回]

- ①事前学修課題: Review vocabulary, test format, test taking strategies
- ②事後学修課題: Check grades on Google Classroom

課題に対するフィードバックの方法

Points will be given on assignments (sometimes through the use of rubrics), and comments will be given as much as possible. This information will be viewable to students on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Credit for this course will be awarded to students who achieve an overall score of 60% or greater in the following categories. If a student is absent more than four times or does not participate in the major projects and assignments of the course, a [K] will be awarded.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	65	Participation 10%, Classwork 40%, Midterm Quiz 15%	1, 2, 3, 5
授業外での評価	20	Extensive Listening Activities 20%	4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	15	Final Quiz 15%	1, 2

その他	0	
テキスト	Contemporary Topics 1, 978-0134400648	
参考書	None	
履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD – 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>	

授業コード	13103752	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	ListeningⅢ [対面]				
シラバス執筆(全員)	T. ピート				
シラバス執筆(主)	T. ピート				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course, students will listen to academic lectures on a variety of topics. There will be opportunities for discussion and idea development, but the focus of the course will be on listening and note-taking strategies. With practice, students will become comfortable dealing with difficult content and vocabulary that they have not learned yet. To help improve more quickly, short news clips and other native-level media will be introduced when possible.

到達目標

1. Complete the first six units of the textbook
2. Master intermediate note-taking strategies – comparison, topics/subtopics, keywords, lists, dates
3. Take notes on academic lectures about a variety of topics, and use them to answer questions
4. Extensive listening goal – minimum 13 hours per semester
5. Watch selected, short new stories, then write summaries and discussion questions for class

授業計画

- [第1回]
 テーマ: Course introduction, review extensive vs intensive listening, review listening strategies.
 内容・方法: Practice several listening skills from previous course, practice extensive listening
- [第2回]
 テーマ: Unit 1: Psychology
 内容・方法: Topic introduction, note-taking strategy, video lecture
- [第3回]
 テーマ: Unit 1: Psychology
 内容・方法: Second listening, note completion, intensive listening practice/additional activities
- [第4回]
 テーマ: Unit 2: Linguistics
 内容・方法: Topic introduction, note-taking strategy, video lecture
- [第5回]
 テーマ: Unit 2: Linguistics
 内容・方法: Second listening, note completion, intensive listening practice/additional activities
- [第6回]
 テーマ: Unit 3: Public Health
 内容・方法: Topic introduction, note-taking strategy, video lecture
- [第7回]
 テーマ: Unit 3: Public Health
 内容・方法: Second listening, note completion, intensive listening practice/additional activities
- [第8回]
 テーマ: Mid-term Listening Quiz
 内容・方法: Review session and quiz in class. Self-reflection. Introduce next topic.
- [第9回]
 テーマ: Unit 4: Business
 内容・方法: Note-taking strategy, video lecture
- [第10回]
 テーマ: Unit 4: Business
 内容・方法: Second listening, note completion, intensive listening practice/additional activities
- [第11回]
 テーマ: Unit 5: Art History
 内容・方法: Topic introduction, note-taking strategy, video lecture
- [第12回]
 テーマ: Unit 5: Art History
 内容・方法: Second listening, note completion, intensive listening practice/additional activities
- [第13回]
 テーマ: Unit 6: Engineering
 内容・方法: Topic introduction, note-taking strategy, video lecture
- [第14回]
 テーマ: Unit 6: Engineering
 内容・方法: Second listening, note completion, intensive listening practice/additional activities
- [第15回]
 テーマ: Final Listening Quiz
 内容・方法: Review session and quiz in class. Self-reflection.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a one-credit (1単位) course, which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

[第1回]

①事前学修課題: Review note-taking skills from previous course.

②事後学修課題: Extensive listening homework

[第2回]

①事前学修課題: Review notes of extensive listening, preview the unit

②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第3回]

①事前学修課題: Listen to lecture again, review homework

②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第4回]

①事前学修課題: Review notes of extensive listening, preview the unit

②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第5回]

①事前学修課題: Listen to lecture again, review homework

②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第6回]

①事前学修課題: Review notes of extensive listening, preview the unit

②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第7回]

①事前学修課題: Listen to lecture again, review homework

②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第8回]

①事前学修課題: Review note-taking skills, review lecture videos, prepare for quiz

②事後学修課題: Complete self-reflection

[第9回]

①事前学修課題: Review notes of extensive listening, preview the unit

②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第10回]

①事前学修課題: Listen to lecture again, review homework

②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第11回]

①事前学修課題: Review notes of extensive listening, preview the unit

②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第12回]

①事前学修課題: Listen to lecture again, review homework

②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第13回]

①事前学修課題: Review notes of extensive listening, preview the unit

②事後学修課題: Complete homework, study for final quiz

[第14回]

①事前学修課題: Listen to lectures again, review homework

②事後学修課題: Review homework

[第15回]

①事前学修課題: Review vocabulary, test format, test taking strategies

②事後学修課題: Check grades on Google Classroom

課題に対するフィードバックの方法

Points will be given on assignments (sometimes through the use of rubrics), and comments will be given as much as possible. This information will be viewable to students on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Credit for this course will be awarded to students who achieve an overall score of 60% or greater in the following categories. If a student is absent more than four times or does not participate in the major projects and assignments of the course, a [K] will be awarded.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	65	Participation 10%, Classwork 40%, Midterm Quiz 15%	1, 2, 3, 5
授業外での評価	20	Extensive Listening Activities 20%	4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	15	Final Quiz 15%	1, 2

その他	0	
テキスト	Contemporary Topics 1, 978-0134400648	
参考書	None	
履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD – 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>	

授業コード	13103801	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	ListeningIV [対面]				
シラバス執筆(全員)	J.D. ラッセル				
シラバス執筆(主)	J.D. ラッセル				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course, students will learn basic speaking and listening skills by communicating in real-life situations on a variety of topics. There will be opportunities for discussion and idea development, but the focus of the course will be on listening. Vocabulary and grammar related to the topics and how to express opinions on the topics will also be focused on. With practice, students will become comfortable dealing with difficult content and vocabulary that they have not learned yet.

到達目標

The objectives of this class are to

- (1) develop basic English communication skills for everyday situations and
- (2) enable students to speak about a variety of topics.
- (3) build vocabulary
- (4) build grammar

授業計画

- 【第1回】 Introductions, course explanation, Google Classroom registration, Review of Semester course
- 【第2回】 Unit 5: Jobs (details)
- 【第3回】 Unit 5: Comparing
- 【第4回】 Unit 5: Opinions I
- 【第5回】 Unit 6: Furniture
- 【第6回】 Unit 6: Opinions II
- 【第7回】 Unit 6: Prepositions
- 【第8回】 Review Test Units 5-6
- 【第9回】 Unit 7: Likes/Dislikes
- 【第10回】 Unit 7: Food
- 【第11回】 Unit 7: Numbers
- 【第12回】 Unit 8: Transportation
- 【第13回】 Unit 8: Urban Life
- 【第14回】 Unit 8: Problems & Solutions
- 【第15回】 Review Test Units 7-8, final project explanation

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

- ①事前学修課題: buy the textbook. Review the first unit
- ②事後学修課題: Homework assignments and study for quiz

【第2回】 - 【第7回】

- ①事前学修課題: Review previous class content
- ②事後学修課題: Homework assignments and study for quiz

【第8回】

- ①事前学修課題: Review test Units 5-6
- ②事後学修課題: Homework assignments and study for quiz

【第9回】 - 【第14回】

- ①事前学修課題: Review previous class content
- ②事後学修課題: Homework assignments and study for quiz

【第15回】

- ①事前学修課題: Review test Units 7-8
- ②事後学修課題: Check grades on Google Classroom, Submit the final evaluation

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given during the semester and before the final class.

3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

Active participation in class (10%)

Vocabulary quizzes (10%),

Semester evaluations (30%)

Homework assignments (25%)

Final evaluation exam (25%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Active participation in class (10%), vocabulary quizzes (10%) and semester evaluations (30%)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	25	Homework assignments (25%)	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	25	Final evaluation exam (25%)	1, 2, 3, 4
その他	0	none	

テキスト	Unlock Level 1 Listening, Speaking & Critical Thinking Student's Book, Mob App and Online Workbook w/ Downloadable Audio and Video. N. M. White, Susan Peterson, Nancy Jordan, Chris Sowton, Cambridge University Press; 2nd edition (December 29, 2018), 9781009031455
------	---

参考書	
-----	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13103802	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	ListeningIV [対面]				
シラバス執筆(全員)	S. J. カー				
シラバス執筆(主)	S. J. カー				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course, students will learn basic speaking and listening skills by communicating in real-life situations on a variety of topics. There will be opportunities for discussion and idea development, but the focus of the course will be on listening. Vocabulary and grammar related to the topics and how to express opinions on the topics will also be focused on. With practice, students will become comfortable dealing with difficult content and vocabulary that they have not learned yet.

到達目標

The objectives of this class are to

- (1) develop basic English communication skills for everyday situations and
- (2) enable students to speak about a variety of topics.
- (3) build vocabulary
- (4) build grammar

授業計画

- 【第1回】 Introductions, course explanation, Google Classroom registration, Review of Semester course
- 【第2回】 Unit 5: Jobs (details)
- 【第3回】 Unit 5: Comparing
- 【第4回】 Unit 5: Opinions I
- 【第5回】 Unit 6: Furniture
- 【第6回】 Unit 6: Opinions II
- 【第7回】 Unit 6: Prepositions
- 【第8回】 Review Test Units 5-6
- 【第9回】 Unit 7: Likes/Dislikes
- 【第10回】 Unit 7: Food
- 【第11回】 Unit 7: Numbers
- 【第12回】 Unit 8: Transportation
- 【第13回】 Unit 8: Urban Life
- 【第14回】 Unit 8: Problems & Solutions
- 【第15回】 Review Test Units 7-8, final project explanation

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

- 【第1回】
- ①事前学修課題: buy the textbook. Review the first unit
 - ②事後学修課題: Homework assignments and study for quiz

- 【第2回】 - 【第7回】
- ①事前学修課題: Review previous class content
 - ②事後学修課題: Homework assignments and study for quiz

- 【第8回】
- ①事前学修課題: Review test Units 5-6
 - ②事後学修課題: Homework assignments and study for quiz

- 【第9回】 - 【第14回】
- ①事前学修課題: Review previous class content
 - ②事後学修課題: Homework assignments and study for quiz

- 【第15回】
- ①事前学修課題: Review test Units 7-8
 - ②事後学修課題: Check grades on Google Classroom, Submit the final evaluation

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given during the semester and before the final class.

3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

Active participation in class (10%)

Vocabulary quizzes (10%),

Semester evaluations (30%)

Homework assignments (25%)

Final evaluation exam (25%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Active participation in class (10%), vocabulary quizzes (10%) and semester evaluations (30%)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	25	Homework assignments (25%)	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	25	Final evaluation exam (25%)	1, 2, 3, 4
その他	0	none	

テキスト	Unlock Level 1 Listening, Speaking & Critical Thinking Student's Book, Mob App and Online Workbook w/ Downloadable Audio and Video. N. M. White, Susan Peterson, Nancy Jordan, Chris Sowton, Cambridge University Press; 2nd edition (December 29, 2018), 9781009031455
------	---

参考書	
-----	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできるが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13103851	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	ListeningIV [対面]				
シラバス執筆(全員)	P. J. ベイリー				
シラバス執筆(主)	P. J. ベイリー				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course, students will continue to develop their ability to understand academic lectures. Each unit will provide new vocabulary, note-taking strategies, and discussion strategies. Additionally, students will be encouraged to develop extensive listening skills as well through casual exposure to English over longer periods of time.

到達目標

1. Complete the units 7-12 of the textbook
2. Master intermediate note-taking strategies - connecting ideas, questions, enumeration, symbols, graphic organizers
3. Take notes on academic lectures about a variety of topics, and use them to answer questions
4. Extensive listening goal - minimum 13 hours per semester
5. Watch selected, short new stories, then write summaries and discussion questions for class

授業計画

- [第1回]
 テーマ: Course introduction, review and practice previous listening strategies,
 内容・方法: Practice several listening skills from previous course, practice extensive listening
- [第2回]
 テーマ: Unit 7: Media Studies
 内容・方法: Topic introduction, note-taking strategy, video lecture
- [第3回]
 テーマ: Unit 7: Media Studies
 内容・方法: Second listening, note completion, intensive listening practice/additional activities
- [第4回]
 テーマ: Unit 8: Biology
 内容・方法: Topic introduction, note-taking strategy, video lecture
- [第5回]
 テーマ: Unit 8: Biology
 内容・方法: Second listening, note completion, intensive listening practice/additional activities
- [第6回]
 テーマ: Unit 9: Business
 内容・方法: Topic introduction, note-taking strategy, video lecture
- [第7回]
 テーマ: Unit 9: Business
 内容・方法: Second listening, note completion, intensive listening practice/additional activities
- [第8回]
 テーマ: Mid-term Listening Quiz
 内容・方法: Review session and quiz in class. Self-reflection. Introduce next topic.
- [第9回]
 テーマ: Unit 10: History
 内容・方法: Note-taking strategy, video lecture
- [第10回]
 テーマ: Unit 10: History
 内容・方法: Second listening, note completion, intensive listening practice/additional activities
- [第11回]
 テーマ: Unit 11: Philosophy
 内容・方法: Topic introduction, note-taking strategy, video lecture
- [第12回]
 テーマ: Unit 11: Philosophy
 内容・方法: Second listening, note completion, intensive listening practice/additional activities
- [第13回]
 テーマ: Unit 12: Information Technology
 内容・方法: Topic introduction, note-taking strategy, video lecture
- [第14回]
 テーマ: Unit 12: Information Technology
 内容・方法: Second listening, note completion, intensive listening practice/additional activities
- [第15回]
 テーマ: Final Listening Quiz
 内容・方法: Review session and quiz in class. Self-reflection.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a one-credit (1単位) course, which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

[第1回]

- ①事前学修課題: Review note-taking skills from previous course.
- ②事後学修課題: Extensive listening homework

[第2回]

- ①事前学修課題: Review notes of extensive listening, preview the unit
- ②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第3回]

- ①事前学修課題: Listen to lecture again, review homework
- ②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第4回]

- ①事前学修課題: Review notes of extensive listening, preview the unit
- ②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第5回]

- ①事前学修課題: Listen to lecture again, review homework
- ②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第6回]

- ①事前学修課題: Review notes of extensive listening, preview the unit
- ②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第7回]

- ①事前学修課題: Listen to lecture again, review homework
- ②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第8回]

- ①事前学修課題: Review note-taking skills, review lecture videos, prepare for quiz
- ②事後学修課題: Complete self-reflection

[第9回]

- ①事前学修課題: Review notes of extensive listening, preview the unit
- ②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第10回]

- ①事前学修課題: Listen to lecture again, review homework
- ②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第11回]

- ①事前学修課題: Review notes of extensive listening, preview the unit
- ②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第12回]

- ①事前学修課題: Listen to lecture again, review homework
- ②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第13回]

- ①事前学修課題: Review notes of extensive listening, preview the unit
- ②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第14回]

- ①事前学修課題: Listen to lecture again, review homework
- ②事後学修課題: Review course vocabulary

[第15回]

- ①事前学修課題: Review vocabulary, test format, test taking strategies
- ②事後学修課題: Check grades on Google Classroom

課題に対するフィードバックの方法

Points will be given on assignments (sometimes through the use of rubrics), and comments will be given as much as possible. This information will be viewable to students on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Credit for this course will be awarded to students who achieve an overall score of 60% or greater in the following categories. If a student is absent more than four times or does not participate in the major projects and assignments of the course, a [K] will be awarded.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	65	Participation 10%, Classwork 40%, Midterm Quiz 15%	1, 2, 3, 5
授業外での評価	20	Extensive listening 20%	4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	15	Final Quiz 15%	2, 3

その他	0	
テキスト	Contemporary Topics 1, 978-0134400648	
参考書	None	
履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD – 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>	

授業コード	13103852	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	ListeningIV [対面]				
シラバス執筆(全員)	T. ピート				
シラバス執筆(主)	T. ピート				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course, students will continue to develop their ability to understand academic lectures. Each unit will provide new vocabulary, note-taking strategies, and discussion strategies. Additionally, students will be encouraged to develop extensive listening skills as well through casual exposure to English over longer periods of time.

到達目標

1. Complete the units 7-12 of the textbook
2. Master intermediate note-taking strategies - connecting ideas, questions, enumeration, symbols, graphic organizers
3. Take notes on academic lectures about a variety of topics, and use them to answer questions
4. Extensive listening goal - minimum 13 hours per semester
5. Watch selected, short new stories, then write summaries and discussion questions for class

授業計画

- [第1回]
 テーマ: Course introduction, review and practice previous listening strategies,
 内容・方法: Practice several listening skills from previous course, practice extensive listening
- [第2回]
 テーマ: Unit 7: Media Studies
 内容・方法: Topic introduction, note-taking strategy, video lecture
- [第3回]
 テーマ: Unit 7: Media Studies
 内容・方法: Second listening, note completion, intensive listening practice/additional activities
- [第4回]
 テーマ: Unit 8: Biology
 内容・方法: Topic introduction, note-taking strategy, video lecture
- [第5回]
 テーマ: Unit 8: Biology
 内容・方法: Second listening, note completion, intensive listening practice/additional activities
- [第6回]
 テーマ: Unit 9: Business
 内容・方法: Topic introduction, note-taking strategy, video lecture
- [第7回]
 テーマ: Unit 9: Business
 内容・方法: Second listening, note completion, intensive listening practice/additional activities
- [第8回]
 テーマ: Mid-term Listening Quiz
 内容・方法: Review session and quiz in class. Self-reflection. Introduce next topic.
- [第9回]
 テーマ: Unit 10: History
 内容・方法: Note-taking strategy, video lecture
- [第10回]
 テーマ: Unit 10: History
 内容・方法: Second listening, note completion, intensive listening practice/additional activities
- [第11回]
 テーマ: Unit 11: Philosophy
 内容・方法: Topic introduction, note-taking strategy, video lecture
- [第12回]
 テーマ: Unit 11: Philosophy
 内容・方法: Second listening, note completion, intensive listening practice/additional activities
- [第13回]
 テーマ: Unit 12: Information Technology
 内容・方法: Topic introduction, note-taking strategy, video lecture
- [第14回]
 テーマ: Unit 12: Information Technology
 内容・方法: Second listening, note completion, intensive listening practice/additional activities
- [第15回]
 テーマ: Final Listening Quiz
 内容・方法: Review session and quiz in class. Self-reflection.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a one-credit (1単位) course, which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

[第1回]

- ①事前学修課題: Review note-taking skills from previous course.
- ②事後学修課題: Extensive listening homework

[第2回]

- ①事前学修課題: Review notes of extensive listening, preview the unit
- ②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第3回]

- ①事前学修課題: Listen to lecture again, review homework
- ②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第4回]

- ①事前学修課題: Review notes of extensive listening, preview the unit
- ②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第5回]

- ①事前学修課題: Listen to lecture again, review homework
- ②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第6回]

- ①事前学修課題: Review notes of extensive listening, preview the unit
- ②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第7回]

- ①事前学修課題: Listen to lecture again, review homework
- ②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第8回]

- ①事前学修課題: Review note-taking skills, review lecture videos, prepare for quiz
- ②事後学修課題: Complete self-reflection

[第9回]

- ①事前学修課題: Review notes of extensive listening, preview the unit
- ②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第10回]

- ①事前学修課題: Listen to lecture again, review homework
- ②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第11回]

- ①事前学修課題: Review notes of extensive listening, preview the unit
- ②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第12回]

- ①事前学修課題: Listen to lecture again, review homework
- ②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第13回]

- ①事前学修課題: Review notes of extensive listening, preview the unit
- ②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第14回]

- ①事前学修課題: Listen to lecture again, review homework
- ②事後学修課題: Review course vocabulary

[第15回]

- ①事前学修課題: Review vocabulary, test format, test taking strategies
- ②事後学修課題: Check grades on Google Classroom

課題に対するフィードバックの方法

Points will be given on assignments (sometimes through the use of rubrics), and comments will be given as much as possible. This information will be viewable to students on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Credit for this course will be awarded to students who achieve an overall score of 60% or greater in the following categories. If a student is absent more than four times or does not participate in the major projects and assignments of the course, a [K] will be awarded.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	65	Participation 10%, Classwork 40%, Midterm Quiz 15%	1, 2, 3, 5
授業外での評価	20	Extensive listening 20%	4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	15	Final Quiz 15%	2, 3

その他	0	
テキスト	Contemporary Topics 1, 978-0134400648	
参考書	None	
履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD – 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>	

授業コード	13104101	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	ReadingⅢ [対面]				
シラバス執筆(全員)	J.D. ラッセル				
シラバス執筆(主)	J.D. ラッセル				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

While Reading I & II focused on learning a variety of skills that support reading comprehension, Reading III and IV focus on instruction in speed-reading to help students build reading fluency. During instruction using the speed-reading text, students will practice reading quickly and silently for general understanding, as well as reading aloud with proper pronunciation at a good pace. As in Reading I & II, students must read and take quizzes on easy books (graded readers) using Moodle Extensive Reading Program. Students should aim to read at least 30,000 words per semester.

Skill building activities will progressively push students to internalize core sub-skills of reading, including:

- Predicting content from titles and pictures
- Skimming for gist
- Scanning a passage to quickly identify key information such as dates, names, locations, etc.
- Monitoring comprehension: Guessing and checking word meaning, answering comprehension questions to evaluate comprehension
- Taking margin notes to identify main ideas, supporting ideas, and examples
- Summarizing a passage orally and in writing
- Relating reading to personal experience with expansion questions and discussion

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Increase reading speed and fluency through speed reading training
2. Develop core reading skills such as skimming, scanning, taking notes, and summarizing
3. Read for pleasure; read at least 30,000 words over the course of the semester.
4. Improve vocabulary necessary to support fluent reading

授業計画

【第1回】

テーマ: Course introduction: Syllabus explanation, components of course: Speed Reading, Reading skills, Moodle Extensive Reading Program

内容・方法: Learning how to do the speed reading and how to record and calculate your reading speed. Speed Reading #1 (#2 is for HW)

【第2回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: Speed Reading #3. Reading Skills: Identifying main idea (paragraph-level). In-class Moodle Reading.

【第3回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: Speed Reading #5. Reading Skills: Identifying main idea (paragraph-level). In-class Moodle Reading.

【第4回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: Speed Reading #7. Reading Skills: Identifying main idea (paragraph-level). In-class Moodle Reading.

【第5回】

テーマ: In-class Evaluation

内容・方法: Reading/Vocabulary Evaluation. In-class Moodle Reading & Quizzes (check that students understand how to take quizzes)

【第6回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: Speed Reading #9. Reading Skills: Scanning. Extra practice with easy news website.

【第7回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: Speed Reading #11. Reading Skills: Scanning. Extra practice with easy news website.

【第8回】

テーマ: Mid-semester reflection and grade check

内容・方法: Speed Reading #13. Reading Skills: notetaking & summary. Reading skills reflection sheet and evaluate progress. Moodle wordcount self-check.

【第9回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: Speed Reading #15. Reading Skills: notetaking & summary.

【第10回】

テーマ：In-class Evaluation

内容・方法：Reading/Vocabulary Evaluation. In-class Moodle Reading & wordcount check.

【第11回】

テーマ：Reading skills training

内容・方法：Speed Reading #17. Reading Skills: identifying reasons & examples. Extra practice with easy news website.

【第12回】

テーマ：Reading skills training

内容・方法：Speed Reading #19. Reading Skills: identifying reasons & examples. Extra practice with easy news website.

【第13回】

テーマ：Reading skills review

内容・方法：Review of Reading Skills (previously studied chapters).

【第14回】

テーマ：Semester final reflection and grade check

内容・方法：Review of Reading Skills (previously studied chapters). Reading skills reflection sheet and evaluate progress. Moodle wordcount self-check.

【第15回】

テーマ：In-class Evaluation / Reading skills review

内容・方法：Final Evaluation & Review of semester

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a 1-credit (1単位) course, which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題：Look at textbook and syllabus.

事後学修課題：Moodle Extensive Reading

【第2回】 -

事前学修課題：Speed Reading HW #2 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題：Moodle Extensive Reading

【第3回】

事前学修課題：Speed Reading HW #4 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題：Moodle Extensive Reading

【第4回】

事前学修課題：Speed Reading HW #6 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題：Moodle Extensive Reading

【第5回】

事前学修課題：Review vocabulary of chapters, prepare for evaluation (summary/main ideas)

事後学修課題：Moodle Extensive Reading

【第6回】

事前学修課題：Speed Reading HW #8 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題：Moodle Extensive Reading

【第7回】

事前学修課題：Speed Reading HW #10 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題：Moodle Extensive Reading

【第8回】

事前学修課題：Speed Reading HW #12 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題：Moodle Extensive Reading

【第9回】

事前学修課題：Speed Reading HW #14 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題：Moodle Extensive Reading

【第10回】

事前学修課題：Review vocabulary of chapters, prepare for evaluation (notetaking & summary)

事後学修課題：Moodle Extensive Reading

【第11回】

事前学修課題：Speed Reading HW #16 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題：Moodle Extensive Reading

【第12回】

事前学修課題：Speed Reading HW #18 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題：Moodle Extensive Reading

【第13回】

事前学修課題：Speed Reading HW #20 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題：Moodle Extensive Reading

【第14回】

事前学修課題：Review skills

事後学修課題：Moodle Extensive Reading

【第15回】

事前学修課題：Prepare for evaluation

事後学修課題：Final reflection report

課題に対するフィードバックの方法

Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom. Overall course progress and feedback will be given at mid-term and before the final class. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed as homework, graded reader reading assignments, and midterm and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse will be given a “K” (failing mark).

Grade breakdown:

1. Active participation (10%)
2. Homework assignments (20%)
3. Moodle Reading (20%)
4. In-class Evaluations (30%)
5. Final evaluation report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	40	Active participation in class (10) In-class Evaluations (30)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	40	Moodle Extensive Reading (20), Homework assignments (20)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final evaluation report (20)	2, 3
その他	0		

テキスト	Reading for Speed and Fluency Book 4, 2nd edition, Paul Nation, Marcos Benevides, James Broadbridge, Joseph Siegel, Compass Publishing, 2018. 978-1-64015-070-6
------	---

参考書	Introduced by the instructor as necessary. Some resources for practice with simplified news articles include: https://www.newslevels.com/ https://breakingnewsenglish.com/
-----	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできるが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD – 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13104102	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	ReadingⅢ [対面]				
シラバス執筆(全員)	S. J. カー				
シラバス執筆(主)	S. J. カー				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

While Reading I & II focused on learning a variety of skills that support reading comprehension, Reading III and IV focus on instruction in speed-reading to help students build reading fluency. During instruction using the speed-reading text, students will practice reading quickly and silently for general understanding, as well as reading aloud with proper pronunciation at a good pace. As in Reading I & II, students must read and take quizzes on easy books (graded readers) using Moodle Extensive Reading Program. Students should aim to read at least 30,000 words per semester.

Skill building activities will progressively push students to internalize core sub-skills of reading, including:

- Predicting content from titles and pictures
- Skimming for gist
- Scanning a passage to quickly identify key information such as dates, names, locations, etc.
- Monitoring comprehension: Guessing and checking word meaning, answering comprehension questions to evaluate comprehension
- Taking margin notes to identify main ideas, supporting ideas, and examples
- Summarizing a passage orally and in writing
- Relating reading to personal experience with expansion questions and discussion

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Increase reading speed and fluency through speed reading training
2. Develop core reading skills such as skimming, scanning, taking notes, and summarizing
3. Read for pleasure; read at least 30,000 words over the course of the semester.
4. Improve vocabulary necessary to support fluent reading

授業計画

【第1回】

テーマ: Course introduction: Syllabus explanation, components of course: Speed Reading, Reading skills, Moodle Extensive Reading Program

内容・方法: Learning how to do the speed reading and how to record and calculate your reading speed. Speed Reading #1 (#2 is for HW)

【第2回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: Speed Reading #3. Reading Skills: Identifying main idea (paragraph-level). In-class Moodle Reading.

【第3回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: Speed Reading #5. Reading Skills: Identifying main idea (paragraph-level). In-class Moodle Reading.

【第4回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: Speed Reading #7. Reading Skills: Identifying main idea (paragraph-level). In-class Moodle Reading.

【第5回】

テーマ: In-class Evaluation

内容・方法: Reading/Vocabulary Evaluation. In-class Moodle Reading & Quizzes (check that students understand how to take quizzes)

【第6回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: Speed Reading #9. Reading Skills: Scanning. Extra practice with easy news website.

【第7回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: Speed Reading #11. Reading Skills: Scanning. Extra practice with easy news website.

【第8回】

テーマ: Mid-semester reflection and grade check

内容・方法: Speed Reading #13. Reading Skills: notetaking & summary. Reading skills reflection sheet and evaluate progress. Moodle wordcount self-check.

【第9回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: Speed Reading #15. Reading Skills: notetaking & summary.

【第10回】

テーマ : In-class Evaluation

内容・方法 : Reading/Vocabulary Evaluation. In-class Moodle Reading & wordcount check.

【第11回】

テーマ : Reading skills training

内容・方法 : Speed Reading #17. Reading Skills: identifying reasons & examples. Extra practice with easy news website.

【第12回】

テーマ : Reading skills training

内容・方法 : Speed Reading #19. Reading Skills: identifying reasons & examples. Extra practice with easy news website.

【第13回】

テーマ : Reading skills review

内容・方法 : Review of Reading Skills (previously studied chapters).

【第14回】

テーマ : Semester final reflection and grade check

内容・方法 : Review of Reading Skills (previously studied chapters). Reading skills reflection sheet and evaluate progress. Moodle wordcount self-check.

【第15回】

テーマ : In-class Evaluation / Reading skills review

内容・方法 : Final Evaluation & Review of semester

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a 1-credit (1単位) course, which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題 : Look at textbook and syllabus.

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第2回】 -

事前学修課題 : Speed Reading HW #2 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第3回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #4 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第4回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #6 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第5回】

事前学修課題 : Review vocabulary of chapters, prepare for evaluation (summary/main ideas)

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第6回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #8 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第7回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #10 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第8回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #12 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第9回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #14 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第10回】

事前学修課題 : Review vocabulary of chapters, prepare for evaluation (notetaking & summary)

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第11回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #16 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第12回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #18 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第13回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #20 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第14回】

事前学修課題 : Review skills

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第15回】

事前学修課題 : Prepare for evaluation

事後学修課題 : Final reflection report

課題に対するフィードバックの方法

Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom. Overall course progress and feedback will be given at mid-term and before the final class. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed as homework, graded reader reading assignments, and midterm and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse will be given a “K” (failing mark).

Grade breakdown:

1. Active participation (10%)
2. Homework assignments (20%)
3. Moodle Reading (20%)
4. In-class Evaluations (30%)
5. Final evaluation report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	40	Active participation in class (10) In-class Evaluations (30)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	40	Moodle Extensive Reading (20), Homework assignments (20)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final evaluation report (20)	2, 3
その他	0		

テキスト	Reading for Speed and Fluency Book 4, 2nd edition, Paul Nation, Marcos Benevides, James Broadbridge, Joseph Siegel, Compass Publishing, 2018. 978-1-64015-070-6
------	---

参考書	Introduced by the instructor as necessary. Some resources for practice with simplified news articles include: https://www.newslevels.com/ https://breakingnewsenglish.com/
-----	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。 2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。 3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。 4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。 5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできるが、欠席扱いとなります。 6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD – 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。
---------------	---

授業コード	13104151	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	ReadingⅢ [対面]				
シラバス執筆(全員)	S. ハティング				
シラバス執筆(主)	S. ハティング				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This is the main reading course for the second year of IEP. By building on reading skills learned in previous classes, students will learn how to approach academic readings on a variety of topics. There will be activities to help students improve on reading comprehension, reading quickly, and to develop strategies to help them take better notes, handle difficult words, and review quickly. Lastly, students will be able to test their new abilities on several TOEIC reading sections.

到達目標

1. Complete 50,000 of extensive reading (Moodle reader)
2. Complete the first four units of the textbook (fifth optional)
3. Use reading comprehension strategies: finding the gist, skimming, scanning, and reading for keywords, note-taking
4. Learn to read longer passages
5. Remember and use vocabulary associated with textbook units

授業計画

[第1回]

テーマ: Course Introduction, Moodle reader, and Reading Skill Review

内容・方法: Moodle reader Explanation, Textbook introductions, Task to assess reading ability, Skill review

[第2回]

テーマ: Chapter 1

内容・方法: Health Sciences, Moodle reader discussion, vocabulary

[第3回]

テーマ: Chapter 1

内容・方法: Health Sciences, Moodle reader discussion, note-taking skill

[第4回]

テーマ: Chapter 1

内容・方法: Health Sciences, Moodle reader discussion, critical thinking and idea development

[第5回]

テーマ: Chapter 2

内容・方法: Psychology, Moodle reader discussion, vocabulary

[第6回]

テーマ: Chapter 2

内容・方法: Psychology, Moodle reader discussion, note-taking skill

[第7回]

テーマ: Chapter 2

内容・方法: Psychology, Moodle reader discussion, critical thinking and idea development

[第8回]

テーマ: Mid-term Quiz based on reading skills and content from the first half of the semester, Moodle reader Check

内容・方法: Review and quiz will be conducted in class

[第9回]

テーマ: Chapter 3

内容・方法: Linguistics, Moodle reader discussion, vocabulary

[第10回]

テーマ: Chapter 3

内容・方法: Linguistics, Moodle reader discussion, note-taking skill

[第11回]

テーマ: Chapter 3

内容・方法: Linguistics, Moodle reader discussion, critical thinking and idea development

[第12回]

テーマ: Chapter 4

内容・方法: Animal Behavior, Moodle reader discussion, vocabulary

[第13回]

テーマ: Chapter 4

内容・方法: Animal Behavior, Moodle reader discussion, note-taking skill

[第14回]

テーマ: Chapter 4

内容・方法: Animal Behavior, Moodle reader discussion, critical thinking and idea development

[第15回]

テーマ: Final Quiz based on reading skills and content from the second half of the semester, Moodle

reader Deadline

内容・方法 : Reading skill review, Quiz will be conducted in class

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a one-credit (1単位) course, which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

[第1回]

①事前学修課題 : Review notes on reading skills from last year

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第2回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第3回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第4回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第5回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第6回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第7回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第8回]

①事前学修課題 : Review content and reading strategies

②事後学修課題 : Complete self-assessment, Moodle reader

[第9回]

①事前学修課題 : Review reading skills in the course thus far, preview the topic.

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第10回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第11回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第12回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第13回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第14回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第15回]

①事前学修課題 : Review content and reading strategies

②事後学修課題 : Complete self-assessment, Must complete reading goal Moodle reader by this class

課題に対するフィードバックの方法

Points will be given on assignments (sometimes through the use of rubrics), and comments will given as much as possible. This information will be viewable to students on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Credit for this course will be awarded to students who achieve an overall score of 60% or greater in the following categories. If a student is absent more than four times or does not participate in the major projects and assignments of the course, a [K] will be awarded.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	Class participation 10%, Midterm Quiz 10%, Class Assignments 40%	2, 3, 4

授業外での評価	30	Moodle Reader 20%, Vocabulary 10%	1, 5
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10	Final Quiz 10%	3, 4
その他	0		

テキスト	Longman Academic Reading Series 1, 9780134663395
------	--

参考書	None
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	---

授業コード	13104152	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	ReadingⅢ [対面]				
シラバス執筆(全員)	P.L. ストリックランド				
シラバス執筆(主)	P.L. ストリックランド				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This is the main reading course for the second year of IEP. By building on reading skills learned in previous classes, students will learn how to approach academic readings on a variety of topics. There will be activities to help students improve on reading comprehension, reading quickly, and to develop strategies to help them take better notes, handle difficult words, and review quickly. Lastly, students will be able to test their new abilities on several TOEIC reading sections.

到達目標

1. Complete 50,000 of extensive reading (Moodle reader)
2. Complete the first four units of the textbook (fifth optional)
3. Use reading comprehension strategies: finding the gist, skimming, scanning, and reading for keywords, note-taking
4. Learn to read longer passages
5. Remember and use vocabulary associated with textbook units

授業計画

- [第1回]
 テーマ: Course Introduction, Moodle reader, and Reading Skill Review
 内容・方法: Moodle reader Explanation, Textbook introductions, Task to assess reading ability, Skill review
- [第2回]
 テーマ: Chapter 1
 内容・方法: Health Sciences, Moodle reader discussion, vocabulary
- [第3回]
 テーマ: Chapter 1
 内容・方法: Health Sciences, Moodle reader discussion, note-taking skill
- [第4回]
 テーマ: Chapter 1
 内容・方法: Health Sciences, Moodle reader discussion, critical thinking and idea development
- [第5回]
 テーマ: Chapter 2
 内容・方法: Psychology, Moodle reader discussion, vocabulary
- [第6回]
 テーマ: Chapter 2
 内容・方法: Psychology, Moodle reader discussion, note-taking skill
- [第7回]
 テーマ: Chapter 2
 内容・方法: Psychology, Moodle reader discussion, critical thinking and idea development
- [第8回]
 テーマ: Mid-term Quiz based on reading skills and content from the first half of the semester, Moodle reader Check
 内容・方法: Review and quiz will be conducted in class
- [第9回]
 テーマ: Chapter 3
 内容・方法: Linguistics, Moodle reader discussion, vocabulary
- [第10回]
 テーマ: Chapter 3
 内容・方法: Linguistics, Moodle reader discussion, note-taking skill
- [第11回]
 テーマ: Chapter 3
 内容・方法: Linguistics, Moodle reader discussion, critical thinking and idea development
- [第12回]
 テーマ: Chapter 4
 内容・方法: Animal Behavior, Moodle reader discussion, vocabulary
- [第13回]
 テーマ: Chapter 4
 内容・方法: Animal Behavior, Moodle reader discussion, note-taking skill
- [第14回]
 テーマ: Chapter 4
 内容・方法: Animal Behavior, Moodle reader discussion, critical thinking and idea development
- [第15回]
 テーマ: Final Quiz based on reading skills and content from the second half of the semester, Moodle

reader Deadline

内容・方法 : Reading skill review, Quiz will be conducted in class

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a one-credit (1単位) course, which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

[第1回]

①事前学修課題 : Review notes on reading skills from last year

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第2回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第3回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第4回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第5回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第6回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第7回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第8回]

①事前学修課題 : Review content and reading strategies

②事後学修課題 : Complete self-assessment, Moodle reader

[第9回]

①事前学修課題 : Review reading skills in the course thus far, preview the topic.

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第10回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第11回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第12回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第13回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第14回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第15回]

①事前学修課題 : Review content and reading strategies

②事後学修課題 : Complete self-assessment, Must complete reading goal Moodle reader by this class

課題に対するフィードバックの方法

Points will be given on assignments (sometimes through the use of rubrics), and comments will given as much as possible. This information will be viewable to students on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Credit for this course will be awarded to students who achieve an overall score of 60% or greater in the following categories. If a student is absent more than four times or does not participate in the major projects and assignments of the course, a [K] will be awarded.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	Class participation 10%, Midterm Quiz 10%, Class Assignments 40%	2, 3, 4

授業外での評価	30	Moodle Reader 20%, Vocabulary 10%	1, 5
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10	Final Quiz 10%	3, 4
その他	0		

テキスト	Longman Academic Reading Series 1, 9780134663395
------	--

参考書	None
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	---

授業コード	13104201	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	ReadingIV [対面]				
シラバス執筆(全員)	J.D. ラッセル				
シラバス執筆(主)	J.D. ラッセル				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

While Reading I & II focused on learning a variety of skills that support reading comprehension, Reading III and IV focus on instruction in speed-reading to help students build reading fluency. During instruction using the speed-reading text, students will practice reading quickly and silently for general understanding, as well as reading aloud with proper pronunciation at a good pace. As in Reading I & II, students must read and take quizzes on easy books (graded readers) using Moodle Extensive Reading Program. Students should aim to read at least 30,000 words per semester.

Skill building activities will progressively push students to internalize core sub-skills of reading, including:

- Predicting content from titles and pictures
- Skimming for gist
- Scanning a passage to quickly identify key information such as dates, names, locations, etc.
- Monitoring comprehension: Guessing and checking word meaning, answering comprehension questions to evaluate comprehension
- Taking margin notes to identify main ideas, supporting ideas, and examples
- Summarizing a passage orally and in writing
- Relating reading to personal experience with expansion questions and discussion

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Increase reading speed and fluency through speed reading training
2. Develop core reading skills such as skimming, scanning, taking notes, and summarizing
3. Read for pleasure; read at least 30,000 words over the course of the semester.
4. Improve vocabulary necessary to support fluent reading

授業計画

- 【第1回】
 テーマ: Course introduction: Syllabus explanation, components of course: Speed Reading, Reading skills, Moodle Extensive Reading Program.
 内容・方法: Reviewing how to do the speed reading. Speed Reading #21 (#22 for HW)
- 【第2回】
 テーマ: Reading skills training
 内容・方法: Speed Reading #23. Reading Skills: Margin notes & summary.
- 【第3回】
 テーマ: Reading skills training
 内容・方法: Speed Reading #25. Reading Skills: Margin notes & summary. Practice Skills with easy News articles.
- 【第4回】
 テーマ: Reading skills training
 内容・方法: Speed Reading #27 in class. Reading Skills: Margin notes & summary. Practice Skills with easy News articles.
- 【第5回】
 テーマ: Evaluation
 内容・方法: Speed Reading & Vocabulary Evaluation. Moodle Extensive Reading & Quizzes in class.
- 【第6回】
 テーマ: Reading skills training
 内容・方法: Speed Reading #29. Reading Skills: Skimming for main idea. Practice Skills with easy News articles.
- 【第7回】
 テーマ: Reading skills training
 内容・方法: Speed Reading #31. Reading Skills: Scanning for answers
- 【第8回】
 テーマ: Mid-semester grade check and reflection
 内容・方法: Speed Reading #33. Reading Skills: Skimming for main idea. Review grades and complete reflection on course goals. Check Moodle Quiz word counts.
- 【第9回】
 テーマ: Reading skills training
 内容・方法: Speed Reading #35. Reading Skills: Scanning for answers
- 【第10回】
 テーマ: Evaluation

内容・方法 : Speed Reading & Vocabulary Evaluation: Margin notes & summary. Moodle Extensive Reading & Quizzes in class.

【第11回】

テーマ : Reading skills training

内容・方法 : Speed Reading #37. Reading Skills: identifying details. Practice Skills with easy News articles.

【第12回】

テーマ : Reading skills training

内容・方法 : Speed Reading #39 in class. Reading Skills: identifying details. Practice Skills with easy News articles.

【第13回】

テーマ : Reading skills review

内容・方法 : Review of all Reading Skills w/ review passages

【第14回】

テーマ : Final grade check and reflection

内容・方法 : Vocabulary and reading skills training review. Review grades and complete reflection on course goals.

【第15回】

テーマ : Reading skills review evaluation

内容・方法 : Speed Reading & Vocabulary Evaluation: Margin notes & summary. Moodle Extensive Reading & Quizzes in class.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a 1-credit (1単位) course, which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題 : None

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第2回】 -

事前学修課題 : Speed Reading HW #22 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第2回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #24 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第4回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #26 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第5回】

事前学修課題 : Review chapters, prepare for evaluation

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第6回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #28 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第7回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #30 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第8回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #32 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第9回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #34 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第10回】

事前学修課題 : Prepare for evaluation (TOEIC practice)

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第11回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #36 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第12回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #38 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第13回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #40 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第14回】

事前学修課題 : Review reading passages and vocabulary

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第15回】

事前学修課題 : Review reading passages and vocabulary

事後学修課題 : Final reflection report

課題に対するフィードバックの方法

Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom. Overall course progress and feedback will be given at mid-term and before the final class. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed as homework, graded reader reading assignments, and midterm and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse will be given a “K” (failing mark).

Grade breakdown:

1. Active participation (10%)
2. Homework assignments (20%)
3. Moodle Reading (20%)
4. In-class Evaluations (30%)
5. Final evaluation report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	40	Active participation in class (10) In-class Evaluations (30)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	40	Moodle Extensive Reading (20), Homework assignments (20)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final evaluation report (20)	2, 3
その他	0		

テキスト	Reading for Speed and Fluency Book 4, 2nd edition, Paul Nation, Marcos Benevides, James Broadbridge, Joseph Siegel, Compass Publishing, 2018. 978-1-64015-070-6
------	---

参考書	Introduced by the instructor as necessary. Some resources for practice with simplified news articles include: https://www.newslevels.com/ https://breakingnewsenglish.com/
-----	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできるが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13104202	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	ReadingIV [対面]				
シラバス執筆(全員)	S. J. カー				
シラバス執筆(主)	S. J. カー				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

While Reading I & II focused on learning a variety of skills that support reading comprehension, Reading III and IV focus on instruction in speed-reading to help students build reading fluency. During instruction using the speed-reading text, students will practice reading quickly and silently for general understanding, as well as reading aloud with proper pronunciation at a good pace. As in Reading I & II, students must read and take quizzes on easy books (graded readers) using Moodle Extensive Reading Program. Students should aim to read at least 30,000 words per semester.

Skill building activities will progressively push students to internalize core sub-skills of reading, including:

- Predicting content from titles and pictures
- Skimming for gist
- Scanning a passage to quickly identify key information such as dates, names, locations, etc.
- Monitoring comprehension: Guessing and checking word meaning, answering comprehension questions to evaluate comprehension
- Taking margin notes to identify main ideas, supporting ideas, and examples
- Summarizing a passage orally and in writing
- Relating reading to personal experience with expansion questions and discussion

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Increase reading speed and fluency through speed reading training
2. Develop core reading skills such as skimming, scanning, taking notes, and summarizing
3. Read for pleasure; read at least 30,000 words over the course of the semester.
4. Improve vocabulary necessary to support fluent reading

授業計画

- 【第1回】
 テーマ: Course introduction: Syllabus explanation, components of course: Speed Reading, Reading skills, Moodle Extensive Reading Program.
 内容・方法: Reviewing how to do the speed reading. Speed Reading #21 (#22 for HW)
- 【第2回】
 テーマ: Reading skills training
 内容・方法: Speed Reading #23. Reading Skills: Margin notes & summary.
- 【第3回】
 テーマ: Reading skills training
 内容・方法: Speed Reading #25. Reading Skills: Margin notes & summary. Practice Skills with easy News articles.
- 【第4回】
 テーマ: Reading skills training
 内容・方法: Speed Reading #27 in class. Reading Skills: Margin notes & summary. Practice Skills with easy News articles.
- 【第5回】
 テーマ: Evaluation
 内容・方法: Speed Reading & Vocabulary Evaluation. Moodle Extensive Reading & Quizzes in class.
- 【第6回】
 テーマ: Reading skills training
 内容・方法: Speed Reading #29. Reading Skills: Skimming for main idea. Practice Skills with easy News articles.
- 【第7回】
 テーマ: Reading skills training
 内容・方法: Speed Reading #31. Reading Skills: Scanning for answers
- 【第8回】
 テーマ: Mid-semester grade check and reflection
 内容・方法: Speed Reading #33. Reading Skills: Skimming for main idea. Review grades and complete reflection on course goals. Check Moodle Quiz word counts.
- 【第9回】
 テーマ: Reading skills training
 内容・方法: Speed Reading #35. Reading Skills: Scanning for answers
- 【第10回】
 テーマ: Evaluation

内容・方法 : Speed Reading & Vocabulary Evaluation: Margin notes & summary. Moodle Extensive Reading & Quizzes in class.

【第11回】

テーマ : Reading skills training

内容・方法 : Speed Reading #37. Reading Skills: identifying details. Practice Skills with easy News articles.

【第12回】

テーマ : Reading skills training

内容・方法 : Speed Reading #39 in class. Reading Skills: identifying details. Practice Skills with easy News articles.

【第13回】

テーマ : Reading skills review

内容・方法 : Review of all Reading Skills w/ review passages

【第14回】

テーマ : Final grade check and reflection

内容・方法 : Vocabulary and reading skills training review. Review grades and complete reflection on course goals.

【第15回】

テーマ : Reading skills review evaluation

内容・方法 : Speed Reading & Vocabulary Evaluation: Margin notes & summary. Moodle Extensive Reading & Quizzes in class.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a 1-credit (1単位) course, which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題 : None

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第2回】 -

事前学修課題 : Speed Reading HW #22 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第2回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #24 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第4回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #26 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第5回】

事前学修課題 : Review chapters, prepare for evaluation

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第6回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #28 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第7回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #30 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第8回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #32 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第9回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #34 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第10回】

事前学修課題 : Prepare for evaluation (TOEIC practice)

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第11回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #36 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第12回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #38 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第13回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #40 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第14回】

事前学修課題 : Review reading passages and vocabulary

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第15回】

事前学修課題 : Review reading passages and vocabulary

事後学修課題 : Final reflection report

課題に対するフィードバックの方法

Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom. Overall course progress and feedback will be given at mid-term and before the final class. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed as homework, graded reader reading assignments, and midterm and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse will be given a “K” (failing mark).

Grade breakdown:

1. Active participation (10%)
2. Homework assignments (20%)
3. Moodle Reading (20%)
4. In-class Evaluations (30%)
5. Final evaluation report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	40	Active participation in class (10) In-class Evaluations (30)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	40	Moodle Extensive Reading (20), Homework assignments (20)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final evaluation report (20)	2, 3
その他	0		

テキスト	Reading for Speed and Fluency Book 4, 2nd edition, Paul Nation, Marcos Benevides, James Broadbridge, Joseph Siegel, Compass Publishing, 2018. 978-1-64015-070-6
------	---

参考書	Introduced by the instructor as necessary. Some resources for practice with simplified news articles include: https://www.newslevels.com/ https://breakingnewsenglish.com/
-----	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできるが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13104251	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	ReadingIV [対面]				
シラバス執筆(全員)	S. ハティング				
シラバス執筆(主)	S. ハティング				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course is a continuation of the reading course in the Spring Semester. Here, students will continue to read about academic topics. The focus of the course will center around learning vocabulary, further developing reading skills, and using the information from the readings in short speaking and writing activities. Additionally students will continue to progress with Moodle reader. Each course has a set word amount that must be achieved by each student. Check below for details.

到達目標

1. Complete 50,000 words of extensive reading (Moodle Reader)
2. Complete units 6-9 of the textbook (tenth optional)
3. Use reading note-taking strategies: finding the topic sentences, researching a person/topic, numbers, abbreviations, and timelines
4. Learn to read longer passages
5. Remember and use vocabulary associated with textbook units

授業計画

- [第1回]
 テーマ: Course Introduction, Reading Skill Review, Start Chapter 6
 内容・方法: Moodle reader Explanation, Textbook introductions, Task to assess reading ability, Skill review
- [第2回]
 テーマ: Chapter 6
 内容・方法: Public Art, Moodle reader discussion, vocabulary
- [第3回]
 テーマ: Chapter 6
 内容・方法: Public Art, Moodle reader discussion, note-taking skill
- [第4回]
 テーマ: Chapter 7
 内容・方法: Sociology, Moodle reader discussion, critical thinking and idea development
- [第5回]
 テーマ: Chapter 7
 内容・方法: Sociology, Moodle reader discussion, vocabulary
- [第6回]
 テーマ: Chapter 7
 内容・方法: Sociology, Moodle reader discussion, note-taking skill
- [第7回]
 テーマ: Mid-term Quiz based on reading skills and content from the first half of the semester, Moodle reader check
 内容・方法: Review and quiz will be conducted in class
- [第8回]
 テーマ: Chapter 8
 内容・方法: Government, Moodle reader discussion, critical thinking and idea development
- [第9回]
 テーマ: Chapter 8
 内容・方法: Government, Moodle reader discussion, vocabulary
- [第10回]
 テーマ: Chapter 8
 内容・方法: Government, Moodle reader discussion, note-taking skill
- [第11回]
 テーマ: Chapter 9
 内容・方法: Economics, Moodle reader discussion, critical thinking and idea development
- [第12回]
 テーマ: Chapter 9
 内容・方法: Economics, Moodle reader discussion, vocabulary
- [第13回]
 テーマ: Chapter 9
 内容・方法: Economics, Moodle reader discussion, note-taking skill
- [第14回]
 テーマ: Chapter 10
 内容・方法: Neurology, Moodle reader discussion, critical thinking and idea development
- [第15回]

テーマ : Final Quiz based on reading skills and content from the second half of the semester, Moodle reader Deadline

内容・方法 : Reading skill review, Quiz will be conducted in class

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

[第1回]

①事前学修課題 : Review notes on reading skills from last year

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第2回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第3回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第4回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第5回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第6回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第7回]

①事前学修課題 : Review content and reading strategies

②事後学修課題 : Complete self-assessment, Moodle reader

[第8回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第9回]

①事前学修課題 : Review reading skills in the course thus far, preview the topic.

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第10回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第11回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第12回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第13回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第14回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第15回]

①事前学修課題 : Review content and reading strategies

②事後学修課題 : Complete self-assessment, Must complete reading goal Moodle reader by this class

課題に対するフィードバックの方法

Points will be given on assignments (sometimes through the use of rubrics), and comments will be given as much as possible. This information will be viewable to students on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Credit for this course will be awarded to students who achieve an overall score of 60% or greater in the following categories. If a student is absent more than four times or does not participate in the major projects and assignments of the course, a [K] will be awarded.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	Class participation 10%, Midterm Quiz 10%, Class assignments 40%	2, 3, 4
授業外での評価	30	Moodle Reader 20%, Vocabulary 10%	1, 5
定期試験	0		

定期試験に代わるレポート等	10	Final Quiz 10%	3, 4
その他	0		

テキスト	Longman Academic Reading Series 1, 9780134663395
------	--

参考書	None
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13104252	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	ReadingIV [対面]				
シラバス執筆(全員)	P.L. ストリックランド				
シラバス執筆(主)	P.L. ストリックランド				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course is a continuation of the reading course in the Spring Semester. Here, students will continue to read about academic topics. The focus of the course will center around learning vocabulary, further developing reading skills, and using the information from the readings in short speaking and writing activities. Additionally students will continue to progress with Moodle reader. Each course has a set word amount that must be achieved by each student. Check below for details.

到達目標

1. Complete 50,000 words of extensive reading (Moodle Reader)
2. Complete units 6-9 of the textbook (tenth optional)
3. Use reading note-taking strategies: finding the topic sentences, researching a person/topic, numbers, abbreviations, and timelines
4. Learn to read longer passages
5. Remember and use vocabulary associated with textbook units

授業計画

- [第1回]
 テーマ: Course Introduction, Reading Skill Review, Start Chapter 6
 内容・方法: Moodle reader Explanation, Textbook introductions, Task to assess reading ability, Skill review
- [第2回]
 テーマ: Chapter 6
 内容・方法: Public Art, Moodle reader discussion, vocabulary
- [第3回]
 テーマ: Chapter 6
 内容・方法: Public Art, Moodle reader discussion, note-taking skill
- [第4回]
 テーマ: Chapter 7
 内容・方法: Sociology, Moodle reader discussion, critical thinking and idea development
- [第5回]
 テーマ: Chapter 7
 内容・方法: Sociology, Moodle reader discussion, vocabulary
- [第6回]
 テーマ: Chapter 7
 内容・方法: Sociology, Moodle reader discussion, note-taking skill
- [第7回]
 テーマ: Mid-term Quiz based on reading skills and content from the first half of the semester, Moodle reader check
 内容・方法: Review and quiz will be conducted in class
- [第8回]
 テーマ: Chapter 8
 内容・方法: Government, Moodle reader discussion, critical thinking and idea development
- [第9回]
 テーマ: Chapter 8
 内容・方法: Government, Moodle reader discussion, vocabulary
- [第10回]
 テーマ: Chapter 8
 内容・方法: Government, Moodle reader discussion, note-taking skill
- [第11回]
 テーマ: Chapter 9
 内容・方法: Economics, Moodle reader discussion, critical thinking and idea development
- [第12回]
 テーマ: Chapter 9
 内容・方法: Economics, Moodle reader discussion, vocabulary
- [第13回]
 テーマ: Chapter 9
 内容・方法: Economics, Moodle reader discussion, note-taking skill
- [第14回]
 テーマ: Chapter 10
 内容・方法: Neurology, Moodle reader discussion, critical thinking and idea development
- [第15回]

テーマ : Final Quiz based on reading skills and content from the second half of the semester, Moodle reader Deadline

内容・方法 : Reading skill review, Quiz will be conducted in class

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

[第1回]

①事前学修課題 : Review notes on reading skills from last year

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第2回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第3回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第4回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第5回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第6回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第7回]

①事前学修課題 : Review content and reading strategies

②事後学修課題 : Complete self-assessment, Moodle reader

[第8回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第9回]

①事前学修課題 : Review reading skills in the course thus far, preview the topic.

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第10回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第11回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第12回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第13回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第14回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第15回]

①事前学修課題 : Review content and reading strategies

②事後学修課題 : Complete self-assessment, Must complete reading goal Moodle reader by this class

課題に対するフィードバックの方法

Points will be given on assignments (sometimes through the use of rubrics), and comments will be given as much as possible. This information will be viewable to students on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Credit for this course will be awarded to students who achieve an overall score of 60% or greater in the following categories. If a student is absent more than four times or does not participate in the major projects and assignments of the course, a [K] will be awarded.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	Class participation 10%, Midterm Quiz 10%, Class assignments 40%	2, 3, 4
授業外での評価	30	Moodle Reader 20%, Vocabulary 10%	1, 5
定期試験	0		

定期試験に代わるレポート等	10	Final Quiz 10%	3, 4
その他	0		

テキスト	Longman Academic Reading Series 1, 9780134663395
------	--

参考書	None
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13104501	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	WritingⅢ [対面]				
シラバス執筆(全員)	P.L. ストリックランド				
シラバス執筆(主)	P.L. ストリックランド				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course will help you improve the writing skills needed to express your ideas clearly and accurately. The writings are short and the skills gained will be useful for future writing tests. The skills include brainstorming, organizing, planning, formatting, and writing on given topics. You will learn about and practise language at sentence and paragraph level. You are expected to finish all writing and homework assignments. Handing in all your work is essential for passing this course.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Write paragraphs (original, well-formed paragraphs of 10–20 sentences including topic sentences, supporting details, and concluding sentences)
2. Edit paragraphs (peer editing as well as editing their own work based on teacher comments)
3. Use correct grammar in writing a variety of paragraph types
4. Build vocabulary (vocabulary words and language terms to talk about grammar and writing)

授業計画

【第 1 回】
 テーマ： Unit 1
 内容・方法： Introduction and Formatting

【第 2 回】
 テーマ： Unit 1
 内容・方法： Topic Sentences and Structure

【第 3 回】
 テーマ： Unit 1
 内容・方法： Vocabulary Quiz 1; Writing Rules and Brainstorming

【第 4 回】
 テーマ： Unit 2
 内容・方法： Supporting Sentences

【第 5 回】
 テーマ： Unit 2
 内容・方法： Punctuation

【第 6 回】
 テーマ： Unit 3
 内容・方法： Concluding Sentences and Outlining

【第 7 回】
 テーマ： Unit 3
 内容・方法： Vocabulary Quiz 2; Paragraph 1

【第 8 回】
 テーマ： In-class Midterm Evaluation
 内容・方法： Writing & Editing review, Unit 1–3 Evaluation

【第 9 回】
 テーマ： Unit 4
 内容・方法： Adding Details, Adjectives

【第 10 回】
 テーマ： Unit 4
 内容・方法： Vocabulary Quiz 3; Paragraph 2

【第 11 回】
 テーマ： Unit 5
 内容・方法： Comparison Signals

【第 12 回】
 テーマ： Unit 5
 内容・方法： Paragraph 3

【第 13 回】
 テーマ： Unit 6
 内容・方法： Vocabulary Quiz 4; Contrast Signals

【第 14 回】
 テーマ： Unit 6
 内容・方法： Textbook review, Paragraph 4

【第 15 回】
 テーマ： In-class final evaluation
 内容・方法： End of term evaluation for Units 1–6 & writing. Explanation of final report assignment.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。毎回の授業前に約30分の予習課題を行い、授業後に約30分の復習課題を行います。

A total of 45 hours of study is required per 1-credit course, including class (calculated as 2 hours per session) and pre- and post-work study. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題: None

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第2回】

事前学修課題: Pre-read textbook p. 6

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第3回】

事前学修課題: Pre-read textbook pp. 9-10

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第4回】

事前学修課題: Pre-read textbook p. 12

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第5回】

事前学修課題: Pre-read textbook pp. 15-16

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第6回】

事前学修課題: Pre-read textbook p. 18

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第7回】

事前学修課題: Pre-read textbook pp. 21-22

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments. Prepare for midterm evaluation.

【第8回】

前学修課題: Review Units 1-3 for test.

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第9回】

事前学修課題: Pre-read textbook p. 24

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第10回】

事前学修課題: Pre-read textbook pp. 27-28

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第11回】

事前学修課題: Pre-read textbook p. 32

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第12回】

事前学修課題: Pre-read textbook pp. 36-37

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第13回】

事前学修課題: Pre-read textbook p. 40

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第14回】

事前学修課題: Pre-read textbook pp. 43-44

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第15回】

事前学修課題: Review Units 4-6 for final evaluation. Prepare for end of term evaluation.

事後学修課題: Complete and submit the final evaluation assignment

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed as homework, and midterm and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course if they comply with the attendance policy (see below).

Grade Breakdown:

1) Active participation (10%)

This means actively taking part in all in-class and Google Classroom writing activities. You are expected to enter on time, continue to participate for the whole class, and respond to the teacher and other students orally or through feedback options of the software.

2) Homework and preparation for classes (25%)

- 3) In-class evaluations and other in-class assignments (40), vocabulary quizzes (15)
 4) Final Evaluation Assignment (10%)

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Please contact your individual instructor for information about coursework and grading policy.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	55	In-class evaluations and other in-class assignments (40), vocabulary quizzes (15)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	25	Homework assignments (25)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10	Final Evaluation (10)	1, 2, 3
その他	10	Active participation during in-class activities (10)	1, 2, 3, 4

テキスト	Real Writing, Mariko Kawasaki, Ayed Hasian, Samuel Haugh, Yoko Nakano, Seishirou Ibaraki; Nan'un-do 2019 978-4-523-17886-6
------	---

参考書	None
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	---

授業コード	13104502	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	WritingⅢ [対面]				
シラバス執筆(全員)	S.D. ラーダー				
シラバス執筆(主)	S.D. ラーダー				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course will help you improve the writing skills needed to express your ideas clearly and accurately. The writings are short and the skills gained will be useful for future writing tests. The skills include brainstorming, organizing, planning, formatting, and writing on given topics. You will learn about and practise language at sentence and paragraph level. You are expected to finish all writing and homework assignments. Handing in all your work is essential for passing this course.

到達目標

- By successfully completing this course, students will be able to:
1. Write paragraphs (original, well-formed paragraphs of 10–20 sentences including topic sentences, supporting details, and concluding sentences)
 2. Edit paragraphs (peer editing as well as editing their own work based on teacher comments)
 3. Use correct grammar in writing a variety of paragraph types
 4. Build vocabulary (vocabulary words and language terms to talk about grammar and writing)

授業計画

- 【第 1 回】
 テーマ： Unit 1
 内容・方法： Introduction and Formatting
- 【第 2 回】
 テーマ： Unit 1
 内容・方法： Topic Sentences and Structure
- 【第 3 回】
 テーマ： Unit 1
 内容・方法： Vocabulary Quiz 1; Writing Rules and Brainstorming
- 【第 4 回】
 テーマ： Unit 2
 内容・方法： Supporting Sentences
- 【第 5 回】
 テーマ： Unit 2
 内容・方法： Punctuation
- 【第 6 回】
 テーマ： Unit 3
 内容・方法： Concluding Sentences and Outlining
- 【第 7 回】
 テーマ： Unit 3
 内容・方法： Vocabulary Quiz 2; Paragraph 1
- 【第 8 回】
 テーマ： In-class Midterm Evaluation
 内容・方法： Writing & Editing review, Unit 1–3 Evaluation
- 【第 9 回】
 テーマ： Unit 4
 内容・方法： Adding Details, Adjectives
- 【第 10 回】
 テーマ： Unit 4
 内容・方法： Vocabulary Quiz 3; Paragraph 2
- 【第 11 回】
 テーマ： Unit 5
 内容・方法： Comparison Signals
- 【第 12 回】
 テーマ： Unit 5
 内容・方法： Paragraph 3
- 【第 13 回】
 テーマ： Unit 6
 内容・方法： Vocabulary Quiz 4; Contrast Signals
- 【第 14 回】
 テーマ： Unit 6
 内容・方法： Textbook review, Paragraph 4
- 【第 15 回】
 テーマ： In-class final evaluation
 内容・方法： End of term evaluation for Units 1–6 & writing. Explanation of final report assignment.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。毎回の授業前に約30分の予習課題を行い、授業後に約30分の復習課題を行います。

A total of 45 hours of study is required per 1-credit course, including class (calculated as 2 hours per session) and pre- and post-work study. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題: None

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第2回】

事前学修課題: Pre-read textbook p. 6

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第3回】

事前学修課題: Pre-read textbook pp. 9-10

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第4回】

事前学修課題: Pre-read textbook p. 12

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第5回】

事前学修課題: Pre-read textbook pp. 15-16

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第6回】

事前学修課題: Pre-read textbook p. 18

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第7回】

事前学修課題: Pre-read textbook pp. 21-22

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments. Prepare for midterm evaluation.

【第8回】

前学修課題: Review Units 1-3 for test.

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第9回】

事前学修課題: Pre-read textbook p. 24

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第10回】

事前学修課題: Pre-read textbook pp. 27-28

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第11回】

事前学修課題: Pre-read textbook p. 32

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第12回】

事前学修課題: Pre-read textbook pp. 36-37

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第13回】

事前学修課題: Pre-read textbook p. 40

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第14回】

事前学修課題: Pre-read textbook pp. 43-44

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第15回】

事前学修課題: Review Units 4-6 for final evaluation. Prepare for end of term evaluation.

事後学修課題: Complete and submit the final evaluation assignment

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed as homework, and midterm and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course if they comply with the attendance policy (see below).

Grade Breakdown:

1) Active participation (10%)

This means actively taking part in all in-class and Google Classroom writing activities. You are expected to enter on time, continue to participate for the whole class, and respond to the teacher and other students orally or through feedback options of the software.

2) Homework and preparation for classes (25%)

- 3) In-class evaluations and other in-class assignments (40), vocabulary quizzes (15)
 4) Final Evaluation Assignment (10%)

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Please contact your individual instructor for information about coursework and grading policy.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	55	In-class evaluations and other in-class assignments (40), vocabulary quizzes (15)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	25	Homework assignments (25)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10	Final Evaluation (10)	1, 2, 3
その他	10	Active participation during in-class activities (10)	1, 2, 3, 4

テキスト	Real Writing, Mariko Kawasaki, Ayed Hasian, Samuel Haugh, Yoko Nakano, Seishirou Ibaraki; Nan'un-do 2019 978-4-523-17886-6
------	---

参考書	None
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	---

授業コード	13104551	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	WritingⅢ [対面]				
シラバス執筆(全員)	O. J. クロー				
シラバス執筆(主)	O. J. クロー				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course students will focus on academic essay writing. There will be two major essays for students to complete, and one opinion article for the IEP Times. Each will follow the IEP writing process, which will help students develop ideas and build writing confidence. In terms of skills, students will learn how to write clear summaries, write correct citations and references, and interpret graphs and charts.

到達目標

1. Review the six-step writing process (Brainstorm, Outline, Research and Paraphrase, Rough Draft, Editing, Final Draft)
2. Reproduce IEP Writing Format (Template)
3. Write two five-paragraph essays
4. Complete two short presentations based on essay content
5. One opinion article for IEP Times - 200-300 words
6. Summarize information from external sources (internet, newspapers etc.)
7. Interpret graphs, figures, and tables
8. Complete citations and references in APA

授業計画

[第1回]

テーマ: Course introduction, Review the writing process, paragraph structure, and essay structure, APA introduction

内容・方法: Review previous course writing process and skills with practice, introduce APA

[第2回]

テーマ: Essay 1: Brainstorming, Outline, Research, Summary practice, APA practice

内容・方法: Complete first three stages of writing process, Summary practice, APA practice

[第3回]

テーマ: Essay 1: Rough Draft (Paragraph 1, 2), Summary and paraphrasing practice

内容・方法: Use previous class notes to write first two paragraphs of Essay 1, practice summarizing/paraphrasing

[第4回]

テーマ: Essay 1: Rough Draft (Paragraph 3, 4), Summary and paraphrasing practice

内容・方法: Use notes to write next two paragraphs of Essay 1, practice summarizing/paraphrasing

[第5回]

テーマ: Essay 1: Rough draft (Paragraph 5), Submission

内容・方法: Complete conclusion, peer review, focus on APA citation and other common mistakes

[第6回]

テーマ: Essay 1: Editing, Final Draft Submission, Short presentation based on content, Self-reflection

内容・方法: Students correct mistakes based on teacher feedback, present their content to a group

[第7回]

テーマ: IEP Times Article Development

内容・方法: Prepare draft for IEP Times submission using six step process

[第8回]

テーマ: IEP Times Article Editing and Submission

内容・方法: Correct based on teacher comments, adhere to format

[第9回]

テーマ: Graphs and Charts

内容・方法: Summarize graphs from samples, internet sources

[第10回]

テーマ: Essay 2: Brainstorming, Outline, Research Day, Review Summary and Paraphrasing

内容・方法: Complete first three stages of writing process, Summary practice, APA practice

[第11回]

テーマ: Essay 2: Rough Draft (Paragraph 1, 2), Summary and paraphrasing practice

内容・方法: Use previous class notes to write first two paragraphs of Essay 2, practice summarizing/paraphrasing

[第12回]

テーマ: Essay 2: Rough Draft (Paragraph 3, 4), Summary and paraphrasing practice

内容・方法: Use notes to write next two paragraphs of Essay 2, practice summarizing/paraphrasing

[第13回]

テーマ: Essay 2: Rough draft (Paragraph 5), Submission

内容・方法: Complete conclusion, peer review, focus on APA citation and other common mistakes

[第14回]

テーマ: Essay 2: Editing, Final Draft Submission, Prepare and Give Presentation, self-reflection
内容・方法: Students correct mistakes based on teacher feedback

[第15回]

テーマ: TOEIC Test
内容・方法: TOEIC Test

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a one-credit (1単位) course, which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

[第1回]

- ①事前学修課題: Review notes from previous course, review paragraph structure and essay structure
- ②事後学修課題: Review APA format and practice

[第2回]

- ①事前学修課題: Review the writing process, preview the topic
- ②事後学修課題: Complete homework, plan essay, gather information for summary

[第3回]

- ①事前学修課題: Review notes, choose most important information
- ②事後学修課題: Complete paragraphs, include references and citations

[第4回]

- ①事前学修課題: Reread paragraphs, correct any mistakes
- ②事後学修課題: Complete paragraphs, include references and citations

[第5回]

- ①事前学修課題: Reread paragraphs, correct any mistakes
- ②事後学修課題: Complete conclusion, compile and review, submit rough draft

[第6回]

- ①事前学修課題: Complete conclusion, compile and review, submit rough draft
- ②事後学修課題: Finish editing rough draft, ask teacher about comments, submit final draft

[第7回]

- ①事前学修課題: Consider ideas for IEP Times article
- ②事後学修課題: Complete rough draft, reread and submit

[第8回]

- ①事前学修課題: Complete rough draft, reread and submit
- ②事後学修課題: Finish editing rough draft, ask teacher about comments, submit final draft

[第9回]

- ①事前学修課題: Submit the article by the deadline
- ②事後学修課題: Complete homework on graph summary

[第10回]

- ①事前学修課題: Review the writing process, preview the topic
- ②事後学修課題: Complete homework, plan essay, gather information for summary

[第11回]

- ①事前学修課題: Review notes, choose most important information
- ②事後学修課題: Complete paragraphs, include references and citations

[第12回]

- ①事前学修課題: Reread paragraphs, correct any mistakes
- ②事後学修課題: Complete paragraphs, include references and citations

[第13回]

- ①事前学修課題: Reread paragraphs, correct any mistakes
- ②事後学修課題: Complete conclusion, compile and review, submit rough draft

[第14回]

- ①事前学修課題: Complete conclusion, compile and review, submit rough draft
- ②事後学修課題: Finish editing rough draft, plan presentation

[第15回]

- ①事前学修課題: Prepare final draft, presentation
- ②事後学修課題: Complete self-reflection and check grades on Google Classroom

課題に対するフィードバックの方法

Points will be given on assignments (sometimes through the use of rubrics), and comments will be given as much as possible. This information will be viewable to students on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Credit for this course will be awarded to students who achieve an overall score of 60% or greater in the following categories. If a student is absent more than four times or does not participate in the major projects and assignments of the course, a [K] will be awarded.

成績評価の種類

評価割合 (%)

評価方法・割合

評価対象となる到達目標

授業内での評価	70	Participation 10%, Classwork 40%, Essay 1 20%	1, 2, 3, 4, 6, 7, 8
授業外での評価	10	IEP Times Article 10%	5
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Essay 2 20%	2, 3, 7, 8
その他	0		

テキスト	None		
------	------	--	--

参考書	Materials provided by the instructor		
-----	--------------------------------------	--	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD – 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>		
---------------	---	--	--

授業コード	13104552	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	WritingⅢ [対面]				
シラバス執筆(全員)	J. エチャャー				
シラバス執筆(主)	J. エチャャー				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course students will focus on academic essay writing. There will be two major essays for students to complete, and one opinion article for the IEP Times. Each will follow the IEP writing process, which will help students develop ideas and build writing confidence. In terms of skills, students will learn how to write clear summaries, write correct citations and references, and interpret graphs and charts.

到達目標

1. Review the six-step writing process (Brainstorm, Outline, Research and Paraphrase, Rough Draft, Editing, Final Draft)
2. Reproduce IEP Writing Format (Template)
3. Write two five-paragraph essays
4. Complete two short presentations based on essay content
5. One opinion article for IEP Times - 200-300 words
6. Summarize information from external sources (internet, newspapers etc.)
7. Interpret graphs, figures, and tables
8. Complete citations and references in APA

授業計画

[第1回]

テーマ: Course introduction, Review the writing process, paragraph structure, and essay structure, APA introduction

内容・方法: Review previous course writing process and skills with practice, introduce APA

[第2回]

テーマ: Essay 1: Brainstorming, Outline, Research, Summary practice, APA practice

内容・方法: Complete first three stages of writing process, Summary practice, APA practice

[第3回]

テーマ: Essay 1: Rough Draft (Paragraph 1, 2), Summary and paraphrasing practice

内容・方法: Use previous class notes to write first two paragraphs of Essay 1, practice summarizing/paraphrasing

[第4回]

テーマ: Essay 1: Rough Draft (Paragraph 3, 4), Summary and paraphrasing practice

内容・方法: Use notes to write next two paragraphs of Essay 1, practice summarizing/paraphrasing

[第5回]

テーマ: Essay 1: Rough draft (Paragraph 5), Submission

内容・方法: Complete conclusion, peer review, focus on APA citation and other common mistakes

[第6回]

テーマ: Essay 1: Editing, Final Draft Submission, Short presentation based on content, Self-reflection

内容・方法: Students correct mistakes based on teacher feedback, present their content to a group

[第7回]

テーマ: IEP Times Article Development

内容・方法: Prepare draft for IEP Times submission using six step process

[第8回]

テーマ: IEP Times Article Editing and Submission

内容・方法: Correct based on teacher comments, adhere to format

[第9回]

テーマ: Graphs and Charts

内容・方法: Summarize graphs from samples, internet sources

[第10回]

テーマ: Essay 2: Brainstorming, Outline, Research Day, Review Summary and Paraphrasing

内容・方法: Complete first three stages of writing process, Summary practice, APA practice

[第11回]

テーマ: Essay 2: Rough Draft (Paragraph 1, 2), Summary and paraphrasing practice

内容・方法: Use previous class notes to write first two paragraphs of Essay 2, practice summarizing/paraphrasing

[第12回]

テーマ: Essay 2: Rough Draft (Paragraph 3, 4), Summary and paraphrasing practice

内容・方法: Use notes to write next two paragraphs of Essay 2, practice summarizing/paraphrasing

[第13回]

テーマ: Essay 2: Rough draft (Paragraph 5), Submission

内容・方法: Complete conclusion, peer review, focus on APA citation and other common mistakes

[第14回]

テーマ: Essay 2: Editing, Final Draft Submission, Prepare and Give Presentation, self-reflection

内容・方法: Students correct mistakes based on teacher feedback

[第15回]

テーマ: TOEIC Test

内容・方法: TOEIC Test

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a one-credit (1単位) course, which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

[第1回]

①事前学修課題: Review notes from previous course, review paragraph structure and essay structure

②事後学修課題: Review APA format and practice

[第2回]

①事前学修課題: Review the writing process, preview the topic

②事後学修課題: Complete homework, plan essay, gather information for summary

[第3回]

①事前学修課題: Review notes, choose most important information

②事後学修課題: Complete paragraphs, include references and citations

[第4回]

①事前学修課題: Reread paragraphs, correct any mistakes

②事後学修課題: Complete paragraphs, include references and citations

[第5回]

①事前学修課題: Reread paragraphs, correct any mistakes

②事後学修課題: Complete conclusion, compile and review, submit rough draft

[第6回]

①事前学修課題: Complete conclusion, compile and review, submit rough draft

②事後学修課題: Finish editing rough draft, ask teacher about comments, submit final draft

[第7回]

①事前学修課題: Consider ideas for IEP Times article

②事後学修課題: Complete rough draft, reread and submit

[第8回]

①事前学修課題: Complete rough draft, reread and submit

②事後学修課題: Finish editing rough draft, ask teacher about comments, submit final draft

[第9回]

①事前学修課題: Submit the article by the deadline

②事後学修課題: Complete homework on graph summary

[第10回]

①事前学修課題: Review the writing process, preview the topic

②事後学修課題: Complete homework, plan essay, gather information for summary

[第11回]

①事前学修課題: Review notes, choose most important information

②事後学修課題: Complete paragraphs, include references and citations

[第12回]

①事前学修課題: Reread paragraphs, correct any mistakes

②事後学修課題: Complete paragraphs, include references and citations

[第13回]

①事前学修課題: Reread paragraphs, correct any mistakes

②事後学修課題: Complete conclusion, compile and review, submit rough draft

[第14回]

①事前学修課題: Complete conclusion, compile and review, submit rough draft

②事後学修課題: Finish editing rough draft, plan presentation

[第15回]

①事前学修課題: Prepare final draft, presentation

②事後学修課題: Complete self-reflection and check grades on Google Classroom

課題に対するフィードバックの方法

Points will be given on assignments (sometimes through the use of rubrics), and comments will given as much as possible. This information will be viewable to students on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Credit for this course will be awarded to students who achieve an overall score of 60% or greater in the following categories. If a student is absent more than four times or does not participate in the major projects and assignments of the course, a [K] will be awarded.

成績評価の種類

評価割合 (%)

評価方法・割合

評価対象となる到達目標

授業内での評価	70	Participation 10%, Classwork 40%, Essay 1 20%	1, 2, 3, 4, 6, 7, 8
授業外での評価	10	IEP Times Article 10%	5
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Essay 2 20%	2, 3, 7, 8
その他	0		

テキスト	None		
------	------	--	--

参考書	Materials provided by the instructor		
-----	--------------------------------------	--	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD – 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>		
---------------	---	--	--

授業コード	13104601	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	WritingIV [対面]				
シラバス執筆(全員)	P.L. ストリックランド				
シラバス執筆(主)	P.L. ストリックランド				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course will help you improve the writing skills needed to express your ideas clearly and accurately. The writings are short and the skills gained will be useful for future writing tests. The skills include brainstorming, organizing, planning, formatting, and writing on given topics. You will learn about and practise language at sentence, paragraph, and short essay level. You are expected to finish all writing and homework assignments. Handing in all your work is essential for passing this course.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Write paragraphs (original, well-formed paragraphs of ~20 sentences including topic sentences, supporting details, and concluding sentences, and original essays of 3 - 4 paragraphs)
2. Edit paragraphs and essays (peer editing as well as editing their own work based on teacher comments)
3. Use correct grammar in writing a variety of paragraph and essay types
4. Build vocabulary (vocabulary words and language terms to talk about grammar and writing)

授業計画

【第 1 回】
 テーマ： Unit 7
 内容・方法： Review Units 1-6, Cause and Effect Signals

【第 2 回】
 テーマ： Unit 7
 内容・方法： Paragraph 1

【第 3 回】
 テーマ： Unit 8
 内容・方法： Vocabulary Quiz 1; Evidence Signals

【第 4 回】
 テーマ： Unit 8
 内容・方法： Paragraph 2

【第 5 回】
 テーマ： Unit 9
 内容・方法： Auxiliary Verbs, Structure

【第 6 回】
 テーマ： Unit 9
 内容・方法： Paragraph 3

【第 7 回】
 テーマ： In-class Midterm Evaluation
 内容・方法： Vocabulary Quiz 2; Units 7-9 Evaluation

【第 8 回】
 テーマ： Unit 10
 内容・方法： Time Order Signals

【第 9 回】
 テーマ： Unit 10
 内容・方法： Paragraph 4

【第 10 回】
 テーマ： Unit 11
 内容・方法： Vocabulary Quiz 3; Process Signals

【第 11 回】
 テーマ： Unit 11
 内容・方法： Paragraph 5

【第 12 回】
 テーマ： Unit 13
 内容・方法： Essay Structure

【第 13 回】
 テーマ： Unit 13
 内容・方法： Vocabulary Quiz 4; Citations

【第 14 回】
 テーマ： Units 13 & 14
 内容・方法： Essay 1

【第 15 回】
 テーマ： Review and Final Evaluation

内容・方法 : End of term evaluation. Review Units 10-14. Explanation of Final Report Exam & Begin writing

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。毎回の授業前に約30分の予習課題を行い、授業後に約30分の復習課題を行います。
A total of 45 hours of study is required per 1-credit course, including class (calculated as 2 hours per session) and pre- and post-work study. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題 : None

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第2回】

事前学修課題 : Pre-read textbook pp. 52-53

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第3回】

事前学修課題 : Pre-read textbook p. 56

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第4回】

事前学修課題 : Pre-read textbook pp. 59-60

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第5回】

事前学修課題 : Pre-read textbook p. 64

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第6回】

事前学修課題 : Pre-read textbook pp. 68-69

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第7回】

事前学修課題 : Review Units 7-9 for Test. Prepare for midterm evaluation.

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第8回】

事前学修課題 : Pre-read textbook p. 72

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第9回】

事前学修課題 : Pre-read textbook pp. 75-77

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第10回】

事前学修課題 : Pre-read textbook p. 80

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第11回】

事前学修課題 : Pre-read textbook pp. 84-85

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第12回】

事前学修課題 : Pre-read textbook p. 96

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第13回】

事前学修課題 : Pre-read textbook pp. 100-101

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第14回】

事前学修課題 : Pre-read textbook pp. 104, 107, 109

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments.

【第15回】

事前学修課題 : Review Units 10-14 for final evaluation. Prepare for end of term evaluation.

事後学修課題 : Submit Final Evaluation

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed as homework, and midterm, end of term, and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course if they comply with the attendance policy (see below).

Grade Breakdown:

1) Positive participation (10%)

This means actively taking part in all in-class and Google Classroom writing activities. You are

expected to enter on time, continue to participate for the whole class, and respond to the teacher and other students orally or through feedback options of the software.

2) Homework and preparation for classes (25%)

3) Midterm and End of Term evaluations and other in-class assignments (40%), vocabulary quizzes (15%)

4) Final Evaluation Assignment (10%)

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Please contact your individual instructor for information about coursework and grading policy.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	55	Midterm and End of Term Evaluations and other in-class assignments (40), vocabulary quizzes (15)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	25	Homework assignments (25)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10	Final Evaluation (10)	1, 2, 3
その他	10	Active participation during in-class activities (10)	1, 2, 3, 4

テキスト	Real Writing, Mariko Kawasaki, Ayed Hasian, Samuel Haugh, Yoko Nakano, Seishirou Ibaraki; Nan'un-do 2019 978-4-523-17886-6
------	---

参考書	None
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13104602	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	WritingIV [対面]				
シラバス執筆(全員)	S. D. ラーダー				
シラバス執筆(主)	S. D. ラーダー				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course will help you improve the writing skills needed to express your ideas clearly and accurately. The writings are short and the skills gained will be useful for future writing tests. The skills include brainstorming, organizing, planning, formatting, and writing on given topics. You will learn about and practise language at sentence, paragraph, and short essay level. You are expected to finish all writing and homework assignments. Handing in all your work is essential for passing this course.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Write paragraphs (original, well-formed paragraphs of ~20 sentences including topic sentences, supporting details, and concluding sentences, and original essays of 3 - 4 paragraphs)
2. Edit paragraphs and essays (peer editing as well as editing their own work based on teacher comments)
3. Use correct grammar in writing a variety of paragraph and essay types
4. Build vocabulary (vocabulary words and language terms to talk about grammar and writing)

授業計画

【第 1 回】
 テーマ： Unit 7
 内容・方法： Review Units 1-6, Cause and Effect Signals

【第 2 回】
 テーマ： Unit 7
 内容・方法： Paragraph 1

【第 3 回】
 テーマ： Unit 8
 内容・方法： Vocabulary Quiz 1; Evidence Signals

【第 4 回】
 テーマ： Unit 8
 内容・方法： Paragraph 2

【第 5 回】
 テーマ： Unit 9
 内容・方法： Auxiliary Verbs, Structure

【第 6 回】
 テーマ： Unit 9
 内容・方法： Paragraph 3

【第 7 回】
 テーマ： In-class Midterm Evaluation
 内容・方法： Vocabulary Quiz 2; Units 7-9 Evaluation

【第 8 回】
 テーマ： Unit 10
 内容・方法： Time Order Signals

【第 9 回】
 テーマ： Unit 10
 内容・方法： Paragraph 4

【第 10 回】
 テーマ： Unit 11
 内容・方法： Vocabulary Quiz 3; Process Signals

【第 11 回】
 テーマ： Unit 11
 内容・方法： Paragraph 5

【第 12 回】
 テーマ： Unit 13
 内容・方法： Essay Structure

【第 13 回】
 テーマ： Unit 13
 内容・方法： Vocabulary Quiz 4; Citations

【第 14 回】
 テーマ： Units 13 & 14
 内容・方法： Essay 1

【第 15 回】
 テーマ： Review and Final Evaluation

内容・方法 : End of term evaluation. Review Units 10-14. Explanation of Final Report Exam & Begin writing

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。毎回の授業前に約30分の予習課題を行い、授業後に約30分の復習課題を行います。
A total of 45 hours of study is required per 1-credit course, including class (calculated as 2 hours per session) and pre- and post-work study. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題 : None

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第2回】

事前学修課題 : Pre-read textbook pp. 52-53

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第3回】

事前学修課題 : Pre-read textbook p. 56

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第4回】

事前学修課題 : Pre-read textbook pp. 59-60

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第5回】

事前学修課題 : Pre-read textbook p. 64

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第6回】

事前学修課題 : Pre-read textbook pp. 68-69

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第7回】

事前学修課題 : Review Units 7-9 for Test. Prepare for midterm evaluation.

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第8回】

事前学修課題 : Pre-read textbook p. 72

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第9回】

事前学修課題 : Pre-read textbook pp. 75-77

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第10回】

事前学修課題 : Pre-read textbook p. 80

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第11回】

事前学修課題 : Pre-read textbook pp. 84-85

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第12回】

事前学修課題 : Pre-read textbook p. 96

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第13回】

事前学修課題 : Pre-read textbook pp. 100-101

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第14回】

事前学修課題 : Pre-read textbook pp. 104, 107, 109

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments.

【第15回】

事前学修課題 : Review Units 10-14 for final evaluation. Prepare for end of term evaluation.

事後学修課題 : Submit Final Evaluation

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed as homework, and midterm, end of term, and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course if they comply with the attendance policy (see below).

Grade Breakdown:

1) Positive participation (10%)

This means actively taking part in all in-class and Google Classroom writing activities. You are

expected to enter on time, continue to participate for the whole class, and respond to the teacher and other students orally or through feedback options of the software.

2) Homework and preparation for classes (25%)

3) Midterm and End of Term evaluations and other in-class assignments (40%), vocabulary quizzes (15%)

4) Final Evaluation Assignment (10%)

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Please contact your individual instructor for information about coursework and grading policy.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	55	Midterm and End of Term Evaluations and other in-class assignments (40), vocabulary quizzes (15)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	25	Homework assignments (25)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10	Final Evaluation (10)	1, 2, 3
その他	10	Active participation during in-class activities (10)	1, 2, 3, 4

テキスト	Real Writing, Mariko Kawasaki, Ayed Hasian, Samuel Haugh, Yoko Nakano, Seishirou Ibaraki; Nan'un-do 2019 978-4-523-17886-6
------	---

参考書	None
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13104651	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	WritingIV [対面]				
シラバス執筆(全員)	O. J. クロー				
シラバス執筆(主)	O. J. クロー				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course, students will continue to develop writing ability. As in the previous course, students will create two essays. These assignments focus on idea development and written communication. In addition, students will again create an article for the IEP Times, and learn more about summarizing information. Lastly, students will learn to how to gather simple survey data and create their own graphs.

到達目標

1. Review the six-step writing process (Brainstorm, Outline, Research and Paraphrase, Rough Draft, Editing, Final Draft)
2. Reproduce IEP Writing Format (Template)
3. Write two five-paragraph essays
4. Complete two short presentations based on essay content
5. One opinion article for IEP Times - 200-300 words
6. Summarize information from external sources (internet, newspapers etc.)
7. Interpret graphs, figures, and tables
8. Complete citations and references in APA

授業計画

[第1回]

テーマ: Course introduction, Review the writing process, essay structure, APA references and citation method

内容・方法: Review previous course writing process and skills with practice, review APA

[第2回]

テーマ: Essay 1: Brainstorming, Outline, Research, Summary practice, APA practice

内容・方法: Complete first three stages of writing process, Summary practice, APA practice

[第3回]

テーマ: Essay 1: Rough Draft (Paragraph 1, 2), Summary and paraphrasing practice

内容・方法: Use previous class notes to write first two paragraphs of Essay 1, practice summarizing/paraphrasing

[第4回]

テーマ: Essay 1: Rough Draft (Paragraph 3, 4), Summary and paraphrasing practice

内容・方法: Use notes to write next two paragraphs of Essay 1, practice summarizing/paraphrasing

[第5回]

テーマ: Essay 1: Rough draft (Paragraph 5), Submission

内容・方法: Complete conclusion, peer review, focus on APA citation and other common mistakes

[第6回]

テーマ: Essay 1: Editing, Final Draft Submission, Short presentation based on content, Self-reflection

内容・方法: Students correct mistakes based on teacher feedback, present their content to a group

[第7回]

テーマ: IEP Times Article Development

内容・方法: Prepare draft for IEP Times submission using six step process

[第8回]

テーマ: IEP Times Article Editing and Submission

内容・方法: Correct based on teacher comments, adhere to format

[第9回]

テーマ: Graphs and Charts

内容・方法: Create graphs from samples, internet sources

[第10回]

テーマ: Essay 2: Brainstorming, Outline, Research, In-class survey

内容・方法: Complete first three stages of writing process, Summary practice, APA practice

[第11回]

テーマ: Essay 2: Rough Draft (Paragraph 1, 2), Summary and paraphrasing practice

内容・方法: Use previous class notes to write first two paragraphs of Essay 2, practice summarizing/paraphrasing

[第12回]

テーマ: Essay 2: Rough Draft (Paragraph 3, 4), Summary and paraphrasing practice

内容・方法: Use notes to write next two paragraphs of Essay 2, practice summarizing/paraphrasing

[第13回]

テーマ: Essay 2: Rough draft (Paragraph 5), Submission

内容・方法: Complete conclusion, peer review, focus on APA citation and other common mistakes

[第14回]

テーマ: Essay 2: Editing,

内容・方法: Students correct mistakes based on teacher feedback

[第15回]

テーマ: TOEIC Test

内容・方法: TOEIC Test

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a one-credit (1単位) course, which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

[第1回]

①事前学修課題: Review notes from previous course, review essay structure, APA references and citations

②事後学修課題: Review APA format and practice

[第2回]

①事前学修課題: Review the writing process, preview the topic

②事後学修課題: Complete homework, plan essay, gather information for summary

[第3回]

①事前学修課題: Review notes, choose most important information

②事後学修課題: Complete paragraphs, include references and citations

[第4回]

①事前学修課題: Reread paragraphs, correct any mistakes

②事後学修課題: Complete paragraphs, include references and citations

[第5回]

①事前学修課題: Reread paragraphs, correct any mistakes

②事後学修課題: Complete conclusion, compile and review, submit rough draft

[第6回]

①事前学修課題: Complete conclusion, compile and review, submit rough draft

②事後学修課題: Finish editing rough draft, ask teacher about comments, submit final draft

[第7回]

①事前学修課題: Consider ideas for IEP Times article

②事後学修課題: Complete rough draft, reread and submit

[第8回]

①事前学修課題: Complete rough draft, reread and submit

②事後学修課題: Finish editing rough draft, ask teacher about comments, submit final draft

[第9回]

①事前学修課題: Submit the article by the deadline

②事後学修課題: Complete homework on graph summary

[第10回]

①事前学修課題: Review the writing process, preview the topic

②事後学修課題: Complete homework, plan essay, organize survey data and create graph, gather information for summary

[第11回]

①事前学修課題: Review notes, choose most important information

②事後学修課題: Complete paragraphs, include references and citations

[第12回]

①事前学修課題: Reread paragraphs, correct any mistakes

②事後学修課題: Complete paragraphs, include references and citations

[第13回]

①事前学修課題: Reread paragraphs, correct any mistakes

②事後学修課題: Complete conclusion, compile and review, submit rough draft

[第14回]

①事前学修課題: Complete conclusion, compile and review, submit rough draft

②事後学修課題: Finish editing rough draft, plan presentation

[第15回]

①事前学修課題: Prepare final draft, presentation

②事後学修課題: Complete self-reflection and check grades on Google Classroom

課題に対するフィードバックの方法

Points will be given on assignments (sometimes through the use of rubrics), and comments will given as much as possible. This information will be viewable to students on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Credit for this course will be awarded to students who achieve an overall score of 60% or greater in the following categories. If a student is absent more than four times or does not participate in the major projects and assignments of the course, a [K] will be awarded.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	70	Participation 10%, Classwork 40%, Essay 1 20%	1, 2, 3, 4, 6, 7, 8
授業外での評価	10	IEP Times Article 10%	5
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Essay 2 20%	2, 3, 7, 8
その他	0		

テキスト	None
------	------

参考書	Materials provided by the instructor
-----	--------------------------------------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD – 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	---

授業コード	13104652	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	WritingIV [対面]				
シラバス執筆(全員)	J. エチャャー				
シラバス執筆(主)	J. エチャャー				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course, students will continue to develop writing ability. As in the previous course, students will create two essays. These assignments focus on idea development and written communication. In addition, students will again create an article for the IEP Times, and learn more about summarizing information. Lastly, students will learn to how to gather simple survey data and create their own graphs.

到達目標

1. Review the six-step writing process (Brainstorm, Outline, Research and Paraphrase, Rough Draft, Editing, Final Draft)
2. Reproduce IEP Writing Format (Template)
3. Write two five-paragraph essays
4. Complete two short presentations based on essay content
5. One opinion article for IEP Times - 200-300 words
6. Summarize information from external sources (internet, newspapers etc.)
7. Interpret graphs, figures, and tables
8. Complete citations and references in APA

授業計画

[第1回]

テーマ: Course introduction, Review the writing process, essay structure, APA references and citation method

内容・方法: Review previous course writing process and skills with practice, review APA

[第2回]

テーマ: Essay 1: Brainstorming, Outline, Research, Summary practice, APA practice

内容・方法: Complete first three stages of writing process, Summary practice, APA practice

[第3回]

テーマ: Essay 1: Rough Draft (Paragraph 1, 2), Summary and paraphrasing practice

内容・方法: Use previous class notes to write first two paragraphs of Essay 1, practice summarizing/paraphrasing

[第4回]

テーマ: Essay 1: Rough Draft (Paragraph 3, 4), Summary and paraphrasing practice

内容・方法: Use notes to write next two paragraphs of Essay 1, practice summarizing/paraphrasing

[第5回]

テーマ: Essay 1: Rough draft (Paragraph 5), Submission

内容・方法: Complete conclusion, peer review, focus on APA citation and other common mistakes

[第6回]

テーマ: Essay 1: Editing, Final Draft Submission, Short presentation based on content, Self-reflection

内容・方法: Students correct mistakes based on teacher feedback, present their content to a group

[第7回]

テーマ: IEP Times Article Development

内容・方法: Prepare draft for IEP Times submission using six step process

[第8回]

テーマ: IEP Times Article Editing and Submission

内容・方法: Correct based on teacher comments, adhere to format

[第9回]

テーマ: Graphs and Charts

内容・方法: Create graphs from samples, internet sources

[第10回]

テーマ: Essay 2: Brainstorming, Outline, Research, In-class survey

内容・方法: Complete first three stages of writing process, Summary practice, APA practice

[第11回]

テーマ: Essay 2: Rough Draft (Paragraph 1, 2), Summary and paraphrasing practice

内容・方法: Use previous class notes to write first two paragraphs of Essay 2, practice summarizing/paraphrasing

[第12回]

テーマ: Essay 2: Rough Draft (Paragraph 3, 4), Summary and paraphrasing practice

内容・方法: Use notes to write next two paragraphs of Essay 2, practice summarizing/paraphrasing

[第13回]

テーマ: Essay 2: Rough draft (Paragraph 5), Submission

内容・方法: Complete conclusion, peer review, focus on APA citation and other common mistakes

[第14回]

テーマ: Essay 2: Editing,

内容・方法: Students correct mistakes based on teacher feedback

[第15回]

テーマ: TOEIC Test

内容・方法: TOEIC Test

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a one-credit (1単位) course, which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

[第1回]

①事前学修課題: Review notes from previous course, review essay structure, APA references and citations

②事後学修課題: Review APA format and practice

[第2回]

①事前学修課題: Review the writing process, preview the topic

②事後学修課題: Complete homework, plan essay, gather information for summary

[第3回]

①事前学修課題: Review notes, choose most important information

②事後学修課題: Complete paragraphs, include references and citations

[第4回]

①事前学修課題: Reread paragraphs, correct any mistakes

②事後学修課題: Complete paragraphs, include references and citations

[第5回]

①事前学修課題: Reread paragraphs, correct any mistakes

②事後学修課題: Complete conclusion, compile and review, submit rough draft

[第6回]

①事前学修課題: Complete conclusion, compile and review, submit rough draft

②事後学修課題: Finish editing rough draft, ask teacher about comments, submit final draft

[第7回]

①事前学修課題: Consider ideas for IEP Times article

②事後学修課題: Complete rough draft, reread and submit

[第8回]

①事前学修課題: Complete rough draft, reread and submit

②事後学修課題: Finish editing rough draft, ask teacher about comments, submit final draft

[第9回]

①事前学修課題: Submit the article by the deadline

②事後学修課題: Complete homework on graph summary

[第10回]

①事前学修課題: Review the writing process, preview the topic

②事後学修課題: Complete homework, plan essay, organize survey data and create graph, gather information for summary

[第11回]

①事前学修課題: Review notes, choose most important information

②事後学修課題: Complete paragraphs, include references and citations

[第12回]

①事前学修課題: Reread paragraphs, correct any mistakes

②事後学修課題: Complete paragraphs, include references and citations

[第13回]

①事前学修課題: Reread paragraphs, correct any mistakes

②事後学修課題: Complete conclusion, compile and review, submit rough draft

[第14回]

①事前学修課題: Complete conclusion, compile and review, submit rough draft

②事後学修課題: Finish editing rough draft, plan presentation

[第15回]

①事前学修課題: Prepare final draft, presentation

②事後学修課題: Complete self-reflection and check grades on Google Classroom

課題に対するフィードバックの方法

Points will be given on assignments (sometimes through the use of rubrics), and comments will be given as much as possible. This information will be viewable to students on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Credit for this course will be awarded to students who achieve an overall score of 60% or greater in the following categories. If a student is absent more than four times or does not participate in the major projects and assignments of the course, a [K] will be awarded.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	70	Participation 10%, Classwork 40%, Essay 1 20%	1, 2, 3, 4, 6, 7, 8
授業外での評価	10	IEP Times Article 10%	5
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Essay 2 20%	2, 3, 7, 8
その他	0		

テキスト	None
------	------

参考書	Materials provided by the instructor
-----	--------------------------------------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD – 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	---

授業コード	13104951	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Movie & Culture I [対面]				
シラバス執筆(全員)	O. J. クロー				
シラバス執筆(主)	O. J. クロー				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

The main focus of this course is to develop cultural understanding through literature. As a content course, understanding native-level materials is the goal, instead of English language features. There will be many opportunities for discussion and interpretation. In addition, students will compare their own culture to the materials. Some difficult cultural situations are presented in the books. By learning about them, students will find their own voices on the topics. Students are expected to be active in class, and participate in group projects.

到達目標

1. Read two short native-level novels (Outsiders and Fantastic Mr. Fox).
2. Understand culture through literature.
3. Develop critical thinking on social issues.
4. Complete two tests and many section quizzes on book content.
5. Complete two capstone discussions on the themes of each book (10 minutes each).
6. Complete vocabulary quizzes, summaries, and other activities for each section of the books.

授業計画

- [第1回]
 テーマ: Course introduction, Book introduction, Strategies for reading native-level book
 内容・方法: Explain course content, introduce methods of dealing with new vocabulary, checking for understanding
- [第2回]
 テーマ: Fantastic Mr. Fox, Part 1
 内容・方法: Vocabulary, comprehension, discussion, summary
- [第3回]
 テーマ: Fantastic Mr. Fox, Part 2
 内容・方法: Vocabulary, comprehension, discussion, summary
- [第4回]
 テーマ: Fantastic Mr. Fox, Part 3
 内容・方法: Vocabulary, comprehension, discussion, summary
- [第5回]
 テーマ: Fantastic Mr. Fox, Part 4
 内容・方法: Vocabulary, comprehension, discussion, summary
- [第6回]
 テーマ: Fantastic Mr. Fox, Review, Final Discussion, Final Quiz
 内容・方法: Review book content for overall themes, timed discussion, and quiz
- [第7回]
 テーマ: The Outsiders, Part 1
 内容・方法: Vocabulary, comprehension, discussion, summary
- [第8回]
 テーマ: The Outsiders, Part 2
 内容・方法: Vocabulary, comprehension, discussion, summary
- [第9回]
 テーマ: The Outsiders, Part 3
 内容・方法: Vocabulary, comprehension, discussion, summary
- [第10回]
 テーマ: The Outsiders, Part 4
 内容・方法: Vocabulary, comprehension, discussion, summary
- [第11回]
 テーマ: The Outsiders, Part 5
 内容・方法: Vocabulary, comprehension, discussion, summary
- [第12回]
 テーマ: The Outsiders, Part 6
 内容・方法: Vocabulary, comprehension, discussion, summary
- [第13回]
 テーマ: The Outsiders, Part 7
 内容・方法: Vocabulary, comprehension, discussion, summary
- [第14回]
 テーマ: The Outsiders, Review, Final Discussion, Final Quiz
 内容・方法: Review book content for overall themes, timed discussion, and quiz
- [第15回]
 テーマ: TOEIC Testing

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a 2-credit (2単位) course which requires a total of 90 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 2 hours for preparation assignments before each class AND an additional 2 hours for review assignments after each class.

[第1回]

- ①事前学修課題 : Preview the syllabus, buy books, review discussion phrases from previous courses
- ②事後学修課題 : Complete homework, Review notes on learning strategies, reading strategies

[第2回]

- ①事前学修課題 : Read Fantastic Mr. Fox, Part 1
- ②事後学修課題 : Complete homework, review vocabulary and summary

[第3回]

- ①事前学修課題 : Read Fantastic Mr. Fox, Part 2
- ②事後学修課題 : Complete homework, review vocabulary and summary

[第4回]

- ①事前学修課題 : Read Fantastic Mr. Fox, Part 3
- ②事後学修課題 : Complete homework, review vocabulary and summary

[第5回]

- ①事前学修課題 : Read Fantastic Mr. Fox, Part 4
- ②事後学修課題 : Complete homework, review vocabulary and summary

[第6回]

- ①事前学修課題 : Review course content for discussion and quiz
- ②事後学修課題 : Complete homework, self-reflection

[第7回]

- ①事前学修課題 : Read The Outsiders, Part 1
- ②事後学修課題 : Complete homework, review vocabulary and summary

[第8回]

- ①事前学修課題 : Read The Outsiders, Part 2
- ②事後学修課題 : Complete homework, review vocabulary and summary

[第9回]

- ①事前学修課題 : Read The Outsiders, Part 3
- ②事後学修課題 : Complete homework, review vocabulary and summary

[第10回]

- ①事前学修課題 : Read The Outsiders, Part 4
- ②事後学修課題 : Complete homework, review vocabulary and summary

[第11回]

- ①事前学修課題 : Read The Outsiders, Part 5
- ②事後学修課題 : Complete homework, review vocabulary and summary

[第12回]

- ①事前学修課題 : Read The Outsiders, Part 6
- ②事後学修課題 : Complete homework, review vocabulary and summary

[第13回]

- ①事前学修課題 : Read The Outsiders, Part 7
- ②事後学修課題 : Complete homework, review entire book content and vocabulary

[第14回]

- ①事前学修課題 : Review course content for discussion and quiz
- ②事後学修課題 : Complete homework, self-reflection, Study for TOEIC

[第15回]

- ①事前学修課題 : Study for TOEIC
- ②事後学修課題 : Complete homework, self-reflection

課題に対するフィードバックの方法

Points will be given on assignments (sometimes through the use of rubrics), and comments will given as much as possible. This information will be viewable to students on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Credit for this course will be awarded to students who achieve an overall score of 60% or greater in the following categories. If a student is absent more than four times or does not participate in the major projects and assignments of the course, a [K] will be awarded.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Participation 10%, Section Summaries 20%, Midterm Test and Discussion 20%	1, 2, 3, 5, 6
授業外での評価	30	Vocabulary Quizzes 15%, Comprehension Quizzes 15%	4, 6

定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final Test and Discussion 20%	2, 3, 4
その他	0		

テキスト	Fantastic Mr. Fox 978-0142410349 The Outsiders 978-0140385724		
------	--	--	--

参考書	None		
-----	------	--	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>		
---------------	---	--	--

授業コード	13104952	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Movie & Culture I [対面]				
シラバス執筆(全員)	A. E. リオン				
シラバス執筆(主)	A. E. リオン				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

The main focus of this course is to develop cultural understanding through literature. As a content course, understanding native-level materials is the goal, instead of English language features. There will be many opportunities for discussion and interpretation. In addition, students will compare their own culture to the materials. Some difficult cultural situations are presented in the books. By learning about them, students will find their own voices on the topics. Students are expected to be active in class, and participate in group projects.

到達目標

1. Read two short native-level novels (Outsiders and Fantastic Mr. Fox).
2. Understand culture through literature.
3. Develop critical thinking on social issues.
4. Complete two tests and many section quizzes on book content.
5. Complete two capstone discussions on the themes of each book (10 minutes each).
6. Complete vocabulary quizzes, summaries, and other activities for each section of the books.

授業計画

- [第1回]
 テーマ: Course introduction, Book introduction, Strategies for reading native-level book
 内容・方法: Explain course content, introduce methods of dealing with new vocabulary, checking for understanding
- [第2回]
 テーマ: Fantastic Mr. Fox, Part 1
 内容・方法: Vocabulary, comprehension, discussion, summary
- [第3回]
 テーマ: Fantastic Mr. Fox, Part 2
 内容・方法: Vocabulary, comprehension, discussion, summary
- [第4回]
 テーマ: Fantastic Mr. Fox, Part 3
 内容・方法: Vocabulary, comprehension, discussion, summary
- [第5回]
 テーマ: Fantastic Mr. Fox, Part 4
 内容・方法: Vocabulary, comprehension, discussion, summary
- [第6回]
 テーマ: Fantastic Mr. Fox, Review, Final Discussion, Final Quiz
 内容・方法: Review book content for overall themes, timed discussion, and quiz
- [第7回]
 テーマ: The Outsiders, Part 1
 内容・方法: Vocabulary, comprehension, discussion, summary
- [第8回]
 テーマ: The Outsiders, Part 2
 内容・方法: Vocabulary, comprehension, discussion, summary
- [第9回]
 テーマ: The Outsiders, Part 3
 内容・方法: Vocabulary, comprehension, discussion, summary
- [第10回]
 テーマ: The Outsiders, Part 4
 内容・方法: Vocabulary, comprehension, discussion, summary
- [第11回]
 テーマ: The Outsiders, Part 5
 内容・方法: Vocabulary, comprehension, discussion, summary
- [第12回]
 テーマ: The Outsiders, Part 6
 内容・方法: Vocabulary, comprehension, discussion, summary
- [第13回]
 テーマ: The Outsiders, Part 7
 内容・方法: Vocabulary, comprehension, discussion, summary
- [第14回]
 テーマ: The Outsiders, Review, Final Discussion, Final Quiz
 内容・方法: Review book content for overall themes, timed discussion, and quiz
- [第15回]
 テーマ: TOEIC Testing

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a 2-credit (2単位) course which requires a total of 90 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 2 hours for preparation assignments before each class AND an additional 2 hours for review assignments after each class.

[第1回]

- ①事前学修課題 : Preview the syllabus, buy books, review discussion phrases from previous courses
- ②事後学修課題 : Complete homework, Review notes on learning strategies, reading strategies

[第2回]

- ①事前学修課題 : Read Fantastic Mr. Fox, Part 1
- ②事後学修課題 : Complete homework, review vocabulary and summary

[第3回]

- ①事前学修課題 : Read Fantastic Mr. Fox, Part 2
- ②事後学修課題 : Complete homework, review vocabulary and summary

[第4回]

- ①事前学修課題 : Read Fantastic Mr. Fox, Part 3
- ②事後学修課題 : Complete homework, review vocabulary and summary

[第5回]

- ①事前学修課題 : Read Fantastic Mr. Fox, Part 4
- ②事後学修課題 : Complete homework, review vocabulary and summary

[第6回]

- ①事前学修課題 : Review course content for discussion and quiz
- ②事後学修課題 : Complete homework, self-reflection

[第7回]

- ①事前学修課題 : Read The Outsiders, Part 1
- ②事後学修課題 : Complete homework, review vocabulary and summary

[第8回]

- ①事前学修課題 : Read The Outsiders, Part 2
- ②事後学修課題 : Complete homework, review vocabulary and summary

[第9回]

- ①事前学修課題 : Read The Outsiders, Part 3
- ②事後学修課題 : Complete homework, review vocabulary and summary

[第10回]

- ①事前学修課題 : Read The Outsiders, Part 4
- ②事後学修課題 : Complete homework, review vocabulary and summary

[第11回]

- ①事前学修課題 : Read The Outsiders, Part 5
- ②事後学修課題 : Complete homework, review vocabulary and summary

[第12回]

- ①事前学修課題 : Read The Outsiders, Part 6
- ②事後学修課題 : Complete homework, review vocabulary and summary

[第13回]

- ①事前学修課題 : Read The Outsiders, Part 7
- ②事後学修課題 : Complete homework, review entire book content and vocabulary

[第14回]

- ①事前学修課題 : Review course content for discussion and quiz
- ②事後学修課題 : Complete homework, self-reflection, Study for TOEIC

[第15回]

- ①事前学修課題 : Study for TOEIC
- ②事後学修課題 : Complete homework, self-reflection

課題に対するフィードバックの方法

Points will be given on assignments (sometimes through the use of rubrics), and comments will given as much as possible. This information will be viewable to students on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Credit for this course will be awarded to students who achieve an overall score of 60% or greater in the following categories. If a student is absent more than four times or does not participate in the major projects and assignments of the course, a [K] will be awarded.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Participation 10%, Section Summaries 20%, Midterm Test and Discussion 20%	1, 2, 3, 5, 6
授業外での評価	30	Vocabulary Quizzes 15%, Comprehension Quizzes 15%	4, 6

定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final Test and Discussion 20%	2, 3, 4
その他	0		

テキスト	Fantastic Mr. Fox 978-0142410349 The Outsiders 978-0140385724		
------	--	--	--

参考書	None		
-----	------	--	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>		
---------------	---	--	--

授業コード	13104901	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Movie & Culture I [対面]				
シラバス執筆(全員)	J.C. デン				
シラバス執筆(主)	J.C. デン				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

In this course you will develop your general English ability and learn about business through studying movie scenes. Students will learn simple expressions that are frequently used not only in business situations but also in daily conversation. After mastering simple expressions through listening and writing exercises, students are introduced to expressions used in movie scenes as an application of the expressions learned in each chapter.

到達目標

The objectives of this course are to:

1. Learn simple expressions used in business situations and daily conversation.
2. Expand and develop vocabulary.
3. Develop listening and writing skills.
4. Expose students to American culture.
5. Introduce various industries and fields of business through film.

授業計画

【第1回】

テーマ: Chapter 1 - Catch Me If You Can

内容・方法: Course Introduction and Google Classroom orientation. Explanation of grades, and group project explained. Pronunciation of business expressions; study vocabulary; role play movie scenes; listening and writing activities. Movie summary speech. Group work.

【第2回】

テーマ: Chapter 2 - Maid in Manhattan

内容・方法: Pronunciation of business expressions; study vocabulary & class quiz; role play movie scenes; listening and writing activities. Movie summary speech. Group work.

【第3回】

テーマ: Chapter 3 - The Wedding Planner

内容・方法: Pronunciation of business expressions; study vocabulary & class quiz; role play movie scenes; listening and writing activities. Movie summary speech. Group work.

【第4回】

テーマ: Chapter 4 - School of Rock

内容・方法: Pronunciation of business expressions; study vocabulary & class quiz; role play movie scenes; listening and writing activities. Movie summary speech. Group work.

【第5回】

テーマ: Review week

内容・方法: Vocabulary quiz, useful expression review and quiz. Short presentations. Group project and planning.

【第6回】

テーマ: Chapter 5 - Jerry Maguire

内容・方法: Pronunciation of business expressions; study vocabulary & class quiz; role play movie scenes; listening and writing activities. Movie summary speech. Group work.

【第7回】

テーマ: Chapter 6 - What Women Want

内容・方法: Pronunciation of business expressions; study vocabulary & class quiz; role play movie scenes; listening and writing activities. Movie summary speech. Group work.

【第8回】

テーマ: Chapter 7 - Miracle on 34th Street

内容・方法: Pronunciation of business expressions; study vocabulary & class quiz; role play movie scenes; listening and writing activities. Movie summary speech. Group work.

【第9回】

テーマ: Chapter 8 - Trading Places

内容・方法: Pronunciation of business expressions; study vocabulary & class quiz; role play movie scenes; listening and writing activities. Movie summary speech. Group work.

【第10回】;

テーマ: Review week

内容・方法: Vocabulary quiz, useful expression review and quiz. Short presentations. Group project and planning.

【第11回】

テーマ: Chapter 9 - The Fugitive

内容・方法: Pronunciation of business expressions; study vocabulary & class quiz; role play movie scenes; listening and writing activities. Movie summary speech. Group work.

【第12回】

テーマ： Chapter 10 - The Firm

内容・方法： Pronunciation of business expressions; study vocabulary & class quiz; role play movie scenes; listening and writing activities. Movie summary speech. Group work.

【第13回】

テーマ： Chapter 11 - Ghost

内容・方法： Pronunciation of business expressions; study vocabulary & class quiz; role play movie scenes; listening and writing activities. Movie summary speech.

Group work.

【第14回】

テーマ： Chapter 13 - Baby Boom

内容・方法： Pronunciation of business expressions; study vocabulary & class quiz; role play movie scenes; listening and writing activities. Movie summary speech. Group work.

【第15回】

テーマ： Review week

内容・方法： Vocabulary quiz, useful expression review and quiz. Short presentations. Group project and planning.

Final Evaluation explanation.

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

事前学修課題： Review the syllabus. Purchase the textbook.

事後学修課題： Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases introduced.

【第2回】

事前学修課題： Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Read about the movie "Maid in Manhattan" on the internet.

事後学修課題： Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on group project.

【第3回】

事前学修課題： Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Read about the movie "The Wedding Planner" on the internet.

事後学修課題： Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on group project.

【第4回】

事前学修課題： Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Read about the movie "School of Rock" on the internet.

事後学修課題： Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on group project. Prepare for the review week and speech presentations.

【第5回】

事前学修課題： Prepare for Evaluation 1

事後学修課題： Review results of Evaluation 1

【第6回】

事前学修課題： Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Read about the movie "Jerry Maguire" on the internet.

事後学修課題： Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on group project.

【第7回】

事前学修課題： Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Read about the movie "What Women Want" on the internet.

事後学修課題： Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on group project.

【第8回】

事前学修課題： Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Read about the movie "Miracle of 34th Street" on the internet.

事後学修課題： Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on group project.

【第9回】

事前学修課題： Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Read about the movie "Trading Places" on the internet.

事後学修課題： Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on group project. Prepare for the review week and speech presentations.

【第10回】

事前学修課題： Prepare for Evaluation 2

事後学修課題： Review results of Evaluation 2

【第11回】

事前学修課題： Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Read about the movie "The Fugitive" on the internet.

事後学修課題： Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on group project.

【第12回】

事前学修課題： Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Read about the movie "The Firm" on the internet.

事後学修課題： Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on group project.

【第13回】

事前学修課題 : Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Read about the movie "Ghost" on the internet.

事後学修課題 : Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on group project.

【第14回】

事前学修課題 : Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Read about the movie "Baby Boom" on the internet.

事後学修課題 : Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on group project. Prepare for the review week and speech presentations.

【第15回】

事前学修課題 : Prepare for Evaluation 3

事後学修課題 : Submission of Final Evaluation

課題に対するフィードバックの方法

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.
4. The teacher will tell you your current grade at least three times during the semester. In addition, your grades may also be posted regularly on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

The grade breakdown for this course is as follows:

1. Active participation in class (15%)
2. Vocabulary quizzes (10%)
3. Homework assignments (20%)
4. Semester evaluations (30%)
5. Group project (10%)
6. Final presentation evaluation (15%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	55	Active participation in class (15%), Vocabulary quizzes (10%), semester evaluations (30%)	1, 3, 4
授業外での評価	30	Homework assignments (20%), group project (10%)	2, 4, 5
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	15	Final presentation evaluation (15%)	1, 2, 3, 4, 5
その他	0	none	

テキスト	American Business Scenes; Reiko Akiyoshi, Mariko Boku et. al. 2014, (Kinseido Press) ISBN: 978-4-7647-3846-1
------	--

参考書	none
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできるが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業</p>
---------------	---

履修条件・他の科目との関連

に適しません。

授業コード	13104902	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Movie & Culture I [対面]				
シラバス執筆(全員)	S. D. ラーダー				
シラバス執筆(主)	S. D. ラーダー				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

In this course you will develop your general English ability and learn about business through studying movie scenes. Students will learn simple expressions that are frequently used not only in business situations but also in daily conversation. After mastering simple expressions through listening and writing exercises, students are introduced to expressions used in movie scenes as an application of the expressions learned in each chapter.

到達目標

The objectives of this course are to:

1. Learn simple expressions used in business situations and daily conversation.
2. Expand and develop vocabulary.
3. Develop listening and writing skills.
4. Expose students to American culture.
5. Introduce various industries and fields of business through film.

授業計画

【第1回】

テーマ: Chapter 1 - Catch Me If You Can

内容・方法: Course Introduction and Google Classroom orientation. Explanation of grades, and group project explained. Pronunciation of business expressions; study vocabulary; role play movie scenes; listening and writing activities. Movie summary speech. Group work.

【第2回】

テーマ: Chapter 2 - Maid in Manhattan

内容・方法: Pronunciation of business expressions; study vocabulary & class quiz; role play movie scenes; listening and writing activities. Movie summary speech. Group work.

【第3回】

テーマ: Chapter 3 - The Wedding Planner

内容・方法: Pronunciation of business expressions; study vocabulary & class quiz; role play movie scenes; listening and writing activities. Movie summary speech. Group work.

【第4回】

テーマ: Chapter 4 - School of Rock

内容・方法: Pronunciation of business expressions; study vocabulary & class quiz; role play movie scenes; listening and writing activities. Movie summary speech. Group work.

【第5回】

テーマ: Review week

内容・方法: Vocabulary quiz, useful expression review and quiz. Short presentations. Group project and planning.

【第6回】

テーマ: Chapter 5 - Jerry Maguire

内容・方法: Pronunciation of business expressions; study vocabulary & class quiz; role play movie scenes; listening and writing activities. Movie summary speech. Group work.

【第7回】

テーマ: Chapter 6 - What Women Want

内容・方法: Pronunciation of business expressions; study vocabulary & class quiz; role play movie scenes; listening and writing activities. Movie summary speech. Group work.

【第8回】

テーマ: Chapter 7 - Miracle on 34th Street

内容・方法: Pronunciation of business expressions; study vocabulary & class quiz; role play movie scenes; listening and writing activities. Movie summary speech. Group work.

【第9回】

テーマ: Chapter 8 - Trading Places

内容・方法: Pronunciation of business expressions; study vocabulary & class quiz; role play movie scenes; listening and writing activities. Movie summary speech. Group work.

【第10回】;

テーマ: Review week

内容・方法: Vocabulary quiz, useful expression review and quiz. Short presentations. Group project and planning.

【第11回】

テーマ: Chapter 9 - The Fugitive

内容・方法: Pronunciation of business expressions; study vocabulary & class quiz; role play movie scenes; listening and writing activities. Movie summary speech. Group work.

【第12回】

テーマ： Chapter 10 - The Firm

内容・方法： Pronunciation of business expressions; study vocabulary & class quiz; role play movie scenes; listening and writing activities. Movie summary speech. Group work.

【第13回】

テーマ： Chapter 11 - Ghost

内容・方法： Pronunciation of business expressions; study vocabulary & class quiz; role play movie scenes; listening and writing activities. Movie summary speech.

Group work.

【第14回】

テーマ： Chapter 13 - Baby Boom

内容・方法： Pronunciation of business expressions; study vocabulary & class quiz; role play movie scenes; listening and writing activities. Movie summary speech. Group work.

【第15回】

テーマ： Review week

内容・方法： Vocabulary quiz, useful expression review and quiz. Short presentations. Group project and planning.

Final Evaluation explanation.

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

事前学修課題： Review the syllabus. Purchase the textbook.

事後学修課題： Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases introduced.

【第2回】

事前学修課題： Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Read about the movie "Maid in Manhattan" on the internet.

事後学修課題： Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on group project.

【第3回】

事前学修課題： Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Read about the movie "The Wedding Planner" on the internet.

事後学修課題： Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on group project.

【第4回】

事前学修課題： Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Read about the movie "School of Rock" on the internet.

事後学修課題： Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on group project. Prepare for the review week and speech presentations.

【第5回】

事前学修課題： Prepare for Evaluation 1

事後学修課題： Review results of Evaluation 1

【第6回】

事前学修課題： Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Read about the movie "Jerry Maguire" on the internet.

事後学修課題： Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on group project.

【第7回】

事前学修課題： Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Read about the movie "What Women Want" on the internet.

事後学修課題： Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on group project.

【第8回】

事前学修課題： Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Read about the movie "Miracle of 34th Street" on the internet.

事後学修課題： Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on group project.

【第9回】

事前学修課題： Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Read about the movie "Trading Places" on the internet.

事後学修課題： Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on group project. Prepare for the review week and speech presentations.

【第10回】

事前学修課題： Prepare for Evaluation 2

事後学修課題： Review results of Evaluation 2

【第11回】

事前学修課題： Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Read about the movie "The Fugitive" on the internet.

事後学修課題： Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on group project.

【第12回】

事前学修課題： Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Read about the movie "The Firm" on the internet.

事後学修課題： Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on group project.

【第13回】

事前学修課題 : Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Read about the movie "Ghost" on the internet.

事後学修課題 : Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on group project.

【第14回】

事前学修課題 : Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Read about the movie "Baby Boom" on the internet.

事後学修課題 : Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on group project. Prepare for the review week and speech presentations.

【第15回】

事前学修課題 : Prepare for Evaluation 3

事後学修課題 : Submission of Final Evaluation

課題に対するフィードバックの方法

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.
4. The teacher will tell you your current grade at least three times during the semester. In addition, your grades may also be posted regularly on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

The grade breakdown for this course is as follows:

1. Active participation in class (15%)
2. Vocabulary quizzes (10%)
3. Homework assignments (20%)
4. Semester evaluations (30%)
5. Group project (10%)
6. Final presentation evaluation (15%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	55	Active participation in class (15%), Vocabulary quizzes (10%), semester evaluations (30%)	1, 3, 4
授業外での評価	30	Homework assignments (20%), group project (10%)	2, 4, 5
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	15	Final presentation evaluation (15%)	1, 2, 3, 4, 5
その他	0	none	

テキスト	American Business Scenes; Reiko Akiyoshi, Mariko Boku et. al. 2014, (Kinseido Press) ISBN: 978-4-7647-3846-1
------	--

参考書	none
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできるが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業</p>
---------------	---

履修条件・他の科目との関連

に適しません。

授業コード	13105051	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Movie & Culture II [対面]				
シラバス執筆(全員)	O. J. クロー				
シラバス執筆(主)	O. J. クロー				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

Societal norms have changed a great deal over the last few decades. This course will continue to develop students' understanding of popular foreign culture through the study of a popular American television drama. It will focus on social relationships, expectations, and significant differences from Japanese culture. Similar to the previous course, students will learn strategies to help with watching native-level videos. Steps will be taken to handle unknown vocabulary, slang, and situational references.

到達目標

1. Watch TV dramas with some linguistic support
2. Gain greater understanding about American culture
3. Conduct discussions on cultural elements and issues
4. Find similarities and differences with their own culture
5. Complete two presentations

授業計画

- [第1回]
 テーマ: Course introduction, Learning strategies for the course/How to study
 内容・方法: View the first episode of the drama in class, instructor will demonstrate how to study
- [第2回]
 テーマ: Modern Family: Season 1, Episode 2
 内容・方法: Vocabulary, Comprehension, Scene viewing, Discussion, Summary
- [第3回]
 テーマ: Modern Family: Season 1, Episode 3
 内容・方法: Vocabulary, Comprehension, Scene viewing, Discussion, Summary
- [第4回]
 テーマ: Modern Family: Season 1, Episode 4
 内容・方法: Vocabulary, Comprehension, Scene viewing, Discussion, Summary
- [第5回]
 テーマ: Group Discussion
 内容・方法: Team selection, preparation, recorded discussion, transcript work
- [第6回]
 テーマ: Modern Family: Season 1, Episode 5
 内容・方法: Vocabulary, Comprehension, Scene viewing, Discussion, Summary
- [第7回]
 テーマ: Modern Family: Season 1, Episode 6
 内容・方法: Vocabulary, Comprehension, Scene viewing, Discussion, Summary
- [第8回]
 テーマ: Modern Family: Season 1, Episode 7
 内容・方法: Vocabulary, Comprehension, Scene viewing, Discussion, Summary
- [第9回]
 テーマ: Presentation 1: Cultural Differences, Prepare and Practice
 内容・方法: Brainstorm content, organize, find examples and support, practice
- [第10回]
 テーマ: Presentation 1: Cultural Differences, Performances
 内容・方法: Student performances, self-reflection
- [第11回]
 テーマ: Modern Family: Season 1, Episode 8
 内容・方法: Vocabulary, Comprehension, Scene viewing, Discussion, Summary
- [第12回]
 テーマ: Modern Family: Season 1, Episode 9
 内容・方法: Vocabulary, Comprehension, Scene viewing, Discussion, Summary
- [第13回]
 テーマ: Presentation 2: Cultural Similarities, Prepare and Practice
 内容・方法: Brainstorm content, organize, find examples and support, practice
- [第14回]
 テーマ: Presentation 2: Cultural Similarities, Performances
 内容・方法: Student performances, self-reflection
- [第15回]
 テーマ: TOEIC TEST
 内容・方法: Take TOEIC

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a 2-credit (2単位) course which requires a total of 90 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 2 hours for preparation assignments before each class AND an additional 2 hours for review assignments after each class.

[第1回]

①事前学修課題: Preview the syllabus

②事後学修課題: Review study strategies, review episode 1 content

[第2回]

①事前学修課題: Watch next episode, take notes

②事後学修課題: Complete homework, review vocabulary, practice discussion

[第3回]

①事前学修課題: Watch next episode, take notes

②事後学修課題: Complete homework, review vocabulary, practice discussion

[第4回]

①事前学修課題: Watch next episode, take notes

②事後学修課題: Complete homework, review vocabulary, practice discussion

[第5回]

①事前学修課題: Review class content, prepare discussion questions

②事後学修課題: Complete homework, write team transcript

[第6回]

①事前学修課題: Watch next episode, take notes

②事後学修課題: Complete homework, review vocabulary, practice discussion

[第7回]

①事前学修課題: Watch next episode, take notes

②事後学修課題: Complete homework, review vocabulary, practice discussion

[第8回]

①事前学修課題: Watch next episode, take notes

②事後学修課題: Complete homework, review vocabulary, practice discussion

[第9回]

①事前学修課題: Review drama content, make a list of culture differences

②事後学修課題: Prepare Slides presentation, practice giving presentation

[第10回]

①事前学修課題: Prepare Slides presentation, practice giving presentation

②事後学修課題: Review performance, check instructor feedback, self-evaluation

[第11回]

①事前学修課題: Watch next episode, take notes

②事後学修課題: Complete homework, review vocabulary, practice discussion

[第12回]

①事前学修課題: Watch next episode, take notes

②事後学修課題: Complete homework, review vocabulary, practice discussion

[第13回]

①事前学修課題: Review drama content, make a list of culture differences

②事後学修課題: Prepare Slides presentation, practice giving presentation

[第14回]

①事前学修課題: Prepare Slides presentation, practice giving presentation

②事後学修課題: Review performance, check instructor feedback, self-evaluation

[第15回]

①事前学修課題: Study for TOEIC

②事後学修課題: Submit final assignments

課題に対するフィードバックの方法

Points will be given on assignments (sometimes through the use of rubrics), and comments will given as much as possible. This information will be viewable to students on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Credit for this course will be awarded to students who achieve an overall score of 60% or greater in the following categories. If a student is absent more than four times or does not participate in the major projects and assignments of the course, a [K] will be awarded.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	55	Participation 10%, Episode Summaries 20%, Group Discussion 10%, Presentation 15%	1, 2, 3, 4, 5
授業外での評価	30	Vocabulary Quizzes 15%, Comprehension Quizzes 15%	1, 2, 3

定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	15	Presentation 2 15%	2, 4, 5
その他	0		

テキスト	None
------	------

参考書	None
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13105052	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Movie & Culture II [対面]				
シラバス執筆(全員)	A. E. リオン				
シラバス執筆(主)	A. E. リオン				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

Societal norms have changed a great deal over the last few decades. This course will continue to develop students' understanding of popular foreign culture through the study of a popular American television drama. It will focus on social relationships, expectations, and significant differences from Japanese culture. Similar to the previous course, students will learn strategies to help with watching native-level videos. Steps will be taken to handle unknown vocabulary, slang, and situational references.

到達目標

1. Watch TV dramas with some linguistic support
2. Gain greater understanding about American culture
3. Conduct discussions on cultural elements and issues
4. Find similarities and differences with their own culture
5. Complete two presentations

授業計画

- [第1回]
 テーマ: Course introduction, Learning strategies for the course/How to study
 内容・方法: View the first episode of the drama in class, instructor will demonstrate how to study
- [第2回]
 テーマ: Modern Family: Season 1, Episode 2
 内容・方法: Vocabulary, Comprehension, Scene viewing, Discussion, Summary
- [第3回]
 テーマ: Modern Family: Season 1, Episode 3
 内容・方法: Vocabulary, Comprehension, Scene viewing, Discussion, Summary
- [第4回]
 テーマ: Modern Family: Season 1, Episode 4
 内容・方法: Vocabulary, Comprehension, Scene viewing, Discussion, Summary
- [第5回]
 テーマ: Group Discussion
 内容・方法: Team selection, preparation, recorded discussion, transcript work
- [第6回]
 テーマ: Modern Family: Season 1, Episode 5
 内容・方法: Vocabulary, Comprehension, Scene viewing, Discussion, Summary
- [第7回]
 テーマ: Modern Family: Season 1, Episode 6
 内容・方法: Vocabulary, Comprehension, Scene viewing, Discussion, Summary
- [第8回]
 テーマ: Modern Family: Season 1, Episode 7
 内容・方法: Vocabulary, Comprehension, Scene viewing, Discussion, Summary
- [第9回]
 テーマ: Presentation 1: Cultural Differences, Prepare and Practice
 内容・方法: Brainstorm content, organize, find examples and support, practice
- [第10回]
 テーマ: Presentation 1: Cultural Differences, Performances
 内容・方法: Student performances, self-reflection
- [第11回]
 テーマ: Modern Family: Season 1, Episode 8
 内容・方法: Vocabulary, Comprehension, Scene viewing, Discussion, Summary
- [第12回]
 テーマ: Modern Family: Season 1, Episode 9
 内容・方法: Vocabulary, Comprehension, Scene viewing, Discussion, Summary
- [第13回]
 テーマ: Presentation 2: Cultural Similarities, Prepare and Practice
 内容・方法: Brainstorm content, organize, find examples and support, practice
- [第14回]
 テーマ: Presentation 2: Cultural Similarities, Performances
 内容・方法: Student performances, self-reflection
- [第15回]
 テーマ: TOEIC TEST
 内容・方法: Take TOEIC

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a 2-credit (2単位) course which requires a total of 90 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 2 hours for preparation assignments before each class AND an additional 2 hours for review assignments after each class.

[第1回]

①事前学修課題: Preview the syllabus

②事後学修課題: Review study strategies, review episode 1 content

[第2回]

①事前学修課題: Watch next episode, take notes

②事後学修課題: Complete homework, review vocabulary, practice discussion

[第3回]

①事前学修課題: Watch next episode, take notes

②事後学修課題: Complete homework, review vocabulary, practice discussion

[第4回]

①事前学修課題: Watch next episode, take notes

②事後学修課題: Complete homework, review vocabulary, practice discussion

[第5回]

①事前学修課題: Review class content, prepare discussion questions

②事後学修課題: Complete homework, write team transcript

[第6回]

①事前学修課題: Watch next episode, take notes

②事後学修課題: Complete homework, review vocabulary, practice discussion

[第7回]

①事前学修課題: Watch next episode, take notes

②事後学修課題: Complete homework, review vocabulary, practice discussion

[第8回]

①事前学修課題: Watch next episode, take notes

②事後学修課題: Complete homework, review vocabulary, practice discussion

[第9回]

①事前学修課題: Review drama content, make a list of culture differences

②事後学修課題: Prepare Slides presentation, practice giving presentation

[第10回]

①事前学修課題: Prepare Slides presentation, practice giving presentation

②事後学修課題: Review performance, check instructor feedback, self-evaluation

[第11回]

①事前学修課題: Watch next episode, take notes

②事後学修課題: Complete homework, review vocabulary, practice discussion

[第12回]

①事前学修課題: Watch next episode, take notes

②事後学修課題: Complete homework, review vocabulary, practice discussion

[第13回]

①事前学修課題: Review drama content, make a list of culture differences

②事後学修課題: Prepare Slides presentation, practice giving presentation

[第14回]

①事前学修課題: Prepare Slides presentation, practice giving presentation

②事後学修課題: Review performance, check instructor feedback, self-evaluation

[第15回]

①事前学修課題: Study for TOEIC

②事後学修課題: Submit final assignments

課題に対するフィードバックの方法

Points will be given on assignments (sometimes through the use of rubrics), and comments will given as much as possible. This information will be viewable to students on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Credit for this course will be awarded to students who achieve an overall score of 60% or greater in the following categories. If a student is absent more than four times or does not participate in the major projects and assignments of the course, a [K] will be awarded.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	55	Participation 10%, Episode Summaries 20%, Group Discussion 10%, Presentation 15%	1, 2, 3, 4, 5
授業外での評価	30	Vocabulary Quizzes 15%, Comprehension Quizzes 15%	1, 2, 3

定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	15	Presentation 2 15%	2, 4, 5
その他	0		

テキスト	None
------	------

参考書	None
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13105001	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Movie & Culture II [対面]				
シラバス執筆(全員)	J. C. デン				
シラバス執筆(主)	J. C. デン				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

In this course you will develop your general English ability by studying movie scenes. Through a variety of film-related activities such as dictation, role-playing, subtitling, reviewing, etc., we aim to cultivate the four skills, including not only the ability to comprehend but also the ability to produce language and think critically.

到達目標

The objectives of this course are to:

1. Learn simple expressions used in business situations.
2. Expand and develop vocabulary.
3. Develop listening and writing skills.
4. Help students express their opinions creatively.
5. Expose students to different types of industries and businesses through film.

授業計画

第1回】

テーマ: Unit 1 - Forming the Band, Queen (start)

内容・方法: Course Introduction and Google Classroom orientation. Explanation of grades, and writing portfolio explained. Plot synopsis; vocabulary check; reading and comprehension review; study expressions.

【第2回】

テーマ: Unit 1 - Forming the Band, Queen (finish)

内容・方法: Movie viewing 1・2・3. Critical thinking and discussion. Active learning and group work.

【第3回】

テーマ: Unit 2 - Bohemian Rhapsody

内容・方法: Movie review; vocabulary check; reading and comprehension review; study expressions; movie viewing 1・2・3. Critical thinking and discussion. Active learning and group work.

【第4回】

テーマ: Unit 3 - Drifting Apart

内容・方法: Movie review; vocabulary check; reading and comprehension review; study expressions; movie viewing 1・2・3. Critical thinking and discussion. Active learning and group work.

【第5回】

テーマ: Unit 4 - The Truth Comes Out

内容・方法: Background information; vocabulary check; reading and comprehension review; study expressions; movie viewing 1・2・3・4. Critical thinking and discussion. Active learning and group work.

【第6回】

テーマ: Unit 5 - Performing in Live Aid

内容・方法: Background information; vocabulary check; reading and comprehension review; study expressions; movie viewing 1・2・3・4. Critical thinking and discussion. Active learning and group work.

【第7回】

テーマ: Review Week - Bohemian Rhapsody

内容・方法: Film review; writing and portfolio preparation.

【第8回】

テーマ: Evaluation 1: Units 1-5

内容・方法: Chapter review test.

【第9回】

テーマ: Unit 6 - Applying for a Senior Internship

内容・方法: Plot synopsis; vocabulary check; reading and comprehension review; study expressions; movie viewing 1・2・3. Critical thinking and discussion. Active learning and group work.

【第10回】

テーマ: Unit 7 - The Working Environment at ATF

内容・方法: Movie review; vocabulary check; reading and comprehension review; study expressions; movie viewing 1・2・3. Critical thinking and discussion. Active learning and group work.

【第11回】

テーマ: Unit 8 - The Problems ATF Faces

内容・方法: Movie review; vocabulary check; reading and comprehension review; study expressions; movie viewing 1・2・3. Critical thinking and discussion. Active learning and group work.

【第12回】

テーマ: Unit 9 - Working Women & Work-Life Balance

内容・方法: Background information; vocabulary check; reading and comprehension review; study

expressions; movie viewing 1・2・3・4. Critical thinking and discussion. Active learning and group work.

【第13回】

テーマ：Unit 10 - The Possibility of Hiring a New CEO

内容・方法：Background information; vocabulary check; reading and comprehension review; study expressions; movie viewing 1・2・3. Critical thinking and discussion. Active learning and group work.

【第14回】

テーマ：Review Week - The Intern

内容・方法：Film review; writing and portfolio preparation.

【第15回】

テーマ：Evaluation 2: Units 6-10

内容・方法：Chapter review test. Final Evaluation explanation.

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。

【第1回】

事前学修課題：Review the syllabus. Purchase the textbook.

事後学修課題：Complete Homework assignments.

【第2回】

事前学修課題：Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Preview the movie scenes to be watched in class.

事後学修課題：Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on portfolio.

【第3回】

事前学修課題：Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Preview the movie scenes to be watched in class.

事後学修課題：Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on portfolio.

【第4回】

事前学修課題：Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Preview the movie scenes to be watched in class.

事後学修課題：Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on portfolio.

【第5回】

事前学修課題：Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Preview the movie scenes to be watched in class.

事後学修課題：Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on portfolio.

【第6回】

事前学修課題：Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Preview the movie scenes to be watched in class.

事後学修課題：Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on portfolio.

【第7回】

事前学修課題：Review chapters 1-5

事後学修課題：Work on portfolio.

【第8回】

事前学修課題：Prepare for Evaluation 1

事後学修課題：Review results of Evaluation 1

【第9回】

事前学修課題：Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Preview the movie scenes to be watched in class.

事後学修課題：Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on portfolio.

【第10回】

事前学修課題：Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Preview the movie scenes to be watched in class.

事後学修課題：Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on portfolio.

【第11回】

事前学修課題：Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Preview the movie scenes to be watched in class.

事後学修課題：Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on portfolio.

【第12回】

事前学修課題：Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Preview the movie scenes to be watched in class.

事後学修課題：Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on portfolio.

【第13回】

事前学修課題：Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Preview the movie scenes to be watched in class.

事後学修課題：Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the

phrases. Work on portfolio.

【第14回】

事前学修課題 : Review chapters 6-10

事後学修課題 : Work on portfolio.

【第15回】

事前学修課題 : Prepare for Evaluation 2

事後学修課題 : Submission of Final Evaluation

課題に対するフィードバックの方法

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.
4. The teacher will tell you your current grade at least three times during the semester. In addition, your grades may also be posted regularly on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

The grade breakdown for this course is as follows:

1. Active participation in class (10%).
2. Vocabulary and Dictation quizzes (10%).
3. Evaluations (30%).
4. Homework assignments (20%).
5. Self-study units (10%).
6. Final writing portfolio (20%).

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Active participation in class (10%), vocabulary and dictation quizzes (10%), evaluations (30%).	1, 3, 4, 5
授業外での評価	30	homework assignments (20%), self-study units (10%).	2, 3
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final writing portfolio evaluation (20%)	4
その他	0	none	

テキスト	Active English through Movies, Kayoko Shiomi, Matthew Coomber, Kanako Miyabayashi, 2021, Kinseido ISBN: 978-4-7647-4125-6
------	---

参考書	none
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13105002	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Movie & Culture II [対面]				
シラバス執筆(全員)	S. D. ラーダー				
シラバス執筆(主)	S. D. ラーダー				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

In this course you will develop your general English ability by studying movie scenes. Through a variety of film-related activities such as dictation, role-playing, subtitling, reviewing, etc., we aim to cultivate the four skills, including not only the ability to comprehend but also the ability to produce language and think critically.

到達目標

The objectives of this course are to:

1. Learn simple expressions used in business situations.
2. Expand and develop vocabulary.
3. Develop listening and writing skills.
4. Help students express their opinions creatively.
5. Expose students to different types of industries and businesses through film.

授業計画

第1回】

テーマ：Unit 1 - Forming the Band, Queen (start)

内容・方法：Course Introduction and Google Classroom orientation. Explanation of grades, and writing portfolio explained. Plot synopsis; vocabulary check; reading and comprehension review; study expressions.

【第2回】

テーマ：Unit 1 - Forming the Band, Queen (finish)

内容・方法：Movie viewing 1・2・3. Critical thinking and discussion. Active learning and group work.

【第3回】

テーマ：Unit 2 - Bohemian Rhapsody

内容・方法：Movie review; vocabulary check; reading and comprehension review; study expressions; movie viewing 1・2・3. Critical thinking and discussion. Active learning and group work.

【第4回】

テーマ：Unit 3 - Drifting Apart

内容・方法：Movie review; vocabulary check; reading and comprehension review; study expressions; movie viewing 1・2・3. Critical thinking and discussion. Active learning and group work.

【第5回】

テーマ：Unit 4 - The Truth Comes Out

内容・方法：Background information; vocabulary check; reading and comprehension review; study expressions; movie viewing 1・2・3・4. Critical thinking and discussion. Active learning and group work.

【第6回】

テーマ：Unit 5 - Performing in Live Aid

内容・方法：Background information; vocabulary check; reading and comprehension review; study expressions; movie viewing 1・2・3・4. Critical thinking and discussion. Active learning and group work.

【第7回】

テーマ：Review Week - Bohemian Rhapsody

内容・方法：Film review; writing and portfolio preparation.

【第8回】

テーマ：Evaluation 1: Units 1-5

内容・方法：Chapter review test.

【第9回】

テーマ：Unit 6 - Applying for a Senior Internship

内容・方法：Plot synopsis; vocabulary check; reading and comprehension review; study expressions; movie viewing 1・2・3. Critical thinking and discussion. Active learning and group work.

【第10回】

テーマ：Unit 7 - The Working Environment at ATF

内容・方法：Movie review; vocabulary check; reading and comprehension review; study expressions; movie viewing 1・2・3. Critical thinking and discussion. Active learning and group work.

【第11回】

テーマ：Unit 8 - The Problems ATF Faces

内容・方法：Movie review; vocabulary check; reading and comprehension review; study expressions; movie viewing 1・2・3. Critical thinking and discussion. Active learning and group work.

【第12回】

テーマ：Unit 9 - Working Women & Work-Life Balance

内容・方法：Background information; vocabulary check; reading and comprehension review; study

expressions; movie viewing 1・2・3・4. Critical thinking and discussion. Active learning and group work.

【第13回】

テーマ：Unit 10 - The Possibility of Hiring a New CEO

内容・方法：Background information; vocabulary check; reading and comprehension review; study expressions; movie viewing 1・2・3. Critical thinking and discussion. Active learning and group work.

【第14回】

テーマ：Review Week - The Intern

内容・方法：Film review; writing and portfolio preparation.

【第15回】

テーマ：Evaluation 2: Units 6-10

内容・方法：Chapter review test. Final Evaluation explanation.

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。

【第1回】

事前学修課題：Review the syllabus. Purchase the textbook.

事後学修課題：Complete Homework assignments.

【第2回】

事前学修課題：Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Preview the movie scenes to be watched in class.

事後学修課題：Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on portfolio.

【第3回】

事前学修課題：Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Preview the movie scenes to be watched in class.

事後学修課題：Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on portfolio.

【第4回】

事前学修課題：Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Preview the movie scenes to be watched in class.

事後学修課題：Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on portfolio.

【第5回】

事前学修課題：Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Preview the movie scenes to be watched in class.

事後学修課題：Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on portfolio.

【第6回】

事前学修課題：Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Preview the movie scenes to be watched in class.

事後学修課題：Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on portfolio.

【第7回】

事前学修課題：Review chapters 1-5

事後学修課題：Work on portfolio.

【第8回】

事前学修課題：Prepare for Evaluation 1

事後学修課題：Review results of Evaluation 1

【第9回】

事前学修課題：Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Preview the movie scenes to be watched in class.

事後学修課題：Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on portfolio.

【第10回】

事前学修課題：Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Preview the movie scenes to be watched in class.

事後学修課題：Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on portfolio.

【第11回】

事前学修課題：Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Preview the movie scenes to be watched in class.

事後学修課題：Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on portfolio.

【第12回】

事前学修課題：Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Preview the movie scenes to be watched in class.

事後学修課題：Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the phrases. Work on portfolio.

【第13回】

事前学修課題：Review the material in the textbook to be studied in this lesson. Preview the movie scenes to be watched in class.

事後学修課題：Review the vocabulary and complete homework assignments. Review and memorize the

phrases. Work on portfolio.

【第14回】

事前学修課題 : Review chapters 6-10

事後学修課題 : Work on portfolio.

【第15回】

事前学修課題 : Prepare for Evaluation 2

事後学修課題 : Submission of Final Evaluation

課題に対するフィードバックの方法

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.
4. The teacher will tell you your current grade at least three times during the semester. In addition, your grades may also be posted regularly on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

The grade breakdown for this course is as follows:

1. Active participation in class (10%).
2. Vocabulary and Dictation quizzes (10%).
3. Evaluations (30%).
4. Homework assignments (20%).
5. Self-study units (10%).
6. Final writing portfolio (20%).

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Active participation in class (10%), vocabulary and dictation quizzes (10%), evaluations (30%).	1, 3, 4, 5
授業外での評価	30	homework assignments (20%), self-study units (10%).	2, 3
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final writing portfolio evaluation (20%)	4
その他	0	none	

テキスト	Active English through Movies, Kayoko Shiomi, Matthew Coomber, Kanako Miyabayashi, 2021, Kinseido ISBN: 978-4-7647-4125-6
------	---

参考書	none
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	---

授業コード	13105151	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Business Design I [対面]				
シラバス執筆(全員)	A. ナデュー				
シラバス執筆(主)	A. ナデュー				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

Business is an important part of daily life for everyone. In this seminar style course, students will study in English about how to design a business and create their own company using the Business Model Canvas (BMC). The BMC is one of the most well-known business models used to help entrepreneurs transform a business idea into an organized strategy and an actionable business plan. By the end of this course, students will gain a basic understanding of the different aspects of the BMC and an understanding of the nine business segments from the value proposition and customer segments to operations and the financials that the BMC lays out as essential to establishing a business. In this seminar course, students will employ note-taking skills, read and summarize articles, establishing working groups to discuss the segments of the BMC, give short presentations. There are weekly writing homework assignments and a BMC coffee shop group project. For vocabulary development, students will study words using Business Vocabulary quizzes. Additional business vocabulary will be acquired through weekly mini-lectures. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom. Additionally, a projects about English job interviews and English CV writing are included.

到達目標

Course Goals:

1. Learn information about business design using a business model canvas (BMC).
2. Experience mini-lectures, practice note-taking, participate in discussions and give presentations.
4. Complete a two-part task-based project involving a business model canvas.
5. Complete weekly writing assignments discussing BMC components and applying them.
6. Learn how to paraphrase, quote and cite references in MLA style.
7. Complete business vocabulary tasks with 13 weekly quizzes.

授業計画

[第1回]

テーマ: Course introduction and overview. Google Classroom registration. Business Vocabulary review.
 内容・方法: Business vocabulary study. Group Discussion - Coffee shops (favorites, likes, dislikes, products, services, target customers). Mini-lecture/note taking 1: What is a business model, what is the BMC. HWK Writing assignment: Find a definition of a business model (paraphrase 6 quote source) & a definition of the BMC (paraphrase & quote source).

[第2回]

テーマ: Coffee shop ideas - BMC Project groups - defining the group's coffee shop business. MLA format

内容・方法: Business vocabulary quiz, Learning how to cite a source: (website MLA format). Mini-lecture/note taking 2: Coffee shops businesses. Pair work: students present ideas for a coffee shop - my ideal coffee shop. BMC Project: Discussions on types (standard and niche) of coffee shops and forming groups. HWK Writing assignment: Make a comparison table of two coffee shop businesses and your coffee shop and show the similarities and differences.

[第3回]

テーマ: BMC: Value Proposition 1, Citing YouTube sources MLA format

内容・方法: Business vocabulary quiz, Mini-lecture/note taking 3: Value Proposition. Business vocabulary worksheet. BMC project: Discussion of your company's value proposition. HWK Writing assignment: Write a paragraph explaining and defining the BMC Value Proposition (cite 2 website sources and 1 YouTube source) and write short description of your company's value proposition.

[第4回]

テーマ: BMC: Value Proposition 2, Citing YouTube sources MLA format

内容・方法: Business vocabulary quiz, Mini-lecture/note taking 4: Value Proposition. Business vocabulary worksheet. BMC project: Refining and clarifying your company's value proposition. Groups present their company's Value Proposition. Group Presentation Project: Value Proposition Power Point slides (one to explain BMC-VP, another to apply VP to their coffee shop).

[第5回]

テーマ: BMC: Customer Segments 1, Using quotes vs. paraphrasing

内容・方法: Business vocabulary quiz, Mini-lecture/note taking 4: Customer Segments 1. Business vocabulary worksheet. BMC project: Discussion of your company's customer segment. HWK Writing assignment: Write a paragraph explaining and defining the BMC Customer Segment (cite 2 website sources and 1 YouTube source) and write short description of your company's customer segment.

[第6回]

テーマ: BMC: Customer Segments 2, Using quotes vs. paraphrasing.

内容・方法: Business vocabulary quiz, Mini-lecture/note taking 5: Customer relationships 2.

Business vocabulary worksheet. BMC project: Refining and clarifying your company's customer segment. Groups present their company's Customer Segment. Group Presentation Project: Customer Segments Power Point slides (one to explain BMC-CS, another to apply to CS their coffee shop).

[第7回]

テーマ: BMC: Customer relationships part 1, Note taking and paraphrasing

内容・方法: Business vocabulary quiz, Mini-lecture/note taking 6: Customer Relationships 1.

Business vocabulary worksheet. BMC project: Discussion of your company's Customer Relationships. HWK Writing assignment: Find and watch a YouTube video that explains and defines the BMC Customer Relationship (cite YouTube source), take notes and write a paragraph paraphrasing the CR concept.

[第8回]

テーマ: BMC: Customer relationships part 2, Citations from articles Grade Review.

内容・方法: Business vocabulary quiz, Mini-lecture/note taking 7: Customer Relationships 2.

Business vocabulary worksheet. BMC project: Refining and clarifying your company's Customer Relationships. HWK Writing assignment: write a paragraph about the BMC CR, mention types of CR (cite article sources) and discuss which are best for your company.

[第9回]

テーマ: BMC: Customer relationships part 3, Citations in slides

内容・方法: Business vocabulary quiz, Mini-lecture/note taking 8: Customer Relationships 3.

Business vocabulary worksheet. BMC project: Refining and clarifying your company's Customer Relationships. Groups present their company's Customer Relationships. Group Presentation Project: Customer Relationships Power Point slides (one to explain BMC-CR, another to apply to CR their coffee shop).

[第10回]

テーマ: BMC: Channels part 1, Citations from articles

内容・方法: Business vocabulary quiz, Mini-lecture/note taking 9: Channels 1. Business vocabulary worksheet. BMC project: Discussion of your company's Channels. HWK Writing assignment: Write a paragraph explaining and defining the BMC Channels (cite 2 articles) and write short description of your company's channels.

[第11回]

テーマ: BMC: Channels part 2. Quotes and citations in slides

内容・方法: Business vocabulary quiz, Mini-lecture/note taking 10: Customer channels 2. Business vocabulary worksheet. BMC project: Refining and clarifying your company's Channels. Groups present their company's Channels. Group Presentation Project: Channels Power Point slides (one to explain BMC-CH, another to apply to CH their coffee shop, use quotes & cite them),

[第12回]

テーマ: BMC: Revenue streams part 1. Citations review, articles, websites, YouTube (MLA)

内容・方法: Business vocabulary quiz, Mini-lecture/note taking 11: Channels 1. Business vocabulary worksheet. BMC project: Discussion of your company's Revenue streams. HWK Writing assignment: Write a paragraph explaining and defining the BMC RS (cite 2 sources) and write short description of your company's revenue stream.

[第13回]

テーマ: BMC: Revenue streams part 2.

内容・方法: Business vocabulary quiz, Mini-lecture/note taking 12: Customer channels 2. Business vocabulary worksheet. BMC project: Refining and clarifying your company's Revenue Sources. Groups present their company's Revenue Sources. Group Presentation Project: Revenue Sources Power Point slides (one to explain BMC-RS, another to apply to RS their coffee shop, use quotes & cite them),

[第14回]

テーマ: BMC: Review of Building blocks - VP; CS; CH; CR & RS. Power Point slide content & visual presentation. Evaluation criteria. Grade Review.

内容・方法: Business vocabulary quiz, Groups prepare their final Power Point presentation. HWK: submit the final Power Point presentation.

[第15回]

テーマ: Final BMC presentations by group.

内容・方法: Explanation of final examination. Essay describing their coffee shop business in terms of the BMC model.

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a two-credit (2単位) course which requires a total of 90 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 2 hours for preparation assignments before each class AND an additional 2 hours for review assignments after each class.

[第1回]

①事前学修課題: Preview syllabus, Register for Google Classroom

②事後学修課題: Compile and tidy up lecture notes, Review information on Google Classroom. HWK Writing assignment

[第2回]

①事前学修課題: Business Vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.

②事後学修課題: Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.

[第3回]

①事前学修課題: Business Vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.

②事後学修課題: Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.

[第4回]

- ①事前学修課題 : Business Vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Group Presentation Project.
 [第 5 回]
- ①事前学修課題 : Business Vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.
 [第 6 回]
- ①事前学修課題 : Business Vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Group Presentation Project.
 [第 7 回]
- ①事前学修課題 : Business Vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.
 [第 8 回]
- ①事前学修課題 : Business Vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.
 [第 9 回]
- ①事前学修課題 : Business Vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Group Presentation Project.
 [第 10 回]
- ①事前学修課題 : Business Vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.
 [第 11 回]
- ①事前学修課題 : Business Vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Group Presentation Project.
 [第 12 回]
- ①事前学修課題 : Business Vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Complete homework, listen to material again
 [第 13 回]
- ①事前学修課題 : Business Vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Review all class notes. HWK Writing assignment.
 [第 14 回]
- ①事前学修課題 : Business Vocabulary study. Review your previous class notes of the course. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Prepare for presentation. Submit power point presentation
 [第 15 回]
- ②事前学修課題 : Prepare for the final presentation
 ②事後学修課題 : Submit final essay examination.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.
4. The teacher will tell you your current grade at least three times during the semester. In addition, your grades may also be posted regularly on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

The grade breakdown for this course is as follows:

1. Project part 1, bi-weekly presentations - 10%
2. Project part 2, final power point presentation - 20%
3. Homework Writing Assignments - 20%
4. Class Activities and discussions - 20%
5. Business vocabulary quizzes - 10%
6. Final Examination Essay - 20%

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	Project part 1 (10%), Project part 2 (20%), Class activities and discussions (20%), Business vocabulary quizzes (10%)	1, 2, 3, 4, 6
授業外での評価	20	Writing Assignments (20%)	5, 6

定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final Examination Essay (20%)	7
その他	0	none	

テキスト	Handouts and class materials		
------	------------------------------	--	--

参考書	none		
-----	------	--	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>		
---------------	--	--	--

授業コード	13105152	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Business Design I [対面]				
シラバス執筆(全員)	M. H. バナム				
シラバス執筆(主)	M. H. バナム				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

Business is an important part of daily life for everyone. In this seminar style course, students will study in English about how to design a business and create their own company using the Business Model Canvas (BMC). The BMC is one of the most well-known business models used to help entrepreneurs transform a business idea into an organized strategy and an actionable business plan. By the end of this course, students will gain a basic understanding of the different aspects of the BMC and an understanding of the nine business segments from the value proposition and customer segments to operations and the financials that the BMC lays out as essential to establishing a business. In this seminar course, students will employ note-taking skills, read and summarize articles, establishing working groups to discuss the segments of the BMC, give short presentations. There are weekly writing homework assignments and a BMC coffee shop group project. For vocabulary development, students will study words using Business Vocabulary quizzes. Additional business vocabulary will be acquired through weekly mini-lectures. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom. Additionally, a projects about English job interviews and English CV writing are included.

到達目標

Course Goals:

1. Learn information about business design using a business model canvas (BMC).
2. Experience mini-lectures, practice note-taking, participate in discussions and give presentations.
4. Complete a two-part task-based project involving a business model canvas.
5. Complete weekly writing assignments discussing BMC components and applying them.
6. Learn how to paraphrase, quote and cite references in MLA style.
7. Complete business vocabulary tasks with 13 weekly quizzes.

授業計画

[第1回]

テーマ: Course introduction and overview. Google Classroom registration. Business Vocabulary review.
 内容・方法: Business vocabulary study. Group Discussion - Coffee shops (favorites, likes, dislikes, products, services, target customers). Mini-lecture/note taking 1: What is a business model, what is the BMC. HWK Writing assignment: Find a definition of a business model (paraphrase 6 quote source) & a definition of the BMC (paraphrase & quote source).

[第2回]

テーマ: Coffee shop ideas - BMC Project groups - defining the group's coffee shop business. MLA format

内容・方法: Business vocabulary quiz, Learning how to cite a source: (website MLA format). Mini-lecture/note taking 2: Coffee shops businesses. Pair work: students present ideas for a coffee shop - my ideal coffee shop. BMC Project: Discussions on types (standard and niche) of coffee shops and forming groups. HWK Writing assignment: Make a comparison table of two coffee shop businesses and your coffee shop and show the similarities and differences.

[第3回]

テーマ: BMC: Value Proposition 1, Citing YouTube sources MLA format

内容・方法: Business vocabulary quiz, Mini-lecture/note taking 3: Value Proposition. Business vocabulary worksheet. BMC project: Discussion of your company's value proposition. HWK Writing assignment: Write a paragraph explaining and defining the BMC Value Proposition (cite 2 website sources and 1 YouTube source) and write short description of your company's value proposition.

[第4回]

テーマ: BMC: Value Proposition 2, Citing YouTube sources MLA format

内容・方法: Business vocabulary quiz, Mini-lecture/note taking 4: Value Proposition. Business vocabulary worksheet. BMC project: Refining and clarifying your company's value proposition. Groups present their company's Value Proposition. Group Presentation Project: Value Proposition Power Point slides (one to explain BMC-VP, another to apply VP to their coffee shop).

[第5回]

テーマ: BMC: Customer Segments 1, Using quotes vs. paraphrasing

内容・方法: Business vocabulary quiz, Mini-lecture/note taking 4: Customer Segments 1. Business vocabulary worksheet. BMC project: Discussion of your company's customer segment. HWK Writing assignment: Write a paragraph explaining and defining the BMC Customer Segment (cite 2 website sources and 1 YouTube source) and write short description of your company's customer segment.

[第6回]

テーマ: BMC: Customer Segments 2, Using quotes vs. paraphrasing.

内容・方法: Business vocabulary quiz, Mini-lecture/note taking 5: Customer relationships 2.

Business vocabulary worksheet. BMC project: Refining and clarifying your company's customer segment. Groups present their company's Customer Segment. Group Presentation Project: Customer Segments Power Point slides (one to explain BMC-CS, another to apply to CS their coffee shop).

[第7回]

テーマ: BMC: Customer relationships part 1, Note taking and paraphrasing

内容・方法: Business vocabulary quiz, Mini-lecture/note taking 6: Customer Relationships 1.

Business vocabulary worksheet. BMC project: Discussion of your company's Customer Relationships. HWK Writing assignment: Find and watch a YouTube video that explains and defines the BMC Customer Relationship (cite YouTube source), take notes and write a paragraph paraphrasing the CR concept.

[第8回]

テーマ: BMC: Customer relationships part 2, Citations from articles Grade Review.

内容・方法: Business vocabulary quiz, Mini-lecture/note taking 7: Customer Relationships 2.

Business vocabulary worksheet. BMC project: Refining and clarifying your company's Customer Relationships. HWK Writing assignment: write a paragraph about the BMC CR, mention types of CR (cite article sources) and discuss which are best for your company.

[第9回]

テーマ: BMC: Customer relationships part 3, Citations in slides

内容・方法: Business vocabulary quiz, Mini-lecture/note taking 8: Customer Relationships 3.

Business vocabulary worksheet. BMC project: Refining and clarifying your company's Customer Relationships. Groups present their company's Customer Relationships. Group Presentation Project: Customer Relationships Power Point slides (one to explain BMC-CR, another to apply to CR their coffee shop).

[第10回]

テーマ: BMC: Channels part 1, Citations from articles

内容・方法: Business vocabulary quiz, Mini-lecture/note taking 9: Channels 1. Business vocabulary worksheet. BMC project: Discussion of your company's Channels. HWK Writing assignment: Write a paragraph explaining and defining the BMC Channels (cite 2 articles) and write short description of your company's channels.

[第11回]

テーマ: BMC: Channels part 2. Quotes and citations in slides

内容・方法: Business vocabulary quiz, Mini-lecture/note taking 10: Customer channels 2. Business vocabulary worksheet. BMC project: Refining and clarifying your company's Channels. Groups present their company's Channels. Group Presentation Project: Channels Power Point slides (one to explain BMC-CH, another to apply to CH their coffee shop, use quotes & cite them),

[第12回]

テーマ: BMC: Revenue streams part 1. Citations review, articles, websites, YouTube (MLA)

内容・方法: Business vocabulary quiz, Mini-lecture/note taking 11: Channels 1. Business vocabulary worksheet. BMC project: Discussion of your company's Revenue streams. HWK Writing assignment: Write a paragraph explaining and defining the BMC RS (cite 2 sources) and write short description of your company's revenue stream.

[第13回]

テーマ: BMC: Revenue streams part 2.

内容・方法: Business vocabulary quiz, Mini-lecture/note taking 12: Customer channels 2. Business vocabulary worksheet. BMC project: Refining and clarifying your company's Revenue Sources. Groups present their company's Revenue Sources. Group Presentation Project: Revenue Sources Power Point slides (one to explain BMC-RS, another to apply to RS their coffee shop, use quotes & cite them),

[第14回]

テーマ: BMC: Review of Building blocks - VP; CS; CH; CR & RS. Power Point slide content & visual presentation. Evaluation criteria. Grade Review.

内容・方法: Business vocabulary quiz, Groups prepare their final Power Point presentation. HWK: submit the final Power Point presentation.

[第15回]

テーマ: Final BMC presentations by group.

内容・方法: Explanation of final examination. Essay describing their coffee shop business in terms of the BMC model.

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a two-credit (2単位) course which requires a total of 90 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 2 hours for preparation assignments before each class AND an additional 2 hours for review assignments after each class.

[第1回]

①事前学修課題: Preview syllabus, Register for Google Classroom

②事後学修課題: Compile and tidy up lecture notes, Review information on Google Classroom. HWK Writing assignment

[第2回]

①事前学修課題: Business Vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.

②事後学修課題: Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.

[第3回]

①事前学修課題: Business Vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.

②事後学修課題: Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.

[第4回]

- ①事前学修課題 : Business Vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Group Presentation Project.
 [第 5 回]
- ①事前学修課題 : Business Vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.
 [第 6 回]
- ①事前学修課題 : Business Vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Group Presentation Project.
 [第 7 回]
- ①事前学修課題 : Business Vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.
 [第 8 回]
- ①事前学修課題 : Business Vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.
 [第 9 回]
- ①事前学修課題 : Business Vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Group Presentation Project.
 [第 10 回]
- ①事前学修課題 : Business Vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.
 [第 11 回]
- ①事前学修課題 : Business Vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Group Presentation Project.
 [第 12 回]
- ①事前学修課題 : Business Vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Complete homework, listen to material again
 [第 13 回]
- ①事前学修課題 : Business Vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Review all class notes. HWK Writing assignment.
 [第 14 回]
- ①事前学修課題 : Business Vocabulary study. Review your previous class notes of the course. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Prepare for presentation. Submit power point presentation
 [第 15 回]
- ②事前学修課題 : Prepare for the final presentation
 ②事後学修課題 : Submit final essay examination.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.
4. The teacher will tell you your current grade at least three times during the semester. In addition, your grades may also be posted regularly on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

The grade breakdown for this course is as follows:

1. Project part 1, bi-weekly presentations - 10%
2. Project part 2, final power point presentation - 20%
3. Homework Writing Assignments - 20%
4. Class Activities and discussions - 20%
5. Business vocabulary quizzes - 10%
6. Final Examination Essay - 20%

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	Project part 1 (10%), Project part 2 (20%), Class activities and discussions (20%), Business vocabulary quizzes (10%)	1, 2, 3, 4, 6
授業外での評価	20	Writing Assignments (20%)	5, 6

定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final Examination Essay (20%)	7
その他	0	none	

テキスト	Handouts and class materials		
------	------------------------------	--	--

参考書	none		
-----	------	--	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>		
---------------	--	--	--

授業コード	13105101	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Business Design I [対面]				
シラバス執筆(全員)	A. ナデュー				
シラバス執筆(主)	A. ナデュー				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

Business is an important part of daily life for everyone. In this seminar style course, students will study in English about how to design a business and create their own company using the Business Model Canvas (BMC). The BMC is one of the most well-known business models used to help entrepreneurs transform a business idea into an organized strategy and an actionable business plan. By the end of this course, students will gain a basic understanding of the different aspects of the BMC and an understanding of the nine business segments from the value proposition and customer segments to operations and the financials that the BMC lays out as essential to establishing a business. In this seminar course, students will employ note-taking skills, read and summarize articles, establishing working groups to discuss the segments of the BMC, give short presentations. There are weekly writing homework assignments and a BMC coffee shop group project. Additional business vocabulary will be acquired through weekly mini-lectures. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

到達目標

Course Goals:

1. Learn information about business design using a business model canvas (BMC).
2. Experience mini-lectures, practice note-taking, participate in discussions and give presentations.
3. Complete a two-part task-based project involving a business model canvas.
4. Complete weekly writing assignments discussing BMC components and applying them.
5. Learn to present summaries of articles read

授業計画

[第1回]

テーマ: Course introduction and overview. Google Classroom registration. English Central review.

内容・方法: Group Discussion - Coffee shops (favorites, likes, dislikes, products, services, target customers). Mini-lecture/note taking 1: What is a business model, what is the BMC. HWK Writing assignment: Find a definition of a business model (paraphrase 6 quote source) & a definition of the BMC (paraphrase & quote source).

[第2回]

テーマ: Coffee shop ideas - BMC Project groups - defining the group's coffee shop business. MLA format

内容・方法: Learning how to cite a source: (website MLA format). Mini-lecture/note taking 2: Coffee shops businesses. Pair work: students present ideas for a coffee shop - my ideal coffee shop. BMC Project: Discussions on types (standard and niche) of coffee shops and forming groups. HWK Writing assignment: Make a comparison table of two coffee shop businesses and your coffee shop and show the similarities and differences.

[第3回]

テーマ: BMC: Value Proposition 1, Citing YouTube sources MLA format

内容・方法: Mini-lecture/note taking 3: Value Proposition. Business vocabulary worksheet. BMC project: Discussion of your company's value proposition. HWK Writing assignment: Write a paragraph explaining and defining the BMC Value Proposition (cite 2 website sources and 1 YouTube source) and write short description of your company's value proposition.

[第4回]

テーマ: BMC: Value Proposition 2, Citing YouTube sources MLA format

内容・方法: Mini-lecture/note taking 4: Value Proposition. Business vocabulary Quiz. BMC project: Refining and clarifying your company's value proposition. Groups present their company's Value Proposition. Group Presentation Project: Value Proposition Power Point slides (one to explain BMC-VP, another to apply VP to their coffee shop).

[第5回]

テーマ: BMC: Customer Segments 1, Using quotes vs. paraphrasing

内容・方法: Mini-lecture/note taking 4: Customer Segments 1. Business vocabulary worksheet. BMC project: Discussion of your company's customer segment. HWK Writing assignment: Write a paragraph explaining and defining the BMC Customer Segment (cite 2 website sources and 1 YouTube source) and write short description of your company's customer segment.

[第6回]

テーマ: BMC: Customer Segments 2, Using quotes vs. paraphrasing.

内容・方法: Mini-lecture/note taking 5: Customer relationships 2. Business vocabulary Quiz. BMC project: Refining and clarifying your company's customer segment. Groups present their company's Customer Segment. Group Presentation Project: Customer Segments Power Point slides (one to explain BMC-CS, another to apply to CS their coffee shop).

[第7回]

テーマ: BMC: Customer relationships part 1, Note taking and paraphrasing

内容・方法: Mini-lecture/note taking 6: Customer Relationships 1. Business vocabulary worksheet.

BMC project: Discussion of your company's Customer Relationships. HWK Writing assignment: Find and watch a YouTube video that explains and defines the BMC Customer Relationship (cite YouTube source), take notes and write a paragraph paraphrasing the CR concept.

[第8回]

テーマ: BMC: Customer relationships part 2, Citations from articles Grade Review.

内容・方法: Mini-lecture/note taking 7: Customer Relationships 2. Business vocabulary worksheet - students contribute vocabulary from their HWK videos. BMC project: Refining and clarifying your company's Customer Relationships. HWK Writing assignment: write a paragraph about the BMC CR, mention types of CR (cite article sources) and discuss which are best for your company.

[第9回]

テーマ: BMC: Customer relationships part 3, Citations in slides

内容・方法: Mini-lecture/note taking 8: Customer Relationships 3. Business vocabulary Quiz. BMC project: Refining and clarifying your company's Customer Relationships. Groups present their company's Customer Relationships. Group Presentation Project: Customer Relationships Power Point slides (one to explain BMC-CR, another to apply to CR their coffee shop).

[第10回]

テーマ: BMC: Channels part 1, Citations from articles

内容・方法: Mini-lecture/note taking 9: Channels 1. Business vocabulary worksheet. BMC project: Discussion of your company's Channels. HWK Writing assignment: Write a paragraph explaining and defining the BMC Channels (cite 2 articles) and write short description of your company's channels.

[第11回]

テーマ: BMC: Channels part 2. Quotes and citations in slides

内容・方法: Mini-lecture/note taking 10: Customer channels 2. Business vocabulary Quiz. BMC project: Refining and clarifying your company's Channels. Groups present their company's Channels. Group Presentation Project: Channels Power Point slides (one to explain BMC-CH, another to apply to CH their coffee shop, use quotes & cite them),

[第12回]

テーマ: BMC: Revenue streams part 1. Citations review, articles, websites, YouTube (MLA)

内容・方法: Mini-lecture/note taking 11: Channels 1. Business vocabulary worksheet. BMC project: Discussion of your company's Revenue streams. HWK Writing assignment: Write a paragraph explaining and defining the BMC RS (cite 2sources) and write short description of your company's revenue stream.

[第13回]

テーマ: BMC: Revenue streams part 2.

内容・方法: Mini-lecture/note taking 12: Customer channels 2. Business vocabulary Quiz. BMC project: Refining and clarifying your company's Revenue Sources. Groups present their company's Revenue Sources. Group Presentation Project: Revenue Sources Power Point slides (one to explain BMC-RS, another to apply to RS their coffee shop, use quotes & cite them),

[第14回]

テーマ: BMC: Review of Building blocks - VP; CS; CH; CR & RS. Power Point slide content & visual presentation. Evaluation criteria. Grade Review.

内容・方法: , Groups prepare their final Power Point presentation. HWK: submit the final Power Point presentation.

[第15回]

テーマ: Final BMC presentations by group.

内容・方法: Explanation of final examination. Essay describing their coffee shop business in terms of the BMC model.

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a 2-credit (2単位) course which requires a total of 90 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 2 hours for preparation assignments before each class AND an additional 2 hours for review assignments after each class.

[第1回]

①事前学修課題: Preview syllabus, Register for Google Classroom

②事後学修課題: Compile and tidy up lecture notes, Review information on Google Classroom. HWK Writing assignment

[第2回]

①事前学修課題: Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.

②事後学修課題: Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.

[第3回]

①事前学修課題: Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.

②事後学修課題: Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.

[第4回]

①事前学修課題: Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.

②事後学修課題: Compile and tidy up lecture notes, Group Presentation Project.

[第5回]

①事前学修課題: Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.

②事後学修課題: Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.

[第6回]

①事前学修課題: Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.

- ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Group Presentation Project.
 [第7回]
 ①事前学修課題 : Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.
 [第8回]
 ①事前学修課題 : . Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.
 [第9回]
 ①事前学修課題 : Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Group Presentation Project.
 [第10回]
 ①事前学修課題 : Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.
 [第11回]
 ①事前学修課題 : Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Group Presentation Project.
 [第12回]
 ①事前学修課題 : Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Complete homework, listen to material again
 [第13回]
 ①事前学修課題 : Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Review all class notes. HWK Writing assignment.
 [第14回]
 ①事前学修課題 : Review your previous class notes of the course. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Prepare for presentation. Submit power point presentation
 [第15回]
 ①事前学修課題 : Prepare for the final presentation
 ②事後学修課題 : Submit final essay examination.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.
4. The teacher will tell you your current grade at least three times during the semester. In addition, your grades may also be posted regularly on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

The grade breakdown for this course is as follows:

1. Project part 1, bi-weekly presentations - 20%
2. Project part 2, final power point presentation - 20%
3. Homework Writing Assignments - 20%
4. Class Activities and discussions - 20%
5. Final Examination - 20%

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	Project part 1 (20%), Project part 2 (20%) Class activities and discussions (20%).	1, 2, 3, 4, 5
授業外での評価	20	Writing Assignments (20%)	5
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final Examination Essay (20%)	4
その他	0	none	

テキスト	Handouts and class materials
------	------------------------------

参考書	none
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will</p>
---------------	--

履修条件・他の科目との関連

make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course.

授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。

4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence.

遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。

5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent.

90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。

6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities.

BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。

授業コード	13105102	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Business Design I [対面]				
シラバス執筆(全員)	M. H. バナム				
シラバス執筆(主)	M. H. バナム				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

Business is an important part of daily life for everyone. In this seminar style course, students will study in English about how to design a business and create their own company using the Business Model Canvas (BMC). The BMC is one of the most well-known business models used to help entrepreneurs transform a business idea into an organized strategy and an actionable business plan. By the end of this course, students will gain a basic understanding of the different aspects of the BMC and an understanding of the nine business segments from the value proposition and customer segments to operations and the financials that the BMC lays out as essential to establishing a business. In this seminar course, students will employ note-taking skills, read and summarize articles, establishing working groups to discuss the segments of the BMC, give short presentations. There are weekly writing homework assignments and a BMC coffee shop group project. Additional business vocabulary will be acquired through weekly mini-lectures. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

到達目標

Course Goals:

1. Learn information about business design using a business model canvas (BMC).
2. Experience mini-lectures, practice note-taking, participate in discussions and give presentations.
3. Complete a two-part task-based project involving a business model canvas.
4. Complete weekly writing assignments discussing BMC components and applying them.
5. Learn to present summaries of articles read

授業計画

[第1回]

テーマ: Course introduction and overview. Google Classroom registration.

内容・方法: Group Discussion - Coffee shops (favorites, likes, dislikes, products, services, target customers). Mini-lecture/note taking 1: What is a business model, what is the BMC. HWK Writing assignment: Find a definition of a business model (paraphrase 6 quote source) & a definition of the BMC (paraphrase & quote source).

[第2回]

テーマ: Coffee shop ideas - BMC Project groups - defining the group's coffee shop business. MLA format

内容・方法: Learning how to cite a source: (website MLA format). Mini-lecture/note taking 2: Coffee shops businesses. Pair work: students present ideas for a coffee shop - my ideal coffee shop. BMC Project: Discussions on types (standard and niche) of coffee shops and forming groups. HWK Writing assignment: Make a comparison table of two coffee shop businesses and your coffee shop and show the similarities and differences.

[第3回]

テーマ: BMC: Value Proposition 1, Citing YouTube sources MLA format

内容・方法: Mini-lecture/note taking 3: Value Proposition. Business vocabulary worksheet. BMC project: Discussion of your company's value proposition. HWK Writing assignment: Write a paragraph explaining and defining the BMC Value Proposition (cite 2 website sources and 1 YouTube source) and write short description of your company's value proposition.

[第4回]

テーマ: BMC: Value Proposition 2, Citing YouTube sources MLA format

内容・方法: Mini-lecture/note taking 4: Value Proposition. Business vocabulary Quiz. BMC project: Refining and clarifying your company's value proposition. Groups present their company's Value Proposition. Group Presentation Project: Value Proposition Power Point slides (one to explain BMC-VP, another to apply VP to their coffee shop).

[第5回]

テーマ: BMC: Customer Segments 1, Using quotes vs. paraphrasing

内容・方法: Mini-lecture/note taking 4: Customer Segments 1. Business vocabulary worksheet. BMC project: Discussion of your company's customer segment. HWK Writing assignment: Write a paragraph explaining and defining the BMC Customer Segment (cite 2 website sources and 1 YouTube source) and write short description of your company's customer segment.

[第6回]

テーマ: BMC: Customer Segments 2, Using quotes vs. paraphrasing.

内容・方法: Mini-lecture/note taking 5: Customer relationships 2. Business vocabulary Quiz. BMC project: Refining and clarifying your company's customer segment. Groups present their company's Customer Segment. Group Presentation Project: Customer Segments Power Point slides (one to explain BMC-CS, another to apply to CS their coffee shop).

[第7回]

テーマ: BMC: Customer relationships part 1, Note taking and paraphrasing

内容・方法: Mini-lecture/note taking 6: Customer Relationships 1. Business vocabulary worksheet.

BMC project: Discussion of your company's Customer Relationships. HWK Writing assignment: Find and watch a YouTube video that explains and defines the BMC Customer Relationship (cite YouTube source), take notes and write a paragraph paraphrasing the CR concept.

[第8回]

テーマ: BMC: Customer relationships part 2, Citations from articles Grade Review.

内容・方法: Mini-lecture/note taking 7: Customer Relationships 2. Business vocabulary worksheet - students contribute vocabulary from their HWK videos. BMC project: Refining and clarifying your company's Customer Relationships. HWK Writing assignment: write a paragraph about the BMC CR, mention types of CR (cite article sources) and discuss which are best for your company.

[第9回]

テーマ: BMC: Customer relationships part 3, Citations in slides

内容・方法: Mini-lecture/note taking 8: Customer Relationships 3. Business vocabulary Quiz. BMC project: Refining and clarifying your company's Customer Relationships. Groups present their company's Customer Relationships. Group Presentation Project: Customer Relationships Power Point slides (one to explain BMC-CR, another to apply to CR their coffee shop).

[第10回]

テーマ: BMC: Channels part 1, Citations from articles

内容・方法: Mini-lecture/note taking 9: Channels 1. Business vocabulary worksheet. BMC project: Discussion of your company's Channels. HWK Writing assignment: Write a paragraph explaining and defining the BMC Channels (cite 2 articles) and write short description of your company's channels.

[第11回]

テーマ: BMC: Channels part 2. Quotes and citations in slides

内容・方法: Mini-lecture/note taking 10: Customer channels 2. Business vocabulary Quiz. BMC project: Refining and clarifying your company's Channels. Groups present their company's Channels. Group Presentation Project: Channels Power Point slides (one to explain BMC-CH, another to apply to CH their coffee shop, use quotes & cite them),

[第12回]

テーマ: BMC: Revenue streams part 1. Citations review, articles, websites, YouTube (MLA)

内容・方法: Mini-lecture/note taking 11: Channels 1. Business vocabulary worksheet. BMC project: Discussion of your company's Revenue streams. HWK Writing assignment: Write a paragraph explaining and defining the BMC RS (cite 2sources) and write short description of your company's revenue stream.

[第13回]

テーマ: BMC: Revenue streams part 2.

内容・方法: Mini-lecture/note taking 12: Customer channels 2. Business vocabulary Quiz. BMC project: Refining and clarifying your company's Revenue Sources. Groups present their company's Revenue Sources. Group Presentation Project: Revenue Sources Power Point slides (one to explain BMC-RS, another to apply to RS their coffee shop, use quotes & cite them),

[第14回]

テーマ: BMC: Review of Building blocks - VP; CS; CH; CR & RS. Power Point slide content & visual presentation. Evaluation criteria. Grade Review.

内容・方法: , Groups prepare their final Power Point presentation. HWK: submit the final Power Point presentation.

[第15回]

テーマ: Final BMC presentations by group.

内容・方法: Explanation of final examination. Essay describing their coffee shop business in terms of the BMC model.

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a 2-credit (2単位) course which requires a total of 90 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 2 hours for preparation assignments before each class AND an additional 2 hours for review assignments after each class.

[第1回]

①事前学修課題: Preview syllabus, Register for Google Classroom

②事後学修課題: Compile and tidy up lecture notes, Review information on Google Classroom. HWK Writing assignment

[第2回]

①事前学修課題: Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.

②事後学修課題: Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.

[第3回]

①事前学修課題: Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.

②事後学修課題: Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.

[第4回]

①事前学修課題: Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.

②事後学修課題: Compile and tidy up lecture notes, Group Presentation Project.

[第5回]

①事前学修課題: Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.

②事後学修課題: Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.

[第6回]

①事前学修課題: Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.

- ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Group Presentation Project.
 [第7回]
 ①事前学修課題 : Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.
 [第8回]
 ①事前学修課題 : . Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.
 [第9回]
 ①事前学修課題 : Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Group Presentation Project.
 [第10回]
 ①事前学修課題 : Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.
 [第11回]
 ①事前学修課題 : Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Group Presentation Project.
 [第12回]
 ①事前学修課題 : Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Complete homework, listen to material again
 [第13回]
 ①事前学修課題 : Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Review all class notes. HWK Writing assignment.
 [第14回]
 ①事前学修課題 : Review your previous class notes of the course. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Prepare for presentation. Submit power point presentation
 [第15回]
 ①事前学修課題 : Prepare for the final presentation
 ②事後学修課題 : Submit final essay examination.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.
4. The teacher will tell you your current grade at least three times during the semester. In addition, your grades may also be posted regularly on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

The grade breakdown for this course is as follows:

1. Project part 1, bi-weekly presentations - 20%
2. Project part 2, final power point presentation - 20%
3. Homework Writing Assignments - 20%
4. Class Activities and discussions - 20%
5. Final Examination - 20%

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	Project part 1 (20%), Project part 2 (20%) Class activities and discussions (20%).	1, 2, 3, 4, 5
授業外での評価	20	Writing Assignments (20%)	5
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final Examination Essay (20%)	4
その他	0	none	

テキスト	Handouts and class materials
------	------------------------------

参考書	none
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will</p>
---------------	--

履修条件・他の科目との関連

make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course.

授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。

4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence.

遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。

5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent.

90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。

6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities.

BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。

授業コード	13105251	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Business Design II [対面]				
シラバス執筆(全員)	A. ナデュー				
シラバス執筆(主)	A. ナデュー				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

Business is an important part of daily life for everyone. In this seminar style course, students will study in English about how to design a business and create their own company using the Business Model Canvas (BMC). The BMC is one of the most well-known business models used to help entrepreneurs transform a business idea into an organized strategy and an actionable business plan. By the end of this course, students will gain a basic understanding of the different aspects of the BMC and an understanding of the nine business segments from the value proposition and customer segments to operations and the financials that the BMC lays out as essential to establishing a business. In this seminar course, students will employ note-taking skills, read and summarize articles, establishing working groups to discuss the segments of the BMC, give short presentations. There are weekly writing homework assignments and a BMC coffee shop group project. For vocabulary development, students will study words using worksheets and quizzes. Additional business vocabulary will be acquired through weekly mini-lectures. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom. Students taking this course should have taken to Business Design I to fully understand the course.

Additionally, a project about English job interviews and English CV writing are included.

到達目標

Course Goals:

1. Learn information about business design using a business model canvas (BMC).
2. Experience mini-lectures, practice note-taking, participate in discussions and give presentations.
4. Complete a two-part task-based project involving a business model canvas.
5. Complete weekly writing assignments discussing BMC components and applying them.
6. Learn how to paraphrase, quote and cite references in MLA style.
7. Complete business vocabulary tasks with 13 weekly quizzes.

授業計画

[第1回]

テーマ: Course introduction and overview. Google Classroom registration. Review of Business Model Canvas and its elements.

内容・方法: Business vocabulary. Groups Review of BMC project form spring semester. Student pair work: review and explain VP, CS, CH, CR and RS.

[第2回]

テーマ: Coffee shop ideas - The business side of a coffee shop.

内容・方法: Business vocabulary Quiz, Review how to cite a source: (articles, websites, YouTube MLA format). Group discussion: What do staff do at a coffee shop, what does a coffee shop need to do a business, who are a coffee shop's partners or supplier? HWK Writing assignment: Write an short essay about the key activities and partners of a coffee shop business (cite 2 sources).

[第3回]

テーマ: Coffee shop ideas - The business side of a coffee shop.

内容・方法: Business vocabulary Quiz, Review how to cite a source: (articles, websites, YouTube MLA format). Mini-lecture/note taking 1: Coffee shop key activities and key resources. Group discussion: What are the key resources of a coffee shop and what are the costs? HWK Writing assignment: HWK Writing assignment: Write a paragraph about the key activities, key resources and costs of your coffee shop. Who would be your partners?

[第4回]

テーマ: BMC: Key Activities 1, Citing YouTube sources MLA format

内容・方法: Business vocabulary Quiz, Mini-lecture/note taking 2: Key Activities 1. Business vocabulary worksheet. BMC project: Discussion of your company's Key Activities. HWK Writing assignment: Write a paragraph explaining and defining the BMC Key Activities 1 (cite 2 website sources and 1 YouTube source) and write short description of your company's Key Activities 1.

[第5回]

テーマ: BMC: Key Activities 2, Citing YouTube sources MLA format

内容・方法: Business vocabulary Quiz, Mini-lecture/note taking 3: Key Activities 2. Business vocabulary worksheet. BMC project: Refining and clarifying your company's Key Activities. Groups present their company's Key Activities. Group Presentation Project: Key Activities Power Point slides (one to explain BMC-KA another to apply KA to their coffee shop).

[第6回]

テーマ: BMC: Key Partners part 1, Using quotes vs. paraphrasing

内容・方法: Business vocabulary Quiz, Mini-lecture/note taking 4: Key Partners part 1. Business

vocabulary worksheet. BMC project: Discussion of your company's Key Partners. HWK Writing assignment: Find and watch a YouTube video that explains and defines the BMC Key Partners (cite YouTube source), take notes and write a paragraph paraphrasing the KP concept.

[第7回]

テーマ: BMC: Key Partners part 2, Using quotes vs. paraphrasing.

内容・方法: Business vocabulary Quiz, Mini-lecture/note taking 5: Key Partners part 2. Business vocabulary worksheet- students add vocabulary from YouTube. BMC project: Refining and clarifying your company's Key Partners. Groups present their company's Key Partners. HWK Writing assignment: Write a paragraph explaining and defining the BMC Key Partners (cite 2 website sources and 1 YouTube source) and write short description of your company's Key Partners.

[第8回]

テーマ: BMC: Key Partners part 3, Using quotes vs. paraphrasing.

内容・方法: Business vocabulary Quiz, Mini-lecture/note taking 6: Key Partners part 3. Business vocabulary worksheet. BMC project: Refining and clarifying your company's Key Partners. Groups present their company's Key Partners. Group Presentation Project: Key Partners Power Point slides (one to explain BMC-KP, another to apply to KP their coffee shop).

[第9回]

テーマ: BMC: Key Resources part 1, Citations from articles. Grade Review.

内容・方法: Business vocabulary Quiz, Mini-lecture/note taking 7: Key Resources part 1. Business vocabulary worksheet - students contribute vocabulary from their HWK videos. BMC project: Discussion of your company's Key Resources. HWK Writing assignment: write a paragraph about the BMC KR, mention types of KR (cite article sources) and discuss the KR of your company.

[第10回]

テーマ: BMC: Key Resources part 2, Citations in slides

内容・方法: Business vocabulary Quiz, Mini-lecture/note taking 8: Key Resources part 2. Business vocabulary worksheet. BMC project: Refining and clarifying your company's Key Resources. Groups present their company's Customer Relationships. Group Presentation Project: Customer Relationships Power Point slides (one to explain BMC-KR, another to apply to KR their coffee shop).

[第11回]

テーマ: BMC: Costs part 1, Citations from articles

内容・方法: Business vocabulary Quiz, Mini-lecture/note taking 9: Costs 1. Business vocabulary worksheet. BMC project: Discussion of your company's Costs. HWK Writing assignment: Write a paragraph explaining and defining the BMC Costs (cite 2 articles) and write short description of your company's Costs.

[第12回]

テーマ: BMC: Costs part 2. Quotes and citations in slides

内容・方法: Business vocabulary Quiz, Mini-lecture/note taking 10: Costs 2. Business vocabulary worksheet. BMC project: Refining and clarifying your company's Channels. Groups present their company's Channels. Group Presentation Project: Costs Power Point slides (one to explain BMC-C, another to apply to C their coffee shop, use quotes & cite them),

[第13回]

テーマ: BMC: Review of Building blocks - KA; KP; KR & C. Review, citing and referencing articles, websites, YouTube (MLA)

内容・方法: Business vocabulary Quiz, BMC project: Discussion of your company's KA; KP; KR & C. BMC project: revise power point slides and prepare for presentation.

[第14回]

テーマ: BMC Project final preparation.

内容・方法: Business vocabulary Quiz, Prepare for group presentation, edit power point slides, consider visual presentation, decide presenting roles.

[第15回]

テーマ: Final Presentations.

内容・方法: Final Essay Examination explained.

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a two-credit (2単位) course which requires a total of 90 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 2 hours for preparation assignments before each class AND an additional 2 hours for review assignments after each class.

[第1回]

①事前学修課題: Preview syllabus, Register for Google Classroom

②事後学修課題: Review information on Google Classroom.

[第2回]

①事前学修課題: Business vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.

②事後学修課題: Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.

[第3回]

①事前学修課題: Business vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.

②事後学修課題: Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.

[第4回]

①事前学修課題: Business vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.

②事後学修課題: Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.

[第5回]

- ①事前学修課題 : Business vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Group Presentation Project.
 [第 6 回]
- ①事前学修課題 : Business vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.
 [第 7 回]
- ①事前学修課題 : Business vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.
 [第 8 回]
- ①事前学修課題 : Business vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Group Presentation Project.
 [第 9 回]
- ①事前学修課題 : Business vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.
 [第 10 回]
- ①事前学修課題 : Business vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Group Presentation Project.
 [第 11 回]
- ①事前学修課題 : Business vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Group Presentation Project.
 [第 12 回]
- ①事前学修課題 : Business vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.
 [第 13 回]
- ①事前学修課題 : Business vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Prepare for presentation.
 [第 14 回]
- ①事前学修課題 : Business vocabulary study. Review your previous class notes of the course. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Prepare for presentation. Submit power point presentation
 [第 15 回]
- ①事前学修課題 : Prepare for the final presentation.
 ②事後学修課題 : Submit final essay examination.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.
4. The teacher will tell you your current grade at least three times during the semester. In addition, your grades may also be posted regularly on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

The grade breakdown for this course is as follows:

1. Project part 1, bi-weekly presentations - 10%
2. Project part 2, final power point presentation - 20%
3. Homework Writing Assignments - 20%
4. Class Activities and discussions - 20%
5. Business Vocabulary Quizzes - 10%
6. Final Examination Essay - 20%

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	Project part 1 (10%), Project part 2 (20%), Class activities and discussions (20%), Business vocabulary quizzes (10%)	1, 2, 3, 4, 6
授業外での評価	20	Writing Assignments (20%)	5, 6
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final Examination Essay (20%)	7

その他	0	none	
テキスト	Handouts and class materials		
参考書	none		
履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD – 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>		

授業コード	13105252	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Business Design II [対面]				
シラバス執筆(全員)	M. H. バナム				
シラバス執筆(主)	M. H. バナム				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

Business is an important part of daily life for everyone. In this seminar style course, students will study in English about how to design a business and create their own company using the Business Model Canvas (BMC). The BMC is one of the most well-known business models used to help entrepreneurs transform a business idea into an organized strategy and an actionable business plan. By the end of this course, students will gain a basic understanding of the different aspects of the BMC and an understanding of the nine business segments from the value proposition and customer segments to operations and the financials that the BMC lays out as essential to establishing a business. In this seminar course, students will employ note-taking skills, read and summarize articles, establishing working groups to discuss the segments of the BMC, give short presentations. There are weekly writing homework assignments and a BMC coffee shop group project. For vocabulary development, students will study words using worksheets and quizzes. Additional business vocabulary will be acquired through weekly mini-lectures. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom. Students taking this course should have taken to Business Design I to fully understand the course.

Additionally, a project about English job interviews and English CV writing are included.

到達目標

Course Goals:

1. Learn information about business design using a business model canvas (BMC).
2. Experience mini-lectures, practice note-taking, participate in discussions and give presentations.
4. Complete a two-part task-based project involving a business model canvas.
5. Complete weekly writing assignments discussing BMC components and applying them.
6. Learn how to paraphrase, quote and cite references in MLA style.
7. Complete business vocabulary tasks with 13 weekly quizzes.

授業計画

[第1回]

テーマ: Course introduction and overview. Google Classroom registration. Review of Business Model Canvas and its elements.

内容・方法: Business vocabulary. Groups Review of BMC project form spring semester. Student pair work: review and explain VP, CS, CH, CR and RS.

[第2回]

テーマ: Coffee shop ideas - The business side of a coffee shop.

内容・方法: Business vocabulary Quiz, Review how to cite a source: (articles, websites, YouTube MLA format). Group discussion: What do staff do at a coffee shop, what does a coffee shop need to do a business, who are a coffee shop's partners or supplier? HWK Writing assignment: Write an short essay about the key activities and partners of a coffee shop business (cite 2 sources).

[第3回]

テーマ: Coffee shop ideas - The business side of a coffee shop.

内容・方法: Business vocabulary Quiz, Review how to cite a source: (articles, websites, YouTube MLA format). Mini-lecture/note taking 1: Coffee shop key activities and key resources. Group discussion: What are the key resources of a coffee shop and what are the costs? HWK Writing assignment: HWK Writing assignment: Write a paragraph about the key activities, key resources and costs of your coffee shop. Who would be your partners?

[第4回]

テーマ: BMC: Key Activities 1, Citing YouTube sources MLA format

内容・方法: Business vocabulary Quiz, Mini-lecture/note taking 2: Key Activities 1. Business vocabulary worksheet. BMC project: Discussion of your company's Key Activities. HWK Writing assignment: Write a paragraph explaining and defining the BMC Key Activities 1 (cite 2 website sources and 1 YouTube source) and write short description of your company's Key Activities 1.

[第5回]

テーマ: BMC: Key Activities 2, Citing YouTube sources MLA format

内容・方法: Business vocabulary Quiz, Mini-lecture/note taking 3: Key Activities 2. Business vocabulary worksheet. BMC project: Refining and clarifying your company's Key Activities. Groups present their company's Key Activities. Group Presentation Project: Key Activities Power Point slides (one to explain BMC-KA another to apply KA to their coffee shop).

[第6回]

テーマ: BMC: Key Partners part 1, Using quotes vs. paraphrasing

内容・方法: Business vocabulary Quiz, Mini-lecture/note taking 4: Key Partners part 1. Business

vocabulary worksheet. BMC project: Discussion of your company's Key Partners. HWK Writing assignment: Find and watch a YouTube video that explains and defines the BMC Key Partners (cite YouTube source), take notes and write a paragraph paraphrasing the KP concept.

[第7回]

テーマ: BMC: Key Partners part 2, Using quotes vs. paraphrasing.

内容・方法: Business vocabulary Quiz, Mini-lecture/note taking 5: Key Partners part 2. Business vocabulary worksheet- students add vocabulary from YouTube. BMC project: Refining and clarifying your company's Key Partners. Groups present their company's Key Partners. HWK Writing assignment: Write a paragraph explaining and defining the BMC Key Partners (cite 2 website sources and 1 YouTube source) and write short description of your company's Key Partners.

[第8回]

テーマ: BMC: Key Partners part 3, Using quotes vs. paraphrasing.

内容・方法: Business vocabulary Quiz, Mini-lecture/note taking 6: Key Partners part 3. Business vocabulary worksheet. BMC project: Refining and clarifying your company's Key Partners. Groups present their company's Key Partners. Group Presentation Project: Key Partners Power Point slides (one to explain BMC-KP, another to apply to KP their coffee shop).

[第9回]

テーマ: BMC: Key Resources part 1, Citations from articles. Grade Review.

内容・方法: Business vocabulary Quiz, Mini-lecture/note taking 7: Key Resources part 1. Business vocabulary worksheet - students contribute vocabulary from their HWK videos. BMC project: Discussion of your company's Key Resources. HWK Writing assignment: write a paragraph about the BMC KR, mention types of KR (cite article sources) and discuss the KR of your company.

[第10回]

テーマ: BMC: Key Resources part 2, Citations in slides

内容・方法: Business vocabulary Quiz, Mini-lecture/note taking 8: Key Resources part 2. Business vocabulary worksheet. BMC project: Refining and clarifying your company's Key Resources. Groups present their company's Customer Relationships. Group Presentation Project: Customer Relationships Power Point slides (one to explain BMC-KR, another to apply to KR their coffee shop).

[第11回]

テーマ: BMC: Costs part 1, Citations from articles

内容・方法: Business vocabulary Quiz, Mini-lecture/note taking 9: Costs 1. Business vocabulary worksheet. BMC project: Discussion of your company's Costs. HWK Writing assignment: Write a paragraph explaining and defining the BMC Costs (cite 2 articles) and write short description of your company's Costs.

[第12回]

テーマ: BMC: Costs part 2. Quotes and citations in slides

内容・方法: Business vocabulary Quiz, Mini-lecture/note taking 10: Costs 2. Business vocabulary worksheet. BMC project: Refining and clarifying your company's Channels. Groups present their company's Channels. Group Presentation Project: Costs Power Point slides (one to explain BMC-C, another to apply to C their coffee shop, use quotes & cite them),

[第13回]

テーマ: BMC: Review of Building blocks - KA; KP; KR & C. Review, citing and referencing articles, websites, YouTube (MLA)

内容・方法: Business vocabulary Quiz, BMC project: Discussion of your company's KA; KP; KR & C. BMC project: revise power point slides and prepare for presentation.

[第14回]

テーマ: BMC Project final preparation.

内容・方法: Business vocabulary Quiz, Prepare for group presentation, edit power point slides, consider visual presentation, decide presenting roles.

[第15回]

テーマ: Final Presentations.

内容・方法: Final Essay Examination explained.

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a two-credit (2単位) course which requires a total of 90 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 2 hours for preparation assignments before each class AND an additional 2 hours for review assignments after each class.

[第1回]

①事前学修課題: Preview syllabus, Register for Google Classroom

②事後学修課題: Review information on Google Classroom.

[第2回]

①事前学修課題: Business vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.

②事後学修課題: Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.

[第3回]

①事前学修課題: Business vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.

②事後学修課題: Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.

[第4回]

①事前学修課題: Business vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.

②事後学修課題: Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.

[第5回]

- ①事前学修課題 : Business vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Group Presentation Project.
 [第 6 回]
- ①事前学修課題 : Business vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.
 [第 7 回]
- ①事前学修課題 : Business vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.
 [第 8 回]
- ①事前学修課題 : Business vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Group Presentation Project.
 [第 9 回]
- ①事前学修課題 : Business vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.
 [第 10 回]
- ①事前学修課題 : Business vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Group Presentation Project.
 [第 11 回]
- ①事前学修課題 : Business vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Group Presentation Project.
 [第 12 回]
- ①事前学修課題 : Business vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.
 [第 13 回]
- ①事前学修課題 : Business vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Prepare for presentation.
 [第 14 回]
- ①事前学修課題 : Business vocabulary study. Review your previous class notes of the course. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Prepare for presentation. Submit power point presentation
 [第 15 回]
- ①事前学修課題 : Prepare for the final presentation.
 ②事後学修課題 : Submit final essay examination.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.
4. The teacher will tell you your current grade at least three times during the semester. In addition, your grades may also be posted regularly on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

The grade breakdown for this course is as follows:

1. Project part 1, bi-weekly presentations - 10%
2. Project part 2, final power point presentation - 20%
3. Homework Writing Assignments - 20%
4. Class Activities and discussions - 20%
5. Business Vocabulary Quizzes - 10%
6. Final Examination Essay - 20%

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	Project part 1 (10%), Project part 2 (20%), Class activities and discussions (20%), Business vocabulary quizzes (10%)	1, 2, 3, 4, 6
授業外での評価	20	Writing Assignments (20%)	5, 6
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final Examination Essay (20%)	7

その他	0	none	
テキスト	Handouts and class materials		
参考書	none		
履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD – 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>		

授業コード	13105201	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Business Design II [対面]				
シラバス執筆(全員)	A. ナデュー				
シラバス執筆(主)	A. ナデュー				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

Business is an important part of daily life for everyone. In this seminar style course, students will study in English about how to design a business and create their own company using the Business Model Canvas (BMC). The BMC is one of the most well-known business models used to help entrepreneurs transform a business idea into an organized strategy and an actionable business plan. By the end of this course, students will gain a basic understanding of the different aspects of the BMC and an understanding of the nine business segments from the value proposition and customer segments to operations and the financials that the BMC lays out as essential to establishing a business. In this seminar course, students will employ note-taking skills, read and summarize articles, establishing working groups to discuss the segments of the BMC, give short presentations. There are weekly writing homework assignments and a BMC coffee shop group project. Additional business vocabulary will be acquired through weekly mini-lectures. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

到達目標

Course Goals:

1. Learn information about business design using a business model canvas (BMC).
2. Experience mini-lectures, practice note-taking, participate in discussions and give presentations.
3. Complete a two-part task-based project involving a business model canvas.
4. Complete weekly writing assignments discussing BMC components and applying them.
5. Learn to present summaries of articles read

授業計画

[第1回]

テーマ: Course introduction and overview. Google Classroom registration. Review of Business Model Canvas and its elements.

内容・方法: Groups Review of BMC project form spring semester. Student pair work: review and explain VP, CS, CH, CR and RS.

[第2回]

テーマ: Coffee shop ideas - The business side of a coffee shop.

内容・方法: Review how to cite a source: (articles, websites, YouTube MLA format). Group discussion: What do staff do at a coffee shop, what does a coffee shop need to do a business, who are a coffee shop's partners or supplier? HWK Writing assignment: Write an short essay about the key activities and partners of a coffee shop business (cite 2 sources).

[第3回]

テーマ: Coffee shop ideas - The business side of a coffee shop.

内容・方法: Review how to cite a source: (articles, websites, YouTube MLA format). Mini-lecture/note taking 1: Coffee shop key activities and key resources. Group discussion: What are the key resources of a coffee shop and what are the costs? HWK Writing assignment: HWK Writing assignment: Write a paragraph about the key activities, key resources and costs of your coffee shop. Who would be your partners?

[第4回]

テーマ: BMC: Key Activities 1, Citing YouTube sources MLA format

内容・方法: Mini-lecture/note taking 2: Key Activities 1. Business vocabulary worksheet. BMC project: Discussion of your company's Key Activities. HWK Writing assignment: Write a paragraph explaining and defining the BMC Key Activities 1 (cite 2 website sources and 1 YouTube source) and write short description of your company's Key Activities 1.

[第5回]

テーマ: BMC: Key Activities 2, Citing YouTube sources MLA format

内容・方法: Mini-lecture/note taking 3: Key Activities 2. Business vocabulary Quiz. BMC project: Refining and clarifying your company's Key Activities. Groups present their company's Key Activities. Group Presentation Project: Key Activities Power Point slides (one to explain BMC-KA another to apply KA to their coffee shop).

[第6回]

テーマ: BMC: Key Partners part 1, Using quotes vs. paraphrasing

内容・方法: Mini-lecture/note taking 4: Key Partners part 1. Business vocabulary worksheet. BMC project: Discussion of your company's Key Partners. HWK Writing assignment: Find and watch a YouTube video that explains and defines the BMC Key Partners (cite YouTube source), take notes and write a paragraph paraphrasing the KP concept.

[第7回]

テーマ: BMC: Key Partners part 2, Using quotes vs. paraphrasing.

内容・方法 : Mini-lecture/note taking 5: Key Partners part 2. Business vocabulary worksheet- students add vocabulary from YouTube. BMC project: Refining and clarifying your company's Key Partners. Groups present their company's Key Partners. HWK Writing assignment: Write a paragraph explaining and defining the BMC Key Partners (cite 2 website sources and 1 YouTube source) and write short description of your company's Key Partners.

[第8回]

テーマ : BMC: Key Partners part 3, Using quotes vs. paraphrasing.

内容・方法 : Mini-lecture/note taking 6: Key Partners part 3. Business vocabulary Quiz. BMC project: Refining and clarifying your company's Key Partners. Groups present their company's Key Partners. Group Presentation Project: Key Partners Power Point slides (one to explain BMC-KP, another to apply to KP their coffee shop).

[第9回]

テーマ : BMC: Key Resources part 1, Citations from articles. Grade Review.

内容・方法 : Mini-lecture/note taking 7: Key Resources part 1. Business vocabulary worksheet - students contribute vocabulary from their HWK videos. BMC project: Discussion of your company's Key Resources. HWK Writing assignment: write a paragraph about the BMC KR, mention types of KR (cite article sources) and discuss the KR of your company.

[第10回]

テーマ : BMC: Key Resources part 2, Citations in slides

内容・方法 : Mini-lecture/note taking 8: Key Resources part 2. Business vocabulary Quiz. BMC project: Refining and clarifying your company's Key Resources. Groups present their company's Customer Relationships. Group Presentation Project: Customer Relationships Power Point slides (one to explain BMC-KR, another to apply to KR their coffee shop).

[第11回]

テーマ : BMC: Costs part 1, Citations from articles

内容・方法 : Mini-lecture/note taking 9: Costs 1. Business vocabulary worksheet. BMC project: Discussion of your company's Costs. HWK Writing assignment: Write a paragraph explaining and defining the BMC Costs (cite 2 articles) and write short description of your company's Costs.

[第12回]

テーマ : BMC: Costs part 2. Quotes and citations in slides

内容・方法 : Mini-lecture/note taking 10: Costs 2. Business vocabulary Quiz. BMC project: Refining and clarifying your company's Channels. Groups present their company's Channels. Group Presentation Project: Costs Power Point slides (one to explain BMC-C, another to apply to C their coffee shop, use quotes & cite them),

[第13回]

テーマ : BMC: Review of Building blocks - KA; KP; KR & C. Review, citing and referencing articles, websites, YouTube (MLA)

内容・方法 : BMC project: Discussion of your company's KA; KP; KR & C. BMC project: revise power point slides and prepare for presentation.

[第14回]

テーマ : BMC Project final preparation.

内容・方法 : Prepare for groups presentation, edit power point slides, consider visual presentation, decide presenting roles.

[第15回]

テーマ : Final Presentations.

内容・方法 : Final Essay Examination explained.

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a 2-credit (2単位) course which requires a total of 90 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 2 hours for preparation assignments before each class AND an additional 2 hours for review assignments after each class.

[第1回]

①事前学修課題 : Preview syllabus, Register for Google Classroom

②事後学修課題 : Review information on Google Classroom.

[第2回]

①事前学修課題 : Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.

②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.

[第3回]

①事前学修課題 : Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.

②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.

[第4回]

①事前学修課題 : Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.

②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.

[第5回]

①事前学修課題 : Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.

②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Group Presentation Project.

[第6回]

①事前学修課題 : Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.

②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.

[第7回]

①事前学修課題 : Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.

②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.

[第8回]

- ①事前学修課題 : Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Group Presentation Project.
 [第9回]
 ①事前学修課題 : Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.
 [第10回]
 ①事前学修課題 : Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Group Presentation Project.
 [第11回]
 ①事前学修課題 : Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Group Presentation Project.
 [第12回]
 ①事前学修課題 : Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.
 [第13回]
 ①事前学修課題 : Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Prepare for presentation.
 [第14回]
 ①事前学修課題 : Review your previous class notes of the course. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Prepare for presentation. Submit power point presentation
 [第15回]
 ①事前学修課題 : Prepare for the final presentation
 ②事後学修課題 : Submit final essay examination.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.
4. The teacher will tell you your current grade at least three times during the semester. In addition, your grades may also be posted regularly on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

The grade breakdown for this course is as follows:

1. Project part 1, bi-weekly presentations - 20%
2. Project part 2, final power point presentation - 20%
3. Homework Writing Assignments - 20%
4. Class Activities and discussions - 20%
5. Final Examination - 20%

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	Project part 1 (20%), Project part 2 (20%) Class activities and discussions (20%).	1, 2, 3, 4, 5
授業外での評価	20	Writing Assignments (20%)	5
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final Examination Essay (20%)	4
その他	0	none	

テキスト	Handouts and class materials
------	------------------------------

参考書	none
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence.</p>
---------------	---

履修条件・他の科目との関連

遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。

5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent.

90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。

6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities.

BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。

授業コード	13105202	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Business Design II [対面]				
シラバス執筆(全員)	M. H. バナム				
シラバス執筆(主)	M. H. バナム				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

Business is an important part of daily life for everyone. In this seminar style course, students will study in English about how to design a business and create their own company using the Business Model Canvas (BMC). The BMC is one of the most well-known business models used to help entrepreneurs transform a business idea into an organized strategy and an actionable business plan. By the end of this course, students will gain a basic understanding of the different aspects of the BMC and an understanding of the nine business segments from the value proposition and customer segments to operations and the financials that the BMC lays out as essential to establishing a business. In this seminar course, students will employ note-taking skills, read and summarize articles, establishing working groups to discuss the segments of the BMC, give short presentations. There are weekly writing homework assignments and a BMC coffee shop group project. Additional business vocabulary will be acquired through weekly mini-lectures. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

到達目標

Course Goals:

1. Learn information about business design using a business model canvas (BMC).
2. Experience mini-lectures, practice note-taking, participate in discussions and give presentations.
3. Complete a two-part task-based project involving a business model canvas.
4. Complete weekly writing assignments discussing BMC components and applying them.
5. Learn to present summaries of articles read

授業計画

[第1回]

テーマ: Course introduction and overview. Google Classroom registration. Review of Business Model Canvas and its elements.

内容・方法: Groups Review of BMC project form spring semester. Student pair work: review and explain VP, CS, CH, CR and RS.

[第2回]

テーマ: Coffee shop ideas – The business side of a coffee shop.

内容・方法: Review how to cite a source: (articles, websites, YouTube MLA format). Group discussion: What do staff do at a coffee shop, what does a coffee shop need to do a business, who are a coffee shop's partners or supplier? HWK Writing assignment: Write an short essay about the key activities and partners of a coffee shop business (cite 2 sources).

[第3回]

テーマ: Coffee shop ideas – The business side of a coffee shop.

内容・方法: Review how to cite a source: (articles, websites, YouTube MLA format). Mini-lecture/note taking 1: Coffee shop key activities and key resources. Group discussion: What are the key resources of a coffee shop and what are the costs? HWK Writing assignment: HWK Writing assignment: Write a paragraph about the key activities, key resources and costs of your coffee shop. Who would be your partners?

[第4回]

テーマ: BMC: Key Activities 1, Citing YouTube sources MLA format

内容・方法: Mini-lecture/note taking 2: Key Activities 1. Business vocabulary worksheet. BMC project: Discussion of your company's Key Activities. HWK Writing assignment: Write a paragraph explaining and defining the BMC Key Activities 1 (cite 2 website sources and 1 YouTube source) and write short description of your company's Key Activities 1.

[第5回]

テーマ: BMC: Key Activities 2, Citing YouTube sources MLA format

内容・方法: Mini-lecture/note taking 3: Key Activities 2. Business vocabulary Quiz. BMC project: Refining and clarifying your company's Key Activities. Groups present their company's Key Activities. Group Presentation Project: Key Activities Power Point slides (one to explain BMC-KA another to apply KA to their coffee shop).

[第6回]

テーマ: BMC: Key Partners part 1, Using quotes vs. paraphrasing

内容・方法: Mini-lecture/note taking 4: Key Partners part 1. Business vocabulary worksheet. BMC project: Discussion of your company's Key Partners. HWK Writing assignment: Find and watch a YouTube video that explains and defines the BMC Key Partners (cite YouTube source), take notes and write a paragraph paraphrasing the KP concept.

[第7回]

テーマ: BMC: Key Partners part 2, Using quotes vs. paraphrasing.

内容・方法 : Mini-lecture/note taking 5: Key Partners part 2. Business vocabulary worksheet- students add vocabulary from YouTube. BMC project: Refining and clarifying your company's Key Partners. Groups present their company's Key Partners. HWK Writing assignment: Write a paragraph explaining and defining the BMC Key Partners (cite 2 website sources and 1 YouTube source) and write short description of your company's Key Partners.

[第8回]

テーマ : BMC: Key Partners part 3, Using quotes vs. paraphrasing.

内容・方法 : Mini-lecture/note taking 6: Key Partners part 3. Business vocabulary Quiz. BMC project: Refining and clarifying your company's Key Partners. Groups present their company's Key Partners. Group Presentation Project: Key Partners Power Point slides (one to explain BMC-KP, another to apply to KP their coffee shop).

[第9回]

テーマ : BMC: Key Resources part 1, Citations from articles. Grade Review.

内容・方法 : Mini-lecture/note taking 7: Key Resources part 1. Business vocabulary worksheet - students contribute vocabulary from their HWK videos. BMC project: Discussion of your company's Key Resources. HWK Writing assignment: write a paragraph about the BMC KR, mention types of KR (cite article sources) and discuss the KR of your company.

[第10回]

テーマ : BMC: Key Resources part 2, Citations in slides

内容・方法 : Mini-lecture/note taking 8: Key Resources part 2. Business vocabulary Quiz. BMC project: Refining and clarifying your company's Key Resources. Groups present their company's Customer Relationships. Group Presentation Project: Customer Relationships Power Point slides (one to explain BMC-KR, another to apply to KR their coffee shop).

[第11回]

テーマ : BMC: Costs part 1, Citations from articles

内容・方法 : Mini-lecture/note taking 9: Costs 1. Business vocabulary worksheet. BMC project: Discussion of your company's Costs. HWK Writing assignment: Write a paragraph explaining and defining the BMC Costs (cite 2 articles) and write short description of your company's Costs.

[第12回]

テーマ : BMC: Costs part 2. Quotes and citations in slides

内容・方法 : Mini-lecture/note taking 10: Costs 2. Business vocabulary Quiz. BMC project: Refining and clarifying your company's Channels. Groups present their company's Channels. Group Presentation Project: Costs Power Point slides (one to explain BMC-C, another to apply to C their coffee shop, use quotes & cite them),

[第13回]

テーマ : BMC: Review of Building blocks - KA; KP; KR & C. Review, citing and referencing articles, websites, YouTube (MLA)

内容・方法 : BMC project: Discussion of your company's KA; KP; KR & C. BMC project: revise power point slides and prepare for presentation.

[第14回]

テーマ : BMC Project final preparation.

内容・方法 : Prepare for groups presentation, edit power point slides, consider visual presentation, decide presenting roles.

[第15回]

テーマ : Final Presentations.

内容・方法 : Final Essay Examination explained.

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a 2-credit (2単位) course which requires a total of 90 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 2 hours for preparation assignments before each class AND an additional 2 hours for review assignments after each class.

[第1回]

①事前学修課題 : Preview syllabus, Register for Google Classroom

②事後学修課題 : Review information on Google Classroom.

[第2回]

①事前学修課題 : Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.

②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.

[第3回]

①事前学修課題 : Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.

②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.

[第4回]

①事前学修課題 : Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.

②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.

[第5回]

①事前学修課題 : Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.

②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Group Presentation Project.

[第6回]

①事前学修課題 : Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.

②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.

[第7回]

①事前学修課題 : Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.

②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.

[第8回]

- ①事前学修課題 : Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Group Presentation Project.
 [第9回]
 ①事前学修課題 : Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.
 [第10回]
 ①事前学修課題 : Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Group Presentation Project.
 [第11回]
 ①事前学修課題 : Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Group Presentation Project.
 [第12回]
 ①事前学修課題 : Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.
 [第13回]
 ①事前学修課題 : Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Prepare for presentation.
 [第14回]
 ①事前学修課題 : Review your previous class notes of the course. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Prepare for presentation. Submit power point presentation
 [第15回]
 ①事前学修課題 : Prepare for the final presentation
 ②事後学修課題 : Submit final essay examination.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.
4. The teacher will tell you your current grade at least three times during the semester. In addition, your grades may also be posted regularly on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

The grade breakdown for this course is as follows:

1. Project part 1, bi-weekly presentations - 20%
2. Project part 2, final power point presentation - 20%
3. Homework Writing Assignments - 20%
4. Class Activities and discussions - 20%
5. Final Examination - 20%

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	Project part 1 (20%), Project part 2 (20%) Class activities and discussions (20%).	1, 2, 3, 4, 5
授業外での評価	20	Writing Assignments (20%)	5
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final Examination Essay (20%)	4
その他	0	none	

テキスト	Handouts and class materials
------	------------------------------

参考書	none
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence.</p>
---------------	---

履修条件・他の科目との関連

遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。

5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent.

90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。

6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities.

BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。

授業コード	13105301	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	情報学入門 [対面]				
シラバス執筆(全員)	下條 善史				
シラバス執筆(主)	下條 善史				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

情報学は、現在においても、唯一の明快な定義は無く、主に自然界や人工物の分野における情報に関する学問の領域であるとされている。それだけ「情報」というのは多義性があり、世の中すべてを対象とするとってもよいほどあいまいなものである。本講義では、社会のすべてについて情報との関わりを探究することを目標とするが、特に人間と人間、人間と社会、および人間と機械のインターフェイスとしての情報の役割や今後の発展について考察する。

到達目標

1. 情報学の基礎概念を理解し、情報関連のニュースを読めるようになること。
2. 情報技術の進歩の歴史について知り、現代社会を動かしている情報技術の成り立ちを理解すること。
3. 情報技術の進歩についての概要を知り、今後の社会の変化について議論できるようになること。

授業計画

- 【第1回】
テーマ：オリエンテーション
内容・方法：科目の概要、目的、達成目標やスケジュールなどについて説明する。
- 【第2回】
テーマ：情報とはなにか
内容・方法：情報とは何か。身の回りの情報とコンピュータにおける内部表現について。
- 【第3回】
テーマ：ハードウェアとソフトウェア
内容・方法：コンピューターのハードウェアとソフトウェアについて分類し、解説する。
- 【第4回】
テーマ：プログラムとアルゴリズム
内容・方法：ソフトウェアを2つに分けたうちのひとつ、プログラムについて。
- 【第5回】
テーマ：データベース
内容・方法：ソフトウェアを2つに分けたうちのもうひとつ、データについて。
- 【第6回】
テーマ：ネットワークのしくみ
内容・方法：ネットワークの分類、プロトコル、サービス、伝送速度について。
- 【第7回】
テーマ：ネットワークの利用
内容・方法：ネットワークのハードウェアと、メールやWEBなどネットワークアプリケーションについて。
- 【第8回】
テーマ：ネットワークのセキュリティ
内容・方法：セキュリティとリスク、暗号技術など。
- 【第9回】
テーマ：コンピューターシステムの進化
内容・方法：コンピューターの歴史を振り返り、この先を予想する。
- 【第10回】
テーマ：メディアとしてのコンピューター
内容・方法：コンピューターとインターネットがもたらした新しいメディアについて。
- 【第11回】
テーマ：ネットワークと著作権
内容・方法：コンピューターネットワークが変えた、法律と社会。
- 【第12回】
テーマ：ヒューマンインタフェース
内容・方法：高度に専門的な機械が廉価になり大衆化していった経緯。
- 【第13回】
テーマ：ロボットと人工知能
内容・方法：ロボットなどの事例を通して機器を人工知能技術で制御することについて。
- 【第14回】
テーマ：社会を変える情報ネットワーク
内容・方法：情報ネットワークがもたらす、高度に情報化された社会。
- 【第15回】
テーマ：まとめと最終レポート
内容・方法：この授業全体を通して総括するとともに、理解度の確認を行い、最終レポートを課す。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

事前学修：事前に配布された資料について内容を確認し、疑問点等をまとめておく。
事後学修：授業中に出された課題についてまとめ、提出する。

課題に対するフィードバックの方法

授業中に出した課題について解説を行い、理解度の確認を行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

本授業では、授業内で適宜質問を投げかけ、その解答をフォームへ入力することで、授業の理解度と積極的な参加の度合いを測る方法とする。また、期末には全授業にまたがった簡単なレポートを課し、この解答によって授業の達成度を測る。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	毎回の授業の理解度と授業への参加の積極度を見る問題を課す。	1, 2
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	40	最終レポート課題	1, 3
その他	0		

テキスト 資料としてPPTXファイルをGoogle Classroomにて配布する。

参考書 必要な都度にプリントを配布したり、書籍などを紹介する。

履修条件・他の科目との関連 5回以上の欠席者は不合格とする。

授業コード	13105401	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	データサイエンス I [対面]				
シラバス執筆(全員)	岡本 容典				
シラバス執筆(主)	岡本 容典				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

本講義では、まずデータ分析の基本的な概念や流れを理解することから始め、段階的に実際のデータを扱うスキルを身につけることを目指す。特に、数学的な背景が苦手な学生でも安心して学べるよう、複雑な理論は可能な限り避け、直感的に理解できる実例を多く取り入れる。

また、プログラミング言語を用いて、データの収集、整理、可視化、そして簡単な分析を行う方法を実践的に学ぶ。これにより、データサイエンスの基本的な技術を身につけるとともに、データを使って実際の問題を解決する能力を養うことができる。さらに、講義内で扱う内容は、実世界の問題解決に役立つデータ分析の手法やツールに焦点を当て、学生が今後自分でデータを解析できる自信を持つことを最終的な目標としている。

到達目標

1. データ分析に必要な数学について説明できる。
2. データ分析を行うためのプログラムを作成できる。

授業計画

- 【第1回】 ガイダンス
- 【第2回】 数学の基礎
- 【第3回】 1次関数
- 【第4回】 2次関数
- 【第5回】 最適化問題
- 【第6回】 平均と標準偏差
- 【第7回】 相関関係と因果関係
- 【第8回】 回帰直線による予測
- 【第9回】 正規分布
- 【第10回】 AIの歴史
- 【第11回】 エキスパートシステム
- 【第12回】 ニューラルネットワーク
- 【第13回】 学習アルゴリズム
- 【第14回】 ディープラーニング
- 【第15回】 まとめ

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

毎回の授業で課題を課すので、次回の授業時に提出すること。

課題に対するフィードバックの方法

授業内の課題については机間巡視により理解度を把握し、間違いや優れた点の指摘、助言等を行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す通り、授業期間中に実施される課題と、全授業終了後に実施される定期試験の評価結果に基づき総合的に判定の上、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	授業期間中に実施される課題	1、2
授業外での評価	0		
定期試験	40	全授業終了後に実施される定期試験	1、2
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	0		

テキスト

必要に応じてPDFプリントを配布する。

参考書	必要に応じて授業の中で紹介する。
履修条件・他の科目との関連	数学が苦手であっても関心を持つ人を歓迎します。演習を併用しますので、ノートPCは毎回持参してください。

授業コード	13105501	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	データサイエンスⅡ [対面]				
シラバス執筆(全員)	岡本 容典				
シラバス執筆(主)	岡本 容典				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

データサイエンスとは、数学、統計学、情報科学、プログラミングなど、さまざまな学問領域の手法を組み合わせ、データを分析し、実世界の問題を解決するための知識と技術を提供する新しい学問分野である。近年、膨大なデータがあらゆる分野で生成され、その中から有益な情報を引き出すために、データサイエンスは重要な役割を果たしている。

本講義では、データサイエンスを学ぶ上で欠かせない数学的な基礎から始め、これを実際のデータ分析にどのように応用するかを学んでいく。特に、Pythonというプログラミング言語を使用して、実際にデータを取り扱いながら、さまざまな統計的手法を用いて数量データを解析する方法について詳細に解説する。そして、データの分析に必要なライブラリを使いこなし、実際にデータを解析して、洞察を得るためのスキルを習得することを目指す。

到達目標

1. データ分析に必要な数学を理解できる。
2. プログラミング言語Pythonの基本的な使い方を理解できる。
3. 確率統計の手法を用いてデータを分析できる。

授業計画

- 【第1回】 ガイダンス
- 【第2回】 データの種類と可視化
- 【第3回】 データの要約（平均・中央値・最頻値）
- 【第4回】 データのばらつき（分散・標準偏差）
- 【第5回】 データの分布と正規分布
- 【第6回】 相関関係と因果関係
- 【第7回】 仮説検定の基本
- 【第8回】 中間テスト
- 【第9回】 機械学習の基礎
- 【第10回】 分類問題（ロジスティック回帰・決定木）
- 【第11回】 クラスタリング（教師なし学習）
- 【第12回】 時系列データ分析
- 【第13回】 データ前処理と特微量エンジニアリング
- 【第14回】 実データによる分析演習
- 【第15回】 まとめ

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

毎回の授業で課題を課すので、次回の授業時に提出すること。

課題に対するフィードバックの方法

授業内の課題については机間巡視により理解度を把握し、間違いや優れた点の指摘、助言等を行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す通り、授業期間中に実施される課題と、全授業終了後に実施される定期試験の評価結果に基づき総合的に判定の上、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	授業期間中に実施される課題	1、2、3
授業外での評価	0		
定期試験	40	全授業終了後に実施される定期試験	1、2、3
定期試験に代わるレポート等	0		

その他	0		
テキスト	必要に応じてPDFプリントを配布する。		
参考書	必要に応じて授業の中で紹介する。		
履修条件・他の科目との関連	数学やプログラミングに関する前提知識は不要ですが、強い関心を持つ人を歓迎します。演習を併用しますので、ノートPCは毎回持参してください。		

授業コード	13101801	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	プログラミング基礎演習 [対面]				
シラバス執筆(全員)	岡本 容典				
シラバス執筆(主)	岡本 容典				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

本講義はプログラミングが初めてという人を対象とし、コンピュータの基本的な仕組みやプログラムの作り方を学ぶことを目的とする。現代社会では、プログラミングの知識がさまざまな分野で求められており、この授業を通じて基本的なスキルを身につけることで、将来的により高度なプログラミングやデータ処理に挑戦するための基礎を固めることができる。授業では、変数の使い方、計算の方法、条件分岐、繰り返し処理、関数などの基本的な概念を学びながら、実際に手を動かしてコードを書き、動作を確認しながら理解を深めていく。

また、プログラミングを学ぶことは、単にコードを書くことだけではなく、論理的思考力を養うことにもつながる。本講義では、問題を分解し、整理しながら解決策を考える方法も学んでいく。そして最終的には、受講者が自分で簡単なプログラムを設計し、動かせるようになることを目標とする。

初心者でも無理なく学べるよう、PCによる演習を併用しながら基礎から順を追って学習を進めていく。

到達目標

1. プログラミングの基本的な命令について説明できる。
2. プログラミング言語を用いて、目的に応じたプログラムを作成できる。

授業計画

- 【第1回】 プログラミングの基礎
- 【第2回】 入出力
- 【第3回】 順次実行
- 【第4回】 繰り返し
- 【第5回】 条件分岐
- 【第6回】 角度
- 【第7回】 座標
- 【第8回】 論理演算
- 【第9回】 変数
- 【第10回】 関数
- 【第11回】 ふうせん割りゲームの制作(1)
- 【第12回】 ふうせん割りゲームの制作(2)
- 【第13回】 インベーダーゲームの制作(1)
- 【第14回】 インベーダーゲームの制作(2)
- 【第15回】 まとめ

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

毎回の授業で課題を課すので、次回の授業時に提出すること。

課題に対するフィードバックの方法

授業内の課題については机間巡視により理解度を把握し、間違いや優れた点の指摘、助言等を行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す通り、授業期間中に実施される課題と、全授業終了後に実施される定期試験の評価結果に基づき総合的に判定の上、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	授業期間中に実施される課題	1、2
授業外での評価	0		
定期試験	40	全授業終了後に実施される定期試験	1、2
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	0		

テキスト	必要に応じてPDFプリントを配布する。
参考書	必要に応じて授業の中で紹介する。
履修条件・他の科目との関連	プログラミングに関する知識は不要ですが、関心を持つ人を歓迎します。ノートPCを毎回持参してください。

授業コード	13105601	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	プログラミング応用演習 [対面]				
シラバス執筆(全員)	岡本 容典				
シラバス執筆(主)	岡本 容典				
開講年次	3年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

Excelでは様々なデータ処理が可能だが、内蔵されているプログラミング言語VBA(Visual Basic for Applications)を用いることで頻繁に行う一連の処理を自動化でき、処理時間の大幅な短縮を図ることができる。さらに、VBAを活用することで、単純な計算の繰り返しやデータの整理だけでなく、複雑な条件分岐を含む高度な処理を効率的に実装することができる。また、マクロを作成することで、ユーザーが手作業で行っていた操作をボタン一つで実行できるようになり、業務の効率化や作業ミスの削減にも貢献する。

この演習は2年次後期開講科目「プログラミング基礎演習」が履修済みの人を対象とし、ExcelのVBAを用いたプログラミングについて引き続き解説する。授業では、VBAの基本的な概念を復習しつつ、より実践的なプログラミング手法を身につけることを目標とする。まず配列や関数などプログラミングの応用的な考え方について説明し、データの処理や管理を効率的に行う方法を学ぶ。次にVBAでGUI(Graphical User Interface)を実現するための仕組みとしてユーザーフォームを解説し、フォームを活用したインタラクティブなアプリケーションの作成方法を修得する。

到達目標

1. プログラミングに関する高度な知識を修得し、目的に応じたプログラムが作成できる。

授業計画

- 【第1回】 Excel/VBAプログラミングの復習
- 【第2回】 式と値
- 【第3回】 ステートメント
- 【第4回】 スコープ
- 【第5回】 変数と代入
- 【第6回】 配列
- 【第7回】 Withステートメント
- 【第8回】 Subプロシージャ
- 【第9回】 引数
- 【第10回】 Functionプロシージャ
- 【第11回】 Propertyプロシージャ
- 【第12回】 ユーザーフォーム
- 【第13回】 クイズアプリの制作
- 【第14回】 15パズルの制作
- 【第15回】 まとめ

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

毎回の授業で課題を課すので、次回の授業時に提出すること。

課題に対するフィードバックの方法

授業内の課題については机間巡視により理解度を把握し、間違いや優れた点の指摘、助言等を行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す通り、授業期間中に実施される課題と、全授業終了後に実施される定期試験の評価結果に基づき総合的に判定の上、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	授業期間中に実施される課題	1
授業外での評価	0		
定期試験	40	全授業終了後に実施される定期試験	1
定期試験に代わるレポート等	0		

その他	0		
テキスト	必要に応じてPDFプリントを配布する。		
参考書	必要に応じて授業の中で紹介する。		
履修条件・他の科目との関連	2年次後期開講科目「プログラミング基礎演習」が履修済みであり、かつプログラミングに強い関心を持つ人を対象とします。ノートPCを毎回持参してください。		

授業コード	13101901	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	A I の仕組みと応用 [対面]				
シラバス執筆(全員)	岡本 容典				
シラバス執筆(主)	岡本 容典				
開講年次	3年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

近年、AI（人工知能）の進歩は目覚ましく、特にディープラーニングや生成AIの分野において革新的な技術が次々と生み出されている。一部の研究者は、2045年にはAIが人間の知能を超え、自律的に進化し続ける可能性があるとして予測しており、社会のさまざまな分野で大きな変革が起こるだろう。AIの発展は、医療、金融、製造業、エンターテインメントなど多岐にわたり、その影響力はますます拡大し続けている。

本講義では、まずAIの歴史を振り返り、これまで人類がどのようにコンピュータに知的な振る舞いを持たせようと試みてきたのかを探る。初期の単純なルールベースのAIから、現在主流となっている機械学習・深層学習に至るまでの技術の進化を理解し、AIがどのようにして課題を解決して、人間の意思決定を支援するようになったのかを詳しく解説する。

また、AIの実装に広く使用されているプログラミング言語Pythonの基本についても学習する。Pythonは、シンプルで分かりやすい構文を持ち、AIやデータ分析の分野で多くのライブラリが提供されているため、初心者にも適した言語である。講義ではPythonの基礎文法を学ぶだけでなく、AI関連の演習を通じて実際にプログラムを動かしながら、AI技術の活用方法を体験する。これにより、理論だけでなく実践的なスキルも身につけることができる。

到達目標

1. AIの歴史について説明できる
2. AIの基本的な原理について説明できる
3. Pythonを用いたAIプログラムを作成できる

授業計画

- 【第1回】 ガイダンス
- 【第2回】 第1次AIブーム
- 【第3回】 エキスパートシステム
- 【第4回】 第2次AIブーム
- 【第5回】 ニューラルネットワーク
- 【第6回】 学習アルゴリズム
- 【第7回】 AIによる文字認識
- 【第8回】 第3次AIブーム
- 【第9回】 ディープラーニング
- 【第10回】 AIによる画像認識
- 【第11回】 学習に関するテクニック
- 【第12回】 畳み込みニューラルネットワーク
- 【第13回】 AIの応用
- 【第14回】 AIの未来
- 【第15回】 まとめ

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

毎回の授業で課題を課すので、次回の授業時に提出すること。

課題に対するフィードバックの方法

授業内の課題については机間巡視により理解度を把握し、間違いや優れた点の指摘、助言等を行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す通り、授業期間中に実施される課題と、全授業終了後に実施される定期試験の評価結果に基づき総合的に判定の上、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	授業期間中に実施される課題	1、2、3
授業外での評価	0		

定期試験	40	全授業終了後に実施される定期試験	1、2、3
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	0		
テキスト	必要に応じてPDFプリントを配布する。		
参考書	必要に応じて授業の中で紹介する。		
履修条件・他の科目との関連	プログラミングに関する知識は不要ですが、関心を持つ人を歓迎します。演習を併用しますので、ノートPCは毎回持参してください。		

授業コード	13102001	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	動画編集演習 [対面]				
シラバス執筆(全員)	下條 善史				
シラバス執筆(主)	下條 善史				
開講年次	3年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

現代社会では、文字や音声以外の情報メディアに対する敷居が極端に低くなり、画像や動画によって行われるコミュニケーションが20年前とは比較にならないくらいに当たり前になっている。その原因の一つは、スマートフォンの普及である。スマートフォンはリアルタイムで動画を再生できるのみならず、動画の撮影編集に至るまで可能にしたうえに、社会参加している成人のほとんどが所有し、常時ネットワークに接続された状態で互いに通信を送りあっている、人類史上においても稀有な状況を作り上げた特異なデバイスである。このような環境下で、単なる映像情報の消費者として、情報の発信者に操られる立場に甘んじるのではなく、自らが他者に影響を与えうる映像情報の発信者として一定の技術を持つことは、これからの社会における一つの立場を作り上げる基本的能力ともなるだろう。本演習では、最低限の映像制作の技術を習得するのみならず、映像についての倫理や権利、コミュニケーション上の効果にまで議論を広げ、映像制作の技術を十分に生かすことのできる新しいタイプの社会人を育成することを目標とする。

到達目標

1. 映像というコミュニケーション手段の特性について理解する。
2. 基本的な映像作成の技術を身につけ、手持ちの環境における最大限の表現力を身につける。
3. 映像によるコミュニケーションにおける権利や倫理を学び、映像利用の適否についての判断力を身につける。

授業計画

本授業は演習を中心とした授業です。毎回PCを持参して、映像に関する資料閲覧や素材編集が行えるように準備してください。スマートフォンも頻繁に利用する予定ですので、充電を忘れないようにしてください。

- 第1回：映像におけるコミュニケーション理論
映像によるコミュニケーションがどのようにモデル化されているかを紹介する。
- 第2回：映像フォーマットの種類とその特性
数ある画像・映像フォーマットの機能や特性を理解し、最適なフォーマットを選択できるようにする。
- 第3回：映像と素材の権利、倫理
映像にまつわる著作権や肖像権などを理解し、倫理的に正しいクリエイターとしての行動がとれるようにする。
- 第4回：映像のためのハードウェア
カメラ、ディスプレイ、GPUなど映像に関するハードウェアについての知識を獲得する。
- 第5回：映像撮影の基本
カメラレンズの性質、人間の視覚の性質などから撮影技術まで、映像素材製作に関する知識を得る。
- 第6回：プレゼンテーションツール
総合的映像素材作成装置としてのプレゼンテーションツールの利用法を知る。
- 第7回：作品制作①
PowerPointで映像作品を作る。
- 第8回：作品の相互評価①
作品を相互に評価しあう。
- 第9回：2Dアニメーション
静止画の加工による2Dアニメーションの制作技術を学ぶ。
- 第10回：作品制作②
2Dアニメーション作品を作る。
- 第11回：作品の相互評価②
2Dアニメーション作品の相互評価を行う。
- 第12回：3DCG
3DCGの基本とさまざまな表現法を学ぶ。
- 第13回：作品制作③
3DCGによる静止画、またはアニメーションを作成する。
- 第14回：作品の相互評価③
3DCG作品の相互評価を行う。
- 第15回：VRとAR
3DCGから発展した、VR技術について学び、ARへの応用について考える。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

事前学習として、毎回の授業時に以下の事前準備が完了しており、また次回の授業までに事後学習を済ませていることを要望します。この準備がないと、授業が効果的に受けられない可能性があります。

第1回事前準備：PCをフル充電して持参すること。

- 事後学習：授業内容を十分理解し、復習してくる。
- 第2回事前準備：PCをフル充電して持参すること。
- 事後学習：授業内容を十分理解し、復習してくる。
- 第3回事前準備：PCをフル充電して持参すること。
- 事後学習：授業内容を十分理解し、復習してくる。
- 第4回事前準備：PCをフル充電して持参すること。
- 事後学習：自身のスマホ、PCに内蔵のカメラ、ディスプレイのスペックをカタログなどで調査してくる。
- 第5回事前準備：PCをフル充電して持参すること。
- 事後学習：スマホを利用して、次回以降の素材にする静止画、映像を撮影してくる。その際、第3回授業にて講義する映像素材に関する倫理順守を意識すること。
- 第6回事前準備：PCをフル充電して持参すること。PCにPowerPointがインストールされていて正常に動作することを確認してくる。
- 事後学習：次回、PowerPointで作品を制作することを前提に、アイデアや素材を準備してくる。
- 第7回事前準備：PCをフル充電して持参すること。
- 事後学習：次回までに作品を仕上げ、準備したサイトに作品をアップロードしておくこと。作品がアップロードされていなければ評価の対象にならない。
- 第8回事前準備：PCをフル充電して持参すること。
- 事後学習：特になし。
- 第9回事前準備：PCをフル充電して持参すること。
- 事後学習：前回の授業で紹介した自分のデバイスに合わせたツールについて調査しておくこと。
- 第10回事前準備：PCをフル充電して持参すること。前回の授業で紹介した自分のデバイスに合わせたツールをインストールし、おおまかな使用法を理解してくる。また作品制作のアイデアや素材の準備をしてくる。
- 事後学習：次回までに作品を仕上げ、準備したサイトに作品をアップロードしておくこと。作品がアップロードされていなければ評価の対象にならない。
- 第11回事前準備：PCをフル充電して持参すること。
- 事後学習：特になし。
- 第12回事前準備：PCをフル充電して持参すること。
- 事後学習：前回の授業で紹介した自分のデバイスに合わせたツールについて調査しておくこと。
- 第13回事前準備：PCをフル充電して持参すること。前回の授業で紹介した自分のデバイスに合わせたツールをインストールし、おおまかな使用法を理解してくる。また作品制作のアイデアや素材の準備をしてくる。
- 事後学習：次回までに作品を仕上げ、準備したサイトに作品をアップロードしておくこと。作品がアップロードされていなければ評価の対象にならない。
- 第14回事前準備：PCをフル充電して持参すること。
- 事後学習：特になし。
- 第15回事前準備：PCをフル充電して持参すること。

課題に対するフィードバックの方法

毎回の授業に関して、作品の提出、または授業の理解内容を含めた感想文を求めます。それらについて、授業中にフィードバックをします。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

作品の提出、または毎回の授業内容の理解度を量る感想文の提出によって評価を行う。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	40	授業内容の理解、作品の完成度	1, 2, 3
授業外での評価	40	アイデアの創出、作品素材の準備状況	1, 2, 3
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	授業内で制作した作品を個々に紹介し、目指したもの、難しかったところ、工夫した点、自身の感想などを記したレポートを課し、作品と併せて評価する。	1, 2, 3
その他	0		

テキスト	特にテキストは指定せず、各授業においてインターネット上の資料を指示する。
参考書	映像制作やソフトウェアの使用法に関する資料を随時紹介する。
履修条件・他の科目との関連	本演習は内容が高度で多岐にわたるため、特段の事情がない限り毎回の出席を強く希望する。また、毎回フル充電したPCとスマホの持参を必須とする。

授業コード	13102101	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	Webアプリ開発 [対面]				
シラバス執筆(全員)	岡本 容典				
シラバス執筆(主)	岡本 容典				
開講年次	3年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

Webアプリとは、インターネットを通じてWebブラウザを利用し、オンライン上でアクセスできるアプリケーションのことを指す。これはパソコンだけでなく、スマートフォンやタブレットなど、さまざまなデバイスで利用できるため、非常に柔軟性があり、現代のデジタル社会では欠かせない存在となっている。

本講義では、Webサイトを作成する際に必須となる言語であるHTML (HyperText Markup Language) とCSS (Cascading Style Sheets) について解説する。また、Webページを動的に変化させ、インタラクティブな要素を追加するために使用されるプログラミング言語であるJavaScriptについても説明する。JavaScriptを使用することで、ユーザーの操作に応じてWebページの内容をリアルタイムで変更したり、アニメーションやエフェクトを加えることができる。さらに、これらの技術を応用し、スマートフォンアプリを開発するためのスキルを習得することを目指す。

到達目標

1. HTML、CSSを理解し、Webサイトを自由に作成できる。
2. JavaScriptを使って自由にプログラムが作成できる。
3. HTML、CSS、JavaScriptを組み合わせ、Webアプリを自由に制作できる。

授業計画

- 【第1回】 ガイダンス
- 【第2回】 HTMLの基礎(1) : 文字の表示, ページのレイアウト
- 【第3回】 HTMLの基礎(2) : ハイパーリンク, 画像の表示
- 【第4回】 CSSの基礎(1) : 色とフォントの指定
- 【第5回】 CSSの基礎(2) : 背景色, 背景画像の指定
- 【第6回】 Webページの作成
- 【第7回】 JavaScriptの基礎(1) : 基本文法
- 【第8回】 JavaScriptの基礎(2) : 変数
- 【第9回】 JavaScriptの基礎(3) : 繰り返し
- 【第10回】 JavaScriptの基礎(4) : 条件分岐
- 【第11回】 JavaScriptの基礎(5) : 関数
- 【第12回】 JavaScriptの基礎(6) : オブジェクト
- 【第13回】 JavaScriptの基礎(7) : 図形の描画
- 【第14回】 Webアプリの制作(1)
- 【第15回】 Webアプリの制作(2)

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

毎回の授業で課題を課すので、次回の授業時に提出すること。

課題に対するフィードバックの方法

授業内の課題については机間巡視により理解度を把握し、間違いや優れた点の指摘、助言等を行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す通り、授業期間中に実施される課題と、全授業終了後に実施される定期試験の評価結果に基づき総合的に判定の上、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	授業期間中に実施される課題	1、2、3
授業外での評価	0		
定期試験	40	全授業終了後に実施される定期試験	1、2、3
定期試験に代わるレポート等	0		

その他	0		
テキスト	必要に応じてPDFプリントを配布する。		
参考書	必要に応じて授業の中で紹介する。		
履修条件・他の科目との関連	プログラミングに関する知識は不要ですが、関心を持つ人を歓迎します。演習を併用しますので、ノートPCは毎回持参してください。		

授業コード	13105701	授業形態	講義	実務家教員	○
授業科目名	経営学入門 [対面]				
シラバス執筆(全員)	佐々木 一雄				
シラバス執筆(主)	佐々木 一雄				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

経営学は、企業や会社を研究対象とし「良いことを上手に実現するための方法」を学ぶ学問である。経営学の基礎を網羅的に学習することにより企業経営について理解を深めるだけでなく、これからより良き人生を歩んでいくために必要な方法論や知見を身につけることができる。

この授業では、初年次教育として経営学の基本的な要素と企業活動の特徴や諸課題について学修する。具体的には、企業のしくみや経営資源、それらを最適配分しながら製品・サービスを顧客に提供し、利益を得て発展していく経営活動の全体像について解説する。また、コーポレート・ガバナンス（企業統治）の仕組みや企業の社会的責任の基本となる考え方について説明する。日頃から「企業」や「経営」に関心を持って新聞や雑誌の記事を読み、授業テーマについての知識を蓄えることを推奨する。なお、適宜、課題を与えるので、学生の皆さんには、積極的に取り組むことを期待する。

担当教員が長年にわたり、企業において「経理および経営管理」業務に従事してきた経験をもとに、実務家教員として、「経営」に関する理論と実践への応用を関連付けながら講義を展開する。

到達目標

1. 企業経営の仕組みと経営管理に関する基礎的な概念について説明することができる。
2. 企業経営の基礎知識および遂行のための諸課題について説明することができる。
3. 経営学の基礎知識をもとに、企業経営の実態を把握し、課題を考察することができる。
4. ビジネスを理解するうえで、論理的、複眼的に判断する素養を身につけている。

授業計画

※授業計画については変更する可能性もある。

【第1回】イントロダクション

内容：授業概要、経営学が扱うテーマ、経営学を学ぶ意義、授業の進め方や評価方法などについて説明する。

【第2回】企業経営の全体像

内容：製品・サービス市場、経営資源、金融・資本市場、労働市場、組織のマネジメントについて解説する。

【第3回】企業と会社の制度的な特徴

内容：企業の種類、会社の種類、株式会社の機能、所有と経営の分離について解説する。

【第4回】コーポレート・ガバナンスと企業の社会的責任

内容：企業統治の目的としくみ、企業の社会的責任、SDGsについて解説する。

【第5回】経営理念と経営戦略

内容：経営理念とビジョン、経営理念と経営戦略との関連、経営戦略の3つの階層について解説する。

【第6回】企業戦略

内容：アンゾフの成長ベクトル、多角化、事業の定義、ライフ・サイクルとポートフォリオ・プランニングについて解説する。

【第7回】競争戦略

内容：経験曲線、ポーターの5フォース、競争戦略の種類、経営戦略の概念について解説する。

【第8回】マーケティング

内容：セグメンテーションとターゲティング、マーケティング・ミックス(4P)について解説する。

【第9回】ビジネスモデル

内容：ビジネスモデルの「4つの箱」、ビジネスモデル・キャンパス、事業による利益発生メカニズムについて解説する。

【第10回】組織構造

内容：組織の目的、組織形態の基本モデルについて解説する。

【第11回】組織文化

内容：組織文化の概念、組織文化の機能と逆機能、組織文化の変革について解説する。

【第12回】リーダーシップ

内容：リーダーシップの基本概念とリーダーシップに関する諸理論について解説する。

【第13回】モチベーション

内容：モチベーションに関する諸理論、リーダーシップとモチベーションとの関係について解説する。

【第14回】企業経営実践事例

内容：これまで学んだ内容をベースに、企業経営の実践事例を紹介する。

【第15回】まとめ

内容：第14回までの重要な論点について解説し、定期試験の実施要領について説明する。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

事前学習課題：シラバスを熟読し、授業構成を理解する。

事後学習課題：講義内容を参照しながら自分のノートを作成し、まとめる。
 【第2回】 から 【第14回】
 事前学習課題：テキストの該当部分を読んで、疑問点を整理しておく。
 事後学習課題：講義内容を参照しながら自分のノートを作成し、まとめる。
 【第15回】
 事前学習課題：これまで学んだことをしっかりと復習し、質問したいことを列挙する。
 事後学習課題：講義内容を振り返り、定期試験に備える。

課題に対するフィードバックの方法

課題レポートについては、Google classroomを通じて、限定コメントをつけてフィードバックする。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	小テスト(60)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	10	レポート(10)	1, 2, 3, 4
定期試験	30	筆記試験(30)	1, 2, 3, 4
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	0		

テキスト	藤田誠(2015)『経営学入門(第1版)』中央経済社 2,400円(税別) ISBN978-4-502-13391-6
------	---

参考書	必要に応じて、適宜紹介する。
-----	----------------

履修条件・他の科目との関連	Google classroomにプリントを掲載するが、必ずテキストを購入して、予習・復習を行うこと。
---------------	---

授業コード	13105801	授業形態	講義	実務家教員	○
授業科目名	マーケティング入門 [対面]				
シラバス執筆(全員)	山下 純				
シラバス執筆(主)	山下 純				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

マーケティングの概念やフレームワークは、ビジネスの世界では洋の東西を問わず世界共通言語である。実際に、マーケティングの概念やフレームワークはビジネスの現場で幅広く用いられていて、さまざまな企業活動を推し進めていく上で非常に大きな役割を果たしている。ピーター・ドラッカーが述べた「販売とマーケティングは逆である。マーケティングの理想は、販売を不要にすることである。マーケティングが目指すものは、顧客を理解し、製品とサービスを顧客に合わせ、おのずから売れるようにすることである」という言葉がマーケティングの本質を表している。本講義では、入門としてマーケティングの基礎的な内容を学び、発展応用へつなげることを目指す。

本講義の目的は、下記2点とする。

- 1) マーケティングが企業の活動において果たす役割の重要性を理解すること
 - 2) マーケティングの発展過程を踏まえつつ、マーケティングに関する基本的な知識を幅広く習得すること
- 本講義では、企業経営におけるマーケティングの重要性、及び立案、実行までのプロセスを学ぶ。担当教員が長年にわたりビジネスに従事して培ってきた社会経験および現地の実際に即した豊富な知見やスキルをもとに、マーケティングに関する理論と実践への応用を関連づけながら講義を展開する。

到達目標

- 1 企業の活動においてなぜマーケティングが重要なのかについて説明できる
- 2 マーケティングの基本的な概念、フレームワークについて説明できる
- 3 企業のマーケティング戦略について授業で習得したフレームワークを用いながら説明できる

授業計画

各回のテーマ案は、状況によっては変更する可能性がある。

【第1回】

テーマ：オリエンテーション

内容・方法：シラバスの説明（講義の構成、進め方、評価方法、参考書など）

【第2回】

テーマ：マーケティングとは何か

内容・方法：マーケティングの目的、定義、コンセプト、販売とのちがい、基本的用語等について学ぶ

【第3回】

テーマ：マーケティングの手順

内容・方法：マーケティングの手順について学ぶ

【第4回】

テーマ：マーケティングのための情報収集・環境分析

内容・方法：マーケティングのための情報収集・環境分析の意義、フレームワークについて学ぶ

【第5回】

テーマ：3C分析

内容・方法：3C分析について学ぶ

【第6回】

テーマ：ファイブフォース分析

内容・方法：ファイブフォース分析について学ぶ

【第7回】

テーマ：SWOT分析とクロスSWOT分析

内容・方法：SWOT分析とクロスSWOT分析について学ぶ

【第8回】

テーマ：プロダクト・ライフサイクル (PLC)

内容・方法：プロダクト・ライフサイクル (PLC) について学ぶ

【第9回】

テーマ：プロダクト・ポートフォリオ・マネジメント (PPM)

内容・方法：プロダクト・ポートフォリオ・マネジメント (PPM) について学ぶ

【第10回】

テーマ：STP (1) (Segmentation, Targeting)

内容・方法：STPにおけるSegmentation, Targetingについて学ぶ

【第11回】

テーマ：STP (2) (Positioning)

内容・方法：STPにおけるPositioningについて学ぶ

【第12回】

テーマ：マーケティングミックスの4P

内容・方法：マーケティングミックスの4Pについて学ぶ

【第13回】

テーマ：マーケティングミックスの4Cとサービスマーケティングの7P

内容・方法：マーケティングミックスの4Cとサービスマーケティングの7Pについて学ぶ

【第14回】

テーマ：企業向け市場（B2B）のマーケティング
 内容・方法：B2CとB2Bのマーケティング比較等について学ぶ
 【第15回】
 テーマ：振り返りとまとめ
 内容・方法：振り返りとまとめを行なう

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

- 【第1回】
 ① 事前学修課題：シラバスを読み、学修する内容について理解する
 ② 事後学修課題：授業の復習を行なう
- 【第2回】
 ① 事前学修課題：マーケティングとは何かについて調べる
 ② 事後学修課題：授業で学んだ内容を復習する
- 【第3回】
 ① 事前学修課題：マーケティングの手順について調べる
 ② 事後学修課題：マーケティングの手順について学んだ内容を復習する
- 【第4回】
 ① 事前学修課題：マーケティングのための情報収集・環境分析について調べる
 ② 事後学修課題：マーケティングのための情報収集・環境分析の意義等について学んだ内容を復習する
- 【第5回】
 ① 事前学修課題：3C分析について調べる
 ② 事後学修課題：3C分析について学んだ内容を復習する
- 【第6回】
 ① 事前学修課題：ファイブフォース分析について調べる
 ② 事後学修課題：ファイブフォース分析について学んだ内容を復習する
- 【第7回】
 ① 事前学修課題：SWOT分析とクロスSWOT分析について調べる
 ② 事後学修課題：SWOT分析とクロスSWOT分析について学んだ内容を復習する
- 【第8回】
 ① 事前学修課題：プロダクト・ライフサイクル（PLC）分析について調べる
 ② 事後学修課題：プロダクト・ライフサイクル（PLC）について学んだ内容を復習する
- 【第9回】
 ① 事前学修課題：プロダクト・ポートフォリオ・マネジメント（PPM）について調べる
 ② 事後学修課題：プロダクト・ポートフォリオ・マネジメント（PPM）について学んだ内容を復習する
- 【第10回】
 ① 事前学修課題：STPIにおけるSegmentation、Targetingについて調べる
 ② 事後学修課題：STPIにおけるSegmentation、Targetingについて学んだ内容を復習する
- 【第11回】
 ① 事前学修課題：STPIにおけるPositioningについて調べる
 ② 事後学修課題：STPIにおけるPositioningについて学んだ内容を復習する
- 【第12回】
 ① 事前学修課題：マーケティングミックスの4P とサービスマーケティングの7Pについて調べる
 ② 事後学修課題：マーケティングミックスの4P とサービスマーケティングの7Pについて学んだ内容を復習する
- 【第13回】
 ① 事前学修課題：マーケティングミックスの4C について調べる
 ② 事後学修課題：マーケティングミックスの4C について学んだ内容を復習する
- 【第14回】
 ① 事前学修課題：企業向け市場（B2B）のマーケティング等について調べる
 ② 事後学修課題：B2CとB2Bのマーケティング比較等について学んだ内容を復習する
- 【第15回】
 ① 事前学修課題：授業全体で学んだことを復習し、理解の抜けもれを確認する
 ② 事後学修課題：授業全体で学んだ内容を振り返り定期試験に備える

課題に対するフィードバックの方法

レポートにはコメントをつけて返却する。
 授業での発言については適宜コメントをする。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

授業内のミニテスト（30）
 期中のレポート課題（30）
 定期試験（40）

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	30	授業内で課されるミニテスト(6回×5点)	1、2、3
授業外での評価	30	期中のレポート課題	1、2、3

定期試験	40	全体授業終了後の試験	1、2、3
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	0		
テキスト	特になし		
参考書	授業の中で適宜紹介する		
履修条件・他の科目との関連	出席を重視する		

授業コード	13102201	授業形態	講義	実務家教員	○
授業科目名	経営戦略論 [対面]				
シラバス執筆(全員)	山下 純				
シラバス執筆(主)	山下 純				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

経営戦略論の概念やフレームワークはビジネスの現場で幅広く用いられていて、さまざまな企業活動を推し進めていく上での実学として大きな役割を果たしている。したがって、皆さんが将来企業に就職して事業活動に参画していく中においても、さまざまな場面で経営戦略論の知識や思考が求められることになる。本講義の目的は、下記2点とする。

- 1) 経営戦略論が企業の活動において果たす役割の重要性を理解すること
- 2) 経営戦略論の発展過程を踏まえつつ、経営戦略論に関する基本的な知識を幅広く習得すること

本講義では、企業経営における戦略の重要性、及び立案、実行までのプロセスを学ぶ。主に、企業の内部環境や外部環境の分析にかかわるSWOTや製品市場分析にかかわるプロダクト・ポートフォリオマネジメント (PPM) などの分析ツールの概要と活用法や各種戦略の概要を学ぶ。そのうえで企業の持続可能性を維持しつつ、市場における競争優位性を高める手法や考え方についても検討する。担当教員が長年にわたりビジネスに従事して培ってきた社会経験および現地の実際に即した豊富な知見やスキルをもとに、経営戦略に関する理論と実践への応用を関連づけながら講義を展開する。

到達目標

- 1 企業の活動においてなぜ経営戦略が重要なのかについて説明できる
- 2 経営戦略論の基本的な概念、フレームワークについて説明できる
- 3 企業の経営戦略を授業で習得したフレームワークを用いながら説明できる

授業計画

各回のテーマ案は、状況によっては変更する可能性がある。

【第1回】

テーマ：オリエンテーション

内容・方法：シラバスの説明（講義の構成、進め方、評価方法、参考書など）

【第2回】

テーマ：経営戦略とは何か

内容・方法：経営戦略論とはどのような学問か、及び戦略と戦術の意義について学ぶ

【第3回】

テーマ：経営戦略の体系

内容・方法：経営戦略論の歴史的な発展過程、及び経営戦略の定義と要件について学ぶ

【第4回】

テーマ：経営戦略の前提要件

内容・方法：基本理念・ミッション・ビジョン・バリュー等について学ぶ

【第5回】

テーマ：セグメンテーションと経営戦略

内容・方法：セグメンテーションや事業ドメイン等について学ぶ

【第6回】

テーマ：外部経営環境（1）

内容・方法：PEST分析、3C分析等の外部環境分析の代表的なフレームワークの概要について学ぶ

【第7回】

テーマ：外部経営環境（2）

内容・方法：SWOT分析、クロスSWOT分析、ファイブフォース分析等の概要について学ぶ

【第8回】

テーマ：内部経営環境

内容・方法：バリューチェーン分析、VRIO分析等の内部環境分析の代表的なフレームワークの概要について学ぶ

【第9回】

テーマ：プロダクト・ライフサイクル (PLC) 曲線と経営戦略

内容・方法：PLC曲線、製品・サービスの寿命について学ぶ

【第10回】

テーマ：PPM分析と経営戦略

内容・方法：どの製品・サービスが企業を救うのか、企業の多角化した事業群へのPPM分析について学ぶ

【第11回】

テーマ：ポーターの競争戦略論

内容・方法：企業の3つの基本戦略について学ぶ

【第12回】

テーマ：創発戦略

内容・方法：戦略は計画通りに進むのか？不確実性に対応するための創発戦略について学ぶ

【第13回】

テーマ：資源ベースの経営戦略 (RBV) について

内容・方法：企業の競争優位の源泉を内部資源・経営資源などの強みに求めるRBVについて学ぶ

【第14回】

テーマ：ブルー・オーシャン戦略について

内容・方法：ポジショニングとケイパビリティを融合したブルー・オーシャン戦略について学ぶ
 【第15回】
 テーマ：振り返りとまとめ
 内容・方法：振り返りとまとめを行なう

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

- 【第1回】
- ① 事前学修課題：シラバスを読み、学修する内容について理解する
 - ② 事後学修課題：授業の復習を行なう
- 【第2回】
- ① 事前学修課題：経営戦略論とはどのような学問かについて調べる
 - ② 事後学修課題：授業で学んだ内容を復習する
- 【第3回】
- ① 事前学修課題：経営戦略論の歴史的な発展過程、及び経営戦略の定義と要件について調べる
 - ② 事後学修課題：授業で学んだ内容を復習する
- 【第4回】
- ① 事前学修課題：基本理念・ミッション・ビジョン・バリュー等について調べる
 - ② 事後学修課題：基本理念・ミッション・ビジョン・バリュー等について学んだ内容を復習する
- 【第5回】
- ① 事前学修課題：セグメンテーションや事業ドメイン等について調べる
 - ② 事後学修課題：セグメンテーションや事業ドメイン等について学んだ内容を復習する
- 【第6回】
- ① 事前学修課題：PEST分析、3C分析等の外部環境分析のフレームワークについて調べる
 - ② 事後学修課題：PEST分析、3C分析等のフレームワークについて学んだ内容を復習する
- 【第7回】
- ① 事前学修課題：SWOT分析、ファイブフォース分析等の外部環境分析のフレームワークについて調べる
 - ② 事後学修課題：SWOT分析、ファイブフォース分析等のフレームワークについて学んだ内容を復習する
- 【第8回】
- ① 事前学修課題：バリューチェーン分析、VRIO分析等の内部環境分析のフレームワークについて調べる
 - ② 事後学修課題：バリューチェーン分析、VRIO分析等のフレームワークについて学んだ内容を復習する
- 【第9回】
- ① 事前学修課題：PLC曲線について調べる
 - ② 事後学修課題：PLC曲線、製品・サービスの寿命について学んだ内容を復習する
- 【第10回】
- ① 事前学修課題：企業の多角化した事業群へのPPM分析について調べる
 - ② 事後学修課題：PPM分析について学んだ内容を復習する
- 【第11回】
- ① 事前学修課題：ポーターの企業の3つの基本戦略について調べる
 - ② 事後学修課題：ポーターの競争戦略論、企業の3つの基本戦略について学んだ内容を復習する
- 【第12回】
- ① 事前学修課題：創発戦略について調べる
 - ② 事後学修課題：創発戦略について学んだ内容を復習する
- 【第13回】
- ① 事前学修課題：資源ベースの経営戦略について調べる
 - ② 事後学修課題：資源ベースの経営戦略について学んだ内容を復習する
- 【第14回】
- ① 事前学修課題：ブルー・オーシャン戦略について調べる
 - ② 事後学修課題：ブルー・オーシャン戦略について学んだ内容を復習する
- 【第15回】
- ① 事前学修課題：授業全体で学んだことを復習し、理解の抜けもれを確認する
 - ② 事後学修課題：授業全体で学んだ内容を振り返り定期試験に備える

課題に対するフィードバックの方法

レポートにはコメントをつけて返却する。
 授業での発言については適宜コメントをする。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

授業内のミニテスト (30)
 期中のレポート課題 (30)
 定期試験 (40)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	30	授業内で課されるミニテスト(6回×5点)	1、2、3
授業外での評価	30	期中のレポート課題	1、2、3
定期試験	40	全体授業終了後の試験	1、2、3

定期試験に代わるレポート等	0		
その他	0		
テキスト	特になし		
参考書	授業の中で適宜紹介する		
履修条件・他の科目との関連	出席を重視する		

授業コード	13090601	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	流通概論 [対面]				
シラバス執筆(全員)	山下 純				
シラバス執筆(主)	山下 純				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

- 1 普段利用しているさまざまなタイプの小売業態（食品スーパー、総合スーパー、コンビニエンスストア、ドラッグストア、ディスカウントストア、家電量販店など）を理解する
- 2 小売業を支える卸売業、情報、物流（ロジスティクス）について学ぶ
- 3 流通構造、日本型取引慣行を理解する

到達目標

- 1 小売業を業態別について基礎的用語や知識を学び、具体的な内容を説明できる
- 2 卸売業、情報、物流について基礎的用語や知識を学び、具体的な内容を説明できる
- 3 流通構造、日本型取引慣行について説明できる

授業計画

各回のテーマ・内容は、状況によっては変更する可能性がある。

- 【第1回】
 テーマ：オリエンテーション
 内容・方法：シラバスの説明（講義の構成、進め方、評価方法、参考書など）
- 【第2回】
 テーマ：流通とは何か
 内容・方法：流通とは何かについて学ぶ
- 【第3回】
 テーマ：百貨店と総合スーパー
 内容・方法：百貨店と総合スーパーについて学ぶ
- 【第4回】
 テーマ：食品スーパーとコンビニエンス・ストア
 内容・方法：食品スーパーとコンビニエンス・ストアについて学ぶ
- 【第5回】
 テーマ：ディスカウント・ストアとSPA
 内容・方法：ディスカウント・ストアとSPAについて学ぶ
- 【第6回】
 テーマ：商店街とショッピングセンター
 内容・方法：商店街とショッピングセンターについて学ぶ
- 【第7回】
 テーマ：小売業態とは何か
 内容・方法：小売業態とは何かについて学ぶ
- 【第8回】
 テーマ：小売りを支えるロジスティクス
 内容・方法：小売りを支えるロジスティクスについて学ぶ
- 【第9回】
 テーマ：インターネット技術と新しい小売業態
 内容・方法：インターネット技術と新しい小売業態について学ぶ
- 【第10回】
 テーマ：小売りを支える卸
 内容・方法：小売りを支える卸について学ぶ
- 【第11回】
 テーマ：流通構造とその変容
 内容・方法：流通構造とその変容について学ぶ
- 【第12回】
 テーマ：日本型取引慣行
 内容・方法：日本型取引慣行について学ぶ
- 【第13回】
 テーマ：小売りを中心とした取引慣行
 内容・方法：小売りを中心とした取引慣行について学ぶ
- 【第14回】
 テーマ：グローバル化する小売業
 内容・方法：グローバル化する小売業について学ぶ
- 【第15回】
 テーマ：振り返りとまとめ
 内容・方法：振り返りとまとめを行なう

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

- 【第1回】
 - ① 事前学修課題：シラバスを読み、学修する内容について理解する
 - ② 事後学修課題：授業の復習を行なう
- 【第2回】
 - ① 事前学修課題：流通とは何か、企業にとってどのような意義があるのか調べる
 - ② 事後学修課題：流通とは何かについて学んだ内容を復習する
- 【第3回】
 - ① 事前学修課題：百貨店と総合スーパーについて予習し、身近な事例を調べる
 - ② 事後学修課題：百貨店と総合スーパーについて学んだ内容を復習する
- 【第4回】
 - ① 事前学修課題：食品スーパーとコンビニエンス・ストアについて予習し、身近な事例を調べる
 - ② 事後学修課題：食品スーパーとコンビニエンス・ストアについて学んだ内容を復習する
- 【第5回】
 - ① 事前学修課題：ディスカウント・ストアとSPAについて予習し、身近な事例を調べる
 - ② 事後学修課題：ディスカウント・ストアとSPAについて学んだ内容を復習する
- 【第6回】
 - ① 事前学修課題：商店街とショッピングセンターについて予習し、身近な事例を調べる
 - ② 事後学修課題：商店街とショッピングセンターについて学んだ内容を復習する
- 【第7回】
 - ① 事前学修課題：小売業態とは何かについて予習し、身近な事例を調べる
 - ② 事後学修課題：小売業態とは何かについて学んだ内容を復習する
- 【第8回】
 - ① 事前学修課題：小売りを支えるロジスティクスについて予習し、身近な事例を調べる
 - ② 事後学修課題：小売りを支えるロジスティクスについて学んだ内容を復習する
- 【第9回】
 - ① 事前学修課題：インターネット技術と新しい小売業態について予習し、身近な事例を調べる
 - ② 事後学修課題：インターネット技術と新しい小売業態について学んだ内容を復習する
- 【第10回】
 - ① 事前学修課題：小売りを支える卸について予習し、身近な事例を調べる
 - ② 事後学修課題：小売りを支える卸について学んだ内容を復習する
- 【第11回】
 - ① 事前学修課題：流通構造とその変容について予習し、身近な事例を調べる
 - ② 事後学修課題：流通構造とその変容について学んだ内容を復習する
- 【第12回】
 - ① 事前学修課題：日本型取引慣行について予習し、身近な事例を調べる
 - ② 事後学修課題：日本型取引慣行について学んだ内容を復習する
- 【第13回】
 - ① 事前学修課題：小売りを中心とした取引慣行について予習し、身近な事例を調べる
 - ② 事後学修課題：小売りを中心とした取引慣行について学んだ内容を復習する
- 【第14回】
 - ① 事前学修課題：グローバル化する小売業について予習し、身近な事例を調べる
 - ② 事後学修課題：グローバル化する小売業について学んだ内容を復習する
- 【第15回】
 - ① 事前学修課題：授業全体で学んだことを復習し、理解の抜けもれを確認する
 - ② 事後学修課題：授業全体で学んだ内容を振り返り定期試験に備える

課題に対するフィードバックの方法

レポートにはコメントをつけて返却する。
授業での発言については適宜コメントをする。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
 - 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。
-
- 授業内のミニテスト (30)
 期中のレポート課題 (30)
 定期試験 (40)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	30	授業内で課されるミニテスト(6回×5点)	1、2、3
授業外での評価	30	期中のレポート課題	1、2、3
定期試験	40	全体授業終了後の試験	1、2、3
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	0		
テキスト	特になし		
参考書	授業の中で適宜紹介する		

授業コード	13105901	授業形態	講義	実務家教員	○
授業科目名	もうけの仕組み [対面]				
シラバス執筆(全員)	佐々木 一雄				
シラバス執筆(主)	佐々木 一雄				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

ビジネスで成功するためには、もうけの仕組みを理解し、ビジネスを数字で語ることが求められる。この授業では、決算書を読み解き、ビジネスの現場で数字を使いこなす能力を身につけることを目標とする。授業は講義形式で行うが、演習を取り入れることにより、学生の皆さんが理解を深められるように工夫する。数字に対する苦手意識のある学生は、この授業で積極的に数字と向き合うことにより、苦手意識を払拭してほしい。なお、適宜、課題を与えるので、積極的に取り組むことを期待する。

担当教員が長年にわたり、企業において「経理および経営管理」業務に従事してきた経験をもとに、実務家教員として、「会計」に関する理論と実践への応用を関連付けながら講義を展開する。

到達目標

1. 会計の目的、意義を説明することができる。
2. 決算書を企業の経営と関連づけて説明することができる。
3. 決算書を使って簡易な経営分析を行うことができる。
4. 売上と利益を増やす方法を説明することができる。
5. 損益分岐点分析を行うことができる。

授業計画

※授業計画については変更する可能性もある。

【第1回】イントロダクション

内容：授業概要、授業の進め方、評価方法について説明する。また、会計の基本概念とその重要性について解説する。

【第2回】会計とは

内容：会計の意義、複式簿記と仕訳、基本的な会計用語について解説する。

【第3回】貸借対照表 (B/S) (1)

内容：流動資産と固定資産の種類、減価償却の意義と手続きについて解説する。

【第4回】貸借対照表 (B/S) (2)

内容：資金の調達方法、負債と純資産の種類について解説する。

【第5回】安全性分析

内容：企業の財務健全性と短期的支払能力を示す指標について解説と演習を行う。

【第6回】損益計算書 (P/L)

内容：損益計算書 (P/L) の基本構造、5つの利益の意味、B/SとP/Lとの関係性について解説する。

【第7回】収益性分析

内容：企業の収益性を示す指標について解説と演習を行う。

【第8回】キャッシュフロー計算書

内容：キャッシュフロー計算書の基本構造と分析方法について解説する。

【第9回】決算書の活用法

内容：B/S、P/L、キャッシュフロー計算書の活用法について解説。実際の企業の決算書を用いたケーススタディを行う。

【第10回】売上を増やす方法

内容：数量を増やす方法、単価を上げる方法について解説と演習を行う。また、マーケティング戦略の基本も紹介する。

【第11回】利益を増やす方法 (1) 利益の計算方法

内容：原価と販管費、粗利益と営業利益、利益と利益率の計算方法について解説と演習を行う。

【第12回】利益を増やす方法 (2) 経費の構造

内容：仕入原価と製造原価、固定費と変動費、限界利益と限界利益率について解説と演習を行う。

【第13回】利益を増やす方法 (3) 損益分岐点分析

内容：損益分岐点分析について解説と演習を行う。

【第14回】意思決定に必要な損得計算

内容：埋没原価と機会コスト、損得計算の方法について解説と演習を行う。

【第15回】まとめ

内容：第14回までの重要な論点について解説し、定期試験の実施要領について説明する。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

事前学習課題：シラバスを熟読し、授業構成を理解する。
事後学習課題：講義内容を参照しながら自分のノートを作成し、まとめる。

【第2回】 から 【第14回】

事前学習課題：Google classroomに掲載するプリントを読んで、疑問点を整理しておく。
事後学習課題：講義内容を参照しながら自分のノートを作成し、まとめる。

【第15回】

事前学習課題：これまで学んだことをしっかりと復習し、質問したいことを列挙する。

事後学習課題：講義内容を振り返り、定期試験に備える。

課題に対するフィードバックの方法

課題レポートの提出とフィードバックは、Google classroomの中で行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	小テスト(60)	1, 2, 3, 4, 5
授業外での評価	10	レポート(10)	1, 2, 3, 4, 5
定期試験	30	筆記試験(30)	1, 2, 3, 4, 5
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	0		

テキスト	テキストは使用せず、適宜プリントを配布する。
参考書	必要に応じて適宜紹介する。
履修条件・他の科目との関連	授業内で配布するプリントは、復習や定期試験に役立つため、大切に保管すること。

授業コード	13090701	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	インターネットビジネス [対面]				
シラバス執筆(全員)	下條 善史				
シラバス執筆(主)	下條 善史				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

現代社会では、数十年前には想像もできないほどにネットワークが頻繁に利用され、社会や個人のあらゆる場面に浸透するようになった。この傾向は当面続くと思われ、インターネットの恩恵無くしては、人の営みはあり得ないとまで思えるほどに成長してきている。一方、多くのインターネット利用者は、その利便性に対する対価を消費している自覚が薄く、ネット上のビジネスの成り立ちすら意識していない様相が各所で見られる。今後、インターネットによって支えられた社会で快適に暮らし、自身の安全を守りながらそこから有形無形の利益を得ていくために、インターネットビジネスのしくみを知り、また今後の技術の発展に備え、新たなビジネスモデルを創案していくだけの前提となる技術知識を、我々は学ぶ必要があるだろう。

到達目標

1. 社会におけるインターネットの実装について理解する。
2. 任意のインターネットビジネスのしくみとその規模について調査し理解することができる。
3. 新たなアイデアに基づいたインターネットビジネスモデルを創案することができる。

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：オリエンテーション
 内容・方法：授業概要及び単位取得方法の説明を行う。
- 【第2回】
 テーマ：インターネットのハードウェアとソフトウェア
 内容・方法：インターネットを構成するハードウェアとソフトウェアを理解する。
- 【第3回】
 テーマ：インターネットの成立過程と今後
 内容・方法：インターネットの現状と未来を知る。
- 【第4回】
 テーマ：現行のインターネット利用
 内容・方法：ビジネスを含むインターネット利用の種類とそれぞれの特徴を学ぶ。
- 【第5回】
 テーマ：インターネットビジネスとは
 内容・方法：インターネットビジネスに必要なものを理解する。
- 【第6回】
 テーマ：さまざまなインターネットビジネスモデルの類型
 内容・方法：インターネットビジネスの種類とそれぞれの特徴を学ぶ。
- 【第7回】
 テーマ：コンテンツビジネスとメディアビジネス
 内容・方法：ネットビジネスの基本であるメディアとコンテンツによるビジネスを知る。
- 【第8回】
 テーマ：SNSビジネス
 内容・方法：コミュニケーションメディアとしてのインターネットのビジネスとしての側面を理解する。
- 【第9回】
 テーマ：クラウドビジネス
 内容・方法：クラウドと言う考え方と、ビジネスモデルについて学ぶ。
- 【第10回】
 テーマ：情報と通貨
 内容・方法：情報通信が代替する現実の動きについて知る。
- 【第11回】
 テーマ：既存のビジネスとIoT
 内容・方法：インターネットの限界と、それを払しょくする技術について知る。
- 【第12回】
 テーマ：メタバース
 内容・方法：新しいコミュニケーションとして期待されている技術について考えてみる。
- 【第13回】
 テーマ：新しいテクノロジーによる新しいビジネス
 内容・方法：今後登場すると予想される技術のビジネス利用について想像を深めてみる。
- 【第14回】
 テーマ：インターネットビジネスのリスクとそのマネジメント
 内容・方法：インターネットビジネスを妨げる多くの要因について理解する。
- 【第15回】
 テーマ：定期試験に代わるレポート
 内容・方法：提示された課題に対して、レポートを作成する。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

※ 毎回の授業に関して、それぞれ2時間の事前学習と事後学習が必要です。
授業前には、授業内容の告知に基づいてあらかじめネットから資料を集め、授業内容との類似や相違を念頭において授業を理解すること。
そして授業後には、毎回の授業内容とともに、自身が集めた資料を参照したうえで理解したことを、300～500字程度のテキストレポートにまとめておく。

課題に対するフィードバックの方法

課題として提出したレポート等に対して、講義中にコメントを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

受講態度や提出されたレポート課題をもとに総合的に評価する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	70	毎回の提出課題(70)	1, 2, 3
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	30	定期試験に代わるレポートの内容等(30)	1, 2
その他	0		

テキスト テキストではなく、インターネット上の記事や統計資料を毎回提示して授業を進める。

参考書 必要時に、授業の内で適宜紹介する。

履修条件・他の科目との関連 自身のPCを持参して、必要な資料をその場で見られるよう準備しておくこと。授業中の課題を Google Formなどを利用して出すこともある。

授業コード	13090801	授業形態	講義	実務家教員	○
授業科目名	グローバルビジネス戦略 [対面]				
シラバス執筆(全員)	山下 純				
シラバス執筆(主)	山下 純				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

近年、多くの日本企業はグローバルビジネスを大きく拡大している。日本は少子高齢化による労働力不足と市場の縮小に直面し、また国内市場が成熟期に入り、成長を必要とする日本企業にとってはグローバルビジネスの展開が必須になっている。本講義の目的は、下記2点とする。

- 1) グローバルビジネスの実態を理解すること
 - 2) グローバルビジネスの発展過程を踏まえつつ、グローバルビジネス戦略に関する知識を幅広く習得すること
- 本講義では、急速に変化するグローバルビジネス環境を踏まえて、グローバルビジネスのとらえ方、起源と歴史、企業行動とマーケティング・経営戦略について検討していく。担当教員が長年にわたりグローバルビジネスに従事して培ってきた社会経験および現地の実際に即した豊富な知見やスキルをもとに、グローバルビジネスに関する理論と実践への応用を関連づけながら講義を展開する。理論の学修を踏まえて、グローバルビジネスを加速している業界・企業事例分析（ケーススタディ）によりグローバルビジネスの知識を深める。

到達目標

- 1 グローバルビジネスの発展過程、基礎概念、理論について知識を習得し、説明する力を身につける
- 2 グローバルビジネスを理解して、環境分析、マーケティング分析、戦略分析がどのような意味を有するのか理解して説明できる
- 3 グローバル市場におけるビジネス戦略について具体事例を用いて説明することができる

授業計画

各回のテーマ・内容は、状況によっては変更する可能性がある。

【第1回】

テーマ：オリエンテーション

内容・方法：シラバスの説明（講義の構成、進め方、評価方法、参考書など）

【第2回】

テーマ：グローバルビジネスとは何か

内容・方法：グローバル化、グローバルビジネスとは何か、定義と目的等について学ぶ

【第3回】

テーマ：グローバルビジネスの起源・歴史

内容・方法：グローバルビジネスはいつから始まったのか、ヨーロッパの国々とアジア各国のグローバルビジネスの起源と歴史等について学ぶ

【第4回】

テーマ：グローバルビジネスと多国籍企業

内容・方法：多国籍企業とは何か、多国籍企業の事例等について学ぶ

【第5回】

テーマ：標準化と適応化

内容・方法：標準化・適応化とは何か、標準化・適応化によって得られる経済効果等について学ぶ

【第6回】

テーマ：グローバルマーケティング

内容・方法：グローバルマーケティングを進めるためのフレームワークであるCAGEやAAA戦略等について学ぶ

【第7回】

テーマ：グローバル経営戦略

内容・方法：グローバル経営戦略の基本について学ぶ

【第8回】

テーマ：グローバルマーケティング戦略

内容・方法：世界で製品やサービスを提供するグローバル企業が直面する3つの課題と戦略について学ぶ

【第9回】

テーマ：グローバルブランド戦略

内容・方法：グローバルブランド、ブランドミッション、リブランディング等について学ぶ

【第10回】

テーマ：グローバル市場への参入

内容・方法：グローバル市場への参入方法としてフランチャイズ等について学ぶ

【第11回】

テーマ：M&A（企業の合併買収）

内容・方法：M&Aの概念と目的、近年の世界の動向等について学ぶ

【第12回】

テーマ：アントレプレナーとスタートアップ

内容・方法：アントレプレナーとスタートアップについて学ぶ

【第13回】

テーマ：グローバルコミュニケーション戦略

内容・方法：グローバルコミュニケーションの基本について学ぶ

【第14回】

テーマ：グローバルビジネスで求められる人材と組織

内容・方法：学習する組織、グローバルビジネスで求められる人材の能力・必要なスキル等について学ぶ

【第15回】

テーマ：振り返りとまとめ

内容・方法：振り返りとまとめを行なう

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

① 事前学修課題：シラバスを読み、学修する内容について理解する

② 事後学修課題：授業の復習を行なう

【第2回】

① 事前学修課題：グローバルビジネスとは何か、企業にとってどのような意義があるのか調べる

② 事後学修課題：グローバル化、グローバルビジネスとは何か、定義と目的等について学んだ内容を復習する

【第3回】

① 事前学修課題：グローバルビジネスの起源・歴史について調べる

② 事後学修課題：グローバルビジネスの起源・歴史について学んだ内容を復習する

【第4回】

① 事前学修課題：グローバルビジネスと多国籍企業について調べる

② 事後学修課題：グローバルビジネスと多国籍企業について学んだ内容を復習する

【第5回】

① 事前学修課題：グローバルビジネスの標準化と適応化について調べる

② 事後学修課題：グローバルビジネスの標準化と適応化について学んだ内容を復習する

【第6回】

① 事前学修課題：グローバルマーケティングについて調べる

② 事後学修課題：グローバルマーケティングについて学んだ内容を復習する

【第7回】

① 事前学修課題：グローバル経営戦略を進めるためのフレームワークについて調べる

② 事後学修課題：グローバル経営戦略を進めるためのフレームワークについて学んだ内容を復習する

【第8回】

① 事前学修課題：グローバルマーケティング戦略について調べる

② 事後学修課題：グローバルマーケティング戦略について学んだ内容を復習する

【第9回】

① 事前学修課題：グローバルブランド戦略について調べる

② 事後学修課題：グローバルブランド戦略について学んだ内容を復習する

【第10回】

① 事前学修課題：グローバル市場への参入方法について調べる

② 事後学修課題：グローバル市場への参入方法について学んだ内容を復習する

【第11回】

① 事前学修課題：グローバルビジネスの M&A について調べる

② 事後学修課題：グローバルビジネスの M&A について学んだ内容を復習する

【第12回】

① 事前学修課題：アントレプレナーとスタートアップについて調べる

② 事後学修課題：アントレプレナーとスタートアップについて学んだ内容を復習する

【第13回】

① 事前学修課題：グローバルコミュニケーション戦略について調べる

② 事後学修課題：グローバルコミュニケーション戦略について学んだ内容を復習する

【第14回】

① 事前学修課題：グローバルビジネスで求められる人材と組織について調べる

② 事後学修課題：グローバルビジネスで求められる人材と組織について学んだ内容を復習する

【第15回】

① 事前学修課題：授業全体で学んだことを復習し、理解の抜けもれを確認する

② 事後学修課題：授業全体で学んだ内容を振り返り定期試験に備える

課題に対するフィードバックの方法

レポートにはコメントをつけて返却する。

授業での発言については適宜コメントをする。

成績評価の方法・基準(方針)

●全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。

●必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

授業内のミニテスト (30)

期中のレポート課題 (30)

定期試験 (40)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	30	授業内で課されるミニテスト(6回×5点)	1、2、3
授業外での評価	30	期中のレポート課題	1、2、3

定期試験	40	全体授業終了後の試験	1、2、3
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	0		
テキスト	特になし		
参考書	授業の中で適宜紹介する		
履修条件・他の科目との関連	ビジネス関連科目（経営戦略論、マーケティング等）を履修していることが望ましい。		

授業コード	13090901	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	貿易実務 [対面]				
シラバス執筆(全員)	浅居 孝彦				
シラバス執筆(主)	浅居 孝彦				
開講年次	3年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

「貿易実務」では、貿易の仕組みや取引の流れについての基礎的な知識を身につけることを目的としている。具体的には、なぜ貿易を行うのかといった問題や貿易取引の手順、必要な書類や手続きについて学習する。

到達目標

1. 貿易に関する基礎的な理論が理解できる。
2. 貿易取引の全体像・流れとそれぞれの段階で必要となる書類・手続きについて説明できる。

授業計画

【第1回】

テーマ：貿易とは何か
内容：貿易の目的・リスク、貿易取引の流れ

【第2回】

テーマ：貿易の形態・種類
内容：さまざまな貿易の種類と特徴（並行輸入、OEM輸入、委託加工貿易、開発輸入、逆輸入）

【第3回】

テーマ：貿易の理論
内容：比較優位、産業間貿易、産業内貿易

【第4回】

テーマ：貿易取引と関係する企業・機関
内容：商社、船会社、海貨業者、銀行、保険会社、税関などの役割

【第5回】

テーマ：輸送形態の種類と仕組み
内容：海上輸送と航空輸送の仕組み、それぞれの輸送形態のメリット・デメリット

【第6回】

テーマ：貿易書類の役割
内容：信用状決済の仕組み

【第7回】

テーマ：貿易取引の準備と契約
内容：情報収集、マーケティング調査、信用調査、オファーの種類と特徴

【第8回】

テーマ：貿易取引条件、インコタームズ
内容：インコタームズE類型、F類型、C類型、D類型

【第9回】

テーマ：貿易取引のリスクと保険
内容：貿易取引に関わる保険と損害の種類

【第10回】

テーマ：輸出実務の仕事の流れ
内容：輸出全体の流れ（輸出交渉から代金の回収まで）

【第11回】

テーマ：輸出実務
内容：書類作成、船腹予約、通関・船積手続き、通関書類、保険申込み、船・航空機による輸送

【第12回】

テーマ：輸入実務の仕事の流れ
内容：輸入全体の流れ（輸入交渉から貨物の引き取りまで）

【第13回】

テーマ：輸入実務
内容：コンテナ船の貨物の荷受け、航空貨物の引き取り、保税地域への貨物の搬入、通関手続き

【第14回】

テーマ：外国為替
内容：外国為替の仕組み、外国為替相場

【第15回】

テーマ：「貿易実務」（前期）のまとめ
内容：「貿易実務」（前期）の総復習と理解の確認

* 授業の進捗状況によって内容を一部変更する場合がある。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

授業で配布した資料の内容を自分で説明できるようになるまで繰り返し復習すること。理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。以下の指示にしたがって、事前・事後学習をそれぞれ2時間程度することが望ましい。

【第1回】

①事前学習課題：なし
②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、学習した内容を復習し、知識の定着を図ること。その上で、理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。

【第2回】

①事前学習課題：普段の生活の中でみる輸入品にどのようなものがあるかを調べておくこと。
②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、学習した内容を復習し、知識の定着を図ること。その上で、理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。

【第3回】

①事前学習課題：貿易をすることのメリット、デメリットについて考えておくこと。
②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、学習した内容を復習し、知識の定着を図ること。その上で、理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。

【第4回】

①事前学習課題：貿易取引と関係する企業・機関に何があるかを調べておくこと。
②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、学習した内容を復習し、知識の定着を図ること。その上で、理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。

【第5回】

①事前学習課題：貿易取引の輸送形態に何があるかを調べておくこと。
②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、学習した内容を復習し、知識の定着を図ること。その上で、理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。

【第6回】

①事前学習課題：貿易取引を行う際に生じる（可能性がある）トラブルの種類について考えておくこと。
②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、学習した内容を復習し、知識の定着を図ること。その上で、理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。

【第7回】

①事前学習課題：貿易取引を行うために必要となる準備について調べておくこと。
②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、学習した内容を復習し、知識の定着を図ること。その上で、理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。

【第8回】

①事前学習課題：貿易取引で生じる経費に何があるかを考えておくこと。
②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、学習した内容を復習し、知識の定着を図ること。その上で、理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。

【第9回】

①事前学習課題：貿易取引のリスクについて調べておくこと。
②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、学習した内容を復習し、知識の定着を図ること。その上で、理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。

【第10回】

①事前学習課題：輸出を行う際に必要となる手続きに何があるかを調べておくこと。
②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、学習した内容を復習し、知識の定着を図ること。その上で、理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。

【第11回】

①事前学習課題：輸出全体の流れを整理して理解しておくこと。
②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、学習した内容を復習し、知識の定着を図ること。その上で、理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。

【第12回】

①事前学習課題：輸入を行う際に必要となる手続きに何があるかを調べておくこと。
②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、学習した内容を復習し、知識の定着を図ること。その上で、理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。

【第13回】

- ①事前学習課題：輸入全体の流れを整理して理解しておくこと。
- ②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、学習した内容を復習し、知識の定着を図ること。その上で、理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。

【第14回】

- ①事前学習課題：貿易と為替レートの関係性を把握しておくこと（円高、円安が輸出・輸入にどう影響するか）。
- ②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、学習した内容を復習し、知識の定着を図ること。その上で、理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。

【第15回】

- ①事前学習課題：これまでの内容を総復習して、知識を定着させておくこと。
- ②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、理解が不十分であった内容を復習すること。

課題に対するフィードバックの方法

授業内で授業内容（事前・事後の学習課題を含む）の理解度を確認するための小テスト・小レポートを実施する。翌週の授業で小テスト・小レポートの結果に対するフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

 授業内課題（＝小テスト・小レポート）とレポートで評価する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	40	授業内課題（＝小テスト・小レポート）	1, 2
授業外での評価	0	なし	なし
定期試験	0	なし	なし
定期試験に代わるレポート等	60	定期試験は行わずにレポートで評価する。	1, 2
その他	0	なし	なし

テキスト	テキストは指定しないが、必要に応じて下記の参考書を読むこと。
------	--------------------------------

参考書	片山立志[2020]『絵でみる貿易のしくみ(改訂2版)』、日本能率協会マネジメントセンター。 (ISBN: 978-4-8207-2827-6) 片山立志[2022]『よくわかる貿易実務入門(改訂4版)』、日本能率協会マネジメントセンター。 (ISBN: 978-4-8005-9016-9) * その他の参考書については、必要に応じて授業の中で適宜紹介する。
-----	--

履修条件・他の科目との関連	なし
---------------	----

授業コード	13102301	授業形態	講義	実務家教員	○
授業科目名	ビジネスマネジメントⅠ [対面]				
シラバス執筆(全員)	佐々木 一雄				
シラバス執筆(主)	佐々木 一雄				
開講年次	3年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

私たちの日々の生活は企業活動によって支えられている。そして、企業活動を効率よく進めるためには、マネジメントに関する知識とそれを応用する知見を身につけておく必要がある。これは、経営者や経営幹部だけでなく、現代社会に生きるすべての人々にとって必要な教養であると言える。

この授業では、経営管理の基礎理論と実践的知識を幅広く学修し、ビジネスパーソンに必要な教養を身につけることを目的とする。学生の皆さんには、日頃から企業経営に関心を持って新聞や雑誌の記事を読み、ビジネスに対する感度を上げてほしい。なお、適宜、課題を与えるので、積極的に取り組むことを期待する。

担当教員が長年にわたり、企業において「経理および経営管理」業務に従事してきた経験をもとに、実務家教員として、学生の皆さんがビジネスの現場で役立つ実践的な知識を幅広く学修できるように講義を展開する。

到達目標

1. 経営管理に関する基礎的な概念について説明することができる。
2. 組織のマネジメントに関する諸理論について説明することができる。
3. 経営戦略に関する諸理論について理解し、それらを使って企業を分析することができる。
4. 日本の経営の特徴と諸課題について説明することができる。

授業計画

※授業計画については変更する可能性もある。

【第1回】イントロダクション

内容：授業計画、授業の進め方と評価方法について説明し、ビジネスマネジメントの扱うテーマとそれを学ぶ意義について解説する。

【第2回】企業という存在とコーポレート・ガバナンス

内容：企業と会社の種類、株式会社の特徴、株式会社におけるトップ・マネジメントの組織、日本企業とコーポレート・ガバナンスについて解説する。

【第3回】経営管理理論（1）古典的管理論

内容：テイラーの科学的管理法、フォード・システム、人間関係論とホーソン実験等について解説する。

【第4回】経営管理理論（2）組織マネジメント論

内容：バーナードの組織定義、サイモンの意思決定モデル等について解説する。

【第5回】経営管理理論（3）モチベーション論

内容：マズローの欲求段階説、内発的動機付け理論、ブルームの期待理論、ハーズバーグの動機づけ・衛星理論等について解説する。

【第6回】経営管理理論（4）リーダーシップ論

内容：ミシガン研究とオハイオ研究、フィドラー・モデルとSL理論、サーバント・リーダーシップ等について解説する。

【第7回】組織構造のマネジメント

内容：組織構造の基本変数、官僚制組織、組織形態（職能別組織、事業部別組織、マトリックス組織）等について解説する。

【第8回】組織文化のマネジメント

内容：組織文化の定義、組織文化の機能と逆機能、組織文化の形成と変革について解説する。

【第9回】企業戦略のマネジメント

内容：ドメインの設定、企業戦略と多角化、プロダクト・ポートフォリオ・マネジメント（PPM）等について解説する。

【第10回】競争戦略のマネジメント

内容：競争戦略の基本的概念、ポジショニング・アプローチ、経営資源アプローチ、ポーターの競争戦略の類型等について解説する。

【第11回】イノベーションのマネジメント

内容：シュンペーターとドラッカーのイノベーション論、イノベーションの源泉、オープン・イノベーション等について解説する。

【第12回】日本企業における人のマネジメント

内容：日本的経営の三種の神器、人事制度の日米比較、ダイバーシティ・マネジメント等について解説する。

【第13回】企業経営実践事例①

内容：企業経営の実践事例を紹介する。

【第14回】企業経営実践事例②

内容：企業経営の実践事例を紹介する。

【第15回】まとめ

内容：第12回までの重要な論点について解説し、定期試験の実施要領について説明する。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

事前学習課題：シラバスを熟読し、授業構成を理解する。

事後学習課題：講義内容を参照しながら自分のノートを作成し、まとめる。

【第2回】 から 【第12回】

事前学習課題：テキストの該当部分を読んで、疑問点を整理しておく。

事後学習課題：講義内容を参照しながら自分のノートを作成し、まとめる。

【第13回】 から 【第14回】

事前学習課題：これまで学んだことをしっかりと復習しておく。

事後学習課題：講義内容を参照しながら自分のノートを作成し、まとめる。

【第15回】

事前学習課題：これまで学んだことをしっかりと復習し、質問したいことを列挙する。

事後学習課題：講義内容を振り返り、定期試験に備える。

課題に対するフィードバックの方法

課題レポートについては、Google classroomを通じて、限定コメントをつけてフィードバックする。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	小テスト(60)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	10	レポート(10)	1, 2, 3, 4
定期試験	30	筆記試験(30)	1, 2, 3, 4
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	0		

テキスト	上野恭裕、馬場大治編著(2016)『経営管理論』中央経済社 2,400円(税別) ISBN978-4-502-19061-2
------	--

参考書	必要に応じて適宜紹介する。
-----	---------------

履修条件・他の科目との関連	Google classroomにプリントを掲載するが、必ずテキストを購入して、予習・復習を行うこと。
---------------	---

授業コード	13102401	授業形態	講義	実務家教員	○
授業科目名	ビジネスマネジメントⅡ [対面]				
シラバス執筆(全員)	佐々木 一雄				
シラバス執筆(主)	佐々木 一雄				
開講年次	3年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

私たちの日々の生活は企業活動によって支えられている。そして、企業活動を効率よく進めるためには、マネジメントに関する知識とそれを応用する知見を身につけておく必要がある。これは、経営者や経営幹部だけでなく、現代社会に生きるすべての人々にとって必要な教養であると言える。

この授業では、経営管理の実践的知識を幅広く学修し、ビジネスパーソンに必要な教養を身につけることを目的とする。学生の皆さんには、日頃から企業経営に関心を持って新聞や雑誌の記事を読み、ビジネスに対する感度を上げてほしい。なお、適宜、課題を与えるので、積極的に取り組むことを期待する。

担当教員が長年にわたり、企業で「経理および経営管理」業務に従事してきた経験をもとに、実務家教員として、学生の皆さんがビジネスの現場で役立つ実践的な知識を幅広く学修できるように講義を展開する。

到達目標

1. 生産管理に関する諸概念について説明することができる。
2. 店舗・販売管理、物流と流通情報システムに関する諸概念について説明することができる。
3. DX、M&A、ファミリービジネスに関する諸概念について説明することができる。
4. 決算書を読み解き、経営指標を活用して企業の経営状況を分析することができる。
5. リスクマネジメントの諸概念と経営リスクへの対応について説明することができる。

授業計画

※授業計画については変更する可能性もある。

- 【第1回】生産管理 (1)
内容：授業計画、授業の進め方や評価方法などについて説明し、生産管理の基本機能、生産管理の評価、生産の合理化について解説する。
- 【第2回】生産管理 (2)
内容：生産形態、生産方式、生産計画について解説する。
- 【第3回】生産管理 (3)
内容：資材調達、外注管理、品質管理について解説する。
- 【第4回】店舗・販売管理 (1)
内容：店舗機能、店舗設備・什器、照明と色彩、商品仕入・販売（マーチャンダイジング）について解説する。
- 【第5回】店舗・販売管理 (2)
内容：小売業の業種・業態、商品構成、商品調達・取引条件、売り場レイアウト、商品陳列について解説する。
- 【第6回】店舗・販売管理 (3)
内容：価格設定、販売促進、発注方法、在庫管理、需要予測について解説する。
- 【第7回】物流と流通情報システム
内容：輸配送管理、物流センターの機能、POSシステム、EDI、RFIDについて解説する。
- 【第8回】DX (Digital Transformation)
内容：DXとは何か、デジタル化の潮流、DXで実現できることについて解説する。
- 【第9回】M&A (企業の合併・買収)
内容：M&Aの目的、デューデリジェンス (DD)、経営統合 (PMI) について解説する。
- 【第10回】ファミリービジネス (同族会社) のマネジメント
内容：ファミリービジネスの特徴、ファミリービジネスのメリットとデメリット、スリー・サークル・モデルについて解説する。
- 【第11回】お金のマネジメント (1)
内容：決算書を読み解くポイントと経営指標の使い方について解説する。
- 【第12回】お金のマネジメント (2)
内容：損益分岐点分析の計算方法と使い方について解説し、演習を行う。
- 【第13回】リスクマネジメントの基本
内容：外部環境の変化、リスクマネジメントの意義、危機管理、緊急時対応等について解説する。
- 【第14回】経営リスクへの対応
内容：企業を取り巻く経営リスクと対応策について解説する。
- 【第15回】まとめ
内容：第14回までの重要な論点について解説し、定期試験の実施要領について説明する。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

事前学習課題：シラバスを熟読し、授業構成を理解する。

事後学習課題：講義内容を参照しながら自分のノートを作成し、まとめる。

【第2回】 から 【第14回】

事前学習課題：シラバスに記載されている各回のキーワードの意味を事前に調べ、疑問点を整理しておく。

事後学習課題：講義内容を参照しながら自分のノートを作成し、まとめる。

【第15回】

事前学習課題：これまで学んだことをしっかりと復習し、質問したいことを列挙する。

事後学習課題：講義内容を振り返り、定期試験に備える。

課題に対するフィードバックの方法

課題レポートについては、Google classroomを通じて、限定コメントをつけてフィードバックする。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	小テスト(60)	1, 2, 3, 4, 5
授業外での評価	10	レポート(10)	1, 2, 3, 4, 5
定期試験	30	筆記試験(30)	1, 2, 3, 4, 5
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	0		

テキスト テキストは使用せず、適宜プリントを配布する。

参考書 必要に応じて適宜紹介する。

履修条件・他の科目との関連 Google classroomにプリントを掲載する。授業で学修した内容については、しっかりと復習すること。

授業コード	13110701	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	ビジネスコミュニケーション [対面]				
シラバス執筆(全員)	山下 純				
シラバス執筆(主)	山下 純				
開講年次	3年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

皆さんは、ビジネスコミュニケーションと聞いて、どんなことを思い浮かべるだろうか？ビジネスコミュニケーションとは、ビジネスに関わるコミュニケーション全般を指す言葉である。ビジネスコミュニケーションはさまざまなコンテンツから構成されている。具体的には、社内の報連相（報告・連絡・相談）、意見交換、部下への指導、顧客対応はもちろん、社外パートナーとのやりとりも含まれる。本講義では、ビジネスコミュニケーションの多様なコンテンツの中から、ビジネス交渉術とビジネスコーチングを取り上げて講義を展開する。講義全体を3つのパートで構成する。

- 1 そもそもビジネスとは何なのかという基本について学ぶ
- 2 ビジネス交渉術について学ぶ
- 3 ビジネスコーチングについて学ぶ

到達目標

- 1 ビジネスの基本的な本質を理解して説明できる
- 2 ビジネス交渉術について基礎的用語や知識を学び、具体的な内容を説明できる
- 3 ビジネスコーチングについて基礎的用語や知識を学び、具体的な内容を説明できる

授業計画

各回のテーマ・内容は、状況によっては変更する可能性がある。

- 【第1回】
 テーマ：オリエンテーション
 内容・方法：シラバスの説明（講義の構成、進め方、評価方法、参考書など）
- 【第2回】
 テーマ：ビジネスとは何か
 内容・方法：ビジネスとは何かについて学ぶ
- 【第3回】
 テーマ：ビジネス交渉術とは何か
 内容・方法：ビジネス交渉術の定義等について学ぶ
- 【第4回】
 テーマ：ビジネス交渉のタイプ
 内容・方法：ビジネス交渉のタイプについて学ぶ
- 【第5回】
 テーマ：交渉の基本フレームワーク（1）
 内容・方法：4つの原則に関する知識について学ぶ
- 【第6回】
 テーマ：交渉の基本フレームワーク（2）
 内容・方法：認知的不協和等について学ぶ
- 【第7回】
 テーマ：交渉の基本フレームワーク（3）
 内容・方法：ブレインストーミング、九つのチェックリスト等について学ぶ
- 【第8回】
 テーマ：難しい交渉（1）
 内容・方法：交渉のさまざまな障害について学ぶ
- 【第9回】
 テーマ：難しい交渉（2）
 内容・方法：アンカリング、コンフリクト・マネジメント等について学ぶ
- 【第10回】
 テーマ：ビジネスコーチングとは何か
 内容・方法：ビジネスコーチングの定義、コーチの役割と位置付け等について学ぶ
- 【第11回】
 テーマ：ビジネスコーチングの三原則
 内容・方法：コーチに欠かせない3つの要素等について学ぶ
- 【第12回】
 テーマ：「良い質問」をする技術
 内容・方法：「良い質問」をする技術について学ぶ
- 【第13回】
 テーマ：ビジネスコーチングのスキルとプロセス
 内容・方法：ビジネスコーチングのスキルとプロセスについて学ぶ
- 【第14回】
 テーマ：グローバル交渉（異文化交渉）
 内容・方法：中国式交渉術を事例として、グローバル交渉（異文化交渉）のポイントについて学ぶ
- 【第15回】
 テーマ：振り返りとまとめ

内容・方法：振り返りとまとめを行なう

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

- ① 事前学修課題：シラバスを読み、学修する内容について理解する
- ② 事後学修課題：授業の復習を行なう

【第2回】

- ① 事前学修課題：ビジネスとは何か、定義や意義について調べる
- ② 事後学修課題：ビジネスとは何かについて学んだ内容を復習する

【第3回】

- ① 事前学修課題：ビジネス交渉術とは何かについて調べる
- ② 事後学修課題：ビジネス交渉術の定義等について授業で学んだ内容を復習する

【第4回】

- ① 事前学修課題：ビジネス交渉のタイプについて調べる
- ② 事後学修課題：ビジネス交渉のタイプについて授業で学んだ内容を復習する

【第5回】

- ① 事前学修課題：交渉の基本フレームワークである4つの原則について調べる
- ② 事後学修課題：交渉の基本フレームワークである4つの原則について学んだ内容を復習する

【第6回】

- ① 事前学修課題：認知的不協和等について調べる
- ② 事後学修課題：認知的不協和等について学んだ内容を復習する

【第7回】

- ① 事前学修課題：ブレインストーミング、九つのチェックリスト等について調べる
- ② 事後学修課題：ブレインストーミング、九つのチェックリスト等について学んだ内容を復習する

【第8回】

- ① 事前学修課題：交渉のさまざまな障害について調べる
- ② 事後学修課題：交渉のさまざまな障害について学んだ内容を復習する

【第9回】

- ① 事前学修課題：アンカリング、コンフリクト・マネジメント等について調べる
- ② 事後学修課題：アンカリング、コンフリクト・マネジメント等について学んだ内容を復習する

【第10回】

- ① 事前学修課題：ビジネスコーチングとは何か、ビジネスコーチングの定義等について調べる
- ② 事後学修課題：ビジネスコーチングの定義、コーチの役割と位置付け等について学んだ内容を復習する

【第11回】

- ① 事前学修課題：ビジネスコーチングの三原則について調べる
- ② 事後学修課題：ビジネスコーチングの三原則について学んだ内容を復習する

【第12回】

- ① 事前学修課題：「良い質問」をする技術について調べる
- ② 事後学修課題：「良い質問」をする技術について学んだ内容を復習する

【第13回】

- ① 事前学修課題：ビジネスコーチングのスキルとプロセスについて調べる
- ② 事後学修課題：ビジネスコーチングのスキルとプロセスについて学んだ内容を復習する

【第14回】

- ① 事前学修課題：グローバル交渉(異文化交渉)について調べる
- ② 事後学修課題：グローバル交渉(異文化交渉)について学んだ内容を復習する

【第15回】

- ① 事前学修課題：授業全体で学んだことを復習し、理解の抜けもれを確認する
- ② 事後学修課題：授業全体で学んだ内容を振り返り定期試験に備える

課題に対するフィードバックの方法

レポートにはコメントをつけて返却する。
授業での発言については適宜コメントをする。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

授業内のミニテスト (30)
期中のレポート課題 (30)
定期試験 (40)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	30	授業内で課されるミニテスト(6回×5点)	1、2、3
授業外での評価	30	期中のレポート課題	1、2、3
定期試験	40	全体授業終了後の試験	1、2、3
定期試験に代わるレポート等	0		

その他	0		
テキスト	特になし		
参考書	授業の中で適宜紹介する		
履修条件・他の科目との関連	出席を重視する		

授業コード	13110901	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	A I ビジネス論 [対面]				
シラバス執筆(全員)	下條 善史				
シラバス執筆(主)	下條 善史				
開講年次	3年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

2022年になって、ようやくAI（人工知能）が実用的なサービスとしてインターネット上に登場し、外国語翻訳、問い合わせに対する自動応答から、会話を楽しむためのエージェント、イラスト生成、説明文書の生成などさまざまな方向性をもって利用できるまでに発展、普及しつつある。現在がAIサービスの黎明期であるとするれば、今後は価値の高い情報を作り出すための実用性のあるアプリケーション・サービスとして、実用化され、ビジネスとして成立させていく動きが加速度的に進んでいくと予想される。本授業においては、まず発展しつつあるAIエージェントの実力や実用性を図りながら、その利用法と制限事項について考え、今後の新産業としてどのように成立させていくか、またその前提条件や環境整備などについても想像を膨らませていく。最終的には、過去に新しい産業が起こしたさまざまな害悪を教訓として、人類と人間に幸福をもたらすための産業として成立させていく道筋を明確にしていくことを目標とする。

到達目標

1. AI（人工知能）の発展過程を学び、AIの将来像、そして完成形を想起していく。
2. 新技術が社会に浸透するときにクリアすべき課題、そしてそれがもたらすメリットとデメリットについて理解する。
3. AI技術や産業を未来に向けて育てていくために必要な考え方、環境、留意点などをまとめ上げる。

授業計画

- 第1回：知能とはなにか
- 第2回：人間と道具の関係性
- 第3回：人工知能の目標と人間との関係
- 第4回：人工知能の発展経緯
- 第5回：AIと社会問題
- 第6回：シンギュラリティ
- 第7回：AIアプリケーションの紹介
- 第8回：機械翻訳
- 第9回：音声アシスタント
- 第10回：自動運転車
- 第11回：人間との対話
- 第12回：クリエイティブなAI
- 第13回：ロボットとAI
- 第14回：知識の透明性
- 第15回：理想のAI

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

AIに関する話題は、ほとんどが現在まさに進行中かあるいはまだその姿があきらかになっていないものに関する話題である。したがって、講義の中に含まれる「事実」と「予想（予測）」を正しく峻別することが重要である。本講義では、それぞれの話題に関して最新の事例を数多く紹介して論を進めて行くが、そのための前提となる知識が十分でないと、時に誤解を誘引してしまうことにもなりかねない。毎回のトピックに関して事前に各々の知識をインターネットの記事などから獲得しておくことを推奨する。また授業後には、そこで語られた技術や社会の未来像に関して、自身の中でよく咀嚼して改めて理解を深めるための復習の時間を取ることを推奨する。

課題に対するフィードバックの方法

本講義では、それぞれのトピックに対してそれぞれの自分なりの考えを広く集めていく。授業内でそれを互いに発表しあう機会を設けるが、その考えに成否はなく、いかに考えを深めて行けたかを互いに評価し合うことで、各々へのフィードバックとする。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

本授業における評価は次の3つのポイントで行う。

1. 毎回のトピックに対して十分に理解し、基本的な知識を得られたか。
 2. 得られた知識と、現在の知識を総合して未来をどこまで深く思索できたか。
 3. 未来の技術と、社会や自分自身の将来との関係性について想像を広げることができたか。
- これらを表現してもらうための短い作文を毎回の課題として課すこととする。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	毎回のトピックに関する設問に対して、作文をもって解答してもらおう。	1, 2, 3
授業外での評価	10	毎回の授業のトピックに関する予習状況を問う質問を行う。	1, 2, 3
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	30	最終レポートにて、AI産業に関する自身の考えを聞く。	1, 2, 3
その他	0		

テキスト	特にテキストは指定せず、毎回の授業において必要な資料を提示、または指示する。
参考書	必要に応じて提示、または指示する。
履修条件・他の科目との関連	授業の成果は主に文章として出力されることとなるので、一定の文章構成力を必要とする。

授業コード	13106001	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	経営情報論 [対面]				
シラバス執筆(全員)	韓 尚秀				
シラバス執筆(主)	韓 尚秀				
開講年次	3年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

経営情報論は、経営と情報技術（IT）がどのように結びついているかを理解し、これらの知識を実世界の問題解決に応用する方法を学ぶ初学者向けの授業です。本講義では、経営学の基本的な概念と情報システムの役割について学び、現代のビジネス環境における情報技術の利用と影響を探求します。授業は講義、ケーススタディ、演習問題、小レポートを通じて、理論と実践の橋渡しを目指します。

到達目標

1. 経営学と情報技術の基本的な理論と概念を理解し、これらをビジネス環境に応用する能力を養います。
2. 情報システムが組織内外でどのように機能し、経営戦略とどのように連携するかを学び、実際のビジネスケースを分析することで、問題解決と意思決定を支援する情報技術の使用方法についての理解を深めます。
3. 経営学の概要を身に着け、小は家庭から大は国家の運営までに通底する経営とそれを支える情報技術のあり方を創造できる発想力を培います。

授業計画

- 1週目：導入
経営情報論の概要
経営と情報技術の基本的な関係
- 2週目：経営学の基礎
経営学の基本概念
組織とその目的
- 3週目：情報システムの基本
情報システムの構成要素
情報技術の役割
- 4週目：情報システムと組織の戦略
情報システムの戦略的活用
ケーススタディ分析
- 5週目：データ管理と活用
データベース管理システム
ビッグデータとデータ分析
- 6週目：ネットワークとクラウドコンピューティング
企業のネットワークインフラ
クラウドサービスの活用
- 7週目：電子商取引
電子商取引の基本と展望
オンラインビジネスモデル
- 8週目：企業リソース計画（ERP）システム
ERPシステムの概要
ERP導入の利点と課題
- 9週目：顧客関係管理（CRM）
CRMの基本
顧客データの活用
- 10週目：サプライチェーン管理
サプライチェーンとは
情報技術を利用した効率化
- 11週目：知識管理システム
知識管理の概念
組織における知識の共有
- 12週目：情報システムのセキュリティと倫理
情報セキュリティの重要性
情報倫理とプライバシー保護

13週目：イノベーションと情報技術
ITによるビジネスモデルのイノベーション
デジタルトランスフォーメーション

14週目：現代の課題と展望
AIと自動化の影響
未来の情報技術と経営戦略

15週目：総括とプレゼンテーション
学んだ内容の総括
学生によるプロジェクト発表

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

事前学習

各週におけるテーマを事前に把握し、自身の印象に基づいて授業内容を想定し、そのための事前調査を行っておくこと。また必要ならば疑問や質問を準備しておくこと。

事後学習

各週のテーマについて事前学習と授業内で提示されたトピックスについて整理し、その週の総括をノートなどにまとめておくこと。

課題に対するフィードバックの方法

毎回の授業時に演習、小レポートなどを課し、その結果について相互に評価する。小レポートなどに関してはClassroomを通じての質問を受け付ける。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

毎回の演習課題や小レポートの提出状況と内容を評価対象とする。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	演習課題と小レポートの採点結果を合計し0.6倍して総合点に加点	2, 3
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	40	最終週にレポート課題を課し、その評価を0.4倍して総合点に加点する。	1, 3
その他	0		

テキスト テキストはコピー可のデジタル資料としてClassroomに提供する。

参考書

履修条件・他の科目との関連 特になし

授業コード	13091301	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	アメリカの現代社会 [対面]				
シラバス執筆(全員)	石黒 安里				
シラバス執筆(主)	石黒 安里				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

本講義は、現在のアメリカ合衆国（以下、アメリカ）の社会を多角的に探究する入門科目です。アメリカは「自由」の国、「民主主義」の国という自画像を描いてきました。先住民、奴隷を祖先にもつアフリカ系、世界各国からの移民、難民によって構成されるアメリカは実に多様性に富んだ社会を形成しています。アメリカは多元的社会であり、「自由」と「平等」を標榜してきましたが、同時にその陰には、差別や暴力および差別に対する抵抗の歴史があり、とりわけ近年は、経済的、社会的格差の増長、さらにイデオロギーの相違による分断が加速化しています。

本講義では現在のアメリカをより良く理解するために、歴史を振り返りながら、現在、分極化している社会の背景について考える機会とします。前半（第2～7回）はアメリカの政治および社会制度について概観し、後半（第8～15回）はアイデンティティ・ポリティクスに関する事例を取り上げます。

到達目標

1. アメリカの歴史、政治、外交、社会、文化について、基本的な知識を得たうえで、現在のアメリカ社会の在り方について多角的な視点から考えることができるようになる。
2. アメリカの歴史、政治、外交、社会、文化に関する基本的な要素とそれに関連する専門用語を習得し、自分の言葉で説明することができるようになる。
3. 異なる考え方や価値観が多様であることを尊重できるようになる。
4. グループディスカッションを通して、他者と主体的に協働することができるようになる。
5. 文献、資料を適切に読解することができるようになる。

授業計画

- 第1回：オリエンテーション：多文化共生社会の実験場としてのアメリカ（冒頭で、授業の流れおよび成績評価について説明します）
- 第2回：政治制度①合衆国憲法、大統領制、連邦制、裁判所の機能
- 第3回：政治制度②二大政党と官僚制
- 第4回：政治制度③大統領選挙の仕組み
- 第5回：人種をめぐる問題①黒人の事例
- 第6回：人種をめぐる問題②アジア系の事例
- 第7回：社会福祉政策
- 第8回：文化戦争①（同性婚、人工妊娠中絶をめぐる論争）
- 第9回：文化戦争②（同性婚、人工妊娠中絶をめぐる論争）
- 第10回：宗教と政治①制度、歴史（禁酒法、進化論論争）
- 第11回：宗教と政治②政治化した宗教右派
- 第12回：アメリカの対外政策：理念と近年の動向
- 第13回：保守とリベラル
- 第14回：二大政党の中の多極化：その変容と現在
- 第15回：今学期のまとめ・全体のフィードバック

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

- ・現在のアメリカをより良く理解するために、日頃から国際ニュース、時事問題に関心を持ち、目を通しておくことが望ましいです。
- ・配布資料が提示された場合は必ず事前に読んで授業に臨んでください。毎回、真摯にリアクションペーパーに取り組んでください。リアクションペーパーの作成において、授業時に提示された参考文献や、授業内容と関連する文献を実際に読んだうえで考察がなされていると高い評価に結び付きます。

課題に対するフィードバックの方法

- ・毎回、授業の冒頭で必要に応じて、リアクションペーパーに基づいたフィードバックを行います。
- ・その他、課題提出後、授業内においてフィードバックを実施します。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

- ・リアクションペーパーの提出（60%）：毎回、リアクションペーパーの提出を求めます。（各回のリアクションペーパーの提出方法、および締切は初回の授業時にアナウンスします。）
- リアクションペーパーは、1)～3)の構成です。
 - 1) 本日の授業の概要（ポイント）を纏める（200字程度）
 - 2) 授業の内容を踏まえて考察したこと（字数制限なし）

3) 質問

※リアクションペーパーで問われていることを意識しながら、授業を受講することが望ましいです。
 ※リアクションペーパーは、5回以上未提出の場合は、課題や定期試験に代わるレポートを提出したとしても単位は認められませんのでご注意ください。

- ・授業内でのグループワーク (5%)
- ・課題 (10%)
- ・定期試験に代わるレポート等 (25%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	65	・毎回のリアクションペーパーの提出 (60%)、グループディスカッション (5%) リアクションペーパーは、1)～3)の構成です。 1) 本日の授業の概要 (ポイント) を纏める (200字程度) 2) 授業の内容を踏まえて考察したこと (字数制限なし) 3) 質問 ※毎回、上述のリアクションペーパーを提出してもらいます。 2) の「授業内容を踏まえて考察したこと」に関しては字数制限を設けていません。この項目は単に授業を受けた感想だけではなく、余裕があれば実際に参考文献の該当する章などに目を通したうえで考察がなされていると	1,2,3,4
授業外での評価	10	学期中に一度、課題を出します。 課題として短い論稿を読み、400～600字程度で内容を纏める。	5
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	25	論題に対して自分の言葉で考察したことが記述できているか、参考文献を適切に読解することができるかが評価のポイントです。論題は学期中に取り上げたトピックから出題します。	1,2,5
その他	0		

テキスト	テキストは使用しない。 ※指定テキストはありませんが、授業時に配布された資料は必ず読んできてください。 ※事前に予習をしたい方は、「参考書」に掲載した3冊のなかで、各講義に関連するテーマを参照してください。 ※その他、より深く授業を理解するためにレジュメ (配布資料) に掲載している参考文献を読むことを推奨します。
------	---

参考書	・宮津多美子『人種・ジェンダーからみるアメリカ史——丘の上の超大国の500年』明石書店、2022年。 ・藤永康政、松原宏之 (編)『「いま」を考えるアメリカ史』ミネルヴァ書房、2022年。 ・岡山裕、西山隆行 (編)『アメリカの政治』弘文堂、2019年。 ※その他の参考文献は授業内に適宜紹介します。
-----	---

履修条件・他の科目との関連	・アメリカの歴史、社会に関してより深く理解するために、一部、授業時に映像資料を用います。 ・シラバスにそって授業を進めますが、質疑応答などにより、取り上げるテーマの授業回に変更が生じる場合があります。 ・授業はパワーポイントのスライドを映しながら進めます。レジュメはGoogle Classroomに掲載しますので、必要な方は事前にダウンロードして授業に参加してください。 (初回のみ、紙媒体で配布します)
---------------	--

授業コード	13091401	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	アメリカの歴史と文化 [対面]				
シラバス執筆(全員)	趙 男				
シラバス執筆(主)	趙 男				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

本授業は、アメリカ合衆国の歴史における政治・経済・文化・外交に関する基礎的な知識を受講生の皆さんにつけてもらうことを目的に実施するものである。歴史を知り、理解するには、ある一定の視点が必要である。今年度は「多様性」を手がかりにし、アメリカの歴史を概観する。アメリカ社会に存在する人種差別問題、格差問題、女性の権利問題などの背景を知り、理解を深める。毎回の授業は、教科書に基づき、映像の使用も含め、スライドプレゼンテーションやレジュメの形式で講義を進める。また、強制ではないが、前期の「アメリカの現代社会」との連続履修を推奨する。

到達目標

1. アメリカ合衆国の歴史的な出来事や社会的変化を理解できるようになる。
2. それらが現在のアメリカ社会や世界に与えた影響を考察できるようになる。
3. 現代のアメリカの課題や国際的な役割に関して、過去の歴史的背景を踏まえた批判的な視点を持つことができるようになる。

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：イントロダクション、「多様性の中の統一」をめざすアメリカ
 内容・方法：言語、人種、民族などの多様性に富んだアメリカ社会の全体像に対する理解を得る。
- 【第2回】
 テーマ：独立宣言とアメリカ憲法の歴史的な誕生
 内容・方法：アメリカの独立戦争とアメリカ憲法に対する学びから、アメリカの建国理念に対する理解を深める。
- 【第3回】
 テーマ：南北戦争とアメリカの再建 —— 奴隷制に関する歴史的な課題
 内容・方法：アフリカ系アメリカ人の歴史を知り、アメリカ社会の人種問題についての理解を深める。
- 【第4回】
 テーマ：産業化と移民の時代 —— アメリカン・ドリームと格差のピラミッド
 内容・方法：19世紀後半から20世紀初頭にかけてのアメリカの急速な産業化が引き起こした社会的格差と移民労働力の状況を知り、移民社会の形成についての理解を深める。
- 【第5回】
 テーマ：第一次世界大戦と大恐慌 —— お金のための戦争と狂乱の1920年代
 内容・方法：第一次世界大戦がアメリカに与えた影響と、戦後の過剰な投機や消費が引き起こした1920年代の経済バブル、そして1929年の大恐慌に至るまでの経緯を理解する。
- 【第6回】
 テーマ：第二次世界大戦と戦後の世界
 内容・方法：第二次世界大戦後に生まれた新しい国際秩序と、アメリカとソ連を中心に展開された冷戦の始まりとその影響を理解する。
- 【第7回】
 テーマ：日系アメリカ人の歴史
 内容・方法：第二次世界大戦前後の出来事を遡り、日系アメリカ人の歴史と社会的立場の形成についての理解を深める。
- 【第8回】
 テーマ：復習・第7回までの小テストを実施
 内容・方法：第7回までの内容からひとつのテーマを選んで小テストを実施する。
- 【第9回】
 テーマ：1950年代 —— 公民権運動の始まり
 内容・方法：1950年代から現れたアメリカにおけるアフリカ系アメリカ人をはじめとするマイノリティの人々が法的や社会的な平等を求める運動の背景と影響を理解する。
- 【第10回】
 テーマ：1960年代～1970年代 —— 若者のカウンターカルチャー運動
 内容・方法：アメリカの既存の文化や政治秩序に反発する形で展開され、革新を促す原動力となったカウンターカルチャー運動についての理解を深める。
- 【第11回】
 テーマ：フェミニズム運動の第一波
 内容・方法：19世紀後半から20世紀初頭にかけて、女性の参政権や財産権、教育を受ける権利を求める第一波フェミニズム運動の歴史を知り、その功績と影響を理解する。
- 【第12回】
 テーマ：フェミニズム運動の第二波
 内容・方法：1960年代広げてきたフェミニズム運動の第二波は女性の社会進出を実現するのに与えた影響についての理解を深める。
- 【第13回】
 テーマ：バックラッシュとフェミニズムの第三波 —— 新しいフェミニズムの生起

内容・方法：1980年代以降のフェミニズムに対する反発の背景を知り、その中に現れた新しいフェミニズムの第三波を知り、その特徴についての理解を深める。

【第14回】

テーマ：アメリカの多文化主義

内容・方法：多文化主義の思想背景と、それをめぐる論争を理解する。

【第15回】

テーマ：世界とアメリカ

内容・方法：アメリカ外交における価値とイデオロギーを知り、近年のアメリカ外交の展開についての理解を深める。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

基本的に教科書と参考書の1章分あるいは2章分を一回の授業内容とする。授業の内容を理解するために、受講生には事前学習（予習）として最低2時間以上、事後学習（復習）として最低2時間以上の学習を求める。毎回の内容は事前にしっかり目を通すようにしてください。重要な、あるいはわからないキーワードを見つけ、自分で意味や内容を調べておいてください。

課題に対するフィードバックの方法

毎回実施した内容についてのコメントシートを書いてもらう。次回の授業に必要な範囲で解説する。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

授業中に、積極的な参加、復習の小テストと期末レポートによって評価を行う。正当な理由なく小テストを欠席した場合や期末レポートを提出しない場合はK評価とする。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	授業の積極的な参加 授業の出席率 コメントシートの提出 小テストの成績	1,2,3
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	40	期末レポート	1,2,3
その他	0		

テキスト 『現代アメリカ』 / 渡辺靖(編)/有斐閣/2010年/2,090円/ISBN978-4641124196

参考書 Howard Zinn, A Young People's History of The United States. (New York: Seven Stories Press, 2007)
その他の必要な文献については、必要に応じて授業の中で紹介する。

履修条件・他の科目との関連 UNIPAと受講票をもって出席を確認する。テストやレポートの内容に準拠して最終的な成績を判断する。
耳慣れない単語、用語、概念などを自ら調べ、そのうえで必要があれば質問し、そして理解する積極的な学びの姿勢がこの授業には必要である。

授業コード	13091501	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	異文化コミュニケーション [対面]				
シラバス執筆(全員)	小瀬木 えりの				
シラバス執筆(主)	小瀬木 えりの				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

この授業では異文化コミュニケーションを、異なる文化を背景とした人々間の意思疎通やその伝達手段という狭義に限定せず、異文化理解の学といわれる文化人類学的な視点を採り入れて、他者の文化を理解する上で役立つさまざまなものの見方や捉え方を紹介する。日本人にとっての異文化、欧米諸国から見たアジア・アフリカへのまなざしとしてのオリエンタリズム、また、近年増加傾向にある外国人観光客や日本に定住する外国出身者と日本人との間に生じる異文化摩擦など、さまざまな問題例を幅広く採り上げて紹介し、問題解決につながる視点を提案し、異文化との共存共栄方法について受講者とともに考えていく。

到達目標

1. 異文化に対する知識を増やし、それらを説明できるようになる。
2. 異文化理解の難しさについて知り、その解決方法を自ら考え、実践できるようになる判断力を待つ。
3. 異文化間の摩擦や対立についての知識を得て、その原因や背景について説明できるようになる。
4. 異文化との共存・共栄を目指す取り組みや政策についての知識を得て、自らも多文化共存・共生の方法を考察し、それを言葉で説明できるようになる。

授業計画

- 【第1回】
 テーマ イン트로ダクション
 内容・方法 授業の紹介、自身の異文化体験の紹介
- 【第2回】
 テーマ 誤解と理解、異文化理解の難しさについて
 内容・方法 誤解と理解、異文化理解の難しさについて
- 【第3回】
 テーマ 異文化接触とストレス、カルチャーショック、ステレオタイプ化
 内容・方法 異文化接触とストレス、カルチャーショックについて、異文化のステレオタイプ化の問題点
- 【第4回】
 テーマ 人種、民族、国民
 内容・方法 人種概念と民族、国民、その違いについて
- 【第5回】
 テーマ 欧米人のまなざしと人種差別、オリエンタリズム
 内容・方法 欧米人のまなざしとしてのオリエンタリズム、人種差別について
- 【第6回】
 テーマ 差別と偏見（1）
 内容・方法 アメリカにおける人種差別とその歴史について
- 【第7回】
 テーマ 多民族状況における差別、同化と差異化
 内容・方法 多民族状況における差別と同化と差異化についての説明
- 【第8回】
 テーマ 差別と偏見（2）
 内容・方法 人種、民族差別と文化の盗用について
- 【第9回】
 テーマ 異民族との共存とコンフリクト
 内容・方法 コンタクトゾーンにおける異民族との共存とコンフリクトについて
- 【第10回】
 テーマ 人の移動による多民族化現象
 内容・方法 人の移動による多民族化現象とそれに伴う問題
- 【第11回】
 テーマ 異文化の風習について
 内容・方法 さまざまな異文化に見られる特異な風習について
- 【第12回】
 テーマ 異文化間の相互理解と共存
 内容・方法 異文化間での相互理解や偏見の克服、多文化共生について
- 【第13回】
 テーマ 多文化共存を妨げる国際情勢
 内容・方法 近現代の国際紛争と多文化共生をめぐる課題について
- 【第14回】
 テーマ 多様性が全人類にもたらす利点
 内容・方法 異文化との共存や多様性を認めることの人類全体にとっての利点の解説
- 【第15回】
 テーマ 講義のまとめとふりかえり
 内容・方法 第14回目までの授業で学んだことについてのまとめとふりかえりの概説

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

各回、事前学習は2時間、事後学習は2時間を目安とする。

【第1回】

①事前学修課題：特になし

②事後学修課題：授業で学習した内容を復習し、期限までに課題をクラスルームなど指定された手段を通じて提出する

【第2回】

①事前学修課題：授業内容に関連したテーマについての自主学習

②事後学修課題：授業で学習した内容を復習し、期限までに課題をクラスルームなど指定された手段を通じて提出する

【第3回】

①事前学修課題：授業内容に関連したテーマについての自主学習

②事後学修課題：授業で学習した内容を復習し、期限までに課題をクラスルームなど指定された手段を通じて提出する

【第4回】

①事前学修課題：授業内容に関連したテーマについての自主学習

②事後学修課題：授業で学習した内容を復習し、期限までに課題をクラスルームなど指定された手段を通じて提出する

【第5回】

①事前学修課題：授業内容に関連したテーマについての自主学習

②事後学修課題：授業で学習した内容を復習し、期限までに課題をクラスルームなど指定された手段を通じて提出する

【第6回】

①事前学修課題：授業内容に関連したテーマについての自主学習

②事後学修課題：授業で学習した内容を復習し、期限までに課題をクラスルームなど指定された手段を通じて提出する

【第7回】

①事前学修課題：授業内容に関連したテーマについての自主学習

②事後学修課題：授業で学習した内容を復習し、期限までに課題をクラスルームなど指定された手段を通じて提出する

【第8回】

①事前学修課題：授業内容に関連したテーマについての自主学習

②事後学修課題：授業で学習した内容を復習し、期限までに課題をクラスルームなど指定された手段を通じて提出する

【第9回】

①事前学修課題：授業内容に関連したテーマについての自主学習

②事後学修課題：授業で学習した内容を復習し、期限までに課題をクラスルームなど指定された手段を通じて提出する

【第10回】

①事前学修課題：授業内容に関連したテーマについての自主学習

②事後学修課題：授業で学習した内容を復習し、期限までに課題をクラスルームなど指定された手段を通じて提出する

【第11回】

①事前学修課題：授業内容に関連したテーマについての自主学習

②事後学修課題：授業で学習した内容を復習し、期限までに課題をクラスルームなど指定された手段を通じて提出する

【第12回】

①事前学修課題：授業内容に関連したテーマについての自主学習

②事後学修課題：授業で学習した内容を復習し、期限までに課題をクラスルームなど指定された手段を通じて提出する

【第13回】

①事前学修課題：授業内容に関連したテーマについての自主学習

②事後学修課題：授業で学習した内容を復習し、期限までに課題をクラスルームなど指定された手段を通じて提出する

【第14回】

①事前学修課題：授業内容に関連したテーマについての自主学習

②事後学修課題：授業で学習した内容を復習し、期限までに課題をクラスルームなど指定された手段を通じて提出する

【第15回】

①事前学修課題：第14回目までの授業全体で学習したことについて、PPTなどの資料と自身の講義ノートやメモに基づき復習する

②事後学修課題：全授業を通しての学習内容を、資料と講義ノートやメモなどで再確認し、理解を定着させておく

課題に対するフィードバックの方法

毎授業時に出す理解度を確認するための課題については、次週の授業の始めに正解を示すなどしてフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。公欠や公共交通機関の運行停止など本人の責に帰せない事情、客観的なエビデンスを提示できる病気や怪我、または特別配慮願の対象として配慮が必要な場合等を除き、特段の理由なく欠席が全授業中6回以上に上る受講者は「K」評価とする。前記の諸事情のどれにも該当しない場合の遅刻も2回で1回の欠席相当と見なすため注意すること。授業に出席のみして、毎回の授業時に出される理解度をはかるための課題が提出されない場合は、その回の評価に係る得点を0点とし、ユニパ上の出席記録も取り消され欠席扱いとする。出席と課題提出の両方が揃ってその回の評価点を得ることができる。また、対面授業であるため、欠席した回には課題のみを提出することは認めない。仮に提出しても無効となり0点扱いとなるため注意すること。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	90	毎回の授業時に内容の理解度をはかるための課題を提出してもらうことによる評価(1回につき、正解数に応じて0～6点×15回＝90点満点)。授業時間内に解答しきれない場合はその日のうちにクラスルームでの掲示で提出してもらうこともある。私語や居眠り、授業と関係の無いことに従事するなど受講態度に問題が見られる場合は、警告回数ごとに1点ずつ、その回の最高点6点から減点されることがあり得るため注意すること。	1, 2, 3, 4
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10	15回の全授業終了後に期限までに提出するレポート等課題	1, 2, 3, 4
その他	0		

テキスト テキストを使用しない。

参考書 『よくわかる異文化コミュニケーション』(やわらかアカデミズム・<わかる>シリーズ) 池田理知子編著 ミネルヴァ書房 2010年、『グローバルな時代を生きるための異文化理解入門』原沢伊都夫著 研究社 2013年。この他は、多岐にわたるため、必要に応じて授業の中で紹介する。

履修条件・他の科目との関連 1年次配当のBYOD対象科目であるため、2年次以上の受講生にも、原則としてスマホではなく、大学推奨以上のスペックを備えたPCを毎回持参しての受講が必要となる。この基準に合致したデバイスで受講しない場合の不利は自己責任とする。受講に際してのPCの設定等の技術的なサポートは本科目内ではおこなわないため、アドバイスは教務課もしくは情報システム室に求めること。ほぼ毎回授業時にはパワーポイントでの資料を提示しながら説明を行う予定であるが、スクリーンが見にくい場合は自身のPC画面で同じ内容を見ながら説明を聴いてもらう。そのためにPCの持参が必要である。受講者には異文化や世界各地の民族問題に積極的な関心を持つことが期待される。世界中の民族や移民、人種差別に関する状況など、日ごろから時事問題にも目を向けて情報収集に努めることが望ましい。また、異文化や民族間の対立の基礎にある歴史に関する知識も必要である。高校までに学習した世界史と世界の地理に関する内容を復習して受講すること。この科目で身につけた視点をより具体的な知見と結びつけるため、「アジアの歴史と文化」(後期)も併せて履修することを勧める。また、日本語を母語としない受講生の場合、N1相当以上の日本語力がないと理解できない授業内容であるため、その水準に達していない状態で受講すると単位を落とす危険がある。

授業コード	13091601	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	比較文化論 [対面]				
シラバス執筆(全員)	小瀬木 えりの				
シラバス執筆(主)	小瀬木 えりの				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

この授業では、日本を中心としたアジアの文化と欧米など他の国や地域の文化を比較し、人びとの考え方や価値観、生活習慣などにかかわる違いを理解することを目的とする。それを通じて、在学中の留学や海外研修、また、その先の社会人になってからの国際交流やグローバルな職場での活躍において、異文化や多文化と共存・共栄できる発想や心構えの基礎を養い、国際人としての教養を身につけることを目指す。

到達目標

1. 日本や自身の所属する自国と、他の国や地域の文化の違いを理解する
2. 異文化の人びととの交流において、他者の文化を尊重できる発想と態度を習得する
3. 自文化と他文化の双方を理解した上で、自身の価値観を持ち、自己のとるべき行動を自力で決められるようになる

授業計画

<p>【第1回】 テーマ：イントロダクション 内容・方法：この科目での授業の進め方、評価方法についての説明</p> <p>【第2回】 テーマ：個人主義と集団主義（1） 内容・方法：欧米の文化と日本やアジア文化の主要な違いについて、意見を持つこと・意見表明・議論を巡る価値観について</p> <p>【第3回】 テーマ：個人主義と集団主義（2）プライバシーの尊重とポライトネス・ルールについて 内容・方法：世界の人びとはどのようにして友だちをつくるのか？他者との距離のとり方の違い</p> <p>【第4回】 テーマ：個人主義と集団主義（3） 内容・方法：カップル文化とお一人様文化、結婚＝契約 vs. 結婚＝家族（集団）形成の違い</p> <p>【第5回】 テーマ：親子関係に関する価値観の違い 内容・方法：親子関係における依存と自立、相互扶助について、また生殖医療がもたらす変化</p> <p>【第6回】 テーマ：性別・セクシュアリティ・同性婚をめぐる価値観と対立 内容・方法：LGBTの権利と同性婚をめぐる社会の認識の違いについて</p> <p>【第7回】 テーマ：自由民主主義（資本主義）と全体主義（社会主義）に基づくイデオロギーの違い 内容・方法：貧富の差と自己責任、社会福祉について</p> <p>【第8回】 テーマ：単一言語と多言語の社会について 内容・方法：モノリンガルとマルチリンガルをめぐる社会の違い</p> <p>【第9回】 テーマ：男女平等と男尊女卑 内容・方法：その価値観の原因と社会的背景について</p> <p>【第10回】 テーマ：文化におけるHigh ContextとLow Contextの違いについて 内容・方法：社会によって期待される空気の読み方</p> <p>【第11回】 テーマ：アメリカ対イギリス+オーストラリア 内容・方法：英語圏どうしでの習慣や文化の違い</p> <p>【第12回】 テーマ：宗教をめぐる価値観の違い 内容・方法：宗教と倫理、世俗化について</p> <p>【第13回】 テーマ：文化的同質性と多文化・多民族について 内容・方法：同化圧力と多様性容認</p> <p>【第14回】 テーマ：移民を巡る問題と対立 内容・方法：多様性は社会に利益をもたらすのか？</p> <p>【第15回】 テーマ：全授業のまとめと振り返り 内容・方法：これまでの授業で学んだことについての総まとめと振り返りの概説</p>
--

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

各回、事前学習は2時間、事後学習は2時間を目安とする。

【第1回】

①事前学修課題：特になし

②事後学修課題：授業で学習した内容を復習し、期限までに課題をクラスルームなど指定された手段を通じて提出する

【第2回】

①事前学修課題：授業内容に関連したテーマについての自主学習

②事後学修課題：授業で学習した内容を復習し、期限までに課題をクラスルームなど指定された手段を通じて提出する

【第3回】

①事前学修課題：授業内容に関連したテーマについての自主学習

②事後学修課題：授業で学習した内容を復習し、期限までに課題をクラスルームなど指定された手段を通じて提出する

【第4回】

①事前学修課題：授業内容に関連したテーマについての自主学習

②事後学修課題：授業で学習した内容を復習し、期限までに課題をクラスルームなど指定された手段を通じて提出する

【第5回】

①事前学修課題：授業内容に関連したテーマについての自主学習

②事後学修課題：授業で学習した内容を復習し、期限までに課題をクラスルームなど指定された手段を通じて提出する

【第6回】

①事前学修課題：授業内容に関連したテーマについての自主学習

②事後学修課題：授業で学習した内容を復習し、期限までに課題をクラスルームなど指定された手段を通じて提出する

【第7回】

①事前学修課題：授業内容に関連したテーマについての自主学習

②事後学修課題：授業で学習した内容を復習し、期限までに課題をクラスルームなど指定された手段を通じて提出する

【第8回】

①事前学修課題：授業内容に関連したテーマについての自主学習

②事後学修課題：授業で学習した内容を復習し、期限までに課題をクラスルームなど指定された手段を通じて提出する

【第9回】

①事前学修課題：授業内容に関連したテーマについての自主学習

②事後学修課題：授業で学習した内容を復習し、期限までに課題をクラスルームなど指定された手段を通じて提出する

【第10回】

①事前学修課題：授業内容に関連したテーマについての自主学習

②事後学修課題：授業で学習した内容を復習し、期限までに課題をクラスルームなど指定された手段を通じて提出する

【第11回】

①事前学修課題：授業内容に関連したテーマについての自主学習

②事後学修課題：授業で学習した内容を復習し、期限までに課題をクラスルームなど指定された手段を通じて提出する

【第12回】

①事前学修課題：授業内容に関連したテーマについての自主学習

②事後学修課題：授業で学習した内容を復習し、期限までに課題をクラスルームなど指定された手段を通じて提出する

【第13回】

①事前学修課題：授業内容に関連したテーマについての自主学習

②事後学修課題：授業で学習した内容を復習し、期限までに課題をクラスルームなど指定された手段を通じて提出する

【第14回】

①事前学修課題：授業内容に関連したテーマについての自主学習

②事後学修課題：授業で学習した内容を復習し、期限までに課題をクラスルームなど指定された手段を通じて提出する

【第15回】

①事前学修課題：第14回目までの授業全体で学習したことについて、PPTなどの資料と自身の講義ノートやメモに基づき復習する

②事後学修課題：全授業を通しての学習内容を、資料と講義ノートやメモなどで再確認し、理解を定着させておく

課題に対するフィードバックの方法

毎授業時に出す理解度を確認するための課題については、次週の授業の始めに正解の要点を示すなどしてフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。公欠や公共交通機関の運行停止など本人の責に帰せない事情、客観的なエビデンスを提示できる病気や怪我、または特別配慮願

の対象として配慮が必要な場合等を除き、特段の理由なく欠席が全授業中6回以上に上る受講者は「K」評価とする。前記の諸事情のどれにも該当しない場合の遅刻も2回で1回の欠席相当と見なすため注意すること。授業に出席のみして、毎回の授業時に出される理解度をはかるための課題が提出されない場合は、その回の評価に係る得点を0点とし、ユニバ上の出席記録も取り消され欠席扱いとする。出席と課題提出の両方が揃ってその回の評価点を得ることができる。また、対面授業であるため、欠席した回には課題のみを提出することは認めない。仮に提出しても無効となり0点扱いとなるため注意すること。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	90	毎回の授業時に内容の理解度をはかるための課題を提出してもらうことによる評価(1回につき、正解数に応じて0～6点×15回=90点満点)。授業時間内に解答しきれない場合はその日のうちにクラスルームでの掲示で提出してもらうこともある。私語や居眠り、授業と関係の無いことに従事するなど受講態度に問題が見られる場合は、警告回数ごとに1点ずつ、その回の最高点6点から減点されることがあり得るため注意すること。	1, 2, 3
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10	15回の全授業終了後に期限までに提出するレポート等の課題	1, 2, 3
その他	0		

テキスト テキストは使用しない。

参考書 授業時に必要に応じて紹介する。

履修条件・他の科目との関連 1年次配当のBYOD対象科目であるため、2年次以上の受講生にも、原則としてスマホではなく、大学推奨以上のスペックを備えたPCを毎回持参しての受講が必要となる。この基準に合致したデバイスで受講しない場合の不利は自己責任とする。受講に際してのPCの設定等の技術的なサポートは本科目内ではおこなわないため、アドバイスは教務課もしくは情報システム室に求めること。ほぼ毎回授業時にはパワーポイントでの資料を提示しながら説明を行う予定であるが、スクリーンが見にくい場合は自身のPC画面で同じ内容を見ながら説明を聞いてもらう。そのためにPCの持参が必要である。これから海外研修や留学、外国での生活を経験しようとする受講者に、日本やアジアの文化と欧米の文化の違いやその歴史的背景を理解してから出かけることを推奨する。そのためにも日頃から異文化や世界各地のいろいろな民族、日本や自身の国の文化に対して積極的な関心を持つことが期待される。世界中の民族や移民、人種差別に関する状況や、それをめぐる時事問題にも目を向けることが望ましい。また、高校までに学習した世界史や世界の地理に関する内容を理解しておくことも役立つであろう。なお、日本語を母語としない受講生の場合、N1相当以上の日本語力がないと理解できない授業内容であるため、その水準に達していない状態で受講すると単位を落とす危険がある。

授業コード	13091701	授業形態	講義	実務家教員	<input type="radio"/>
授業科目名	中国の現代社会 [対面]				
シラバス執筆(全員)	山下 純				
シラバス執筆(主)	山下 純				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

近年、日本で中国に関する情報に接する機会が増えている。しかしそれらの多くが北京や上海といった主要大都市での特定の事象に偏っている傾向がある。中国は国土が広大で、多様性に富み、地域によって気候や文化も異なっている。その上、中国では日々日本では考えられないような速く激しい変化が目まぐるしく起きている。しかし激しい変化の中でも変わらない本質はある。受講生の皆さんが今後留学や仕事で中国と向き合うための基礎知識として、中国の現代社会を理解するために重要なコンセプトやキーワード等を重点的に説明する。

本講義の目的は、下記2点とする。

- 1) 中国の現代社会の実態を理解すること
 - 2) 中国の歴史・社会・文化・経済等の状況を踏まえつつ、中国の現代社会に関する知識を幅広く習得すること
- 本講義では、まず急速に変化していく中国の現代社会の背景にある政治・経済・社会について概要を俯瞰していく。続いて、言語・中華料理等の文化分野から、商習慣・中国企業等のビジネス分野までを順次検討していく。担当教員が長年にわたり中国現地に身を置いて培ってきた社会経験および現地実際に即した豊富な知見やスキルをもとに、受講生の皆さんに身につけてもらいたい幅広い内容について中国視点を織り交ぜながら厳選して講義を展開する。

到達目標

- 1 中国の多様性について知識を習得し、説明する力を身につける
- 2 中国の現代社会の実態を理解して、政治・経済・社会がどのような仕組みを有するのか理解して説明できる
- 3 中国の現代社会における文化の特徴について具体事例を用いて説明することができる

授業計画

各回のテーマは、状況によっては変更する可能性がある。

【第1回】

テーマ：オリエンテーション

内容・方法：シラバスの説明（講義の構成、進め方、評価方法、参考書など）

【第2回】

テーマ：中国の地域性について

内容・方法：自然地理、多民族多文化等の中国の地域性について学ぶ

【第3回】

テーマ：中国の現代史

内容・方法：中国現代史について概要を学ぶ

【第4回】

テーマ：中国の政治体制と行政制度

内容・方法：中国の政治体制と行政制度について学ぶ

【第5回】

テーマ：標準中国語と方言

内容・方法：中国語の種類、多様性等について学ぶ

【第6回】

テーマ：中華料理の系譜

内容・方法：中華料理の系譜等について学ぶ

【第7回】

テーマ：中国の若者世代

内容・方法：中国の若者世代について学ぶ

【第8回】

テーマ：中国のインターネット事情

内容・方法：網紅、SNS、ライブコマース等の事例を通じて中国のインターネット事情を学ぶ

【第9回】

テーマ：中国のさまざまな社会事情

内容・方法：中国の教育、就職、医療、介護等に関する中国の社会事情について学ぶ

【第10回】

テーマ：中国の都市と農村

内容・方法：中国の都市と農村の経済格差、戸籍、土地と家の仕組み等について学ぶ

【第11回】

テーマ：中国ビジネスの基本

内容・方法：中国の商習慣「関係」「面子」「圈子」等中国ビジネスの基本について学ぶ

【第12回】

テーマ：中国の民営企業と国有企業

内容・方法：中国の社会主義市場経済を踏まえつつ民営企業と国有企業の特徴等について学ぶ

【第13回】

テーマ：中国の歴代政権と政策展望

内容・方法：中国の歴代政権と政策展望等について学ぶ

【第14回】

テーマ：中国の外交政策と日中関係

内容・方法：中国の外交政策の大きな変化を踏まえつつ、日中関係等について学ぶ

【第15回】

テーマ：振り返りとまとめ

内容・方法：振り返りとまとめを行なう

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

① 事前学修課題：シラバスを読み、学修する内容について理解する

② 事後学修課題：授業の復習を行なう

【第2回】

① 事前学修課題：中国の地域性について関心がある内容を調べる

② 事後学修課題：中国の地域性について学んだ内容を復習する

【第3回】

① 事前学修課題：中国の現代史について関心がある内容を調べる

② 事後学修課題：中国の現代史について学んだ内容を復習する

【第4回】

① 事前学修課題：中国の政治体制と行政制度について関心がある内容を調べる

② 事後学修課題：中国の政治体制と行政制度について学んだ内容を復習する

【第5回】

① 事前学修課題：標準中国語と方言についてどのような種類があるのか調べる

② 事後学修課題：標準中国語と方言について学んだ内容を復習する

【第6回】

① 事前学修課題：中華料理について関心がある内容を調べる

② 事後学修課題：中華料理の系譜等について学んだ内容を復習する

【第7回】

① 事前学修課題：中国の若者世代について関心がある内容を調べる

② 事後学修課題：中国の若者世代について学んだ内容を復習する

【第8回】

① 事前学修課題：中国のインターネット事情について関心がある内容を調べる

② 事後学修課題：中国のインターネット事情について学んだ内容を復習する

【第9回】

① 事前学修課題：中国の社会事情について関心がある内容を調べる

② 事後学修課題：中国の社会事情について学んだ内容を復習する

【第10回】

① 事前学修課題：中国の都市と農村について関心がある内容を調べる

② 事後学修課題：中国の都市と農村について学んだ内容を復習する

【第11回】

① 事前学修課題：中国ビジネスについて関心がある内容を調べる

② 事後学修課題：中国ビジネスについて学んだ内容を復習する

【第12回】

① 事前学修課題：中国の民営企業と国有企業についてどのような企業があるのか調べる

② 事後学修課題：中国の民営企業と国有企業について学んだ内容を復習する

【第13回】

① 事前学修課題：中国の歴代政権と経済政策について関心がある内容を調べる

② 事後学修課題：中国の歴代政権と政策展望について学んだ内容を復習する

【第14回】

① 事前学修課題：中国の外交政策について関連する報道等を調べる

② 事後学修課題：中国の外交政策と日中関係について学んだ内容を復習する

【第15回】

① 事前学修課題：授業全体で学んだことを復習し、理解の抜けもれを確認する

② 事後学修課題：授業全体で学んだ内容を振り返り定期試験に備える

課題に対するフィードバックの方法

レポートにはコメントをつけて返却する。
授業での発言については適宜コメントをする。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

授業内のミニテスト (30)

期中のレポート課題 (30)

定期試験 (40)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	30	授業内で課されるミニテスト(6回×5点)	1、2、3
授業外での評価	30	期中のレポート課題	1、2、3

定期試験	40	全体授業終了後の試験	1、2、3
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	0		
テキスト	特になし		
参考書	授業の中で適宜紹介する		
履修条件・他の科目との関連	中国の現代社会の実態を理解するためのキーワードの多くが中国語であるため、中国語が理解できることは学修の助けになる。		

授業コード	13091801	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	英語世界のことばと文化 [対面]				
シラバス執筆(全員)	岩崎 真哉				
シラバス執筆(主)	岩崎 真哉				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

世界中に広がりつつある国際語としての英語と、ローカル・バリエーションとしての「英語」はどのような様相を示しているのかを概観する。また、そのようなローカル・バリエーションとしての英語も存在する中で日本人は「英語」とどのように付き合っていくのかを考察する。国際共通語である英語の習得と、日本人自身の自己表現のための英語学習との両者を指向しながら、コミュニケーション手段としての国際共通語である英語と、どのように付き合うのか、その指針も議論していく。

到達目標

1. 「英語」を話す地域の言語的・文化的な比較や考察をすることができる。
2. 「英語」の多様性を理解することができる。
3. 「英語」を話す地域の文化的多様性を理解することができる。

授業計画

- 【第1回】 英語の誕生と広がり
- 【第2回】 文字に焦点を当て、英語世界のことばと文化を概説する。
- 【第3回】 音に焦点を当て、英語世界のことばと文化を概説する。
- 【第4回】 語彙に焦点を当て、英語世界のことばと文化を概説する。
- 【第5回】 文のしくみに焦点を当て、英語世界のことばと文化を概説する。
- 【第6回】 日本における英語の受容を概説する。
- 【第7回】 韓国における英語の受容を概説する。
- 【第8回】 中国における英語の受容を概説する。
- 【第9回】 インドにおける英語の受容を概説する。
- 【第10回】 アラビア語圏における英語の受容を概説する。
- 【第11回】 スイスにおける英語の受容を概説する。
- 【第12回】 消えゆく言語とピジン・クレオールについて概説する。
- 【第13回】 国際共通語としての英語について概説する。
- 【第14回】 日本の国際化と英語教育について概説する。
- 【第15回】 前期のまとめ

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

毎回の授業では、事前学習として、指定された部分の解答とプリントの精読が求められる。この事前学習と復習を合わせて、約4.5時間の学習が必要である。

課題に対するフィードバックの方法

授業内での課題については、授業内に、その他の課題やレポートについては、Google Classroom等を用いてフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

課題、クイズ、レポート内容などにより総合的に評価する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	授業での発表、発言	1, 2, 3
授業外での評価	30	課題	1, 2, 3
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	レポート	1, 2, 3
その他	0		

テキスト

プリントを配布する。

参考書	矢野 安剛, 池田 雅之 (2008) 『英語世界のことばと文化』成文堂
履修条件・他の科目との関連	授業を欠席した場合は、その回のハンドアウトは次回渡すか、Google Classroomからダウンロードする。

授業コード	13111001	授業形態		実務家教員	—
授業科目名	英語文学 [対面]				
シラバス執筆(全員)	A. ナデュー				
シラバス執筆(主)	A. ナデュー				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

本授業では、独立当初から20世紀後期までのアメリカ文学の軌跡を、キャノンとされる主要作品の解説を通して通時的に概観するとともに、文学テクストを、アメリカ文化・社会の諸相を照射するメディアとして捉えることで、アメリカ文化の基盤を成す、様々な歴史的背景、現代社会に通底する概念や問識を学びます。授業内では、歴史的コンテクスト、文学作品を紹介、解説するだけでなく、実際に紹介する作品の英文、日本語訳を読むことによって、作品に触れる機会を設けることで、自身で問題意識や作品そのものへの興味を抱く機会を設けています。こうした予習を行うことで分析を伴ったアプローチを実際に行い、自分で考えることを習慣づけるとともに、文学テクストを通じてアメリカを多角的に捉えることを、本授業の目的としています。

到達目標

- (1) アメリカ文学について、その時代を特徴付けた作家とその代表的作品が理解できている
- (2) 作家と代表的作品に関する内容・主要なテーマが理解できている
- (3) 主要なテーマに関する文学用語が理解できている

授業計画

- 【第1回】
テーマ：オリエンテーション
内容・方法：オリエンテーション（授業方法の説明・自己紹介など。受講希望者は出席すること）
- 【第2回】
第1章 植民地時代の文学、第2章 アメリカ文学
- 【第3回】
第3章 アメリカ文学の開花 (1)
- 【第4回】
第3章 アメリカ文学の開花 (2)
- 【第5回】
第3章 アメリカ文学の開花 (3)
- 【第6回】
第4章 リアリズムと自然主義の文学 (1)
- 【第7回】
第4章 リアリズムと自然主義の文学 (2)
- 【第8回】
第1章～第4章の総復習、前半授業内容復習テスト
- 【第9回】
第5章 アメリカ文学の成熟 (1)
- 【第10回】
第5章 アメリカ文学の成熟 (2)
- 【第11回】
第6章 第二次大戦後の文学 (1)
- 【第12回】
第6章 第二次大戦後の文学 (2)
- 【第13回】
第7章 アメリカ文学の現在 (1)
- 【第14回】
第7章 アメリカ文学の現在 (2)
- 【第15回】
第5章～第7章の総復習、後半授業内容復習テスト

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

課題に対するフィードバックの方法

授業冒頭で必要があれば、質問などへのフィードバックを行います。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

各授業後に提出してもらった小テストと、学期中に二度行う授業内容復習テスト、レポートによって成績を評価します。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	授業内容復習テスト(計2回、30、30) 基本的な用語、作品名、作家名だけでなく、説明を求める問題もあります。	1, 2, 3
授業外での評価	20	各授業後に行う小テスト その日の授業で解説した作家名、作品名、用語などを答える、基礎問題です。	1, 2, 3
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	期末レポート	1, 2, 3
その他	0		

テキスト テキストを使用しない

参考書

履修条件・他の科目との関連 欠席回数3回を超えると、単位を認定しません。また、15回すべて出席したからと言って、単位の認定が約束されるとは限りません。小テスト、復習テスト、レポートの内容によってのみ、成績は決定いたします。ご注意ください。
耳慣れない単語、用語が多く教科書に登場するかとされます。自らわからないものを見つけ、調べ、そのうえで必要であれば質問し、理解する、という積極的な学びの態度が必要です。
この授業はアメリカ文学史の授業ですが、アメリカ文学のみならず、アメリカの社会・政治・文化・歴史・経済第アメリカの様々な側面にも幅広く触れます。アメリカ文学だけではなく、アメリカの様々な分野に興味がある学生の受講を歓迎します。アメリカの様々な諸相を、アメリカ文学を通じて調査・探求していき、受講生が各々の興味関心を深めていく。この授業がそのような橋渡しの授業になれば幸いです。

授業コード	13102801	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	言語学 [対面]				
シラバス執筆(全員)	岩崎 真哉				
シラバス執筆(主)	岩崎 真哉				
開講年次	3年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

言語学の諸分野～音声学・音韻論・形態論・統語論・意味論・語用論～の研究手法と研究成果から概説する。言語が人間の他の認知能力から切り離すことができないことを説明する。

到達目標

1. 言語現象から規則性を発見し、一般化できるようになる。
2. 言語学各分野の基礎的事項を理解することができる。
3. 基本的な樹形図を描くことができる。
4. 会話の含意を理解することができる。

授業計画

- 第1回：意味論(semantics) (1) (ものの見方)：意味論の歴史と文の解釈の違いを学ぶ。
 第2回：意味論(semantics) (2) (プロトタイプ)：典型性条件について概説する。
 第3回：意味論(semantics) (3) (メタファー)：メタファーについて概説する。
 第4回：音声学(phonetics) (1) (母音I) 前舌母音を学ぶ。
 第5回：音声学(phonetics) (2) (母音II) 中舌母音, 後舌母音を学ぶ。
 第6回：統語論(syntax) (1) 統語論の歴史を概説する。
 第7回：統語論(syntax) (2) 樹形図を書く方法を学ぶ。
 第8回：統語論(syntax) (3) 統率・束縛理論を概説する。
 第9回：形態論(morphology) (1) 接辞について概説する。
 第10回：形態論(morphology) (2) 語形成について概説する。
 第11回：語用論(pragmatics) (1) 会話の原則を説明する。
 第12回：語用論(pragmatics) (2) フェイス理論を学ぶ。
 第13回：歴史言語学(1)：日本語の文法化
 第14回：歴史言語学(2)：英語の文法化
 第15回：本授業のまとめと復習

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

毎回の授業では、事前学習として、課題の解答とプリントの精読が求められる。この事前学習と復習を合わせて、約4.5時間の学習が必要である。

課題に対するフィードバックの方法

授業内での課題については、授業内に、その他の課題やレポートについては、Google Classroom等を用いてフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

課題、クイズ、レポート内容などにより総合的に評価する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	授業での発表、発言	1, 2, 3, 4
授業外での評価	30	課題	1, 2, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	レポート	1, 2, 3, 4
その他	0		

テキスト	プリントを配布する。
参考書	必要に応じて授業の中で紹介する。

履修条件・他の科目との関連

授業を欠席した場合は、その回のハンドアウトを次回に渡す。

授業コード	13091901	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	ヨーロッパの現代社会 [対面]				
シラバス執筆(全員)	瀬島 誠				
シラバス執筆(主)	瀬島 誠				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

本講義は、現代のヨーロッパが抱える諸問題についての理解を深めることを目的とする。歴史は古く、今日の世界の基礎を作ったのはヨーロッパであり、今日の世界を理解するために重要な基盤となっている。今後の世界がどうなるかを考える上で、ヨーロッパの現在を理解することは重要である。加盟国間での戦争を止揚した欧州連合ではあるが、これまでの軌跡とその今後は必ずしも安定したものではない。現在はロシアとウクライナの戦争など、ヨーロッパの情勢は大きく変化している。今後の世界を考える上でも、現在のヨーロッパ社会を理解することは必要である。

なお、本講義は、現在進行中のテーマに関するものであり、今後の状況の変化次第では、下記の授業計画策定時点では想定しえない問題が発生しえる。その際は、授業計画とは異なる講義内容になりえることを注記しておく。

到達目標

1. ヨーロッパの各国およびヨーロッパ全体の社会が直面する現代の課題を理解し説明できる。
2. さまざまな概念を使って、ヨーロッパおよび世界の諸問題を分析できる。
3. 今後のヨーロッパおよび世界のあり方を予測し、それに備えた自主自学ができる。

授業計画

【第1回】

テーマ：ヨーロッパとは？

内容・方法：文化、社会（政治、経済、人間関係、、、）、歴史などさまざまな側面からヨーロッパとは何かを考える。

【第2回】

テーマ：主要大国：イタリア、イギリス、フランス、ドイツ、ロシア

内容・方法：ヨーロッパと言えば、これら大国であろう。これらの国々の現状を概観する。

【第3回】

テーマ：重要な中小国

内容・方法：ヨーロッパでは、大国のみならず、中小国も重要な働きをしてきた。それらのいくつかを取り上げる。

【第4回】

テーマ：イデオロギー：フランス革命とロシア革命

内容・方法：世界の主要なイデオロギーは民主主義と共産主義である。それを生み出した二つの革命を振り返る。

【第5回】

テーマ：科学と産業革命

内容・方法：ヨーロッパが世界で覇を唱えることができた要因の一つは科学の発達とそれによる産業革命であった。

【第6回】

テーマ：感染症の歴史

内容・方法：ペストやコロナ、インフルエンザなど、ヨーロッパにも幾度かの感染症爆発が発生している。その大まかな変遷を分析する。

【第7回】

テーマ：人口動態と少子高齢化

内容・方法：かつてのヨーロッパの栄光をもたらした一つの要因は人口増加であったが、ヨーロッパも少子高齢化問題を抱えている。

【第8回】

テーマ：移民と難民

内容・方法：アフリカ、中東、東ヨーロッパ、ウクライナなどからの難民、移民の現状をしてみる。

【第9回】

テーマ：右傾化

内容・方法：移民増大に伴いヨーロッパ主要国では移民排斥などの政治の右傾化が注目されている。

【第10回】

テーマ：ツーリズムとオーバーツーリズム

内容・方法：ヨーロッパで盛んな旅行産業とそれが抱える課題を検討する。

【第11回】

テーマ：食

内容・方法：食べ物や飲み物の変化などから、ヨーロッパを考える。

【第12回】

テーマ：EU

内容・方法：EUとは何か？その現状と課題について概観する。

【第13回】

テーマ：NATO

内容・方法：NATOの歴史と今後 冷戦、核、集団安全保障。

【第14回】

テーマ：ヨーロッパ新たな安全保障環境

内容・方法：ウクライナ情勢などを中心にヨーロッパが直面する安全保障環境について検討する。

【第15回】

テーマ：これからのヨーロッパ

内容・方法：技術の進化などの視点を交え、今後のヨーロッパ統合の深化の行方を検討する。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

①事前学修課題：事前に授業計画と事前事後の学習などを確認しておく。

②事後学修課題：授業内容を復習する。

【第2回】

①事前学修課題：事前にヨーロッパにおける大国のどれかについて調べてくる。

②事後学修課題：授業内容を復習する。

【第3回】

①事前学修課題：事前にヨーロッパにおける中小国のどれかについて調べてくる。

②事後学修課題：授業内容を復習する。

【第4回】

①事前学修課題：フランス革命およびロシア革命について調べてくる。

②事後学修課題：授業内容を復習する。

【第5回】

①事前学修課題：科学とは何か、知識とは何かについて考えてくる。

②事後学修課題：授業内容を復習する。

【第6回】

①事前学修課題：新型コロナの時のことを思い出しておく。

②事後学修課題：授業内容を復習する。

【第7回】

①事前学修課題：日本の少子高齢化問題について調べておく。

②事後学修課題：授業内容を復習する。

【第8回】

①事前学修課題：ヨーロッパの移民問題について調べておく。

②事後学修課題：授業内容を復習する。

【第9回】

①事前学修課題：ドイツ、フランス、イギリス、イタリアなどの右傾化について調べておく。

②事後学修課題：授業内容を復習する。

【第10回】

①事前学修課題：気になるヨーロッパの旅行先について調べておく。

②事後学修課題：授業内容を復習する。

【第11回】

①事前学修課題：好きなヨーロッパの食べ物や飲み物について調べておく。

②事後学修課題：授業内容を復習する。

【第12回】

①事前学修課題：事前にウェブでEUについて調べてくる。

②事後学修課題：授業内容を復習する。

【第13回】

①事前学修課題：事前にウェブでNATOについて調べてくる。

②事後学修課題：授業内容を復習する。

【第14回】

①事前学修課題：事前にウェブでウクライナ情勢について調べてくる。

②事後学修課題：授業内容を復習する。

【第15回】

①事前学修課題：これまでの総復習をする。

②事後学修課題：授業内容を復習する。

課題に対するフィードバックの方法

各回の授業毎に提出してもらった「まとめシート」は採点した後で翌週に返却する。その後で、どのポイントが大事か、どのように答えたらいいのかなどについて解説する

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

平常点と全授業終了後に実施する期末試験による。試験の形態は授業中に説明する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	30	まとめシートの得点	1, 2, 3
授業外での評価	0		

定期試験	70		1, 2, 3
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	0		

テキスト	テキストを使用しない。プリントを配布する。		
------	-----------------------	--	--

参考書	参考書： 適宜指示する。		
-----	--------------	--	--

履修条件・他の科目との関連	国際に関する他の授業を受講しておくことは、この授業を理解するためには好ましい。		
---------------	---	--	--

授業コード	13106101	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Advanced Presentation I [対面]				
シラバス執筆(全員)	P. J. ベイリー				
シラバス執筆(主)	P. J. ベイリー				
開講年次	3年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

Through the practice of active learning in the classroom in every class throughout the semester, students will develop their skills in both conversation and public speaking to better prepare them for real life speaking situations, both informal and formal. To succeed in these goals, students will be involved in conversation and presentation tasks in pairs and groups, as well as performing evaluated presentations. All activities will be completed in English and will include individual, pair, and group work.

This is an advanced English course for 3rd and 4th year IEP students or those who have a TOEIC score of 550 or higher.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Organise and deliver presentations confidently in English
2. Use eye contact, posture, and gestures effectively
3. Create visually effective slideshows
4. Develop their knowledge of the language used in presentations

授業計画

- 【第1回】
 テーマ: Course Introduction and Orientation
 内容・方法: Assigned materials and writing/speaking tasks to be completed as instructed by the teacher.
- 【第2回】
 テーマ: Unit 1
 内容・方法: Assigned materials and writing/speaking tasks to be completed as instructed by the teacher.
- 【第3回】
 テーマ: Unit 1
 内容・方法: Assigned materials and writing/speaking tasks to be completed as instructed by the teacher.
- 【第4回】
 テーマ: Unit 2
 内容・方法: Assigned materials and writing/speaking tasks to be completed as instructed by the teacher.
- 【第5回】
 テーマ: Unit 2
 内容・方法: Assigned materials and writing/speaking tasks to be completed as instructed by the teacher.
- 【第6回】
 テーマ: Unit 3
 内容・方法: Assigned materials and writing/speaking tasks to be completed as instructed by the teacher.
- 【第7回】
 テーマ: Unit 3
 内容・方法: Assigned materials and writing/speaking tasks to be completed as instructed by the teacher.
- 【第8回】
 テーマ: Unit 4
 内容・方法: Assigned materials and writing/speaking tasks to be completed as instructed by the teacher.
- 【第9回】
 テーマ: Unit 4
 内容・方法: Assigned materials and writing/speaking tasks to be completed as instructed by the teacher.
- 【第10回】
 テーマ: Unit 5
 内容・方法: Assigned materials and writing/speaking tasks to be completed as instructed by the teacher.
- 【第11回】
 テーマ: Unit 5
 内容・方法: Assigned materials and writing/speaking tasks to be completed as instructed by the teacher.

teacher.

【第12回】

テーマ： Units 1 - 5 Review Test

内容・方法： Assigned materials and writing/speaking tasks to be completed as instructed by the teacher.

【第13回】

テーマ： Final Presentation Planning

内容・方法： Assigned materials and writing/speaking tasks to be completed as instructed by the teacher.

【第14回】

テーマ： Final Presentation Planning and Practice

内容・方法： Assigned materials and writing/speaking tasks to be completed as instructed by the teacher.

【第15回】

テーマ： Final Presentation

内容・方法： Final Presentations, feedback and reflection.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a 1-credit (1単位) course which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題： None

事後学修課題： Review

【第2回】

事前学修課題： Prepare to speak about previous week' s topic.

事後学修課題： Review lesson content and complete online study assignments.

【第3回】

事前学修課題： Prepare to speak about previous week' s topic.

事後学修課題： Review lesson content and complete online study assignments.

【第4回】

事前学修課題： Prepare to speak about previous week' s topic.

事後学修課題： Review lesson content and complete online study assignments.

【第5回】

事前学修課題： Prepare to speak about previous week' s topic.

事後学修課題： Review lesson content and complete online study assignments.

【第6回】

事前学修課題： Prepare to speak about previous week' s topic.

事後学修課題： Review lesson content and complete online study assignments.

【第7回】

事前学修課題： Prepare to speak about previous week' s topic.

事後学修課題： Review lesson content and complete online study assignments.

【第8回】

事前学修課題： Prepare to speak about previous week' s topic.

事後学修課題： 事後学修課題： Review lesson content and complete online study assignments.

【第9回】

事前学修課題： Prepare to speak about previous week' s topic.

事後学修課題： Review lesson content and complete online study assignments.

【第10回】

事前学修課題： Prepare to speak about previous week' s topic.

事後学修課題： Review lesson content and complete online study assignments.

【第11回】

事前学修課題： Prepare to speak about previous week' s topic.

事後学修課題： Review Units 1 - 5

【第12回】

事前学修課題： Review Units 1 - 5

事後学修課題： Complete self-reflection

【第13回】

事前学修課題： Review

事後学修課題： Complete final presentation outline and slideshow

【第14回】

事前学修課題： Practice presentation

事後学修課題： Practice presentation

【第15回】

事前学修課題： Practice presentation

事後学修課題： Complete end-of-semester self-reflection

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly during classes and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class speaking and writing activities, online assignments completed as homework, vocabulary quizzes, mini-presentations and a final presentation. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse cannot pass (see attendance policy below).

In-class activities and active participation (20%)

Mini-presentations (10%)

Vocabulary quizzes (10%)

Units 1-5 Review Test (20%)

Online homework assignments (20%)

Final Presentation (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	In-class activities and active participation (20%), Mini-presentations (10%), vocabulary quizzes (10%), Units 1-5 Review Test (20%).	1, 2, 3, 4
授業外での評価	20	Online homework assignments (20%)	3, 4
定期試験	0	None.	
定期試験に代わるレポート等	20	Final Presentation (20%)	1, 2, 3, 4
その他	0	None.	

テキスト	Talking Point 2. Justin Harris / Paul Leeming. Abax ELT Publishing. 978-1-78547-064-6
------	---

参考書	Provided by instructor as necessary.
-----	--------------------------------------

履修条件・他の科目との関連	<p>This is an advanced English course for 3rd and 4th year IEP students or those who have a TOEIC score of 550 or higher.</p> <p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできるが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13106201	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Advanced Presentation II [対面]				
シラバス執筆(全員)	P. J. ベイリー				
シラバス執筆(主)	P. J. ベイリー				
開講年次	3年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

Through the practice of active learning in the classroom in every class throughout the semester, students will develop their skills in both conversation and public speaking to better prepare them for real life speaking situations, both informal and formal. To succeed in these goals, students will be involved in conversation and presentation tasks in pairs and groups, as well as performing evaluated presentations. All activities will be completed in English and will include individual, pair, and group work.

This is an advanced English course for 3rd and 4th year IEP students or those who have a TOEIC score of 550 or higher.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Organise and deliver presentations confidently in English
2. Use eye contact, posture, and gestures effectively
3. Create visually effective slideshows
4. Develop their knowledge of the language used in presentations

授業計画

- 【第1回】
テーマ: Course Orientation and Summer Vacation
内容・方法: Assigned materials and writing/speaking tasks to be completed as instructed by the teacher.
- 【第2回】
テーマ: Unit 6
内容・方法: Assigned materials and writing/speaking tasks to be completed as instructed by the teacher.
- 【第3回】
テーマ: Unit 6
内容・方法: Assigned materials and writing/speaking tasks to be completed as instructed by the teacher.
- 【第4回】
テーマ: Unit 7
内容・方法: Assigned materials and writing/speaking tasks to be completed as instructed by the teacher.
- 【第5回】
テーマ: Unit 7
内容・方法: Assigned materials and writing/speaking tasks to be completed as instructed by the teacher.
- 【第6回】
テーマ: Unit 8
内容・方法: Assigned materials and writing/speaking tasks to be completed as instructed by the teacher.
- 【第7回】
テーマ: Unit 8
内容・方法: Assigned materials and writing/speaking tasks to be completed as instructed by the teacher.
- 【第8回】
テーマ: Unit 9
内容・方法: Assigned materials and writing/speaking tasks to be completed as instructed by the teacher.
- 【第9回】
テーマ: Unit 9
内容・方法: Assigned materials and writing/speaking tasks to be completed as instructed by the teacher.
- 【第10回】
テーマ: Unit 10
内容・方法: Assigned materials and writing/speaking tasks to be completed as instructed by the teacher.
- 【第11回】
テーマ: Unit 10
内容・方法: Assigned materials and writing/speaking tasks to be completed as instructed by the teacher.

teacher.

【第12回】

テーマ： Units 6 - 10 Review Test

内容・方法： Assigned materials and writing/speaking tasks to be completed as instructed by the teacher.

【第13回】

テーマ： Final Presentation Planning

内容・方法： Assigned materials and writing/speaking tasks to be completed as instructed by the teacher.

【第14回】

テーマ： Final Presentation Planning and Practice

内容・方法： Assigned materials and writing/speaking tasks to be completed as instructed by the teacher.

【第15回】

テーマ： Final Presentation

内容・方法： Final Presentations, feedback and reflection.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a 1-credit (1単位) course which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題： None

事後学修課題： Review

【第2回】

事前学修課題： Prepare to speak about previous week' s topic.

事後学修課題： Review lesson content and complete online study assignments.

【第3回】

事前学修課題： Prepare to speak about previous week' s topic.

事後学修課題： Review lesson content and complete online study assignments.

【第4回】

事前学修課題： Prepare to speak about previous week' s topic.

事後学修課題： Review lesson content and complete online study assignments.

【第5回】

事前学修課題： Prepare to speak about previous week' s topic.

事後学修課題： Review lesson content and complete online study assignments.

【第6回】

事前学修課題： Prepare to speak about previous week' s topic.

事後学修課題： Review lesson content and complete online study assignments..

【第7回】

事前学修課題： Prepare to speak about previous week' s topic.

事後学修課題： Review lesson content and complete online study assignments.

【第8回】

事前学修課題： Prepare to speak about previous week' s topic.

事後学修課題： 事後学修課題： Review lesson content and complete online study assignments.

【第9回】

事前学修課題： Prepare to speak about previous week' s topic.

事後学修課題： Review lesson content and complete online study assignments.

【第10回】

事前学修課題： Prepare to speak about previous week' s topic.

事後学修課題： Review lesson content and complete online study assignments.

【第11回】

事前学修課題： Prepare to speak about previous week' s topic.

事後学修課題： Review Units 6 - 10

【第12回】

事前学修課題： Review Units 6 - 10

事後学修課題： Complete self-reflection

【第13回】

事前学修課題： Review

事後学修課題： Complete final presentation outline and slideshow

【第14回】

事前学修課題： Practice presentation

事後学修課題： Practice presentation

【第15回】

事前学修課題： Practice presentation

事後学修課題： Complete end-of-semester self-reflection

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly during classes and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class speaking and writing activities, online assignments completed as homework, vocabulary quizzes, mini-presentations and a final presentation. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse cannot pass (see attendance policy below).

In-class activities and active participation (20%)

Mini-presentations (10%)

Vocabulary quizzes (10%)

Units 1-5 Review Test (20%)

Online homework assignments (20%)

Final Presentation (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	In-class activities and active participation (20%), Mini-presentations (10%), vocabulary quizzes (10%), Units 1-5 Review Test (20%).	1, 2, 3, 4
授業外での評価	20	Online homework assignments (20%)	3, 4
定期試験	0	None.	
定期試験に代わるレポート等	20	Final Presentation (20%)	1, 2, 3, 4
その他	0	None.	

テキスト	Talking Point 2. Justin Harris / Paul Leeming. Abax ELT Publishing. 978-1-78547-064-6
------	---

参考書	Provided by instructor as necessary.
-----	--------------------------------------

履修条件・他の科目との関連	<p>This is an advanced English course for 3rd and 4th year IEP students or those who have a TOEIC score of 550 or higher.</p> <p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13106301	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	News & Society I [対面]				
シラバス執筆(全員)	P. J. ベイリー				
シラバス執筆(主)	P. J. ベイリー				
開講年次	3年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

In this course, students will learn about contemporary news through native-level materials. Each unit will offer students insight into international culture, business, politics, human rights, etc. Through these activities, students will gain confidence in their ability to read and listen to news and understand news stories from an international perspective. In terms of activities, listening, reading, and discussion will take priority. Developing opinions and reasoning about each news topic will also be necessary to do well in this course.

This is an advanced English course for 3rd and 4th year IEP students or those who have a TOEIC score of 550 or higher.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Gain media literacy through interaction with written and visual media
2. Build strategies for understanding native-level news stories and learn new vocabulary in context
3. Develop confidence in holding discussions on contemporary topics
4. Summarize and discuss their opinions about news topics with reference to a news article/video

授業計画

【第1回】

テーマ: Course Introduction and Orientation

内容・方法: Assigned materials and writing/speaking tasks to be completed as instructed by the teacher.

【第2回】

テーマ: News Topic 1

内容・方法: Vocabulary, Video or Article, Reading/Listening, comprehension questions, discussion questions.

【第3回】

テーマ: News Topic 1

内容・方法: Vocabulary quiz, share chosen video/article, create questions, quiz classmates, summarise all videos/articles, Group discussions

【第4回】

テーマ: News Topic 2

内容・方法: Vocabulary, Video or Article, Reading/Listening, comprehension questions, discussion questions.

【第5回】

テーマ: News Topic 2

内容・方法: Vocabulary quiz, share chosen video/article, create questions, quiz classmates, summarise all videos/articles, Group discussions

【第6回】

テーマ: News Topic 3

内容・方法: Vocabulary, Video or Article, Reading/Listening, comprehension questions, discussion questions.

【第7回】

テーマ: News Topic 3

内容・方法: Vocabulary quiz, share chosen video/article, create questions, quiz classmates, summarise all videos/articles, Group discussions

【第8回】

テーマ: Mid-semester Test / Assessment

内容・方法: News Topics 1-3 Test

【第9回】

テーマ: News Topic 4

内容・方法: Vocabulary, Video or Article, Reading/Listening, comprehension questions, discussion questions.

【第10回】

テーマ: News Topic 4

内容・方法: Vocabulary quiz, share chosen video/article, create questions, quiz classmates, summarise all videos/articles, Group discussions

【第11回】

テーマ: News Topic 5

内容・方法: Vocabulary, Video or Article, Reading/Listening, comprehension questions, discussion questions.

【第12回】

テーマ： News Topic 5

内容・方法： Vocabulary quiz, share chosen video/article, create questions, quiz classmates, summarise all videos/articles, Group discussions

【第13回】

テーマ： News Topic 6

内容・方法： Vocabulary, Video or Article, Reading/Listening, comprehension questions, discussion questions.

【第14回】

テーマ： News Topic 6

内容・方法： Vocabulary quiz, share chosen video/article, create questions, quiz classmates, summarise all videos/articles, Group discussions

【第15回】

テーマ： Final Test & Assignment

内容・方法： News Topics 4-6 Test & Create a News Article

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a 1-credit (1単位) course which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題： None

事後学修課題： Review

【第2回】

事前学修課題： Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題： Review, article assignment and vocabulary study.

【第3回】

事前学修課題： Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題： Review, article assignment and vocabulary study.

【第4回】

事前学修課題： Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題： Review, article assignment and vocabulary study.

【第5回】

事前学修課題： Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題： Review, article assignment and vocabulary study.

【第6回】

事前学修課題： Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題： Review, article assignment and vocabulary study.

【第7回】

事前学修課題： Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題： Review News Topics 1 - 3

【第8回】

事前学修課題： Review News Topics 1 - 3

事後学修課題： Complete mid-semester self-reflection

【第9回】

事前学修課題： Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題： Review, article assignment and vocabulary study.

【第10回】

事前学修課題： Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題： Review, article assignment and vocabulary study.

【第11回】

事前学修課題： Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題： Review, article assignment and vocabulary study.

【第12回】

事前学修課題： Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題： Review, article assignment and vocabulary study.

【第13回】

事前学修課題： Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題： Review, article assignment and vocabulary study.

【第14回】

事前学修課題： Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題： Review News Topics 4 - 6

【第15回】

事前学修課題： Review for final test / assignment

事後学修課題： Complete end-of-semester self-reflection

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly during classes and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class writing activities, online assignments completed as homework, and midterm and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse cannot pass (see attendance policy below).

Grade Breakdown:

In-class activities and active participation (20%)

Vocabulary quizzes (20%)

Mid-semester test (20%).

Homework assignments (20%)

Final test (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	In-class activities and active participation (20%), vocabulary quizzes (20%), mid-semester test (20%).	1, 2, 3, 4
授業外での評価	20	Homework assignments (20%)	1, 2, 3, 4
定期試験	0	None.	
定期試験に代わるレポート等	20	Final test (20%)	1, 3
その他	0	None.	

テキスト	None.
------	-------

参考書	Provided by instructor as necessary.
-----	--------------------------------------

履修条件・他の科目との関連	<p>This is an advanced English course for 3rd and 4th year IEP students or those who have a TOEIC score of 550 or higher.</p> <p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13106401	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	News & Society II [対面]				
シラバス執筆(全員)	P. J. ベイリー				
シラバス執筆(主)	P. J. ベイリー				
開講年次	3年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

In this course, students will learn about contemporary news through native-level materials. Each unit will offer students insight into international culture, business, politics, human rights, etc. Through these activities, students will gain confidence in their ability to read and listen to news and understand news stories from an international perspective. In terms of activities, listening, reading, and discussion will take priority. Developing opinions and reasoning about each news topic will also be necessary to do well in this course.

This is an advanced English course for 3rd and 4th year IEP students or those who have a TOEIC score of 550 or higher.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Gain media literacy through interaction with written and visual media
2. Build strategies for understanding native-level news stories and learn new vocabulary in context
3. Develop confidence in holding discussions on contemporary topics
4. Summarize and discuss their opinions about news topics with reference to a news article/video

授業計画

- 【第1回】
 テーマ: News Topic 1
 内容・方法: Vocabulary, Video or Article, Reading/Listening, comprehension questions, discussion questions.
- 【第2回】
 テーマ: News Topic 1
 内容・方法: Vocabulary quiz, share chosen video/article, create questions, quiz classmates, summarise all videos/articles, Group discussions
- 【第3回】
 テーマ: News Topic 2
 内容・方法: Vocabulary, Video or Article, Reading/Listening, comprehension questions, discussion questions.
- 【第4回】
 テーマ: News Topic 2
 内容・方法: Vocabulary quiz, share chosen video/article, create questions, quiz classmates, summarise all videos/articles, Group discussions
- 【第5回】
 テーマ: News Topic 3
 内容・方法: Vocabulary, Video or Article, Reading/Listening, comprehension questions, discussion questions.
- 【第6回】
 テーマ: News Topic 3
 内容・方法: Vocabulary quiz, share chosen video/article, create questions, quiz classmates, summarise all videos/articles, Group discussions
- 【第7回】
 テーマ: Mid-semester Test / Assessment
 内容・方法: News Topics 1-3 Test
- 【第8回】
 テーマ: News Topic 4
 内容・方法: Vocabulary, Video or Article, Reading/Listening, comprehension questions, discussion questions.
- 【第9回】
 テーマ: News Topic 4
 内容・方法: Vocabulary quiz, share chosen video/article, create questions, quiz classmates, summarise all videos/articles, Group discussions
- 【第10回】
 テーマ: News Topic 5
 内容・方法: Vocabulary, Video or Article, Reading/Listening, comprehension questions, discussion questions.
- 【第11回】
 テーマ: News Topic 5
 内容・方法: Vocabulary quiz, share chosen video/article, create questions, quiz classmates, summarise all videos/articles, Group discussions

【第12回】

テーマ： News Topic 6

内容・方法： Vocabulary, Video or Article, Reading/Listening, comprehension questions, discussion questions.

【第13回】

テーマ： News Topic 6

内容・方法： Vocabulary quiz, share chosen video/article, create questions, quiz classmates, summarise all videos/articles, Group discussions

【第14回】

テーマ： Final Assignment

内容・方法： Make a News Video

【第15回】

テーマ： Final Test & Assessment

内容・方法： News Topics 4-6 Test & News Videos

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a 1-credit (1単位) course which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題： None

事後学修課題： Review, article assignment and vocabulary study.

【第2回】

事前学修課題： Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題： Review, article assignment and vocabulary study.

【第3回】

事前学修課題： Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題： Review, article assignment and vocabulary study.

【第4回】

事前学修課題： Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題： Review, article assignment and vocabulary study.

【第5回】

事前学修課題： Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題： Review, article assignment and vocabulary study.

【第6回】

事前学修課題： Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題： Review News Topics 1 - 3

【第7回】

事前学修課題： Review News Topics 1 - 3

事後学修課題： Complete mid-semester self-reflection

【第8回】

事前学修課題： Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題： Review, article assignment and vocabulary study.

【第9回】

事前学修課題： Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題： Review, article assignment and vocabulary study.

【第10回】

事前学修課題： Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題： Review, article assignment and vocabulary study.

【第11回】

事前学修課題： Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題： Review, article assignment and vocabulary study.

【第12回】

事前学修課題： Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題： Review, article assignment and vocabulary study.

【第13回】

事前学修課題： Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題： Review, article assignment and vocabulary study.

【第14回】

事前学修課題： Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題： Complete video and review News Topics 4 - 6

【第15回】

事前学修課題： Review for final test / assignment

事後学修課題： Complete end-of-semester self-reflection

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly during classes and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。

●必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class writing activities, online assignments completed as homework, and midterm and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse cannot pass (see attendance policy below).

Grade Breakdown:

In-class activities and active participation (20%)

Vocabulary quizzes (20%)

Mid-semester test (20%).

Homework assignments (20%)

Final test (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	In-class activities and active participation (20%), vocabulary quizzes (20%), mid-semester test (20%).	1, 2, 3, 4
授業外での評価	20	Homework assignments (20%)	1, 2, 3, 4
定期試験	0	None.	
定期試験に代わるレポート等	20	Final test (20%)	1, 3
その他	0	None.	

テキスト	None.
------	-------

参考書	Provided by instructor as necessary.
-----	--------------------------------------

履修条件・他の科目との関連	<p>This is an advanced English course for 3rd and 4th year IEP students or those who have a TOEIC score of 550 or higher.</p> <p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13106501	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Research skills & Academic Presentation [対面]				
シラバス執筆(全員)	O. J. クロー				
シラバス執筆(主)	O. J. クロー				
開講年次	3年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

In this course students will focus on developing research skills and giving academic presentations. The materials are designed to guide students through the process of finding a research topic, evaluating the validity and reliability of different sources, structuring, and finally giving an academic presentation. These skills will be particularly helpful when the time comes to present your graduation thesis in the fourth year.

※This is an advanced English course for 3rd and 4th year IEP students or those who have a TOEIC score of 550 or higher.

到達目標

1. Find a research topic
2. Understand how to find research materials with effective keywords
3. Learn how to evaluate materials and extract necessary information
4. Understand the structure of an academic presentation
5. Prepare presentation drafts
6. Give one report presentation
7. Give one proposal presentation

授業計画

- [第1回]
 テーマ: Course introduction, Step 1 - Thinking Critically, Working Together, Step 2 - Learning How You Learn
 内容・方法: Understand course progress, Create a team, Decide on the Mission
- [第2回]
 テーマ: Step 3 - Finding a Research Topic, Step 4 - Finding the Best Keywords
 内容・方法: Prepare for research, Find, categorize, and organize search keywords
- [第3回]
 テーマ: Step 5 - Evaluating Your Materials, Step 6 - Extracting the Necessary Information
 内容・方法: Verify the reliability and validity of materials, Organize information
- [第4回]
 テーマ: Step 7 - Describing Your Data
 内容・方法: Further analyze the organised information, Prepare a summary
- [第5回]
 テーマ: Step 8 - Structuring Your Presentation
 内容・方法: Understand the structure of the presentation and create a rough framework, Review Test 1
- [第6回]
 テーマ: Step 9 - Arranging and Effectively Presenting Your Message
 内容・方法: Understand the structure of the Message portion of the presentation, Prepare a draft
- [第7回]
 テーマ: Step 10 - Preparing Your Presentation Draft
 内容・方法: Create an Introduction, body, and conclusion, Prepare a draft of the presentation
- [第8回]
 テーマ: Step 11 - Giving Your Report Presentation
 内容・方法: Check structure and expressions, Create an outline, Complete the draft
- [第9回]
 テーマ: Report Presentation
 内容・方法: Practice presentation, Perform the presentation
- [第10回]
 テーマ: Step 12 - Clarifying Problems and Discussing Your Proposal Presentation
 内容・方法: Prepare for Proposal-based Presentation, Decide on the Mission
- [第11回]
 テーマ: Step 13 - Proposing Feasible Countermeasures
 内容・方法: Think about the proposal, Verify its feasibility
- [第12回]
 テーマ: Step 14 - Preparing Your Final Presentation
 内容・方法: Review the structure of the presentation, Prepare a draft and outline
- [第13回]
 テーマ: Step 15 - Giving Your Proposal Presentation
 内容・方法: Check the draft, Review the main points of self- and peer-evaluation,
- [第14回]
 テーマ: Proposal Presentation

内容・方法 : Practice presentation, Perform the presentation
 [第15回]
 テーマ : Review
 内容・方法 : Summation of the course, Review Test

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

- 【第1回】
 ①事前学修課題: Bring materials to study
 ②事後学修課題: Register for Google Classroom
- 【第2回】
 ①事前学修課題: Read handout
 ②事後学修課題: Review class content, Complete workbook
- 【第3回】
 ①事前学修課題: Read handout
 ②事後学修課題: Review class content, Complete workbook
- 【第4回】
 ①事前学修課題: Read handout
 ②事後学修課題: Review class content, Complete workbook
- 【第5回】
 ①事前学修課題: Read handout
 ②事後学修課題: Review class content, Complete workbook
- 【第6回】
 ①事前学修課題: Read handout
 ②事後学修課題: Review class content, Complete workbook
- 【第7回】
 ①事前学修課題: Read handout
 ②事後学修課題: Review class content, Complete workbook
- 【第8回】
 ①事前学修課題: Read handout
 ②事後学修課題: Review class content, Complete workbook
- 【第9回】
 ①事前学修課題: Read handout
 ②事後学修課題: Review class content, Complete workbook
- 【第10回】
 ①事前学修課題: Read handout
 ②事後学修課題: Review class content, Complete workbook
- 【第11回】
 ①事前学修課題: Read handout
 ②事後学修課題: Review class content, Complete workbook
- 【第12回】
 ①事前学修課題: Read handout
 ②事後学修課題: Review class content, Complete workbook
- 【第13回】
 ①事前学修課題: Read handout
 ②事後学修課題: Review class content, Complete workbook
- 【第14回】
 ①事前学修課題: Read handout
 ②事後学修課題: Review class content, Complete workbook
- 【第15回】
 ①事前学修課題: Finish handout
 ②事後学修課題: Review topics

課題に対するフィードバックの方法

Points will be given on assignments (sometimes through the use of rubrics), and comments will given as much as possible. This information will be viewable to students on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Credit for this course will be awarded to students who achieve an overall score of 60% or greater in the following categories. If a student is absent more than four times or does not participate in the major projects and assignments of the course, a [K] will be awarded.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	70	Participation 15%, Classwork 15%, Report Presentation 15%, Proposal Presentation 25%	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7
授業外での評価	15	Research Workbook 15%	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7

定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	15	Review Test 15%	1, 2, 3, 4
その他	0		

テキスト	None
------	------

参考書	Materials provided by the instructor
-----	--------------------------------------

履修条件・他の科目との関連	<p>This is an advanced English course for 3rd and 4th year IEP students or those who have a TOEIC score of 550 or higher.</p> <p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	---

授業コード	13106601	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Research Paper Writing [対面]				
シラバス執筆(全員)	O. J. クロー				
シラバス執筆(主)	O. J. クロー				
開講年次	3年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

In this course students will focus on academic and research paper writing. The materials are designed to guide students through the writing process while focusing on the particulars of research papers. Starting with the basic flow of sentences, methods of developing coherence, strategies for paragraph writing, and the structure of essays and academic papers, students will learn how to construct and write a research paper. These skills will be particularly helpful when the time comes to write your graduation thesis in the fourth year.

※This is an advanced English course for 3rd and 4th year IEP students or those who have a TOEIC score of 550 or higher.

到達目標

1. Review sentence flow and learn reader-centred strategies for paragraph writing
2. Learn how to construct paragraphs with a topic sentence, supporting sentences, and examples
3. Understand the use of comparison, contrast, and concluding paragraphs
4. Understand the structure of essays and academic papers
5. Define a research area, create, and occupy a research niche
6. Complete citations and references in APA

授業計画

[第1回]

テーマ: Course introduction, Chapter 1 - Flow of Sentences

内容・方法: End focus strategy, End weight strategy, Reader-centred strategies for paragraph writing

[第2回]

テーマ: Chapter 2 - Basic Paragraphs

内容・方法: Creating unity, Topic sentence, Supporting sentences, Examples

[第3回]

テーマ: Chapter 3 - Developing Coherence

内容・方法: Grammatical cohesion, Vocabulary cohesion, Creating variety of vocabulary

[第4回]

テーマ: Chapter 4 - Guiding Your Readers

内容・方法: Raising awareness of readers, Use of metadiscourse

[第5回]

テーマ: Chapter 5 - Hedges and Boosters

内容・方法: Hedges-protect your argument, Boosters-highlight important points

[第6回]

テーマ: Chapter 6 - Generating Ideas

内容・方法: Brainstorming techniques, listing, Organising ideas, Idea listing, Clustering, Critical thinking

[第7回]

テーマ: Chapter 7 - How to Attract Your Readers

内容・方法: Developing supporting sentences, Enhancing coherence, Writing relevant supporting sentences

[第8回]

テーマ: Chapter 8 - Supporting Your Ideas

内容・方法: Correct based on teacher comments, adhere to format

[第9回]

テーマ: Chapter 9 - Concluding Paragraphs

内容・方法: Closing a paragraph, Enhancing reader's understanding, Concluding sentences

[第10回]

テーマ: Chapter 10 - Comparison and Contrast Paragraphs

内容・方法: Three comparison and contrast paragraphs, Organising comparison and contrast paragraphs

[第11回]

テーマ: Chapter 11 - Essay Structure

内容・方法: Introduction, Body, Conclusion, Thesis statement, Developing a persuasive essay

[第12回]

テーマ: Chapter 12 - Problem-Solving Essay

内容・方法: Providing solutions and relating benefits, Developing a persuasive essay

[第13回]

テーマ: Chapter 13 - The First Step for Academic Papers

内容・方法: Introduction Move 1: Defining your research area, How to define your research territory

[第14回]

テーマ : Chapter 14 - Creating a Research Niche

内容・方法 : Introduction Move 2: Creating a research niche, Introduction Move 3: Occupying the niche, Developing a persuasive essay

[第15回]

テーマ : Review

内容・方法 : Summation of the course, Review Test

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

①事前学修課題: Bring materials to study

②事後学修課題: Register for Google Classroom

【第2回】

①事前学修課題: Read handout

②事後学修課題: Review class content, Complete workbook

【第3回】

①事前学修課題: Read handout

②事後学修課題: Review class content, Complete workbook

【第4回】

①事前学修課題: Read handout

②事後学修課題: Review class content, Complete workbook

【第5回】

①事前学修課題: Read handout

②事後学修課題: Review class content, Complete workbook

【第6回】

①事前学修課題: Read handout

②事後学修課題: Review class content, Complete workbook

【第7回】

①事前学修課題: Read handout

②事後学修課題: Review class content, Complete workbook

【第8回】

①事前学修課題: Read handout

②事後学修課題: Review class content, Complete workbook

【第9回】

①事前学修課題: Read handout

②事後学修課題: Review class content, Complete workbook

【第10回】

①事前学修課題: Read handout

②事後学修課題: Review class content, Complete workbook

【第11回】

①事前学修課題: Read handout

②事後学修課題: Review class content, Complete workbook

【第12回】

①事前学修課題: Read handout

②事後学修課題: Review class content, Complete workbook

【第13回】

①事前学修課題: Read handout

②事後学修課題: Review class content, Complete workbook

【第14回】

①事前学修課題: Read handout

②事後学修課題: Review class content, Complete workbook

【第15回】

①事前学修課題: Finish handout

②事後学修課題: Review topics

課題に対するフィードバックの方法

Points will be given on assignments (sometimes through the use of rubrics), and comments will given as much as possible. This information will be viewable to students on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Credit for this course will be awarded to students who achieve an overall score of 60% or greater in the following categories. If a student is absent more than four times or does not participate in the major projects and assignments of the course, a [K] will be awarded.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	55	Participation 15%, Classwork 15%, Research Paper 25%	1, 2, 3, 4, 5, 6

授業外での評価	30	Research Workbook 20%, Paper Abstract 10%	2, 3, 4, 5
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	15	Review Test 15%	1, 2, 3, 4
その他	0		

テキスト	None
------	------

参考書	Materials provided by the instructor
-----	--------------------------------------

履修条件・他の科目との関連	<p>This is an advanced English course for 3rd and 4th year IEP students or those who have a TOEIC score of 550 or higher.</p> <p>Attendance Policy & Notes: 1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。 2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。 3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。 4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。 5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。 6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD – 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	---

授業コード	13106701	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Applied English I [対面]				
シラバス執筆(全員)	A. E. リオン				
シラバス執筆(主)	A. E. リオン				
開講年次	3年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

In this course, you will put your English ability to the test through roleplay and actual fieldwork in which you act as a guide for foreign exchange students and tourists. Through the course students will learn how to communicate in a variety of situations related to travel, including English used at airports, in hotels, and in restaurants. Activities will focus particularly on effectively explaining about Japanese food, culture, and customs in English.

The course will include activities conducted outside of the classroom; an example is conducting tours of campus in English for exchange students or other foreign visitors. Other activities may include accompanying foreign students on tours of the Kansai area, or participating in the AKV (Assisting at KIX as a Volunteer) program. Students will be expected to prepare for these activities through role play and study in class, and write reflection reports after participating.

As a final report, students will be expected to summarize their volunteer activities in an English-language resume and cover letter, which can support future job hunting.

This is an advanced English course for 3rd and 4th year IEP students or those who have a TOEIC score of 550 or higher.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Build knowledge of practical vocabulary and phrases for guiding foreign visitors in Japan and traveling outside of Japan
2. Practice a cycle of setting goals, planning activities, volunteering, and reflecting
3. Improve English fluency and pronunciation, gain confidence through role play and fieldwork
4. Build resume by gaining practical experience through volunteer activities

授業計画

【第1回】

テーマ: Introduction to English for Specific Purposes (ESP)

内容・方法: Course goals. Introduction to English for Tourism Purposes, English for Business Purposes, etc. (Introduction and analysis of genres, Transactions vs Interactions)

【第2回】

テーマ: Introduction to ESP

内容・方法: Course goals. Introduction to English for Tourism Purposes, English for Business Purposes, etc. (Introduction and analysis of genres, Transactions vs Interactions). Vocabulary Building: Explaining and setting up personalized vocabulary lists.

【第3回】

テーマ: Theme 1: ETP (Airport)

内容・方法: Vocabulary building (partner quizzes). Role play and preparation for fieldwork activities. Individual student AKV sign ups and reports.

【第4回】

テーマ: Theme 1: ETP (Airport)

内容・方法: Vocabulary building (partner quizzes). Role play and preparation for fieldwork activities. Individual student AKV sign ups and reports.

【第5回】

テーマ: Theme 1: ETP (Airport)

内容・方法: Vocabulary building (partner quizzes). Role play and preparation for fieldwork activities. Individual student AKV sign ups and reports.

【第6回】

テーマ: Theme 2: ETP (Tours)

内容・方法: Vocabulary building (partner quizzes). Role play and preparation for fieldwork activities. Individual student AKV sign ups and reports. Preparation for local culture presentations (Sights / Experiences / History/ Shopping).

【第7回】

テーマ: Theme 2: ETP (Tours)

内容・方法: Vocabulary building (partner quizzes). Role play and preparation for fieldwork activities. Individual student AKV sign ups and reports. Preparation for local culture presentations (Sights / Experiences / History/ Shopping).

【第8回】

テーマ: Theme 2: ETP (Tours)

内容・方法: Vocabulary building (partner quizzes). Role play and preparation for fieldwork

activities. Preparation for local culture presentations (Sights / Experiences / History/ Shopping).

【第9回】

テーマ: Theme 2: ETP (Tours)

内容・方法: Vocabulary building (partner quizzes). Role play and preparation for fieldwork activities. Preparation for local culture presentations (Sights / Experiences / History/ Shopping).

【第10回】

テーマ: Theme 2: ETP (Tours)

内容・方法: Individual presentations (invite exchange students, combine with OIU campus tours if possible)

【第11回】

テーマ: Theme 3: ETP (Food culture)

内容・方法: Vocabulary building (partner quizzes). Role play and preparation for fieldwork activities. Preparation for final project: Planning an exchange party event.

【第12回】

テーマ: Theme 3: ETP (Food culture)

内容・方法: Vocabulary building (partner quizzes). Role play and preparation for fieldwork activities. Preparation for final project: Planning an exchange party event.

【第13回】

テーマ: Theme 3: ETP (Food culture)

内容・方法: Vocabulary building (partner quizzes). Role play and preparation for fieldwork activities. Preparation for final project: Planning an exchange party event.

【第14回】

テーマ: Theme 3: ETP (Food culture)

内容・方法: Individual presentations (Top idea can be conducted - invite exchange students, etc. combine with local tour, etc.)

【第15回】

テーマ: Semester Review

内容・方法: Reflection based on peer/teacher feedback. Prepare final report.

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

事前学修課題: None

事後学修課題: Review notes

【第2回】

事前学修課題: Instructor-provided reading, vocabulary list building

事後学修課題: Review notes

【第3回】

事前学修課題: Instructor-provided reading, vocabulary list building

事後学修課題: Review notes

【第4回】

事前学修課題: Instructor-provided reading, vocabulary list building

事後学修課題: Review notes

【第5回】

事前学修課題: Activity reflection report, vocabulary list building

事後学修課題: Review notes

【第6回】

事前学修課題: Instructor-provided reading, vocabulary list building

事後学修課題: Review notes

【第7回】

事前学修課題: Instructor-provided reading, vocabulary, prepare for presentation

事後学修課題: Review notes

【第8回】

事前学修課題: Instructor-provided reading, vocabulary, prepare for presentation

事後学修課題: Review notes

【第9回】

事前学修課題: Instructor-provided reading, vocabulary, prepare for presentation

事後学修課題: Review notes

【第10回】

事前学修課題: Activity reflection report, vocabulary list building

事後学修課題: Review notes

【第11回】

事前学修課題: Instructor-provided reading, vocabulary, prepare for presentation

事後学修課題: Review notes

【第12回】

事前学修課題: Instructor-provided reading, vocabulary, prepare for presentation

事後学修課題: Review notes

【第13回】

事前学修課題: Instructor-provided reading, vocabulary, prepare for presentation

事後学修課題: Review notes

【第14回】

事前学修課題: Instructor-provided reading, vocabulary, prepare for presentation

事後学修課題: Review notes

【第15回】

事前学修課題: Activity reflection report

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on classwork, quizzes, homework assignments, outreach activities & reflection reports, and a final report. Students with marks of 60 or more will pass and get credit for the course. If a student is absent more than 4 times without a valid excuse, (s)he will be given a "K" (failing mark).

以下に示す通り、授業内での課題、授業外の課題、小テスト及び期末レポートの結果に基づく総合的な評価により決定される。60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。正当な理由のない欠席が4回を超える場合は、「K」評価(不合格)とする。

Grade Breakdown:

1. In-class participation & volunteer performance (30%)
2. Homework assignments (20%)
3. Vocabulary quizzes (10%)
4. Activity reflection reports (20%)
6. Final report assignment (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	40	In-class activities & outreach performance (30), Quizzes (10)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	40	Homework assignments (20), Activity reflection reports (20)	1, 2
定期試験	0	None	
定期試験に代わるレポート等	20	Final report (20)	1, 2, 4
その他	0		

テキスト	None
------	------

参考書	Reading materials will be provided by the instructor as needed.
-----	---

履修条件・他の科目との関連	<p>This is an advanced English course for 3rd and 4th year IEP students or those who have a TOEIC score of 550 or higher.</p> <p>Attendance Policy & Notes:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。 2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。 3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。 4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。 5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。 6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。
---------------	---

授業コード	13106801	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Applied English II [対面]				
シラバス執筆(全員)	A. E. リオン				
シラバス執筆(主)	A. E. リオン				
開講年次	3年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

One of the best ways to learn something is by teaching it. In this course, you will put your English ability to the test by planning and teaching lessons for children. Through the course students will learn basic principles of language education, focusing on young children (kindergarten & elementary school age). Students will use a cyclical process of setting learning targets, planning learning activities, teaching, and reflecting. Students will actively research, prepare and practice before holding lessons including input tasks (listen and move, etc), story reading, crafts, or other activities. Depending on the schedule, lessons may coincide with cultural themes such as Halloween and Christmas.

This is an advanced English course for 3rd and 4th year IEP students or those who have a TOEIC score of 550 or higher.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Identify and describe pedagogical principles related to teaching English to young learners
2. Use the teaching cycle of setting learning objectives, planning lessons, teaching, and reflecting
3. Improve English fluency and pronunciation, gain confidence through teaching beginners
4. Build resume by gaining practical teaching experience through outreach activities

授業計画

- 【第1回】
 テーマ： Introduction to Pedagogy
 内容・方法： Course goals. Introduction to teaching principles (Explicit & Implicit knowledge, Input & Output, task-based learning)
- 【第2回】
 テーマ： Introduction to Pedagogy
 内容・方法： Course goals. Introduction to teaching principles (Explicit & Implicit knowledge, Input & Output, task-based learning)
- 【第3回】
 テーマ： Preparation for Lessons
 内容・方法： Setting up groups, choice of themes & activity types, etc.
- 【第4回】
 テーマ： Preparation for Lessons
 内容・方法： Creating assessment sheets (self-, inter- evaluations)
- 【第5回】
 テーマ： Preparation for Lessons
 内容・方法： Lesson research, planning, material development
- 【第6回】
 テーマ： Preparation for Lessons
 内容・方法： Lesson research, planning, material development. Visit to Osaka International Owada Kindergarten & brief meeting with teachers.
- 【第7回】
 テーマ： Preparation for Lessons
 内容・方法： Lesson rehearsal & peer feedback. Mid-term quiz on terms.
- 【第8回】
 テーマ： Outreach Lessons
 内容・方法： Conduct lessons at Osaka International Owada Kindergarten, self-reflection worksheets
- 【第9回】
 テーマ： Lesson Feedback
 内容・方法： Feedback, reflection based on lesson recordings and peer/teacher feedback.
- 【第10回】
 テーマ： Preparation for Lessons
 内容・方法： Lesson research, planning, material development.
- 【第11回】
 テーマ： Preparation for Lessons
 内容・方法： Lesson research, planning, material development.
- 【第12回】
 テーマ： Preparation for Lessons
 内容・方法： Lesson rehearsal & peer feedback.
- 【第13回】

テーマ： Preparation for Lessons
内容・方法： Conduct lessons, self-reflection worksheets.
【第14回】
テーマ： Outreach Lessons
内容・方法： Conduct lessons, self-reflection worksheets.
【第15回】
テーマ： Final quiz, final report prep.
内容・方法： Final quiz on terms, final report prep.

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】
事前学修課題： None
事後学修課題： Review notes
【第2回】
事前学修課題： Active Learning reflection assignment
事後学修課題： Review notes
【第3回】
事前学修課題： Teaching material evaluation assignment
事後学修課題： Review notes
【第4回】
事前学修課題： Active Learning reflection assignment
事後学修課題： Review notes
【第5回】
事前学修課題： Teaching material evaluation assignment
事後学修課題： Review notes
【第6回】
事前学修課題： Teaching material evaluation assignment
事後学修課題： Review notes
【第7回】
事前学修課題： Study for terms quiz. Prepare for outreach lesson
事後学修課題： Review notes
【第8回】
事前学修課題： Meet with group to prepare for outreach lesson
事後学修課題： Review notes
【第9回】
事前学修課題： Prepare Lesson reflection report
事後学修課題： Review notes
【第10回】
事前学修課題： Active Learning reflection assignment
事後学修課題： Review notes
【第11回】
事前学修課題： Teaching material evaluation assignment
事後学修課題： Review notes
【第12回】
事前学修課題： Active Learning reflection assignment
事後学修課題： Review notes
【第13回】
事前学修課題： Study for terms quiz. Prepare for outreach lesson
事後学修課題： Review notes
【第14回】
事前学修課題： Meet with group to prepare for outreach lesson
事後学修課題： Review notes
【第15回】
事前学修課題： Prepare Lesson reflection report
事後学修課題： Prepare Final Report

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on classwork, quizzes, homework assignments, outreach activities & reflection reports, and a final report. Students with marks of 60 or more will pass and get credit for the course. If a student is absent more than 4 times without a valid excuse, (s)he will be given a "K" (failing mark).

以下に示す通り、授業内での課題、授業外の課題、小テスト及び期末レポートの結果に基づく総合的な評価により決定される。60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。正当な理由のない欠席が4回を超える場合は、「K」評価（不合格）とする。

Grade Breakdown:

1. In-class participation & outreach performance (30%)
2. Homework assignments (20%)
3. Quizzes (10%)
4. Teaching reflection reports (20%)
6. Final report assignment (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	40	In-class activities & outreach performance (30), Quizzes (10)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	40	Homework assignments (20), Teaching reflection reports (20)	1, 2
定期試験	0	None	
定期試験に代わるレポート等	20	Final report (20)	1, 2, 4
その他	0		

テキスト	None
------	------

参考書	Reading materials will be provided by the instructor as needed.
-----	---

履修条件・他の科目との関連	<p>This is an advanced English course for 3rd and 4th year IEP students or those who have a TOEIC score of 550 or higher.</p> <p>Attendance Policy & Notes: 1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。 2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。 3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。 4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。 5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。 6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD – 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13101601	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	実践英語 [対面]				
シラバス執筆(全員)	J.D. ラッセル				
シラバス執筆(主)	J.D. ラッセル				
開講年次	4年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course, students will learn essential language skills and communicative competence needed for effective and confident communication in real-world situations. They will enhance their proficiency in all aspects of the English language, including reading, writing, speaking, and listening, with a focus on practical and functional use.

到達目標

Students will be able to:

1. Expand and develop vocabulary.
2. Develop the ability to express ideas clearly and coherently in written and spoken English.
3. Improve reading skills for better comprehension of a variety of texts.
4. Enhance writing skills for different purposes, such as essays, reports, and business communication.

授業計画

- 【第1回】 Introductions, course explanation, Google Classroom Registration
- 【第2回】 Unit 1: The Social Media Challenge
- 【第3回】 Unit 2: Wave Garden
- 【第4回】 Unit 3: Speaking Through Poetry
- 【第5回】 Unit 4: Cooking Korean
- 【第6回】 Unit 5: My Favorite Places
- 【第7回】 Unit 6: British Sign Language
- 【第8回】 Unit 7: E-body
- 【第9回】 Unit 8: Swimming With Whales
- 【第10回】 Unit 9: How to Become a Standout Footballer
- 【第11回】 Unit 10: London Dreadlocks
- 【第12回】 Unit 11: Earthships
- 【第13回】 Unit 12: Fill My Tank
- 【第14回】 Unit 13: How to Make Money and Travel Full Time
- 【第15回】 Unit 14: Keeping It Local and Review

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

- ①事前学修課題: buy the textbook. Review the first unit
- ②事後学修課題: Homework assignments and study for quiz

【第2回】 - 【第15回】

- ①事前学修課題: Review previous class content
- ②事後学修課題: Homework assignments and study for quiz

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given during the semester and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

Active participation in class (10%)
 Vocabulary quizzes (10%)
 Semester evaluations (30%)
 Homework assignments (25%)
 Final evaluation exam (25%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Active participation in class (10%), vocabulary quizzes (10%) and semester evaluations (30%)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	25	Homework assignments (25%)	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	25	Final evaluation exam (25%)	1, 2, 3, 4
その他	0	None	

テキスト	Global Gate Upper-intermediate-Video-based Four Skills Training- 著者 田中 広宣 / 五十嵐 美加 / Bill Benfield / 森田 彰 共著 ISBN: 9784791972838 (発行年 2024年)
------	--

参考書	
-----	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	---

授業コード	13092901	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	中国語会話 I [対面]				
シラバス執筆(全員)	孫 盈盈				
シラバス執筆(主)	孫 盈盈				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

中国語会話 I では会話の練習を中心に、語法の仕組みと結びつけながらバランスよく学習する。中国語会話 I では、初級レベルの中国語の基礎的な会話力を身につけることを目標とする。発音や声調の正確な習得に重点を置き、日常生活で使える基本的な表現やフレーズを習得する。また、中国語の文化的背景への理解も深め、実践的なコミュニケーション能力の向上を目指す。授業では、文法知識を教えるだけでなく、会話練習を通して学生の中国語会話能力を向上させる。それと同時に、ドリルや課題を通して、学生が中国語でプレゼンテーションとスピーチを行う能力を育成する。

到達目標

1. 平易な中国語を聞き、話すことができる。
2. 中国語の基礎的な文法項目を運用することができる。
3. 中国語圏の社会や文化の発展的な事項について理解し、説明できる。
4. 中国語でプレゼンテーションやスピーチをすることができる。

授業計画

- 【第1回】
テーマ：あなたは日本人ですか
内容・方法：人称代名詞、指示代詞、判断する動詞“是”
- 【第2回】
テーマ：あなたは日本人ですか
内容・方法：否定の副詞“不”、“吗？”疑問文、副詞“也”“都”、接続詞“和”
- 【第3回】
テーマ：あなたのお名前は
内容・方法：名前の聞き方、言い方
- 【第4回】
テーマ：あなたのお名前は
内容・方法：疑問詞“什么”“谁”“哪”、名詞を修飾する“的”
- 【第5回】
テーマ：今日の天気はどうですか
内容・方法：形容詞が述語になる文、指示代詞
- 【第6回】
テーマ：今日の天気はどうですか
内容・方法：語気助詞“呢”、形容詞の部分否定
- 【第7回】
テーマ：明日あなたは学校に来ますか
内容・方法：動作・行為を表す動詞
- 【第8回】
テーマ：明日あなたは学校に来ますか
内容・方法：「～することが好きだ」「喜欢」、日にち、時間帯
- 【第9回】
テーマ：あなたは切手を持っていますか
内容・方法：所在・場所の“有”、所在・存在の“有”、方位詞—位置を表すことば
- 【第10回】
テーマ：あなたは切手を持っていますか
内容・方法：数の言い方、聞き方、数量の言い方
- 【第11回】
テーマ：最近、あなたは何をしていますか
内容・方法：場所表現の動詞“在”、進行を言う動詞“在”、目的語を二つ取る動詞
- 【第12回】
テーマ：最近、あなたは何をしていますか
内容・方法：年月日・曜日の言い方(1)、語気助詞“吧”、いろいろな介詞(前置詞)
- 【第13回】
テーマ：あなたの電話番号は何番ですか
内容・方法：「～したい」助動詞“想”、“要”、金額、値段の言い方
- 【第14回】
テーマ：あなたの電話番号は何番ですか
内容・方法：電話番号、年月日・曜日の言い方(2)
- 【第15回】
テーマ：あなたの家は学校から遠いですか
内容・方法：「～から～まで」介詞(前置詞)“从”“离”“到”、動作・行為の完了を表す“了”
- 【第16回】

テーマ：あなたの家は学校から遠いですか

内容・方法：変化を表す語気助詞“了”、動詞の繰り返し、時刻、時間の言い方

【第17回】

テーマ：あなたは中国に行ったことがありますか

内容・方法：「するつもりだ」予定の表現、「したことがある」経験の表現

【第18回】

テーマ：あなたは中国に行ったことがありますか

内容・方法：「している」持続の表現、動作・行為の回数を表す補語

【第19回】

テーマ：あなたは中国語が話せますか

内容・方法：「～することができる」－助動詞“会”、“能”、“可以”、「(確かに)～したのです」過去の強調

【第20回】

テーマ：あなたは中国語が話せますか

内容・方法：仮定の表現、譲歩の表現、「すこし～」の表現

【第21回】

テーマ：あなたは宿題をし終わりましたか

内容・方法：結果を表す補語、方向を表す補語

【第22回】

テーマ：あなたは宿題をし終わりましたか

内容・方法：可能を表す補語、様子・状態を表す補語

【第23回】

テーマ：今日、あなたはぜひぶん嬉しそうですね

内容・方法：比喩の表現“好像一样”、“似的”、比較の表現

【第24回】

テーマ：今日、あなたはぜひぶん嬉しそうですね

内容・方法：比較の表現

【第25回】

テーマ：醬油を取ってください

内容・方法：「～が～を～する」－介詞(前置詞)“把”

【第26回】

テーマ：醬油を取ってください

内容・方法：使役の表現、受身の表現

【第27回】

テーマ：ここは冬雪がたくさん降るそうですね

内容・方法：現象を表す表現、存在などを表す表現

【第28回】

テーマ：ここは冬雪がたくさん降るそうですね

内容・方法：予測の表現、伝聞の表現、副詞“就”のまとめ

【第29回】

テーマ：お茶を飲みますか、それともコーヒーを飲みますか

内容・方法：いろいろな構文

【第30回】

テーマ：お茶を飲みますか、それともコーヒーを飲みますか

内容・方法：復習

*授業の進展状況によって、多少調整する可能性がある。

事前事後の学習

授業時間外で、計30時間の事前事後学習が必要です。

事前、事後学習として、下記の内容についての学習が必要。

- ・新出単語の暗記
- ・文法要点の予習・復習
- ・録音を繰り返し聞く
- ・練習で気づいた問題などについて再度復習

課題に対するフィードバックの方法

課題提出後、速やかに確認し、フィードバックをする。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

1. 評価基準
2. 評価方法 【80%】 授業の取り組み方、課題の提出状況と完成度
【20%】 課題提出

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	80	授業への取り組み方および課題の出来具合と完成度	1, 2, 3
授業外での評価	0		

定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	課題提出	1,2
その他	0		

テキスト	『新版中国語スタンダード コミュニケーション編』 齋藤匡史・何曉毅・袁麗暉 著 白帝社 ISBN 9784863983540		
------	--	--	--

参考書	別途指示する。		
-----	---------	--	--

履修条件・他の科目との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・1回でも欠席すると、授業について行けなくなるから、必ず全回出席すること。 ・やむを得ない事情で遅刻したり欠席する場合には、必ず担当教員に連絡すること。 ・正当な理由なく、3分の1以上欠席した場合は、評価の対象とせず、「K」評価とする。 ・同様に、特段の理由のない遅刻・早退は1/2回分の欠席と数えられるため注意すること。 ・必ず課題を期限内に提出すること。 ・中国語スピーチコンテストに参加すること。 		
---------------	--	--	--

授業コード	13111101	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	中国語講読 I [対面]				
シラバス執筆(全員)	鄭 以君				
シラバス執筆(主)	鄭 以君				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	4単位

授業の目的・概要

「中国語I」で習った中国語の発音や基礎文法、句型等を復習しながら、中国語の学習に楽しく取り組みつつ、無理なく中国語の力を身につけることと中国語を応用できるように授業を進めていく。また、この講義では「読む・書く」の基本技能を活かし、読解能力養成を重視する。
尚、語学のみならずその背景となる中国の文化や現在の社会事情などを紹介し、中国社会全体に対しての興味を育てる。

到達目標

1. 個々の音節と短い会話文が正確に発音するだけでなく、長めの中国語の文章を理解することができる。
2. 中国の文化的要素を含んだ中国語らしい自然な表現ができる。
3. 日常生活の中で、その場に相応しい実践的で役立つ中国語の作文ができる。
4. 授業中だけでなく、日常的に中国語による意思表示のノウハウが身につく。
6. 中国語の学習を通して、中国に対する関心・興味を深めることができる。
7. 積極的に双方向のコミュニケーションをとることができる。

授業計画

* 週に2コマの授業は、同一教材を使用し下記の通り授業を進めていく

- 【第1回】 & 【第2回】
 テーマ： この授業の狙いと目標の説明
 内容・方法： この授業についてのオリエンテーションと到達目標の説明
 第1課の前に「おさえておきたい基本文法」
- 【第3回】 & 【第4回】
 テーマ： 第1課の新出単語と文法問題の理解
 内容・方法： 第1課の文法と例文の解説をする
- 【第5回】 & 【第6回】
 テーマ： 第1課文法の応用練習と本文内容の読解をする
 内容・方法： 第1課の練習問題を使って作文練習する
- 【第7回】 & 【第8回】
 テーマ： 第2課の新出単語と文法問題の理解
 内容・方法： 第2課の文法と例文の解説をする
- 【第9回】 & 【第10回】
 テーマ： 第2課文法の応用練習と本文内容の読解をする
 内容・方法： 第2課の練習問題を使って作文練習をする。
- 【第11回】 & 【第12回】
 テーマ： 第3課の新出単語と文法問題の理解
 内容・方法： 第3課の文法と例文の解説をする
- 【第13回】 & 【第14回】
 テーマ： 第3課文法の応用練習と本文内容の読解をする
 内容・方法： 第3課の練習問題を使って作文練習する
- 【第15回】 & 【第16回】
 テーマ： 第1回目（1～3課）のまとめと復習
 内容・方法： まとめ考査、その解説
- 【第17回】 & 【第18回】
 テーマ： 第4課の新出単語と文法問題の理解
 内容・方法： 第4課の文法と例文の解説をする
- 【第19回】 & 【第20回】
 テーマ： 第4課文法の応用練習と本文内容の読解をする
 内容・方法： 第4課の練習問題を使って作文練習をする。
- 【第21回】 & 【第22回】
 テーマ： 第5課の新出単語と文法問題の理解
 内容・方法： 第5課の文法と例文の解説をする
- 【第23回】 & 【第24回】
 テーマ： 第5課文法の応用練習と本文内容の読解をする
 内容・方法： 第5課の練習問題を使って作文練習する
- 【第25回】 & 【第26回】
 テーマ： 第6課の新出単語と文法問題の理解
 内容・方法： 第6課の文法と例文の解説をする
- 【第27回】 & 【第28回】
 テーマ： 第6課文法の応用練習と本文内容の読解をする
 内容・方法： 第6課の練習問題を使って作文練習する
- 【第29回】 & 【第30回】

*テーマ： 到達度考査に備える質疑応答・総合復習
内容・方法：第4～6課のまとめ考査

事前事後の学習

授業時間外で、計120時間の事前事後学習が必要です。

事前、事後学習として、下記の内容について毎回、それぞれ2時間以上の学習が必要。

【第1～2回】

- ① これまでに習った中国語の文法などを確認しておく。
- ② テキスト「おさえておきたい初期文法」を再度確認する。

【第3～4回】

- ① 事前学修課題：第1課の内容を事前予習しておく。
- ② 事後学修課題：授業での説明及び練習内容を再度確認し、復習する。

【第5～6回】

- ① 事前学修課題：第1課の作文練習内容を事前予習しておく。
- ② 事後学修課題：授業での説明及び練習内容を再度確認し、復習する。

【第7～8回】

- ① 事前学修課題：第2課の内容を事前予習しておく。
- ② 事後学修課題：授業での説明及び練習内容を再度確認し、復習する。

【第9～10回】

- ① 事前学修課題：第2課の作文練習内容を事前予習しておく。
- ② 事後学修課題：授業での説明及び練習内容を再度確認し、復習する。

【第11～12回】

- ① 事前学修課題：第3課の内容を事前予習しておく。
- ② 事後学修課題：授業での説明及び練習内容を再度確認し、復習する。

【第13～14回】

- ① 事前学修課題：第3課の作文練習内容を事前予習しておく。
- ② 事後学修課題：授業での説明及び練習内容を再度確認し、復習する。

【第15～16回】

- ① 事前学修課題：第1～3課の内容を事前予習しておく。
- ② 事後学修課題：授業での説明及び練習内容を再度確認し、復習する。

【第17～18回】

- ① 事前学修課題：第4課の内容を事前予習しておく。
- ② 事後学修課題：授業での説明及び練習内容を再度確認し、復習する。

【第19～20回】

- ① 事前学修課題：第4課の作文練習内容を事前予習しておく。
- ② 事後学修課題：授業での説明及び練習内容を再度確認し、復習する。

【第21～22回】

- ① 事前学修課題：第5課の内容を事前予習しておく。
- ② 事後学修課題：授業での説明及び練習内容を再度確認し、復習する。

【第23～24回】

- ① 事前学修課題：第5課の作文練習内容を事前予習しておく。
- ② 事後学修課題：授業での説明及び練習内容を再度確認し、復習する。

【第25～26回】

- ① 事前学修課題：第6課の内容を事前予習しておく。
- ② 事後学修課題：授業での説明及び練習内容を再度確認し、復習する。

【第27～28回】

- ① 事前学修課題：第6課の作文内容を事前予習しておく。
- ② 事後学修課題：授業での説明及び練習内容を再度確認し、復習する。

【第29～30回】

- ① 事前学修課題：総合考査に備えて、今まで習った内容を復習する。
- ② 事後学修課題：総合復習によって気づいた問題点を再確認し、応用できるように繰り返し練習する。

課題に対するフィードバックの方法

各回の考査を添削後、速やかに返還し間違いやすいところや、理解が不十分なところを説明する。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

定期試験は行なわない。授業を通じて行なわれたやりとりの様子や提出された課題に対する評価などを以って成績を評価するための材料とする。授業での様子に対する評価の割合を40%、確認テストや提出された課題に対する評価の割合を60%とする。
それぞれに対する評価の基準は「到達目標」に従う。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	授業参加の態度及び授業中での練習問題などの出来具合によって評価する。	1, 2, 3
授業外での評価	10	事前事後の学習状況によって評価する。	1, 2, 3

定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	30	授業内テストと期末レポートの成績によって評価する。	1, 2, 3
その他	10	提出した課題の完成度によって評価する。	1, 2, 3
テキスト	【知っておきたい中国事情】 吉田泰謙, 相原里美, 葛 靖 著 白水社 (2200円+税)		
参考書	必要に応じて別途指示する		
履修条件・他の科目との関連	この授業は、週に2コマで同一教材を使用&連携して行われる。		

授業コード	13111201	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	中国語聴解 I [対面]				
シラバス執筆(全員)	松岡 依文				
シラバス執筆(主)	松岡 依文				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	4単位

授業の目的・概要

この講義では「聞く・話す・読む・書く」の4技能をバランスよく伸ばしていくことを目標とする。

到達目標

1. 個々の音節が正確に発音できるだけでなく、中国語の自然なイントネーションで文や文章を発音することができる。
2. 生活場面によって分類した単語や語句が、集中的に繰り返して音読することにより自然に口に出てくるように図る。
3. リスニングの特訓を通して、質問文を正確に聞き取り、正しく応答できるように図る。
4. 日常生活の中で、自分の言いたいことを相手に伝えることができる。
5. 聞き取りを繰り返すことで長文を聞き取る聴力アップを図る。
6. 日常生活の中で、その場に相応しい実践的で役立つ中国語会話ができる。
7. 積極的に双方向のコミュニケーションをとることができる。

授業計画

- 第1回 授業中に後期の授業方法について説明する
「疑問文のパターン」の復習
- 第2回 「疑問文のまとめ練習」
- 第3回 第1課 ステッパー I・II・III
- 第4回 第2課 ステッパー I・II・III
- 第5回 第3課 ステッパー I・II・III
- 第6回 第4課 ステッパー I・II・III
- 第7回 第1～4課の総復習第8回
- 第8回 第5課 ステッパー I・II・III
- 第9回 第6課 ステッパー I・II・III
- 第10回 第7課 ステッパー I・II・III
- 第11回 第5～7課の総復習
- 第12回 第8課 ステッパー I・II・III
- 第13回 第9課 ステッパー I・II・III
- 第14回 第10課 ステッパー I・II・III
- 第15回 第7～10課の総復習

事前事後の学習

授業時間外で、計120時間の事前事後学習が必要です。

事前、事後学習として、下記の内容について毎回、それぞれ2時間以上の学習が必要。

- 【第1回】
- ①事前学習課題：「疑問詞」を事前予習しておく。
 - ②事後学習課題：授業での説明及び練習内容を再度確認し、復習する。
- 【第2回】
- ①事前学習課題：「疑問文のパターン」を事前予習しておく。
 - ②事後学習課題：授業での説明及び練習内容を再度確認し、復習する。
- 【第3回】
- ①事前学習課題：第1課の内容を事前予習しておく。
 - ②事後学習課題：授業での説明及び練習内容を再度確認し、復習する。
- 【第4回】
- ①事前学習課題：第2課の内容を事前予習しておく。
 - ②事後学習課題：授業での説明及び練習内容を再度確認し、復習する。
- 【第5回】
- ①事前学習課題：第3課の内容を事前予習しておく。
 - ②事後学習課題：授業での説明及び練習内容を再度確認し、復習する。
- 【第6回】
- ①事前学習課題：第4課の内容を事前予習しておく。
 - ②事後学習課題：授業での説明及び練習内容を再度確認し、復習する。
- 【第7回】
- ①事後学習課題：授業での説明及び練習内容を再度確認し、復習する。
- 【第8回】
- ①事前学習課題：第5課の内容を事前予習しておく。
 - ②事後学習課題：授業での説明及び練習内容を再度確認し、復習する。
- 【第9回】
- ①事前学習課題：第6課の内容を事前予習しておく。

②事後学習課題：授業での説明及び練習内容を再度確認し、復習する。

【第10回】

①事前学習課題：第7課の内容を事前予習しておく。

②事後学習課題：授業での説明及び練習内容を再度確認し、復習する。

【第11回】

①事後学習課題：授業での説明及び練習内容を再度確認し、復習する。

【第12回】

①事前学習課題：第8課の内容を事前予習しておく。

②事後学習課題：授業での説明及び練習内容を再度確認し、復習する。

【第13回】

①事前学習課題：第9課の内容を事前予習しておく。

②事後学習課題：授業での説明及び練習内容を再度確認し、復習する。

【第14回】

①事前学習課題：第10課の内容を事前予習しておく。

②事後学習課題：授業での説明及び練習内容を再度確認し、復習する。

【第15回】

①事後学習課題：総合復習によって気づいた問題点を再確認し、応用できるように繰り返し練習する。

課題に対するフィードバックの方法

各回の考査を採点后、速やかに返還し間違いやういところや、理解不十分なところを説明する。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

定期試験は行わない。授業を通じて行われたやり取りの様子や提出された課題に対する評価等を以て成績を評価する。授業での様子に対する評価の割合を60%、確認テストや提出された課題の割合を40%とする。それぞれに対する評価の基準は「到達目標」に従う。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60		1, 2, 3
授業外での評価	30		1, 2, 3
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10		1, 2, 3
その他	0		

テキスト 『中国語リスニングトレーニング』胡定金・陳敏・吐山明月 朝日出版社 2016年 ¥2500+税

参考書 必要に応じて別途指示する。

履修条件・他の科目との関連 この授業は、中国語検定試験3級、4級リスニングの合格を目標とする。

授業コード	13093201	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	中国語会話Ⅱ [対面]				
シラバス執筆(全員)	孫 盈盈				
シラバス執筆(主)	孫 盈盈				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

中国語会話Ⅱでは、中国語会話Ⅰに引き続き、習得した基礎的な会話力を発展させ、より複雑な場面で実践的なコミュニケーション能力を高めることを目指す。語彙力と文法知識をさらに充実させ、自然な会話の流れを意識した表現力の向上を図る。また、異文化理解を深め、日常会話のさまざまな場面に柔軟に対応できるコミュニケーション力を養うことも重要な目標である。授業では、日常生活だけでなく、文化的・社会的な話題など幅広いテーマを取り上げる。ディスカッションやプレゼンテーションといった活動を通じて、学生の実践的なコミュニケーション能力を育成する。

到達目標

1. 中国語の発音を習得し、基礎的な語法を理解することができる
2. 中国語の基礎的な運用能力として、「読み・書き・話し・聞く」ことができる
3. 中国語圏の社会や文化の基本的な事項について理解し、説明できる
4. 中国語でプレゼンテーションやスピーチをすることができる

授業計画

- 【第1回】
テーマ：オリエンテーション
内容・方法：この授業の内容と方針を説明する。
- 【第2回】
テーマ：中国語会話の復習
内容・方法：基礎的な中国語会話を復習する
- 【第3回】
テーマ：第1課 网络生活
内容・方法：本文の説明
- 【第4回】
テーマ：第1課 网络生活
内容・方法：ドリルと会話練習
- 【第5回】
テーマ：第2課 自然环境
内容・方法：本文の説明
- 【第6回】
テーマ：第2課 自然环境
内容・方法：ドリルと会話練習
- 【第7回】
テーマ：第3課 世界这么大
内容・方法：本文の説明
- 【第8回】
テーマ：第3課 世界这么大
内容・方法：ドリルと会話練習
- 【第9回】
テーマ：第4課 日本文化在中国
内容・方法：本文の説明
- 【第10回】
テーマ：第4課 日本文化在中国
内容・方法：ドリルと会話練習
- 【第11回】
テーマ：第5課 房地产泡沫
内容・方法：本文の説明
- 【第12回】
テーマ：第5課 房地产泡沫
内容・方法：ドリルと会話練習
- 【第13回】
テーマ：第6課 大学生的梦想
内容・方法：本文の説明
- 【第14回】
テーマ：第6課 大学生的梦想
内容・方法：ドリルと会話練習
- 【第15回】
テーマ：第1課から第6課までの復習
内容・方法：前半勉強した内容を復習する
- 【第16回】
テーマ：第1課から第6課までの復習

内容・方法：前半勉強した内容を復習する

【第17回】

テーマ：第7課 人口問題

内容・方法：本文の説明

【第18回】

テーマ：第7課 人口問題

内容・方法：ドリルと会話練習

【第19回】

テーマ：第8課 交通大开发

内容・方法：本文の説明

【第20回】

テーマ：第8課 交通大开发

内容・方法：ドリルと会話練習

【第21回】

テーマ：第9課 汉语中的外来词

内容・方法：本文の説明

【第22回】

テーマ：第9課 汉语中的外来词

内容・方法：ドリルと会話練習

【第23回】

テーマ：第10課 高考

内容・方法：本文の説明

【第24回】

テーマ：第10課 高考

内容・方法：ドリルと会話練習

【第25回】

テーマ：第11課 海外的中国人

内容・方法：本文の説明

【第26回】

テーマ：第11課 海外的中国人

内容・方法：ドリルと会話練習

【第27回】

テーマ：第12課 节假日

内容・方法：本文の説明

【第28回】

テーマ：第12課 节假日

内容・方法：ドリルと会話練習

【第29回】

テーマ：復習

内容・方法：第7課から第12課までの内容を復習し、総合練習する。

【第30回】

テーマ：質疑応答

内容・方法：学生からの質問を解答する

*授業の進展状況によって、多少調整する可能性がある。

事前事後の学習

授業時間外で、計30時間の事前事後学習が必要です。

事前、事後学習として、下記の内容について毎回、それぞれ1時間以上の学習が必要。

- ・新出単語の暗記
- ・文法要点の予習・復習
- ・録音を繰り返し聞く
- ・練習で気づいた問題などについて再度復習

課題に対するフィードバックの方法

- ・学習相談を授業前後で対応する。
- ・学生が提出した課題に対して速やかにフィードバックする。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

1. 評価基準 到達目標に達しているかを基準に成績評価する。
2. 評価方法 【80%】 授業の取り組み方、課題の提出状況と完成度
【20%】 課題提出

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	80	授業への取り組み方及び課題の出来具合と完成度	1, 2, 3
授業外での評価	0		

定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	課題提出	1,2
その他	0		

テキスト 『巨大中国の今』古川裕(監修)／張恒悦(著)／朝日出版社／ISBN: 978-4-255-45321-7

参考書 別途指示する。

履修条件・他の科目との関連

- ・1回でも欠席すると、授業について行けなくなるから、必ず全回出席すること。
- ・やむを得ない事情で遅刻したり欠席する場合には、必ず担当教員に連絡すること。
- ・正当な理由なく、3分の1以上欠席した場合は、評価の対象とせず、「K」評価とする。
- ・同様に、特段の理由のない遅刻・早退は1/2回分の欠席と数えられるため注意すること。
- ・毎回期限内に課題を提出すること。
- ・中国語スピーチコンテストに参加すること。

授業コード	13111301	授業形態		実務家教員	—
授業科目名	中国語講読Ⅱ [対面]				
シラバス執筆(全員)	鄭 以君				
シラバス執筆(主)	鄭 以君				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	4単位

授業の目的・概要

「中国語講読Ⅰ」で習った中国語の文法事項や表現を復習しながら、まとまった文章を読む力が無理なく身につくことと中国語を応用できるように授業を進めていく。また、この講義では「読む・書く」の基本技能を活かし読解能力の養成を重視する。
 なお、語学のみならず、その背景となる中国の文化や現在の社会事情などを紹介し、中国社会全体に対する興味を育てる。

到達目標

1. 個々の音節と短い会話文が正確に発音するだけでなく、長めの中国語の文章を理解することができる。
2. 中国の文化的要素を含んだ中国語らしい自然な表現ができる。
3. 日常生活の中で、その場に相応しい実践的で役立つ中国語の作文ができる。
4. 授業中だけでなく、日常的に中国語による意思表示のノウハウが身につく。
6. 中国語の学習を通して、中国に対する関心・興味を深めることができる。
7. 積極的に双方向のコミュニケーションをとることができる。

授業計画

* 週に2コマの授業は、同一教材を使用し下記の通り授業を進めていく

- 【第1回】 & 【第2回】
 テーマ： この授業の狙いと目標の説明
 内容・方法： この授業についてのオリエンテーションと到達目標の説明
 第1～6課のまとめ復習
- 【第3回】 & 【第4回】
 テーマ： 第7課の新出単語と文法問題の理解
 内容・方法： 第7課の文法と例文の解説をする
- 【第5回】 & 【第6回】
 テーマ： 第7課文法の応用練習と本文内容の読解をする
 内容・方法： 第7課の練習問題を使って作文練習する
- 【第7回】 & 【第8回】
 テーマ： 第8課の新出単語と文法問題の理解
 内容・方法： 第8課の文法と例文の解説をする
- 【第9回】 & 【第10回】
 テーマ： 第8課文法の応用練習と本文内容の読解をする
 内容・方法： 第8課の練習問題を使って作文練習をする。
- 【第11回】 & 【第12回】
 テーマ： 第9課の新出単語と文法問題の理解
 内容・方法： 第9課の文法と例文の解説をする
- 【第13回】 & 【第14回】
 テーマ： 第9課文法の応用練習と本文内容の読解をする
 内容・方法： 第9課の練習問題を使って作文練習する
- 【第15回】 & 【第16回】
 テーマ： 第1回目（7～9課）のまとめと復習
 内容・方法： まとめ考査、その解説
- 【第17回】 & 【第18回】
 テーマ： 第10課の新出単語と文法問題の理解
 内容・方法： 第10課の文法と例文の解説をする
- 【第19回】 & 【第20回】
 テーマ： 第10課文法の応用練習と本文内容の読解をする
 内容・方法： 第10課の練習問題を使って作文練習をする。
- 【第21回】 & 【第22回】
 テーマ： 第11課の新出単語と文法問題の理解
 内容・方法： 第11課の文法と例文の解説をする
- 【第23回】 & 【第24回】
 テーマ： 第11課文法の応用練習と本文内容の読解をする
 内容・方法： 第11課の練習問題を使って作文練習する
- 【第25回】 & 【第26回】
 テーマ： 第12課の新出単語と文法問題の理解
 内容・方法： 第12課の文法と例文の解説をする
- 【第27回】 & 【第28回】
 テーマ： 第12課文法の応用練習と本文内容の読解をする
 内容・方法： 第12課の練習問題を使って作文練習する
- 【第29回】 & 【第30回】

*テーマ： 到達度考査に備える質疑応答・総合復習
内容・方法： 第10～12課のまとめ考査

事前事後の学習

授業時間外で、計120時間の事前事後学習が必要です。

事前、事後学習として、下記の内容について毎回、それぞれ2時間以上の学習が必要。

【第1～2回】

- ① これまでに習った中国語の文法などを確認しておく。
- ② テキスト前半の文法事項を再度確認する。

【第3～4回】

- ① 事前学修課題：第7課の内容を事前予習しておく。
- ② 事後学修課題：授業での説明及び練習内容を再度確認し、復習する。

【第5～6回】

- ① 事前学修課題：第7課の作文練習内容を事前予習しておく。
- ② 事後学修課題：授業での説明及び練習内容を再度確認し、復習する。

【第7～8回】

- ① 事前学修課題：第8課の内容を事前予習しておく。
- ② 事後学修課題：授業での説明及び練習内容を再度確認し、復習する。

【第9～10回】

- ① 事前学修課題：第8課の作文練習内容を事前予習しておく。
- ② 事後学修課題：授業での説明及び練習内容を再度確認し、復習する。

【第11～12回】

- ① 事前学修課題：第9課の内容を事前予習しておく。
- ② 事後学修課題：授業での説明及び練習内容を再度確認し、復習する。

【第13～14回】

- ① 事前学修課題：第9課の作文練習内容を事前予習しておく。
- ② 事後学修課題：授業での説明及び練習内容を再度確認し、復習する。

【第15～16回】

- ① 事前学修課題：第7～9課の内容を事前予習しておく。
- ② 事後学修課題：授業での説明及び練習内容を再度確認し、復習する。

【第17～18回】

- ① 事前学修課題：第10課の内容を事前予習しておく。
- ② 事後学修課題：授業での説明及び練習内容を再度確認し、復習する。

【第19～20回】

- ① 事前学修課題：第10課の作文練習内容を事前予習しておく。
- ② 事後学修課題：授業での説明及び練習内容を再度確認し、復習する。

【第21～22回】

- ① 事前学修課題：第11課の内容を事前予習しておく。
- ② 事後学修課題：授業での説明及び練習内容を再度確認し、復習する。

【第23～24回】

- ① 事前学修課題：第11課の作文練習内容を事前予習しておく。
- ② 事後学修課題：授業での説明及び練習内容を再度確認し、復習する。

【第25～26回】

- ① 事前学修課題：第12課の内容を事前予習しておく。
- ② 事後学修課題：授業での説明及び練習内容を再度確認し、復習する。

【第27～28回】

- ① 事前学修課題：第12課の作文内容を事前予習しておく。
- ② 事後学修課題：授業での説明及び練習内容を再度確認し、復習する。

【第29～30回】

- ① 事前学修課題：総合考査に備えて、今まで習った内容を復習する。
- ② 事後学修課題：総合復習によって気づいた問題点を再確認し、応用できるように繰り返し練習する。

課題に対するフィードバックの方法

各回の考査を添削後、速やかに返還し間違いやすいところや、理解が不十分なところを説明する。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

定期試験は行なわない。授業を通じて行なわれたやりとりの様子や提出された課題に対する評価などを以って成績を評価するための材料とする。授業での様子に対する評価の割合を40%、確認テストや提出された課題に対する評価の割合を60%とする。
それぞれに対する評価の基準は「到達目標」に従う。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	授業参加の態度及び授業中での練習問題などの出来具合によって評価する。	1, 2, 3
授業外での評価	10	事前事後の学習状況によって評価する。	1, 2, 3

定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	30	授業内テストと期末レポートの成績によって評価する。	1, 2, 3
その他	10	提出した課題の完成度によって評価する。	1, 2, 3
テキスト	【知っておきたい中国事情】 吉田泰謙, 相原里美, 葛 靖 著 白水社 (2200円+税)		
参考書	必要に応じて別途指示する		
履修条件・他の科目との関連	この授業は、週に2コマで同一教材を使用&連携して行われる。		

授業コード	13111401	授業形態		実務家教員	—
授業科目名	中国語聴解Ⅱ [対面]				
シラバス執筆(全員)	松岡 依文				
シラバス執筆(主)	松岡 依文				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	4単位

授業の目的・概要

この講義では「聞く・話す・読む・書く」の4技能をバランスよく伸ばしていくことを目標とする。

到達目標

1. 個々の音節が正確に発音できるだけでなく、中国語の自然なイントネーションで文や文章を発音することができる。
2. 生活場面によって分類した単語や語句が、集中的に繰り返して音読することにより自然に口に出てくるように図る。
3. リスニングの特訓を通して、質問文を正確に聞き取り、正しく応答できるように図る。
4. 日常生活の中で、自分の言いたいことを相手に伝えることができる。
5. 聞き取りを繰り返すことで長文を聞き取る聴力アップを図る。
6. 日常生活の中で、その場に相応しい実践的で役立つ中国語会話ができる。
7. 積極的に双方向のコミュニケーションをとることができる。

授業計画

- | | |
|------|--------------------------------------|
| 第1回 | 授業中に後期の授業方法について説明する
「疑問文のパターン」の復習 |
| 第2回 | 中国語検定試験問題第114回4級試験問題 |
| 第3回 | 中国語検定試験問題第113回4級試験問題 |
| 第4回 | 中国語検定試験問題第112回4級試験問題 |
| 第5回 | 中国語検定試験問題第111回4級試験問題 |
| 第6回 | 中国語検定試験問題第114回3級試験問題 |
| 第7回 | 中国語検定試験問題第113回3級試験問題 |
| 第8回 | 中国語検定試験問題第112回3級試験問題 |
| 第9回 | 中国語検定試験問題第111回3級試験試験 |
| 第10回 | 中国語検定試験問題第110回3級試験問題 |
| 第11回 | 中国語検定試験問題第109回3級試験試験 |
| 第12回 | 中国語検定試験問題第108回3級試験試験 |
| 第13回 | 中国語検定試験問題第107回3級試験試験 |
| 第14回 | 中国語検定試験問題第106回3級試験試験 |
| 第15回 | 中国語検定試験問題第105回3級試験試験 |

事前事後の学習

授業時間外で、計120時間の事前事後学習が必要です。

事前、事後学習として、下記の内容について毎回、それぞれ2時間以上の学習が必要。

- 【第1回】
- ①事前学習課題：「疑問詞」を事前予習しておく。
 - ②事後学習課題：授業での説明及び練習内容を再度確認し、復習する。
- 【第2回】
- ①事前学習課題：中国語検定試験問題第114回4級試験問題新出単語を事前予習しておく。
 - ②事後学習課題：授業での説明及び練習内容を再度確認し、復習する。
- 【第3回】
- ①事前学習課題：中国語検定試験問題第113回4級試験問題新出単語を事前予習しておく。
 - ②事後学習課題：授業での説明及び練習内容を再度確認し、復習する。
- 【第4回】
- ①事前学習課題：中国語検定試験問題第112回4級試験問題新出単語事前予習しておく。
 - ②事後学習課題：授業での説明及び練習内容を再度確認し、復習する。
- 【第5回】
- ①事前学習課題：中国語検定試験問題第111回4級試験問題新出単語を事前予習しておく。
 - ②事後学習課題：授業での説明及び練習内容を再度確認し、復習する。
- 【第6回】
- ①事前学習課題：中国語検定試験問題第114回3級試験問題新出単語を事前予習しておく。
 - ②事後学習課題：授業での説明及び練習内容を再度確認し、復習する。
- 【第7回】
- ①事前学習課題：中国語検定試験問題第113回3級試験問題新出単語を事前予習しておく。
 - ②学習課題：授業での説明及び練習内容を再度確認し、復習する。
- 【第8回】
- ①事前学習課題：中国語検定試験問題第112回3級試験問題新出単語事前予習しておく。
 - ②事後学習課題：授業での説明及び練習内容を再度確認し、復習する。
- 【第9回】

- ①事前学習課題：中国語検定試験問題第111回3級試験問題新出単語事前予習しておく。
 ②事後学習課題：授業での説明及び練習内容を再度確認し、復習する。
 【第10回】
- ①事前学習課題：中国語検定試験問題第110回3級試験問題新出単語事前予習しておく。
 ②事後学習課題：授業での説明及び練習内容を再度確認し、復習する。
 【第11回】
- ①事前学習課題：「中国語検定試験問題第109回3級試験問題新出単語事前予習しておく。
 ②事後学習課題：授業での説明及び練習内容を再度確認し、復習する。
 【第12回】
- ①事前学習課題：中国語検定試験問題第108回3級試験問題新出単語事前予習しておく。
 ②事後学習課題：授業での説明及び練習内容を再度確認し、復習する。
 【第13回】
- ①事前学習課題：中国語検定試験問題第107回3級試験問題新出単語事前予習しておく。
 ②事後学習課題：授業での説明及び練習内容を再度確認し、復習する。
 【第14回】
- ①事前学習課題：中国語検定試験問題第106回3級試験問題新出単語事前予習しておく。
 ②事後学習課題：授業での説明及び練習内容を再度確認し、復習する。
 【第15回】
- ①事前学習課題：中国語検定試験問題第105回3級試験問題新出単語事前予習しておく。
 ②事後学習課題：授業での説明及び練習内容を再度確認し、復習する。

課題に対するフィードバックの方法

各回の考査を採点后、速やかに返還し間違いやういところや、理解不十分なところを説明する。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

定期試験は行わない。授業を通じて行われたやり取りの様子や提出された課題に対する評価等を以て成績を評価する。授業での様子に対する評価の割合を60%、確認テストや提出された課題の割合を40%とする。それぞれに対する評価の基準は「到達目標」に従う。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60		1, 2, 3
授業外での評価	30		1, 2, 3
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10		1, 2, 3
その他	0		

テキスト	プリント配布
参考書	必要に応じて別途指示する。
履修条件・他の科目との関連	この授業は、中国語検定試験3級、4級リスニングの合格を目標とする。

授業コード	13111501	授業形態		実務家教員	—
授業科目名	総合中国語 [対面]				
シラバス執筆(全員)	夏 嵐				
シラバス執筆(主)	夏 嵐				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	4単位

授業の目的・概要

中国留学や中国語の資格取得に備えて、より高度な中国語の理解力及び応用力の習得を目的とする。

授業では今まで習得した中国語の基礎を定着させると同時に、新たな文法事項などを習得していく。中国語検定試験3、4級によく出る文法パターンを整理するだけでなく、作文、聴解、中長文読解などを通して総合的に学習する。また、資格獲得の他に、実際に中国語圏での勉強や生活に必要なとされるより高いレベルの文法知識を学習するとともに語彙量も増やすように授業を進めていく。

到達目標

1. 初中級程度の中国語文法事項を理解すること
2. 初中級程度の中国語を「読み・書き・話し・聞く」ことができること
3. 中国語検定3級程度の能力を身につけること

授業計画

<p>【第1回】 テーマ：当授業の狙い 内容・方法：オリエンテーションと総合中国語Ⅱの復習。</p> <p>【第2回】 テーマ：基本文型「会」、「動詞+錯」など 内容・方法：第1課の文法内容を習い、それにまつわる練習をする。</p> <p>【第3回】 テーマ：会話文読解 内容・方法：教科書p9の会話文を読解し、p11-13の練習問題をやる。</p> <p>【第4回】 テーマ：練習確認+基本文型「除了……以外……」、「等……的时候」など 内容・方法：p11-13の練習問題の答え合わせをし、第2課の文法内容を習う。</p> <p>【第5回】 テーマ：会話文読解 内容・方法：教科書p15の会話文を読解し、p17-19の練習問題をやる。</p> <p>【第6回】 テーマ：練習確認+基本文型「虽然……但是……」、「一……就」など 内容・方法：p17-19の練習問題の答え合わせをし、第3課の文法内容を習う。</p> <p>【第7回】 テーマ：会話文読解 内容・方法：教科書p21の会話文を読解し、p23-25の練習問題をやる。</p> <p>【第8回】 テーマ：中長文読解の基礎能力育成① 内容・方法：p23-25の練習問題の答え合わせをし、教科書p71『自習コーナー（1）』の会話文章を輪読し翻訳練習を行う。誤訳を訂正しながらp72の文法事項を確認する。</p> <p>【第9回】 テーマ：中長文読解の確認+基本文型「即便……也……」、「请A帮B +動詞」など 内容・方法：中長文読解①の重要ポイントを再確認し、第4課の文法内容を習う。</p> <p>【第10回】 テーマ：会話文読解 内容・方法：教科書p27の会話文を読解し、p29-31の練習問題をやる。</p> <p>【第11回】 テーマ：練習確認+基本文型「不管……还是……」、「不用+動詞」など 内容・方法：p29-31の練習問題の答え合わせをし、第5課の文法内容を習う。</p> <p>【第12回】 テーマ：会話文読解 内容・方法：教科書p33の会話文を読解し、p35-37の練習問題をやる。</p> <p>【第13回】 テーマ：練習確認+結果補語、使役の表現など 内容・方法：p35-37の練習問題の答え合わせをし、第6課の文法内容を習う。</p> <p>【第14回】 テーマ：会話文読解 内容・方法：教科書p39の会話文を読解し、p41-43の練習問題をやる。</p> <p>【第15回】 テーマ：中長文読解の基礎能力育成② 内容・方法：p41-43の練習問題の答え合わせをし、教科書p77『自習コーナー（2）』の会話文章を輪読し翻訳練習を行う。誤訳を訂正しながらp78の文法事項を確認する。</p> <p>【第16回】</p>
--

テーマ：「是……的。」構文

内容・方法：「是……的。」構文について詳しく説明し、作文練習をする。

【第17回】

テーマ：「只是……」、「像……」などの慣用表現

内容・方法：第7課の文法内容を習う。

【第18回】

テーマ：会話文読解

内容・方法：教科書p45の会話文を読解し、p47-49の練習問題をやる。

【第19回】

テーマ：いろいろな前置詞

内容・方法：p47-49の練習問題の答え合わせをし、「向」をはじめとするいろいろな前置詞についてまとめる。

【第20回】

テーマ：基本文型「不是……就是……」、「要是……的话」など

内容・方法：第8課の文法内容を習う。

【第21回】

テーマ：会話文読解

内容・方法：教科書p51の会話文を読解し、p53-55の練習問題をやる。

【第22回】

テーマ：練習確認+「有」の用法

内容・方法：p53-55の練習問題の答え合わせをし、動詞「有」の用法をまとめる。

【第23回】

テーマ：基本文型「又……又……」、「不是……而是……」など

内容・方法：第9課の文法内容を習う。

【第24回】

テーマ：会話文読解

内容・方法：教科書p57の会話文を読解し、p59-61の練習問題をやる。

【第25回】

テーマ：中長文読解の基礎能力育成③

内容・方法：p59-61の練習問題の答え合わせをし、教科書p83『自習コーナー（3）』の会話文章を輪読し翻訳練習を行う。誤訳を訂正しながらp84の文法事項を確認する。

【第26回】

テーマ：中長文読解の確認+受け身の表現

内容・方法：中長文読解③の重要ポイントを再確認し、「被」を使う受け身の表現を習う。

【第27回】

テーマ：基本文型「既……又……」、「刚刚……」など

内容・方法：第10課の文法内容を習う。

【第28回】

テーマ：会話文読解

内容・方法：教科書p63の会話文を読解し、p65-67の練習問題をやる。

【第29回】

テーマ：模擬テスト

内容・方法：中国語検定試験模擬問題（4級・3級相当レベル）をやる。

【第30回】

テーマ：総合復習

内容・方法：模擬テストで見つかった問題点を解決し、前期の学習内容を質疑応答の形で総合的に復習する。

*授業の進展状況に応じ、内容及び進度を調整する可能性がある。

事前事後の学習

授業時間外で、計120時間の事前事後学習が必要です。

事前、事後学習として、下記の内容について学習する必要がある。

事前学習：学習予定の内容に目を通し、録音を聞きながら、新出語彙と例文を音読できるように練習しておくこと。

事後学習：録音に続いて既習例文を朗読し、文法と単語を暗誦できるように復習すること。

課題に対するフィードバックの方法

- ・学習相談を授業前後で対応する。
- ・小テストなどを採点后、速やかに返還し間違いやすいところや、理解が不十分なところを説明する。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

授業への取り組み方（事前事後の学習含む）、提出課題の出来栄え、小テストの成績や課題の提出状況などによって総合的に評価する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	授業への取り組み方、小テストの成績などによって評価する。	1, 2, 3

授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	50	提出課題の出来栄え、課題の提出状況などによって総合的に評価する。	1, 2, 3
その他	0		

テキスト	『ステップアップ実践中国語』/綾部武彦・金 茵等著 /定価 : 本体2,200円+税) 白帝社 ISBN 978-4-86398-166-9		
------	--	--	--

参考書	『基礎から発展までよくわかる中国語文法』/丸尾 誠 著		
-----	-----------------------------	--	--

履修条件・他の科目との関連	<p>練習に積極的に参加すること。無断欠席をしないこと。 無断欠席を5回以上すれば、試験に参加する資格或いは試験に代わるレポート等の提出する資格がなくなり、成績は「K」と判定され、単位の取得ができない。なお、特段の理由のない遅刻・早退は1/2回分無断欠席とカウントされる。</p>		
---------------	---	--	--

授業コード	13111601	授業形態		実務家教員	—
授業科目名	実践中国語 I [対面]				
シラバス執筆(全員)	夏 嵐				
シラバス執筆(主)	夏 嵐				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

この授業の目的は、中級レベルの中国語運用能力を総合的に向上させることである。そのため、語彙や文法を体系的に学ぶとともに、中国語特有の表現や言い回しを習得する。また、中国の文化や歴史、現代の社会事情に加え、中国人の価値観や思考方法についても理解を深め、言語と文化の両面から学びを深める。さらに、実践的な会話や文章作成を通じて、日常生活やビジネスシーンなど、幅広い場面で応用できるコミュニケーション能力を養成する。

到達目標

1. 中国語検定3級・HSK4級程度の知識を定着させる。
2. 中国語を読む習慣を身につける。
3. 聴く・話す・読む能力を高める。
4. 身の回りのことを積極的に中国語で表現できる。
5. 中国語で日常会話のコミュニケーションができる。
6. 中国文化・慣習について理解を深める。

授業計画

【第1回】 テーマ：基本文型「因为……所以……」、「既……又……而且……」など 内容・方法：「総合中国語」で習った内容のおさらいをし、第1課の文法内容を習う。
【第2回】 テーマ：本文読解 内容・方法：分担を決め、学生主導で第1課の本文を翻訳し、練習問題をやる。
【第3回】 テーマ：基本文型「从……到……」、「随着……」など 内容・方法：第2課の文法内容を習う。
【第4回】 テーマ：本文読解 内容・方法：分担を決め、学生主導で第2課の本文を翻訳し、練習問題をやる。
【第5回】 テーマ：基本文型「以……作为……」、「连……也……」など 内容・方法：第3課の文法内容を習う。
【第6回】 テーマ：本文読解 内容・方法：分担を決め、学生主導で第3課の本文を翻訳し、練習問題をやる。
【第7回】 テーマ：基本文型不「不……(就)不……」、「谁……谁……」など 内容・方法：第4課の文法内容を習う。
【第8回】 テーマ：本文読解 内容・方法：分担を決め、学生主導で第4課の本文を翻訳し、練習問題をやる。
【第9回】 テーマ：基本文型「首先……，其次……」、「被认为……」など 内容・方法：第5課の文法内容を習う。
【第10回】 テーマ：本文読解 内容・方法：分担を決め、学生主導で第5課の本文を翻訳し、練習問題をやる。
【第11回】 テーマ：基本文型「通过……」、「与……相比……」など 内容・方法：第6課の文法内容を習う。
【第12回】 テーマ：本文読解 内容・方法：分担を決め、学生主導で第6課の本文を翻訳し、練習問題をやる。
【第13回】 テーマ：基本文型「以……为主」、「不论……(都)……」など 内容・方法：第7課の文法内容を習う。
【第14回】 テーマ：本文読解 内容・方法：分担を決め、学生主導で第7課の本文を翻訳し、練習問題をやる。
【第15回】 テーマ：基本文型「犹如……」、「据……」など 内容・方法：第8課の文法内容を習う。期末に第8課の本文翻訳文及び練習問題の解答をレポートとして提出する。

* 授業の進展状況に応じ、内容及び進度を調整する可能性がある。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

事前、事後学習として、下記の内容について学習する必要がある。
事前学習：学習予定の内容に目を通し、新出語彙と例文を音読できるように練習しておくこと。
事後学習：重要表現の含むセンテンスを暗誦できるように復習すること。

課題に対するフィードバックの方法

- ・ 学習相談を授業前後で対応する。
- ・ 小テストなどを採点后、速やかに返却し間違いやすいところや、理解が不十分なところを説明する。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

授業への取り組み方(事前事後の学習含む)、提出課題の出来栄え、小テストの成績や課題の提出状況などによって総合的に評価する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	授業への取り組み方(事前事後の学習含む)、小テストの成績などによって総合的に評価する。	
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	50	提出課題の出来栄え、課題の提出状況などによって総合的に評価する。	1、2、3、4、5、6
その他	0		

テキスト	山下輝彦 路 元著『知っている？今の中国 ダイジェスト版』(朝日出版社、定価 ¥2310)
参考書	
履修条件・他の科目との関連	練習に積極的に参加すること。無断欠席をしないこと。 無断欠席を5回以上すれば、試験に参加する資格或いは試験に代わるレポート等の提出する資格がなくなり、成績は「K」と判定され、単位の取得ができない。なお、特段の理由のない遅刻・早退は1/2回分無断欠席とカウントされる。

授業コード	13071441	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅢa [対面]				
シラバス執筆(全員)	下條 善史				
シラバス執筆(主)	下條 善史				
開講年次	3年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

本セミナーのテーマは「キャリアに付加価値を加える情報技術」である。21世紀を迎えて社会は大きく変質しようとしている。特にデジタル技術の発展は、20世紀までの人類社会と比べて、まるで異質な社会へと変化させつつあるように見える。インターネットに代表されるデジタルメディアは、人間同士のコミュニケーションに大きな変革をもたらし、情報通信にとどまらず、流通や生活形態までも変えようとしている。人工知能やロボットの新社会進出も既定の事実となり、社会の変化は加速度的に起こっていくと考えられる。このような時代を背景とする現代人の知的活動にとって、最新技術を正確に理解し、その利用方法や可能性、そして限界を見定める訓練は重要であり、またその能力を身に付けることが、他者に対する大きなアドバンテージ(優位)ともなるはずである。本セミナーは、新技術を正しく理解し、社会的なその行く末を検討して、激しい変化に耐えうる現代の生活能力を身に付けることを目標とする。

到達目標

1. 次々と新しく登場する情報技術について情報を集め、考察することができる知識を習得すること。
2. 「研究」や「科学技術」を自分なりに理解し、実践するための技術を得ること。
3. 研究の基礎となる初歩的な論理、数学、社会科学の知識などを用いて研究を進めることができること。

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：ガイダンス
 内容・方法：年間予定の詳細・自己紹介など。
- 【第2回】
 テーマ：(共通)ライブラリツアー
 内容・方法：(共通)職場改善に関する記事の収集。
- 【第3回】
 テーマ：自身の将来
 内容・方法：自身の将来と社会の変化を具体的に想像し、問題点や課題を見つける。
- 【第4回】
 テーマ：基礎学習(1)
 内容・方法：インターネットの現状。
- 【第5回】
 テーマ：基礎学習(2)
 内容・方法：メディアとコンテンツ。
- 【第6回】
 テーマ：基礎学習(3)
 内容・方法：人工知能の仕事。
- 【第7回】
 テーマ：トピック研究(1)
 内容・方法：自動運転車のある世界。
- 【第8回】
 テーマ：トピック研究(2)
 内容・方法：ロボットがいる日常。
- 【第9回】
 テーマ：トピック研究(3)
 内容・方法：流通、運輸の未来。
- 【第10回】
 テーマ：最新技術解説
 内容・方法：最新の技術動向について紹介して解説する。
- 【第11回】
 テーマ：(合同)人権に関する映画鑑賞会
 内容・方法：(合同)映像により人権の意味を考える。
- 【第12回】
 テーマ：(共通)今後のキャリアを考える
 内容・方法：(共通)就職部より情報を得て今後のキャリアを考える。
- 【第13回】
 テーマ：研究内容に関するディスカッション
 内容・方法：各々の調査内容について発表、質疑を行い、知識を共有する。
- 【第14回】
 テーマ：企画書の作成(1)
 内容・方法：各々が調査した最新ビジネスに関する提案を企画書としてまとめる。
- 【第15回】
 テーマ：企画書の作成(2)
 内容・方法：各々が調査した最新ビジネスに関する提案を企画書としてまとめる。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

- ①事前学修課題：2年生までの学修の整理
- ②事後学修課題：スケジュールの確認

【第2回】

- ①事前学修課題：2年生までの振り返り
- ②事後学修課題：卒業時の目標を明確化

【第3回】

- ①事前学修課題：インターネットの成立過程を調べておく。
- ②事後学修課題：グローバルエリアネットワークの将来像を考える。

【第4回】

- ①事前学修課題：メディア・コンテンツの一般概念の理解
- ②事後学修課題：登場した新概念の整理

【第5回】

- ①事前学修課題：人工知能に関する新聞記事を収集しておく。
- ②事後学修課題：人工知能の社会への影響を整理しておく。

【第6回】

- ①事前学修課題：自動運転車に関する各社の取り組みを調べておく。
- ②事後学修課題：調査内容を資料としてまとめておく。

【第7回】

- ①事前学修課題：ロボットがもたらすメリットとデメリットを想像しておく。
- ②事後学修課題：ロボットがいる理想的な社会を想像してみる。

【第8回】

- ①事前学修課題：ドローン、高速鉄道、自動運転車に関する新聞記事を収集しておく。
- ②事後学修課題：流通、運輸の未来像を想像しておく。

【第9回】

- ①事前学修課題：調査内容の精査
- ②事後学修課題：レポートをもう一度熟読する。

【第10回】

- ①事前学修課題：自身の調査について発表できるようにする。
- ②事後学修課題：他者の調査についてまとめておく。

【第11回】

- ①事前学修課題：自身の調査について発表できるようにする。
- ②事後学修課題：他者の調査についてまとめておく。

【第12回】

- ①事前学修課題：自身の調査について発表できるようにする。
- ②事後学修課題：他者の調査についてまとめておく。

【第13回】

- ①事前学修課題：企画案の考えをまとめておく。
- ②事後学修課題：企画案の文書化。

【第14回】

- ①事前学修課題：企画案の考えをまとめておく。
- ②事後学修課題：企画案の文書化。

【第15回】

- ①事前学修課題：企画案の考えをまとめておく。
- ②事後学修課題：企画案の文書化。

課題に対するフィードバックの方法

定期的な面談によって個別にフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

出席と受講態度、意欲などの平常点を重視する。その中に講義中与える課題などの評価を加えて成績とする。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	平常時の出席や学習態度、研究に対する姿勢を総合的に評価する。	3
授業外での評価	50	毎回の授業に必要な情報をあらかじめ準備し、授業に備えているかを毎回の議論の中で評価する。	1, 2
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	0		

テキスト	特に指定しない。
参考書	各テーマの都度、必要に応じて紹介する。
履修条件・他の科目との関連	セミナーI、IIを履修していること。

授業コード	13071442	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅢa [対面]				
シラバス執筆(全員)	小瀬木 えりの				
シラバス執筆(主)	小瀬木 えりの				
開講年次	3年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

このセミナーでは世界のさまざまな民族をとりあげ、その生活と文化について研究・検討する。政治や経済のシステムが世界中で共通化される傾向の下で、外部との接触が相対的に少なく個別の伝統を保ってきた諸民族の社会は急激な変化にさらされている。アジアを中心にアフリカ、アメリカ大陸など各地の民族が変化の下でどのような暮らしをしているか、文化人類学の民族誌的観点に基づいて学習する。前期のセミナーⅢaでは、文献の輪読や受講者による与えられたテーマ等での発表、担当者が提示する映像の視聴を通じて、さまざまな民族の生活様態やその今日の問題についての知識を増やすことを目指す。発表については、受講者に順番にPPTで内容の紹介してもらい、それに基づいてクラスディスカッションを行う。夏期休暇中の課題として、後期のセミナーⅢbでの発表に備えて、各自興味のある民族や人々の集団に関する文献での学習、情報収集を行っておくこと。これらの学びを通じて、卒業研究で採り挙げるテーマの構想を進めることが重要である。

到達目標

1. 情報や文献収集の方法を学び、実際に自分でそれらが適切にできるようになる
2. 参考文献リストの作成ルール等、卒業研究原稿に求められる形式面の知識の習得
3. 自分が調べるテーマに関連した文献の読解力を身につける
4. 卒業研究が可能な高度な文章作成能力を身につける
5. 最終的に卒業研究発表ができるようにPPTでの資料作成と発表の技法を学ぶ
6. 学習の目標設定と実現に向けての自己管理、ふり返りの習慣と能力を身につける

授業計画

授業時に取り扱う輪読文献や紹介動画のテーマ等については例示であり、変更することもある。

【第1回】

テーマ：イントロダクション

内容・方法：授業方針の説明、卒業研究に向けての希望・方向の調査

【第2回】

テーマ：学習方法について

内容・方法：セミナーで必要な文献等の精読・発表・ディスカッションの仕方に関する説明

【第3回】

テーマ：情報収集と文献検索

内容・方法：図書館ツアーによる情報収集と文献検索を学ぶ

【第4回】

テーマ：文献収集

内容・方法：図書館で実際に必要な文献を借りてくる

【第5回】

テーマ：文献読解 1

内容・方法：課題文献の輪読と発表、ディスカッション 1 「食をめぐるヒンドゥー教徒の浄・不浄観」

【第6回】

テーマ：文献読解 2

内容・方法：課題文献の輪読と発表、ディスカッション 2 「更紗がつなぐ装いの文化について」

【第7回】

テーマ：動画による学習 (1)

内容・方法：世界のさまざまな文化や民族に関する学習 (1) 「アフリカのおしゃれな男たち」

【第8回】

テーマ：動画による学習 (2)

内容・方法：世界のさまざまな文化や民族に関する学習 (2) 「ベトナムの蓮花と蓮茶文化について」

【第9回】

テーマ：動画による学習 (3)

内容・方法：世界のさまざまな文化や民族に関する学習 (3) 「ネパールの生き神クマリについて」

【第10回】

テーマ：文献読解 3

内容・方法：課題文献の輪読と発表、ディスカッション 3 「ミャンマーの農村とマイクロファイナンスについて」

【第11回】

テーマ：文献読解 4

内容・方法：課題文献の輪読と発表、ディスカッション 4 「出稼ぎ国家フィリピンと家族の問題」

【第12回】

テーマ：卒業研究の執筆に向けての学習 1

内容・方法：卒業研究原稿の執筆に必要なアカデミック・ライティングの練習 1 「日本語の文法と語法について」

【第13回】

テーマ：卒業研究の執筆に向けての学習 2

内容・方法：卒業研究原稿の執筆に必要なアカデミック・ライティングの練習 2 「正しい文章で書くということ」

と」
 【第14回】
 テーマ：卒業研究の執筆に向けての学習 3
 内容・方法：卒業研究原稿の執筆に必要なアカデミック・ライティングの練習 3「起承結の構成について」
 【第15回】
 テーマ：前期授業のまとめとふりかえり
 内容・方法：前期授業のまとめ、夏期休暇中の課題と後期からの授業についての説明

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

各回、事前学習は2時間、事後学習は2時間を目安とする。

- 【第1回】
 ①事前学修課題：セミナーで取り扱うテーマについての自主学習
 ②事後学修課題：セミナーで取り扱うテーマについての自主学習
- 【第2回】
 ①事前学修課題：学習法についての文献の自主検索に基づく自主学習
 ②事後学修課題：セミナーで学習した内容についての復習
- 【第3回】
 ①事前学修課題：文献検索方法についての参考書を使った自主学習
 ②事後学修課題：授業時に学習した文献検索方法についての復習
- 【第4回】
 ①事前学修課題：セミナーで取り扱うテーマについての自主学習
 ②事後学修課題：セミナーで学習した内容についての復習
- 【第5回】
 ①事前学修課題：セミナーで取り扱うテーマについての自主学習
 ②事後学修課題：セミナーで学習した内容についての復習
- 【第6回】
 ①事前学修課題：セミナーで取り扱うテーマについての自主学習
 ②事後学修課題：セミナーで学習した内容についての復習
- 【第7回】
 ①事前学修課題：セミナーで取り扱うテーマについての自主学習
 ②事後学修課題：セミナーで学習した内容についての復習
- 【第8回】
 ①事前学修課題：セミナーで取り扱うテーマについての自主学習
 ②事後学修課題：セミナーで学習した内容についての復習
- 【第9回】
 ①事前学修課題：セミナーで取り扱うテーマについての自主学習
 ②事後学修課題：セミナーで学習した内容についての復習
- 【第10回】
 ①事前学修課題：セミナーで取り扱うテーマについての自主学習
 ②事後学修課題：セミナーで学習した内容についての復習
- 【第11回】
 ①事前学修課題：セミナーで取り扱うテーマについての自主学習
 ②事後学修課題：セミナーで学習した内容についての復習
- 【第12回】
 ①事前学修課題：卒業研究論文の書き方についての参考書を使った自主学習
 ②事後学修課題：授業で学習した卒業研究論文の書き方についての復習
- 【第13回】
 ①事前学修課題：卒業研究論文の書き方についての参考書を使った自主学習
 ②事後学修課題：授業で学習した卒業研究論文の書き方についての復習
- 【第14回】
 ①事前学修課題：卒業研究論文の書き方についての参考書を使った自主学習
 ②事後学修課題：授業で学習した卒業研究論文の書き方についての復習
- 【第15回】
 ①事前学修課題：前期の授業全体を振り返っての復習
 ②事後学修課題：夏期休暇中の課題への取り組み

課題に対するフィードバックの方法

読解や作文課題については、それが行われた授業時もしくは次回の授業時にコメントやアドバイスをしてフィードバックする。この他に、必要に応じてgoogle classroomやメール等で、担当者から受講者に対して個別に提出期限前のコメントやアドバイスを行うこともある。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。公欠や公共交通機関の運行停止など本人の責に帰せない事情、客観的なエビデンスを提示できる病気や怪我、または特別配慮願の対象として配慮が必要な場合等を除き、特段の理由なく欠席が全授業中6回以上に上る受講者は「K」評価とする。前記の諸事情のどれにも該当しない場合の遅刻も2回で1回の欠席相当と見なすため注意すること。

成績評価の種類

評価割合
(%)

評価方法・割合

評価対象となる到達目標

授業内での評価	75	授業内での課題への取り組み(15)、他者の発表に対する質問・コメント等ディスカッションへの参加(30)、授業に必要なPC等のツールや資料を忘れずに用意して出席できるかどうか(15)、自身の担当する回の発表(15)	1, 2, 3, 4, 5, 6
授業外での評価	20	提出課題・期限に間に合っ提出できるかどうか、学外授業への参加等(10)、発表資料のPPTの準備と作成、期限に間に合っ提出できるかどうか(10)	1, 2, 3, 4, 5, 6
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	5	15回の全授業終了後に期限までに提出するレポート	6
その他	0		

テキスト	テキストを使用しない		
------	------------	--	--

参考書	卒業研究論文の書き方については『よくわかる卒論の書き方: やわらかアカデミズム〈わかる〉シリーズ』白井利夫・高橋一郎著編 ミネルヴァ書房 2009年 本体2625円を参考書に指定する。これ以外については必要に応じて授業の中で紹介する。受講者も自己の発表担当回にはレジュメや資料を用意すること。		
-----	--	--	--

履修条件・他の科目との関連	「異文化コミュニケーション」、「アジアの歴史と文化」、「比較文化論」、「文化人類学特論」、「国際社会学」等をあわせて受講することで、このセミナーで取り扱うさまざまなトピックに関連した事例についての知見を得ることができ、卒業研究テーマを選択する上での参考になる。なお、やむをえない事情で遅刻や欠席をする場合には担当者には必ず連絡すること。その他、常に適切なタイミングでの報連相を心がけること。		
---------------	---	--	--

授業コード	13071443	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅢa [対面]				
シラバス執筆(全員)	山下 純				
シラバス執筆(主)	山下 純				
開講年次	3年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

担当教員が長年にわたり中国ビジネスに従事して培ってきた社会経験および現地の実際に即した豊富な知見やスキルをもとに、中国ビジネスに関する考え方と実践への応用を関連づけながら講義を展開する。卒業研究をひかえた3年生の受講生の皆さんにとって有益かつ有効な知識やスキルを身につける場としたい。

本セミナーの目的は2点とする。

- 1) 研究活動を通じて、プレゼンテーション・グループ討議などのコミュニケーション能力を向上させる
 - 2) 中国・中華圏に関するテーマや題材を中心に取り扱い、多様な価値観や異文化への理解力を養い、グローバル社会で活躍できる基礎的な力を身につける
- 前期は発表する力の学修を中心に展開し、後期は発表力に加えてレポート作成力の向上にも取り組む。レポート作成では、美文を目指すのではなく、自分が伝えたい意味がきちんと伝わる文章を書く力の習得を目指す。

到達目標

1. 与えられたテーマについて自分で問いの設定を行なえる
2. 自分が考えたアイデアについて意味や意図を正しく自分の言葉で説明できる
3. 中国・中華圏について関連する知識を習得し、文章やプレゼンテーションで説明できる

授業計画

各回のテーマ案は、状況によっては変更する可能性がある。

【第1回】

テーマ:オリエンテーション

内容・方法:各自の自己紹介、セミナーのオリエンテーション

【第2回】

テーマ:ユニット1 テーマ案 中国の多様な地域性(1)

内容・方法:講義・グループワーク

【第3回】

テーマ:ライブラリーツアー

内容・方法:図書館での論文・文献の探し方など

【第4回】

テーマ:ユニット1 個人での発表を実践する

内容・方法:各自が指示されたことを調べて、その内容について発表する。質疑を通じて理解を深める

【第5回】

テーマ:ユニット2 テーマ案 中国の世界遺産

内容・方法:講義・グループワーク

【第6回】

テーマ:ユニット2 個人での発表を実践する

内容・方法:前回決めた発表者が指示されたことを調べて、その内容について発表する。質疑を通じて理解を深める

【第7回】

テーマ:ユニット3 テーマ案 中国の食文化(1)

内容・方法:講義・グループワーク

【第8回】

テーマ:前半のふりかえり

内容・方法:前半の振り返りと後半の展望を検討する

【第9回】

テーマ:ユニット3 個人での発表を実践する

内容・方法:各自が指示されたことを調べて、その内容について発表する。質疑を通じて理解を深める

【第10回】

テーマ:ユニット4 テーマ案 中国の食文化(2)

内容・方法:講義・グループワーク

【第11回】

テーマ:ユニット4 個人またはグループでの発表を実践する

内容・方法:前回決めた発表者が指示されたことを調べて、その内容について発表する。質疑を通じて理解を深める

【第12回】

テーマ:ユニット5 テーマ案 中国の企業・会社法人(1)

内容・方法:講義・グループワーク

【第13回】

テーマ:ユニット5 個人またはグループでの発表を実践する

内容・方法:各自が指示されたことを調べて、その内容について発表する。質疑を通じて理解を深める

【第14回】

テーマ:卒論構想報告

内容・方法:自分の卒論構想を報告する

【第15回】

テーマ:前期の振り返りとまとめ

内容・方法:前期の振り返りとまとめを行ない、後期の学修につなげる

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

- ① 事前学修課題：シラバスを読んで内容を理解する
- ② 事後学修課題：授業の内容を復習する

【第2回】

- ① 事前学修課題：課題について事前に調べる
- ② 事後学修課題：課題について調べて、整理してまとめて、発表する準備を行なう

【第3回】

- ① 事前学修課題：ライブラリツアーで調べたいトピックを考えておく
- ② 事後学修課題：ライブラリツアーで学んだことを復習する

【第4回】

- ① 事前学修課題：発表する準備を行ない、発表の練習をする
- ② 事後学修課題：自分の発表の良かったところ、改善すべきところなどの振り返りを行なう

【第5回】

- ① 事前学修課題：課題について事前に調べる
- ② 事後学修課題：課題について調べて、整理してまとめて、発表する準備を行なう

【第6回】

- ① 事前学修課題：発表する準備を行ない、発表の練習をする
- ② 事後学修課題：自分の発表の良かったところ、改善すべきところなどの振り返りを行なう

【第7回】

- ① 事前学修課題：課題について事前に調べる
- ② 事後学修課題：課題について調べて、整理してまとめて、発表する準備を行なう

【第8回】

- ① 事前学修課題：前半の振り返りを行なう
- ② 事後学修課題：前半の振り返りを行ない、後半への展望を検討する

【第9回】

- ① 事前学修課題：発表する準備を行ない、発表の練習をする
- ② 事後学修課題：自分の発表の良かったところ、改善すべきところなどの振り返りを行なう

【第10回】

- ① 事前学修課題：課題について事前に調べる
- ② 事後学修課題：課題について調べて、整理してまとめて、発表する準備を行なう

【第11回】

- ① 事前学修課題：発表する準備を行ない、発表の練習をする
- ② 事後学修課題：自分の発表の良かったところ、改善すべきところなどの振り返りを行なう

【第12回】

- ① 事前学修課題：課題について事前に調べる
- ② 事後学修課題：課題について調べて、整理してまとめて、発表する準備を行なう

【第13回】

- ① 事前学修課題：発表する準備を行ない、自分の発表の練習をする
- ② 事後学修課題：自分の発表の良かったところ、改善すべきところなどの振り返りを行なう

【第14回】

- ① 事前学修課題：自分の卒論構想について事前に準備をする
- ② 事後学修課題：自分が発表した構想について、授業中の説明を参考にして見直しや再検討を行なう

【第15回】

- ① 事前学修課題：前期の授業全体の振り返りを行なう
- ② 事後学修課題：後期の授業に向けた自分の課題や展望を整理する

課題に対するフィードバックの方法

プレゼンテーションや課題レポートなどに関して、適宜コメントを行なう

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

発表、発言、クラスへの建設的な貢献 30%
 期中のレポート 40%
 振り返りのレポート 30%

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	30	発表、発言などクラスへの貢献	1、2、3
授業外での評価	40	期中のレポート	1、2、3
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	30	授業の振り返りについてまとめたものを提出する	1、2、3

その他	0		
テキスト	担当教員がプリント等を用意する		
参考書	授業の中で適宜紹介する		
履修条件・他の科目との関連	授業を欠席した場合は、その回のプリントを次回に渡す。その内容は自分でクラスメートや担当教員に確認する		

授業コード	13071444	授業形態	演習	実務家教員	<input type="radio"/>
授業科目名	セミナーⅢa [対面]				
シラバス執筆(全員)	佐々木 一雄				
シラバス執筆(主)	佐々木 一雄				
開講年次	3年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

本セミナーの目的は、以下の2点とする。

- 1) マーケティングの諸理論を学修し、それらをビジネスの現場で起きている出来事と関連づけて議論できる実践力を身につける。
- 2) 課題発見力、情報収集力、論理的思考力、文章力、プレゼンテーション能力を磨く。
担当教員が長年に亘り、企業において「経理および経営管理」業務に従事してきた経験をもとに、実務家教員として、学生の皆さんがビジネス感覚をもち、企業から求められる「一流の人材」になるために必要なサポートをしていく。ぜひ、希望と自信をもって、楽しみながら真剣に取り組んでほしい。

到達目標

1. マーケティングの諸理論をビジネスの現場で起きている出来事と関連づけて議論できる。
2. 課題発見力、情報収集力、論理的思考力を身につけている。
3. 卒論の執筆に必要な高度な文章力を身につけている。
4. プレゼンテーション技法を用いて、発表することができる。
5. 他者の発表に対して質問やコメントができる。

授業計画

※授業計画については変更する可能性がある。

- 【第1回】イントロダクション
内容：授業科目の概要と単位取得方法、フィールドワークの概要について説明する。
- 【第2回】PROGテスト
内容：PROGテストを実施する。
- 【第3回】ライブラリーツアー
内容：図書館での論文・文献の探し方などを学修する。
- 【第4回】マーケティング発想の経営
内容：石井他『1からのマーケティング』第1章
- 【第5回】マーケティング論の成り立ち
内容：石井他『1からのマーケティング』第2章
- 【第6回】マーケティングの基本概念
内容：石井他『1からのマーケティング』第3章
- 【第7回】製品のマネジメント
内容：石井他『1からのマーケティング』第4章
- 【第8回】価格のマネジメント
内容：石井他『1からのマーケティング』第5章
- 【第9回】広告のマネジメント
内容：石井他『1からのマーケティング』第6章
- 【第10回】チャネルのマネジメント
内容：石井他『1からのマーケティング』第7章
- 【第11回】サプライチェーンのマネジメント
内容：石井他『1からのマーケティング』第8章
- 【第12回】営業のマネジメント
内容：石井他『1からのマーケティング』第9章
- 【第13回】合同セミナー
内容：外部講師による講演会
- 【第14回】顧客関係のマネジメント
内容：石井他『1からのマーケティング』第10章
- 【第15回】総括
内容：前期の授業内容の全体的な総括を行う。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

- 【第1回】
事前学習課題：シラバスをよく読み、テキストの目次に目を通しておく。
事後学習課題：授業の振り返りを行う。
- 【第2回】
事前学習課題：特になし
事後学習課題：特になし
- 【第3回】
事前学習課題：ライブラリーツアーで調べたいトピックを考えておく。
事後学習課題：ライブラリーツアーで学んだことを復習する。

【第4回】～【第12回】

事前学習課題：テキストの該当箇所を通読し、疑問点をまとめておく。
 事後学習課題：テキストの該当箇所と授業中の説明をもとに、復習する。

【第13回】

事前学習課題：将来のキャリアビジョンについて、事前に考えておく。
 事後学習課題：講演会の感想をまとめる。

【第14回】

事前学習課題：テキストの該当箇所を通読し、疑問点をまとめておく。
 事後学習課題：テキストの該当箇所と授業中の説明をもとに、復習する。

【第15回】

事前学習課題：前期の振り返りを行い、成果と課題をまとめておく。
 事後学習課題：夏季休暇中の課題への取り組みを行う。

課題に対するフィードバックの方法

課題として提出されたレポート等に対して、授業中にコメントを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	セミナーへの積極的参加度(50)	1, 4, 5
授業外での評価	30	課題(30)	2, 3
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	期末レポート(20)	2, 3
その他	0		

テキスト	石井淳蔵他(2019)『1からのマーケティング<第4版>』碩学舎 2,400円(税別)ISBN978-4502327711
------	---

参考書	必要に応じて適宜紹介する。
-----	---------------

履修条件・他の科目との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・無断欠席、遅刻は厳しく評価する。 ・授業には、テキストの該当箇所を事前に読んだうえで臨むこと。 ・事前課題は、必ず期限までに提出すること。 ・議論には積極的に参加すること。 ・グループ発表には、メンバー全員が協力して取り組むこと。 ・関連科目として「マーケティング入門」「ビジネスマネジメント I」を履修することを推奨する。
---------------	--

授業コード	13071445	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅢa [対面]				
シラバス執筆(全員)	岡本 容典				
シラバス執筆(主)	岡本 容典				
開講年次	3年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

IT(情報技術)人材の不足が叫ばれて久しく、その問題は依然として解決には至っていない。近年では、デジタル化の進展やAI、IoT、ビッグデータの活用が急速に進む中で、優れたITスキルを持つ人材の需要はさらに高まりつつある。一方で、それに対応できる人材の供給は追いついておらず、今後ますますその不足が深刻化すると予測されている。このような状況を踏まえ、本セミナーでは、IT分野における専門知識の習得に重点を置き、特にプログラミング言語を用いたソフトウェア開発能力の向上を目的としている。本セミナーを通じて実践的な知識を身につけ、将来的にIT業界で即戦力として活躍できるよう支援することを目指す。

到達目標

1. アルゴリズムの基本的な考え方を説明できる。
2. プログラミング言語の基本的な命令の意味を説明できる。
3. プログラミング言語を用いて、目的に応じたプログラムを作成できる。

授業計画

- 【第1回】 ガイダンス
- 【第2回】 アルゴリズムとフローチャート
- 【第3回】 変数とデータ型
- 【第4回】 演算子
- 【第5回】 条件分岐
- 【第6回】 繰り返し処理
- 【第7回】 関数
- 【第8回】 配列
- 【第9回】 オブジェクト
- 【第10回】 プロトタイプ
- 【第11回】 イベント
- 【第12回】 プログラミング応用(1)
- 【第13回】 プログラミング応用(2)
- 【第14回】 プログラミング応用(3)
- 【第15回】 まとめ

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

毎回の授業で課題を課すので、次の授業時に提出すること。

課題に対するフィードバックの方法

授業内の課題については、机間巡視により理解度を把握し、間違いや優れた点の指摘、助言等を行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

授業期間中に実施される課題と、全授業終了後に実施される定期試験に代わるレポート試験の評価結果に基づいて総合的に判定した結果、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合(%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	授業期間中に実施される課題	1、2、3
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	40	全授業終了後に実施されるレポート試験	1、2、3
その他	0		

テキスト

必要に応じてPDFプリントを配布する。

参考書	必要に応じて授業の中で紹介する。
履修条件・他の科目との関連	毎回ノートPCを持参してください。

授業コード	13071446	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅢa [対面]				
シラバス執筆(全員)	董 玉テイ				
シラバス執筆(主)	董 玉テイ				
開講年次	3年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

本セミナーでは、幅広い分野の文献の精読し、その中で、論の展開・構成方法を説明する。4年次生の卒業研究に結びつくような学習を行うため、各自が興味をもった事柄について調査し、関連する文献や論文を選び、スライドにまとめ、自分の意見とともに発表する。その中で、他の受講生とテーマについて議論していく。

到達目標

1. 論理的な議論を展開することができる。
2. 効果的なプレゼンテーションをすることができる。
3. 論理的な構成で、わかりやすい文章を書くことができる。

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：イントロダクション
 内容・方法：授業方針の説明、自己紹介をする。
- 【第2回】
 テーマ：テーマの探し方・設定方法
 内容・方法：テーマの一例を提示する。
- 【第3回】
 テーマ：情報収集と文献検索
 内容・方法：ライブラリツアーによる情報収集と文献検索を学ぶ。
- 【第4回】
 テーマ：文献収集と参考文献について
 内容・方法：図書館で実際に必要な文献を借り、参考文献の書き方について学ぶ。
- 【第5回】
 テーマ：アカデミックライティングの基礎
 内容・方法：資料を読む力（読解力）をつけよう①。
- 【第6回】
 テーマ：アカデミックライティングの基礎
 内容・方法：資料を読む力（読解力）をつけよう②。
- 【第7回】
 テーマ：アカデミックライティングの基礎
 内容・方法：資料をまとめる力（要約力）をつけよう。
- 【第8回】
 テーマ：アカデミックライティングの基礎
 内容・方法：資料からテーマに関する情報を得よう。
- 【第9回】
 テーマ：先行研究の発表（1）
 内容・方法：受講者各自による関連分野の先行研究を発表する。
- 【第10回】
 テーマ：先行研究の発表（2）
 内容・方法：受講者各自による関連分野の先行研究を発表する。
- 【第11回】
 テーマ：先行研究の発表（3）
 内容・方法：受講者各自による関連分野の先行研究を発表する。
- 【第12回】
 テーマ：先行研究の発表（4）
 内容・方法：受講者各自による関連分野の先行研究を発表する。
- 【第13回】
 テーマ：先行研究の発表（5）
 内容・方法：受講者各自による関連分野の先行研究を発表する。
- 【第14回】
 テーマ：先行研究の発表（6）
 内容・方法：受講者各自による関連分野の先行研究を発表する。
- 【第15回】
 テーマ：前期のまとめと夏期休暇中の課題について
 内容・方法：前期に学んだことをまとめ、夏期休暇中の課題について説明する。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

事前、事後学習として、下記の内容について毎回、それぞれ1時間以上の学習が必要。

事前学修課題：与えられた課題について、しっかりと資料などを調べ、読み込むこと。
 事後学修課題：自分あるいは他の学生の発表した内容について再確認し、発表時に答えられなかった質問などについて再度調べる。

課題に対するフィードバックの方法

- ・それぞれの調査・発表についてコメントするとともに、補足説明などを行う。
- ・学習相談を授業前後で対応する。
- ・授業を欠席した場合は、その回のハンドアウトを次回に渡す。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	発表の質(30)、発言(20)等によって評価する。	1, 2, 3
授業外での評価	30	毎回の課題の出来栄によって評価する。	1, 2, 3
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	期末の課題の出来栄によって評価する。	1, 2, 3
その他	0		

テキスト	授業中にプリントを配布する。
------	----------------

参考書	各自のテーマに沿って適宜指示する。
-----	-------------------

履修条件・他の科目との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・授業には、提示された文献の予習、事前の調査を行った上で臨むこと。 ・議論には、積極的に参加すること。 ・やむを得ない事情で遅刻や欠席をする場合は、必ず担当教員に連絡すること。 ・正当な理由なく、3分の1以上欠席した場合、または定期試験を欠席した場合は、評価の対象とせず、「K」評価とする。 ・同様に、特段の理由のない遅刻・早退は1/2回分の欠席と数えられるため注意すること。
---------------	--

授業コード	13071447	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅢa [対面]				
シラバス執筆(全員)	O. J. クロー				
シラバス執筆(主)	O. J. クロー				
開講年次	3年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

This seminar will build your knowledge of Sustainable Development Goals (SDGs) and English communication ability. All students are expected to participate actively in researching, discussing, and presenting on each topic introduced. Particular emphasis is placed on academic writing skills in order to prepare you for your graduation thesis in the next year.

到達目標

1. Build understanding of SDGs (SDGsの理解を深める)
2. Expose students to various topics and global issues (様々なトピックやグローバルな問題に触れることができる)
3. Develop an understanding of typical genres of academic writing (アカデミック・ライティングのジャンルについての理解を深める)
4. Refine skills in editing and revising academic writing (アカデミック・ライティングの編集と校閲のスキルを磨く)
5. Produce an essay based on research with citations and references (引用と参考文献を含む調査に基づいたエッセイを作成する)

授業計画

- 【第1回】
 テーマ: Orientation・Unit 1 - Key Features of Academic Essays (1)
 内容・方法: Course introduction, Warmup, Important features of academic writing, Decide on the theme of essay
- 【第2回】
 テーマ: Unit 1 - Key Features of Academic Essays (1)
 内容・方法: Learn the structure of an essay, Create an outline of the essay according to the theme
- 【第3回】
 テーマ: Unit 2 - Title of Your Essay (1)
 内容・方法: Determine the background topic of the essay, Decide on a title
- 【第4回】
 テーマ: Unit 2 - Title of Your Essay (2)
 内容・方法: Write the title in English, Put together an outline in English
- 【第5回】
 テーマ: Unit 3 - Introduction of Your Essay (1)
 内容・方法: Role of the introduction, Understand the structure and expression rules for the introductory paragraphs of an essay
- 【第6回】
 テーマ: Unit 3 - Introduction of Your Essay (1)
 内容・方法: Write an introduction in English
- 【第7回】
 テーマ: Unit 4 - Body of Your Essay (1)
 内容・方法: Structure of the body, Understanding topic and supporting sentences in the body paragraphs of an essay
- 【第8回】
 テーマ: Unit 4 - Body of Your Essay (2)
 内容・方法: Draft the body of the essay based on to the outline
- 【第9回】
 テーマ: Unit 4 - Body of Your Essay (3)
 内容・方法: Summarise the final draft of the body of the essay
- 【第10回】
 テーマ: Unit 5 - Conclusion of Your Essay (1)
 内容・方法: Understand the structure and content of the conclusion paragraph
- 【第11回】
 テーマ: Unit 5 - Conclusion of Your Essay (2)
 内容・方法: Finalise the Conclusion
- 【第12回】
 テーマ: Unit 6 - Feedback from Others
 内容・方法: Learning from feedback, Feedback from peer review and other sources, Dealing with feedback
- 【第13回】
 テーマ: Unit 7 - Submitting Your Final Draft (1)
 内容・方法: Finalizing the final draft, Understanding the process and methods of self-checking
- 【第14回】

テーマ: Unit 7 - Submitting Your Final Draft (1)

内容・方法: Proofreading and editing based on the self-checks, Submit the final draft of the manuscript

【第15回】

テーマ: Review of topics

内容・方法: Review test on Unit 1-7

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

①事前学修課題: Bring materials to study

②事後学修課題: Register for Google Classroom

【第2回】

①事前学修課題: Read handout

②事後学修課題: Review class content, Complete worksheet

【第3回】

①事前学修課題: Read handout

②事後学修課題: Review class content, Complete worksheet

【第4回】

①事前学修課題: Read handout

②事後学修課題: Review class content, Complete worksheet

【第5回】

①事前学修課題: Read handout

②事後学修課題: Review class content, Complete worksheet

【第6回】

①事前学修課題: Read handout

②事後学修課題: Review class content, Complete worksheet

【第7回】

①事前学修課題: Read handout

②事後学修課題: Review class content, Complete worksheet

【第8回】

①事前学修課題: Finish handout

②事後学修課題: Review class content, Complete worksheet

【第9回】

①事前学修課題: Read handout

②事後学修課題: Review class content, Complete worksheet

【第10回】

①事前学修課題: Read handout

②事後学修課題: Review class content, Complete worksheet

【第11回】

①事前学修課題: Read handout

②事後学修課題: Review class content, Complete worksheet

【第12回】

①事前学修課題: Read handout

②事後学修課題: Review class content, Complete worksheet

【第13回】

①事前学修課題: Read handout

②事後学修課題: Review class content, Complete worksheet

【第14回】

①事前学修課題: Read handout

②事後学修課題: Review class content, Complete worksheet

【第15回】

①事前学修課題: Finish handout

②事後学修課題: Review topics covered

課題に対するフィードバックの方法

Feedback on assignments will be provided regularly via instructor comments on Google Classroom. Your overall grade will also be visible on Google Classroom to check at any time. Overall feedback on course progress will be provided at midterm (8th class) and before the end of the term (14th class).

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on participation during in-class discussion, research activities, group reports & presentations, and a final term report. Students with marks of 60 or more will pass and get credit for the course. If a student is absent more than 4 times without a valid excuse, a [K] will be awarded.

以下に示す通り、成績は授業中の議論やグループレポート・発表、研究課題、そして期末レポートの結果に基づく総合的な評価により決定される。60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。正当な理由のない欠席が4回を超える場合は、「K」評価（不合格）とする。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	45	Participation 15%, Classwork 15%, Research Workbook 15%	1, 2, 3, 4, 5
授業外での評価	35	Essay Draft 15%, Essay Final 20%	1, 2, 3, 4, 5
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Review Test 20%	1, 2, 3, 4
その他	0		

テキスト	Google Classroom プリントを配布する
------	-------------------------------

参考書	
-----	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	---

授業コード	13071541	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅢb [対面]				
シラバス執筆(全員)	下條 善史				
シラバス執筆(主)	下條 善史				
開講年次	3年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

本セミナーのテーマを「武器としての情報技術」とする。21世紀を迎えて社会は大きく変質しようとしている。特にデジタル技術の発展は、20世紀までの人類社会と比べて、まるで異質な社会へと変化させつつあるように見える。インターネットに代表されるデジタルメディアは、人間同士のコミュニケーションに大きな変革をもたらし、情報通信にとどまらず、流通や生活形態までも変えようとしている。人工知能やロボットの社会進出も既定の事実となり、社会の変化は加速度的に起こっていきと考えられる。このような時代を背景とする現代の知的活動にとって、最新技術を正確に理解し、その利用方法や可能性、そして限界を見定める訓練は重要であり、またその能力を身に付けることが、他者に対する大きなアドバンテージ(優位)ともなるはずである。本セミナーは、新技術を正しく理解し、社会的なその行く末を検討して、激しい変化に耐えうる新しい時代のコンセンスを身につけることを目標とする。

到達目標

1. 次々と新しく登場する情報技術について情報を集め、考察することができる知識を習得すること。
2. 「研究」や「科学技術」を自分なりに理解し、実践するための技術を得ること。
3. 研究の基礎となる初歩的な論理、数学、社会科学の知識などを用いて研究を進めることができること。

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：夏休み中の自身の進歩
 内容・方法：夏休み中に考えたこと、感じたことを互いに発表しあって、今後の研究への刺激とする。
- 【第2回】
 テーマ：進路と将来について計画
 内容・方法：自分の将来を計画し、そのための行動予定表を作成する。
- 【第3回】
 テーマ：卒業研究の準備(1)
 内容・方法：研究とは何か？研究の手法を学ぶ。
- 【第4回】
 テーマ：卒業研究の準備(2)
 内容・方法：学術論文の書き方。
- 【第5回】
 テーマ：卒業研究の準備(3)
 内容・方法：研究計画の作成。
- 【第6回】
 テーマ：卒業研究の準備(4)
 内容・方法：テーマを絞り込む。
- 【第7回】
 テーマ：卒業計画
 内容・方法：卒業までに習得すべき技術や知識を列举し、学習の計画を立てる。
- 【第8回】
 テーマ：研究の評価手法
 内容・方法：研究について評価手法の方法論と実際を知る。
- 【第9回】
 テーマ：リサーチプロジェクト：研究テーマ発表会準備(1)
 内容・方法：研究テーマの決定
- 【第10回】
 テーマ：リサーチプロジェクト：研究テーマ発表会準備(2)
 内容・方法：発表設計を考える
- 【第11回】
 テーマ：リサーチプロジェクト：研究テーマ発表会準備(3)
 内容・方法：発表資料作成(1)
- 【第12回】
 テーマ：リサーチプロジェクト：研究テーマ発表会準備(4)
 内容・方法：発表資料作成(2)
- 【第13回】
 テーマ：リサーチプロジェクト：研究テーマ発表会
 内容・方法：研究発表を実施する
- 【第14回】
 テーマ：関連領域の調査(1)
 内容・方法：卒業研究に想定したテーマについて、周辺領域の調査を行う。
- 【第15回】
 テーマ：関連領域の調査(2)
 内容・方法：卒業研究に深く関連した領域の過去の研究を調査する。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

- ①事前学修課題：自身の体験や考えたことを整理しておく
- ②事後学修課題：他者の発表内容を熟考してみる

【第2回】

- ①事前学修課題：テーマについて考えを整理しておく
- ②事後学修課題：行動予定表を完成させる

【第3回】

- ①事前学修課題：卒論のテーマを再考察しておく
- ②事後学修課題：参考文献を検索しておく

【第4回】

- ①事前学修課題：なにか論文を検索して目を通してみる。
- ②事後学修課題：事前に読んだ論文を、授業内容に応じてもう一度読み直してみる。

【第5回】

- ①事前学修課題：自身の論文の構成を考えておく。
- ②事後学修課題：研究計画を再確認しておく。

【第6回】

- ①事前学修課題：自身のテーマについて、どんな結論が出せそうか検討しておく。
- ②事後学修課題：卒論のテーマを決定する。

【第7回】

- ①事前学修課題：自身の卒業までの課題について確認しておく。
- ②事後学修課題：卒業計画を完成させる。

【第8回】

- ①事前学修課題：以前に読んだ論文を自分の基準で評価してみる。
- ②事後学修課題：授業を聞いたうえで、再評価する。

【第9回】

- ①事前学修課題：研究テーマを予め決定しておく
- ②事後学修課題：参考資料の収集

【第10回】

- ①事前学修課題：発表に向け各自の準備をする
- ②事後学修課題：発表に向け各自の準備をする

【第11回】

- ①事前学修課題：発表に向け各自の準備をする
- ②事後学修課題：発表に向け各自の準備をする

【第12回】

- ①事前学修課題：それぞれの資料の最終チェックをしておく
- ②事後学修課題：各自の準備を遂行する

【第13回】

- ①事前学修課題：発表原稿を最終チェックしておく
- ②事後学修課題：発表時に受けた質問や回答をまとめておく

【第14回】

- ①事前学修課題：RPを参考にして自身のテーマを再考する。
- ②事後学修課題：参考文献を検索しておく。

【第15回】

- ①事前学修課題：参考文献を数多く、検索しておく。
- ②事後学修課題：春休みの計画を立てる。

課題に対するフィードバックの方法

定期的な面談によって個別にフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

出席と受講態度、意欲などの平常点を重視する。その中に講義中与える課題などの評価を加えて成績とする。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	授業への参加態度、準備状況などを総合的に評価する。	1, 3
授業外での評価	50	授業内の議論と、結果としてのレポートにて研究力と表現能力を評価する。	1, 2, 3
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	0		

テキスト	特に指定しない。
参考書	都度、必要に応じて紹介する。
履修条件・他の科目との関連	セミナーⅢaを修得していること。

授業コード	13071542	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅢb [対面]				
シラバス執筆(全員)	小瀬木 えりの				
シラバス執筆(主)	小瀬木 えりの				
開講年次	3年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

このセミナーでは世界のさまざまな民族をとりあげ、その生活と文化について研究・検討する。政治や経済のシステムが世界中で共通化される傾向の下で、外部との接触が相対的に少なく個別の伝統を保ってきた諸民族の社会は急激な変化にさらされている。アジアを中心にアフリカ、アメリカ大陸など各地の民族が変化の下でどのような暮らしをしているか、文化人類学の民族誌的観点に基づいて学習する。後期のセミナーでは、受講者各自が興味のある民族や異文化を選んで詳しく調べてその人びとや文化を紹介する発表を行い、毎回それに基づき全員でディスカッションする。(前期最後に、夏期休暇中の課題として、後期の発表に備えた民族や異文化に関する調査研究が課されている。セミナーⅢaのシラバス参照) 後期の最後には、1:卒業研究に関する仮テーマ、2:仮アウトライン(構成と章立)、3:2,000字程度の概要から成る卒業研究計画書、4:参考文献リストを提出することを単位認定の条件とする。

到達目標

1. 情報や文献収集の方法を学び、実際に自分でそれらが適切にできるようになる
2. 参考文献リストの作成ルール等、卒業研究原稿に求められる形式面の知識の習得
3. 自分が調べるテーマに関連した文献の読解力を身につける
4. 卒業研究が可能な高度な文章作成能力を身につける
5. 最終的に卒業研究発表ができるようにPPTでの資料作成と発表の技法を学ぶ
6. 学習の目標設定と実現に向けての自己管理、ふり返りの習慣と能力を身につける

授業計画

【第1回】
 テーマ: 後期授業全体のイントロダクション
 内容・方法: 夏期休暇中の課題の提出、後期の授業内容の説明

【第2回】
 テーマ: 卒業研究のテーマについて (1)
 内容・方法: 卒業研究のテーマの選び方 動画等によるテーマ選びの方法学習

【第3回】
 テーマ: 卒業研究のテーマについて (2)
 内容・方法: 卒業研究のテーマの設定の仕方 -文献検索の実際

【第4回】
 テーマ: 研究発表 (1)
 内容・方法: 受講者各自による世界の民族や文化に関する研究発表 (1)

【第5回】
 テーマ: 研究発表 (2)
 内容・方法: 受講者各自による世界の民族や文化に関する研究発表 (2)

【第6回】
 テーマ: 研究発表 (3)
 内容・方法: 受講者各自による世界の民族や文化に関する研究発表 (3)

【第7回】
 テーマ: 研究発表 (4)
 内容・方法: 受講者各自による世界の民族や文化に関する研究発表 (4)

【第8回】
 テーマ: 研究発表 (5)
 内容・方法: 受講者各自による世界の民族や文化に関する研究発表 (5)

【第9回】
 テーマ: 研究発表 (6)
 内容・方法: 受講者各自による世界の民族や文化に関する研究発表 (6)

【第10回】
 テーマ: 構想発表 (1)
 内容・方法: 受講者各自による卒業研究に関する仮構想テーマの発表 (1)

【第11回】
 テーマ: 構想発表 (2)
 内容・方法: 受講者各自による卒業研究に関する仮構想テーマの発表 (2)

【第12回】
 テーマ: 構想発表 (3)
 内容・方法: 受講者各自による卒業研究に関する仮構想テーマの発表 (3)

【第13回】
 テーマ: 構想発表 (4)
 内容・方法: 受講者各自による卒業研究に関する仮構想テーマの発表 (4)

【第14回】
 テーマ: 卒業研究に関する指導
 内容・方法: 卒論テーマに関するアドバイスと調整、卒業研究計画書作成についての説明

【第15回】

テーマ：卒業研究計画、授業のまとめ他

内容・方法：卒業研究計画書の提出、年間授業のまとめ、4年次に向けての課題等

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

各回、事前学習は2時間、事後学習は2時間を目安とする。

【第1回】

①事前学修課題：夏期休暇中の課題への取り組みと完成

②事後学修課題：後期授業に向けての自主学習

【第2回】

①事前学修課題：卒業研究論文の書き方について書かれた参考書を使った自主学習

②事後学修課題：授業で学習したことの復習

【第3回】

①事前学修課題：卒業研究論文の書き方について書かれた参考書を使った自主学習

②事後学修課題：授業で学習したことの復習

【第4回】

①事前学修課題：事前に予告された発表テーマに関する自主学習

②事後学修課題：授業で学習したことの復習

【第5回】

①事前学修課題：事前に予告された発表テーマに関する自主学習

②事後学修課題：授業で学習したことの復習

【第6回】

①事前学修課題：事前に予告された発表テーマに関する自主学習

②事後学修課題：授業で学習したことの復習

【第7回】

①事前学修課題：事前に予告された発表テーマに関する自主学習

②事後学修課題：授業で学習したことの復習

【第8回】

①事前学修課題：事前に予告された発表テーマに関する自主学習

②事後学修課題：授業で学習したことの復習

【第9回】

①事前学修課題：事前に予告された発表テーマに関する自主学習

②事後学修課題：授業で学習したことの復習

【第10回】

①事前学修課題：事前に予告された発表テーマに関する自主学習

②事後学修課題：自己の構想発表の準備、もしくは構想にしたがっての学習の深化

【第11回】

①事前学修課題：事前に予告された発表テーマに関する自主学習

②事後学修課題：自己の構想発表の準備、もしくは構想にしたがっての学習の深化

【第12回】

①事前学修課題：事前に予告された発表テーマに関する自主学習

②事後学修課題：自己の構想発表の準備、もしくは構想にしたがっての学習の深化

【第13回】

①事前学修課題：事前に予告された発表テーマに関する自主学習

②事後学修課題：自己の構想発表の準備、もしくは構想にしたがっての学習の深化

【第14回】

①事前学修課題：卒業研究論文の書き方についての参考書を使った自主学習

②事後学修課題：授業で学習したことの復習

【第15回】

①事前学修課題：卒業研究計画書の作成

②事後学修課題：卒業研究でとりあげるテーマについての探求

課題に対するフィードバックの方法

各自が授業時に行う民族や文化に関する発表については当該時間にコメントやアドバイスのかたちでフィードバックする。この他に、必要に応じてgoogle classroomやメール等で、担当者から受講者に対して個別に提出期限前のコメントやアドバイスを行う。4年次に向けての卒業研究計画書については、4年次の最初の方の授業でコメントや指導を通じてフィードバックする。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。公欠や公共交通機関の運行停止など本人の責に帰せない事情、客観的なエビデンスを提示できる病気や怪我、または特別配慮願の対象として配慮が必要な場合等を除き、特段の理由なく欠席が全授業中6回以上に上る受講者は「K」評価とする。前記の諸事情のどれにも該当しない場合の遅刻も2回で1回の欠席相当と見なすため注意すること。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	75	授業内での課題への取り組み(15)、他者の発表に対する質問・コメント等ディスカッションへの参加(30)、授業に必要な	1, 2, 3, 4, 5, 6

		なPC等のツールや資料を忘れずに用意して出席できるかどうか(15)、自身の担当する回の発表(15)	
授業外での評価	20	提出課題・期限に間に合っ提出できるかどうか、学外授業への参加等(10)、発表資料のPPTの準備と作成、期限に間に合っ提出できるかどうか(10)	1, 2, 3, 4, 5, 6
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	5	15回の全授業終了後に期限までに提出するレポート	6
その他	0		

テキスト	テキストは使用しない
------	------------

参考書	卒業研究論文の書き方については『よくわかる卒論の書き方: やわらかアカデミズム〈わかる〉シリーズ』白井利夫・高橋一郎著編 ミネルヴァ書房 2009年 本体2625円を参考書とする。これ以外については必要に応じて授業の中で紹介する。受講者も自己の発表担当回にはレジュメや資料を用意すること。
-----	--

履修条件・他の科目との関連	「異文化コミュニケーション」、「アジアの歴史と文化」、「比較文化論」、「文化人類学特論」、「国際社会学」等をあわせて受講することで、このセミナーで取り扱うさまざまなトピックに関連した事例についての知見を得ることができ、卒業研究の仮テーマを構想する上で参考になる。なお、やむをえない事情で遅刻や欠席をする場合には担当者に必ず連絡すること。また、常に適切なタイミングでの報連相を心がけること。4年次で卒業研究で取り組みたいテーマについて早くから探求を始め、それに役立つ知識と情報を増やすべく常に努力することが求められる。
---------------	--

授業コード	13071543	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅢb [対面]				
シラバス執筆(全員)	山下 純				
シラバス執筆(主)	山下 純				
開講年次	3年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

担当教員が長年にわたり中国ビジネスに従事して培ってきた社会経験および現地の実際に即した豊富な知見やスキルをもとに、中国ビジネスに関する理論と実践への応用を関連づけながら講義を展開する。卒業研究をひかえた3年生の受講生の皆さんにとって有益かつ有効な知識やスキルを身につける場としたい。

本セミナーの目的は2点とする。

- 1) 研究活動を通じて、プレゼンテーション・グループ討議などのコミュニケーション能力を向上させる
 - 2) 中国・中華圏に関するテーマや題材を中心に取り扱い、多様な価値観や異文化への理解力を養い、グローバル社会で活躍できる基礎的な力を身につける
- 後期は発表力に加えてレポート作成力の向上にも取り組む。レポート作成では、自分が伝えたい意味がきちんと伝わる文章を書ける力の習得を目指す。また、各自が卒業研究のテーマを選定し、順次発表する。

到達目標

1. 与えられたテーマに関する課題について自分で問いの設定を行なえるようになる
2. 自分が考えたアイデアについて意味や意図を正しく自分の言葉で説明できるようになる
3. 日中ビジネスや中国経済について関連する知識を習得し、文章やプレゼンテーションで説明できるようになる

授業計画

各回のテーマ案は、状況によっては変更する可能性がある。

【第1回】

テーマ：前期の振り返り、後期の展望

内容・方法：前期の振り返りと後期の展望を検討する

【第2回】

テーマ：ユニット1 テーマ案 中国の多様な地域性(2)

内容・方法：講義・グループワーク

【第3回】

テーマ：ユニット1 個人での発表を実践する

内容・方法：各自が指示されたことを調べて、その内容について発表する。質疑を通じて理解を深める

【第4回】

テーマ：ユニット2 テーマ案 中国の企業・会社法人(2)

内容・方法：講義・グループワーク

【第5回】

テーマ：ユニット2 個人またはグループでの発表を実践する

内容・方法：各自が指示されたことを調べて、その内容について発表する。質疑を通じて理解を深める

【第6回】

テーマ：キャリアサポートセンター／就職活動イベント

内容・方法：就職活動の本格化に向けてキャリアサポートセンター・ツアーを行う

【第7回】

テーマ：ユニット3 中国の社会問題

内容・方法：講義・グループワーク

【第8回】

テーマ：ユニット3 個人での発表を実践する

内容・方法：各自が指示されたことを調べて、その内容について発表する。質疑を通じて理解を深める

【第9回】

テーマ：ユニット4 中国の文化問題

内容・方法：講義・グループワーク

【第10回】

テーマ：ユニット4 個人での発表を実践する

内容・方法：各自が指示されたことを調べて、その内容について発表する。質疑を通じて理解を深める

【第11回】

テーマ：学部行事(仮)

内容・方法：学部行事(仮)に参加する

【第12回】

テーマ：ライブラリーツアー

内容・方法：図書館での論文・文献の探し方など

【第13回】

テーマ：ユニット5 中国の経済問題

内容・方法：講義・グループワーク

【第14回】

テーマ：ユニット5 個人での発表を実践する

内容・方法：各自が指示されたことを調べて、その内容について発表する。質疑を通じて理解を深める

【第15回】

テーマ：振り返りとまとめ
 内容・方法：授業内容の全体的な総括を行なう

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

- ① 事前学修課題：後期の授業に向けた自分の課題や展望を整理する
- ② 事後学修課題：後期の授業に向けた自分の課題や展望を整理する

【第2回】

- ① 事前学修課題：課題について事前に調べる
- ② 事後学修課題：課題について調べて、整理してまとめて、発表する準備を行なう

【第3回】

- ① 事前学修課題：発表する準備を行ない、自分の発表の練習をする
- ② 事後学修課題：自分の発表の良かったところ、改善すべきところなどの振り返りを行なう

【第4回】

- ① 事前学修課題：課題について事前に調べる
- ② 事後学修課題：課題について調べて、整理してまとめて、発表する準備を行なう

【第5回】

- ① 事前学修課題：発表する準備を行ない、自分の発表の練習をする
- ② 事後学修課題：自分の発表の良かったところ、改善すべきところなどの振り返りを行なう

【第6回】

- ① 事前学修課題：卒業後の進路について、自分なりの構想・希望をまとめてみる。
- ② 事後学修課題：卒業後の進路の考え方を再度確認し、自分なりの構想・希望をまとめてみる

【第7回】

- ① 事前学修課題：課題について事前に調べる
- ② 事後学修課題：課題について調べて、整理してまとめて、発表する準備を行なう

【第8回】

- ① 事前学修課題：発表する準備を行ない、自分の発表の練習をする
- ② 事後学修課題：自分の発表の良かったところ、改善すべきところなどの振り返りを行なう

【第9回】

- ① 事前学修課題：課題について事前に調べる
- ② 事後学修課題：課題について調べて、整理してまとめて、発表する準備を行なう

【第10回】

- ① 事前学修課題：発表する準備を行ない、自分の発表の練習をする
- ② 事後学修課題：自分の発表の良かったところ、改善すべきところなどの振り返りを行なう

【第11回】

- ① 事前学修課題：卒業後の進路について、自分なりの構想・希望をまとめてみる
- ② 事後学修課題：卒業後の進路の考え方を再度確認し、自分なりの構想・希望をまとめてみる

【第12回】

- ① 事前学修課題：ライブラリーツアーで調べたいトピックを考えておく
- ② 事後学修課題：ライブラリーツアーで学んだことを復習する

【第13回】

- ① 事前学修課題：課題について事前に調べる
- ② 事後学修課題：課題について調べて、整理してまとめて、発表する準備を行なう

【第14回】

- ① 事前学修課題：発表する準備を行ない、自分の発表の練習をする
- ② 事後学修課題：自分の発表の良かったところ、改善すべきところなどの振り返りを行なう

【第15回】

- ① 事前学修課題：年間の授業内容を振り返り、復習しておく
- ② 事後学修課題：セミナーⅣの授業に向けた自分の課題や展望を整理する

課題に対するフィードバックの方法

プレゼンテーションや課題レポートなどに関して、適宜コメントを行なう

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

発表、発言、クラスへの建設的な貢献 30%
 期中のレポート 40%
 振り返りのレポート 30%

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	30	発表、発言などクラスへの貢献	1、2、3
授業外での評価	40	期中のレポート	1、2、3
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	30	授業の振り返りについてまとめたものを提出する	1、2、3

その他	0		
テキスト	担当教員がプリント等を用意する		
参考書	授業の中で適宜紹介する		
履修条件・他の科目との関連	授業を欠席した場合は、その回のプリントを次回に渡す。その内容は自分でクラスメートや担当教員に確認する		

授業コード	13071544	授業形態	演習	実務家教員	○
授業科目名	セミナーⅢb [対面]				
シラバス執筆(全員)	佐々木 一雄				
シラバス執筆(主)	佐々木 一雄				
開講年次	3年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

本セミナーの目的は、以下の2点とする。

- 1) マーケティングの諸理論を学修し、それらをビジネスの現場で起きている出来事と関連づけて議論できる実践力を身につける。
- 2) 課題発見力、情報収集力、論理的思考力、文章力、プレゼンテーション能力を磨く。
担当教員が長年に亘り、企業において「経理および経営管理」業務に従事してきた経験をもとに、実務家教員として、学生の皆さんがビジネス感覚をもち、企業から求められる「一流の人材」になるために必要なサポートをしていく。ぜひ、希望と自信をもって、楽しみながら真剣に取り組んでほしい。

到達目標

1. マーケティングの諸理論をビジネスの現場で起きている出来事と関連づけて議論できる。
2. 課題発見力、情報収集力、論理的思考力を身につけている。
3. 卒論の執筆に必要な高度な文章力を身につけている。
4. プレゼンテーション技法を用いて、発表することができる。
5. 他者の発表に対して質問やコメントができる。

授業計画

- 【第1回】夏休み課題の報告
内容：各自、夏休みの課題について報告する。
- 【第2回】キャリアサポーター
内容：キャリアサポートセンターにおける就職ガイダンスと模擬面談を実施する。
- 【第3回】ビジネスモデルのマネジメント
内容：石井他『1からのマーケティング』第11章
- 【第4回】顧客理解のマネジメント
内容：石井他『1からのマーケティング』第12章
- 【第5回】合同セミナー
内容：卒業生による講演会
- 【第6回】ブランド構築のマネジメント
内容：石井他『1からのマーケティング』第13章
- 【第7回】ブランド組織のマネジメント
内容：石井他『1からのマーケティング』第14章
- 【第8回】社会責任のマネジメント
内容：石井他『1からのマーケティング』第15章
- 【第9回】論理的思考とアカデミック・ライティング（1）
内容：演習と発表を行う。
- 【第10回】論理的思考とアカデミック・ライティング（2）
内容：演習と発表を行う。
- 【第11回】ライブラリーツアー
内容：図書館で論文・文献の探し方などを学修する。
- 【第12回】卒業研究テーマの概要（1）
内容：卒業研究の概要（テーマ設定の理由、構成、研究計画等）を発表する。
- 【第13回】卒業研究テーマの概要（2）
内容：卒業研究の概要（テーマ設定の理由、構成、研究計画等）を発表する。
- 【第14回】卒業研究テーマの概要（3）
内容：卒業研究の概要（テーマ設定の理由、構成、研究計画等）を発表する。
- 【第15回】総括
内容：授業内容の全体的な総括を行う。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

- 【第1回】
事前学習課題：夏期休暇課題の発表の準備をする。
事後学習課題：夏期休暇課題の振り返りを行う。
- 【第2回】
事前学習課題：夏期インターンシップについて振り返り、卒業後の進路についての構想・希望をまとめてみる。
事後学習課題：キャリアサポーターで学んだことを復習する。
- 【第3回】～【第4回】
事前学習課題：テキストの当該テーマ箇所を通読し、疑問点をまとめておく。
事後学習課題：授業で学んだことを復習する。

【第5回】

事前学習課題：卒業後の進路について、希望する業種・職種を考えておく。

事後学習課題：就職合同セミナーで学んだことを復習する。

【第6回】～【第8回】

事前学習課題：テキストの当該テーマ箇所を通読し、疑問点をまとめておく。

事後学習課題：授業で学んだことを復習する。

【第9回】～【第10回】

事前学習課題：配布資料を通読し、疑問点をまとめておく。

事後学習課題：授業で学んだことを復習する。

【第11回】

事前学習課題：ライブラリツアーで調べたいことをまとめておく。

事後学習課題：卒業研究に必要な論文・書籍を読み、気づいた点をまとめる。

【第12回】～【第14回】

事前学習課題：卒業研究の概要（テーマ設定の理由、構成、研究計画等）をまとめる。

事後学習課題：授業中に指摘された点や自分自身で気づいた点をまとめる。

【第15回】

事前学習課題：後期の振り返りを行い、卒業研究の準備事項を確認しておく。

事後学習課題：卒業研究の概要を1,500～2,000字にまとめた「期末レポート」を提出する。

課題に対するフィードバックの方法

課題として提出されたレポート等に対して、授業中にコメントを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	セミナーへの積極的参加度(50)	1, 4, 5
授業外での評価	30	課題(30)	2, 3
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	期末レポート(20)	2, 3
その他	0		

テキスト	石井淳蔵他(2019)『1からのマーケティング<第4版>』碩学舎 2,400円(税別)ISBN978-4502327711
------	---

参考書	必要に応じて適宜紹介する。
-----	---------------

履修条件・他の科目との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・無断欠席、遅刻は厳しく評価する。 ・授業には、テキストの該当箇所を事前に読んだうえで臨むこと。 ・事前課題は、必ず期限までに提出すること。 ・議論には積極的に参加すること。 ・グループ発表には、メンバー全員が協力して取り組むこと。 ・関連科目として「マーケティング入門」「ビジネスマネジメント I」を履修することを推奨する。
---------------	--

授業コード	13071545	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅢb [対面]				
シラバス執筆(全員)	岡本 容典				
シラバス執筆(主)	岡本 容典				
開講年次	3年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

IT(情報技術)人材の不足が叫ばれて久しく、その問題は依然として解決には至っていない。近年では、デジタル化の進展やAI、IoT、ビッグデータの活用が急速に進む中で、優れたITスキルを持つ人材の需要はさらに高まりつつある。一方で、それに対応できる人材の供給は追いついておらず、今後ますますその不足が深刻化すると予測されている。このような状況を踏まえ、本セミナーでは、IT分野における専門知識の習得に重点を置き、特にプログラミング言語を用いたソフトウェア開発能力の向上を目的としている。本セミナーを通じて実践的な知識を身につけ、将来的にIT業界で即戦力として活躍できるよう支援することを目指す。

到達目標

1. アルゴリズムの基本的な考え方を説明できる。
2. プログラミング言語の基本的な命令の意味を説明できる。
3. プログラミング言語を用いて、目的に応じたプログラムを作成できる。

授業計画

- 【第1回】 ガイダンス
- 【第2回】 プログラムコンテストのテーマ選択(1)
- 【第3回】 プログラムコンテストのテーマ選択(2)
- 【第4回】 オリジナルなソフトの開発(1)
- 【第5回】 オリジナルなソフトの開発(2)
- 【第6回】 オリジナルなソフトの開発(3)
- 【第7回】 オリジナルなソフトの開発(4)
- 【第8回】 中間発表会
- 【第9回】 ソフトの改良(1)
- 【第10回】 ソフトの改良(2)
- 【第11回】 最終発表会準備(1)
- 【第12回】 最終発表会準備(2)
- 【第13回】 最終発表会(1)
- 【第14回】 最終発表会(2)
- 【第15回】 まとめ

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

毎回の授業で課題を課すので、次の授業時に提出すること。

課題に対するフィードバックの方法

授業内の課題については机間巡視により理解度を把握し、間違いや優れた点の指摘、助言等を行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

授業期間中に実施される課題と、全授業終了後に実施される定期試験に代わるレポート試験の評価結果に基づいて総合的に判定した結果、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合(%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	授業期間中に実施される課題	1、2、3
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	40	全授業終了後に実施されるレポート試験	1、2、3
その他	0		

テキスト

必要に応じてPDFプリントを配布する。

参考書	必要に応じて授業の中で紹介する。
履修条件・他の科目との関連	毎回ノートPCを持参してください。

授業コード	13071546	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅢb [対面]				
シラバス執筆(全員)	董 玉テイ				
シラバス執筆(主)	董 玉テイ				
開講年次	3年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

本セミナーでは、4年次生の卒業研究に結びつくような学習を行う。授業中幅広い分野の文献の精読し、その中で、論の展開・構成方法を説明する。特に各自が興味をもった事柄について調査し、関連する文献や論文を選び、ハンドアウトにまとめ、自分の意見とともに発表する。その中で、他の受講生とテーマについて議論していく。

到達目標

1. 論理的な議論を展開することができる。
2. 効果的なプレゼンテーションをすることができる。
3. 論理的な構成で、わかりやすい文章を書くことができる。

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：イントロダクション
 内容・方法：夏期休暇中の課題を提出し、後期の授業内容について説明する。
- 【第2回】
 テーマ：夏期休暇課題の発表(1)
 内容・方法：受講生が夏期休暇中の課題を発表し、他の者はそれに対してコメントする。
- 【第3回】
 テーマ：夏期休暇課題の発表(2)
 内容・方法：受講生が夏期休暇中の課題を発表し、他の者はそれに対してコメントする。
- 【第4回】
 テーマ：夏期休暇課題の発表(3)
 内容・方法：受講生が夏期休暇中の課題を発表し、他の者はそれに対してコメントする。
- 【第5回】
 テーマ：テーマ再考
 内容・方法：各自のテーマについて方向性を考える。
- 【第6回】
 テーマ：各自のテーマに関する調査
 内容・方法：各自のテーマに関連する文献を調査し、参考文献のリストアップする。
- 【第7回】
 テーマ：先行研究の発表(1)
 内容・方法：受講者各自による関連分野の先行研究を発表する。
- 【第8回】
 テーマ：先行研究の発表(2)
 内容・方法：受講者各自による関連分野の先行研究を発表する。
- 【第9回】
 テーマ：先行研究の発表(3)
 内容・方法：受講者各自による関連分野の先行研究を発表する。
- 【第10回】
 テーマ：先行研究の発表(4)
 内容・方法：受講者各自による関連分野の先行研究を発表する。
- 【第11回】
 テーマ：先行研究の発表(5)
 内容・方法：受講者各自による関連分野の先行研究を発表する。
- 【第12回】
 テーマ：先行研究の発表(6)
 内容・方法：受講者各自による関連分野の先行研究を発表する。
- 【第13回】
 テーマ：卒業研究に関する指導
 内容・方法：問いを立て主張を決めよう。
- 【第14回】
 テーマ：卒業研究に関する指導
 内容・方法：アウトラインを決め根拠をそろえよう。
- 【第15回】
 テーマ：卒業研究計画、授業のまとめ他
 内容・方法：卒業研究計画書の提出、年間授業のまとめ、4年次に向けての課題等。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

事前、事後学習として、下記の内容について毎回、それぞれ1時間以上の学習が必要。
 事前学修課題：卒業研究論文の書き方について書かれた参考書を使った自主学習。関連分野の文献調査とまとめ。
 事後学修課題：指摘されたコメントに基づいて加筆・修正する。

課題に対するフィードバックの方法

- ・それぞれの調査・発表についてコメントするとともに、補足説明などを行う。
- ・学習相談を授業前後で対応する。
- ・授業を欠席した場合は、その回のハンドアウトを次回に渡す。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	発表の質(30)、発言等(20)によって評価する。	1, 2, 3
授業外での評価	30	毎回の課題の出来栄によって評価する。	1, 2, 3
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	期末の課題の出来栄によって評価する。	1, 2, 3
その他	0		

テキスト 授業中にプリントを配布する。

参考書 授業中に指示する。

履修条件・他の科目との関連

- ・授業には、提示された文献の予習、事前の調査を行った上で臨むこと。
- ・議論には、積極的に参加すること。
- ・やむを得ない事情で遅刻したり欠席する場合には、必ず担当教員に連絡すること。
- ・15回の授業のうち、三分之一、つまり5回以上欠席した場合は、単位を取得できない。
- ・同様に、特段の理由のない遅刻・早退は1/2回分の欠席と数えられるため注意すること。

授業コード	13071547	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅢb [対面]				
シラバス執筆(全員)	O. J. クロー				
シラバス執筆(主)	O. J. クロー				
開講年次	3年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

This seminar will build your knowledge of Sustainable Development Goals (SDGs) and English communication ability. All students are expected to participate actively in researching, discussing, and presenting on each topic introduced. Particular emphasis is placed on academic writing skills, research papers, and giving research presentations in order to prepare you for your graduation thesis in the next year.

到達目標

1. Further build understanding of SDGs (SDGsの理解を深める)
2. Expose students to various topics and global issues (様々なトピックやグローバルな問題に触れることができる)
3. Further enhance academic writing skills (アカデミックライティングスキルのさらなる向上)
4. Understand the structure of a research paper (研究論文の構成を理解する)
5. Learn how to write an abstract (アブストラクトの書き方を学ぶ)

授業計画

- 【第1回】
 テーマ: Orientation・Unit 8 - Structure of a Research Paper (1)
 内容・方法: Course introduction, Understand the overall flow and structure of a research paper, Collect previous research papers for next class
- 【第2回】
 テーマ: Unit 8 - Structure of a Research Paper (2)
 内容・方法: Use previous research as a reference, Create a list of research information needed to write an abstract
- 【第3回】
 テーマ: Unit 9 - Key Concepts of an Abstract (1)
 内容・方法: Important features of an abstract, How to write the most important information, "Purpose of the research"
- 【第4回】
 テーマ: Unit 9 - Key Concepts of an Abstract (2)
 内容・方法: Writing a statement of the purpose of your research
- 【第5回】
 テーマ: Unit 10 - First Draft of Your Abstract (1)
 内容・方法: Drafting the abstract, How to write the "research background" information
- 【第6回】
 テーマ: Unit 10 - First Draft of Your Abstract (2)
 内容・方法: Write the "research background" portion of the abstract, Connect it with the research objective, Expressions necessary to connect sentences
- 【第7回】
 テーマ: Unit 11 - Rewriting Your Abstract (1)
 内容・方法: Finalise the final draft of your abstract, Organize it and understand how to self-check it
- 【第8回】
 テーマ: Unit 11 - Rewriting Your Abstract (2)
 内容・方法: Finish the final draft of your abstract
- 【第9回】
 テーマ: Unit 11 - Rewriting Your Abstract (3)
 内容・方法: Self-check your abstract and submit your manuscript
- 【第10回】
 テーマ: Unit 12 - Key Concepts of Presentations
 内容・方法: Difference between a presentation and a research paper, Organization, language, and content
- 【第11回】
 テーマ: Unit 13 - Preparing Visual Aids
 内容・方法: Creating visual aids and slides, Understand the specific language and style of presentation slides
- 【第12回】
 テーマ: Unit 14 - Finishing Your Script (1)
 内容・方法: Prepare presentation drafts, Understand the colloquialisms and styles of language for slides, Finish slides
- 【第13回】
 テーマ: Unit 14 - Finishing Your Script (2)

内容・方法: Finalize your presentation script and slides, Understanding the process and methods of self-checking,

【第14回】

テーマ: Unit 15 - Evaluating Your Presentation

内容・方法: Learn how to evaluate presentations, Give presentation and evaluate it

【第15回】

テーマ: Review of topics

内容・方法: Review test on Unit 8-15

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

①事前学修課題: Bring materials to study

②事後学修課題: Register for Google Classroom

【第2回】

①事前学修課題: Read handout

②事後学修課題: Review class content, Complete worksheet

【第3回】

①事前学修課題: Read handout

②事後学修課題: Review class content, Complete worksheet

【第4回】

①事前学修課題: Read handout

②事後学修課題: Review class content, Complete worksheet

【第5回】

①事前学修課題: Read handout

②事後学修課題: Review class content, Complete worksheet

【第6回】

①事前学修課題: Read handout

②事後学修課題: Review class content, Complete worksheet

【第7回】

①事前学修課題: Read handout

②事後学修課題: Review class content, Complete worksheet

【第8回】

①事前学修課題: Finish handout

②事後学修課題: Review class content, Complete worksheet

【第9回】

①事前学修課題: Read handout

②事後学修課題: Review class content, Complete worksheet

【第10回】

①事前学修課題: Read handout

②事後学修課題: Review class content, Complete worksheet

【第11回】

①事前学修課題: Read handout

②事後学修課題: Review class content, Complete worksheet

【第12回】

①事前学修課題: Read handout

②事後学修課題: Review class content, Complete worksheet

【第13回】

①事前学修課題: Read handout

②事後学修課題: Review class content, Complete worksheet

【第14回】

①事前学修課題: Read handout

②事後学修課題: Review class content, Complete worksheet

【第15回】

①事前学修課題: Finish handout

②事後学修課題: Review topics covered

課題に対するフィードバックの方法

Feedback on assignments will be provided regularly via instructor comments on Google Classroom. Your overall grade will also be visible on Google Classroom to check at any time. Overall feedback on course progress will be provided at midterm (8th class) and before the end of the term (14th class).

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on participation during in-class discussion, research activities, group reports & presentations, and a final term report. Students with marks of 60 or more will pass and get credit for the course. If a student is absent more than 4 times without a valid excuse, a [K] will be awarded.

以下に示す通り、成績は授業中の議論やグループレポート・発表、研究課題、そして期末レポートの結果に基づ

く総合的な評価により決定される。60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。正当な理由のない欠席が4回を超える場合は、「K」評価（不合格）とする。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Participation 15%, Classwork 15%, Research Presentation 20%	1, 2, 3, 4, 5
授業外での評価	30	Abstract Manuscript 20%, Presentation Script•Slides 10%	3, 4, 5
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Review Test 20%	1, 2, 4, 5
その他	0		

テキスト	Google Classroom プリントを配布する
------	-------------------------------

参考書	
-----	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13099101	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅣa (卒業研究を含む) [対面]				
シラバス執筆(全員)	瀬島 誠				
シラバス執筆(主)	瀬島 誠				
開講年次	4年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

セミナーⅢと同一担当教員のもとで、引き続き専門的なテーマで研究を行う。さらに専門性を高め、研究テーマに則した研究計画及び研究方法を探究する。研究の目的、仮説を設定するとともに、その先行研究を調査し、研究方法を取りまとめることで、研究の独自性を見出すことを試みる。さらに、各種のデータを収集整理し、卒業論文作成のための準備を具体的に進めることとする。

到達目標

1. 社会人になるために必要な知識や能力を身につける。
2. 社会人として活躍するための論理的な力、問題発見能力、推論能力、データ分析能力、プレゼンテーション能力を身につける。
3. 今後大きく変化する社会で生き残るための基盤的な能力を身につける。

授業計画

- 第1回 イン트로ダクション
- 第2回 専門論文の検討 (1)
- 第3回 専門論文の検討 (2)
- 第4回 専門論文の検討 (3)
- 第5回 卒業論文の検討 (1)
- 第6回 専門論文の検討 (4)
- 第7回 専門論文の検討 (5)
- 第8回 専門論文の検討 (6)
- 第9回 卒業論文の検討 (2)
- 第10回 専門論文の検討 (7)
- 第11回 専門論文の検討 (8)
- 第12回 専門論文の検討 (9)
- 第13回 卒業論文の検討 (3)
- 第14回 卒業論文のプレゼン資料作成
- 第15回 まとめと復習

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

課題の論文を読み込んで、その論旨、論理、方法論、結論の妥当性と頑強性などを検討する。

課題に対するフィードバックの方法

ゼミは少人数で構成されるので、毎回、研究の進捗状況についての評価をフィードバックして行く。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

ゼミは学生が自主的に課題に取り組む場所なので、平常点やレポート課題で評価を決める。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	70	出席などの平常点やレポート、論文の提出とその内容	1, 2, 3
授業外での評価	30	宿題や論文作成作業の進捗具合	1, 2, 3
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	0		

テキスト テキストは使用しない。必要に応じてプリントを配布する。

参考書 授業の内容に応じて、適宜紹介する。

履修条件・他の科目との関連

国際関係に関する授業をできるだけ多く履修していることが望ましい。

授業コード	13099102	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅣa（卒業研究を含む） [対面]				
シラバス執筆(全員)	下條 善史				
シラバス執筆(主)	下條 善史				
開講年次	4年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

本セミナーのテーマは「武器としての情報技術」である。21世紀を迎えて社会は大きく変質しようとしている。特にデジタル技術の発展は、20世紀までの人類社会と比べて、まるで異質な社会へと変化させつつあるように見える。インターネットに代表されるデジタルメディアは、人間同士のコミュニケーションに大きな変革をもたらし、情報通信にとどまらず、流通や生活形態までも変えようとしている。人工知能やロボットの社会進出も既定の事実となり、社会の変化は加速度的に起こっていくと考えられる。このような時代を背景とする現代人の知的活動にとって、最新技術を正確に理解し、その利用方法や可能性、そして限界を見定める訓練は重要であり、またその能力を身に付けることが、他者に対する大きなアドバンテージ(優位)ともなるはずである。本セミナーは、新技術を正しく理解し、社会的なその行く末を検討して、激しい変化に耐えうる現代の生活能力を身につけることを目標とする。

到達目標

1. 自身のテーマを定め、研究の過程とそのスケジュールを管理できること。
2. 研究テーマを元に資料を集め、分析し、結論を導くことができること。
3. 自身の思考の過程を、余すところなく論文や発表にて他者に対して表現し、伝えることができること。

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：ガイダンス
 内容・方法：年間予定の詳細
- 【第2回】
 テーマ：卒業研究の方法論(1)
 内容・方法：卒業研究から卒業論文執筆・発表までの概要
- 【第3回】
 テーマ：卒業研究の方法論(2)
 内容・方法：テーマの選定
- 【第4回】
 テーマ：卒業研究の方法論(3)
 内容・方法：先行研究の検索
- 【第5回】
 テーマ：卒業研究の方法論(4)
 内容・方法：研究方法の模索
- 【第6回】
 テーマ：卒業研究の方法論(5)
 内容・方法：データ収集
- 【第7回】
 テーマ：卒業研究の方法論(6)
 内容・方法：データ分析
- 【第8回】
 テーマ：卒業研究の方法論(5)
 内容・方法：考察
- 【第9回】
 テーマ：卒業論文の執筆(1)
 内容・方法：論文の体裁
- 【第10回】
 テーマ：卒業論文の執筆(2)
 内容・方法：章立て・内容
- 【第11回】
 テーマ：卒業論文の執筆(3)
 内容・方法：参考文献と著作権
- 【第12回】
 テーマ：テーマ発表
 内容・方法：セミナー内でテーマを発表
- 【第13回】
 テーマ：研究内容に関するディスカッション
 内容・方法：テーマや目的をブラッシュアップする。
- 【第14回】
 テーマ：スケジュールリング
 内容・方法：研究計画を策定する。
- 【第15回】
 テーマ：目的と評価
 内容・方法：論文の目的と、完成品の評価基準を定める。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

事前学習：事前資料を熟読し、授業内での行動計画を立てる。
事後学習：授業内容を復習し、事前計画との齟齬を修正し次回に備える。

課題に対するフィードバックの方法

定期的な面談によって個別にフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

出席と受講態度、意欲などの平常点を重視する。さらには卒業研究に対する評価を加えて成績とする。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	20	研究に対する日ごろの態度と成果をもって評価する。	1, 2
授業外での評価	80	卒業研究の成果と卒業論文の提出と発表をもって評価する。	3
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	0		

テキスト	特に指定しない。
参考書	各テーマの都度、必要に応じて紹介する。
履修条件・他の科目との関連	セミナーⅠ、Ⅱ、Ⅲを履修していること。

授業コード	13099103	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅣa (卒業研究を含む) [対面]				
シラバス執筆(全員)	小瀬木 えりの				
シラバス執筆(主)	小瀬木 えりの				
開講年次	4年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

3年次に各自が構想し始めたテーマに基づいた研究を継続し、卒業研究を完成することを目標とする。前期には、各自が適宜テーマや内容の修正を図り、その概要を順次発表する。それらの発表に対して、内容を深化させるためにクラス・ディスカッションや担当者からのアドバイスを行う。関連文献の収集をさらに進め、参考文献リストを充実させるために、図書館ツアーも実施する予定である。そして、7月の中間発表までに卒業研究計画の構想を完成する。夏期休暇中には、前期に検討し精査を経た卒業研究のテーマに沿って、後期までに6割の完成を目指して卒業研究の執筆を開始する。

到達目標

1. 卒業研究に必要な情報収集や文献調査を行う能力、集めた情報や文献を取捨選択し、まとめる能力を身につける
2. 卒業研究を構想し、全体を構成し、執筆する能力を身につける
3. 他者の発表を傾聴し、内容に応じた適切な質問やコメントができる
4. 学習の目標設定と実現に向けての自己管理、ふり返りの習慣と能力を身につける

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：年間授業の方針と進め方
 内容・方法：年間授業の方針と進め方の説明
- 【第2回】
 テーマ：卒業研究論文の執筆指導（1）
 内容・方法：卒業研究の仮アウトラインと概要の検討・調整
- 【第3回】
 テーマ：卒業研究論文の執筆指導（2）
 内容・方法：卒業研究テーマに関する文献検索(図書館ツアーを中心に)
- 【第4回】
 テーマ：卒業研究テーマに関する発表（1）
 内容・方法：卒業研究テーマに関する各自の発表とディスカッション1
- 【第5回】
 テーマ：卒業研究テーマに関する発表（2）
 内容・方法：卒業研究テーマに関する各自の発表とディスカッション2
- 【第6回】
 テーマ：卒業研究テーマに関する発表（3）
 内容・方法：卒業研究テーマに関する各自の発表とディスカッション3
- 【第7回】
 テーマ：卒業研究テーマに関する発表（4）
 内容・方法：卒業研究テーマに関する各自の発表とディスカッション4
- 【第8回】
 テーマ：卒業研究テーマに関する発表（5）
 内容・方法：卒業研究テーマに関する各自の発表とディスカッション5
- 【第9回】
 テーマ：卒業研究テーマに関する再発表（1）
 内容・方法：各自の卒業研究テーマに関する調整と検討（1）
- 【第10回】
 テーマ：卒業研究テーマに関する再発表（2）
 内容・方法：各自の卒業研究テーマに関する調整と検討（2）
- 【第11回】
 テーマ：卒業研究テーマに関する再発表（3）
 内容・方法：各自の卒業研究テーマに関する調整と検討（3）
- 【第12回】
 テーマ：卒業研究テーマに関する再発表（4）
 内容・方法：各自の卒業研究テーマに関する調整と検討（4）
- 【第13回】
 テーマ：卒業研究テーマに関する再発表（5）
 内容・方法：各自の卒業研究テーマに関する調整と検討（5）
- 【第14回】
 テーマ：卒業研究中間発表会
 内容・方法：各自指定された教室・担当者の下での卒業研究構想発表
- 【第15回】
 テーマ：卒業研究中間発表の反省
 内容・方法：卒業研究中間発表会の講評を受けての反省とテーマの調整、後期の指導予定の検討

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

各回、事前学習は2時間、事後学習は2時間を目安とする。

【第1回】

- ①事前学修課題：3年次に提出を求められた課題への取り組み
- ②事後学修課題：卒業研究論文に取り組むための準備学習

【第2回】

- ①事前学修課題：参考書に基づいた卒業研究論文の書き方についての自主学習
- ②事後学修課題：授業で学習したことの復習

【第3回】

- ①事前学修課題：事前に予告された文献検索についての自主学習
- ②事後学修課題：授業で学習したことの復習

【第4回】

- ①事前学修課題：事前に予告されたテーマに関する自主学習
- ②事後学修課題：授業で学習したことの復習

【第5回】

- ①事前学修課題：事前に予告されたテーマに関する自主学習
- ②事後学修課題：授業で学習したことの復習

【第6回】

- ①事前学修課題：事前に予告されたテーマに関する自主学習
- ②事後学修課題：授業で学習したことの復習

【第7回】

- ①事前学修課題：事前に予告されたテーマに関する自主学習
- ②事後学修課題：授業で学習したことの復習

【第8回】

- ①事前学修課題：事前に予告されたテーマに関する自主学習
- ②事後学修課題：授業で学習したことの復習

【第9回】

- ①事前学修課題：事前に予告されたテーマに関する自主学習
- ②事後学修課題：授業で学習したことの復習

【第10回】

- ①事前学修課題：事前に予告されたテーマに関する自主学習
- ②事後学修課題：授業で学習したことの復習

【第11回】

- ①事前学修課題：事前に予告されたテーマに関する自主学習
- ②事後学修課題：授業で学習したことの復習

【第12回】

- ①事前学修課題：事前に予告されたテーマに関する自主学習
- ②事後学修課題：授業で学習したことの復習

【第13回】

- ①事前学修課題：事前に予告されたテーマに関する自主学習
- ②事後学修課題：授業で学習したことの復習

【第14回】

- ①事前学修課題：卒業研究中間発表会に向けた資料作成と発表練習
- ②事後学修課題：卒業研究構想の見直し、意見を踏まえての修正

【第15回】

- ①事前学修課題：発表後の構想の見直し、意見を踏まえての修正
- ②事後学修課題：評価のフィードバックを受けての構想の手直し

課題に対するフィードバックの方法

研究テーマの授業での発表時に、その内容の検討に基づいて指導・アドバイスを行うことでフィードバックする。この他に、必要に応じてgoogle classroomやメール等で、担当者から受講者に対して個別に提出期限前のコメントやアドバイスを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。公欠や公共交通機関の運行停止など本人の責に帰せない事情、客観的なエビデンスを提示できる病気や怪我、または特別配慮願の対象として配慮が必要な場合等を除き、特段の理由なく欠席が全授業中6回以上に上る受講者は「K」評価とする。前記の諸事情のどれにも該当しない場合の遅刻も2回で1回の欠席相当と見なすため注意すること。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	75	他者の発表に対する質問・コメント等の発言、PC等の授業に必要なツールや資料の忘れ物がないかどうか(45)、自身の卒業研究テーマの構想発表(15)	1, 2, 3
授業外での評価	20	中間発表に向けての準備、期限に間に合って提出できるかどうか(20)	1, 2, 3

定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	5	全15回の全授業終了後に期限までに提出するレポート	4
その他	0		

テキスト	テキストを使用しない		
------	------------	--	--

参考書	『よくわかる卒論の書き方:やわらかアカデミズム〈わかる〉シリーズ』 白井利明・高橋一郎著編 ミネルヴァ書房 2009年 本体2625円。これ以外は必要に応じて授業の中で紹介する。		
-----	---	--	--

履修条件・他の科目との関連	各自の研究テーマにもよるが、「異文化コミュニケーション」、「アジアの歴史と文化」、「文化人類学特論」、「国際社会学」などの科目を履修すると、そのセミナーで指導する卒業研究のテーマに関連した知見を得ることができ、有益であると思われる。やむを得ない事情で遅刻したり欠席する場合には、必ず担当者に連絡すること。これ以外にも常時タイミングを見計らった報連相を心掛けること。卒業研究のテーマを探求し、それに必要な知識と情報を増やす努力を常に心がけることが求められる。		
---------------	--	--	--

授業コード	13099104	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅣa（卒業研究を含む） [対面]				
シラバス執筆(全員)	山下 純				
シラバス執筆(主)	山下 純				
開講年次	4年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

本セミナーの目的は3点とする。

1. 社会人になるために必要な知識や能力を身につける。
2. 社会人として活躍するために求められる論理力、課題認識力、推論能力、データ分析能力、プレゼンテーション能力を身につける。
3. 今後大きく変化するグローバル社会を自分らしく生き抜いていくための教養を身につける。

前期は、卒業研究論文の中間発表原稿の完成と中間発表会でのプレゼンテーションの成功を第一の目標として取り組む。

後期は、卒業研究論文の最終稿の完成と卒業研究発表会でのプレゼンテーションの成功を目標として取り組む。卒業論文の指導に加えて、受講生の皆さんが就職活動で成果をあげられるように、各自の主体的な活動を促し、キャラサポートセンター（CSC）の定期的なカウンセリングを受けるようサポート・指導する。

到達目標

1. 自分の卒業研究論文のテーマを確定させることができる。
2. 自分の卒業研究論文のテーマに沿った文献の収集と分析を行なうことができる。
3. 自分の卒業研究論文の中間報告をわかりやすく発表することができる。
4. 自分の研究の中間報告資料を完成させることができる。

授業計画

各回のテーマ案は、状況によっては変更する可能性がある。

【第1回】

テーマ：卒業研究テーマの確認

内容・方法：卒業研究テーマの確認を行う

【第2回】

テーマ：研究テーマの検討（1）

内容・方法：グループごとにメンバーの研究テーマを検討する

【第3回】

テーマ：研究テーマについての発表（1）

内容・方法：グループごとにメンバーの研究テーマについて発表する

【第4回】

テーマ：研究テーマの検討（2）

内容・方法：グループごとにメンバーの研究テーマを検討する

【第5回】

テーマ：研究テーマについての発表（2）

内容・方法：グループごとにメンバーの研究テーマについて発表する

【第6回】

テーマ：研究テーマの検討（3）

内容・方法：グループごとにメンバーの研究テーマを検討する

【第7回】

テーマ：研究テーマについての発表（3）

内容・方法：グループごとにメンバーの研究テーマについて発表する

【第8回】

テーマ：ライブラリー・ツアー

内容・方法：卒業研究論文を書くための図書館の利用法について説明する

【第9回】

テーマ：中間発表の準備（1）

内容・方法：中間発表の準備を行なう

【第10回】

テーマ：中間発表の準備（2）

内容・方法：中間発表の準備を行なう

【第11回】

テーマ：中間発表原稿の作成

内容・方法：中間発表の原稿およびスライドを作成する

【第12回】

テーマ：中間発表のセミナー内リハーサル

内容・方法：中間発表のために、セミナー内でリハーサルを行なう

【第13回】

テーマ：中間発表

内容・方法：卒業研究の中間発表を行なう

【第14回】

テーマ：中間発表のふりかえり

内容・方法：中間発表で指摘された課題についてふりかえり改善案を検討する

【第15回】

テーマ：夏期休暇中の論文執筆の計画発表
 内容・方法：夏期休暇中に行う論文執筆の計画を発表する

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

- ①事前学修課題：春季休暇の課題を完成させてくる
- ②事後学修課題：授業の内容を復習する

【第2回】

- ①事前学修課題：課題について事前に調べる
- ②事後学修課題：チームで連携しながら課題について調べて、整理してまとめて、発表する準備を行なう

【第3回】

- ①事前学修課題：チームで連携しながら発表する準備を行ない、自分の発表の練習をする
- ②事後学修課題：自分の発表の良かったところ、改善すべきところなどの振り返りを行なう

【第4回】

- ①事前学修課題：課題について事前に調べる
- ②事後学修課題：チームで連携しながら課題について調べて、整理してまとめて、発表する準備を行なう

【第5回】

- ①事前学修課題：チームで連携しながら発表する準備を行ない、自分の発表の練習をする
- ②事後学修課題：自分の発表の良かったところ、改善すべきところなどの振り返りを行なう

【第6回】

- ①事前学修課題：課題について事前に調べる
- ②事後学修課題：チームで連携しながら課題について調べて、整理してまとめて、発表する準備を行なう

【第7回】

- ①事前学修課題：チームで連携しながら発表する準備を行ない、自分の発表の練習をする
- ②事後学修課題：自分の発表の良かったところ、改善すべきところなどの振り返りを行なう

【第8回】

- ①事前学修課題：ライブラリーツアーで調べたいトピックを考えておく
- ②事後学修課題：ライブラリーツアーで学んだことを復習する

【第9回】

- ①事前学修課題：中間発表の題材のアウトラインを書いてくる
- ②事後学修課題：中間発表の原稿を書き始める

【第10回】

- ①事前学修課題：中間発表の原稿の下書きを書いてくる
- ②事後学修課題：中間発表の原稿を完成させる

【第11回】

- ①事前学修課題：中間発表の原稿の下書きを書いてくる
- ②事後学修課題：中間発表の原稿を完成させる

【第12回】

- ①事前学修課題：中間発表の原稿を完成させる
- ②事後学修課題：中間発表の原稿の論点を確認し、想定される質問を検討する

【第13回】

- ①事前学修課題：中間発表のプレゼンテーションの練習をする
- ②事後学修課題：指摘されたコメントに基づいて、今後の論文の進め方を検討する

【第14回】

- ①事前学修課題：中間発表で指摘されたコメントをまとめてくる
- ②事後学修課題：中間発表で指摘されたコメントを検討して自らの論文を考察する

【第15回】

- ①事前学修課題：夏期休暇中に行う論文執筆の計画を完成させてくる
- ②事後学修課題：発表において指摘された課題について改善案を検討する

課題に対するフィードバックの方法

プレゼンテーションや課題レポートなどに関して、適宜コメントを行なう

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

授業内でのディスカッションへの参画や研究への積極的な取り組み姿勢など 30%
 研究に必要な文献調査、定性調査などの実施とその成果30%
 卒業研究中間原稿 30%
 中間発表 10%
 提出された卒業研究中間原稿の内容をもとに総合的に評価する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	30	授業内でのディスカッションへの参画や研究への積極的な取り組み姿勢など(30)	1、2、3、4
授業外での評価	30	研究に必要な文献調査、定性調査などの実施とその成果(30)	1、2、3、4

定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	40	卒業研究中間原稿(30) 中間発表 (10)	1、2、3、4
その他	0		
テキスト	担当教員がプリント等を用意する		
参考書	授業の中で適宜紹介する		
履修条件・他の科目との関連	卒業研究論文の執筆に対する積極的な取組みを期待する		

授業コード	13099105	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅣa（卒業研究を含む） [対面]				
シラバス執筆(全員)	佐々木 一雄				
シラバス執筆(主)	佐々木 一雄				
開講年次	4年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

セミナーⅢに引き続き、各自が進めている研究テーマに基づき、卒業研究論文を完成させる。それぞれの研究課題に応じた参考文献を提示し、研究に必要な概念の説明を行う。また、学生各自はプレゼンテーションを複数回行い、わかりやすい説明の仕方を学ぶ。

到達目標

1. 卒業研究に必要な情報収集や文献調査を行い、集めた情報や文献を取捨選択し、まとめることができる。
2. 卒業研究の構想を立て、全体の構成を考え、論文を執筆することができる。
3. 卒業研究の中間報告をわかりやすく発表することができる。
4. 他者の発表を傾聴し、内容に応じた適切な質問やコメントを行うことができる。

授業計画

- 【第1回】
テーマ：オリエンテーション
内容・方法：本セミナーの内容を説明する。
- 【第2回】
テーマ：春休み中の研究成果発表
内容・方法：春期休暇中の課題を提出し、春期休暇中に学んだことを述べる。
- 【第3回】
テーマ：図書館の利用法
内容・方法：卒論を書くための図書館の利用法について説明する。
- 【第4回】
テーマ：卒業研究の論文構成について
内容・方法：過去の卒業論文を批判的に読む。
- 【第5回】
テーマ：参考文献の書き方について
内容・方法：参考文献の書き方について説明する。
- 【第6回】
テーマ：参考文献のリストアップ
内容・方法：参考文献のリストアップ法を説明する。
- 【第7回】
テーマ：研究概要の発表（1）：序論
内容・方法：各自のテーマに関する調査を行い、進捗状況を発表する。
- 【第8回】
テーマ：研究概要の発表（2）：本論
内容・方法：各自のテーマに関する調査を行い、進捗状況を発表する。
- 【第9回】
テーマ：中間発表の準備
内容・方法：中間発表の準備をする。
- 【第10回】
テーマ：中間発表原稿の作成
内容・方法：中間発表の原稿を作成する。
- 【第11回】
テーマ：中間発表のセミナー内リハーサル
内容・方法：中間発表のために、セミナー内でリハーサルを行う。
- 【第12回】
テーマ：中間発表
内容・方法：卒業研究の中間発表を行う。
- 【第13回】
テーマ：中間発表の反省
内容・方法：中間発表で指摘された点について検討する。
- 【第14回】
テーマ：夏期休暇中の論文執筆の計画
内容・方法：夏期休暇中に行う論文執筆の計画を立てる。
- 【第15回】
テーマ：夏期休暇中の論文執筆の計画発表
内容・方法：夏期休暇中に行う論文執筆の計画を発表する。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

- ①事前学修課題：今年度の目標を書いてくる。
- ②事後学修課題：本時のセミナーで学んだことをまとめる。

【第2回】

- ①事前学修課題：春期休暇中に学んだことを書いてくる。
- ②事後学修課題：春期休暇中に学んだことについて後期にどのようにいさせるか考察する。

【第3回】

- ①事前学修課題：図書館ホームページを検索してくる。
- ②事後学修課題：マイライブラリを活用する。

【第4回】

- ①事前学修課題：配布された卒業論文を読んでくる。
- ②事後学修課題：授業で読んだ論文を再度読み、自分なりの意見を持つ。

【第5回】

- ①事前学修課題：自分の取り組みたいテーマの参考文献を見つけてくる。
- ②事後学修課題：ルールに則った書き方で参考文献を書く。

【第6回】

- ①事前学修課題：自分の取り組みたいテーマの参考文献をリストアップしてくる。
- ②事後学修課題：ルールに則った書き方で参考文献をリストアップする。

【第7回】

- ①事前学修課題：各自テーマに関する調査をしてくる。
- ②事後学修課題：指摘されたコメントに基づいて修正する。

【第8回】

- ①事前学修課題：各自テーマに関する調査をしてくる。
- ②事後学修課題：指摘されたコメントに基づいて修正する。

【第9回】

- ①事前学修課題：中間発表の題材を箇条書きに書いてくる。
- ②事後学修課題：中間発表の原稿を書き始める。

【第10回】

- ①事前学修課題：中間発表の原稿の下書きを書いてくる。
- ②事後学修課題：中間発表の原稿を完成させる。

【第11回】

- ①事前学修課題：中間発表の原稿を完成させる。
- ②事後学修課題：中間発表の原稿を何度も読み返し、想定される質問を考える。

【第12回】

- ①事前学修課題：中間発表の原稿を何度も読む練習をする。
- ②事後学修課題：指摘されたコメントに基づいて、今後の論文の進め方を考える。

【第13回】

- ①事前学修課題：中間発表で指摘されたコメントをまとめてくる。
- ②事後学修課題：中間発表で指摘されたコメントを検討した結果、それをどのようにするか考察する。

【第14回】

- ①事前学修課題：文献を探してくる。
- ②事後学修課題：夏期休暇中に行う論文執筆の計画を完成させる。

【第15回】

- ①事前学修課題：夏期休暇中に行う論文執筆の計画を完成させてくる。
- ②事後学修課題：発表において指摘された点を修正する。

課題に対するフィードバックの方法

レポートについては採点后、返却する。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	自身の卒業研究テーマの構想発表、他者の発表に対する質問・コメント等の発言(50)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	30	中間発表に向けての準備(30)	1, 2, 3
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	中間発表原稿(10)、中間発表(10)	1, 2, 3, 4
その他	0		

テキスト	プリントを配布する
参考書	適宜、案内する。
履修条件・他の科目との関連	・議論に積極的に参加すること。

履修条件・他の科目との関連

- ・無断での欠席、遅刻は厳しく評価する。
- ・授業を欠席した場合は、その回のハンドアウトを次回に渡す。

授業コード	13099106	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅣa (卒業研究を含む) [対面]				
シラバス執筆(全員)	岡本 容典				
シラバス執筆(主)	岡本 容典				
開講年次	4年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

本セミナーでは、HTML5やJavaScriptをはじめとする多様なプログラミング手法を活用し、実践的なソフトウェア開発スキルの修得を目的とする。具体的には、最新のWeb技術を駆使しながら、ユーザーインターフェースの設計や動的なコンテンツの作成など、多岐にわたる開発手法を学ぶ。そして、これらの技術を応用し、創造的かつ実用的なプロジェクトの企画・設計・開発を行い、自由な発想に基づく独創的な卒業研究に取り組む。研究テーマの選定から実装、評価に至るまでのプロセスを経験することで、問題解決能力や論理的思考力を養い、実社会で求められる開発力の向上を図ることを目指す。

到達目標

1, 卒業研究を通じて、オリジナルな発想に基づくソフトウェア開発能力を獲得する。

授業計画

- 【第1回】 卒業研究に関する事前調査(1)
- 【第2回】 卒業研究に関する事前調査(2)
- 【第3回】 卒業研究に関する事前調査(3)
- 【第4回】 卒業研究に関する事前調査(4)
- 【第5回】 卒業研究のテーマ検討(1)
- 【第6回】 卒業研究のテーマ検討(2)
- 【第7回】 卒業研究のテーマ検討(3)
- 【第8回】 卒業研究のテーマ決定
- 【第9回】 卒業研究(1)
- 【第10回】 卒業研究(2)
- 【第11回】 卒業研究(3)
- 【第12回】 卒業研究(4)
- 【第13回】 卒業研究(5)
- 【第14回】 卒業研究(6)
- 【第15回】 中間発表会

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

毎回の授業で課題を課すので、次の授業時に提出すること。

課題に対するフィードバックの方法

授業内の課題については机間巡視により理解度を把握し、間違いや優れた点の指摘、助言等を行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

授業期間中に実施される課題と、全授業終了後に実施される定期試験に代わるレポート試験の評価結果に基づいて総合的に判定した結果、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	授業期間中に実施される課題	1
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	40	全授業終了後に実施されるレポート試験	1
その他	0		

テキスト	必要に応じてPDFプリントを配布する。
参考書	必要に応じて授業の中で紹介する。

履修条件・他の科目との関連

意欲的に取り組み、予習復習を行うこと。

授業コード	13099107	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅣa（卒業研究を含む） [対面]				
シラバス執筆(全員)	岩崎 真哉				
シラバス執筆(主)	岩崎 真哉				
開講年次	4年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

セミナーⅢに引き続き、各自が進めている研究テーマに基づき、卒業研究論文を完成させる。それぞれの研究課題に応じた参考文献を提示し、研究に必要な概念の説明を行う。また、学生各自はプレゼンテーションを複数回行い、わかりやすい説明の仕方を学ぶ。

到達目標

1. 自分の研究を卒業論文として完成させることができる。
2. 卒業研究発表会でわかりやすいプレゼンテーションを行うことができる。

授業計画

【第1回】
 テーマ：オリエンテーション
 内容・方法：本セミナーの内容を説明する。

【第2回】
 テーマ：春休み中の研究成果発表
 内容・方法：春期休暇中の課題を提出し、春期休暇中に学んだことを述べる。

【第3回】
 テーマ：図書館の利用法
 内容・方法：卒論を書くための図書館の利用法について説明する。

【第4回】
 テーマ：卒業研究の論文構成について
 内容・方法：過去の卒業論文を批判的に読む。

【第5回】
 テーマ：参考文献の書き方について
 内容・方法：参考文献の書き方について説明する。

【第6回】
 テーマ：参考文献のリストアップ
 内容・方法：参考文献のリストアップ法を説明する。

【第7回】
 テーマ：研究概要の発表（1）：序論
 内容・方法：各自のテーマに関する調査を行い、進捗状況を発表する。

【第8回】
 テーマ：研究概要の発表（2）：本論
 内容・方法：各自のテーマに関する調査を行い、進捗状況を発表する。

【第9回】
 テーマ：中間発表の準備
 内容・方法：中間発表の準備をする。

【第10回】
 テーマ：中間発表原稿の作成
 内容・方法：中間発表の原稿を作成する。

【第11回】
 テーマ：中間発表のセミナー内リハーサル
 内容・方法：中間発表のために、セミナー内でリハーサルを行う。

【第12回】
 テーマ：中間発表
 内容・方法：卒業研究の中間発表を行う。

【第13回】
 テーマ：中間発表の反省
 内容・方法：中間発表で指摘された点について検討する。

【第14回】
 テーマ：夏期休暇中の論文執筆の計画
 内容・方法：夏期休暇中に行う論文執筆の計画を立てる。

【第15回】
 テーマ：夏期休暇中の論文執筆の計画発表
 内容・方法：夏期休暇中に行う論文執筆の計画を発表する。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

- 【第1回】
 ①事前学修課題：今年度の目標を書いてくる。

- ②事後学修課題：本時のセミナーで学んだことをまとめる。
- 【第2回】
- ①事前学修課題：春期休暇中に学んだことを書いてくる。
- ②事後学修課題：春期休暇中に学んだことについて後期にどのようにいさせるか考察する。
- 【第3回】
- ①事前学修課題：図書館ホームページを検索してくる。
- ②事後学修課題：マイライブラリを活用する。
- 【第4回】
- ①事前学修課題：配布された卒業論文を読んでくる。
- ②事後学修課題：授業で読んだ論文を再度読み、自分なりの意見を持つ。
- 【第5回】
- ①事前学修課題：自分の取り組みたいテーマの参考文献を見つけてくる。
- ②事後学修課題：ルールに則った書き方で参考文献を書く。
- 【第6回】
- ①事前学修課題：自分の取り組みたいテーマの参考文献をリストアップしてくる。
- ②事後学修課題：ルールに則った書き方で参考文献をリストアップする。
- 【第7回】
- ①事前学修課題：各自テーマに関する調査をしてくる。
- ②事後学修課題：指摘されたコメントに基づいて修正する。
- 【第8回】
- ①事前学修課題：各自テーマに関する調査をしてくる。
- ②事後学修課題：指摘されたコメントに基づいて修正する。
- 【第9回】
- ①事前学修課題：中間発表の題材を箇条書きに書いてくる。
- ②事後学修課題：中間発表の原稿を書き始める。
- 【第10回】
- ①事前学修課題：中間発表の原稿の下書きを書いてくる。
- ②事後学修課題：中間発表の原稿を完成させる。
- 【第11回】
- ①事前学修課題：中間発表の原稿を完成させる。
- ②事後学修課題：中間発表の原稿を何度も読み返し、想定される質問を考える。
- 【第12回】
- ①事前学修課題：中間発表の原稿を何度も読む練習をする。
- ②事後学修課題：指摘されたコメントに基づいて、今後の論文の進め方を考える。
- 【第13回】
- ①事前学修課題：中間発表で指摘されたコメントをまとめてくる。
- ②事後学修課題：中間発表で指摘されたコメントを検討した結果、それをどのようにするか考察する。
- 【第14回】
- ①事前学修課題：文献を探してくる。
- ②事後学修課題：夏期休暇中に行う論文執筆の計画を完成させる。
- 【第15回】
- ①事前学修課題：夏期休暇中に行う論文執筆の計画を完成させてくる。
- ②事後学修課題：発表において指摘された点を修正する。

課題に対するフィードバックの方法

授業内での課題については、授業内に、その他の課題やレポートについては、Google Classroom等を用いてフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

授業への参加度30%と課題20%、研究論文成果と研究発表、研究への取り組みを合わせて50%

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	30	授業への参加度	1, 2
授業外での評価	20	課題	1, 2
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	50	レポート	1, 2
その他	0		

テキスト	プリントを配布する
参考書	適宜、案内する。
履修条件・他の科目との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・議論に積極的に参加すること。 ・無断での欠席、遅刻は厳しく評価する。 ・授業を欠席した場合は、その回のハンドアウトを次回に渡す。

授業コード	13099108	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅣa (卒業研究を含む) [対面]				
シラバス執筆(全員)	董 玉テイ				
シラバス執筆(主)	董 玉テイ				
開講年次	4年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

3年次に各自が構想し始めたテーマに基づいた研究を継続し、卒業研究を完成することを目標とする。前期には、各自が適宜テーマや内容の修正を図り、その概要を順次発表する。それらの発表に対して、内容を深化させるためにクラス・ディスカッションや担当者からのアドバイスを行う。前期にはまた関連文献の収集をさらに進め、参考文献リストを充実させる。そして、中間発表までに卒業研究計画の構想を完成する。夏期休暇中には、前期に検討し精査を経た卒業研究のテーマに沿って、後期までに6割の完成を目指して卒業研究論文の執筆を開始する。

到達目標

1. 卒業研究に必要な情報収集や文献調査を行う能力、集めた情報や文献を取捨選択し、まとめる能力を身につける。
2. 卒業研究を構想し、全体を構成し、執筆する能力を身につける。
3. 他者の発表を傾聴し、内容に応じた適切な質問やコメントができる。
4. 学習の目標設定と実現に向けての自己管理、ふり返りの習慣と能力を身につける。

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：年間授業の方針と進め方
 内容・方法：年間授業の方針と進め方の説明
- 【第2回】
 テーマ：卒業研究論文の執筆指導（1）
 内容・方法：卒業研究の仮アウトラインと概要の検討・調整
- 【第3回】
 テーマ：卒業研究論文の執筆指導（2）
 内容・方法：卒業研究の仮アウトラインと概要の検討・調整
- 【第4回】
 テーマ：卒業研究テーマに関する発表（1）
 内容・方法：卒業研究テーマに関する各自の発表とディスカッション1
- 【第5回】
 テーマ：卒業研究テーマに関する発表（2）
 内容・方法：卒業研究テーマに関する各自の発表とディスカッション2
- 【第6回】
 テーマ：卒業研究テーマに関する発表（3）
 内容・方法：卒業研究テーマに関する各自の発表とディスカッション3
- 【第7回】
 テーマ：卒業研究テーマに関する発表（4）
 内容・方法：卒業研究テーマに関する各自の発表とディスカッション4
- 【第8回】
 テーマ：卒業研究テーマに関する発表（5）
 内容・方法：卒業研究テーマに関する各自の発表とディスカッション5
- 【第9回】
 テーマ：卒業研究テーマに関する再発表（1）
 内容・方法：各自の卒業研究テーマに関する調整と検討（1）
- 【第10回】
 テーマ：卒業研究テーマに関する再発表（2）
 内容・方法：各自の卒業研究テーマに関する調整と検討（2）
- 【第11回】
 テーマ：卒業研究テーマに関する再発表（3）
 内容・方法：各自の卒業研究テーマに関する調整と検討（3）
- 【第12回】
 テーマ：卒業研究テーマに関する再発表（4）
 内容・方法：各自の卒業研究テーマに関する調整と検討（4）
- 【第13回】
 テーマ：卒業研究テーマに関する再発表（5）
 内容・方法：各自の卒業研究テーマに関する調整と検討（5）
- 【第14回】
 テーマ：卒業研究中間発表会
 内容・方法：各自指定された教室・担当者の下での卒業研究構想発表
- 【第15回】
 テーマ：卒業研究中間発表の反省
 内容・方法：卒業研究中間発表会の講評を受けての反省とテーマの調整、後期の指導予定の検討

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

各回、事前学習は2時間、事後学習は2時間を目安とする。

【第1回】

- ①事前学修課題：3年次に提出を求められた課題への取り組み
- ②事後学修課題：卒業研究論文に取り組むための準備学習

【第2回】

- ①事前学修課題：参考書に基づいた卒業研究論文の書き方についての自主学習
- ②事後学修課題：授業で学習したことの復習

【第3回】

- ①事前学修課題：事前に予告された文献検索についての自主学習
- ②事後学修課題：授業で学習したことの復習

【第4回】

- ①事前学修課題：事前に予告されたテーマに関する自主学習
- ②事後学修課題：授業で学習したことの復習

【第5回】

- ①事前学修課題：事前に予告されたテーマに関する自主学習
- ②事後学修課題：授業で学習したことの復習

【第6回】

- ①事前学修課題：事前に予告されたテーマに関する自主学習
- ②事後学修課題：授業で学習したことの復習

【第7回】

- ①事前学修課題：事前に予告されたテーマに関する自主学習
- ②事後学修課題：授業で学習したことの復習

【第8回】

- ①事前学修課題：事前に予告されたテーマに関する自主学習
- ②事後学修課題：授業で学習したことの復習

【第9回】

- ①事前学修課題：事前に予告されたテーマに関する自主学習
- ②事後学修課題：授業で学習したことの復習

【第10回】

- ①事前学修課題：事前に予告されたテーマに関する自主学習
- ②事後学修課題：授業で学習したことの復習

【第11回】

- ①事前学修課題：事前に予告されたテーマに関する自主学習
- ②事後学修課題：授業で学習したことの復習

【第12回】

- ①事前学修課題：事前に予告されたテーマに関する自主学習
- ②事後学修課題：授業で学習したことの復習

【第13回】

- ①事前学修課題：事前に予告されたテーマに関する自主学習
- ②事後学修課題：授業で学習したことの復習

【第14回】

- ①事前学修課題：卒業研究中間発表会に向けた資料作成と発表練習
- ②事後学修課題：卒業研究構想の見直し、意見を踏まえての修正

【第15回】

- ①事前学修課題：発表後の構想の見直し、意見を踏まえての修正
- ②事後学修課題：評価のフィードバックを受けての構想の手直し

課題に対するフィードバックの方法

研究テーマの授業での発表時に、その内容の検討に基づいて指導・アドバイスを行うことでフィードバックする。この他に、必要に応じてgoogle classroomやメール等で、担当者から受講者に対して個別に提出期限前のコメントやアドバイスを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	他者の発表に対する質問・コメント等の発言、自身の卒業研究テーマの構想発表。	1, 2, 3
授業外での評価	30	中間発表に向けての準備。	1, 2, 3
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10	全15回の全授業終了後に期限までに提出するレポート。	4

その他	0		
テキスト	テキストを使用しない。		
参考書	『よくわかる卒論の書き方: やわらかアカデミズム〈わかる〉シリーズ』 白井利明・高橋一郎著編 ミネルヴァ書房 2009年 本体2625円。これ以外は必要に応じて授業の中で紹介する。		
履修条件・他の科目との関連	やむを得ない事情で遅刻したり欠席する場合には、必ず担当教員に連絡すること。これ以外にも常時タイミングを見計らった報連相を心掛けること。卒業研究のテーマを探求し、それに必要な知識と情報を増やす努力を常に心がけることが求められる。		

授業コード	13099109	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅣa (卒業研究を含む) [対面]				
シラバス執筆(全員)	O. J. クロー				
シラバス執筆(主)	O. J. クロー				
開講年次	4年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

In this course students will continue to develop their graduation thesis. With the literature review completed, students will move on to choosing research methods, gathering and analyzing data, and drawing conclusions. This process is time consuming. Students should expect to come prepared and work hard.

到達目標

1. Deepen knowledge on a topic of interest
2. Develop critical thinking skills in regards to sources of information, data analysis, and conclusions
3. Create graphical representations of data that are easy to understand for the reader
4. Improve writing and presenting skills
5. Develop autonomy in the pursuit of knowledge and quality writing

授業計画

- [第1回]
テーマ: Course Introduction, orientation and content review
内容・方法: コース紹介、オリエンテーション、内容の確認
- [第2回]
テーマ: Review the meaning of graduation thesis and the writing process
内容・方法: 卒業論文の意義と執筆プロセスの確認
- [第3回]
テーマ: Choose research methods that suit your study best. Reconsider research questions
内容・方法: 自分の研究に合った研究方法を選択する。リサーチ・クエスチョンを再考する
- [第4回]
テーマ: Methods section and gathering data
内容・方法: 方法編とデータ収集
- [第5回]
テーマ: Gathering data
内容・方法: データの収集
- [第6回]
テーマ: Finding examples of similar studies
内容・方法: 類似研究の例を探す
- [第7回]
テーマ: Organizing data and graphical representation (1)
内容・方法: データの整理とグラフ化
- [第8回]
テーマ: Organizing data and graphical representation (2)
内容・方法: データの整理とグラフ化
- [第9回]
テーマ: Outlining the results section
内容・方法: 結果セクションのアウトライン
- [第10回]
テーマ: Guidance on the results section
内容・方法: 結果セクションのガイダンス
- [第11回]
テーマ: Compiling the graduation thesis up to this point
内容・方法: これまでの卒業論文のまとめ
- [第12回]
テーマ: Presentation skills
内容・方法: プレゼンテーションスキル
- [第13回]
テーマ: Designing visual aids
内容・方法: 視覚資料のデザイン
- [第14回]
テーマ: Presentation practice
内容・方法: プレゼンテーション練習・演習
- [第15回]
テーマ: 中間発表
内容・方法: Give presentations

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

[第1回]

①事前学修課題: Preview the syllabus, review literature review

②事後学修課題: Correct common mistakes in literature review

[第2回]

①事前学修課題: Reread literature review

②事後学修課題: Complete and submit homework

[第3回]

①事前学修課題: Review the research and writing process

②事後学修課題: Complete several research maps to find the best method and submit

[第4回]

①事前学修課題: Review previous class material

②事後学修課題: Review examples and create methods section outline

[第5回]

①事前学修課題: Refine outline for class

②事後学修課題: Begin gathering data

[第6回]

①事前学修課題: Continue gathering data

②事後学修課題: Continue gathering data

[第7回]

①事前学修課題: Continue gathering data

②事後学修課題: Continue gathering data

[第8回]

①事前学修課題: Continue gathering data

②事後学修課題: Organize data into spreadsheet

[第9回]

①事前学修課題: Organize data into spreadsheet

②事後学修課題: Complete results section outline

[第10回]

①事前学修課題: Refine outline for class

②事後学修課題: Write results section

[第11回]

①事前学修課題: Continue to write the results section

②事後学修課題: Edit results section

[第12回]

①事前学修課題: Add methods and results sections to the main paper

②事後学修課題: Review presentation skills

[第13回]

①事前学修課題: Practice presenting

②事後学修課題: Create slides presentation

[第14回]

①事前学修課題: Revise slides presentation

②事後学修課題: Practice presenting

[第15回]

①事前学修課題: Practice presenting

②事後学修課題: Complete reflection on performance

課題に対するフィードバックの方法

Points will be given on assignments (sometimes through the use of rubrics), and comments will given as much as possible. This information will be viewable to students on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Credit for this course will be awarded to students who achieve an overall score of 60% or greater in the following categories. If a student is absent more than four times or does not participate in the major projects and assignments of the course, a [K] will be awarded.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	Participation 10%, Classwork 40% Midterm presentation 10%	1, 2, 3, 4
授業外での評価	25	Outlines 10%, Section Drafts 15%	1, 2, 4, 5
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	15	Final draft 15%	1, 2, 3
その他	0		

テキスト	None
参考書	Materials will be provided on Google Classroom
履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>

授業コード	13099201	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅣb（卒業研究を含む） [対面]				
シラバス執筆(全員)	瀬島 誠				
シラバス執筆(主)	瀬島 誠				
開講年次	4年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

セミナーⅢと同一担当教員のもとで、引き続き専門的なテーマで研究を行う。さらに専門性を高め、研究テーマに則した研究計画及び研究方法を探究する。研究の目的、仮説を設定するとともに、その先行研究を調査し、研究方法を取りまとめることで、研究の独自性を見出すことを試みる。さらに、各種のデータを収集整理し、卒業論文作成のための準備を具体的に進めることとする。

到達目標

1. 社会人になるために必要な知識や能力を身につける。
2. 社会人として活躍するための論理的な力、問題発見能力、推論能力、データ分析能力、プレゼンテーション能力を身につける。
3. 今後大きく変化する社会で生き残るための基盤的な能力を身につける。

授業計画

- 第1回 イン트로ダクション
- 第2回 専門論文の検討（1）
- 第3回 専門論文の検討（2）
- 第4回 専門論文の検討（3）
- 第5回 卒業論文の検討（1）
- 第6回 専門論文の検討（4）
- 第7回 専門論文の検討（5）
- 第8回 専門論文の検討（6）
- 第9回 卒業論文の検討（2）
- 第10回 卒業論文の検討（3）
- 第11回 卒業論文の検討（4）
- 第12回 卒業論文の検討（5）
- 第13回 卒業論文の検討（6）
- 第14回 卒業論文のプレゼン資料作成
- 第15回 まとめと復習

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

課題の論文を読み込んで、その論旨、論理、方法論、結論の妥当性と頑強性などを検討する。

課題に対するフィードバックの方法

ゼミは少人数で構成されるので、毎回、研究の進捗状況についての評価をフィードバックして行く。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

ゼミは学生が自主的に課題に取り組む場所なので、平常点やレポート課題で評価を決める。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	70	出席などの平常点やレポート、論文の提出とその内容	1, 2, 3
授業外での評価	30	宿題や論文作成作業の進捗具合	1, 2, 3
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	0		

テキスト テキストは使用しない。必要に応じてプリントを配布する。

参考書 授業の内容に応じて、適宜紹介する。

履修条件・他の科目との関連

国際関係に関する授業をできるだけ多く履修していることが望ましい。

授業コード	13099202	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅣb（卒業研究を含む） [対面]				
シラバス執筆(全員)	下條 善史				
シラバス執筆(主)	下條 善史				
開講年次	4年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

本セミナーのテーマは「武器としての情報技術」である。21世紀を迎えて社会は大きく変質しようとしている。特にデジタル技術の発展は、20世紀までの人類社会と比べて、まるで異質な社会へと変化させつつあるように見える。インターネットに代表されるデジタルメディアは、人間同士のコミュニケーションに大きな変革をもたらし、情報通信にとどまらず、流通や生活形態までも変えようとしている。人工知能やロボットの社会進出も既定の事実となり、社会の変化は加速度的に起こっていくと考えられる。このような時代を背景とする現代人の知的活動にとって、最新技術を正確に理解し、その利用方法や可能性、そして限界を見定める訓練は重要であり、またその能力を身に付けることが、他者に対する大きなアドバンテージ(優位)ともなるはずである。本セミナーは、新技術を正しく理解し、社会的なその行く末を検討して、激しい変化に耐えうる現代の生活能力を身につけることを目標とする。

到達目標

1. 自身のテーマを定め、研究の過程とそのスケジュールを管理できること。
2. 研究テーマを元に資料を集め、分析し、結論を導くことができること。
3. 自身の思考の過程を、余すところなく論文や発表にて他者に対して表現し、伝えることができること。

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：中間発表への準備
 内容・方法：夏休みの行動計画の実施確認とスケジュールの修正
- 【第2回】
 テーマ：スケジューリング
 内容・方法：現状の問題点の整理と、今後の計画
- 【第3回】
 テーマ：収集データの確認
 内容・方法：必要十分のデータが収集されていることを確認し、分析計画を立てる。
- 【第4回】
 テーマ：データ分析(1)
 内容・方法：分析手法と目標の確認
- 【第5回】
 テーマ：データ分析(2)
 内容・方法：分析の実施と達成度の評価
- 【第6回】
 テーマ：執筆方針とスケジュールの確認
 内容・方法：分析内容を確認し、執筆計画を立てる。
- 【第7回】
 テーマ：中間発表の準備
 内容・方法：中間発表の準備を行う。
- 【第8回】
 テーマ：中間発表
 内容・方法：中間発表
- 【第9回】
 テーマ：評価の確認と反省
 内容・方法：中間発表を受け、内容とスケジュールに反映する。
- 【第10回】
 テーマ：卒業論文の執筆(1)
 内容・方法：章立て・内容
- 【第11回】
 テーマ：卒業論文の執筆(2)
 内容・方法：参考文献と著作権
- 【第12回】
 テーマ：セミナー内発表
 内容・方法：セミナー内で互いに発表する。
- 【第13回】
 テーマ：発表内容に関するディスカッション
 内容・方法：各々の論文発表について相互に評価しあう。
- 【第14回】
 テーマ：発表計画
 内容・方法：発表のための資料を計画する。
- 【第15回】
 テーマ：発表原稿の作成
 内容・方法：発表原稿を作成し、発表練習を行う。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

事前学習：事前資料を熟読し、授業内での行動計画を立てる。
事後学習：授業内容を復習し、事前計画との齟齬を修正し次回に備える。

課題に対するフィードバックの方法

定期的な面談によって個別にフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

出席と受講態度、意欲などの平常点を重視する。さらには卒業研究に対する評価を加えて成績とする。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	20	研究に対する日ごろの態度と成果をもって評価する。	1, 2
授業外での評価	80	卒業研究の成果と卒業論文の提出と発表をもって評価する。	3
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	0		

テキスト 特に指定しない。

参考書 各テーマの都度、必要に応じて紹介する。

履修条件・他の科目との関連 セミナーI、II、III、IVaを履修していること。

授業コード	13099203	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅣb（卒業研究を含む） [対面]				
シラバス執筆(全員)	小瀬木 えりの				
シラバス執筆(主)	小瀬木 えりの				
開講年次	4年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

前期の中間発表会で各自が構想を発表し、夏季休暇期間中に執筆を進めてきたテーマでの研究を継続し、卒業研究を完成することを目標とする。卒業研究本文の執筆を、完成するまで1章ずつ各自が進めていく。指導スケジュールを設定し、担当者が個別に面談して添削とアドバイスを繰り返し、卒業研究の完成を目指す。また、本文完成後は、要旨集原稿の執筆と、卒業研究発表会で使用するPPT作成に取り組み、所定の時間内での口頭発表ができるよう練習する。

到達目標

1. 卒業研究に必要な情報収集や文献調査を行う能力、集めた情報や文献を取捨選択し、まとめる能力を身につける
2. 卒業研究を構想し、全体を構成し、執筆する能力を身につける
3. 完成した卒業研究の概要を短くまとめ、発表する能力を身につける
4. 他者の発表を傾聴し、内容に応じた適切な質問やコメントができる
5. 学習の目標設定と実現に向けての自己管理、ふり返りの習慣と能力を身につける

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：卒業研究中間発表の反省
 内容・方法：卒業研究中間発表会の講評を受けての反省とテーマの調整、後期の指導予定の検討
- 【第2回】
 テーマ：後期授業のイントロダクション
 内容・方法：後期の指導方針の説明と指導スケジュールの確定
- 【第3回】
 テーマ：卒業研究論文の書き方指導 1
 内容・方法：卒業研究論文に必要な文章の書き方指導 1
- 【第4回】
 テーマ：卒業研究論文の書き方指導 2
 内容・方法：卒業研究論文に必要な文章の書き方指導 2
- 【第5回】
 テーマ：個人指導 1
 内容・方法：執筆途中の卒業研究原稿に基づく添削と個人指導 1
- 【第6回】
 テーマ：個人指導 2
 内容・方法：執筆途中の卒業研究原稿に基づく添削と個人指導 2
- 【第7回】
 テーマ：個人指導 3
 内容・方法：執筆途中の卒業研究原稿に基づく添削と個人指導 3
- 【第8回】
 テーマ：個人指導 4
 内容・方法：執筆途中の卒業研究原稿に基づく添削と個人指導 4
- 【第9回】
 テーマ：個人指導 5
 内容・方法：執筆途中の卒業研究原稿に基づく添削と個人指導 5
- 【第10回】
 テーマ：個人指導 6
 内容・方法：執筆途中の卒業研究原稿に基づく添削と個人指導 6
- 【第11回】
 テーマ：卒業研究論文指導 1
 内容・方法：卒業研究原稿の仮提出
- 【第12回】
 テーマ：卒業研究論文指導 2
 内容・方法：卒業研究原稿の仮提出結果を受けての執筆調整
- 【第13回】
 テーマ：個人指導 7
 内容・方法：執筆途中の卒業研究原稿に基づく添削と個人指導 7
- 【第14回】
 テーマ：卒業研究論文の提出
 内容・方法：卒業研究論文の本提出
- 【第15回】
 テーマ：要旨集原稿の作成
 内容・方法：卒業研究の抄録集作成と入力、卒業研究発表の準備

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

各回、事前学習は2時間、事後学習は2時間を目安とする。

【第1回】

- ①事前学修課題：卒業研究の大まかな執筆を進めておくこと
- ②事後学修課題：卒業研究の大まかな執筆を進めておくこと

【第2回】

- ①事前学修課題：参考書を使った卒業研究論文の書き方についての自主学習
- ②事後学修課題：授業で学習したことの復習

【第3回】

- ①事前学修課題：参考書を使った卒業研究論文の書き方についての自主学習
- ②事後学修課題：授業で学習したことの復習

【第4回】

- ①事前学修課題：卒業研究論文の執筆
- ②事後学修課題：卒業研究論文の執筆

【第5回】

- ①事前学修課題：卒業研究論文の執筆
- ②事後学修課題：卒業研究論文の執筆

【第6回】

- ①事前学修課題：卒業研究論文の執筆
- ②事後学修課題：卒業研究論文の執筆

【第7回】

- ①事前学修課題：卒業研究論文の執筆
- ②事後学修課題：卒業研究論文の執筆

【第8回】

- ①事前学修課題：卒業研究論文の執筆
- ②事後学修課題：卒業研究論文の執筆

【第9回】

- ①事前学修課題：卒業研究論文の執筆
- ②事後学修課題：卒業研究論文の執筆

【第10回】

- ①事前学修課題：卒業研究論文の執筆
- ②事後学修課題：卒業研究論文の執筆

【第11回】

- ①事前学修課題：卒業研究論文の執筆
- ②事後学修課題：卒業研究論文の執筆

【第12回】

- ①事前学修課題：卒業研究論文の執筆
- ②事後学修課題：卒業研究論文の執筆

【第13回】

- ①事前学修課題：卒業研究論文の執筆、完成
- ②事後学修課題：卒業研究論文の要旨を作成

【第14回】

- ①事前学修課題：卒業研究論文の要旨を作成
- ②事後学修課題：卒業研究発表の準備

【第15回】

- ①事前学修課題：卒業研究発表資料作成
- ②事後学修課題：卒業研究発表資料作成と完成

課題に対するフィードバックの方法

研究テーマの授業での発表時に、その内容の検討に基づいて指導・アドバイスを行うことでフィードバックする。この他に、必要に応じてgoogle classroomやメール等で、担当者から受講者に対して個別に提出期限前のコメントやアドバイスを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。公欠や公共交通機関の運行停止など本人の責に帰せない事情、客観的なエビデンスを提示できる病気や怪我、または特別配慮願の対象として配慮が必要な場合等を除き、特段の理由なく欠席が全授業中6回以上に上る受講者は「K」評価とする。前記の諸事情のどれにも該当しない場合の遅刻も2回で1回の欠席相当と見なすため注意すること。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	70	他者の発表に対する質問・コメント等の発言、授業に必要なPC等のツールや資料を忘れずに出席できるかどうか(60)、卒業研究発表会(10)	3, 4, 5
授業外での評価	30	ドラフト提出(10)、卒業研究本提出(10)、要旨集原稿(5)、卒業研究発表会用PPT作成(5)	1, 2, 3, 5

定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	0		

テキスト	テキストを使用しない		
------	------------	--	--

参考書	『よくわかる卒論の書き方:やわらかアカデミズム〈わかる〉シリーズ』 白井利明・高橋一郎著編 ミネルヴァ書房 2009年 本体2625円。これ以外は必要に応じて授業の中で紹介する。		
-----	---	--	--

履修条件・他の科目との関連	各自の研究テーマにもよるが、「異文化コミュニケーション」、「アジアの歴史と文化」、「文化人類学特論」、「国際社会学」などの科目を履修すると、そのセミナーで指導する卒業研究のテーマに関連した知見を得ることができ、有益であると思われる。やむを得ない事情で遅刻したり欠席する場合には、必ず担当者に連絡すること。これ以外にも常時タイミングを見計らった報連相を心掛けること。卒業研究原稿の個人指導については、特に指導のための面談時間の厳守が求められる。		
---------------	---	--	--

授業コード	13099204	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅣb（卒業研究を含む） [対面]				
シラバス執筆(全員)	山下 純				
シラバス執筆(主)	山下 純				
開講年次	4年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

本セミナーの目的は3点とする。

1. 社会人になるために必要な知識や能力を身につける。
 2. 社会人として活躍するために求められる論理力、課題認識力、推論能力、データ分析能力、プレゼンテーション能力を身につける。
 3. 今後大きく変化するグローバル社会を自分らしく生き抜いていくための教養を身につける。
- 後期は、卒業研究論文の最終稿の完成と卒業研究発表会でのプレゼンテーションの成功を目標として取り組む。

到達目標

1. 自分の卒業研究論文のテーマを確定させることができる。
2. 自分の卒業研究論文のテーマに沿った文献の収集と分析を行なうことができる。
3. 自分の卒業研究論文をわかりやすく発表することができる。
4. 自分の研究を卒業研究論文として完成させることができる。

授業計画

各回のテーマ案は、状況によっては変更する可能性がある。

- 【第1回】
 テーマ：夏季休暇中の研究成果の発表（1）
 内容・方法：夏季休暇中の研究成果を発表する
- 【第2回】
 テーマ：夏季休暇中の研究成果の発表（2）
 内容・方法：夏季休暇中の研究成果を発表する
- 【第3回】
 テーマ：論文作成の個別指導（1）：構成
 内容・方法：卒業論文の作成の個別指導を行う
- 【第4回】
 テーマ：論文作成の個別指導（2）：文献
 内容・方法：卒業論文の作成の個別指導を行う
- 【第5回】
 テーマ：論文作成の個別指導（3）：先行研究
 内容・方法：卒業論文の作成の個別指導を行う
- 【第6回】
 テーマ：論文作成の個別指導（4）：理論
 内容・方法：卒業論文の作成の個別指導を行う
- 【第7回】
 テーマ：論文作成の個別指導（5）：提案
 内容・方法：卒業論文の作成の個別指導を行う
- 【第8回】
 テーマ：論文のドラフト発表（1）：構成
 内容・方法：卒業論文のドラフトを発表する
- 【第9回】
 テーマ：論文のドラフト発表（2）：提案
 内容・方法：卒業論文のドラフトを発表する
- 【第10回】
 テーマ：論文の完成原稿の発表（1）：構成
 内容・方法：卒業論文の完成原稿を発表する
- 【第11回】
 テーマ：論文の完成原稿の発表（2）先行研究
 内容・方法：卒業論文の完成原稿を発表する
- 【第12回】
 テーマ：論文の完成原稿の発表（3）：独自性
 内容・方法：卒業論文の完成原稿を発表する
- 【第13回】
 テーマ：卒業研究論文提出
 内容・方法：卒業研究論文を提出する
- 【第14回】
 テーマ：要旨集原稿作成
 内容・方法：要旨集の原稿を作成する
- 【第15回】
 テーマ：卒業研究発表会の発表準備
 内容・方法：卒業研究発表会の準備をする

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

- 【第1回】
- ①事前学修課題：夏期休暇中の研究成果をまとめてくる
 - ②事後学修課題：発表において指摘された内容について検討・対応する
- 【第2回】
- ①事前学修課題：夏期休暇中の研究成果をまとめてくる
 - ②事後学修課題：発表において指摘された内容について検討・対応する
- 【第3回】
- ①事前学修課題：文献リストを整理してくる
 - ②事後学修課題：指導時に指摘された内容について検討・対応する
- 【第4回】
- ①事前学修課題：序論をまとめてくる
 - ②事後学修課題：指導時に指摘された内容について検討・対応する
- 【第5回】
- ①事前学修課題：先行研究をまとめてくる
 - ②事後学修課題：指導時に指摘された内容について検討・対応する
- 【第6回】
- ①事前学修課題：本論を検討してくる
 - ②事後学修課題：指導時に指摘された内容について検討・対応する
- 【第7回】
- ①事前学修課題：卒業論文のドラフトを書いてくる
 - ②事後学修課題：発表において指摘された内容について検討・対応する
- 【第8回】
- ①事前学修課題：卒業論文のドラフトを書いてくる
 - ②事後学修課題：発表において指摘された内容について検討・対応する
- 【第9回】
- ①事前学修課題：卒業論文の完成原稿を書いてくる
 - ②事後学修課題：発表において指摘された内容について検討・対応する
- 【第10回】
- ①事前学修課題：卒業論文の完成原稿を書いてくる
 - ②事後学修課題：発表において指摘された内容について検討・対応する
- 【第11回】
- ①事前学修課題：卒業論文の完成原稿を書いてくる
 - ②事後学修課題：発表において指摘された内容について検討・対応する
- 【第12回】
- ①事前学修課題：卒業論文の完成原稿を再度見直し、不備がないか検討する
 - ②事後学修課題：要旨集の原稿作成に向けて、内容を検討する
- 【第13回】
- ①事前学修課題：要旨集の原稿の下書きを作成する
 - ②事後学修課題：要旨集の原稿を完成させる
- 【第14回】
- ①事前学修課題：卒業研究発表会のスライドを作成する
 - ②事後学修課題：卒業研究発表会のスライドを完成させる
- 【第15回】
- ①事前学修課題：卒業研究発表会での最終発表プレゼンテーションを練習する
 - ②事後学修課題：発表において指摘された内容について検討する

課題に対するフィードバックの方法

プレゼンテーションや課題レポートなどに関して、適宜コメントを行なう

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

授業内でのディスカッションへの参画や研究への積極的な取り組み姿勢など 30%
 研究に必要な文献調査、定性調査などの実施とその成果30%
 卒業研究論文 30%
 最終発表 10%
 提出された卒業研究論文および最終発表の内容をもとに総合的に評価する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	30	授業内でのディスカッションへの参画や研究への積極的な取り組み姿勢など(30)	1、2、3、4
授業外での評価	30	研究に必要な文献調査、定性調査などの実施とその成果(30)	1、2、3、4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	40	卒業研究論文(30) 卒業研究発表会での最終発表(10)	1、2、3、4

その他	0		
テキスト	担当教員がプリント等を用意する		
参考書	授業の中で適宜紹介する		
履修条件・他の科目との関連	卒業研究論文の執筆に対する積極的かつ真摯な取組みを期待する		

授業コード	13099205	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅣb（卒業研究を含む） [対面]				
シラバス執筆(全員)	佐々木 一雄				
シラバス執筆(主)	佐々木 一雄				
開講年次	4年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

セミナーⅣaに引き続き、各自が進めている研究テーマに基づき、卒業研究論文を完成させる。それぞれの研究課題に応じた参考文献を提示し、研究に必要な概念の説明を行う。また、学生各自はプレゼンテーションを複数回行い、わかりやすい説明の仕方を学ぶ。

到達目標

1. 卒業研究に必要な情報収集や文献調査を行い、集めた情報や文献を取捨選択し、まとめることができる。
2. 卒業研究の構想を立て、全体の構成を考え、論文を執筆することができる。
3. 卒業研究の内容をわかりやすく発表することができる。
4. 他者の発表を傾聴し、内容に応じた適切な質問やコメントを行うことができる。

授業計画

- 【第1回】
テーマ：夏期休暇中の論文執筆の計画発表：文献を具体的に
内容・方法：夏期休暇中に行う論文執筆の計画を発表する。
- 【第2回】
テーマ：夏期休暇中の研究成果発表（1）：序論
内容・方法：夏期休暇中の研究成果を発表する。
- 【第3回】
テーマ：夏期休暇中の研究成果発表（2）：本論
内容・方法：夏期休暇中の研究成果を発表する。終わったものは発表者に対してコメントする。
- 【第4回】
テーマ：論文作成の個別指導（1）：文献
内容・方法：卒業論文の作成の個別指導を行う。
- 【第5回】
テーマ：論文作成の個別指導（2）：先行研究
内容・方法：卒業論文の作成の個別指導を行う。
- 【第6回】
テーマ：論文作成の個別指導（3）：理論
内容・方法：卒業論文の作成の個別指導を行う。
- 【第7回】
テーマ：論文作成の個別指導（4）：提案
内容・方法：卒業論文の作成の個別指導を行う。
- 【第8回】
テーマ：論文のドラフト発表（1）：構成
内容・方法：卒業論文のドラフトを発表する。
- 【第9回】
テーマ：論文のドラフト発表（2）：提案
内容・方法：卒業論文のドラフトを発表する。終わったものは発表者に対してコメントする。
- 【第10回】
テーマ：論文の完成原稿の発表（1）：構成
内容・方法：卒業論文の完成原稿を発表する。
- 【第11回】
テーマ：論文の完成原稿の発表（2）先行研究
内容・方法：卒業論文の完成原稿を発表する。終わったものは発表者に対してコメントする。
- 【第12回】
テーマ：論文の完成原稿の発表（3）：独自性
内容・方法：卒業論文の完成原稿を発表する。終わったものは発表者に対してコメントする。
- 【第13回】
テーマ：卒業研究論文提出
内容・方法：卒業研究論文を提出する。
- 【第14回】
テーマ：要旨集原稿作成
内容・方法：要旨集の原稿を作成する。
- 【第15回】
テーマ：卒業研究発表会の発表準備
内容・方法：卒業研究発表会の準備をする。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

- 【第1回】
- ①事前学修課題：夏期休暇中の研究成果をまとめてくる。
 ②事後学修課題：発表において指摘された点を検討する。
- 【第2回】
- ①事前学修課題：夏期休暇中の研究成果をまとめてくる。
 ②事後学修課題：発表において指摘された点を検討する。
- 【第3回】
- ①事前学修課題：文献表を整理してくる。
 ②事後学修課題：指導時に言われたことについて検討する。
- 【第4回】
- ①事前学修課題：序論をまとめてくる。
 ②事後学修課題：指導時に言われたことについて検討する。
- 【第5回】
- ①事前学修課題：先行研究をまとめてくる。
 ②事後学修課題：指導時に言われたことについて検討する。
- 【第6回】
- ①事前学修課題：本論を検討してくる。
 ②事後学修課題：指導時に言われたことについて検討する。
- 【第7回】
- ①事前学修課題：卒業論文のドラフトを書いてくる。
 ②事後学修課題：発表において指摘された点を検討する。
- 【第8回】
- ①事前学修課題：卒業論文のドラフトを書いてくる。
 ②事後学修課題：発表において指摘された点を検討する。
- 【第9回】
- ①事前学修課題：卒業論文の完成原稿を書いてくる。
 ②事後学修課題：発表において指摘された点を検討する。
- 【第10回】
- ①事前学修課題：卒業論文の完成原稿を書いてくる。
 ②事後学修課題：発表において指摘された点を検討する。
- 【第11回】
- ①事前学修課題：卒業論文の完成原稿を書いてくる。
 ②事後学修課題：発表において指摘された点を検討する。
- 【第12回】
- ①事前学修課題：卒業論文の完成原稿を再度見直し、不備がないか検討する。
 ②事後学修課題：要旨集の原稿作成に向けて、内容を検討する。
- 【第13回】
- ①事前学修課題：要旨集の原稿の下書き作成する。
 ②事後学修課題：要旨集の原稿を完成させる。
- 【第14回】
- ①事前学修課題：パワーポイントを作成する。
 ②事後学修課題：パワーポイントを完成させる。
- 【第15回】
- ①事前学修課題：発表原稿を読む練習をする。
 ②事後学修課題：発表において指摘された点を検討する。

課題に対するフィードバックの方法

レポートについては採点后、返却する。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
 - 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。
-
- 以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60 点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	70	卒業論文、要旨集の出来栄え(70)	1, 2
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	30	卒業研究発表会の出来栄え(30)	3, 4
その他	0		

テキスト プリントを配布する

参考書 適宜、案内する。

履修条件・他の科目との関連 ・議論に積極的に参加すること。
 ・無断での欠席、遅刻は厳しく評価する。

履修条件・他の科目との関連

・授業を欠席した場合は、その回のハンドアウトを次回に渡す。

授業コード	13099206	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅣb (卒業研究を含む) [対面]				
シラバス執筆(全員)	岡本 容典				
シラバス執筆(主)	岡本 容典				
開講年次	4年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

本セミナーでは、HTML5やJavaScriptをはじめとする多様なプログラミング手法を活用し、実践的なソフトウェア開発スキルの修得を目的とする。具体的には、最新のWeb技術を駆使しながら、ユーザーインターフェースの設計や動的なコンテンツの作成など、多岐にわたる開発手法を学ぶ。そして、これらの技術を応用し、創造的かつ実用的なプロジェクトの企画・設計・開発を行い、自由な発想に基づく独創的な卒業研究に取り組む。

到達目標

1. 卒業研究を通じて、オリジナルな発想に基づくソフトウェア開発能力を獲得する。

授業計画

- 【第1回】卒業研究(7)
- 【第2回】卒業研究(8)
- 【第3回】卒業研究(9)
- 【第4回】卒業研究(10)
- 【第5回】卒業研究(11)
- 【第6回】卒業研究(12)
- 【第7回】卒業論文作成(1)
- 【第8回】卒業論文作成(2)
- 【第9回】卒業論文作成(3)
- 【第10回】卒業論文作成(4)
- 【第11回】卒業論文作成(5)
- 【第12回】卒業論文作成(6)
- 【第13回】発表準備(1)
- 【第14回】発表準備(2)
- 【第15回】発表準備(3)

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

毎回の授業で課題を課すので、次回の授業時に提出すること。

課題に対するフィードバックの方法

授業内の課題については机間巡視により理解度を把握し、間違いや優れた点の指摘、助言等を行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

授業期間中に実施される課題と、全授業終了後に実施される定期試験に代わるレポート試験の評価結果に基づいて総合的に判定した結果、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	40	授業期間中に実施される課題	1
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	60	卒業研究最終発表会	1
その他	0		

テキスト	必要に応じてPDFプリントを配布する。
参考書	必要に応じて授業の中で紹介する。

履修条件・他の科目との関連

意欲的に取り組み、予習復習を行うこと。

授業コード	13099207	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅣb（卒業研究を含む） [対面]				
シラバス執筆(全員)	岩崎 真哉				
シラバス執筆(主)	岩崎 真哉				
開講年次	4年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

セミナーⅣaに引き続き、各自が進めている研究テーマに基づき、卒業研究論文を完成させる。それぞれの研究課題に応じた参考文献を提示し、研究に必要な概念の説明を行う。また、学生各自はプレゼンテーションを複数回行い、わかりやすい説明の仕方を学ぶ。

到達目標

1. 自分の研究を卒業論文として完成させることができる。
2. 卒業研究発表会でわかりやすいプレゼンテーションを行うことができる。

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：夏期休暇中の論文執筆の計画発表：文献を具体的に
 内容・方法：夏期休暇中に行う論文執筆の計画を発表する。
- 【第2回】
 テーマ：夏期休暇中の研究成果発表（1）：序論
 内容・方法：夏期休暇中の研究成果を発表する。
- 【第3回】
 テーマ：夏期休暇中の研究成果発表（2）：本論
 内容・方法：夏期休暇中の研究成果を発表する。終わったものは発表者に対してコメントする。
- 【第4回】
 テーマ：論文作成の個別指導（1）：文献
 内容・方法：卒業論文の作成の個別指導を行う。
- 【第5回】
 テーマ：論文作成の個別指導（2）：先行研究
 内容・方法：卒業論文の作成の個別指導を行う。
- 【第6回】
 テーマ：論文作成の個別指導（3）：理論
 内容・方法：卒業論文の作成の個別指導を行う。
- 【第7回】
 テーマ：論文作成の個別指導（4）：提案
 内容・方法：卒業論文の作成の個別指導を行う。
- 【第8回】
 テーマ：論文のドラフト発表（1）：構成
 内容・方法：卒業論文のドラフトを発表する。
- 【第9回】
 テーマ：論文のドラフト発表（2）：提案
 内容・方法：卒業論文のドラフトを発表する。終わったものは発表者に対してコメントする。
- 【第10回】
 テーマ：論文の完成原稿の発表（1）：構成
 内容・方法：卒業論文の完成原稿を発表する。
- 【第11回】
 テーマ：論文の完成原稿の発表（2）先行研究
 内容・方法：卒業論文の完成原稿を発表する。終わったものは発表者に対してコメントする。
- 【第12回】
 テーマ：論文の完成原稿の発表（3）：独自性
 内容・方法：卒業論文の完成原稿を発表する。終わったものは発表者に対してコメントする。
- 【第13回】
 テーマ：卒業研究論文提出
 内容・方法：卒業研究論文を提出する。
- 【第14回】
 テーマ：要旨集原稿作成
 内容・方法：要旨集の原稿を作成する。
- 【第15回】
 テーマ：卒業研究発表会の発表準備
 内容・方法：卒業研究発表会の準備をする。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

- 【第1回】
 ①事前学修課題：夏期休暇中の研究成果をまとめてくる。

- ②事後学修課題：発表において指摘された点を検討する。
【第2回】
- ①事前学修課題：夏期休暇中の研究成果をまとめてくる。
②事後学修課題：発表において指摘された点を検討する。
【第3回】
- ①事前学修課題：文献表を整理してくる。
②事後学修課題：指導時に言われたことについて検討する。
【第4回】
- ①事前学修課題：序論をまとめてくる。
②事後学修課題：指導時に言われたことについて検討する。
【第5回】
- ①事前学修課題：先行研究をまとめてくる。
②事後学修課題：指導時に言われたことについて検討する。
【第6回】
- ①事前学修課題：本論を検討してくる。
②事後学修課題：指導時に言われたことについて検討する。
【第7回】
- ①事前学修課題：卒業論文のドラフトを書いてくる。
②事後学修課題：発表において指摘された点を検討する。
【第8回】
- ①事前学修課題：卒業論文のドラフトを書いてくる。
②事後学修課題：発表において指摘された点を検討する。
【第9回】
- ①事前学修課題：卒業論文の完成原稿を書いてくる。
②事後学修課題：発表において指摘された点を検討する。
【第10回】
- ①事前学修課題：卒業論文の完成原稿を書いてくる。
②事後学修課題：発表において指摘された点を検討する。
【第11回】
- ①事前学修課題：卒業論文の完成原稿を書いてくる。
②事後学修課題：発表において指摘された点を検討する。
【第12回】
- ①事前学修課題：卒業論文の完成原稿を再度見直し、不備がないか検討する。
②事後学修課題：要旨集の原稿作成に向けて、内容を検討する。
【第13回】
- ①事前学修課題：要旨集の原稿の下書き作成する。
②事後学修課題：要旨集の原稿を完成させる。
【第14回】
- ①事前学修課題：パワーポイントを作成する。
②事後学修課題：パワーポイントを完成させる。
【第15回】
- ①事前学修課題：発表原稿を読む練習をする。
②事後学修課題：発表において指摘された点を検討する。

課題に対するフィードバックの方法

レポートについては採点后、返却する。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

授業への参加度30%と課題20%、研究論文成果と研究発表、研究への取り組みを合わせて50%

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	30	授業への参加度	1, 2
授業外での評価	20	課題	1, 2
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	50	卒業論文	1, 2
その他	0		

テキスト	プリントを配布する
参考書	適宜、案内する。
履修条件・他の科目との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・議論に積極的に参加すること。 ・無断での欠席、遅刻は厳しく評価する。 ・授業を欠席した場合は、その回のハンドアウトを次回に渡す。

授業コード	13099208	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅣb（卒業研究を含む） [対面]				
シラバス執筆(全員)	董 玉テイ				
シラバス執筆(主)	董 玉テイ				
開講年次	4年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

前期の中間発表会で各自が構想を発表し、夏季休暇期間中に執筆を進めてきたテーマでの研究を継続し、卒業研究を完成することを目標とする。卒業研究本文の執筆を、完成するまで1章ずつ各自が進めていく。指導スケジュールを設定し、担当者が個別に面談して添削とアドバイスを繰り返し、卒業研究の完成を目指す。また、本文完成後は、要旨集原稿の執筆と、卒業研究発表会で使用するPPT作成に取り組み、5~7分で口頭発表できるよう練習する。

到達目標

1. 卒業研究に必要な情報収集や文献調査を行う能力、集めた情報や文献を取捨選択し、まとめる能力を身につける
2. 卒業研究を構想し、全体を構成し、執筆する能力を身につける
3. 完成した卒業研究の概要を短くまとめ、発表する能力を身につける
4. 他者の発表を傾聴し、内容に応じた適切な質問やコメントができる
5. 学習の目標設定と実現に向けての自己管理、ふり返りの習慣と能力を身につける

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：卒業研究中間発表の反省
 内容・方法：卒業研究中間発表会の講評を受けての反省とテーマの調整、後期の指導予定の検討
- 【第2回】
 テーマ：後期授業のイントロダクション
 内容・方法：後期の指導方針の説明と指導スケジュールの確定
- 【第3回】
 テーマ：卒業研究論文の書き方指導 1
 内容・方法：卒業研究論文に必要な文章の書き方指導 1
- 【第4回】
 テーマ：卒業研究論文の書き方指導 2
 内容・方法：卒業研究論文に必要な文章の書き方指導 2
- 【第5回】
 テーマ：個人指導 1
 内容・方法：執筆途中の卒業研究原稿に基づく添削と個人指導 1
- 【第6回】
 テーマ：個人指導 2
 内容・方法：執筆途中の卒業研究原稿に基づく添削と個人指導 2
- 【第7回】
 テーマ：個人指導 3
 内容・方法：執筆途中の卒業研究原稿に基づく添削と個人指導 3
- 【第8回】
 テーマ：個人指導 4
 内容・方法：執筆途中の卒業研究原稿に基づく添削と個人指導 4
- 【第9回】
 テーマ：個人指導 5
 内容・方法：執筆途中の卒業研究原稿に基づく添削と個人指導 5
- 【第10回】
 テーマ：個人指導 6
 内容・方法：執筆途中の卒業研究原稿に基づく添削と個人指導 6
- 【第11回】
 テーマ：卒業研究論文指導 1
 内容・方法：卒業研究原稿の仮提出
- 【第12回】
 テーマ：卒業研究論文指導 2
 内容・方法：卒業研究原稿の仮提出結果を受けての執筆調整
- 【第13回】
 テーマ：個人指導 7
 内容・方法：執筆途中の卒業研究原稿に基づく添削と個人指導 7
- 【第14回】
 テーマ：卒業研究論文の提出
 内容・方法：卒業研究論文の本提出
- 【第15回】
 テーマ：要旨集原稿の作成
 内容・方法：卒業研究の要旨集作成と入力、卒業研究発表の準備

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

各回、事前学習は2時間、事後学習は2時間を目安とする。

【第1回】

- ①事前学修課題：卒業研究の大まかな執筆を進めておくこと
- ②事後学修課題：卒業研究の大まかな執筆を進めておくこと

【第2回】

- ①事前学修課題：参考書を使った卒業研究論文の書き方についての自主学習
- ②事後学修課題：授業で学習したことの復習

【第3回】

- ①事前学修課題：参考書を使った卒業研究論文の書き方についての自主学習
- ②事後学修課題：授業で学習したことの復習

【第4回】

- ①事前学修課題：卒業研究論文の執筆
- ②事後学修課題：卒業研究論文の執筆

【第5回】

- ①事前学修課題：卒業研究論文の執筆
- ②事後学修課題：卒業研究論文の執筆

【第6回】

- ①事前学修課題：卒業研究論文の執筆
- ②事後学修課題：卒業研究論文の執筆

【第7回】

- ①事前学修課題：卒業研究論文の執筆
- ②事後学修課題：卒業研究論文の執筆

【第8回】

- ①事前学修課題：卒業研究論文の執筆
- ②事後学修課題：卒業研究論文の執筆

【第9回】

- ①事前学修課題：卒業研究論文の執筆
- ②事後学修課題：卒業研究論文の執筆

【第10回】

- ①事前学修課題：卒業研究論文の執筆
- ②事後学修課題：卒業研究論文の執筆

【第11回】

- ①事前学修課題：卒業研究論文の執筆
- ②事後学修課題：卒業研究論文の執筆

【第12回】

- ①事前学修課題：卒業研究論文の執筆
- ②事後学修課題：卒業研究論文の執筆

【第13回】

- ①事前学修課題：卒業研究論文の執筆、完成
- ②事後学修課題：卒業研究論文の要旨を作成

【第14回】

- ①事前学修課題：卒業研究論文の要旨を作成
- ②事後学修課題：卒業研究発表の準備

【第15回】

- ①事前学修課題：卒業研究発表資料作成
- ②事後学修課題：卒業研究発表資料作成と完成

課題に対するフィードバックの方法

研究テーマの授業での発表時に、その内容の検討に基づいて指導・アドバイスを行うことでフィードバックする。この他に、必要に応じてgoogle classroomやメール等で、担当者から受講者に対して個別に提出期限前のコメントやアドバイスを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	45	他者の発表に対する質問・コメント等の発言(15)、卒業研究発表会(30)	3, 4, 5
授業外での評価	55	夏季休暇明けの執筆原稿の提出(5)、後期ドラフト提出(10)、卒業研究本提出(30)、要旨集原稿(5)、卒業研究発表会用PPT作成(5)	1, 2, 3, 5
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	0		

その他	0		
テキスト	テキストを使用しない。		
参考書	『よくわかる卒論の書き方: やわらかアカデミズム〈わかる〉シリーズ』 白井利明・高橋一郎著編 ミネルヴァ書房 2009年 本体2625円。これ以外は必要に応じて授業の中で紹介する。		
履修条件・他の科目との関連	やむを得ない事情で遅刻したり欠席する場合には、必ず担当者に連絡すること。これ以外にも常時タイミングを見計らった報連相を心掛けること。卒業研究原稿の個人指導については、特に指導のための面談時間の厳守が求められる。		

授業コード	13099209	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅣb (卒業研究を含む) [対面]				
シラバス執筆(全員)	O. J. クロー				
シラバス執筆(主)	O. J. クロー				
開講年次	4年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

In this course students will continue to develop their graduation thesis. With the literature review completed, students will move on to choosing research methods, gathering and analyzing data, and drawing conclusions. This process is time consuming. Students should expect to come prepared and work hard.

到達目標

1. Deepen knowledge on a topic of interest
2. Develop critical thinking skills in regards to sources of information, data analysis, and conclusions
3. Create graphical representations of data that are easy to understand for the reader
4. Improve writing and presenting skills
5. Develop autonomy in the pursuit of knowledge and quality writing

授業計画

- [第1回]
テーマ: Good and bad research
内容・方法: 良い研究と悪い研究
- [第2回]
テーマ: Data analysis: Basics
内容・方法: データ分析: 基礎編
- [第3回]
テーマ: Guidance on data analysis (1)
内容・方法: データ分析ガイダンス
- [第4回]
テーマ: Guidance on data analysis (2)
内容・方法: データ分析ガイダンス
- [第5回]
テーマ: Conclusions and future research
内容・方法: 結論と今後の研究課題
- [第6回]
テーマ: Guidance on conclusions (1)
内容・方法: 結論に関するガイダンス
- [第7回]
テーマ: Guidance on conclusions (2)
内容・方法: 結論に関するガイダンス
- [第8回]
テーマ: Idea discussion and critical thinking (1)
内容・方法: アイデア討論と批判的思考
- [第9回]
テーマ: Idea discussion and critical thinking (2)
内容・方法: アイデア討論と批判的思考
- [第10回]
テーマ: Idea discussion and critical thinking (3)
内容・方法: アイデア討論と批判的思考
- [第11回]
テーマ: Research corrections and editing
内容・方法: 研究の添削と編集
- [第12回]
テーマ: Research corrections and editing
内容・方法: 研究の添削と編集
- [第13回]
テーマ: Research corrections and editing
内容・方法: 研究の添削と編集
- [第14回]
テーマ: Graduation thesis abstract
内容・方法: 卒業論文アブストラクト
- [第15回]
テーマ: Prepare for graduation thesis presentation
内容・方法: 卒業論文発表準備

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

[第1回]

①事前学修課題: Review content of previous classes

②事後学修課題: Complete homework

[第2回]

①事前学修課題: Review content from previous course

②事後学修課題: Complete homework

[第3回]

①事前学修課題: Start to write analysis section

②事後学修課題: Continue writing analysis

[第4回]

①事前学修課題: Continue writing analysis

②事後学修課題: Continue writing analysis

[第5回]

①事前学修課題: Revise analysis for class

②事後学修課題: Complete homework

[第6回]

①事前学修課題: Start to write conclusion

②事後学修課題: Continue writing conclusion

[第7回]

①事前学修課題: Continue writing conclusion

②事後学修課題: Continue writing conclusion

[第8回]

①事前学修課題: Continue writing conclusion

②事後学修課題: Complete critique of sample paper

[第9回]

①事前学修課題: Review notes

②事後学修課題: Complete critique of peer paper

[第10回]

①事前学修課題: Review and revise work from previous class

②事後学修課題: Critically analyze your own paper

[第11回]

①事前学修課題: Revise analysis into concise points

②事後学修課題: Complete homework

[第12回]

①事前学修課題: Review content of previous class

②事後学修課題: Correct common mistakes in research 1, Decide on paper title

[第13回]

①事前学修課題: Correct common mistakes in research 1

②事後学修課題: Correct common mistakes in research 2

[第14回]

①事前学修課題: Correct common mistakes in research 2

②事後学修課題: Complete thesis abstract

[第15回]

①事前学修課題: Revise thesis abstract

②事後学修課題: Prepare for final presentation

課題に対するフィードバックの方法

Points will be given on assignments (sometimes through the use of rubrics), and comments will given as much as possible. This information will be viewable to students on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Credit for this course will be awarded to students who achieve an overall score of 60% or greater in the following categories. If a student is absent more than four times or does not participate in the major projects and assignments of the course, a [K] will be awarded.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	55	Participation 10%, Classwork 30%, Final Presentation 15%	1, 2, 3, 4
授業外での評価	25	Outlines 10%, Section Drafts 15%	1, 2, 4, 5
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final Draft 20%	2, 4
その他	0		

テキスト	None
参考書	Materials will be provided on Google Classroom
履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>

授業コード	13099701	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	異文化間英語コミュニケーション [対面]				
シラバス執筆(全員)	P. J. ベイリー				
シラバス執筆(主)	P. J. ベイリー				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

Through the practice of active learning in the classroom in every class throughout the semester, students will develop their skills in both conversation and public speaking to better prepare them for real life speaking situations, both informal and formal. To succeed in these goals, students will be involved in conversation and presentation tasks in pairs and groups, as well as performing evaluated presentations. All activities will be completed in English and will include individual, pair, and group work.

This is an advanced English course for 3rd and 4th year IEP students or those who have a TOEIC score of 550 or higher.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Organise and deliver presentations confidently in English
2. Use eye contact, posture, and gestures effectively
3. Create visually effective slideshows
4. Develop their knowledge of the language used in presentations

授業計画

- 【第1回】
テーマ: Course Orientation and Summer Vacation
内容・方法: Assigned materials and writing/speaking tasks to be completed as instructed by the teacher.
- 【第2回】
テーマ: Unit 6
内容・方法: Assigned materials and writing/speaking tasks to be completed as instructed by the teacher.
- 【第3回】
テーマ: Unit 6
内容・方法: Assigned materials and writing/speaking tasks to be completed as instructed by the teacher.
- 【第4回】
テーマ: Unit 7
内容・方法: Assigned materials and writing/speaking tasks to be completed as instructed by the teacher.
- 【第5回】
テーマ: Unit 7
内容・方法: Assigned materials and writing/speaking tasks to be completed as instructed by the teacher.
- 【第6回】
テーマ: Unit 8
内容・方法: Assigned materials and writing/speaking tasks to be completed as instructed by the teacher.
- 【第7回】
テーマ: Unit 8
内容・方法: Assigned materials and writing/speaking tasks to be completed as instructed by the teacher.
- 【第8回】
テーマ: Unit 9
内容・方法: Assigned materials and writing/speaking tasks to be completed as instructed by the teacher.
- 【第9回】
テーマ: Unit 9
内容・方法: Assigned materials and writing/speaking tasks to be completed as instructed by the teacher.
- 【第10回】
テーマ: Unit 10
内容・方法: Assigned materials and writing/speaking tasks to be completed as instructed by the teacher.
- 【第11回】
テーマ: Unit 10
内容・方法: Assigned materials and writing/speaking tasks to be completed as instructed by the teacher.

teacher.

【第12回】

テーマ：Units 6 - 10 Review Test

内容・方法：Assigned materials and writing/speaking tasks to be completed as instructed by the teacher.

【第13回】

テーマ：Final Presentation Planning

内容・方法：Assigned materials and writing/speaking tasks to be completed as instructed by the teacher.

【第14回】

テーマ：Final Presentation Planning and Practice

内容・方法：Assigned materials and writing/speaking tasks to be completed as instructed by the teacher.

【第15回】

テーマ：Final Presentation

内容・方法：Final Presentations, feedback and reflection.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a 1-credit (1単位) course which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題：None

事後学修課題：Review

【第2回】

事前学修課題：Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題：Review lesson content and complete online study assignments.

【第3回】

事前学修課題：Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題：Review lesson content and complete online study assignments.

【第4回】

事前学修課題：Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題：Review lesson content and complete online study assignments.

【第5回】

事前学修課題：Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題：Review lesson content and complete online study assignments.

【第6回】

事前学修課題：Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題：Review lesson content and complete online study assignments.

【第7回】

事前学修課題：Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題：Review lesson content and complete online study assignments.

【第8回】

事前学修課題：Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題：事後学修課題：Review lesson content and complete online study assignments.

【第9回】

事前学修課題：Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題：Review lesson content and complete online study assignments.

【第10回】

事前学修課題：Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題：Review lesson content and complete online study assignments.

【第11回】

事前学修課題：Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題：Review Units 6 - 10

【第12回】

事前学修課題：Review Units 6 - 10

事後学修課題：Complete self-reflection

【第13回】

事前学修課題：Review

事後学修課題：Complete final presentation outline and slideshow

【第14回】

事前学修課題：Practice presentation

事後学修課題：Practice presentation

【第15回】

事前学修課題：Practice presentation

事後学修課題：Complete end-of-semester self-reflection

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly during classes and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class speaking and writing activities, online assignments completed as homework, vocabulary quizzes, mini-presentations and a final presentation. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse cannot pass (see attendance policy below).

In-class activities and active participation (20%)

Mini-presentations (10%)

Vocabulary quizzes (10%)

Units 1-5 Review Test (20%)

Online homework assignments (20%)

Final Presentation (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	In-class activities and active participation (20%), Mini-presentations (10%), vocabulary quizzes (10%), Units 1-5 Review Test (20%).	1, 2, 3, 4
授業外での評価	20	Online homework assignments (20%)	3, 4
定期試験	0	None.	
定期試験に代わるレポート等	20	Final Presentation (20%)	1, 2, 3, 4
その他	0	None.	

テキスト	Talking Point 2. Justin Harris / Paul Leeming. Abax ELT Publishing. 978-1-78547-064-6
------	---

参考書	Provided by instructor as necessary.
-----	--------------------------------------

履修条件・他の科目との関連	<p>This is an advanced English course for 3rd and 4th year IEP students or those who have a TOEIC score of 550 or higher.</p> <p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできるが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13090601	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	流通概論 [対面]				
シラバス執筆(全員)	山下 純				
シラバス執筆(主)	山下 純				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

- 1 普段利用しているさまざまなタイプの小売業態（食品スーパー、総合スーパー、コンビニエンスストア、ドラッグストア、ディスカウントストア、家電量販店など）を理解する
- 2 小売業を支える卸売業、情報、物流（ロジスティクス）について学ぶ
- 3 流通構造、日本型取引慣行を理解する

到達目標

- 1 小売業を業態別について基礎的用語や知識を学び、具体的な内容を説明できる
- 2 卸売業、情報、物流について基礎的用語や知識を学び、具体的な内容を説明できる
- 3 流通構造、日本型取引慣行について説明できる

授業計画

各回のテーマ・内容は、状況によっては変更する可能性がある。

- 【第1回】
 テーマ：オリエンテーション
 内容・方法：シラバスの説明（講義の構成、進め方、評価方法、参考書など）
- 【第2回】
 テーマ：流通とは何か
 内容・方法：流通とは何かについて学ぶ
- 【第3回】
 テーマ：百貨店と総合スーパー
 内容・方法：百貨店と総合スーパーについて学ぶ
- 【第4回】
 テーマ：食品スーパーとコンビニエンス・ストア
 内容・方法：食品スーパーとコンビニエンス・ストアについて学ぶ
- 【第5回】
 テーマ：ディスカウント・ストアとSPA
 内容・方法：ディスカウント・ストアとSPAについて学ぶ
- 【第6回】
 テーマ：商店街とショッピングセンター
 内容・方法：商店街とショッピングセンターについて学ぶ
- 【第7回】
 テーマ：小売業態とは何か
 内容・方法：小売業態とは何かについて学ぶ
- 【第8回】
 テーマ：小売りを支えるロジスティクス
 内容・方法：小売りを支えるロジスティクスについて学ぶ
- 【第9回】
 テーマ：インターネット技術と新しい小売業態
 内容・方法：インターネット技術と新しい小売業態について学ぶ
- 【第10回】
 テーマ：小売りを支える卸
 内容・方法：小売りを支える卸について学ぶ
- 【第11回】
 テーマ：流通構造とその変容
 内容・方法：流通構造とその変容について学ぶ
- 【第12回】
 テーマ：日本型取引慣行
 内容・方法：日本型取引慣行について学ぶ
- 【第13回】
 テーマ：小売りを中心とした取引慣行
 内容・方法：小売りを中心とした取引慣行について学ぶ
- 【第14回】
 テーマ：グローバル化する小売業
 内容・方法：グローバル化する小売業について学ぶ
- 【第15回】
 テーマ：振り返りとまとめ
 内容・方法：振り返りとまとめを行なう

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

- 【第1回】
 - ① 事前学修課題：シラバスを読み、学修する内容について理解する
 - ② 事後学修課題：授業の復習を行なう
- 【第2回】
 - ① 事前学修課題：流通とは何か、企業にとってどのような意義があるのか調べる
 - ② 事後学修課題：流通とは何かについて学んだ内容を復習する
- 【第3回】
 - ① 事前学修課題：百貨店と総合スーパーについて予習し、身近な事例を調べる
 - ② 事後学修課題：百貨店と総合スーパーについて学んだ内容を復習する
- 【第4回】
 - ① 事前学修課題：食品スーパーとコンビニエンス・ストアについて予習し、身近な事例を調べる
 - ② 事後学修課題：食品スーパーとコンビニエンス・ストアについて学んだ内容を復習する
- 【第5回】
 - ① 事前学修課題：ディスカウント・ストアとSPAについて予習し、身近な事例を調べる
 - ② 事後学修課題：ディスカウント・ストアとSPAについて学んだ内容を復習する
- 【第6回】
 - ① 事前学修課題：商店街とショッピングセンターについて予習し、身近な事例を調べる
 - ② 事後学修課題：商店街とショッピングセンターについて学んだ内容を復習する
- 【第7回】
 - ① 事前学修課題：小売業態とは何かについて予習し、身近な事例を調べる
 - ② 事後学修課題：小売業態とは何かについて学んだ内容を復習する
- 【第8回】
 - ① 事前学修課題：小売りを支えるロジスティクスについて予習し、身近な事例を調べる
 - ② 事後学修課題：小売りを支えるロジスティクスについて学んだ内容を復習する
- 【第9回】
 - ① 事前学修課題：インターネット技術と新しい小売業態について予習し、身近な事例を調べる
 - ② 事後学修課題：インターネット技術と新しい小売業態について学んだ内容を復習する
- 【第10回】
 - ① 事前学修課題：小売りを支える卸について予習し、身近な事例を調べる
 - ② 事後学修課題：小売りを支える卸について学んだ内容を復習する
- 【第11回】
 - ① 事前学修課題：流通構造とその変容について予習し、身近な事例を調べる
 - ② 事後学修課題：流通構造とその変容について学んだ内容を復習する
- 【第12回】
 - ① 事前学修課題：日本型取引慣行について予習し、身近な事例を調べる
 - ② 事後学修課題：日本型取引慣行について学んだ内容を復習する
- 【第13回】
 - ① 事前学修課題：小売りを中心とした取引慣行について予習し、身近な事例を調べる
 - ② 事後学修課題：小売りを中心とした取引慣行について学んだ内容を復習する
- 【第14回】
 - ① 事前学修課題：グローバル化する小売業について予習し、身近な事例を調べる
 - ② 事後学修課題：グローバル化する小売業について学んだ内容を復習する
- 【第15回】
 - ① 事前学修課題：授業全体で学んだことを復習し、理解の抜けもれを確認する
 - ② 事後学修課題：授業全体で学んだ内容を振り返り定期試験に備える

課題に対するフィードバックの方法

レポートにはコメントをつけて返却する。
授業での発言については適宜コメントをする。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
 - 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。
-
- 授業内のミニテスト (30)
 期中のレポート課題 (30)
 定期試験 (40)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	30	授業内で課されるミニテスト(6回×5点)	1、2、3
授業外での評価	30	期中のレポート課題	1、2、3
定期試験	40	全体授業終了後の試験	1、2、3
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	0		
テキスト	特になし		
参考書	授業の中で適宜紹介する		

授業コード	13090701	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	インターネットビジネス [対面]				
シラバス執筆(全員)	下條 善史				
シラバス執筆(主)	下條 善史				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

現代社会では、数十年前には想像もできないほどにネットワークが頻繁に利用され、社会や個人のあらゆる場面に浸透するようになった。この傾向は当面続くと思われ、インターネットの恩恵無くしては、人の営みはあり得ないとまで思えるほどに成長してきている。一方、多くのインターネット利用者は、その利便性に対する対価を消費している自覚が薄く、ネット上のビジネスの成り立ちすら意識していない様相が各所で見られる。今後、インターネットによって支えられた社会で快適に暮らし、自身の安全を守りながらそこから有形無形の利益を得ていくために、インターネットビジネスのしくみを知り、また今後の技術の発展に備え、新たなビジネスモデルを創案していくだけの前提となる技術知識を、我々は学ぶ必要があるだろう。

到達目標

1. 社会におけるインターネットの実装について理解する。
2. 任意のインターネットビジネスのしくみとその規模について調査し理解することができる。
3. 新たなアイデアに基づいたインターネットビジネスモデルを創案することができる。

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：オリエンテーション
 内容・方法：授業概要及び単位取得方法の説明を行う。
- 【第2回】
 テーマ：インターネットのハードウェアとソフトウェア
 内容・方法：インターネットを構成するハードウェアとソフトウェアを理解する。
- 【第3回】
 テーマ：インターネットの成立過程と今後
 内容・方法：インターネットの現状と未来を知る。
- 【第4回】
 テーマ：現行のインターネット利用
 内容・方法：ビジネスを含むインターネット利用の種類とそれぞれの特徴を学ぶ。
- 【第5回】
 テーマ：インターネットビジネスとは
 内容・方法：インターネットビジネスに必要なものを理解する。
- 【第6回】
 テーマ：さまざまなインターネットビジネスモデルの類型
 内容・方法：インターネットビジネスの種類とそれぞれの特徴を学ぶ。
- 【第7回】
 テーマ：コンテンツビジネスとメディアビジネス
 内容・方法：ネットビジネスの基本であるメディアとコンテンツによるビジネスを知る。
- 【第8回】
 テーマ：SNSビジネス
 内容・方法：コミュニケーションメディアとしてのインターネットのビジネスとしての側面を理解する。
- 【第9回】
 テーマ：クラウドビジネス
 内容・方法：クラウドと言う考え方と、ビジネスモデルについて学ぶ。
- 【第10回】
 テーマ：情報と通貨
 内容・方法：情報通信が代替する現実の動きについて知る。
- 【第11回】
 テーマ：既存のビジネスとIoT
 内容・方法：インターネットの限界と、それを払しょくする技術について知る。
- 【第12回】
 テーマ：メタバース
 内容・方法：新しいコミュニケーションとして期待されている技術について考えてみる。
- 【第13回】
 テーマ：新しいテクノロジーによる新しいビジネス
 内容・方法：今後登場すると予想される技術のビジネス利用について想像を深めてみる。
- 【第14回】
 テーマ：インターネットビジネスのリスクとそのマネジメント
 内容・方法：インターネットビジネスを妨げる多くの要因について理解する。
- 【第15回】
 テーマ：定期試験に代わるレポート
 内容・方法：提示された課題に対して、レポートを作成する。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

※ 毎回の授業に関して、それぞれ2時間の事前学習と事後学習が必要です。
授業前には、授業内容の告知に基づいてあらかじめネットから資料を集め、授業内容との類似や相違を念頭において授業を理解すること。
そして授業後には、毎回の授業内容とともに、自身が集めた資料を参照したうえで理解したことを、300～500字程度のテキストレポートにまとめておく。

課題に対するフィードバックの方法

課題として提出したレポート等に対して、講義中にコメントを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

受講態度や提出されたレポート課題をもとに総合的に評価する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	70	毎回の提出課題(70)	1, 2, 3
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	30	定期試験に代わるレポートの内容等(30)	1, 2
その他	0		

テキスト テキストではなく、インターネット上の記事や統計資料を毎回提示して授業を進める。

参考書 必要時に、授業の内で適宜紹介する。

履修条件・他の科目との関連 自身のPCを持参して、必要な資料をその場で見られるよう準備しておくこと。授業中の課題を Google Formなどを利用して出すこともある。

授業コード	13090801	授業形態	講義	実務家教員	○
授業科目名	グローバルビジネス戦略 [対面]				
シラバス執筆(全員)	山下 純				
シラバス執筆(主)	山下 純				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

近年、多くの日本企業はグローバルビジネスを大きく拡大している。日本は少子高齢化による労働力不足と市場の縮小に直面し、また国内市場が成熟期に入り、成長を必要とする日本企業にとってはグローバルビジネスの展開が必須になっている。本講義の目的は、下記2点とする。

- 1) グローバルビジネスの実態を理解すること
 - 2) グローバルビジネスの発展過程を踏まえつつ、グローバルビジネス戦略に関する知識を幅広く習得すること
- 本講義では、急速に変化するグローバルビジネス環境を踏まえて、グローバルビジネスのとらえ方、起源と歴史、企業行動とマーケティング・経営戦略について検討していく。担当教員が長年にわたりグローバルビジネスに従事して培ってきた社会経験および現地の実際に即した豊富な知見やスキルをもとに、グローバルビジネスに関する理論と実践への応用を関連づけながら講義を展開する。理論の学修を踏まえて、グローバルビジネスを加速している業界・企業事例分析（ケーススタディ）によりグローバルビジネスの知識を深める。

到達目標

- 1 グローバルビジネスの発展過程、基礎概念、理論について知識を習得し、説明する力を身につける
- 2 グローバルビジネスを理解して、環境分析、マーケティング分析、戦略分析がどのような意味を有するのか理解して説明できる
- 3 グローバル市場におけるビジネス戦略について具体事例を用いて説明することができる

授業計画

各回のテーマ・内容は、状況によっては変更する可能性がある。

【第1回】

テーマ：オリエンテーション

内容・方法：シラバスの説明（講義の構成、進め方、評価方法、参考書など）

【第2回】

テーマ：グローバルビジネスとは何か

内容・方法：グローバル化、グローバルビジネスとは何か、定義と目的等について学ぶ

【第3回】

テーマ：グローバルビジネスの起源・歴史

内容・方法：グローバルビジネスはいつから始まったのか、ヨーロッパの国々とアジア各国のグローバルビジネスの起源と歴史等について学ぶ

【第4回】

テーマ：グローバルビジネスと多国籍企業

内容・方法：多国籍企業とは何か、多国籍企業の事例等について学ぶ

【第5回】

テーマ：標準化と適応化

内容・方法：標準化・適応化とは何か、標準化・適応化によって得られる経済効果等について学ぶ

【第6回】

テーマ：グローバルマーケティング

内容・方法：グローバルマーケティングを進めるためのフレームワークであるCAGEやAAA戦略等について学ぶ

【第7回】

テーマ：グローバル経営戦略

内容・方法：グローバル経営戦略の基本について学ぶ

【第8回】

テーマ：グローバルマーケティング戦略

内容・方法：世界で製品やサービスを提供するグローバル企業が直面する3つの課題と戦略について学ぶ

【第9回】

テーマ：グローバルブランド戦略

内容・方法：グローバルブランド、ブランドミッション、リブランディング等について学ぶ

【第10回】

テーマ：グローバル市場への参入

内容・方法：グローバル市場への参入方法としてフランチャイズ等について学ぶ

【第11回】

テーマ：M&A（企業の合併買収）

内容・方法：M&Aの概念と目的、近年の世界の動向等について学ぶ

【第12回】

テーマ：アントレプレナーとスタートアップ

内容・方法：アントレプレナーとスタートアップについて学ぶ

【第13回】

テーマ：グローバルコミュニケーション戦略

内容・方法：グローバルコミュニケーションの基本について学ぶ

【第14回】

テーマ：グローバルビジネスで求められる人材と組織

内容・方法：学習する組織、グローバルビジネスで求められる人材の能力・必要なスキル等について学ぶ

【第15回】

テーマ：振り返りとまとめ

内容・方法：振り返りとまとめを行なう

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

① 事前学修課題：シラバスを読み、学修する内容について理解する

② 事後学修課題：授業の復習を行なう

【第2回】

① 事前学修課題：グローバルビジネスとは何か、企業にとってどのような意義があるのか調べる

② 事後学修課題：グローバル化、グローバルビジネスとは何か、定義と目的等について学んだ内容を復習する

【第3回】

① 事前学修課題：グローバルビジネスの起源・歴史について調べる

② 事後学修課題：グローバルビジネスの起源・歴史について学んだ内容を復習する

【第4回】

① 事前学修課題：グローバルビジネスと多国籍企業について調べる

② 事後学修課題：グローバルビジネスと多国籍企業について学んだ内容を復習する

【第5回】

① 事前学修課題：グローバルビジネスの標準化と適応化について調べる

② 事後学修課題：グローバルビジネスの標準化と適応化について学んだ内容を復習する

【第6回】

① 事前学修課題：グローバルマーケティングについて調べる

② 事後学修課題：グローバルマーケティングについて学んだ内容を復習する

【第7回】

① 事前学修課題：グローバル経営戦略を進めるためのフレームワークについて調べる

② 事後学修課題：グローバル経営戦略を進めるためのフレームワークについて学んだ内容を復習する

【第8回】

① 事前学修課題：グローバルマーケティング戦略について調べる

② 事後学修課題：グローバルマーケティング戦略について学んだ内容を復習する

【第9回】

① 事前学修課題：グローバルブランド戦略について調べる

② 事後学修課題：グローバルブランド戦略について学んだ内容を復習する

【第10回】

① 事前学修課題：グローバル市場への参入方法について調べる

② 事後学修課題：グローバル市場への参入方法について学んだ内容を復習する

【第11回】

① 事前学修課題：グローバルビジネスの M&A について調べる

② 事後学修課題：グローバルビジネスの M&A について学んだ内容を復習する

【第12回】

① 事前学修課題：アントレプレナーとスタートアップについて調べる

② 事後学修課題：アントレプレナーとスタートアップについて学んだ内容を復習する

【第13回】

① 事前学修課題：グローバルコミュニケーション戦略について調べる

② 事後学修課題：グローバルコミュニケーション戦略について学んだ内容を復習する

【第14回】

① 事前学修課題：グローバルビジネスで求められる人材と組織について調べる

② 事後学修課題：グローバルビジネスで求められる人材と組織について学んだ内容を復習する

【第15回】

① 事前学修課題：授業全体で学んだことを復習し、理解の抜けもれを確認する

② 事後学修課題：授業全体で学んだ内容を振り返り定期試験に備える

課題に対するフィードバックの方法

レポートにはコメントをつけて返却する。

授業での発言については適宜コメントをする。

成績評価の方法・基準(方針)

●全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。

●必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

授業内のミニテスト (30)

期中のレポート課題 (30)

定期試験 (40)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	30	授業内で課されるミニテスト(6回×5点)	1、2、3
授業外での評価	30	期中のレポート課題	1、2、3

定期試験	40	全体授業終了後の試験	1、2、3
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	0		
テキスト	特になし		
参考書	授業の中で適宜紹介する		
履修条件・他の科目との関連	ビジネス関連科目（経営戦略論、マーケティング等）を履修していることが望ましい。		

授業コード	13090901	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	貿易実務 [対面]				
シラバス執筆(全員)	浅居 孝彦				
シラバス執筆(主)	浅居 孝彦				
開講年次	3年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

「貿易実務」では、貿易の仕組みや取引の流れについての基礎的な知識を身につけることを目的としている。具体的には、なぜ貿易を行うのかといった問題や貿易取引の手順、必要な書類や手続きについて学習する。

到達目標

1. 貿易に関する基礎的な理論が理解できる。
2. 貿易取引の全体像・流れとそれぞれの段階で必要となる書類・手続きについて説明できる。

授業計画

【第1回】

テーマ：貿易とは何か
内容：貿易の目的・リスク、貿易取引の流れ

【第2回】

テーマ：貿易の形態・種類
内容：さまざまな貿易の種類と特徴（並行輸入、OEM輸入、委託加工貿易、開発輸入、逆輸入）

【第3回】

テーマ：貿易の理論
内容：比較優位、産業間貿易、産業内貿易

【第4回】

テーマ：貿易取引と関係する企業・機関
内容：商社、船会社、海貨業者、銀行、保険会社、税関などの役割

【第5回】

テーマ：輸送形態の種類と仕組み
内容：海上輸送と航空輸送の仕組み、それぞれの輸送形態のメリット・デメリット

【第6回】

テーマ：貿易書類の役割
内容：信用状決済の仕組み

【第7回】

テーマ：貿易取引の準備と契約
内容：情報収集、マーケティング調査、信用調査、オファーの種類と特徴

【第8回】

テーマ：貿易取引条件、インコタームズ
内容：インコタームズE類型、F類型、C類型、D類型

【第9回】

テーマ：貿易取引のリスクと保険
内容：貿易取引に関わる保険と損害の種類

【第10回】

テーマ：輸出実務の仕事の流れ
内容：輸出全体の流れ（輸出交渉から代金の回収まで）

【第11回】

テーマ：輸出実務
内容：書類作成、船腹予約、通関・船積手続き、通関書類、保険申込み、船・航空機による輸送

【第12回】

テーマ：輸入実務の仕事の流れ
内容：輸入全体の流れ（輸入交渉から貨物の引き取りまで）

【第13回】

テーマ：輸入実務
内容：コンテナ船の貨物の荷受け、航空貨物の引き取り、保税地域への貨物の搬入、通関手続き

【第14回】

テーマ：外国為替
内容：外国為替の仕組み、外国為替相場

【第15回】

テーマ：「貿易実務」（前期）のまとめ
内容：「貿易実務」（前期）の総復習と理解の確認

* 授業の進捗状況によって内容を一部変更する場合がある。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

授業で配布した資料の内容を自分で説明できるようになるまで繰り返し復習すること。理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。以下の指示にしたがって、事前・事後学習をそれぞれ2時間程度することが望ましい。

【第1回】

①事前学習課題：なし
②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、学習した内容を復習し、知識の定着を図ること。その上で、理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。

【第2回】

①事前学習課題：普段の生活の中でみる輸入品にどのようなものがあるかを調べておくこと。
②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、学習した内容を復習し、知識の定着を図ること。その上で、理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。

【第3回】

①事前学習課題：貿易をすることのメリット、デメリットについて考えておくこと。
②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、学習した内容を復習し、知識の定着を図ること。その上で、理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。

【第4回】

①事前学習課題：貿易取引と関係する企業・機関に何があるかを調べておくこと。
②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、学習した内容を復習し、知識の定着を図ること。その上で、理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。

【第5回】

①事前学習課題：貿易取引の輸送形態に何があるかを調べておくこと。
②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、学習した内容を復習し、知識の定着を図ること。その上で、理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。

【第6回】

①事前学習課題：貿易取引を行う際に生じる（可能性がある）トラブルの種類について考えておくこと。
②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、学習した内容を復習し、知識の定着を図ること。その上で、理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。

【第7回】

①事前学習課題：貿易取引を行うために必要となる準備について調べておくこと。
②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、学習した内容を復習し、知識の定着を図ること。その上で、理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。

【第8回】

①事前学習課題：貿易取引で生じる経費に何があるかを考えておくこと。
②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、学習した内容を復習し、知識の定着を図ること。その上で、理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。

【第9回】

①事前学習課題：貿易取引のリスクについて調べておくこと。
②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、学習した内容を復習し、知識の定着を図ること。その上で、理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。

【第10回】

①事前学習課題：輸出を行う際に必要となる手続きに何があるかを調べておくこと。
②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、学習した内容を復習し、知識の定着を図ること。その上で、理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。

【第11回】

①事前学習課題：輸出全体の流れを整理して理解しておくこと。
②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、学習した内容を復習し、知識の定着を図ること。その上で、理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。

【第12回】

①事前学習課題：輸入を行う際に必要となる手続きに何があるかを調べておくこと。
②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、学習した内容を復習し、知識の定着を図ること。その上で、理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。

【第13回】

- ①事前学習課題：輸入全体の流れを整理して理解しておくこと。
- ②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、学習した内容を復習し、知識の定着を図ること。その上で、理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。

【第14回】

- ①事前学習課題：貿易と為替レートの関係性を把握しておくこと（円高、円安が輸出・輸入にどう影響するか）。
- ②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、学習した内容を復習し、知識の定着を図ること。その上で、理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。

【第15回】

- ①事前学習課題：これまでの内容を総復習して、知識を定着させておくこと。
- ②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、理解が不十分であった内容を復習すること。

課題に対するフィードバックの方法

授業内で授業内容（事前・事後の学習課題を含む）の理解度を確認するための小テスト・小レポートを実施する。翌週の授業で小テスト・小レポートの結果に対するフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

 授業内課題（＝小テスト・小レポート）とレポートで評価する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	40	授業内課題（＝小テスト・小レポート）	1, 2
授業外での評価	0	なし	なし
定期試験	0	なし	なし
定期試験に代わるレポート等	60	定期試験は行わずにレポートで評価する。	1, 2
その他	0	なし	なし

テキスト	テキストは指定しないが、必要に応じて下記の参考書を読むこと。
------	--------------------------------

参考書	片山立志[2020]『絵でみる貿易のしくみ(改訂2版)』、日本能率協会マネジメントセンター。 (ISBN: 978-4-8207-2827-6) 片山立志[2022]『よくわかる貿易実務入門(改訂4版)』、日本能率協会マネジメントセンター。 (ISBN: 978-4-8005-9016-9) * その他の参考書については、必要に応じて授業の中で適宜紹介する。
-----	--

履修条件・他の科目との関連	なし
---------------	----

授業コード	13091101	授業形態	講義	実務家教員	○
授業科目名	ビジネスマネジメント [対面]				
シラバス執筆(全員)	佐々木 一雄				
シラバス執筆(主)	佐々木 一雄				
開講年次	3年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

私たちの日々の生活は企業活動によって支えられている。そして、企業活動を効率よく進めるためには、マネジメントに関する知識とそれを応用する知見を身につけておく必要がある。これは、経営者や経営幹部だけでなく、現代社会に生きるすべての人々にとって必要な教養であると言える。

この授業では、経営管理の基礎理論と実践的知識を幅広く学修し、ビジネスパーソンに必要な教養を身につけることを目的とする。学生の皆さんには、日頃から企業経営に関心を持って新聞や雑誌の記事を読み、ビジネスに対する感度を上げてほしい。なお、適宜、課題を与えるので、積極的に取り組むことを期待する。

担当教員が長年にわたり、企業において「経理および経営管理」業務に従事してきた経験をもとに、実務家教員として、学生の皆さんがビジネスの現場で役立つ実践的な知識を幅広く学修できるように講義を展開する。

到達目標

1. 経営管理に関する基礎的な概念について説明することができる。
2. 組織のマネジメントに関する諸理論について説明することができる。
3. 経営戦略に関する諸理論について理解し、それらを使って企業を分析することができる。
4. 日本的経営の特徴と諸課題について説明することができる。

授業計画

※授業計画については変更する可能性もある。

【第1回】イントロダクション

内容：授業計画、授業の進め方と評価方法について説明し、ビジネスマネジメントの扱うテーマとそれを学ぶ意義について解説する。

【第2回】企業という存在とコーポレート・ガバナンス

内容：企業と会社の種類、株式会社の特徴、株式会社におけるトップ・マネジメントの組織、日本企業とコーポレート・ガバナンスについて解説する。

【第3回】経営管理理論（1）古典的管理論

内容：テイラーの科学的管理法、フォード・システム、人間関係論とホーソン実験等について解説する。

【第4回】経営管理理論（2）組織マネジメント論

内容：バーナードの組織定義、サイモンの意思決定モデル等について解説する。

【第5回】経営管理理論（3）モチベーション論

内容：マズローの欲求段階説、内発的動機付け理論、ブルームの期待理論、ハーズバーグの動機づけ・衛星理論等について解説する。

【第6回】経営管理理論（4）リーダーシップ論

内容：ミシガン研究とオハイオ研究、フィドラー・モデルとSL理論、サーバント・リーダーシップ等について解説する。

【第7回】組織構造のマネジメント

内容：組織構造の基本変数、官僚制組織、組織形態（職能別組織、事業部別組織、マトリックス組織）等について解説する。

【第8回】組織文化のマネジメント

内容：組織文化の定義、組織文化の機能と逆機能、組織文化の形成と変革について解説する。

【第9回】企業戦略のマネジメント

内容：ドメインの設定、企業戦略と多角化、プロダクト・ポートフォリオ・マネジメント（PPM）等について解説する。

【第10回】競争戦略のマネジメント

内容：競争戦略の基本的概念、ポジショニング・アプローチ、経営資源アプローチ、ポーターの競争戦略の類型等について解説する。

【第11回】イノベーションのマネジメント

内容：シュンペーターとドラッカーのイノベーション論、イノベーションの源泉、オープン・イノベーション等について解説する。

【第12回】日本企業における人のマネジメント

内容：日本的経営の三種の神器、人事制度の日米比較、ダイバーシティ・マネジメント等について解説する。

【第13回】企業経営実践事例①

内容：企業経営の実践事例を紹介する。

【第14回】企業経営実践事例②

内容：企業経営の実践事例を紹介する。

【第15回】まとめ

内容：第12回までの重要な論点について解説し、定期試験の実施要領について説明する。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

事前学習課題：シラバスを熟読し、授業構成を理解する。

事後学習課題：講義内容を参照しながら自分のノートを作成し、まとめる。

【第2回】 から 【第12回】

事前学習課題：テキストの該当部分を読んで、疑問点を整理しておく。

事後学習課題：講義内容を参照しながら自分のノートを作成し、まとめる。

【第13回】 から 【第14回】

事前学習課題：これまで学んだことをしっかりと復習しておく。

事後学習課題：講義内容を参照しながら自分のノートを作成し、まとめる。

【第15回】

事前学習課題：これまで学んだことをしっかりと復習し、質問したいことを列挙する。

事後学習課題：講義内容を振り返り、定期試験に備える。

課題に対するフィードバックの方法

課題レポートについては、Google classroomを通じて、限定コメントをつけてフィードバックする。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	小テスト(60)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	10	レポート(10)	1, 2, 3, 4
定期試験	30	筆記試験(30)	1, 2, 3, 4
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	0		

テキスト	上野恭裕、馬場大治編著(2016)『経営管理論』中央経済社 2,400円(税別) ISBN978-4-502-19061-2
------	--

参考書	必要に応じて適宜紹介する。
-----	---------------

履修条件・他の科目との関連	Google classroomにプリントを掲載するが、必ずテキストを購入して、予習・復習を行うこと。
---------------	---

授業コード	13100802	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	総合英語 I [対面]				
シラバス執筆(全員)	J. エチャャー				
シラバス執筆(主)	J. エチャャー				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course students will explicitly learn and practice skills and strategies to enhance reading comprehension. This will be done by working with a variety of reading passages from the textbook as well as graded readers. Students will focus on using and applying reading strategies and skills. As vocabulary is essential to reading, there will be a strong focus on building vocabulary including regular vocabulary quizzes and assignments.

Extensive reading helps build vocabulary and understand grammar. It also builds reading speed and reading fluency. Students will read graded readers on a weekly basis and take the quizzes with the aim to achieve a specific target of words (30,000 words) read per semester. Course information, class materials and assignments will be on Google Classroom.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Build reading skills including previewing, predicting, skimming, scanning, identifying the main idea, identifying key details, and making inferences about a passage from the textbook
2. Use strategies for organizing information including in charts and summaries
3. Apply reading strategies to other texts including graded readers, websites, news articles, etc.
4. Employ a variety of vocabulary-learning strategies and develop vocabulary skills.
5. Read extensively to develop reading speed and fluency.

授業計画

【第1回】

テーマ： Class Orientation / Unit 1A

内容・方法： Registration for Google Classroom. Introduction to course goals. Introduction to textbook (Unit 1A, Reading Skill practice). Explanation of vocabulary study, homework & how to prepare for next class.

【第2回】

テーマ： Unit 1B

内容・方法： Vocabulary review. Unit 1B. Reading Skill practice. Explanation of vocabulary quizzes. Graded Reader and Moodle Quiz explanation. Graded Reader reading time.

【第3回】

テーマ： Unit 1 Review & Video

内容・方法： Vocabulary review and Vocabulary Quiz 1. Review Unit 1 reading skills. Video activities. Graded Reader reading time.

【第4回】

テーマ： Unit 2A

内容・方法： Unit 2A. Reading Skill practice. Graded Reader reading time.

【第5回】

テーマ： Unit 2B

内容・方法： Vocabulary review. Unit 2B. Reading Skill practice.

【第6回】

テーマ： Unit 2 Review & Video

内容・方法： Vocabulary review and Vocabulary Quiz 2. Review Unit 2 reading skills. Video activities.

【第7回】

テーマ： Unit 3A

内容・方法： Unit 3A. Reading Skill practice. Graded Reader reading time.

【第8回】

テーマ： Unit 3B

内容・方法： Vocabulary review. Unit 3B. Reading Skill practice.

【第9回】

テーマ： Midterm in-class evaluation

内容・方法： Review of Units 1-3, midterm in-class evaluation. Review of Graded Reader reading goals & progress check. Grade review.

【第10回】

テーマ： Unit 4A

内容・方法： Unit 4A. Reading Skill practice. Graded Reader reading time.

【第11回】

テーマ： Unit 4B

内容・方法： Vocabulary review. Unit 4B. Reading Skill practice.

【第12回】

テーマ： Unit 4 Review & Video

内容・方法： Vocabulary review and Vocabulary Quiz 3. Review Unit 4 reading skills. Video activities.
 【第13回】
 テーマ： Unit 5A
 内容・方法： Unit 5A. Reading Skill practice. Graded Reader reading time.
 【第14回】
 テーマ： Unit 5B
 内容・方法： Vocabulary Review; Unit 5B. Reading Skill practice.
 【第15回】
 テーマ： Course Review, Final in-class evaluation
 内容・方法： Review of Units 4-5, final in-class evaluation. Review of Graded Reader reading goals. Grade review. Explanation of final evaluation report.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。
 A total of 45 hours of study is required per 1-credit course, including class (calculated as 2 hours per session) and pre- and post-work study. Any text activities not completed during the class time will be assigned.

【第1回】
 事前学修課題： Read the course outline.
 事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第2回】
 事前学修課題： Review the units studied.
 事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第3回】
 事前学修課題： Review the units studied
 事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第4回】
 事前学修課題： Review the units studied.
 事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第5回】
 事前学修課題： Review the units studied.
 事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第6回】
 事前学修課題： Review the units studied.
 事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第7回】
 事前学修課題： Review the units studied.
 事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第8回】
 事前学修課題： Review & Evaluation.
 事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader. Prepare for Evaluation.

【第9回】
 事前学修課題： Review the units studied.
 事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第10回】
 事前学修課題： Review the units studied.
 事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第11回】
 事前学修課題： Review the units studied.
 事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第12回】
 事前学修課題： Review the units studied.
 事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第13回】
 事前学修課題： Review the units studied.
 事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第14回】
 事前学修課題： Review & Evaluation.
 事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader. Prepare for Evaluation.

【第15回】
 事前学修課題： Semester Review.
 事後学修課題： Final report submission.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.
4. Extensive reading word count will be reported on a weekly basis.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。

●必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed as homework and graded reader reading assignments, and midterm and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse will be given a “K” (failing mark).

Grade breakdown:

1. Weekly assignments (30%)
2. Vocabulary quizzes (20%)
3. Graded Reader reading reflection assignments & Moodle Quizzes (10%)
4. In-class reading evaluations (20%)
5. Final evaluation report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	40	Vocabulary quizzes (20%); In-class evaluations (20%)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	40	Weekly assignments (30%); Graded Reader reading reflection assignments & Moodle Quizzes (10%)	1, 2, 3, 4, 5
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final evaluation report (20%)	1, 2, 3, 4
その他	0	none	

テキスト	Reading Explorer Foundations (3rd Edition) Student Book. David Bohlke; Becky Tarver Chase (2020). National Geographic Learning (Cengage Learning). ISBN: 978-0-357-11628-9
------	--

参考書	Provided by the instructor as needed.
-----	---------------------------------------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD – 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13100902	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	総合英語Ⅱ [対面]				
シラバス執筆(全員)	J. エチャャー				
シラバス執筆(主)	J. エチャャー				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course students will explicitly learn and practice skills and strategies to enhance reading comprehension. This will be done by working with a variety of reading passages from the textbook as well as graded readers. Students will focus on using and applying reading strategies and skills. As vocabulary is essential to reading, there will be a strong focus on building vocabulary including regular vocabulary quizzes and assignments.

Extensive reading helps build vocabulary and understand grammar. It also builds reading speed and reading fluency. Students will read graded readers on a weekly basis and take the quizzes with the aim to achieve a specific target of words (30,000 words) read per semester. Course information, class materials and assignments will be on Google Classroom.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Build reading skills including previewing, predicting, skimming, scanning, identifying the main idea, identifying key details, and making inferences about a passage from the textbook
2. Use strategies for organizing information including in charts and summaries
3. Apply reading strategies to other texts including graded readers, websites, news articles, etc.
4. Employ a variety of vocabulary-learning strategies and develop vocabulary skills.
5. Read extensively to develop reading speed and fluency.

授業計画

【第1回】

テーマ： Class Orientation / Unit 7A

内容・方法： Registration for Google Classroom. Introduction to course goals. Introduction to textbook (Unit 1A, Reading Skill practice). Explanation of vocabulary study, homework & how to prepare for next class.

【第2回】

テーマ： Unit 7B

内容・方法： Vocabulary review. Unit 7B. Reading Skill practice. Explanation of vocabulary quizzes. Graded Reader and Moodle Quiz explanation. Graded Reader reading time.

【第3回】

テーマ： Unit 7 Review & Video

内容・方法： Vocabulary review and Vocabulary Quiz 1. Review Unit 7 reading skills. Video activities. Graded Reader reading time.

【第4回】

テーマ： Unit 8A

内容・方法： Unit 2A. Reading Skill practice. Graded Reader reading time.

【第5回】

テーマ： Unit 8B

内容・方法： Vocabulary review. Unit 8B. Reading Skill practice.

【第6回】

テーマ： Unit 8 Review & Video

内容・方法： Vocabulary review and Vocabulary Quiz 2. Review Unit 8 reading skills. Video activities.

【第7回】

テーマ： Unit 9A

内容・方法： Unit 9A. Reading Skill practice. Graded Reader reading time.

【第8回】

テーマ： Unit 9B

内容・方法： Vocabulary review. Unit 9B. Reading Skill practice.

【第9回】

テーマ： Midterm in-class evaluation

内容・方法： Review of Units 7-9, midterm in-class evaluation. Review of Graded Reader reading goals & progress check. Grade review.

【第10回】

テーマ： Unit 10A

内容・方法： Unit 10A. Reading Skill practice. Graded Reader reading time.

【第11回】

テーマ： Unit 10B

内容・方法： Vocabulary review. Unit 10B. Reading Skill practice.

【第12回】

テーマ： Unit 10 Review & Video

内容・方法：Vocabulary review and Vocabulary Quiz 3. Review Unit 10 reading skills. Video activities.

【第13回】

テーマ：Unit 11A

内容・方法：Unit 11A. Reading Skill practice. Graded Reader reading time.

【第14回】

テーマ：Unit 11B

内容・方法：Vocabulary Review; Unit 11B. Reading Skill practice.

【第15回】

テーマ：Course Review, Final in-class evaluation

内容・方法：Review of Units 10-11, final in-class evaluation. Review of Graded Reader reading goals. Grade review. Explanation of final evaluation report.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。

A total of 45 hours of study is required per 1-credit course, including class (calculated as 2 hours per session) and pre- and post-work study. Any text activities not completed during the class time will be assigned.

【第1回】

事前学修課題：Read the course outline.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises.

【第2回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第3回】

事前学修課題：Review the units studied

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第4回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第5回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第6回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第7回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第8回】

事前学修課題：Review & Evaluation.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader. Prepare for Evaluation.

【第9回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第10回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第11回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第12回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第13回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第14回】

事前学修課題：Review & Evaluation.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader. Prepare for Evaluation.

【第15回】

事前学修課題：Semester Review.

事後学修課題：Final report submission.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.
4. Extensive reading word count will be reported on a weekly basis.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。

●必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed as homework and graded reader reading assignments, and midterm and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse will be given a “K” (failing mark).

Grade breakdown:

1. Weekly assignments (30%)
2. Vocabulary quizzes (20%)
3. Graded Reader reading reflection assignments & Moodle Quizzes (10%)
4. In-class reading evaluations (20%)
5. Final evaluation report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	40	Vocabulary quizzes (20%); In-class evaluations (20%)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	40	Weekly assignments (30%); Graded Reader reading reflection assignments & Moodle Quizzes (10%)	1, 2, 3, 4, 5
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final evaluation report (20%)	1, 2, 3, 4
その他	0	none	

テキスト	Reading Explorer Foundations (3rd Edition) Student Book. David Bohlke; Becky Tarver Chase (2020). National Geographic Learning (Cengage Learning). ISBN: 978-0-357-11628-9
------	--

参考書	Provided by the instructor as needed.
-----	---------------------------------------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD – 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13086302	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	英語プレゼンテーション I [対面]				
シラバス執筆(全員)	S. J. カー				
シラバス執筆(主)	S. J. カー				
開講年次	カリキュラムによる	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course, students will learn basic speaking and listening skills by communicating in real-life situations on a variety of topics. There will be opportunities for discussion and idea development, but the focus of the course will be on listening. Vocabulary and grammar related to the topics and how to express opinions on the topics will also be focused on. With practice, students will become comfortable dealing with difficult content and vocabulary that they have not learned yet.

到達目標

The objectives of this class are to

- (1) develop basic English communication skills for everyday situations and
- (2) enable students to speak about a variety of topics.
- (3) build vocabulary
- (4) build grammar

授業計画

- 【第1回】 Introductions, course explanation, Google Classroom registration
- 【第2回】 Unit 1: Families
- 【第3回】 Unit 1: Jobs (introduction)
- 【第4回】 Unit 1: Countries
- 【第5回】 Unit 2: Seasons & Weather
- 【第6回】 Unit 2: Colors
- 【第7回】 Unit 2: Travel
- 【第8回】 Review Test Units 1-2
- 【第9回】 Unit 3: Verbs & Time Expressions
- 【第10回】 Unit 3: Lifestyle
- 【第11回】 Unit 3: Education
- 【第12回】 Unit 4: Places
- 【第13回】 Unit 4: Giving Directions
- 【第14回】 Unit 4: Geography
- 【第15回】 Review Test Units 3-4, final project explanation

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

- 【第1回】
- ①事前学修課題: buy the textbook. Review the first unit.
 - ②事後学修課題: Homework assignments and study for quiz

- 【第2回】 - 【第7回】
- ①事前学修課題: Review previous class content
 - ②事後学修課題: Homework assignments and study for quiz

- 【第8回】
- ①事前学修課題: Review test Units 1-2
 - ②事後学修課題: Homework assignments and study for quiz

- 【第9回】 - 【第14回】
- ①事前学修課題: Review previous class content
 - ②事後学修課題: Homework assignments and study for quiz

- 【第15回】
- ①事前学修課題: Review test Units 3-4
 - ②事後学修課題: Check grades on Google Classroom, Submit the final evaluation

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given during the semester and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

Active participation in class (10%)
 Vocabulary quizzes (10%),
 Semester evaluations (30%)
 Homework assignments (25%)
 Final evaluation exam (25%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Active participation in class (10%), vocabulary quizzes (10%) and semester evaluations (30%)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	25	Homework assignments (25%)	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	25	Final evaluation exam (25%)	1, 2, 3, 4
その他	0	none	

テキスト
 Unlock Level 1 Listening, Speaking & Critical Thinking Student's Book, Mob App and Online Workbook w/ Downloadable Audio and Video. N. M. White, Susan Peterson, Nancy Jordan, Chris Sowton, Cambridge University Press; 2nd edition (December 29, 2018), 9781009031455

参考書

履修条件・他の科目との関連

Attendance Policy & Notes:

- 1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。
- 2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。
- 3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。
- 4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。
- 5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。
- 6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。

授業コード	13086402	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	英語プレゼンテーションⅡ [対面]				
シラバス執筆(全員)	S. J. カー				
シラバス執筆(主)	S. J. カー				
開講年次	カリキュラムによる	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course, students will learn basic speaking and listening skills by communicating in real-life situations on a variety of topics. There will be opportunities for discussion and idea development, but the focus of the course will be on listening. Vocabulary and grammar related to the topics and how to express opinions on the topics will also be focused on. With practice, students will become comfortable dealing with difficult content and vocabulary that they have not learned yet.

到達目標

The objectives of this class are to

- (1) develop basic English communication skills for everyday situations and
- (2) enable students to speak about a variety of topics.
- (3) build vocabulary
- (4) build grammar

授業計画

- 【第1回】 Introductions, course explanation, Google Classroom registration, Review of Semester course
- 【第2回】 Unit 5: Jobs (details)
- 【第3回】 Unit 5: Comparing
- 【第4回】 Unit 5: Opinions I
- 【第5回】 Unit 6: Furniture
- 【第6回】 Unit 6: Opinions II
- 【第7回】 Unit 6: Prepositions
- 【第8回】 Review Test Units 5-6
- 【第9回】 Unit 7: Likes/Dislikes
- 【第10回】 Unit 7: Food
- 【第11回】 Unit 7: Numbers
- 【第12回】 Unit 8: Transportation
- 【第13回】 Unit 8: Urban Life
- 【第14回】 Unit 8: Problems & Solutions
- 【第15回】 Review Test Units 7-8, final project explanation

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

- 【第1回】
- ①事前学修課題: buy the textbook. Review the first unit
 - ②事後学修課題: Homework assignments and study for quiz

- 【第2回】 - 【第7回】
- ①事前学修課題: Review previous class content
 - ②事後学修課題: Homework assignments and study for quiz

- 【第8回】
- ①事前学修課題: Review test Units 5-6
 - ②事後学修課題: Homework assignments and study for quiz

- 【第9回】 - 【第14回】
- ①事前学修課題: Review previous class content
 - ②事後学修課題: Homework assignments and study for quiz

- 【第15回】
- ①事前学修課題: Review test Units 7-8
 - ②事後学修課題: Check grades on Google Classroom, Submit the final evaluation

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given during the semester and before the final class.

3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

Active participation in class (10%)
 Vocabulary quizzes (10%),
 Semester evaluations (30%)
 Homework assignments (25%)
 Final evaluation exam (25%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Active participation in class (10%), vocabulary quizzes (10%) and semester evaluations (30%)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	25	Homework assignments (25%)	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	25	Final evaluation exam (25%)	1, 2, 3, 4
その他	0	none	

テキスト	Unlock Level 1 Listening, Speaking & Critical Thinking Student's Book, Mob App and Online Workbook w/ Downloadable Audio and Video. N. M. White, Susan Peterson, Nancy Jordan, Chris Sowton, Cambridge University Press; 2nd edition (December 29, 2018), 9781009031455
------	---

参考書	
-----	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできるが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13094505	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	韓国語 I [対面]				
シラバス執筆(全員)	金 文洙、沈 玉均				
シラバス執筆(主)	金 文洙				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

韓国語をはじめて学ぶ学生を対象とする科目であり、聞き・読み・書き・話す機能を基礎から総合的に養うことに主眼を置く。今期は、ハングル文字の母音と子音の成り立ちや仕組みから、自己紹介の表現などを学ぶことで、韓国語の基本的な骨格を身につけることを目指す。

到達目標

①韓国語の文字を覚え、②正しく発音できるようになること。また、③簡単な自己紹介ができるようになること。

授業計画

- 【第1回】
テーマ：ガイダンスと基礎第1課 韓国語について。
内容・方法：韓国語の特徴及び創製原理。
- 【第2回】
テーマ：基礎第2課 出会いの挨拶と基本母音。
内容・方法：文字と発音。
- 【第3回】
テーマ：基礎第3課 別れの挨拶と基本子音。
内容・方法：激音・濃音。
- 【第4回】
テーマ：基本母音と子音の確認。
内容・方法：歌による発音の練習。
- 【第5回】
テーマ：基礎第4課 感謝の表現と複合母音。
内容・方法：文字と発音。
- 【第6回】
テーマ：基礎第5課 謝罪の表現とパッチム。
内容・方法：終音。
- 【第7回】
テーマ：基礎第6課 発音規則①。
内容・方法：連音化・鼻音化。
- 【第8回】
テーマ：基礎第6課 発音規則②。
内容・方法：流音化・濃音化。
- 【第9回】
テーマ：基礎第6課 発音規則③。
内容・方法：激音化・口蓋音化。
- 【第10回】
テーマ：日本語のハングル表記。
内容・方法：名前をハングルで。
- 【第11回】
テーマ：前半のまとめと小テスト。
内容・方法：基礎第1から6課までの復習。
- 【第12回】
テーマ：第1課 私は浅井ゆかりです。
内容・方法：簡単な自己紹介。
- 【第13回】
テーマ：第1課 私は浅井ゆかりです。
内容・方法：～は/～です。
- 【第14回】
テーマ：第2課 出身はソウルですか。
内容・方法：～ですか。
- 【第15回】
テーマ：第2課 出身はソウルですか。
内容・方法：疑問形。
- 【第16回】
テーマ：第3課 図書館ではありません。
内容・方法：～ではありません。
- 【第17回】
テーマ：第3課 図書館ではありません。
内容・方法：否定文。
- 【第18回】

テーマ：第4課 時間がありますか。
内容・方法：あります/ありません。
【第19回】

テーマ：第4課 時間がありますか。
内容・方法：いますか/いませんか。
【第20回】

テーマ：第5課 何をしますか。
内容・方法：します/しますか。
【第21回】

テーマ：第5課 何をしますか。
内容・方法：丁寧形の文作り。
【第22回】

テーマ：第6課 貿易会社で働いています。
内容・方法：います/あります。
【第23回】

テーマ：第6課 貿易会社で働いています。
内容・方法：現在進行形。
【第24回】

テーマ：第7課 服を買います。
内容・方法：動詞、形容詞。
【第25回】

テーマ：第7課 服を買います。
内容・方法：存在詞・指定詞。
【第26回】

テーマ：第8課 スーパーでよく買います。
内容・方法：用言のヨ体。
【第27回】

テーマ：第8課 スーパーでよく買います。
内容・方法：平叙・疑問・勧誘・丁寧な命令。
【第28回】

テーマ：第9課 2万5千ウォンです。
内容・方法：漢数詞。
【第29回】

テーマ：第9課 2万5千ウォンです。
内容・方法：縮約形。
【第30回】

テーマ：前期のまとめ インタビューテスト。
内容・方法：第I課から第9課まで復習する。

事前事後の学習

授業時間外で、計30時間の事前事後学習が必要です。

- 【第1回】
事前学習課題：授業の概要を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書基礎第1課を読んでおくこと。1時間
- 【第2回】
事前学習課題：教科書基礎第2課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
- 【第3回】
事前学習課題：教科書基礎第3課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
- 【第4回】
事前学習課題：教科書基礎第I、2、3課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
- 【第5回】
事前学習課題：教科書基礎第4課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
- 【第6回】
事前学習課題：教科書基礎第5課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
- 【第7回】
事前学習課題：教科書基礎第6課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
- 【第8回】
事前学習課題：教科書基礎第6課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
- 【第9回】
事前学習課題：教科書基礎第6課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
- 【第10回】
事前学習課題：教科書基礎第4、5、6課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
- 【第11回】
事前学習課題：教科書基礎第1課から第6課の小テスト勉強をしておくこと。1時間
事後学習課題：教科書基礎第1課から第6課を読んでおくこと。1時間
- 【第12回】

事前学習課題：教科書第1課を読んでおくこと。1時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
 【第13回】
 事前学習課題：教科書第1課を読んでおくこと。1時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
 【第14回】
 事前学習課題：教科書第2課を読んでおくこと。1時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
 【第15回】
 事前学習課題：教科書第2課を読んでおくこと。1時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
 【第16回】
 事前学習課題：教科書第3課を読んでおくこと。1時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
 【第17回】
 事前学習課題：教科書第3課を読んでおくこと。1時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
 【第18回】
 事前学習課題：教科書第4課を読んでおくこと。1時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
 【第19回】
 事前学習課題：教科書第4課を読んでおくこと。1時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
 【第20回】
 事前学習課題：教科書第5課を読んでおくこと。1時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
 【第21回】
 事前学習課題：教科書第5課を読んでおくこと。1時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
 【第22回】
 事前学習課題：教科書第6課を読んでおくこと。1時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
 【第23回】
 事前学習課題：教科書第6課を読んでおくこと。1時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
 【第24回】
 事前学習課題：教科書第7課を読んでおくこと。1時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
 【第25回】
 事前学習課題：教科書第7課を読んでおくこと。1時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
 【第26回】
 事前学習課題：教科書第8課を読んでおくこと。1時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
 【第27回】
 事前学習課題：教科書第8課を読んでおくこと。1時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
 【第28回】
 事前学習課題：教科書第9課を読んでおくこと。1時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
 【第29回】
 事前学習課題：教科書第9課を読んでおくこと。1時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
 【第30回】
 事前学習課題：教科書第1課から第9課のインタビューテストの勉強をしておくこと。1時間
 事後学習課題：教科書第1課から第9課を読んでおくこと。1時間

課題に対するフィードバックの方法

授業中に実施した小テストを返却し、間違った箇所を確認して覚えなおす。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

授業への参加態度と小テスト、インタビューテスト及び期末レポートの結果から総合的に評価する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	平常点	1, 2, 3
授業外での評価	20	レポート点	1, 2
定期試験	0	なし	なし

定期試験に代わるレポート等	30	期末レポート点	1, 2, 3
その他	0	なし	なし
テキスト	基礎から学ぶ「韓国語講座」初級[改訂版]/木内明 著/国書刊行会/978-4-336-05750-1		
参考書	適宜、教員が紹介する。		
履修条件・他の科目との関連	外国語の習得は毎回の授業の積み重ねが必須であることから、授業に積極的に参加すること。		

授業コード	13094605	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	韓国語Ⅱ [対面]				
シラバス執筆(全員)	金 文洙、沈 玉均				
シラバス執筆(主)	金 文洙				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

韓国語を初歩から学ぶ学生を対象とする科目であり、前期の韓国語Ⅰに続く内容である。聞き・読み・書き・話す力を総合的に養うことを主眼とする。今期は、家族や日常生活、好き嫌い、将来の目標などの表現やそれに関連する語彙を習得し、身の回りのことが一通り韓国語で述べられるようになることを目指す。

到達目標

様々な場面で使える表現を学ぶ中で、①コミュニケーション能力や②隣国への関心を高めること。

授業計画

- 【第1回】
テーマ：ガイダンスと自己紹介。
内容・方法：子音と母音の確認。
- 【第2回】
テーマ：挨拶。
内容・方法：出会いと別れの挨拶など。
- 【第3回】
テーマ：前期の復習。
内容・方法：基礎第1課から第6課まで。
- 【第4回】
テーマ：前期の復習。
内容・方法：本文第1課から9課まで。
- 【第5回】
テーマ：第10課 今、何時ですか。
内容・方法：固有数詞。
- 【第6回】
テーマ：第10課 今、何時ですか。
内容・方法：時計の読み方。
- 【第7回】
テーマ：第11課 日本語を話されますか。
内容・方法：敬語。
- 【第8回】
テーマ：第11課 日本語を話されますか。
内容・方法：～といます。
- 【第9回】
テーマ：前半のまとめと小テスト。
内容・方法：第10から11課までの復習。
- 【第10回】
テーマ：第12課 バスは行きません。
内容・方法：動詞や形容詞の否定文。
- 【第11回】
テーマ：第12課 バスは行きません。
内容・方法：～するといひ。
- 【第12回】
テーマ：第13課 いつ韓国に来ましたか。
内容・方法：過去形。
- 【第13回】
テーマ：第13課 いつ韓国に来ましたか。
内容・方法：敬語の過去形。
- 【第14回】
テーマ：第14課 一緒にお昼を食べましょう。
内容・方法：勧誘の言葉。
- 【第15回】
テーマ：第14課 一緒にお昼を食べましょう。
内容・方法：～しましょう。
- 【第16回】
テーマ：第15課 パーティーの準備をしています。
内容・方法：現在進行形。
- 【第17回】
テーマ：第15課 パーティーの準備をしています。
内容・方法：～してください。
- 【第18回】
テーマ：第16課 何も食べられませんでした。

内容・方法：可能/不可能表現。

【第19回】

テーマ：第16課 何も食べられませんでした。

内容・方法：～できる/～できない。

【第20回】

テーマ：第17課 陶磁器が見たいです。

内容・方法：～したい。

【第21回】

テーマ：第17課 陶磁器が見たいです。

内容・方法：観望の意志を表す表現。

【第22回】

テーマ：第18課 写真を撮ってもいいですか。

内容・方法：禁止の表現。

【第23回】

テーマ：第18課 写真を撮ってもいいですか。

内容・方法：～しないでください。

【第24回】

テーマ：第19課 帰国しなければいけません。

内容・方法：義務の表現。

【第25回】

テーマ：第19課 帰国しなければいけません。

内容・方法：～しなければならない。

【第26回】

テーマ：第20課 手紙を書きますよ。

内容・方法：意志・推量・未来。

【第27回】

テーマ：第20課 手紙を書きますよ。

内容・方法：～するつもりです。

【第28回】

テーマ：後期のまとめ インタビューテスト。

内容・方法：第10課から第20課まで復習する。

【第29回】

テーマ：韓国語座談(I)。

内容・方法：決めたテーマについて発表できるように練習する。

【第30回】

テーマ：韓国語座談(II)。

内容・方法：決めたテーマについて発表できるように練習する。

事前事後の学習

授業時間外で、計30時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

事前学習課題：自己紹介の内容を考えておくこと。1時間

事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間

【第2回】

事前学習課題：挨拶の内容を考えておくこと。1時間

事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間

【第3回】

事前学習課題：教科書基礎第1課から7課を読んでおくこと。1時間

事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間

【第4回】

事前学習課題：教科書本文第1課から9課までを読んでおくこと。1時間

事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間

【第5回】

事前学習課題：教科書基礎第10課を読んでおくこと。1時間

事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間

【第6回】

事前学習課題：教科書基礎第10課を読んでおくこと。1時間

事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間

【第7回】

事前学習課題：教科書基礎第11課を読んでおくこと。1時間

事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間

【第8回】

事前学習課題：教科書基礎第11課を読んでおくこと。1時間

事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間

【第9回】

事前学習課題：教科書基礎第10、11課の小テスト勉強をしておくこと。1時間

事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間

【第10回】

事前学習課題：教科書基礎第12課を読んでおくこと。1時間

事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間

【第11回】

事前学習課題：教科書基礎第12課を読んでおくこと。1時間

事後学習課題：教科書基礎第1課から第6課を読んでおくこと。1時間

【第12回】

事前学習課題：教科書第13課を読んでおくこと。1時間

事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
【第13回】
事前学習課題：教科書第13課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
【第14回】
事前学習課題：教科書第14課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
【第15回】
事前学習課題：教科書第14課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
【第16回】
事前学習課題：教科書第15課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
【第17回】
事前学習課題：教科書第15課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
【第18回】
事前学習課題：教科書第16課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
【第19回】
事前学習課題：教科書第16課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
【第20回】
事前学習課題：教科書第17課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
【第21回】
事前学習課題：教科書第17課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
【第22回】
事前学習課題：教科書第18課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
【第23回】
事前学習課題：教科書第18課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
【第24回】
事前学習課題：教科書第19課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
【第25回】
事前学習課題：教科書第19課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
【第26回】
事前学習課題：教科書第20課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
【第27回】
事前学習課題：教科書第20課を読んでおくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
【第28回】
事前学習課題：教科書基礎第10から20課の小テスト勉強をしておくこと。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
【第29回】
事前学習課題：決めたテーマについて発表できるように練習すること。1時間
事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。1時間
【第30回】
事前学習課題：決めたテーマについて発表できるように練習すること。1時間
事後学習課題：教科書第1課から第9課を読んでおくこと。1時間

課題に対するフィードバックの方法

授業中に実施した小テストを返却し、間違った箇所を確認して覚えなおす。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

授業への参加態度と小テスト、インタビューテスト及び期末レポートの結果から総合的に評価する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	平常点	1, 2
授業外での評価	20	レポート点	1, 2
定期試験	0	なし	なし
定期試験に代わるレポート等	30	期末レポート点	1, 2

その他	0	なし	なし
テキスト	基礎から学ぶ「韓国語講座」初級[改訂版]/木内明 著/国書刊行会/978-4-336-05750-1		
参考書	適宜、教員が紹介する。		
履修条件・他の科目との関連	外国語の習得は毎回の授業の積み重ねが必須であることから、授業に積極的に参加すること。		

授業コード	13085902	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	ライティング応用 I [対面]				
シラバス執筆(全員)	S. D. ラーダー				
シラバス執筆(主)	S. D. ラーダー				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course will help you improve the writing skills needed to express your ideas clearly and accurately. The writings are short and the skills gained will be useful for future writing tests. The skills include brainstorming, organizing, planning, formatting, and writing on given topics. You will learn about and practise language at sentence and paragraph level. You are expected to finish all writing and homework assignments. Handing in all your work is essential for passing this course.

到達目標

- By successfully completing this course, students will be able to:
1. Write paragraphs (original, well-formed paragraphs of 10–20 sentences including topic sentences, supporting details, and concluding sentences)
 2. Edit paragraphs (peer editing as well as editing their own work based on teacher comments)
 3. Use correct grammar in writing a variety of paragraph types
 4. Build vocabulary (vocabulary words and language terms to talk about grammar and writing)

授業計画

- 【第 1 回】
 テーマ: Unit 1
 内容・方法: Introduction and Formatting
- 【第 2 回】
 テーマ: Unit 1
 内容・方法: Topic Sentences and Structure
- 【第 3 回】
 テーマ: Unit 1
 内容・方法: Vocabulary Quiz 1; Writing Rules and Brainstorming
- 【第 4 回】
 テーマ: Unit 2
 内容・方法: Supporting Sentences
- 【第 5 回】
 テーマ: Unit 2
 内容・方法: Punctuation
- 【第 6 回】
 テーマ: Unit 3
 内容・方法: Concluding Sentences and Outlining
- 【第 7 回】
 テーマ: Unit 3
 内容・方法: Vocabulary Quiz 2; Paragraph 1
- 【第 8 回】
 テーマ: In-class Midterm Evaluation
 内容・方法: Writing & Editing review, Unit 1–3 Evaluation
- 【第 9 回】
 テーマ: Unit 4
 内容・方法: Adding Details, Adjectives
- 【第 10 回】
 テーマ: Unit 4
 内容・方法: Vocabulary Quiz 3; Paragraph 2
- 【第 11 回】
 テーマ: Unit 5
 内容・方法: Comparison Signals
- 【第 12 回】
 テーマ: Unit 5
 内容・方法: Paragraph 3
- 【第 13 回】
 テーマ: Unit 6
 内容・方法: Vocabulary Quiz 4; Contrast Signals
- 【第 14 回】
 テーマ: Unit 6
 内容・方法: Textbook review, Paragraph 4
- 【第 15 回】
 テーマ: In-class final evaluation
 内容・方法: End of term evaluation for Units 1–6 & writing. Explanation of final report assignment.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。毎回の授業前に約30分の予習課題を行い、授業後に約30分の復習課題を行います。

A total of 45 hours of study is required per 1-credit course, including class (calculated as 2 hours per session) and pre- and post-work study. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題: None

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第2回】

事前学修課題: Pre-read textbook p. 6

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第3回】

事前学修課題: Pre-read textbook pp. 9-10

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第4回】

事前学修課題: Pre-read textbook p. 12

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第5回】

事前学修課題: Pre-read textbook pp. 15-16

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第6回】

事前学修課題: Pre-read textbook p. 18

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第7回】

事前学修課題: Pre-read textbook pp. 21-22

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments. Prepare for midterm evaluation.

【第8回】

前学修課題: Review Units 1-3 for test.

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第9回】

事前学修課題: Pre-read textbook p. 24

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第10回】

事前学修課題: Pre-read textbook pp. 27-28

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第11回】

事前学修課題: Pre-read textbook p. 32

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第12回】

事前学修課題: Pre-read textbook pp. 36-37

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第13回】

事前学修課題: Pre-read textbook p. 40

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第14回】

事前学修課題: Pre-read textbook pp. 43-44

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第15回】

事前学修課題: Review Units 4-6 for final evaluation. Prepare for end of term evaluation.

事後学修課題: Complete and submit the final evaluation assignment

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed as homework, and midterm and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course if they comply with the attendance policy (see below).

Grade Breakdown:

1) Active participation (10%)

This means actively taking part in all in-class and Google Classroom writing activities. You are expected to enter on time, continue to participate for the whole class, and respond to the teacher and other students orally or through feedback options of the software.

2) Homework and preparation for classes (25%)

- 3) In-class evaluations and other in-class assignments (40), vocabulary quizzes (15)
 4) Final Evaluation Assignment (10%)

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Please contact your individual instructor for information about coursework and grading policy.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	55	In-class evaluations and other in-class assignments (40), vocabulary quizzes (15)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	25	Homework assignments (25)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10	Final Evaluation (10)	1, 2, 3
その他	10	Active participation during in-class activities (10)	1, 2, 3, 4

テキスト	Real Writing, Mariko Kawasaki, Ayed Hasian, Samuel Haugh, Yoko Nakano, Seishirou Ibaraki; Nan'un-do 2019 978-4-523-17886-6
------	---

参考書	None
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	---

授業コード	13086002	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	ライティング応用Ⅱ [対面]				
シラバス執筆(全員)	S. D. ラーダー				
シラバス執筆(主)	S. D. ラーダー				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course will help you improve the writing skills needed to express your ideas clearly and accurately. The writings are short and the skills gained will be useful for future writing tests. The skills include brainstorming, organizing, planning, formatting, and writing on given topics. You will learn about and practise language at sentence, paragraph, and short essay level. You are expected to finish all writing and homework assignments. Handing in all your work is essential for passing this course.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Write paragraphs (original, well-formed paragraphs of ~20 sentences including topic sentences, supporting details, and concluding sentences, and original essays of 3 - 4 paragraphs)
2. Edit paragraphs and essays (peer editing as well as editing their own work based on teacher comments)
3. Use correct grammar in writing a variety of paragraph and essay types
4. Build vocabulary (vocabulary words and language terms to talk about grammar and writing)

授業計画

【第 1 回】
 テーマ： Unit 7
 内容・方法： Review Units 1-6, Cause and Effect Signals

【第 2 回】
 テーマ： Unit 7
 内容・方法： Paragraph 1

【第 3 回】
 テーマ： Unit 8
 内容・方法： Vocabulary Quiz 1; Evidence Signals

【第 4 回】
 テーマ： Unit 8
 内容・方法： Paragraph 2

【第 5 回】
 テーマ： Unit 9
 内容・方法： Auxiliary Verbs, Structure

【第 6 回】
 テーマ： Unit 9
 内容・方法： Paragraph 3

【第 7 回】
 テーマ： In-class Midterm Evaluation
 内容・方法： Vocabulary Quiz 2; Units 7-9 Evaluation

【第 8 回】
 テーマ： Unit 10
 内容・方法： Time Order Signals

【第 9 回】
 テーマ： Unit 10
 内容・方法： Paragraph 4

【第 10 回】
 テーマ： Unit 11
 内容・方法： Vocabulary Quiz 3; Process Signals

【第 11 回】
 テーマ： Unit 11
 内容・方法： Paragraph 5

【第 12 回】
 テーマ： Unit 13
 内容・方法： Essay Structure

【第 13 回】
 テーマ： Unit 13
 内容・方法： Vocabulary Quiz 4; Citations

【第 14 回】
 テーマ： Units 13 & 14
 内容・方法： Essay 1

【第 15 回】
 テーマ： Review and Final Evaluation

内容・方法 : End of term evaluation. Review Units 10-14. Explanation of Final Report Exam & Begin writing

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。毎回の授業前に約30分の予習課題を行い、授業後に約30分の復習課題を行います。
A total of 45 hours of study is required per 1-credit course, including class (calculated as 2 hours per session) and pre- and post-work study. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題 : None

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第2回】

事前学修課題 : Pre-read textbook pp. 52-53

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第3回】

事前学修課題 : Pre-read textbook p. 56

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第4回】

事前学修課題 : Pre-read textbook pp. 59-60

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第5回】

事前学修課題 : Pre-read textbook p. 64

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第6回】

事前学修課題 : Pre-read textbook pp. 68-69

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第7回】

事前学修課題 : Review Units 7-9 for Test. Prepare for midterm evaluation.

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第8回】

事前学修課題 : Pre-read textbook p. 72

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第9回】

事前学修課題 : Pre-read textbook pp. 75-77

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第10回】

事前学修課題 : Pre-read textbook p. 80

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第11回】

事前学修課題 : Pre-read textbook pp. 84-85

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第12回】

事前学修課題 : Pre-read textbook p. 96

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第13回】

事前学修課題 : Pre-read textbook pp. 100-101

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第14回】

事前学修課題 : Pre-read textbook pp. 104, 107, 109

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments.

【第15回】

事前学修課題 : Review Units 10-14 for final evaluation. Prepare for end of term evaluation.

事後学修課題 : Submit Final Evaluation

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed as homework, and midterm, end of term, and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course if they comply with the attendance policy (see below).

Grade Breakdown:

1) Positive participation (10%)

This means actively taking part in all in-class and Google Classroom writing activities. You are

expected to enter on time, continue to participate for the whole class, and respond to the teacher and other students orally or through feedback options of the software.

2) Homework and preparation for classes (25%)

3) Midterm and End of Term evaluations and other in-class assignments (40%), vocabulary quizzes (15%)

4) Final Evaluation Assignment (10%)

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Please contact your individual instructor for information about coursework and grading policy.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	55	Midterm and End of Term Evaluations and other in-class assignments (40), vocabulary quizzes (15)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	25	Homework assignments (25)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10	Final Evaluation (10)	1, 2, 3
その他	10	Active participation during in-class activities (10)	1, 2, 3, 4

テキスト	Real Writing, Mariko Kawasaki, Ayed Hasian, Samuel Haugh, Yoko Nakano, Seishirou Ibaraki; Nan'un-do 2019 978-4-523-17886-6
------	---

参考書	None
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13101202	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	プラクティカル・リスニング I [対面]				
シラバス執筆(全員)	G. S. ジョン=バプティースト				
シラバス執筆(主)	G. S. ジョン=バプティースト				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course you will develop your listening skills. To improve this language skill, you must learn to listen for specific facts, details, and reasons, as well as learn to understand how speakers show interest and understanding. There will be many listening assignments in class and for homework. As strong vocabulary is also necessary for good listening, this course includes vocabulary building. Particular attention is paid to strategy development for listening during testing situations and in academic settings, as well as differentiating specific sounds of English. Course information and homework assignments will be on Google Classroom.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to...

1. Learn a variety of listening strategies for general comprehension of conversations about everyday themes
2. Apply listening strategies to other contexts
3. Practice bottom-up skills through pronunciation, intonation, and dictation exercises
4. Improve grammar and vocabulary for listening

授業計画

- 【第1回】
 テーマ： Unit 1 & Course Introduction. Google Class registration and explanation.
 内容・方法： “The Weekend” : Listening and conversation practice
- 【第2回】
 テーマ： Unit 2
 内容・方法： “City Transportation” : Listening and conversation practice
- 【第3回】
 テーマ： Unit 3
 内容・方法： “Neighbors” : Listening and conversation practice
- 【第4回】
 テーマ： Unit 4
 内容・方法： “Celebrations” : Listening and conversation practice
- 【第5回】
 テーマ： Evaluation 1: Units 1-4
 内容・方法： Chapter review test.
- 【第6回】
 テーマ： Unit 5
 内容・方法： “Restaurants” : Listening and conversation practice
- 【第7回】
 テーマ： Unit 6
 内容・方法： “Gifts” : Listening and conversation practice
- 【第8回】
 テーマ： Unit 7
 内容・方法： “Air Travel” : Listening and conversation practice
- 【第9回】
 テーマ： Unit 8
 内容・方法： “Mishaps” : Listening and conversation practice
- 【第10回】
 テーマ： Evaluation 2: Units 5-8
 内容・方法： Chapter review test.
- 【第11回】
 テーマ： Unit 9
 内容・方法： “Jobs” : Listening and conversation practice
- 【第12回】
 テーマ： Unit 10
 内容・方法： “Keeping Fit” : Listening and conversation practice
- 【第13回】
 テーマ： Unit 11
 内容・方法： “Invitations” : Listening and conversation practice
- 【第14回】
 テーマ： Unit 12
 内容・方法： “Campus Life” : Listening and conversation practice
- 【第15回】
 テーマ： Evaluation 3: Units 9-12

内容・方法： Chapter review test.
Final Evaluation explanation.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

- 【第1回】
事前学修課題： Review the syllabus. Purchase the textbook.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第2回】
事前学修課題： Read Unit 2 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第3回】
事前学修課題： Read Unit 3 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第4回】
事前学修課題： Read Unit 4 and check word meanings.
事後学修課題： Review chapters 1-4
- 【第5回】
事前学修課題： Prepare for Evaluation 1
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第6回】
事前学修課題： Read Unit 5 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第7回】
事前学修課題： Read Unit 6 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第8回】
事前学修課題： Read Unit 7 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第9回】
事前学修課題： Read Unit 8 and check word meanings.
事後学修課題： Review chapters 5-8
- 【第10回】
事前学修課題： Prepare for Evaluation 2
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第11回】
事前学修課題： Read Unit 9 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第12回】
事前学修課題： Read Unit 10 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments
- 【第13回】
事前学修課題： Read Unit 11 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第14回】
事前学修課題： Read Unit 12 and check word meanings.
事後学修課題： Review chapters 9-12
- 【第15回】
事前学修課題： Prepare for Evaluation 3
事後学修課題： Prepare for Final Evaluation

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

Active participation in class (10%)
Vocabulary and Dictation quizzes (10%),
Semester evaluations (30%)
Homework assignments (20%)
Self-study units (10%)
Final evaluation exam (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Active participation in class (10%), vocabulary and	1, 3

		dictation quizzes (10%) and semester evaluations (30%)	
授業外での評価	30	Homework assignments (20%) and self-study units (10%)	2, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final evaluation exam (20%)	1, 3, 4
その他	0	none	

テキスト	Tactics for Listening Developing Student Book, Third Edition: Jack C Richards with Grant Trew; 2011, (Oxford University Press) ISBN: 978-0-19-401385-7		
------	--	--	--

参考書	none		
-----	------	--	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>		
---------------	--	--	--

授業コード	13101302	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	プラクティカル・リスニングⅡ [対面]				
シラバス執筆(全員)	G.S. ジョン=バプティースト				
シラバス執筆(主)	G.S. ジョン=バプティースト				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course you will develop your listening skills. To improve this language skill, you must learn to listen for specific facts, details, and reasons, as well as learn to understand how speakers show interest and understanding. There will be many listening assignments in class and for homework. As strong vocabulary is also necessary for good listening, this course includes vocabulary building. Particular attention is paid to strategy development for listening during testing situations and in academic settings, as well as differentiating specific sounds of English. In class, we will focus on:

- Predicting what you will hear from pictures / context
- Listening for general understanding
- Listening for details
- Making inferences about speaker mood & intention
- Applying listening strategies to TOEIC Test question types
- Identify linking, contraction, intonation patterns introduced in the textbook
- Analyze vowel sounds using English Central, song lyrics, and videos

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to...

1. Learn top-down listening strategies for general comprehension of conversations about everyday themes.
2. Build bottom-up listening skills through pronunciation, intonation, and dictation practice
3. Improve note-taking skills for lectures and videos
4. Learn vocabulary items and phrases from each unit

授業計画

- 【第1回】
テーマ： Unit 13
内容・方法： Course orientation and explanation of grading policy and assignments. Unit 13 activities.
- 【第2回】
テーマ： Unit 14
内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation.
- 【第3回】
テーマ： Unit 15
内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation. Vocab/Dictation Quiz 1.
- 【第4回】
テーマ： Unit 16
内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation. English Central study.
- 【第5回】
テーマ： Evaluation Units 13-16
内容・方法： Evaluation based on Units 13 - 16, listening through music activity.
- 【第6回】
テーマ： Unit 17
内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation.
- 【第7回】
テーマ： Unit 18
内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation.
- 【第8回】
テーマ： Unit 19
内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation. Vocab/Dictation Quiz 2.
- 【第9回】
テーマ： Unit 20
内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation. English Central study.
- 【第10回】
テーマ： Evaluation Units 17-20
内容・方法： Evaluation based on Units 17-20. Listening through music activity.
- 【第11回】
テーマ： Unit 21
内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation.
- 【第12回】
テーマ： Unit 22
内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation. English Central study.
- 【第13回】

テーマ : Unit 23

内容・方法 : Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation. Vocab/Dictation Quiz 3

【第14回】

テーマ : Unit 24

内容・方法 : Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation. Final Listening through music presentations.

【第15回】

テーマ : Evaluation Units 21-24

内容・方法 : Evaluation based on Units 21-24, Final Listening through music presentations.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

事前学修課題 : None

事後学修課題 : English Central and Vocabulary Preview HW assignments

【第2回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第3回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview. Study for Vocab/Dictation Quiz 1

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第4回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第5回】

事前学修課題 : Study for Evaluation (Units 13-16)

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第6回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第7回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第8回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview. Study for Vocab/Dictation Quiz 2

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第9回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第10回】

事前学修課題 : Study for Evaluation (units 17-20)

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第11回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第12回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第13回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview. Study for Vocab/Dictation Quiz 3

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第14回】

事前学修課題 : Prepare for listening through music presentation

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第15回】

事前学修課題 : Study for Evaluation (units 21-24)

事後学修課題 : English Central and Final Report

課題に対するフィードバックの方法

Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed outside of class, and unit evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course if they comply with the attendance policy (see below).

Grade Breakdown:

Active participation (10%)

Vocab / Dictation Quizzes (15%)
 Midterm Evaluations (30%)
 Homework assignments (15%)
 English Central course completion (10%)
 Final Evaluation Report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	55	Active Participation (10), Vocab / Dictation quizzes (15), Midterm unit evaluations (30)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	25	Homework assignments (15), English Central course completion (10)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final Evaluation (20)	1, 2, 3, 4
その他	0		

テキスト	Tactics for Listening Expanding Student Book Third Edition: Jack C Richards with Grant Trew; 2011 (Oxford University Press) ISBN: 978-0-19-401386-4
------	---

参考書	None.
-----	-------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13085501	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Four Skills in English I [対面]				
シラバス執筆(全員)	I.M. アレンズワース				
シラバス執筆(主)	I.M. アレンズワース				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course students will be introduced to four basic skills for listening, reading, writing, and speaking English. 4 modules (topics) have been chosen for this semester. Students will have time to become familiar with each topic while they practice the four skills. After each topic has been completed, students will complete and practice presenting individual and/or group projects to help them improve their ability to use the four skills in everyday situations (social, academic, and professional). Students will work in pairs or groups for some class activities.

到達目標

Students will be able to:

1. Summarize the main points of a listening or reading text.
2. Formulate some of their thoughts and ideas about a familiar topic in written form.
3. Articulate some of their opinions and ideas about a familiar topic in small group discussions.

授業計画

- 【第1回】
 テーマ: Course introduction. Google Classroom registration and explanation. Diagnostics test. Module 1 - Unit 1, Part 1
 内容・方法: Diagnostics test.
- 【第2回】
 テーマ: Module 1 - Introductions Part 1
 内容・方法: Vocabulary review, listening skills practice, pronunciation.
- 【第3回】
 テーマ: Module 1 - Introductions Part 2
 内容・方法: Reading comprehension skills practice, writing skills practice.
- 【第4回】
 テーマ: Module 1 - Introductions Part 3
 内容・方法: Four skills consolidation - Student project preparation (Introductions).
- 【第5回】
 テーマ: Module 1 - Introductions Part 4
 内容・方法: Student project presentation.
- 【第6回】
 テーマ: Module 2 - Food Part 1
 内容・方法: Module 1 review quiz / Vocabulary review, listening skills practice, pronunciation.
- 【第7回】
 テーマ: Module 2 - Food Part 2
 内容・方法: Reading comprehension skills practice, writing skills practice.
- 【第8回】
 テーマ: Module 2 - Food Part 3
 内容・方法: Four skills consolidation - student project preparation (Food).
- 【第9回】
 テーマ: Module 2 - Food Part 4
 内容・方法: Student project presentation.
- 【第10回】
 テーマ: Module 3 - Fashion Part 1
 内容・方法: Module 2 review quiz / Vocabulary review, listening skills practice, pronunciation.
- 【第11回】
 テーマ: Module 3 - Fashion Part 2
 内容・方法: Reading comprehension skills practice, writing skills practice.
- 【第12回】
 テーマ: Module 3 - Fashion Part 3
 内容・方法: Four skills consolidation - student project preparation (Fashion).
- 【第13回】
 テーマ: Module 3 - Fashion Part 4
 内容・方法: Student project presentation.
- 【第14回】
 テーマ: Module 4 - Health Part 1
 内容・方法: Module 3 Review quiz / Vocabulary review, listening skills practice, pronunciation.
- 【第15回】
 テーマ: Module 4 - Health Part 2
 内容・方法: Reading comprehension skills practice, writing skills practice.

Explain the final test

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。

【第1回】

①事前学修課題：Buy the textbook. Google classroom registration. Carefully read the syllabus and grading information.

②事後学修課題：Buy a class journal for note taking, Self study.

【第2回】

①事前学修課題：Review Module 1 Vocabulary/Grammar pages 9-10 in the textbook.

②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第3回】

①事前学修課題：Homework.

②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第4回】

①事前学修課題：Practice for student/group presentation.

②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第5回】

①事前学修課題：Study for Module 1 review quiz.

②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第6回】

①事前学修課題：Review Module 2 Vocabulary/Grammar pages 25-26 in the textbook.

②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第7回】

①事前学修課題：Homework.

②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第8回】

①事前学修課題：Practice for student/group presentation.

②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第9回】

①事前学修課題：Study for Module 2 review quiz.

②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第10回】

①事前学修課題：Review Module 3 Vocabulary/Grammar pages 41-42 in the textbook.

②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第11回】

①事前学修課題：Homework.

②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第12回】

①事前学修課題：Practice for student/group presentation.

②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第13回】

①事前学修課題：Study for Module 3 review quiz.

②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第14回】

①事前学修課題：Review Module 4 Vocabulary/Grammar pages 57-58 in the textbook.

②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第15回】

①事前学修課題：Semester review.

②事後学修課題：Review for the final test. Submit the final evaluation.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

1. Module review quizzes 40%
2. Participation: Individual and/or group projects 40%
3. Final test 20%

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	40	Module review quizzes	1, 2
授業外での評価	0	none	

定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final test	1, 2, 3
その他	40	Participation: Individual and/or group projects	1, 2

テキスト	Framework for English, Colin Thompson, Tim Woolstencroft, Kinseido, 2020, ISBN: 978-4-7647-4107-2		
------	---	--	--

参考書			
-----	--	--	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>		
---------------	--	--	--

授業コード	13085502	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Four Skills in English I [対面]				
シラバス執筆(全員)	J. エチャャー				
シラバス執筆(主)	J. エチャャー				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course students will be introduced to four basic skills for listening, reading, writing, and speaking English. 4 modules (topics) have been chosen for this semester. Students will have time to become familiar with each topic while they practice the four skills. After each topic has been completed, students will complete and practice presenting individual and/or group projects to help them improve their ability to use the four skills in everyday situations (social, academic, and professional). Students will work in pairs or groups for some class activities.

到達目標

Students will be able to:

1. Summarize the main points of a listening or reading text.
2. Formulate some of their thoughts and ideas about a familiar topic in written form.
3. Articulate some of their opinions and ideas about a familiar topic in small group discussions.

授業計画

- 【第1回】
 テーマ: Course introduction. Google Classroom registration and explanation. Diagnostics test. Module 1 - Unit 1, Part 1
 内容・方法: Diagnostics test.
- 【第2回】
 テーマ: Module 1 - Introductions Part 1
 内容・方法: Vocabulary review, listening skills practice, pronunciation.
- 【第3回】
 テーマ: Module 1 - Introductions Part 2
 内容・方法: Reading comprehension skills practice, writing skills practice.
- 【第4回】
 テーマ: Module 1 - Introductions Part 3
 内容・方法: Four skills consolidation - Student project preparation (Introductions).
- 【第5回】
 テーマ: Module 1 - Introductions Part 4
 内容・方法: Student project presentation.
- 【第6回】
 テーマ: Module 2 - Food Part 1
 内容・方法: Module 1 review quiz / Vocabulary review, listening skills practice, pronunciation.
- 【第7回】
 テーマ: Module 2 - Food Part 2
 内容・方法: Reading comprehension skills practice, writing skills practice.
- 【第8回】
 テーマ: Module 2 - Food Part 3
 内容・方法: Four skills consolidation - student project preparation (Food).
- 【第9回】
 テーマ: Module 2 - Food Part 4
 内容・方法: Student project presentation.
- 【第10回】
 テーマ: Module 3 - Fashion Part 1
 内容・方法: Module 2 review quiz / Vocabulary review, listening skills practice, pronunciation.
- 【第11回】
 テーマ: Module 3 - Fashion Part 2
 内容・方法: Reading comprehension skills practice, writing skills practice.
- 【第12回】
 テーマ: Module 3 - Fashion Part 3
 内容・方法: Four skills consolidation - student project preparation (Fashion).
- 【第13回】
 テーマ: Module 3 - Fashion Part 4
 内容・方法: Student project presentation.
- 【第14回】
 テーマ: Module 4 - Health Part 1
 内容・方法: Module 3 Review quiz / Vocabulary review, listening skills practice, pronunciation.
- 【第15回】
 テーマ: Module 4 - Health Part 2
 内容・方法: Reading comprehension skills practice, writing skills practice.

Explain the final test

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。

【第1回】

①事前学修課題：Buy the textbook. Google classroom registration. Carefully read the syllabus and grading information.

②事後学修課題：Buy a class journal for note taking, Self study.

【第2回】

①事前学修課題：Review Module 1 Vocabulary/Grammar pages 9-10 in the textbook.

②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第3回】

①事前学修課題：Homework.

②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第4回】

①事前学修課題：Practice for student/group presentation.

②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第5回】

①事前学修課題：Study for Module 1 review quiz.

②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第6回】

①事前学修課題：Review Module 2 Vocabulary/Grammar pages 25-26 in the textbook.

②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第7回】

①事前学修課題：Homework.

②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第8回】

①事前学修課題：Practice for student/group presentation.

②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第9回】

①事前学修課題：Study for Module 2 review quiz.

②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第10回】

①事前学修課題：Review Module 3 Vocabulary/Grammar pages 41-42 in the textbook.

②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第11回】

①事前学修課題：Homework.

②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第12回】

①事前学修課題：Practice for student/group presentation.

②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第13回】

①事前学修課題：Study for Module 3 review quiz.

②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第14回】

①事前学修課題：Review Module 4 Vocabulary/Grammar pages 57-58 in the textbook.

②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第15回】

①事前学修課題：Semester review.

②事後学修課題：Review for the final test. Submit the final evaluation.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

1. Module review quizzes 40%
2. Participation: Individual and/or group projects 40%
3. Final test 20%

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	40	Module review quizzes	1, 2
授業外での評価	0	none	

定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final test	1, 2, 3
その他	40	Participation: Individual and/or group projects	1, 2

テキスト	Framework for English, Colin Thompson, Tim Woolstencroft, Kinseido, 2020, ISBN: 978-4-7647-4107-2		
------	---	--	--

参考書			
-----	--	--	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>		
---------------	--	--	--

授業コード	13085503	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Four Skills in English I [対面]				
シラバス執筆(全員)	岩崎 真哉				
シラバス執筆(主)	岩崎 真哉				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

日常的な話題や場面を想定して、英語でコミュニケーションができる力を養う。そのために必要な文法の基本、語彙、表現を学習する。英語で指示を与えたり、聴く、話すを含めた授業内活動を展開して、英語能力を総合的に向上させる。英語の基本的な4技能、speaking, listening, reading, writing の統合を目指している。

到達目標

1. 場面、状況に応じた適切な語彙、表現を覚えて、実際にある程度英語を運用できる。
2. 中級レベルの聞き取りや会話ができるようになる。
3. 読み書くという作業を通して文法の基本事項を習得し、使いこなすことができる。

授業計画

- 第1回：Making friends (1)：英語でお互い自己紹介を行う。単純現在形を中心とした表現を覚える。
 第2回：Making friends (2)：身の回りのものに関する語彙を増やす。actuallyを含んだ会話を学ぶ。テーマに関するreadingとwriting活動を行う。
 第3回：Interests (1)：相手に趣味を尋ねる会話を行う。一般動詞を中心とした表現を覚える。
 第4回：Interests (2)：趣味に関する語彙を増やす。優しく断る表現を学ぶ。テーマに関するreadingとwriting活動を行う。
 第5回：Health (1)：健康に関する会話を学ぶ。現在進行形を中心とした表現を覚える。
 第6回：Health (2)：健康に関する語彙を増やす。会話が続くような表現を学ぶ。テーマに関するreadingとwriting活動を行う。
 第7回：Celebrations (1)：お祝いに関する会話を学ぶ。be going to を中心とした表現を覚える。
 第8回：Celebrations (2)：お祝いに関する語彙を増やす。自信がない時に使う表現を学ぶ。テーマに関するreadingとwriting活動を行う。
 第9回：Growing up (1)：成長に関する会話を学ぶ。過去形を中心とした表現を覚える。
 第10回：Growing up (2)：成長に関する語彙を増やす。正しく言い直す表現を学ぶ。テーマに関するreadingとwriting活動を行う。
 第11回：Around town (1)：道を尋ね、答える会話を学ぶ。代名詞を中心とした表現を覚える。
 第12回：Around town (2)：道を尋ね、答える際に使う語彙を増やす。確認表現を学ぶ。テーマに関するreadingとwriting活動を行う。
 第13回：Free talk (1)：Me too, The games of likes and dislikes, Are you taking care of your health? のタスクを行い、それらに関する語彙を増やし、readingとwriting活動を行う。
 第14回：Free talk (2)：A new celebration, Summer fun, In the past のタスクを行い、それらに関する語彙を増やし、readingとwriting活動を行う。
 第15回：本授業のまとめと復習を行う。

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

毎回の授業では、事前学習として、課題の解答が求められる。この事前学習と復習を合わせて、約1.5時間の学習が必要である。

課題に対するフィードバックの方法

授業内での課題については、授業内に、その他の課題やレポートについては、Google Classroom等を用いてフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

課題、クイズ、レポート内容などにより総合的に評価する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	授業での発表、発言	1, 2, 3
授業外での評価	30	課題	1, 2, 3
定期試験	0		

定期試験に代わるレポート等	20	レポート	1, 2, 3
その他	0		
テキスト	プリントを配布する。		
参考書	必要に応じて授業の中で紹介する。		
履修条件・他の科目との関連	後期にFour Skills in English IIがあり両方を受講することが望ましい。 授業を欠席した場合は、その回のハンドアウトを次回に渡す。		

授業コード	13085551	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Four Skills in English I [対面]				
シラバス執筆(全員)	A. E. リオン				
シラバス執筆(主)	A. E. リオン				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this class, you will develop your English reading, writing, listening, and speaking skills. You will do activities that integrate the four skills with grammar, vocabulary, and pronunciation study to improve your overall English ability. Class time will be devoted to working on linked skills tasks with specific focus given to extensive reading and English Central vocabulary study tasks. The course focuses heavily on group work and you are expected to take responsibility for your own success as well as the success of your group.

The class involves regular individual counseling sessions with the professor. During these sessions, you will be asked to proactively demonstrate what you have been studying and make plans of action to improve. The counseling sessions will also be a time to think about future goals. You will develop writing and speaking skills through projects related to your personal goals and interests (especially related to goals for English study abroad and volunteering).

Several class meetings may be used to hold joint events such as orientations, presentations, explanations of study abroad programs, etc. The TOEIC-IP Test will be held during this period.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Use classroom technology effectively, including Google Classroom, English Central, and Moodle Reader
2. Meet weekly completion targets for English Central study
3. Meet Extensive Reading goals (including Moodle quizzes and reflection/discussion activities)
4. Complete regular Language Lab missions and form a regular study group

授業計画

【第1回】

テーマ: Joint Orientation

内容・方法: Explanation of course goals and classroom technology (Google Classroom, English Central, Extensive Reading assignments)

【第2回】

テーマ: Reading Skills

内容・方法: Counseling workbook, LL Missions, Extensive Reading

【第3回】

テーマ: Reading Skills

内容・方法: Counseling workbook, Extensive Reading, English Central Study

【第4回】

テーマ: Vocabulary

内容・方法: Counseling workbook, LL Missions, Extensive Reading

【第5回】

テーマ: Vocabulary

内容・方法: Counseling workbook, Extensive Reading, English Central Study, Individual counseling sessions

【第6回】

テーマ: Speaking Skills

内容・方法: Counseling workbook, LL Missions, Extensive Reading

【第7回】

テーマ: Speaking Skills

内容・方法: Vocabulary Quiz 1. Extensive Reading & English Central grade deadline. Counseling workbook, Individual counseling sessions

【第8回】

テーマ: Midterm Reflection, Senior talk

内容・方法: IEP 2nd or 3rd year presentation about volunteer & internship opportunities, reflection assignment & grade check

【第9回】

テーマ: Writing Skills

内容・方法: Counseling workbook, LL Missions, Extensive Reading

【第10回】

テーマ: Writing Skills

内容・方法: Counseling workbook, Extensive Reading, English Central Study, Individual counseling sessions

【第11回】

テーマ : Listening Skills

内容・方法 : Counseling workbook, LL Missions, Extensive Reading

【第12回】

テーマ : Listening Skills

内容・方法 : Counseling workbook, Extensive Reading, English Central Study, Individual counseling sessions

【第13回】

テーマ : Grammar study

内容・方法 : Counseling workbook, LL Missions, Extensive Reading

【第14回】

テーマ : Joint Class (This class will be used to hold the TOEIC-IP Test)

内容・方法 : TOEIC-IP Test

【第15回】

テーマ : Final Presentation & Year Review

内容・方法 : Vocabulary Quiz 2, students share their final project presentation

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a 1-credit (1単位) course, which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題 : None

事後学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

【第2回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第3回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第4回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第5回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第6回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第7回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第8回】

事前学修課題 : English Central, Prepare for Joint Class

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments, midterm reflection assignment

【第9回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第10回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第11回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第12回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第13回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第14回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第15回】

事前学修課題 : Review, final reflection assignment

事後学修課題 : Personal Goals for Spring Vacation

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed as homework, course completion goals (English Central and Extensive Reading). Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse will not pass the course (see attendance policy below).

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Please contact your individual instructor for information about coursework and grading policy.

Active participation & group work (20%)

Vocabulary Quizzes (10%)

Counseling reports (10%)

English Central assignments (20%)

Extensive reading assignments (20%)

Final Report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	40	Active participation & group work (20), Vocabulary Quizzes (10), Counseling reports (10)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	40	English Central assignments (20), Extensive reading assignments (20)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final Report	1, 2, 3, 4
その他	0		

テキスト	Handouts provided by instructor
------	---------------------------------

参考書	Provided by the instructor as necessary
-----	---

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13085552	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Four Skills in English I [対面]				
シラバス執筆(全員)	S. ハティング				
シラバス執筆(主)	S. ハティング				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this class, you will develop your English reading, writing, listening, and speaking skills. You will do activities that integrate the four skills with grammar, vocabulary, and pronunciation study to improve your overall English ability. Class time will be devoted to working on linked skills tasks with specific focus given to extensive reading and English Central vocabulary study tasks. The course focuses heavily on group work and you are expected to take responsibility for your own success as well as the success of your group.

The class involves regular individual counseling sessions with the professor. During these sessions, you will be asked to proactively demonstrate what you have been studying and make plans of action to improve. The counseling sessions will also be a time to think about future goals. You will develop writing and speaking skills through projects related to your personal goals and interests (especially related to goals for English study abroad and volunteering).

Several class meetings may be used to hold joint events such as orientations, presentations, explanations of study abroad programs, etc. The TOEIC-IP Test will be held during this period.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Use classroom technology effectively, including Google Classroom, English Central, and Moodle Reader
2. Meet weekly completion targets for English Central study
3. Meet Extensive Reading goals (including Moodle quizzes and reflection/discussion activities)
4. Complete regular Language Lab missions and form a regular study group

授業計画

- 【第1回】
 テーマ: Joint Orientation
 内容・方法: Explanation of course goals and classroom technology (Google Classroom, English Central, Extensive Reading assignments)
- 【第2回】
 テーマ: Reading Skills
 内容・方法: Counseling workbook, LL Missions, Extensive Reading
- 【第3回】
 テーマ: Reading Skills
 内容・方法: Counseling workbook, Extensive Reading, English Central Study
- 【第4回】
 テーマ: Vocabulary
 内容・方法: Counseling workbook, LL Missions, Extensive Reading
- 【第5回】
 テーマ: Vocabulary
 内容・方法: Counseling workbook, Extensive Reading, English Central Study, Individual counseling sessions
- 【第6回】
 テーマ: Speaking Skills
 内容・方法: Counseling workbook, LL Missions, Extensive Reading
- 【第7回】
 テーマ: Speaking Skills
 内容・方法: Vocabulary Quiz 1. Extensive Reading & English Central grade deadline. Counseling workbook, Individual counseling sessions
- 【第8回】
 テーマ: Midterm Reflection, Senior talk
 内容・方法: IEP 2nd or 3rd year presentation about volunteer & internship opportunities, reflection assignment & grade check
- 【第9回】
 テーマ: Writing Skills
 内容・方法: Counseling workbook, LL Missions, Extensive Reading
- 【第10回】
 テーマ: Writing Skills
 内容・方法: Counseling workbook, Extensive Reading, English Central Study, Individual counseling sessions
- 【第11回】

テーマ : Listening Skills

内容・方法 : Counseling workbook, LL Missions, Extensive Reading

【第12回】

テーマ : Listening Skills

内容・方法 : Counseling workbook, Extensive Reading, English Central Study, Individual counseling sessions

【第13回】

テーマ : Grammar study

内容・方法 : Counseling workbook, LL Missions, Extensive Reading

【第14回】

テーマ : Joint Class (This class will be used to hold the TOEIC-IP Test)

内容・方法 : TOEIC-IP Test

【第15回】

テーマ : Final Presentation & Year Review

内容・方法 : Vocabulary Quiz 2, students share their final project presentation

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a 1-credit (1単位) course, which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題 : None

事後学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

【第2回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第3回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第4回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第5回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第6回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第7回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第8回】

事前学修課題 : English Central, Prepare for Joint Class

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments, midterm reflection assignment

【第9回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第10回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第11回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第12回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第13回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第14回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第15回】

事前学修課題 : Review, final reflection assignment

事後学修課題 : Personal Goals for Spring Vacation

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed as homework, course completion goals (English Central and Extensive Reading). Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse will not pass the course (see attendance policy below).

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Please contact your individual instructor for information about coursework and grading policy.

Active participation & group work (20%)

Vocabulary Quizzes (10%)

Counseling reports (10%)

English Central assignments (20%)

Extensive reading assignments (20%)

Final Report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	40	Active participation & group work (20), Vocabulary Quizzes (10), Counseling reports (10)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	40	English Central assignments (20), Extensive reading assignments (20)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final Report	1, 2, 3, 4
その他	0		

テキスト	Handouts provided by instructor
------	---------------------------------

参考書	Provided by the instructor as necessary
-----	---

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13085601	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Four Skills in English II [対面]				
シラバス執筆(全員)	I. M. アレンズワース				
シラバス執筆(主)	I. M. アレンズワース				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course students will be introduced to four basic skills for listening, reading, writing, and speaking English. As in semester one, 4 topics will be studied. Students will have time to become familiar with each topic while they practice the four skills. After each topic has been completed, students will complete and practice presenting individual and/or group projects to help them improve their ability to use the four skills in everyday situations (social, academic, and professional).

到達目標

Students will be able to:

1. Summarize the main points of a listening or reading text.
2. Formulate their thoughts and ideas about familiar topics in written form.
3. Articulate their opinions and ideas about familiar topics in small group discussions.

授業計画

- 【第1回】
 テーマ: Google Classroom registration and explanation.
 内容・方法: Semester 1 reflection tasks and activities
- 【第2回】
 テーマ: Module 4 - Health Part 3
 内容・方法: Four skills consolidation - Review semester 1 topics, student project preparation (Health).
- 【第3回】
 テーマ: Module 4 - Health Part 4
 内容・方法: Student project presentation.
- 【第4回】
 テーマ: Module 5 - Travel Part 1
 内容・方法: Module 4 quiz /Vocabulary review, listening skills practice, pronunciation.
- 【第5回】
 テーマ: Module 5 - Travel Part 2
 内容・方法: Reading comprehension skills practice, writing skills practice.
- 【第6回】
 テーマ: Module 5 - Travel Part 3
 内容・方法: Four skills consolidation - student project preparation (Travel).
- 【第7回】
 テーマ: Module 5 - Travel Part 4
 内容・方法: Student project presentation.
- 【第8回】
 テーマ: Module 6 - Rules Part 1
 内容・方法: Module 5 quiz / Vocabulary review, listening skills practice, pronunciation.
- 【第9回】
 テーマ: Module 6 - Rules Part 2
 内容・方法: Reading comprehension skills practice, writing skills practice.
- 【第10回】
 テーマ: Module 6 - Rules Part 3
 内容・方法: Four skills consolidation - student project preparation (Rules).
- 【第11回】
 テーマ: Module 6 - Rules Part 4
 内容・方法: Student project presentation.
- 【第12回】
 テーマ: Module 7 - Culture Part 1
 内容・方法: Module 6 quiz / Vocabulary review, listening skills practice, pronunciation.
- 【第13回】
 テーマ: Module 7 - Culture Part 2
 内容・方法: Reading comprehension skills practice, writing skills practice.
- 【第14回】
 テーマ: Module 7 - Culture Part 3
 内容・方法: Four skills consolidation - student project preparation (Culture).
- 【第15回】
 テーマ: Module 7 - Culture Part 4
 内容・方法: Student project presentation.

Explanation of final test.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。

【第1回】

- ①事前学修課題: Review textbook topics for this semester. Begin self-study.
- ②事後学修課題: Review Module 4 Vocabulary/Grammar pages 57-58 in the textbook.

【第2回】

- ①事前学修課題: Practice for student/group presentation.
- ②事後学修課題: Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第3回】

- ①事前学修課題: Study for Module 4 review quiz.
- ②事後学修課題: Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第4回】

- ①事前学修課題: Review Module 5 Vocabulary/Grammar pages 73-74 in the textbook.
- ②事後学修課題: Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第5回】

- ①事前学修課題: Homework.
- ②事後学修課題: Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第6回】

- ①事前学修課題: Practice for student/group presentation.
- ②事後学修課題: Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第7回】

- ①事前学修課題: Study for Module 5 review quiz.
- ②事後学修課題: Review the difficult parts in today's lesson Self-study.

【第8回】

- ①事前学修課題: Review Module 6 Vocabulary/Grammar pages 89-90 in the textbook.
- ②事後学修課題: Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第9回】

- ①事前学修課題: Homework.
- ②事後学修課題: Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第10回】

- ①事前学修課題: Practice for student/group presentation.
- ②事後学修課題: Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第11回】

- ①事前学修課題: Study for Module 6 review quiz.
- ②事後学修課題: Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第12回】

- ①事前学修課題: Review Module 7 Vocabulary/Grammar pages 105-106 in the textbook.
- ②事後学修課題: Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第13回】

- ①事前学修課題: Homework.
- ②事後学修課題: Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第14回】

- ①事前学修課題: Practice for student/group presentation.
- ②事後学修課題: Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第15回】

- ①事前学修課題: Semester review.
- ②事後学修課題: Explain the final test. Submit the final evaluation.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

1. Module review quizzes 40%
2. Participation: Individual and/or group projects 40%
3. Final test 20%

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	40	Module review quizzes	1
授業外での評価	0	none	
定期試験	0	none	

定期試験に代わるレポート等	20	Final test	1, 2, 3
その他	40	Participation: Individual and/or group project grades	1, 2

テキスト	Framework for English, Colin Thompson, Tim Woolstencroft, Kinseido, 2020, ISBN: 978-4-7647-4107-2		
------	---	--	--

参考書			
-----	--	--	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD – 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>		
---------------	--	--	--

授業コード	13085602	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Four Skills in English II [対面]				
シラバス執筆(全員)	J. エチャャー				
シラバス執筆(主)	J. エチャャー				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course students will be introduced to four basic skills for listening, reading, writing, and speaking English. As in semester one, 4 topics will be studied. Students will have time to become familiar with each topic while they practice the four skills. After each topic has been completed, students will complete and practice presenting individual and/or group projects to help them improve their ability to use the four skills in everyday situations (social, academic, and professional).

到達目標

Students will be able to:

1. Summarize the main points of a listening or reading text.
2. Formulate their thoughts and ideas about familiar topics in written form.
3. Articulate their opinions and ideas about familiar topics in small group discussions.

授業計画

- 【第1回】
 テーマ: Google Classroom registration and explanation.
 内容・方法: Semester 1 reflection tasks and activities
- 【第2回】
 テーマ: Module 4 - Health Part 3
 内容・方法: Four skills consolidation - Review semester 1 topics, student project preparation (Health).
- 【第3回】
 テーマ: Module 4 - Health Part 4
 内容・方法: Student project presentation.
- 【第4回】
 テーマ: Module 5 - Travel Part 1
 内容・方法: Module 4 quiz /Vocabulary review, listening skills practice, pronunciation.
- 【第5回】
 テーマ: Module 5 - Travel Part 2
 内容・方法: Reading comprehension skills practice, writing skills practice.
- 【第6回】
 テーマ: Module 5 - Travel Part 3
 内容・方法: Four skills consolidation - student project preparation (Travel).
- 【第7回】
 テーマ: Module 5 - Travel Part 4
 内容・方法: Student project presentation.
- 【第8回】
 テーマ: Module 6 - Rules Part 1
 内容・方法: Module 5 quiz / Vocabulary review, listening skills practice, pronunciation.
- 【第9回】
 テーマ: Module 6 - Rules Part 2
 内容・方法: Reading comprehension skills practice, writing skills practice.
- 【第10回】
 テーマ: Module 6 - Rules Part 3
 内容・方法: Four skills consolidation - student project preparation (Rules).
- 【第11回】
 テーマ: Module 6 - Rules Part 4
 内容・方法: Student project presentation.
- 【第12回】
 テーマ: Module 7 - Culture Part 1
 内容・方法: Module 6 quiz / Vocabulary review, listening skills practice, pronunciation.
- 【第13回】
 テーマ: Module 7 - Culture Part 2
 内容・方法: Reading comprehension skills practice, writing skills practice.
- 【第14回】
 テーマ: Module 7 - Culture Part 3
 内容・方法: Four skills consolidation - student project preparation (Culture).
- 【第15回】
 テーマ: Module 7 - Culture Part 4
 内容・方法: Student project presentation.

Explanation of final test.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。

【第1回】

- ①事前学修課題：Review textbook topics for this semester. Begin self-study.
- ②事後学修課題：Review Module 4 Vocabulary/Grammar pages 57-58 in the textbook.

【第2回】

- ①事前学修課題：Practice for student/group presentation.
- ②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第3回】

- ①事前学修課題：Study for Module 4 review quiz.
- ②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第4回】

- ①事前学修課題：Review Module 5 Vocabulary/Grammar pages 73-74 in the textbook.
- ②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第5回】

- ①事前学修課題：Homework.
- ②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第6回】

- ①事前学修課題：Practice for student/group presentation.
- ②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第7回】

- ①事前学修課題：Study for Module 5 review quiz.
- ②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson Self-study.

【第8回】

- ①事前学修課題：Review Module 6 Vocabulary/Grammar pages 89-90 in the textbook.
- ②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第9回】

- ①事前学修課題：Homework.
- ②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第10回】

- ①事前学修課題：Practice for student/group presentation.
- ②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第11回】

- ①事前学修課題：Study for Module 6 review quiz.
- ②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第12回】

- ①事前学修課題：Review Module 7 Vocabulary/Grammar pages 105-106 in the textbook.
- ②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第13回】

- ①事前学修課題：Homework.
- ②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第14回】

- ①事前学修課題：Practice for student/group presentation.
- ②事後学修課題：Review the difficult parts in today's lesson. Self-study.

【第15回】

- ①事前学修課題：Semester review.
- ②事後学修課題：Explain the final test. Submit the final evaluation.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

1. Module review quizzes 40%
2. Participation: Individual and/or group projects 40%
3. Final test 20%

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	40	Module review quizzes	1
授業外での評価	0	none	
定期試験	0	none	

定期試験に代わるレポート等	20	Final test	1, 2, 3
その他	40	Participation: Individual and/or group project grades	1, 2

テキスト	Framework for English, Colin Thompson, Tim Woolstencroft, Kinseido, 2020, ISBN: 978-4-7647-4107-2		
------	---	--	--

参考書			
-----	--	--	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD – 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>		
---------------	--	--	--

授業コード	13085603	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Four Skills in English II [対面]				
シラバス執筆(全員)	岩崎 真哉				
シラバス執筆(主)	岩崎 真哉				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

日常的な話題や場面を想定して、英語でコミュニケーションができる力を養う。そのために必要な文法の基本、語彙、表現を学習する。英語で指示を与えたり、聴く、話すを含めた授業内活動を展開して、英語能力を総合的に向上させる。英語の基本的な4技能、speaking, listening, reading, writing の統合を目指す。

到達目標

1. 場面、状況に応じた適切な語彙、表現を覚えて、実際にある程度英語を運用できる。
2. 中級レベルの聞き取りや会話ができるようになる。
3. 読み書くという作業を通して文法の基本事項を習得し、使いこなすことができる。

授業計画

- 第1回：Going away (1)：旅行に関する会話を学ぶ。不定詞を中心とした表現を覚える。
 第2回：Going away (2)：旅行に関する語彙を増やす。提案とそれに答える表現を学ぶ。テーマに関するreadingとwriting活動を行う。
 第3回：At home (1)：家にいる時に使う会話を学ぶ。所有疑問詞・代名詞を中心とした表現を覚える。
 第4回：At home (2)：家にあるものを英語で言えるようにする。丁寧な頼む表現を学ぶ。テーマに関するreadingとwriting活動を行う。
 第5回：Things happen (1)：失敗談を語る会話を学ぶ。過去進行形を中心とした表現を覚える。
 第6回：Things happen (2)：失敗談に関する語彙を増やす。応答表現を学ぶ。テーマに関するreadingとwriting活動を行う。
 第7回：Communication (1)：主に電話で意思伝達を行う会話を学ぶ。比較級を中心とした表現を覚える。
 第8回：Communication (2)：電話をする際の語彙を増やす。電話を途中で止めたり、再開する際の表現を学ぶ。テーマに関するreadingとwriting活動を行う。
 第9回：Appearances (1)：人の外観についての会話を学ぶ。動名詞を中心とした表現を覚える。
 第10回：Appearances (2)：人の外観についての語彙を増やす。謝罪表現を学ぶ。テーマに関するreadingとwriting活動を行う。
 第11回：Looking ahead (1)：将来について語る会話を学ぶ。未来表現を中心とした表現を覚える。
 第12回：Looking ahead (2)：将来について語る際に使う語彙を増やす。申し出の表現を学ぶ。テーマに関するreadingとwriting活動を行う。
 第13回：Free talk (1)：Travel smart!, All about home, What was happening? のタスクを行い、それらに関する語彙を増やし、readingとwriting活動を行う。
 第14回：Free talk (2)：Which is better?, What's different?, I might do that. のタスクを行い、それらに関する語彙を増やし、readingとwriting活動を行う。
 第15回：本授業のまとめと復習を行う。

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

毎回の授業では、事前学習として、課題の解答が求められる。この事前学習と復習を合わせて、約1.5時間の学習が必要である。

課題に対するフィードバックの方法

授業内での課題については、授業内に、その他の課題やレポートについては、Google Classroom等を用いてフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

課題、クイズ、レポート内容などにより総合的に評価する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	授業での発表、発言	1, 2, 3
授業外での評価	30	課題	1, 2, 3

定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	レポート	1, 2, 3
その他	0		
テキスト	プリントを配布する。		
参考書	必要に応じて授業の中で紹介する。		
履修条件・他の科目との関連	前期にFour Skills in English Iを受講していることが望ましい。 授業を欠席した場合は、その回のハンドアウトを次回に渡す。		

授業コード	13085651	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Four Skills in English II [対面]				
シラバス執筆(全員)	A. E. リオン				
シラバス執筆(主)	A. E. リオン				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this class, you will develop your English reading, writing, listening, and speaking skills. You will do activities that integrate the four skills with grammar, vocabulary, and pronunciation study to improve your overall English ability. Class time will be devoted to working on linked skills tasks with specific focus given to extensive reading and English Central vocabulary study tasks. The course focuses heavily on group work and you are expected to take responsibility for your own success as well as the success of your group.

The class involves regular individual counseling sessions with the professor. During these sessions, you will be asked to proactively demonstrate what you have been studying and make plans of action to improve. The counseling sessions will also be a time to think about future goals. You will develop writing and speaking skills through projects related to your personal goals and interests (especially related to goals for English study abroad and volunteering).

Several class meetings may be used to hold joint events such as orientations, presentations, explanations of study abroad programs, etc. The TOEIC-IP Test will be held during this period.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Use classroom technology effectively, including Google Classroom, English Central, and Moodle Reader
2. Meet weekly completion targets for English Central study
3. Meet Extensive Reading goals (including Moodle quizzes and reflection/discussion activities)
4. Complete regular Language Lab missions and form a regular study group

授業計画

- 【第1回】
 テーマ: Joint Orientation
 内容・方法: Explanation of course goals and classroom technology (Google Classroom, English Central, Extensive Reading assignments)
- 【第2回】
 テーマ: Reading Skills
 内容・方法: Counseling workbook, LL Missions, Extensive Reading
- 【第3回】
 テーマ: Reading Skills
 内容・方法: Counseling workbook, Extensive Reading, English Central Study
- 【第4回】
 テーマ: Vocabulary
 内容・方法: Counseling workbook, LL Missions, Extensive Reading
- 【第5回】
 テーマ: Vocabulary
 内容・方法: Counseling workbook, Extensive Reading, English Central Study, Individual counseling sessions
- 【第6回】
 テーマ: Speaking Skills
 内容・方法: Counseling workbook, LL Missions, Extensive Reading
- 【第7回】
 テーマ: Speaking Skills
 内容・方法: Vocabulary Quiz 1. Extensive Reading & English Central grade deadline. Counseling workbook, Individual counseling sessions
- 【第8回】
 テーマ: Midterm Reflection, Senior talk
 内容・方法: IEP 2nd or 3rd year presentation about volunteer & internship opportunities, reflection assignment & grade check
- 【第9回】
 テーマ: Writing Skills
 内容・方法: Counseling workbook, LL Missions, Extensive Reading
- 【第10回】
 テーマ: Writing Skills
 内容・方法: Counseling workbook, Extensive Reading, English Central Study, Individual counseling sessions
- 【第11回】

テーマ : Listening Skills

内容・方法 : Counseling workbook, LL Missions, Extensive Reading

【第12回】

テーマ : Listening Skills

内容・方法 : Counseling workbook, Extensive Reading, English Central Study, Individual counseling sessions

【第13回】

テーマ : Grammar study

内容・方法 : Counseling workbook, LL Missions, Extensive Reading

【第14回】

テーマ : Joint Class (This class will be used to hold the TOEIC-IP Test)

内容・方法 : TOEIC-IP Test

【第15回】

テーマ : Final Presentation & Year Review

内容・方法 : Vocabulary Quiz 2, students share their final project presentation

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a 1-credit (1単位) course, which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題 : None

事後学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

【第2回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第3回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第4回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第5回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第6回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第7回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第8回】

事前学修課題 : English Central, Prepare for Joint Class

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments, midterm reflection assignment

【第9回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第10回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第11回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第12回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第13回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第14回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第15回】

事前学修課題 : Review, final reflection assignment

事後学修課題 : Personal Goals for Spring Vacation

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed as homework, course completion goals (English Central and Extensive Reading). Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse will not pass the course (see attendance policy below).

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Please contact your individual instructor for information about coursework and grading policy.

Active participation & group work (20%)

Vocabulary Quizzes (10%)

Counseling reports (10%)

English Central assignments (20%)

Extensive reading assignments (20%)

Final Report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	40	Active participation & group work (20), Vocabulary Quizzes (10), Counseling reports (10)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	40	English Central assignments (20), Extensive reading assignments (20)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final Report	1, 2, 3, 4
その他	0		

テキスト	Handouts provided by instructor
------	---------------------------------

参考書	Provided by the instructor as necessary
-----	---

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13085652	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Four Skills in English II [対面]				
シラバス執筆(全員)	S. ハティング				
シラバス執筆(主)	S. ハティング				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this class, you will develop your English reading, writing, listening, and speaking skills. You will do activities that integrate the four skills with grammar, vocabulary, and pronunciation study to improve your overall English ability. Class time will be devoted to working on linked skills tasks with specific focus given to extensive reading and English Central vocabulary study tasks. The course focuses heavily on group work and you are expected to take responsibility for your own success as well as the success of your group.

The class involves regular individual counseling sessions with the professor. During these sessions, you will be asked to proactively demonstrate what you have been studying and make plans of action to improve. The counseling sessions will also be a time to think about future goals. You will develop writing and speaking skills through projects related to your personal goals and interests (especially related to goals for English study abroad and volunteering).

Several class meetings may be used to hold joint events such as orientations, presentations, explanations of study abroad programs, etc. The TOEIC-IP Test will be held during this period.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Use classroom technology effectively, including Google Classroom, English Central, and Moodle Reader
2. Meet weekly completion targets for English Central study
3. Meet Extensive Reading goals (including Moodle quizzes and reflection/discussion activities)
4. Complete regular Language Lab missions and form a regular study group

授業計画

- 【第1回】
 テーマ: Joint Orientation
 内容・方法: Explanation of course goals and classroom technology (Google Classroom, English Central, Extensive Reading assignments)
- 【第2回】
 テーマ: Reading Skills
 内容・方法: Counseling workbook, LL Missions, Extensive Reading
- 【第3回】
 テーマ: Reading Skills
 内容・方法: Counseling workbook, Extensive Reading, English Central Study
- 【第4回】
 テーマ: Vocabulary
 内容・方法: Counseling workbook, LL Missions, Extensive Reading
- 【第5回】
 テーマ: Vocabulary
 内容・方法: Counseling workbook, Extensive Reading, English Central Study, Individual counseling sessions
- 【第6回】
 テーマ: Speaking Skills
 内容・方法: Counseling workbook, LL Missions, Extensive Reading
- 【第7回】
 テーマ: Speaking Skills
 内容・方法: Vocabulary Quiz 1. Extensive Reading & English Central grade deadline. Counseling workbook, Individual counseling sessions
- 【第8回】
 テーマ: Midterm Reflection, Senior talk
 内容・方法: IEP 2nd or 3rd year presentation about volunteer & internship opportunities, reflection assignment & grade check
- 【第9回】
 テーマ: Writing Skills
 内容・方法: Counseling workbook, LL Missions, Extensive Reading
- 【第10回】
 テーマ: Writing Skills
 内容・方法: Counseling workbook, Extensive Reading, English Central Study, Individual counseling sessions
- 【第11回】

テーマ : Listening Skills

内容・方法 : Counseling workbook, LL Missions, Extensive Reading

【第12回】

テーマ : Listening Skills

内容・方法 : Counseling workbook, Extensive Reading, English Central Study, Individual counseling sessions

【第13回】

テーマ : Grammar study

内容・方法 : Counseling workbook, LL Missions, Extensive Reading

【第14回】

テーマ : Joint Class (This class will be used to hold the TOEIC-IP Test)

内容・方法 : TOEIC-IP Test

【第15回】

テーマ : Final Presentation & Year Review

内容・方法 : Vocabulary Quiz 2, students share their final project presentation

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a 1-credit (1単位) course, which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題 : None

事後学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

【第2回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第3回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第4回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第5回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第6回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第7回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第8回】

事前学修課題 : English Central, Prepare for Joint Class

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments, midterm reflection assignment

【第9回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第10回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第11回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第12回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第13回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第14回】

事前学修課題 : English Central, Extensive reading assignments

事後学修課題 : Review, weekly Language Lab assignments

【第15回】

事前学修課題 : Review, final reflection assignment

事後学修課題 : Personal Goals for Spring Vacation

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed as homework, course completion goals (English Central and Extensive Reading). Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse will not pass the course (see attendance policy below).

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Please contact your individual instructor for information about coursework and grading policy.

Active participation & group work (20%)

Vocabulary Quizzes (10%)

Counseling reports (10%)

English Central assignments (20%)

Extensive reading assignments (20%)

Final Report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	40	Active participation & group work (20), Vocabulary Quizzes (10), Counseling reports (10)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	40	English Central assignments (20), Extensive reading assignments (20)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final Report	1, 2, 3, 4
その他	0		

テキスト	Handouts provided by instructor
------	---------------------------------

参考書	Provided by the instructor as necessary
-----	---

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13103501	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Listening I [対面]				
シラバス執筆(全員)	T. ピート				
シラバス執筆(主)	T. ピート				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course you will develop your listening skills. To improve this language skill, you must learn to listen for specific facts, details, and reasons, as well as learn to understand how speakers show interest and understanding. There will be many listening assignments in class and for homework. As strong vocabulary is also necessary for good listening, this course includes vocabulary building. Particular attention is paid to strategy development for listening during testing situations and in academic settings, as well as differentiating specific sounds of English. Course information and homework assignments will be on Google Classroom.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to...

1. Learn a variety of listening strategies for general comprehension of conversations about everyday themes
2. Apply listening strategies to other contexts
3. Practice bottom-up skills through pronunciation, intonation, and dictation exercises
4. Improve grammar and vocabulary for listening

授業計画

- 【第1回】
 テーマ： Unit 1 & Course Introduction. Google Class registration and explanation.
 内容・方法： “The Weekend” : Listening and conversation practice
- 【第2回】
 テーマ： Unit 2
 内容・方法： “City Transportation” : Listening and conversation practice
- 【第3回】
 テーマ： Unit 3
 内容・方法： “Neighbors” : Listening and conversation practice
- 【第4回】
 テーマ： Unit 4
 内容・方法： “Celebrations” : Listening and conversation practice
- 【第5回】
 テーマ： Evaluation 1: Units 1-4
 内容・方法： Chapter review test.
- 【第6回】
 テーマ： Unit 5
 内容・方法： “Restaurants” : Listening and conversation practice
- 【第7回】
 テーマ： Unit 6
 内容・方法： “Gifts” : Listening and conversation practice
- 【第8回】
 テーマ： Unit 7
 内容・方法： “Air Travel” : Listening and conversation practice
- 【第9回】
 テーマ： Unit 8
 内容・方法： “Mishaps” : Listening and conversation practice
- 【第10回】
 テーマ： Evaluation 2: Units 5-8
 内容・方法： Chapter review test.
- 【第11回】
 テーマ： Unit 9
 内容・方法： “Jobs” : Listening and conversation practice
- 【第12回】
 テーマ： Unit 10
 内容・方法： “Keeping Fit” : Listening and conversation practice
- 【第13回】
 テーマ： Unit 11
 内容・方法： “Invitations” : Listening and conversation practice
- 【第14回】
 テーマ： Unit 12
 内容・方法： “Campus Life” : Listening and conversation practice
- 【第15回】
 テーマ： Evaluation 3: Units 9-12

内容・方法： Chapter review test.
Final Evaluation explanation.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

- 【第1回】
事前学修課題： Review the syllabus. Purchase the textbook.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第2回】
事前学修課題： Read Unit 2 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第3回】
事前学修課題： Read Unit 3 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第4回】
事前学修課題： Read Unit 4 and check word meanings.
事後学修課題： Review chapters 1-4
- 【第5回】
事前学修課題： Prepare for Evaluation 1
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第6回】
事前学修課題： Read Unit 5 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第7回】
事前学修課題： Read Unit 6 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第8回】
事前学修課題： Read Unit 7 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第9回】
事前学修課題： Read Unit 8 and check word meanings.
事後学修課題： Review chapters 5-8
- 【第10回】
事前学修課題： Prepare for Evaluation 2
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第11回】
事前学修課題： Read Unit 9 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第12回】
事前学修課題： Read Unit 10 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments
- 【第13回】
事前学修課題： Read Unit 11 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第14回】
事前学修課題： Read Unit 12 and check word meanings.
事後学修課題： Review chapters 9-12
- 【第15回】
事前学修課題： Prepare for Evaluation 3
事後学修課題： Prepare for Final Evaluation

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

Active participation in class (10%)
Vocabulary and Dictation quizzes (10%),
Semester evaluations (30%)
Homework assignments (20%)
Self-study units (10%)
Final evaluation exam (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Active participation in class (10%), vocabulary and	1, 3

		dictation quizzes (10%) and semester evaluations (30%)	
授業外での評価	30	Homework assignments (20%) and self-study units (10%)	2, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final evaluation exam (20%)	1, 3, 4
その他	0	none	

テキスト	Tactics for Listening Developing Student Book, Third Edition: Jack C Richards with Grant Trew; 2011, (Oxford University Press) ISBN: 978-0-19-401385-7		
------	--	--	--

参考書	none		
-----	------	--	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>		
---------------	--	--	--

授業コード	13103502	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Listening I [対面]				
シラバス執筆(全員)	G. S. ジョン=バプティースト				
シラバス執筆(主)	G. S. ジョン=バプティースト				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course you will develop your listening skills. To improve this language skill, you must learn to listen for specific facts, details, and reasons, as well as learn to understand how speakers show interest and understanding. There will be many listening assignments in class and for homework. As strong vocabulary is also necessary for good listening, this course includes vocabulary building. Particular attention is paid to strategy development for listening during testing situations and in academic settings, as well as differentiating specific sounds of English. Course information and homework assignments will be on Google Classroom.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to...

1. Learn a variety of listening strategies for general comprehension of conversations about everyday themes
2. Apply listening strategies to other contexts
3. Practice bottom-up skills through pronunciation, intonation, and dictation exercises
4. Improve grammar and vocabulary for listening

授業計画

- 【第1回】
 テーマ： Unit 1 & Course Introduction. Google Class registration and explanation.
 内容・方法： “The Weekend” : Listening and conversation practice
- 【第2回】
 テーマ： Unit 2
 内容・方法： “City Transportation” : Listening and conversation practice
- 【第3回】
 テーマ： Unit 3
 内容・方法： “Neighbors” : Listening and conversation practice
- 【第4回】
 テーマ： Unit 4
 内容・方法： “Celebrations” : Listening and conversation practice
- 【第5回】
 テーマ： Evaluation 1: Units 1-4
 内容・方法： Chapter review test.
- 【第6回】
 テーマ： Unit 5
 内容・方法： “Restaurants” : Listening and conversation practice
- 【第7回】
 テーマ： Unit 6
 内容・方法： “Gifts” : Listening and conversation practice
- 【第8回】
 テーマ： Unit 7
 内容・方法： “Air Travel” : Listening and conversation practice
- 【第9回】
 テーマ： Unit 8
 内容・方法： “Mishaps” : Listening and conversation practice
- 【第10回】
 テーマ： Evaluation 2: Units 5-8
 内容・方法： Chapter review test.
- 【第11回】
 テーマ： Unit 9
 内容・方法： “Jobs” : Listening and conversation practice
- 【第12回】
 テーマ： Unit 10
 内容・方法： “Keeping Fit” : Listening and conversation practice
- 【第13回】
 テーマ： Unit 11
 内容・方法： “Invitations” : Listening and conversation practice
- 【第14回】
 テーマ： Unit 12
 内容・方法： “Campus Life” : Listening and conversation practice
- 【第15回】
 テーマ： Evaluation 3: Units 9-12

内容・方法： Chapter review test.
Final Evaluation explanation.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

- 【第1回】
事前学修課題： Review the syllabus. Purchase the textbook.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第2回】
事前学修課題： Read Unit 2 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第3回】
事前学修課題： Read Unit 3 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第4回】
事前学修課題： Read Unit 4 and check word meanings.
事後学修課題： Review chapters 1-4
- 【第5回】
事前学修課題： Prepare for Evaluation 1
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第6回】
事前学修課題： Read Unit 5 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第7回】
事前学修課題： Read Unit 6 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第8回】
事前学修課題： Read Unit 7 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第9回】
事前学修課題： Read Unit 8 and check word meanings.
事後学修課題： Review chapters 5-8
- 【第10回】
事前学修課題： Prepare for Evaluation 2
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第11回】
事前学修課題： Read Unit 9 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第12回】
事前学修課題： Read Unit 10 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments
- 【第13回】
事前学修課題： Read Unit 11 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第14回】
事前学修課題： Read Unit 12 and check word meanings.
事後学修課題： Review chapters 9-12
- 【第15回】
事前学修課題： Prepare for Evaluation 3
事後学修課題： Prepare for Final Evaluation

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

Active participation in class (10%)
Vocabulary and Dictation quizzes (10%),
Semester evaluations (30%)
Homework assignments (20%)
Self-study units (10%)
Final evaluation exam (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Active participation in class (10%), vocabulary and	1, 3

		dictation quizzes (10%) and semester evaluations (30%)	
授業外での評価	30	Homework assignments (20%) and self-study units (10%)	2, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final evaluation exam (20%)	1, 3, 4
その他	0	none	

テキスト	Tactics for Listening Developing Student Book, Third Edition: Jack C Richards with Grant Trew; 2011, (Oxford University Press) ISBN: 978-0-19-401385-7		
------	--	--	--

参考書	none		
-----	------	--	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>		
---------------	--	--	--

授業コード	13103551	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Listening I [対面]				
シラバス執筆(全員)	O. J. クロー				
シラバス執筆(主)	O. J. クロー				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course you will develop your listening skills. To improve this language skill, you must learn to listen for specific facts, details, and reasons, as well as learn to understand how speakers show interest and understanding. There will be many listening assignments in class and for homework. As strong vocabulary is also necessary for good listening, this course includes vocabulary building. Particular attention is paid to strategy development for listening during testing situations and in academic settings, as well as differentiating specific sounds of English. In class, we will focus on:

- Predicting what you will hear from pictures / context
- Listening for general understanding
- Listening for details
- Making inferences about speaker mood & intention
- Applying listening strategies to TOEIC Test question types
- Identify linking, contraction, intonation patterns introduced in the textbook
- Analyze vowel sounds using English Central, song lyrics, and videos

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to...

1. Learn top-down listening strategies for general comprehension of conversations about everyday themes.
2. Build bottom-up listening skills through pronunciation, intonation, and dictation practice
3. Improve note-taking skills for lectures and videos
4. Learn vocabulary items and phrases from each unit

授業計画

- 【第1回】
テーマ：Unit 1
内容・方法：Course orientation and explanation of grading policy and assignments; Unit 1 activities and homework explanation
- 【第2回】
テーマ：Unit 2
内容・方法：Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation
- 【第3回】
テーマ：Unit 3
内容・方法：Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation; Vocab/Dictation Quiz 1
- 【第4回】
テーマ：Unit 4
内容・方法：Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation; English Central study
- 【第5回】
テーマ：Evaluation Units 1-4
内容・方法：Evaluation based on Units 1 - 4; listening through music activity
- 【第6回】
テーマ：Unit 5
内容・方法：Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation
- 【第7回】
テーマ：Unit 6
内容・方法：Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation
- 【第8回】
テーマ：Unit 7
内容・方法：Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation; Vocab/Dictation Quiz 2
- 【第9回】
テーマ：Unit 8
内容・方法：Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation; English Central study
- 【第10回】；
テーマ：Evaluation Units 5-8
内容・方法：Evaluation based on Units 5 - 8; Tactics for Test Taking; listening through music activity
- 【第11回】
テーマ：Unit 9
内容・方法：Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation
- 【第12回】
テーマ：Unit 10

内容・方法 : Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation

【第13回】

テーマ : Unit 11

内容・方法 : Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation: Vocab/Dictation Quiz 3

【第14回】

テーマ : Unit 12

内容・方法 : Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation: listening study through music presentations

【第15回】

テーマ : Final evaluation

内容・方法 : Final evaluation conducted in class: Explanation of final reflection report

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a 1-credit (1単位) course, which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題 : None

事後学修課題 : English Central and Vocabulary Preview HW assignments

【第2回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第3回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview. Study for Vocab/Dictation Quiz 1

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第4回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第5回】

事前学修課題 : Study for Evaluation (Units 1-4)

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第6回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第7回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第8回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview. Study for Vocab/Dictation Quiz 2

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第9回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第10回】

事前学修課題 : Study for Evaluation (units 5-8)

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第11回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第12回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第13回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview. Study for Vocab/Dictation Quiz 3

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第14回】

事前学修課題 : Prepare for listening through music presentation

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第15回】

事前学修課題 : Study for Evaluation (units 9-12)

事後学修課題 : English Central and final reflection report

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments

completed outside of class, and unit evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course if they comply with the attendance policy (see below).

Grade Breakdown:

Active participation (10%)

Midterm evaluations & Quizzes (40%)

Homework assignments & English Central (30%)

Final Evaluation Report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Active participation (10), Midterm evaluations & Quizzes (40)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	30	Homework assignments & English Central (30)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final Evaluation (20)	1, 2, 3, 4
その他	0		

テキスト	Tactics for Listening Expanding Student Book Third Edition: Jack C Richards with Grant Trew; 2011 (Oxford University Press) ISBN: 978-0-19-401386-4
------	---

参考書	None.
-----	-------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13103552	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Listening I [対面]				
シラバス執筆(全員)	A. E. リオン				
シラバス執筆(主)	A. E. リオン				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course you will develop your listening skills. To improve this language skill, you must learn to listen for specific facts, details, and reasons, as well as learn to understand how speakers show interest and understanding. There will be many listening assignments in class and for homework. As strong vocabulary is also necessary for good listening, this course includes vocabulary building. Particular attention is paid to strategy development for listening during testing situations and in academic settings, as well as differentiating specific sounds of English. In class, we will focus on:

- Predicting what you will hear from pictures / context
- Listening for general understanding
- Listening for details
- Making inferences about speaker mood & intention
- Applying listening strategies to TOEIC Test question types
- Identify linking, contraction, intonation patterns introduced in the textbook
- Analyze vowel sounds using English Central, song lyrics, and videos

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to...

1. Learn top-down listening strategies for general comprehension of conversations about everyday themes.
2. Build bottom-up listening skills through pronunciation, intonation, and dictation practice
3. Improve note-taking skills for lectures and videos
4. Learn vocabulary items and phrases from each unit

授業計画

- 【第1回】
 テーマ： Unit 1
 内容・方法： Course orientation and explanation of grading policy and assignments; Unit 1 activities and homework explanation
- 【第2回】
 テーマ： Unit 2
 内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation
- 【第3回】
 テーマ： Unit 3
 内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation; Vocab/Dictation Quiz 1
- 【第4回】
 テーマ： Unit 4
 内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation; English Central study
- 【第5回】
 テーマ： Evaluation Units 1-4
 内容・方法： Evaluation based on Units 1 - 4; listening through music activity
- 【第6回】
 テーマ： Unit 5
 内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation
- 【第7回】
 テーマ： Unit 6
 内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation
- 【第8回】
 テーマ： Unit 7
 内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation; Vocab/Dictation Quiz 2
- 【第9回】
 テーマ： Unit 8
 内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation; English Central study
- 【第10回】；
 テーマ： Evaluation Units 5-8
 内容・方法： Evaluation based on Units 5 - 8; Tactics for Test Taking; listening through music activity
- 【第11回】
 テーマ： Unit 9
 内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation
- 【第12回】
 テーマ： Unit 10

内容・方法 : Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation

【第13回】

テーマ : Unit 11

内容・方法 : Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation: Vocab/Dictation Quiz 3

【第14回】

テーマ : Unit 12

内容・方法 : Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation: listening study through music presentations

【第15回】

テーマ : Final evaluation

内容・方法 : Final evaluation conducted in class: Explanation of final reflection report

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a 1-credit (1単位) course, which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題 : None

事後学修課題 : English Central and Vocabulary Preview HW assignments

【第2回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第3回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview. Study for Vocab/Dictation Quiz 1

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第4回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第5回】

事前学修課題 : Study for Evaluation (Units 1-4)

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第6回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第7回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第8回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview. Study for Vocab/Dictation Quiz 2

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第9回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第10回】

事前学修課題 : Study for Evaluation (units 5-8)

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第11回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第12回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第13回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview. Study for Vocab/Dictation Quiz 3

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第14回】

事前学修課題 : Prepare for listening through music presentation

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第15回】

事前学修課題 : Study for Evaluation (units 9-12)

事後学修課題 : English Central and final reflection report

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments

completed outside of class, and unit evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course if they comply with the attendance policy (see below).

Grade Breakdown:

Active participation (10%)

Midterm evaluations & Quizzes (40%)

Homework assignments & English Central (30%)

Final Evaluation Report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Active participation (10), Midterm evaluations & Quizzes (40)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	30	Homework assignments & English Central (30)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final Evaluation (20)	1, 2, 3, 4
その他	0		

テキスト	Tactics for Listening Expanding Student Book Third Edition: Jack C Richards with Grant Trew; 2011 (Oxford University Press) ISBN: 978-0-19-401386-4
------	---

参考書	None.
-----	-------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13103601	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Listening II [対面]				
シラバス執筆(全員)	T. ピート				
シラバス執筆(主)	T. ピート				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course you will develop your listening skills. To improve this language skill, you must learn to listen for specific facts, details, and reasons, as well as learn to understand how speakers show interest and understanding. There will be many listening assignments in class and for homework. As strong vocabulary is also necessary for good listening, this course includes vocabulary building. Particular attention is paid to strategy development for listening during testing situations and in academic settings, as well as differentiating specific sounds of English. Course information and homework assignments will be on Google Classroom.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to...

1. Learn a variety of listening strategies for general comprehension of conversations about everyday themes
2. Apply listening strategies to other contexts
3. Practice bottom-up skills through pronunciation, intonation, and dictation exercises
4. Improve grammar and vocabulary for listening

授業計画

- 【第1回】
 テーマ： Unit 13 & Course Introduction.
 内容・方法：“Hobbies and Pastimes”：Listening and conversation practice
- 【第2回】
 テーマ： Unit 14
 内容・方法：“Shopping Problems”：Listening and conversation practice
- 【第3回】
 テーマ： Unit 15
 内容・方法：“Hotel Services”：Listening and conversation practice
- 【第4回】
 テーマ： Unit 16
 内容・方法：“Movies”：Listening and conversation practice
- 【第5回】
 テーマ： Evaluation 1: Units 13-16
 内容・方法：Chapter review test.
- 【第6回】
 テーマ： Unit 17
 内容・方法：“Fears”：Listening and conversation practice
- 【第7回】
 テーマ： Unit 18
 内容・方法：“Phone Messages”：Listening and conversation practice
- 【第8回】
 テーマ： Unit 19
 内容・方法：“Touring a City”：Listening and conversation practice
- 【第9回】
 テーマ： Unit 20
 内容・方法：“Airports”：Listening and conversation practice
- 【第10回】
 テーマ： Evaluation 2: Units 17-20
 内容・方法：Chapter review test.
- 【第11回】
 テーマ： Unit 21
 内容・方法：“Hotels”：Listening and conversation practice
- 【第12回】
 テーマ： Unit 22
 内容・方法：“Traffic”：Listening and conversation practice
- 【第13回】
 テーマ： Unit 23
 内容・方法：“Roommates”：Listening and conversation practice
- 【第14回】
 テーマ： Unit 24
 内容・方法：“Travel”：Listening and conversation practice
- 【第15回】
 テーマ： Evaluation 3: Units 21-24

内容・方法： Chapter review test.
Final Evaluation explanation.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

- 【第1回】
事前学修課題： Review the syllabus. Purchase the textbook.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第2回】
事前学修課題： Read Unit 14 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第3回】
事前学修課題： Read Unit 15 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第4回】
事前学修課題： Read Unit 16 and check word meanings.
事後学修課題： Review chapters 13-16
- 【第5回】
事前学修課題： Prepare for Evaluation 1
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第6回】
事前学修課題： Read Unit 17 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第7回】
事前学修課題： Read Unit 18 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第8回】
事前学修課題： Read Unit 19 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第9回】
事前学修課題： Read Unit 20 and check word meanings.
事後学修課題： Review chapters 17-20
- 【第10回】
事前学修課題： Prepare for Evaluation 2
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第11回】
事前学修課題： Read Unit 21 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第12回】
事前学修課題： Read Unit 22 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments
- 【第13回】
事前学修課題： Read Unit 23 and check word meanings.
事後学修課題： Complete Homework assignments.
- 【第14回】
事前学修課題： Read Unit 24 and check word meanings.
事後学修課題： Review chapters 21-24
- 【第15回】
事前学修課題： Prepare for Evaluation 3
事後学修課題： Prepare for Final Evaluation

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

Active participation in class (10%)
Vocabulary and Dictation quizzes (10%),
Semester evaluations (30%)
Homework assignments (20%)
Self-study units (10%)
Final evaluation exam (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Active participation in class (10%), vocabulary and	1, 3

		dictation quizzes (10%) and semester evaluations (30%)	
授業外での評価	30	Homework assignments (20%) and self-study units (10%)	2, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final evaluation exam (20%)	1, 3, 4
その他	0	none	

テキスト	Tactics for Listening Developing Student Book, Third Edition: Jack C Richards with Grant Trew; 2011, (Oxford University Press) ISBN: 978-0-19-401385-7		
------	--	--	--

参考書	none		
-----	------	--	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>		
---------------	--	--	--

授業コード	13103602	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Listening II [対面]				
シラバス執筆(全員)	G. S. ジョン=バプティースト				
シラバス執筆(主)	G. S. ジョン=バプティースト				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course you will develop your listening skills. To improve this language skill, you must learn to listen for specific facts, details, and reasons, as well as learn to understand how speakers show interest and understanding. There will be many listening assignments in class and for homework. As strong vocabulary is also necessary for good listening, this course includes vocabulary building. Particular attention is paid to strategy development for listening during testing situations and in academic settings, as well as differentiating specific sounds of English. In class, we will focus on:

- Predicting what you will hear from pictures / context
- Listening for general understanding
- Listening for details
- Making inferences about speaker mood & intention
- Applying listening strategies to TOEIC Test question types
- Identify linking, contraction, intonation patterns introduced in the textbook
- Analyze vowel sounds using English Central, song lyrics, and videos

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to...

1. Learn top-down listening strategies for general comprehension of conversations about everyday themes.
2. Build bottom-up listening skills through pronunciation, intonation, and dictation practice
3. Improve note-taking skills for lectures and videos
4. Learn vocabulary items and phrases from each unit

授業計画

- 【第1回】
 テーマ： Unit 13
 内容・方法： Course orientation and explanation of grading policy and assignments. Unit 13 activities.
- 【第2回】
 テーマ： Unit 14
 内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation.
- 【第3回】
 テーマ： Unit 15
 内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation. Vocab/Dictation Quiz 1.
- 【第4回】
 テーマ： Unit 16
 内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation. English Central study.
- 【第5回】
 テーマ： Evaluation Units 13-16
 内容・方法： Evaluation based on Units 13 - 16, listening through music activity.
- 【第6回】
 テーマ： Unit 17
 内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation.
- 【第7回】
 テーマ： Unit 18
 内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation.
- 【第8回】
 テーマ： Unit 19
 内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation. Vocab/Dictation Quiz 2.
- 【第9回】
 テーマ： Unit 20
 内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation. English Central study.
- 【第10回】
 テーマ： Evaluation Units 17-20
 内容・方法： Evaluation based on Units 17-20. Listening through music activity.
- 【第11回】
 テーマ： Unit 21
 内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation.
- 【第12回】
 テーマ： Unit 22
 内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation. English Central study.
- 【第13回】

テーマ : Unit 23

内容・方法 : Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation. Vocab/Dictation Quiz 3

【第14回】

テーマ : Unit 24

内容・方法 : Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation. Final Listening through music presentations.

【第15回】

テーマ : Evaluation Units 21-24

内容・方法 : Evaluation based on Units 21-24, Final Listening through music presentations.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

事前学修課題 : None

事後学修課題 : English Central and Vocabulary Preview HW assignments

【第2回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第3回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview. Study for Vocab/Dictation Quiz 1

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第4回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第5回】

事前学修課題 : Study for Evaluation (Units 13-16)

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第6回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第7回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第8回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview. Study for Vocab/Dictation Quiz 2

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第9回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第10回】

事前学修課題 : Study for Evaluation (units 17-20)

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第11回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第12回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第13回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview. Study for Vocab/Dictation Quiz 3

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第14回】

事前学修課題 : Prepare for listening through music presentation

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第15回】

事前学修課題 : Study for Evaluation (units 21-24)

事後学修課題 : English Central and Final Report

課題に対するフィードバックの方法

Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed outside of class, and unit evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course if they comply with the attendance policy (see below).

Grade Breakdown:

Active participation (10%)

Vocab / Dictation Quizzes (15%)
 Midterm Evaluations (30%)
 Homework assignments (15%)
 English Central course completion (10%)
 Final Evaluation Report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	55	Active Participation (10), Vocab / Dictation quizzes (15), Midterm unit evaluations (30)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	25	Homework assignments (15), English Central course completion (10)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final Evaluation (20)	1, 2, 3, 4
その他	0		

テキスト	Tactics for Listening Expanding Student Book Third Edition: Jack C Richards with Grant Trew; 2011 (Oxford University Press) ISBN: 978-0-19-401386-4
------	---

参考書	None.
-----	-------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13103651	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Listening II [対面]				
シラバス執筆(全員)	O. J. クロー				
シラバス執筆(主)	O. J. クロー				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course you will develop your listening skills. To improve this language skill, you must learn to listen for specific facts, details, and reasons, as well as learn to understand how speakers show interest and understanding. There will be many listening assignments in class and for homework. As strong vocabulary is also necessary for good listening, this course includes vocabulary building. Particular attention is paid to strategy development for listening during testing situations and in academic settings, as well as differentiating specific sounds of English. In class, we will focus on:

- Predicting what you will hear from pictures / context
- Listening for general understanding
- Listening for details
- Making inferences about speaker mood & intention
- Applying listening strategies to TOEIC Test question types
- Identify linking, contraction, intonation patterns introduced in the textbook
- Analyze vowel sounds using English Central, song lyrics, and videos

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to...

1. Learn top-down listening strategies for general comprehension of conversations about everyday themes.
2. Build bottom-up listening skills through pronunciation, intonation, and dictation practice
3. Improve note-taking skills for lectures and videos
4. Learn vocabulary items and phrases from each unit

授業計画

- 【第1回】
テーマ： Unit 13
内容・方法： Course orientation and explanation of grading policy and assignments. Unit 13 activities.
- 【第2回】
テーマ： Unit 14
内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation.
- 【第3回】
テーマ： Unit 15
内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation. Vocab/Dictation Quiz 1.
- 【第4回】
テーマ： Unit 16
内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation. English Central study.
- 【第5回】
テーマ： Evaluation Units 13-16
内容・方法： Evaluation based on Units 13 - 16, listening through music activity.
- 【第6回】
テーマ： Unit 17
内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation.
- 【第7回】
テーマ： Unit 18
内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation.
- 【第8回】
テーマ： Unit 19
内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation. Vocab/Dictation Quiz 2.
- 【第9回】
テーマ： Unit 20
内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation. English Central study.
- 【第10回】
テーマ： Evaluation Units 17-20
内容・方法： Evaluation based on Units 17-20. Listening through music activity.
- 【第11回】
テーマ： Unit 21
内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation.
- 【第12回】
テーマ： Unit 22
内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation. English Central study.
- 【第13回】

テーマ : Unit 23

内容・方法 : Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation. Vocab/Dictation Quiz 3

【第14回】

テーマ : Unit 24

内容・方法 : Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation. Final Listening through music presentations.

【第15回】

テーマ : Evaluation Units 21-24

内容・方法 : Evaluation based on Units 21-24, Final Listening through music presentations.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

事前学修課題 : None

事後学修課題 : English Central and Vocabulary Preview HW assignments

【第2回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第3回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview. Study for Vocab/Dictation Quiz 1

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第4回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第5回】

事前学修課題 : Study for Evaluation (Units 13-16)

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第6回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第7回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第8回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview. Study for Vocab/Dictation Quiz 2

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第9回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第10回】

事前学修課題 : Study for Evaluation (units 17-20)

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第11回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第12回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第13回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview. Study for Vocab/Dictation Quiz 3

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第14回】

事前学修課題 : Prepare for listening through music presentation

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第15回】

事前学修課題 : Study for Evaluation (units 21-24)

事後学修課題 : English Central and Final Report

課題に対するフィードバックの方法

Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed outside of class, and unit evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course if they comply with the attendance policy (see below).

Grade Breakdown:

Active participation (10%)

Midterm evaluations & Quizzes (40%)
 Homework assignments & English Central (30%)
 Final Evaluation Report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Active participation (10%) Midterm evaluations & Quizzes (40%)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	30	Homework assignments & English Central (30%)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final Evaluation (20)	1, 2, 3, 4
その他	0		

テキスト	Tactics for Listening Expanding Student Book Third Edition: Jack C Richards with Grant Trew; 2011 (Oxford University Press) ISBN: 978-0-19-401386-4
------	---

参考書	None.
-----	-------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD – 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13103652	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Listening II [対面]				
シラバス執筆(全員)	A. E. リオン				
シラバス執筆(主)	A. E. リオン				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course you will develop your listening skills. To improve this language skill, you must learn to listen for specific facts, details, and reasons, as well as learn to understand how speakers show interest and understanding. There will be many listening assignments in class and for homework. As strong vocabulary is also necessary for good listening, this course includes vocabulary building. Particular attention is paid to strategy development for listening during testing situations and in academic settings, as well as differentiating specific sounds of English. In class, we will focus on:

- Predicting what you will hear from pictures / context
- Listening for general understanding
- Listening for details
- Making inferences about speaker mood & intention
- Applying listening strategies to TOEIC Test question types
- Identify linking, contraction, intonation patterns introduced in the textbook
- Analyze vowel sounds using English Central, song lyrics, and videos

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to...

1. Learn top-down listening strategies for general comprehension of conversations about everyday themes.
2. Build bottom-up listening skills through pronunciation, intonation, and dictation practice
3. Improve note-taking skills for lectures and videos
4. Learn vocabulary items and phrases from each unit

授業計画

- 【第1回】
 テーマ： Unit 13
 内容・方法： Course orientation and explanation of grading policy and assignments. Unit 13 activities.
- 【第2回】
 テーマ： Unit 14
 内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation.
- 【第3回】
 テーマ： Unit 15
 内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation. Vocab/Dictation Quiz 1.
- 【第4回】
 テーマ： Unit 16
 内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation. English Central study.
- 【第5回】
 テーマ： Evaluation Units 13-16
 内容・方法： Evaluation based on Units 13 - 16, listening through music activity.
- 【第6回】
 テーマ： Unit 17
 内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation.
- 【第7回】
 テーマ： Unit 18
 内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation.
- 【第8回】
 テーマ： Unit 19
 内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation. Vocab/Dictation Quiz 2.
- 【第9回】
 テーマ： Unit 20
 内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation. English Central study.
- 【第10回】
 テーマ： Evaluation Units 17-20
 内容・方法： Evaluation based on Units 17-20. Listening through music activity.
- 【第11回】
 テーマ： Unit 21
 内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation.
- 【第12回】
 テーマ： Unit 22
 内容・方法： Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation. English Central study.
- 【第13回】

テーマ : Unit 23

内容・方法 : Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation. Vocab/Dictation Quiz 3

【第14回】

テーマ : Unit 24

内容・方法 : Vocabulary, Listening Skills, Pronunciation & Dictation. Final Listening through music presentations.

【第15回】

テーマ : Evaluation Units 21-24

内容・方法 : Evaluation based on Units 21-24, Final Listening through music presentations.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

事前学修課題 : None

事後学修課題 : English Central and Vocabulary Preview HW assignments

【第2回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第3回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview. Study for Vocab/Dictation Quiz 1

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第4回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第5回】

事前学修課題 : Study for Evaluation (Units 13-16)

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第6回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第7回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第8回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview. Study for Vocab/Dictation Quiz 2

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第9回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第10回】

事前学修課題 : Study for Evaluation (units 17-20)

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第11回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第12回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第13回】

事前学修課題 : Vocabulary & textbook preview. Study for Vocab/Dictation Quiz 3

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第14回】

事前学修課題 : Prepare for listening through music presentation

事後学修課題 : English Central and other HW assignments

【第15回】

事前学修課題 : Study for Evaluation (units 21-24)

事後学修課題 : English Central and Final Report

課題に対するフィードバックの方法

Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed outside of class, and unit evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course if they comply with the attendance policy (see below).

Grade Breakdown:

Active participation (10%)

Midterm evaluations & Quizzes (40%)
 Homework assignments & English Central (30%)
 Final Evaluation Report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Active participation (10%) Midterm evaluations & Quizzes (40%)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	30	Homework assignments & English Central (30%)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final Evaluation (20)	1, 2, 3, 4
その他	0		

テキスト	Tactics for Listening Expanding Student Book Third Edition: Jack C Richards with Grant Trew; 2011 (Oxford University Press) ISBN: 978-0-19-401386-4
------	---

参考書	None.
-----	-------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13103301	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Vocabulary I [対面]				
シラバス執筆(全員)	J. M. パーマンター				
シラバス執筆(主)	J. M. パーマンター				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course helps students expand their vocabulary and strengthen their reading skills while gaining practical language skills. Students will practice and learn to use the vocabulary learned in their textbook as well as to increase basic reading fluency. This will be done by working with a variety of reading passages and exercises in the textbook. As the major goal of this course is building core vocabulary, weekly vocabulary quizzes on vocabulary from the units will be given. There will be a Vocabulary Study Project. Students will keep a vocabulary notebook or use a vocabulary study app to review vocabulary learned in the course (to be determined by the course instructor). Other activities to support language learning and reading development will be done. Reading out loud will also be practiced with emphasis placed on intonation and pronunciation as well as fluency, thereby helping not only with reading comprehension, but speaking and listening as well. Grammar to support reading and vocabulary usage will also be covered in textbook units. There will be 3 term evaluations and a final examination. Course information and homework assignments will be on Google Classroom.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Expand general vocabulary knowledge.
2. Improve vocabulary meaning and usage.
3. Develop and expand vocabulary to improve reading.
4. Improve grammar that supports reading and word usage.

授業計画

- 【第1回】
 テーマ: Course introduction: Syllabus explanation. Vocabulary study project - Vocabulary notebook/study app explanation. Google Class orientation and registration.
 内容・方法: Class Orientation, Introduction to textbook/study project
- 【第2回】
 テーマ: Unit 1, Lesson 1
 内容・方法: Animals and Numbers / Subject-verb agreement / Vocabulary Project Progress Check
- 【第3回】
 テーマ: Unit 1, Lesson 2
 内容・方法: Weather and the Arctic / Possessive Pronouns / Vocabulary Project Progress Check
- 【第4回】
 テーマ: Unit 1, Lesson 3
 内容・方法: Sea Life and Communication / Conjunction: but / Vocabulary Project Progress Check
- 【第5回】
 テーマ: Unit 2, Lesson 1
 内容・方法: Feelings and Movement / Do, Does / Vocabulary Project Progress Check
- 【第6回】
 テーマ: Unit 2, Lesson 2
 内容・方法: Good Times and Relaxation / Relative Pronoun: that / Vocabulary Project Progress Check
- 【第7回】
 テーマ: Unit 2, Lesson 3
 内容・方法: Sleeping and Dreaming / There is / There are / Vocabulary Project Progress Check
- 【第8回】
 テーマ: Evaluation and Review
 内容・方法: 1st Evaluation & vocabulary learning discussions and student reports on their vocabulary study project.
- 【第9回】
 テーマ: Unit 3, Lesson 1
 内容・方法: Past and Present / Past Simple Tense / Vocabulary Project Progress Check
- 【第10回】
 テーマ: Unit 3, Lesson 2
 内容・方法: Countries and Continents / Place Names / Vocabulary Project Progress Check
- 【第11回】
 テーマ: Unit 3, Lesson 3
 内容・方法: Food and Health / Verb + Infinitive / Gerund / Vocabulary Project Progress Check
- 【第12回】
 テーマ: Unit 4, Lesson 1
 内容・方法: Popular Music / Prepositions of Time / Vocabulary Project Progress Check
- 【第13回】

テーマ : Unit 4, Lesson 2

内容・方法 : Musical Performers and Recordings / Adverbs / Vocabulary Project Progress Check

【第14回】

テーマ : Unit 4, Lesson 3

内容・方法 : Hip-hop and Dance / Past Simple Tense / Vocabulary Project Progress Check

【第15回】

テーマ : Semester Review; Vocabulary Project; Semester Evaluation

内容・方法 : Review of vocabulary learning, discussions and student reports on the Vocabulary Study Project. Final Evaluation explanation.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

事前学修課題 : Read the course outline.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第2回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第3回】

事前学修課題 : Review the units studied

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第4回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第5回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第6回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project. Prepare for Evaluation.

【第7回】

事前学修課題 : Review & Evaluation. Vocabulary Project reporting.

事後学修課題 : Review units studied. Vocabulary homework exercises.

【第8回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第9回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第10回】

事前学修課題 : Review the units studied

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第11回】

事前学修課題 : Review the units studied

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第12回】

事前学修課題 : Review the units studied

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第13回】

事前学修課題 : Review the units studied

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project. Prepare for Evaluation.

【第14回】

事前学修課題 : Review & Evaluation. Vocabulary Project reporting.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第15回】

事前学修課題 : Semester Review; Vocabulary Project submission.

事後学修課題 : Final Evaluation submission.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Students will earn a course grade based on the following grade breakdown:

In-class assignments (10%)

Vocabulary quizzes (20%)

Semester evaluations (20%)

HWK assignments (10%)

Vocabulary study project (20%)
Final examination (20%)

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	In-class assignments (10%), semester evaluations (20%) and vocabulary quizzes (20%).	1, 2, 3, 4
授業外での評価	30	HWK assignments (10%); Vocabulary study project (20%).	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final examination (20%)	1, 2, 3, 4
その他	0	none	

テキスト	Reading and Vocabulary Development Series, 4e (2020), Patricia Ackert, Linda Lee, Eric Hawkins, Harry Haynes, Jessica Beck, Stefan Kostarelis, National Geographic Learning (Cengage Learning). ISBN: 978-981-48-9653-5
------	---

参考書	none
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	---

授業コード	13103302	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Vocabulary I [対面]				
シラバス執筆(全員)	C. A. スミス				
シラバス執筆(主)	C. A. スミス				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course helps students expand their vocabulary and strengthen their reading skills while gaining practical language skills. Students will practice and learn to use the vocabulary learned in their textbook as well as to increase basic reading fluency. This will be done by working with a variety of reading passages and exercises in the textbook. As the major goal of this course is building core vocabulary, weekly vocabulary quizzes on vocabulary from the units will be given. There will be a Vocabulary Study Project. Students will keep a vocabulary notebook or use a vocabulary study app to review vocabulary learned in the course (to be determined by the course instructor). Other activities to support language learning and reading development will be done. Reading out loud will also be practiced with emphasis placed on intonation and pronunciation as well as fluency, thereby helping not only with reading comprehension, but speaking and listening as well. Grammar to support reading and vocabulary usage will also be covered in textbook units. There will be 3 term evaluations and a final examination. Course information and homework assignments will be on Google Classroom.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Expand general vocabulary knowledge.
2. Improve vocabulary meaning and usage.
3. Develop and expand vocabulary to improve reading.
4. Improve grammar that supports reading and word usage.

授業計画

- 【第1回】
 テーマ: Course introduction: Syllabus explanation. Vocabulary study project - Vocabulary notebook/study app explanation. Google Class orientation and registration.
 内容・方法: Class Orientation, Introduction to textbook/study project
- 【第2回】
 テーマ: Unit 1, Lesson 1
 内容・方法: Animals and Numbers / Subject-verb agreement / Vocabulary Project Progress Check
- 【第3回】
 テーマ: Unit 1, Lesson 2
 内容・方法: Weather and the Arctic / Possessive Pronouns / Vocabulary Project Progress Check
- 【第4回】
 テーマ: Unit 1, Lesson 3
 内容・方法: Sea Life and Communication / Conjunction: but / Vocabulary Project Progress Check
- 【第5回】
 テーマ: Unit 2, Lesson 1
 内容・方法: Feelings and Movement / Do, Does / Vocabulary Project Progress Check
- 【第6回】
 テーマ: Unit 2, Lesson 2
 内容・方法: Good Times and Relaxation / Relative Pronoun: that / Vocabulary Project Progress Check
- 【第7回】
 テーマ: Unit 2, Lesson 3
 内容・方法: Sleeping and Dreaming / There is / There are / Vocabulary Project Progress Check
- 【第8回】
 テーマ: Evaluation and Review
 内容・方法: 1st Evaluation & vocabulary learning discussions and student reports on their vocabulary study project.
- 【第9回】
 テーマ: Unit 3, Lesson 1
 内容・方法: Past and Present / Past Simple Tense / Vocabulary Project Progress Check
- 【第10回】
 テーマ: Unit 3, Lesson 2
 内容・方法: Countries and Continents / Place Names / Vocabulary Project Progress Check
- 【第11回】
 テーマ: Unit 3, Lesson 3
 内容・方法: Food and Health / Verb + Infinitive / Gerund / Vocabulary Project Progress Check
- 【第12回】
 テーマ: Unit 4, Lesson 1
 内容・方法: Popular Music / Prepositions of Time / Vocabulary Project Progress Check
- 【第13回】

テーマ : Unit 4, Lesson 2

内容・方法 : Musical Performers and Recordings / Adverbs / Vocabulary Project Progress Check

【第14回】

テーマ : Unit 4, Lesson 3

内容・方法 : Hip-hop and Dance / Past Simple Tense / Vocabulary Project Progress Check

【第15回】

テーマ : Semester Review; Vocabulary Project; Semester Evaluation

内容・方法 : Review of vocabulary learning, discussions and student reports on the Vocabulary Study Project. Final Evaluation explanation.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

事前学修課題 : Read the course outline.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第2回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第3回】

事前学修課題 : Review the units studied

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第4回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第5回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第6回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project. Prepare for Evaluation.

【第7回】

事前学修課題 : Review & Evaluation. Vocabulary Project reporting.

事後学修課題 : Review units studied. Vocabulary homework exercises.

【第8回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第9回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第10回】

事前学修課題 : Review the units studied

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第11回】

事前学修課題 : Review the units studied

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第12回】

事前学修課題 : Review the units studied

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第13回】

事前学修課題 : Review the units studied

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project. Prepare for Evaluation.

【第14回】

事前学修課題 : Review & Evaluation. Vocabulary Project reporting.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第15回】

事前学修課題 : Semester Review; Vocabulary Project submission.

事後学修課題 : Final Evaluation submission.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Students will earn a course grade based on the following grade breakdown:

In-class assignments (10%)

Vocabulary quizzes (20%)

Semester evaluations (20%)

HWK assignments (10%)

Vocabulary study project (20%)
Final examination (20%)

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	In-class assignments (10%), semester evaluations (20%) and vocabulary quizzes (20%).	1, 2, 3, 4
授業外での評価	30	HWK assignments (10%); Vocabulary study project (20%).	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final examination (20%)	1, 2, 3, 4
その他	0	none	

テキスト	Reading and Vocabulary Development Series, 4e (2020), Patricia Ackert, Linda Lee, Eric Hawkins, Harry Haynes, Jessica Beck, Stefan Kostarelis, National Geographic Learning (Cengage Learning). ISBN: 978-981-48-9653-5
------	---

参考書	none
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	---

授業コード	13103303	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Vocabulary I [対面]				
シラバス執筆(全員)	L. J. ピッチャー				
シラバス執筆(主)	L. J. ピッチャー				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course helps students expand their vocabulary and strengthen their reading skills while gaining practical language skills. Students will practice and learn to use the vocabulary learned in their textbook as well as to increase basic reading fluency. This will be done by working with a variety of reading passages and exercises in the textbook. As the major goal of this course is building core vocabulary, weekly vocabulary quizzes on vocabulary from the units will be given. There will be a Vocabulary Study Project. Students will keep a vocabulary notebook or use a vocabulary study app to review vocabulary learned in the course (to be determined by the course instructor). Other activities to support language learning and reading development will be done. Reading out loud will also be practiced with emphasis placed on intonation and pronunciation as well as fluency, thereby helping not only with reading comprehension, but speaking and listening as well. Grammar to support reading and vocabulary usage will also be covered in textbook units. There will be 3 term evaluations and a final examination. Course information and homework assignments will be on Google Classroom.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Expand general vocabulary knowledge.
2. Improve vocabulary meaning and usage.
3. Develop and expand vocabulary to improve reading.
4. Improve grammar that supports reading and word usage.

授業計画

- 【第1回】
 テーマ: Course introduction: Syllabus explanation. Vocabulary study project - Vocabulary notebook/study app explanation. Google Class orientation and registration.
 内容・方法: Class Orientation, Introduction to textbook/study project
- 【第2回】
 テーマ: Unit 1, Lesson 1
 内容・方法: Animals and Numbers / Subject-verb agreement / Vocabulary Project Progress Check
- 【第3回】
 テーマ: Unit 1, Lesson 2
 内容・方法: Weather and the Arctic / Possessive Pronouns / Vocabulary Project Progress Check
- 【第4回】
 テーマ: Unit 1, Lesson 3
 内容・方法: Sea Life and Communication / Conjunction: but / Vocabulary Project Progress Check
- 【第5回】
 テーマ: Unit 2, Lesson 1
 内容・方法: Feelings and Movement / Do, Does / Vocabulary Project Progress Check
- 【第6回】
 テーマ: Unit 2, Lesson 2
 内容・方法: Good Times and Relaxation / Relative Pronoun: that / Vocabulary Project Progress Check
- 【第7回】
 テーマ: Unit 2, Lesson 3
 内容・方法: Sleeping and Dreaming / There is / There are / Vocabulary Project Progress Check
- 【第8回】
 テーマ: Evaluation and Review
 内容・方法: 1st Evaluation & vocabulary learning discussions and student reports on their vocabulary study project.
- 【第9回】
 テーマ: Unit 3, Lesson 1
 内容・方法: Past and Present / Past Simple Tense / Vocabulary Project Progress Check
- 【第10回】
 テーマ: Unit 3, Lesson 2
 内容・方法: Countries and Continents / Place Names / Vocabulary Project Progress Check
- 【第11回】
 テーマ: Unit 3, Lesson 3
 内容・方法: Food and Health / Verb + Infinitive / Gerund / Vocabulary Project Progress Check
- 【第12回】
 テーマ: Unit 4, Lesson 1
 内容・方法: Popular Music / Prepositions of Time / Vocabulary Project Progress Check
- 【第13回】

テーマ : Unit 4, Lesson 2

内容・方法 : Musical Performers and Recordings / Adverbs / Vocabulary Project Progress Check

【第14回】

テーマ : Unit 4, Lesson 3

内容・方法 : Hip-hop and Dance / Past Simple Tense / Vocabulary Project Progress Check

【第15回】

テーマ : Semester Review; Vocabulary Project; Semester Evaluation

内容・方法 : Review of vocabulary learning, discussions and student reports on the Vocabulary Study Project. Final Evaluation explanation.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

事前学修課題 : Read the course outline.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第2回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第3回】

事前学修課題 : Review the units studied

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第4回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第5回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第6回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project. Prepare for Evaluation.

【第7回】

事前学修課題 : Review & Evaluation. Vocabulary Project reporting.

事後学修課題 : Review units studied. Vocabulary homework exercises.

【第8回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第9回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第10回】

事前学修課題 : Review the units studied

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第11回】

事前学修課題 : Review the units studied

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第12回】

事前学修課題 : Review the units studied

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第13回】

事前学修課題 : Review the units studied

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project. Prepare for Evaluation.

【第14回】

事前学修課題 : Review & Evaluation. Vocabulary Project reporting.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第15回】

事前学修課題 : Semester Review; Vocabulary Project submission.

事後学修課題 : Final Evaluation submission.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Students will earn a course grade based on the following grade breakdown:

In-class assignments (10%)

Vocabulary quizzes (20%)

Semester evaluations (20%)

HWK assignments (10%)

Vocabulary study project (20%)
Final examination (20%)

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	In-class assignments (10%), semester evaluations (20%) and vocabulary quizzes (20%).	1, 2, 3, 4
授業外での評価	30	HWK assignments (10%); Vocabulary study project (20%).	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final examination (20%)	1, 2, 3, 4
その他	0	none	

テキスト	Reading and Vocabulary Development Series, 4e (2020), Patricia Ackert, Linda Lee, Eric Hawkins, Harry Haynes, Jessica Beck, Stefan Kostarelis, National Geographic Learning (Cengage Learning). ISBN: 978-981-48-9653-5
------	---

参考書	none
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	---

授業コード	13103351	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Vocabulary I [対面]				
シラバス執筆(全員)	S. ハティング				
シラバス執筆(主)	S. ハティング				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

Vocabulary I & II focus on explicit vocabulary study of digital word cards as well as instruction in speed-reading to help students learn to quickly recognize vocabulary in context. The course uses the English Central Vocabulary Builder app and quizzes to help students fill in gaps in knowledge of the most frequent words in the English language using the New General Service List (NGSL). Students commit approximately 30 minutes every class to vocabulary study strategies and activities.

During instruction using the speed-reading text, students will practice reading quickly and silently for general understanding, as well as reading aloud with proper pronunciation at a good pace. Skill building activities will progressively push students to internalize core sub-skills of reading, including:

- Predicting content from titles and pictures
- Skimming for gist
- Scanning a passage to quickly identify key information such as dates, names, locations, etc.
- Monitoring comprehension: Guessing and checking word meaning, answering comprehension questions to evaluate comprehension
- Using margin notes to identify main ideas, supporting ideas, and examples
- Summarizing a passage orally and in writing
- Relating reading to personal experience with expansion questions and discussion

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Expand general vocabulary knowledge of the most common ~2000 words in English (English Central study)
2. Learn strategies for building vocabulary
3. Increase reading speed and fluency through speed reading training
4. Develop core reading skills such as skimming, scanning, taking notes, and summarizing

授業計画

【第1回】

テーマ: Course introduction: Syllabus explanation, components of course: English Central Vocabulary Quizzes, Speed Reading, Reading skills.

内容・方法: Learning how to do the speed reading and how to record and calculate your reading speed. English Central Quiz explanation. Speed Reading #1 (#2 is for HW)

【第2回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading #3. Reading Skills: Identifying main idea (paragraph-level).

【第3回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading #5. Reading Skills: Identifying main idea (paragraph-level).

【第4回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading #7. Reading Skills: Identifying main idea (paragraph-level).

【第5回】

テーマ: Evaluation

内容・方法: English Central Quiz. Evaluation: Speed Reading (identifying main idea)

【第6回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading #9. Reading Skills: Scanning.

【第7回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading #11. Reading Skills: Scanning.

【第8回】

テーマ: Mid-semester reflection and grade check

内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading #13. Reading Skills: notetaking & summary. Review a reading skills reflection sheet and evaluate progress

【第9回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading #15. Reading Skills: notetaking & summary.

【第10回】

テーマ : Evaluation

内容・方法 : English Central Quiz. Evaluation: Speed Reading (notetaking & summary)

【第11回】

テーマ : Reading skills training

内容・方法 : English Central Quiz. Speed Reading #17. Reading Skills: identifying reasons & examples.

【第12回】

テーマ : Reading skills training

内容・方法 : English Central Quiz. Speed Reading #19. Reading Skills: identifying reasons & examples.

【第13回】

テーマ : Reading skills review

内容・方法 : English Central Quiz. Review of Reading Skills (previously studied chapters).

【第14回】

テーマ : Semester final reflection and grade check

内容・方法 : English Central Quiz. Review of Reading Skills (previously studied chapters). Review a reading skills reflection sheet and evaluate progress

【第15回】

テーマ : Reading skills review

内容・方法 : Final Evaluation & Review of semester

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a 1-credit (1単位) course, which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題 : Look at textbook and syllabus.

事後学修課題 : English Central

【第2回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #2 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第3回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #4 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第4回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #6 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第5回】

事前学修課題 : Review vocabulary of chapters, prepare for evaluation (summary/main ideas)

事後学修課題 : English Central

【第6回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #8 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第7回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #10 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第8回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #12 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第9回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #14 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第10回】

事前学修課題 : Review vocabulary of chapters, prepare for evaluation (notetaking & summary)

事後学修課題 : English Central

【第11回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #16 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第12回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #18 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第13回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #20 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第14回】

事前学修課題 : Review skills

事後学修課題 : Review for evaluation

【第15回】

事前学修課題 : Prepare for evaluation

事後学修課題 : None

課題に対するフィードバックの方法

Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom. Overall course

progress and feedback will be given at mid-term and before the final class. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on assignments completed in and out of class, in-class vocabulary quizzes, and reading skills evaluation. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course if they comply with the attendance policy.

Grade Breakdown:

Active participation & in-class activities (20%)
 English Central quizzes (20%)
 Midterm reading skill evaluations (20%)
 Homework assignments (20%)
 Final evaluation / reflection report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	Active participation & in-class activities (20), English Central quizzes (20), midterm reading skill evaluations (20)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	20	Homework assignments (20)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final evaluation / reflection report (20)	1, 2, 3, 4
その他	0		

テキスト	Reading for Speed and Fluency Book 4, 2nd edition, Paul Nation, Marcos Benevides, James Broadbridge, Joseph Siegel, Compass Publishing, 2018. 978-1-64015-070-6
------	---

参考書	
-----	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回とみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13103352	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Vocabulary I [対面]				
シラバス執筆(全員)	A. ナデュー				
シラバス執筆(主)	A. ナデュー				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

Vocabulary I & II focus on explicit vocabulary study of digital word cards as well as instruction in speed-reading to help students learn to quickly recognize vocabulary in context. The course uses the English Central Vocabulary Builder app and quizzes to help students fill in gaps in knowledge of the most frequent words in the English language using the New General Service List (NGSL). Students commit approximately 30 minutes every class to vocabulary study strategies and activities.

During instruction using the speed-reading text, students will practice reading quickly and silently for general understanding, as well as reading aloud with proper pronunciation at a good pace. Skill building activities will progressively push students to internalize core sub-skills of reading, including:

- Predicting content from titles and pictures
- Skimming for gist
- Scanning a passage to quickly identify key information such as dates, names, locations, etc.
- Monitoring comprehension: Guessing and checking word meaning, answering comprehension questions to evaluate comprehension
- Using margin notes to identify main ideas, supporting ideas, and examples
- Summarizing a passage orally and in writing
- Relating reading to personal experience with expansion questions and discussion

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Expand general vocabulary knowledge of the most common ~2000 words in English (English Central study)
2. Learn strategies for building vocabulary
3. Increase reading speed and fluency through speed reading training
4. Develop core reading skills such as skimming, scanning, taking notes, and summarizing

授業計画

【第1回】

テーマ: Course introduction: Syllabus explanation, components of course: English Central Vocabulary Quizzes, Speed Reading, Reading skills.

内容・方法: Learning how to do the speed reading and how to record and calculate your reading speed. English Central Quiz explanation. Speed Reading #1 (#2 is for HW)

【第2回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading #3. Reading Skills: Identifying main idea (paragraph-level).

【第3回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading #5. Reading Skills: Identifying main idea (paragraph-level).

【第4回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading #7. Reading Skills: Identifying main idea (paragraph-level).

【第5回】

テーマ: Evaluation

内容・方法: English Central Quiz. Evaluation: Speed Reading (identifying main idea)

【第6回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading #9. Reading Skills: Scanning.

【第7回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading #11. Reading Skills: Scanning.

【第8回】

テーマ: Mid-semester reflection and grade check

内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading #13. Reading Skills: notetaking & summary. Review a reading skills reflection sheet and evaluate progress

【第9回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading #15. Reading Skills: notetaking & summary.

【第10回】

テーマ : Evaluation

内容・方法 : English Central Quiz. Evaluation: Speed Reading (notetaking & summary)

【第11回】

テーマ : Reading skills training

内容・方法 : English Central Quiz. Speed Reading #17. Reading Skills: identifying reasons & examples.

【第12回】

テーマ : Reading skills training

内容・方法 : English Central Quiz. Speed Reading #19. Reading Skills: identifying reasons & examples.

【第13回】

テーマ : Reading skills review

内容・方法 : English Central Quiz. Review of Reading Skills (previously studied chapters).

【第14回】

テーマ : Semester final reflection and grade check

内容・方法 : English Central Quiz. Review of Reading Skills (previously studied chapters). Review a reading skills reflection sheet and evaluate progress

【第15回】

テーマ : Reading skills review

内容・方法 : Final Evaluation & Review of semester

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a 1-credit (1単位) course, which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題 : Look at textbook and syllabus.

事後学修課題 : English Central

【第2回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #2 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第3回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #4 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第4回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #6 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第5回】

事前学修課題 : Review vocabulary of chapters, prepare for evaluation (summary/main ideas)

事後学修課題 : English Central

【第6回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #8 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第7回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #10 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第8回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #12 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第9回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #14 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第10回】

事前学修課題 : Review vocabulary of chapters, prepare for evaluation (notetaking & summary)

事後学修課題 : English Central

【第11回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #16 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第12回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #18 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第13回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #20 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第14回】

事前学修課題 : Review skills

事後学修課題 : Review for evaluation

【第15回】

事前学修課題 : Prepare for evaluation

事後学修課題 : None

課題に対するフィードバックの方法

Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom. Overall course

progress and feedback will be given at mid-term and before the final class. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on assignments completed in and out of class, in-class vocabulary quizzes, and reading skills evaluation. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course if they comply with the attendance policy.

Grade Breakdown:

Active participation & in-class activities (20%)
 English Central quizzes (20%)
 Midterm reading skill evaluations (20%)
 Homework assignments (20%)
 Final evaluation / reflection report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	Active participation & in-class activities (20), English Central quizzes (20), midterm reading skill evaluations (20)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	20	Homework assignments (20)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final evaluation / reflection report (20)	1, 2, 3, 4
その他	0		

テキスト	Reading for Speed and Fluency Book 4, 2nd edition, Paul Nation, Marcos Benevides, James Broadbridge, Joseph Siegel, Compass Publishing, 2018. 978-1-64015-070-6
------	---

参考書	
-----	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回とみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13103401	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Vocabulary II [対面]				
シラバス執筆(全員)	J. M. パーマンター				
シラバス執筆(主)	J. M. パーマンター				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course helps students expand their vocabulary and strengthen their reading skills while gaining practical language skills. Students will practice and learn to use the vocabulary learned in their textbook as well as to increase basic reading fluency. This will be done by working with a variety of reading passages and exercises in the textbook. As the major goal of this course is building core vocabulary, weekly vocabulary quizzes on vocabulary from the units will be given. There will be a Vocabulary Study Project. Students will keep a vocabulary notebook or use a vocabulary study app to review vocabulary learned in the course (to be determined by the course instructor). Other activities to support language learning and reading development will be done. Reading out loud will also be practiced with emphasis placed on intonation and pronunciation as well as fluency, thereby helping not only with reading comprehension, but speaking and listening as well. Grammar to support reading and vocabulary usage will also be covered in textbook units. There will be 3 term evaluations and a final examination. Course information and homework assignments will be on Google Classroom.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Expand general vocabulary knowledge.
2. Improve vocabulary meaning and usage.
3. Develop and expand vocabulary to improve reading.
4. Improve grammar that supports reading and word usage.

授業計画

【第1回】
 テーマ: Course introduction: Syllabus explanation. Vocabulary study project - Vocabulary notebook/study app explanation. Google Classroom registration and orientation.
 内容・方法: Class Orientation, Introduction to textbook/study project

【第2回】
 テーマ: Unit 5, Lesson 1
 内容・方法: Jobs and Travel / Conjunction: so / Vocabulary Project Progress Check

【第3回】
 テーマ: Unit 5, Lesson 2
 内容・方法: Jobs and Work Benefits / Superlatives / Vocabulary Project Progress Check

【第4回】
 テーマ: Unit 5, Lesson 3
 内容・方法: Schedules and Salaries / Present Continuous Tense / Vocabulary Project Progress Check

【第5回】
 テーマ: Unit 6, Lesson 1
 内容・方法: Climbing / Modal Verbs / Vocabulary Project Progress Check

【第6回】
 テーマ: Unit 6, Lesson 2
 内容・方法: Online Games and the Internet / Plural Nouns / Vocabulary Project Progress Check

【第7回】
 テーマ: Unit 6, Lesson 3
 内容・方法: Anime and Costumes / Phrasal Verbs / Vocabulary Project Progress Check

【第8回】
 テーマ: Review and evaluation
 内容・方法: 1st Evaluation & vocabulary learning discussions and student reports on their vocabulary study project.

【第9回】
 テーマ: Unit 7, Lesson 1
 内容・方法: Celebrations / Prepositions of Place / Vocabulary Project Progress Check

【第10回】
 テーマ: Unit 7, Lesson 2
 内容・方法: Appearance and Ways of Life / Compound Nouns / Vocabulary Project Progress Check

【第11回】
 テーマ: Unit 7, Lesson 3
 内容・方法: Culture and Occasions / Adjective, Noun Collocations / Vocabulary Project Progress Check

【第12回】
 テーマ: Unit 8, Lesson 1
 内容・方法: Difficult and Special Journeys / Relative Pronoun: which / Vocabulary Project Progress Check

【第13回】

テーマ : Unit 8, Lesson 2

内容・方法 : Leadership and Gifts / Verb, Noun Collocations / Vocabulary Project Progress Check

【第14回】

テーマ : Unit 8, Lesson 3

内容・方法 : Communication and Equipment / Reflexive Pronouns / Vocabulary Project Progress Check

【第15回】

テーマ : Semester Review; Vocabulary Project; Evaluation

内容・方法 : Review of vocabulary learning, discussions and student reports on their vocabulary study project. Final Evaluation explanation.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

第1回】

事前学修課題 : Read the course outline.

事後学修課題 :

【第2回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第3回】

事前学修課題 : Review the units studied

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第4回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project..

【第5回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第6回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project. Prepare for Evaluation.

【第7回】

事前学修課題 : Review & Evaluation. Vocabulary Project reporting.

事後学修課題 : Review units studied. Vocabulary homework exercises.

【第8回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第9回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第10回】

事前学修課題 : Review the units studied

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project

【第11回】

事前学修課題 : Review the units studied

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第12回】

事前学修課題 : Review the units studied

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第13回】

事前学修課題 : Review the units studied

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project. Prepare for Evaluation.

【第14回】

事前学修課題 : Review & Evaluation. Vocabulary Project reporting.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第15回】

事前学修課題 : Semester Review; Vocabulary Project submission.

事後学修課題 : Final Evaluation submission

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Students will earn a course grade based on the following grade breakdown:

- In-class assignments (10%)
- Vocabulary quizzes (20%)
- Semester evaluations (20%)

HWK assignments (10%)
 Vocabulary study project (20%)
 Final examination (20%)

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	In-class assignments (10%), semester evaluations (20%) and vocabulary quizzes (20%).	1, 2, 3, 4
授業外での評価	30	HWK assignments (10%); Vocabulary study project (20%).	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final examination (20%)	1, 2, 3, 4
その他	0	none	

テキスト	Reading and Vocabulary Development Series, 4e (2020), Patricia Ackert, Linda Lee, Eric Hawkins, Harry Haynes, Jessica Beck, Stefan Kostarelis, National Geographic Learning (Cengage Learning). ISBN: 978-981-48-9653-5
------	---

参考書	none
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13103402	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Vocabulary II [対面]				
シラバス執筆(全員)	C. A. スミス				
シラバス執筆(主)	C. A. スミス				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course helps students expand their vocabulary and strengthen their reading skills while gaining practical language skills. Students will practice and learn to use the vocabulary learned in their textbook as well as to increase basic reading fluency. This will be done by working with a variety of reading passages and exercises in the textbook. As the major goal of this course is building core vocabulary, weekly vocabulary quizzes on vocabulary from the units will be given. There will be a Vocabulary Study Project. Students will keep a vocabulary notebook or use a vocabulary study app to review vocabulary learned in the course (to be determined by the course instructor). Other activities to support language learning and reading development will be done. Reading out loud will also be practiced with emphasis placed on intonation and pronunciation as well as fluency, thereby helping not only with reading comprehension, but speaking and listening as well. Grammar to support reading and vocabulary usage will also be covered in textbook units. There will be 3 term evaluations and a final examination. Course information and homework assignments will be on Google Classroom.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Expand general vocabulary knowledge.
2. Improve vocabulary meaning and usage.
3. Develop and expand vocabulary to improve reading.
4. Improve grammar that supports reading and word usage.

授業計画

【第1回】
 テーマ: Course introduction: Syllabus explanation. Vocabulary study project - Vocabulary notebook/study app explanation. Google Classroom registration and orientation.
 内容・方法: Class Orientation, Introduction to textbook/study project

【第2回】
 テーマ: Unit 5, Lesson 1
 内容・方法: Jobs and Travel / Conjunction: so / Vocabulary Project Progress Check

【第3回】
 テーマ: Unit 5, Lesson 2
 内容・方法: Jobs and Work Benefits / Superlatives / Vocabulary Project Progress Check

【第4回】
 テーマ: Unit 5, Lesson 3
 内容・方法: Schedules and Salaries / Present Continuous Tense / Vocabulary Project Progress Check

【第5回】
 テーマ: Unit 6, Lesson 1
 内容・方法: Climbing / Modal Verbs / Vocabulary Project Progress Check

【第6回】
 テーマ: Unit 6, Lesson 2
 内容・方法: Online Games and the Internet / Plural Nouns / Vocabulary Project Progress Check

【第7回】
 テーマ: Unit 6, Lesson 3
 内容・方法: Anime and Costumes / Phrasal Verbs / Vocabulary Project Progress Check

【第8回】
 テーマ: Review and evaluation
 内容・方法: 1st Evaluation & vocabulary learning discussions and student reports on their vocabulary study project.

【第9回】
 テーマ: Unit 7, Lesson 1
 内容・方法: Celebrations / Prepositions of Place / Vocabulary Project Progress Check

【第10回】
 テーマ: Unit 7, Lesson 2
 内容・方法: Appearance and Ways of Life / Compound Nouns / Vocabulary Project Progress Check

【第11回】
 テーマ: Unit 7, Lesson 3
 内容・方法: Culture and Occasions / Adjective, Noun Collocations / Vocabulary Project Progress Check

【第12回】
 テーマ: Unit 8, Lesson 1
 内容・方法: Difficult and Special Journeys / Relative Pronoun: which / Vocabulary Project Progress Check

【第13回】

テーマ : Unit 8, Lesson 2

内容・方法 : Leadership and Gifts / Verb, Noun Collocations / Vocabulary Project Progress Check

【第14回】

テーマ : Unit 8, Lesson 3

内容・方法 : Communication and Equipment / Reflexive Pronouns / Vocabulary Project Progress Check

【第15回】

テーマ : Semester Review; Vocabulary Project; Evaluation

内容・方法 : Review of vocabulary learning, discussions and student reports on their vocabulary study project. Final Evaluation explanation.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

第1回】

事前学修課題 : Read the course outline.

事後学修課題 :

【第2回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第3回】

事前学修課題 : Review the units studied

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第4回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project..

【第5回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第6回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project. Prepare for Evaluation.

【第7回】

事前学修課題 : Review & Evaluation. Vocabulary Project reporting.

事後学修課題 : Review units studied. Vocabulary homework exercises.

【第8回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第9回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第10回】

事前学修課題 : Review the units studied

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project

【第11回】

事前学修課題 : Review the units studied

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第12回】

事前学修課題 : Review the units studied

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第13回】

事前学修課題 : Review the units studied

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project. Prepare for Evaluation.

【第14回】

事前学修課題 : Review & Evaluation. Vocabulary Project reporting.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第15回】

事前学修課題 : Semester Review; Vocabulary Project submission.

事後学修課題 : Final Evaluation submission

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Students will earn a course grade based on the following grade breakdown:

- In-class assignments (10%)
- Vocabulary quizzes (20%)
- Semester evaluations (20%)

HWK assignments (10%)
 Vocabulary study project (20%)
 Final examination (20%)

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	In-class assignments (10%), semester evaluations (20%) and vocabulary quizzes (20%).	1, 2, 3, 4
授業外での評価	30	HWK assignments (10%); Vocabulary study project (20%).	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final examination (20%)	1, 2, 3, 4
その他	0	none	

テキスト	Reading and Vocabulary Development Series, 4e (2020), Patricia Ackert, Linda Lee, Eric Hawkins, Harry Haynes, Jessica Beck, Stefan Kostarelis, National Geographic Learning (Cengage Learning). ISBN: 978-981-48-9653-5
------	---

参考書	none
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	---

授業コード	13103403	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Vocabulary II [対面]				
シラバス執筆(全員)	L. J. ピッチャー				
シラバス執筆(主)	L. J. ピッチャー				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course helps students expand their vocabulary and strengthen their reading skills while gaining practical language skills. Students will practice and learn to use the vocabulary learned in their textbook as well as to increase basic reading fluency. This will be done by working with a variety of reading passages and exercises in the textbook. As the major goal of this course is building core vocabulary, weekly vocabulary quizzes on vocabulary from the units will be given. There will be a Vocabulary Study Project. Students will keep a vocabulary notebook or use a vocabulary study app to review vocabulary learned in the course (to be determined by the course instructor). Other activities to support language learning and reading development will be done. Reading out loud will also be practiced with emphasis placed on intonation and pronunciation as well as fluency, thereby helping not only with reading comprehension, but speaking and listening as well. Grammar to support reading and vocabulary usage will also be covered in textbook units. There will be 3 term evaluations and a final examination. Course information and homework assignments will be on Google Classroom.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Expand general vocabulary knowledge.
2. Improve vocabulary meaning and usage.
3. Develop and expand vocabulary to improve reading.
4. Improve grammar that supports reading and word usage.

授業計画

【第1回】
 テーマ: Course introduction: Syllabus explanation. Vocabulary study project - Vocabulary notebook/study app explanation. Google Classroom registration and orientation.
 内容・方法: Class Orientation, Introduction to textbook/study project

【第2回】
 テーマ: Unit 5, Lesson 1
 内容・方法: Jobs and Travel / Conjunction: so / Vocabulary Project Progress Check

【第3回】
 テーマ: Unit 5, Lesson 2
 内容・方法: Jobs and Work Benefits / Superlatives / Vocabulary Project Progress Check

【第4回】
 テーマ: Unit 5, Lesson 3
 内容・方法: Schedules and Salaries / Present Continuous Tense / Vocabulary Project Progress Check

【第5回】
 テーマ: Unit 6, Lesson 1
 内容・方法: Climbing / Modal Verbs / Vocabulary Project Progress Check

【第6回】
 テーマ: Unit 6, Lesson 2
 内容・方法: Online Games and the Internet / Plural Nouns / Vocabulary Project Progress Check

【第7回】
 テーマ: Unit 6, Lesson 3
 内容・方法: Anime and Costumes / Phrasal Verbs / Vocabulary Project Progress Check

【第8回】
 テーマ: Review and evaluation
 内容・方法: 1st Evaluation & vocabulary learning discussions and student reports on their vocabulary study project.

【第9回】
 テーマ: Unit 7, Lesson 1
 内容・方法: Celebrations / Prepositions of Place / Vocabulary Project Progress Check

【第10回】
 テーマ: Unit 7, Lesson 2
 内容・方法: Appearance and Ways of Life / Compound Nouns / Vocabulary Project Progress Check

【第11回】
 テーマ: Unit 7, Lesson 3
 内容・方法: Culture and Occasions / Adjective, Noun Collocations / Vocabulary Project Progress Check

【第12回】
 テーマ: Unit 8, Lesson 1
 内容・方法: Difficult and Special Journeys / Relative Pronoun: which / Vocabulary Project Progress Check

【第13回】

テーマ : Unit 8, Lesson 2

内容・方法 : Leadership and Gifts / Verb, Noun Collocations / Vocabulary Project Progress Check

【第14回】

テーマ : Unit 8, Lesson 3

内容・方法 : Communication and Equipment / Reflexive Pronouns / Vocabulary Project Progress Check

【第15回】

テーマ : Semester Review; Vocabulary Project; Evaluation

内容・方法 : Review of vocabulary learning, discussions and student reports on their vocabulary study project. Final Evaluation explanation.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

第1回】

事前学修課題 : Read the course outline.

事後学修課題 :

【第2回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第3回】

事前学修課題 : Review the units studied

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第4回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project..

【第5回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第6回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project. Prepare for Evaluation.

【第7回】

事前学修課題 : Review & Evaluation. Vocabulary Project reporting.

事後学修課題 : Review units studied. Vocabulary homework exercises.

【第8回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第9回】

事前学修課題 : Review the units studied.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第10回】

事前学修課題 : Review the units studied

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project

【第11回】

事前学修課題 : Review the units studied

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

第12回】

事前学修課題 : Review the units studied

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第13回】

事前学修課題 : Review the units studied

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project. Prepare for Evaluation.

【第14回】

事前学修課題 : Review & Evaluation. Vocabulary Project reporting.

事後学修課題 : Review units studied. Homework exercises. Vocabulary Project.

【第15回】

事前学修課題 : Semester Review; Vocabulary Project submission.

事後学修課題 : Final Evaluation submission

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Students will earn a course grade based on the following grade breakdown:

In-class assignments (10%)

Vocabulary quizzes (20%)

Semester evaluations (20%)

HWK assignments (10%)
 Vocabulary study project (20%)
 Final examination (20%)

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	In-class assignments (10%), semester evaluations (20%) and vocabulary quizzes (20%).	1, 2, 3, 4
授業外での評価	30	HWK assignments (10%); Vocabulary study project (20%).	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final examination (20%)	1, 2, 3, 4
その他	0	none	

テキスト	Reading and Vocabulary Development Series, 4e (2020), Patricia Ackert, Linda Lee, Eric Hawkins, Harry Haynes, Jessica Beck, Stefan Kostarelis, National Geographic Learning (Cengage Learning). ISBN: 978-981-48-9653-5
------	---

参考書	none
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13103451	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Vocabulary II [対面]				
シラバス執筆(全員)	S. ハティング				
シラバス執筆(主)	S. ハティング				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

Vocabulary I & II focus on explicit vocabulary study of digital word cards as well as instruction in speed-reading to help students learn to quickly recognize vocabulary in context. The course uses the English Central Vocabulary Builder app and quizzes to help students fill in gaps in knowledge of the most frequent words in the English language using the New General Service List (NGSL). Students commit approximately 30 minutes every class to vocabulary study strategies and activities.

During instruction using the speed-reading text, students will practice reading quickly and silently for general understanding, as well as reading aloud with proper pronunciation at a good pace. Skill building activities will progressively push students to internalize core sub-skills of reading, including:

- Predicting content from titles and pictures
- Skimming for gist
- Scanning a passage to quickly identify key information such as dates, names, locations, etc.
- Monitoring comprehension: Guessing and checking word meaning, answering comprehension questions to evaluate comprehension
- Using margin notes to identify main ideas, supporting ideas, and examples
- Summarizing a passage orally and in writing
- Relating reading to personal experience with expansion questions and discussion

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Expand general vocabulary knowledge of the most common ~2000 words in English (English Central study)
2. Learn strategies for building vocabulary
3. Increase reading speed and fluency through speed reading training
4. Develop core reading skills such as skimming, scanning, taking notes, and summarizing

授業計画

【第1回】

テーマ: Course introduction: Syllabus explanation, components of course: English Central, Speed Reading, Reading skills, Grammar study.

内容・方法: Reviewing how to do the speed reading. Speed Reading #21 (#22 for HW)

【第2回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading #23. Reading Skills: Margin notes & summary.

【第3回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading #25. Reading Skills: Margin notes & summary

【第4回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading #27 in class. Reading Skills: Margin notes & summary

【第5回】

テーマ: Reading skills evaluation

内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading Evaluation: Margin notes & summary (using review passages from 1st semester)

【第6回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading #29. Reading Skills: Skimming for main idea

【第7回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading #31. Reading Skills: Scanning for answers

【第8回】

テーマ: Mid-semester grade check and reflection

内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading #33. Reading Skills: Skimming for main idea. Review grades and complete reflection on course goals.

【第9回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading #35. Reading Skills: Scanning for answers

【第10回】

テーマ: Reading skills evaluation

内容・方法: English Central Quiz: Fluency evaluation

【第11回】

テーマ : Reading skills training

内容・方法 : English Central Quiz. Speed Reading #37. Reading Skills: identifying details.

【第12回】

テーマ : Reading skills training

内容・方法 : English Central Quiz. Speed Reading #39 in class. Reading Skills: identifying details.

【第13回】

テーマ : Reading skills review

内容・方法 : English Central Quiz. Review of all Reading Skills w/ review passages

【第14回】

テーマ : Final grade check and reflection

内容・方法 : English Central Quiz. Vocabulary and reading skills training review. Review grades and complete reflection on course goals.

【第15回】

テーマ : Reading skills review evaluation

内容・方法 : Review of semester

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a 1-credit (1単位) course, which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題 : None

事後学修課題 : English Central

【第2回】 -

事前学修課題 : Speed Reading HW #22 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第2回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #24 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第4回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #26 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第5回】

事前学修課題 : Review chapters, prepare for evaluation

事後学修課題 : English Central

【第6回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #28 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第7回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #30 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第8回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #32 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第9回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #34 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第10回】

事前学修課題 : Prepare for evaluation (TOEIC practice)

事後学修課題 : English Central

【第11回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #36 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第12回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #38 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第13回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #40 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第14回】

事前学修課題 : Review reading passages and vocabulary

事後学修課題 : Review reading passages and vocabulary

【第15回】

事前学修課題 : Review reading passages and vocabulary

事後学修課題 : None

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at mid-term and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on assignments completed in and out of class, in-class vocabulary quizzes, and reading skills evaluation. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course if they comply with the attendance policy.

Grade Breakdown:

Active participation & in-class activities (20%)
 English Central quizzes (20%)
 Midterm reading skill evaluations (20%)
 Homework assignments (20%)
 Final evaluation / reflection report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	Active participation & in-class activities (20), English Central quizzes (20), midterm reading skill evaluations (20)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	20	Homework assignments (20)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final evaluation / reflection report (20)	1, 2, 3, 4
その他	0		

テキスト	Reading for Speed and Fluency Book 4, 2nd edition, Paul Nation, Marcos Benevides, James Broadbridge, Joseph Siegel, Compass Publishing, 2018. 978-1-64015-070-6
------	---

参考書	
-----	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできるが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13103452	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Vocabulary II [対面]				
シラバス執筆(全員)	A. ナデュー				
シラバス執筆(主)	A. ナデュー				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

Vocabulary I & II focus on explicit vocabulary study of digital word cards as well as instruction in speed-reading to help students learn to quickly recognize vocabulary in context. The course uses the English Central Vocabulary Builder app and quizzes to help students fill in gaps in knowledge of the most frequent words in the English language using the New General Service List (NGSL). Students commit approximately 30 minutes every class to vocabulary study strategies and activities.

During instruction using the speed-reading text, students will practice reading quickly and silently for general understanding, as well as reading aloud with proper pronunciation at a good pace. Skill building activities will progressively push students to internalize core sub-skills of reading, including:

- Predicting content from titles and pictures
- Skimming for gist
- Scanning a passage to quickly identify key information such as dates, names, locations, etc.
- Monitoring comprehension: Guessing and checking word meaning, answering comprehension questions to evaluate comprehension
- Using margin notes to identify main ideas, supporting ideas, and examples
- Summarizing a passage orally and in writing
- Relating reading to personal experience with expansion questions and discussion

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Expand general vocabulary knowledge of the most common ~2000 words in English (English Central study)
2. Learn strategies for building vocabulary
3. Increase reading speed and fluency through speed reading training
4. Develop core reading skills such as skimming, scanning, taking notes, and summarizing

授業計画

- 【第1回】
 テーマ: Course introduction: Syllabus explanation, components of course: English Central, Speed Reading, Reading skills, Grammar study.
 内容・方法: Reviewing how to do the speed reading. Speed Reading #21 (#22 for HW)
- 【第2回】
 テーマ: Reading skills training
 内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading #23. Reading Skills: Margin notes & summary.
- 【第3回】
 テーマ: Reading skills training
 内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading #25. Reading Skills: Margin notes & summary
- 【第4回】
 テーマ: Reading skills training
 内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading #27 in class. Reading Skills: Margin notes & summary
- 【第5回】
 テーマ: Reading skills evaluation
 内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading Evaluation: Margin notes & summary (using review passages from 1st semester)
- 【第6回】
 テーマ: Reading skills training
 内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading #29. Reading Skills: Skimming for main idea
- 【第7回】
 テーマ: Reading skills training
 内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading #31. Reading Skills: Scanning for answers
- 【第8回】
 テーマ: Mid-semester grade check and reflection
 内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading #33. Reading Skills: Skimming for main idea. Review grades and complete reflection on course goals.
- 【第9回】
 テーマ: Reading skills training
 内容・方法: English Central Quiz. Speed Reading #35. Reading Skills: Scanning for answers
- 【第10回】
 テーマ: Reading skills evaluation
 内容・方法: English Central Quiz: Fluency evaluation

【第11回】

テーマ : Reading skills training

内容・方法 : English Central Quiz. Speed Reading #37. Reading Skills: identifying details.

【第12回】

テーマ : Reading skills training

内容・方法 : English Central Quiz. Speed Reading #39 in class. Reading Skills: identifying details.

【第13回】

テーマ : Reading skills review

内容・方法 : English Central Quiz. Review of all Reading Skills w/ review passages

【第14回】

テーマ : Final grade check and reflection

内容・方法 : English Central Quiz. Vocabulary and reading skills training review. Review grades and complete reflection on course goals.

【第15回】

テーマ : Reading skills review evaluation

内容・方法 : Review of semester

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a 1-credit (1単位) course, which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題 : None

事後学修課題 : English Central

【第2回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #22 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第2回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #24 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第4回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #26 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第5回】

事前学修課題 : Review chapters, prepare for evaluation

事後学修課題 : English Central

【第6回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #28 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第7回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #30 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第8回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #32 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第9回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #34 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第10回】

事前学修課題 : Prepare for evaluation (TOEIC practice)

事後学修課題 : English Central

【第11回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #36 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第12回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #38 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第13回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #40 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : English Central

【第14回】

事前学修課題 : Review reading passages and vocabulary

事後学修課題 : Review reading passages and vocabulary

【第15回】

事前学修課題 : Review reading passages and vocabulary

事後学修課題 : None

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at mid-term and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on assignments completed in and out of class, in-class vocabulary quizzes, and reading skills evaluation. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course if they comply with the attendance policy.

Grade Breakdown:

Active participation & in-class activities (20%)
 English Central quizzes (20%)
 Midterm reading skill evaluations (20%)
 Homework assignments (20%)
 Final evaluation / reflection report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	Active participation & in-class activities (20), English Central quizzes (20), midterm reading skill evaluations (20)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	20	Homework assignments (20)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final evaluation / reflection report (20)	1, 2, 3, 4
その他	0		

テキスト	Reading for Speed and Fluency Book 4, 2nd edition, Paul Nation, Marcos Benevides, James Broadbridge, Joseph Siegel, Compass Publishing, 2018. 978-1-64015-070-6
------	---

参考書	
-----	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできるが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13103901	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Reading I [対面]				
シラバス執筆(全員)	G. S. ジョン=バプティースト				
シラバス執筆(主)	G. S. ジョン=バプティースト				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course students will explicitly learn and practice skills and strategies to enhance reading comprehension. This will be done by working with a variety of reading passages from the textbook as well as graded readers. Students will focus on using and applying reading strategies and skills. As vocabulary is essential to reading, there will be a strong focus on building vocabulary including regular vocabulary quizzes and assignments.

Extensive reading helps build vocabulary and understand grammar. It also builds reading speed and reading fluency. Students will read graded readers on a weekly basis and take the quizzes with the aim to achieve a specific target of words (30,000 words) read per semester. Course information, class materials and assignments will be on Google Classroom.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Build reading skills including previewing, predicting, skimming, scanning, identifying the main idea, identifying key details, and making inferences about a passage from the textbook
2. Use strategies for organizing information including in charts and summaries
3. Apply reading strategies to other texts including graded readers, websites, news articles, etc.
4. Employ a variety of vocabulary-learning strategies and develop vocabulary skills.
5. Read extensively to develop reading speed and fluency.

授業計画

【第1回】

テーマ: Class Orientation / Unit 1A

内容・方法: Registration for Google Classroom. Introduction to course goals. Introduction to textbook (Unit 1A, Reading Skill practice). Explanation of vocabulary study, homework & how to prepare for next class.

【第2回】

テーマ: Unit 1B

内容・方法: Vocabulary review. Unit 1B. Reading Skill practice. Explanation of vocabulary quizzes. Graded Reader and Moodle Quiz explanation. Graded Reader reading time.

【第3回】

テーマ: Unit 1 Review & Video

内容・方法: Vocabulary review and Vocabulary Quiz 1. Review Unit 1 reading skills. Video activities. Graded Reader reading time.

【第4回】

テーマ: Unit 2A

内容・方法: Unit 2A. Reading Skill practice. Graded Reader reading time.

【第5回】

テーマ: Unit 2B

内容・方法: Vocabulary review. Unit 2B. Reading Skill practice.

【第6回】

テーマ: Unit 2 Review & Video

内容・方法: Vocabulary review and Vocabulary Quiz 2. Review Unit 2 reading skills. Video activities.

【第7回】

テーマ: Unit 3A

内容・方法: Unit 3A. Reading Skill practice. Graded Reader reading time.

【第8回】

テーマ: Unit 3B

内容・方法: Vocabulary review. Unit 3B. Reading Skill practice.

【第9回】

テーマ: Midterm in-class evaluation

内容・方法: Review of Units 1-3, midterm in-class evaluation. Review of Graded Reader reading goals & progress check. Grade review.

【第10回】

テーマ: Unit 4A

内容・方法: Unit 4A. Reading Skill practice. Graded Reader reading time.

【第11回】

テーマ: Unit 4B

内容・方法: Vocabulary review. Unit 4B. Reading Skill practice.

【第12回】

テーマ: Unit 4 Review & Video

内容・方法： Vocabulary review and Vocabulary Quiz 3. Review Unit 4 reading skills. Video activities.

【第13回】

テーマ： Unit 5A

内容・方法： Unit 5A. Reading Skill practice. Graded Reader reading time.

【第14回】

テーマ： Unit 5B

内容・方法： Vocabulary Review; Unit 5B. Reading Skill practice.

【第15回】

テーマ： Course Review, Final in-class evaluation

内容・方法： Review of Units 4-5, final in-class evaluation. Review of Graded Reader reading goals. Grade review. Explanation of final evaluation report.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。

A total of 45 hours of study is required per 1-credit course, including class (calculated as 2 hours per session) and pre- and post-work study. Any text activities not completed during the class time will be assigned.

【第1回】

事前学修課題： Read the course outline.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第2回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第3回】

事前学修課題： Review the units studied

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第4回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第5回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第6回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第7回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第8回】

事前学修課題： Review & Evaluation.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader. Prepare for Evaluation.

【第9回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第10回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第11回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第12回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第13回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第14回】

事前学修課題： Review & Evaluation.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader. Prepare for Evaluation.

【第15回】

事前学修課題： Semester Review.

事後学修課題： Final report submission.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.
4. Extensive reading word count will be reported on a weekly basis.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。

●必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed as homework and graded reader reading assignments, and midterm and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse will be given a “K” (failing mark).

Grade breakdown:

1. Weekly assignments (30%)
2. Vocabulary quizzes (20%)
3. Graded Reader reading reflection assignments & Moodle Quizzes (10%)
4. In-class reading evaluations (20%)
5. Final evaluation report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	40	Vocabulary quizzes (20%); In-class evaluations (20%)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	40	Weekly assignments (30%); Graded Reader reading reflection assignments & Moodle Quizzes (10%)	1, 2, 3, 4, 5
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final evaluation report (20%)	1, 2, 3, 4
その他	0	none	

テキスト	Reading Explorer Foundations (3rd Edition) Student Book. David Bohlke; Becky Tarver Chase (2020). National Geographic Learning (Cengage Learning). ISBN: 978-0-357-11628-9
------	--

参考書	Provided by the instructor as needed.
-----	---------------------------------------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD – 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13103902	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Reading I [対面]				
シラバス執筆(全員)	J. エチャー				
シラバス執筆(主)	J. エチャー				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course students will explicitly learn and practice skills and strategies to enhance reading comprehension. This will be done by working with a variety of reading passages from the textbook as well as graded readers. Students will focus on using and applying reading strategies and skills. As vocabulary is essential to reading, there will be a strong focus on building vocabulary including regular vocabulary quizzes and assignments.

Extensive reading helps build vocabulary and understand grammar. It also builds reading speed and reading fluency. Students will read graded readers on a weekly basis and take the quizzes with the aim to achieve a specific target of words (30,000 words) read per semester. Course information, class materials and assignments will be on Google Classroom.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Build reading skills including previewing, predicting, skimming, scanning, identifying the main idea, identifying key details, and making inferences about a passage from the textbook
2. Use strategies for organizing information including in charts and summaries
3. Apply reading strategies to other texts including graded readers, websites, news articles, etc.
4. Employ a variety of vocabulary-learning strategies and develop vocabulary skills.
5. Read extensively to develop reading speed and fluency.

授業計画

【第1回】

テーマ: Class Orientation / Unit 1A

内容・方法: Registration for Google Classroom. Introduction to course goals. Introduction to textbook (Unit 1A, Reading Skill practice). Explanation of vocabulary study, homework & how to prepare for next class.

【第2回】

テーマ: Unit 1B

内容・方法: Vocabulary review. Unit 1B. Reading Skill practice. Explanation of vocabulary quizzes. Graded Reader and Moodle Quiz explanation. Graded Reader reading time.

【第3回】

テーマ: Unit 1 Review & Video

内容・方法: Vocabulary review and Vocabulary Quiz 1. Review Unit 1 reading skills. Video activities. Graded Reader reading time.

【第4回】

テーマ: Unit 2A

内容・方法: Unit 2A. Reading Skill practice. Graded Reader reading time.

【第5回】

テーマ: Unit 2B

内容・方法: Vocabulary review. Unit 2B. Reading Skill practice.

【第6回】

テーマ: Unit 2 Review & Video

内容・方法: Vocabulary review and Vocabulary Quiz 2. Review Unit 2 reading skills. Video activities.

【第7回】

テーマ: Unit 3A

内容・方法: Unit 3A. Reading Skill practice. Graded Reader reading time.

【第8回】

テーマ: Unit 3B

内容・方法: Vocabulary review. Unit 3B. Reading Skill practice.

【第9回】

テーマ: Midterm in-class evaluation

内容・方法: Review of Units 1-3, midterm in-class evaluation. Review of Graded Reader reading goals & progress check. Grade review.

【第10回】

テーマ: Unit 4A

内容・方法: Unit 4A. Reading Skill practice. Graded Reader reading time.

【第11回】

テーマ: Unit 4B

内容・方法: Vocabulary review. Unit 4B. Reading Skill practice.

【第12回】

テーマ: Unit 4 Review & Video

内容・方法： Vocabulary review and Vocabulary Quiz 3. Review Unit 4 reading skills. Video activities.

【第13回】

テーマ： Unit 5A

内容・方法： Unit 5A. Reading Skill practice. Graded Reader reading time.

【第14回】

テーマ： Unit 5B

内容・方法： Vocabulary Review: Unit 5B. Reading Skill practice.

【第15回】

テーマ： Course Review, Final in-class evaluation

内容・方法： Review of Units 4-5, final in-class evaluation. Review of Graded Reader reading goals. Grade review. Explanation of final evaluation report.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。

A total of 45 hours of study is required per 1-credit course, including class (calculated as 2 hours per session) and pre- and post-work study. Any text activities not completed during the class time will be assigned.

【第1回】

事前学修課題： Read the course outline.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第2回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第3回】

事前学修課題： Review the units studied

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第4回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第5回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第6回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第7回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第8回】

事前学修課題： Review & Evaluation.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader. Prepare for Evaluation.

【第9回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第10回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第11回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第12回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第13回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第14回】

事前学修課題： Review & Evaluation.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Graded Reader. Prepare for Evaluation.

【第15回】

事前学修課題： Semester Review.

事後学修課題： Final report submission.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.
4. Extensive reading word count will be reported on a weekly basis.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。

●必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed as homework and graded reader reading assignments, and midterm and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse will be given a “K” (failing mark).

Grade breakdown:

1. Weekly assignments (30%)
2. Vocabulary quizzes (20%)
3. Graded Reader reading reflection assignments & Moodle Quizzes (10%)
4. In-class reading evaluations (20%)
5. Final evaluation report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	40	Vocabulary quizzes (20%); In-class evaluations (20%)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	40	Weekly assignments (30%); Graded Reader reading reflection assignments & Moodle Quizzes (10%)	1, 2, 3, 4, 5
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final evaluation report (20%)	1, 2, 3, 4
その他	0	none	

テキスト	Reading Explorer Foundations (3rd Edition) Student Book. David Bohlke; Becky Tarver Chase (2020). National Geographic Learning (Cengage Learning). ISBN: 978-0-357-11628-9
------	--

参考書	Provided by the instructor as needed.
-----	---------------------------------------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD – 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13103951	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Reading I [対面]				
シラバス執筆(全員)	N. J. ドーバー				
シラバス執筆(主)	N. J. ドーバー				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course students will explicitly learn and practice skills and strategies to enhance reading comprehension. This will be done by working with a variety of reading passages from the textbook as well as passages from websites, newspapers, etc. Learners will focus on using and applying reading strategies and skills. As vocabulary is essential to building reading comprehension, there will be a strong focus on building vocabulary through regular quizzes and assignments. Course information, class materials and assignments will be on Google Classroom.

Reading skill building activities will help students learn about and practice a variety of sub-skills of reading, including:

- Predicting content from titles and pictures
- Skimming for gist, Scanning for details
- Guessing the meaning of words from context
- Understanding relations within and between sentences
- Utilizing surface-level features such as layout, color, font style, etc.
- Identifying writer's assumptions and making inferences
- Identifying main ideas, supporting ideas, and examples
- Selecting relevant information to effectively summarize and discuss content

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Build reading skills including previewing, predicting, skimming, scanning, identifying the main idea, identifying key details, and making inferences about a passage from the textbook
2. Use strategies for organizing information including in charts and summaries
3. Apply reading strategies to other texts including websites, news articles, etc.
4. Employ a variety of vocabulary-learning strategies and develop vocabulary skills.

授業計画

【第1回】

テーマ: Class Orientation / Unit 1A

内容・方法: Registration for Google Classroom. Introduction to course goals. Introduction to textbook (Unit 1A, Reading Skill practice). Explanation of vocabulary study, homework & how to prepare for next class.

【第2回】

テーマ: Unit 1B

内容・方法: Vocabulary review. Unit 1B. Reading Skill practice. Explanation of vocabulary quizzes. Reading skill application activity.

【第3回】

テーマ: Unit 1 Review & Video

内容・方法: Vocabulary review and Vocabulary Quiz 1. Review Unit 1 reading skills. Video activities. Reading skill application activity.

【第4回】

テーマ: Unit 2A

内容・方法: Unit 2A. Reading Skill practice. Reading skill application activity.

【第5回】

テーマ: Unit 2B

内容・方法: Vocabulary review. Unit 2B. Reading Skill practice.

【第6回】

テーマ: Unit 2 Review & Video

内容・方法: Vocabulary review and Vocabulary Quiz 2. Review Unit 2 reading skills. Video activities.

【第7回】

テーマ: Unit 3A

内容・方法: Unit 3A. Reading Skill practice. Reading skill application activity.

【第8回】

テーマ: Unit 3B

内容・方法: Vocabulary review. Unit 3B. Reading Skill practice.

【第9回】

テーマ: Midterm in-class evaluation

内容・方法: Review of Units 1-3, midterm in-class evaluation. Progress check. Grade review.

【第10回】

テーマ: Unit 4A

内容・方法: Unit 4A. Reading Skill practice. Reading skill application activity.

【第11回】

テーマ： Unit 4B

内容・方法： Vocabulary review. Unit 4B. Reading Skill practice.

【第12回】

テーマ： Unit 4 Review & Video

内容・方法： Vocabulary review and Vocabulary Quiz 3. Review Unit 4 reading skills. Video activities.

【第13回】

テーマ： Unit 5A

内容・方法： Unit 5A. Reading Skill practice. Reading skill application activity.

【第14回】

テーマ： Unit 5B

内容・方法： Vocabulary Review; Unit 5B. Reading Skill practice.

【第15回】

テーマ： Course Review, Final in-class evaluation

内容・方法： Review of Units 4-5, final in-class evaluation. Grade review. Explanation of final evaluation report.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。

A total of 45 hours of study is required per 1-credit course, including class (calculated as 2 hours per session) and pre- and post-work study. Any text activities not completed during the class time will be assigned.

【第1回】

事前学修課題： Read the course outline.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第2回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第3回】

事前学修課題： Review the units studied

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第4回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第5回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第6回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第7回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第8回】

事前学修課題： Review & Evaluation.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Prepare for Evaluation.

【第9回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第10回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第11回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第12回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第13回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第14回】

事前学修課題： Review & Evaluation.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Prepare for Evaluation.

【第15回】

事前学修課題： Semester Review.

事後学修課題： Final report submission.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed as homework and graded reader reading assignments, and midterm and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse will be given a “K” (failing mark).

Grade breakdown:

1. Active participation (10%)
2. Textbook preparation and reading project assignments (30%)
3. Vocabulary quizzes (20%)
4. In-class reading evaluations (20%)
5. Final evaluation report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Active Participation (10%) Vocabulary quizzes (20%); In-class evaluations (20%)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	30	Textbook preparation and reading project assignments (30%)	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final evaluation report (20%)	1, 2, 3, 4
その他	0	none	

テキスト	Reading Explorer 1 (3rd Edition) Student Book. Douglas, Nancy & Bohlke, David, (2020). National Geographic Learning (Gengage Learning) ISBN: 978-0357116258
------	---

参考書	Provided by the instructor as needed.
-----	---------------------------------------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。 2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。 3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。 4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。 5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできるが、欠席扱いとなります。 6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD – 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。
---------------	---

授業コード	13103952	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Reading I [対面]				
シラバス執筆(全員)	P.L. ストリックランド				
シラバス執筆(主)	P.L. ストリックランド				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course students will explicitly learn and practice skills and strategies to enhance reading comprehension. This will be done by working with a variety of reading passages from the textbook as well as passages from websites, newspapers, etc. Learners will focus on using and applying reading strategies and skills. As vocabulary is essential to building reading comprehension, there will be a strong focus on building vocabulary through regular quizzes and assignments. Course information, class materials and assignments will be on Google Classroom.

Reading skill building activities will help students learn about and practice a variety of sub-skills of reading, including:

- Predicting content from titles and pictures
- Skimming for gist, Scanning for details
- Guessing the meaning of words from context
- Understanding relations within and between sentences
- Utilizing surface-level features such as layout, color, font style, etc.
- Identifying writer's assumptions and making inferences
- Identifying main ideas, supporting ideas, and examples
- Selecting relevant information to effectively summarize and discuss content

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Build reading skills including previewing, predicting, skimming, scanning, identifying the main idea, identifying key details, and making inferences about a passage from the textbook
2. Use strategies for organizing information including in charts and summaries
3. Apply reading strategies to other texts including websites, news articles, etc.
4. Employ a variety of vocabulary-learning strategies and develop vocabulary skills.

授業計画

【第1回】

テーマ: Class Orientation / Unit 1A

内容・方法: Registration for Google Classroom. Introduction to course goals. Introduction to textbook (Unit 1A, Reading Skill practice). Explanation of vocabulary study, homework & how to prepare for next class.

【第2回】

テーマ: Unit 1B

内容・方法: Vocabulary review. Unit 1B. Reading Skill practice. Explanation of vocabulary quizzes. Reading skill application activity.

【第3回】

テーマ: Unit 1 Review & Video

内容・方法: Vocabulary review and Vocabulary Quiz 1. Review Unit 1 reading skills. Video activities. Reading skill application activity.

【第4回】

テーマ: Unit 2A

内容・方法: Unit 2A. Reading Skill practice. Reading skill application activity.

【第5回】

テーマ: Unit 2B

内容・方法: Vocabulary review. Unit 2B. Reading Skill practice.

【第6回】

テーマ: Unit 2 Review & Video

内容・方法: Vocabulary review and Vocabulary Quiz 2. Review Unit 2 reading skills. Video activities.

【第7回】

テーマ: Unit 3A

内容・方法: Unit 3A. Reading Skill practice. Reading skill application activity.

【第8回】

テーマ: Unit 3B

内容・方法: Vocabulary review. Unit 3B. Reading Skill practice.

【第9回】

テーマ: Midterm in-class evaluation

内容・方法: Review of Units 1-3, midterm in-class evaluation. Progress check. Grade review.

【第10回】

テーマ: Unit 4A

内容・方法: Unit 4A. Reading Skill practice. Reading skill application activity.

【第11回】

テーマ： Unit 4B

内容・方法： Vocabulary review. Unit 4B. Reading Skill practice.

【第12回】

テーマ： Unit 4 Review & Video

内容・方法： Vocabulary review and Vocabulary Quiz 3. Review Unit 4 reading skills. Video activities.

【第13回】

テーマ： Unit 5A

内容・方法： Unit 5A. Reading Skill practice. Reading skill application activity.

【第14回】

テーマ： Unit 5B

内容・方法： Vocabulary Review; Unit 5B. Reading Skill practice.

【第15回】

テーマ： Course Review, Final in-class evaluation

内容・方法： Review of Units 4-5, final in-class evaluation. Grade review. Explanation of final evaluation report.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。

A total of 45 hours of study is required per 1-credit course, including class (calculated as 2 hours per session) and pre- and post-work study. Any text activities not completed during the class time will be assigned.

【第1回】

事前学修課題： Read the course outline.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第2回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第3回】

事前学修課題： Review the units studied

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第4回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第5回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第6回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第7回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第8回】

事前学修課題： Review & Evaluation.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Prepare for Evaluation.

【第9回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第10回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第11回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第12回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第13回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第14回】

事前学修課題： Review & Evaluation.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Prepare for Evaluation.

【第15回】

事前学修課題： Semester Review.

事後学修課題： Final report submission.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed as homework and graded reader reading assignments, and midterm and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse will be given a “K” (failing mark).

Grade breakdown:

1. Active participation (10%)
2. Textbook preparation and reading project assignments (30%)
3. Vocabulary quizzes (20%)
4. In-class reading evaluations (20%)
5. Final evaluation report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Active Participation (10%) Vocabulary quizzes (20%); In-class evaluations (20%)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	30	Textbook preparation and reading project assignments (30%)	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final evaluation report (20%)	1, 2, 3, 4
その他	0	none	

テキスト	Reading Explorer 1 (3rd Edition) Student Book. Douglas, Nancy & Bohlke, David, (2020). National Geographic Learning (Gengage Learning) ISBN: 978-0357116258
------	---

参考書	Provided by the instructor as needed.
-----	---------------------------------------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。 2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。 3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。 4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。 5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできるが、欠席扱いとなります。 6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD – 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。
---------------	---

授業コード	13104001	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Reading II [対面]				
シラバス執筆(全員)	G. S. ジョン=バプティースト				
シラバス執筆(主)	G. S. ジョン=バプティースト				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course students will explicitly learn and practice skills and strategies to enhance reading comprehension. This will be done by working with a variety of reading passages from the textbook as well as graded readers. Students will focus on using and applying reading strategies and skills. As vocabulary is essential to reading, there will be a strong focus on building vocabulary including regular vocabulary quizzes and assignments.

Extensive reading helps build vocabulary and understand grammar. It also builds reading speed and reading fluency. Students will read graded readers on a weekly basis and take the quizzes with the aim to achieve a specific target of words (30,000 words) read per semester. Course information, class materials and assignments will be on Google Classroom.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Build reading skills including previewing, predicting, skimming, scanning, identifying the main idea, identifying key details, and making inferences about a passage from the textbook
2. Use strategies for organizing information including in charts and summaries
3. Apply reading strategies to other texts including graded readers, websites, news articles, etc.
4. Employ a variety of vocabulary-learning strategies and develop vocabulary skills.
5. Read extensively to develop reading speed and fluency.

授業計画

【第1回】

テーマ: Class Orientation / Unit 7A

内容・方法: Registration for Google Classroom. Introduction to course goals. Introduction to textbook (Unit 1A, Reading Skill practice). Explanation of vocabulary study, homework & how to prepare for next class.

【第2回】

テーマ: Unit 7B

内容・方法: Vocabulary review. Unit 7B. Reading Skill practice. Explanation of vocabulary quizzes. Graded Reader and Moodle Quiz explanation. Graded Reader reading time.

【第3回】

テーマ: Unit 7 Review & Video

内容・方法: Vocabulary review and Vocabulary Quiz 1. Review Unit 7 reading skills. Video activities. Graded Reader reading time.

【第4回】

テーマ: Unit 8A

内容・方法: Unit 2A. Reading Skill practice. Graded Reader reading time.

【第5回】

テーマ: Unit 8B

内容・方法: Vocabulary review. Unit 8B. Reading Skill practice.

【第6回】

テーマ: Unit 8 Review & Video

内容・方法: Vocabulary review and Vocabulary Quiz 2. Review Unit 8 reading skills. Video activities.

【第7回】

テーマ: Unit 9A

内容・方法: Unit 9A. Reading Skill practice. Graded Reader reading time.

【第8回】

テーマ: Unit 9B

内容・方法: Vocabulary review. Unit 9B. Reading Skill practice.

【第9回】

テーマ: Midterm in-class evaluation

内容・方法: Review of Units 7-9, midterm in-class evaluation. Review of Graded Reader reading goals & progress check. Grade review.

【第10回】

テーマ: Unit 10A

内容・方法: Unit 10A. Reading Skill practice. Graded Reader reading time.

【第11回】

テーマ: Unit 10B

内容・方法: Vocabulary review. Unit 10B. Reading Skill practice.

【第12回】

テーマ: Unit 10 Review & Video

内容・方法：Vocabulary review and Vocabulary Quiz 3. Review Unit 10 reading skills. Video activities.

【第13回】

テーマ：Unit 11A

内容・方法：Unit 11A. Reading Skill practice. Graded Reader reading time.

【第14回】

テーマ：Unit 11B

内容・方法：Vocabulary Review; Unit 11B. Reading Skill practice.

【第15回】

テーマ：Course Review, Final in-class evaluation

内容・方法：Review of Units 10-11, final in-class evaluation. Review of Graded Reader reading goals. Grade review. Explanation of final evaluation report.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。

A total of 45 hours of study is required per 1-credit course, including class (calculated as 2 hours per session) and pre- and post-work study. Any text activities not completed during the class time will be assigned.

【第1回】

事前学修課題：Read the course outline.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises.

【第2回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第3回】

事前学修課題：Review the units studied

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第4回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第5回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第6回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第7回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第8回】

事前学修課題：Review & Evaluation.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader. Prepare for Evaluation.

【第9回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第10回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第11回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第12回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第13回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第14回】

事前学修課題：Review & Evaluation.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader. Prepare for Evaluation.

【第15回】

事前学修課題：Semester Review.

事後学修課題：Final report submission.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.
4. Extensive reading word count will be reported on a weekly basis.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。

●必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed as homework and graded reader reading assignments, and midterm and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse will be given a “K” (failing mark).

Grade breakdown:

1. Weekly assignments (30%)
2. Vocabulary quizzes (20%)
3. Graded Reader reading reflection assignments & Moodle Quizzes (10%)
4. In-class reading evaluations (20%)
5. Final evaluation report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	40	Vocabulary quizzes (20%); In-class evaluations (20%)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	40	Weekly assignments (30%); Graded Reader reading reflection assignments & Moodle Quizzes (10%)	1, 2, 3, 4, 5
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final evaluation report (20%)	1, 2, 3, 4
その他	0	none	

テキスト	Reading Explorer Foundations (3rd Edition) Student Book. David Bohlke; Becky Tarver Chase (2020). National Geographic Learning (Cengage Learning). ISBN: 978-0-357-11628-9
------	--

参考書	Provided by the instructor as needed.
-----	---------------------------------------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD – 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13104002	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Reading II [対面]				
シラバス執筆(全員)	J. エチャー				
シラバス執筆(主)	J. エチャー				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course students will explicitly learn and practice skills and strategies to enhance reading comprehension. This will be done by working with a variety of reading passages from the textbook as well as graded readers. Students will focus on using and applying reading strategies and skills. As vocabulary is essential to reading, there will be a strong focus on building vocabulary including regular vocabulary quizzes and assignments.

Extensive reading helps build vocabulary and understand grammar. It also builds reading speed and reading fluency. Students will read graded readers on a weekly basis and take the quizzes with the aim to achieve a specific target of words (30,000 words) read per semester. Course information, class materials and assignments will be on Google Classroom.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Build reading skills including previewing, predicting, skimming, scanning, identifying the main idea, identifying key details, and making inferences about a passage from the textbook
2. Use strategies for organizing information including in charts and summaries
3. Apply reading strategies to other texts including graded readers, websites, news articles, etc.
4. Employ a variety of vocabulary-learning strategies and develop vocabulary skills.
5. Read extensively to develop reading speed and fluency.

授業計画

【第1回】

テーマ： Class Orientation / Unit 7A

内容・方法： Registration for Google Classroom. Introduction to course goals. Introduction to textbook (Unit 1A, Reading Skill practice). Explanation of vocabulary study, homework & how to prepare for next class.

【第2回】

テーマ： Unit 7B

内容・方法： Vocabulary review. Unit 7B. Reading Skill practice. Explanation of vocabulary quizzes. Graded Reader and Moodle Quiz explanation. Graded Reader reading time.

【第3回】

テーマ： Unit 7 Review & Video

内容・方法： Vocabulary review and Vocabulary Quiz 1. Review Unit 7 reading skills. Video activities. Graded Reader reading time.

【第4回】

テーマ： Unit 8A

内容・方法： Unit 2A. Reading Skill practice. Graded Reader reading time.

【第5回】

テーマ： Unit 8B

内容・方法： Vocabulary review. Unit 8B. Reading Skill practice.

【第6回】

テーマ： Unit 8 Review & Video

内容・方法： Vocabulary review and Vocabulary Quiz 2. Review Unit 8 reading skills. Video activities.

【第7回】

テーマ： Unit 9A

内容・方法： Unit 9A. Reading Skill practice. Graded Reader reading time.

【第8回】

テーマ： Unit 9B

内容・方法： Vocabulary review. Unit 9B. Reading Skill practice.

【第9回】

テーマ： Midterm in-class evaluation

内容・方法： Review of Units 7-9, midterm in-class evaluation. Review of Graded Reader reading goals & progress check. Grade review.

【第10回】

テーマ： Unit 10A

内容・方法： Unit 10A. Reading Skill practice. Graded Reader reading time.

【第11回】

テーマ： Unit 10B

内容・方法： Vocabulary review. Unit 10B. Reading Skill practice.

【第12回】

テーマ： Unit 10 Review & Video

内容・方法：Vocabulary review and Vocabulary Quiz 3. Review Unit 10 reading skills. Video activities.

【第13回】

テーマ：Unit 11A

内容・方法：Unit 11A. Reading Skill practice. Graded Reader reading time.

【第14回】

テーマ：Unit 11B

内容・方法：Vocabulary Review; Unit 11B. Reading Skill practice.

【第15回】

テーマ：Course Review, Final in-class evaluation

内容・方法：Review of Units 10-11, final in-class evaluation. Review of Graded Reader reading goals. Grade review. Explanation of final evaluation report.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。

A total of 45 hours of study is required per 1-credit course, including class (calculated as 2 hours per session) and pre- and post-work study. Any text activities not completed during the class time will be assigned.

【第1回】

事前学修課題：Read the course outline.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises.

【第2回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第3回】

事前学修課題：Review the units studied

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第4回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第5回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第6回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第7回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第8回】

事前学修課題：Review & Evaluation.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader. Prepare for Evaluation.

【第9回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第10回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第11回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第12回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第13回】

事前学修課題：Review the units studied.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader.

【第14回】

事前学修課題：Review & Evaluation.

事後学修課題：Review units studied. Homework exercises. Graded Reader. Prepare for Evaluation.

【第15回】

事前学修課題：Semester Review.

事後学修課題：Final report submission.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.
4. Extensive reading word count will be reported on a weekly basis.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。

●必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed as homework and graded reader reading assignments, and midterm and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse will be given a “K” (failing mark).

Grade breakdown:

1. Weekly assignments (30%)
2. Vocabulary quizzes (20%)
3. Graded Reader reading reflection assignments & Moodle Quizzes (10%)
4. In-class reading evaluations (20%)
5. Final evaluation report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	40	Vocabulary quizzes (20%); In-class evaluations (20%)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	40	Weekly assignments (30%); Graded Reader reading reflection assignments & Moodle Quizzes (10%)	1, 2, 3, 4, 5
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final evaluation report (20%)	1, 2, 3, 4
その他	0	none	

テキスト	Reading Explorer Foundations (3rd Edition) Student Book. David Bohlke; Becky Tarver Chase (2020). National Geographic Learning (Cengage Learning). ISBN: 978-0-357-11628-9
------	--

参考書	Provided by the instructor as needed.
-----	---------------------------------------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD – 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13104051	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Reading II [対面]				
シラバス執筆(全員)	N. J. ドーバー				
シラバス執筆(主)	N. J. ドーバー				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course students will explicitly learn and practice skills and strategies to enhance reading comprehension. This will be done by working with a variety of reading passages from the textbook as well as passages from websites, newspapers, and picture books. Learners will focus on using and applying reading strategies and skills. As vocabulary is essential to building reading comprehension, there will be a strong focus on building vocabulary through regular quizzes and assignments. Course information, class materials and assignments will be on Google Classroom.

Reading skill building activities will help students learn about and practice a variety of sub-skills of reading, including:

- Predicting content from titles and pictures
- Skimming for gist, Scanning for details
- Guessing the meaning of words from context
- Understanding relations within and between sentences
- Utilizing surface-level features such as layout, color, font style, etc.
- Identifying writer's assumptions and making inferences
- Identifying main ideas, supporting ideas, and examples
- Selecting relevant information to effectively summarize and discuss content

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Build reading skills including previewing, predicting, skimming, scanning, identifying the main idea, identifying key details, and making inferences about a passage from the textbook
2. Use strategies for organizing information including in charts and summaries
3. Apply reading strategies to other texts including websites and news articles
4. Employ a variety of vocabulary-learning strategies and develop vocabulary skills.

授業計画

【第1回】

テーマ: Class Orientation / Unit 7A

内容・方法: Registration for Google Classroom. Introduction to course goals. Introduction to textbook (Unit 7A, Reading Skill practice). Explanation of vocabulary study, homework & how to prepare for next class.

【第2回】

テーマ: Unit 7B

内容・方法: Vocabulary review. Unit 7B. Reading Skill practice. Explanation of vocabulary quizzes. Reading skill application activity.

【第3回】

テーマ: Unit 7 Review & Video

内容・方法: Vocabulary review and Vocabulary Quiz 1. Review Unit 7 reading skills. Video activities. Reading skill application activity.

【第4回】

テーマ: Unit 8A

内容・方法: Unit 2A. Reading Skill practice. Reading skill application activity.

【第5回】

テーマ: Unit 8B

内容・方法: Vocabulary review. Unit 8B. Reading Skill practice.

【第6回】

テーマ: Unit 8 Review & Video

内容・方法: Vocabulary review and Vocabulary Quiz 2. Review Unit 8 reading skills. Video activities.

【第7回】

テーマ: Unit 9A

内容・方法: Unit 9A. Reading Skill practice. Reading skill application activity.

【第8回】

テーマ: Unit 9B

内容・方法: Vocabulary review. Unit 9B. Reading Skill practice.

【第9回】

テーマ: Midterm in-class evaluation

内容・方法: Review of Units 7-9, midterm in-class evaluation. Grade review.

【第10回】

テーマ: Unit 10A

内容・方法: Unit 10A. Reading Skill practice. Reading skill application activity.

【第11回】

テーマ： Unit 10B

内容・方法： Vocabulary review. Unit 10B. Reading Skill practice.

【第12回】

テーマ： Unit 10 Review & Video

内容・方法： Vocabulary review and Vocabulary Quiz 3. Review Unit 10 reading skills. Video activities.

【第13回】

テーマ： Unit 11A

内容・方法： Unit 11A. Reading Skill practice. Reading skill application activity.

【第14回】

テーマ： Unit 11B

内容・方法： Vocabulary Review; Unit 11B. Reading Skill practice.

【第15回】

テーマ： Course Review, Final in-class evaluation

内容・方法： Review of Units 10-11, final in-class evaluation. Grade review. Explanation of final evaluation report.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

事前学修課題： Read the course outline.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第2回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第3回】

事前学修課題： Review the units studied

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第4回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第5回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第6回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第7回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第8回】

事前学修課題： Review & Evaluation.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Prepare for Evaluation.

【第9回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第10回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第11回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第12回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第13回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第14回】

事前学修課題： Review & Evaluation.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Prepare for Evaluation.

【第15回】

事前学修課題： Semester Review.

事後学修課題： Final report submission.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。

●必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Grade breakdown:

1. Active participation (10%)
2. Textbook preparation and reading project assignments (30%)
3. Vocabulary quizzes (20%)
4. In-class reading evaluations (20%)
5. Final evaluation report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Active Participation (10%) Vocabulary quizzes (20%); In-class evaluations (20%)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	30	Textbook preparation and reading project assignments (30%)	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final evaluation report (20%)	1, 2, 3, 4
その他	0	none	

テキスト	Reading Explorer 1 (3rd Edition) Student Book. Douglas, Nancy & Bohlke, David, (2020). National Geographic Learning (Cengage Learning) ISBN: 9780357116258
------	--

参考書	Provided by the instructor as needed.
-----	---------------------------------------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13104052	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Reading II [対面]				
シラバス執筆(全員)	P.L. ストリックランド				
シラバス執筆(主)	P.L. ストリックランド				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course students will explicitly learn and practice skills and strategies to enhance reading comprehension. This will be done by working with a variety of reading passages from the textbook as well as passages from websites, newspapers, and picture books. Learners will focus on using and applying reading strategies and skills. As vocabulary is essential to building reading comprehension, there will be a strong focus on building vocabulary through regular quizzes and assignments. Course information, class materials and assignments will be on Google Classroom.

Reading skill building activities will help students learn about and practice a variety of sub-skills of reading, including:

- Predicting content from titles and pictures
- Skimming for gist, Scanning for details
- Guessing the meaning of words from context
- Understanding relations within and between sentences
- Utilizing surface-level features such as layout, color, font style, etc.
- Identifying writer's assumptions and making inferences
- Identifying main ideas, supporting ideas, and examples
- Selecting relevant information to effectively summarize and discuss content

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Build reading skills including previewing, predicting, skimming, scanning, identifying the main idea, identifying key details, and making inferences about a passage from the textbook
2. Use strategies for organizing information including in charts and summaries
3. Apply reading strategies to other texts including websites and news articles
4. Employ a variety of vocabulary-learning strategies and develop vocabulary skills.

授業計画

【第1回】

テーマ: Class Orientation / Unit 7A

内容・方法: Registration for Google Classroom. Introduction to course goals. Introduction to textbook (Unit 7A, Reading Skill practice). Explanation of vocabulary study, homework & how to prepare for next class.

【第2回】

テーマ: Unit 7B

内容・方法: Vocabulary review. Unit 7B. Reading Skill practice. Explanation of vocabulary quizzes. Reading skill application activity.

【第3回】

テーマ: Unit 7 Review & Video

内容・方法: Vocabulary review and Vocabulary Quiz 1. Review Unit 7 reading skills. Video activities. Reading skill application activity.

【第4回】

テーマ: Unit 8A

内容・方法: Unit 2A. Reading Skill practice. Reading skill application activity.

【第5回】

テーマ: Unit 8B

内容・方法: Vocabulary review. Unit 8B. Reading Skill practice.

【第6回】

テーマ: Unit 8 Review & Video

内容・方法: Vocabulary review and Vocabulary Quiz 2. Review Unit 8 reading skills. Video activities.

【第7回】

テーマ: Unit 9A

内容・方法: Unit 9A. Reading Skill practice. Reading skill application activity.

【第8回】

テーマ: Unit 9B

内容・方法: Vocabulary review. Unit 9B. Reading Skill practice.

【第9回】

テーマ: Midterm in-class evaluation

内容・方法: Review of Units 7-9, midterm in-class evaluation. Grade review.

【第10回】

テーマ: Unit 10A

内容・方法: Unit 10A. Reading Skill practice. Reading skill application activity.

【第11回】

テーマ： Unit 10B

内容・方法： Vocabulary review. Unit 10B. Reading Skill practice.

【第12回】

テーマ： Unit 10 Review & Video

内容・方法： Vocabulary review and Vocabulary Quiz 3. Review Unit 10 reading skills. Video activities.

【第13回】

テーマ： Unit 11A

内容・方法： Unit 11A. Reading Skill practice. Reading skill application activity.

【第14回】

テーマ： Unit 11B

内容・方法： Vocabulary Review; Unit 11B. Reading Skill practice.

【第15回】

テーマ： Course Review, Final in-class evaluation

内容・方法： Review of Units 10-11, final in-class evaluation. Grade review. Explanation of final evaluation report.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

事前学修課題： Read the course outline.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第2回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第3回】

事前学修課題： Review the units studied

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第4回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第5回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第6回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第7回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第8回】

事前学修課題： Review & Evaluation.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Prepare for Evaluation.

【第9回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第10回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第11回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第12回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第13回】

事前学修課題： Review the units studied.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises.

【第14回】

事前学修課題： Review & Evaluation.

事後学修課題： Review units studied. Homework exercises. Prepare for Evaluation.

【第15回】

事前学修課題： Semester Review.

事後学修課題： Final report submission.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。

●必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Grade breakdown:

1. Active participation (10%)
2. Textbook preparation and reading project assignments (30%)
3. Vocabulary quizzes (20%)
4. In-class reading evaluations (20%)
5. Final evaluation report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Active Participation (10%) Vocabulary quizzes (20%); In-class evaluations (20%)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	30	Textbook preparation and reading project assignments (30%)	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final evaluation report (20%)	1, 2, 3, 4
その他	0	none	

テキスト	Reading Explorer 1 (3rd Edition) Student Book. Douglas, Nancy & Bohlke, David, (2020). National Geographic Learning (Cengage Learning) ISBN: 9780357116258
------	--

参考書	Provided by the instructor as needed.
-----	---------------------------------------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13104301	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Writing I [対面]				
シラバス執筆(全員)	P.L. ストリックランド				
シラバス執筆(主)	P.L. ストリックランド				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course will help you improve your writing skills and your ability to produce accurate written English. It will also help you to write more freely and clearly. You will master standard organizational patterns for sentences and paragraphs; plan, organize, draft, revise, and edit paragraphs; use grammar and vocabulary correctly; gain accuracy in your use of punctuation. A weekly Writing Journal will be kept. Students will write a paragraph per week on assigned topics to be submitted to Google Classroom. Google Classroom will be used for assignments and information about this course.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Write paragraphs (original, well-formed paragraphs of ~10 sentences including topic sentences, supporting details, and concluding sentences)
2. Edit paragraphs (peer editing as well as editing their own work based on teacher comments)
3. Use correct grammar in writing a variety of paragraph types
4. Build vocabulary (~150 CEFR A1/A2 vocabulary words and language terms to talk about grammar and writing)

授業計画

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

【第1回】

テーマ: Course introduction. Google Classroom registration and explanation.

内容・方法: Explanation of course goals and syllabus. Explanation of Journal Writing and writing checklist. Intro to textbook. Journal Topic 1 (in class) and check. Submit on Google Classroom.

【第2回】

テーマ: Unit 1: Sentences

内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 2 (HWK)

【第3回】

テーマ: Unit 1: Sentences

内容・方法: Vocabulary & Writing Quiz 1 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 2 peer editing

【第4回】

テーマ: Unit 2: Simple Present Tense

内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 3 (HWK)

【第5回】

テーマ: Unit 2: Simple Present

内容・方法: Vocabulary & Writing Quiz 2 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 3 peer editing

【第6回】

テーマ: Unit 3: Simple Present

内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 4 (HWK)

【第7回】

テーマ: Unit 3: Simple Present Tense

内容・方法: Vocabulary & Writing Quiz 3 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 4 peer editing

【第8回】

テーマ: Mid-semester evaluation: review of Units 1-3

内容・方法: Review Vocabulary & Writing test 1. Paragraph writing test 1 on 3 topics and peer editing.

【第9回】

テーマ: Unit 4: Nouns

内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 5 (HWK)

【第10回】

テーマ: Unit 4: Nouns

内容・方法: Vocabulary & Writing Quiz 4 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 5 peer editing

【第11回】

テーマ: Unit 5: Pronouns

内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 6 (HWK)

【第12回】

テーマ: Unit 5: Pronouns

内容・方法： Vocabulary & Writing Quiz 5 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 6 peer editing

【第13回】

テーマ： Unit 6: Adjectives

内容・方法： Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 7 (HWK)

【第14回】

テーマ： Unit 6: Adjectives

内容・方法： Vocabulary & Writing Quiz 6 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 6 peer editing

【第15回】

テーマ： End-of-semester evaluation: review of Units 4-6

内容・方法： Review Vocabulary & Writing test 2. Paragraph writing test 2 on 3 topics and peer editing. Explanation of final examination: paragraph writing.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。毎回の授業前に約30分の予習課題を行い、授業後に約30分の復習課題を行います。

A total of 45 hours of study is required per 1-credit course, including class (calculated as 2 hours per session) and pre- and post-work study. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題： Buy the textbook.

事後学修課題： Buy the textbook. Review, HWK. Journal assignment

【第2回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第3回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments

【第4回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第5回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments

【第6回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第7回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments. Prepare for mid-semester evaluation

【第8回】

事前学修課題： Review for mid-semester evaluation.

事後学修課題： Review,

【第9回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第10回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments

【第11回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第12回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments

【第13回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第14回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments. Prepare for end-of-semester evaluation

【第15回】

事前学修課題： Review for end-of-semester evaluation.

事後学修課題： Submit final examination paragraph writing.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, writing assignments completed as homework, and in-class and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse will be given a “K” (failing mark).

Grade Breakdown:

1. In-class activities and active participation (10%)
2. Vocabulary and writing quizzes (20%)
3. Textbook homework assignments (10%)
4. Journal Writing assignments (30%)
5. In-class evaluations (20%) and final examination (10%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	In-class activities and active participation (10%), vocabulary and writing quizzes (20%), In-class evaluations (20%).	1, 2, 3, 4
授業外での評価	40	Textbook homework assignments (10%), Journal Writing assignments (30%).	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	10	Final examination (10%).	1, 3
その他	0	none	

テキスト	Great Writing Foundations, Keith S. Folse, 5th edition, 2019, National Geographic/Cengage Learning Company, ISBN: 978-0357020814
------	--

参考書	None
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD – 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13104302	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Writing I [対面]				
シラバス執筆(全員)	I. M. アレンズワース				
シラバス執筆(主)	I. M. アレンズワース				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course will help you improve your writing skills and your ability to produce accurate written English. It will also help you to write more freely and clearly. You will master standard organizational patterns for sentences and paragraphs; plan, organize, draft, revise, and edit paragraphs; use grammar and vocabulary correctly; gain accuracy in your use of punctuation. A weekly Writing Journal will be kept. Students will write a paragraph per week on assigned topics to be submitted to Google Classroom. Google Classroom will be used for assignments and information about this course.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Write paragraphs (original, well-formed paragraphs of ~10 sentences including topic sentences, supporting details, and concluding sentences)
2. Edit paragraphs (peer editing as well as editing their own work based on teacher comments)
3. Use correct grammar in writing a variety of paragraph types
4. Build vocabulary (~150 CEFR A1/A2 vocabulary words and language terms to talk about grammar and writing)

授業計画

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

【第1回】

テーマ: Course introduction. Google Classroom registration and explanation.

内容・方法: Explanation of course goals and syllabus. Explanation of Journal Writing and writing checklist. Intro to textbook. Journal Topic 1 (in class) and check. Submit on Google Classroom.

【第2回】

テーマ: Unit 1: Sentences

内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 2 (HWK)

【第3回】

テーマ: Unit 1: Sentences

内容・方法: Vocabulary & Writing Quiz 1 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 2 peer editing

【第4回】

テーマ: Unit 2: Simple Present Tense

内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 3 (HWK)

【第5回】

テーマ: Unit 2: Simple Present

内容・方法: Vocabulary & Writing Quiz 2 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 3 peer editing

【第6回】

テーマ: Unit 3: Simple Present

内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 4 (HWK)

【第7回】

テーマ: Unit 3: Simple Present Tense

内容・方法: Vocabulary & Writing Quiz 3 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 4 peer editing

【第8回】

テーマ: Mid-semester evaluation: review of Units 1-3

内容・方法: Review Vocabulary & Writing test 1. Paragraph writing test 1 on 3 topics and peer editing.

【第9回】

テーマ: Unit 4: Nouns

内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 5 (HWK)

【第10回】

テーマ: Unit 4: Nouns

内容・方法: Vocabulary & Writing Quiz 4 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 5 peer editing

【第11回】

テーマ: Unit 5: Pronouns

内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 6 (HWK)

【第12回】

テーマ: Unit 5: Pronouns

内容・方法： Vocabulary & Writing Quiz 5 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 6 peer editing

【第13回】

テーマ： Unit 6: Adjectives

内容・方法： Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 7 (HWK)

【第14回】

テーマ： Unit 6: Adjectives

内容・方法： Vocabulary & Writing Quiz 6 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 6 peer editing

【第15回】

テーマ： End-of-semester evaluation: review of Units 4-6

内容・方法： Review Vocabulary & Writing test 2. Paragraph writing test 2 on 3 topics and peer editing. Explanation of final examination: paragraph writing.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。毎回の授業前に約30分の予習課題を行い、授業後に約30分の復習課題を行います。

A total of 45 hours of study is required per 1-credit course, including class (calculated as 2 hours per session) and pre- and post-work study. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題： Buy the textbook.

事後学修課題： Buy the textbook. Review, HWK. Journal assignment

【第2回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第3回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments

【第4回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第5回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments

【第6回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第7回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments. Prepare for mid-semester evaluation

【第8回】

事前学修課題： Review for mid-semester evaluation.

事後学修課題： Review,

【第9回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第10回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments

【第11回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第12回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments

【第13回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第14回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments. Prepare for end-of-semester evaluation

【第15回】

事前学修課題： Review for end-of-semester evaluation.

事後学修課題： Submit final examination paragraph writing.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, writing assignments completed as homework, and in-class and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse will be given a “K” (failing mark).

Grade Breakdown:

1. In-class activities and active participation (10%)
2. Vocabulary and writing quizzes (20%)
3. Textbook homework assignments (10%)
4. Journal Writing assignments (30%)
5. In-class evaluations (20%) and final examination (10%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	In-class activities and active participation (10%), vocabulary and writing quizzes (20%), In-class evaluations (20%).	1, 2, 3, 4
授業外での評価	40	Textbook homework assignments (10%), Journal Writing assignments (30%).	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	10	Final examination (10%).	1, 3
その他	0	none	

テキスト	Great Writing Foundations, Keith S. Folse, 5th edition, 2019, National Geographic/Cengage Learning Company, ISBN: 978-0357020814
------	--

参考書	None
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13104303	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Writing I [対面]				
シラバス執筆(全員)	C. A. スミス				
シラバス執筆(主)	C. A. スミス				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course will help you improve your writing skills and your ability to produce accurate written English. It will also help you to write more freely and clearly. You will master standard organizational patterns for sentences and paragraphs; plan, organize, draft, revise, and edit paragraphs; use grammar and vocabulary correctly; gain accuracy in your use of punctuation. A weekly Writing Journal will be kept. Students will write a paragraph per week on assigned topics to be submitted to Google Classroom. Google Classroom will be used for assignments and information about this course.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Write paragraphs (original, well-formed paragraphs of ~10 sentences including topic sentences, supporting details, and concluding sentences)
2. Edit paragraphs (peer editing as well as editing their own work based on teacher comments)
3. Use correct grammar in writing a variety of paragraph types
4. Build vocabulary (~150 CEFR A1/A2 vocabulary words and language terms to talk about grammar and writing)

授業計画

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

【第1回】

テーマ: Course introduction. Google Classroom registration and explanation.

内容・方法: Explanation of course goals and syllabus. Explanation of Journal Writing and writing checklist. Intro to textbook. Journal Topic 1 (in class) and check. Submit on Google Classroom.

【第2回】

テーマ: Unit 1: Sentences

内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 2 (HWK)

【第3回】

テーマ: Unit 1: Sentences

内容・方法: Vocabulary & Writing Quiz 1 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 2 peer editing

【第4回】

テーマ: Unit 2: Simple Present Tense

内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 3 (HWK)

【第5回】

テーマ: Unit 2: Simple Present

内容・方法: Vocabulary & Writing Quiz 2 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 3 peer editing

【第6回】

テーマ: Unit 3: Simple Present

内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 4 (HWK)

【第7回】

テーマ: Unit 3: Simple Present Tense

内容・方法: Vocabulary & Writing Quiz 3 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 4 peer editing

【第8回】

テーマ: Mid-semester evaluation: review of Units 1-3

内容・方法: Review Vocabulary & Writing test 1. Paragraph writing test 1 on 3 topics and peer editing.

【第9回】

テーマ: Unit 4: Nouns

内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 5 (HWK)

【第10回】

テーマ: Unit 4: Nouns

内容・方法: Vocabulary & Writing Quiz 4 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 5 peer editing

【第11回】

テーマ: Unit 5: Pronouns

内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 6 (HWK)

【第12回】

テーマ: Unit 5: Pronouns

内容・方法： Vocabulary & Writing Quiz 5 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 6 peer editing

【第13回】

テーマ： Unit 6: Adjectives

内容・方法： Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 7 (HWK)

【第14回】

テーマ： Unit 6: Adjectives

内容・方法： Vocabulary & Writing Quiz 6 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 6 peer editing

【第15回】

テーマ： End-of-semester evaluation: review of Units 4-6

内容・方法： Review Vocabulary & Writing test 2. Paragraph writing test 2 on 3 topics and peer editing. Explanation of final examination: paragraph writing.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。毎回の授業前に約30分の予習課題を行い、授業後に約30分の復習課題を行います。

A total of 45 hours of study is required per 1-credit course, including class (calculated as 2 hours per session) and pre- and post-work study. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題： Buy the textbook.

事後学修課題： Buy the textbook. Review, HWK. Journal assignment

【第2回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第3回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments

【第4回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第5回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments

【第6回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第7回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments. Prepare for mid-semester evaluation

【第8回】

事前学修課題： Review for mid-semester evaluation.

事後学修課題： Review,

【第9回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第10回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments

【第11回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第12回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments

【第13回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第14回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments. Prepare for end-of-semester evaluation

【第15回】

事前学修課題： Review for end-of-semester evaluation.

事後学修課題： Submit final examination paragraph writing.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, writing assignments completed as homework, and in-class and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse will be given a “K” (failing mark).

Grade Breakdown:

1. In-class activities and active participation (10%)
2. Vocabulary and writing quizzes (20%)
3. Textbook homework assignments (10%)
4. Journal Writing assignments (30%)
5. In-class evaluations (20%) and final examination (10%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	In-class activities and active participation (10%), vocabulary and writing quizzes (20%), In-class evaluations (20%).	1, 2, 3, 4
授業外での評価	40	Textbook homework assignments (10%), Journal Writing assignments (30%).	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	10	Final examination (10%).	1, 3
その他	0	none	

テキスト	Great Writing Foundations, Keith S. Folse, 5th edition, 2019, National Geographic/Cengage Learning Company, ISBN: 978-0357020814
------	--

参考書	None
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD – 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13104351	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Writing I [対面]				
シラバス執筆(全員)	P.L. ストリックランド				
シラバス執筆(主)	P.L. ストリックランド				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course will help you improve your writing skills and your ability to produce accurate written English. It will also help you to write more freely and clearly. You will master standard organizational patterns for sentences and paragraphs; plan, organize, draft, revise, and edit paragraphs; use grammar and vocabulary correctly; gain accuracy in your use of punctuation.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Write paragraphs (original, well-formed paragraphs of ~10 sentences including topic sentences, supporting details, and concluding sentences)
2. Edit paragraphs (peer editing as well as editing their own work based on teacher comments)
3. Use correct grammar in writing a variety of paragraph types
4. Build vocabulary (~150 CEFR A2/B1 vocabulary words and language terms to talk about grammar and writing)

授業計画

【第1回】
 テーマ: Introduction
 内容・方法: Explanation of course goals and syllabus. Intro to textbook Unit 1, sentence structure

【第2回】
 テーマ: Unit 1
 内容・方法: Sentence Structure, Fragments, Subject- Verb Agreement

【第3回】
 テーマ: Unit 1
 内容・方法: Vocabulary Quiz 1 (Building Better Vocabulary); Prepositional phrases, There is/are

【第4回】
 テーマ: Unit 1
 内容・方法: Editing, Unit Evaluation (Test Prep)

【第5回】
 テーマ: Unit 2
 内容・方法: Analyzing Paragraphs (main idea / topic sentences); Word Order and Adjectives

【第6回】
 テーマ: Unit 2
 内容・方法: Analyzing Paragraphs (supporting sentences); Sequence words and Pronouns

【第7回】
 テーマ: Unit 2
 内容・方法: Vocabulary Quiz 2 (Building Better Vocabulary); Concluding sentences; Possessive adjectives

【第8回】
 テーマ: Unit 2
 内容・方法: Editing, Unit Evaluation (Unit 2 Test Prep)

【第9回】
 テーマ: Unit 3
 内容・方法: Simple Present Tense (affirmative & negative)

【第10回】
 テーマ: Unit 3
 内容・方法: Vocabulary Quiz 3 (Building Better Vocabulary); Simple and Compound Sentences

【第11回】
 テーマ: Unit 3
 内容・方法: Articles, Unit Evaluation: Writing & Editing

【第12回】
 テーマ: Unit 4
 内容・方法: Past Tense (affirmative & negative)

【第13回】
 テーマ: Unit 4
 内容・方法: Vocabulary Quiz 4 (Building Better Vocabulary); Adverbs of manner

【第14回】
 テーマ: Unit 4
 内容・方法: Complex sentences (Connectors for time clauses), Editing & error correction

【第15回】
 テーマ: Prepare for final evaluation
 内容・方法: Unit Evaluation: Writing, editing & Error correction

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。毎回の授業前に約30分の予習課題を行い、授業後に約30分の復習課題を行います。
This is a 1-credit (1単位) course, which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題：None

事後学修課題：Review, Grammar and writing assignments

【第2回】

事前学修課題：Pre-read textbook to p. 14

事後学修課題：Review, Grammar and writing assignments

【第3回】

事前学修課題：Pre-read textbook to p. 25, Study for Vocabulary Quiz 1 (p. 19)

事後学修課題：Review, Grammar and writing assignments

【第4回】

事前学修課題：Review Unit 1 for evaluation

事後学修課題：Review, Grammar and writing assignments

【第5回】

事前学修課題：Pre-read textbook to p. 41

事後学修課題：Review, Grammar and writing assignments

【第6回】

事前学修課題：Pre-read textbook to p. 50

事後学修課題：Review, Grammar and writing assignments

【第7回】

事前学修課題：Pre-read textbook to p. 57. Study for Vocabulary Quiz 2 (p. 52), Review Unit 2 for evaluation.

事後学修課題：Review, Grammar and writing assignments

【第8回】

事前学修課題：Review Unit 2 for evaluation.

事後学修課題：Review, Grammar and writing assignments

【第9回】

事前学修課題：Pre-read textbook to p. 68.

事後学修課題：Review, Grammar and writing assignments

【第10回】

事前学修課題：Pre-read textbook to p. 76. Study for Vocabulary Quiz 3 (p. 76)

事後学修課題：Review, Grammar and writing assignments

【第11回】

事前学修課題：Pre-read textbook to p. 81, Review for Unit 3 Evaluation

事後学修課題：Review, Grammar and writing assignments

【第12回】

事前学修課題：Pre-read textbook to p. 92

事後学修課題：Review, Grammar and writing assignments

【第13回】

事前学修課題：Pre-read textbook to p. 99. Study for Vocabulary Quiz 3 (p. 98)

事後学修課題：Review, Grammar and writing assignments

【第14回】

事前学修課題：Pre-read textbook to p. 103. Review Units 1-4 for final evaluation.

事後学修課題：Review, Grammar and writing assignments

【第15回】

事前学修課題：Review Units 1-4 for final evaluation.

事後学修課題：None

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed as homework, and midterm and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course if they comply with the attendance policy (see below).

Grade Breakdown:

- Active participation during in-class activities (10%)
- Midterm evaluations and other in-class assignments (20%)
- Vocabulary quizzes (20%)
- Homework assignments (30%)
- Final Evaluation (20%)

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Please contact your individual instructor for information about coursework and grading policy.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Active participation during in-class activities (10) Midterm evaluations and other in-class assignments (20), vocabulary quizzes (20)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	30	Homework assignments (30)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final Evaluation (20)	1, 2, 3
その他	0		

テキスト	Great Writing 1, Fifth Edition. Keith S. Folse, April Muchmore-Vokoun & Elena Vestri Solomon; Cengage 2020; 978-0357020821
------	--

参考書	None
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13104352	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Writing I [対面]				
シラバス執筆(全員)	C. A. スミス				
シラバス執筆(主)	C. A. スミス				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course will help you improve your writing skills and your ability to produce accurate written English. It will also help you to write more freely and clearly. You will master standard organizational patterns for sentences and paragraphs; plan, organize, draft, revise, and edit paragraphs; use grammar and vocabulary correctly; gain accuracy in your use of punctuation.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Write paragraphs (original, well-formed paragraphs of ~10 sentences including topic sentences, supporting details, and concluding sentences)
2. Edit paragraphs (peer editing as well as editing their own work based on teacher comments)
3. Use correct grammar in writing a variety of paragraph types
4. Build vocabulary (~150 CEFR A2/B1 vocabulary words and language terms to talk about grammar and writing)

授業計画

【第1回】
 テーマ: Introduction
 内容・方法: Explanation of course goals and syllabus. Intro to textbook Unit 1, sentence structure

【第2回】
 テーマ: Unit 1
 内容・方法: Sentence Structure, Fragments, Subject- Verb Agreement

【第3回】
 テーマ: Unit 1
 内容・方法: Vocabulary Quiz 1 (Building Better Vocabulary); Prepositional phrases, There is/are

【第4回】
 テーマ: Unit 1
 内容・方法: Editing, Unit Evaluation (Test Prep)

【第5回】
 テーマ: Unit 2
 内容・方法: Analyzing Paragraphs (main idea / topic sentences); Word Order and Adjectives

【第6回】
 テーマ: Unit 2
 内容・方法: Analyzing Paragraphs (supporting sentences); Sequence words and Pronouns

【第7回】
 テーマ: Unit 2
 内容・方法: Vocabulary Quiz 2 (Building Better Vocabulary); Concluding sentences; Possessive adjectives

【第8回】
 テーマ: Unit 2
 内容・方法: Editing, Unit Evaluation (Unit 2 Test Prep)

【第9回】
 テーマ: Unit 3
 内容・方法: Simple Present Tense (affirmative & negative)

【第10回】
 テーマ: Unit 3
 内容・方法: Vocabulary Quiz 3 (Building Better Vocabulary); Simple and Compound Sentences

【第11回】
 テーマ: Unit 3
 内容・方法: Articles, Unit Evaluation: Writing & Editing

【第12回】
 テーマ: Unit 4
 内容・方法: Past Tense (affirmative & negative)

【第13回】
 テーマ: Unit 4
 内容・方法: Vocabulary Quiz 4 (Building Better Vocabulary); Adverbs of manner

【第14回】
 テーマ: Unit 4
 内容・方法: Complex sentences (Connectors for time clauses), Editing & error correction

【第15回】
 テーマ: Prepare for final evaluation
 内容・方法: Unit Evaluation: Writing, editing & Error correction

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。毎回の授業前に約30分の予習課題を行い、授業後に約30分の復習課題を行います。
This is a 1-credit (1単位) course, which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題：None

事後学修課題：Review, Grammar and writing assignments

【第2回】

事前学修課題：Pre-read textbook to p. 14

事後学修課題：Review, Grammar and writing assignments

【第3回】

事前学修課題：Pre-read textbook to p. 25, Study for Vocabulary Quiz 1 (p. 19)

事後学修課題：Review, Grammar and writing assignments

【第4回】

事前学修課題：Review Unit 1 for evaluation

事後学修課題：Review, Grammar and writing assignments

【第5回】

事前学修課題：Pre-read textbook to p. 41

事後学修課題：Review, Grammar and writing assignments

【第6回】

事前学修課題：Pre-read textbook to p. 50

事後学修課題：Review, Grammar and writing assignments

【第7回】

事前学修課題：Pre-read textbook to p. 57, Study for Vocabulary Quiz 2 (p. 52), Review Unit 2 for evaluation.

事後学修課題：Review, Grammar and writing assignments

【第8回】

事前学修課題：Review Unit 2 for evaluation.

事後学修課題：Review, Grammar and writing assignments

【第9回】

事前学修課題：Pre-read textbook to p. 68.

事後学修課題：Review, Grammar and writing assignments

【第10回】

事前学修課題：Pre-read textbook to p. 76, Study for Vocabulary Quiz 3 (p. 76)

事後学修課題：Review, Grammar and writing assignments

【第11回】

事前学修課題：Pre-read textbook to p. 81, Review for Unit 3 Evaluation

事後学修課題：Review, Grammar and writing assignments

【第12回】

事前学修課題：Pre-read textbook to p. 92

事後学修課題：Review, Grammar and writing assignments

【第13回】

事前学修課題：Pre-read textbook to p. 99, Study for Vocabulary Quiz 3 (p. 98)

事後学修課題：Review, Grammar and writing assignments

【第14回】

事前学修課題：Pre-read textbook to p. 103, Review Units 1-4 for final evaluation.

事後学修課題：Review, Grammar and writing assignments

【第15回】

事前学修課題：Review Units 1-4 for final evaluation.

事後学修課題：None

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed as homework, and midterm and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course if they comply with the attendance policy (see below).

Grade Breakdown:

- Active participation during in-class activities (10%)
- Midterm evaluations and other in-class assignments (20%)
- Vocabulary quizzes (20%)
- Homework assignments (30%)
- Final Evaluation (20%)

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Please contact your individual instructor for information about coursework and grading policy.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Active participation during in-class activities (10) Midterm evaluations and other in-class assignments (20), vocabulary quizzes (20)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	30	Homework assignments (30)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final Evaluation (20)	1, 2, 3
その他	0		

テキスト	Great Writing 1, Fifth Edition. Keith S. Folse, April Muchmore-Vokoun & Elena Vestri Solomon; Cengage 2020; 978-0357020821
------	--

参考書	None
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13104401	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Writing II [対面]				
シラバス執筆(全員)	P.L. ストリックランド				
シラバス執筆(主)	P.L. ストリックランド				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course will help you improve your writing skills and your ability to produce accurate written English. It will also help you to write more freely and clearly. You will master standard organizational patterns for sentences and paragraphs; plan, organize, draft, revise, and edit paragraphs; use grammar and vocabulary correctly; gain accuracy in your use of punctuation. A weekly Writing Journal will be kept. Students will write a paragraph per week on assigned topics to be submitted to Google Classroom. Google Classroom will be used for assignments and information about this course.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Write paragraphs (original, well-formed paragraphs of ~10 sentences including topic sentences, supporting details, and concluding sentences)
2. Edit paragraphs (peer editing as well as editing their own work based on teacher comments)
3. Use correct grammar in writing a variety of paragraph types
4. Build vocabulary (vocabulary words and language terms to talk about grammar and writing)

授業計画

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

【第1回】

テーマ: Course introduction. Google Classroom registration and explanation.

内容・方法: Explanation of course goals and syllabus. Spring semester review. Explanation of Journal Writing and writing checklist. Intro to textbook. Journal Topic 1 (in class) and check. Submit on Google Classroom.

【第2回】

テーマ: Unit 7: Conjunction- And

内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 2 (HWK)

【第3回】

テーマ: Unit 7: Conjunction- And

内容・方法: Vocabulary & Writing Quiz 1 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 2 peer editing

【第4回】

テーマ: Unit 10: Simple and Compound Sentences

内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 3 (HWK)

【第5回】

テーマ: Unit 10: Simple and Compound Sentences

内容・方法: Vocabulary & Writing Quiz 2 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 3 peer editing

【第6回】

テーマ: Unit 11: Simple Past

内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 4 (HWK)

【第7回】

テーマ: Unit 11: Simple Past

内容・方法: Vocabulary & Writing Quiz 3 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 4 peer editing

【第8回】

テーマ: Mid-semester evaluation: review of Units 7, 10-11

内容・方法: Review Vocabulary & Writing test 1. Paragraph writing test 1 on 3 topics and peer editing.

【第9回】

テーマ: Unit 12: Complex Sentences

内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 5 (HWK)

【第10回】

テーマ: Unit 12: Complex Sentences

内容・方法: Vocabulary & Writing Quiz 4 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 5 peer editing

【第11回】

テーマ: Unit 13: Adverbs

内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 6 (HWK)

【第12回】

テーマ: Unit 13: Adverbs

内容・方法： Vocabulary & Writing Quiz 5 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 6 peer editing

【第13回】

テーマ： Unit 14: The Present Progressive

内容・方法： Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 7 (HWK)

【第14回】

テーマ： Unit 14: The Present Progressive

内容・方法： Vocabulary & Writing Quiz 6 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 6 peer editing

【第15回】

テーマ： End-of-semester evaluation: review of Units 12-14

内容・方法： Review Vocabulary & Writing test 2. Paragraph writing test 2 on 3 topics and peer editing. Explanation of final examination: paragraph writing.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。毎回の授業前に約30分の予習課題を行い、授業後に約30分の復習課題を行います。

A total of 45 hours of study is required per 1-credit course, including class (calculated as 2 hours per session) and pre- and post-work study. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題： Review spring semester.

事後学修課題： Review, HWK. Journal assignment

【第2回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第3回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments

【第4回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第5回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments

【第6回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第7回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments. Prepare for mid-semester evaluation

【第8回】

事前学修課題： Review for mid-semester evaluation.

事後学修課題： Review,

【第9回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第10回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments

【第11回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第12回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments

【第13回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第14回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments. Prepare for end-of-semester evaluation

【第15回】

事前学修課題： Review for end-of-semester evaluation.

事後学修課題： Submit final examination paragraph writing.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, writing assignments completed as homework, and in-class and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse will be given a “K” (failing mark).

Grade Breakdown:

1. In-class activities and active participation (10%)
2. Vocabulary and writing quizzes (20%)
3. Textbook homework assignments (10%)
4. Journal Writing assignments (30%)
5. In-class evaluations (20%) and final examination (10%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	In-class activities and active participation (10%), vocabulary and writing quizzes (20%), Semester evaluations (20%).	1, 2, 3, 4
授業外での評価	40	Textbook homework assignments (10%), Journal Writing assignments (30%).	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	10	Final examination (10%).	1, 3
その他	0	none	

テキスト	Great Writing Foundations, Keith S. Folse, 5th edition, 2019, National Geographic/Cengage Learning Company, ISBN: 978-0357020814
------	--

参考書	None
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13104402	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Writing II [対面]				
シラバス執筆(全員)	I. M. アレンズワース				
シラバス執筆(主)	I. M. アレンズワース				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course will help you improve your writing skills and your ability to produce accurate written English. It will also help you to write more freely and clearly. You will master standard organizational patterns for sentences and paragraphs; plan, organize, draft, revise, and edit paragraphs; use grammar and vocabulary correctly; gain accuracy in your use of punctuation. A weekly Writing Journal will be kept. Students will write a paragraph per week on assigned topics to be submitted to Google Classroom. Google Classroom will be used for assignments and information about this course.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Write paragraphs (original, well-formed paragraphs of ~10 sentences including topic sentences, supporting details, and concluding sentences)
2. Edit paragraphs (peer editing as well as editing their own work based on teacher comments)
3. Use correct grammar in writing a variety of paragraph types
4. Build vocabulary (vocabulary words and language terms to talk about grammar and writing)

授業計画

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

- 【第1回】
 テーマ: Course introduction. Google Classroom registration and explanation.
 内容・方法: Explanation of course goals and syllabus. Spring semester review. Explanation of Journal Writing and writing checklist. Intro to textbook. Journal Topic 1 (in class) and check. Submit on Google Classroom.
- 【第2回】
 テーマ: Unit 7: Conjunction- And
 内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 2 (HWK)
- 【第3回】
 テーマ: Unit 7: Conjunction- And
 内容・方法: Vocabulary & Writing Quiz 1 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 2 peer editing
- 【第4回】
 テーマ: Unit 10: Simple and Compound Sentences
 内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 3 (HWK)
- 【第5回】
 テーマ: Unit 10: Simple and Compound Sentences
 内容・方法: Vocabulary & Writing Quiz 2 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 3 peer editing
- 【第6回】
 テーマ: Unit 11: Simple Past
 内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 4 (HWK)
- 【第7回】
 テーマ: Unit 11: Simple Past
 内容・方法: Vocabulary & Writing Quiz 3 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 4 peer editing
- 【第8回】
 テーマ: Mid-semester evaluation: review of Units 7, 10-11
 内容・方法: Review Vocabulary & Writing test 1. Paragraph writing test 1 on 3 topics and peer editing.
- 【第9回】
 テーマ: Unit 12: Complex Sentences
 内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 5 (HWK)
- 【第10回】
 テーマ: Unit 12: Complex Sentences
 内容・方法: Vocabulary & Writing Quiz 4 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 5 peer editing
- 【第11回】
 テーマ: Unit 13: Adverbs
 内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 6 (HWK)
- 【第12回】
 テーマ: Unit 13: Adverbs

内容・方法： Vocabulary & Writing Quiz 5 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 6 peer editing

【第13回】

テーマ： Unit 14: The Present Progressive

内容・方法： Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 7 (HWK)

【第14回】

テーマ： Unit 14: The Present Progressive

内容・方法： Vocabulary & Writing Quiz 6 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 6 peer editing

【第15回】

テーマ： End-of-semester evaluation: review of Units 12-14

内容・方法： Review Vocabulary & Writing test 2. Paragraph writing test 2 on 3 topics and peer editing. Explanation of final examination: paragraph writing.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。毎回の授業前に約30分の予習課題を行い、授業後に約30分の復習課題を行います。

A total of 45 hours of study is required per 1-credit course, including class (calculated as 2 hours per session) and pre- and post-work study. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題： Review spring semester.

事後学修課題： Review, HWK. Journal assignment

【第2回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第3回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments

【第4回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第5回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments

【第6回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第7回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments. Prepare for mid-semester evaluation

【第8回】

事前学修課題： Review for mid-semester evaluation.

事後学修課題： Review,

【第9回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第10回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments

【第11回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第12回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments

【第13回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第14回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments. Prepare for end-of-semester evaluation

【第15回】

事前学修課題： Review for end-of-semester evaluation.

事後学修課題： Submit final examination paragraph writing.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, writing assignments completed as homework, and in-class and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse will be given a “K” (failing mark).

Grade Breakdown:

1. In-class activities and active participation (10%)
2. Vocabulary and writing quizzes (20%)
3. Textbook homework assignments (10%)
4. Journal Writing assignments (30%)
5. In-class evaluations (20%) and final examination (10%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	In-class activities and active participation (10%), vocabulary and writing quizzes (20%), Semester evaluations (20%).	1, 2, 3, 4
授業外での評価	40	Textbook homework assignments (10%), Journal Writing assignments (30%).	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	10	Final examination (10%).	1, 3
その他	0	none	

テキスト	Great Writing Foundations, Keith S. Folse, 5th edition, 2019, National Geographic/Cengage Learning Company, ISBN: 978-0357020814
------	--

参考書	None
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13104403	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Writing II [対面]				
シラバス執筆(全員)	C. A. スミス				
シラバス執筆(主)	C. A. スミス				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course will help you improve your writing skills and your ability to produce accurate written English. It will also help you to write more freely and clearly. You will master standard organizational patterns for sentences and paragraphs; plan, organize, draft, revise, and edit paragraphs; use grammar and vocabulary correctly; gain accuracy in your use of punctuation. A weekly Writing Journal will be kept. Students will write a paragraph per week on assigned topics to be submitted to Google Classroom. Google Classroom will be used for assignments and information about this course.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Write paragraphs (original, well-formed paragraphs of ~10 sentences including topic sentences, supporting details, and concluding sentences)
2. Edit paragraphs (peer editing as well as editing their own work based on teacher comments)
3. Use correct grammar in writing a variety of paragraph types
4. Build vocabulary (vocabulary words and language terms to talk about grammar and writing)

授業計画

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

【第1回】

テーマ: Course introduction. Google Classroom registration and explanation.

内容・方法: Explanation of course goals and syllabus. Spring semester review. Explanation of Journal Writing and writing checklist. Intro to textbook. Journal Topic 1 (in class) and check. Submit on Google Classroom.

【第2回】

テーマ: Unit 7: Conjunction- And

内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 2 (HWK)

【第3回】

テーマ: Unit 7: Conjunction- And

内容・方法: Vocabulary & Writing Quiz 1 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 2 peer editing

【第4回】

テーマ: Unit 10: Simple and Compound Sentences

内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 3 (HWK)

【第5回】

テーマ: Unit 10: Simple and Compound Sentences

内容・方法: Vocabulary & Writing Quiz 2 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 3 peer editing

【第6回】

テーマ: Unit 11: Simple Past

内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 4 (HWK)

【第7回】

テーマ: Unit 11: Simple Past

内容・方法: Vocabulary & Writing Quiz 3 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 4 peer editing

【第8回】

テーマ: Mid-semester evaluation: review of Units 7, 10-11

内容・方法: Review Vocabulary & Writing test 1. Paragraph writing test 1 on 3 topics and peer editing.

【第9回】

テーマ: Unit 12: Complex Sentences

内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 5 (HWK)

【第10回】

テーマ: Unit 12: Complex Sentences

内容・方法: Vocabulary & Writing Quiz 4 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 5 peer editing

【第11回】

テーマ: Unit 13: Adverbs

内容・方法: Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 6 (HWK)

【第12回】

テーマ: Unit 13: Adverbs

内容・方法： Vocabulary & Writing Quiz 5 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 6 peer editing

【第13回】

テーマ： Unit 14: The Present Progressive

内容・方法： Grammar for writing; Building better Vocabulary & spelling. Journal Topic 7 (HWK)

【第14回】

テーマ： Unit 14: The Present Progressive

内容・方法： Vocabulary & Writing Quiz 6 (Building Better Vocabulary); Building Better Sentences with Vocabulary; Writing and peer editing. Journal Topic 6 peer editing

【第15回】

テーマ： End-of-semester evaluation: review of Units 12-14

内容・方法： Review Vocabulary & Writing test 2. Paragraph writing test 2 on 3 topics and peer editing. Explanation of final examination: paragraph writing.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。毎回の授業前に約30分の予習課題を行い、授業後に約30分の復習課題を行います。

A total of 45 hours of study is required per 1-credit course, including class (calculated as 2 hours per session) and pre- and post-work study. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題： Review spring semester.

事後学修課題： Review, HWK. Journal assignment

【第2回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第3回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments

【第4回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第5回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments

【第6回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第7回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments. Prepare for mid-semester evaluation

【第8回】

事前学修課題： Review for mid-semester evaluation.

事後学修課題： Review,

【第9回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第10回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments

【第11回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第12回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments

【第13回】

事前学修課題： Review Unit

事後学修課題： Review, Vocabulary and Grammar HWK assignments on Google Classroom. Journal Writing assignment.

【第14回】

事前学修課題： Review Unit. Study for Vocabulary & Writing Quiz. Check you have done all the HWK.

事後学修課題： Review, Grammar and writing assignments. Prepare for end-of-semester evaluation

【第15回】

事前学修課題： Review for end-of-semester evaluation.

事後学修課題： Submit final examination paragraph writing.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, writing assignments completed as homework, and in-class and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse will be given a “K” (failing mark).

Grade Breakdown:

1. In-class activities and active participation (10%)
2. Vocabulary and writing quizzes (20%)
3. Textbook homework assignments (10%)
4. Journal Writing assignments (30%)
5. In-class evaluations (20%) and final examination (10%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	In-class activities and active participation (10%), vocabulary and writing quizzes (20%), Semester evaluations (20%).	1, 2, 3, 4
授業外での評価	40	Textbook homework assignments (10%), Journal Writing assignments (30%).	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	10	Final examination (10%).	1, 3
その他	0	none	

テキスト	Great Writing Foundations, Keith S. Folse, 5th edition, 2019, National Geographic/Cengage Learning Company, ISBN: 978-0357020814
------	--

参考書	None
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13104451	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Writing II [対面]				
シラバス執筆(全員)	P.L. ストリックランド				
シラバス執筆(主)	P.L. ストリックランド				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course will help you improve your writing skills and your ability to produce accurate written English. It will also help you to write more freely and clearly. You will master standard organizational patterns for sentences and paragraphs; plan, organize, draft, revise, and edit paragraphs; use grammar and vocabulary correctly; gain accuracy in your use of punctuation.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Write paragraphs (original, well-formed paragraphs of ~10 sentences including topic sentences, supporting details, and concluding sentences)
2. Edit paragraphs (peer editing as well as editing their own work based on teacher comments)
3. Use correct grammar in writing a variety of paragraph types
4. Build vocabulary (~150 CEFR A2/B1 vocabulary words and language terms to talk about grammar and writing)

授業計画

- 【第 1 回】
 テーマ： Unit 5
 内容・方法： Complex Sentences
- 【第 2 回】
 テーマ： Unit 5
 内容・方法： Adverbs and Prepositions
- 【第 3 回】
 テーマ： Unit 5
 内容・方法： Vocabulary Quiz 1; Collocations and Parts of Speech
- 【第 4 回】
 テーマ： Unit 5
 内容・方法： Editing & Unit Evaluation
- 【第 5 回】
 テーマ： Unit 6
 内容・方法： Time Phrases and Tenses
- 【第 6 回】
 テーマ： Unit 6
 内容・方法： Articles
- 【第 7 回】
 テーマ： Unit 6
 内容・方法： Vocabulary Quiz 2; Modifiers
- 【第 8 回】
 テーマ： Midterm Evaluation
 内容・方法： Writing & Editing review, Unit Evaluation
- 【第 9 回】
 テーマ： Unit 7
 内容・方法： Adjectival Clauses
- 【第 10 回】
 テーマ： Unit 7
 内容・方法： Vocabulary Quiz 3; Modals
- 【第 11 回】
 テーマ： Unit 7
 内容・方法： Sentence Variety
- 【第 12 回】
 テーマ： Unit 7
 内容・方法： Unit Evaluation
- 【第 13 回】
 テーマ： Unit 8
 内容・方法： Vocabulary Quiz 4; Parts of a Paragraph
- 【第 14 回】
 テーマ： Unit 8
 内容・方法： Textbook review
- 【第 15 回】
 テーマ： Unit 8
 内容・方法： Final evaluation & writing

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。毎回の授業前に約30分の予習課題を行い、授業後に約30分の復習課題を行います。

A total of 45 hours of study is required per 1-credit course, including class (calculated as 2 hours per session) and pre- and post-work study. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題: None

事後学修課題: Review, Grammar and writing assignments

【第2回】

事前学修課題: Pre-read textbook to p. 134

事後学修課題: Review, Grammar and writing assignments

【第3回】

事前学修課題: Pre-read textbook to p. 146

事後学修課題: Review, Grammar and writing assignments

【第4回】

事前学修課題: Review Unit 5 for test

事後学修課題: Review, Grammar and writing assignments

【第5回】

事前学修課題: Pre-read textbook to p. 160

事後学修課題: Review, Grammar and writing assignments

【第6回】

事前学修課題: Pre-read textbook to p. 168

事後学修課題: Review, Grammar and writing assignments

【第7回】

事前学修課題: Pre-read textbook to p. 176

事後学修課題: Review, Grammar and writing assignments

【第8回】

前学修課題: Review Unit 6 for test.

事後学修課題: Review, Grammar and writing assignments

【第9回】

事前学修課題: Pre-read textbook to p. 189.

事後学修課題: Review, Grammar and writing assignments

【第10回】

事前学修課題: Pre-read textbook to p. 197.

事後学修課題: Review, Grammar and writing assignments

【第11回】

事前学修課題: Pre-read textbook to p. 204

事後学修課題: Review, Grammar and writing assignments

【第12回】

事前学修課題: Review Unit 7 for test.

事後学修課題: Review, Grammar and writing assignments

【第13回】

事前学修課題: Pre-read textbook to p. 214

事後学修課題: Review, Grammar and writing assignments

【第14回】

事前学修課題: Pre-read textbook to p. 226

事後学修課題: Review, Grammar and writing assignments

【第15回】

事前学修課題: Review Units 5-8 for final evaluation.

事後学修課題: None

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed as homework, and midterm and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course if they comply with the attendance policy (see below).

Grade Breakdown:

- Active participation during in-class activities (10%)
- Midterm evaluations and other in-class assignments (20%)
- Vocabulary quizzes (20%)
- Homework assignments (30%)
- Final Evaluation (20%)

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Please contact your individual instructor for information about coursework and grading policy.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Active participation during in-class activities (10), Midterm evaluations and other in-class assignments (20), vocabulary quizzes (20)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	30	Homework assignments (30)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final Evaluation (20)	1, 2, 3
その他	0		

テキスト	Great Writing 1, Fifth Edition. Keith S. Folse, April Muchmore-Vokoun & Elena Vestri Solomon; Cengage 2020; 978-0357020821
------	--

参考書	None
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13104452	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Writing II [対面]				
シラバス執筆(全員)	C. A. スミス				
シラバス執筆(主)	C. A. スミス				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course will help you improve your writing skills and your ability to produce accurate written English. It will also help you to write more freely and clearly. You will master standard organizational patterns for sentences and paragraphs; plan, organize, draft, revise, and edit paragraphs; use grammar and vocabulary correctly; gain accuracy in your use of punctuation.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Write paragraphs (original, well-formed paragraphs of ~10 sentences including topic sentences, supporting details, and concluding sentences)
2. Edit paragraphs (peer editing as well as editing their own work based on teacher comments)
3. Use correct grammar in writing a variety of paragraph types
4. Build vocabulary (~150 CEFR A2/B1 vocabulary words and language terms to talk about grammar and writing)

授業計画

- 【第 1 回】
 テーマ： Unit 5
 内容・方法： Complex Sentences
- 【第 2 回】
 テーマ： Unit 5
 内容・方法： Adverbs and Prepositions
- 【第 3 回】
 テーマ： Unit 5
 内容・方法： Vocabulary Quiz 1; Collocations and Parts of Speech
- 【第 4 回】
 テーマ： Unit 5
 内容・方法： Editing & Unit Evaluation
- 【第 5 回】
 テーマ： Unit 6
 内容・方法： Time Phrases and Tenses
- 【第 6 回】
 テーマ： Unit 6
 内容・方法： Articles
- 【第 7 回】
 テーマ： Unit 6
 内容・方法： Vocabulary Quiz 2; Modifiers
- 【第 8 回】
 テーマ： Midterm Evaluation
 内容・方法： Writing & Editing review, Unit Evaluation
- 【第 9 回】
 テーマ： Unit 7
 内容・方法： Adjectival Clauses
- 【第 10 回】
 テーマ： Unit 7
 内容・方法： Vocabulary Quiz 3; Modals
- 【第 11 回】
 テーマ： Unit 7
 内容・方法： Sentence Variety
- 【第 12 回】
 テーマ： Unit 7
 内容・方法： Unit Evaluation
- 【第 13 回】
 テーマ： Unit 8
 内容・方法： Vocabulary Quiz 4; Parts of a Paragraph
- 【第 14 回】
 テーマ： Unit 8
 内容・方法： Textbook review
- 【第 15 回】
 テーマ： Unit 8
 内容・方法： Final evaluation & writing

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。毎回の授業前に約30分の予習課題を行い、授業後に約30分の復習課題を行います。

A total of 45 hours of study is required per 1-credit course, including class (calculated as 2 hours per session) and pre- and post-work study. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題: None

事後学修課題: Review, Grammar and writing assignments

【第2回】

事前学修課題: Pre-read textbook to p. 134

事後学修課題: Review, Grammar and writing assignments

【第3回】

事前学修課題: Pre-read textbook to p. 146

事後学修課題: Review, Grammar and writing assignments

【第4回】

事前学修課題: Review Unit 5 for test

事後学修課題: Review, Grammar and writing assignments

【第5回】

事前学修課題: Pre-read textbook to p. 160

事後学修課題: Review, Grammar and writing assignments

【第6回】

事前学修課題: Pre-read textbook to p. 168

事後学修課題: Review, Grammar and writing assignments

【第7回】

事前学修課題: Pre-read textbook to p. 176

事後学修課題: Review, Grammar and writing assignments

【第8回】

前学修課題: Review Unit 6 for test.

事後学修課題: Review, Grammar and writing assignments

【第9回】

事前学修課題: Pre-read textbook to p. 189.

事後学修課題: Review, Grammar and writing assignments

【第10回】

事前学修課題: Pre-read textbook to p. 197.

事後学修課題: Review, Grammar and writing assignments

【第11回】

事前学修課題: Pre-read textbook to p. 204

事後学修課題: Review, Grammar and writing assignments

【第12回】

事前学修課題: Review Unit 7 for test.

事後学修課題: Review, Grammar and writing assignments

【第13回】

事前学修課題: Pre-read textbook to p. 214

事後学修課題: Review, Grammar and writing assignments

【第14回】

事前学修課題: Pre-read textbook to p. 226

事後学修課題: Review, Grammar and writing assignments

【第15回】

事前学修課題: Review Units 5-8 for final evaluation.

事後学修課題: None

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed as homework, and midterm and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course if they comply with the attendance policy (see below).

Grade Breakdown:

- Active participation during in-class activities (10%)
- Midterm evaluations and other in-class assignments (20%)
- Vocabulary quizzes (20%)
- Homework assignments (30%)
- Final Evaluation (20%)

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Please contact your individual instructor for information about coursework and grading policy.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Active participation during in-class activities (10), Midterm evaluations and other in-class assignments (20), vocabulary quizzes (20)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	30	Homework assignments (30)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final Evaluation (20)	1, 2, 3
その他	0		

テキスト	Great Writing 1, Fifth Edition. Keith S. Folse, April Muchmore-Vokoun & Elena Vestri Solomon; Cengage 2020; 978-0357020821
------	--

参考書	None
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD – 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13101401	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	英文法 I [対面]				
シラバス執筆(全員)	S. J. カー				
シラバス執筆(主)	S. J. カー				
開講年次	カリキュラムによる	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

A solid understanding of grammar is essential for reading, writing, listening, and speaking English. This course is designed to improve students' knowledge and understanding of basic grammar and to enhance their four skills. In each class, students will review grammar topics and then engage in a variety of writing, reading and speaking activities in order to consolidate their grammar knowledge. Grammar topics include be verbs, general verbs, progressive tense, future tense, auxiliary verbs, nouns, articles, pronouns, prepositions, adjectives, adverbs, comparisons, imperatives, and exclamations. The goal is to acquire a solid working grammar ability through a variety of class activities. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

到達目標

1. Develop the language skills needed to communicate accurately, meaningfully, and appropriately.
2. Demonstrate understanding of grammar through term tests and final examination.
3. Build fluency and accuracy through grammar homework.
4. Students should be able demonstrate a basic understanding of English grammar through usage, and be able to do simple writing, reading and speaking activities.

授業計画

- 【第1回】
 テーマ: Course Introduction and orientation. Google Classroom registration and explanation.
 内容・方法: Introducing yourself
- 【第2回】
 テーマ: Unit 1: The Verb Be
 内容・方法: Affirmative Statements, Subject Pronouns
- 【第3回】
 テーマ: Unit 2: The Verb Be
 内容・方法: Yes/No Questions, Be + Adjective, Negative Statements
- 【第4回】
 テーマ: Unit 3: The Verb Be
 内容・方法: Informative Questions, It, and Prepositions of Location
- 【第5回】
 テーマ: Term Test 1
 内容・方法: Review of units studied in class and for homework. Term Test.
- 【第6回】
 テーマ: Unit 4: Nouns
 内容・方法: Count and Noncount Nouns
- 【第7回】
 テーマ: Unit 4: Nouns
 内容・方法: Be + Adjective + Noun
- 【第8回】
 テーマ: Unit 5: The Verb Have
 内容・方法: Statements, Questions, Answers
- 【第9回】
 テーマ: Unit 5: The Verb Have
 内容・方法: Some/Any
- 【第10回】
 テーマ: Term Test 2
 内容・方法:
- 【第11回】
 テーマ: Unit 6: This/That/Those
 内容・方法: Using each form correctly
- 【第12回】
 テーマ: Unit 6: Possessives
 内容・方法: Pronouns, Adjectives, Questions with whose
- 【第13回】
 テーマ: Unit 7: There is/ There are
 内容・方法: Asking and answering questions
- 【第14回】
 テーマ: Unit 7: Articles
 内容・方法: A/An versus The
- 【第15回】

テーマ : Term Test 3
内容・方法 : Final examination explanation.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題 : Read the course outline. Buy the textbook.

事後学修課題 : Buy the textbook. Homework assignment.

【第2回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第3回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第4回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments. Prepare for term test 1

【第5回】

事前学修課題 : Review previous lessons for the term test 1.

事後学修課題 : Review your test errors and make corrections. Do the HWK assignments.

【第6回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第7回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第8回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第9回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments. Prepare for term test 2

【第10回】

事前学修課題 : Review previous lessons for the term test 2.

事後学修課題 : Review your test errors and make corrections. Do the HWK assignments.

【第11回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第12回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第13回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第14回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments. Prepare for term test 3

【第15回】

事前学修課題 : Review previous lessons for the term test 3.

事後学修課題 : Review your test errors and make corrections. Submit the final examination.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.
4. The teacher will tell you your current grade at least three times during the semester. In addition, your grades may also be posted regularly on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

The course grade breakdown is as follows:

1. Class participation and classwork activities (30%),
2. 3 term tests (30%)
3. Grammar homework assignments (20%)
4. Final Examination (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	Class participation and classwork activities (30%), 3 term tests (30%).	1, 2, 4
授業外での評価	20	Grammar homework assignments(20%)	3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final Examination (20%)	2, 4
その他	0	none	

テキスト	プリント配布
------	--------

参考書	none
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	---

授業コード	13101402	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	英文法 I [対面]				
シラバス執筆(全員)	J. D. ラッセル				
シラバス執筆(主)	J. D. ラッセル				
開講年次	カリキュラムによる	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

A solid understanding of grammar is essential for reading, writing, listening, and speaking English. This course is designed to improve students' knowledge and understanding of basic grammar and to enhance their four skills. In each class, students will review grammar topics and then engage in a variety of writing, reading and speaking activities in order to consolidate their grammar knowledge. Grammar topics include be verbs, general verbs, progressive tense, future tense, auxiliary verbs, nouns, articles, pronouns, prepositions, adjectives, adverbs, comparisons, imperatives, and exclamations. The goal is to acquire a solid working grammar ability through a variety of class activities. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

到達目標

1. Develop the language skills needed to communicate accurately, meaningfully, and appropriately.
2. Demonstrate understanding of grammar through term tests and final examination.
3. Build fluency and accuracy through grammar homework.
4. Students should be able demonstrate a basic understanding of English grammar through usage, and be able to do simple writing, reading and speaking activities.

授業計画

- 【第1回】
 テーマ: Course Introduction and orientation. Google Classroom registration and explanation.
 内容・方法: Introducing yourself
- 【第2回】
 テーマ: Unit 1: The Verb Be
 内容・方法: Affirmative Statements, Subject Pronouns
- 【第3回】
 テーマ: Unit 2: The Verb Be
 内容・方法: Yes/No Questions, Be + Adjective, Negative Statements
- 【第4回】
 テーマ: Unit 3: The Verb Be
 内容・方法: Informative Questions, It, and Prepositions of Location
- 【第5回】
 テーマ: Term Test 1
 内容・方法: Review of units studied in class and for homework. Term Test.
- 【第6回】
 テーマ: Unit 4: Nouns
 内容・方法: Count and Noncount Nouns
- 【第7回】
 テーマ: Unit 4: Nouns
 内容・方法: Be + Adjective + Noun
- 【第8回】
 テーマ: Unit 5: The Verb Have
 内容・方法: Statements, Questions, Answers
- 【第9回】
 テーマ: Unit 5: The Verb Have
 内容・方法: Some/Any
- 【第10回】
 テーマ: Term Test 2
 内容・方法:
- 【第11回】
 テーマ: Unit 6: This/That/Those
 内容・方法: Using each form correctly
- 【第12回】
 テーマ: Unit 6: Possessives
 内容・方法: Pronouns, Adjectives, Questions with whose
- 【第13回】
 テーマ: Unit 7: There is/ There are
 内容・方法: Asking and answering questions
- 【第14回】
 テーマ: Unit 7: Articles
 内容・方法: A/An versus The
- 【第15回】

テーマ : Term Test 3
内容・方法 : Final examination explanation.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題 : Read the course outline. Buy the textbook.

事後学修課題 : Buy the textbook. Homework assignment.

【第2回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第3回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第4回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments. Prepare for term test 1

【第5回】

事前学修課題 : Review previous lessons for the term test 1.

事後学修課題 : Review your test errors and make corrections. Do the HWK assignments.

【第6回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第7回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第8回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第9回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments. Prepare for term test 2

【第10回】

事前学修課題 : Review previous lessons for the term test 2.

事後学修課題 : Review your test errors and make corrections. Do the HWK assignments.

【第11回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第12回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第13回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第14回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments. Prepare for term test 3

【第15回】

事前学修課題 : Review previous lessons for the term test 3.

事後学修課題 : Review your test errors and make corrections. Submit the final examination.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.
4. The teacher will tell you your current grade at least three times during the semester. In addition, your grades may also be posted regularly on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

The course grade breakdown is as follows:

1. Class participation and classwork activities (30%),
2. 3 term tests (30%)
3. Grammar homework assignments (20%)
4. Final Examination (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	Class participation and classwork activities (30%), 3 term tests (30%).	1, 2, 4
授業外での評価	20	Grammar homework assignments(20%)	3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final Examination (20%)	2, 4
その他	0	none	

テキスト	プリント配布
------	--------

参考書	none
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできるが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13101451	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	英文法 I [対面]				
シラバス執筆(全員)	P.L. ストリックランド				
シラバス執筆(主)	P.L. ストリックランド				
開講年次	カリキュラムによる	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

Through this course students will work systematically through a grammar textbook, with the aim of understanding English grammar taught in English. The teacher will select at least 15 out of the first 30 units from the textbook to focus on. Grammar activities will include a focus on speaking aloud, read-and-look-up, group quizzes, and partner dictation activities in order to maintain a focus on communication and help students develop confidence in their speaking ability.

The course will also include a focus on writing; students will become familiar with a six-step writing process to produce essays, creative writing, and simple research reports. Students will regularly share their work with classmates, and practice discussion skills by focusing on follow-up questions. The course aims to have students build on their knowledge of paragraph writing to produce essays of multiple paragraphs. Students will write for real audiences by submitting work to the IEP Times publication.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Review familiar grammar patterns and learn new grammar usage through individual and pair work
2. Complete at least 15 out of the first 30 units in the textbook (teacher should select units based on students' needs and interests)
3. Apply grammar knowledge to produce accurate writing
4. Use a 6-step writing process (Brainstorm, Outline, Research, Rough Draft, Editing, Final Draft)
5. Improve grammatical accuracy in speaking by using grammatical patterns during speaking drills and short conversation activities.

授業計画

【第1回】

テーマ: Course orientation

内容・方法: Introduce students to Grammar textbook, explain the importance of studying English grammar *in English.* Introduction to writing process (6 steps). Introduce activity types using one of the early units.

【第2回】

テーマ: Topic 1.1: Self-introduction / About my hometown

内容・方法: Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Writing topic brainstorming. Create a bullet-point outline of self-introduction. HW: Write a paragraph based on outline.

【第3回】

テーマ: Topic 1.2: Self-introduction / My new life at university (weekly schedule)

内容・方法: Share previous week's essay and discuss (follow-up questions). Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Writing topic brainstorming. Bullet-point outline. HW: Write a paragraph based on outline.

【第4回】

テーマ: Topic 1.3: Self-introduction / My short-term and long-term goals

内容・方法: Share previous week's essay and discuss (follow-up questions). Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Writing topic brainstorming. Bullet-point outline. HW: Write two short paragraphs based on outline.

【第5回】

テーマ: Topic 1.4 Evaluation 1: Self-introduction Final Draft

内容・方法: In-class review of Topic 1 paragraphs (double check teacher comments, correct and submit as a final draft for a grade). Speaking fluency activity: Summary of topic 1 essay (in groups without looking at script). Grammar review quiz.

【第6回】

テーマ: Topic 2.1 Talking about the past / Anecdote or personal story: Intro

内容・方法: Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Topic brainstorming. Bullet point outline for a three-paragraph essay. HW: Write the introduction paragraph

【第7回】

テーマ: Topic 2.2 Talking about the past / Anecdote: Body

内容・方法: Peer sharing / discussion. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Write rough draft of body paragraph in class, student-teacher conferencing.

【第8回】

テーマ: Topic 2.3 Talking about the past / Anecdote: Conclusion. Midterm grade check

内容・方法 : Peer sharing / discussion. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Write rough draft of concluding paragraph in class, student-teacher conferencing. Midterm grade check / reflection.

【第9回】

テーマ : Topic 2.4 Evaluation 2 / Anecdote or story: Final draft

内容・方法 : In-class review of Topic 2 paragraphs (double check teacher comments, correct and submit as a final draft for a grade). Speaking fluency activity: Summary of topic 2 essay (in groups without looking at script). Grammar review quiz. Submit final draft for IEP Times.

【第10回】

テーマ : Topic 3.1 Persuasive essay: How I will spend my summer (brainstorming & outline)

内容・方法 : This topic was previously used in the OIU English Essay Contest. Instructors should use it as an opportunity to introduce students to the contest and familiarize them with the rubrics, deadlines, etc. Topic brainstorming. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Bullet point outline for a four-paragraph essay: "How should students spend their summer break" HW: Research options for part-time work, internship, travel, etc.

【第11回】

テーマ : Topic 3.2 Persuasive essay: How to spend your summer break (intro)

内容・方法 : Peer sharing / discussion of outlines. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Write rough draft of intro paragraph in class, student-teacher conferencing.

【第12回】

テーマ : Topic 3.3 Persuasive essay: How to spend your summer break (body)

内容・方法 : Peer sharing / discussion. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Write rough draft of body paragraph 1 in class, student-teacher conferencing.

【第13回】

テーマ : Topic 3.4 Persuasive essay: How to spend your summer break (body)

内容・方法 : Peer sharing / discussion. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Write rough draft of body paragraph 2 in class, student-teacher conferencing.

【第14回】

テーマ : Topic 3.5 Persuasive essay: How to spend your summer break (conclusion). Final grade check / reflection.

内容・方法 : Peer sharing / discussion. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Write conclusion paragraph, student-teacher conferencing. Final grade check / reflection.

【第15回】

テーマ : Topic 3.6 Evaluation 3 / Final draft

内容・方法 : In-class review of Topic 3 paragraphs (double check teacher comments, correct and submit as a final draft, either in class or for homework). Speaking fluency activity: Summary of topic 3 essay (in groups without looking at script). Grammar review quiz.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a 1-credit (1単位) course which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題 : None

事後学修課題 : Review

【第2回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week' s topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 1.1

【第3回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week' s topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 1.2

【第4回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week' s topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 1.3

【第5回】

事前学修課題 : Prepare for speaking & grammar evaluation.

事後学修課題 : Review

【第6回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week' s topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 2.1

【第7回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week' s topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 2.2

【第8回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week' s topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 2.3

【第9回】

事前学修課題 : Prepare for speaking & grammar evaluation.

事後学修課題 : Review

- 【第10回】
 事前学修課題：Prepare to speak about previous week's topic.
 事後学修課題：Review, completion and revision of in-class writing 3.1
- 【第11回】
 事前学修課題：Prepare to speak about previous week's topic.
 事後学修課題：Review, completion and revision of in-class writing 3.2
- 【第12回】
 事前学修課題：Prepare to speak about previous week's topic.
 事後学修課題：Review, completion and revision of in-class writing 3.3
- 【第13回】
 事前学修課題：Prepare to speak about previous week's topic.
 事後学修課題：Review, completion and revision of in-class writing 3.4
- 【第14回】
 事前学修課題：Prepare to speak about previous week's topic.
 事後学修課題：Review, preparation for final evaluation
- 【第15回】
 事前学修課題：Review for final evaluation
 事後学修課題：Final review assignment

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly during counseling sessions and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class writing activities, grammar assignments completed as homework, and midterm and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse cannot pass (see attendance policy below).

Grade Breakdown:

Active participation, in-class speaking and grammar activities (20%)
 Weekly paragraph writing assignments (30%)
 Writing evaluations (20%)
 Grammar quizzes (10%)
 Final Report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Active participation, in-class grammar and speaking activities (20), Grammar quizzes (10), Writing evaluations (20)	1, 2, 3, 4, 5
授業外での評価	30	Weekly paragraph writing assignments (30)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final report assignment (20)	1, 2, 3, 4
その他	0		

テキスト	None
参考書	Macmillan English Grammar In Context— Essential with Key; Michael Vince Macmillan Education (January 1, 2008), ISBN 978-1-4050-7051-5 Prints provided by instructor as necessary

履修条件・他の科目との関連	Attendance Policy & Notes: 1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。 2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。 3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。
---------------	---

履修条件・他の科目との関連

4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence.

遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。

5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent.

90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできるが、欠席扱いとなります。

6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities.

BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。

授業コード	13101452	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	英文法 I [対面]				
シラバス執筆(全員)	C. A. スミス				
シラバス執筆(主)	C. A. スミス				
開講年次	カリキュラムによる	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

Through this course students will work systematically through a grammar textbook, with the aim of understanding English grammar taught in English. The teacher will select at least 15 out of the first 30 units from the textbook to focus on. Grammar activities will include a focus on speaking aloud, read-and-look-up, group quizzes, and partner dictation activities in order to maintain a focus on communication and help students develop confidence in their speaking ability.

The course will also include a focus on writing; students will become familiar with a six-step writing process to produce essays, creative writing, and simple research reports. Students will regularly share their work with classmates, and practice discussion skills by focusing on follow-up questions. The course aims to have students build on their knowledge of paragraph writing to produce essays of multiple paragraphs. Students will write for real audiences by submitting work to the IEP Times publication.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Review familiar grammar patterns and learn new grammar usage through individual and pair work
2. Complete at least 15 out of the first 30 units in the textbook (teacher should select units based on students' needs and interests)
3. Apply grammar knowledge to produce accurate writing
4. Use a 6-step writing process (Brainstorm, Outline, Research, Rough Draft, Editing, Final Draft)
5. Improve grammatical accuracy in speaking by using grammatical patterns during speaking drills and short conversation activities.

授業計画

【第1回】

テーマ: Course orientation

内容・方法: Introduce students to Grammar textbook, explain the importance of studying English grammar *in English.* Introduction to writing process (6 steps). Introduce activity types using one of the early units.

【第2回】

テーマ: Topic 1.1: Self-introduction / About my hometown

内容・方法: Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Writing topic brainstorming. Create a bullet-point outline of self-introduction. HW: Write a paragraph based on outline.

【第3回】

テーマ: Topic 1.2: Self-introduction / My new life at university (weekly schedule)

内容・方法: Share previous week's essay and discuss (follow-up questions). Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Writing topic brainstorming. Bullet-point outline. HW: Write a paragraph based on outline.

【第4回】

テーマ: Topic 1.3: Self-introduction / My short-term and long-term goals

内容・方法: Share previous week's essay and discuss (follow-up questions). Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Writing topic brainstorming. Bullet-point outline. HW: Write two short paragraphs based on outline.

【第5回】

テーマ: Topic 1.4 Evaluation 1: Self-introduction Final Draft

内容・方法: In-class review of Topic 1 paragraphs (double check teacher comments, correct and submit as a final draft for a grade). Speaking fluency activity: Summary of topic 1 essay (in groups without looking at script). Grammar review quiz.

【第6回】

テーマ: Topic 2.1 Talking about the past / Anecdote or personal story: Intro

内容・方法: Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Topic brainstorming. Bullet point outline for a three-paragraph essay. HW: Write the introduction paragraph

【第7回】

テーマ: Topic 2.2 Talking about the past / Anecdote: Body

内容・方法: Peer sharing / discussion. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Write rough draft of body paragraph in class, student-teacher conferencing.

【第8回】

テーマ: Topic 2.3 Talking about the past / Anecdote: Conclusion. Midterm grade check

内容・方法 : Peer sharing / discussion. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Write rough draft of concluding paragraph in class, student-teacher conferencing. Midterm grade check / reflection.

【第9回】

テーマ : Topic 2.4 Evaluation 2 / Anecdote or story: Final draft

内容・方法 : In-class review of Topic 2 paragraphs (double check teacher comments, correct and submit as a final draft for a grade). Speaking fluency activity: Summary of topic 2 essay (in groups without looking at script). Grammar review quiz. Submit final draft for IEP Times.

【第10回】

テーマ : Topic 3.1 Persuasive essay: How I will spend my summer (brainstorming & outline)

内容・方法 : This topic was previously used in the OIU English Essay Contest. Instructors should use it as an opportunity to introduce students to the contest and familiarize them with the rubrics, deadlines, etc. Topic brainstorming. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Bullet point outline for a four-paragraph essay: "How should students spend their summer break" HW: Research options for part-time work, internship, travel, etc.

【第11回】

テーマ : Topic 3.2 Persuasive essay: How to spend your summer break (intro)

内容・方法 : Peer sharing / discussion of outlines. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Write rough draft of intro paragraph in class, student-teacher conferencing.

【第12回】

テーマ : Topic 3.3 Persuasive essay: How to spend your summer break (body)

内容・方法 : Peer sharing / discussion. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Write rough draft of body paragraph 1 in class, student-teacher conferencing.

【第13回】

テーマ : Topic 3.4 Persuasive essay: How to spend your summer break (body)

内容・方法 : Peer sharing / discussion. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Write rough draft of body paragraph 2 in class, student-teacher conferencing.

【第14回】

テーマ : Topic 3.5 Persuasive essay: How to spend your summer break (conclusion). Final grade check / reflection.

内容・方法 : Peer sharing / discussion. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Write conclusion paragraph, student-teacher conferencing. Final grade check / reflection.

【第15回】

テーマ : Topic 3.6 Evaluation 3 / Final draft

内容・方法 : In-class review of Topic 3 paragraphs (double check teacher comments, correct and submit as a final draft, either in class or for homework). Speaking fluency activity: Summary of topic 3 essay (in groups without looking at script). Grammar review quiz.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a 1-credit (1単位) course which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題 : None

事後学修課題 : Review

【第2回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week' s topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 1.1

【第3回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week' s topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 1.2

【第4回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week' s topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 1.3

【第5回】

事前学修課題 : Prepare for speaking & grammar evaluation.

事後学修課題 : Review

【第6回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week' s topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 2.1

【第7回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week' s topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 2.2

【第8回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week' s topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 2.3

【第9回】

事前学修課題 : Prepare for speaking & grammar evaluation.

事後学修課題 : Review

- 【第10回】
 事前学修課題：Prepare to speak about previous week's topic.
 事後学修課題：Review, completion and revision of in-class writing 3.1
- 【第11回】
 事前学修課題：Prepare to speak about previous week's topic.
 事後学修課題：Review, completion and revision of in-class writing 3.2
- 【第12回】
 事前学修課題：Prepare to speak about previous week's topic.
 事後学修課題：Review, completion and revision of in-class writing 3.3
- 【第13回】
 事前学修課題：Prepare to speak about previous week's topic.
 事後学修課題：Review, completion and revision of in-class writing 3.4
- 【第14回】
 事前学修課題：Prepare to speak about previous week's topic.
 事後学修課題：Review, preparation for final evaluation
- 【第15回】
 事前学修課題：Review for final evaluation
 事後学修課題：Final review assignment

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly during counseling sessions and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class writing activities, grammar assignments completed as homework, and midterm and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse cannot pass (see attendance policy below).

Grade Breakdown:

Active participation, in-class speaking and grammar activities (20%)
 Weekly paragraph writing assignments (30%)
 Writing evaluations (20%)
 Grammar quizzes (10%)
 Final Report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Active participation, in-class grammar and speaking activities (20), Grammar quizzes (10), Writing evaluations (20)	1, 2, 3, 4, 5
授業外での評価	30	Weekly paragraph writing assignments (30)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final report assignment (20)	1, 2, 3, 4
その他	0		

テキスト	None
参考書	Macmillan English Grammar In Context— Essential with Key; Michael Vince Macmillan Education (January 1, 2008), ISBN 978-1-4050-7051-5 Prints provided by instructor as necessary

履修条件・他の科目との関連	Attendance Policy & Notes: 1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。 2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。 3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。
---------------	---

履修条件・他の科目との関連

4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence.

遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。

5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent.

90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできるが、欠席扱いとなります。

6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities.

BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。

授業コード	13101501	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	英文法Ⅱ [対面]				
シラバス執筆(全員)	S. J. カー				
シラバス執筆(主)	S. J. カー				
開講年次	カリキュラムによる	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

A solid understanding of grammar is essential for reading, writing, listening, and speaking English. This course is designed to improve students' knowledge and understanding of basic grammar and to enhance their four skills. In each class, students will review grammar topics and then engage in a variety of writing, reading and speaking activities in order to consolidate their grammar knowledge. Grammar topics include be verbs, general verbs, progressive tense, future tense, auxiliary verbs, nouns, articles, pronouns, prepositions, adjectives, adverbs, comparisons, imperatives, and exclamations. The goal is to acquire a solid working grammar ability through a variety of class activities. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

到達目標

1. Develop the language skills needed to communicate accurately, meaningfully, and appropriately.
2. Demonstrate understanding of grammar through term tests and final examination.
3. Build fluency and accuracy through grammar homework.
4. Students should be able demonstrate a basic understanding of English grammar through usage, and be able to do simple writing, reading and speaking activities.

授業計画

- 【第1回】
 テーマ: Course Introduction and orientation. Google Classroom registration and explanation.
 内容・方法:
- 【第2回】
 テーマ: Unit 8
 内容・方法: Simple Past Tense
- 【第3回】
 テーマ: Unit 9
 内容・方法: Wh- questions
- 【第4回】
 テーマ: Unit 10
 内容・方法: Imperatives and Prepositions of Direction
- 【第5回】
 テーマ: Term Test 1
 内容・方法: Review of units studied in class and for homework. Term Test.
- 【第6回】
 テーマ: Unit 14
 内容・方法: Can, Know How To, Be Able To, Connectors
- 【第7回】
 テーマ: Unit 15
 内容・方法: Present Progressive Tense
- 【第8回】
 テーマ: Unit 18
 内容・方法: Past Tense
- 【第9回】
 テーマ: Unit 20
 内容・方法: Future Time
- 【第10回】
 テーマ: Term Test 2
 内容・方法:
- 【第11回】
 テーマ: Unit 22
 内容・方法: Comparative Adjectives
- 【第12回】
 テーマ: Unit 22
 内容・方法: Expressing Similarities and Differences
- 【第13回】
 テーマ: Unit 23
 内容・方法: Comparative Adverbs
- 【第14回】
 テーマ: Unit 24
 内容・方法: Superlatives
- 【第15回】

テーマ : Term Test 3
内容・方法 : Final examination explanation.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題 : Read the course outline. Buy the textbook.

事後学修課題 : Buy the textbook. Homework assignment.

【第2回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第3回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第4回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments. Prepare for term test 1

【第5回】

事前学修課題 : Review previous lessons for the term test 1.

事後学修課題 : Review your test errors and make corrections. Do the HWK assignments.

【第6回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第7回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第8回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第9回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments. Prepare for term test 2

【第10回】

事前学修課題 : Review previous lessons for the term test 2.

事後学修課題 : Review your test errors and make corrections. Do the HWK assignments.

【第11回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第12回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第13回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第14回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments. Prepare for term test 3

【第15回】

事前学修課題 : Review previous lessons for the term test 3.

事後学修課題 : Review your test errors and make corrections. Submit the final examination.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.
4. The teacher will tell you your current grade at least three times during the semester. In addition, your grades may also be posted regularly on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

The course grade breakdown is as follows:

1. Class participation and classwork activities (30%),
2. 3 term tests (30%)
3. Grammar homework assignments (20%)
4. Final Examination (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	Class participation and classwork activities (30%), 3 term tests (30%).	1, 2, & 4
授業外での評価	20	Grammar homework assignments(20%)	3 & 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final Examination (20%)	2 & 4
その他	0	none	

テキスト	プリント配布
------	--------

参考書	none
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	---

授業コード	13101502	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	英文法Ⅱ [対面]				
シラバス執筆(全員)	J. D. ラッセル				
シラバス執筆(主)	J. D. ラッセル				
開講年次	カリキュラムによる	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

A solid understanding of grammar is essential for reading, writing, listening, and speaking English. This course is designed to improve students' knowledge and understanding of basic grammar and to enhance their four skills. In each class, students will review grammar topics and then engage in a variety of writing, reading and speaking activities in order to consolidate their grammar knowledge. Grammar topics include be verbs, general verbs, progressive tense, future tense, auxiliary verbs, nouns, articles, pronouns, prepositions, adjectives, adverbs, comparisons, imperatives, and exclamations. The goal is to acquire a solid working grammar ability through a variety of class activities. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

到達目標

1. Develop the language skills needed to communicate accurately, meaningfully, and appropriately.
2. Demonstrate understanding of grammar through term tests and final examination.
3. Build fluency and accuracy through grammar homework.
4. Students should be able demonstrate a basic understanding of English grammar through usage, and be able to do simple writing, reading and speaking activities.

授業計画

- 【第1回】
 テーマ: Course Introduction and orientation. Google Classroom registration and explanation.
 内容・方法:
- 【第2回】
 テーマ: Unit 8
 内容・方法: Simple Past Tense
- 【第3回】
 テーマ: Unit 9
 内容・方法: Wh- questions
- 【第4回】
 テーマ: Unit 10
 内容・方法: Imperatives and Prepositions of Direction
- 【第5回】
 テーマ: Term Test 1
 内容・方法: Review of units studied in class and for homework. Term Test.
- 【第6回】
 テーマ: Unit 14
 内容・方法: Can, Know How To, Be Able To, Connectors
- 【第7回】
 テーマ: Unit 15
 内容・方法: Present Progressive Tense
- 【第8回】
 テーマ: Unit 18
 内容・方法: Past Tense
- 【第9回】
 テーマ: Unit 20
 内容・方法: Future Time
- 【第10回】
 テーマ: Term Test 2
 内容・方法:
- 【第11回】
 テーマ: Unit 22
 内容・方法: Comparative Adjectives
- 【第12回】
 テーマ: Unit 22
 内容・方法: Expressing Similarities and Differences
- 【第13回】
 テーマ: Unit 23
 内容・方法: Comparative Adverbs
- 【第14回】
 テーマ: Unit 24
 内容・方法: Superlatives
- 【第15回】

テーマ : Term Test 3
内容・方法 : Final examination explanation.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題 : Read the course outline. Buy the textbook.

事後学修課題 : Buy the textbook. Homework assignment.

【第2回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第3回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第4回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments. Prepare for term test 1

【第5回】

事前学修課題 : Review previous lessons for the term test 1.

事後学修課題 : Review your test errors and make corrections. Do the HWK assignments.

【第6回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第7回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第8回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第9回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments. Prepare for term test 2

【第10回】

事前学修課題 : Review previous lessons for the term test 2.

事後学修課題 : Review your test errors and make corrections. Do the HWK assignments.

【第11回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第12回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第13回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments.

【第14回】

事前学修課題 : Check that you did all your homework. Review and understand the grammar explanation and examples of the lesson units.

事後学修課題 : Review and study up on the grammar explanation and examples of the lesson units. Do the HWK assignments. Prepare for term test 3

【第15回】

事前学修課題 : Review previous lessons for the term test 3.

事後学修課題 : Review your test errors and make corrections. Submit the final examination.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.
4. The teacher will tell you your current grade at least three times during the semester. In addition, your grades may also be posted regularly on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

The course grade breakdown is as follows:

1. Class participation and classwork activities (30%),
2. 3 term tests (30%)
3. Grammar homework assignments (20%)
4. Final Examination (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	Class participation and classwork activities (30%), 3 term tests (30%).	1, 2, & 4
授業外での評価	20	Grammar homework assignments(20%)	3 & 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final Examination (20%)	2 & 4
その他	0	none	

テキスト	プリント配布
------	--------

参考書	none
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	---

授業コード	13101551	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	英文法Ⅱ [対面]				
シラバス執筆(全員)	P.L. ストリックランド				
シラバス執筆(主)	P.L. ストリックランド				
開講年次	カリキュラムによる	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

Through this course students will work systematically through a grammar textbook, with the aim of understanding English grammar taught in English. The teacher will select at least 15 out of the latter 30 units from the textbook to focus on. Grammar activities will include a focus on speaking aloud, read-and-look-up, group quizzes, and partner dictation activities in order to maintain a focus on communication and help students develop confidence in their speaking ability.

The course will also include a focus on writing; students will become familiar with a six-step writing process to produce essays, creative writing, and simple research reports. Students will regularly share their work with classmates, and practice speaking skills by focusing on follow-up questions. The course aims to have students build on their knowledge of paragraph writing to produce essays of multiple paragraphs. Students will write for real audiences by submitting work to the IEP Times publication.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Review familiar grammar patterns and learn new grammar usage through individual and pair work
2. Complete at least 15 units from the latter half of the textbook (teacher should select units based on students' needs and interests)
3. Apply grammar knowledge to produce accurate writing
4. Use a 6-step writing process (Brainstorm, Outline, Research, Rough Draft, Editing, Final Draft)
5. Improve grammatical accuracy in speaking by using grammatical patterns during speaking drills and short conversation activities.

授業計画

【第1回】

テーマ: Review Summer & Course Goals. Topic 1.1 Intro & Brainstorming

内容・方法: Grammar, Writing Process Review. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Topic brainstorming: "Short-term and long-term study abroad programs." HW: Research about study abroad options, Bullet point outline for a four-paragraph essay.

【第2回】

テーマ: Topic 1.2 Research essay: Study abroad programs (research & intro)

内容・方法: Peer sharing / discussion of outlines. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Continue research, write rough draft of intro paragraph (reasons to study abroad) in class, student-teacher conferencing. Contact IEP upperclassmen who participated in a study abroad program the previous semester for interviews. IEP coordinator can provide a list of contacts.

【第3回】

テーマ: Topic 1.3 Research essay: Study abroad programs (body)

内容・方法: Peer sharing / discussion. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Write rough draft of body paragraphs in class (short-term and long-term study abroad programs), student-teacher conferencing.

【第4回】

テーマ: Topic 1.4 Research essay: Study abroad programs (conclusion)

内容・方法: Peer sharing / discussion. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Write conclusion paragraph (which study abroad program is most interesting to you and why), student-teacher conferencing.

【第5回】

テーマ: Topic 1.5 Evaluation 1 / Study abroad programs: Final draft

内容・方法: In-class review of Topic 1 paragraphs (double check teacher comments, correct and submit as a final draft for a grade). Speaking fluency activity: Oral summary of topic 1 essay (in groups without looking at script). Grammar review quiz.

【第6回】

テーマ: Topic 2.1 - Creative writing (IEP Times English Haiku Assignment)

内容・方法: Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Topic brainstorming. Complete Haiku worksheet #1 - Analyzing English Haiku & favorite seasons

【第7回】

テーマ: Topic 2.2 - Creative writing

内容・方法: Peer sharing / discussion. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Complete Haiku worksheet #2 - Brainstorm ideas and begin Haiku

【第8回】

テーマ: Topic 2.3 - Creative writing. Midterm grade check

内容・方法 : Peer sharing / discussion. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Finish Haiku and complete paragraph explanation rough draft. Teacher conferencing, midterm grade check / reflection.

【第9回】

テーマ : Topic 2.4 Evaluation 2

内容・方法 : In-class review of Haiku & paragraphs (double check teacher comments, correct and submit). Speaking fluency activity: Recitation of Haiku and explanation (in groups without looking at script). Grammar review quiz. Submit final draft for IEP Times.

【第10回】

テーマ : Topic 3.1 Self-selected writing project - Topic brainstorming

内容・方法 : Topic brainstorming. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activities).

【第11回】

テーマ : Topic 3.2 Self-selected writing project - Topic research & outlining

内容・方法 : Peer sharing / discussion. Topic research and outline. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activities).

【第12回】

テーマ : Topic 3.3 Self-selected writing project - 1st draft

内容・方法 : Peer sharing / discussion. Continue topic research and write 1st draft based on outline. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activities).

【第13回】

テーマ : Topic 3.4 Self-selected writing project - Editing & revising

内容・方法 : Peer sharing / discussion. Peer editing. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activities)

【第14回】

テーマ : Topic 3.5 Self-selected writing project - Final draft & grade check

内容・方法 : In-class review of writing project (double check teacher comments, correct and submit as a final draft, either in class or for homework). Grammar review quiz. Final grade check / reflection.

【第15回】

テーマ : Final writing project presentations / discussion

内容・方法 : Project presentations

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a 1-credit (1単位) course which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題 : None

事後学修課題 : Review

【第2回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 1.1

【第3回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 1.2

【第4回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 1.3

【第5回】

事前学修課題 : Prepare for speaking & grammar evaluation.

事後学修課題 : Review

【第6回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 2.1

【第7回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 2.2

【第8回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 2.3

【第9回】

事前学修課題 : Prepare for speaking & grammar evaluation.

事後学修課題 : Review

【第10回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 3.1

【第11回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 3.2

【第12回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 3.3

【第13回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week' s topic.
 事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 3.4
 【第14回】
 事前学修課題 : Prepare to speak about previous week' s topic.
 事後学修課題 : Review, preparation for final evaluation
 【第15回】
 事前学修課題 : Review for final evaluation
 事後学修課題 : Final review assignment

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly during counseling sessions and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class writing activities, grammar assignments completed as homework, and midterm and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse cannot pass (see attendance policy below).

Grade Breakdown:

Active participation, in-class speaking and grammar activities (20%)
 Weekly paragraph writing assignments (30%)
 Writing evaluations (20%)
 Grammar quizzes (10%)
 Final Report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Active participation, in-class grammar and speaking activities (20), Grammar quizzes (10), Writing evaluations (20)	1, 2, 3, 4, 5
授業外での評価	30	Weekly paragraph writing assignments (30)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final report assignment (20)	1, 2, 3, 4
その他	0		

テキスト	None
参考書	Macmillan English Grammar In Context— Essential with Key; Michael Vince Macmillan Education (January 1, 2008), ISBN 978-1-4050-7051-5 Prints provided by instructor as necessary

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来るのが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできるが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	---

授業コード	13101552	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	英文法Ⅱ [対面]				
シラバス執筆(全員)	C. A. スミス				
シラバス執筆(主)	C. A. スミス				
開講年次	カリキュラムによる	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

Through this course students will work systematically through a grammar textbook, with the aim of understanding English grammar taught in English. The teacher will select at least 15 out of the latter 30 units from the textbook to focus on. Grammar activities will include a focus on speaking aloud, read-and-look-up, group quizzes, and partner dictation activities in order to maintain a focus on communication and help students develop confidence in their speaking ability.

The course will also include a focus on writing; students will become familiar with a six-step writing process to produce essays, creative writing, and simple research reports. Students will regularly share their work with classmates, and practice speaking skills by focusing on follow-up questions. The course aims to have students build on their knowledge of paragraph writing to produce essays of multiple paragraphs. Students will write for real audiences by submitting work to the IEP Times publication.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Review familiar grammar patterns and learn new grammar usage through individual and pair work
2. Complete at least 15 units from the latter half of the textbook (teacher should select units based on students' needs and interests)
3. Apply grammar knowledge to produce accurate writing
4. Use a 6-step writing process (Brainstorm, Outline, Research, Rough Draft, Editing, Final Draft)
5. Improve grammatical accuracy in speaking by using grammatical patterns during speaking drills and short conversation activities.

授業計画

【第1回】

テーマ: Review Summer & Course Goals. Topic 1.1 Intro & Brainstorming

内容・方法: Grammar, Writing Process Review. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Topic brainstorming: "Short-term and long-term study abroad programs." HW: Research about study abroad options, Bullet point outline for a four-paragraph essay.

【第2回】

テーマ: Topic 1.2 Research essay: Study abroad programs (research & intro)

内容・方法: Peer sharing / discussion of outlines. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Continue research, write rough draft of intro paragraph (reasons to study abroad) in class, student-teacher conferencing. Contact IEP upperclassmen who participated in a study abroad program the previous semester for interviews. IEP coordinator can provide a list of contacts.

【第3回】

テーマ: Topic 1.3 Research essay: Study abroad programs (body)

内容・方法: Peer sharing / discussion. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Write rough draft of body paragraphs in class (short-term and long-term study abroad programs), student-teacher conferencing.

【第4回】

テーマ: Topic 1.4 Research essay: Study abroad programs (conclusion)

内容・方法: Peer sharing / discussion. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Write conclusion paragraph (which study abroad program is most interesting to you and why), student-teacher conferencing.

【第5回】

テーマ: Topic 1.5 Evaluation 1 / Study abroad programs: Final draft

内容・方法: In-class review of Topic 1 paragraphs (double check teacher comments, correct and submit as a final draft for a grade). Speaking fluency activity: Oral summary of topic 1 essay (in groups without looking at script). Grammar review quiz.

【第6回】

テーマ: Topic 2.1 - Creative writing (IEP Times English Haiku Assignment)

内容・方法: Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Topic brainstorming. Complete Haiku worksheet #1 - Analyzing English Haiku & favorite seasons

【第7回】

テーマ: Topic 2.2 - Creative writing

内容・方法: Peer sharing / discussion. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Complete Haiku worksheet #2 - Brainstorm ideas and begin Haiku

【第8回】

テーマ: Topic 2.3 - Creative writing. Midterm grade check

内容・方法 : Peer sharing / discussion. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activity). Finish Haiku and complete paragraph explanation rough draft. Teacher conferencing, midterm grade check / reflection.

【第9回】

テーマ : Topic 2.4 Evaluation 2

内容・方法 : In-class review of Haiku & paragraphs (double check teacher comments, correct and submit). Speaking fluency activity: Recitation of Haiku and explanation (in groups without looking at script). Grammar review quiz. Submit final draft for IEP Times.

【第10回】

テーマ : Topic 3.1 Self-selected writing project - Topic brainstorming

内容・方法 : Topic brainstorming. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activities).

【第11回】

テーマ : Topic 3.2 Self-selected writing project - Topic research & outlining

内容・方法 : Peer sharing / discussion. Topic research and outline. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activities).

【第12回】

テーマ : Topic 3.3 Self-selected writing project - 1st draft

内容・方法 : Peer sharing / discussion. Continue topic research and write 1st draft based on outline. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activities).

【第13回】

テーマ : Topic 3.4 Self-selected writing project - Editing & revising

内容・方法 : Peer sharing / discussion. Peer editing. Teacher-selected grammar unit (pronunciation/fluency drills/spoken output activities)

【第14回】

テーマ : Topic 3.5 Self-selected writing project - Final draft & grade check

内容・方法 : In-class review of writing project (double check teacher comments, correct and submit as a final draft, either in class or for homework). Grammar review quiz. Final grade check / reflection.

【第15回】

テーマ : Final writing project presentations / discussion

内容・方法 : Project presentations

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a 1-credit (1単位) course which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題 : None

事後学修課題 : Review

【第2回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 1.1

【第3回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 1.2

【第4回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 1.3

【第5回】

事前学修課題 : Prepare for speaking & grammar evaluation.

事後学修課題 : Review

【第6回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 2.1

【第7回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 2.2

【第8回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 2.3

【第9回】

事前学修課題 : Prepare for speaking & grammar evaluation.

事後学修課題 : Review

【第10回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 3.1

【第11回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 3.2

【第12回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week's topic.

事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 3.3

【第13回】

事前学修課題 : Prepare to speak about previous week' s topic.
 事後学修課題 : Review, completion and revision of in-class writing 3.4
 【第14回】
 事前学修課題 : Prepare to speak about previous week' s topic.
 事後学修課題 : Review, preparation for final evaluation
 【第15回】
 事前学修課題 : Review for final evaluation
 事後学修課題 : Final review assignment

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly during counseling sessions and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class writing activities, grammar assignments completed as homework, and midterm and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse cannot pass (see attendance policy below).

Grade Breakdown:

Active participation, in-class speaking and grammar activities (20%)
 Weekly paragraph writing assignments (30%)
 Writing evaluations (20%)
 Grammar quizzes (10%)
 Final Report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Active participation, in-class grammar and speaking activities (20), Grammar quizzes (10), Writing evaluations (20)	1, 2, 3, 4, 5
授業外での評価	30	Weekly paragraph writing assignments (30)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final report assignment (20)	1, 2, 3, 4
その他	0		

テキスト	None
参考書	Macmillan English Grammar In Context— Essential with Key; Michael Vince Macmillan Education (January 1, 2008), ISBN 978-1-4050-7051-5 Prints provided by instructor as necessary

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできるが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13104701	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Integrated English I [対面]				
シラバス執筆(全員)	S. ハティング				
シラバス執筆(主)	S. ハティング				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this class, you will develop your English listening and reading skills in order to improve understanding of how English is used in business and professional situations. This course will also introduce you to strategies to improve performance on the TOEIC test. Specifically, you will do the following:

- Learn the structure and format of the TOEIC Listening and Reading sections
- Actively use test-taking strategies for each section
- Study a variety of grammatical forms and vocabulary commonly used in professional communication
- Regularly practice TOEIC questions and take practice tests

Several class meetings may be used to hold joint events such as orientations, group presentations, explanations of study abroad programs and the TOEIC-IP Test

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Improve listening and reading skills for professional situations
2. Build knowledge of vocabulary and grammatical structures used in business communication
3. Apply their knowledge and skills to the TOEIC Listening and Reading test

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：IEP Orientation
 内容・方法：Explanation of TOEIC Listening and Reading Test
- 【第2回】
 テーマ：Unit 1 Photographs
 内容・方法：Textbook pages 9-16,
- 【第3回】
 テーマ：Unit 2 Question Response
 内容・方法：Textbook pages 17-22
- 【第4回】
 テーマ：Unit 3 Short Conversations
 内容・方法：Textbook pages 23-30
- 【第5回】
 テーマ：Unit 4 Short Talks
 内容・方法：Textbook pages 31-38
- 【第6回】
 テーマ：Review
 内容・方法：Textbook Review
- 【第7回】
 テーマ：Evaluation
 内容・方法：Practice TOEIC Test A (Listening)
- 【第8回】
 テーマ：Midterm check
 内容・方法：Midterm grade check & reflection.
- 【第9回】
 テーマ：Unit 5 Incomplete Sentences
 内容・方法：Textbook pages 39-45
- 【第10回】
 テーマ：Unit 6 Text Completion
 内容・方法：Textbook pages 46-55
- 【第11回】
 テーマ：Unit 7 Reading Comprehension
 内容・方法：Textbook pages 56-65.
- 【第12回】
 テーマ：Evaluation
 内容・方法：Practice TOEIC Test A (Reading)
- 【第13回】
 テーマ：Review
 内容・方法：Textbook Review
- 【第14回】
 テーマ：Final Evaluation
 内容・方法：TOEIC Review Test 1, Review of semester. Final grade check & reflection.

【第15回】

テーマ： Joint Class (This class will be used to hold the TOEIC-IP Test)

内容・方法： TOEIC-IP Test

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。毎回の授業前に約30分の予習課題を行い、授業後に約30分の復習課題を行います。

A total of 45 hours of study is required per 1-credit course, including class (calculated as 2 hours per session) and pre- and post-work study. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題： Purchase the Textbook

事後学修課題： Review vocabulary and strategies

【第2回】

事前学修課題： Pre-study pages 9-16

事後学修課題： Review vocabulary and strategies

【第3回】

事前学修課題： Pre-study pages 17-22

事後学修課題： Review vocabulary and strategies

【第4回】

事前学修課題： Pre-study pages 23-30

事後学修課題： Review vocabulary and strategies

【第5回】

事前学修課題 Pre-study pages 31-38

事後学修課題： Review vocabulary and strategies

【第6回】

事前学修課題： Review Textbook, study for Practice Test

事後学修課題： Review vocabulary and strategies

【第7回】

事前学修課題： Review Textbook

事後学修課題： Review vocabulary and strategies, catch up on any missed work

【第8回】

事前学修課題： Pre-study pages 39-45

事後学修課題： Review vocabulary and strategies

【第9回】

事前学修課題： Pre-study pages 46-55

事後学修課題： Review vocabulary and strategies

【第10回】

事前学修課題： Pre-study pages 56-65

事後学修課題： Review vocabulary and strategies

【第11回】

事前学修課題： Review Photographs and Complete Sentences

事後学修課題： Review vocabulary and strategies

【第12回】

事前学修課題： Review Textbook, study for Practice Test

事後学修課題： Review vocabulary and strategies

【第13回】

事前学修課題： Review Conversations, Talks, and Reading Comprehension

事後学修課題： Review vocabulary and strategies

【第14回】

事前学修課題： Review for Final Evaluation

事後学修課題： Prepare for TOEIC-IP

【第15回】

事前学修課題： Prepare for TOEIC-IP

事後学修課題： Final Evaluation Report

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on assignments completed in and out of class, in-class vocabulary quizzes, and reading skills evaluation. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course if they comply with the attendance policy (see below).

Grade Breakdown:

Active participation and in-class work (40)

TOEIC practice exam sections (20)
 Homework assignments (30)
 Final Evaluation (10)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	Active participation and in-class work (40), TOEIC practice exam sections (20)	1, 2, 3
授業外での評価	30	Homework assignments (30)	1, 2, 3
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10	Final Evaluation	1, 2, 3
その他	0		

テキスト	Tactics for the TOEIC® Test, Reading and Listening Test, Introductory Course: Student's Book Grant Trew. 2007 Oxford University Press. ISBN: 978-0-19-452976-1
------	---

参考書	None
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13104702	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Integrated English I [対面]				
シラバス執筆(全員)	J. エチャャー				
シラバス執筆(主)	J. エチャャー				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this class, you will develop your English listening and reading skills in order to improve understanding of how English is used in business and professional situations. This course will also introduce you to strategies to improve performance on the TOEIC test. Specifically, you will do the following:

- Learn the structure and format of the TOEIC Listening and Reading sections
- Actively use test-taking strategies for each section
- Study a variety of grammatical forms and vocabulary commonly used in professional communication
- Regularly practice TOEIC questions and take practice tests

Several class meetings may be used to hold joint events such as orientations, group presentations, explanations of study abroad programs and the TOEIC-IP Test

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Improve listening and reading skills for professional situations
2. Build knowledge of vocabulary and grammatical structures used in business communication
3. Apply their knowledge and skills to the TOEIC Listening and Reading test

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：IEP Orientation
 内容・方法：Explanation of TOEIC Listening and Reading Test
- 【第2回】
 テーマ：Unit 1 Photographs
 内容・方法：Textbook pages 9-16,
- 【第3回】
 テーマ：Unit 2 Question Response
 内容・方法：Textbook pages 17-22
- 【第4回】
 テーマ：Unit 3 Short Conversations
 内容・方法：Textbook pages 23-30
- 【第5回】
 テーマ：Unit 4 Short Talks
 内容・方法：Textbook pages 31-38
- 【第6回】
 テーマ：Review
 内容・方法：Textbook Review
- 【第7回】
 テーマ：Evaluation
 内容・方法：Practice TOEIC Test A (Listening)
- 【第8回】
 テーマ：Midterm check
 内容・方法：Midterm grade check & reflection.
- 【第9回】
 テーマ：Unit 5 Incomplete Sentences
 内容・方法：Textbook pages 39-45
- 【第10回】
 テーマ：Unit 6 Text Completion
 内容・方法：Textbook pages 46-55
- 【第11回】
 テーマ：Unit 7 Reading Comprehension
 内容・方法：Textbook pages 56-65.
- 【第12回】
 テーマ：Evaluation
 内容・方法：Practice TOEIC Test A (Reading)
- 【第13回】
 テーマ：Review
 内容・方法：Textbook Review
- 【第14回】
 テーマ：Final Evaluation
 内容・方法：TOEIC Review Test 1, Review of semester. Final grade check & reflection.

【第15回】

テーマ： Joint Class (This class will be used to hold the TOEIC-IP Test)

内容・方法： TOEIC-IP Test

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。毎回の授業前に約30分の予習課題を行い、授業後に約30分の復習課題を行います。

A total of 45 hours of study is required per 1-credit course, including class (calculated as 2 hours per session) and pre- and post-work study. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題： Purchase the Textbook

事後学修課題： Review vocabulary and strategies

【第2回】

事前学修課題： Pre-study pages 9-16

事後学修課題： Review vocabulary and strategies

【第3回】

事前学修課題： Pre-study pages 17-22

事後学修課題： Review vocabulary and strategies

【第4回】

事前学修課題： Pre-study pages 23-30

事後学修課題： Review vocabulary and strategies

【第5回】

事前学修課題 Pre-study pages 31-38

事後学修課題： Review vocabulary and strategies

【第6回】

事前学修課題： Review Textbook, study for Practice Test

事後学修課題： Review vocabulary and strategies

【第7回】

事前学修課題： Review Textbook

事後学修課題： Review vocabulary and strategies, catch up on any missed work

【第8回】

事前学修課題： Pre-study pages 39-45

事後学修課題： Review vocabulary and strategies

【第9回】

事前学修課題： Pre-study pages 46-55

事後学修課題： Review vocabulary and strategies

【第10回】

事前学修課題： Pre-study pages 56-65

事後学修課題： Review vocabulary and strategies

【第11回】

事前学修課題： Review Photographs and Complete Sentences

事後学修課題： Review vocabulary and strategies

【第12回】

事前学修課題： Review Textbook, study for Practice Test

事後学修課題： Review vocabulary and strategies

【第13回】

事前学修課題： Review Conversations, Talks, and Reading Comprehension

事後学修課題： Review vocabulary and strategies

【第14回】

事前学修課題： Review for Final Evaluation

事後学修課題： Prepare for TOEIC-IP

【第15回】

事前学修課題： Prepare for TOEIC-IP

事後学修課題： Final Evaluation Report

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on assignments completed in and out of class, in-class vocabulary quizzes, and reading skills evaluation. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course if they comply with the attendance policy (see below).

Grade Breakdown:

Active participation and in-class work (40)

TOEIC practice exam sections (20)
 Homework assignments (30)
 Final Evaluation (10)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	Active participation and in-class work (40), TOEIC practice exam sections (20)	1, 2, 3
授業外での評価	30	Homework assignments (30)	1, 2, 3
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10	Final Evaluation	1, 2, 3
その他	0		

テキスト	Tactics for the TOEIC® Test, Reading and Listening Test, Introductory Course: Student's Book Grant Trew. 2007 Oxford University Press. ISBN: 978-0-19-452976-1
------	---

参考書	None
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13104801	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Integrated English II [対面]				
シラバス執筆(全員)	S. ハティング				
シラバス執筆(主)	S. ハティング				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this class, you will develop your English listening and reading skills in order to improve understanding of how English is used in business and professional situations. This course will also introduce you to strategies to improve performance on the TOEIC test. Specifically, you will do the following:

- Learn the structure and format of the TOEIC Listening and Reading sections
- Actively use test-taking strategies for each section
- Study a variety of grammatical forms and vocabulary commonly used in professional communication
- Regularly practice TOEIC questions and take practice tests

Several class meetings may be used to hold joint events such as orientations, group presentations, explanations of study abroad programs and the TOEIC-IP Test

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Improve listening and reading skills for professional situations
2. Build knowledge of vocabulary and grammatical structures used in business communication
3. Apply their knowledge and skills to the TOEIC Listening and Reading test

授業計画

- 【第1回】
 テーマ: Review summer TOEIC results, Unit 8 Photographs
 内容・方法: Textbook pages 66-72
- 【第2回】
 テーマ: Possible student exchange activity (Nanyang Polytech)
 内容・方法: Textbook pages 66-72
- 【第3回】
 テーマ: Unit 9 Question-Response
 内容・方法: Textbook pages 73-79
- 【第4回】
 テーマ: Unit 10 Short Conversations
 内容・方法: Textbook pages 80-86
- 【第5回】
 テーマ: Unit 11 Short Talks
 内容・方法: Textbook pages 87-93
- 【第6回】
 テーマ: Review
 内容・方法: Textbook Review
- 【第7回】
 テーマ: Evaluation
 内容・方法: Practice TOEIC Test B (Listening)
- 【第8回】
 テーマ: Unit 12 Incomplete Sentences
 内容・方法: Textbook pages 94-101
- 【第9回】
 テーマ: Unit 13 Text Completion
 内容・方法: Textbook pages 102-111
- 【第10回】
 テーマ: Unit 14 Reading Comprehension
 内容・方法: Textbook pages 112-121
- 【第11回】
 テーマ: Evaluation
 内容・方法: Practice TOEIC Test B (Reading)
- 【第12回】
 テーマ: Review
 内容・方法: Review textbook and practice tests
- 【第13回】
 テーマ: Review
 内容・方法: Review Test 2 in class, group activities
- 【第14回】
 テーマ: TOEIC-IP
 内容・方法: (This class will be used to hold the TOEIC-IP Test)

【第15回】

テーマ : Semester Review

内容・方法 : Final grade check, reflection, and goal setting.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。毎回の授業前に約30分の予習課題を行い、授業後に約30分の復習課題を行います。

A total of 45 hours of study is required per 1-credit course, including class (calculated as 2 hours per session) and pre- and post-work study. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題 : Prepare report on summer projects

事後学修課題 : Review

【第2回】

事前学修課題 : Pre-study pages 66-72

事後学修課題 : Review vocabulary and strategies

【第3回】

事前学修課題 : Pre-study pages 73-79

事後学修課題 : Review vocabulary and strategies

【第4回】

事前学修課題 : Pre-study pages 80-86

事後学修課題 : Review vocabulary and strategies

【第5回】

事前学修課題 : Pre-study pages 87-93

事後学修課題 : Review vocabulary and strategies

【第6回】

事前学修課題 : Review Textbook, study for Practice Test

事後学修課題 : Review vocabulary and strategies

【第7回】

事前学修課題 : Review Textbook

事後学修課題 : Review vocabulary and strategies

【第8回】

事前学修課題 : Pre-study pages 94-101

事後学修課題 : Review vocabulary and strategies

【第9回】

事前学修課題 : Pre-study pages 102-111

事後学修課題 : Review vocabulary and strategies

【第10回】

事前学修課題 : Pre-study pages 112-121

事後学修課題 : Review vocabulary and strategies

【第11回】

事前学修課題 : Review Photographs and Complete Sentences

事後学修課題 : Review vocabulary and strategies

【第12回】

事前学修課題 : Review Textbook, study for Practice Test

事後学修課題 : Review vocabulary and strategies

【第13回】

事前学修課題 : Review for TOEIC-IP

事後学修課題 : Review vocabulary and strategies

【第14回】

事前学修課題 : Review Conversations, Talks, and Reading Comprehension

事後学修課題 : None

【第15回】

事前学修課題 : Review Textbook, study for Practice Test

事後学修課題 : Final reflection report

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on assignments completed in and out of class, in-class vocabulary quizzes, and reading skills evaluation. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course if they comply with the attendance policy (see below).

Grade Breakdown:

Active participation and in-class work (40)

TOEIC practice exam sections (20)
 Homework assignments (30)
 Final Evaluation (10)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	Active participation and in-class work (40), TOEIC practice exam sections (20)	1, 2, 3
授業外での評価	30	Homework assignments (30)	1, 2, 3
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10	Final Evaluation (10)	1, 2, 3
その他	0		

テキスト	Tactics for the TOEIC® Test, Reading and Listening Test, Introductory Course: Student's Book Grant Trew. 2007 Oxford University Press. ISBN: 978-0-19-452976-1
------	---

参考書	None
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13104802	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Integrated English II [対面]				
シラバス執筆(全員)	J. エチャャー				
シラバス執筆(主)	J. エチャャー				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this class, you will develop your English listening and reading skills in order to improve understanding of how English is used in business and professional situations. This course will also introduce you to strategies to improve performance on the TOEIC test. Specifically, you will do the following:

- Learn the structure and format of the TOEIC Listening and Reading sections
- Actively use test-taking strategies for each section
- Study a variety of grammatical forms and vocabulary commonly used in professional communication
- Regularly practice TOEIC questions and take practice tests

Several class meetings may be used to hold joint events such as orientations, group presentations, explanations of study abroad programs and the TOEIC-IP Test

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Improve listening and reading skills for professional situations
2. Build knowledge of vocabulary and grammatical structures used in business communication
3. Apply their knowledge and skills to the TOEIC Listening and Reading test

授業計画

- 【第1回】
 テーマ: Review summer TOEIC results, Unit 8 Photographs
 内容・方法: Textbook pages 66-72
- 【第2回】
 テーマ: Possible student exchange activity (Nanyang Polytech)
 内容・方法: Textbook pages 66-72
- 【第3回】
 テーマ: Unit 9 Question-Response
 内容・方法: Textbook pages 73-79
- 【第4回】
 テーマ: Unit 10 Short Conversations
 内容・方法: Textbook pages 80-86
- 【第5回】
 テーマ: Unit 11 Short Talks
 内容・方法: Textbook pages 87-93
- 【第6回】
 テーマ: Review
 内容・方法: Textbook Review
- 【第7回】
 テーマ: Evaluation
 内容・方法: Practice TOEIC Test B (Listening)
- 【第8回】
 テーマ: Unit 12 Incomplete Sentences
 内容・方法: Textbook pages 94-101
- 【第9回】
 テーマ: Unit 13 Text Completion
 内容・方法: Textbook pages 102-111
- 【第10回】
 テーマ: Unit 14 Reading Comprehension
 内容・方法: Textbook pages 112-121
- 【第11回】
 テーマ: Evaluation
 内容・方法: Practice TOEIC Test B (Reading)
- 【第12回】
 テーマ: Review
 内容・方法: Review textbook and practice tests
- 【第13回】
 テーマ: Review
 内容・方法: Review Test 2 in class, group activities
- 【第14回】
 テーマ: TOEIC-IP
 内容・方法: (This class will be used to hold the TOEIC-IP Test)

【第15回】

テーマ : Semester Review

内容・方法 : Final grade check, reflection, and goal setting.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。毎回の授業前に約30分の予習課題を行い、授業後に約30分の復習課題を行います。

A total of 45 hours of study is required per 1-credit course, including class (calculated as 2 hours per session) and pre- and post-work study. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題 : Prepare report on summer projects

事後学修課題 : Review

【第2回】

事前学修課題 : Pre-study pages 66-72

事後学修課題 : Review vocabulary and strategies

【第3回】

事前学修課題 : Pre-study pages 73-79

事後学修課題 : Review vocabulary and strategies

【第4回】

事前学修課題 : Pre-study pages 80-86

事後学修課題 : Review vocabulary and strategies

【第5回】

事前学修課題 : Pre-study pages 87-93

事後学修課題 : Review vocabulary and strategies

【第6回】

事前学修課題 : Review Textbook, study for Practice Test

事後学修課題 : Review vocabulary and strategies

【第7回】

事前学修課題 : Review Textbook

事後学修課題 : Review vocabulary and strategies

【第8回】

事前学修課題 : Pre-study pages 94-101

事後学修課題 : Review vocabulary and strategies

【第9回】

事前学修課題 : Pre-study pages 102-111

事後学修課題 : Review vocabulary and strategies

【第10回】

事前学修課題 : Pre-study pages 112-121

事後学修課題 : Review vocabulary and strategies

【第11回】

事前学修課題 : Review Photographs and Complete Sentences

事後学修課題 : Review vocabulary and strategies

【第12回】

事前学修課題 : Review Textbook, study for Practice Test

事後学修課題 : Review vocabulary and strategies

【第13回】

事前学修課題 : Review for TOEIC-IP

事後学修課題 : Review vocabulary and strategies

【第14回】

事前学修課題 : Review Conversations, Talks, and Reading Comprehension

事後学修課題 : None

【第15回】

事前学修課題 : Review Textbook, study for Practice Test

事後学修課題 : Final reflection report

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on assignments completed in and out of class, in-class vocabulary quizzes, and reading skills evaluation. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course if they comply with the attendance policy (see below).

Grade Breakdown:

Active participation and in-class work (40)

TOEIC practice exam sections (20)
 Homework assignments (30)
 Final Evaluation (10)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	Active participation and in-class work (40), TOEIC practice exam sections (20)	1, 2, 3
授業外での評価	30	Homework assignments (30)	1, 2, 3
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10	Final Evaluation (10)	1, 2, 3
その他	0		

テキスト	Tactics for the TOEIC® Test, Reading and Listening Test, Introductory Course: Student's Book Grant Trew. 2007 Oxford University Press. ISBN: 978-0-19-452976-1
------	---

参考書	None
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13086701	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	中国語Ⅲ a [対面]				
シラバス執筆(全員)	宋 穎				
シラバス執筆(主)	宋 穎				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

準中級レベルの中国語の文法・語彙を身につけ、「自分の言葉で」会話できる力を養う。
1年生で学んだ中国語から一歩進んで、準中級の会話スタイルのテキストの学習と練習を通して、中国語の会話のしくみを理解して「自分のことばで」会話できるように訓練します。また、テキストの内容を通して、ことばの文化背景についても知識を深めます。

到達目標

1. 中国語の語彙を増やすとともに文法の仕組みを理解すること。
2. 様々な場面に相応しい中国語の会話ができる能力が身につけること。
3. 言葉の文化背景についても客観的な知識を持つこと。

授業計画

- 第1回 オリエンテーション 本授業の特徴、目的及び授業方法など
 第2回 1課 単語、会話「自我介绍」本文の解説と会話の表現練習
 第3回 1課 ポイント(動詞の「上」など4項目)の理解を会話の表現練習
 第4回 2課 単語、会話「找工作」本文の解説と会話の表現練習授業計画
 第5回 2課 ポイント(動詞の「進行表現」など4項目)の理解を会話の表現練習
 第6回 第1課+第2課の復習、補充練習また小テスト
 第7回 3課 会話「我的新工作」本文の解説と会話の表現練習
 第8回 3課 ポイント(動詞の「方位詞」～上“など4項目)の理解を会話の表現練習
 第9回 4課 会話「我们学校的图书馆」本文の解説と会話の表現練習
 第10回 4課 ポイント(動詞の「“听说”“听～说”など4項目)の理解を会話の表現練習
 第11回 第3課+第4課の復習、補充練習また小テスト
 第12回 第5課 会話「我们学校的图书馆」本文の解説と会話の表現練習
 第13回 第5課 ポイント(「“听说”“听～说”など4項目)の理解を会話の表現練習
 第14回 第5課の復習、補充練習また小テスト
 第15回 今学期のまとめ

この科目は後期も6課から継続して学習します。テキストは全12課に各課・巻末の2種類の練習問題がセットになっていますので、進度に合わせて適宜活用します。

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

予習は、テキストをよむとか単語を調べて覚える
 復習は、新たに習ったものを復習し、定着させる。また、あたえられた課題をこなす。

課題に対するフィードバックの方法

試験後、希望者に説明し、試験用紙を返却する。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

授業への取り組み方、テスト、宿題などの平常成績とテストなどの総合評価。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	語彙と文法の理解、授業中の質問に対する回答など	1, 2, 3
授業外での評価	10	予習、復習等の宿題	1
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	授業内の小テスト	1, 2, 3
その他	10	本学期的学習内容によって総合的に判断する	1, 2, 3

テキスト	準中級中国語(会話編) 奥村佳代子・塩山正純・張軼欧 金星堂出版社 ISBN978-4-7647-0711-5C1087 ¥2300
参考書	
履修条件・他の科目との関連	「中国語Ⅰ」と「中国語Ⅱ」を履修した者を対象とする。 「中国語Ⅳ」の同時履修が望ましい。

授業コード	13086801	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	中国語Ⅲb [対面]				
シラバス執筆(全員)	宋 穎				
シラバス執筆(主)	宋 穎				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

準中級レベルの中国語の文法・語彙を身につけ、「自分の言葉で」会話できる力を養う。
1年生で学んだ中国語から一歩進んで、準中級の会話スタイルのテキストの学習と練習を通して、中国語の会話のしくみを理解して「自分のことばで」会話できるように訓練します。また、テキストの内容を通して、ことばの文化背景についても知識を深めます。

到達目標

1. 中国語の語彙を増やすとともに文法の仕組みを理解すること。
2. 様々な場面に相応しい中国語の会話ができる能力が身につけること。
3. 言葉の文化背景についても客観的な知識を持つこと。

授業計画

- 第1回 オリエンテーション 前期内容の復習
 第2回 6課 単語、会話「考试后的放松」本文の解説と会話の表現練習
 第3回 6課 ポイント(“连也/都~”など4項目)の理解を会話の表現練習
 第4回 7課 単語、会話「暑假生活」本文の解説と会話の表現練習
 第5回 7課 ポイント(使役「让」など4項目)の理解を会話の表現練習
 第6回 6課+7課の補足練習、小テストなど
 第7回 8課 単語、会話「一天实习」本文の解説と会話の表現練習 授業計画
 第8回 8課 ポイント(「会~的」など4項目)の理解を会話の表現練習
 第9回 9課 単語、会話「做PPT报告」本文の解説と会話の表現練習
 第10回 9課 ポイント(結果補語 動詞+“成”など4項目)の理解を会話の表現練習
 第11回 8課+9課の補足練習、小テストなど
 第12回 10課 単語、会話「过圣诞节」本文の解説と会話の表現練習
 第13回 10課 ポイント(動詞の“是~的”構文など4項目)の理解を会話の表現練習
 第14回 10課の補足練習、小テストなど
 第15回 今学期のまとめ

テキストは全12課に各課・巻末の2種類の練習問題がセットになっていますので、進度に合わせて適宜活用します。

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

予習は、テキストをよむとか単語を調べて覚える
 復習は、新たに習ったものを復習し、定着させる。また、あたえられた課題をこなす。

課題に対するフィードバックの方法

試験後、希望者に説明し、試験用紙を返却する。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

授業への取り組み方、テスト、宿題などの平常成績とテストなどの総合評価。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	語彙、文法の理解、授業中に対する質問の回答、小テストの成績	1, 2, 3
授業外での評価	10	予習、復習、宿題など	1, 2, 3
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	レポートの完成度	1, 2, 3
その他	10	課題の完成度	1, 2, 3

テキスト	準中級中国語(会話編) 奥村佳代子・塩山正純・張軼欧 金星堂出版社 ISBN978-4-7647-0711-5C108 ¥2300
参考書	
履修条件・他の科目との関連	「中国語Ⅰ」と「中国語Ⅱ」を履修した者を対象とする。 「中国語Ⅳ」の同時履修が望ましい。

授業コード	13086901	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	中国語Ⅳ a [対面]				
シラバス執筆(全員)	侯 月琴				
シラバス執筆(主)	侯 月琴				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

本講義は主に中国語Ⅰと中国語Ⅱをマスターした受講生を対象にする。受講生のニーズに応じて中国語会話を学ぶ。中国へ渡航した際遭遇する場面、例えば入国審査・両替・タクシー・電話・買い物・病院などの様々な日常会話を想定し、学んだ中国語の基礎を応用してもらう。将来中国旅行あるいは卒業後の仕事などにおいて中国人とコミュニケーションするのに少しでも役に立てるようにする。受講生に無理なく日中両語における文型・発想の違いを意識し、理解してもらうために、「会話文」を中国語に訳してもらう。それから、各課の「使ってみる」練習を繰り返すことにより、パターンとなる基本文法を強化し、自ら同じパターンで中国語を書いたり話したりすることができるようにする。徐々に一定のレベルの中国語（話すこと&書くこと）で意思伝達ができるようになってもらう。尚、中国語検定試験（主に4級と3級）を受ける受講生に個別に指導する。

到達目標

1. 中国語の語順を正しく並べる。
2. 筆談で中国語の日常会話ができる。
3. 口頭で簡単な日常中国語会話ができる。

授業計画

【第1回】入国審査

テーマ：入国審査のカウンターで審査官に質問される。

内容・方法：動作が行われる時間がどのぐらいの長さなのかを知りたい時に用いる「多长时间？」（どのぐらいの時間？）を学習し、練習する。

【第2回】

テーマ：荷物の紛失

内容・方法：荷物が見つからず、空港のスタッフに探してもらう。

人やものについてどのような様子なのかを聞く時に用いる「什么样的+人/ものですか？」を学習し、練習する。

【第3回】

テーマ：両替

内容・方法：日本円を人民元に両替したいことを伝える。

両替する時によく用いるパターン「请把A换成B」（AをBに替えて下さい）を学習し、練習する。

【第4回】

テーマ：タクシーに乗る

内容・方法：タクシーの運転手は行き先が分からないようだ。

使役態を表す表現の一つ「A让B～」(AはBに～させます)を学習し、練習する。

【第5回】

テーマ：タクシーの中で①

内容・方法：そろそろ目的地に着きそうだが、もう少し先で停めてほしい。

二つの動作する順番を表すパターン「先～，然后再…」(まず～して、それから…します)を学習し、練習する。

【第6回】

テーマ：タクシーの中で②

内容・方法：タクシーの運転手と話す。

動作を禁止する表現「别+動詞～」/「不要+動詞～」(～するな) or (～しないで下さい)を学習し、練習する。

【第7回】

テーマ：チェックイン

内容・方法：ホテルで何泊するかを伝える。

予定を表す言い方「我+打算+動詞～」(私は～するつもりです)を学習し、練習する。

【第8回】

テーマ：部屋を換える

内容・方法：エアコンの調子が悪く、部屋を換えてほしいことを伝える。

仮定表現の一つ「如果～的话，…」(もし～ならば、…)を学習し、練習する。

【第9回】

テーマ：鍵を部屋に忘れる

内容・方法：鍵を持たずに部屋を出てしまった。

過去・現在・未来の「とき」を修飾するパターン「～的+时候」(～のとき)を学習し、練習する。

【第10回】

テーマ：チェックアウト

内容・方法：支払いは現金以外でもいいか聞く。

排除関係や添加関係を表す「除了～以外，…」(～のほかに…)を学習し、練習する。

【第11回】

テーマ：雑談する①

内容・方法：①自分の趣味について話す。
趣味を表す表現「我的爱好是～」(私の趣味は～です) / 「我爱好～」(私は～趣味を持っています) & 「对～感兴趣」(～に対して興味があります)を学習し、練習する。

②中国に来たことがあることを話す。
経験を表す表現「動詞+过」(～したことがあります)を学習し、練習する。

【第12回】

テーマ：雑談する②

内容・方法：近況について話す。

助詞「着」のパターンを学習し、練習する。

パターン₁：動作の結果・状態の継続を表す「瞬間動詞+着」(～ています)；

パターン₂：一定時間継続する動作を表す「正(在)+継続動詞+着(呢)」(～ています)；

パターン₃：存現文を表す表現「場所+動詞+着+名詞」(場所に～が他動詞+てあります)

【第13回】

テーマ：雑談する③

内容・方法：①勉強と仕事を両立しているようだ。

二つ以上の動作が平行して行われることを表す表現「一边～，一边…」(～しながら、…する)を学習し、練習する。

②万里の長城について話す。

逆接関係を表す表現の一つ「虽然～，但是…」(～だけれどもしかし…)を学習し、練習する。

【第14回】

テーマ：復習

内容・方法：第1回から第13回までの内容を復習し、総合練習する。

【第15回】 考査

内容・方法：日常会話文を中国語に訳してもらう。

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

事前学習として、毎回の課題に出ているパターンの説明に目を通しておくこと & 発音やイントネーションを正しく覚えるためにCDを聞いておくことを求める。
事後学習として、毎回学んだ内容を暗記することを求める。

課題に対するフィードバックの方法

毎回の課題について、クラス全員に対して1人ずつチェックする。そして個々の問題点を明らかにし、理解してもらう。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。
学習態度や課題の提出量及びその質により評価する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	80	授業への取り組み方及び課題の出来具合を参考に評価する。	1.2.3
授業外での評価	0	0	0
定期試験	0	0	0
定期試験に代わるレポート等	20	課題提出	1.2
その他	0	0	0

テキスト 教室で毎回の勉強する内容のプリントを配布する。

参考書 別途指示する。

履修条件・他の科目との関連 中国語I&IIを単位取得したこと。

授業コード	13087001	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	中国語IV b [対面]				
シラバス執筆(全員)	侯 月琴				
シラバス執筆(主)	侯 月琴				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

中国語IVbの学習内容は中国語IVaの続きである。授業の進め方は前期と同じく受講生に無理なく日中両語における文型・発想の違いを意識し、理解してもらうために、「会話文」を中国語に訳してもらう。それから、各課の「使ってみる」練習を繰り返すことによって、パターンとなる基本文法を強化し、自ら同じパターンで中国語を書いたり話したりすることができるようにする。徐々に一定のレベルの中国語で意思伝達ができるようになってもらう。将来中国旅行あるいは卒業後の仕事などにおいて中国人とコミュニケーションするのに少しでも役に立てるようにする。
尚、中国語検定試験（主に4級と3級）を受ける受講生に個別に指導する。

到達目標

1. 中国語の語順を正しく並べる。
2. 筆談で中国語の日常会話ができる。
3. 口頭で簡単な日常中国語会話ができる。

授業計画

【第1回】

テーマ：料理を注文する①

内容・方法：メニューを見て料理を決めているところだ。

ある動作がちょうど進行していることを表す表現「在+動詞～（呢）」（～しているところです）を学習し、練習する。

【第2回】

テーマ：料理を注文する②

内容・方法：料理はまだ出て来ないので、店員に伝える。

近い将来に対する判断を表す表現「快要～了」（もうすぐ～です）を学習し、練習する。

【第3回】

テーマ：道に迷う

内容・方法：道に迷ってしまったため、通行人に聞く。

ある事柄を強制的に例示することによって、他の場合は当然であると類推させる意味を表す表現「连～也／都…」（～さえも…）を学習し、練習する。

【第4回】

テーマ：買い物①

内容・方法：近くにいいスーパーがあるか聞く。

いくつかの動作・状況・状態が重なることを表す表現「又～又…」（～でかつ…）を学習し、練習する。

【第5回】

テーマ：買い物②

内容・方法：試着してもいいか聞く。

全面肯定と全面否定を表す表現「什么都～」（何でも～）を学習し、練習する。

【第6回】

テーマ：空港で

内容・方法：飛行機に間に合うかどうか聞く。

可能補語で慣用表現として用いられる「来得及／来不及」（間に合います／間に合いません）を学習し、練習する。

【第7回】

テーマ：空港で切符を買う

内容・方法：上海から北京までどのくらい時間がかかるか聞く。

時間が必要とされることを表す表現「要～小时」（～時間かかります）を学習し、練習する。

【第8回】

テーマ：バスに乗る

内容・方法：バスの行き先を確認する。

バスや電車が目的地に向かって発車する「开往～」（～行き）パターンを学習し、練習する。

【第9回】

テーマ：電車で

内容・方法：電車が出発しないので、隣の人に話しかける。

原因と理由を述べる場合に用いる表現「因为～，所以…」（～なので、ゆえに…）を学習し、練習する。

【第10回】

テーマ：駅で

内容・方法：列車が何番ホームから出発するか聞く。

比較文表現の一種。二つのものを比較して同じであることを表す表現「跟～一样…」（～と同じで…）を学習し、練習する。

【第11回】

テーマ：病院で

内容・方法：頭が痛くて内科にかかる。

程度が時間の推移とともに高まることを表す表現「越来越～」(ますます～になる) & 条件の発展に従って程度が高まることを表す表現「越～越…」(～すればするほど…)を学習し、練習する。

【第12回】

テーマ：大使館で

内容・方法：パスポートをなくしたので、大使館に来た。

動作の時間、場所、方法を強調する表現「是～的」(～は～のです)を学習し、練習する。

【第13回】

テーマ：タクシーで空港へ

内容・方法：タクシーで空港へ向かっているが、道を間違えたようだ。

可能性があることを表す表現「会～的」(きっと～でしょう)を学習し、練習する。

【第14回】

テーマ：復習

内容・方法：第1回から第13回までの内容を復習し、総合練習する。

【第15回】

テーマ：考査

内容・方法：日常会話文を中国語に訳してもらう。

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

事前学習として、毎回の課題に出ているパターンの説明に目を通しておくこと & 発音やイントネーションを正しく覚えるためにCDを聞いておくことを求める。
事後学習として、毎回学んだ内容を暗記することを求める。

課題に対するフィードバックの方法

毎回の課題について、クラス全員に対して1人ずつチェックする。そして個々の問題点を明らかにし、理解してもらう。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。
学習態度や課題の提出量及びその質により評価する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	80	授業への取り組み方及び課題の出来具合を参考に評価する。	1.2.3
授業外での評価	0	0	0
定期試験	0	0	0
定期試験に代わるレポート等	20	課題提出	1.2
その他	0	0	0

テキスト	教室で毎回の勉強する内容のプリントを配布する。
参考書	別途指示する。
履修条件・他の科目との関連	中国語I&IIを単位取得したこと。

授業コード	13087101	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	中国語Ⅴa [対面]				
シラバス執筆(全員)	鄭 以君				
シラバス執筆(主)	鄭 以君				
開講年次	3年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

この授業では、これまでに勉強してきた中国語の基礎知識を軸に、初級から中級へのレベルアップを目標に、中国語の豊かな表現を反映する語彙や文法事項を繰り返しながら身に付けるように学んでいくと同時に、現代中国についての理解を深めることを目指す。

到達目標

1. 文法ポイントと重要表現をマスターし、読解力を高める。文法ポイントと重要表現を正しく使って、短文作りができる。
2. 授業で取り上げた日常的な表現や中国人の考え方などを知ることにより、中国人とのコミュニケーション力を身につける。
3. 中国語での作文および中国語的な表現の日本語訳ができること。

授業計画

【第1回】
基礎復習
内容・方法：オリエンテーション（授業の進め方）

【第2回】
第1課
内容：新出語句、学習ポイントの習得

【第3回】
第1課
内容：本文の解読、練習問題の完成

【第4回】
第2課
内容：新出語句、学習ポイントの習得

【第5回】
第2課
内容：本文の解読、練習問題の完成

【第6回】
第3課
内容：新出語句、学習ポイントの習得

【第7回】
第3課
内容：本文の解読、練習問題の完成

【第8回】
内容：第1～3課のまとめ復習・小テ復習及び解説

【第9回】
第4課
内容：新出語句、学習ポイントの習得

【第10回】
第4課
内容：本文の解読、練習問題の完成

【第11回】
第5課
内容：新出語句、学習ポイントの習得

【第12回】
第5課
内容：本文の解読、練習問題の完成

【第13回】
第6課
内容：新出語句、学習ポイントの習得

【第14回】
第6課
内容：本文の解読、練習問題の完成

【第15回】
総合復習、考査、質疑応答

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

- ①事前課題：これまでに習った中国語の基礎内容を確認・復習する。
 ②事後課題：授業で説明されたことを確認する。
- 【第2回】
- ①事前課題：第1課の新出語句とポイントを予習する。
 ②事後課題：授業の内容を再度確認し、復習する。
- 【第3回】
- ①事前課題：第1課の本文と練習問題内容を予習する。
 ②事後課題：授業の内容を再度確認し、復習する。
- 【第4回】
- ①事前課題：第2課の新出語句とポイントを予習する。
 ②事後課題：授業の内容を再度確認し、復習する。
- 【第5回】
- ①事前課題：第2課の本文と練習問題内容を予習する。
 ②事後課題：授業の内容を再度確認し、復習する。
- 【第6回】
- ①事前課題：第3課の新出語句とポイントを予習する。
 ②事後課題：授業の内容を再度確認し、復習する。
- 【第7回】
- ①事前課題：第3課の本文と練習問題内容を予習する。
 ②事後課題：授業の内容を再度確認し、復習する。
- 【第8回】
- ①事前課題：第1課～第3課について復習する。
 ②事後課題：これまでの学習内容を再確認する。
- 【第9回】
- ①事前課題：第4課の新出語句とポイントを予習する。
 ②事後課題：授業の内容を再度確認し、復習する。
- 【第10回】
- ①事前課題：第4課の本文と練習問題内容を予習する。
 ②事後課題：授業の内容を再度確認し、復習する。
- 【第11回】
- ①事前課題：第5課の新出語句とポイントを予習する。
 ②事後課題：授業の内容を再度確認し、復習する。
- 【第12回】
- ①事前課題：第5課の本文と練習問題内容を予習する。
 ②事後課題：授業の内容を再度確認し、復習する。
- 【第13回】
- ①事前課題：第6課の新出語句とポイントを予習する。
 ②事後課題：授業の内容を再度確認し、復習する。
- 【第14回】
- ①事前課題：第6課の本文と練習問題内容を予習する。
 ②事後課題：授業の内容を再度確認し、復習する。
- 【第15回】
- ①事前課題：第1課～第6課について復習し、総合考査に備える。
 ②事後課題：前期で気づいた問題点を再確認し、練習する。

課題に対するフィードバックの方法

小テストや提出した課題などを添削後フィードバックを行い、注意点についての説明をする。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

授業への取り組み方、課題レポートの完成、期末試験による総合評価とする。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	授業への取り組み方、課題の完成、小テスト	1, 2, 3
授業外での評価	10	事前事後の予習・復習	1, 2, 3
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	30	レポートの完成度	1, 2, 3
その他	10	課題の完成度	1, 2, 3

テキスト 【16テーマで読む現代中国】及川淳子・朱力 白水社

参考書 日中・中日辞典(出版社の指定は無し)。

履修条件・他の科目との関連 中国語の基礎を習得した者を対象とする。
 中国語V1aの同時履修が望ましい。
 進捗状況によって授業計画を調整する場合がある。

授業コード	13087201	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	中国語Ⅴb [対面]				
シラバス執筆(全員)	鄭 以君				
シラバス執筆(主)	鄭 以君				
開講年次	3年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

前期（中国語Ⅴa）に引き続き、これまでに勉強してきた中国語の基礎知識を軸に、初級から中級へのレベルアップを目標に、中国語の豊かな表現を反映する語彙や文法事項を繰り返しながら身に付けるように学んでいくと同時に、現代中国についての理解を深めることを目指す。

到達目標

1. 文法ポイントと重要表現をマスターし、読解力を高める。文法ポイントと重要表現を正しく使って、短文作りができる。
2. 授業で取り上げた日常的な表現や中国人の考え方などを知ることにより、中国人とのコミュニケーション力を身につける。
3. 中国語での作文および中国語的な表現の日本語訳ができること。

授業計画

- 【第1回】
前期の復習
- 【第2回】
第9課
内容：新出語句、学習ポイントの習得
- 【第3回】
第9課
内容：本文の解説、練習問題の完成
- 【第4回】
第10課
内容：新出語句、学習ポイントの習得
- 【第5回】
第10課
内容：本文の解説、練習問題の完成
- 【第6回】
第11課
内容：新出語句、学習ポイントの習得
- 【第7回】
第11課
内容：本文の解説、練習問題の完成
- 【第8回】
内容：第7～9課のまとめ復習・小テ復習及び解説
- 【第9回】
第12課
内容：新出語句、学習ポイントの習得
- 【第10回】
第12課
内容：本文の解説、練習問題の完成
- 【第11回】
第13課
内容：新出語句、学習ポイントの習得
- 【第12回】
第13課
内容：本文の解説、練習問題の完成
- 【第13回】
第14課
内容：新出語句、学習ポイントの習得
- 【第14回】
第14課
内容：本文の解説、練習問題の完成
- 【第15回】
第9～14課の総合復習、考査、質疑応答

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

- 【第1回】
①事前課題：これまでに習った中国語の基礎内容を確認・復習する。

- ②事後課題：授業で説明されたことを確認する。
【第2回】
 ①事前課題：第9課の新出語句とポイントを予習する。
 ②事後課題：授業の内容を再度確認し、復習する。
【第3回】
 ①事前課題：第9課の本文と練習問題内容を予習する。
 ②事後課題：授業の内容を再度確認し、復習する。
【第4回】
 ①事前課題：第10課の新出語句とポイントを予習する。
 ②事後課題：授業の内容を再度確認し、復習する。
【第5回】
 ①事前課題：第10課の本文と練習問題内容を予習する。
 ②事後課題：授業の内容を再度確認し、復習する。
【第6回】
 ①事前課題：第11課の新出語句とポイントを予習する。
 ②事後課題：授業の内容を再度確認し、復習する。
【第7回】
 ①事前課題：第11課の本文と練習問題内容を予習する。
 ②事後課題：授業の内容を再度確認し、復習する。
【第8回】
 ①事前課題：第9課～第11課について復習する。
 ②事後課題：これまでの学習内容を再確認する。
【第9回】
 ①事前課題：第12課の新出語句とポイントを予習する。
 ②事後課題：授業の内容を再度確認し、復習する。
【第10回】
 ①事前課題：第12課の本文と練習問題内容を予習する。
 ②事後課題：授業内容を再度確認し、復習する。
【第11回】
 ①事前課題：第13課の新出語句とポイントを予習する。
 ②事後課題：授業の内容を再度確認し、復習する。
【第12回】
 ①事前課題：第13課の本文と練習問題内容を予習する。
 ②事後課題：授業の内容を再度確認し、復習する。
【第13回】
 ①事前課題：第14課の新出語句とポイントを予習する。
 ②事後課題：授業の内容を再度確認し、復習する。
【第14回】
 ①事前課題：第14課の本文と練習問題内容を予習する。
 ②事後課題：授業の内容を再度確認し、復習する。
【第15回】
 ①事前課題：第9課～第14課について復習し、総合考査に備える。
 ②事後課題：後期で気づいた問題点を再確認し、練習する。

課題に対するフィードバックの方法

小テストや提出した課題などを添削後フィードバックを行い、注意点についての説明をする。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

授業への取り組み方、課題レポートの完成、期末試験による総合評価とする。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	授業への取り組み方、課題の完成、小テストの成績	1, 2, 3
授業外での評価	10	事前事後の予習・復習	1, 2, 3
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	30	レポートの完成度	1, 2, 3
その他	10	課題の完成度	1, 2, 3

テキスト 【16テーマで読む現代中国】及川淳子・朱力 白水社

参考書 日中・中日辞典(出版社の指定は無し)。

履修条件・他の科目との関連 中国語の基礎を習得した者を対象とする。
 中国語VIbの同時履修が望ましい。
 進捗状況によって授業計画を調整する場合がある。

授業コード	13087301	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	中国語Ⅵa [対面]				
シラバス執筆(全員)	宋 穎				
シラバス執筆(主)	宋 穎				
開講年次	3年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

二年間勉強してきた中国語を、ただ習っただけで終わることなく、中国語を実際に使えるように聴く、読む、書く、話すと全般的に習得することを目的とする。授業では四技能のうち、特に聴解と会話を重視する。また、就職時のことをも視野に入れて中国語の資格獲得ができるように資格の参考書等も取り入れる。
授業で、映像を見ながら、会話文と読解文を学習します。中国語を学ぶことと同時に、中国文化への理解も深めてもらうねらいです。

到達目標

1. 中国語でコミュニケーション能力（話す力、聴く力）を高めること。
2. 言葉の文化背景についても客観的な知識を持つこと。

授業計画

- 【第1回】 授業のオリエンテーション：授業方法、成績評価などの説明
- 【第2回】 Unit 1 「新環境・新朋友」 (1-1) 会話文の解説と会話練習
- 【第3回】 Unit 1 「新環境・新朋友」 (1-2) 会話文の解説と会話練習
- 【第4回】 自己紹介に関する補足練習と復習 Unit 1に関する筆記テスト①
- 【第5回】 Unit 2 「哥哥还是大学生」 (2-1) 会話文の解説と会話練習
- 【第6回】 Unit 2 「哥哥还是大学生」 (2-2) 会話文の解説と会話練習
- 【第7回】 家庭に関する表現、趣味等の表現と会話練習 Unit 2に関する筆記テスト②
- 【第8回】 Unit 3 「祝你生日快乐」 (3-1) 会話文の解説と会話練習
- 【第9回】 Unit 3 「祝你生日快乐」 (3-2) 会話文の解説と会話練習
- 【第10回】 時刻、年齢、スケジュールの言い方などの表現について会話練習 Unit 3に関する筆記テスト③
- 【第11回】 Unit 4 「你会踢足球?!」 (4-1) 会話文の解説と会話練習
- 【第12回】 Unit 4 「你会踢足球?!」 (4-2) 会話文の解説と会話練習
- 【第13回】 スポーツに関する表現などの会話練習 Unit 4に関する筆記テスト④
- 【第14回】 まとめ これまで習った内容の復習
- 【第15回】 テスト 総合練習、口頭発表

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

予習は、テキストをよむとか単語を調べて覚える
復習は、新たに習ったものを復習し、定着させる。また、あたえられた課題をこなす。

課題に対するフィードバックの方法

試験後、希望者に説明し、試験用紙を返却する。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

授業への取り組み方、テスト、宿題などの平常成績とテストなどの総合評価。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	授業中の練習、質問など	1, 2
授業外での評価	10	予習、復習など	1, 2
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	レポートの完成度により	1, 2
その他	20	口頭発表	1, 2

テキスト	中級中国語会話「新版トーク・トピックス」 沈国威・安力著 白帝社 ISBN978-4-89174-636-0 C3887 ¥ 2500
------	---

参考書	必要に応じて授業中に指示する。
履修条件・他の科目との関連	※ 「中国語Ⅲ」以上を履修した者が望ましい。 ※ 「中国Ⅴ」の同時履修が望ましい。

授業コード	13087401	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	中国語VI b [対面]				
シラバス執筆(全員)	宋 穎				
シラバス執筆(主)	宋 穎				
開講年次	3年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

二年間勉強してきた中国語を、ただ習っただけで終わることなく、中国語を実際に使えるように聴く、読む、書く、話すと全般的に習得することを目的とする。授業では四技能のうち、特に聴解と会話を重視する。また、就職時のことをも視野に入れて中国語の資格獲得ができるように資格の参考書等も取り入れる。
授業で、中国語を学ぶことと同時に、中国文化への理解も深めてもらうねらいです。

到達目標

1. 中国語でコミュニケーション能力（話す力、聴く力）を高めること。
2. 言葉の文化背景についても客観的な知識を持つこと。

授業計画

- 【第1回】 授業のオリエンテーション：授業方法、成績評価などの説明
【第2回】 Unit 5 「味道好极了」(5-1) 会話文の解説と会話練習
【第3回】 Unit 5 「味道好极了」(5-2) 会話文の解説と会話練習
【第4回】 食事に関する補足表現と会話練習、Unit 5に関する筆記テスト①
【第5回】 Unit 6 「我不买,随便看看」(6-1) 会話文の解説と会話練習
【第6回】 Unit 6 「我不买,随便看看」(6-2) 会話文の解説と会話練習
【第7回】 日常生活、買い物などの補足表現と対応を会話練習 Unit 6に関する筆記テスト②
【第8回】 Unit 7 「哪儿有麦当劳？」(7-1) 会話文の解説と会話練習
【第9回】 Unit 7 「哪儿有麦当劳？」(7-2) 会話文の解説と会話練習
【第10回】 道を尋ねるなどの表現と会話練習 Unit 7に関する筆記テスト③
【第11回】 Unit 8 「小心拉肚子」(8-1) 会話文の解説と会話練習
【第12回】 Unit 8 「小心拉肚子」(8-2) 会話文の解説と会話練習
【第13回】 体の具合、病気などに関する表現、会話練習 Unit 8に関する筆記テスト④
【第14回】 まとめ これまで習った内容の復習
【第15回】 テスト 総合練習、口頭発表

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

予習は、テキストを読むとか単語を調べて覚える。
復習は、新たに習ったものを復習し、定着させる。また、与えられた課題をこなす。

課題に対するフィードバックの方法

試験後、希望者に説明し、試験用紙を返却する。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

授業への取り組み方、テスト、宿題などの平常成績とテストなどの総合評価

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	授業中の会話練習、質問、小テストの成績など	1, 2
授業外での評価	10	予習、復習等	1, 2
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	レポートの完成度	1, 2
その他	20	口頭発表	1, 2

テキスト

中級中国語会話「新版トーク・トピックス」 沈国威・安力著 白帝社
ISBN978-4-89174-636-0
C3887 ¥2500

参考書	必要に応じて授業中に指示する。
履修条件・他の科目との関連	※ 「中国語Ⅲ」以上を履修した者が望ましい。 ※ 「中国Ⅴ」の同時履修が望ましい。

授業コード	13103701	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	ListeningⅢ [対面]				
シラバス執筆(全員)	J.D. ラッセル				
シラバス執筆(主)	J.D. ラッセル				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course, students will learn basic speaking and listening skills by communicating in real-life situations on a variety of topics. There will be opportunities for discussion and idea development, but the focus of the course will be on listening. Vocabulary and grammar related to the topics and how to express opinions on the topics will also be focused on. With practice, students will become comfortable dealing with difficult content and vocabulary that they have not learned yet.

到達目標

The objectives of this class are to

- (1) develop basic English communication skills for everyday situations and
- (2) enable students to speak about a variety of topics.
- (3) build vocabulary
- (4) build grammar

授業計画

- 【第1回】 Introductions, course explanation, Google Classroom registration
- 【第2回】 Unit 1: Families
- 【第3回】 Unit 1: Jobs (introduction)
- 【第4回】 Unit 1: Countries
- 【第5回】 Unit 2: Seasons & Weather
- 【第6回】 Unit 2: Colors
- 【第7回】 Unit 2: Travel
- 【第8回】 Review Test Units 1-2
- 【第9回】 Unit 3: Verbs & Time Expressions
- 【第10回】 Unit 3: Lifestyle
- 【第11回】 Unit 3: Education
- 【第12回】 Unit 4: Places
- 【第13回】 Unit 4: Giving Directions
- 【第14回】 Unit 4: Geography
- 【第15回】 Review Test Units 3-4, final project explanation

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

- 【第1回】
- ①事前学修課題: buy the textbook. Review the first unit.
 - ②事後学修課題: Homework assignments and study for quiz

- 【第2回】 - 【第7回】
- ①事前学修課題: Review previous class content
 - ②事後学修課題: Homework assignments and study for quiz

- 【第8回】
- ①事前学修課題: Review test Units 1-2
 - ②事後学修課題: Homework assignments and study for quiz

- 【第9回】 - 【第14回】
- ①事前学修課題: Review previous class content
 - ②事後学修課題: Homework assignments and study for quiz

- 【第15回】
- ①事前学修課題: Review test Units 3-4
 - ②事後学修課題: Check grades on Google Classroom, Submit the final evaluation

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given during the semester and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

Active participation in class (10%)
 Vocabulary quizzes (10%),
 Semester evaluations (30%)
 Homework assignments (25%)
 Final evaluation exam (25%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Active participation in class (10%), vocabulary quizzes (10%) and semester evaluations (30%)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	25	Homework assignments (25%)	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	25	Final evaluation exam (25%)	1, 2, 3, 4
その他	0	none	

テキスト
 Unlock Level 1 Listening, Speaking & Critical Thinking Student's Book, Mob App and Online Workbook w/ Downloadable Audio and Video. N. M. White, Susan Peterson, Nancy Jordan, Chris Sowton, Cambridge University Press; 2nd edition (December 29, 2018), 9781009031455

参考書

履修条件・他の科目との関連

Attendance Policy & Notes:

- 1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。
- 2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。
- 3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。
- 4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。
- 5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。
- 6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。

授業コード	13103702	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	ListeningⅢ [対面]				
シラバス執筆(全員)	S. J. カー				
シラバス執筆(主)	S. J. カー				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course, students will learn basic speaking and listening skills by communicating in real-life situations on a variety of topics. There will be opportunities for discussion and idea development, but the focus of the course will be on listening. Vocabulary and grammar related to the topics and how to express opinions on the topics will also be focused on. With practice, students will become comfortable dealing with difficult content and vocabulary that they have not learned yet.

到達目標

The objectives of this class are to

- (1) develop basic English communication skills for everyday situations and
- (2) enable students to speak about a variety of topics.
- (3) build vocabulary
- (4) build grammar

授業計画

- 【第1回】 Introductions, course explanation, Google Classroom registration
- 【第2回】 Unit 1: Families
- 【第3回】 Unit 1: Jobs (introduction)
- 【第4回】 Unit 1: Countries
- 【第5回】 Unit 2: Seasons & Weather
- 【第6回】 Unit 2: Colors
- 【第7回】 Unit 2: Travel
- 【第8回】 Review Test Units 1-2
- 【第9回】 Unit 3: Verbs & Time Expressions
- 【第10回】 Unit 3: Lifestyle
- 【第11回】 Unit 3: Education
- 【第12回】 Unit 4: Places
- 【第13回】 Unit 4: Giving Directions
- 【第14回】 Unit 4: Geography
- 【第15回】 Review Test Units 3-4, final project explanation

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

- 【第1回】
- ①事前学修課題: buy the textbook. Review the first unit.
 - ②事後学修課題: Homework assignments and study for quiz

- 【第2回】 - 【第7回】
- ①事前学修課題: Review previous class content
 - ②事後学修課題: Homework assignments and study for quiz

- 【第8回】
- ①事前学修課題: Review test Units 1-2
 - ②事後学修課題: Homework assignments and study for quiz

- 【第9回】 - 【第14回】
- ①事前学修課題: Review previous class content
 - ②事後学修課題: Homework assignments and study for quiz

- 【第15回】
- ①事前学修課題: Review test Units 3-4
 - ②事後学修課題: Check grades on Google Classroom, Submit the final evaluation

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given during the semester and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

Active participation in class (10%)
 Vocabulary quizzes (10%),
 Semester evaluations (30%)
 Homework assignments (25%)
 Final evaluation exam (25%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Active participation in class (10%), vocabulary quizzes (10%) and semester evaluations (30%)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	25	Homework assignments (25%)	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	25	Final evaluation exam (25%)	1, 2, 3, 4
その他	0	none	

テキスト
 Unlock Level 1 Listening, Speaking & Critical Thinking Student's Book, Mob App and Online Workbook w/ Downloadable Audio and Video. N. M. White, Susan Peterson, Nancy Jordan, Chris Sowton, Cambridge University Press; 2nd edition (December 29, 2018), 9781009031455

参考書

履修条件・他の科目との関連

Attendance Policy & Notes:

- 1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。
- 2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。
- 3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。
- 4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。
- 5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。
- 6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。

授業コード	13103751	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	ListeningⅢ [対面]				
シラバス執筆(全員)	P. J. ベイリー				
シラバス執筆(主)	P. J. ベイリー				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course, students will listen to academic lectures on a variety of topics. There will be opportunities for discussion and idea development, but the focus of the course will be on listening and note-taking strategies. With practice, students will become comfortable dealing with difficult content and vocabulary that they have not learned yet. To help improve more quickly, short news clips and other native-level media will be introduced when possible.

到達目標

1. Complete the first six units of the textbook
2. Master intermediate note-taking strategies – comparison, topics/subtopics, keywords, lists, dates
3. Take notes on academic lectures about a variety of topics, and use them to answer questions
4. Extensive listening goal – minimum 13 hours per semester
5. Watch selected, short new stories, then write summaries and discussion questions for class

授業計画

- [第1回]
 テーマ: Course introduction, review extensive vs intensive listening, review listening strategies.
 内容・方法: Practice several listening skills from previous course, practice extensive listening
- [第2回]
 テーマ: Unit 1: Psychology
 内容・方法: Topic introduction, note-taking strategy, video lecture
- [第3回]
 テーマ: Unit 1: Psychology
 内容・方法: Second listening, note completion, intensive listening practice/additional activities
- [第4回]
 テーマ: Unit 2: Linguistics
 内容・方法: Topic introduction, note-taking strategy, video lecture
- [第5回]
 テーマ: Unit 2: Linguistics
 内容・方法: Second listening, note completion, intensive listening practice/additional activities
- [第6回]
 テーマ: Unit 3: Public Health
 内容・方法: Topic introduction, note-taking strategy, video lecture
- [第7回]
 テーマ: Unit 3: Public Health
 内容・方法: Second listening, note completion, intensive listening practice/additional activities
- [第8回]
 テーマ: Mid-term Listening Quiz
 内容・方法: Review session and quiz in class. Self-reflection. Introduce next topic.
- [第9回]
 テーマ: Unit 4: Business
 内容・方法: Note-taking strategy, video lecture
- [第10回]
 テーマ: Unit 4: Business
 内容・方法: Second listening, note completion, intensive listening practice/additional activities
- [第11回]
 テーマ: Unit 5: Art History
 内容・方法: Topic introduction, note-taking strategy, video lecture
- [第12回]
 テーマ: Unit 5: Art History
 内容・方法: Second listening, note completion, intensive listening practice/additional activities
- [第13回]
 テーマ: Unit 6: Engineering
 内容・方法: Topic introduction, note-taking strategy, video lecture
- [第14回]
 テーマ: Unit 6: Engineering
 内容・方法: Second listening, note completion, intensive listening practice/additional activities
- [第15回]
 テーマ: Final Listening Quiz
 内容・方法: Review session and quiz in class. Self-reflection.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a one-credit (1単位) course, which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

[第1回]

①事前学修課題: Review note-taking skills from previous course.

②事後学修課題: Extensive listening homework

[第2回]

①事前学修課題: Review notes of extensive listening, preview the unit

②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第3回]

①事前学修課題: Listen to lecture again, review homework

②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第4回]

①事前学修課題: Review notes of extensive listening, preview the unit

②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第5回]

①事前学修課題: Listen to lecture again, review homework

②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第6回]

①事前学修課題: Review notes of extensive listening, preview the unit

②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第7回]

①事前学修課題: Listen to lecture again, review homework

②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第8回]

①事前学修課題: Review note-taking skills, review lecture videos, prepare for quiz

②事後学修課題: Complete self-reflection

[第9回]

①事前学修課題: Review notes of extensive listening, preview the unit

②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第10回]

①事前学修課題: Listen to lecture again, review homework

②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第11回]

①事前学修課題: Review notes of extensive listening, preview the unit

②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第12回]

①事前学修課題: Listen to lecture again, review homework

②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第13回]

①事前学修課題: Review notes of extensive listening, preview the unit

②事後学修課題: Complete homework, study for final quiz

[第14回]

①事前学修課題: Listen to lectures again, review homework

②事後学修課題: Review homework

[第15回]

①事前学修課題: Review vocabulary, test format, test taking strategies

②事後学修課題: Check grades on Google Classroom

課題に対するフィードバックの方法

Points will be given on assignments (sometimes through the use of rubrics), and comments will be given as much as possible. This information will be viewable to students on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Credit for this course will be awarded to students who achieve an overall score of 60% or greater in the following categories. If a student is absent more than four times or does not participate in the major projects and assignments of the course, a [K] will be awarded.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	65	Participation 10%, Classwork 40%, Midterm Quiz 15%	1, 2, 3, 5
授業外での評価	20	Extensive Listening Activities 20%	4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	15	Final Quiz 15%	1, 2

その他	0	
テキスト	Contemporary Topics 1, 978-0134400648	
参考書	None	
履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD – 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>	

授業コード	13103752	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	ListeningⅢ [対面]				
シラバス執筆(全員)	T. ピート				
シラバス執筆(主)	T. ピート				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course, students will listen to academic lectures on a variety of topics. There will be opportunities for discussion and idea development, but the focus of the course will be on listening and note-taking strategies. With practice, students will become comfortable dealing with difficult content and vocabulary that they have not learned yet. To help improve more quickly, short news clips and other native-level media will be introduced when possible.

到達目標

1. Complete the first six units of the textbook
2. Master intermediate note-taking strategies – comparison, topics/subtopics, keywords, lists, dates
3. Take notes on academic lectures about a variety of topics, and use them to answer questions
4. Extensive listening goal – minimum 13 hours per semester
5. Watch selected, short new stories, then write summaries and discussion questions for class

授業計画

- [第1回]
 テーマ: Course introduction, review extensive vs intensive listening, review listening strategies.
 内容・方法: Practice several listening skills from previous course, practice extensive listening
- [第2回]
 テーマ: Unit 1: Psychology
 内容・方法: Topic introduction, note-taking strategy, video lecture
- [第3回]
 テーマ: Unit 1: Psychology
 内容・方法: Second listening, note completion, intensive listening practice/additional activities
- [第4回]
 テーマ: Unit 2: Linguistics
 内容・方法: Topic introduction, note-taking strategy, video lecture
- [第5回]
 テーマ: Unit 2: Linguistics
 内容・方法: Second listening, note completion, intensive listening practice/additional activities
- [第6回]
 テーマ: Unit 3: Public Health
 内容・方法: Topic introduction, note-taking strategy, video lecture
- [第7回]
 テーマ: Unit 3: Public Health
 内容・方法: Second listening, note completion, intensive listening practice/additional activities
- [第8回]
 テーマ: Mid-term Listening Quiz
 内容・方法: Review session and quiz in class. Self-reflection. Introduce next topic.
- [第9回]
 テーマ: Unit 4: Business
 内容・方法: Note-taking strategy, video lecture
- [第10回]
 テーマ: Unit 4: Business
 内容・方法: Second listening, note completion, intensive listening practice/additional activities
- [第11回]
 テーマ: Unit 5: Art History
 内容・方法: Topic introduction, note-taking strategy, video lecture
- [第12回]
 テーマ: Unit 5: Art History
 内容・方法: Second listening, note completion, intensive listening practice/additional activities
- [第13回]
 テーマ: Unit 6: Engineering
 内容・方法: Topic introduction, note-taking strategy, video lecture
- [第14回]
 テーマ: Unit 6: Engineering
 内容・方法: Second listening, note completion, intensive listening practice/additional activities
- [第15回]
 テーマ: Final Listening Quiz
 内容・方法: Review session and quiz in class. Self-reflection.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a one-credit (1単位) course, which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

[第1回]

①事前学修課題: Review note-taking skills from previous course.

②事後学修課題: Extensive listening homework

[第2回]

①事前学修課題: Review notes of extensive listening, preview the unit

②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第3回]

①事前学修課題: Listen to lecture again, review homework

②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第4回]

①事前学修課題: Review notes of extensive listening, preview the unit

②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第5回]

①事前学修課題: Listen to lecture again, review homework

②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第6回]

①事前学修課題: Review notes of extensive listening, preview the unit

②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第7回]

①事前学修課題: Listen to lecture again, review homework

②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第8回]

①事前学修課題: Review note-taking skills, review lecture videos, prepare for quiz

②事後学修課題: Complete self-reflection

[第9回]

①事前学修課題: Review notes of extensive listening, preview the unit

②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第10回]

①事前学修課題: Listen to lecture again, review homework

②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第11回]

①事前学修課題: Review notes of extensive listening, preview the unit

②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第12回]

①事前学修課題: Listen to lecture again, review homework

②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第13回]

①事前学修課題: Review notes of extensive listening, preview the unit

②事後学修課題: Complete homework, study for final quiz

[第14回]

①事前学修課題: Listen to lectures again, review homework

②事後学修課題: Review homework

[第15回]

①事前学修課題: Review vocabulary, test format, test taking strategies

②事後学修課題: Check grades on Google Classroom

課題に対するフィードバックの方法

Points will be given on assignments (sometimes through the use of rubrics), and comments will be given as much as possible. This information will be viewable to students on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Credit for this course will be awarded to students who achieve an overall score of 60% or greater in the following categories. If a student is absent more than four times or does not participate in the major projects and assignments of the course, a [K] will be awarded.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	65	Participation 10%, Classwork 40%, Midterm Quiz 15%	1, 2, 3, 5
授業外での評価	20	Extensive Listening Activities 20%	4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	15	Final Quiz 15%	1, 2

その他	0	
テキスト	Contemporary Topics 1, 978-0134400648	
参考書	None	
履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD – 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>	

授業コード	13103801	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	ListeningIV [対面]				
シラバス執筆(全員)	J.D. ラッセル				
シラバス執筆(主)	J.D. ラッセル				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course, students will learn basic speaking and listening skills by communicating in real-life situations on a variety of topics. There will be opportunities for discussion and idea development, but the focus of the course will be on listening. Vocabulary and grammar related to the topics and how to express opinions on the topics will also be focused on. With practice, students will become comfortable dealing with difficult content and vocabulary that they have not learned yet.

到達目標

The objectives of this class are to

- (1) develop basic English communication skills for everyday situations and
- (2) enable students to speak about a variety of topics.
- (3) build vocabulary
- (4) build grammar

授業計画

- 【第1回】 Introductions, course explanation, Google Classroom registration, Review of Semester course
- 【第2回】 Unit 5: Jobs (details)
- 【第3回】 Unit 5: Comparing
- 【第4回】 Unit 5: Opinions I
- 【第5回】 Unit 6: Furniture
- 【第6回】 Unit 6: Opinions II
- 【第7回】 Unit 6: Prepositions
- 【第8回】 Review Test Units 5-6
- 【第9回】 Unit 7: Likes/Dislikes
- 【第10回】 Unit 7: Food
- 【第11回】 Unit 7: Numbers
- 【第12回】 Unit 8: Transportation
- 【第13回】 Unit 8: Urban Life
- 【第14回】 Unit 8: Problems & Solutions
- 【第15回】 Review Test Units 7-8, final project explanation

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

- 【第1回】
- ①事前学修課題: buy the textbook. Review the first unit
 - ②事後学修課題: Homework assignments and study for quiz

- 【第2回】 - 【第7回】
- ①事前学修課題: Review previous class content
 - ②事後学修課題: Homework assignments and study for quiz

- 【第8回】
- ①事前学修課題: Review test Units 5-6
 - ②事後学修課題: Homework assignments and study for quiz

- 【第9回】 - 【第14回】
- ①事前学修課題: Review previous class content
 - ②事後学修課題: Homework assignments and study for quiz

- 【第15回】
- ①事前学修課題: Review test Units 7-8
 - ②事後学修課題: Check grades on Google Classroom, Submit the final evaluation

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given during the semester and before the final class.

3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

Active participation in class (10%)

Vocabulary quizzes (10%),

Semester evaluations (30%)

Homework assignments (25%)

Final evaluation exam (25%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Active participation in class (10%), vocabulary quizzes (10%) and semester evaluations (30%)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	25	Homework assignments (25%)	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	25	Final evaluation exam (25%)	1, 2, 3, 4
その他	0	none	

テキスト	Unlock Level 1 Listening, Speaking & Critical Thinking Student's Book, Mob App and Online Workbook w/ Downloadable Audio and Video. N. M. White, Susan Peterson, Nancy Jordan, Chris Sowton, Cambridge University Press; 2nd edition (December 29, 2018), 9781009031455
------	---

参考書	
-----	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13103802	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	ListeningIV [対面]				
シラバス執筆(全員)	S. J. カー				
シラバス執筆(主)	S. J. カー				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course, students will learn basic speaking and listening skills by communicating in real-life situations on a variety of topics. There will be opportunities for discussion and idea development, but the focus of the course will be on listening. Vocabulary and grammar related to the topics and how to express opinions on the topics will also be focused on. With practice, students will become comfortable dealing with difficult content and vocabulary that they have not learned yet.

到達目標

The objectives of this class are to

- (1) develop basic English communication skills for everyday situations and
- (2) enable students to speak about a variety of topics.
- (3) build vocabulary
- (4) build grammar

授業計画

- 【第1回】 Introductions, course explanation, Google Classroom registration, Review of Semester course
- 【第2回】 Unit 5: Jobs (details)
- 【第3回】 Unit 5: Comparing
- 【第4回】 Unit 5: Opinions I
- 【第5回】 Unit 6: Furniture
- 【第6回】 Unit 6: Opinions II
- 【第7回】 Unit 6: Prepositions
- 【第8回】 Review Test Units 5-6
- 【第9回】 Unit 7: Likes/Dislikes
- 【第10回】 Unit 7: Food
- 【第11回】 Unit 7: Numbers
- 【第12回】 Unit 8: Transportation
- 【第13回】 Unit 8: Urban Life
- 【第14回】 Unit 8: Problems & Solutions
- 【第15回】 Review Test Units 7-8, final project explanation

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

- 【第1回】
- ①事前学修課題: buy the textbook. Review the first unit
 - ②事後学修課題: Homework assignments and study for quiz

- 【第2回】 - 【第7回】
- ①事前学修課題: Review previous class content
 - ②事後学修課題: Homework assignments and study for quiz

- 【第8回】
- ①事前学修課題: Review test Units 5-6
 - ②事後学修課題: Homework assignments and study for quiz

- 【第9回】 - 【第14回】
- ①事前学修課題: Review previous class content
 - ②事後学修課題: Homework assignments and study for quiz

- 【第15回】
- ①事前学修課題: Review test Units 7-8
 - ②事後学修課題: Check grades on Google Classroom, Submit the final evaluation

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given during the semester and before the final class.

3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom.

Active participation in class (10%)

Vocabulary quizzes (10%),

Semester evaluations (30%)

Homework assignments (25%)

Final evaluation exam (25%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Active participation in class (10%), vocabulary quizzes (10%) and semester evaluations (30%)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	25	Homework assignments (25%)	1, 2, 3, 4
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	25	Final evaluation exam (25%)	1, 2, 3, 4
その他	0	none	

テキスト	Unlock Level 1 Listening, Speaking & Critical Thinking Student's Book, Mob App and Online Workbook w/ Downloadable Audio and Video. N. M. White, Susan Peterson, Nancy Jordan, Chris Sowton, Cambridge University Press; 2nd edition (December 29, 2018), 9781009031455
------	---

参考書	
-----	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできるが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13103851	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	ListeningIV [対面]				
シラバス執筆(全員)	P. J. ベイリー				
シラバス執筆(主)	P. J. ベイリー				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course, students will continue to develop their ability to understand academic lectures. Each unit will provide new vocabulary, note-taking strategies, and discussion strategies. Additionally, students will be encouraged to develop extensive listening skills as well through casual exposure to English over longer periods of time.

到達目標

1. Complete the units 7-12 of the textbook
2. Master intermediate note-taking strategies - connecting ideas, questions, enumeration, symbols, graphic organizers
3. Take notes on academic lectures about a variety of topics, and use them to answer questions
4. Extensive listening goal - minimum 13 hours per semester
5. Watch selected, short new stories, then write summaries and discussion questions for class

授業計画

- [第1回]
 テーマ: Course introduction, review and practice previous listening strategies,
 内容・方法: Practice several listening skills from previous course, practice extensive listening
- [第2回]
 テーマ: Unit 7: Media Studies
 内容・方法: Topic introduction, note-taking strategy, video lecture
- [第3回]
 テーマ: Unit 7: Media Studies
 内容・方法: Second listening, note completion, intensive listening practice/additional activities
- [第4回]
 テーマ: Unit 8: Biology
 内容・方法: Topic introduction, note-taking strategy, video lecture
- [第5回]
 テーマ: Unit 8: Biology
 内容・方法: Second listening, note completion, intensive listening practice/additional activities
- [第6回]
 テーマ: Unit 9: Business
 内容・方法: Topic introduction, note-taking strategy, video lecture
- [第7回]
 テーマ: Unit 9: Business
 内容・方法: Second listening, note completion, intensive listening practice/additional activities
- [第8回]
 テーマ: Mid-term Listening Quiz
 内容・方法: Review session and quiz in class. Self-reflection. Introduce next topic.
- [第9回]
 テーマ: Unit 10: History
 内容・方法: Note-taking strategy, video lecture
- [第10回]
 テーマ: Unit 10: History
 内容・方法: Second listening, note completion, intensive listening practice/additional activities
- [第11回]
 テーマ: Unit 11: Philosophy
 内容・方法: Topic introduction, note-taking strategy, video lecture
- [第12回]
 テーマ: Unit 11: Philosophy
 内容・方法: Second listening, note completion, intensive listening practice/additional activities
- [第13回]
 テーマ: Unit 12: Information Technology
 内容・方法: Topic introduction, note-taking strategy, video lecture
- [第14回]
 テーマ: Unit 12: Information Technology
 内容・方法: Second listening, note completion, intensive listening practice/additional activities
- [第15回]
 テーマ: Final Listening Quiz
 内容・方法: Review session and quiz in class. Self-reflection.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a one-credit (1単位) course, which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

[第1回]

- ①事前学修課題: Review note-taking skills from previous course.
- ②事後学修課題: Extensive listening homework

[第2回]

- ①事前学修課題: Review notes of extensive listening, preview the unit
- ②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第3回]

- ①事前学修課題: Listen to lecture again, review homework
- ②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第4回]

- ①事前学修課題: Review notes of extensive listening, preview the unit
- ②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第5回]

- ①事前学修課題: Listen to lecture again, review homework
- ②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第6回]

- ①事前学修課題: Review notes of extensive listening, preview the unit
- ②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第7回]

- ①事前学修課題: Listen to lecture again, review homework
- ②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第8回]

- ①事前学修課題: Review note-taking skills, review lecture videos, prepare for quiz
- ②事後学修課題: Complete self-reflection

[第9回]

- ①事前学修課題: Review notes of extensive listening, preview the unit
- ②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第10回]

- ①事前学修課題: Listen to lecture again, review homework
- ②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第11回]

- ①事前学修課題: Review notes of extensive listening, preview the unit
- ②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第12回]

- ①事前学修課題: Listen to lecture again, review homework
- ②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第13回]

- ①事前学修課題: Review notes of extensive listening, preview the unit
- ②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第14回]

- ①事前学修課題: Listen to lecture again, review homework
- ②事後学修課題: Review course vocabulary

[第15回]

- ①事前学修課題: Review vocabulary, test format, test taking strategies
- ②事後学修課題: Check grades on Google Classroom

課題に対するフィードバックの方法

Points will be given on assignments (sometimes through the use of rubrics), and comments will be given as much as possible. This information will be viewable to students on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Credit for this course will be awarded to students who achieve an overall score of 60% or greater in the following categories. If a student is absent more than four times or does not participate in the major projects and assignments of the course, a [K] will be awarded.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	65	Participation 10%, Classwork 40%, Midterm Quiz 15%	1, 2, 3, 5
授業外での評価	20	Extensive listening 20%	4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	15	Final Quiz 15%	2, 3

その他	0	
テキスト	Contemporary Topics 1, 978-0134400648	
参考書	None	
履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD – 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>	

授業コード	13103852	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	ListeningIV [対面]				
シラバス執筆(全員)	T. ピート				
シラバス執筆(主)	T. ピート				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course, students will continue to develop their ability to understand academic lectures. Each unit will provide new vocabulary, note-taking strategies, and discussion strategies. Additionally, students will be encouraged to develop extensive listening skills as well through casual exposure to English over longer periods of time.

到達目標

1. Complete the units 7-12 of the textbook
2. Master intermediate note-taking strategies - connecting ideas, questions, enumeration, symbols, graphic organizers
3. Take notes on academic lectures about a variety of topics, and use them to answer questions
4. Extensive listening goal - minimum 13 hours per semester
5. Watch selected, short new stories, then write summaries and discussion questions for class

授業計画

- [第1回]
 テーマ: Course introduction, review and practice previous listening strategies,
 内容・方法: Practice several listening skills from previous course, practice extensive listening
- [第2回]
 テーマ: Unit 7: Media Studies
 内容・方法: Topic introduction, note-taking strategy, video lecture
- [第3回]
 テーマ: Unit 7: Media Studies
 内容・方法: Second listening, note completion, intensive listening practice/additional activities
- [第4回]
 テーマ: Unit 8: Biology
 内容・方法: Topic introduction, note-taking strategy, video lecture
- [第5回]
 テーマ: Unit 8: Biology
 内容・方法: Second listening, note completion, intensive listening practice/additional activities
- [第6回]
 テーマ: Unit 9: Business
 内容・方法: Topic introduction, note-taking strategy, video lecture
- [第7回]
 テーマ: Unit 9: Business
 内容・方法: Second listening, note completion, intensive listening practice/additional activities
- [第8回]
 テーマ: Mid-term Listening Quiz
 内容・方法: Review session and quiz in class. Self-reflection. Introduce next topic.
- [第9回]
 テーマ: Unit 10: History
 内容・方法: Note-taking strategy, video lecture
- [第10回]
 テーマ: Unit 10: History
 内容・方法: Second listening, note completion, intensive listening practice/additional activities
- [第11回]
 テーマ: Unit 11: Philosophy
 内容・方法: Topic introduction, note-taking strategy, video lecture
- [第12回]
 テーマ: Unit 11: Philosophy
 内容・方法: Second listening, note completion, intensive listening practice/additional activities
- [第13回]
 テーマ: Unit 12: Information Technology
 内容・方法: Topic introduction, note-taking strategy, video lecture
- [第14回]
 テーマ: Unit 12: Information Technology
 内容・方法: Second listening, note completion, intensive listening practice/additional activities
- [第15回]
 テーマ: Final Listening Quiz
 内容・方法: Review session and quiz in class. Self-reflection.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a one-credit (1単位) course, which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

[第1回]

- ①事前学修課題: Review note-taking skills from previous course.
- ②事後学修課題: Extensive listening homework

[第2回]

- ①事前学修課題: Review notes of extensive listening, preview the unit
- ②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第3回]

- ①事前学修課題: Listen to lecture again, review homework
- ②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第4回]

- ①事前学修課題: Review notes of extensive listening, preview the unit
- ②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第5回]

- ①事前学修課題: Listen to lecture again, review homework
- ②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第6回]

- ①事前学修課題: Review notes of extensive listening, preview the unit
- ②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第7回]

- ①事前学修課題: Listen to lecture again, review homework
- ②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第8回]

- ①事前学修課題: Review note-taking skills, review lecture videos, prepare for quiz
- ②事後学修課題: Complete self-reflection

[第9回]

- ①事前学修課題: Review notes of extensive listening, preview the unit
- ②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第10回]

- ①事前学修課題: Listen to lecture again, review homework
- ②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第11回]

- ①事前学修課題: Review notes of extensive listening, preview the unit
- ②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第12回]

- ①事前学修課題: Listen to lecture again, review homework
- ②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第13回]

- ①事前学修課題: Review notes of extensive listening, preview the unit
- ②事後学修課題: Complete homework, extensive listening

[第14回]

- ①事前学修課題: Listen to lecture again, review homework
- ②事後学修課題: Review course vocabulary

[第15回]

- ①事前学修課題: Review vocabulary, test format, test taking strategies
- ②事後学修課題: Check grades on Google Classroom

課題に対するフィードバックの方法

Points will be given on assignments (sometimes through the use of rubrics), and comments will be given as much as possible. This information will be viewable to students on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Credit for this course will be awarded to students who achieve an overall score of 60% or greater in the following categories. If a student is absent more than four times or does not participate in the major projects and assignments of the course, a [K] will be awarded.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	65	Participation 10%, Classwork 40%, Midterm Quiz 15%	1, 2, 3, 5
授業外での評価	20	Extensive listening 20%	4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	15	Final Quiz 15%	2, 3

その他	0	
テキスト	Contemporary Topics 1, 978-0134400648	
参考書	None	
履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD – 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>	

授業コード	13104101	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	ReadingⅢ [対面]				
シラバス執筆(全員)	J.D. ラッセル				
シラバス執筆(主)	J.D. ラッセル				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

While Reading I & II focused on learning a variety of skills that support reading comprehension, Reading III and IV focus on instruction in speed-reading to help students build reading fluency. During instruction using the speed-reading text, students will practice reading quickly and silently for general understanding, as well as reading aloud with proper pronunciation at a good pace. As in Reading I & II, students must read and take quizzes on easy books (graded readers) using Moodle Extensive Reading Program. Students should aim to read at least 30,000 words per semester.

Skill building activities will progressively push students to internalize core sub-skills of reading, including:

- Predicting content from titles and pictures
- Skimming for gist
- Scanning a passage to quickly identify key information such as dates, names, locations, etc.
- Monitoring comprehension: Guessing and checking word meaning, answering comprehension questions to evaluate comprehension
- Taking margin notes to identify main ideas, supporting ideas, and examples
- Summarizing a passage orally and in writing
- Relating reading to personal experience with expansion questions and discussion

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Increase reading speed and fluency through speed reading training
2. Develop core reading skills such as skimming, scanning, taking notes, and summarizing
3. Read for pleasure; read at least 30,000 words over the course of the semester.
4. Improve vocabulary necessary to support fluent reading

授業計画

【第1回】

テーマ: Course introduction: Syllabus explanation, components of course: Speed Reading, Reading skills, Moodle Extensive Reading Program

内容・方法: Learning how to do the speed reading and how to record and calculate your reading speed. Speed Reading #1 (#2 is for HW)

【第2回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: Speed Reading #3. Reading Skills: Identifying main idea (paragraph-level). In-class Moodle Reading.

【第3回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: Speed Reading #5. Reading Skills: Identifying main idea (paragraph-level). In-class Moodle Reading.

【第4回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: Speed Reading #7. Reading Skills: Identifying main idea (paragraph-level). In-class Moodle Reading.

【第5回】

テーマ: In-class Evaluation

内容・方法: Reading/Vocabulary Evaluation. In-class Moodle Reading & Quizzes (check that students understand how to take quizzes)

【第6回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: Speed Reading #9. Reading Skills: Scanning. Extra practice with easy news website.

【第7回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: Speed Reading #11. Reading Skills: Scanning. Extra practice with easy news website.

【第8回】

テーマ: Mid-semester reflection and grade check

内容・方法: Speed Reading #13. Reading Skills: notetaking & summary. Reading skills reflection sheet and evaluate progress. Moodle wordcount self-check.

【第9回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: Speed Reading #15. Reading Skills: notetaking & summary.

【第10回】

テーマ：In-class Evaluation

内容・方法：Reading/Vocabulary Evaluation. In-class Moodle Reading & wordcount check.

【第11回】

テーマ：Reading skills training

内容・方法：Speed Reading #17. Reading Skills: identifying reasons & examples. Extra practice with easy news website.

【第12回】

テーマ：Reading skills training

内容・方法：Speed Reading #19. Reading Skills: identifying reasons & examples. Extra practice with easy news website.

【第13回】

テーマ：Reading skills review

内容・方法：Review of Reading Skills (previously studied chapters).

【第14回】

テーマ：Semester final reflection and grade check

内容・方法：Review of Reading Skills (previously studied chapters). Reading skills reflection sheet and evaluate progress. Moodle wordcount self-check.

【第15回】

テーマ：In-class Evaluation / Reading skills review

内容・方法：Final Evaluation & Review of semester

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a 1-credit (1単位) course, which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題：Look at textbook and syllabus.

事後学修課題：Moodle Extensive Reading

【第2回】 -

事前学修課題：Speed Reading HW #2 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題：Moodle Extensive Reading

【第3回】

事前学修課題：Speed Reading HW #4 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題：Moodle Extensive Reading

【第4回】

事前学修課題：Speed Reading HW #6 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題：Moodle Extensive Reading

【第5回】

事前学修課題：Review vocabulary of chapters, prepare for evaluation (summary/main ideas)

事後学修課題：Moodle Extensive Reading

【第6回】

事前学修課題：Speed Reading HW #8 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題：Moodle Extensive Reading

【第7回】

事前学修課題：Speed Reading HW #10 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題：Moodle Extensive Reading

【第8回】

事前学修課題：Speed Reading HW #12 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題：Moodle Extensive Reading

【第9回】

事前学修課題：Speed Reading HW #14 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題：Moodle Extensive Reading

【第10回】

事前学修課題：Review vocabulary of chapters, prepare for evaluation (notetaking & summary)

事後学修課題：Moodle Extensive Reading

【第11回】

事前学修課題：Speed Reading HW #16 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題：Moodle Extensive Reading

【第12回】

事前学修課題：Speed Reading HW #18 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題：Moodle Extensive Reading

【第13回】

事前学修課題：Speed Reading HW #20 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題：Moodle Extensive Reading

【第14回】

事前学修課題：Review skills

事後学修課題：Moodle Extensive Reading

【第15回】

事前学修課題：Prepare for evaluation

事後学修課題：Final reflection report

課題に対するフィードバックの方法

Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom. Overall course progress and feedback will be given at mid-term and before the final class. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed as homework, graded reader reading assignments, and midterm and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse will be given a “K” (failing mark).

Grade breakdown:

1. Active participation (10%)
2. Homework assignments (20%)
3. Moodle Reading (20%)
4. In-class Evaluations (30%)
5. Final evaluation report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	40	Active participation in class (10) In-class Evaluations (30)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	40	Moodle Extensive Reading (20), Homework assignments (20)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final evaluation report (20)	2, 3
その他	0		

テキスト	Reading for Speed and Fluency Book 4, 2nd edition, Paul Nation, Marcos Benevides, James Broadbridge, Joseph Siegel, Compass Publishing, 2018. 978-1-64015-070-6
------	---

参考書	Introduced by the instructor as necessary. Some resources for practice with simplified news articles include: https://www.newslevels.com/ https://breakingnewsenglish.com/
-----	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできるが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13104102	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	ReadingⅢ [対面]				
シラバス執筆(全員)	S. J. カー				
シラバス執筆(主)	S. J. カー				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

While Reading I & II focused on learning a variety of skills that support reading comprehension, Reading III and IV focus on instruction in speed-reading to help students build reading fluency. During instruction using the speed-reading text, students will practice reading quickly and silently for general understanding, as well as reading aloud with proper pronunciation at a good pace. As in Reading I & II, students must read and take quizzes on easy books (graded readers) using Moodle Extensive Reading Program. Students should aim to read at least 30,000 words per semester.

Skill building activities will progressively push students to internalize core sub-skills of reading, including:

- Predicting content from titles and pictures
- Skimming for gist
- Scanning a passage to quickly identify key information such as dates, names, locations, etc.
- Monitoring comprehension: Guessing and checking word meaning, answering comprehension questions to evaluate comprehension
- Taking margin notes to identify main ideas, supporting ideas, and examples
- Summarizing a passage orally and in writing
- Relating reading to personal experience with expansion questions and discussion

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Increase reading speed and fluency through speed reading training
2. Develop core reading skills such as skimming, scanning, taking notes, and summarizing
3. Read for pleasure; read at least 30,000 words over the course of the semester.
4. Improve vocabulary necessary to support fluent reading

授業計画

【第1回】

テーマ: Course introduction: Syllabus explanation, components of course: Speed Reading, Reading skills, Moodle Extensive Reading Program

内容・方法: Learning how to do the speed reading and how to record and calculate your reading speed. Speed Reading #1 (#2 is for HW)

【第2回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: Speed Reading #3. Reading Skills: Identifying main idea (paragraph-level). In-class Moodle Reading.

【第3回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: Speed Reading #5. Reading Skills: Identifying main idea (paragraph-level). In-class Moodle Reading.

【第4回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: Speed Reading #7. Reading Skills: Identifying main idea (paragraph-level). In-class Moodle Reading.

【第5回】

テーマ: In-class Evaluation

内容・方法: Reading/Vocabulary Evaluation. In-class Moodle Reading & Quizzes (check that students understand how to take quizzes)

【第6回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: Speed Reading #9. Reading Skills: Scanning. Extra practice with easy news website.

【第7回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: Speed Reading #11. Reading Skills: Scanning. Extra practice with easy news website.

【第8回】

テーマ: Mid-semester reflection and grade check

内容・方法: Speed Reading #13. Reading Skills: notetaking & summary. Reading skills reflection sheet and evaluate progress. Moodle wordcount self-check.

【第9回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: Speed Reading #15. Reading Skills: notetaking & summary.

【第10回】

テーマ：In-class Evaluation

内容・方法：Reading/Vocabulary Evaluation. In-class Moodle Reading & wordcount check.

【第11回】

テーマ：Reading skills training

内容・方法：Speed Reading #17. Reading Skills: identifying reasons & examples. Extra practice with easy news website.

【第12回】

テーマ：Reading skills training

内容・方法：Speed Reading #19. Reading Skills: identifying reasons & examples. Extra practice with easy news website.

【第13回】

テーマ：Reading skills review

内容・方法：Review of Reading Skills (previously studied chapters).

【第14回】

テーマ：Semester final reflection and grade check

内容・方法：Review of Reading Skills (previously studied chapters). Reading skills reflection sheet and evaluate progress. Moodle wordcount self-check.

【第15回】

テーマ：In-class Evaluation / Reading skills review

内容・方法：Final Evaluation & Review of semester

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a 1-credit (1単位) course, which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題：Look at textbook and syllabus.

事後学修課題：Moodle Extensive Reading

【第2回】 -

事前学修課題：Speed Reading HW #2 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題：Moodle Extensive Reading

【第3回】

事前学修課題：Speed Reading HW #4 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題：Moodle Extensive Reading

【第4回】

事前学修課題：Speed Reading HW #6 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題：Moodle Extensive Reading

【第5回】

事前学修課題：Review vocabulary of chapters, prepare for evaluation (summary/main ideas)

事後学修課題：Moodle Extensive Reading

【第6回】

事前学修課題：Speed Reading HW #8 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題：Moodle Extensive Reading

【第7回】

事前学修課題：Speed Reading HW #10 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題：Moodle Extensive Reading

【第8回】

事前学修課題：Speed Reading HW #12 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題：Moodle Extensive Reading

【第9回】

事前学修課題：Speed Reading HW #14 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題：Moodle Extensive Reading

【第10回】

事前学修課題：Review vocabulary of chapters, prepare for evaluation (notetaking & summary)

事後学修課題：Moodle Extensive Reading

【第11回】

事前学修課題：Speed Reading HW #16 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題：Moodle Extensive Reading

【第12回】

事前学修課題：Speed Reading HW #18 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題：Moodle Extensive Reading

【第13回】

事前学修課題：Speed Reading HW #20 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題：Moodle Extensive Reading

【第14回】

事前学修課題：Review skills

事後学修課題：Moodle Extensive Reading

【第15回】

事前学修課題：Prepare for evaluation

事後学修課題：Final reflection report

課題に対するフィードバックの方法

Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom. Overall course progress and feedback will be given at mid-term and before the final class. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed as homework, graded reader reading assignments, and midterm and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse will be given a “K” (failing mark).

Grade breakdown:

1. Active participation (10%)
2. Homework assignments (20%)
3. Moodle Reading (20%)
4. In-class Evaluations (30%)
5. Final evaluation report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	40	Active participation in class (10) In-class Evaluations (30)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	40	Moodle Extensive Reading (20), Homework assignments (20)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final evaluation report (20)	2, 3
その他	0		

テキスト	Reading for Speed and Fluency Book 4, 2nd edition, Paul Nation, Marcos Benevides, James Broadbridge, Joseph Siegel, Compass Publishing, 2018. 978-1-64015-070-6
------	---

参考書	Introduced by the instructor as necessary. Some resources for practice with simplified news articles include: https://www.newslevels.com/ https://breakingnewsenglish.com/
-----	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできるが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13104151	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	ReadingⅢ [対面]				
シラバス執筆(全員)	S. ハティング				
シラバス執筆(主)	S. ハティング				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This is the main reading course for the second year of IEP. By building on reading skills learned in previous classes, students will learn how to approach academic readings on a variety of topics. There will be activities to help students improve on reading comprehension, reading quickly, and to develop strategies to help them take better notes, handle difficult words, and review quickly. Lastly, students will be able to test their new abilities on several TOEIC reading sections.

到達目標

1. Complete 50,000 of extensive reading (Moodle reader)
2. Complete the first four units of the textbook (fifth optional)
3. Use reading comprehension strategies: finding the gist, skimming, scanning, and reading for keywords, note-taking
4. Learn to read longer passages
5. Remember and use vocabulary associated with textbook units

授業計画

[第1回]
 テーマ: Course Introduction, Moodle reader, and Reading Skill Review
 内容・方法: Moodle reader Explanation, Textbook introductions, Task to assess reading ability, Skill review

[第2回]
 テーマ: Chapter 1
 内容・方法: Health Sciences, Moodle reader discussion, vocabulary

[第3回]
 テーマ: Chapter 1
 内容・方法: Health Sciences, Moodle reader discussion, note-taking skill

[第4回]
 テーマ: Chapter 1
 内容・方法: Health Sciences, Moodle reader discussion, critical thinking and idea development

[第5回]
 テーマ: Chapter 2
 内容・方法: Psychology, Moodle reader discussion, vocabulary

[第6回]
 テーマ: Chapter 2
 内容・方法: Psychology, Moodle reader discussion, note-taking skill

[第7回]
 テーマ: Chapter 2
 内容・方法: Psychology, Moodle reader discussion, critical thinking and idea development

[第8回]
 テーマ: Mid-term Quiz based on reading skills and content from the first half of the semester, Moodle reader Check
 内容・方法: Review and quiz will be conducted in class

[第9回]
 テーマ: Chapter 3
 内容・方法: Linguistics, Moodle reader discussion, vocabulary

[第10回]
 テーマ: Chapter 3
 内容・方法: Linguistics, Moodle reader discussion, note-taking skill

[第11回]
 テーマ: Chapter 3
 内容・方法: Linguistics, Moodle reader discussion, critical thinking and idea development

[第12回]
 テーマ: Chapter 4
 内容・方法: Animal Behavior, Moodle reader discussion, vocabulary

[第13回]
 テーマ: Chapter 4
 内容・方法: Animal Behavior, Moodle reader discussion, note-taking skill

[第14回]
 テーマ: Chapter 4
 内容・方法: Animal Behavior, Moodle reader discussion, critical thinking and idea development

[第15回]
 テーマ: Final Quiz based on reading skills and content from the second half of the semester, Moodle

reader Deadline

内容・方法 : Reading skill review, Quiz will be conducted in class

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a one-credit (1単位) course, which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

[第1回]

①事前学修課題 : Review notes on reading skills from last year

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第2回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第3回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第4回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第5回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第6回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第7回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第8回]

①事前学修課題 : Review content and reading strategies

②事後学修課題 : Complete self-assessment, Moodle reader

[第9回]

①事前学修課題 : Review reading skills in the course thus far, preview the topic.

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第10回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第11回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第12回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第13回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第14回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第15回]

①事前学修課題 : Review content and reading strategies

②事後学修課題 : Complete self-assessment, Must complete reading goal Moodle reader by this class

課題に対するフィードバックの方法

Points will be given on assignments (sometimes through the use of rubrics), and comments will given as much as possible. This information will be viewable to students on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Credit for this course will be awarded to students who achieve an overall score of 60% or greater in the following categories. If a student is absent more than four times or does not participate in the major projects and assignments of the course, a [K] will be awarded.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	Class participation 10%, Midterm Quiz 10%, Class Assignments 40%	2, 3, 4

授業外での評価	30	Moodle Reader 20%, Vocabulary 10%	1, 5
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10	Final Quiz 10%	3, 4
その他	0		

テキスト	Longman Academic Reading Series 1, 9780134663395
------	--

参考書	None
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	---

授業コード	13104152	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	ReadingⅢ [対面]				
シラバス執筆(全員)	P.L. ストリックランド				
シラバス執筆(主)	P.L. ストリックランド				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This is the main reading course for the second year of IEP. By building on reading skills learned in previous classes, students will learn how to approach academic readings on a variety of topics. There will be activities to help students improve on reading comprehension, reading quickly, and to develop strategies to help them take better notes, handle difficult words, and review quickly. Lastly, students will be able to test their new abilities on several TOEIC reading sections.

到達目標

1. Complete 50,000 of extensive reading (Moodle reader)
2. Complete the first four units of the textbook (fifth optional)
3. Use reading comprehension strategies: finding the gist, skimming, scanning, and reading for keywords, note-taking
4. Learn to read longer passages
5. Remember and use vocabulary associated with textbook units

授業計画

[第1回]
 テーマ: Course Introduction, Moodle reader, and Reading Skill Review
 内容・方法: Moodle reader Explanation, Textbook introductions, Task to assess reading ability, Skill review

[第2回]
 テーマ: Chapter 1
 内容・方法: Health Sciences, Moodle reader discussion, vocabulary

[第3回]
 テーマ: Chapter 1
 内容・方法: Health Sciences, Moodle reader discussion, note-taking skill

[第4回]
 テーマ: Chapter 1
 内容・方法: Health Sciences, Moodle reader discussion, critical thinking and idea development

[第5回]
 テーマ: Chapter 2
 内容・方法: Psychology, Moodle reader discussion, vocabulary

[第6回]
 テーマ: Chapter 2
 内容・方法: Psychology, Moodle reader discussion, note-taking skill

[第7回]
 テーマ: Chapter 2
 内容・方法: Psychology, Moodle reader discussion, critical thinking and idea development

[第8回]
 テーマ: Mid-term Quiz based on reading skills and content from the first half of the semester, Moodle reader Check
 内容・方法: Review and quiz will be conducted in class

[第9回]
 テーマ: Chapter 3
 内容・方法: Linguistics, Moodle reader discussion, vocabulary

[第10回]
 テーマ: Chapter 3
 内容・方法: Linguistics, Moodle reader discussion, note-taking skill

[第11回]
 テーマ: Chapter 3
 内容・方法: Linguistics, Moodle reader discussion, critical thinking and idea development

[第12回]
 テーマ: Chapter 4
 内容・方法: Animal Behavior, Moodle reader discussion, vocabulary

[第13回]
 テーマ: Chapter 4
 内容・方法: Animal Behavior, Moodle reader discussion, note-taking skill

[第14回]
 テーマ: Chapter 4
 内容・方法: Animal Behavior, Moodle reader discussion, critical thinking and idea development

[第15回]
 テーマ: Final Quiz based on reading skills and content from the second half of the semester, Moodle

reader Deadline

内容・方法 : Reading skill review, Quiz will be conducted in class

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a one-credit (1単位) course, which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

[第1回]

①事前学修課題 : Review notes on reading skills from last year

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第2回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第3回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第4回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第5回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第6回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第7回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第8回]

①事前学修課題 : Review content and reading strategies

②事後学修課題 : Complete self-assessment, Moodle reader

[第9回]

①事前学修課題 : Review reading skills in the course thus far, preview the topic.

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第10回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第11回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第12回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第13回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第14回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第15回]

①事前学修課題 : Review content and reading strategies

②事後学修課題 : Complete self-assessment, Must complete reading goal Moodle reader by this class

課題に対するフィードバックの方法

Points will be given on assignments (sometimes through the use of rubrics), and comments will given as much as possible. This information will be viewable to students on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Credit for this course will be awarded to students who achieve an overall score of 60% or greater in the following categories. If a student is absent more than four times or does not participate in the major projects and assignments of the course, a [K] will be awarded.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	Class participation 10%, Midterm Quiz 10%, Class Assignments 40%	2, 3, 4

授業外での評価	30	Moodle Reader 20%, Vocabulary 10%	1, 5
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10	Final Quiz 10%	3, 4
その他	0		

テキスト	Longman Academic Reading Series 1, 9780134663395
------	--

参考書	None
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	---

授業コード	13104201	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	ReadingIV [対面]				
シラバス執筆(全員)	J.D. ラッセル				
シラバス執筆(主)	J.D. ラッセル				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

While Reading I & II focused on learning a variety of skills that support reading comprehension, Reading III and IV focus on instruction in speed-reading to help students build reading fluency. During instruction using the speed-reading text, students will practice reading quickly and silently for general understanding, as well as reading aloud with proper pronunciation at a good pace. As in Reading I & II, students must read and take quizzes on easy books (graded readers) using Moodle Extensive Reading Program. Students should aim to read at least 30,000 words per semester.

Skill building activities will progressively push students to internalize core sub-skills of reading, including:

- Predicting content from titles and pictures
- Skimming for gist
- Scanning a passage to quickly identify key information such as dates, names, locations, etc.
- Monitoring comprehension: Guessing and checking word meaning, answering comprehension questions to evaluate comprehension
- Taking margin notes to identify main ideas, supporting ideas, and examples
- Summarizing a passage orally and in writing
- Relating reading to personal experience with expansion questions and discussion

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Increase reading speed and fluency through speed reading training
2. Develop core reading skills such as skimming, scanning, taking notes, and summarizing
3. Read for pleasure; read at least 30,000 words over the course of the semester.
4. Improve vocabulary necessary to support fluent reading

授業計画

- 【第1回】
 テーマ: Course introduction: Syllabus explanation, components of course: Speed Reading, Reading skills, Moodle Extensive Reading Program.
 内容・方法: Reviewing how to do the speed reading. Speed Reading #21 (#22 for HW)
- 【第2回】
 テーマ: Reading skills training
 内容・方法: Speed Reading #23. Reading Skills: Margin notes & summary.
- 【第3回】
 テーマ: Reading skills training
 内容・方法: Speed Reading #25. Reading Skills: Margin notes & summary. Practice Skills with easy News articles.
- 【第4回】
 テーマ: Reading skills training
 内容・方法: Speed Reading #27 in class. Reading Skills: Margin notes & summary. Practice Skills with easy News articles.
- 【第5回】
 テーマ: Evaluation
 内容・方法: Speed Reading & Vocabulary Evaluation. Moodle Extensive Reading & Quizzes in class.
- 【第6回】
 テーマ: Reading skills training
 内容・方法: Speed Reading #29. Reading Skills: Skimming for main idea. Practice Skills with easy News articles.
- 【第7回】
 テーマ: Reading skills training
 内容・方法: Speed Reading #31. Reading Skills: Scanning for answers
- 【第8回】
 テーマ: Mid-semester grade check and reflection
 内容・方法: Speed Reading #33. Reading Skills: Skimming for main idea. Review grades and complete reflection on course goals. Check Moodle Quiz word counts.
- 【第9回】
 テーマ: Reading skills training
 内容・方法: Speed Reading #35. Reading Skills: Scanning for answers
- 【第10回】
 テーマ: Evaluation

内容・方法 : Speed Reading & Vocabulary Evaluation: Margin notes & summary. Moodle Extensive Reading & Quizzes in class.

【第11回】

テーマ : Reading skills training

内容・方法 : Speed Reading #37. Reading Skills: identifying details. Practice Skills with easy News articles.

【第12回】

テーマ : Reading skills training

内容・方法 : Speed Reading #39 in class. Reading Skills: identifying details. Practice Skills with easy News articles.

【第13回】

テーマ : Reading skills review

内容・方法 : Review of all Reading Skills w/ review passages

【第14回】

テーマ : Final grade check and reflection

内容・方法 : Vocabulary and reading skills training review. Review grades and complete reflection on course goals.

【第15回】

テーマ : Reading skills review evaluation

内容・方法 : Speed Reading & Vocabulary Evaluation: Margin notes & summary. Moodle Extensive Reading & Quizzes in class.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a 1-credit (1単位) course, which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題 : None

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第2回】 -

事前学修課題 : Speed Reading HW #22 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第2回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #24 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第4回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #26 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第5回】

事前学修課題 : Review chapters, prepare for evaluation

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第6回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #28 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第7回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #30 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第8回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #32 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第9回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #34 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第10回】

事前学修課題 : Prepare for evaluation (TOEIC practice)

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第11回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #36 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第12回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #38 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第13回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #40 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第14回】

事前学修課題 : Review reading passages and vocabulary

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第15回】

事前学修課題 : Review reading passages and vocabulary

事後学修課題 : Final reflection report

課題に対するフィードバックの方法

Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom. Overall course progress and feedback will be given at mid-term and before the final class. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed as homework, graded reader reading assignments, and midterm and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse will be given a “K” (failing mark).

Grade breakdown:

1. Active participation (10%)
2. Homework assignments (20%)
3. Moodle Reading (20%)
4. In-class Evaluations (30%)
5. Final evaluation report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	40	Active participation in class (10) In-class Evaluations (30)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	40	Moodle Extensive Reading (20), Homework assignments (20)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final evaluation report (20)	2, 3
その他	0		

テキスト	Reading for Speed and Fluency Book 4, 2nd edition, Paul Nation, Marcos Benevides, James Broadbridge, Joseph Siegel, Compass Publishing, 2018. 978-1-64015-070-6
------	---

参考書	Introduced by the instructor as necessary. Some resources for practice with simplified news articles include: https://www.newslevels.com/ https://breakingnewsenglish.com/
-----	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできるが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD – 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13104202	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	ReadingIV [対面]				
シラバス執筆(全員)	S. J. カー				
シラバス執筆(主)	S. J. カー				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

While Reading I & II focused on learning a variety of skills that support reading comprehension, Reading III and IV focus on instruction in speed-reading to help students build reading fluency. During instruction using the speed-reading text, students will practice reading quickly and silently for general understanding, as well as reading aloud with proper pronunciation at a good pace. As in Reading I & II, students must read and take quizzes on easy books (graded readers) using Moodle Extensive Reading Program. Students should aim to read at least 30,000 words per semester.

Skill building activities will progressively push students to internalize core sub-skills of reading, including:

- Predicting content from titles and pictures
- Skimming for gist
- Scanning a passage to quickly identify key information such as dates, names, locations, etc.
- Monitoring comprehension: Guessing and checking word meaning, answering comprehension questions to evaluate comprehension
- Taking margin notes to identify main ideas, supporting ideas, and examples
- Summarizing a passage orally and in writing
- Relating reading to personal experience with expansion questions and discussion

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Increase reading speed and fluency through speed reading training
2. Develop core reading skills such as skimming, scanning, taking notes, and summarizing
3. Read for pleasure; read at least 30,000 words over the course of the semester.
4. Improve vocabulary necessary to support fluent reading

授業計画

【第1回】

テーマ: Course introduction: Syllabus explanation, components of course: Speed Reading, Reading skills, Moodle Extensive Reading Program.

内容・方法: Reviewing how to do the speed reading. Speed Reading #21 (#22 for HW)

【第2回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: Speed Reading #23. Reading Skills: Margin notes & summary.

【第3回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: Speed Reading #25. Reading Skills: Margin notes & summary. Practice Skills with easy News articles.

【第4回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: Speed Reading #27 in class. Reading Skills: Margin notes & summary. Practice Skills with easy News articles.

【第5回】

テーマ: Evaluation

内容・方法: Speed Reading & Vocabulary Evaluation. Moodle Extensive Reading & Quizzes in class.

【第6回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: Speed Reading #29. Reading Skills: Skimming for main idea. Practice Skills with easy News articles.

【第7回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: Speed Reading #31. Reading Skills: Scanning for answers

【第8回】

テーマ: Mid-semester grade check and reflection

内容・方法: Speed Reading #33. Reading Skills: Skimming for main idea. Review grades and complete reflection on course goals. Check Moodle Quiz word counts.

【第9回】

テーマ: Reading skills training

内容・方法: Speed Reading #35. Reading Skills: Scanning for answers

【第10回】

テーマ: Evaluation

内容・方法 : Speed Reading & Vocabulary Evaluation: Margin notes & summary. Moodle Extensive Reading & Quizzes in class.

【第11回】

テーマ : Reading skills training

内容・方法 : Speed Reading #37. Reading Skills: identifying details. Practice Skills with easy News articles.

【第12回】

テーマ : Reading skills training

内容・方法 : Speed Reading #39 in class. Reading Skills: identifying details. Practice Skills with easy News articles.

【第13回】

テーマ : Reading skills review

内容・方法 : Review of all Reading Skills w/ review passages

【第14回】

テーマ : Final grade check and reflection

内容・方法 : Vocabulary and reading skills training review. Review grades and complete reflection on course goals.

【第15回】

テーマ : Reading skills review evaluation

内容・方法 : Speed Reading & Vocabulary Evaluation: Margin notes & summary. Moodle Extensive Reading & Quizzes in class.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a 1-credit (1単位) course, which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題 : None

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第2回】 -

事前学修課題 : Speed Reading HW #22 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第2回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #24 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第4回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #26 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第5回】

事前学修課題 : Review chapters, prepare for evaluation

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第6回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #28 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第7回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #30 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第8回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #32 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第9回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #34 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第10回】

事前学修課題 : Prepare for evaluation (TOEIC practice)

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第11回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #36 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第12回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #38 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第13回】

事前学修課題 : Speed Reading HW #40 (Turn in HW to Google Classroom)

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第14回】

事前学修課題 : Review reading passages and vocabulary

事後学修課題 : Moodle Extensive Reading

【第15回】

事前学修課題 : Review reading passages and vocabulary

事後学修課題 : Final reflection report

課題に対するフィードバックの方法

Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom. Overall course progress and feedback will be given at mid-term and before the final class. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed as homework, graded reader reading assignments, and midterm and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse will be given a “K” (failing mark).

Grade breakdown:

1. Active participation (10%)
2. Homework assignments (20%)
3. Moodle Reading (20%)
4. In-class Evaluations (30%)
5. Final evaluation report (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	40	Active participation in class (10) In-class Evaluations (30)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	40	Moodle Extensive Reading (20), Homework assignments (20)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final evaluation report (20)	2, 3
その他	0		

テキスト	Reading for Speed and Fluency Book 4, 2nd edition, Paul Nation, Marcos Benevides, James Broadbridge, Joseph Siegel, Compass Publishing, 2018. 978-1-64015-070-6
------	---

参考書	Introduced by the instructor as necessary. Some resources for practice with simplified news articles include: https://www.newslevels.com/ https://breakingnewsenglish.com/
-----	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできるが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13104251	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	ReadingIV [対面]				
シラバス執筆(全員)	S. ハティング				
シラバス執筆(主)	S. ハティング				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course is a continuation of the reading course in the Spring Semester. Here, students will continue to read about academic topics. The focus of the course will center around learning vocabulary, further developing reading skills, and using the information from the readings in short speaking and writing activities. Additionally students will continue to progress with Moodle reader. Each course has a set word amount that must be achieved by each student. Check below for details.

到達目標

1. Complete 50,000 words of extensive reading (Moodle Reader)
2. Complete units 6-9 of the textbook (tenth optional)
3. Use reading note-taking strategies: finding the topic sentences, researching a person/topic, numbers, abbreviations, and timelines
4. Learn to read longer passages
5. Remember and use vocabulary associated with textbook units

授業計画

- [第1回]
 テーマ: Course Introduction, Reading Skill Review, Start Chapter 6
 内容・方法: Moodle reader Explanation, Textbook introductions, Task to assess reading ability, Skill review
- [第2回]
 テーマ: Chapter 6
 内容・方法: Public Art, Moodle reader discussion, vocabulary
- [第3回]
 テーマ: Chapter 6
 内容・方法: Public Art, Moodle reader discussion, note-taking skill
- [第4回]
 テーマ: Chapter 7
 内容・方法: Sociology, Moodle reader discussion, critical thinking and idea development
- [第5回]
 テーマ: Chapter 7
 内容・方法: Sociology, Moodle reader discussion, vocabulary
- [第6回]
 テーマ: Chapter 7
 内容・方法: Sociology, Moodle reader discussion, note-taking skill
- [第7回]
 テーマ: Mid-term Quiz based on reading skills and content from the first half of the semester, Moodle reader check
 内容・方法: Review and quiz will be conducted in class
- [第8回]
 テーマ: Chapter 8
 内容・方法: Government, Moodle reader discussion, critical thinking and idea development
- [第9回]
 テーマ: Chapter 8
 内容・方法: Government, Moodle reader discussion, vocabulary
- [第10回]
 テーマ: Chapter 8
 内容・方法: Government, Moodle reader discussion, note-taking skill
- [第11回]
 テーマ: Chapter 9
 内容・方法: Economics, Moodle reader discussion, critical thinking and idea development
- [第12回]
 テーマ: Chapter 9
 内容・方法: Economics, Moodle reader discussion, vocabulary
- [第13回]
 テーマ: Chapter 9
 内容・方法: Economics, Moodle reader discussion, note-taking skill
- [第14回]
 テーマ: Chapter 10
 内容・方法: Neurology, Moodle reader discussion, critical thinking and idea development
- [第15回]

テーマ : Final Quiz based on reading skills and content from the second half of the semester, Moodle reader Deadline

内容・方法 : Reading skill review, Quiz will be conducted in class

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

[第1回]

①事前学修課題 : Review notes on reading skills from last year

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第2回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第3回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第4回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第5回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第6回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第7回]

①事前学修課題 : Review content and reading strategies

②事後学修課題 : Complete self-assessment, Moodle reader

[第8回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第9回]

①事前学修課題 : Review reading skills in the course thus far, preview the topic.

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第10回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第11回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第12回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第13回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第14回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第15回]

①事前学修課題 : Review content and reading strategies

②事後学修課題 : Complete self-assessment, Must complete reading goal Moodle reader by this class

課題に対するフィードバックの方法

Points will be given on assignments (sometimes through the use of rubrics), and comments will be given as much as possible. This information will be viewable to students on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Credit for this course will be awarded to students who achieve an overall score of 60% or greater in the following categories. If a student is absent more than four times or does not participate in the major projects and assignments of the course, a [K] will be awarded.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	Class participation 10%, Midterm Quiz 10%, Class assignments 40%	2, 3, 4
授業外での評価	30	Moodle Reader 20%, Vocabulary 10%	1, 5
定期試験	0		

定期試験に代わるレポート等	10	Final Quiz 10%	3, 4
その他	0		

テキスト	Longman Academic Reading Series 1, 9780134663395
------	--

参考書	None
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13104252	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	ReadingIV [対面]				
シラバス執筆(全員)	P.L. ストリックランド				
シラバス執筆(主)	P.L. ストリックランド				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course is a continuation of the reading course in the Spring Semester. Here, students will continue to read about academic topics. The focus of the course will center around learning vocabulary, further developing reading skills, and using the information from the readings in short speaking and writing activities. Additionally students will continue to progress with Moodle reader. Each course has a set word amount that must be achieved by each student. Check below for details.

到達目標

1. Complete 50,000 words of extensive reading (Moodle Reader)
2. Complete units 6-9 of the textbook (tenth optional)
3. Use reading note-taking strategies: finding the topic sentences, researching a person/topic, numbers, abbreviations, and timelines
4. Learn to read longer passages
5. Remember and use vocabulary associated with textbook units

授業計画

- [第1回]
 テーマ: Course Introduction, Reading Skill Review, Start Chapter 6
 内容・方法: Moodle reader Explanation, Textbook introductions, Task to assess reading ability, Skill review
- [第2回]
 テーマ: Chapter 6
 内容・方法: Public Art, Moodle reader discussion, vocabulary
- [第3回]
 テーマ: Chapter 6
 内容・方法: Public Art, Moodle reader discussion, note-taking skill
- [第4回]
 テーマ: Chapter 7
 内容・方法: Sociology, Moodle reader discussion, critical thinking and idea development
- [第5回]
 テーマ: Chapter 7
 内容・方法: Sociology, Moodle reader discussion, vocabulary
- [第6回]
 テーマ: Chapter 7
 内容・方法: Sociology, Moodle reader discussion, note-taking skill
- [第7回]
 テーマ: Mid-term Quiz based on reading skills and content from the first half of the semester, Moodle reader check
 内容・方法: Review and quiz will be conducted in class
- [第8回]
 テーマ: Chapter 8
 内容・方法: Government, Moodle reader discussion, critical thinking and idea development
- [第9回]
 テーマ: Chapter 8
 内容・方法: Government, Moodle reader discussion, vocabulary
- [第10回]
 テーマ: Chapter 8
 内容・方法: Government, Moodle reader discussion, note-taking skill
- [第11回]
 テーマ: Chapter 9
 内容・方法: Economics, Moodle reader discussion, critical thinking and idea development
- [第12回]
 テーマ: Chapter 9
 内容・方法: Economics, Moodle reader discussion, vocabulary
- [第13回]
 テーマ: Chapter 9
 内容・方法: Economics, Moodle reader discussion, note-taking skill
- [第14回]
 テーマ: Chapter 10
 内容・方法: Neurology, Moodle reader discussion, critical thinking and idea development
- [第15回]

テーマ : Final Quiz based on reading skills and content from the second half of the semester, Moodle reader Deadline

内容・方法 : Reading skill review, Quiz will be conducted in class

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

[第1回]

①事前学修課題 : Review notes on reading skills from last year

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第2回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第3回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第4回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第5回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第6回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第7回]

①事前学修課題 : Review content and reading strategies

②事後学修課題 : Complete self-assessment, Moodle reader

[第8回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第9回]

①事前学修課題 : Review reading skills in the course thus far, preview the topic.

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第10回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第11回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第12回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第13回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第14回]

①事前学修課題 : Review previous lesson content, Moodle reader, preview the topic

②事後学修課題 : Moodle reader, complete homework assignments

[第15回]

①事前学修課題 : Review content and reading strategies

②事後学修課題 : Complete self-assessment, Must complete reading goal Moodle reader by this class

課題に対するフィードバックの方法

Points will be given on assignments (sometimes through the use of rubrics), and comments will be given as much as possible. This information will be viewable to students on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Credit for this course will be awarded to students who achieve an overall score of 60% or greater in the following categories. If a student is absent more than four times or does not participate in the major projects and assignments of the course, a [K] will be awarded.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	Class participation 10%, Midterm Quiz 10%, Class assignments 40%	2, 3, 4
授業外での評価	30	Moodle Reader 20%, Vocabulary 10%	1, 5
定期試験	0		

定期試験に代わるレポート等	10	Final Quiz 10%	3, 4
その他	0		

テキスト	Longman Academic Reading Series 1, 9780134663395
------	--

参考書	None
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13104501	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	WritingⅢ [対面]				
シラバス執筆(全員)	P.L. ストリックランド				
シラバス執筆(主)	P.L. ストリックランド				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course will help you improve the writing skills needed to express your ideas clearly and accurately. The writings are short and the skills gained will be useful for future writing tests. The skills include brainstorming, organizing, planning, formatting, and writing on given topics. You will learn about and practise language at sentence and paragraph level. You are expected to finish all writing and homework assignments. Handing in all your work is essential for passing this course.

到達目標

- By successfully completing this course, students will be able to:
1. Write paragraphs (original, well-formed paragraphs of 10–20 sentences including topic sentences, supporting details, and concluding sentences)
 2. Edit paragraphs (peer editing as well as editing their own work based on teacher comments)
 3. Use correct grammar in writing a variety of paragraph types
 4. Build vocabulary (vocabulary words and language terms to talk about grammar and writing)

授業計画

- 【第 1 回】
 テーマ： Unit 1
 内容・方法： Introduction and Formatting
- 【第 2 回】
 テーマ： Unit 1
 内容・方法： Topic Sentences and Structure
- 【第 3 回】
 テーマ： Unit 1
 内容・方法： Vocabulary Quiz 1; Writing Rules and Brainstorming
- 【第 4 回】
 テーマ： Unit 2
 内容・方法： Supporting Sentences
- 【第 5 回】
 テーマ： Unit 2
 内容・方法： Punctuation
- 【第 6 回】
 テーマ： Unit 3
 内容・方法： Concluding Sentences and Outlining
- 【第 7 回】
 テーマ： Unit 3
 内容・方法： Vocabulary Quiz 2; Paragraph 1
- 【第 8 回】
 テーマ： In-class Midterm Evaluation
 内容・方法： Writing & Editing review, Unit 1–3 Evaluation
- 【第 9 回】
 テーマ： Unit 4
 内容・方法： Adding Details, Adjectives
- 【第 10 回】
 テーマ： Unit 4
 内容・方法： Vocabulary Quiz 3; Paragraph 2
- 【第 11 回】
 テーマ： Unit 5
 内容・方法： Comparison Signals
- 【第 12 回】
 テーマ： Unit 5
 内容・方法： Paragraph 3
- 【第 13 回】
 テーマ： Unit 6
 内容・方法： Vocabulary Quiz 4; Contrast Signals
- 【第 14 回】
 テーマ： Unit 6
 内容・方法： Textbook review, Paragraph 4
- 【第 15 回】
 テーマ： In-class final evaluation
 内容・方法： End of term evaluation for Units 1–6 & writing. Explanation of final report assignment.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。毎回の授業前に約30分の予習課題を行い、授業後に約30分の復習課題を行います。

A total of 45 hours of study is required per 1-credit course, including class (calculated as 2 hours per session) and pre- and post-work study. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題: None

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第2回】

事前学修課題: Pre-read textbook p. 6

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第3回】

事前学修課題: Pre-read textbook pp. 9-10

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第4回】

事前学修課題: Pre-read textbook p. 12

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第5回】

事前学修課題: Pre-read textbook pp. 15-16

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第6回】

事前学修課題: Pre-read textbook p. 18

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第7回】

事前学修課題: Pre-read textbook pp. 21-22

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments. Prepare for midterm evaluation.

【第8回】

前学修課題: Review Units 1-3 for test.

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第9回】

事前学修課題: Pre-read textbook p. 24

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第10回】

事前学修課題: Pre-read textbook pp. 27-28

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第11回】

事前学修課題: Pre-read textbook p. 32

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第12回】

事前学修課題: Pre-read textbook pp. 36-37

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第13回】

事前学修課題: Pre-read textbook p. 40

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第14回】

事前学修課題: Pre-read textbook pp. 43-44

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第15回】

事前学修課題: Review Units 4-6 for final evaluation. Prepare for end of term evaluation.

事後学修課題: Complete and submit the final evaluation assignment

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed as homework, and midterm and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course if they comply with the attendance policy (see below).

Grade Breakdown:

1) Active participation (10%)

This means actively taking part in all in-class and Google Classroom writing activities. You are expected to enter on time, continue to participate for the whole class, and respond to the teacher and other students orally or through feedback options of the software.

2) Homework and preparation for classes (25%)

- 3) In-class evaluations and other in-class assignments (40), vocabulary quizzes (15)
 4) Final Evaluation Assignment (10%)

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Please contact your individual instructor for information about coursework and grading policy.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	55	In-class evaluations and other in-class assignments (40), vocabulary quizzes (15)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	25	Homework assignments (25)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10	Final Evaluation (10)	1, 2, 3
その他	10	Active participation during in-class activities (10)	1, 2, 3, 4

テキスト	Real Writing, Mariko Kawasaki, Ayed Hasian, Samuel Haugh, Yoko Nakano, Seishirou Ibaraki; Nan'un-do 2019 978-4-523-17886-6
------	---

参考書	None
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	---

授業コード	13104502	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	WritingⅢ [対面]				
シラバス執筆(全員)	S.D. ラーダー				
シラバス執筆(主)	S.D. ラーダー				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course will help you improve the writing skills needed to express your ideas clearly and accurately. The writings are short and the skills gained will be useful for future writing tests. The skills include brainstorming, organizing, planning, formatting, and writing on given topics. You will learn about and practise language at sentence and paragraph level. You are expected to finish all writing and homework assignments. Handing in all your work is essential for passing this course.

到達目標

- By successfully completing this course, students will be able to:
1. Write paragraphs (original, well-formed paragraphs of 10–20 sentences including topic sentences, supporting details, and concluding sentences)
 2. Edit paragraphs (peer editing as well as editing their own work based on teacher comments)
 3. Use correct grammar in writing a variety of paragraph types
 4. Build vocabulary (vocabulary words and language terms to talk about grammar and writing)

授業計画

- 【第 1 回】
 テーマ： Unit 1
 内容・方法： Introduction and Formatting
- 【第 2 回】
 テーマ： Unit 1
 内容・方法： Topic Sentences and Structure
- 【第 3 回】
 テーマ： Unit 1
 内容・方法： Vocabulary Quiz 1; Writing Rules and Brainstorming
- 【第 4 回】
 テーマ： Unit 2
 内容・方法： Supporting Sentences
- 【第 5 回】
 テーマ： Unit 2
 内容・方法： Punctuation
- 【第 6 回】
 テーマ： Unit 3
 内容・方法： Concluding Sentences and Outlining
- 【第 7 回】
 テーマ： Unit 3
 内容・方法： Vocabulary Quiz 2; Paragraph 1
- 【第 8 回】
 テーマ： In-class Midterm Evaluation
 内容・方法： Writing & Editing review, Unit 1–3 Evaluation
- 【第 9 回】
 テーマ： Unit 4
 内容・方法： Adding Details, Adjectives
- 【第 10 回】
 テーマ： Unit 4
 内容・方法： Vocabulary Quiz 3; Paragraph 2
- 【第 11 回】
 テーマ： Unit 5
 内容・方法： Comparison Signals
- 【第 12 回】
 テーマ： Unit 5
 内容・方法： Paragraph 3
- 【第 13 回】
 テーマ： Unit 6
 内容・方法： Vocabulary Quiz 4; Contrast Signals
- 【第 14 回】
 テーマ： Unit 6
 内容・方法： Textbook review, Paragraph 4
- 【第 15 回】
 テーマ： In-class final evaluation
 内容・方法： End of term evaluation for Units 1–6 & writing. Explanation of final report assignment.

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。毎回の授業前に約30分の予習課題を行い、授業後に約30分の復習課題を行います。

A total of 45 hours of study is required per 1-credit course, including class (calculated as 2 hours per session) and pre- and post-work study. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題: None

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第2回】

事前学修課題: Pre-read textbook p. 6

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第3回】

事前学修課題: Pre-read textbook pp. 9-10

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第4回】

事前学修課題: Pre-read textbook p. 12

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第5回】

事前学修課題: Pre-read textbook pp. 15-16

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第6回】

事前学修課題: Pre-read textbook p. 18

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第7回】

事前学修課題: Pre-read textbook pp. 21-22

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments. Prepare for midterm evaluation.

【第8回】

前学修課題: Review Units 1-3 for test.

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第9回】

事前学修課題: Pre-read textbook p. 24

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第10回】

事前学修課題: Pre-read textbook pp. 27-28

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第11回】

事前学修課題: Pre-read textbook p. 32

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第12回】

事前学修課題: Pre-read textbook pp. 36-37

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第13回】

事前学修課題: Pre-read textbook p. 40

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第14回】

事前学修課題: Pre-read textbook pp. 43-44

事後学修課題: Review Grammar and Writing Assignments

【第15回】

事前学修課題: Review Units 4-6 for final evaluation. Prepare for end of term evaluation.

事後学修課題: Complete and submit the final evaluation assignment

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed as homework, and midterm and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course if they comply with the attendance policy (see below).

Grade Breakdown:

1) Active participation (10%)

This means actively taking part in all in-class and Google Classroom writing activities. You are expected to enter on time, continue to participate for the whole class, and respond to the teacher and other students orally or through feedback options of the software.

2) Homework and preparation for classes (25%)

- 3) In-class evaluations and other in-class assignments (40), vocabulary quizzes (15)
 4) Final Evaluation Assignment (10%)

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Please contact your individual instructor for information about coursework and grading policy.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	55	In-class evaluations and other in-class assignments (40), vocabulary quizzes (15)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	25	Homework assignments (25)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10	Final Evaluation (10)	1, 2, 3
その他	10	Active participation during in-class activities (10)	1, 2, 3, 4

テキスト	Real Writing, Mariko Kawasaki, Ayed Hasian, Samuel Haugh, Yoko Nakano, Seishirou Ibaraki; Nan'un-do 2019 978-4-523-17886-6
------	---

参考書	None
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	---

授業コード	13104551	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	WritingⅢ [対面]				
シラバス執筆(全員)	O. J. クロー				
シラバス執筆(主)	O. J. クロー				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course students will focus on academic essay writing. There will be two major essays for students to complete, and one opinion article for the IEP Times. Each will follow the IEP writing process, which will help students develop ideas and build writing confidence. In terms of skills, students will learn how to write clear summaries, write correct citations and references, and interpret graphs and charts.

到達目標

1. Review the six-step writing process (Brainstorm, Outline, Research and Paraphrase, Rough Draft, Editing, Final Draft)
2. Reproduce IEP Writing Format (Template)
3. Write two five-paragraph essays
4. Complete two short presentations based on essay content
5. One opinion article for IEP Times - 200-300 words
6. Summarize information from external sources (internet, newspapers etc.)
7. Interpret graphs, figures, and tables
8. Complete citations and references in APA

授業計画

[第1回]

テーマ: Course introduction, Review the writing process, paragraph structure, and essay structure, APA introduction

内容・方法: Review previous course writing process and skills with practice, introduce APA

[第2回]

テーマ: Essay 1: Brainstorming, Outline, Research, Summary practice, APA practice

内容・方法: Complete first three stages of writing process, Summary practice, APA practice

[第3回]

テーマ: Essay 1: Rough Draft (Paragraph 1, 2), Summary and paraphrasing practice

内容・方法: Use previous class notes to write first two paragraphs of Essay 1, practice summarizing/paraphrasing

[第4回]

テーマ: Essay 1: Rough Draft (Paragraph 3, 4), Summary and paraphrasing practice

内容・方法: Use notes to write next two paragraphs of Essay 1, practice summarizing/paraphrasing

[第5回]

テーマ: Essay 1: Rough draft (Paragraph 5), Submission

内容・方法: Complete conclusion, peer review, focus on APA citation and other common mistakes

[第6回]

テーマ: Essay 1: Editing, Final Draft Submission, Short presentation based on content, Self-reflection

内容・方法: Students correct mistakes based on teacher feedback, present their content to a group

[第7回]

テーマ: IEP Times Article Development

内容・方法: Prepare draft for IEP Times submission using six step process

[第8回]

テーマ: IEP Times Article Editing and Submission

内容・方法: Correct based on teacher comments, adhere to format

[第9回]

テーマ: Graphs and Charts

内容・方法: Summarize graphs from samples, internet sources

[第10回]

テーマ: Essay 2: Brainstorming, Outline, Research Day, Review Summary and Paraphrasing

内容・方法: Complete first three stages of writing process, Summary practice, APA practice

[第11回]

テーマ: Essay 2: Rough Draft (Paragraph 1, 2), Summary and paraphrasing practice

内容・方法: Use previous class notes to write first two paragraphs of Essay 2, practice summarizing/paraphrasing

[第12回]

テーマ: Essay 2: Rough Draft (Paragraph 3, 4), Summary and paraphrasing practice

内容・方法: Use notes to write next two paragraphs of Essay 2, practice summarizing/paraphrasing

[第13回]

テーマ: Essay 2: Rough draft (Paragraph 5), Submission

内容・方法: Complete conclusion, peer review, focus on APA citation and other common mistakes

[第14回]

テーマ: Essay 2: Editing, Final Draft Submission, Prepare and Give Presentation, self-reflection

内容・方法: Students correct mistakes based on teacher feedback

[第15回]

テーマ: TOEIC Test

内容・方法: TOEIC Test

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a one-credit (1単位) course, which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

[第1回]

①事前学修課題: Review notes from previous course, review paragraph structure and essay structure

②事後学修課題: Review APA format and practice

[第2回]

①事前学修課題: Review the writing process, preview the topic

②事後学修課題: Complete homework, plan essay, gather information for summary

[第3回]

①事前学修課題: Review notes, choose most important information

②事後学修課題: Complete paragraphs, include references and citations

[第4回]

①事前学修課題: Reread paragraphs, correct any mistakes

②事後学修課題: Complete paragraphs, include references and citations

[第5回]

①事前学修課題: Reread paragraphs, correct any mistakes

②事後学修課題: Complete conclusion, compile and review, submit rough draft

[第6回]

①事前学修課題: Complete conclusion, compile and review, submit rough draft

②事後学修課題: Finish editing rough draft, ask teacher about comments, submit final draft

[第7回]

①事前学修課題: Consider ideas for IEP Times article

②事後学修課題: Complete rough draft, reread and submit

[第8回]

①事前学修課題: Complete rough draft, reread and submit

②事後学修課題: Finish editing rough draft, ask teacher about comments, submit final draft

[第9回]

①事前学修課題: Submit the article by the deadline

②事後学修課題: Complete homework on graph summary

[第10回]

①事前学修課題: Review the writing process, preview the topic

②事後学修課題: Complete homework, plan essay, gather information for summary

[第11回]

①事前学修課題: Review notes, choose most important information

②事後学修課題: Complete paragraphs, include references and citations

[第12回]

①事前学修課題: Reread paragraphs, correct any mistakes

②事後学修課題: Complete paragraphs, include references and citations

[第13回]

①事前学修課題: Reread paragraphs, correct any mistakes

②事後学修課題: Complete conclusion, compile and review, submit rough draft

[第14回]

①事前学修課題: Complete conclusion, compile and review, submit rough draft

②事後学修課題: Finish editing rough draft, plan presentation

[第15回]

①事前学修課題: Prepare final draft, presentation

②事後学修課題: Complete self-reflection and check grades on Google Classroom

課題に対するフィードバックの方法

Points will be given on assignments (sometimes through the use of rubrics), and comments will be given as much as possible. This information will be viewable to students on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Credit for this course will be awarded to students who achieve an overall score of 60% or greater in the following categories. If a student is absent more than four times or does not participate in the major projects and assignments of the course, a [K] will be awarded.

成績評価の種類

評価割合 (%)

評価方法・割合

評価対象となる到達目標

授業内での評価	70	Participation 10%, Classwork 40%, Essay 1 20%	1, 2, 3, 4, 6, 7, 8
授業外での評価	10	IEP Times Article 10%	5
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Essay 2 20%	2, 3, 7, 8
その他	0		

テキスト	None		
------	------	--	--

参考書	Materials provided by the instructor		
-----	--------------------------------------	--	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD – 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>		
---------------	---	--	--

授業コード	13104552	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	WritingⅢ [対面]				
シラバス執筆(全員)	J. エチャャー				
シラバス執筆(主)	J. エチャャー				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course students will focus on academic essay writing. There will be two major essays for students to complete, and one opinion article for the IEP Times. Each will follow the IEP writing process, which will help students develop ideas and build writing confidence. In terms of skills, students will learn how to write clear summaries, write correct citations and references, and interpret graphs and charts.

到達目標

1. Review the six-step writing process (Brainstorm, Outline, Research and Paraphrase, Rough Draft, Editing, Final Draft)
2. Reproduce IEP Writing Format (Template)
3. Write two five-paragraph essays
4. Complete two short presentations based on essay content
5. One opinion article for IEP Times - 200-300 words
6. Summarize information from external sources (internet, newspapers etc.)
7. Interpret graphs, figures, and tables
8. Complete citations and references in APA

授業計画

[第1回]

テーマ: Course introduction, Review the writing process, paragraph structure, and essay structure, APA introduction

内容・方法: Review previous course writing process and skills with practice, introduce APA

[第2回]

テーマ: Essay 1: Brainstorming, Outline, Research, Summary practice, APA practice

内容・方法: Complete first three stages of writing process, Summary practice, APA practice

[第3回]

テーマ: Essay 1: Rough Draft (Paragraph 1, 2), Summary and paraphrasing practice

内容・方法: Use previous class notes to write first two paragraphs of Essay 1, practice summarizing/paraphrasing

[第4回]

テーマ: Essay 1: Rough Draft (Paragraph 3, 4), Summary and paraphrasing practice

内容・方法: Use notes to write next two paragraphs of Essay 1, practice summarizing/paraphrasing

[第5回]

テーマ: Essay 1: Rough draft (Paragraph 5), Submission

内容・方法: Complete conclusion, peer review, focus on APA citation and other common mistakes

[第6回]

テーマ: Essay 1: Editing, Final Draft Submission, Short presentation based on content, Self-reflection

内容・方法: Students correct mistakes based on teacher feedback, present their content to a group

[第7回]

テーマ: IEP Times Article Development

内容・方法: Prepare draft for IEP Times submission using six step process

[第8回]

テーマ: IEP Times Article Editing and Submission

内容・方法: Correct based on teacher comments, adhere to format

[第9回]

テーマ: Graphs and Charts

内容・方法: Summarize graphs from samples, internet sources

[第10回]

テーマ: Essay 2: Brainstorming, Outline, Research Day, Review Summary and Paraphrasing

内容・方法: Complete first three stages of writing process, Summary practice, APA practice

[第11回]

テーマ: Essay 2: Rough Draft (Paragraph 1, 2), Summary and paraphrasing practice

内容・方法: Use previous class notes to write first two paragraphs of Essay 2, practice summarizing/paraphrasing

[第12回]

テーマ: Essay 2: Rough Draft (Paragraph 3, 4), Summary and paraphrasing practice

内容・方法: Use notes to write next two paragraphs of Essay 2, practice summarizing/paraphrasing

[第13回]

テーマ: Essay 2: Rough draft (Paragraph 5), Submission

内容・方法: Complete conclusion, peer review, focus on APA citation and other common mistakes

[第14回]

テーマ: Essay 2: Editing, Final Draft Submission, Prepare and Give Presentation, self-reflection
内容・方法: Students correct mistakes based on teacher feedback

[第15回]

テーマ: TOEIC Test
内容・方法: TOEIC Test

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a one-credit (1単位) course, which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

[第1回]

- ①事前学修課題: Review notes from previous course, review paragraph structure and essay structure
- ②事後学修課題: Review APA format and practice

[第2回]

- ①事前学修課題: Review the writing process, preview the topic
- ②事後学修課題: Complete homework, plan essay, gather information for summary

[第3回]

- ①事前学修課題: Review notes, choose most important information
- ②事後学修課題: Complete paragraphs, include references and citations

[第4回]

- ①事前学修課題: Reread paragraphs, correct any mistakes
- ②事後学修課題: Complete paragraphs, include references and citations

[第5回]

- ①事前学修課題: Reread paragraphs, correct any mistakes
- ②事後学修課題: Complete conclusion, compile and review, submit rough draft

[第6回]

- ①事前学修課題: Complete conclusion, compile and review, submit rough draft
- ②事後学修課題: Finish editing rough draft, ask teacher about comments, submit final draft

[第7回]

- ①事前学修課題: Consider ideas for IEP Times article
- ②事後学修課題: Complete rough draft, reread and submit

[第8回]

- ①事前学修課題: Complete rough draft, reread and submit
- ②事後学修課題: Finish editing rough draft, ask teacher about comments, submit final draft

[第9回]

- ①事前学修課題: Submit the article by the deadline
- ②事後学修課題: Complete homework on graph summary

[第10回]

- ①事前学修課題: Review the writing process, preview the topic
- ②事後学修課題: Complete homework, plan essay, gather information for summary

[第11回]

- ①事前学修課題: Review notes, choose most important information
- ②事後学修課題: Complete paragraphs, include references and citations

[第12回]

- ①事前学修課題: Reread paragraphs, correct any mistakes
- ②事後学修課題: Complete paragraphs, include references and citations

[第13回]

- ①事前学修課題: Reread paragraphs, correct any mistakes
- ②事後学修課題: Complete conclusion, compile and review, submit rough draft

[第14回]

- ①事前学修課題: Complete conclusion, compile and review, submit rough draft
- ②事後学修課題: Finish editing rough draft, plan presentation

[第15回]

- ①事前学修課題: Prepare final draft, presentation
- ②事後学修課題: Complete self-reflection and check grades on Google Classroom

課題に対するフィードバックの方法

Points will be given on assignments (sometimes through the use of rubrics), and comments will be given as much as possible. This information will be viewable to students on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Credit for this course will be awarded to students who achieve an overall score of 60% or greater in the following categories. If a student is absent more than four times or does not participate in the major projects and assignments of the course, a [K] will be awarded.

成績評価の種類

評価割合 (%)

評価方法・割合

評価対象となる到達目標

授業内での評価	70	Participation 10%, Classwork 40%, Essay 1 20%	1, 2, 3, 4, 6, 7, 8
授業外での評価	10	IEP Times Article 10%	5
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Essay 2 20%	2, 3, 7, 8
その他	0		

テキスト	None		
------	------	--	--

参考書	Materials provided by the instructor		
-----	--------------------------------------	--	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD – 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>		
---------------	---	--	--

授業コード	13104601	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	WritingIV [対面]				
シラバス執筆(全員)	P.L. ストリックランド				
シラバス執筆(主)	P.L. ストリックランド				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course will help you improve the writing skills needed to express your ideas clearly and accurately. The writings are short and the skills gained will be useful for future writing tests. The skills include brainstorming, organizing, planning, formatting, and writing on given topics. You will learn about and practise language at sentence, paragraph, and short essay level. You are expected to finish all writing and homework assignments. Handing in all your work is essential for passing this course.

到達目標

- By successfully completing this course, students will be able to:
1. Write paragraphs (original, well-formed paragraphs of ~20 sentences including topic sentences, supporting details, and concluding sentences, and original essays of 3 - 4 paragraphs)
 2. Edit paragraphs and essays (peer editing as well as editing their own work based on teacher comments)
 3. Use correct grammar in writing a variety of paragraph and essay types
 4. Build vocabulary (vocabulary words and language terms to talk about grammar and writing)

授業計画

- 【第 1 回】
 テーマ： Unit 7
 内容・方法： Review Units 1-6, Cause and Effect Signals
- 【第 2 回】
 テーマ： Unit 7
 内容・方法： Paragraph 1
- 【第 3 回】
 テーマ： Unit 8
 内容・方法： Vocabulary Quiz 1; Evidence Signals
- 【第 4 回】
 テーマ： Unit 8
 内容・方法： Paragraph 2
- 【第 5 回】
 テーマ： Unit 9
 内容・方法： Auxiliary Verbs, Structure
- 【第 6 回】
 テーマ： Unit 9
 内容・方法： Paragraph 3
- 【第 7 回】
 テーマ： In-class Midterm Evaluation
 内容・方法： Vocabulary Quiz 2; Units 7-9 Evaluation
- 【第 8 回】
 テーマ： Unit 10
 内容・方法： Time Order Signals
- 【第 9 回】
 テーマ： Unit 10
 内容・方法： Paragraph 4
- 【第 10 回】
 テーマ： Unit 11
 内容・方法： Vocabulary Quiz 3; Process Signals
- 【第 11 回】
 テーマ： Unit 11
 内容・方法： Paragraph 5
- 【第 12 回】
 テーマ： Unit 13
 内容・方法： Essay Structure
- 【第 13 回】
 テーマ： Unit 13
 内容・方法： Vocabulary Quiz 4; Citations
- 【第 14 回】
 テーマ： Units 13 & 14
 内容・方法： Essay 1
- 【第 15 回】
 テーマ： Review and Final Evaluation

内容・方法 : End of term evaluation. Review Units 10-14. Explanation of Final Report Exam & Begin writing

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。毎回の授業前に約30分の予習課題を行い、授業後に約30分の復習課題を行います。
A total of 45 hours of study is required per 1-credit course, including class (calculated as 2 hours per session) and pre- and post-work study. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題 : None

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第2回】

事前学修課題 : Pre-read textbook pp. 52-53

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第3回】

事前学修課題 : Pre-read textbook p. 56

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第4回】

事前学修課題 : Pre-read textbook pp. 59-60

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第5回】

事前学修課題 : Pre-read textbook p. 64

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第6回】

事前学修課題 : Pre-read textbook pp. 68-69

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第7回】

事前学修課題 : Review Units 7-9 for Test. Prepare for midterm evaluation.

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第8回】

事前学修課題 : Pre-read textbook p. 72

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第9回】

事前学修課題 : Pre-read textbook pp. 75-77

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第10回】

事前学修課題 : Pre-read textbook p. 80

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第11回】

事前学修課題 : Pre-read textbook pp. 84-85

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第12回】

事前学修課題 : Pre-read textbook p. 96

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第13回】

事前学修課題 : Pre-read textbook pp. 100-101

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第14回】

事前学修課題 : Pre-read textbook pp. 104, 107, 109

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments.

【第15回】

事前学修課題 : Review Units 10-14 for final evaluation. Prepare for end of term evaluation.

事後学修課題 : Submit Final Evaluation

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed as homework, and midterm, end of term, and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course if they comply with the attendance policy (see below).

Grade Breakdown:

1) Positive participation (10%)

This means actively taking part in all in-class and Google Classroom writing activities. You are

expected to enter on time, continue to participate for the whole class, and respond to the teacher and other students orally or through feedback options of the software.

2) Homework and preparation for classes (25%)

3) Midterm and End of Term evaluations and other in-class assignments (40%), vocabulary quizzes (15%)

4) Final Evaluation Assignment (10%)

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Please contact your individual instructor for information about coursework and grading policy.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	55	Midterm and End of Term Evaluations and other in-class assignments (40), vocabulary quizzes (15)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	25	Homework assignments (25)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10	Final Evaluation (10)	1, 2, 3
その他	10	Active participation during in-class activities (10)	1, 2, 3, 4

テキスト	Real Writing, Mariko Kawasaki, Ayed Hasian, Samuel Haugh, Yoko Nakano, Seishirou Ibaraki; Nan'un-do 2019 978-4-523-17886-6
------	---

参考書	None
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13104602	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	WritingIV [対面]				
シラバス執筆(全員)	S. D. ラーダー				
シラバス執筆(主)	S. D. ラーダー				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

This course will help you improve the writing skills needed to express your ideas clearly and accurately. The writings are short and the skills gained will be useful for future writing tests. The skills include brainstorming, organizing, planning, formatting, and writing on given topics. You will learn about and practise language at sentence, paragraph, and short essay level. You are expected to finish all writing and homework assignments. Handing in all your work is essential for passing this course.

到達目標

By successfully completing this course, students will be able to:

1. Write paragraphs (original, well-formed paragraphs of ~20 sentences including topic sentences, supporting details, and concluding sentences, and original essays of 3 - 4 paragraphs)
2. Edit paragraphs and essays (peer editing as well as editing their own work based on teacher comments)
3. Use correct grammar in writing a variety of paragraph and essay types
4. Build vocabulary (vocabulary words and language terms to talk about grammar and writing)

授業計画

【第 1 回】
 テーマ： Unit 7
 内容・方法： Review Units 1-6, Cause and Effect Signals

【第 2 回】
 テーマ： Unit 7
 内容・方法： Paragraph 1

【第 3 回】
 テーマ： Unit 8
 内容・方法： Vocabulary Quiz 1; Evidence Signals

【第 4 回】
 テーマ： Unit 8
 内容・方法： Paragraph 2

【第 5 回】
 テーマ： Unit 9
 内容・方法： Auxiliary Verbs, Structure

【第 6 回】
 テーマ： Unit 9
 内容・方法： Paragraph 3

【第 7 回】
 テーマ： In-class Midterm Evaluation
 内容・方法： Vocabulary Quiz 2; Units 7-9 Evaluation

【第 8 回】
 テーマ： Unit 10
 内容・方法： Time Order Signals

【第 9 回】
 テーマ： Unit 10
 内容・方法： Paragraph 4

【第 10 回】
 テーマ： Unit 11
 内容・方法： Vocabulary Quiz 3; Process Signals

【第 11 回】
 テーマ： Unit 11
 内容・方法： Paragraph 5

【第 12 回】
 テーマ： Unit 13
 内容・方法： Essay Structure

【第 13 回】
 テーマ： Unit 13
 内容・方法： Vocabulary Quiz 4; Citations

【第 14 回】
 テーマ： Units 13 & 14
 内容・方法： Essay 1

【第 15 回】
 テーマ： Review and Final Evaluation

内容・方法 : End of term evaluation. Review Units 10-14. Explanation of Final Report Exam & Begin writing

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。毎回の授業前に約30分の予習課題を行い、授業後に約30分の復習課題を行います。
A total of 45 hours of study is required per 1-credit course, including class (calculated as 2 hours per session) and pre- and post-work study. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

【第1回】

事前学修課題 : None

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第2回】

事前学修課題 : Pre-read textbook pp. 52-53

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第3回】

事前学修課題 : Pre-read textbook p. 56

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第4回】

事前学修課題 : Pre-read textbook pp. 59-60

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第5回】

事前学修課題 : Pre-read textbook p. 64

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第6回】

事前学修課題 : Pre-read textbook pp. 68-69

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第7回】

事前学修課題 : Review Units 7-9 for Test. Prepare for midterm evaluation.

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第8回】

事前学修課題 : Pre-read textbook p. 72

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第9回】

事前学修課題 : Pre-read textbook pp. 75-77

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第10回】

事前学修課題 : Pre-read textbook p. 80

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第11回】

事前学修課題 : Pre-read textbook pp. 84-85

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第12回】

事前学修課題 : Pre-read textbook p. 96

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第13回】

事前学修課題 : Pre-read textbook pp. 100-101

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments

【第14回】

事前学修課題 : Pre-read textbook pp. 104, 107, 109

事後学修課題 : Review Grammar and Writing Assignments.

【第15回】

事前学修課題 : Review Units 10-14 for final evaluation. Prepare for end of term evaluation.

事後学修課題 : Submit Final Evaluation

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, assignments completed as homework, and midterm, end of term, and final evaluations. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course if they comply with the attendance policy (see below).

Grade Breakdown:

- 1) Positive participation (10%)

This means actively taking part in all in-class and Google Classroom writing activities. You are

expected to enter on time, continue to participate for the whole class, and respond to the teacher and other students orally or through feedback options of the software.

2) Homework and preparation for classes (25%)

3) Midterm and End of Term evaluations and other in-class assignments (40%), vocabulary quizzes (15%)

4) Final Evaluation Assignment (10%)

Note: The course plan and grading criteria are subject to change. Please contact your individual instructor for information about coursework and grading policy.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	55	Midterm and End of Term Evaluations and other in-class assignments (40), vocabulary quizzes (15)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	25	Homework assignments (25)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10	Final Evaluation (10)	1, 2, 3
その他	10	Active participation during in-class activities (10)	1, 2, 3, 4

テキスト	Real Writing, Mariko Kawasaki, Ayed Hasian, Samuel Haugh, Yoko Nakano, Seishirou Ibaraki; Nan'un-do 2019 978-4-523-17886-6
------	--

参考書	None
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13104651	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	WritingIV [対面]				
シラバス執筆(全員)	O. J. クロー				
シラバス執筆(主)	O. J. クロー				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course, students will continue to develop writing ability. As in the previous course, students will create two essays. These assignments focus on idea development and written communication. In addition, students will again create an article for the IEP Times, and learn more about summarizing information. Lastly, students will learn to how to gather simple survey data and create their own graphs.

到達目標

1. Review the six-step writing process (Brainstorm, Outline, Research and Paraphrase, Rough Draft, Editing, Final Draft)
2. Reproduce IEP Writing Format (Template)
3. Write two five-paragraph essays
4. Complete two short presentations based on essay content
5. One opinion article for IEP Times - 200-300 words
6. Summarize information from external sources (internet, newspapers etc.)
7. Interpret graphs, figures, and tables
8. Complete citations and references in APA

授業計画

[第1回]

テーマ: Course introduction, Review the writing process, essay structure, APA references and citation method

内容・方法: Review previous course writing process and skills with practice, review APA

[第2回]

テーマ: Essay 1: Brainstorming, Outline, Research, Summary practice, APA practice

内容・方法: Complete first three stages of writing process, Summary practice, APA practice

[第3回]

テーマ: Essay 1: Rough Draft (Paragraph 1, 2), Summary and paraphrasing practice

内容・方法: Use previous class notes to write first two paragraphs of Essay 1, practice summarizing/paraphrasing

[第4回]

テーマ: Essay 1: Rough Draft (Paragraph 3, 4), Summary and paraphrasing practice

内容・方法: Use notes to write next two paragraphs of Essay 1, practice summarizing/paraphrasing

[第5回]

テーマ: Essay 1: Rough draft (Paragraph 5), Submission

内容・方法: Complete conclusion, peer review, focus on APA citation and other common mistakes

[第6回]

テーマ: Essay 1: Editing, Final Draft Submission, Short presentation based on content, Self-reflection

内容・方法: Students correct mistakes based on teacher feedback, present their content to a group

[第7回]

テーマ: IEP Times Article Development

内容・方法: Prepare draft for IEP Times submission using six step process

[第8回]

テーマ: IEP Times Article Editing and Submission

内容・方法: Correct based on teacher comments, adhere to format

[第9回]

テーマ: Graphs and Charts

内容・方法: Create graphs from samples, internet sources

[第10回]

テーマ: Essay 2: Brainstorming, Outline, Research, In-class survey

内容・方法: Complete first three stages of writing process, Summary practice, APA practice

[第11回]

テーマ: Essay 2: Rough Draft (Paragraph 1, 2), Summary and paraphrasing practice

内容・方法: Use previous class notes to write first two paragraphs of Essay 2, practice summarizing/paraphrasing

[第12回]

テーマ: Essay 2: Rough Draft (Paragraph 3, 4), Summary and paraphrasing practice

内容・方法: Use notes to write next two paragraphs of Essay 2, practice summarizing/paraphrasing

[第13回]

テーマ: Essay 2: Rough draft (Paragraph 5), Submission

内容・方法: Complete conclusion, peer review, focus on APA citation and other common mistakes

[第14回]

テーマ: Essay 2: Editing,

内容・方法: Students correct mistakes based on teacher feedback

[第15回]

テーマ: TOEIC Test

内容・方法: TOEIC Test

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a one-credit (1単位) course, which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

[第1回]

①事前学修課題: Review notes from previous course, review essay structure, APA references and citations

②事後学修課題: Review APA format and practice

[第2回]

①事前学修課題: Review the writing process, preview the topic

②事後学修課題: Complete homework, plan essay, gather information for summary

[第3回]

①事前学修課題: Review notes, choose most important information

②事後学修課題: Complete paragraphs, include references and citations

[第4回]

①事前学修課題: Reread paragraphs, correct any mistakes

②事後学修課題: Complete paragraphs, include references and citations

[第5回]

①事前学修課題: Reread paragraphs, correct any mistakes

②事後学修課題: Complete conclusion, compile and review, submit rough draft

[第6回]

①事前学修課題: Complete conclusion, compile and review, submit rough draft

②事後学修課題: Finish editing rough draft, ask teacher about comments, submit final draft

[第7回]

①事前学修課題: Consider ideas for IEP Times article

②事後学修課題: Complete rough draft, reread and submit

[第8回]

①事前学修課題: Complete rough draft, reread and submit

②事後学修課題: Finish editing rough draft, ask teacher about comments, submit final draft

[第9回]

①事前学修課題: Submit the article by the deadline

②事後学修課題: Complete homework on graph summary

[第10回]

①事前学修課題: Review the writing process, preview the topic

②事後学修課題: Complete homework, plan essay, organize survey data and create graph, gather information for summary

[第11回]

①事前学修課題: Review notes, choose most important information

②事後学修課題: Complete paragraphs, include references and citations

[第12回]

①事前学修課題: Reread paragraphs, correct any mistakes

②事後学修課題: Complete paragraphs, include references and citations

[第13回]

①事前学修課題: Reread paragraphs, correct any mistakes

②事後学修課題: Complete conclusion, compile and review, submit rough draft

[第14回]

①事前学修課題: Complete conclusion, compile and review, submit rough draft

②事後学修課題: Finish editing rough draft, plan presentation

[第15回]

①事前学修課題: Prepare final draft, presentation

②事後学修課題: Complete self-reflection and check grades on Google Classroom

課題に対するフィードバックの方法

Points will be given on assignments (sometimes through the use of rubrics), and comments will be given as much as possible. This information will be viewable to students on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Credit for this course will be awarded to students who achieve an overall score of 60% or greater in the following categories. If a student is absent more than four times or does not participate in the major projects and assignments of the course, a [K] will be awarded.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	70	Participation 10%, Classwork 40%, Essay 1 20%	1, 2, 3, 4, 6, 7, 8
授業外での評価	10	IEP Times Article 10%	5
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Essay 2 20%	2, 3, 7, 8
その他	0		

テキスト	None
------	------

参考書	Materials provided by the instructor
-----	--------------------------------------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD – 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	---

授業コード	13104652	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	WritingIV [対面]				
シラバス執筆(全員)	J. エチャャー				
シラバス執筆(主)	J. エチャャー				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

In this course, students will continue to develop writing ability. As in the previous course, students will create two essays. These assignments focus on idea development and written communication. In addition, students will again create an article for the IEP Times, and learn more about summarizing information. Lastly, students will learn to how to gather simple survey data and create their own graphs.

到達目標

1. Review the six-step writing process (Brainstorm, Outline, Research and Paraphrase, Rough Draft, Editing, Final Draft)
2. Reproduce IEP Writing Format (Template)
3. Write two five-paragraph essays
4. Complete two short presentations based on essay content
5. One opinion article for IEP Times - 200-300 words
6. Summarize information from external sources (internet, newspapers etc.)
7. Interpret graphs, figures, and tables
8. Complete citations and references in APA

授業計画

[第1回]

テーマ: Course introduction, Review the writing process, essay structure, APA references and citation method

内容・方法: Review previous course writing process and skills with practice, review APA

[第2回]

テーマ: Essay 1: Brainstorming, Outline, Research, Summary practice, APA practice

内容・方法: Complete first three stages of writing process, Summary practice, APA practice

[第3回]

テーマ: Essay 1: Rough Draft (Paragraph 1, 2), Summary and paraphrasing practice

内容・方法: Use previous class notes to write first two paragraphs of Essay 1, practice summarizing/paraphrasing

[第4回]

テーマ: Essay 1: Rough Draft (Paragraph 3, 4), Summary and paraphrasing practice

内容・方法: Use notes to write next two paragraphs of Essay 1, practice summarizing/paraphrasing

[第5回]

テーマ: Essay 1: Rough draft (Paragraph 5), Submission

内容・方法: Complete conclusion, peer review, focus on APA citation and other common mistakes

[第6回]

テーマ: Essay 1: Editing, Final Draft Submission, Short presentation based on content, Self-reflection

内容・方法: Students correct mistakes based on teacher feedback, present their content to a group

[第7回]

テーマ: IEP Times Article Development

内容・方法: Prepare draft for IEP Times submission using six step process

[第8回]

テーマ: IEP Times Article Editing and Submission

内容・方法: Correct based on teacher comments, adhere to format

[第9回]

テーマ: Graphs and Charts

内容・方法: Create graphs from samples, internet sources

[第10回]

テーマ: Essay 2: Brainstorming, Outline, Research, In-class survey

内容・方法: Complete first three stages of writing process, Summary practice, APA practice

[第11回]

テーマ: Essay 2: Rough Draft (Paragraph 1, 2), Summary and paraphrasing practice

内容・方法: Use previous class notes to write first two paragraphs of Essay 2, practice summarizing/paraphrasing

[第12回]

テーマ: Essay 2: Rough Draft (Paragraph 3, 4), Summary and paraphrasing practice

内容・方法: Use notes to write next two paragraphs of Essay 2, practice summarizing/paraphrasing

[第13回]

テーマ: Essay 2: Rough draft (Paragraph 5), Submission

内容・方法: Complete conclusion, peer review, focus on APA citation and other common mistakes

[第14回]

テーマ: Essay 2: Editing,

内容・方法: Students correct mistakes based on teacher feedback

[第15回]

テーマ: TOEIC Test

内容・方法: TOEIC Test

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a one-credit (1単位) course, which requires a total of 45 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 30 minutes for preparation assignments before each class AND an additional 30 minutes for review assignments after each class.

[第1回]

①事前学修課題: Review notes from previous course, review essay structure, APA references and citations

②事後学修課題: Review APA format and practice

[第2回]

①事前学修課題: Review the writing process, preview the topic

②事後学修課題: Complete homework, plan essay, gather information for summary

[第3回]

①事前学修課題: Review notes, choose most important information

②事後学修課題: Complete paragraphs, include references and citations

[第4回]

①事前学修課題: Reread paragraphs, correct any mistakes

②事後学修課題: Complete paragraphs, include references and citations

[第5回]

①事前学修課題: Reread paragraphs, correct any mistakes

②事後学修課題: Complete conclusion, compile and review, submit rough draft

[第6回]

①事前学修課題: Complete conclusion, compile and review, submit rough draft

②事後学修課題: Finish editing rough draft, ask teacher about comments, submit final draft

[第7回]

①事前学修課題: Consider ideas for IEP Times article

②事後学修課題: Complete rough draft, reread and submit

[第8回]

①事前学修課題: Complete rough draft, reread and submit

②事後学修課題: Finish editing rough draft, ask teacher about comments, submit final draft

[第9回]

①事前学修課題: Submit the article by the deadline

②事後学修課題: Complete homework on graph summary

[第10回]

①事前学修課題: Review the writing process, preview the topic

②事後学修課題: Complete homework, plan essay, organize survey data and create graph, gather information for summary

[第11回]

①事前学修課題: Review notes, choose most important information

②事後学修課題: Complete paragraphs, include references and citations

[第12回]

①事前学修課題: Reread paragraphs, correct any mistakes

②事後学修課題: Complete paragraphs, include references and citations

[第13回]

①事前学修課題: Reread paragraphs, correct any mistakes

②事後学修課題: Complete conclusion, compile and review, submit rough draft

[第14回]

①事前学修課題: Complete conclusion, compile and review, submit rough draft

②事後学修課題: Finish editing rough draft, plan presentation

[第15回]

①事前学修課題: Prepare final draft, presentation

②事後学修課題: Complete self-reflection and check grades on Google Classroom

課題に対するフィードバックの方法

Points will be given on assignments (sometimes through the use of rubrics), and comments will given as much as possible. This information will be viewable to students on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Credit for this course will be awarded to students who achieve an overall score of 60% or greater in the following categories. If a student is absent more than four times or does not participate in the major projects and assignments of the course, a [K] will be awarded.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	70	Participation 10%, Classwork 40%, Essay 1 20%	1, 2, 3, 4, 6, 7, 8
授業外での評価	10	IEP Times Article 10%	5
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Essay 2 20%	2, 3, 7, 8
その他	0		

テキスト	None
------	------

参考書	Materials provided by the instructor
-----	--------------------------------------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできないが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD – 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	---

授業コード	13104951	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Movie & Culture I [対面]				
シラバス執筆(全員)	O. J. クロー				
シラバス執筆(主)	O. J. クロー				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

The main focus of this course is to develop cultural understanding through literature. As a content course, understanding native-level materials is the goal, instead of English language features. There will be many opportunities for discussion and interpretation. In addition, students will compare their own culture to the materials. Some difficult cultural situations are presented in the books. By learning about them, students will find their own voices on the topics. Students are expected to be active in class, and participate in group projects.

到達目標

1. Read two short native-level novels (Outsiders and Fantastic Mr. Fox).
2. Understand culture through literature.
3. Develop critical thinking on social issues.
4. Complete two tests and many section quizzes on book content.
5. Complete two capstone discussions on the themes of each book (10 minutes each).
6. Complete vocabulary quizzes, summaries, and other activities for each section of the books.

授業計画

[第1回]
 テーマ: Course introduction, Book introduction, Strategies for reading native-level book
 内容・方法: Explain course content, introduce methods of dealing with new vocabulary, checking for understanding

[第2回]
 テーマ: Fantastic Mr. Fox, Part 1
 内容・方法: Vocabulary, comprehension, discussion, summary

[第3回]
 テーマ: Fantastic Mr. Fox, Part 2
 内容・方法: Vocabulary, comprehension, discussion, summary

[第4回]
 テーマ: Fantastic Mr. Fox, Part 3
 内容・方法: Vocabulary, comprehension, discussion, summary

[第5回]
 テーマ: Fantastic Mr. Fox, Part 4
 内容・方法: Vocabulary, comprehension, discussion, summary

[第6回]
 テーマ: Fantastic Mr. Fox, Review, Final Discussion, Final Quiz
 内容・方法: Review book content for overall themes, timed discussion, and quiz

[第7回]
 テーマ: The Outsiders, Part 1
 内容・方法: Vocabulary, comprehension, discussion, summary

[第8回]
 テーマ: The Outsiders, Part 2
 内容・方法: Vocabulary, comprehension, discussion, summary

[第9回]
 テーマ: The Outsiders, Part 3
 内容・方法: Vocabulary, comprehension, discussion, summary

[第10回]
 テーマ: The Outsiders, Part 4
 内容・方法: Vocabulary, comprehension, discussion, summary

[第11回]
 テーマ: The Outsiders, Part 5
 内容・方法: Vocabulary, comprehension, discussion, summary

[第12回]
 テーマ: The Outsiders, Part 6
 内容・方法: Vocabulary, comprehension, discussion, summary

[第13回]
 テーマ: The Outsiders, Part 7
 内容・方法: Vocabulary, comprehension, discussion, summary

[第14回]
 テーマ: The Outsiders, Review, Final Discussion, Final Quiz
 内容・方法: Review book content for overall themes, timed discussion, and quiz

[第15回]
 テーマ: TOEIC Testing

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a 2-credit (2単位) course which requires a total of 90 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 2 hours for preparation assignments before each class AND an additional 2 hours for review assignments after each class.

[第1回]

- ①事前学修課題 : Preview the syllabus, buy books, review discussion phrases from previous courses
- ②事後学修課題 : Complete homework, Review notes on learning strategies, reading strategies

[第2回]

- ①事前学修課題 : Read Fantastic Mr. Fox, Part 1
- ②事後学修課題 : Complete homework, review vocabulary and summary

[第3回]

- ①事前学修課題 : Read Fantastic Mr. Fox, Part 2
- ②事後学修課題 : Complete homework, review vocabulary and summary

[第4回]

- ①事前学修課題 : Read Fantastic Mr. Fox, Part 3
- ②事後学修課題 : Complete homework, review vocabulary and summary

[第5回]

- ①事前学修課題 : Read Fantastic Mr. Fox, Part 4
- ②事後学修課題 : Complete homework, review vocabulary and summary

[第6回]

- ①事前学修課題 : Review course content for discussion and quiz
- ②事後学修課題 : Complete homework, self-reflection

[第7回]

- ①事前学修課題 : Read The Outsiders, Part 1
- ②事後学修課題 : Complete homework, review vocabulary and summary

[第8回]

- ①事前学修課題 : Read The Outsiders, Part 2
- ②事後学修課題 : Complete homework, review vocabulary and summary

[第9回]

- ①事前学修課題 : Read The Outsiders, Part 3
- ②事後学修課題 : Complete homework, review vocabulary and summary

[第10回]

- ①事前学修課題 : Read The Outsiders, Part 4
- ②事後学修課題 : Complete homework, review vocabulary and summary

[第11回]

- ①事前学修課題 : Read The Outsiders, Part 5
- ②事後学修課題 : Complete homework, review vocabulary and summary

[第12回]

- ①事前学修課題 : Read The Outsiders, Part 6
- ②事後学修課題 : Complete homework, review vocabulary and summary

[第13回]

- ①事前学修課題 : Read The Outsiders, Part 7
- ②事後学修課題 : Complete homework, review entire book content and vocabulary

[第14回]

- ①事前学修課題 : Review course content for discussion and quiz
- ②事後学修課題 : Complete homework, self-reflection, Study for TOEIC

[第15回]

- ①事前学修課題 : Study for TOEIC
- ②事後学修課題 : Complete homework, self-reflection

課題に対するフィードバックの方法

Points will be given on assignments (sometimes through the use of rubrics), and comments will given as much as possible. This information will be viewable to students on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Credit for this course will be awarded to students who achieve an overall score of 60% or greater in the following categories. If a student is absent more than four times or does not participate in the major projects and assignments of the course, a [K] will be awarded.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Participation 10%, Section Summaries 20%, Midterm Test and Discussion 20%	1, 2, 3, 5, 6
授業外での評価	30	Vocabulary Quizzes 15%, Comprehension Quizzes 15%	4, 6

定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final Test and Discussion 20%	2, 3, 4
その他	0		

テキスト	Fantastic Mr. Fox 978-0142410349 The Outsiders 978-0140385724		
------	--	--	--

参考書	None		
-----	------	--	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>		
---------------	--	--	--

授業コード	13104952	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Movie & Culture I [対面]				
シラバス執筆(全員)	A. E. リオン				
シラバス執筆(主)	A. E. リオン				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

The main focus of this course is to develop cultural understanding through literature. As a content course, understanding native-level materials is the goal, instead of English language features. There will be many opportunities for discussion and interpretation. In addition, students will compare their own culture to the materials. Some difficult cultural situations are presented in the books. By learning about them, students will find their own voices on the topics. Students are expected to be active in class, and participate in group projects.

到達目標

1. Read two short native-level novels (Outsiders and Fantastic Mr. Fox).
2. Understand culture through literature.
3. Develop critical thinking on social issues.
4. Complete two tests and many section quizzes on book content.
5. Complete two capstone discussions on the themes of each book (10 minutes each).
6. Complete vocabulary quizzes, summaries, and other activities for each section of the books.

授業計画

- [第1回]
 テーマ: Course introduction, Book introduction, Strategies for reading native-level book
 内容・方法: Explain course content, introduce methods of dealing with new vocabulary, checking for understanding
- [第2回]
 テーマ: Fantastic Mr. Fox, Part 1
 内容・方法: Vocabulary, comprehension, discussion, summary
- [第3回]
 テーマ: Fantastic Mr. Fox, Part 2
 内容・方法: Vocabulary, comprehension, discussion, summary
- [第4回]
 テーマ: Fantastic Mr. Fox, Part 3
 内容・方法: Vocabulary, comprehension, discussion, summary
- [第5回]
 テーマ: Fantastic Mr. Fox, Part 4
 内容・方法: Vocabulary, comprehension, discussion, summary
- [第6回]
 テーマ: Fantastic Mr. Fox, Review, Final Discussion, Final Quiz
 内容・方法: Review book content for overall themes, timed discussion, and quiz
- [第7回]
 テーマ: The Outsiders, Part 1
 内容・方法: Vocabulary, comprehension, discussion, summary
- [第8回]
 テーマ: The Outsiders, Part 2
 内容・方法: Vocabulary, comprehension, discussion, summary
- [第9回]
 テーマ: The Outsiders, Part 3
 内容・方法: Vocabulary, comprehension, discussion, summary
- [第10回]
 テーマ: The Outsiders, Part 4
 内容・方法: Vocabulary, comprehension, discussion, summary
- [第11回]
 テーマ: The Outsiders, Part 5
 内容・方法: Vocabulary, comprehension, discussion, summary
- [第12回]
 テーマ: The Outsiders, Part 6
 内容・方法: Vocabulary, comprehension, discussion, summary
- [第13回]
 テーマ: The Outsiders, Part 7
 内容・方法: Vocabulary, comprehension, discussion, summary
- [第14回]
 テーマ: The Outsiders, Review, Final Discussion, Final Quiz
 内容・方法: Review book content for overall themes, timed discussion, and quiz
- [第15回]
 テーマ: TOEIC Testing

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a 2-credit (2単位) course which requires a total of 90 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 2 hours for preparation assignments before each class AND an additional 2 hours for review assignments after each class.

[第1回]

- ①事前学修課題 : Preview the syllabus, buy books, review discussion phrases from previous courses
- ②事後学修課題 : Complete homework, Review notes on learning strategies, reading strategies

[第2回]

- ①事前学修課題 : Read Fantastic Mr. Fox, Part 1
- ②事後学修課題 : Complete homework, review vocabulary and summary

[第3回]

- ①事前学修課題 : Read Fantastic Mr. Fox, Part 2
- ②事後学修課題 : Complete homework, review vocabulary and summary

[第4回]

- ①事前学修課題 : Read Fantastic Mr. Fox, Part 3
- ②事後学修課題 : Complete homework, review vocabulary and summary

[第5回]

- ①事前学修課題 : Read Fantastic Mr. Fox, Part 4
- ②事後学修課題 : Complete homework, review vocabulary and summary

[第6回]

- ①事前学修課題 : Review course content for discussion and quiz
- ②事後学修課題 : Complete homework, self-reflection

[第7回]

- ①事前学修課題 : Read The Outsiders, Part 1
- ②事後学修課題 : Complete homework, review vocabulary and summary

[第8回]

- ①事前学修課題 : Read The Outsiders, Part 2
- ②事後学修課題 : Complete homework, review vocabulary and summary

[第9回]

- ①事前学修課題 : Read The Outsiders, Part 3
- ②事後学修課題 : Complete homework, review vocabulary and summary

[第10回]

- ①事前学修課題 : Read The Outsiders, Part 4
- ②事後学修課題 : Complete homework, review vocabulary and summary

[第11回]

- ①事前学修課題 : Read The Outsiders, Part 5
- ②事後学修課題 : Complete homework, review vocabulary and summary

[第12回]

- ①事前学修課題 : Read The Outsiders, Part 6
- ②事後学修課題 : Complete homework, review vocabulary and summary

[第13回]

- ①事前学修課題 : Read The Outsiders, Part 7
- ②事後学修課題 : Complete homework, review entire book content and vocabulary

[第14回]

- ①事前学修課題 : Review course content for discussion and quiz
- ②事後学修課題 : Complete homework, self-reflection, Study for TOEIC

[第15回]

- ①事前学修課題 : Study for TOEIC
- ②事後学修課題 : Complete homework, self-reflection

課題に対するフィードバックの方法

Points will be given on assignments (sometimes through the use of rubrics), and comments will given as much as possible. This information will be viewable to students on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Credit for this course will be awarded to students who achieve an overall score of 60% or greater in the following categories. If a student is absent more than four times or does not participate in the major projects and assignments of the course, a [K] will be awarded.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	Participation 10%, Section Summaries 20%, Midterm Test and Discussion 20%	1, 2, 3, 5, 6
授業外での評価	30	Vocabulary Quizzes 15%, Comprehension Quizzes 15%	4, 6

定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final Test and Discussion 20%	2, 3, 4
その他	0		

テキスト	Fantastic Mr. Fox 978-0142410349 The Outsiders 978-0140385724		
------	--	--	--

参考書	None		
-----	------	--	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>		
---------------	--	--	--

授業コード	13105051	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Movie & Culture II [対面]				
シラバス執筆(全員)	O. J. クロー				
シラバス執筆(主)	O. J. クロー				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

Societal norms have changed a great deal over the last few decades. This course will continue to develop students' understanding of popular foreign culture through the study of a popular American television drama. It will focus on social relationships, expectations, and significant differences from Japanese culture. Similar to the previous course, students will learn strategies to help with watching native-level videos. Steps will be taken to handle unknown vocabulary, slang, and situational references.

到達目標

1. Watch TV dramas with some linguistic support
2. Gain greater understanding about American culture
3. Conduct discussions on cultural elements and issues
4. Find similarities and differences with their own culture
5. Complete two presentations

授業計画

[第1回]
 テーマ: Course introduction, Learning strategies for the course/How to study
 内容・方法: View the first episode of the drama in class, instructor will demonstrate how to study

[第2回]
 テーマ: Modern Family: Season 1, Episode 2
 内容・方法: Vocabulary, Comprehension, Scene viewing, Discussion, Summary

[第3回]
 テーマ: Modern Family: Season 1, Episode 3
 内容・方法: Vocabulary, Comprehension, Scene viewing, Discussion, Summary

[第4回]
 テーマ: Modern Family: Season 1, Episode 4
 内容・方法: Vocabulary, Comprehension, Scene viewing, Discussion, Summary

[第5回]
 テーマ: Group Discussion
 内容・方法: Team selection, preparation, recorded discussion, transcript work

[第6回]
 テーマ: Modern Family: Season 1, Episode 5
 内容・方法: Vocabulary, Comprehension, Scene viewing, Discussion, Summary

[第7回]
 テーマ: Modern Family: Season 1, Episode 6
 内容・方法: Vocabulary, Comprehension, Scene viewing, Discussion, Summary

[第8回]
 テーマ: Modern Family: Season 1, Episode 7
 内容・方法: Vocabulary, Comprehension, Scene viewing, Discussion, Summary

[第9回]
 テーマ: Presentation 1: Cultural Differences, Prepare and Practice
 内容・方法: Brainstorm content, organize, find examples and support, practice

[第10回]
 テーマ: Presentation 1: Cultural Differences, Performances
 内容・方法: Student performances, self-reflection

[第11回]
 テーマ: Modern Family: Season 1, Episode 8
 内容・方法: Vocabulary, Comprehension, Scene viewing, Discussion, Summary

[第12回]
 テーマ: Modern Family: Season 1, Episode 9
 内容・方法: Vocabulary, Comprehension, Scene viewing, Discussion, Summary

[第13回]
 テーマ: Presentation 2: Cultural Similarities, Prepare and Practice
 内容・方法: Brainstorm content, organize, find examples and support, practice

[第14回]
 テーマ: Presentation 2: Cultural Similarities, Performances
 内容・方法: Student performances, self-reflection

[第15回]
 テーマ: TOEIC TEST
 内容・方法: Take TOEIC

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a 2-credit (2単位) course which requires a total of 90 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 2 hours for preparation assignments before each class AND an additional 2 hours for review assignments after each class.

[第1回]

- ①事前学修課題: Preview the syllabus
- ②事後学修課題: Review study strategies, review episode 1 content

[第2回]

- ①事前学修課題: Watch next episode, take notes
- ②事後学修課題: Complete homework, review vocabulary, practice discussion

[第3回]

- ①事前学修課題: Watch next episode, take notes
- ②事後学修課題: Complete homework, review vocabulary, practice discussion

[第4回]

- ①事前学修課題: Watch next episode, take notes
- ②事後学修課題: Complete homework, review vocabulary, practice discussion

[第5回]

- ①事前学修課題: Review class content, prepare discussion questions
- ②事後学修課題: Complete homework, write team transcript

[第6回]

- ①事前学修課題: Watch next episode, take notes
- ②事後学修課題: Complete homework, review vocabulary, practice discussion

[第7回]

- ①事前学修課題: Watch next episode, take notes
- ②事後学修課題: Complete homework, review vocabulary, practice discussion

[第8回]

- ①事前学修課題: Watch next episode, take notes
- ②事後学修課題: Complete homework, review vocabulary, practice discussion

[第9回]

- ①事前学修課題: Review drama content, make a list of culture differences
- ②事後学修課題: Prepare Slides presentation, practice giving presentation

[第10回]

- ①事前学修課題: Prepare Slides presentation, practice giving presentation
- ②事後学修課題: Review performance, check instructor feedback, self-evaluation

[第11回]

- ①事前学修課題: Watch next episode, take notes
- ②事後学修課題: Complete homework, review vocabulary, practice discussion

[第12回]

- ①事前学修課題: Watch next episode, take notes
- ②事後学修課題: Complete homework, review vocabulary, practice discussion

[第13回]

- ①事前学修課題: Review drama content, make a list of culture differences
- ②事後学修課題: Prepare Slides presentation, practice giving presentation

[第14回]

- ①事前学修課題: Prepare Slides presentation, practice giving presentation
- ②事後学修課題: Review performance, check instructor feedback, self-evaluation

[第15回]

- ①事前学修課題: Study for TOEIC
- ②事後学修課題: Submit final assignments

課題に対するフィードバックの方法

Points will be given on assignments (sometimes through the use of rubrics), and comments will given as much as possible. This information will be viewable to students on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Credit for this course will be awarded to students who achieve an overall score of 60% or greater in the following categories. If a student is absent more than four times or does not participate in the major projects and assignments of the course, a [K] will be awarded.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	55	Participation 10%, Episode Summaries 20%, Group Discussion 10%, Presentation 15%	1, 2, 3, 4, 5
授業外での評価	30	Vocabulary Quizzes 15%, Comprehension Quizzes 15%	1, 2, 3

定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	15	Presentation 2 15%	2, 4, 5
その他	0		

テキスト	None		
------	------	--	--

参考書	None		
-----	------	--	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>		
---------------	--	--	--

授業コード	13105052	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Movie & Culture II [対面]				
シラバス執筆(全員)	A. E. リオン				
シラバス執筆(主)	A. E. リオン				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

Societal norms have changed a great deal over the last few decades. This course will continue to develop students' understanding of popular foreign culture through the study of a popular American television drama. It will focus on social relationships, expectations, and significant differences from Japanese culture. Similar to the previous course, students will learn strategies to help with watching native-level videos. Steps will be taken to handle unknown vocabulary, slang, and situational references.

到達目標

1. Watch TV dramas with some linguistic support
2. Gain greater understanding about American culture
3. Conduct discussions on cultural elements and issues
4. Find similarities and differences with their own culture
5. Complete two presentations

授業計画

[第1回]
 テーマ: Course introduction, Learning strategies for the course/How to study
 内容・方法: View the first episode of the drama in class, instructor will demonstrate how to study

[第2回]
 テーマ: Modern Family: Season 1, Episode 2
 内容・方法: Vocabulary, Comprehension, Scene viewing, Discussion, Summary

[第3回]
 テーマ: Modern Family: Season 1, Episode 3
 内容・方法: Vocabulary, Comprehension, Scene viewing, Discussion, Summary

[第4回]
 テーマ: Modern Family: Season 1, Episode 4
 内容・方法: Vocabulary, Comprehension, Scene viewing, Discussion, Summary

[第5回]
 テーマ: Group Discussion
 内容・方法: Team selection, preparation, recorded discussion, transcript work

[第6回]
 テーマ: Modern Family: Season 1, Episode 5
 内容・方法: Vocabulary, Comprehension, Scene viewing, Discussion, Summary

[第7回]
 テーマ: Modern Family: Season 1, Episode 6
 内容・方法: Vocabulary, Comprehension, Scene viewing, Discussion, Summary

[第8回]
 テーマ: Modern Family: Season 1, Episode 7
 内容・方法: Vocabulary, Comprehension, Scene viewing, Discussion, Summary

[第9回]
 テーマ: Presentation 1: Cultural Differences, Prepare and Practice
 内容・方法: Brainstorm content, organize, find examples and support, practice

[第10回]
 テーマ: Presentation 1: Cultural Differences, Performances
 内容・方法: Student performances, self-reflection

[第11回]
 テーマ: Modern Family: Season 1, Episode 8
 内容・方法: Vocabulary, Comprehension, Scene viewing, Discussion, Summary

[第12回]
 テーマ: Modern Family: Season 1, Episode 9
 内容・方法: Vocabulary, Comprehension, Scene viewing, Discussion, Summary

[第13回]
 テーマ: Presentation 2: Cultural Similarities, Prepare and Practice
 内容・方法: Brainstorm content, organize, find examples and support, practice

[第14回]
 テーマ: Presentation 2: Cultural Similarities, Performances
 内容・方法: Student performances, self-reflection

[第15回]
 テーマ: TOEIC TEST
 内容・方法: Take TOEIC

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a 2-credit (2単位) course which requires a total of 90 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 2 hours for preparation assignments before each class AND an additional 2 hours for review assignments after each class.

[第1回]

- ①事前学修課題: Preview the syllabus
- ②事後学修課題: Review study strategies, review episode 1 content

[第2回]

- ①事前学修課題: Watch next episode, take notes
- ②事後学修課題: Complete homework, review vocabulary, practice discussion

[第3回]

- ①事前学修課題: Watch next episode, take notes
- ②事後学修課題: Complete homework, review vocabulary, practice discussion

[第4回]

- ①事前学修課題: Watch next episode, take notes
- ②事後学修課題: Complete homework, review vocabulary, practice discussion

[第5回]

- ①事前学修課題: Review class content, prepare discussion questions
- ②事後学修課題: Complete homework, write team transcript

[第6回]

- ①事前学修課題: Watch next episode, take notes
- ②事後学修課題: Complete homework, review vocabulary, practice discussion

[第7回]

- ①事前学修課題: Watch next episode, take notes
- ②事後学修課題: Complete homework, review vocabulary, practice discussion

[第8回]

- ①事前学修課題: Watch next episode, take notes
- ②事後学修課題: Complete homework, review vocabulary, practice discussion

[第9回]

- ①事前学修課題: Review drama content, make a list of culture differences
- ②事後学修課題: Prepare Slides presentation, practice giving presentation

[第10回]

- ①事前学修課題: Prepare Slides presentation, practice giving presentation
- ②事後学修課題: Review performance, check instructor feedback, self-evaluation

[第11回]

- ①事前学修課題: Watch next episode, take notes
- ②事後学修課題: Complete homework, review vocabulary, practice discussion

[第12回]

- ①事前学修課題: Watch next episode, take notes
- ②事後学修課題: Complete homework, review vocabulary, practice discussion

[第13回]

- ①事前学修課題: Review drama content, make a list of culture differences
- ②事後学修課題: Prepare Slides presentation, practice giving presentation

[第14回]

- ①事前学修課題: Prepare Slides presentation, practice giving presentation
- ②事後学修課題: Review performance, check instructor feedback, self-evaluation

[第15回]

- ①事前学修課題: Study for TOEIC
- ②事後学修課題: Submit final assignments

課題に対するフィードバックの方法

Points will be given on assignments (sometimes through the use of rubrics), and comments will given as much as possible. This information will be viewable to students on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

Credit for this course will be awarded to students who achieve an overall score of 60% or greater in the following categories. If a student is absent more than four times or does not participate in the major projects and assignments of the course, a [K] will be awarded.

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	55	Participation 10%, Episode Summaries 20%, Group Discussion 10%, Presentation 15%	1, 2, 3, 4, 5
授業外での評価	30	Vocabulary Quizzes 15%, Comprehension Quizzes 15%	1, 2, 3

定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	15	Presentation 2 15%	2, 4, 5
その他	0		

テキスト	None
------	------

参考書	None
-----	------

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	--

授業コード	13105151	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Business Design I [対面]				
シラバス執筆(全員)	A. ナデュー				
シラバス執筆(主)	A. ナデュー				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

Business is an important part of daily life for everyone. In this seminar style course, students will study in English about how to design a business and create their own company using the Business Model Canvas (BMC). The BMC is one of the most well-known business models used to help entrepreneurs transform a business idea into an organized strategy and an actionable business plan. By the end of this course, students will gain a basic understanding of the different aspects of the BMC and an understanding of the nine business segments from the value proposition and customer segments to operations and the financials that the BMC lays out as essential to establishing a business. In this seminar course, students will employ note-taking skills, read and summarize articles, establishing working groups to discuss the segments of the BMC, give short presentations. There are weekly writing homework assignments and a BMC coffee shop group project. For vocabulary development, students will study words using Business Vocabulary quizzes. Additional business vocabulary will be acquired through weekly mini-lectures. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom. Additionally, a projects about English job interviews and English CV writing are included.

到達目標

Course Goals:

1. Learn information about business design using a business model canvas (BMC).
2. Experience mini-lectures, practice note-taking, participate in discussions and give presentations.
4. Complete a two-part task-based project involving a business model canvas.
5. Complete weekly writing assignments discussing BMC components and applying them.
6. Learn how to paraphrase, quote and cite references in MLA style.
7. Complete business vocabulary tasks with 13 weekly quizzes.

授業計画

[第1回]

テーマ: Course introduction and overview. Google Classroom registration. Business Vocabulary review.
 内容・方法: Business vocabulary study. Group Discussion - Coffee shops (favorites, likes, dislikes, products, services, target customers). Mini-lecture/note taking 1: What is a business model, what is the BMC. HWK Writing assignment: Find a definition of a business model (paraphrase 6 quote source) & a definition of the BMC (paraphrase & quote source).

[第2回]

テーマ: Coffee shop ideas - BMC Project groups - defining the group's coffee shop business. MLA format

内容・方法: Business vocabulary quiz, Learning how to cite a source: (website MLA format). Mini-lecture/note taking 2: Coffee shops businesses. Pair work: students present ideas for a coffee shop - my ideal coffee shop. BMC Project: Discussions on types (standard and niche) of coffee shops and forming groups. HWK Writing assignment: Make a comparison table of two coffee shop businesses and your coffee shop and show the similarities and differences.

[第3回]

テーマ: BMC: Value Proposition 1, Citing YouTube sources MLA format

内容・方法: Business vocabulary quiz, Mini-lecture/note taking 3: Value Proposition. Business vocabulary worksheet. BMC project: Discussion of your company's value proposition. HWK Writing assignment: Write a paragraph explaining and defining the BMC Value Proposition (cite 2 website sources and 1 YouTube source) and write short description of your company's value proposition.

[第4回]

テーマ: BMC: Value Proposition 2, Citing YouTube sources MLA format

内容・方法: Business vocabulary quiz, Mini-lecture/note taking 4: Value Proposition. Business vocabulary worksheet. BMC project: Refining and clarifying your company's value proposition. Groups present their company's Value Proposition. Group Presentation Project: Value Proposition Power Point slides (one to explain BMC-VP, another to apply VP to their coffee shop).

[第5回]

テーマ: BMC: Customer Segments 1, Using quotes vs. paraphrasing

内容・方法: Business vocabulary quiz, Mini-lecture/note taking 4: Customer Segments 1. Business vocabulary worksheet. BMC project: Discussion of your company's customer segment. HWK Writing assignment: Write a paragraph explaining and defining the BMC Customer Segment (cite 2 website sources and 1 YouTube source) and write short description of your company's customer segment.

[第6回]

テーマ: BMC: Customer Segments 2, Using quotes vs. paraphrasing.

内容・方法: Business vocabulary quiz, Mini-lecture/note taking 5: Customer relationships 2.

Business vocabulary worksheet. BMC project: Refining and clarifying your company's customer segment. Groups present their company's Customer Segment. Group Presentation Project: Customer Segments Power Point slides (one to explain BMC-CS, another to apply to CS their coffee shop).

[第7回]

テーマ: BMC: Customer relationships part 1, Note taking and paraphrasing

内容・方法: Business vocabulary quiz, Mini-lecture/note taking 6: Customer Relationships 1.

Business vocabulary worksheet. BMC project: Discussion of your company's Customer Relationships. HWK Writing assignment: Find and watch a YouTube video that explains and defines the BMC Customer Relationship (cite YouTube source), take notes and write a paragraph paraphrasing the CR concept.

[第8回]

テーマ: BMC: Customer relationships part 2, Citations from articles Grade Review.

内容・方法: Business vocabulary quiz, Mini-lecture/note taking 7: Customer Relationships 2.

Business vocabulary worksheet. BMC project: Refining and clarifying your company's Customer Relationships. HWK Writing assignment: write a paragraph about the BMC CR, mention types of CR (cite article sources) and discuss which are best for your company.

[第9回]

テーマ: BMC: Customer relationships part 3, Citations in slides

内容・方法: Business vocabulary quiz, Mini-lecture/note taking 8: Customer Relationships 3.

Business vocabulary worksheet. BMC project: Refining and clarifying your company's Customer Relationships. Groups present their company's Customer Relationships. Group Presentation Project: Customer Relationships Power Point slides (one to explain BMC-CR, another to apply to CR their coffee shop).

[第10回]

テーマ: BMC: Channels part 1, Citations from articles

内容・方法: Business vocabulary quiz, Mini-lecture/note taking 9: Channels 1. Business vocabulary worksheet. BMC project: Discussion of your company's Channels. HWK Writing assignment: Write a paragraph explaining and defining the BMC Channels (cite 2 articles) and write short description of your company's channels.

[第11回]

テーマ: BMC: Channels part 2. Quotes and citations in slides

内容・方法: Business vocabulary quiz, Mini-lecture/note taking 10: Customer channels 2. Business vocabulary worksheet. BMC project: Refining and clarifying your company's Channels. Groups present their company's Channels. Group Presentation Project: Channels Power Point slides (one to explain BMC-CH, another to apply to CH their coffee shop, use quotes & cite them),

[第12回]

テーマ: BMC: Revenue streams part 1. Citations review, articles, websites, YouTube (MLA)

内容・方法: Business vocabulary quiz, Mini-lecture/note taking 11: Channels 1. Business vocabulary worksheet. BMC project: Discussion of your company's Revenue streams. HWK Writing assignment: Write a paragraph explaining and defining the BMC RS (cite 2 sources) and write short description of your company's revenue stream.

[第13回]

テーマ: BMC: Revenue streams part 2.

内容・方法: Business vocabulary quiz, Mini-lecture/note taking 12: Customer channels 2. Business vocabulary worksheet. BMC project: Refining and clarifying your company's Revenue Sources. Groups present their company's Revenue Sources. Group Presentation Project: Revenue Sources Power Point slides (one to explain BMC-RS, another to apply to RS their coffee shop, use quotes & cite them),

[第14回]

テーマ: BMC: Review of Building blocks - VP; CS; CH; CR & RS. Power Point slide content & visual presentation. Evaluation criteria. Grade Review.

内容・方法: Business vocabulary quiz, Groups prepare their final Power Point presentation. HWK: submit the final Power Point presentation.

[第15回]

テーマ: Final BMC presentations by group.

内容・方法: Explanation of final examination. Essay describing their coffee shop business in terms of the BMC model.

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a two-credit (2単位) course which requires a total of 90 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 2 hours for preparation assignments before each class AND an additional 2 hours for review assignments after each class.

[第1回]

①事前学修課題: Preview syllabus, Register for Google Classroom

②事後学修課題: Compile and tidy up lecture notes, Review information on Google Classroom. HWK Writing assignment

[第2回]

①事前学修課題: Business Vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.

②事後学修課題: Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.

[第3回]

①事前学修課題: Business Vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.

②事後学修課題: Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.

[第4回]

- ①事前学修課題 : Business Vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Group Presentation Project.
 [第 5 回]
- ①事前学修課題 : Business Vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.
 [第 6 回]
- ①事前学修課題 : Business Vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Group Presentation Project.
 [第 7 回]
- ①事前学修課題 : Business Vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.
 [第 8 回]
- ①事前学修課題 : Business Vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.
 [第 9 回]
- ①事前学修課題 : Business Vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Group Presentation Project.
 [第 10 回]
- ①事前学修課題 : Business Vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.
 [第 11 回]
- ①事前学修課題 : Business Vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Group Presentation Project.
 [第 12 回]
- ①事前学修課題 : Business Vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Complete homework, listen to material again
 [第 13 回]
- ①事前学修課題 : Business Vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Review all class notes. HWK Writing assignment.
 [第 14 回]
- ①事前学修課題 : Business Vocabulary study. Review your previous class notes of the course. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Prepare for presentation. Submit power point presentation
 [第 15 回]
- ②事前学修課題 : Prepare for the final presentation
 ②事後学修課題 : Submit final essay examination.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.
4. The teacher will tell you your current grade at least three times during the semester. In addition, your grades may also be posted regularly on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

The grade breakdown for this course is as follows:

1. Project part 1, bi-weekly presentations - 10%
2. Project part 2, final power point presentation - 20%
3. Homework Writing Assignments - 20%
4. Class Activities and discussions - 20%
5. Business vocabulary quizzes - 10%
6. Final Examination Essay - 20%

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	Project part 1 (10%), Project part 2 (20%), Class activities and discussions (20%), Business vocabulary quizzes (10%)	1, 2, 3, 4, 6
授業外での評価	20	Writing Assignments (20%)	5, 6

定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final Examination Essay (20%)	7
その他	0	none	

テキスト	Handouts and class materials		
------	------------------------------	--	--

参考書	none		
-----	------	--	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>		
---------------	--	--	--

授業コード	13105152	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Business Design I [対面]				
シラバス執筆(全員)	M. H. バナム				
シラバス執筆(主)	M. H. バナム				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

Business is an important part of daily life for everyone. In this seminar style course, students will study in English about how to design a business and create their own company using the Business Model Canvas (BMC). The BMC is one of the most well-known business models used to help entrepreneurs transform a business idea into an organized strategy and an actionable business plan. By the end of this course, students will gain a basic understanding of the different aspects of the BMC and an understanding of the nine business segments from the value proposition and customer segments to operations and the financials that the BMC lays out as essential to establishing a business. In this seminar course, students will employ note-taking skills, read and summarize articles, establishing working groups to discuss the segments of the BMC, give short presentations. There are weekly writing homework assignments and a BMC coffee shop group project. For vocabulary development, students will study words using Business Vocabulary quizzes. Additional business vocabulary will be acquired through weekly mini-lectures. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom. Additionally, a projects about English job interviews and English CV writing are included.

到達目標

Course Goals:

1. Learn information about business design using a business model canvas (BMC).
2. Experience mini-lectures, practice note-taking, participate in discussions and give presentations.
4. Complete a two-part task-based project involving a business model canvas.
5. Complete weekly writing assignments discussing BMC components and applying them.
6. Learn how to paraphrase, quote and cite references in MLA style.
7. Complete business vocabulary tasks with 13 weekly quizzes.

授業計画

[第1回]

テーマ: Course introduction and overview. Google Classroom registration. Business Vocabulary review.
 内容・方法: Business vocabulary study. Group Discussion - Coffee shops (favorites, likes, dislikes, products, services, target customers). Mini-lecture/note taking 1: What is a business model, what is the BMC. HWK Writing assignment: Find a definition of a business model (paraphrase 6 quote source) & a definition of the BMC (paraphrase & quote source).

[第2回]

テーマ: Coffee shop ideas - BMC Project groups - defining the group's coffee shop business. MLA format

内容・方法: Business vocabulary quiz, Learning how to cite a source: (website MLA format). Mini-lecture/note taking 2: Coffee shops businesses. Pair work: students present ideas for a coffee shop - my ideal coffee shop. BMC Project: Discussions on types (standard and niche) of coffee shops and forming groups. HWK Writing assignment: Make a comparison table of two coffee shop businesses and your coffee shop and show the similarities and differences.

[第3回]

テーマ: BMC: Value Proposition 1, Citing YouTube sources MLA format

内容・方法: Business vocabulary quiz, Mini-lecture/note taking 3: Value Proposition. Business vocabulary worksheet. BMC project: Discussion of your company's value proposition. HWK Writing assignment: Write a paragraph explaining and defining the BMC Value Proposition (cite 2 website sources and 1 YouTube source) and write short description of your company's value proposition.

[第4回]

テーマ: BMC: Value Proposition 2, Citing YouTube sources MLA format

内容・方法: Business vocabulary quiz, Mini-lecture/note taking 4: Value Proposition. Business vocabulary worksheet. BMC project: Refining and clarifying your company's value proposition. Groups present their company's Value Proposition. Group Presentation Project: Value Proposition Power Point slides (one to explain BMC-VP, another to apply VP to their coffee shop).

[第5回]

テーマ: BMC: Customer Segments 1, Using quotes vs. paraphrasing

内容・方法: Business vocabulary quiz, Mini-lecture/note taking 4: Customer Segments 1. Business vocabulary worksheet. BMC project: Discussion of your company's customer segment. HWK Writing assignment: Write a paragraph explaining and defining the BMC Customer Segment (cite 2 website sources and 1 YouTube source) and write short description of your company's customer segment.

[第6回]

テーマ: BMC: Customer Segments 2, Using quotes vs. paraphrasing.

内容・方法: Business vocabulary quiz, Mini-lecture/note taking 5: Customer relationships 2.

Business vocabulary worksheet. BMC project: Refining and clarifying your company's customer segment. Groups present their company's Customer Segment. Group Presentation Project: Customer Segments Power Point slides (one to explain BMC-CS, another to apply to CS their coffee shop).

[第7回]

テーマ: BMC: Customer relationships part 1, Note taking and paraphrasing

内容・方法: Business vocabulary quiz, Mini-lecture/note taking 6: Customer Relationships 1.

Business vocabulary worksheet. BMC project: Discussion of your company's Customer Relationships. HWK Writing assignment: Find and watch a YouTube video that explains and defines the BMC Customer Relationship (cite YouTube source), take notes and write a paragraph paraphrasing the CR concept.

[第8回]

テーマ: BMC: Customer relationships part 2, Citations from articles Grade Review.

内容・方法: Business vocabulary quiz, Mini-lecture/note taking 7: Customer Relationships 2.

Business vocabulary worksheet. BMC project: Refining and clarifying your company's Customer Relationships. HWK Writing assignment: write a paragraph about the BMC CR, mention types of CR (cite article sources) and discuss which are best for your company.

[第9回]

テーマ: BMC: Customer relationships part 3, Citations in slides

内容・方法: Business vocabulary quiz, Mini-lecture/note taking 8: Customer Relationships 3.

Business vocabulary worksheet. BMC project: Refining and clarifying your company's Customer Relationships. Groups present their company's Customer Relationships. Group Presentation Project: Customer Relationships Power Point slides (one to explain BMC-CR, another to apply to CR their coffee shop).

[第10回]

テーマ: BMC: Channels part 1, Citations from articles

内容・方法: Business vocabulary quiz, Mini-lecture/note taking 9: Channels 1. Business vocabulary worksheet. BMC project: Discussion of your company's Channels. HWK Writing assignment: Write a paragraph explaining and defining the BMC Channels (cite 2 articles) and write short description of your company's channels.

[第11回]

テーマ: BMC: Channels part 2. Quotes and citations in slides

内容・方法: Business vocabulary quiz, Mini-lecture/note taking 10: Customer channels 2. Business vocabulary worksheet. BMC project: Refining and clarifying your company's Channels. Groups present their company's Channels. Group Presentation Project: Channels Power Point slides (one to explain BMC-CH, another to apply to CH their coffee shop, use quotes & cite them),

[第12回]

テーマ: BMC: Revenue streams part 1. Citations review, articles, websites, YouTube (MLA)

内容・方法: Business vocabulary quiz, Mini-lecture/note taking 11: Channels 1. Business vocabulary worksheet. BMC project: Discussion of your company's Revenue streams. HWK Writing assignment: Write a paragraph explaining and defining the BMC RS (cite 2 sources) and write short description of your company's revenue stream.

[第13回]

テーマ: BMC: Revenue streams part 2.

内容・方法: Business vocabulary quiz, Mini-lecture/note taking 12: Customer channels 2. Business vocabulary worksheet. BMC project: Refining and clarifying your company's Revenue Sources. Groups present their company's Revenue Sources. Group Presentation Project: Revenue Sources Power Point slides (one to explain BMC-RS, another to apply to RS their coffee shop, use quotes & cite them),

[第14回]

テーマ: BMC: Review of Building blocks - VP; CS; CH; CR & RS. Power Point slide content & visual presentation. Evaluation criteria. Grade Review.

内容・方法: Business vocabulary quiz, Groups prepare their final Power Point presentation. HWK: submit the final Power Point presentation.

[第15回]

テーマ: Final BMC presentations by group.

内容・方法: Explanation of final examination. Essay describing their coffee shop business in terms of the BMC model.

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a two-credit (2単位) course which requires a total of 90 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 2 hours for preparation assignments before each class AND an additional 2 hours for review assignments after each class.

[第1回]

①事前学修課題: Preview syllabus, Register for Google Classroom

②事後学修課題: Compile and tidy up lecture notes, Review information on Google Classroom. HWK Writing assignment

[第2回]

①事前学修課題: Business Vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.

②事後学修課題: Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.

[第3回]

①事前学修課題: Business Vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.

②事後学修課題: Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.

[第4回]

- ①事前学修課題 : Business Vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Group Presentation Project.
 [第 5 回]
- ①事前学修課題 : Business Vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.
 [第 6 回]
- ①事前学修課題 : Business Vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Group Presentation Project.
 [第 7 回]
- ①事前学修課題 : Business Vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.
 [第 8 回]
- ①事前学修課題 : Business Vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.
 [第 9 回]
- ①事前学修課題 : Business Vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Group Presentation Project.
 [第 10 回]
- ①事前学修課題 : Business Vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.
 [第 11 回]
- ①事前学修課題 : Business Vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Group Presentation Project.
 [第 12 回]
- ①事前学修課題 : Business Vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Complete homework, listen to material again
 [第 13 回]
- ①事前学修課題 : Business Vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Review all class notes. HWK Writing assignment.
 [第 14 回]
- ①事前学修課題 : Business Vocabulary study. Review your previous class notes of the course. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Prepare for presentation. Submit power point presentation
 [第 15 回]
- ②事前学修課題 : Prepare for the final presentation
 ②事後学修課題 : Submit final essay examination.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.
4. The teacher will tell you your current grade at least three times during the semester. In addition, your grades may also be posted regularly on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

The grade breakdown for this course is as follows:

1. Project part 1, bi-weekly presentations - 10%
2. Project part 2, final power point presentation - 20%
3. Homework Writing Assignments - 20%
4. Class Activities and discussions - 20%
5. Business vocabulary quizzes - 10%
6. Final Examination Essay - 20%

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	Project part 1 (10%), Project part 2 (20%), Class activities and discussions (20%), Business vocabulary quizzes (10%)	1, 2, 3, 4, 6
授業外での評価	20	Writing Assignments (20%)	5, 6

定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final Examination Essay (20%)	7
その他	0	none	

テキスト	Handouts and class materials		
------	------------------------------	--	--

参考書	none		
-----	------	--	--

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>		
---------------	--	--	--

授業コード	13105251	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Business Design II [対面]				
シラバス執筆(全員)	A. ナデュー				
シラバス執筆(主)	A. ナデュー				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

Business is an important part of daily life for everyone. In this seminar style course, students will study in English about how to design a business and create their own company using the Business Model Canvas (BMC). The BMC is one of the most well-known business models used to help entrepreneurs transform a business idea into an organized strategy and an actionable business plan. By the end of this course, students will gain a basic understanding of the different aspects of the BMC and an understanding of the nine business segments from the value proposition and customer segments to operations and the financials that the BMC lays out as essential to establishing a business. In this seminar course, students will employ note-taking skills, read and summarize articles, establishing working groups to discuss the segments of the BMC, give short presentations. There are weekly writing homework assignments and a BMC coffee shop group project. For vocabulary development, students will study words using worksheets and quizzes. Additional business vocabulary will be acquired through weekly mini-lectures. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom. Students taking this course should have taken to Business Design I to fully understand the course.

Additionally, a project about English job interviews and English CV writing are included.

到達目標

Course Goals:

1. Learn information about business design using a business model canvas (BMC).
2. Experience mini-lectures, practice note-taking, participate in discussions and give presentations.
4. Complete a two-part task-based project involving a business model canvas.
5. Complete weekly writing assignments discussing BMC components and applying them.
6. Learn how to paraphrase, quote and cite references in MLA style.
7. Complete business vocabulary tasks with 13 weekly quizzes.

授業計画

[第1回]

テーマ: Course introduction and overview. Google Classroom registration. Review of Business Model Canvas and its elements.

内容・方法: Business vocabulary. Groups Review of BMC project form spring semester. Student pair work: review and explain VP, CS, CH, CR and RS.

[第2回]

テーマ: Coffee shop ideas - The business side of a coffee shop.

内容・方法: Business vocabulary Quiz, Review how to cite a source: (articles, websites, YouTube MLA format). Group discussion: What do staff do at a coffee shop, what does a coffee shop need to do a business, who are a coffee shop's partners or supplier? HWK Writing assignment: Write an short essay about the key activities and partners of a coffee shop business (cite 2 sources).

[第3回]

テーマ: Coffee shop ideas - The business side of a coffee shop.

内容・方法: Business vocabulary Quiz, Review how to cite a source: (articles, websites, YouTube MLA format). Mini-lecture/note taking 1: Coffee shop key activities and key resources. Group discussion: What are the key resources of a coffee shop and what are the costs? HWK Writing assignment: HWK Writing assignment: Write a paragraph about the key activities, key resources and costs of your coffee shop. Who would be your partners?

[第4回]

テーマ: BMC: Key Activities 1, Citing YouTube sources MLA format

内容・方法: Business vocabulary Quiz, Mini-lecture/note taking 2: Key Activities 1. Business vocabulary worksheet. BMC project: Discussion of your company's Key Activities. HWK Writing assignment: Write a paragraph explaining and defining the BMC Key Activities 1 (cite 2 website sources and 1 YouTube source) and write short description of your company's Key Activities 1.

[第5回]

テーマ: BMC: Key Activities 2, Citing YouTube sources MLA format

内容・方法: Business vocabulary Quiz, Mini-lecture/note taking 3: Key Activities 2. Business vocabulary worksheet. BMC project: Refining and clarifying your company's Key Activities. Groups present their company's Key Activities. Group Presentation Project: Key Activities Power Point slides (one to explain BMC-KA another to apply KA to their coffee shop).

[第6回]

テーマ: BMC: Key Partners part 1, Using quotes vs. paraphrasing

内容・方法: Business vocabulary Quiz, Mini-lecture/note taking 4: Key Partners part 1. Business

vocabulary worksheet. BMC project: Discussion of your company's Key Partners. HWK Writing assignment: Find and watch a YouTube video that explains and defines the BMC Key Partners (cite YouTube source), take notes and write a paragraph paraphrasing the KP concept.

[第7回]

テーマ: BMC: Key Partners part 2, Using quotes vs. paraphrasing.

内容・方法: Business vocabulary Quiz, Mini-lecture/note taking 5: Key Partners part 2. Business vocabulary worksheet- students add vocabulary from YouTube. BMC project: Refining and clarifying your company's Key Partners. Groups present their company's Key Partners. HWK Writing assignment: Write a paragraph explaining and defining the BMC Key Partners (cite 2 website sources and 1 YouTube source) and write short description of your company's Key Partners.

[第8回]

テーマ: BMC: Key Partners part 3, Using quotes vs. paraphrasing.

内容・方法: Business vocabulary Quiz, Mini-lecture/note taking 6: Key Partners part 3. Business vocabulary worksheet. BMC project: Refining and clarifying your company's Key Partners. Groups present their company's Key Partners. Group Presentation Project: Key Partners Power Point slides (one to explain BMC-KP, another to apply to KP their coffee shop).

[第9回]

テーマ: BMC: Key Resources part 1, Citations from articles. Grade Review.

内容・方法: Business vocabulary Quiz, Mini-lecture/note taking 7: Key Resources part 1. Business vocabulary worksheet - students contribute vocabulary from their HWK videos. BMC project: Discussion of your company's Key Resources. HWK Writing assignment: write a paragraph about the BMC KR, mention types of KR (cite article sources) and discuss the KR of your company.

[第10回]

テーマ: BMC: Key Resources part 2, Citations in slides

内容・方法: Business vocabulary Quiz, Mini-lecture/note taking 8: Key Resources part 2. Business vocabulary worksheet. BMC project: Refining and clarifying your company's Key Resources. Groups present their company's Customer Relationships. Group Presentation Project: Customer Relationships Power Point slides (one to explain BMC-KR, another to apply to KR their coffee shop).

[第11回]

テーマ: BMC: Costs part 1, Citations from articles

内容・方法: Business vocabulary Quiz, Mini-lecture/note taking 9: Costs 1. Business vocabulary worksheet. BMC project: Discussion of your company's Costs. HWK Writing assignment: Write a paragraph explaining and defining the BMC Costs (cite 2 articles) and write short description of your company's Costs.

[第12回]

テーマ: BMC: Costs part 2. Quotes and citations in slides

内容・方法: Business vocabulary Quiz, Mini-lecture/note taking 10: Costs 2. Business vocabulary worksheet. BMC project: Refining and clarifying your company's Channels. Groups present their company's Channels. Group Presentation Project: Costs Power Point slides (one to explain BMC-C, another to apply to C their coffee shop, use quotes & cite them),

[第13回]

テーマ: BMC: Review of Building blocks - KA; KP; KR & C. Review, citing and referencing articles, websites, YouTube (MLA)

内容・方法: Business vocabulary Quiz, BMC project: Discussion of your company's KA; KP; KR & C. BMC project: revise power point slides and prepare for presentation.

[第14回]

テーマ: BMC Project final preparation.

内容・方法: Business vocabulary Quiz, Prepare for group presentation, edit power point slides, consider visual presentation, decide presenting roles.

[第15回]

テーマ: Final Presentations.

内容・方法: Final Essay Examination explained.

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a two-credit (2単位) course which requires a total of 90 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 2 hours for preparation assignments before each class AND an additional 2 hours for review assignments after each class.

[第1回]

①事前学修課題: Preview syllabus, Register for Google Classroom

②事後学修課題: Review information on Google Classroom.

[第2回]

①事前学修課題: Business vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.

②事後学修課題: Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.

[第3回]

①事前学修課題: Business vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.

②事後学修課題: Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.

[第4回]

①事前学修課題: Business vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.

②事後学修課題: Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.

[第5回]

- ①事前学修課題 : Business vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Group Presentation Project.
 [第 6 回]
- ①事前学修課題 : Business vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.
 [第 7 回]
- ①事前学修課題 : Business vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.
 [第 8 回]
- ①事前学修課題 : Business vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Group Presentation Project.
 [第 9 回]
- ①事前学修課題 : Business vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.
 [第 10 回]
- ①事前学修課題 : Business vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Group Presentation Project.
 [第 11 回]
- ①事前学修課題 : Business vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Group Presentation Project.
 [第 12 回]
- ①事前学修課題 : Business vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.
 [第 13 回]
- ①事前学修課題 : Business vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Prepare for presentation.
 [第 14 回]
- ①事前学修課題 : Business vocabulary study. Review your previous class notes of the course. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Prepare for presentation. Submit power point presentation
 [第 15 回]
- ①事前学修課題 : Prepare for the final presentation.
 ②事後学修課題 : Submit final essay examination.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.
4. The teacher will tell you your current grade at least three times during the semester. In addition, your grades may also be posted regularly on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

The grade breakdown for this course is as follows:

1. Project part 1, bi-weekly presentations - 10%
2. Project part 2, final power point presentation - 20%
3. Homework Writing Assignments - 20%
4. Class Activities and discussions - 20%
5. Business Vocabulary Quizzes - 10%
6. Final Examination Essay - 20%

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	Project part 1 (10%), Project part 2 (20%), Class activities and discussions (20%), Business vocabulary quizzes (10%)	1, 2, 3, 4, 6
授業外での評価	20	Writing Assignments (20%)	5, 6
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final Examination Essay (20%)	7

その他	0	none	
テキスト	Handouts and class materials		
参考書	none		
履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD – 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>		

授業コード	13105252	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	Business Design II [対面]				
シラバス執筆(全員)	M. H. バナム				
シラバス執筆(主)	M. H. バナム				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

Business is an important part of daily life for everyone. In this seminar style course, students will study in English about how to design a business and create their own company using the Business Model Canvas (BMC). The BMC is one of the most well-known business models used to help entrepreneurs transform a business idea into an organized strategy and an actionable business plan. By the end of this course, students will gain a basic understanding of the different aspects of the BMC and an understanding of the nine business segments from the value proposition and customer segments to operations and the financials that the BMC lays out as essential to establishing a business. In this seminar course, students will employ note-taking skills, read and summarize articles, establishing working groups to discuss the segments of the BMC, give short presentations. There are weekly writing homework assignments and a BMC coffee shop group project. For vocabulary development, students will study words using worksheets and quizzes. Additional business vocabulary will be acquired through weekly mini-lectures. Information about coursework and grading policy will be on Google Classroom. Students taking this course should have taken to Business Design I to fully understand the course.

Additionally, a project about English job interviews and English CV writing are included.

到達目標

Course Goals:

1. Learn information about business design using a business model canvas (BMC).
2. Experience mini-lectures, practice note-taking, participate in discussions and give presentations.
4. Complete a two-part task-based project involving a business model canvas.
5. Complete weekly writing assignments discussing BMC components and applying them.
6. Learn how to paraphrase, quote and cite references in MLA style.
7. Complete business vocabulary tasks with 13 weekly quizzes.

授業計画

[第1回]

テーマ: Course introduction and overview. Google Classroom registration. Review of Business Model Canvas and its elements.

内容・方法: Business vocabulary. Groups Review of BMC project form spring semester. Student pair work: review and explain VP, CS, CH, CR and RS.

[第2回]

テーマ: Coffee shop ideas - The business side of a coffee shop.

内容・方法: Business vocabulary Quiz, Review how to cite a source: (articles, websites, YouTube MLA format). Group discussion: What do staff do at a coffee shop, what does a coffee shop need to do a business, who are a coffee shop's partners or supplier? HWK Writing assignment: Write an short essay about the key activities and partners of a coffee shop business (cite 2 sources).

[第3回]

テーマ: Coffee shop ideas - The business side of a coffee shop.

内容・方法: Business vocabulary Quiz, Review how to cite a source: (articles, websites, YouTube MLA format). Mini-lecture/note taking 1: Coffee shop key activities and key resources. Group discussion: What are the key resources of a coffee shop and what are the costs? HWK Writing assignment: HWK Writing assignment: Write a paragraph about the key activities, key resources and costs of your coffee shop. Who would be your partners?

[第4回]

テーマ: BMC: Key Activities 1, Citing YouTube sources MLA format

内容・方法: Business vocabulary Quiz, Mini-lecture/note taking 2: Key Activities 1. Business vocabulary worksheet. BMC project: Discussion of your company's Key Activities. HWK Writing assignment: Write a paragraph explaining and defining the BMC Key Activities 1 (cite 2 website sources and 1 YouTube source) and write short description of your company's Key Activities 1.

[第5回]

テーマ: BMC: Key Activities 2, Citing YouTube sources MLA format

内容・方法: Business vocabulary Quiz, Mini-lecture/note taking 3: Key Activities 2. Business vocabulary worksheet. BMC project: Refining and clarifying your company's Key Activities. Groups present their company's Key Activities. Group Presentation Project: Key Activities Power Point slides (one to explain BMC-KA another to apply KA to their coffee shop).

[第6回]

テーマ: BMC: Key Partners part 1, Using quotes vs. paraphrasing

内容・方法: Business vocabulary Quiz, Mini-lecture/note taking 4: Key Partners part 1. Business

vocabulary worksheet. BMC project: Discussion of your company's Key Partners. HWK Writing assignment: Find and watch a YouTube video that explains and defines the BMC Key Partners (cite YouTube source), take notes and write a paragraph paraphrasing the KP concept.

[第7回]

テーマ: BMC: Key Partners part 2, Using quotes vs. paraphrasing.

内容・方法: Business vocabulary Quiz, Mini-lecture/note taking 5: Key Partners part 2. Business vocabulary worksheet- students add vocabulary from YouTube. BMC project: Refining and clarifying your company's Key Partners. Groups present their company's Key Partners. HWK Writing assignment: Write a paragraph explaining and defining the BMC Key Partners (cite 2 website sources and 1 YouTube source) and write short description of your company's Key Partners.

[第8回]

テーマ: BMC: Key Partners part 3, Using quotes vs. paraphrasing.

内容・方法: Business vocabulary Quiz, Mini-lecture/note taking 6: Key Partners part 3. Business vocabulary worksheet. BMC project: Refining and clarifying your company's Key Partners. Groups present their company's Key Partners. Group Presentation Project: Key Partners Power Point slides (one to explain BMC-KP, another to apply to KP their coffee shop).

[第9回]

テーマ: BMC: Key Resources part 1, Citations from articles. Grade Review.

内容・方法: Business vocabulary Quiz, Mini-lecture/note taking 7: Key Resources part 1. Business vocabulary worksheet - students contribute vocabulary from their HWK videos. BMC project: Discussion of your company's Key Resources. HWK Writing assignment: write a paragraph about the BMC KR, mention types of KR (cite article sources) and discuss the KR of your company.

[第10回]

テーマ: BMC: Key Resources part 2, Citations in slides

内容・方法: Business vocabulary Quiz, Mini-lecture/note taking 8: Key Resources part 2. Business vocabulary worksheet. BMC project: Refining and clarifying your company's Key Resources. Groups present their company's Customer Relationships. Group Presentation Project: Customer Relationships Power Point slides (one to explain BMC-KR, another to apply to KR their coffee shop).

[第11回]

テーマ: BMC: Costs part 1, Citations from articles

内容・方法: Business vocabulary Quiz, Mini-lecture/note taking 9: Costs 1. Business vocabulary worksheet. BMC project: Discussion of your company's Costs. HWK Writing assignment: Write a paragraph explaining and defining the BMC Costs (cite 2 articles) and write short description of your company's Costs.

[第12回]

テーマ: BMC: Costs part 2. Quotes and citations in slides

内容・方法: Business vocabulary Quiz, Mini-lecture/note taking 10: Costs 2. Business vocabulary worksheet. BMC project: Refining and clarifying your company's Channels. Groups present their company's Channels. Group Presentation Project: Costs Power Point slides (one to explain BMC-C, another to apply to C their coffee shop, use quotes & cite them),

[第13回]

テーマ: BMC: Review of Building blocks - KA; KP; KR & C. Review, citing and referencing articles, websites, YouTube (MLA)

内容・方法: Business vocabulary Quiz, BMC project: Discussion of your company's KA; KP; KR & C. BMC project: revise power point slides and prepare for presentation.

[第14回]

テーマ: BMC Project final preparation.

内容・方法: Business vocabulary Quiz, Prepare for group presentation, edit power point slides, consider visual presentation, decide presenting roles.

[第15回]

テーマ: Final Presentations.

内容・方法: Final Essay Examination explained.

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

Note: This is a two-credit (2単位) course which requires a total of 90 hours of study throughout the semester. Students are expected to spend approximately 2 hours for preparation assignments before each class AND an additional 2 hours for review assignments after each class.

[第1回]

①事前学修課題: Preview syllabus, Register for Google Classroom

②事後学修課題: Review information on Google Classroom.

[第2回]

①事前学修課題: Business vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.

②事後学修課題: Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.

[第3回]

①事前学修課題: Business vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.

②事後学修課題: Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.

[第4回]

①事前学修課題: Business vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.

②事後学修課題: Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.

[第5回]

- ①事前学修課題 : Business vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Group Presentation Project.
 [第 6 回]
- ①事前学修課題 : Business vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.
 [第 7 回]
- ①事前学修課題 : Business vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.
 [第 8 回]
- ①事前学修課題 : Business vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Group Presentation Project.
 [第 9 回]
- ①事前学修課題 : Business vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.
 [第 10 回]
- ①事前学修課題 : Business vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Group Presentation Project.
 [第 11 回]
- ①事前学修課題 : Business vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, Group Presentation Project.
 [第 12 回]
- ①事前学修課題 : Business vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Compile and tidy up lecture notes, HWK Writing assignment.
 [第 13 回]
- ①事前学修課題 : Business vocabulary study. Review your previous class notes. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Prepare for presentation.
 [第 14 回]
- ①事前学修課題 : Business vocabulary study. Review your previous class notes of the course. Check you have completed your HWK assignment.
 ②事後学修課題 : Prepare for presentation. Submit power point presentation
 [第 15 回]
- ①事前学修課題 : Prepare for the final presentation.
 ②事後学修課題 : Submit final essay examination.

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.
4. The teacher will tell you your current grade at least three times during the semester. In addition, your grades may also be posted regularly on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

The grade breakdown for this course is as follows:

1. Project part 1, bi-weekly presentations - 10%
2. Project part 2, final power point presentation - 20%
3. Homework Writing Assignments - 20%
4. Class Activities and discussions - 20%
5. Business Vocabulary Quizzes - 10%
6. Final Examination Essay - 20%

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	Project part 1 (10%), Project part 2 (20%), Class activities and discussions (20%), Business vocabulary quizzes (10%)	1, 2, 3, 4, 6
授業外での評価	20	Writing Assignments (20%)	5, 6
定期試験	0	none	
定期試験に代わるレポート等	20	Final Examination Essay (20%)	7

その他	0	none	
テキスト	Handouts and class materials		
参考書	none		
履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) Depending on the number of students enrolled, you may be required to change classes. 履修人数により、クラスが変わる場合があります。</p> <p>2) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>3) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. Frequent absences will make it difficult to pass. If you are absent 5 times or more without a valid excuse, you cannot receive credit for the course. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。欠席すると合格は難しくなります。5回以上欠席すると、単位を取得することができません。</p> <p>4) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされます。</p> <p>5) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできませんが、欠席扱いとなります。</p> <p>6) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD – 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>		

授業コード	13102901	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	ライフデザインと資産形成 [対面]				
シラバス執筆(全員)	辻 有美子				
シラバス執筆(主)	辻 有美子				
開講年次	カリキュラムによる	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

ライフデザインとは、自分の将来について長期的な観点から、自分の仕事や家庭を含めた人生設計を考えることである。多様な生き方がある現代、まずライフデザインを描くことは重要である。「なりたい自分」「自分にとっての幸せ」、「実現したいこと」、「実現できないと後悔しそうなこと」と考えることから始め、大学時代にその後の人生を構想し、夢を「目標」と位置づけ、実現するための努力を始めることで、実現する可能性が格段に高まるはずである。皆さんは大学を卒業し、社会に出て働き始めると、収入を得て経済的に自立することになる。独身時代はお金の使い道を自分だけで決められるが、結婚して家庭を持つと、出産・子育て、マイホームの購入など家族単位でのお金が必要になる。人生の3大資金と呼ばれる、住宅・教育・老後資金の準備だけでなく、病気やケガで働けなくなったときなど、緊急時の備えも大切であり、人生においてお金の管理は避けて通れない問題である。この授業では、長い人生をより豊かなものにするためのライフデザインについて、また、そのライフデザインに合ったお金の管理、資産形成の方法について学習する。

到達目標

1. 自分の価値観や夢（希望）に沿ったライフデザインを構想できる。
2. 社会や経済に関する制度と仕組みを理解し、説明できる。
3. 社会や経済の現状を把握し、それとライフデザインの関係が説明できる。

授業計画

- 【第1回】テーマ：ガイダンス
内容：オリエンテーション：授業の進め方、成績評価方法について説明する。
- 【第2回】テーマ：ライフデザインを考える
内容：ライフデザインとは「将来、どんな人生を送りたいか」についての自分の構想である。ライフデザインを考えるにあたっては、自分の価値観や夢（希望）を自覚することが大切である。人生で「ぜひ実現したい」と思っていることをいくつか書き出しながら、ライフデザインを具体化する演習を行う。
- 【第3回】テーマ：ライフプラン
内容：ライフデザインが人生の生き方に関する大まかな構想であるのに対し、より具体的に、人生の希望や計画を時系列で描いたものをライフプランという。ライフプランでは、就職、独身期、結婚、出産、教育（子育て期）、住宅、退職、老後など、人生のイベントや段階ごとに、自分の希望や計画を時系列に沿って考える。
- 【第4回】テーマ：人生とお金
内容：人生には様々な場面でお金が必要になる。「3大費用」と言われる「教育、住宅、老後」を中心に、人生で必要になるお金について学習する。
- 【第5回】テーマ：働くこととお金
内容：社会人として自立するためには、収入を得ることが出発点となる。ライフプランも、経済的な基盤があって初めて成り立つ。生きて行くにはお金が必要で、働く時間は人生の時間の大きな割合を占める。このため、どのように働くかは、人生の充実感を大きく左右する。
- 【第6回】テーマ：人生の不確実性
内容：人生は不確実であるので、自分の思い通りにいくとは限らない。人生をとりまく社会や経済の環境の先行きは不透明で、時として予期せぬ問題に直面する可能性もある。そうした不確実性に対する備えとして、社会保険、社会福祉、公的扶助などの制度について学習する。
- 【第7回】テーマ：収入の把握
内容：社会人になってお金を稼ぐことができるようになったとき、まず心がけたいことは収入の把握、特に「手取り収入」の把握である。毎月の給与や賞与の支給明細から、手取り収入を把握し、貯蓄や支出の基準にする方法を学習する。
- 【第8回】テーマ：お金を貯める
内容：人生には結婚、出産、子どもの進学、住宅購入など大きな支出が必要なライフイベントがある。貯蓄は自分が納得できる人生に近づくために欠かせない。貯蓄の必要性を知り、計画的にお金を貯める方法について学習する。
- 【第9回】テーマ：お金を使う
内容：収入には限りがある。あることにお金を使うと、他のことには使えなくなる。このため、他のことに使うよりも、高い価値（満足や効果）が得られる使い方をしなければ、見合わないことになる。価値の高いお金の使い方について学習する。
- 【第10回】テーマ：お金を運用する
内容：お金を運用する目的は、価値を「守る」とこと、お金を「ふやす」ことが考えられる。お金を運用する場合には、「いま自分が行おうとしている運用は、2つの目的に照らしてどのような意味を持つのか」、と常に考えながら行う必要がある。
- 【第11回】テーマ：お金を借りる
内容：ものを買うとき、「お金を貯めてから、買う」というのが通例であるが、「お金を借りて、買う」こともできる。ただし、「お金を借りたい」と思ったときには、そのお金を返せるかどうか、よく考えてみる必要がある。この授業ではお金を借りる際の注意点について学習する。
- 【第12回】テーマ：税金に関する基礎知識
内容：私たちは生活の様々な場面で税金を納めている。この授業では、税金に関する基礎知識とその納め方について学習する。

【第13回】テーマ：社会保障制度

内容：この授業では、国民の「安心」や生活の安定を支える社会保障制度について学習する。社会保障制度での保障はその人の立場によって違いがある。給付は一定の範囲内で行われるので、その範囲を把握し、自分でも万

【第14回】テーマ：お金のトラブルを避ける

内容：大事な契約は、契約書をよく読むことが大切である。理解できたか自問し、わからない点は質問する、重要な内容は書面にしてもらおうといった姿勢が必要である。この授業ではお金のトラブルに関する事例を学習し、トラブルを避けるためにどのような心掛けが必要か、考える。

【第15回】テーマ：総括

内容：これまでの授業を総括し、発展的な課題を提示する。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。毎回の授業において2時間の事前学習と2時間の事後学習が必要である。事前学習としては普段から新聞やニュースなどを通して経済に関する情報を収集し、論点を整理しておくこと。事後学習としては、その日の授業で学んだことを整理し、次回の授業のキーワードについて調べておくこと。

課題に対するフィードバックの方法

授業内で作成するレポートや発表については、授業中にフィードバックする。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

下記の評価割合に基づいて総合的に評価する

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	70	各回の授業内容に基づいて出題する小テストや課題で評価する。	1, 2, 3
授業外での評価	0	0	0
定期試験	0	0	
定期試験に代わるレポート等	30	期末試験に代わるレポート	1, 2, 3
その他	0		

テキスト	資料を配布する。
------	----------

参考書	金融広報中央委員会『大学生のための人生とお金の知恵』2023年。 坂本綾子著、泉美智子監修『(改訂新版)節約・貯蓄・投資の前に今さら聞けないお金の超基本』朝日新聞出版、2023年。 ISBN-13 : 978-4023341449
-----	---

履修条件・他の科目との関連	経済学概論を履修することが望ましい。
---------------	--------------------

授業コード	13091001	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	国際経済学 [対面]				
シラバス執筆(全員)	浅居 孝彦				
シラバス執筆(主)	浅居 孝彦				
開講年次	3年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

「国際経済学」では、国際貿易（＝国境を越えた財・サービスの取引）に関する理論・制度・現状を理解することを目的としている。具体的には、貿易の利益とは何か、貿易における国際的な制度がどのように形成されてきたか、多国籍企業が貿易にどういった影響を与えているかといった問題について学習する。加えて、グローバル化が国際経済にもたらした影響や課題についても解説する。

到達目標

1. 国際貿易に関する理論的枠組みが理解できる。
2. 国際貿易における制度の形成・変遷について説明できる。
3. グローバル化が国際経済にもたらした影響や課題に対して多角的な視点で考えることができる。

授業計画

【第1回】

テーマ：イントロダクション

内容：国際経済学で学習する内容の説明（授業の進め方、成績評価の方法についての説明を含む）

【第2回】

テーマ：貿易の利益：閉鎖経済、自由貿易

内容：貿易自由化の影響

【第3回】

テーマ：貿易政策：保護貿易

内容：貿易政策の効果

【第4回】

テーマ：比較優位(1)：分業の利益

内容：絶対優位と比較優位の概念、分業の利益

【第5回】

テーマ：比較優位(2)：国際貿易

内容：リカード・モデル

【第6回】

テーマ：多国籍企業と直接投資

内容：直接投資の目的、受入国・投資国に与える影響、プロダクト・ライフサイクル論

【第7回】

テーマ：グローバル・バリューチェーン

内容：多国籍企業の国境を越えた生産ネットワークの形成、フラグメンテーション

【第8回】

テーマ：GATT/WTOの歴史・現状・制度

内容：GATTの関税交渉の歴史、WTOの設立、GATT/WTOのルール、紛争解決手続き

【第9回】

テーマ：地域貿易協定

内容：地域貿易協定の現状・経済的影響

【第10回】

テーマ：グローバル化と開発途上国

内容：グローバル化が進展する状況下での開発途上国の変化

【第11回】

テーマ：グローバルな経済格差

内容：グローバル化が進展する状況下での経済格差の構造の変化

【第12回】

テーマ：国際労働移動

内容：グローバル化が進展する状況下での国際労働移動の変化

【第13回】

テーマ：地球環境問題

内 容：国際的な環境問題への取り組みの歴史・現状

【第14回】

テーマ：貿易と環境

内 容：貿易と環境政策の関係

【第15回】

テーマ：「国際経済学」のまとめ

内 容：「国際経済学」の総復習

*授業の進捗状況によって内容を一部変更する場合がある。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

授業で配布した資料の内容を自分で説明できるようになるまで繰り返し復習すること。理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。以下の指示にしたがって、事前・事後学習をそれぞれ2時間程度することが望ましい。

【第1回】

①事前学習課題：なし

②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、学習した内容を復習し、知識の定着を図ること。その上で、理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。

【第2回】

①事前学習課題：貿易をすることのメリット、デメリットについて考えておくこと。

②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、学習した内容を復習し、知識の定着を図ること。その上で、理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。

【第3回】

①事前学習課題：貿易政策に関する事例を調べておくこと。

②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、学習した内容を復習し、知識の定着を図ること。その上で、理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。

【第4回】

①事前学習課題：それぞれの国で貿易の構造が異なる理由について考えておくこと。

②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、学習した内容を復習し、知識の定着を図ること。その上で、理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。

【第5回】

①事前学習課題：絶対優位と比較優位の概念を正確に理解しておくこと。

②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、学習した内容を復習し、知識の定着を図ること。その上で、理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。

【第6回】

①事前学習課題：多国籍企業の海外での事業活動に関する事例を調べておくこと。

②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、学習した内容を復習し、知識の定着を図ること。その上で、理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。

【第7回】

①事前学習課題：多国籍企業の（製品の）生産がどこで、どのように行われているかを調べておくこと。

②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、学習した内容を復習し、知識の定着を図ること。その上で、理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。

【第8回】

①事前学習課題：WTOの役割・現状について調べておくこと。

②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、学習した内容を復習し、知識の定着を図ること。その上で、理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。

【第9回】

①事前学習課題：地域貿易協定とは何か、どのようなものがあるかを調べておくこと。

②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、学習した内容を復習し、知識の定着を図ること。その上で、理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。

【第10回】

①事前学習課題：グローバル化とはどのような状況か、開発途上国にどのような影響があったかを考えておくこと。

②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、学習した内容を復習し、知識の定着を図ること。その上で、理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。

【第11回】

①事前学習課題：前回授業で学習したグローバル化と開発途上国の変化をふまえて、世界全体の経済格差の構造がどのように変化しているかを考えておくこと。

②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、学習した内容を復習し、知識の定着を図ること。その上で、理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。

【第12回】

- ①事前学習課題：日本社会の変化と外国人労働者の問題について調べておくこと。
- ②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、学習した内容を復習し、知識の定着を図ること。その上で、理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。

【第13回】

- ①事前学習課題：国際的な地球環境問題に関する取り組みについて調べておくこと。
- ②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、学習した内容を復習し、知識の定着を図ること。その上で、理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。

【第14回】

- ①事前学習課題：経済活動（＝貿易、直接投資）と環境政策の関係について考えておくこと。
- ②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、学習した内容を復習し、知識の定着を図ること。その上で、理解できない内容については、授業後、あるいは、メール等で質問すること。

【第15回】

- ①事前学習課題：これまでの内容を総復習して、知識を定着させておくこと。
- ②事後学習課題：授業で配布した資料を利用して、理解が不十分であった内容を復習すること。

課題に対するフィードバックの方法

授業内で授業内容（事前・事後の学習課題を含む）の理解度を確認するための小テスト・小レポートを実施する。翌週の授業で小テスト・小レポートの結果に対するフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

授業内課題（＝小テスト・小レポート）とレポートで評価する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	40	授業内課題(＝小テスト・小レポート)	1, 2
授業外での評価	0	なし	なし
定期試験	0	なし	なし
定期試験に代わるレポート等	60	定期試験は行わずにレポートで評価する。	1, 2
その他	0	なし	なし

テキスト テキストは指定しないが、必要に応じて下記の参考書を読むこと。

参考書 石川城太・椋寛・菊池徹[2013]『国際経済学をつかむ(第2版)』、有斐閣。(ISBN:978-4-641-17719-2)
伊藤恵子・伊藤匡・小森谷徳純[2022]『国際経済学15講』、新世社。(ISBN:978-4-88384-357-2)
* その他の参考書については、必要に応じて授業の中で適宜紹介する。

履修条件・他の科目との関連 「国際経済学」では経済学の考え方に基づいて基礎的な理論の解説を行うため、「経済学概論」を履修しておくことが望ましい。

授業コード	13094801	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	国際社会学 [対面]				
シラバス執筆(全員)	瀬島 誠				
シラバス執筆(主)	瀬島 誠				
開講年次	3年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

国際社会という視点に立つと、国際政治学が中心とする国家以外のアクター、例えば、国際機関、企業、非政府組織、個人などが視野に入ってくる。その視点から見ると問題とすべき課題群は、別のものとなる。この授業では、国際社会という視点から見えてくる、人間の安全保障の問題に関するものである。人間の安全保障論は、アメリカとソ連の冷戦が終わり、戦争以外の問題も重要であるとの認識変化によって注目されてきた。もちろん、ロシアとウクライナの戦争など、依然として国家間の戦争は重要な問題であり続けているが、人間の安全保障論が提起した問題の重要性も無視できない。この授業で人間の安全保障論が注目する全ての問題を取り上げることは無理であるが、できるだけ多くの問題を取り上げていきたい。

到達目標

- 1 今日の世界で問題となっているものについて、理解できる。
- 2 国際社会の問題について、その分析のやり方について理解し、自らも分析できるようになる。
- 3 国際社会の様々な問題について関心を持ち、自ら自学自習できるようになる。

授業計画

<p>【第1回】 テーマ：導入 国際関係の諸相と新しい国際関係の動き 内容・方法：リアリズムの国際政治学と異なる視座に立つ人間の安全保障論について概要を説明する。</p> <p>【第2回】 テーマ：国家の崩壊と内戦 内容・方法：現在の国際社会の問題の多くは、統治機能を失った脆弱国家に起因するものが多い。内戦の現状を含め、説明する。</p> <p>【第3回】 テーマ：脆弱国家の問題① 内容・方法：地雷と地雷禁止条約締結への動きについて説明する。</p> <p>【第4回】 テーマ：脆弱国家の問題② 内容・方法：内戦や戦争の犠牲者である子供について、少年兵などの問題を取り上げる。</p> <p>【第5回】 テーマ：脆弱国家の問題③ 内容・方法：脆弱国家によって生み出される難民と移民の問題を取り上げる。</p> <p>【第6回】 テーマ：脆弱国家の問題④ 内容・方法：脆弱国家があることによって、国境を越えた犯罪が増えている。麻薬の違法取引だけでなく、貿易、人身売買などの問題も取り上げる。</p> <p>【第7回】 テーマ：国際社会が直面する問題① 内容・方法：新型コロナ以外にも多くの伝染病が今後とも国際社会を脅かしている。我々はそれらに備える必要がある。</p> <p>【第8回】 テーマ：国際社会が直面する問題② 内容・方法：石油、ガス、鉱物資源、水、食料など、様々な資源エネルギー問題について概観する。</p> <p>【第9回】 テーマ：国際社会が直面する問題③ 内容・方法：気候変動や自然災害、そして国境を超える協力関係の可能性を考える。</p> <p>【第10回】 テーマ：危機管理① 内容・方法：自然災害である地震を題材に、危機管理の考え方について説明する。</p> <p>【第11回】 テーマ：危機管理② 内容・方法：原発などの高度技術社会における危機とその備えについて考える。</p> <p>【第12回】 テーマ：国際社会の取り組み① 内容・方法：国際連合と平和維持活動を取り上げる。</p> <p>【第13回】 テーマ：国際社会の取り組み② 内容・方法：内戦を終わらせ、戦後復興を成し遂げるために何が必要か、過去の事例を検討しながら考える。</p> <p>【第14回】 テーマ：国際社会の取り組み③ 内容・方法：人間の安全保障論が目指す、人間の能力の開発による問題解決の可能性について、MDSsやSDGsを取り上げながら考える。</p> <p>【第15回】</p>
--

テーマ：総括：グローバル公共財

内容・方法：これまで取り上げたグローバルな諸問題を振り返りながら、グローバル公共財という概念を説明する。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

- ① 事前学修課題：事前にウェブで人間の安全保障論について調べてくる。
- ② 事後学修課題：授業内容を復習する。

【第2回】

- ① 事前学修課題：事前にウェブで内戦について調べてくる。
- ② 事後学修課題：授業内容を復習する。

【第3回】

- ① 事前学修課題：事前にウェブで地雷禁止条約について調べてくる。
- ② 事後学修課題：授業内容を復習する。

【第4回】

- ① 事前学修課題：事前にウェブで子供兵士について調べてくる。
- ② 事後学修課題：授業内容を復習する。

【第5回】

- ① 事前学修課題：事前にウェブで難民について調べてくる。
- ② 事後学修課題：授業内容を復習する。

【第6回】

- ① 事前学修課題：事前にウェブで国際犯罪について調べてくる。
- ② 事後学修課題：授業内容を復習する。

【第7回】

- ① 事前学修課題：事前にウェブでパンデミックについて調べてくる。
- ② 事後学修課題：授業内容を復習する。

【第8回】

- ① 事前学修課題：事前にウェブでレアメタルについて調べてくる。
- ② 事後学修課題：授業内容を復習する。

【第9回】

- ① 事前学修課題：事前にウェブで地震などの自然災害について調べてくる。
- ② 事後学修課題：授業内容を復習する。

【第10回】

- ① 事前学修課題：事前にウェブで危機管理について調べてくる。
- ② 事後学修課題：授業内容を復習する。

【第11回】

- ① 事前学修課題：事前にウェブで原子力発電の仕組みについて調べてくる。
- ② 事後学修課題：授業内容を復習する。

【第12回】

- ① 事前学修課題：事前にウェブで平和維持活動について調べてくる。
- ② 事後学修課題：授業内容を復習する。

【第13回】

- ① 事前学修課題：事前にウェブなどで東ティモールについて調べてくる。
- ② 事後学修課題：授業内容を復習する。

【第14回】

- ① 事前学修課題：事前にウェブでMDSsとSDGsについて調べてくる。
- ② 事後学修課題：授業内容を復習する。

【第15回】

- ② 事前学修課題：これまでの総復習をする。
- ② 事後学修課題：授業内容を復習する。

課題に対するフィードバックの方法

各回の授業毎に提出してもらった「まとめシート」は採点した後で翌週に返却する。その後で、何が重要なポイントか、どのように答えたらいいのかなどについて解説する

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

平常点と全授業終了後に実施する期末試験による。試験の形態は授業中に説明する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	30	まとめシートの得点	1, 2, 3
授業外での評価	0		
定期試験	70		1, 2, 3
定期試験に代わるレポート等	0		

その他	0		
テキスト	テキストを使用しない。プリントを配布する。		
参考書	参考書： 適宜指示する。		
履修条件・他の科目との関連	ほかの国際関係の授業を受講しておくことは、この授業を理解するためには好ましい。		

授業コード	13094901	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	開発経済学 [対面]				
シラバス執筆(全員)	岸脇 誠				
シラバス執筆(主)	岸脇 誠				
開講年次	3年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

多くの発展途上国では、貧困の一形態である低所得が教育機会の喪失や食料不足を招き、その結果として児童を含む家族労働への依存、栄養不足による疾病の蔓延が生じている。そして、このような条件がさらに人々の貧困状態を悪化させるという悪循環に陥っている。この授業では、発展途上国の人々がこうした貧困の悪循環から抜け出すためにどのような方策が考えられるのか、また、日本をはじめとする先進国がどのような役割を果たすべきなのかについて学習する。

到達目標

1. 開発経済学に関する専門用語を理解し、説明できる。
2. 発展途上国の経済状況をデータに基づいて把握し、その特徴を説明できる。
3. 発展途上国が抱えている課題をデータに基づいて把握し、どのような対策が必要か、説明できる。

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：ガイダンス
 内容：開発経済学の全体像について解説する。また、授業の進め方、成績評価方法についても説明する。
- 【第2回】
 テーマ：発展途上国の経済発展
 内容：発展途上国における人々の暮らしや、第2次世界大戦後の途上国の経済成長を概観する。
- 【第3回】
 テーマ：新古典派経済成長論
 内容：途上国が経済発展するには何が必要か、また何が発展の妨げになっているかを考察する。
- 【第4回】
 テーマ：内生的経済成長論
 内容：どのような要因で技術が進歩し、どのような政策によって技術進歩が促進できるのかを考察する。
- 【第5回】
 テーマ：貧困の罠
 内容：貧困がさらに貧困を呼び込んでそこから抜けられない「貧困の罠」を説明する理論モデルとその政策的な含意について学習する。
- 【第6回】
 テーマ：中所得国の罠
 内容：中所得国の成長が停滞する「中所得国の罠」を説明する理論モデルとその実証的な含意について学習する。
- 【第7回】
 テーマ：国際貿易・海外直接投資
 内容：グローバル化に伴う外国との貿易や外国からの直接投資が途上国の経済発展にとってどのような意味を持つのかを、プラスとマイナスの両面から考察する。
- 【第8回】
 テーマ：産業集積
 内容：産業集積がどのように形成され、どのように経済発展に影響を与えるかについて考察する。
- 【第9回】
 テーマ：社会関係資本・社会ネットワーク
 内容：社会関係資本や社会ネットワークに注目し、つながりを通じてどのように技術が普及し、経済が発展するかについて考察する。
- 【第10回】
 テーマ：社会・経済制度
 内容：社会や経済の制度が経済発展に及ぼす影響について考察する。
- 【第11回】
 テーマ：経済発展の政治経済学
 内容：政治的な制度、特に民主主義が経済発展に及ぼす影響について考察する。
- 【第12回】
 テーマ：農村開発
 内容：農村の発展が途上国の経済発展においてどのような意味を持つか、どのようにしたらそれが可能なのかについて考察する。
- 【第13回】
 テーマ：農村金融
 内容：途上国農村における金融制度の問題とその解決策について考察する。
- 【第14回】
 テーマ：経済協力
 内容：政府開発援助（ODA）を中心として、途上国に対する経済協力の役割や効果について議論する。
- 【第15回】
 テーマ：総括

内容：これまでの授業を総括し、発展的な学習課題を提示する。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

毎回の授業において2時間の事前学習と2時間の事後学習が必要である。
事前学習としてはテキストを読んで、その日に学習する論点を整理しておくこと。事後学習としては、具体的なデータを確認しながら、その日の授業で学んだことを復習しておくこと。

課題に対するフィードバックの方法

課題の採点基準は授業中に説明し、Googleクラスルーム上でフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

下記の評価割合に基づいて総合的に評価する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	各回の授業内容に基づいて出題する小テストや課題で評価する。	1, 2, 3
授業外での評価	0		
定期試験	40	定期試験期間中に実施する期末テストで評価する。	1, 2, 3
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	0		

テキスト	戸堂康之『開発経済学入門(第2版)』新世社、2021年
参考書	山形辰史編『入門 開発経済学:グローバルな貧困削減と途上国が起こすイノベーション』、中央公論新社、2023年
履修条件・他の科目との関連	他の学生の学びの妨げになる行為を行う者の受講は認めない。

授業コード	13072801	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	アートマネジメント論 [対面]				
シラバス執筆(全員)	村田 隆志				
シラバス執筆(主)	村田 隆志				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

今日の観光は、字義通りの「光（景）を観る」だけに留まらず、何らかの体験を伴うものが増加している。このうち、広い意味でのアートイベント、展覧会、コンサート、ビエンナーレ、イルミネーションなどは、多数の集客を集める、観光産業の中の重要な分野であると言える。また、ホテルや旅行会社などが手掛ける体験型のアクティビティなども増えつつあり、それを担当できる発想・能力を身に付けておくことの重要性も高まっている。これらのことを考慮し、知識の教授だけではなく、実践的に発想し、体験する科目として運営する。

到達目標

1. マネジメントとは何かについて、アートを主題として理解する。
2. 先行事例を分析し、オリジナリティを打ち出す発想力を養う。
3. 各種のメディアのもたらすメリット・デメリットを理解し、目的に応じて適宜取捨選択する能力を養う。

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：イントロダクション
 内容・方法：本講義の進め方、注意点
- 【第2回】
 テーマ：アートマネジメントの事例1 展覧会
 内容・方法：パワーポイントを用いての講義
- 【第3回】
 テーマ：アートマネジメントの事例2 展覧会関連企画
 内容・方法：パワーポイントを用いての講義
- 【第4回】
 テーマ：アートマネジメントの事例3 ミュージアムショップの運営
 内容・方法：パワーポイントを用いての講義
- 【第5回】
 テーマ：アートマネジメントの事例4 食分野とアートの連携
 内容・方法：配布資料・ノートの整理
- 【第6回】
 テーマ：アートマネジメントの実践1 関連企画の創案
 内容・方法：別役文庫の展覧会図録から、過去の展覧会を選択。内容把握。
- 【第7回】
 テーマ：アートマネジメントの実践2 企画プレゼンの準備
 内容・方法：企画書作成
- 【第8回】
 テーマ：アートマネジメントの実践4 企画プレゼン
 内容・方法：企画をプレゼン
- 【第9回】
 テーマ：アートマネジメントの実践5 企画プレゼン
 内容・方法：企画をプレゼン
- 【第10回】
 テーマ：アートマネジメントの事例5 コンサート（若年者向け）
 内容・方法：パワーポイントを用いての講義
- 【第11回】
 テーマ：アートマネジメントの事例6 コンサート（高齢者向け）
 内容・方法：パワーポイントを用いての講義
- 【第12回】
 テーマ：アートマネジメントの事例7 イルミネーションイベント
 内容・方法：パワーポイントを用いての講義
- 【第13回】
 テーマ：アートマネジメントの事例8 フィールドトリップ
 内容・方法：パワーポイントを用いての講義
- 【第14回】
 テーマ：アートマネジメントの事例9 ビエンナーレ
 内容・方法：パワーポイントを用いての講義
- 【第15回】
 テーマ：総括
 内容・方法：総括

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。

- 【第1回】
 ①事前学修課題：既習科目の学びの再確認
 ②事後学修課題：配布資料・ノートの整理
- 【第2回】
 ①事前学修課題：先行事例についての情報収集
 ②事後学修課題：配布資料・ノートの整理
- 【第3回】
 ①事前学修課題：先行事例についての情報収集
 ②事後学修課題：配布資料・ノートの整理
- 【第4回】
 ①事前学修課題：先行事例についての情報収集
 ②事後学修課題：配布資料・ノートの整理
- 【第5回】
 ①事前学修課題：先行事例についての情報収集
 ②事後学修課題：配布資料・ノートの整理
- 【第6回】
 ①事前学修課題：先行事例についての情報収集
 ②事後学修課題：選択した図録の精読
- 【第7回】
 ①事前学修課題：企画書作成
 ②事後学修課題：プレゼン予行
- 【第8回】
 ①事前学修課題：プレゼン予行
 ②事後学修課題：他の学生のプレゼン内容を踏まえてのふりかえり
- 【第9回】
 ①事前学修課題：プレゼン予行
 ②事後学修課題：他の学生のプレゼン内容を踏まえてのふりかえり
- 【第10回】
 ①事前学修課題：先行事例についての情報収集
 ②事後学修課題：配布資料・ノートの整理
- 【第11回】
 ①事前学修課題：先行事例についての情報収集
 ②事後学修課題：配布資料・ノートの整理
- 【第12回】
 ①事前学修課題：先行事例についての情報収集
 ②事後学修課題：配布資料・ノートの整理
- 【第13回】
 ①事前学修課題：先行事例についての情報収集
 ②事後学修課題：配布資料・ノートの整理
- 【第14回】
 ①事前学修課題：先行事例についての情報収集
 ②事後学修課題：指導内容の把握と課題への反映
- 【第15回】
 ①事前学修課題：総復習
 ②事後学修課題：本科目の学びの振り返り

課題に対するフィードバックの方法

毎回の授業で、主に口頭でのフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

ほぼ毎回課す課題を点数化して授業内試験とする。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	課題の点数化(50)	1, 2, 3
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	50	レポート	1, 2, 3
その他	0		

テキスト 指定しない。

参考書 プリントや口頭で、各分野に関する参考書を紹介する。

履修条件・他の科目との関連

芸術に関連する、担当者の他科目「日本美術史」「芸術学」を履修すると理解が深まる。また、アートの鑑賞経験が授業を体感的に理解する上で重要なので、各自積極的に鑑賞機会を持つておくことが望ましい。

授業コード	13072701	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	文化プロデュース論 [対面]				
シラバス執筆(全員)	五月女 賢司				
シラバス執筆(主)	五月女 賢司				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

本授業では、私たちの生活や地域づくりに関わる公共政策としての「文化政策」に着目し、とりわけ地域文化振興の課題について取り上げる。とくに、市民の文化活動を単なる私事領域ではなく、人間発達や社会発展などにかかわる問題としてとらえ、その実現方法について考察していきたい。こうした地域文化の継承・創造のあり方を「文化プロデュース」と呼び、フィールドワークを含む事例研究を通して、文化プロデュースの課題と可能性について理解し、することが授業の狙いである。その際、当事者自身の主体的な参加が文化の創造を促してきたことを紹介し、そうした先人の思想と実践を読み解き、文化プロデュースへの示唆を得ることに力を入れる。

到達目標

1. 文化と人間発達および社会発展とのかかわりを説明できる。
2. 生活と地域に根ざした文化政策の重要性を説明できる。
3. 文化施設に関する実地調査に基づいて、文化をプロデュースするための考え方や実践について説明できる。

授業計画

【第1回】 テーマ：オリエンテーション 内容・方法：「文化プロデュース論」の授業の狙いやゴール、進め方を説明し、受講する上でのルールを共有を図る。
【第2回】 テーマ：動画 動画 NHK BS1スペシャル “パンドラの箱” が開くとき 文化財返還 ヨーロッパの最前線 内容・方法：文化政策や文化プロデュースの最前線を紹介する。
【第3回】 テーマ：理論編 内容・方法：博物館における文化プロデュースの理論を紹介する。
【第4回】 テーマ：実践編 動画 ペーパービーズ、上野公園へ出かけよう！ 内容・方法：博物館における文化プロデュースの理論を紹介する。
【第5回】 テーマ：実践編 動画 美術館でポーズ！、かはくちゃんねる、トーハク劇場へようこそ！ 内容・方法：博物館における文化プロデュースの理論を紹介する。
【第6回】 テーマ：文化施設フィールドワークの準備 内容・方法：自らの問題意識や経験を踏まえつつ、観察のポイントを検討・整理する。
【第7・8回】 テーマ：文化施設フィールドワーク（1） 内容・方法：博物館に関連する文化施設の現状と課題について実地調査を行う。
【第9・10回】 テーマ：文化施設フィールドワーク（2） 内容・方法：コミュニティセンターに関する現状と課題について実地調査を行う。
【第11回】 テーマ：グループワーク ワークショップ企画の準備 内容・方法：グループワーク ワークショップ企画の発表に向けての準備を行う。
【第12回】 テーマ：グループワーク ワークショップ企画の発表＋批評 内容・方法：グループワーク ワークショップ企画の発表を行う。
【第13回】 テーマ：グループワーク ワークショップ企画の発表＋批評 内容・方法：グループワーク ワークショップ企画の発表を行う。
【第14回】 テーマ：個人ワークショップ準備 内容・方法：個人ワークショップ企画の企画書及び発表動画提出に向けての準備を行う。
【第15回】 テーマ：まとめ 内容・方法：生活や地域に根ざした文化プロデュースの実現方法について総括する。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

- | |
|-------------------------|
| 【第1回】
事後学修課題：復習すること。 |
| 【第2回】 |

事後学修課題：復習すること。
 【第3回】
 事後学修課題：復習すること。
 【第4回】
 事後学修課題：復習すること。
 【第5回】
 事後学修課題：復習すること。
 【第6回】
 事後学修課題：復習すること。
 【第7回】
 事後学修課題：復習すること。
 【第8回】
 事後学修課題：復習すること。
 【第9回】
 事後学修課題：復習すること。
 【第10回】
 事後学修課題：復習すること。
 【第11回】
 事後学修課題：復習すること。
 【第12回】
 事後学修課題：復習すること。
 【第13回】
 事後学修課題：復習すること。
 【第14回】
 事後学修課題：復習すること。
 【第15回】
 事後学修課題：復習すること。

毎回の授業につき、4時間の事後学習が必要である。

課題に対するフィードバックの方法

授業内でディスカッションを課し、授業内容の整理・確認・補足解説を行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

レポート課題、発表（動画提出の可能性あり）の総合評価による。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	レポート課題(20)、企画書(15)、発表(15)	1, 2
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	50	企画書提出(25)、発表(25)	1, 2, 3
その他	0		

テキスト 必要に応じて資料を適宜配布する。教科書は特に使用しない。

参考書

<参考文献/Reference Book >
 小笠原善康ほか編『博物館教育論—新しい博物館教育を描きだす』(株式会社ぎょうせい, 2012)ISBN:9784324092460
 黒沢浩『博物館教育論(KS 理工学専門書)』(講談社, 2015), ISBN:978-4061565425
 高橋雄造『博物館の歴史』(法政大学出版局, 2008), ISBN:978-4-588-37116-5
 吉田憲司『文化の「発見」—驚異の部屋からヴァーチャルミュージアムまで—』(岩波書店, 1999), ISBN:978-4000286817
 伊藤寿朗『ひらけ、博物館』(岩波書店, 1991), ISBN:978-4000031288
 伊藤寿朗『市民のなかの博物館』(吉川弘文館, 1993), ISBN:978-4642073967

<参照URL/URL >
<https://www.mext.go.jp/unesco/009/1387063.htm> 博物館をあらゆる人に開放する最も有効な方法に関する勧告:文部科学省
https://www.j-muse.or.jp/02program/pdf/UNESCO_RECOMMENDATION_JPN.pdf ミュージアムとコレクションの保存活用, その多様性と社会における役割に関する勧告
<https://icomjapan.org/journal/2023/01/16/p-3188/> 新しい博物館定義, 日本語訳が決定しました _ ICOM 日本委員会

履修条件・他の科目との関連 【履修条件】

履修条件・他の科目との関連

教室での講義のみならず、学外での研修(文化施設でのフィールドワーク)を実施する予定である。教室では、私語や態度など他者への配慮を忘れないでほしい。受講ルールやマナーが守られない場合は厳しく注意し、退室を命じる(その日は欠席とする)。なお、教員の指示に従わない場合には、履修を取り消すことがある。

【他の科目との関連】

文化プロデュースには総合的な視座が不可欠である。ゆえに、自らの問題意識に基づいて、多様な科目を受講していただきたい。

授業コード	13072501	授業形態	講義	実務家教員	○
授業科目名	イベント実務論 [対面]				
シラバス執筆(全員)	杉寄 聡紀				
シラバス執筆(主)	杉寄 聡紀				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

本講義では、身近なイベントから世界的なイベントまですべてに共通するポイントを学びます。イベントの成功に欠かせない「人を喜ばせる」「満足度を高める」ために必要な、物事の本質や心構えについて考え、そして答えを見つめる講義です。

- ・担当教員がテーマパーク運営会社（合同会社ユー・エス・ジェイ）において立ち上げからおよそ19年にわたり、「パーク運営業務」に従事してきた経験、独立後に自らイベント立案や運営、コンサルティングを行ってきた経験をもとに、実務家教員としてイベント実務に関する講義を展開する。
- ・イベントをただ単に企画、実行するだけではなく、背景や影響についても考えることができるよう、イベントについての考え方や在り方、実行の方法と共に、実務の状況を資料や経験を交えて概説する。
- ・イベント企画・運営の実情（裏側）を知ることで、将来イベント関係の業務に従事したい人や、優花祭など学生イベントをはじめとする各種イベント企画・運営を考えている人にも役立つ授業としたい。
- ・授業は、イベント実務に必要な交渉力や発信力を磨く事を目的に、発案・発言を必要とするグループワーク・プレゼンテーションなど（親和力、協働力が必須）を組み合わせ進めていく。
- ・アクティブラーニング（聞くだけではなく、能動的に学修する）&グループワークを中心に進めますので、主体的で積極的な参加が必要です。
- ・必要に応じてゲストスピーカーをお招きし、プロフェッショナル視点での解説や考えについて学ぶ機会を設ける。

到達目標

1. イベントの在り方や考え方、造り手の想いなどの背景についても考え、イベントを企画・実行できる
2. イベント全般の企画立案・運営や情報発信について網羅的に考え、イベント実務について説明できる
3. 立場の違いを理解し、双方にとって最適な方法を考え、協調・協働してイベントを実行できる
4. 課題・問題点を把握し、それを解決しイベントを成功に導くことができる（課題発見力、実践力の習得）

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：ガイダンス・オリエンテーション 「イベント」とは何か
 内容：全15回の進め方・内容、到達目標についての確認を行い、「イベント」とは何かについて概説する。
- 【第2回】
 テーマ：イベントの歴史・あり方
 内容：イベントの成り立ちや歴史、実務の心構えについて概説する。
- 【第3回】
 テーマ：イベントとは（1） 身近なイベント
 内容：個人で主催するリアルイベントやオンラインイベントなどを中心に身近にあるイベントについて考える。
- 【第4回】
 テーマ：イベントとは（2） テーマパークにおけるイベント
 内容：大型テーマパークにおけるイベント（シーズナルイベントや単発イベント）について概説する。
- 【第5回】
 テーマ：イベントとは（3） 世界規模のイベント・スポーツイベント
 内容：オリンピックや万博などの世界規模のイベントや、スポーツイベントについて概説する。
- 【第6回】
 テーマ：イベントとは（4） イベントの魅力とは（グループワーク）
 内容：イベント参加者の心情を理解するため、グループでディスカッションを行い発表する。
- 【第7回】
 テーマ：実務（1） イベント企画・設計
 内容：イベントの準備・計画と組織について考える
- 【第8回】
 テーマ：実務（2） イベントの資金調達・スポンサー集め・情報発信
 内容：イベント実行に欠かせない資金調達や情報発信について考える。
- 【第9回】
 テーマ：実務（3） イベント運営とその実態（テーマパークのケース）
 内容：大型テーマパークにおけるイベント運営の実態について考察する。また、イベントについての学びを体系的に整理し、ワークシートによる確認を行う。
- 【第10回】
 テーマ：イベント制作実践（1） イベントのスケジュール管理&イベントの安全管理
 内容：スケジュール・進捗管理の大切さを考える。また安全・安心なイベント運営が不可欠であるため、運営計画に欠かすことのできない「安全」について概説する。
- 【第11回】
 テーマ：イベント制作実践（2） 企画に必要な要素
 内容：企画案に必要な項目やポイントについて概説する。
- 【第12回】

テーマ：イベント制作実践（3） 「アイディア出しミーティング」（グループワーク）

内容：実際のイベント立案同様にイベント案を考案するグループワークを実施する。

【第13回】

テーマ：イベント制作実践（4） 「企画ミーティング・発表準備」（グループワーク）

内容：前週のアイディア出しミーティングを経て、実際にイベントを企画するグループワークを行う。その後、プレゼンテーションに向けて、企画書の作成・プレゼンテーションの準備を行う。

【第14回】

テーマ：イベント制作実践（5） 「提案・発表」（グループワーク）

内容：イベント企画についてグループ単位でプレゼンテーションを行い、学生間での相互評価も実施する。

【第15回】

テーマ：イベント制作実践（6） 講評・イベント実務まとめと振り返り

内容：発表内容を踏まえ、内容についての講評及び15回のまとめを行う

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】～【第8回】・【第10回】・【第11回】

事前学習課題：各回テーマに基づいて、必要な情報をWEBなどで収集する

事後学習課題：授業内容を復習しまとめること。

【第9回】

事前学習課題：1～8回を振り返りまとめておくこと。

事後学習課題：不明点や疑問点をまとめ、復習すること。

【第12回】

事前学習課題：イベントを企画・主催するとしたら、どんなイベントを実施したいのか考えておくこと。

事後学習課題：企画としてまとめられるよう、アイディアを整理すること。

【第13回】

事前学習課題：企画としてまとめることを前提に、体系的にイベント案をまとめておくこと。

事後学習課題：提案・発表できるように企画案を整理すること。

【第14回】

事前学習課題：発表できる形にまとめておくこと

事後学習課題：自グループの良かった点、他グループの良かった点を振り返りまとめておくこと

【第15回】

事前学習課題：実務を行うにあたっての心構えについて考えておくこと。

事後学習課題：授業内容をまとめ、自身が実務を行うにあたって必要だと思うことをまとめておくこと。

課題に対するフィードバックの方法

- ・毎回ミニッツペーパーへの入力を行うこととし、次の回の授業で質問や疑問点を含め、解説・回答を行う。
- ・第8回終了時にワークシートを課し、授業内容の整理を行う。後日の授業で模範解答を示し、解説を行うもしくはGoogle classroomを通じてフィードバックする。
- ・グループワークについては、発表後に授業内で講評を行うとともに、学生間の相互評価も実施し、結果を開示する。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により総合的に判定の上、60点以上を合格とし所定の単位を認定する。なお、正当な理由なく全授業回数の3分の1以上（5回以上）欠席した場合は「K」評価とする。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	80	【複数回】ミニッツペーパー(30)・【1回】ワークシート(20)・グループワーク発表内容(30) なお、授業態度についても加味し評価するものとする。	1, 2, 3, 4
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	レポート課題	1, 2, 4
その他	0		

テキスト テキストは使用せず、Google Classroomに講義終了後に講義資料を投稿する。

参考書 購入の必要はありません。必要に応じて各自で購入を判断してください。
① テーマパーク・アミューズメント事業 知っておきたい最新トレンドと成功の秘訣（清水群・杉崎聡紀/セルバ出版）
② 誰も教えてくれないイベントの教科書（テリー植田/本の雑誌社）
③ 新イベント運営完全マニュアル（高橋フィデル/Japan Visitors Bureau）

履修条件・他の科目との関連 ・イベントの企画実行の仕組みならず、企画・運営双方の立場を知り、円滑な業務の進め方について学びたい学生の皆さんの受講を歓迎します。

履修条件・他の科目との関連

- ・遅刻はほかの学生にも迷惑がかかります。特段の理由がない限り、遅刻することなく積極的に講義に参画する皆さんを歓迎します。
- ・「今まで気になっていたことを聞いて理解できる」、質問しやすい・疑問を解決しやすい授業とします。積極的な質問を歓迎します。(講義内はもちろんのこと、ミニツッパーパーや Google Classroomからの質問も歓迎)
- ・「エンタテインメント」「観光学とホスピタリティ」関連科目も履修することが望ましい
- ・講義に関する連絡や資料の共有、課題の提出(ミニツッパーパーやワークシート含む)は Google Classroomを使用します。PC(推奨)やスマートフォンで閲覧・回答することを前提に準備をお願いします
- ・欠席した場合は、Google Classroomに投稿する講義資料を確認すること

授業コード	13103001	授業形態	講義	実務家教員	○
授業科目名	テーマパーク論 [対面]				
シラバス執筆(全員)	杉寄 聡紀				
シラバス執筆(主)	杉寄 聡紀				
開講年次	3年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

本講義では、お客様視点（遊ぶ場）だけではなく、経営や従業員（ビジネスの場）の視点からテーマパークを捉える事で、将来どのような業界で働くとしても大切な「顧客満足」「従業員満足」「経営戦略」などについて学べる講義です。

- ・担当教員がテーマパーク運営会社（合同会社ユー・エス・ジェイ）において立ち上げから19年にわたり、「テーマパーク運営業務」に従事してきた経験をもとに、テーマパーク経営・運営のリアルな姿について概説する。
- ・将来テーマパーク・アミューズメント施設に就職を考えている人やテーマパーク業界に興味のある人にとって役立つ内容であることはもちろんのこと、他の業種への就職を考えている人にも応用可能な内容を盛り込み講義を進めていく。
- ・ゲスト（お客様）目線はもちろんのこと、経営・運営側の視点（裏側）からもテーマパークについて理論的かつ実践的な内容を盛り込み講義を展開する
- ・背景や影響についても考えることができるよう、テーマパーク経営・運営についての考え方や在り方、実行方法、また観光・レジャー産業内での位置付けについて概説する。
- ・マーケティング領域については、一部のみ触れることとし、本講義ではテーマパークビジネス全般について概説します。
- ・授業は、実務に必要な交渉力や発信力を磨く事を目的に、発案・発言を必要とするグループワーク・プレゼンテーションなど（親和力、協働力が必要）を組み合わせ進めていく。
- ・アクティブラーニング（聞くだけではなく、能動的に学修する）&グループワークを中心に進めますので、主体的で積極的な参加が必要です。
- ・必要に応じてゲストスピーカーをお招きし、プロフェッショナル視点での解説や考えについて学ぶ機会を設ける。

到達目標

1. テーマパークについて体系的に理解し、テーマパークビジネスを自分の言葉で説明・解説できる
2. テーマパークにおける企画立案・運営や情報発信について理解し、説明することができる
3. 立場の違いを理解し、双方にとって最適な方法を考え、協調・協働して実務を実行できる
4. テーマパークについての課題・問題点を把握し、それを解決し事業を成功に導くことができる（課題発見力・実践力の習得）

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：ガイダンス・オリエンテーション 「テーマパーク」とは何か
 内容：全15回の進め方・内容、到達目標についての確認を行い、「テーマパーク」とは何か、テーマパークの成り立ち・歴史について概説する。
- 【第2回】
 テーマ：テーマパークとは（2） 「余暇」と「労働」の視点（一部グループワークあり）
 内容：テーマパークの位置付けについて、余暇と労働の視点を中心に解説する。またレジャー産業や観光、地域におけるテーマパークの位置付けについて概説する。後半ではグループでテーマパークの必要性や存在意義について考える時間を設ける。
- 【第3回】
 テーマ：テーマパークとは（3） テーマパークビジネスの現状
 内容：世界のテーマパークの入場者数や入場料の変化、労働環境などについて考え、経営的視点からテーマパークを考える機会とする。
- 【第4回】
 テーマ：テーマパークとは（4） テーマパークビジネスの特徴 「人の大切さ」
 内容：テーマパークにおける人材確保・育成の大切さについて考える機会とする。
- 【第5回】
 テーマ：テーマパーク業界の基本（1） 人材確保、人材育成、組織運営
 内容：テーマパーク運営を支える人の採用・育成、組織運営について概説し、必要とされるマネジメントスタイルやマネージャー像について考える機会とする。
- 【第6回】
 テーマ：テーマパーク業界の基本（2） テーマパークの成長戦略①
 内容：ゲストニーズの把握と戦略策定について考える機会とする。
- 【第7回】
 テーマ：テーマパーク業界の基本（3） テーマパークの成長戦略②・シーズナルイベント
 内容：前週に引き続きテーマパークの戦略策定について考える。その後、シーズナルイベントについて解説する。
- 【第8回】

テーマ：テーマパーク業界の基本（4） 効率的な運営と安全・品質管理

内容：コスト最適化の必要性和その手法について概説する。またテーマパーク経営に欠かすことのできない「安全」について解説する。

【第9回】

テーマ：サービスとホスピタリティを考えるグループワーク（1） サービス・ホスピタリティについて&「ホスピタリティを考えるグループワーク」

内容：サービスとホスピタリティの違いについて考え、戦略上必要となるサービス・ホスピタリティについて概説する。後半ではグループワークを行い、テーマパークで必要とされるホスピタリティについてグループで議論する。

【第10回】

テーマ：サービスとホスピタリティを考えるグループワーク（2） 「ホスピタリティを考えるグループワーク」

内容：前週に引き続き、グループワークを行いテーマパークで必要とされるホスピタリティについてグループで議論する。

【第11回】

テーマ：サービスとホスピタリティを考えるグループワーク（3） プレゼンテーション

内容：グループ単位でプレゼンテーションを行い、学生間での相互評価も実施する。

【第12回】

テーマ：サービスとホスピタリティを考えるグループワーク（4） 講評

内容：発表内容を踏まえ、内容についての講評を行う。

【第13回】

テーマ：テーマパーク業界の基本（5） テーマパークのスポンサー制度・広報戦略・ファンづくり（一部グループワーク）

内容：欠かせない資金調達や情報発信、継続的なファンづくりの必要性について概説する。後半では、グループ単位で学生の皆さん自身の経験・体験を語っていただきながら、実生活の中で体験しているテーマパークの集客戦略について考える機会とする。さらに、学びを体系的に整理し、ワークシートによる確認を行う。

【第14回】

テーマ：海外テーマパーク・クルーズビジネス事例研究（1）

内容：ハリウッド、アナハイム（アメリカ・カリフォルニア州）、オーランド（アメリカ・フロリダ州）のテーマパーク事例紹介及びテーマパークに関連するクルーズビジネスの紹介

【第15回】

テーマ：海海外テーマパーク・クルーズビジネス事例研究（2）・まとめ「テーマパーク運営業務の実態とキャリア形成」

内容：海外テーマパークのビジネスについてのまとめを行う。また、テーマパーク運営業務の実態について、テーマパーク運営業務19年の実務経験を基に考察するとともに、キャリア形成について概説する。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】～【第8回】・【第11回】・【第13回】・【第14回】

事前学習課題：各回テーマに基づいて、必要な情報をWEBなどで収集する

事後学習課題：授業内容を復習しまとめること。

【第9回】

事前学習課題：テーマに基づいて、必要な情報をWEBなどで収集する

事後学習課題：発表できるようにグループワークの内容を整理すること。

【第10回】

事前学習課題：発表できる形にまとめておくこと

事後学習課題：気づきをまとめておくこと

【第12回】

事前学習課題：1～11回を振り返りまとめておくこと。

事後学習課題：不明点や疑問点をまとめ、復習すること。

【第15回】

事前学習課題：キャリア（将来の方向性）を考えておくこと。

事後学習課題：授業内容をまとめ、自身のキャリア形成に必要なことをまとめておくこと。

課題に対するフィードバックの方法

- ・ ミニッツペーパーへの入力を行うこととし、次の回の授業で質問や疑問点を含め、解説・回答を行う。
- ・ 第8回もしくは第12回終了時（予定）にワークシートを課し、授業内容の整理を行う。後日の授業で模範解答を示し、解説を行うもしくはGoogle classroomを通じてフィードバックする。
- ・ グループワークについては、発表後に授業内で講評を行う。

成績評価の方法・基準（方針）

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により総合的に判定の上、60点以上を合格とし所定の単位を認定する。なお、正当な理由なく全授業回数の3分の1以上（5回以上）欠席した場合は「K」評価とする。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	80	【複数回】ミニッツペーパー(30)・【1回】ワークシート(20)・グループワーク発表内容(30)	1, 2, 3, 4

		なお、授業態度についても加味し評価するものとする。	
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	レポート課題	1, 2, 4
その他	0		

テキスト	テキストは使用せず、Google Classroomに講義資料を講義終了後に投稿する。
------	---

参考書	<p>購入の必要はありません。必要に応じて各自で購入を判断してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマパーク・アミューズメント事業 知っておきたい最新トレンドと成功の秘訣（清水群・杉崎聡紀/セルバ出版） ・ディズニーランドVSユニバーサル・スタジオ サービス業の強化書!（加賀屋克美/ビジネス社） ・なぜテーマパークでは朝から風船を売っているのか?（清水群/河出書房新社） ・USJのジェットコースターはなぜ後ろ向きに走ったのか?（森岡毅/角川書店） ・USJを劇的に変えた、たった1つの考え方（森岡毅/角川書店）
-----	---

履修条件・他の科目との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマパークの経営・運営双方の立場を知り、円滑な業務の進め方について学びたい学生の皆さんの受講を歓迎します ・遅刻はほかの学生にも迷惑がかかります。特段の理由がない限り、遅刻することなく積極的に講義に参画する皆さんを歓迎します。 ・「今まで気になっていたことを聞いて理解できる」、質問しやすい・疑問を解決しやすい授業とします。積極的な質問を歓迎します。（講義内はもちろんのこと、ミッツペーパーや Google Classroomからの質問も歓迎） ・「イベント実務論」および、「エンタテインメント」「観光学とホスピタリティ」関連科目も履修することが望ましい ・講義に関する連絡や資料の共有、課題の提出（ミッツペーパーやワークシート含む）は Google Classroomを使用します。PC（推奨）やスマートフォンで閲覧・回答することを前提に準備をお願いします ・欠席した場合は、Google Classroomに投稿する講義資料を確認すること
---------------	--

授業コード	13103101	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	エンタテインメント総論 [対面]				
シラバス執筆(全員)	有國 明弘				
シラバス執筆(主)	有國 明弘				
開講年次	3年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

さまざまなエンターテインメントやポピュラーカルチャーの「社会性」を考察する。スマートフォンの持ち歩きが常態化する中で、複数のメディア様式を融合したマルチメディアはより身近になり、多くの新しいメディア文化・エンターテインメントを生み出してきた。日常の中で無意識に生み出されるものもあれば、地域経済の活性化や音楽イベントの開催など明確な意図を持った取り組みとして試みられてきたものもある。本授業では、そうした意図的な試みを「創造的な文化実践」と位置付け、講義していく。創造的なマルチメディア文化実践は、国や地域行政が戦略的に取り組んだり、アーティストがプロモーションとして手がけたり、市民が公共の福祉のために行ったり多様に展開されてきた。また、社会で展開される文化実践の知識を持つだけでなく、受講者自身のエンターテインメントに関する社会的な関心やメディアリテラシーなどを高めるために、授業ではコンテンツ分析などの作業課題を取り入れて進める。

到達目標

- (1) 創造的な文化実践とは何か、理解を深め、自分の言葉で説明できる。
- (2) 社会で取り組まれているエンターテインメントやマルチメディア文化実践について検証し、評価できる。
- (3) エンターテインメント、マルチメディアの創造的な活用について、独自のアイデアが出せる。

授業計画

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 映画 構造主義
- 第3回 テレビドラマ オーディエンス
- 第4回 ポピュラーミュージック① ロックミュージック
- 第5回 ポピュラーミュージック② ヒップホップ
- 第6回 SNS時代のエンターテインメントと社会① メイドカフェ
- 第7回 SNS時代のエンターテインメントと社会② 実写版「リトル・マーメイド」
- 第8回 アニメ ソフト・パワー論
- 第9回 マンガ 文化産業論
- 第10回 ハリウッド映画と女性表象
- 第11回 ファッション グローバルの中の個としてのストリートファッション
- 第12回 観光 観光のまなざしと地域イメージ
- 第13回 お笑い フレーミング
- 第14回 ゲーム ソーシャルゲームの「ソーシャル」とは？
- 第15回 まとめ

※授業計画は、大きく変更の可能性がある。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

- (1) 授業で学んだことを踏まえ、身のまわりのエンターテインメントや自身の日常的なメディア実践と結びつけ考えを掘り下げること。
- (2) 授業資料を使って予習・復習すること。
- (3) リアクションペーパーを振り返りに活用し、到達目標の実現に努めること。
- (4) レポート課題の作成

課題に対するフィードバックの方法

課題については、授業内での解説・コメントおよび返却時に適宜コメントをつける等してフィードバックする。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

- ・ 期末レポート
- ・ 毎回の授業で課すリアクションペーパー（履修状況に応じて変更・調整を行うことがある）

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	30	毎回の授業で課すリアクションペーパー	1, 2, 3

授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	70	期末レポート	1, 2, 3
その他	0		

テキスト	テキストは特に指定しない。必要な資料は適宜配布する。
------	----------------------------

参考書	<p>ケイン樹里安・上原健太郎編著(2019)『ふれる社会学』北樹出版 田中東子編著(2021)『ガールズ・メディア・スタディーズ』北樹出版 石田佐恵子・岡井崇之編(2020)『基礎ゼミ メディアスタディーズ』世界思想社 飯田豊・立石祥子編(2017)『現代メディア・イベント論』勁草書房 遠藤英樹・堀野正人・寺岡伸悟編(2014)『観光メディア論』ナカニシヤ出版 遠藤英樹(2011)『現代文化論』ミネルヴァ書房</p>
-----	--

履修条件・他の科目との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・授業では、自分なりの考察を述べてもらうので、日ごろから自分の身の周りや社会での出来事について、意識的になるよう心がけること。 ・他の受講生への迷惑になる行為には、厳しく対処する。
---------------	---

授業コード	13112101	授業形態		実務家教員	—
授業科目名	中級韓国語 I [対面]				
シラバス執筆(全員)	韓 尚秀				
シラバス執筆(主)	韓 尚秀				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

本講義は、韓国語初級で学んだ基礎を土台に、学習者が独力でも韓国語学習を深められるように韓国語の基礎能力の定着に力を入れる。各授業では各時間のテーマについて概説し、練習問題を解きながら理解を深める。

到達目標

電話やお願程度度の①日常生活に必要な言語（ハングル）や、郵便局、銀行などの②公共機関での会話ができる程度の韓国語学習を目指す。

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：ガイドンス
 内容・方法：基礎第1課 韓国語の特徴及び創製原理。
- 【第2回】
 テーマ：第1課 遅れて申し訳ありません。
 内容・方法：文字と発音。
- 【第3回】
 テーマ：第2課 この背の高い人がご主人ですか。
 内容・方法：激音・濃音。
- 【第4回】
 テーマ：第3課 付き合っている人もいませんでした。
 内容・方法：文字と発音。
- 【第5回】
 テーマ：第4課 通いながら勉強したんだけど。
 内容・方法：終音。
- 【第6回】
 テーマ：第5課 予約する予定です。
 内容・方法：有声音化・激音化・濃音化。
- 【第7回】
 テーマ：第6課 大会に出ることもあるんですよ。
 内容・方法：1課から6課までの復習。
- 【第8回】
 テーマ：第7課 韓国が勝ちそうですよ①。
 内容・方法：簡単な自己紹介。
- 【第9回】
 テーマ：第7課 韓国が勝ちそうですよ②。
 内容・方法：～ですか。
- 【第10回】
 テーマ：第8課 買おうとしたんだけど①。
 内容・方法：否定文。
- 【第11回】
 テーマ：第8課 買おうとしたんだけど②。
 内容・方法：あります/ありません。
- 【第12回】
 テーマ：第9課 雨が降り始めますね①。
 内容・方法：します/しますか。
- 【第13回】
 テーマ：第9課 雨が降り始めますね②。
 内容・方法：います/あります。
- 【第14回】
 テーマ：第10課 食事しに行きましようか。
 内容・方法：動詞、形容詞。
- 【第15回】
 テーマ：前期のまとめと韓国語座談。
 内容・方法：自分の紹介ができるように練習する。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

毎回の授業では、事前・事後学習として1時間から1時間半の学習が必要です。

- 【第1回】
 事前学習課題：授業の概要と基礎第1課を読んでおくこと。0.5時間

事後学習課題：復習でわからなかったところをよくおさらいしておくこと。0.5時間
 【第2回】
 事前学習課題：教科書基礎第2課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第3回】
 事前学習課題：教科書基礎第3課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第4回】
 事前学習課題：教科書基礎第4課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第5回】
 事前学習課題：教科書基礎第5課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第6回】
 事前学習課題：教科書基礎第6課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第7回】
 事前学習課題：教科書基礎第1課から6課までを読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第8回】
 事前学習課題：教科書本文第1課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：わからなかったところをよくおさらいしておくこと。0.5時間
 【第9回】
 事前学習課題：教科書本文第2課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第10回】
 事前学習課題：教科書本文第3課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第11回】
 事前学習課題：教科書本文第4課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第12回】
 事前学習課題：教科書本文第5課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第13回】
 事前学習課題：教科書本文第6課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第14回】
 事前学習課題：教科書本文第7課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第15回】
 事前学習課題：教科書本文第1課から第7課のインタビューテストの勉強をしておくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書本文第1課から第7課を読んでおくこと。0.5時間

課題に対するフィードバックの方法

授業中に実施した小テストを返却し、間違った箇所を確認して覚えなおす。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

授業への参加態度と小テスト、インタビューテスト及び期末レポートの結果から総合的に評価する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	平常点	1, 2
授業外での評価	20	レポート課題	1
定期試験	0	なし	なし
定期試験に代わるレポート等	30	期末レポート点	1, 2
その他	0	なし	なし

テキスト 基礎から学ぶ「韓国語講座」中級[改訂版]/木内明 著/国書刊行会/978-4-336-05941-3

参考書 適宜、教員が紹介する。

履修条件・他の科目との関連 外国語の習得は毎回の授業の積み重ねが必須であることから、授業に積極的に参加すること。
 注意:原則韓国語ⅠもしくはⅡの単位を持っている方が受講対象になる。

授業コード	13112201	授業形態		実務家教員	—
授業科目名	中級韓国語Ⅱ [対面]				
シラバス執筆(全員)	鄭 徳姫				
シラバス執筆(主)	鄭 徳姫				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

本講義は、韓国語初級で学んだ基礎を土台に、より複雑な文型や語彙を学び、それを話すこと、聞くこと、書くこと、読む力の向上に結びつける。各授業では各時間のテーマについて概説し、練習問題を解きながら理解を深める。

到達目標

- ①約1,500～2,000語程度の語彙を用いた文章を理解でき、使用できる。
- ②公式的な状況か非公式的な状況かの言語（ハングル）を区分し、使用できる。

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：ガイドダンス
 内容・方法：基礎第1課 韓国語の特徴及び創製原理。
- 【第2回】
 テーマ：第11課 夢が壊れなければいいですね。
 内容・方法：文字と発音。
- 【第3回】
 テーマ：第12課 高校の時に修学旅行で来ました。
 内容・方法：激音・濃音。
- 【第4回】
 テーマ：第13課 開かれるそうですよ。
 内容・方法：文字と発音。
- 【第5回】
 テーマ：第14課 肌がきれいになりましたね。
 内容・方法：終音。
- 【第6回】
 テーマ：第15課 建てられて以来どのくらいたちましたか。
 内容・方法：有声音化・激音化・濃音化。
- 【第7回】
 テーマ：第16課 疲れているようですね。
 内容・方法：1課から6課までの復習。
- 【第8回】
 テーマ：第17課 同じ年かもしれません。
 内容・方法：簡単な自己紹介。
- 【第9回】
 テーマ：第18課 タレでも作っておいて①。
 内容・方法：～ですか。
- 【第10回】
 テーマ：第18課 タレでも作っておいて②。
 内容・方法：否定文。
- 【第11回】
 テーマ：第19課 痩せようと思うなら我慢しなきゃ①。
 内容・方法：あります/ありません。
- 【第12回】
 テーマ：第19課 痩せようと思うなら我慢しなきゃ②。
 内容・方法：します/しますか。
- 【第13回】
 テーマ：第20課 招待状を送るつもりだから①。
 内容・方法：います/あります。
- 【第14回】
 テーマ：第20課 招待状を送るつもりだから②。
 内容・方法：動詞、形容詞。
- 【第15回】
 テーマ：前期のまとめと韓国語座談。
 内容・方法：自分の紹介ができるように練習する。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

毎回の授業では、事前・事後学習として1時間から1時間半の学習が必要です。

【第1回】

事前学習課題：授業の概要と基礎第1課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：復習でわからなかったところをよくおさらいしておくこと。0.5時間
 【第2回】
 事前学習課題：教科書基礎第2課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第3回】
 事前学習課題：教科書基礎第3課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第4回】
 事前学習課題：教科書基礎第4課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第5回】
 事前学習課題：教科書基礎第5課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第6回】
 事前学習課題：教科書基礎第6課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第7回】
 事前学習課題：教科書基礎第1課から6課までを読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第8回】
 事前学習課題：教科書本文第1課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：わからなかったところをよくおさらいしておくこと。0.5時間
 【第9回】
 事前学習課題：教科書本文第2課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第10回】
 事前学習課題：教科書本文第3課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第11回】
 事前学習課題：教科書本文第4課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第12回】
 事前学習課題：教科書本文第5課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第13回】
 事前学習課題：教科書本文第6課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第14回】
 事前学習課題：教科書本文第7課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第15回】
 事前学習課題：教科書本文第1課から第7課のインタビューテストの勉強をしておくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書本文第1課から第7課を読んでおくこと。0.5時間

課題に対するフィードバックの方法

授業中に実施した小テストを返却し、間違った箇所を確認して覚えなおす。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

授業への参加態度と小テスト、インタビューテスト及び期末レポートの結果から総合的に評価する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	平常点	1, 2
授業外での評価	20	レポート課題	1
定期試験	0	なし	なし
定期試験に代わるレポート等	30	期末レポート点	1, 2
その他	0	なし	なし

テキスト 基礎から学ぶ「韓国語講座」中級[改訂版]/木内明 著/国書刊行会/978-4-336-05941-3

参考書 適宜、教員が紹介する。

履修条件・他の科目との関連 外国語の習得は毎回の授業の積み重ねが必須であることから、授業に積極的に参加すること。
 注意:原則韓国語 I もしくは II の単位を持っている方が受講対象になる。

授業コード	13112301	授業形態		実務家教員	—
授業科目名	韓国語日常会話 I [対面]				
シラバス執筆(全員)	沈 玉均				
シラバス執筆(主)	沈 玉均				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

本講義は、韓国語の中級レベルの文型と語彙を習得し、より自然な表現で韓国語の日常的な会話ができるようになることを目的とする。「読む・書く・聞く・話す」のうち「話す」を重視する。加えて個々の場面における自然な韓国語コミュニケーション能力を身につけるため、毎回の授業でインタビュー形式の小テストを行う。

到達目標

中級レベルの韓国語の文型と語彙を覚え、日常的な韓国語の会話ができるようになる。

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：第1課 一緒に勉強することになって嬉しいです。
 内容・方法：「～することになる。」「～ので/して」「～しようと思う。」
- 【第2回】
 テーマ：自己紹介ができる。
 内容・方法：第1課の文型で自己紹介をする。
- 【第3回】
 テーマ：第2課 ぼくが先輩じゃないですか。
 内容・方法：「～しましょうか。」「～じゃないですか。」「連体形」「経験表現」
- 【第4回】
 テーマ：知り合いを紹介する。
 内容・方法：第2課の文型で知り合いを紹介する。
- 【第5回】
 テーマ：第3課 右に曲がってまっすぐ行けばいいです。
 内容・方法：「～すれば」「～するからです。」「～すればいいです。」
- 【第6回】
 テーマ：道の案内ができる。
 内容・方法：第3課の文型で道の案内ができる。
- 【第7回】
 テーマ：第4課 映画をみに行きませんか。
 内容・方法：「～した後に」「～しに」「～しなければならない。」
- 【第8回】
 テーマ：休日の過ごし方や趣味について話す。
 内容・方法：第4課の文型で休日の過ごし方や趣味について話す。
- 【第9回】
 テーマ：第5課 韓国語で翻訳するのが夢だからです。
 内容・方法：「～ますか。」「～することができる/できない。」「～してもいい/構わない。」
- 【第10回】
 テーマ：大学生活について話す。
 内容・方法：第5課の文型で大学生活について話す。
- 【第11回】
 テーマ：第6課 グッズ販売を手伝う仕事のようです。
 内容・方法：「～ですね。」「～することができそうだ。」「～してみたい。」
- 【第12回】
 テーマ：アルバイトについて話す。
 内容・方法：第6課の文型でアルバイトについて話す。
- 【第13回】
 テーマ：第7課 今日からセールだそうです。
 内容・方法：「～ようだ。」「～だそうだ。」「～してみてもいい。」
- 【第14回】
 テーマ：ショッピングについて話す。
 内容・方法：第7課の文型でショッピングについて話す。
- 【第15回】
 テーマ：前期のまとめ。
 内容・方法：前期の授業テーマの中、ランダムでインタビュー形式のテストをする。

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

毎回の授業では、事前・事後学習として1時間から1時間半の学習が必要です。

【第1回】
 事前学習課題：教科書第1課を読んでおくこと。0.5時間

事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第2回】
 事前学習課題：教科書第1課の練習コーナーを読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第3回】
 事前学習課題：教科書第2課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第4回】
 事前学習課題：教科書第2課の練習コーナーを読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第5回】
 事前学習課題：教科書第3課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第6回】
 事前学習課題：教科書第3課の練習コーナーを読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第7回】
 事前学習課題：教科書第4課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第8回】
 事前学習課題：教科書第4課の練習コーナーを読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：わからなかったところをよくおさらいしておくこと。0.5時間
 【第9回】
 事前学習課題：教科書第5課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第10回】
 事前学習課題：教科書第5課の練習コーナーを読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第11回】
 事前学習課題：教科書第6課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第12回】
 事前学習課題：教科書第6課の練習コーナーを読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第13回】
 事前学習課題：教科書本文第7課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第14回】
 事前学習課題：教科書第7課の練習コーナーを読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第15回】
 事前学習課題：教科書本文第1課から第7課のインタビューテストの勉強をしておくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書本文第1課から第7課を読んでおくこと。0.5時間

課題に対するフィードバックの方法

授業中に実施した小テストを返却し、間違った箇所を確認して覚えなおす。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

授業への参加態度と小テスト、インタビューテスト及び期末レポートの結果から総合的に評価する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	通常点	1, 2
授業外での評価	20	レポート課題	1
定期試験	0	なし	なし
定期試験に代わるレポート等	30	期末レポート点	1, 2
その他	0	なし	なし

テキスト 話してみよう韓国語 中級会話コース/金京子 著/白水社/978-4-560-06990-5

参考書 適宜、教員が紹介する。

履修条件・他の科目との関連 外国語の習得は毎回の授業の積み重ねが必須であることから、授業に積極的に参加すること。
 注意:原則韓国語 I もしくは II の単位を持っている方が受講対象になる。

授業コード	13112401	授業形態		実務家教員	—
授業科目名	韓国語日常会話Ⅱ [対面]				
シラバス執筆(全員)	沈 玉均				
シラバス執筆(主)	沈 玉均				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

本講義は、韓国語の中級レベルの文型と語彙を習得し、より自然な表現で韓国語の日常的な会話ができるようになることを目的とする。「読む・書く・聞く・話す」のうち「話す」を重視する。身近な話題の韓国語コミュニケーション能力を伸ばしていく。

到達目標

中級レベルの韓国語の文型と語彙を覚え、身近な話題の韓国語が話せるようになる。

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：第8課 3泊4日ぐらいでいかがですか。
 内容・方法：「～する前だ。」「～したほうがいい。」「～しないで下さい。」
- 【第2回】
 テーマ：旅行計画を立てる。
 内容・方法：第8課の文型で旅行計画を立てる話ができる。
- 【第3回】
 テーマ：第9課 面倒くさい時は出前を取ったりもします。
 内容・方法：「～したりする。」「～するつもりだ。」「～してみたら」
- 【第4回】
 テーマ：一人暮らしについて話す。
 内容・方法：第9課の文型で一人暮らしについて話す。
- 【第5回】
 テーマ：第10課 どうやら風邪をひいたようです。
 内容・方法：「～したようだ。」「～したら～でした。」「～してはいけない。」
- 【第6回】
 テーマ：風邪の症状について話す。
 内容・方法：第10課の文型で風邪の症状について話す。
- 【第7回】
 テーマ：第11課 近い食堂でラーメンでも食べよう。
 内容・方法：「～しない?」「～しよう。」「～ではなく」
- 【第8回】
 テーマ：食事について話し合う。
 内容・方法：第11課の文型で食事について話し合う。
- 【第9回】
 テーマ：第12課 用事があって行けそうにありません。
 内容・方法：「～られそうにない。」「～することができる/できない。」「～しているだろうだ。」
- 【第10回】
 テーマ：大学祭の催しについて話す。
 内容・方法：第12課の文型で大学祭の催しについて話す。
- 【第11回】
 テーマ：第13課 会話がうまくなるにはどうすればいいですか。
 内容・方法：「～く/になる。」「～するには」「～するしかない。」
- 【第12回】
 テーマ：韓国語学習について話す。
 内容・方法：第13課の文型で韓国語学習について話す。
- 【第13回】
 テーマ：第14課 週末は気温がさらに下がるそうです。
 内容・方法：「～だと言う/そうだ。」「～するのをやめる。」「～するかもしれない。」
- 【第14回】
 テーマ：天気予報を伝える。
 内容・方法：第14課の文型で天気予報を伝える。
- 【第15回】
 テーマ：後期のまとめ。
 内容・方法：後期の授業テーマの中、ランダムでインタビュー形式のテストをする。

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

毎回の授業では、事前・事後学習として1時間から1時間半の学習が必要です。

【第1回】
 事前学習課題：教科書第8課を読んでおくこと。0.5時間

事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第2回】
 事前学習課題：教科書第8課の練習コーナを読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第3回】
 事前学習課題：教科書第9課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第4回】
 事前学習課題：教科書第9課の練習コーナを読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第5回】
 事前学習課題：教科書第10課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第6回】
 事前学習課題：教科書第10課の練習コーナを読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第7回】
 事前学習課題：教科書第11課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第8回】
 事前学習課題：教科書第11課の練習コーナを読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：わからなかったところをよくおさらいしておくこと。0.5時間
 【第9回】
 事前学習課題：教科書第12課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第10回】
 事前学習課題：教科書第12課の練習コーナを読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第11回】
 事前学習課題：教科書第13課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第12回】
 事前学習課題：教科書第13課の練習コーナを読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第13回】
 事前学習課題：教科書本文第14課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第14回】
 事前学習課題：教科書第14課の練習コーナを読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第15回】
 事前学習課題：教科書本文第8課から第14課のインタビューテストの勉強をしておくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書本文第8課から第14課を読んでまとめること。0.5時間

課題に対するフィードバックの方法

授業中に実施した小テストを返却し、間違った箇所を確認して覚えなおす。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

授業への参加態度と小テスト、インタビューテスト及び期末レポートの結果から総合的に評価する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	通常点	1, 2
授業外での評価	20	レポート課題	1
定期試験	0	なし	なし
定期試験に代わるレポート等	30	期末レポート点	1, 2
その他	0	なし	なし

テキスト 話してみよう韓国語 中級会話コース/金京子 著/白水社/978-4-560-06990-5

参考書 適宜、教員が紹介する。

履修条件・他の科目との関連 外国語の習得は毎回の授業の積み重ねが必須であることから、授業に積極的に参加すること。
 注意:原則韓国語 I もしくは II の単位を持っている方が受講対象になる。

授業コード	13112501	授業形態		実務家教員	—
授業科目名	韓国語観光会話 I [対面]				
シラバス執筆(全員)	韓 尚秀				
シラバス執筆(主)	韓 尚秀				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

初級レベル韓国語に続く、主に韓国旅行や短期留学に必要な、内容を会話中心に学ぶ。韓国語初級レベルで基本的な文法(해요体の作り方、過去形など)を終えていれば、この授業を通じてさらなるステップアップができる。内容は、旅行や短期留学の際に出会うであろう色々な場面での会話を学べる。

到達目標

韓国旅行や短期留学で対応できる程度の韓国語学習を目指す。

授業計画

- 【第1回】
テーマ：ガイドンス
内容・方法：基礎韓国語の確認。
- 【第2回】
テーマ：第1課 제 친구를 소개하겠습니다。
内容・方法：初対面の相手に自己紹介する。
- 【第3回】
テーマ：第2課 이메일 주소도 좀 알려 주세요。
内容・方法：相手の連絡先を聞く。
- 【第4回】
テーマ：第3課 오늘 점심 뭘로 할까요?
内容・方法：食堂で注文する。
- 【第5回】
テーマ：第4課 1호선을 타면 인사동에 가요?
内容・方法：交通手段を訪ねる。
- 【第6回】
テーマ：第5課 한번 신어 봐도 돼요?
内容・方法：買い物する。
- 【第7回】
テーマ：第6課 명동에 같이 갈래요?
内容・方法：相手に提案する。
- 【第8回】
テーマ：中間まとめ。
内容・方法：インタビュー評価。
- 【第9回】
テーマ：第7課 가르친 경험이 있어서 괜찮아요。
内容・方法：久しぶりの相手と挨拶する。
- 【第10回】
テーマ：第8課 감기 걸린 것 같아요。
内容・方法：自分の病状を説明する。
- 【第11回】
テーマ：第9課 핸드폰을 찾으러 왔는데요。
内容・方法：持ち物について説明する。
- 【第12回】
テーマ：第10課 고장 신고를 인터넷으로 할 수 있어요?
内容・方法：アドバイスを求める。
- 【第13回】
テーマ：第11課 대신 반납해 주면 안돼요?
内容・方法：相手をお願いする。
- 【第14回】
テーマ：第12課 쉬면서 대학원 준비할 생각이예요。
内容・方法：予定・計画を説明する。
- 【第15回】
テーマ：前期のまとめと韓国語座談。
内容・方法：インタビュー評価。

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

毎回の授業では、事前・事後学習として1時間から1時間半の学習が必要です。

【第1回】
事前学習課題：授業の概要とシラバスを読んでおくこと。0.5時間

事後学習課題：復習でわからなかったところをよくおさらいしておくこと。0.5時間
 【第2回】
 事前学習課題：教科書第1課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第3回】
 事前学習課題：教科書第2課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第4回】
 事前学習課題：教科書第3課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第5回】
 事前学習課題：教科書第4課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第6回】
 事前学習課題：教科書第5課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第7回】
 事前学習課題：教科書第6課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第8回】
 事前学習課題：教科書本文第1課から6課までをを読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：わからなかったところをよくおさらいしておくこと。0.5時間
 【第9回】
 事前学習課題：教科書第7課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第10回】
 事前学習課題：教科書第8課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第11回】
 事前学習課題：教科書第9課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第12回】
 事前学習課題：教科書第10課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第13回】
 事前学習課題：教科書第11課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第14回】
 事前学習課題：教科書第12課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第15回】
 事前学習課題：教科書第1課から第12課のインタビューテストの勉強をしておくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書第1課から第12課を読んでおくこと。0.5時間

課題に対するフィードバックの方法

授業中に実施した小テストを返却し、間違った箇所を確認して覚えなおす。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

授業への参加態度と小テスト、インタビューテスト及び期末レポートの結果から総合的に評価する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	平常点	1, 2
授業外での評価	20	レポート課題	1
定期試験	0	なし	なし
定期試験に代わるレポート等	30	期末レポート点	1, 2
その他	0	なし	なし

テキスト ロールプレイで学ぶ韓国語/睦宗均ら 著/白水社/978-4-560-01795-1

参考書 適宜、教員が紹介する。

履修条件・他の科目との関連 外国語の習得は毎回の授業の積み重ねが必須であることから、授業に積極的に参加すること。
 注意:原則韓国語 I もしくは II の単位を持っている方が受講対象になる。

授業コード	13112601	授業形態		実務家教員	—
授業科目名	韓国語観光会話Ⅱ [対面]				
シラバス執筆(全員)	韓 尚秀				
シラバス執筆(主)	韓 尚秀				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

韓国語観光会話Ⅰに続く、主に韓国旅行や短期留学に必要な、内容を会話中心に学ぶ。韓国語初級レベルで基本的な文法(해오体の作り方、過去形など)を終えていれば、この授業を通じてさらなるステップアップができる。内容は、旅行や短期留学の際に出会うであろう色々な場面での会話をロール形式で学べる。

到達目標

韓国旅行や短期留学で対応できる程度の韓国語学習を目指す。

授業計画

- 【第1回】
テーマ：ガイドンス
内容・方法：基礎韓国語の確認。
- 【第2回】
テーマ：第1課 제 친구를 소개하겠습니다。
内容・方法：初対面の相手に自己紹介する。
- 【第3回】
テーマ：第2課 이메일 주소도 좀 알려 주세요。
内容・方法：相手の連絡先を聞く。
- 【第4回】
テーマ：第3課 오늘 점심 뭘로 할까요?
内容・方法：食堂で注文する。
- 【第5回】
テーマ：第4課 1호선을 타면 인사동에 가요?
内容・方法：交通手段を訪ねる。
- 【第6回】
テーマ：第5課 한번 신어 봐도 돼요?
内容・方法：買い物する。
- 【第7回】
テーマ：第6課 명동에 같이 갈래요?
内容・方法：相手に提案する。
- 【第8回】
テーマ：中間まとめ。
内容・方法：インタビュー評価。
- 【第9回】
テーマ：第7課 가르친 경험이 있어서 괜찮아요。
内容・方法：久しぶりの相手と挨拶する。
- 【第10回】
テーマ：第8課 감기 걸린 것 같아요。
内容・方法：自分の病状を説明する。
- 【第11回】
テーマ：第9課 핸드폰을 찾으러 왔는데요。
内容・方法：持ち物について説明する。
- 【第12回】
テーマ：第10課 고장 신고를 인터넷으로 할 수 있어요?
内容・方法：アドバイスを求める。
- 【第13回】
テーマ：第11課 대신 반납해 주면 안돼요?
内容・方法：相手をお願いする。
- 【第14回】
テーマ：第12課 쉬면서 대학원 준비할 생각이예요。
内容・方法：予定・計画を説明する。
- 【第15回】
テーマ：前期のまとめと韓国語座談。
内容・方法：インタビュー評価。

事前事後の学習

授業時間外で、計15時間の事前事後学習が必要です。

毎回の授業では、事前・事後学習として1時間から1時間半の学習が必要です。

【第1回】
事前学習課題：授業の概要とシラバスを読んでおくこと。0.5時間

事後学習課題：復習でわからなかったところをよくおさらいしておくこと。0.5時間
 【第2回】
 事前学習課題：教科書第1課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第3回】
 事前学習課題：教科書第2課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第4回】
 事前学習課題：教科書第3課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第5回】
 事前学習課題：教科書第4課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第6回】
 事前学習課題：教科書第5課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第7回】
 事前学習課題：教科書第6課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第8回】
 事前学習課題：教科書本文第1課から6課までをを読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：わからなかったところをよくおさらいしておくこと。0.5時間
 【第9回】
 事前学習課題：教科書第7課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第10回】
 事前学習課題：教科書第8課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第11回】
 事前学習課題：教科書第9課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第12回】
 事前学習課題：教科書第10課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第13回】
 事前学習課題：教科書第11課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第14回】
 事前学習課題：教科書第12課を読んでおくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書の該当箇所を再読して、授業内容を振り返ること。0.5時間
 【第15回】
 事前学習課題：教科書第1課から第12課のインタビューテストの勉強をしておくこと。0.5時間
 事後学習課題：教科書第1課から第12課を読んでおくこと。0.5時間

課題に対するフィードバックの方法

授業中に実施した小テストを返却し、間違った箇所を確認して覚えなおす。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

授業への参加態度と小テスト、インタビューテスト及び期末レポートの結果から総合的に評価する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	平常点	1, 2
授業外での評価	20	レポート課題	1
定期試験	0	なし	なし
定期試験に代わるレポート等	30	期末レポート点	1, 2
その他	0	なし	なし

テキスト ロールプレイで学ぶ韓国語/睦宗均ら 著/白水社/978-4-560-01795-1

参考書 適宜、教員が紹介する。

履修条件・他の科目との関連 外国語の習得は毎回の授業の積み重ねが必須であることから、授業に積極的に参加すること。
 注意:原則韓国語 I もしくは II 単位を持っている方が受講対象になる。

授業コード	13102701	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	韓国の現代社会 [対面]				
シラバス執筆(全員)	韓 尚秀				
シラバス執筆(主)	韓 尚秀				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

隣国である韓国の現状を理解することは、国際交流やビジネス場において非常に重要である。本講義では、現代韓国の社会、教育、政治、経済、法律、歴史、地理などについて基礎的な内容を優しく講義する。

到達目標

1. 現代の韓国について理解を深める。
2. 豊かな国際性を身につける。

授業計画

- 【【第1回】
 テーマ：ガイドンス
 内容・方法：講義に関する注意事項について案内する。
- 【第2回】
 テーマ：韓国の社会
 内容・方法：韓国の象徴、家族関係、都市と農村、福医療と安全について講義する。
- 【第3回】
 テーマ：韓国の教育
 内容・方法：保育制度、小中高教育、高等教育と入試、平生教育について講義する。
- 【第4回】
 テーマ：韓国の文化Ⅰ
 内容・方法：伝統価値、伝統衣食住、現代衣食住、儀礼、名節について講義する。
- 【第5回】
 テーマ：韓国の文化Ⅱ
 内容・方法：宗教、大衆文化、余暇文化について講義する。
- 【第6回】
 テーマ：韓国の政治
 内容・方法：韓国の民主政治、選挙と地自治体について講義する。
- 【第7回】
 テーマ：韓国の経済Ⅰ
 内容・方法：経済活動と成長、消費者保護、金融機関について講義する。
- 【第8回】
 テーマ：韓国の経済Ⅱ
 内容・方法：就職実情について講義する。
- 【第9回】
 テーマ：韓国の法律
 内容・方法：韓国国籍と法、家族と法、財産と法、生活法律、犯罪と法、権利保護と法について講義する。
- 【第10回】
 テーマ：韓国の歴史Ⅰ
 内容・方法：古朝鮮の建国、三国時代と南北朝時代、高麗時代、朝鮮の建国と発展を講義する。
- 【第11回】
 テーマ：韓国の歴史Ⅱ
 内容・方法：韓国の歴史人物、韓国の文化遺産について講義する。
- 【第12回】
 テーマ：韓国の地理Ⅰ
 内容・方法：韓国の気候と地形、首都圏、忠清道地域について講義する。
- 【第13回】
 テーマ：韓国の地理Ⅱ
 内容・方法：全羅道地域、慶尚道地域、江原道地域、済州道地域について講義する。
- 【第14回】
 テーマ：期末テスト
 内容・方法：試験もしくはレポート。
- 【第15回】
 テーマ：まとめ
 内容・方法：まとめ。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

- 【第1回】
- ①事前学修課題：講義概要を予め読んでおくこと。2時間
 - ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間

- 【第2回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間
- 【第3回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間
- 【第4回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間
- 【第5回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間
- 【第6回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間
- 【第7回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間
- 【第8回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間
- 【第9回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間
- 【第10回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間
- 【第11回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間
- 【第12回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間
- 【第13回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間
- 【第14回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間
- 【第15回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間

課題に対するフィードバックの方法

OIUUNIPAのレポート機能を活用する。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

平常点50%、最後の時間の簡単なテスト及びレポート50%で評価する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	平常点(授業中に実施する小テスト)	1, 2
授業外での評価	30	レポート	2
定期試験	0	なし	なし
定期試験に代わるレポート等	20	期末レポート点	1, 2
その他	0	なし	なし

テキスト 必要に応じて資料を配布する。

参考書 必要に応じて資料を配布する。

履修条件・他の科目との関連 韓国語関連授業、世界史等

授業コード	13103201	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	韓国文化論 [対面]				
シラバス執筆(全員)	全 ウンフィ				
シラバス執筆(主)	全 ウンフィ				
開講年次	3年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

この授業では、韓国文化を歴史・社会・地理的背景から学んでいく。韓国は日本にもっとも近い隣国として、政治、経済、歴史、文化、スポーツなど、多方面において影響し合っている。近頃は、音楽（特にK-pop）やファッション、料理、映画、ドラマなど、韓国の若者の楽しむ文化が日本でも人気を博している。そのような韓国の若者文化を楽しんでいると、疑問や違和感も生じてくる。この授業では、「異なる文化」の謎を、韓国の人々が培った歴史や社会、文化を理解しながら解いていく。

到達目標

到達目標は以下の二点である。

1. 韓国文化の特徴を歴史・社会・地理的背景から理解できる。
2. 異文化を捉える視点を養える。

授業計画

- 【第1回】 ガイダンス—授業の進め方と異文化を学ぶことについて
- 【第2回】 K-popという異文化から韓国に出会えば
- 【第3回】 伝統と歴史1 朝鮮王朝時代—韓国人の原型と氏名
- 【第4回】 伝統と歴史2 日韓関係はどう記憶されている？—日本統治期に至る歴史
- 【第5回】 伝統と歴史3 米軍政から大韓民国へ①南北分断と朝鮮戦争が残したもの
- 【第6回】 伝統と歴史4 米軍政から大韓民国へ②高度成長期の明暗
- 【第7回】 伝統と歴史5 「正しい歴史認識」とは？—1987年からの運動
- 【第8回】 小テストとグループワークの準備
- 【第9回】 文化と社会1 観光にみる韓国
- 【第10回】 文化と社会2 「キムジャン」にみる家族の変化
- 【第11回】 文化と社会3 ドラマにみる韓国におけるジェンダー
- 【第12回】 文化と社会4 国際関係のなかの「韓半島」
- 【第13回】 グループワーク：テーマ確定と資料調査
- 【第14回】 グループワーク：発表資料づくり
- 【第15回】 グループワークのフィードバックと期末レポートの執筆指導

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

本授業では、韓国文化に関する様々なテーマを扱い、授業中に関係する事例やその情報源を複数提示する。そのため、事前学習では前回のテーマのふりかえりと次回のテーマへの情報収集、事後学習では、授業中に提示された資料などをさらに探索することが望ましい。学習時間は事前学習が2時間程度、事後学習は2時間程度を目安とする。

課題に対するフィードバックの方法

授業中もしくはGoogleクラスルームなどを用いて提示する。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

小テスト（30％）とコメントシート（30％）、グループワークを通じた期末レポート（40％）をもって総合的に評価する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	小テスト(30)、コメントシート(30)	1, 2
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	30	期末レポート(30)	1, 2
その他	10	グループワークへの参加度(10)	1, 2

テキスト	特になし。プレゼンテーション資料などを配布する。
参考書	知りたくなる韓国、新城道彦・浅羽祐樹・金香男・春木育美著、有斐閣、1980円(税込み)、978-4-641-17449-8 はじめて向きあう韓国、浅羽祐樹、法律文化社、2310円(税込み) 978-4589043580 ほか、授業中に適宜提示する。
履修条件・他の科目との関連	韓国の文化をより広く知り・なかまと深く考えたい人に受講を進める。韓国語能力とは関係ない。

授業コード	13095201	授業形態	講義	実務家教員	○
授業科目名	博物館概論 [対面]				
シラバス執筆(全員)	五月女 賢司				
シラバス執筆(主)	五月女 賢司				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

授業担当教員が博物館や行政で従事してきた実務経験をもとに、博物館の法令・種類・組織・歴史を概観し、博物館の機能である収集・研究・展示・保存・活用や、博物館の社会的な役割について学ぶ。また、学校教育・生涯学習・地域・文化遺産と博物館の関係についてグループワークなどを通じて考え、課題提出やプレゼンテーションなどを行うことによって、博物館学芸員の養成につなげる。そのことにより、今後国内外の博物館を訪れた際、表層的な博物館理解に基づく観光行動を超えて、より幅広い視野と知的好奇心をもって利用することができる人材を育成する。

到達目標

1. 博物館の基本理念や歴史を理解することで、博物館の役割について説明できるようになる。
2. 学芸員資格に必要な博物館法の理解や博物館全体に関する基礎的な知識を身につけ、説明できるようになる。

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：世界の博物館事情①
 内容・方法：博物館について、国際的な視点から理解する。
- 【第2回】
 テーマ：世界の博物館事情②
 内容・方法：博物館について、国際的な視点から理解する。
- 【第3回】
 テーマ：国際博物館会議（ICOM）とは
 内容・方法：博物館に関する国際組織について理解することで、現代的な博物館の課題や求められている役割を学ぶ。
- 【第4回】
 テーマ：博物館の歴史
 内容・方法：世界と日本における博物館の歴史と現状について考える。博物学・博覧会などこれまでの系譜をたどる。
- 【第5回】
 テーマ：あらためて博物館とは何か：博物館関係法令に基づく定義や制度、学芸員資格など
 内容・方法：博物館関係法令に基づく定義や制度、分類、学芸員資格などについて、国際的な視野から位置づける。
- 【第6回】
 テーマ：博物館のお仕事ツアー：博物館の活動について
 内容・方法：博物館実務について、主に吹田市立博物館の事例から理解する。
- 【第7回】
 テーマ：動画教材「博物館を支える学芸員の仕事① 資料の収集と整理保管」
 内容・方法：博物館の資料収集や整理保管について、動画教材の視聴と教員からの解説を通して理解する。
- 【第8回】
 テーマ：動画教材「博物館を支える学芸員の仕事② 調査研究から展示へ」
 内容・方法：博物館の調査研究や展示について、動画教材の視聴と教員からの解説を通して理解する。
- 【第9回】
 テーマ：動画教材「博物館を支える学芸員の仕事③ 教育普及・市民との連携」
 内容・方法：博物館の教育普及・市民との連携について、動画教材の視聴と教員からの解説を通して理解する。
- 【第10回】
 テーマ：保存・研究・教育・観光ディベート
 内容・方法：博物館が持つ機能のうちどれが一番重要と思うか、というテーマでディベートを行う。
- 【第11回】
 テーマ：保存・研究・教育・観光ディベート（大会）
 内容・方法：博物館が持つ機能のうちどれが一番重要と思うか、というテーマでディベートを行う。
- 【第12回】
 テーマ：博物館倫理・行動規範
 内容・方法：日本博物館協会の「博物館の原則」と「博物館関係者の行動規範」について学ぶ。
- 【第13回】
 テーマ：アイヌの歴史と博物館
 内容・方法：アイヌの歴史と遺骨返還について、博物館の文脈から理解する。
- 【第14回】
 テーマ：ディスカッション
 内容・方法：自らのルーツやアイデンティティについてディスカッションを行うことで、博物館の現代的な役割の理解を試みる。
- 【第15回】
 テーマ：博物館の現状と課題

内容・方法：「一番のがんは学芸員」発言や「NHK WORLD: Japan's Fascinating Museums - Japan Travel Expert」などから、博物館の現状と課題を探る。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

- ①事前学修課題：博物館・美術館・資料館等を数多く見学し、見たこと、感じたことをノートにまとめる。
- ②事後学修課題：復習すること。

【第2回】

- ①事前学修課題：博物館・美術館・資料館等を数多く見学し、見たこと、感じたことをノートにまとめる。
- ②事後学修課題：復習すること。

【第3回】

- ①事前学修課題：博物館・美術館・資料館等を数多く見学し、見たこと、感じたことをノートにまとめる。
- ②事後学修課題：復習すること。

【第4回】

- ①事前学修課題：博物館・美術館・資料館等を数多く見学し、見たこと、感じたことをノートにまとめる。
- ②事後学修課題：復習すること。

【第5回】

- ①事前学修課題：博物館・美術館・資料館等を数多く見学し、見たこと、感じたことをノートにまとめる。
- ②事後学修課題：復習すること。

【第6回】

- ①事前学修課題：博物館・美術館・資料館等を数多く見学し、見たこと、感じたことをノートにまとめる。
- ②事後学修課題：復習すること。

【第7回】

- ①事前学修課題：博物館・美術館・資料館等を数多く見学し、見たこと、感じたことをノートにまとめる。
- ②事後学修課題：復習すること。

【第8回】

- ①事前学修課題：博物館・美術館・資料館等を数多く見学し、見たこと、感じたことをノートにまとめる。
- ②事後学修課題：復習すること。

【第9回】

- ①事前学修課題：博物館・美術館・資料館等を数多く見学し、見たこと、感じたことをノートにまとめる。
- ②事後学修課題：復習すること。

【第10回】

- ①事前学修課題：博物館・美術館・資料館等を数多く見学し、見たこと、感じたことをノートにまとめる。
- ②事後学修課題：復習すること。

【第11回】

- ①事前学修課題：博物館・美術館・資料館等を数多く見学し、見たこと、感じたことをノートにまとめる。
- ②事後学修課題：復習すること。

【第12回】

- ①事前学修課題：博物館・美術館・資料館等を数多く見学し、見たこと、感じたことをノートにまとめる。
- ②事後学修課題：復習すること。

【第13回】

- ①事前学修課題：博物館・美術館・資料館等を数多く見学し、見たこと、感じたことをノートにまとめる。
- ②事後学修課題：復習すること。

【第14回】

- ①事前学修課題：博物館・美術館・資料館等を数多く見学し、見たこと、感じたことをノートにまとめる。
- ②事後学修課題：復習すること。

【第15回】

- ①事前学修課題：博物館・美術館・資料館等を数多く見学し、見たこと、感じたことをノートにまとめる。
- ②事後学修課題：復習すること。

毎回の授業につき、2時間の事前学習、2時間の事後学習が必要である。

課題に対するフィードバックの方法

レポート課題などを課し、授業内容の整理をおこなう。
後日の授業で、模範解答を示し、解説をおこなう。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

ミニツツペーパー・ワークシート、ディベート、ディスカッション、レポート課題の総合評価による。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	70	ミニツツペーパー・ワークシート、ディベート、ディスカッション	1
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	30	レポート課題	1

その他	0		
テキスト	プリントを配布する		
参考書	必要に応じて授業の中で紹介する		
履修条件・他の科目との関連	予習の一環として、博物館・美術館・資料館等を数多く見学し、見たこと、感じたことをノートにまとめてください。 博物館学芸員資格希望者にはこの科目は必修ですので必ず履修してしてください。		

授業コード	13095301	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	博物館教育論 [対面]				
シラバス執筆(全員)	五月女 賢司				
シラバス執筆(主)	五月女 賢司				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

博物館における教育活動の基盤となる理論や実践に関する知識と方法を習得し、博物館の教育機能に関する基礎的能力を養う講義。現代社会において博物館が求められている、新たな教育的役割や地域社会における役割についても考える。

到達目標

1. 博物館に関する国内外の潮流について大まかに理解することができる。
2. 博物館における教育理論や教育実践について他の教育施設との違いを説明できる。
3. 地域社会における博物館の役割について説明できる。
4. ユニバーサル・ミュージアムのあり方についてその意義や課題を説明できる。
5. 博物館教育理論を用いて実践のための企画書を作成することができる。

授業計画

【第1回】

テーマ：オリエンテーション／ユネスコ勧告／博物館とは何か（ICOMの定義）

内容・方法：西洋・非西洋各国の博物館・博物館教育とそれを取り巻く状況を、ユネスコや国際博物館会議（ICOM）の理念に触れつつ理解する。またそうした理解を、人の学びと博物館の機能・教育について考えるための土台とする。

【第2回】

テーマ：動画「博物館を支える学芸員の仕事 教育普及」

内容・方法：日本の博物館における教育普及活動について、動画教材より学ぶ。

【第3回】

テーマ：中間レポートについての説明／日本の教育法の体系と博物館の法的位置づけ：

内容・方法：以後、第8回目までに中間レポート「博物館教育が果たし得る現代的な役割について」に取り組む（課題内容はシラバス作成時点での予定）。生涯学習の概念とその社会的な意味、社会教育法などの関連法規、生涯学習機関としての博物館の位置づけなどについて理解を深める。

【第4回】

テーマ：博物館教育活動の目的と意義

内容・方法：生涯学習機関としての博物館を考えるにあたり、まず教育の意義と理念について理解を深める。

【第5回】

テーマ：博物館教育と学校教育の理論

内容・方法：学校教育との対比を通して、博物館における教育活動の特性を検討する。

【第6回】

テーマ：博物館教育と学校教育の実践

内容・方法：博物館と学校との連携などにおける課題について考える。

【第7回】

テーマ：博物館における学習の特性

内容・方法：これまでの博物館学における議論を振り返り、「博物館教育」とは何かについて、その歴史的な展開を概観しながら考える。近年注目を集めている構成主義学習論なども紹介しながら、利用者の博物館体験・利用実態からみた博物館教育の特性について検討する。また、「インタープリテーション」や「コミュニケーション」、「ナラティブ」といった概念にも言及しながら、資料や展示を介して展開される博物館教育の特性とその方針・評価について考える。

【第8回】

テーマ：博物館における市民ボランティア活動と地域と歩む博物館のあり方

内容・方法：まず、地域博物館の歴史にふれつつ、地域社会における生涯学習機関としての博物館の役割を考える。特に、博物館と地域社会の交流のあり方に関して検討を加える。また、博物館におけるボランティア活動の学習的側面についても検討を加える。特に、学習機会提供者および学習者としてのボランティアという視点でその意義を考察する。

【第9回】

テーマ：映画「アムステルダム国立美術館」

内容・方法：博物館などの公共機関と市民社会の関係性を考えるためのビデオ（DVD）を視聴する。

【第10回】

テーマ：歴史系・民族学系博物館における教育活動

内容・方法：博物館が歴史を表象することの意義や課題を検討しつつ、歴史系博物館における学習活動の特徴を考える。また、博物館が自己と他者を表象することの意義や課題を検討しつつ、民族学博物館における学習活動の特徴を考える。

【第11回】

テーマ：博物館における障害者対応 1

内容・方法：誰もが楽しめる博物館を目指すユニバーサル・ミュージアムのあり方についてその意義や課題を検討する。

【第12回】

テーマ：博物館における障害者対応 2

内容・方法：誰もが楽しめる博物館を目指すユニバーサル・ミュージアムのあり方について、絵・写真を見ないで想像するワークショップやモノ調査票の作成などの実践を交えつつディスカッションを行うことで、その一形態を理解する。

【第13回】

テーマ：動画「Museum Start あいうえの」「国立科学博物館公式：かはくチャンネル」「おうちでみんぱく」等
内容・方法：博物館教育の担い手となる学芸員について、動画を通してその役割や求められる能力について理解を深める。

【第14回】

テーマ：動画「地域回想法」「博物館浴」「トーハク劇場へようこそ！」等
内容・方法：博物館教育の担い手となる学芸員について、動画を通してその役割や求められる能力について理解を深める。

【第15回】

テーマ：まとめ／教育プログラムの企画

内容・方法：第14週まで学んだ博物館教育の現状と今後の課題について振り返り、これからの博物館教育のあり方を考える。また、第14週まで学んだ博物館教育の手法や理論に基づき、教育プログラムの企画演習を行う。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

事後学修課題：復習すること。

【第2回】

事後学修課題：復習すること。

【第3回】

事後学修課題：復習すること。

【第4回】

事後学修課題：復習すること。

【第5回】

事後学修課題：復習すること。

【第6回】

事後学修課題：復習すること。

【第7回】

事後学修課題：復習すること。

【第8回】

事後学修課題：復習すること。

【第9回】

事後学修課題：復習すること。

【第10回】

事後学修課題：復習すること。

【第11回】

事後学修課題：復習すること。

【第12回】

事後学修課題：復習すること。

【第13回】

事後学修課題：復習すること。

【第14回】

事後学修課題：復習すること。

【第15回】

事後学修課題：復習すること。

毎回の授業につき、4時間の事後学習が必要である。

課題に対するフィードバックの方法

レポートや課題を課し、授業内容の整理をおこなう。
後日の授業で、模範解答を示し、解説をおこなう。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

中間レポート、提出物、期末課題の総合評価による。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	10	提出物1(5)、提出物2(5)	1, 2, 3
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	90	中間レポート(40)、期末課題(50)	1, 2, 3, 4, 5

その他	0		
テキスト	プリントを配布する		
参考書	<p><参考文献/Reference Book > 小笠原善康ほか編『博物館教育論—新しい博物館教育を描きだす』(株式会社ぎょうせい, 2012)ISBN:9784324092460 黒沢浩『博物館教育論(KS 理工学専門書)』(講談社, 2015), ISBN:978-4061565425 高橋雄造『博物館の歴史』(法政大学出版局, 2008), ISBN:978-4-588-37116-5 吉田憲司『文化の「発見」—驚異の部屋からヴァーチャルミュージアムまで—』(岩波書店, 1999), ISBN:978-4000286817 伊藤寿朗『ひらけ, 博物館』(岩波書店, 1991), ISBN:978-4000031288 伊藤寿朗『市民のなかの博物館』(吉川弘文館, 1993), ISBN:978-4642073967</p> <p><参照URL/URL > https://www.mext.go.jp/unesco/009/1387063.htm 博物館をあらゆる人に開放する最も有効な方法に関する勧告: 文部科学省 https://www.j-muse.or.jp/02program/pdf/UNESCO_RECOMMENDATION_JPN.pdf ミュージアムとコレクションの保存活用, その多様性と社会における役割に関する勧告 https://icomjapan.org/journal/2023/01/16/p-3188/ 新しい博物館定義, 日本語訳が決定しました _ ICOM 日本委員会</p>		
履修条件・他の科目との関連	生涯学習・博物館関連科目も受講することが望ましい		

授業コード	13095401	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	博物館情報・メディア論 [対面]				
シラバス執筆(全員)	村田 隆志				
シラバス執筆(主)	村田 隆志				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

今日の博物館において、発展を続ける様々な情報メディアをいかに活用するかということは、極めて重要な問題になりつつある。インターネットの普及やSNSの活用によって、従来は考えられなかった情報収集や発信の手段を採ることが可能となりつつあり、大いに博物館の活動に益しているからである。

一方で、博物館学芸員という公的な立場での安易な情報発信は、思わぬ悪影響を館に及ぼすこともある。このような状況を踏まえ、本講義においては著作権などに留意しながら、各種のメディアを使用できるような知識を教授する。また、模擬ワークショップを実施し、その経験を開催館のHPに載せる原稿と仮定して執筆する実習なども行い、公的な文章を執筆する能力も養う。

到達目標

1. 博物館におけるメディアの活用について理解する。
2. 効果的な広報手段について理解する。
3. 思考を言語化し、的確な語彙を用いて論文とする能力を体得する。
4. メディアを使いこなすために、デザインや動画編集の基礎を学ぶ。

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：イントロダクション
 内容・方法：本講義の進め方、注意点
- 【第2回】
 テーマ：博物館と情報メディアの活用
 内容・方法：パワーポイントを用いての講義
- 【第3回】
 テーマ：事例研究 1
 内容・方法：パワーポイントを用いての講義
- 【第4回】
 テーマ：事例研究 2
 内容・方法：パワーポイントを用いての講義
- 【第5回】
 テーマ：マス・コミュニケーションと博物館
 内容・方法：配布資料・ノートの整理
- 【第6回】
 テーマ：webミュージアムの現状と可能性
 内容・方法：パワーポイントを用いての講義
- 【第7回】
 テーマ：視聴覚教材の博物館における教育普及活動への活用
 内容・方法：パワーポイントを用いての講義
- 【第8回】
 テーマ：博物館と著作権
 内容・方法：パワーポイントを用いての講義
- 【第9回】
 テーマ：学芸員の情報収集 データベースの利用
 内容・方法：データベース利用演習
- 【第10回】
 テーマ：模擬ワークショップ
 内容・方法：ワークショップ実施
- 【第11回】
 テーマ：デザイン課題 1
 内容・方法：課題発表
- 【第12回】
 テーマ：デザイン課題 2
 内容・方法：課題発表
- 【第13回】
 テーマ：デザイン課題 3
 内容・方法：課題発表
- 【第14回】
 テーマ：デザイン課題 4
 内容・方法：課題発表
- 【第15回】
 テーマ：総括
 内容・方法：総括

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

※毎回の授業において、2時間の事前学習と2時間の事後学習が必要である。

- 【第1回】
①事前学修課題：博物館関係既習科目の学びの再確認
②事後学修課題：配布資料・ノートの整理
- 【第2回】
①事前学修課題：先行事例の確認
②事後学修課題：配布資料・ノートの整理
- 【第3回】
①事前学修課題：国内外の館の情報メディア利用に関する情報収集
②事後学修課題：配布資料・ノートの整理
- 【第4回】
①事前学修課題：国内外の館の情報メディア利用に関する情報収集
②事後学修課題：配布資料・ノートの整理
- 【第5回】
①事前学修課題：新聞・テレビでの博物館・展覧会情報の紹介のされ方に注目
②事後学修課題：配布資料・ノートの整理
- 【第6回】
①事前学修課題：webミュージアムの体験
②事後学修課題：配布資料・ノートの整理
- 【第7回】
①事前学修課題：視聴覚教材のメリット・デメリットについて考える
②事後学修課題：配布資料・ノートの整理
- 【第8回】
①事前学修課題：著作権の基本的な考え方について「著作権法」を読んで大要を理解
②事後学修課題：配布資料・ノートの整理
- 【第9回】
①事前学修課題：各種データベースの利用
②事後学修課題：データベース利用の要点整理
- 【第10回】
①事前学修課題：他館のワークショップについての情報収集
②事後学修課題：ワークショップ実施の要点整理
- 【第11回】
①事前学修課題：課題発表準備
②事後学修課題：指導内容の把握と課題への反映
- 【第12回】
①事前学修課題：課題発表準備
②事後学修課題：指導内容の把握と課題への反映
- 【第13回】
①事前学修課題：課題発表準備
②事後学修課題：指導内容の把握と課題への反映
- 【第14回】
①事前学修課題：課題発表準備
②事後学修課題：指導内容の把握と課題への反映
- 【第15回】
①事前学修課題：総復習
②事後学修課題：本科目の学びの振り返り

課題に対するフィードバックの方法

提出の当日、もしくは次週にフィードバックする。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により、総合的に判定の上、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

正当な理由なく5回以上欠席した場合にはK評価とする。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	80	授業内課題(80)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	レポート	1, 2, 3, 4
その他	0		

テキスト	プリントを配布する
参考書	プリントや口頭で、各分野に関する参考書を紹介する。
履修条件・他の科目との関連	博物館学芸員資格の取得要件となる科目であるため、資格取得を目的とする受講であることが望ましい。資格取得を考えずに受講する場合は、初回の講義に必ず出席し、教員と面談の上で了解を得ること。

授業コード	13095501	授業形態	講義	実務家教員	<input type="radio"/>
授業科目名	博物館資料論 [対面]				
シラバス執筆(全員)	坂野 歩				
シラバス執筆(主)	坂野 歩				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

博物館資料の収集、整理保管等に関する理論や方法に関する知識・技術について概説する。また博物館の調査研究活動について理解することを通じて、博物館資料に関する基礎的能力を養う。
前職での学芸員としての実務経験を活かし、ワークシートやペアワーク、発表課題などを取り入れて博物館の資料に関する実践的な講義を展開する。

到達目標

1. 博物館資料に関する基礎的な知識を身に付け説明できるようになる。
2. 博物館の資料を対象とした調査研究活動について理解し、それらがどのように展開されているかを説明できるようになる。
3. 日本国内外の各博物館を訪れた際、学芸員の視点をもって資料を見ることができるようになる。

授業計画

- 【第1回】
テーマ：ガイダンス
内容・方法：本科目の進め方と注意点、各自見学してきた博物館の資料について
- 【第2回】
テーマ：博物館および博物館資料の概説
内容・方法：パワーポイントを使用しての講義、コメントペーパーの提出
- 【第3回】
テーマ：博物館資料の特徴と博物館の種類
内容・方法：パワーポイントを使用しての講義、コメントペーパーの提出
- 【第4回】
テーマ：資料の収集（購入・寄贈）のしくみ
内容・方法：パワーポイントを使用しての講義、ペアワーク・ワークシート（寄贈について）の提出
- 【第5回】
テーマ：資料の移動と輸送
内容・方法：パワーポイントを使用しての講義、コメントペーパーの提出
- 【第6回】
テーマ：博物館資料の登録と分類（目録作成）
内容・方法：パワーポイントを使用しての講義、コメントペーパーの提出
- 【第7回】
テーマ：調書の作成
内容・方法：実際にいくつかの資料を用いて調書について説明する、ワークシート（調書）の提出
- 【第8回】
テーマ：博物館の資料を展示する
内容・方法：パワーポイントを使用しての講義、コメントペーパーの提出
- 【第9回】
テーマ：資料公開の方法（貸出・借用、特別利用）
内容・方法：パワーポイントを使用しての講義、コメントペーパーの提出
- 【第10回】
テーマ：博物館資料の収蔵と管理（保存・修復）
内容・方法：パワーポイントを使用しての講義、コメントペーパーの提出
- 【第11回】
テーマ：資料の撮影とデータベース
内容・方法：パワーポイントを使用しての講義、コメントペーパーの提出
- 【第12回】
テーマ：発表課題（前半）
内容・方法：博物館の資料やコレクションについて詳しく調査し、パワーポイントにまとめ発表する
- 【第13回】
テーマ：発表課題（後半）
内容・方法：博物館の資料やコレクションについて詳しく調査し、パワーポイントにまとめ発表する
- 【第14回】
テーマ：調査研究活動（資料・資料保存・博物館）
内容・方法：パワーポイントを使用しての講義、コメントペーパーの提出
- 【第15回】
テーマ：調査研究成果の還元（教育普及・情報資料の公開）
内容・方法：パワーポイントを使用しての講義、コメントペーパーの提出

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

- ①事前学修課題：博物館・美術館・資料館等の中から興味のある館を見学してくる
- ②事後学修課題：配布資料の整理や授業のまとめ

【第2回】

- ①事前学修課題：今までの復習
- ②事後学修課題：配布資料の整理や授業のまとめ

【第3回】

- ①事前学修課題：今までの復習
- ②事後学修課題：配布資料の整理や授業のまとめ

【第4回】

- ①事前学修課題：今までの復習
- ②事後学修課題：配布資料の整理や授業のまとめ

【第5回】

- ①事前学修課題：今までの復習
- ②事後学修課題：配布資料の整理や授業のまとめ

【第6回】

- ①事前学修課題：今までの復習
- ②事後学修課題：配布資料の整理や授業のまとめ

【第7回】

- ①事前学修課題：今までの復習
- ②事後学修課題：配布資料の整理や授業のまとめ

【第8回】

- ①事前学修課題：今までの復習
- ②事後学修課題：配布資料の整理や授業のまとめ

【第9回】

- ①事前学修課題：今までの復習
- ②事後学修課題：配布資料の整理や授業のまとめ

【第10回】

- ①事前学修課題：今までの復習
- ②事後学修課題：配布資料の整理や授業のまとめ

【第11回】

- ①事前学修課題：今までの復習
- ②事後学修課題：配布資料の整理や授業のまとめ

【第12回】

- ①事前学修課題：博物館の資料やコレクションについて調査し、パワーポイントにまとめ発表の準備をする
- ②事後学修課題：各発表をまとめる

【第13回】

- ①事前学修課題：博物館の資料やコレクションについて調査し、パワーポイントにまとめ発表の準備をする
- ②事後学修課題：各発表をまとめる

【第14回】

- ①事前学修課題：今までの復習
- ②事後学修課題：配布資料の整理や授業のまとめ

【第15回】

- ①事前学修課題：今までの復習
- ②事後学修課題：配布資料の整理や授業のまとめ

毎回の授業につき、1時間の事前学習、1時間の事後学習が必要である。

課題に対するフィードバックの方法

授業毎にコメントペーパーを提出し、次の授業で返却する。ワークシート、ペアワーク、ディスカッション、発表課題については、授業内または後日の授業で解説する。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。
- 以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	70	コメントペーパー、ワークシート、ペアワーク、ディスカッション	1、2、3
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	30	発表課題	1、2、3
その他	0		

テキスト プリントを配布する。

参考書 講義中に適宜紹介を行う。

履修条件・他の科目との関連

予習学習として、自分の興味のある博物館を見学してください。博物館学芸員資格希望者には必修の科目です。

授業コード	15004801	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	博物館資料保存論 [対面]				
シラバス執筆(全員)	末森 薫				
シラバス執筆(主)	末森 薫				
開講年次	3年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

博物館では学術的、歴史的、芸術的な価値を有する資料を収蔵し展示している。博物館の資料は公共の資産であり、将来にわたって保存し継承していくことが求められるが、さまざまな要因により劣化や損傷が生じる危険性と隣り合わせにある。そのため、博物館では劣化の速度を緩めたり、損傷を防いだりするためのさまざまな対策を講じている。本授業では、博物館が所蔵する資料の価値や保存する意義を考えるとともに、博物館資料の保存していくための方法と考え方を学ぶ。

到達目標

1. 博物館資料が有する価値・意義を理解し、説明できるようになる。
2. 博物館資料を保存・管理する意義・役割を理解し、説明できるようになる。
3. 博物館資料の種類・特徴、劣化要因を理解し、説明できるようになる。
4. 博物館資料を保存・管理する考え方、方法を習得し、実行できるようになる。

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：博物館資料の価値と保存
 内容・方法：博物館が所蔵する資料の価値、保存する意義について学ぶ。
- 【第2回】
 テーマ：博物館資料の種類・材質
 内容・方法：博物館資料にはどのような種類や特徴があるかについて学ぶ。木や石など異なる材質の実物に触れ、その違いを実習する。
- 【第3回】
 テーマ：博物館資料の診断・分析
 内容・方法：博物館資料の見方、調べ方について学ぶ。顕微鏡を用いた観察方法を実習する。
- 【第4回】
 テーマ：博物館資料の予防保存
 内容・方法：博物館における予防的な保存の考え方、方法について学ぶ。
- 【第5回】
 テーマ：博物館における環境管理（温度・湿度）
 内容・方法：博物館の環境を制御する方法として、温度・湿度の原理、制御方法を学ぶ。温度・湿度の測定方法、記録方法を実習する。
- 【第6回】
 テーマ：博物館における環境管理（光）
 内容・方法：博物館の環境を制御する方法として、光の原理、記録方法、制御方法を学ぶ。光の測定方法、記録方法を実習する。
- 【第7回】
 テーマ：博物館における有害生物管理
 内容・方法：虫やカビなど博物館資料に被害を及ぼす生物の管理方法、対策について学ぶ。虫の調査方法を実習する。
- 【第8回】
 テーマ：博物館資料の扱い方
 内容・方法：博物館資料の安全な取扱い方、ハンドリングの方法について学ぶ。ハンドリングの方法を実習する。
- 【第9回】
 テーマ：博物館資料の梱包・輸送
 内容・方法：博物館資料の安全な梱包、輸送の方法について学ぶ。
- 【第10回】
 テーマ：博物館資料の収蔵方法
 内容・方法：博物館資料の適切・安全な収蔵方法について学ぶ。
- 【第11回】
 テーマ：博物館資料の展示方法
 内容・方法：博物館資料の適切・安全な展示方法について学ぶ。
- 【第12回】
 テーマ：博物館資料の撮影記録
 内容・方法：博物館資料を記録する意義、撮影の原理を学ぶ。撮影方法を実習する。
- 【第13回】
 テーマ：博物館資料の三次元記録
 内容・方法：博物館資料の三次元データを記録する意義、活用方法を学ぶ。データの取得方法を実習する。
- 【第14回】
 テーマ：文化遺産の保存
 内容・方法：屋外にある資料や遺跡の保存について学ぶ。
- 【第15回】

テーマ：まとめ
内容・方法：これまでの授業の内容を総括する。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

事前学習：各回の配布資料等を事前に熟読し、分からない箇所やより深く知りたい点をまとめる。
事後学習：各回の配布資料等を参考に授業を振り返り、要点を整理する。

課題に対するフィードバックの方法

各回に提出を求めるリアクションペーパーに記載された質問やコメントに対して、次の授業の冒頭に応答する。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

各回のリアクションペーパー（15×4=60）およびレポート（40）の総合点で評価する。
60点以上を合格とし、正規分布に従って評価をおこなう。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	各回の授業内容についてリアクションペーパーを提出する。	1、2、3、4
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	40	レポート	1、2、3、4
その他	0		

テキスト 授業スライドやプリントを配布する。

参考書 日高真吾『博物館資料保存論』（放送大学、2025年）
三浦 定俊・佐野 千絵・木川 りか『文化財保存環境学（第3版）』（朝倉書店、2025年）

履修条件・他の科目との関連 「博物館概論」を履修済であること。
学芸員資格の取得を希望するものが望ましい。

授業コード	15004901	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	博物館経営論 [対面]				
シラバス執筆(全員)	五月女 賢司				
シラバス執筆(主)	五月女 賢司				
開講年次	3年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

博物館の経営基盤（設置・行財政制度・施設と設備・組織と職員・人材育成）、博物館の経営（サービス・マーケティング・経営評価・運営と管理）、博物館における連携（ネットワーク・地域社会）、博物館経営の実際と未来について具体的に学ぶとともに、各自で博物館の展示を鑑賞し、博物館経営の視点からレポートを作成する。

到達目標

1. 博物館の形態面と活動面における適切な管理・運営について理解し、博物館運営（ミュージアム・マネジメント）に関する基礎的能力を養う。

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：博物館と地域社会
 内容・方法：地域博物館の歴史から、博物館経営について検討する。
- 【第2回】
 テーマ：日本の博物館法と関連法規
 内容・方法：博物館法、文化芸術基本法、文化財保護法、文化観光推進法を概観することで、現代的な博物館経営のあり方を探る。
- 【第3回】
 テーマ：歴史的観光地と連携した博物館経営の事例
 内容・方法：萩まちじゅう博物館（山口県萩市）の事例を通して、博物館経営について考える。
- 【第4回】
 テーマ：小規模博物館連携
 内容・方法：地域の多様な主体との連携・協働によって、地域活力の向上へ寄与する新しい博物館像を俯瞰する。
- 【第5回】
 テーマ：民具資料除籍問題
 内容・方法：鳥取県北栄町の民具資料除籍問題について検討することで、これからの博物館のあり方を考える。
- 【第6回】
 テーマ：博物館による価値発信
 内容・方法：博物館による価値発信の目的・意義について検討する。
- 【第7回】
 テーマ：収益や寄付獲得による地域の活性化
 内容・方法：博物館の価値発信を基盤とした収益や寄付獲得も地域の活性化について検討する。
- 【第8回】
 テーマ：ミュージアム・グッズ作り①
 内容・方法：ミュージアム・ショップで販売するミュージアム・グッズの企画書を作成する。
- 【第9回】
 テーマ：ミュージアム・グッズ作り②
 内容・方法：ミュージアム・ショップで販売するミュージアム・グッズの企画書を作成する。
- 【第10回】
 テーマ：ミュージアム・レストランのメニュー作り①
 内容・方法：ミュージアム・レストランで提供するメニューの企画書を作成する。
- 【第11回】
 テーマ：ミュージアム・レストランのメニュー作り②
 内容・方法：ミュージアム・レストランで提供するメニューの企画書を作成する。
- 【第12回】
 テーマ：学芸員という博物館人材
 内容・方法：これからの博物館に求められる学芸員像を理解する。
- 【第13回】
 テーマ：教育と経営
 内容・方法：地域住民への学びの提供と入館者を増やす努力の狭間で揺れる博物館の経営について、そのあり方を検討する。
- 【第14回】
 テーマ：現在の博物館とこれからの博物館：「機能」から「役割」へ
 内容・方法：博物館に関する国内外の潮流の理解を通して、博物館の現在地と未来を考える。
- 【第15回】
 テーマ：これからの博物館経営
 内容・方法：博物館改革の必要性、社会的使命を前提に、マネジメントの導入を図り、文化資源としての博物館を構想する。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】
事後学修課題：復習すること。
【第2回】
事後学修課題：復習すること。
【第3回】
事後学修課題：復習すること。
【第4回】
事後学修課題：復習すること。
【第5回】
事後学修課題：復習すること。
【第6回】
事後学修課題：復習すること。
【第7回】
事後学修課題：復習すること。
【第8回】
事後学修課題：復習すること。
【第9回】
事後学修課題：復習すること。
【第10回】
事後学修課題：復習すること。
【第11回】
事後学修課題：復習すること。
【第12回】
事後学修課題：復習すること。
【第13回】
事後学修課題：復習すること。
【第14回】
事後学修課題：復習すること。
【第15回】
事後学修課題：復習すること。

毎回の授業につき、4時間の事後学習が必要である。

課題に対するフィードバックの方法

授業内で課題を課し、授業内容の整理をおこなう。
後日の授業で、模範解答を示し、解説をおこなう。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

レポート課題、企画書、ティスカッション・発表の総合評価による。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	70	レポート課題と企画書	1
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	30	最終レポート	1
その他	0		

テキスト プリントを配布する

参考書 授業時に適宜紹介する。

履修条件・他の科目との関連 学芸員資格取得希望者であることが望ましい。

授業コード	15005001	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	博物館展示論 [対面]				
シラバス執筆(全員)	村田 隆志				
シラバス執筆(主)	村田 隆志				
開講年次	3年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

来館者の生涯学習に資することが求められる博物館にとって、いかに資料を展示するのかという問題は非常に重要である。プレゼンテーションやレポート・論文と同様に、展示もまた他人に自分の考えを伝達する手段であり、多くを伝えるためには相応の技量が要求されるからである。資料の価値や意義を知り、それを来館者に伝えるために、学芸員には高い展示のスキルが要求されている。

本科目では、展示の構成方法について理解した上で、実際に資料を取り扱う技術を学び、学芸員として必要不可欠である展示についての総合的な理解をめざす。

到達目標

1. 博物館における展示の役割について理解する
2. 展示の見せ方、作成方法を身に付ける
3. 展示解説の執筆能力を向上させる。

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：イントロダクション
 内容・方法：本科目の進行と注意点
- 【第2回】
 テーマ：博物館における展示の実際 1 商業施設における展示
 内容・方法：パワーポイントを用いての講義
- 【第3回】
 テーマ：博物館における展示の実際 2 考古・歴史・民俗系の館における展示
 内容・方法：パワーポイントを用いての講義
- 【第4回】
 テーマ：博物館における展示の実際 3 美術系の館における展示
 内容・方法：パワーポイントを用いての講義
- 【第5回】
 テーマ：学外見学会
 内容・方法：本科目の学びに関連するミュージアムの見学
- 【第6回】
 テーマ：博物館における展示構成方法 1 動線の設定
 内容・方法：パワーポイントを用いての講義
- 【第7回】
 テーマ：博物館における展示構成方法 2 展示作品の決定プロセス
 内容・方法：パワーポイントを用いての講義
- 【第8回】
 テーマ：展示解説の手法 解説文・機器による解説・ギャラリートーク
 内容・方法：解説執筆・ギャラリートーク体験
- 【第9回】
 テーマ：掛軸の展示
 内容・方法：掛軸の展示
- 【第10回】
 テーマ：巻子の展示
 内容・方法：巻子の展示
- 【第11回】
 テーマ：巻子の展示
 内容・方法：巻子の展示
- 【第12回】
 テーマ：土器の展示
 内容・方法：土器の展示
- 【第13回】
 テーマ：陶磁器の展示
 内容・方法：陶磁器の展示
- 【第14回】
 テーマ：展示と照明
 内容・方法：学園史資料室を用いての展示照明実習
- 【第15回】
 テーマ：総括
 内容・方法：総括

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

※毎回の授業において、2時間の事前学習と2時間の事後学習が必要である。

- 【第1回】
 ①事前学修課題：博物館関係既習科目の学びの振り返り
 ②事後学修課題：配布資料・ノートの整理
- 【第2回】
 ①事前学修課題：今までの復習
 ②事後学修課題：配布資料・ノートの整理
- 【第3回】
 ①事前学修課題：今までの復習
 ②事後学修課題：配布資料・ノートの整理
- 【第4回】
 ①事前学修課題：今までの復習
 ②事後学修課題：配布資料・ノートの整理
- 【第5回】
 ①事前学修課題：見学先についての事前調査
 ②事後学修課題：解説内容の把握と定着
- 【第6回】
 ①事前学修課題：今までの復習
 ②事後学修課題：配布資料・ノートの整理
- 【第7回】
 ①事前学修課題：今までの復習
 ②事後学修課題：配布資料・ノートの整理
- 【第8回】
 ①事前学修課題：今までの復習
 ②事後学修課題：作品解説課題執筆
- 【第9回】
 ①事前学修課題：対象についての事前調査
 ②事後学修課題：手順の理解とマニュアル化
- 【第10回】
 ①事前学修課題：対象についての事前調査
 ②事後学修課題：手順の理解とマニュアル化
- 【第11回】
 ①事前学修課題：対象についての事前調査
 ②事後学修課題：手順の理解とマニュアル化
- 【第12回】
 ①事前学修課題：対象についての事前調査
 ②事後学修課題：手順の理解とマニュアル化
- 【第13回】
 ①事前学修課題：対象についての事前調査
 ②事後学修課題：手順の理解とマニュアル化
- 【第14回】
 ①事前学修課題：身近な照明の利用についての観察
 ②事後学修課題：手順の理解とマニュアル化
- 【第15回】
 ①事前学修課題：今までの学びの総復習
 ②事後学修課題：本科目での学びの振り返り

課題に対するフィードバックの方法

提出課題については、そのつどフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により、総合的に判定の上、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

正当な理由なく5回以上欠席した場合にはK評価とする。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	80	授業内レポート(60) 展示実習(20)	1, 2, 3
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	レポート	1, 2, 3
その他	0		

テキスト プリントを配布する

参考書	プリントや口頭で、各分野に関する参考書を紹介する。
履修条件・他の科目との関連	博物館学芸員資格の取得を目的とする受講であることが望ましい。資格取得を目的とせずに受講する場合、必ず第一週の授業で教員と面談し、了承を得ること。作品展示の実習を伴う科目であるため、動きにくい服装や靴、アクセサリーは慎むこと。

授業コード	13095601	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	生涯学習概論 [対面]				
シラバス執筆(全員)	五月女 賢司				
シラバス執筆(主)	五月女 賢司				
開講年次	3年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

生涯学習とは、生涯を通じて自由に学習機会を選べることのできる環境の中で、生涯にわたっておこなわれる学習である。この授業では、生涯学習の概念やその体系について説明し、学習を受ける教育機会や現代人のライフサイクルの中での生涯学習の位置づけについて解説するとともに、生涯学習に対する行政や民間団体の振興策、そのための施設面での状況、地域社会とのつながり、生涯学習指導者の資質などについて学習する。

到達目標

1. 生涯学習の意味が理解できる。
2. 発達段階に応じた学びの価値を理解し、自らが自分自身の人生を豊かにするために、いま何をなすべきかを考え、実践することができる。

授業計画

【第1回】

テーマ：生涯学習とは

内容・方法：生涯学習が求められる理由・その定義・内容を学び、生涯学習社会の形成には何が必要かを考える。

【第2回】

テーマ：教育、社会教育、生涯学習の考え方

内容・方法：社会教育とは何か、生涯教育や生涯学習とは何が違うのか。生涯学習のもつ現代的意義とはどのようなことかを学ぶ。

【第3回】

テーマ：生涯にわたる人間形成

内容・方法：人間形成と教育の歴史を振り返り、ライフサイクルという視点から生涯学習を見直す。

【第4回】

テーマ：多様な学習方法—その1—

内容・方法：多様な学習方法の類型化、「学級・討議・参加・体験・実習」などの実際について学ぶ。

【第5回】

テーマ：多様な学習方法—その2—

内容・方法：多様な学習方法としての「ビジュアルイメージ・メディア・成果活用・独学・カウンセリング」などについて学ぶ。

【第6回】

テーマ：映画視聴・解説「ニューヨーク公共図書館」①

内容・方法：最先端の公共図書館による事例を紹介することで、図書館の新たな機能・役割を学ぶ。

【第7回】

テーマ：映画視聴・解説「ニューヨーク公共図書館」②

内容・方法：最先端の公共図書館による事例を紹介することで、図書館の新たな機能・役割を学ぶ。

【第8回】

テーマ：行政が展開する生涯学習振興策

内容・方法：国レベルの文教・厚生・労働・総務環境行政による生涯学習支援、都道府県、市町村の生涯学習行政を考える。

【第9回】

テーマ：生涯学習施設の類型～公民館・コミュニティセンターほか

内容・方法：設置者・運営者などによる施設の類型をおこない、主に公民館・図書館・博物館における使命と役割を考える。また、生涯学習施設やそれに相当する公共施設について、その機能・役割を学ぶ。

【第10回】

テーマ：図書館（図書館の自由宣言、守口市立図書館）

内容・方法：図書館の自由宣言について理解し、その後近隣の図書館についての紹介をすることで、理念を身近な図書館に当てはめる。

【第11・12回】

テーマ：図書館（守口市立図書館 見学）

内容・方法：守口市立図書館を訪問し司書から直接話を伺うとともに、館内見学をすることで、新しい時代の図書館のあり方を考える。

【第13回】

テーマ：博物館倫理・行動規範

内容・方法：近年博物館が求められている、新たな役割について学ぶ。

【第14回】

テーマ：映画視聴・解説「パブリック：図書館の奇跡」①

内容・方法：映画「ニューヨーク公共図書館」の視聴を踏まえ、より商業的な図書館に関する映画を視聴することで、図書館の新たな機能・役割が一般市民にとっても身近なことであることを学ぶ。

【第15回】

テーマ：映画視聴・解説「パブリック：図書館の奇跡」②

内容・方法：映画「ニューヨーク公共図書館」の視聴を踏まえ、より商業的な図書館に関する映画を視聴するこ

とで、図書館の新たな機能・役割が一般市民にとっても身近なことであることを学ぶ。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】
事後学修課題：復習すること。

【第2回】
事後学修課題：復習すること。

【第3回】
事後学修課題：復習すること。

【第4回】
事後学修課題：復習すること。

【第5回】
事後学修課題：復習すること。

【第6回】
事後学修課題：復習すること。

【第7回】
事後学修課題：復習すること。

【第8回】
事後学修課題：復習すること。

【第9回】
事後学修課題：復習すること。

【第10回】
事後学修課題：復習すること。

【第11回】
事後学修課題：復習すること。

【第12回】
事後学修課題：復習すること。

【第13回】
事後学修課題：復習すること。

【第14回】
事後学修課題：復習すること。

【第15回】
事後学修課題：復習すること。

毎回の授業につき、4時間の事後学習が必要である。

課題に対するフィードバックの方法

ミニッツペーパー、ワークシート、ディスカッション、レポート課題を課し、授業内容の整理をおこなう。
後日の授業で、模範解答を示し、解説をおこなう。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

ミニッツペーパー、ワークシート、ディスカッション、レポート課題の総合評価による。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	70	ミニッツペーパー、ワークシート、ディスカッション、レポート課題	1, 2
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	30	最終レポート課題	1
その他	0		

テキスト	プリントを配布する
参考書	授業時に適宜紹介する。
履修条件・他の科目との関連	学芸員資格取得必要科目

授業コード	15005101	授業形態	実習	実務家教員	—
授業科目名	博物館実習研究（学内） [対面]				
シラバス執筆(全員)	五月女 賢司、村田 隆志				
シラバス執筆(主)	五月女 賢司				
開講年次	4年	開講期	前期、後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

学外の博物館施設で実施する「博物館実習」は、博物館学芸員課程の学びの集大成となる重要な科目である。それに先立つ科目である「博物館実習研究（学内）」は2・3年次に学んだ博物館学関係科目の学びを再確認し、実地での実習にむけて更なる定着をはかるための科目である。なお、通年科目として開講しているが、週末を活用して博物館を見学、または北河内地域の施設での実習を行う科目であるため、実施日程には注意すること。

到達目標

1. 博物館について総合的な知識を身につける。
2. 博物館実習にむけて、実地に経験を積む。
3. 個々の博物館の展示や教育普及の取り組みについて理解する。

授業計画

【第1回】
 テーマ：ガイダンス
 内容・方法：本科目の進め方について

【第2回】
 テーマ：学外見学会 1
 内容・方法：近畿圏の博物館施設の見学

【第3回】
 テーマ：学外見学会 2
 内容・方法：近畿圏の博物館施設の見学

【第4回】
 テーマ：学外見学会 3
 内容・方法：近畿圏の博物館施設の見学

【第5回】
 テーマ：学外見学会 4
 内容・方法：近畿圏の博物館施設の見学

【第6回】
 テーマ：学外見学会 5
 内容・方法：近畿圏の博物館施設の見学

【第7回】
 テーマ：学外見学会 6
 内容・方法：近畿圏の博物館施設の見学

【第8回】
 テーマ：学外見学会 7
 内容・方法：近畿圏の博物館施設の見学

【第9回】
 テーマ：学外見学会 8
 内容・方法：近畿圏の博物館施設の見学

【第10回】
 テーマ：学外見学会 9
 内容・方法：近畿圏の博物館施設の見学

【第11回】
 テーマ：学外見学会 10
 内容・方法：近畿圏の博物館施設の見学

【第12回】
 テーマ：近隣施設での実習 1
 内容・方法：近隣施設での実習

【第13回】
 テーマ：近隣施設での実習 2
 内容・方法：近隣施設での実習

【第14回】
 テーマ：近隣施設での実習 3
 内容・方法：近隣施設での実習

【第15回】
 テーマ：近隣施設での実習 4
 内容・方法：近隣施設での実習

【第16回】
 テーマ：近隣施設での実習 4
 内容・方法：近隣施設での実習

【第17回】
 テーマ：近隣施設での実習 5

内容・方法：近隣施設での実習

【第18回】

テーマ：近隣施設での実習 6

内容・方法：近隣施設での実習

【第19回】

テーマ：近隣施設での実習 7

内容・方法：近隣施設での実習

【第20回】

テーマ：近隣施設での実習 8

内容・方法：近隣施設での実習

【第21回】

テーマ：近隣施設での実習 9

内容・方法：近隣施設での実習

【第22回】

テーマ：近隣施設での実習 10

内容・方法：近隣施設での実習

【第23回】

テーマ：近隣施設での実習 11

内容・方法：近隣施設での実習

【第24回】

テーマ：近隣施設での実習 12

内容・方法：近隣施設での実習

【第25回】

テーマ：近隣施設での実習 13

内容・方法：近隣施設での実習

【第26回】

テーマ：近隣施設での実習 14

内容・方法：近隣施設での実習

【第27回】

テーマ：近隣施設での実習 15

内容・方法：近隣施設での実習

【第28回】

テーマ：実習報告発表 1

内容・方法：実習で学んだことを発表する

【第29回】

テーマ：実習報告発表 2

内容・方法：実習で学んだことを発表する

【第30回】

テーマ：実習報告発表 3

内容・方法：実習で学んだことを発表する

事前事後の学習

必要に応じて、担当教員より指示する。

【第1回】

①事前学修課題：2・3年次の博物館学の学びの再確認

②事後学修課題：一年間の自身のタイムスケジュールの作成

【第2回】

①事前学修課題：事前に見学館のHPを閲覧し、その概要を理解しておく

②事後学修課題：レポート執筆のための情報整理

【第3回】

①事前学修課題：事前に見学館のHPを閲覧し、その概要を理解しておく

②事後学修課題：レポート執筆のための情報整理

【第4回】

①事前学修課題：事前に見学館のHPを閲覧し、その概要を理解しておく

②事後学修課題：レポート執筆のための情報整理

【第5回】

①事前学修課題：事前に見学館のHPを閲覧し、その概要を理解しておく

②事後学修課題：レポート執筆のための情報整理

【第6回】

①事前学修課題：事前に見学館のHPを閲覧し、その概要を理解しておく

②事後学修課題：レポート執筆

【第7回】

①事前学修課題：事前に見学館のHPを閲覧し、その概要を理解しておく

②事後学修課題：レポート執筆のための情報整理

【第8回】

①事前学修課題：事前に見学館のHPを閲覧し、その概要を理解しておく

②事後学修課題：レポート執筆のための情報整理

【第9回】

①事前学修課題：事前に見学館のHPを閲覧し、その概要を理解しておく

②事後学修課題：レポート執筆のための情報整理

【第10回】

①事前学修課題：事前に見学館のHPを閲覧し、その概要を理解しておく

②事後学修課題：レポート執筆のための情報整理

【第11回】

①事前学修課題：事前に見学館のHPを閲覧し、その概要を理解しておく

- ②事後学修課題：レポート執筆のための情報整理
【第12回】
- ①事前学修課題：実習する博物館について下調べ
②事後学修課題：レポート執筆のための情報整理
【第13回】
- ①事前学修課題：伝統的な清掃方法についての下調べ
②事後学修課題：レポート執筆のための情報整理
【第14回】
- ①事前学修課題：蚊帳についての下調べ
②事後学修課題：レポート執筆のための情報整理
【第15回】
- ①事前学修課題：展示内容の準備
②事後学修課題：レポート執筆のための情報整理
【第16回】
- ①事前学修課題：展示内容の準備
②事後学修課題：レポート執筆のための情報整理
【第17回】
- ①事前学修課題：美術作品についての下調べ
②事後学修課題：レポート執筆のための情報整理
【第18回】
- ①事前学修課題：美術作品についての下調べ
②事後学修課題：レポート執筆のための情報整理
【第19回】
- ①事前学修課題：美術作品についての下調べ
②事後学修課題：レポート執筆のための情報整理
【第20回】
- ①事前学修課題：歴史資料についての下調べ
②事後学修課題：レポート執筆のための情報整理
【第21回】
- ①事前学修課題：歴史資料についての下調べ
②事後学修課題：レポート執筆のための情報整理
【第22回】
- ①事前学修課題：歴史資料についての下調べ
②事後学修課題：レポート執筆のための情報整理
【第23回】
- ①事前学修課題：考古資料についての下調べ
②事後学修課題：レポート執筆のための情報整理
【第24回】
- ①事前学修課題：考古資料についての下調べ
②事後学修課題：レポート執筆のための情報整理
【第25回】
- ①事前学修課題：民俗資料についての下調べ
②事後学修課題：レポート執筆のための情報整理
【第26回】
- ①事前学修課題：民俗資料についての下調べ
②事後学修課題：レポート執筆のための情報整理
【第27回】
- ①事前学修課題：発表内容を準備する
②事後学修課題：発表内容をまとめる
【第28回】
- ①事前学修課題：発表内容を準備する
②事後学修課題：発表内容をまとめる
【第29回】
- ①事前学修課題：発表内容を準備する
②事後学修課題：発表内容をまとめる
【第30回】
- ①事前学修課題：2・3・4年次の博物館学関係科目の知識の総復習
②事後学修課題：レポート執筆

課題に対するフィードバックの方法

見学・実習ごとにレポートにまとめ、発表し、全員で議論する。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

見学会、実習などを含む特殊な科目であるため、特に考慮すべき理由のない欠席は認めない。「平常点」には、実習各日程の参加態度やとりくみの達成度を意味している。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	発表・報告・レポート	1, 2, 3
授業外での評価	50	フィールド調査・報告	1, 2, 3

定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	0		

テキスト	プリントを配布する
------	-----------

参考書	適宜、紹介する。
-----	----------

履修条件・他の科目との関連	博物館学芸員資格取得のための科目であるため、「博物館実習」参加資格を有する学生（前年までに「博物館概論」「博物館資料保存論」「博物館展示論」の科目を履修済で、資格取得の意志を示しており、課程担当教員の許可を得ている者）以外の受講は認めないので注意すること。
---------------	--

授業コード	15005201	授業形態	実習	実務家教員	—
授業科目名	博物館実習（学外） [対面]				
シラバス執筆(全員)	五月女 賢司、村田 隆志				
シラバス執筆(主)	五月女 賢司				
開講年次	4年	開講期	前期、後期	単位数	1単位

授業の目的・概要

博物館学芸員資格取得希望者に開講されている科目である。原則として、3年次までに博物館学芸員資格取得のために必要な科目を履修した上で、最終的に受講する必須科目が博物館実習である。博物館実習では大学が通年にわたり学内外において実施する館園実習、見学実習に係る事前・事後の指導を行う。また館園実習（学外）は8月から9月を中心に大学から依頼した館園等で実施する。学外の館園での実習を伴う科目であるため、学芸員取得希望者は掲示等で周知する説明会や、見学会には必ず参加すること。

到達目標

1. 大学の内外で実施される博物館資料の扱い方や保存に関する実習・講義を通じて修得した基礎知識や技術について説明でき、また実行できる。
2. 各地の博物館・美術館等で実施される「館園実習」や大学が実施する「見学実習」を通して修得した学芸員として必要な知識や技術について説明できる。

授業計画

次のような項目について大学の内外において講義や実習を行う。

- 1 博物館資料（歴史資料、美術資料、民俗資料、考古資料等）の取扱いに関する基礎的知識の習得
- 2 博物館資料の保存に関する基礎的知識の習得
- 3 異なった種類の博物館や美術館を複数見学し、各博物館の目的、展示内容や方法、館運営等に関する知識を習得する（見学実習）
- 4 博物館学芸員の仕事に関する理解
- 5 資料写真の撮影方法、技術の基礎的能力を習得
- 6 博物館実習、見学実習の受講に際しての基本的事項の理解
- 7 大学が依頼した館園において夏期を中心に1週間程度の博物館実習を集中的に受講（館園実習）
- 8 館園実習、見学実習後の指導と総括

事前事後の学習

必要に応じて、担当教員より指示する。

事前に、資料の取り扱いや、見学・実習にあたっての基本的事項を学んでおくこと。
事後は、見学・実習で得た成果をまとめておくこと。

課題に対するフィードバックの方法

見学・実習ごとにレポートにまとめ、発表し、全員で議論する。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

平常点には見学実習、館園実習に取り組む姿勢や実習内容が含まれる。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	見学実習	1
授業外での評価	50	館園実習	1
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	0		

その他	0		
テキスト	プリントを配布する		
参考書	石森秀三『博物館概論－ミュージアムの多様な世界－』（放送大学教育振興会、2002年） 全国大学博物館学講座協議会西日本部会編『概説博物館学』（芙蓉書房出版、2003年）		
履修条件・他の科目との関連	博物館学芸員資格取得のための科目であるため、関連科目を取得し、「博物館実習」参加資格を有する学生以外の受講は認めないので、注意すること。		

授業コード	13095701	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	日本史概説 [対面]				
シラバス執筆(全員)	村田 隆志				
シラバス執筆(主)	村田 隆志				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

本科目では、古代から現代までの日本の歴史を概観する。授業は時代ごとに分け、主要な出来事、政治、経済、文化などを学ぶが、単に暗記などを行う科目としては設定しない。過去の出来事が、その後の時代に、ひいては令和の現代にどう影響を与えているかについて重点的に教え、その理解度を確認する。日本史を題材として、思考力を育むことが本科目の目的である。

また、本科目は国際観光学科の専門科目でもあり、博物館学芸員課程の選択必修科目でもある関係上、その方面への接続性も重視する。

関西圏は日本史にとって重要な地域であるため、学外授業として見学を行う場合がある。

到達目標

1. 日本の歴史の概略について知る。
2. 各時代の特色について理解する。
3. 現代との連続性を認識し、歴史的蓄積を活用できるようになる。
4. 歴史的観光資源の意義について学ぶ。

授業計画

- 【第1回】
テーマ：イントロダクション
内容・方法：講師の日本史との関わりについて
- 【第2回】
テーマ：先史・古墳時代
内容・方法：パワーポイントによる講義形式
- 【第3回】
テーマ：飛鳥・奈良時代
内容・方法：パワーポイントによる講義形式
- 【第4回】
テーマ：平安時代
内容・方法：パワーポイントによる講義形式
- 【第5回】
テーマ：鎌倉・南北朝時代
内容・方法：パワーポイントによる講義形式
- 【第6回】
テーマ：室町時代
内容・方法：パワーポイントによる講義形式
- 【第7回】
テーマ：室町時代の美術2 流派の誕生
内容・方法：パワーポイントによる講義形式
- 【第8回】
テーマ：戦国・安土桃山時代
内容・方法：パワーポイントによる講義形式
- 【第9回】
テーマ：江戸時代 1
内容・方法：パワーポイントによる講義形式
- 【第10回】
テーマ：江戸時代 2
内容・方法：パワーポイントによる講義形式
- 【第11回】
テーマ：明治時代
内容・方法：パワーポイントによる講義形式
- 【第12回】
テーマ：大正時代
内容・方法：パワーポイントによる講義形式
- 【第13回】
テーマ：昭和戦前期
内容・方法：パワーポイントによる講義形式
- 【第14回】
テーマ：昭和戦後期・平成
内容・方法：パワーポイントによる講義形式
- 【第15回】
テーマ：総括

内容・方法：パワーポイントによる講義形式

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

※※毎回の授業において、2時間の事前学習と2時間の事後学習が必要である。

- 【第1回】
①事前学修課題：日本の歴史の復習
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第2回】
①事前学修課題：時代背景の確認
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第3回】
①事前学修課題：時代背景の確認
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第4回】
①事前学修課題：時代背景の確認
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第5回】
①事前学修課題：時代背景の確認
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第6回】
①事前学修課題：時代背景の確認
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第7回】
①事前学修課題：時代背景の確認
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第8回】
①事前学修課題：時代背景の確認
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第9回】
①事前学修課題：時代背景の確認
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第10回】
①事前学修課題：時代背景の確認
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第11回】
①事前学修課題：時代背景の確認
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第12回】
①事前学修課題：時代背景の確認
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第13回】
①事前学修課題：時代背景の確認
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第14回】
①事前学修課題：時代背景の確認
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第15回】
①事前学修課題：既習内容の確認
②事後学修課題：本科目の学びの振り返り

課題に対するフィードバックの方法

小レポート（授業内）については翌週にフィードバックを実施する。
最終レポートについては、採点后、授業アンケートコメントの中でフィードバックを実施する。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により、総合的に判定の上、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

正当な理由なく5回以上欠席した場合にはK評価とする。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	80	授業内レポート(80)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	レポート	1, 2, 3, 4

その他	0		
テキスト	プリントを配布する		
参考書	講義中に紹介する。		
履修条件・他の科目との関連	主にスライドを用いての講義となる。途中入室は講義の妨げとなるので、遅刻には注意すること。また、関連する展覧会などについては、適宜紹介を行うので、積極的に鑑賞機会を設けるように心掛けること。「日本美術史」「日本文化概説」も履修すると学びが深まる。		

授業コード	13095901	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	アジアの政治と経済 [対面]				
シラバス執筆(全員)	岸脇 誠				
シラバス執筆(主)	岸脇 誠				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

アジアの中には中国やインドのように国土が広い、人口大国がある一方で、シンガポールのように1つの都市が国家を形成している国もある。この授業では多様なアジア諸国の政治経済状況を1つ1つの国や地域を取り上げて解説する。

到達目標

1. アジア各国の政治状況を把握し、その特徴を説明できる。
2. アジアの国々が抱えている経済的課題をデータに基づいて把握し、どのような対策が必要か、説明できる。
3. 以上の内容を踏まえて、アジア各国の今後の展望について説明できる。

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：ガイダンス
 内容：アジア諸国の概況と授業の進め方、成績評価について説明する。
- 【第2回】
 テーマ：シンガポール
 内容：シンガポールの政治経済状況について解説する。
- 【第3回】
 テーマ：タイ
 内容：タイの政治経済状況について解説する。
- 【第4回】
 テーマ：インドネシア
 内容：インドネシアの政治経済状況について解説する。
- 【第5回】
 テーマ：マレーシア
 内容：マレーシアの政治経済状況について解説する。
- 【第6回】
 テーマ：フィリピン
 内容：フィリピンの政治経済状況について解説する。
- 【第7回】
 テーマ：ベトナム
 内容：ベトナムの政治経済状況について解説する。
- 【第8回】
 テーマ：カンボジア
 内容：カンボジアの政治経済状況について解説する。
- 【第9回】
 テーマ：ミャンマー
 内容：ミャンマーの政治経済状況について解説する。
- 【第10回】
 テーマ：バングラデシュ
 内容：バングラデシュの政治経済状況について解説する。
- 【第11回】
 テーマ：インド
 内容：インドの政治経済状況について解説する。
- 【第12回】
 テーマ：韓国
 内容：韓国の政治経済状況について解説する。
- 【第13回】
 テーマ：台湾
 内容：台湾の政治経済状況について解説する。
- 【第14回】
 テーマ：中国
 内容：中国の政治経済状況について解説する。
- 【第15回】
 テーマ：総括
 内容：これまでの授業を総括し、今後のアジアを展望する。

ただし、授業で取り上げる国や地域、および順序については変更の可能性がある。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

毎回の授業において2時間の事前学習と2時間の事後学習が必要である。
事前学習としては普段から新聞やニュースなどを通してアジア諸国に関する情報を収集し、論点を整理しておくこと。事後学習としては、その日の授業で学んだことを整理し、次回の授業のキーワードについて調べておくこと。

課題に対するフィードバックの方法

課題の採点基準は授業中に説明し、採点後の答案は受講生に返却する。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

下記の評価割合に基づいて総合的に評価する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	各回の授業内容に基づいて出題する小テストや課題で評価する。	1, 2, 3
授業外での評価	0		
定期試験	40	定期試験期間中に実施する期末テストで評価する。	1, 2, 3
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	0		

テキスト 特定のテキストは使用せず、Googleクラスルームに資料を掲載する。

参考書 大野健一、櫻井宏二郎、伊藤恵子、大橋英夫『新・東アジアの開発経済学』有斐閣、2024年
岩崎育夫『現代アジアの民主と独裁』中央公論新社、2024年
アジア経済研究所編『アジア動向年報2024』日本貿易振興機構アジア経済研究所、2024年

履修条件・他の科目との関連 他の学生の学びの妨げになる行為を行う者の受講は認めない。

授業コード	13096001	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	アジアの歴史と文化 [対面]				
シラバス執筆(全員)	小瀬木 えりの				
シラバス執筆(主)	小瀬木 えりの				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

この授業では東南アジアの歴史と文化の概略を紹介し、今日の東南アジア諸社会の成立と発展について知ることを目標とする。ASEAN傘下の10ヶ国を極力網羅的にとりあげ、基礎的な知識を中心に、今日観光地としても開発・発展が進むそれぞれの国の特徴や抱える問題について紹介し、大学が主催する海外研修に受講者が参加する等の機会に、これらの地域を訪れる際にも役立つ予備知識を提供する。また、東南アジア地域全体を理解するための仮説や理論も紹介する。

到達目標

1. 東南アジア各国についての知見を深め、それらについて説明できるようになる。
2. 東南アジア地域全体を包括的に捉える理論を学び、それらを説明できるようになる。
3. 旧宗主国であった欧米諸国と植民地であった東南アジア諸国との歴史的関係を理解し、どの国がどこの国に支配されていたかを正しく答えられるようにする。

授業計画

【第1回】 テーマ イン트로ダクション 内容 授業概要の説明及び授業の進め方の説明、評価方法等の確認、東南アジアと呼ばれる地域について
【第2回】 テーマ 東南アジア地域全体の歴史的特徴について 内容 港市国家論、アンソニー・リード著『大航海時代の東南アジア1』『大航海時代の東南アジア2』に基づいた紹介と説明
【第3回】 テーマ 東南アジア各国の歴史と文化についての概説、紹介(1) 内容 タイについて
【第4回】 テーマ 東南アジア各国の歴史と文化についての概説、紹介(2) 内容 インドネシアについて
【第5回】 テーマ 東南アジア各国の歴史と文化についての概説、紹介(3) 内容 フィリピンについて
【第6回】 テーマ 東南アジア各国の歴史と文化についての概説、紹介(4) 内容 ベトナムについて
【第7回】 テーマ 東南アジア各国の歴史と文化についての概説、紹介(5) 内容 カンボジアについて
【第8回】 テーマ 東南アジア各国の歴史と文化についての概説、紹介(6) 内容 マレーシアとシンガポールについて
【第9回】 テーマ 東南アジア各国の歴史と文化についての概説、紹介(7) 内容 ラオスについて
【第10回】 テーマ 東南アジア各国の歴史と文化についての概説、紹介(8) 内容 ミャンマーについて
【第11回】 テーマ 東南アジア各国の歴史と文化についての概説、紹介(9) 内容 ブルネイについて
【第12回】 テーマ ASEAN正式加盟国以外の東南アジアの国について 内容 東ティモールとパプアニューギニアについて
【第13回目】 テーマ 東南アジアの少数民族について 内容 民族自決による独自国家を持たない少数民族について
【第14回】 テーマ 大陸部東南アジア山岳部における民族自立の歴史 内容 J. C. Scott, 2009, The Art of Not Being Governed: An Anarchist History of Upland Southeast Asia に基づくZomiaについての紹介と説明
【第15回】 テーマ 授業内容のまとめと確認 内容 第14回目までのすべての授業で学んだ知識と内容の確認、総まとめ

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

各回、事前学習は2時間、事後学習は2時間を目安とする。

【第1回】

①事前学修課題：特になし

②事後学修課題：授業で学習した内容を復習し、期限までに課題をクラスルームなど指定された手段を通じて提出する

【第2回】

①事前学修課題：授業内容に関連したテーマについての自主学習

②事後学修課題：授業で学習した内容を復習し、期限までに課題をクラスルームなど指定された手段を通じて提出する

【第3回】

①事前学修課題：授業内容に関連したテーマについての自主学習

②事後学修課題：授業で学習した内容を復習し、期限までに課題をクラスルームなど指定された手段を通じて提出する

【第4回】

①事前学修課題：授業内容に関連したテーマについての自主学習

②事後学修課題：授業で学習した内容を復習し、期限までに課題をクラスルームなど指定された手段を通じて提出する

【第5回】

①事前学修課題：授業内容に関連したテーマについての自主学習

②事後学修課題：授業で学習した内容を復習し、期限までに課題をクラスルームなど指定された手段を通じて提出する

【第6回】

①事前学修課題：授業内容に関連したテーマについての自主学習

②事後学修課題：授業で学習した内容を復習し、期限までに課題をクラスルームなど指定された手段を通じて提出する

【第7回】

①事前学修課題：授業内容に関連したテーマについての自主学習

②事後学修課題：授業で学習した内容を復習し、期限までに課題をクラスルームなど指定された手段を通じて提出する

【第8回】

①事前学修課題：授業内容に関連したテーマについての自主学習

②事後学修課題：授業で学習した内容を復習し、期限までに課題をクラスルームなど指定された手段を通じて提出する

【第9回】

①事前学修課題：授業内容に関連したテーマについての自主学習

②事後学修課題：授業で学習した内容を復習し、期限までに課題をクラスルームなど指定された手段を通じて提出する

【第10回】

①事前学修課題：授業内容に関連したテーマについての自主学習

②事後学修課題：授業で学習した内容を復習し、期限までに課題をクラスルームなど指定された手段を通じて提出する

【第11回】

①事前学修課題：授業内容に関連したテーマについての自主学習

②事後学修課題：授業で学習した内容を復習し、期限までに課題をクラスルームなど指定された手段を通じて提出する

【第12回】

①事前学修課題：授業内容に関連したテーマについての自主学習

②事後学修課題：授業で学習した内容を復習し、期限までに課題をクラスルームなど指定された手段を通じて提出する

【第13回】

①事前学修課題：授業内容に関連したテーマについての自主学習

②事後学修課題：授業で学習した内容を復習し、期限までに課題をクラスルームなど指定された手段を通じて提出する

【第14回】

①事前学修課題：授業内容に関連したテーマについての自主学習

②事後学修課題：授業で学習した内容を復習し、期限までに課題をクラスルームなど指定された手段を通じて提出する

【第15回】

①事前学修課題：第14回目までの授業全体で学習したことについて、PPTなどの資料と自身の講義ノートやメモに基づき復習する

②事後学修課題：全授業を通しての学習内容を、資料と講義ノートやメモなどで再確認し、理解を定着させておく

課題に対するフィードバックの方法

毎授業時に出す理解度を確認するための課題については、次週の授業の始めに正解の要点を示すなどしてフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。公欠や公共交通機関の運行停止など本人の責に帰せない事情、客観的なエビデンスを提示できる病気や怪我、または特別配慮願の対象として配慮が必要な場合等を除き、特段の理由なく欠席が全授業中6回以上に上る受講者は「K」評価とする。前記の諸事情のどれにも該当しない場合の遅刻も2回で1回の欠席相当と見なすため注意すること。授業に出席のみして、毎回の授業時に出される理解度をはかるための課題が提出されない場合は、その回の評価に係る得点を0点とし、ユニパ上の出席記録も取り消され欠席扱いとする。出席と課題提出の両方が揃ってその回の評価点を得ることができる。また、対面授業であるため、欠席した回には課題のみを提出することは認めない。仮に提出しても無効となり0点扱いとなるため注意すること。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	90	毎回の授業時に内容の理解度をはかるための課題を提出してもらうことによる評価(1回につき、正解数に応じて0～6点×15回＝90点満点)。授業時間内に解答しきれない場合はその日のうちにクラスルームでの掲示で提出してもらうこともある。私語や居眠り、授業と関係の無いことに従事するなど受講態度に問題が見られる場合は、警告回数ごとに1点ずつ、その回の最高点6点から減点されることがあり得るため注意すること。	1, 2, 3
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10	15回の全授業終了後に期限までに提出するレポート等の課題	1, 2, 3
その他	0		

テキスト テキストを使用しない。

参考書 『大航海時代の東南アジア1、2』アンソニー・リード 法政大学出版局 1997年(1988年)4,500円、5,700円、ISBN4-588-09902-7、4-588-00571-5 『ゾミア:脱国家の世界史』ジェームズ C. スコット(佐藤仁監訳)みすず書房 2013年(2009年)6,400円、ISBN978-4-622-07783-1、この他については授業時に紹介する。文献だけでなく、授業時には各国に関連した映画なども紹介する。

履修条件・他の科目との関連 1年次配当のBYOD対象科目であるため、2年次以上の受講生にも、原則としてスマホではなく、大学推奨以上のスペックを備えたPCでの受講が必要となる。この基準に合致したデバイスで受講しない場合の不利は自己責任とする。科目の受講に際してのPCの設定その他の技術的なサポートは本科目内ではおこなわないため、アドバイスが必要な場合は教務課もしくは情報システム室に求めること。特に、スマホでの受講は推奨しておらず、万一手機で受講して起きた不都合については一切配慮しないので注意すること。ほぼ毎回授業時にはパワーポイントでの資料を提示しながら説明を行う予定であるが、スクリーンが見にくい場合は自身のPC画面で同じ内容を見ながら説明を聞いてもらう。そのためPCの持参が必要である。東南アジアに関する高校までに習った世界史及び地理の知識が重要になるため、十分復習しておくことが肝要である。また、この地域に関する政治・経済のニュースにも常に目を向けておく必要がある。「異文化コミュニケーション」(前期)をあわせて受講すると、この科目での理解の一助となる。また、日本語を母語としない受講生の場合、N1相当以上の日本語力がないと理解できない授業内容であるため、その水準に達していない状態で受講すると単位を落とす危険がある。

授業コード	13096101	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	多文化社会論 [対面]				
シラバス執筆(全員)	中村 浩子				
シラバス執筆(主)	中村 浩子				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

文化、信仰、価値観の異なる相手と共に生きていくために、私たちは何を学ぶべきか。「人生において何が大切か」「社会において何が大切か」をめぐり、見解が異なる相手と対話を続けるために、私たちは何を知るべきか。

本授業ではその答えを、「多文化主義」をめぐる世界的潮流の変容から探っていく。前半は、カナダ、オーストラリア、アメリカ、ニュージーランドなど英領植民地を経て発展した国々について概説する。後半は、ヨーロッパの国々の事例から考えていく。

到達目標

1. 北米・欧州・オセアニア社会における多文化状況について説明できる。
2. 多文化社会における諸課題について、社会科学の諸概念に基づく説明ができる。
3. 文化、信仰、価値観の異なる他者と対話を続けるために何が必要か、自分の意見を述べるができる。

授業計画

- | | |
|------|----------------------|
| 第1回 | 多文化主義をめぐる世界的潮流 |
| 第2回 | カナダ：多文化主義のフロントランナー |
| 第3回 | オーストラリア：白豪主義から多文化主義へ |
| 第4回 | アメリカ①：先住民と同化主義 |
| 第5回 | アメリカ②：公民権運動からBLM運動へ |
| 第6回 | ニュージーランド：二文化主義と多文化主義 |
| 第7回 | 南アフリカ：アパルトヘイトの起源と克服 |
| 第8回 | 中間まとめ：リベラリズムと多文化主義 |
| 第9回 | イギリス：多文化主義と平行社会 |
| 第10回 | オランダ：多文化主義の転回 |
| 第11回 | フランス：ラインテをめぐる軋轢 |
| 第12回 | ドイツ：ナチズムの過去と移民・難民 |
| 第13回 | デンマーク：社会民主主義と多文化主義 |
| 第14回 | ベルギー：連邦国家における多文化共生 |
| 第15回 | まとめ：多文化主義と市民的統合 |

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

各回のテーマに関する新聞記事等をよく読み、予備知識をつける事前学習を行うこと。また事後には、学んだ内容に関連する文献や資料についてリサーチすること。

課題に対するフィードバックの方法

レポート試験の結果については、希望があればフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

- 1) 正当な理由がない5回以上の欠席は、評価の対象とせず「K」評価とする。
- 2) 授業の遅刻および早退は1/3欠席として扱う。
- 3) 5回以上リアクション・ペーパー未提出の場合は、評価の対象とせず「K」評価とする。
- 4) レポート未提出者は、評価の対象とせず「K」評価とする。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	70	リアクションペーパー	1, 2, 3
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	30	最終レポート	1, 2, 3

その他	0		
テキスト	テキストを使用しない		
参考書	必要に応じて授業の中で紹介する		
履修条件・他の科目との関連	海外のニュースに日常的に触れておくことが望ましい。		

授業コード	13096401	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	日本美術史 [対面]				
シラバス執筆(全員)	村田 隆志				
シラバス執筆(主)	村田 隆志				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

日本の美術は、様々な時代にそれぞれ優れた作品を世に送り出してきた。しかし、小中高においては、その鑑賞方について学ぶ機会はほとんどなく、特に若い世代にとっては自国の文化でありながら縁遠いものと考えられがちな状況にある。

本科目では、書画を中心に時代を順に追いながら作品画像と周辺情報を紹介し、日本美術史の通史を理解することを目的とする。また、各時代を代表する美術のジャンルについては特に詳しく解説を行い、その特徴を学ぶ。同時に、観察力と分析力、感性を養う。

関西圏で講義内容に合致する展覧会が開催される場合には、学外授業として見学を行うことがある。

到達目標

1. 日本美術の特質について理解する。
2. 「様式」とは何かを理解する。
3. 美術を評価する判断基準について学ぶ。
4. 思考を言語化し、的確な語彙を用いて文章とする能力を体得する。

授業計画

- 【第1回】
テーマ：イントロダクション
内容・方法：講師の日本美術史との関わりについて
- 【第2回】
テーマ：先史と古墳時代の美術 土器
内容・方法：パワーポイントによる講義形式
- 【第3回】
テーマ：飛鳥・奈良（白鳳）時代の美術 仏像
内容・方法：パワーポイントによる講義形式
- 【第4回】
テーマ：平安時代の美術 絵巻
内容・方法：パワーポイントによる講義形式
- 【第5回】
テーマ：鎌倉・南北朝時代の美術 肖像画
内容・方法：パワーポイントによる講義形式
- 【第6回】
テーマ：室町時代の美術1 水墨画
内容・方法：パワーポイントによる講義形式
- 【第7回】
テーマ：室町時代の美術2 流派の誕生
内容・方法：パワーポイントによる講義形式
- 【第8回】
テーマ：桃山時代の美術 障屏画
内容・方法：パワーポイントによる講義形式
- 【第9回】
テーマ：江戸時代の美術1 琳派
内容・方法：パワーポイントによる講義形式
- 【第10回】
テーマ：江戸時代の美術2 文人画
内容・方法：パワーポイントによる講義形式
- 【第11回】
テーマ：江戸時代の美術3 浮世絵
内容・方法：パワーポイントによる講義形式
- 【第12回】
テーマ：近代の美術1 日本画
内容・方法：パワーポイントによる講義形式
- 【第13回】
テーマ：近代の美術2 洋画
内容・方法：パワーポイントによる講義形式
- 【第14回】
テーマ：現代の美術
内容・方法：パワーポイントによる講義形式
- 【第15回】
テーマ：総括

内容・方法：パワーポイントによる講義形式

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

※※毎回の授業において、2時間の事前学習と2時間の事後学習が必要である。

- 【第1回】
①事前学修課題：日本の歴史の復習
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第2回】
①事前学修課題：時代背景の確認
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第3回】
①事前学修課題：時代背景の確認
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第4回】
①事前学修課題：時代背景の確認
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第5回】
①事前学修課題：時代背景の確認
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第6回】
①事前学修課題：時代背景の確認
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第7回】
①事前学修課題：時代背景の確認
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第8回】
①事前学修課題：時代背景の確認
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第9回】
①事前学修課題：時代背景の確認
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第10回】
①事前学修課題：時代背景の確認
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第11回】
①事前学修課題：時代背景の確認
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第12回】
①事前学修課題：時代背景の確認
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第13回】
①事前学修課題：時代背景の確認
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第14回】
①事前学修課題：時代背景の確認
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第15回】
①事前学修課題：既習内容の確認
②事後学修課題：本科目の学びの振り返り

課題に対するフィードバックの方法

小レポート（授業内試験）については翌週にフィードバックを実施する。
最終試験については、採点后、授業アンケートコメントの中でフィードバックを実施する。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により、総合的に判定の上、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

正当な理由なく5回以上欠席した場合にはK評価とする。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	80	授業内レポート(80)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	レポート	1, 2, 3, 4

その他	0		
テキスト	プリントを配布する		
参考書	辻惟雄監修『増補新装 カラー版 日本美術史』(美術出版社、2003年)1900円 ほかは講義中に紹介する。		
履修条件・他の科目との関連	主にスライドを用いての講義となる。途中入室は講義の妨げとなるので、遅刻には注意すること。また、関連する展覧会などについては、適宜紹介を行うので、積極的に鑑賞機会を設けるように心掛けること。「芸術学」も履修すると学びが深まる。		

授業コード	13096501	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	日本文化史 [対面]				
シラバス執筆(全員)	五月女 賢司				
シラバス執筆(主)	五月女 賢司				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

現在の日本の人々の暮らしのルーツを、明治から昭和期（高度経済成長期）に資料などを使いながら学ぶ。授業では、一見日本の文化史と関係なさそうな英国の田園都市や米国の近隣住区論の関連資料のほか、明治・大正期の文学作品や、住宅の図面、住宅博覧会・住宅地の地図、料理のレシピ、住宅チラシなどを用いながら、現代の文化や暮らしのルーツを探り、これらを参考に今後、どのような暮らし方をしたいかを学生の皆さんが考える。

到達目標

1. 過去との比較を通して、私たちの暮らしが断絶を含みながらも過去の延長線上にあり、その背後にある価値観が変化しながらも引き継がれていることを理解する。
2. 授業を通じ、明治、大正、昭和の文化、暮らし、都市計画などに触れ、現在の生活様式が誕生したいきさつを理解し、現在の暮らし方を相対化する視点を身につけるとともに、将来の自分自身の理想の住まい方、暮らし方を具体的に描けるようになる。
3. 日本の歴史・文化に関する理解を深め、国際社会における現代および未来を考える力を養う。

授業計画

- 【第1回】 テーマ：英国E. ハワードによる田園都市構想／内容・方法：田園都市構想について理解する。
【第2回】 テーマ：ヨーロッパの田園都市／内容・方法：ヨーロッパの田園都市のまち並みやまちづくりについて理解する。
【第3回】 テーマ：内務省の田園都市論／内容・方法：内務省地方局が推進した田園都市について理解する。
【第4回】 テーマ：小林一三、渋沢栄一、山岡順太郎と田園都市／内容・方法：経済人が建設を進めた郊外住宅地の性格について理解する。
【第5回】 テーマ：住宅改良に関する議論の推移／内容・方法：住宅改良について、土屋元作の『家屋改良談』・村井弦斎のベストセラー小説『食道楽』といった当時の小説から考える。
【第6回】 テーマ：合理性の追求と住宅改良運動：「和洋折衷住宅」の提案／内容・方法：住宅改良運動について、その概要を理解する。
【第7回】 テーマ：生活改善運動：家事労働軽減の主張／内容・方法：生活改善運動について、その概要を理解する。
【第8回】 テーマ：博覧会の歴史／内容・方法：私たちの生活や文化を大きく変えた大型イベントの歴史について、その概要を理解する。
【第9回】 テーマ：平和記念東京博覧会（1922年）／内容・方法：仮設住宅を展示した博覧会について、その概要を理解する。
【第10回】 テーマ：桜ヶ丘住宅改造博覧会（1922年）／内容・方法：博覧会会場に建設した住宅を販売し、博覧会終了後、住宅地とした経緯について理解する。
【第11回】 テーマ：ニュータウンの構想から今日まで①：米国C. ペリーの近隣住区論／内容・方法：近隣住区論について理解する。
【第12回】 テーマ：ニュータウンの構想から今日まで②：海外のニュータウン／内容・方法：海外のニュータウンのまち並みやまちづくりについて理解する。
【第13回】 テーマ：ニュータウンの構想から今日まで③：高度経済成長期のニュータウン建設／内容・方法：日本で初めて建設された大型ニュータウンである千里ニュータウンなどについて、その建設の背景と経緯を理解する。
【第14回】 テーマ：日本万国博覧会と千里ニュータウン／内容・方法：日本万国博覧会と千里ニュータウンの関係について、主に交通インフラ整備などの都市計画の観点から考える。
【第15回】 テーマ：まとめ—日本の近代・現代文化—／内容・方法：日本における近代・現代の文化を概観すると何がみえるのか。世界との比較によってその特質を明らかにする。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

- 【第1回】 ①事前学修課題：該当する章を読んでおくこと。②事後学修課題：復習すること。
【第2回】 ①事前学修課題：該当する章を読んでおくこと。②事後学修課題：復習すること。
【第3回】 ①事前学修課題：該当する章を読んでおくこと。②事後学修課題：復習すること。
【第4回】 ①事前学修課題：該当する章を読んでおくこと。②事後学修課題：復習すること。
【第5回】 ①事前学修課題：該当する章を読んでおくこと。②事後学修課題：復習すること。
【第6回】 ①事前学修課題：該当する章を読んでおくこと。②事後学修課題：復習すること。
【第7回】 ①事前学修課題：該当する章を読んでおくこと。②事後学修課題：復習すること。
【第8回】 ①事前学修課題：該当する章を読んでおくこと。②事後学修課題：復習すること。
【第9回】 ①事前学修課題：該当する章を読んでおくこと。②事後学修課題：復習すること。
【第10回】 ①事前学修課題：該当する章を読んでおくこと。②事後学修課題：復習すること。
【第11回】 ①事前学修課題：該当する章を読んでおくこと。②事後学修課題：復習すること。
【第12回】 ①事前学修課題：該当する章を読んでおくこと。②事後学修課題：復習すること。
【第13回】 ①事前学修課題：該当する章を読んでおくこと。②事後学修課題：復習すること。

【第14回】①事前学修課題：該当する章を読んでおくこと。②事後学修課題：復習すること。
【第15回】①事前学修課題：該当する章を読んでおくこと。②事後学修課題：復習すること。

毎回の授業につき、2時間の事前学習、2時間の事後学習が必要である。

課題に対するフィードバックの方法

後日の授業で、模範解答を示し、解説をおこなう。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

ミニツペーパー・ワークシートとレポート課題の総合評価による。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	ミニツペーパー、ワークシート	1, 2, 3
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	40	期末課題レポート	1
その他	0		

テキスト	プリントを配布する
参考書	必要に応じて授業の中で紹介する
履修条件・他の科目との関連	日本の近代・現代の文化史について図書館を利用し、自ら学習を深めてほしい。 理解を深めるために2年次開講の「日本史概説」と「現代日本の生活文化」を履修していることが望ましい。

授業コード	13096601	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	芸術学 [対面]				
シラバス執筆(全員)	村田 隆志				
シラバス執筆(主)	村田 隆志				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

「芸術」は辞書的な意味では「鑑賞の対象となるものを人為的に想像する技術」と定義されている。絵画・建築・工芸などの「空間芸術」、音楽・文学などの「時間芸術」、舞踊・演劇・映画などの「総合芸術」……様々なジャンルの芸術について、本科目はその魅力を理解する手がかりを与えることを目的とする。さらに、先行する作例などとの比較検討を通じて、芸術を学問的に考察する術を学び、発信する能力を養成する。また、本学の所在する北河内地域の特徴的な芸術については特に鑑賞の機会を設け、深い理解の助けとする。

到達目標

1. 芸術の特質について理解する。
2. 「様式」とは何かを理解する。
3. 芸術を評価する判断基準について学ぶ。
4. 思考を言語化し、的確な語彙を用いて文章とする能力を体得する。

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：オリエンテーション
 内容・方法：本科目の進め方について
- 【第2回】
 テーマ：絵画1 東洋絵画の美意識
 内容・方法：パワーポイントを用いての講義
- 【第3回】
 テーマ：絵画2 西洋絵画の美意識
 内容・方法：パワーポイントを用いての講義
- 【第4回】
 テーマ：絵画3 守口と現代南画
 内容・方法：パワーポイントを用いての講義
- 【第5回】
 テーマ：浮世絵・挿絵・漫画
 内容・方法：パワーポイントを用いての講義
- 【第6回】
 テーマ：工芸1 茶道具の美意識
 内容・方法：パワーポイントを用いての講義
- 【第7回】
 テーマ：工芸2 民芸の発見・門真と民芸
 内容・方法：実地見学
- 【第8回】
 テーマ：染織 着物の色々
 内容・方法：パワーポイントを用いての講義
- 【第9回】
 テーマ：書道 字体と書風の変遷
 内容・方法：パワーポイントを用いての講義
- 【第10回】
 テーマ：文学 守口と江戸川乱歩
 内容・方法：パワーポイントを用いての講義
- 【第11回】
 テーマ：音楽 古典とポピュラー
 内容・方法：パワーポイントを用いての講義
- 【第12回】
 テーマ：建築 もりぐち歴史館中西家住宅
 内容・方法：実地見学
- 【第13回】
 テーマ：彫刻 黒岩淡哉と日高正法
 内容・方法：パワーポイントを用いての講義
- 【第14回】
 テーマ：第14回 講義 映画 記録映画の手法
 内容・方法：パワーポイントを用いての講義
- 【第15回】
 テーマ：総括
 内容・方法：パワーポイントを用いての講義

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

※毎回の授業において、2時間の事前学習と2時間の事後学習が必要である。

- 【第1回】
①事前学修課題：「教養」と「芸術」について改めて考えておく
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第2回】
①事前学修課題：当該分野について事前に調べておく
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第3回】
①事前学修課題：当該分野について事前に調べておく
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第4回】
①事前学修課題：当該分野について事前に調べておく
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第5回】
①事前学修課題：当該分野について事前に調べておく
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第6回】
①事前学修課題：当該分野について事前に調べておく
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第7回】
①事前学修課題：当該分野について事前に調べておく
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第8回】
①事前学修課題：当該分野について事前に調べておく
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第9回】
①事前学修課題：当該分野について事前に調べておく
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第10回】
①事前学修課題：当該分野について事前に調べておく
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第11回】
①事前学修課題：当該分野について事前に調べておく
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第12回】
①事前学修課題：当該分野について事前に調べておく
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第13回】
①事前学修課題：当該分野について事前に調べておく
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第14回】
①事前学修課題：当該分野について事前に調べておく
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第15回】
①事前学修課題：総復習
②事後学修課題：資料・ノートの整理

課題に対するフィードバックの方法

各課題については、提出のつどフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により、総合的に判定の上、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

正当な理由なく5回以上欠席した場合にはK評価とする。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	80	授業内レポート(80)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	レポート	1, 2, 3, 4
その他	0		

テキスト プリントを配布する

参考書	授業中に指示する。
履修条件・他の科目との関連	「日本美術史」も受講することによって理解が深まる。

授業コード	13096701	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	比較社会論 [対面]				
シラバス執筆(全員)	中村 浩子				
シラバス執筆(主)	中村 浩子				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

子ども、若者、親たちを取り巻く環境は、社会によってどのように異なるのだろうか。私たちはどのような社会的条件の下に生まれ、育てられ、教育され、働いているのだろうか。私たちの親は、どのような社会的条件のうちに私たちを生み、育て、教育し、働いてきたのだろうか。諸外国と比べて日本は、どのような特徴を有しているのだろうか。

本授業では、家族、仕事、教育を中心に毎回異なるテーマを取り上げ、主に統計資料を用いて複数の社会との比較考察を通じて、日本社会について理解を深めつつ、日本社会が抱える諸課題を解決するための手立てを模索していく。

到達目標

- 異なる社会に関するさまざまな資料を読み解き説明できる。
- さまざまな資料から異なる社会について比較考察し、日本社会の特徴を説明できる。
- 日本社会における諸課題について、他国の事例を参照しつつ改善に向けた意見を述べることができる。

授業計画

- 第1回 イン트로ダクション：授業の進め方
- 第2回 ワーク・ライフ・バランス
日本における働き方と仕事満足度について多国間比較から考える
- 第3回 雇用慣行
ジョブ型／メンバーシップ型の雇用形態と同一労働同一賃金について多国間比較から考える
- 第4回 人口減少
少子高齢化に伴う日本の課題と日本型社会保障のあり方について多国間比較から考える
- 第5回 子育て環境
日本における少子化要因と子育てをめぐる状況について多国間比較から考える
- 第6回 ひとり親家庭と家族政策
ひとり親家庭の困難と公的支援のあり方について多国間比較から考える
- 第7回 中間まとめ
- 第8回 子どもの貧困
子どもの貧困をめぐる日本の課題について多国間比較から考える
- 第9回 女性の就業
女性の就労をめぐる日本の現状と課題について多国間比較から考える
- 第10回 最低生活保障
日本における最低生活保障と再配分制度について多国間比較から考える
- 第11回 人付き合いと人間関係
社会関係資本の概念から日本における人づきあいのあり方と民主主義との関係について多国間比較から考える
- 第12回 いじめ問題
日本におけるいじめの実態と特徴について多国間比較から考える
- 第13回 少年犯罪
日本における少年犯罪の実態と更生に向けた法制度のあり方について多国間比較から考える
- 第14回 学歴格差と学校文化
日本における教育格差と学校の意味について多国間比較から考える
- 第15回 まとめ

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

毎回の授業テーマに関連する新聞記事等をよく読み、予備知識をつける事前学習を行うこと。また事後には、学んだ内容に関連する文献や資料についてリサーチすること。

課題に対するフィードバックの方法

最終レポートの結果については、希望があればフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

- 1) 正当な理由がない5回以上の欠席は、評価の対象とせず「K」評価とする。
- 2) 授業の遅刻および早退は1/3欠席として扱う。

- 3) 5回以上リアクション・ペーパー未提出の場合は、評価の対象とせず「K」評価とする。
 4) レポート未提出者は、評価の対象とせず「K」評価とする。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	70	リアクションペーパー	1, 2, 3
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	30	最終レポート	1, 2, 3
その他	0		

テキスト	テキストを使用しない
参考書	必要に応じて授業の中で紹介する
履修条件・他の科目との関連	日本の社会問題について、ニュースなどを通じて関心を高めておきましょう。

授業コード	13096901	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	文化人類学特論 [対面]				
シラバス執筆(全員)	小瀬木 えりの				
シラバス執筆(主)	小瀬木 えりの				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

この授業では、世界中のさまざまな人々とその文化や暮らしを紹介し、それらを通じて文化人類学で言う「民族誌」＝エスノグラフィに関する理解を深める。いわゆる先進国に住む我々とは異なるさまざまな民族や先住民と、彼らの宗教・風習・儀礼等について学び、同時代を生きる異文化の人々の価値観を知るとともに、先進国の人々の価値観との対立やそこから生じる問題について考察する。

到達目標

1. 異文化の人びとの宗教、慣習、文化、生活についての知見を広め、それらについて説明できるようになる。
2. 少数民族や途上国の人びとが先進国の文化や価値観に直面して経験する葛藤や対立、独自の文化や生活に生じる変化について理解し、そこから生じる問題にどう対処すべきか考え、提言できるようになる。

授業計画

以下の各回の授業テーマは仮のもので、利用可能な動画や画像によっては変更もあり得る。

【第1回】

テーマ：授業概要の説明

内容・方法：授業全体に関する説明、民族誌について

【第2回】

テーマ：先進国と途上国、伝統社会と近代化した社会との文化・価値観における違い

内容・方法：文化人類学の民族誌を見る上で必要になる、伝統社会と近代化した社会との間の文化・価値観の違いや、その捉え方についての説明と問題提起をおこなう

【第3回】

テーマ：理解しがたい風習や価値観とどう向き合うべきか？（1）

内容・方法：先進国からは理解しがたい価値観をアマゾンの先住民を例に学ぶ

【第4回】

テーマ：理解しがたい風習や価値観とどう向き合うべきか？（2）

内容・方法：民族誌から考えるべき課題の抽出と検討

【第5回】

テーマ：エキゾチシズムとオリエンタリズムについて

内容・方法：魅惑でもあり偏見ともなり得るエキゾチシズムとオリエンタリズムについて、ネパールの生神信仰を通じて学ぶ

【第6回】

テーマ：伝統は不自由か？（1）

内容・方法：人びとの私生活を縛る伝統が課すルールについて、インドの結婚をめぐる制度を通じて学ぶ

【第7回】

テーマ：伝統は不自由か？（2）

内容・方法：人びとの私生活を縛る伝統が課すルールについて、ユダヤ教徒の結婚を通じて学ぶ

【第8回】

テーマ：伝統は不自由か？（3）

内容・方法：伝統の下では女性に自由をもたらす人生の選択肢はあるのかについて、チベット人の宗教信仰の例から学ぶ

【第9回】

テーマ：伝統は奇妙か？（1）

内容・方法：家族形態の違いから我々が感じる奇妙さについて、中国南部に住むナシ人の一妻多夫の婚姻習慣から学ぶ

【第10回】

テーマ：伝統は奇妙か？（2）

内容・方法：葬儀と親孝行に関する考え方の違いを、インドネシアのトラジャ地方の葬送儀礼を通じて学ぶ（前編）

【第11回】

テーマ：伝統は奇妙か？（3）

内容・方法：葬儀と親孝行に関する考え方の違いを、インドネシアのトラジャ地方の葬送儀礼を通じて学ぶ（後編）

【第12回】

テーマ：伝統は見世物か？（1）

内容・方法：観光化に依存を強める少数民族のあり方を、中国雲南省モンの人びとの衣装と習慣を通じて学ぶ

【第13回】

テーマ：伝統で生きていけるのか？

内容・方法：商業化の進む伝統産品について、イランの絨毯づくりを通じて学ぶ

【第14回】

テーマ：伝統は滅びる運命なのか？

内容・方法：近代化し発展した社会の中で維持するのが困難になりつつある生活について、インドネシアのバジャウとカンボジアの水上生活者から学ぶ

【第15回】

テーマ：全体のまとめと振り返り、異文化理解における文化人類学と民族誌の意義について

内容・方法：14回目までのすべての授業で学習した内容に関するまとめとふりかえりをおこない、文化人類学という学問とそれが提供する民族誌の意義について考える

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

各回、事前学習は2時間、事後学習は2時間を目安とする。

【第1回】

①事前学修課題：特になし

②事後学修課題：授業で学習した内容を復習し、期限までに課題をクラスルームなど指定された手段を通じて提出する

【第2回】

①事前学修課題：授業内容に関連したテーマについての自主学習

②事後学修課題：授業で学習した内容を復習し、期限までに課題をクラスルームなど指定された手段を通じて提出する

【第3回】

①事前学修課題：授業内容に関連したテーマについての自主学習

②事後学修課題：授業で学習した内容を復習し、期限までに課題をクラスルームなど指定された手段を通じて提出する

【第4回】

①事前学修課題：授業内容に関連したテーマについての自主学習

②事後学修課題：授業で学習した内容を復習し、期限までに課題をクラスルームなど指定された手段を通じて提出する

【第5回】

①事前学修課題：授業内容に関連したテーマについての自主学習

②事後学修課題：授業で学習した内容を復習し、期限までに課題をクラスルームなど指定された手段を通じて提出する

【第6回】

①事前学修課題：授業内容に関連したテーマについての自主学習

②事後学修課題：授業で学習した内容を復習し、期限までに課題をクラスルームなど指定された手段を通じて提出する

【第7回】

①事前学修課題：授業内容に関連したテーマについての自主学習

②事後学修課題：授業で学習した内容を復習し、期限までに課題をクラスルームなど指定された手段を通じて提出する

【第8回】

①事前学修課題：授業内容に関連したテーマについての自主学習

②事後学修課題：授業で学習した内容を復習し、期限までに課題をクラスルームなど指定された手段を通じて提出する

【第9回】

①事前学修課題：授業内容に関連したテーマについての自主学習

②事後学修課題：授業で学習した内容を復習し、期限までに課題をクラスルームなど指定された手段を通じて提出する

【第10回】

①事前学修課題：授業内容に関連したテーマについての自主学習

②事後学修課題：授業で学習した内容を復習し、期限までに課題をクラスルームなど指定された手段を通じて提出する

【第11回】

①事前学修課題：授業内容に関連したテーマについての自主学習

②事後学修課題：授業で学習した内容を復習し、期限までに課題をクラスルームなど指定された手段を通じて提出する

【第12回】

①事前学修課題：授業内容に関連したテーマについての自主学習

②事後学修課題：授業で学習した内容を復習し、期限までに課題をクラスルームなど指定された手段を通じて提出する

【第13回】

①事前学修課題：授業内容に関連したテーマについての自主学習

②事後学修課題：授業で学習した内容を復習し、期限までに課題をクラスルームなど指定された手段を通じて提出する

【第14回】

①事前学修課題：授業内容に関連したテーマについての自主学習

②事後学修課題：授業で学習した内容を復習し、期限までに課題をクラスルームなど指定された手段を通じて提出する

【第15回】

①事前学修課題：第14回目までの授業全体で学習したことについて、PPTなどの資料と自身の講義ノートやメモに基づき復習する

②事後学修課題：全授業を通しての学習内容を、資料と講義ノートやメモなどで再確認し、理解を定着させておく

課題に対するフィードバックの方法

毎授業時に出す理解度を確認するための課題については、次週の授業の始めに正解の要点を示すなどしてフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。公欠や公共交通機関の運行停止など本人の責に帰せない事情、客観的なエビデンスを提示できる病気や怪我、または特別配慮願の対象として配慮が必要な場合等を除き、特段の理由なく欠席が全授業中6回以上に上る受講者は「K」評価とする。前記の諸事情のどれにも該当しない場合の遅刻も2回で1回の欠席相当と見なすため注意すること。授業に出席のみして、毎回の授業時に出される理解度をはかるための課題が提出されない場合は、その回の評価に係る得点を0点とし、ユニパ上の出席記録も取り消され欠席扱いとする。出席と課題提出の両方が揃ってその回の評価点を得ることができる。また、対面授業であるため、欠席した回には課題のみを提出することは認めない。仮に提出しても無効となり0点扱いとなるため注意すること。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	90	毎回の授業時に内容の理解度をはかるための課題を提出してもらうことによる評価(1回につき、正解数に応じて0~6点×15回=90点満点)。授業時間内に解答しきれない場合はその日のうちにクラスルームでの掲示で提出してもらうこともある。私語や居眠り、授業と関係の無いことに従事するなど受講態度に問題が見られる場合は、警告回数ごとに1点ずつ、その回の最高点6点から減点されることがあり得るため注意すること。	1, 2
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10	15回の全授業終了後に期限までに提出するレポート等の課題	1, 2
その他	0		

テキスト テキストを使用しない。

参考書 取り扱う内容が多岐にわたるため、必要に応じて授業の中で紹介する。

履修条件・他の科目との関連 授業ではパワーポイントなどで講義内容の説明を行ったり、長めの動画を視聴して、テーマについての理解を深めてもらう。世界中のさまざまな地域の人々についてとりあげるため、その生活ぶりをよく理解するためにはストーリー性のある長い動画を観る必要がある。それが退屈な人には不向きな科目である。世界の地理と歴史を事前によく理解しておくことを推奨する。文化人類学の民族誌テーマは先進国よりも途上国や伝統社会、少数民族や先住民の社会に依拠したものが多いため、これらに興味の無い人にも不向きな科目である。「文化人類学」や「異文化コミュニケーション」、「アジアの歴史と文化」、「国際社会学」などの関連科目はこの授業でとりあげる内容の理解において参考になるため受講を勧める。授業時にとりあげる民族誌や動画のテーマと順序は都合で変更することがあり得る。また、受講者自身が自分の出身国、自身の親族のルーツに当たる国、または留学や滞在経験のある国や地域に関する発表を行うのも歓迎する。発表を担当した受講者には評価において加点する。なお、日本語を母語としない受講生の場合、N1相当以上の日本語力がないと理解できない授業内容であるため、その水準に達していない状態で受講すると単位を落とす危険がある。

授業コード	13097101	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	日本文化概説 [対面]				
シラバス執筆(全員)	村田 隆志				
シラバス執筆(主)	村田 隆志				
開講年次	3年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

本科目では、国際的に「日本の文化」として認識されている各分野について、各回で紹介を行う。海外からも注目されるその魅力について理解し、自ら発信できるようになることが、本科目の目的である。

日本の文化は、海外からの旅行者を惹きつけ、関連スポットが観光地としてかなりの集客を見せていることもある。国際観光学科の専門科目であり、博物館学芸員課程の選択必修科目であることに鑑みて、特に日本の文化的資源の活用事例や可能性については深く論じる。

茶道、書道、南画など、一部の分野については、実技や体験を取り入れる。

関西圏は日本文化にとって重要な地域であるため、学外授業として見学を行う場合がある。

到達目標

1. 日本の文化の概略について知る。
2. 各分野の特色について理解する。
3. 文化的蓄積を活用できるようになる。
4. 文化的観光資源の意義について学ぶ。

授業計画

- 【第1回】
テーマ：イントロダクション
内容・方法：講師の日本文化との関わりについて
- 【第2回】
テーマ：着物1
内容・方法：パワーポイントによる講義形式、体験
- 【第3回】
テーマ：着物2
内容・方法：パワーポイントによる講義形式、体験
- 【第4回】
テーマ：和菓子
内容・方法：パワーポイントによる講義形式
- 【第5回】
テーマ：茶道1
内容・方法：パワーポイントによる講義形式
- 【第6回】
テーマ：茶道2
内容・方法：パワーポイントによる講義形式、体験
- 【第7回】
テーマ：華道・盆栽
内容・方法：パワーポイントによる講義形式
- 【第8回】
テーマ：煎茶道
内容・方法：パワーポイントによる講義形式、体験
- 【第9回】
テーマ：書道1
内容・方法：パワーポイントによる講義形式
- 【第10回】
テーマ：書道2
内容・方法：パワーポイントによる講義形式、体験
- 【第11回】
テーマ：南画1
内容・方法：パワーポイントによる講義形式
- 【第12回】
テーマ：南画2
内容・方法：パワーポイントによる講義形式、体験
- 【第13回】
テーマ：折紙
内容・方法：パワーポイントによる講義形式
- 【第14回】
テーマ：漫画
内容・方法：パワーポイントによる講義形式
- 【第15回】

テーマ：総括
内容・方法：パワーポイントによる講義形式

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

※毎回の授業において、2時間の事前学習と2時間の事後学習が必要である。

- 【第1回】
①事前学修課題：日本の歴史の復習
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第2回】
①事前学修課題：分野についての情報収集
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第3回】
①事前学修課題：分野についての情報収集
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第4回】
①事前学修課題：分野についての情報収集
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第5回】
①事前学修課題：分野についての情報収集
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第6回】
①事前学修課題：分野についての情報収集
②事後学修課題：分野についての情報収集
- 【第7回】
①事前学修課題：分野についての情報収集
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第8回】
①事前学修課題：分野についての情報収集
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第9回】
①事前学修課題：分野についての情報収集
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第10回】
①事前学修課題：分野についての情報収集
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第11回】
①事前学修課題：分野についての情報収集
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第12回】
①事前学修課題：分野についての情報収集
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第13回】
①事前学修課題：分野についての情報収集
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第14回】
①事前学修課題：分野についての情報収集
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第15回】
①事前学修課題：分野についての情報収集
②事後学修課題：本科目の学びの振り返り

課題に対するフィードバックの方法

小レポート（授業内試験）については翌週にフィードバックを実施する。
最終試験については、採点后、授業アンケートコメントの中でフィードバックを実施する。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により、総合的に判定の上、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

正当な理由なく5回以上欠席した場合にはK評価とする。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	80	授業内レポート(80)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	0		
定期試験	0		

定期試験に代わるレポート等	20	レポート	1, 2, 3, 4
その他	0		
テキスト	プリントを配布する		
参考書	講義中に紹介する。		
履修条件・他の科目との関連	主にスライドを用いての講義となる。途中入室は講義の妨げとなるので、遅刻には注意すること。また、関連する展覧会などについては、適宜紹介を行うので、積極的に鑑賞機会を設けるように心掛けること。「芸術学」「日本史概説」も履修すると学びが深まる。		

授業コード	13097201	授業形態	講義	実務家教員	○
授業科目名	考古学 [対面]				
シラバス執筆(全員)	伊藤 聖浩				
シラバス執筆(主)	伊藤 聖浩				
開講年次	3年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

この授業では、実務家教員が自ら携わった遺跡発掘、また世界遺産登録にかかる業務などの経験を踏まえて、具体的事例を取り上げて、受講者が興味を持つことのできる授業を目指します。

「考古学」は、人類の誕生から現在に至る長い歴史の道筋について、彼ら/彼女らが残した「モノ」を用いて、探求していく歴史の研究の一つです。

その「モノ」、つまり考古学を対象にする資料は、具体的には次のようなものです。

当時の人が日常生活で使用した石や木あるいは金属の道具、そして土器や埴輪などはじめ、住居やお墓といった大地に刻まれた人間活動の痕跡などです。

授業では、スライド等を使って、これらの「モノ」を視覚的に紹介して、考古学の資料として理解が深まるように解説を行います。

こういった考古学で扱う「モノ」の資料をどのようにして操作したら、いつの時代のものなのか、どのような機能や用途として使ったのか等がわかるのか、その方法も解説します。

併せて、文化遺産（文化財）、その中でも考古学とかかわりの深い埋蔵文化財の保存とその活用、将来への継承が、現代社会においてどのような意味を持つのか、についても考えたいと思います。

これに関連して、大阪唯一の世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」を具体例として、都市部に存在する世界遺産の特徴や課題について説明します。

授業の最終日には、世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の「古市エリア」の現地を実際に訪れて、構成資産の古墳の現況を観察して、その保存管理や活用について地域の実情を踏まえて考えたいと思います。

以上の内容を通して、「人類の過去を見つめる」ことが、現代や未来の社会においてどのような意味があるのか、考古学から現代のことを考える視点を養うことを目指します。

到達目標

1. 現代を生きる我々の社会が、人類の過去の事象の積み重ねであることが理解できる。
2. 過去の事象にアクセスする歴史学の方法の一つである考古学の基本的な手法が理解できる。
3. 文化遺産の保護が現代社会にどのような意味があるかを、自らで考えて説明できる。
4. 大阪府唯一の世界遺産である「百舌鳥・古市古墳群」の内容を理解でき、説明できる。
5. 考古学を通して過去の人類の歩みを理解し、私たちの望ましい未来への展望を考えることができる。

授業計画

【第1回】考古学とはどのような学問なのかについて、その性格、歴史学における意義、考古資料の性格や特徴、文献史学や民俗（族）学といった他の歴史学の方法との関連等について解説を行う。併せて、人間が現在までに歩んできた過去を知ることが、今を生きる私たちにとってどのような意味があるのか、を考えます。

【第2回】考古学研究の材料となる、「遺物」、「遺構」、「遺跡」、これらの諸関係について、具体的な事例を提示して解説を行います。

【第3回】考古学研究の手法として用いる「型式」、「種類」、「様式」などの基本的な概念について説明して、考古学がどのようにして人類の過去を復元するか解説を行います。

【第4回】考古学研究の重要な視点である「型式学」や「層位学」の説明を通して、年代や新古の決め方の解説を行う。あわせて、考古資料の分布論についても触れます。

【第5回】人類の長い歩みをどのように理解するか、時代（時期）区分の必要性を説き、考古学における時期区分の手法や日本考古学で使用されている時代区分の説明を行います。

【第6回】日本考古学の時代区分である、人類最古の時代である「旧石器時代」や土器作りが開始された「縄文時代」について、その意味や解説を行います。

【第7回】日本考古学の時代区分である、農耕が開始され社会が徐々に複雑化し階層差が発現する弥生時代、社会的モニュメントとして巨大な墳墓を築くようになる古墳時代の概要について、解説を行います。

【第8回】現代社会においてその開発行為の影響を受けやすい、地下に埋蔵されている「埋蔵文化財」の保護に関して、その発掘調査や法的制度を紹介して、その諸課題について考えます。

【第9回】世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」を事例にして、世界遺産の趣旨、その登録過程、その保存と管理、活用、将来への継承などといった、これから派生する諸課題についても説明を行います。

【第10回】現代社会において、文化遺産の保護や活用等について、どのような意義があるのか、事例に基づいて、説明を行います。

【第11回】第1～10回までの授業内容を確認し、その振り返りとまとめを行います。

【第12回】授業で理解した内容を踏まえ、実際に現地を観察し、世界遺産構成資産の古墳などを見学します（世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」における「古市エリア」）。

【第13回】授業で理解した内容を踏まえ、実際に現地を観察し、世界遺産構成資産の古墳などを見学します（世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」における「古市エリア」）。

【第14回】授業で理解した内容を踏まえ、実際に現地を観察し、世界遺産構成資産の古墳などを見学します（世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」における「古市エリア」）。

【第15回】授業で理解した内容を踏まえ、実際に現地を観察し、世界遺産構成資産の古墳などを見学します（世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」における「古市エリア」）。

※第12～15回は、同一日に下記のとおり行う予定です。詳細は、授業中に説明します。

世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の構成資産である「峯ヶ塚古墳」に10時に集合、17時解散（集合場所などは変更する可能性もありますので注意してください。授業中に連絡します）。

各自昼食準備のをしてください。当日は体調を整えて参加してください。また、給水の準備と暑さ対策を十分に考慮して、歩きやすい装備で参加してください。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

「考古学」の授業を受けるまでに、歴史系の博物館や資料館などで実際に出土遺物などを見学する。また、整備や公開されている遺跡など現地に行って見学しておくが望ましいです。

【第1回】授業で触れた内容について、配布したプリントを参考にして、各自でも関連図書等で調べて、理解を深めるようにしてください。

【第2回】授業で紹介した学術用語に関して、配布したプリントを参考にして各自でも関連図書等で調べて理解を深めるようにしてください。

【第3回】授業で紹介した学術用語に関して、配布したプリントを参考にして各自でも関連図書等で調べて理解を深めるようにしてください。

【第4回】授業で触れた内容に関して、配布したプリントを参考にして各自でも関連図書等で調べて理解を深めるようにしてください。

【第5回】授業で触れた内容に関して、配布したプリントを参考にして各自でも関連図書等で調べて理解を深めるようにしてください。

【第6回】授業で触れた内容に関して、配布したプリントを参考にして各自でも関連図書等で調べて理解を深めるようにしてください。また、授業後に博物館、整備や公開された遺跡など現地に行って見学しておいてください。

【第7回】授業で触れた内容に関して、配布したプリントを参考にして各自でも関連図書等で調べて理解を深めるようにしてください。また、授業後に博物館、整備や公開された遺跡など現地に行って見学しておいてください。

【第8回】授業で触れた内容に関して、配布したプリントを参考にして各自でも関連図書等で調べて理解を深めるようにしてください。

【第9回】授業で触れた内容に関して、配布したプリントを参考にして各自でも関連図書等で調べて理解を深めるようにしてください。

【第10回】授業で触れた内容に関して、授業で配布したプリントを参考にして各自でも関連図書で調べて理解を深めるようにしてください。

【第11回】授業で配布したプリントを参考にして、授業内容を改めて自分でノート等に系統的にまとめておくようにしてください。

【第12回】授業で配布したパンフレット等を参考にして、事前に関連図書等で下調べをしておくようにしてください。見学後の印象を具体的にまとめておく。

【第13回】授業で配布したパンフレット等を参考にして、事前に関連図書等で下調べをしておくにしてください。見学後の観察所見や印象を具体的にまとめておいてください。

【第14回】授業で配布したパンフレット等を参考にして、事前に関連図書等で下調べをしておくにしてください。見学後の観察所見や印象を具体的にまとめておいてください。

【第15回】授業で配布したパンフレット等を参考にして、事前に関連図書等で下調べをしておくにしてください。見学後の観察所見や印象を具体的にまとめておいてください。

課題に対するフィードバックの方法

授業内で適宜解説、講評を行います。
また、Classroomなども活用して解説、講評を行います。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

「考古学」の集中講義については、次に示す評価方法により総合的に判定した上で、60点以上を合格として所定の単位を認定します。

ただし、全15回の授業回数をもって一連の考古学の概論としているために、正当な理由がなく4回以上の欠席があった場合は、評価の対象としないで「K」評価とします。

就職活動に関することでの欠席は正当な理由とはみなしませんので、注意してください（念のため申し添えておきます）。

また、現地見学の授業を4回分（第12～15回）を予定していますが、「考古学」の集中講義では現地見学を重視していますので、この現地での授業を欠席した場合も「K」評価とします。

評価の方法は、以下の3つの項目で行います。

- ・各授業における発言や質問、取り組みの姿勢（事前事後学習を含みます）
- ・第11回の授業内で行う振り返りの作業（今回授業内容の理解度を評価します）
- ・第12～15回に実施する現地見学授業後の観察レポート（現地観察の内容を重視します）

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	40	・各授業における発言や質問、取り組みの姿勢(事前事後学習を含む) ・第11回の授業内で行う振り返りの作業(今回講義の内容の理解度)	1, 2, 3, 4, 5
授業外での評価	10	・授業中に示した参考文献等によって自主学習を行い、授業内容の理解度や深化度について、第11回の授業で行う振り返りの作業で確認、評価します。	1, 2, 3, 4, 5

定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	50	・第11回の授業内で行う振り返りの作業(今回講義の内容の理解度) ・第12～15回に実施する現地見学授業後の観察レポート	1, 2, 3, 4, 5
その他	0		

テキスト 特定のテキストは使用しません(授業中に配布するプリントに参考文献を挙げるようにします)。

参考書 授業の中で提示しますが、授業を受ける前に読んでおくことが望ましい図書として、松木武彦2021『はじめての考古学』ちくまプリマー新書 株式会社筑摩書房 を挙げておきます。

履修条件・他の科目との関連

考古学はもちろんのこと、歴史に興味や関心をお持ちの学生の皆さんに受講していただければと思います。

また、世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の「古市エリア」の現地を観察しますので、古墳に興味や関心がある方も受講していただければと思います。

成績評価のところでも触れましたが、「考古学」の集中講義については、次に示す評価方法により総合的に判定した上で、60点以上を合格として所定の単位を認定します。

ただし、集中講義として全15回の授業回数をもって、一連の考古学の概論としているために、正当な理由がなく4回以上の欠席があった場合は、評価の対象としないで「K」評価とします。

就職活動に関することでの欠席は、正当な理由とはみなしませんので注意してください(念のため申し添えておきます)。

また、現地見学の授業を4回分(第12～15回)を予定していますが、「考古学」の集中講義では現地見学を重視しているため、この現地での授業を欠席した場合も「K」評価とします。

現地での授業については、世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の古市エリアの見学を想定しています。

詳細は授業中に説明しますが、現在のところ、以下のように予定しています(変更することもあります)。

世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」構成遺産である「峯ヶ塚古墳」に10時集合、17時解散
昼食は各自準備してください。当日は体調を整えて参加してください。給水の準備と暑さ対策を考慮し、歩きやすい装備で参加するようにしてください。

授業コード	13097301	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	異文化スタディーズ演習 [対面]				
シラバス執筆(全員)	小瀬木 えりの				
シラバス執筆(主)	小瀬木 えりの				
開講年次	4年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

この授業では、受講者による発表を中心に据えながら、異文化に関する学びを深めていくことを目標とする。受講者自身のこれまでの海外研修や留学、旅行、その他のかたちでの異文化や異なる文化的背景を持つ人びとと接した経験から気づいたことや感じた違和感などを全員で共有しながら、異文化と向き合う際に我々が直面するいろいろな問題について共に考え解決策を見出していく。

到達目標

1. 自文化と異文化との相違点を認識する
2. 異文化接触における我々が感じる問題点を理解する
3. 異文化の受け入れ方やそれとのつき合い方を学ぶ

授業計画

【第1回】 テーマ：オリエンテーション 内容・方法：この授業で目指す学びについて、授業の進め方に関する説明
【第2回】 テーマ：受講者による異文化経験に関するプレゼンテーションとディスカッション（1） 内容・方法：受講者自身が経験したもしくは関心を持つ異文化やその人びとに関する紹介のプレゼンテーションとそれについてのディスカッション
【第3回】 テーマ：受講者による異文化経験に関するプレゼンテーションとディスカッション（2） 内容・方法：受講者自身が経験したもしくは関心を持つ異文化やその人びとに関する紹介のプレゼンテーションとそれについてのディスカッション
【第4回】 テーマ：受講者による異文化経験に関するプレゼンテーションとディスカッション（3） 内容・方法：受講者自身が経験したもしくは関心を持つ異文化やその人びとに関する紹介のプレゼンテーションとそれについてのディスカッション
【第5回】 テーマ：受講者による異文化経験に関するプレゼンテーションとディスカッション（4） 内容・方法：受講者自身が経験したもしくは関心を持つ異文化やその人びとに関する紹介のプレゼンテーションとそれについてのディスカッション
【第6回】 テーマ：受講者による異文化経験に関するプレゼンテーションとディスカッション（5） 内容・方法：受講者自身が経験したもしくは関心を持つ異文化やその人びとに関する紹介のプレゼンテーションとそれについてのディスカッション
【第7回】 テーマ：受講者による異文化経験に関するプレゼンテーションとディスカッション（6） 内容・方法：受講者自身が経験したもしくは関心を持つ異文化やその人びとに関する紹介のプレゼンテーションとそれについてのディスカッション
【第8回】 テーマ：受講者による異文化経験に関するプレゼンテーションとディスカッション（7） 内容・方法：受講者自身が経験したもしくは関心を持つ異文化やその人びとに関する紹介のプレゼンテーションとそれについてのディスカッション
【第9回】 テーマ：受講者による異文化経験に関するプレゼンテーションとディスカッション（8） 内容・方法：受講者自身が経験したもしくは関心を持つ異文化やその人びとに関する紹介のプレゼンテーションとそれについてのディスカッション
【第10回】 テーマ：受講者による異文化経験に関するプレゼンテーションとディスカッション（9） 内容・方法：受講者自身が経験したもしくは関心を持つ異文化やその人びとに関する紹介のプレゼンテーションとそれについてのディスカッション
【第11回】 テーマ：受講者による異文化経験に関するプレゼンテーションとディスカッション（10） 内容・方法：受講者自身が経験したもしくは関心を持つ異文化やその人びとに関する紹介のプレゼンテーションとそれについてのディスカッション
【第12回】 テーマ：受講者による異文化経験に関するプレゼンテーションとディスカッション（11） 内容・方法：受講者自身が経験したもしくは関心を持つ異文化やその人びとに関する紹介のプレゼンテーションとそれについてのディスカッション
【第13回】 テーマ：受講者による異文化経験に関するプレゼンテーションとディスカッション（12） 内容・方法：受講者自身が経験したもしくは関心を持つ異文化やその人びとに関する紹介のプレゼンテーション

とそれについてのディスカッション

【第14回】

テーマ：受講者による異文化経験に関するプレゼンテーションとディスカッション（13）

内容・方法：受講者自身が経験したもしくは関心を持つ異文化やその人びとに関する紹介のプレゼンテーションとそれについてのディスカッション

【第15回】

テーマ：まとめ

内容・方法：全授業で共有し学んだことに関するまとめとふりかえり

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

各回、事前学習は2時間、事後学習は2時間を目安とする。

【第1回】

①事前学修課題：特になし

②事後学修課題：自身の異文化経験や異文化に関する興味・関心にしがって紹介内容を精査・検討し、発表担当者はPPTで発表用資料を作成して期限までにクラスルームに掲示する

【第2回】

①事前学修課題：自身の異文化経験や異文化に関する興味・関心にしがって紹介内容を精査・検討し、発表担当者はPPTで発表用資料を作成して期限までにクラスルームに掲示する

②事後学修課題：授業時に紹介された異文化に関する発表内容に関するコメントを作成し、期限までにクラスルームの所定の場所に掲示で提出する

【第3回】

①事前学修課題：自身の異文化経験や異文化に関する興味・関心にしがって紹介内容を精査・検討し、発表担当者はPPTで発表用資料を作成して期限までにクラスルームに掲示する

②事後学修課題：授業時に紹介された異文化に関する発表内容に関するコメントを作成し、期限までにクラスルームの所定の場所に掲示で提出する

【第4回】

①事前学修課題：自身の異文化経験や異文化に関する興味・関心にしがって紹介内容を精査・検討し、発表担当者はPPTで発表用資料を作成して期限までにクラスルームに掲示する

②事後学修課題：授業時に紹介された異文化に関する発表内容に関するコメントを作成し、期限までにクラスルームの所定の場所に掲示で提出する

【第5回】

①事前学修課題：自身の異文化経験や異文化に関する興味・関心にしがって紹介内容を精査・検討し、発表担当者はPPTで発表用資料を作成して期限までにクラスルームに掲示する

②事後学修課題：授業時に紹介された異文化に関する発表内容に関するコメントを作成し、期限までにクラスルームの所定の場所に掲示で提出する

【第6回】

①事前学修課題：自身の異文化経験や異文化に関する興味・関心にしがって紹介内容を精査・検討し、発表担当者はPPTで発表用資料を作成して期限までにクラスルームに掲示する

②事後学修課題：授業時に紹介された異文化に関する発表内容に関するコメントを作成し、期限までにクラスルームの所定の場所に掲示で提出する

【第7回】

①事前学修課題：自身の異文化経験や異文化に関する興味・関心にしがって紹介内容を精査・検討し、発表担当者はPPTで発表用資料を作成して期限までにクラスルームに掲示する

②事後学修課題：授業時に紹介された異文化に関する発表内容に関するコメントを作成し、期限までにクラスルームの所定の場所に掲示で提出する

【第8回】

①事前学修課題：自身の異文化経験や異文化に関する興味・関心にしがって紹介内容を精査・検討し、発表担当者はPPTで発表用資料を作成して期限までにクラスルームに掲示する

②事後学修課題：授業時に紹介された異文化に関する発表内容に関するコメントを作成し、期限までにクラスルームの所定の場所に掲示で提出する

【第9回】

①事前学修課題：自身の異文化経験や異文化に関する興味・関心にしがって紹介内容を精査・検討し、発表担当者はPPTで発表用資料を作成して期限までにクラスルームに掲示する

②事後学修課題：授業時に紹介された異文化に関する発表内容に関するコメントを作成し、期限までにクラスルームの所定の場所に掲示で提出する

【第10回】

①事前学修課題：自身の異文化経験や異文化に関する興味・関心にしがって紹介内容を精査・検討し、発表担当者はPPTで発表用資料を作成して期限までにクラスルームに掲示する

②事後学修課題：授業時に紹介された異文化に関する発表内容に関するコメントを作成し、期限までにクラスルームの所定の場所に掲示で提出する

【第11回】

①事前学修課題：自身の異文化経験や異文化に関する興味・関心にしがって紹介内容を精査・検討し、発表担当者はPPTで発表用資料を作成して期限までにクラスルームに掲示する

②事後学修課題：授業時に紹介された異文化に関する発表内容に関するコメントを作成し、期限までにクラスルームの所定の場所に掲示で提出する

【第12回】

①事前学修課題：自身の異文化経験や異文化に関する興味・関心にしがって紹介内容を精査・検討し、発表担当者はPPTで発表用資料を作成して期限までにクラスルームに掲示する

②事後学修課題：授業時に紹介された異文化に関する発表内容に関するコメントを作成し、期限までにクラスルームの所定の場所に掲示で提出する

【第13回】

①事前学修課題：自身の異文化経験や異文化に関する興味・関心にしがって紹介内容を精査・検討し、発表担当者はPPTで発表用資料を作成して期限までにクラスルームに掲示する

②事後学修課題：授業時に紹介された異文化に関する発表内容に関するコメントを作成し、期限までにクラス

ルームの所定の場所に掲示で提出する

【第14回】

①事前学修課題：自身の異文化経験や異文化に関する興味・関心にしたがって紹介内容を精査・検討し、発表担当者はPPTで発表用資料を作成して期限までにクラスルームに掲示する

②事後学修課題：授業時に紹介された異文化に関する発表内容に関するコメントを作成し、期限までにクラスルームの所定の場所に掲示で提出する

【第15回】

①事前学修課題：これまでの回で学んだ異文化についての知識や情報の復習

②事後学修課題：すべての回の授業で学んだ内容の総復習、定期試験代わりのレポート等課題に備えてのこれまでの学びの振り返り

課題に対するフィードバックの方法

毎回の授業時もしくはその後にクラスルーム等を通じて提出された課題については、採点やコメントによりフィードバックを行う

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。公欠や公共交通機関の運行停止など本人の責に帰せない事情、客観的なエビデンスを提示できる病気や怪我、同じく客観的なエビデンスを提示できる就職活動との重なり、または特別配慮願の対象として配慮が必要な場合等を除き、特段の理由なく欠席が全授業中6回以上に上る受講者は「K」評価とする。前記の諸事情のどれにも該当しない場合の遅刻も2回で1回の欠席相当と見なすため注意すること。授業に出席のみして、毎回の授業時に出される発表内容に関するコメント課題が提出されない場合は、その回の評価に係る得点を0点とし、ユニパ上の出席記録も取り消され欠席扱いとする。出席と課題提出の両方が揃ってその回の評価点を得ることができる。また、対面授業であるため、欠席した回には課題のみを提出することは原則として認めない。仮に提出しても無効となり0点扱いとなるため注意すること。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	95	毎回の授業における発表者への質問・コメントなどディスカッションへの参加と、発表に接して視聴していた受講者は期限までにコメントを書いて提出できたかどうかによる評価(1回につき、0~5点×15回=75点満点)。自身の担当する発表回での発表(20点満点)。業時間内に発表者へのコメントを書ききれない場合はその日のうちにクラスルームでの掲示で提出してもらおうこともある。私語や居眠り、授業と関係の無いことに従事するなど受講態度に問題が見られる場合は、警告回数ごとに1点ずつ、その回の最高取得可能点5点から減点されることが	1, 2, 3
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	5	15回の全授業終了後に期限までに提出するレポート等の課題	1, 2, 3
その他	0		

テキスト テキストは使用しない。

参考書 必要に応じて適宜授業時に紹介する。

履修条件・他の科目との関連 4年次前期配当の科目であるため、受講までに海外研修や留学などで何らかの外国生活を経験しているか、もしくは外国の事情や異文化に関心の高い受講者で、紹介できる異文化に関する発表内容を考えられる人が望ましい。テーマを自力で思いつけない場合は、担当者が勧めるテーマの中から調べて発表してもかまわないが受講者にとって発表は必須である。「異文化コミュニケーション」、「アジアの歴史と文化」、「比較文化論」、「文化人類学特論」、「国際社会学」などの関連科目をすでに履修していると授業内容の理解に役立つ。また、世界の地理と歴史を事前によく理解しておくことを推奨する。なお、日本語を母語としない受講生の場合、N1相当以上の日本語力がないと内容の理解が難しく、コメントを自力で書くことができない可能性があるため、その水準に達していない状態で受講すると単位を落とす危険がある。

授業コード	13097401	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	国内観光資源 [対面]				
シラバス執筆(全員)	松野 麻里子				
シラバス執筆(主)	松野 麻里子				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

観光学を学ぶ上での基礎となる重要な科目であり、今後の研究、就職活動、社会生活等関連する分野は多岐に及ぶ。地理的情報のみならず、歴史・文化的な特徴や観光資源を幅広く学習する。国家資格・国内旅行業務取扱管理者において試験全3科目4分野中、本授業では「国内地理」を講義する。

到達目標

1. 授業に関わる内容に興味・関心を持ち、それらを自ら表現し視野を広げる
2. 都道府県別及びテーマ別の観光地理を理解する
3. 国家資格・国内旅行業務取扱管理者試験に合格するレベルの知識を体得する

授業計画

【第1回】ガイダンス
授業の進め方、勉強法、テキスト等教材の活用方法、事前・事後学習の方法、ならびに国家試験の概略

【第2回】北海道①
エリア・カテゴリー別に解説

【第3回】北海道②、東北①
エリア・カテゴリー別に解説

【第4回】東北②
エリア・カテゴリー別に解説

【第5回】関東①
エリア・カテゴリー別に解説

【第6回】関東②
エリア・カテゴリー別に解説

【第7回】中部①
エリア・カテゴリー別に解説

【第8回】中部②
エリア・カテゴリー別に解説

【第9回】関西①
エリア・カテゴリー別に解説

【第10回】関西②
エリア・カテゴリー別に解説

【第11回】中国・四国①
エリア・カテゴリー別に解説

【第12回】中国・四国②
エリア・カテゴリー別に解説

【第13回】九州・沖縄①
エリア・カテゴリー別に解説

【第14回】九州・沖縄②
エリア・カテゴリー別に解説

【第15回】まとめ
全体の総括と演習

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

- ・国家資格受験対策科目のため、受験を希望する学生が受講すること。
- ・自らの知識と理解力に応じて予習・復習及び演習を行い、合格に繋がる強い意志を持って努力することが求められる。
- ・毎回の授業前（1.5時間）：予習としてテキストのゴシック文字をマークし重要とポイントとなる地名・項目等を把握する。
- ・毎回の授業後（2.5時間）：復習として学習内容をプリントに記入、各都道府県の特徴を理解する。
- ・「地域別小テスト」を適宜、実施し知識の定着を図る。

課題に対するフィードバックの方法

小テスト等については授業内で解説等、適宜フィードバックを行う

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により総合的に判定、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	30	毎授業回の気づき・感想等(30)	1, 2
授業外での評価	30	課題(レポート)の提出等(30)	1, 2
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	30	筆記試験等(30)	3
その他	10	授業への取り組み姿勢等(10)	1, 2

テキスト	『2025旅行業実務シリーズ④ 国内観光資源』JTB総合研究所(2025年3月刊)
------	---

参考書	『ユーキャンの旅行業務取扱管理者<観光資源(国内・海外)>ポケット問題集&要点まとめ』自由国民社 『ユーキャンの旅行業務取扱管理者(国内・総合)速習レッスン』自由国民社 高校・中学時代に使用した地図帳や資料集の他、随時授業内で紹介する
-----	---

履修条件・他の科目との関連	<ol style="list-style-type: none"> 1. 国家資格取得を目標とする学生が受講し、テキストを必ず購入すること。 2. 国家試験・受験のためには「国内旅行業務取扱管理者資格取得対策講座Ⅰ(旅行業法)」「国内旅行業務取扱管理者資格取得対策講座Ⅱ(約款)」「旅行業実務(国内運賃・料金)」の知識が必須であるため必ず履修登録を確認すること。 3. 地理の学習では”継続と復習”が最も大切で、まずは都道府県別の観光ポイントを習得し、その後テーマ別に理解することを意識して下さい。 4. 原則として授業内でパソコン、スマートフォンは使用しません。(合理的配慮が必要な場合は、遠慮なく申し出て下さい。)
---------------	--

授業コード	13097501	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	旅行業実務 [対面]				
シラバス執筆(全員)	松野 麻里子				
シラバス執筆(主)	松野 麻里子				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

国家資格・国内旅行業務取扱管理者において試験全3科目4分野中、本授業では「国内運賃・料金」を講義する。具体的にはJR、国内航空、貸切バス、フェリー、宿泊の運賃・料金に関して学習する。

到達目標

1. 授業に関わる内容に興味・関心を持ち、それらを自ら表現し視野を広げる
2. JR、国内航空、貸切バス、フェリー、宿泊の運賃・料金に関する基本内容を理解する
3. 国家資格・国内旅行業務取扱管理者試験に合格するレベルの知識を体得する

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：ガイドランス
 内容・方法：国内旅行業務取扱管理者資格と勉強法、JRに関する基礎知識
- 【第2回】
 テーマ：JR運賃①
 内容・方法：JR運賃の構成、計算方法、演習等
- 【第3回】
 テーマ：JR運賃②
 内容・方法：JR運賃の構成、計算方法、演習等
- 【第4回】
 テーマ：JR運賃③
 内容・方法：JR運賃の構成、計算方法、演習等
- 【第5回】
 テーマ：JR料金①
 内容・方法：JR料金の構成、計算方法、演習等
- 【第6回】
 テーマ：JR料金②
 内容・方法：JR料金の構成、計算方法、演習等
- 【第7回】
 テーマ：JR料金③
 内容・方法：JR料金の構成、計算方法、演習等
- 【第8回】
 テーマ：JR料金④
 内容・方法：JR料金の構成、計算方法、演習等。
- 【第9回】
 テーマ：JR料金⑤、団体、払い戻し等
 内容・方法：JR料金の構成、計算方法、演習等
- 【第10回】
 テーマ：JR全項目に関して
 内容・方法：JR計算方法、演習等
- 【第11回】
 テーマ：国内航空
 内容・方法：航空の基礎知識、運賃・料金の構成等
- 【第12回】
 テーマ：国内航空
 内容・方法：運賃の種別、払い戻し等
- 【第13回】
 テーマ：貸切バス、フェリー、宿泊
 内容・方法：基礎知識、運賃・料金の構成等
- 【第14回】
 テーマ：貸切バス、フェリー、宿泊
 内容・方法：運賃・料金の構成、計算方法、演習等
- 【第15回】
 テーマ：総復習としてのまとめ及び問題演習
 内容・方法：重要事項の確認や過去問演習等

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

- ・国家資格受験対策科目のため、受験を希望する学生が受講すること。
- ・自らの知識と理解力に応じて予習・復習及び演習を行い合格に繋がる強い意志を持って努力することが求めら

- れる。
- ・基礎知識に積み上げる内容であるため、授業後は必ず用語を確認する等、復習に力を入れた継続的な学習が不可欠である。
 - 毎回の授業前（1.5時間）：予習として前回授業で学んだ内容や「課題」を確認する。
 - 毎回の授業後（2.5時間）：復習として学習内容や用語を確認、テキストを見直した上で「課題」を解く。
 - ・適宜、小テスト等を実施し知識の定着を図る。

課題に対するフィードバックの方法

小テストや課題については授業内で解説等、適宜フィードバックを行う

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により総合的に判定、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	30	毎授業回の気づき、感想等(30)	1, 2
授業外での評価	30	課題(レポート)の提出等(30)	1, 2
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	30	筆記試験等(30)	3
その他	10	授業への取り組み姿勢等(10)	1, 2

テキスト 『2025旅行業実務シリーズ③ 国内運賃・料金』JTB総合研究所(2025年3月刊)

参考書 『ユーキャンの旅行業務取扱管理者(国内・総合)速習レッスン』自由国民社
JR時刻表,旅行会社のパンフレット等、随時授業内で紹介する

履修条件・他の科目との関連

1. 国家資格取得を目標とする学生が受講しテキストを必ず購入すること。
2. 国家試験・受験のためには「国内旅行業務取扱管理者資格取得対策講座Ⅰ(旅行業法)」「国内旅行業務取扱管理者資格取得対策講座Ⅱ(約款)」「国内観光資源(地理)」の知識が必須であるため必ず履修登録を確認すること。
3. 本講義ではJRの運賃・料金を主に学習するため国内地理の知識が不可欠となる。本試験では「国内実務」100点満点中、国内運賃・料金50点＋国内地理50点の配点となる。
4. 原則として授業内でパソコン、スマートフォンは使用しません。(合理的配慮が必要な場合は、遠慮なく申し出て下さい。)

授業コード	13097601	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	海外観光資源 [対面]				
シラバス執筆(全員)	小笹 誠司				
シラバス執筆(主)	小笹 誠司				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

観光資源を中心に、各国の魅力について知る

到達目標

1. 世界の観光対象に関する知識を深める
2. 総合旅行業務取扱管理者資格試験に必要な情報を選択・習得する能力を持つ
3. 世界遺産検定2級、旅行地理検定（世界地理）中級取得を目指す

授業計画

- 【第1回】
テーマ：ガイドンス
内容・方法：学習の進め方の確認と、海外地理情報を収集する方法について講義する。
- 【第2回】
テーマ：アジア
内容・方法：韓国・台湾・中国の観光対象について講義する。
- 【第3回】
テーマ：アジア
内容・方法：香港・マカオ・フィリピン・ベトナムの観光対象について講義する。
- 【第4回】
テーマ：アジア
内容・方法：タイ・マレーシア・シンガポール・インドネシアの観光対象について講義する。
- 【第5回】
テーマ：アジア
内容・方法：インド・ネパール・スリランカの観光対象について講義する。合わせて、アジア各国に関する「小テスト」を実施する。
- 【第6回】
テーマ：ヨーロッパ
内容・方法：イギリス・ベルギー・オランダの観光対象について講義する。
- 【第7回】
テーマ：ヨーロッパ
内容・方法：北欧各国・ドイツの観光対象について講義する。
- 【第8回】
テーマ：ヨーロッパ
内容・方法：スイス・オーストリア・フランスの観光対象について講義する。
- 【第9回】
テーマ：ヨーロッパ
内容・方法：イタリア・スペイン・ポルトガル・ギリシャの観光対象について講義する。
- 【第10回】
テーマ：ヨーロッパ
内容・方法：東欧各国・ロシアの観光対象について講義する。合わせて、ヨーロッパ各国に関する「小テスト」を実施する。
- 【第11回】
テーマ：アメリカ大陸
内容・方法：アメリカの観光対象について講義する。
- 【第12回】
テーマ：アメリカ大陸
内容・方法：カナダ・メキシコ・中南米各国の観光対象について講義する。
- 【第13回】
テーマ：オセアニア
内容・方法：オーストラリア・ニュージーランド・太平洋各国の観光対象について講義する。
- 【第14回】
テーマ：中東・アフリカ
内容・方法：中東・アフリカ各国の観光対象について講義する
- 【第15回】
テーマ：まとめ
内容・方法：これまでのポイント復習・まとめテスト

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり60時間以上が必要

毎回の授業において、2時間の事前学習と2時間の事後学習が必要

【第1回】

- ①事前学修課題：教科書の該当部分や旅行関連書籍から知識を得ておく。
- ②事後学修課題：学習した国の情報について、自身の覚えやすい形でまとめる。

【第2回】

- ①事前学修課題：教科書の該当部分や旅行関連書籍から知識を得ておく。
- ②事後学修課題：学習した国の情報について、自身の覚えやすい形でまとめる。

【第3回】

- ①事前学修課題：教科書の該当部分や旅行関連書籍から知識を得ておく。
- ②事後学修課題：学習した国の情報について、自身の覚えやすい形でまとめる。

【第4回】

- ①事前学修課題：教科書の該当部分や旅行関連書籍から知識を得ておく。
- ②事後学修課題：学習した国の情報について、自身の覚えやすい形でまとめる。

【第5回】

- ①事前学修課題：教科書の該当部分や旅行関連書籍から知識を得ておく。
- ②事後学修課題：学習した国の情報について、自身の覚えやすい形でまとめるとともに、小テスト内容の再確認を行う。

【第6回】

- ①事前学修課題：教科書の該当部分や旅行関連書籍から知識を得ておく。
- ②事後学修課題：学習した国の情報について、自身の覚えやすい形でまとめる。

【第7回】

- ①事前学修課題：教科書の該当部分や旅行関連書籍から知識を得ておく。
- ②事後学修課題：学習した国の情報について、自身の覚えやすい形でまとめる。

【第8回】

- ①事前学修課題：教科書の該当部分や旅行関連書籍から知識を得ておく。
- ②事後学修課題：学習した国の情報について、自身の覚えやすい形でまとめる。

【第9回】

- ①事前学修課題：教科書の該当部分や旅行関連書籍から知識を得ておく。
- ②事後学修課題：学習した国の情報について、自身の覚えやすい形でまとめる。

【第10回】

- ①事前学修課題：教科書の該当部分や旅行関連書籍から知識を得ておく。
- ②事後学修課題：学習した国の情報について、自身の覚えやすい形でまとめるとともに、小テスト内容の再確認を行う。

【第11回】

- ①事前学修課題：教科書の該当部分や旅行関連書籍から知識を得ておく。
- ②事後学修課題：学習した国の情報について、自身の覚えやすい形でまとめる。

【第12回】

- ①事前学修課題：教科書の該当部分や旅行関連書籍から知識を得ておく。
- ②事後学修課題：学習した国の情報について、自身の覚えやすい形でまとめる。

【第13回】

- ①事前学修課題：教科書の該当部分や旅行関連書籍から知識を得ておく。
- ②事後学修課題：学習した国の情報について、自身の覚えやすい形でまとめる。

【第14回】

- ①事前学修課題：教科書の該当部分や旅行関連書籍から知識を得ておく。
- ②事後学修課題：学習した国の情報について、自身の覚えやすい形でまとめる。

【第15回】

- ①事前学修課題：これまでの学習内容を再確認・総復習する。
- ②事後学修課題：理解度が不足している箇所等の強化を図るべく、教材の見直しを行う。

課題に対するフィードバックの方法

課題を分析して、理解が不十分であるところを強化した内容にする

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により、総合的に判定の上、60点以上を合格として所定の単位を認定

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	10	小テスト	1, 2, 3
授業外での評価	10	課題問題	1, 2, 3
定期試験	70		1, 2, 3
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	10	課題への取り組み	1, 2, 3

テキスト	1. 旅行業務シリーズ『2025 海外観光資源』JTB総合研究所 2. 『旅にでたくなる地図』帝国書院
------	--

参考書	『海外海外観光地理サブノート』JTB総合研究所
履修条件・他の科目との関連	各回授業にて講義した国についての感想等を聞き取りする。よって、予習などの自主学習が不可欠である。 総合旅行業務取扱管理者資格受験者には必須科目である 世界遺産検定2級取得を目指す

授業コード	13097701	授業形態	講義	実務家教員	<input type="radio"/>
授業科目名	観光学概論 [対面]				
シラバス執筆(全員)	長谷川 順一郎				
シラバス執筆(主)	長谷川 順一郎				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

観光学の基礎について、理論と具体例から理解します。

観光の歴史を概観し、観光の本質や定義について学びます。また、現場や学術の場面において使われるキーワード（観光関連用語）も把握します。それらを踏まえた上で、観光を支える社会システムについても学修します。

担当教員の観光ホスピタリティ業界における国際的実務経験をもとに、実務家教員として観光に関する理論と実践への応用を関連付けながら授業を展開します。

到達目標

1. 観光とは何か、自分の言葉で説明できるようになります。
2. 国際観光学科での専門的な学修の土台が作れるようになります。

授業計画

- 第1回 ガイダンス
目標、課題、受講上の注意等について説明する。
- 第2回 観光の基本的概念
観光の基本的概念、観光の構造と構成要素について説明する。
- 第3回 観光の世界史
海外の大衆化以前の観光の歴史、近代の観光史について説明する。
- 第4回 観光の日本史
日本の観光史について説明する。
- 第5回 観光の本質と定義
「OSAKA観光宣言」のなかの観光の本質、それをもとに作成された観光の定義について説明する。
- 第6回 余暇活動としての観光①
観光のキーワードである余暇（レジャー）の概念について説明する。
- 第7回 余暇活動としての観光②
観光のキーワードであるレクリエーション、非日常生活圏について説明する。
- 第8回 観光の効果と影響
観光が個人の生活や社会にもたらす効果と影響について説明する。
- 第9回 観光と経済①
観光需要の価格弾力性について説明する。
- 第10回 観光と経済②
観光の経済波及効果について説明する。
- 第11回 観光行動を成立させるもの
観光行動成立の基本的条件、観光者心理について説明する。
- 第12回 観光を支える社会システム①
宿泊業について説明する。
- 第13回 観光を支える社会システム②
交通業、旅行業について説明する。
- 第14回 観光事業の労働と人材
観光労働の基本的特徴と求められる人材について説明する。
- 第15回 まとめ
これまでの学修についての総括を行う。

* 授業計画はクラスの状況、授業の進行状況によって変更することがあります。あらかじめご理解ください。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

本授業は2単位科目ですので、事前事後の学修としては、週あたり4時間必要となります。

授業中に解説されたことはもちろん、授業を通じて気づいたこと、確認したいことなどをめれなくノートに記します。それをもとにした復習と、指示された課題（配布物の精読が中心となります）を含めた予習をしっかりと行います。そして、学んだこと、調べたことなどを常に整理し、意見発信できるよう準備することが大切です。

課題に対するフィードバックの方法

毎回の授業の最初に前回の振り返りを行います。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となります。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価となります。

定期試験は試験期間中に1回実施します。

中間(第8回を予定)、期末にレポートが課されます。授業への参加度、予習、復習など、自身の取り組みについての「自己評価」が含まれます。この「自己評価」が期限までに提出されない場合、「K」評価となります。総授業回数の1/3以上欠席した場合、また、連続3回欠席した場合も、成績評価の対象とならず「K」評価となります。授業は定刻に開始します。履修者が多いため、開始5分前には着席できるようにしてください。遅刻2回で1回分の欠席扱いとします。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	課題レポート	1,2
授業外での評価	0		
定期試験	50	定期試験	1,2
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	0		

テキスト	テキストは使用しません。適宜プリントを配布します。
------	---------------------------

参考書	前田勇編著『新現代観光総論』(第3版)(学文社、2019年)
-----	--------------------------------

履修条件・他の科目との関連	<p>授業時間は厳守します。但し、公共交通機関の遅延等があった場合は考慮しますので申し出てください。</p> <p>第1回の授業にて受講に関する重要な説明を行いますので必ず出席してください。いずれの授業回においても、理由のいかんに関わらず欠席した場合は、本授業の履修者(複数)に授業内容を聞いてください。配布物は複写させてもらい、課題にも取り組んでください。講義時間は厳守とします。</p>
---------------	---

授業コード	13097801	授業形態	講義	実務家教員	<input type="radio"/>
授業科目名	観光産業論 [対面]				
シラバス執筆(全員)	森田 浩司				
シラバス執筆(主)	森田 浩司				
開講年次	1年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

観光産業には様々な業種、業務があり、互いに繋がりがあいながら観光産業界全体が成立している。この授業では、担当教員が、観光産業の中でも特に様々な産業と関わりあいながら業務を展開していく旅行業に長く従事した実務家教員として、実務経験をもとに、主な観光産業の概要（基本的な用語、歴史や背景、現状と課題、今後の展望等）や今後、観光産業に求められる思考など、観光産業について横断的に概説していく。

到達目標

1. 主な観光産業の概要（基本的な用語、歴史や背景、現状と課題、今後の展望等）や観光産業に求められる考え方や人材について、理解し説明できるようになる。

授業計画

- 第1回 オリエンテーション（授業の目的、目標、授業計画、ルール、評価基準等の説明）
 第2回 観光事業と観光産業
 第3回 旅行業 旅行業界と旅行会社
 第4回 旅行業 ツアーコンダクター
 第5回 運輸業 航空輸送
 第6回 運輸業 空港
 第7回 運輸業 鉄道
 第8回 中間テストと第2回～第7回の振りかえり
 第9回 運輸業 その他陸上輸送と海上輸送
 第10回 宿泊業 ホテル
 第11回 宿泊業 旅館
 第12回 飲食業、宿泊施設における飲食施設
 第13回 レジャーランド・テーマパーク
 第14回 観光産業におけるサービスとホスピタリティ
 第15回 観光産業において求められる人材

※受講および受講を検討する学生は、必ず第1回オリエンテーションで説明する授業のルール・評価基準を理解した上で受講すること。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

- ・ 授業内外で主体的に学び、時間外の復習で理解の定着に努める。授業の理解が難しい場合は事前に参考書や関連書籍で十分に予習して授業に臨むこと。
- ・ また学んだ観光産業に関するテレビ番組や本・雑誌を見たり、実際に旅行をして観光産業が提供するサービスを、授業内容を顧みながら体験・観察するなどして、主体的に楽しみながら理解を深めること。

課題に対するフィードバックの方法

毎回の授業の最後に復習のワークシート問題を実施し、ワークシート提出後に出される解答によりフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
 - 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。
- ・ 定期試験、中間テスト、その他により総合的に評価する。
 - ・ 教員が認めた正当な理由がない欠席の回数が、全授業回の3分の1を超過した場合は、「K」評価とし、単位を取得できない
 （公欠などがなく通常の15回の受講機会の場合、教員が認めない欠席が6回となった時点で「K」評価となる）
 - ・ 教員が認めた正当な理由なく定期試験、中間テストを欠席した場合は「K」評価とする
 - ・ 当科目では、中間テストならびに定期試験での、資料の持ち込みや閲覧は認めない。したがって、毎授業の予復習や試験勉強が必要になる。
 - ・ 観光産業に係る実学を学ぶ科目であることから、観光産業で求められるマナーや常識、時間・期限・ルールの遵守をはじめ社会人基礎力を要求した授業進行や評価を行う。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
---------	----------	---------	-------------

授業内での評価	40	筆記試験(中間テスト/第2回～第7回の理解度)	1
授業外での評価	0		
定期試験	40	筆記試験(第9回以降の理解度)	1
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	20	授業への主体的学修度合(欠席・遅刻の頻発、居眠りの過多、不適切な受講態度などはこの部分に影響することとなる)、ワークシートの状況と成績、社会人基礎力の欠如度合	1

テキスト	必要に応じ、適宜資料を配付・案内する。
------	---------------------

参考書	必要に応じ、授業中に適宜案内する
-----	------------------

履修条件・他の科目との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・受講対象は、観光産業への就職を検討している、観光産業に係る卒業研究を検討している、または観光産業に関心が高い学生とする。 ・この科目は国際観光学科1年次開講科目なので、国際観光学科1年次レベル相応の観光や地理の専門性を有している前提で授業します。 専門的な内容が含まれるため、他学科履修の学生は必要に応じ予復習など自習をして対応してもらい前提で進めますので、その点を了承の上で履修すること。 ・専門的な内容が含まれるので、留学生や日本語を母国語としない学生は、授業内容の理解にはN1相当の日本語力が目安となります。 ・授業を受講しながら必要な情報を自身でノートに取る大学生レベルのノートテイキングスキルを有していることを履修の条件とする。 ・社会人基礎力養成の観点から、教員の判断で、授業内ルールを遵守していない、他の受講生の受講の妨げになる行為や不正行為行っているとみなされる場合は、受講を認めないもしくはK評価とする。 加えてピ逃げ等の不正行為や学内の諸ルールに抵触する場合は処罰の対象となる。その点を了承の上で履修すること。 ・第一回授業で本授業のルールや履修条件、評価基準などを説明するため必ず出席すること。やむを得ない事情で出席出来なかった人は必ず第一回授業資料を確認し、全て承諾の上で履修すること。 第一回の内容を遵守していない、把握していない疑義については一切認めない。 ・欠席学生はGoogle Classroom 授業ページ内に掲載の授業資料を参照すること。教員が認めたやむを得ない事由による欠席者については状況に応じて申請ベースで個別に対応する場合がある。
---------------	---

授業コード	13097901	授業形態	講義	実務家教員	○
授業科目名	旅行業概論 [対面]				
シラバス執筆(全員)	森田 浩司				
シラバス執筆(主)	森田 浩司				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

観光産業の中核を担う旅行業の概要や歴史、旅行商品や多岐に渡る旅行業務、旅行業の現状と課題など、旅行業を包括的に概説する。担当教員が旅行業に長く従事した実務経験を基に、実務家教員として、旅行業の具体的な業務内容を説明し、理論と実践への応用を関連付けながら授業を展開する。併せて華やかなイメージで安易に旅行業を志望するのではなく、旅行業の現状を正しく把握した上で志望し職業選択が出来るよう、情報提供することも目的とする。

到達目標

1. 旅行業の概要や歴史、旅行商品、多岐に渡る旅行業務、旅行業の現状と課題について、旅行業を包括的に理解し自ら考察して説明出来るようになる
2. 具体的な旅行業務内容を十分に理解し、現状を正しく把握した上で職業選択が出来るようになる

授業計画

- 第1回 オリエンテーション（授業の目的、目標、授業計画、ルール、評価基準等の説明）
- 第2回 旅行業とは、旅行商品1（募集型企画旅行のつくりと種類）
- 第3回 旅行商品2（募集型企画旅行以外の商品）
- 第4回 旅行業の種類1（総合旅行業、ホールセラー、リテラー、専門特化型旅行業など）、
- 第5回 旅行業の種類2（メディア販売、OTA、ランドオペレーターなど）
- 第6回 旅行業のしくみ、旅行業の販売・広告展開
- 第7回 旅行業の経営特性とマーケット
- 第8回 中間テストと第2回～第7回の振りかえり
- 第9回 旅行業の業務1（募集型企画旅行関連の業務①カウンター営業など）
- 第10回 旅行業の業務2（募集型企画旅行関連の業務②旅行商品企画関連、海外駐在など）
- 第11回 旅行業の業務3（募集型企画旅行関連の業務③添乗業務）
- 第12回 旅行業の業務4（法人旅行、BTM）
- 第13回 旅行業の業務5（MICE関連業務）
- 第14回 旅行業法、旅行業約款の概要
- 第15回 今後の旅行業の課題、旅行業で求められる人材と就職

※受講および受講を検討する学生は、必ず第1回オリエンテーションで説明する授業のルール・評価基準を理解した上で受講すること。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

- ・ 授業内外で主体的に学び、時間外の復習で理解の定着に努める。授業の理解が難しい場合は事前に参考書や関連書籍で十分に予習して授業に臨むこと。
- ・ また、学んだ授業内容を顧みながら、実際の旅行商品パンフレットや旅行会社のカウンター店舗を見たり、旅行会社のホームページを見たり、旅行業就職関連書籍を読んだり、旅行会社のツアーに参加したりするなどして、主体的に楽しみながら理解を深めること。

課題に対するフィードバックの方法

毎回の授業の最後に復習のワークシート問題を実施し、ワークシート提出後に出される解答によりフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
 - 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。
-
- ・ 定期試験、中間テスト、その他により総合的に評価する。
 - ・ 教員が認めた正当な理由がない欠席の回数が、全授業回の3分の1を超過した場合は、「K」評価とし、単位を取得できない
(公欠などがなく通常の15回の受講機会の場合、教員が認めない欠席が6回となった時点で「K」評価となる)
 - ・ 教員が認めた正当な理由なく定期試験、中間テストを欠席した場合は「K」評価とする
 - ・ 当科目では、中間テストならびに定期試験での、資料の持ち込みや閲覧は認めない。したがって、毎授業の予復習や試験勉強が必要になる。
 - ・ 旅行業の実学に係る講義のため、旅行業で求められるマナーや常識、言葉づかい、時間・期限・ルール厳守をはじめとした社会人基礎力を要求した授業進行や評価を行う。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	40	筆記試験(中間テスト/ 第2回～第7回の授業内容の理解度テスト)	1, 2
授業外での評価	0		
定期試験	40	筆記試験(第9回以降の授業内容の理解度テスト)	1, 2
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	20	授業への主体的学修度合(欠席・遅刻の頻発、居眠りの過多、不適切な受講態度などはこの部分に影響することとなる)、ワークシートの状況と成績、社会人基礎力の欠如度合	1, 2

テキスト	必要に応じ、適宜資料を配付・案内する。
------	---------------------

参考書	必要に応じ、授業中に適宜案内する
-----	------------------

履修条件・他の科目との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・受講対象は、基本的には、旅行業や旅行業に関連する内容の卒業研究を検討している、あるいは旅行業や旅行関連産業への就職を希望・検討している学生とする。 加えて、宿泊産業や航空等の運輸業などの観光産業への就職を希望する学生にとって、様々な観光産業と関わり展開する旅行業を理解することは有益なので、そうした学びを希望する学生も対象とする。 ・この科目は国際観光学科2年次開講科目なので、国際観光学科2年次レベル相応の観光や地理の専門性を有している前提で授業します。 専門的な内容が多いため、他学科履修の学生は必要に応じ予復習など自習をして対応してもらう前提で進めますので、その点を了承の上で履修すること。 ・実際の旅行や旅行業に係る事象を扱うことから、国内地理・海外地理や観光産業に関する相応の基礎学力、理解力を有していることを履修の条件とする。 ・専門的な内容が多いため、留学生や日本語を母国語としない学生は、授業内容の理解にはN1相当の日本語力が目安となります。 ・授業を受講しながら必要な情報を自身でノートテイキングスキルを有していることを履修の条件とする。 ・社会人基礎力養成の観点から、教員の判断で、授業内ルールを遵守していない、他の受講生の受講の妨げになる行為や不正行為行っているとみなされる場合は、受講を認めないもしくはK評価とする。 加えて、逃げる等の不正行為や学内の諸ルールに抵触する場合は処罰の対象となる。その点を了承の上で履修すること。 ・第一回授業で本授業のルールや履修条件、評価基準などを説明するため必ず出席すること。やむを得ない事情で出席出来なかった人は必ず第一回授業資料を確認し、全て承諾の上で履修すること。 第一回の内容を遵守していない、把握していない疑義については一切認めない。 ・欠席学生はGoogle Classroom 授業ページ内に掲載の授業資料を参照すること。教員が認めたやむを得ない事由による欠席者については状況に応じて申請ベースで個別に対応する場合がある。
---------------	--

授業コード	13098101	授業形態	講義	実務家教員	○
授業科目名	ホテル・宿泊マネジメント論 [対面]				
シラバス執筆(全員)	長谷川 順一郎				
シラバス執筆(主)	長谷川 順一郎				
開講年次	カリキュラムによる	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

ホテルはビジネスや日常生活において、なくてはならないものになりました。ホテルのタイプは多様ですが、大会議場を備えた複合型ホテル（国際級ホテル）は外国人を含んだ多くの人々が交流する場所です。なお、国際級ホテルとは国内外の目の肥えた利用者も満足させる洗練されたホスピタリティを提供し、宿泊以外のさまざまな機能を備えた多機能型ホテルを指します。必ずしも外資系のホテルとは限りません。

本授業では、まず、ホテルの特徴や魅力について概観します。次に、ホテルの成り立ちや発展の歴史について解説します。その上で、ホテルのタイプと機能、それぞれの特性、魅力などについて論じます。なかでも国際級ホテル、ラグジュアリーホテルに焦点を当てて考察します。担当教員の国際級ホテル、ラグジュアリーホテルにおける実務経験をもとに、実務家教員として、将来ホテル業界で活躍したい人にも役立つ授業を展開します。また、ホテルを見ればその地域の文化がわかると言われるように、ホテルは地域文化の発信拠点でもあります。そして、国際級ホテルはサミットなどの国際会議の舞台となることもあります。従って、国・地域を代表し、国内外からの賓客をお迎えするという大切な社会的役割も有しています。それらを踏まえ、そこで働くことのやりがいや責任等についても論じます。

国際級ホテルは常に厳しい評価に晒されています。なかでも著名な協会・国際機関など第三者による評価・解説（紹介文）はそれぞれのホテルの特徴を端的に表しており注目に値するものです。このようなホテルの国際的かつ客観的な解説も教材として用います。そこでは世界で最も著名なホテルと評されるThe Savoy、世界の最高級ホテルとして名高いClaridge's（ともにロンドン）などを扱う予定です。なお、解説については原典（英文）での解釈を目指しますので、基礎的な英語読解力が必要となります。

到達目標

1. 日本のホテルの特徴や魅力について説明できるようになります。
2. 欧州の著名ホテルの特徴や魅力について原典で理解し説明できるようになります。

授業計画

- 第1回 ガイダンス
目標、課題、受講上の注意等について説明する。
- 第2回 国際級ホテルの特徴や魅力
国際級ホテルの特徴や魅力を大まかにつかむための概観を行う。
- 第3回 日本のホテルの歩みI- 黎明期
黎明期の日本のホテルについて説明する。
- 第4回 日本のホテルの歩みII- 高度経済成長期
高度経済成長期の日本のホテルについて説明する。
- 第5回 日本のホテルの歩みIII- 高度経済成長期以降
高度経済成長期以降の日本のホテルについて説明する。
- 第6回 ホテルの機能I- 宿泊
ホテルの宿泊機能について説明する。
- 第7回 ホテルの機能II- レストラン
ホテルの料飲機能について説明する。
- 第8回 ホテルの機能III- 会議、宴会・婚礼
ホテルの宴会機能について説明する。
- 第9回 ホテルの機能IV- スポーツ・レクリエーション、スパなど
ホテルのレクリエーション機能について説明する。
- 第10回 ホテルの社会・文化的役割、魅力、やりがい
ホテルの役割やその業務のやりがいについて説明する。
- 第11回 国際級ホテルの紹介文（英文）からの理解I-The Savoy
The Savoyの紹介文（英文）を講読する。
- 第12回 国際級ホテルの紹介文（英文）からの理解II-Claridge's
Claridge'sの紹介文（英文）を講読する。
- 第13回 セザール・リッツ、オーギュスト・エスコフィエの功績
業界の先駆者であるリッツとエスコフィエについて説明する。
- 第14回 ホテルの将来展望
今日までの歩みをもとにホテルの将来について展望する。
- 第15回 まとめ
これまでの学修についての総括を行う。

*授業計画はクラスの状況、授業の進行状況によって変更することがあります。あらかじめご理解ください。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

本授業は2単位科目ですので、事前事後の学修としては、週あたり4時間必要となります。授業中に解説されたことはもちろん、授業を通じて気づいたこと、確認したいことなどを忘れなくノートに記します。それをもとにした復習とともに、指示された課題にしっかり取り組みます。

課題に対するフィードバックの方法

毎回の授業の最初に前回の振り返りを行います。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となります。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価となります。

中間（第8回を予定）、期末にレポートが課されます。授業への参加度、予習、復習など、自身の取り組みについての「自己評価」が含まれます。総授業回数の1/3以上欠席した場合、また、連続3回欠席した場合、評価の対象とせず「K」評価となります。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	30	小テスト	1, 2
授業外での評価	20	課題レポート	1, 2
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	50	期末レポート	1, 2
その他	0		

テキスト テキストは使用しません。

参考書 必要に応じて授業中に指示します。

履修条件・他の科目との関連 観光ホスピタリティ関連科目（「ホスピタリティ概論」など）を履修することが望ましいです。
第1回の授業にて受講に関する重要な説明を行いますので必ず出席してください。いずれの授業回においても、理由のいかんに関わらず欠席した場合は、本授業の履修者（複数）に授業内容を聞いてください。配布物は複写させてもらい、課題にも取り組んでください。講義時間は厳守とします。

授業コード	13098201	授業形態	講義	実務家教員	○
授業科目名	ホスピタリティ概論 [対面]				
シラバス執筆(全員)	長谷川 順一郎				
シラバス執筆(主)	長谷川 順一郎				
開講年次	カリキュラムによる	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

わが国でもホスピタリティという言葉はさまざまな方面で広がりを見せており、もはやビジネス用語の域をはるかに超えたものになりました。そして、多種多様な業界がその重要性を認識し、経営指針に積極的に採り入れています。しかし、その解釈において曖昧な部分もありますし、「サービス」と互換的に使用されるケースも見受けられます。そのなかにあつて、ホスピタリティの基本的概念について整理し、本質を知ることは意義深いと言えます。

本授業では、まず、身近にあるホスピタリティについて論じます。次に、ホスピタリティが新聞記事においてどのように扱われているか考察し、さらにホスピタリティに関連する用語、ホスピタリティの起源、三大宗教との関連などについても解説します。それらを理解した上で、ホスピタリティ産業の特性（主に人材と労働）について概説します。ホスピタリティ産業のなかでも中核的役割を果たす国際級ホテルについては、具体的事例を挙げつつ詳しく説明します。

担当教員が国際級ホテルにおいてホスピタリティ提供業務に従事してきた実務経験をもとに、実務家教員として、将来ホスピタリティ業界で活躍したい人にも役立つ授業を展開します。なお、本授業で扱うホスピタリティは必ずしも「face to face」で行われるものに限定しません。

到達目標

1. ホスピタリティの成り立ちについて説明できるようになります。
2. ホスピタリティの基本的概念について説明できるようになります。

授業計画

- 第1回 ガイダンス
目標、課題、受講上の注意等について説明する。
- 第2回 ホスピタリティの基本概念
ホスピタリティとどのようなものか、その基本について説明する。
- 第3回 身近にあるホスピタリティI-他者が他者に対して
他者が他者に対して行ったホスピタリティの事例について紹介、説明する。
- 第4回 身近にあるホスピタリティII-他者が自分に対して
他者が自分に対して行ったホスピタリティの事例について紹介、説明する。
- 第5回 身近にあるホスピタリティIII-自分が他者に対して、など
自分が他者に対して行ったホスピタリティの事例について紹介、説明する。
- 第6回 ホスピタリティの解釈I-新聞記事をもとに
ホスピタリティに関する新聞記事を紹介、説明する。
- 第7回 ホスピタリティの関連用語
新聞記事等で見られるホスピタリティの関連用語について説明する。
- 第8回 ホスピタリティの解釈II-主要な英英辞典をもとに
英英辞典をもとにホスピタリティの概念について説明する。
- 第9回 ホスピタリティの源流
概念としてのホスピタリティの起源について説明する。
- 第10回 ホスピタリティと三大宗教との関連
ホスピタリティと三大宗教の教義との関連について説明する。
- 第11回 ホスピタリティに関する三大宗教の教義と応用
三大宗教の教義をもとにしたホスピタリティの応用について説明する。
- 第12回 ホスピタリティ産業の人材と労働I-採用状況
ホスピタリティ産業の採用状況について説明する。
- 第13回 ホスピタリティ産業の人材と労働II-共通して求められる資質
ホスピタリティ産業において求められる資質について説明する。
- 第14回 ホスピタリティ産業の将来展望
今日までの歩みをもとにホスピタリティ産業の将来について展望する。
- 第15回 まとめ
これまでの学修についての総括を行う。

*授業計画はクラスの状況、授業の進行状況によって変更することがあります。あらかじめご理解ください。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

本授業は2単位科目ですので、事前事後の学修としては、週あたり4時間必要となります。授業中に解説されたことはもちろん、授業を通じて気づいたこと、確認したいことなどをみれなくノートに記します。それをもとにした復習とともに、指示された課題にしっかり取り組みます。

課題に対するフィードバックの方法

毎回の授業の最初に前回の振り返りを行います。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となります。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価となります。

中間（第8回を予定）、期末にレポートが課されます。授業への参加度、予習、復習など、自身の取り組みについての「自己評価」が含まれます。
総授業回数の1/3以上欠席した場合、また、連続3回欠席した場合、評価の対象とせず「K」評価となります。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	30	小テスト	1, 2
授業外での評価	20	課題レポート	1, 2
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	50	期末レポート	1, 2
その他	0		

テキスト	テキストは使用しません。
------	--------------

参考書	必要に応じて授業中に指示します。
-----	------------------

履修条件・他の科目との関連	<p>日頃からホスピタリティに関連すると思われる新聞記事を探して読むようにしてください。観光ホスピタリティ関連科目（「ホテル・宿泊マネジメント論」など）を履修することが望ましいです。</p> <p>第1回の授業にて受講に関する重要な説明を行いますので必ず出席してください。いずれの授業回においても、理由のいかんに関わらず欠席した場合は、本授業の履修者（複数）に授業内容を聞いてください。配布物は複写させてもらい、課題にも取り組んでください。講義時間は厳守とします。</p>
---------------	--

授業コード	13098301	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	エアライン実務 [対面]				
シラバス執筆(全員)	辻 有美子				
シラバス執筆(主)	辻 有美子				
開講年次	2年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

本講義は、航空会社や観光業界への理解が深まるよう、エアライン実務や航空業界について多面的に学び理解することを目標とします。航空業界の歴史や現状をふまえ、時代とともに進化する航空産業について職種や各業務、事業展開や事業戦略、マーケティングやサービスに至るまで幅広い知識を身につけられる授業を展開します。

到達目標

1. 航空業界の仕組みに関する基礎知識を説明できる。
2. 航空業界で求められる人材について説明できる。
3. 授業内容を理解したかについて、小テストやレポートで判断する。

授業計画

- 【第1回】テーマ：オリエンテーション、航空業界で求められる人材と資質について
内容・方法：航空業界で求められる適性や英語力、コミュニケーション能力について概説する。
- 【第2回】テーマ：航空業界の仕組み①航空業界を俯瞰する
内容・方法：航空業界について職種や仕事内容および航空会社やグループ会社、関連会社など組織の仕組みを通して航空業界を学ぶ。
- 【第3回】テーマ：航空輸送の歴史
内容・方法：戦後の民間航空機の発展から自由化・規制緩和、アライアンスやLCC台頭など現在までの航空業界を取り巻く状況や最新情報を学ぶ。
- 【第4回】テーマ：国内および世界の空港事情
内容・方法：国内および世界の主要な空港の特色について、それぞれの特色と役割を学ぶ。
- 【第5回】テーマ：航空業界の仕組み② 企業研究を通して
内容・方法：日本の航空会社についてFSC、MCC、LCCなどの違いやIR情報を調べまとめる。グループワークでSWOT分析し発表する。
- 【第6回】テーマ：航空会社のブランド戦略
内容・方法：航空会社のブランディングについて学ぶ。
- 【第7回】テーマ：FFPとマーケティング
内容・方法：マイレージサービスや航空業界のビジネスモデル、マーケティングについて学ぶ。
- 【第8回】テーマ：空港業務と旅客ハンドリング
内容・方法：旅客の航空機搭乗の流れに関連する空港業務や旅客サービスについて学ぶ。
- 【第9回】テーマ：客室乗務員の業務
内容・方法：客室乗務員の業務と機内サービスの変遷について学ぶ。
- 【第10回】テーマ：特別授業
内容・方法：航空業界経験者による特別講義（講演者の予定により変更の可能性もあります）
- 【第11回】テーマ：CSとホスピタリティ
内容・方法：サービスとホスピタリティの違いやCS（顧客満足）について学ぶ。
- 【第12回】テーマ：安全とリスクマネジメント
内容・方法：航空業界に関連するリスクマネジメントについて要因を分析し、安全対策の取組について学ぶ。
- 【第13回】テーマ：航空DXとSDGs達成に向けて
内容・方法：航空産業の進めるDXや社会貢献に資する事業展開について学ぶ。
- 【第14回】テーマ：航空会社のサービスと未来
内容・方法：航空会社のありかたや採るべき戦略や方向性、未来について学ぶ。
- 【第15回】テーマ：まとめ
内容・方法：これまでの総復習をおこなう。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。
授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。
毎回事前・事後をあわせて4時間の学習が必要です。

課題に対するフィードバックの方法

授業内で作成するレポートや発表については、授業中にフィードバックする。
あるいは授業後の早い段階で、Google Classroomでフィードバックする。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

1. 課題提出と小テスト
2. レポート試験

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	70	各回の授業内容に基づいた小テストや課題で評価する。	1,2,3
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	30	期末試験に代わるレポート	1,2,3
その他	0		

テキスト	テキストは使用せず、必要に応じて配布する。
参考書	必要に応じて授業の中で紹介する。
履修条件・他の科目との関連	ホスピタリティ関連の授業

授業コード	13098401	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	観光社会学 [対面]				
シラバス執筆(全員)	辻 有美子				
シラバス執筆(主)	辻 有美子				
開講年次	3年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

観光は「社会」の一部であり、「社会」に起きたことは、観光にも影響を与えている。時代と共に観光形態も変化してきたが、コロナ禍以降、社会や観光のありかたも大きく変容し、持続可能な社会・持続可能な観光というキーワードが定着している。世界的なグローバル化の進展やインバウンドが日本社会に変化をもたらしている影響も大きく、新しい観光形態や消費行動が出現している。「社会」を「観光」という軸でとらえ、その相互作用に目を向け、理解を深めることを授業の目的とする。

到達目標

1. 観光から現代の文化消費社会について理解し説明できる。
2. 観光がもたらす様々な社会的矛盾について判断できる。
3. 観光文化が現代人の共同性創造にいかに関係しているのか考え説明できる。
4. 観光とメディアとの関係、観光地自体が持つメディア性を発想できる。

授業計画

- 【第1回】 オリエンテーション：授業概要の説明、観光とは何か、社会学とは何か
- 【第2回】 観光社会学とは：社会学と観光、消費社会と観光など、観光社会学の現状と課題
- 【第3回】 観光の歴史①—古代から中世における社会の発展と変容
- 【第4回】 観光の歴史②—近世から近代社会における社会の発展と変容
- 【第5回】 社会現象としての観光の構造と変遷①マストゥリズムの出現と弊害、観光文化と生活文化の対立
- 【第6回】 社会現象としての観光の構造と変遷②ニューツウリズムの出現、コンテンツツウリズムへの展開
- 【第7回】 中間のまとめと小テスト実施
- 【第8回】 ポストツウリズムと真正性：現実への観光と虚構への観光
- 【第9回】 社会のディズニーランド化について考える
- 【第10回】 コロナ禍以降の観光の新たな消費形態：いつもの場所が地域資源に
- 【第11回】 観光とメディアとSNS：観光地自体が持つメディア性、拡散するイメージを考える
- 【第12回】 「虚構観光」について考える①マンガ・アニメの聖地を考える—『らき☆すた』、『スラムダンク』を中心に—
- 【第13回】 「虚構観光」について考える②エスニシティを考える—新大久保、鶴橋を中心に—
- 【第14回】 お客様社会と感情労働：観光分野にみる感情労働
- 【第15回】 まとめ：観光はどこに向かっているのか？観光に対して社会学はどのように向き合うべきか

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。
 前回までの講義内容を確認し復習しておくこと。また、日頃より観光業界の動向について新聞や専門誌などを用いて情報収集を行うこと。

課題に対するフィードバックの方法

毎回コメントシートを提出する。その内容について、次週返却する。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

毎回求めるコメント、課題提出、定期試験に代わるレポート、授業態度により総合的に判断し、60点以上を合格とする。

正当な理由がない欠席6回以上、課題提出が著しく悪い、定期試験に代わるレポート未提出、これらの場合は評価対象とはしない。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	30	小テスト(30)	1,2,3,4

授業外での評価	20	小レポートの課題を数回課する。テーマは授業中に指示するのでできる限り欠席しないように。	1,2,3,4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	50	学習したこと全体からテーマを絞り、レポート課題をおこなう。 テーマは複数準備するので、その中から選択して提出をしてもらう。 テーマやボリューム、提出期限、提出方法など詳細は授業中に説明をする。	1,2,3,4
その他	0		

テキスト	安村克己他(2011)『よくわかる観光社会学』ミネルヴァ書房		
------	--------------------------------	--	--

参考書	岡本健(2018)『巡礼ビジネス -ポップカルチャーが観光資産になる時代-』KADOKAWA 遠藤秀樹他(2019)『現代観光学』新曜社 遠藤秀樹編著(2021)『アフターコロナの観光学-COVID19以後の「新しい観光様式」』新曜社 須藤廣他(2022)『よくわかる観光コミュニケーション論』ミネルヴァ書房		
-----	---	--	--

履修条件・他の科目との関連	講義を主体とするが、その場でグループワークも行う。 授業内で小テストを行い、また、レポート課題も授業内で提示する。		
---------------	--	--	--

授業コード	13098501	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	インバウンドマーケティング論 [対面]				
シラバス執筆(全員)	森田 浩司				
シラバス執筆(主)	森田 浩司				
開講年次	3年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

【授業の目的】

主に国際観光学科の学生で、インバウンド（訪日外国人）観光をテーマにした卒業研究を予定・検討する学生を対象とし、研究の基盤となる内容・知識等を修得することを目的とする。

【概要】

2013年に1,000万人の大台を超えたインバウンド観光客（訪日外国人観光客）は、以降急増し2018年には3,000万人を超えた。
 コロナ禍で一時大幅減少したものの、コロナ後は再び急増して日本全国のインバウンド観光客数はコロナ前を上回る数となってきている。
 インバウンド観光の進展は日本に対する国際理解を促進するとともに、日本の国際収支を改善し地域経済を活性化する可能性を有し注目されている。
 さらに近年の日本の観光振興や観光産業において、インバウンド観光はもはや避けては通れないほどの状況となっている。
 一方で、インバウンド観光は、疫病や天変地異、国際紛争やテロなどの外交・政治等の外的要因の影響を受けやすく、国内旅行者より不安定要素が多い課題もある。
 またインバウンド客数急増が日本各地でオーバーツーリズムの弊害をもたらし、法令遵守の希薄さや外国人の不法滞在に繋がるなどの弊害が、日本社会に不安定化をもたらし、社会問題化している。
 本講義では、こうしたインバウンド観光の概要、歴史や動向、現状、関連産業、今後の課題など、インバウンド観光のマーケティングに際し、理解しておくべき内容について包括的に概説する。

到達目標

1. インバウンド観光の概要、歴史や動向、振興、現状、関連産業、今後の課題など、インバウンド観光のマーケティングにおいて理解しておくべき内容について理解し説明できるようになる。

授業計画

- 第1回 オリエンテーション（授業の目的、目標、授業計画、ルール、評価基準等の説明）、インバウンドとは、インバウンド観光の意義
- 第2回 国際観光市場、訪日外国人観光の歴史
- 第3回 訪日外国人観光の2000年代以降の動向と特徴
- 第4回 訪日外国人旅行者の消費
- 第5回 訪日外国人旅行者の送客市場の概要
- 第6回 訪日外国人観光の振興
- 第7回 訪日外国人旅行者への対応
- 第8回 中間テストと第1回～第7回の授業内容の振りかえり
- 第9回 訪日外国人観光関連ビジネス①（インバウンドビジネスとは、旅行業、宿泊業）
- 第10回 訪日外国人観光関連ビジネス②（鉄道、航空、道路交通、観光土産、ショッピング、飲食、観光施設、エンターテインメント、インバウンド支援ビジネス）
- 第11回 日本各地のインバウンド観光取組事例
- 第12回 訪日外国人観光の課題1（観光公害の概要、クルーズ、客室不足と民泊、地方への誘客など）
- 第13回 訪日外国人観光の課題2（住民と旅行者の共存、インバウンド観光振興の資金調達など）
- 第14回 訪日外国人観光の弊害の現状と影響・今後の対応1（オーバーツーリズムの弊害）
- 第15回 訪日外国人観光の弊害の現状と影響・今後の対応2（インバウンド観光受け入れが日本社会にもたらしている弊害）

※受講および受講を検討する学生は、必ず第1回オリエンテーションで説明する授業のルール・評価基準を理解した上で受講すること。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

- ・ 授業内外で主体的に学び、時間外の復習で理解の定着に努める。授業の理解が難しい場合は、図書館等で参考書や関連書籍を入手し基礎学力・知識を補った上で授業に臨むこと。
- ・ また、学んだインバウンド観光に関するテレビ番組や本・雑誌を見たり、実際にインバウンド観光客の多い観光地を訪問し、授業内容を顧みながら観察するなど、主体的に楽しみながら理解を深めること。

課題に対するフィードバックの方法

毎回の授業の最後に復習のワークシート問題を実施し、ワークシート提出後に出される解答によりフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

- ・定期試験、中間テスト、その他により総合的に評価する。
- ・教員が認めた正当な理由がない欠席の回数が、全授業回の3分の1を超過した場合は、「K」評価とし、単位を取得できない
(公欠などがなく通常の15回の受講機会の場合、教員が認めない欠席が6回となった時点で「K」評価となる)
- ・教員が認めた正当な理由なく定期試験、中間テストを欠席した場合は「K」評価とする
- ・当科目では、中間テストならびに定期試験での、資料の持ち込みや閲覧は認めない。したがって、毎授業の予復習や試験勉強が必要になる。
- ・観光に係る実学として、インバウンド観光や国際観光関連産業で求められるマナーや常識、言葉づかい、時間・期限・ルール厳守をはじめとした社会人基礎力を要求した授業進行や評価を行う。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	40	筆記試験(中間テスト/ 第1回～第7回の授業内容の理解度テスト)	1
授業外での評価	0		
定期試験	40	筆記試験(第9回以降の授業内容の理解度テスト)	1
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	20	授業への主体的学修度合(欠席・遅刻の頻発、居眠りの過多、不適切な受講態度などはこの部分に影響することとなる)、ワークシートの状況と成績、社会人基礎力の欠如度合	1

テキスト	必要に応じ、適宜資料を配付・案内する。
------	---------------------

参考書	必要に応じ、授業中に適宜案内する
-----	------------------

履修条件・他の科目との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・受講対象は、主に国際観光学科において、インバウンド観光や国際観光に係る卒業研究を検討している学生、またはインバウンド観光や国際観光関連産業への就職を希望している学生とする。 ・この科目は国際観光学科3年次開講科目なので、国際観光学科3年次レベル相応の観光や地理の専門性を有している前提で授業します。 専門的な内容が多いため、他学科履修の学生は、各自で必要に応じ予復習など自習をして対応してもらおう前提で進めますので、その点を了承の上で履修すること。 ・実際のインバウンド観光ビジネスに係る事象を扱うことから、難度の高い内容も含まれるため、観光産業や国内地理・海外地理に関する相応の学力、理解力を有していること ・専門的な内容が多いため、留学生や日本語を母国語としない学生は、授業内容の理解にはN1相当の日本語力が目安となります。 ・授業を受講しながら必要な情報を自身でノートに取る大学生レベルのノートテイキングスキルを有していることを履修の条件とする。 ・社会人基礎力養成の観点から、教員の判断で、授業内ルールを遵守していない、他の受講生の受講の妨げになる行為や不正行為を行っているときみなされる場合は、受講を認めないもしくはK評価とする。 加えてピ逃げ等の不正行為や学内の諸ルールに抵触する場合は処罰の対象となる。その点を了承の上で履修すること。 ・第一回授業で本授業のルールや履修条件、評価基準などを説明するため必ず出席すること。やむを得ない事情で出席出来なかった人は必ず第一回授業資料を確認し、全て承諾の上で履修すること。 第一回授業の内容を遵守していない、把握していない疑義については一切認めない。 ・欠席学生はGoogle Classroom 授業ページ内に掲載の授業資料を参照すること。教員が認めたやむを得ない事由による欠席者については状況に応じて申請ベースで個別に対応する場合がある。
---------------	---

授業コード	13098601	授業形態	講義	実務家教員	○
授業科目名	ブライダル総論 [対面]				
シラバス執筆(全員)	長谷川 順一郎				
シラバス執筆(主)	長谷川 順一郎				
開講年次	3年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

日本で使われる「ブライダル」は厳密には和製英語でその解釈はやや曖昧なところがあります。結婚の儀式、つまり結婚式のみを指すこともあります。しかし、本授業では、結婚式だけでなく、披露宴、そして、それらに先立って行われる婚約に関する儀式・行事全体をブライダルとして捉えます。

ブライダルは「人生最大のイベントの一つ」に挙げられます。新郎・新婦、親族、招待客、仲人など、人々は何らかのかたちでブライダルに参加します。学生の皆さんも卒業して企業・団体等で勤務するようになると、同僚や友人などの結婚式・披露宴に招待される機会も多くなります。その点ではブライダルは身近なイベントとも言えます。

ブライダルは時代背景や国・地域、宗教によっても変化や違いが見られます。本授業では、わが国および外国におけるブライダルの歴史の変遷、文化、慣習、しきたりについて論じます。市場規模が大きいことから、国際級ホテルのブライダルを中心に考察します。

担当教員の観光ホスピタリティ業界における実務経験をもとに、実務家教員としてブライダル関連業務に関する理論と実践への応用を関連付けながら授業を展開します。

到達目標

1. ブライダルとは何か、その基本について説明できるようになります。
2. ブライダルに関連した文化について説明できるようになります。

授業計画

- 第1回 ガイダンス
目標、課題、受講上の注意等について説明する。
- 第2回 ブライダルの基本用語解説I-結婚式、披露宴など
「結婚式」、「披露宴」（ブライダルの基本用語）について説明する。
- 第3回 ブライダルの基本用語解説II-ウエディング、マリッジなど
「ウエディング」、「マリッジ」（ブライダルの基本用語）について説明する。
- 第4回 結婚の定義
結婚とは何か、その定義について説明する。
- 第5回 結婚の価値観
さまざまな結婚の価値観について説明する。
- 第6回 結婚の歴史
結婚という形態がどのように始まり、進化してきたか説明する。
- 第7回 結婚に関する法律
結婚することによる法律上の利点等について説明する。
- 第8回 前婚儀式I-正式な結納
日本における正式な結納について説明する。
- 第9回 前婚儀式II-その他の結納
前婚儀式には正式な結納以外にもさまざまなかたちがある。それらについて説明する。
- 第10回 結婚式の種類とその特性I-キリスト教式
キリスト教式の結婚式について説明する。
- 第11回 結婚式の種類とその特性II-神前式、人前式、など
キリスト教式以外の結婚式について説明する。
- 第12回 披露宴（祝宴）の意味
披露宴（祝宴）の目的や飲食をともしする意味などについて説明する。
- 第13回 世界の結婚式、披露宴I-欧米
欧米の結婚式、披露宴について概観し説明する。
- 第14回 世界の結婚式、披露宴II-アジア、その他の地域
アジア、その他の地域の結婚式、披露宴について概観し説明する。
- 第15回 まとめ
これまでの学修についての総括を行う。

*授業計画はクラスの状況、授業の進行状況によって変更することがあります。あらかじめご理解ください

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

本授業は2単位科目ですので、事前事後の学修としては、週あたり4時間必要となります。授業中に解説されたことはもちろん、授業を通じて気づいたこと、確認したいことなどをみれなくノートに記します。それをもとにした復習とともに、指示された課題にしっかり取り組みます。

課題に対するフィードバックの方法

毎回の授業の最初に前回の振り返りを行います。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となります。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価となります。

中間（第8回を予定）、期末にレポートが課されます。授業への参加度、予習、復習など、自身の取り組みについての「自己評価」が含まれます。
総授業回数の1/3以上欠席した場合、また、連続3回欠席した場合、評価の対象とせず「K」評価となります。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	30	小テスト	1, 2
授業外での評価	20	課題レポート	1, 2
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	50	期末レポート	1, 2
その他	0		

テキスト テキストは使用しません。

参考書 必要に応じて授業中に指示します。

履修条件・他の科目との関連 観光ホスピタリティ関連科目（「ホスピタリティ概論」、「ホテル・宿泊マネジメント論」など）を履修することが望ましいです。

第1回の授業にて受講に関する重要な説明を行いますので必ず出席してください。いずれの授業回においても、理由のいかんに関わらず欠席した場合は、本授業の履修者（複数）に授業内容を聞いてください。配布物は複写させてもらい、課題にも取り組んでください。講義時間は厳守とします。

授業コード	13108401	授業形態	演習	実務家教員	<input type="radio"/>
授業科目名	旅行業演習 [対面]				
シラバス執筆(全員)	森田 浩司				
シラバス執筆(主)	森田 浩司				
開講年次	3年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

受講対象は、主に国際観光学科において、旅行業や旅行関連業界への就職を検討している学生、および旅行業に関する卒業研究を行う/行う予定の学生とする。
 主な旅行業務の内容および業務遂行にあたり必要な知識を、講義で説明し、可能な限りロールプレイングやプレゼン発表等の演習を通じて学修していく場を提供することを目的とする。
 担当教員が旅行業に長く従事した実務経験を基に、実務家教員として、「旅行業実務」に関する理論と実践への応用を関連付けながら授業を展開する。
 また学生が旅行業の具体的な業務を学修し演習していくことを通じて、華やかなイメージで安易に旅行業を志望するのではなく、旅行業の現状を正しく把握した上で志望し、よりよい職業選択が出来るよう情報提供も行っていく。

到達目標

1. 主な旅行業務の内容および業務遂行にあたり必要な知識を理解・習得した上で、説明したり実践したりできるようになる。

授業計画

- 第1回 オリエンテーション（授業の目的、目標、授業計画、ルール、評価基準等の説明）
 第2回 国内旅行商品販売1（販売業務の流れ）
 第3回 国内旅行商品販売2（販売業務の流れ（つづき）、国内企画旅行商品販売のためのパンフレットの理解）
 第4回 国内旅行商品販売3（国内宿泊販売の理解、国内総合旅行商品の手配・販売）
 第5回 国内旅行商品販売4（国内旅行商品販売演習）
 第6回 国内旅行商品販売5（国内総合旅行商品販売演習）
 第7回 海外旅行商品販売1（海外旅行商品販売に必要な知識1〈時差、空港/都市コード等〉）
 第8回 海外旅行商品販売2（海外旅行商品販売に必要な知識2〈航空関連〉）
 第9回 海外旅行商品販売3（海外旅行商品販売に必要な知識3〈宿泊・渡航手続関連〉）
 第10回 海外旅行商品販売4（海外企画旅行商品販売のためのパンフレットの理解、販売手順）
 第11回 海外旅行商品販売5（販売手順（つづき）、海外企画旅行商品販売演習）
 第12回 旅行商品企画の概要
 第13回 旅行商品企画演習1（旅行商品企画準備・作成）
 第14回 旅行商品企画演習2（旅行商品企画発表）
 第15回 旅行商品企画演習3（旅行商品企画発表つづき）、まとめ

※受講および受講を検討する学生は、必ず第1回オリエンテーションで説明する授業のルール・評価基準を理解した上で受講すること

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

- ・授業内外で主体的に学び、時間外の復習で理解の定着に努める。授業の理解が難しい場合は、図書館等で参考書や関連書籍を入手し基礎学力・知識を補った上で授業に臨むこと。
- ・授業前に準備や調査、練習が必要な場合は、必ず実践してから授業に参加すること
- ・学んだ内容に関するテレビ番組や本・雑誌を見たり、実際に旅行会社店舗を見たり利用したりして、提供されるサービスを、授業内容を顧みながら体験・観察するなどして、主体的に楽しみながら理解を深めること。

課題に対するフィードバックの方法

- ・授業内で解説・講評する

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
 - 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。
- ・定期試験、授業内での演習（内容と取組状況）、その他により総合的に評価する。
 ・教員が認めた正当な理由がない欠席の回数が、全授業回の3分の1を超過した場合は、「K」評価とし、単位を取得できない
 （公欠などがなく通常の15回の受講機会の場合、教員が認めない欠席が6回となった時点で「K」評価となる）
 ・教員が認めた正当な理由なく定期試験を欠席した場合は「K」評価とする
 ・科目では、定期試験での資料の持ち込みや閲覧は認めない。したがって、毎授業の予復習や試験勉強が必要になるので、その点を十分理解した上で受講すること。
 ・旅行業は、お客様はもちろん様々な立場の人達との関わりや協業が不可欠であることから、マナーや常識、言葉づかい、社会性、時間・期限・ルール厳守をはじめとした社会人基礎力を要求した授業進行や評価を行う。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	演習や課題の成果物やプレゼンテーションの内容	1
授業外での評価	0		
定期試験	20	筆記試験	1
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	30	授業での積極的な発言や取組状況(10)、演習や課題への授業内外での取組状況(10)、旅行業で求められる社会人基礎力の到達度(10)を基に評価する	1

テキスト	必要に応じ、適宜資料を配付・案内する。
------	---------------------

参考書	必要に応じ、授業中に適宜案内する
-----	------------------

履修条件・他の科目との関連	<p>・この科目は国際観光学科3年次開講科目なので、国際観光学科3年次レベル相応の観光や地理の専門性を有している前提で授業します。 専門的な内容が多いため、他学科履修の学生は、必要に応じ予復習など自習をして対応してもらう前提で進めますので、その点を了承の上で履修すること。</p> <p>・国際観光学科2年次開講「旅行業概論」の授業内容を理解している前提で進めるので、基本的に「旅行業概論」を受講済で、かつ相応の成績を残している学生を対象とする。 (「旅行業概論」を受講していない場合、「旅行業概論」を並行して受講する場合は受講可。ただしその場合、旅行業務取扱管理者資格有資格者や試験受験者、旅程管理主任者研修受講者であることが望ましい。)</p> <p>・加えて、国内旅行業務取扱管理者資格取得対策講座Ⅰ・Ⅱ、旅行業実務、国内観光資源、海外観光資源、観光産業論のうち2科目以上受講済で、かつ相応の成績を残していることが望ましい</p> <p>・専門的な内容が多いため、留学生や日本語を母国語としない学生は、授業内容の理解にはN1相当の日本語力が目安となります。</p> <p>・授業を受講しながら必要な情報を自身でノートに取る大学生レベルのノートテイキングスキルを有していることを履修の条件とする。</p> <p>・社会人基礎力養成の観点から、教員の判断で、授業内ルールを遵守していない、他の受講生の受講の妨げになる行為や不正行為を行っているときみなされる場合は、受講を認めないもしくはK評価とする。 加えてピ逃げ等の不正行為や学内の諸ルールに抵触する場合は処罰の対象となる。その点を了承の上で履修すること。</p> <p>・第一回授業で本授業のルールや履修条件、評価基準などを説明するため必ず出席すること。やむを得ない事情で出席出来なかった人は必ず第一回授業資料を確認し、全て承諾の上で履修すること。 第一回の内容を遵守していない、把握していない疑義については一切認めない。</p> <p>・欠席学生はGoogle Classroom 授業ページ内に掲載の授業資料を参照すること。教員が認めたやむを得ない事由による欠席者については状況に応じて申請ベースで個別に対応する場合がある。</p>
---------------	--

授業コード	13108701	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	ホテル実務演習 [対面]				
シラバス執筆(全員)	長谷川 順一郎				
シラバス執筆(主)	長谷川 順一郎				
開講年次	3年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

ホテルの実務について学びます。ホテルのタイプは多様ですが、複数の飲食施設、大会議場などを備え、国内外の目の肥えた利用者も満足させる洗練されたホスピタリティを提供する複合型ホテル（国際級ホテル）を主な研究対象とします。

本授業では、まず国際級ホテルの特徴について確認します。その後、具体的な業務について学修します。国際級ホテルは数多くの部署で構成されており、部署および場面ごとにさまざまな対応が求められます。部署および場面ごとの基本的な業務内容を把握した上で、それら実務について、日本語と英語両方で学修します。当然ながら、日本語と英語ともに敬意表現が中心となります。

また、国際級ホテルの利用についてはフォーマルな機会であることが多く、サービス提供側だけでなく、サービスを受ける側も関連する作法についての基礎知識が求められます。なかでも、食事、服装に関する作法は重要視されます。本授業では、食事作法、主に洋食（フランス料理）の食事文化についても概説します。

事例研究として、履修者各自で関心のある関西の国際級ホテルを視察し、そこで得た知見について発表し、かつ、それをもとにした討議を行います。

なお、科目の性質上、履修者は少人数となることを想定しています。詳細は第1回の授業で説明します。

到達目標

1. 国際級ホテルの特徴および具体的な業務について説明できるようになります。
2. 国際級ホテルの基礎的業務を身につけることができます。

授業計画

- 第1回 ガイダンス
目標、課題、受講上の注意等について説明する。
- 第2回 国際級ホテルの特徴
国際級ホテルの特徴について確認する。
- 第3回 国際級ホテルの社会的責任
国際級ホテルの社会的責任やそこで勤務するやりがいについて確認する。
- 第4回 国際級ホテルの主な部署と役割
国際級ホテルの主な部署と役割について学修する。
- 第5回 国際級ホテルにおける業務① 宿泊予約課（日本語編）
宿泊予約課の業務を学修する（日本語）。
- 第6回 国際級ホテルにおける業務① 宿泊予約課（英語編）
宿泊予約課の業務を学修する（英語）。
- 第7回 国際級ホテルにおける業務② ベルパーソン（日本語編）
ベルパーソンの業務を学修する（日本語）。
- 第8回 国際級ホテルにおける業務② ベルパーソン（英語編）
ベルパーソンの業務を学修する（英語）。
- 第9回 国際級ホテルにおける業務③ フロントレセプション（日本語編）
フロントレセプションの業務を学修する（日本語）。
- 第10回 国際級ホテルにおける業務③ フロントレセプション（英語編）
フロントレセプションの業務を学修する（英語）。
- 第11回 食事文化（食事作法）
食事作法、主にフランス料理の食事文化について学修する。
- 第12回 事例研究① 関西の国際級ホテルについての発表・討議
履修者が実際に訪問した国際級ホテルについての発表・討議を行う。
- 第13回 事例研究② 関西の国際級ホテルについての発表・討議
履修者が実際に訪問した国際級ホテルについての発表・討議を行う。
- 第14回 事例研究③ 関西の国際級ホテルについての発表・討議
履修者が実際に訪問した国際級ホテルについての発表・討議を行う。
- 第15回 まとめ
これまでの学修についての総括を行う。

*授業計画はクラスの状態、授業の進行状況によって変更することがあります。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

本授業は2単位科目ですので、事前事後の学修としては、週あたり4時間必要となります。

授業中に解説されたことはもちろん、授業を通じて気づいたこと、確認したいことなどを漏れなくノートに記します。それをもとにした復習とともに、指示された課題にしっかり取り組みます。

課題に対するフィードバックの方法

毎回の授業の最初に前回の振り返りを行います。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となります。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価となります。

中間(第8回を予定)、期末にレポートが課されます。授業への参加度、予習、復習など、自身の取り組みについての「自己評価」が含まれます。この「自己評価」が期限までに提出されない場合、「K」評価となります。総授業回数の1/3以上欠席した場合、また、連続3回欠席した場合も、成績評価の対象とならず「K」評価となります。授業は定刻に開始します。遅刻2回で1回分の欠席扱いとします。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	30	小テスト	1, 2
授業外での評価	20	課題レポート	1, 2
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	50	期末レポート	1, 2
その他	0		

テキスト テキストは使用しません。

参考書 必要に応じて授業中に指示します。

履修条件・他の科目との関連 観光ホスピタリティ関連科目(「ホスピタリティ概論」「ホテル・宿泊マネジメント論」など)を履修することが望ましいです。
第1回の授業にて受講に関する重要な説明を行いますので必ず出席してください。いずれの授業回においても、理由のいかんに関わらず欠席した場合は、本授業の履修者(複数)に授業内容を聞いてください。配布物は複写させてもらい、課題にも取り組んでください。講義時間は厳守とします。

授業コード	13098801	授業形態	講義	実務家教員	○
授業科目名	世界遺産ツーリズム [対面]				
シラバス執筆(全員)	長谷川 順一郎				
シラバス執筆(主)	長谷川 順一郎				
開講年次	3年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

世界遺産は1972年のユネスコ総会で採択された「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」に基づいて世界遺産リストに登録された、人類が共有すべき顕著な普遍的価値を有する自然、記念建造物、遺跡などを指します。文化遺産、自然遺産、複合遺産に分類されます。世界遺産は保護・保全の対象となるとともに、貴重な観光資源として国内外の多くの観光者の関心を集めます。

まず、代表的な世界遺産を取り上げ、その特徴や魅力を概観します。その後、世界遺産の成り立ちと「世界の文化遺産、自然遺産の保護に関する条約」の趣旨等から、ユネスコによる世界遺産の理念やしくみについて説明します。そして、日本の世界遺産を中心に、サステイナブル・ツーリズムについての事例も挙げて解説します。

担当教員の観光ホスピタリティ業界における国際的実務経験をもとに、実務家教員として世界遺産を中心とした国際観光に関する理論と実践への応用を関連付けながら授業を展開します。

テキストは『きほんを学ぶ世界遺産100 世界遺産検定 3級公式テキスト』（第5版）世界遺産検定事務局著（NPO法人世界遺産アカデミー、2025年）を使用します（9月中に本学のブックセンターにて必ず購入してください）。本授業で扱う遺産はこの「世界遺産検定 3級」の対象遺産と同じとします。本授業での学びをもとに自主的な学修を積んだうえで、12月に実施される検定試験の受検を奨励します。（ただし、本授業は検定試験の「対策講座」ではありませんのでご注意ください）

到達目標

1. 世界遺産の成り立ち、理念、しくみについて説明できるようになります。
2. 主な世界遺産の特徴やそこでのサステイナブル・ツーリズムについての取り組みについて説明できるようになります。

授業計画

- 第1回 ガイダンス
目標、課題、受講上の注意等について説明する。
- 第2回 世界遺産検定（3級）
世界遺産検定の概要、そして、その3級の対象範囲等について説明する。
- 第3回 世界遺産の概観I（イタリア、ギリシャ、エジプト）
世界遺産の特徴や魅力について概観する。
- 第4回 世界遺産の概観II（アメリカ、フランス）
世界遺産の特徴や魅力について概観する。
- 第5回 世界遺産の概観III（インド、エクアドル、チリ）
世界遺産の特徴や魅力について概観する。
- 第6回 世界遺産条約
第17回ユネスコ総会において採択された世界遺産条約について説明する。
- 第7回 世界遺産の成り立ち
世界遺産条約誕生のきっかけについて説明する。
- 第8回 世界遺産の申請と登録
世界遺産の申請に必要な5つの条件などについて説明する。
- 第9回 日本の世界遺産-白川郷I（自然環境との関連など）
日本の世界文化遺産である白川郷の特徴（主に自然環境）について説明する。
- 第10回 日本の世界遺産-白川郷II（地場産業など）
日本の世界文化遺産である白川郷の特徴（主に地場産業）について説明する。
- 第11回 日本の世界遺産-白神山地
日本の世界自然遺産である白神山地の特徴について説明する。
- 第12回 サステイナブル・ツーリズムと世界遺産
サステイナブル・ツーリズムと世界遺産の関連について具体的事例を挙げて説明する。
- 第13回 事例研究I-関西の世界遺産（京都府など）
『古都京都の文化財』など、関西の世界遺産について説明する。
- 第14回 事例研究II-関西の世界遺産（奈良県など）
『古都奈良の文化財』など、関西の世界遺産について説明する。
- 第15回 まとめ
これまでの学修についての総括を行う。

* 授業計画はクラスの状況、授業の進行状況によって変更することがあります。あらかじめご理解ください。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

本授業は2単位科目ですので、事前事後の学修としては、週あたり4時間必要となります。授業中に解説されたことはもちろん、授業を通じて気づいたこと、確認したいことなどを忘れなくノートに記します。それをもとにした復習とともに、指示された課題にしっかり取り組みます。

課題に対するフィードバックの方法

毎回の授業の最初に前回の振り返りを行います。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となります。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価となります。

中間（第8回を予定）、期末にレポートが課されます。授業への参加度、予習、復習など、自身の取り組みについての「自己評価」が含まれます。この「自己評価」が期限までに提出されない場合、「K」評価となります。総授業回数の1/3以上欠席した場合、また、連続3回欠席した場合も、成績評価の対象とならず「K」評価となります。授業は定刻に開始します。遅刻2回で1回分の欠席扱いとします。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	30	小テスト	1, 2
授業外での評価	20	課題レポート	1, 2
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	50	期末レポート	1,2
その他	0		

テキスト	『きほんを学ぶ世界遺産100 世界遺産検定3級公式テキスト(第5版)世界遺産検定事務局著 (NPO法人世界遺産アカデミー、2025年)』
------	--

参考書	必要に応じ授業中に指示します。
-----	-----------------

履修条件・他の科目との関連	<p>テキストは2年に1度改訂されます。必ず最新版(第5版)を購入してください。テキストのない学生の履修は認められません。</p> <p>上述しましたように、本授業は「世界遺産検定3級」合格に向けた対策講座ではありません。広く世界遺産に関心がある履修者を対象とします。「世界遺産検定3級」に合格するためには、本科目の受講だけでなく、自主的な学修も必要となりますのでご注意ください。</p> <p>第1回の授業にて受講に関する重要な説明を行いますので必ず出席してください。いずれの授業回においても、理由のいかんに関わらず欠席した場合は、本授業の履修者(複数)に授業内容を聞いてください。配布物は複写させてもらい、課題にも取り組んでください。講義時間は厳守とします。</p>
---------------	---

授業コード	13098901	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	地域振興論 [対面]				
シラバス執筆(全員)	辻 有美子				
シラバス執筆(主)	辻 有美子				
開講年次	3年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

本講義では、日本国内の地域振興について現状を把握し理解を深め、地域振興に寄与するアクションについて考えられるような力を身につける。地方の時代といわれるものの少子高齢化・人口減少社会に伴い、地方の過疎化は進み、地域活性化という点においては非常に厳しい局面を迎えている。地域が抱える課題について理解し講義とグループワークを通じて深掘りする。

到達目標

1. 地域振興について、背景や経緯、事例、課題等について、理解し説明できるようになる。
2. 観光振興について、背景や経緯、事例、課題等について、理解し説明できるようになる。

授業計画

- 【第1回】 オリエンテーション
- 【第2回】 地域の現状①少子高齢化と人口減少
- 【第3回】 地域の現状②一次産業の衰退
- 【第4回】 地域の現状③シャッター商店街と空き家問題
- 【第5回】 グローバリゼーションとエスニックシティ
- 【第6回】 エリアマネジメントとコンパクトシティ
- 【第7回】 地域ブランディング
- 【第8回】 中間テストと第2回～第7回の授業内容のふりかえり
- 【第9回】 移住と関係人口
- 【第10回】 6次産業化
- 【第11回】 観光による地域振興
- 【第12回】 持続可能な地域づくり
- 【第13回】 地域振興のブランドづくり①課題解決の企画を考える
- 【第14回】 地域振興のブランドづくり②課題解決の企画を考える
- 【第15回】 まとめとふりかえり

※受講および受講を検討する学生は、必ず第1回オリエンテーションで説明する授業のルール・評価基準を理解した上で受講すること。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。
 ・授業内外で主体的に学び、時間外の復習で理解の定着に努める。授業の理解が難しい場合は、図書館等で参考書や関連書籍を入手し基礎学力・知識を補った上で授業に臨むこと。
 ・また、学んだ内容に関するテレビ番組や本・雑誌を見たり、実際に旅行をして、地域が観光まちづくりの一環として提供するサービスを、授業内容を顧みながら体験・観察するなどして、主体的に楽しみながら理解を深めること。

課題に対するフィードバックの方法

授業内で作成するレポートや発表については、授業中に即座にフィードバックする。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
 - 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。
-
- ・小テスト、その他により成績を評価する。
 - ・正当な理由なく定期試験、中間テストを欠席した場合は「K」評価とする

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	40	小テスト	1, 2
授業外での評価	0		
定期試験	0		

定期試験に代わるレポート等	40	課題レポート	1,2
その他	20	グループワークへの主体的参加、ワークシートの状況など	1, 2

テキスト	必要に応じ、適宜資料を配付・案内する。		
------	---------------------	--	--

参考書	必要に応じ、授業中に適宜案内する		
-----	------------------	--	--

履修条件・他の科目との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・受講対象は、主に国際観光学科において観光まちづくりをはじめとする地域振興に関する卒業研究を行う/行う予定の学生、またはこれらの関連業界への就職を検討している学生とする。 ・実際の地域振興や観光まちづくりに係る事象や事例を扱うことから難度の高い内容も含まれるため、観光学、観光産業、国内地理に関する相応の学力、理解力を有していること ・地域振興・観光まちづくりは様々な立場の人達との関わりや協業が不可欠であることから、マナーや常識、言葉づかい、社会性、時間・期限・ルール厳守をはじめとした社会人基礎力を要求した授業進行や評価を行う。 ・授業を受講しながら必要な情報を自身でノートに取る大学生レベルのノートテイキングスキルを有していることを履修の条件とする。 ・授業内ルールを遵守しない者、主体的に前向きに学ぶ学生の学びの妨げになる行為を行う者の受講は認めない。 ・受講および受講を検討する学生は、必ず第1回オリエンテーションで説明する授業のルール・評価基準を理解した上で受講すること。 ・欠席学生はGoogle Classroom 授業ページ内に掲載の授業資料を参照すること。教員が認めたやむを得ない事由による欠席者については状況に応じて申請ベースで個別に対応する場合がある。 		
---------------	--	--	--

授業コード	13108501	授業形態	講義	実務家教員	<input type="radio"/>
授業科目名	ツーリズム論 [対面]				
シラバス執筆(全員)	森田 浩司				
シラバス執筆(主)	森田 浩司				
開講年次	3年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

【授業の目的】

国際観光学科の学生で、当該テーマ（エコツーリズムなど〇〇ツーリズムと称される各種ツーリズム）で卒業研究を予定・検討する学生を対象とし、研究の基盤となる内容、知識等を修得することを目的とする

【概要】

所得の増加による余暇の増大や旅行の大衆化、情報化の進展とそれに伴うレジャー・余暇の多様化などから、昨今では、かつて盛んだった、大衆が定番の観光地を物見遊山で周遊する観光に留まらず、体験型観光や特定のテーマに特化した観光など、ツーリズムの形態も多様化している。本講では、こうした多様化する各種ツーリズムについて網羅的に概説する。担当教員が、旅行業に長く従事した実務経験を基に、実務家教員として、「ツーリズム」に関する理論と実践への応用を関連付けながら授業を展開する。

到達目標

1. 日本の観光の経緯と多様化する各種ツーリズムについて理解し説明出来るようになる。

授業計画

- 第1回 オリエンテーション（授業の目的、目標、授業計画、ルール、評価基準等の説明）
 第2回 ツーリズムの概念、日本の観光の歴史から見るマスツーリズムとニューツーリズム
 第3回 文化観光
 第4回 エコツーリズム
 第5回 グリーンツーリズム
 第6回 産業観光
 第7回 ヘルスツーリズム
 第8回 中間テストと第2回～第7回の授業内容の振りかえり
 第9回 コンテンツツーリズム
 第10回 ロケツーリズム
 第11回 ダークツーリズム
 第12回 スポーツツーリズム
 第13回 都市観光（アーバンツーリズム）
 第14回 その他のニューツーリズム
 第15回 マスツーリズム・ニューツーリズムの課題と展望

※受講および受講を検討する学生は、必ず第1回オリエンテーションで説明する授業のルール・評価基準を理解した上で受講すること。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

- ・授業内外で主体的に学び、時間外の復習で理解の定着に努める。授業の理解が難しい場合は、図書館等で参考書や関連書籍を入手し基礎学力・知識を補った上で授業に臨むこと。
- ・また、学んだ内容に関するテレビ番組や本・雑誌を見たり、実際に旅行をして、各地で提供されているツーリズムのサービスを、授業内容を顧みながら体験・観察するなどして、主体的に楽しみながら理解を深めること。

課題に対するフィードバックの方法

毎回の授業の最後に復習のワークシート問題を実施し、ワークシート提出後に出される解答によりフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
 - 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。
- ・定期試験、中間テスト、その他により総合的に評価する。
 ・教員が認めた正当な理由がない欠席の回数が、全授業回の3分の1を超過した場合は、「K」評価とし、単位を取得できない
 （公欠などがなく通常の15回の受講機会の場合、教員が認めない欠席が6回となった時点で「K」評価となる）
 ・教員が認めた正当な理由なく定期試験、中間テストを欠席した場合は「K」評価とする
 ・当科目では、中間テストならびに定期試験での、資料の持ち込みや閲覧は認めない。したがって、毎授業の予復習や試験勉強が必要になる。
 ・各種ツーリズムは様々な立場の人達との関わりや協業が不可欠であることから、マナーや常識、言葉づかい、

社会性、時間・期限・ルール厳守をはじめとした社会人基礎力を要求した授業進行や評価を行う。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	40	筆記試験(中間テスト/第2回～第7回の理解度)	1
授業外での評価	0		
定期試験	40	筆記試験(第9回以降の理解度)	1
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	20	授業への主体的学修度合(欠席・遅刻の頻発、居眠りの過多、不適切な受講態度などはこの部分に影響することとなる)、ワークシートの状況と成績、社会人基礎力の欠如度合	1

テキスト 必要に応じ、適宜資料を配付・案内する。

参考書 必要に応じ、授業中に適宜案内する

履修条件・他の科目との関連

- ・この科目は国際観光学科3年次開講科目なので、国際観光学科3年次レベル相応の観光や地理の専門性を有している前提で授業します。
専門的な内容が多いため、他学科履修の学生は、必要に応じ予復習など自習をして対応してもらおう前提で進めますので、その点を了承の上で履修すること。
- ・実際に国内外で展開されているツーリズムの事例を多岐に扱うことから難度の高い内容も含まれ、観光学、観光産業、国内/海外地理に関する相応の学力、理解力がないと授業についていくことが難しい。
その点を了承の上で受講すること
- ・専門的な内容が多いため、留学生や日本語を母国語としない学生は、授業内容の理解にはN1相当の日本語力が目安となります。
- ・授業を受講しながら必要な情報を自身でノートに取る大学生レベルのノートテイキングスキルを有していることを履修の条件とする。
- ・社会人基礎力養成の観点から、教員の判断で、授業内ルールを遵守していない、他の受講生の受講の妨げになる行為や不正行為行っているとみなされる場合は、受講を認めないもしくはK評価とする。
加えてピ逃げ等の不正行為や学内の諸ルールに抵触する場合は処罰の対象となる。その点を了承の上で履修すること。
- ・第一回授業で本授業のルールや履修条件、評価基準などを説明するため必ず出席すること。やむを得ない事情で出席出来なかった人は必ず第一回授業資料を確認し、全て承諾の上で履修すること。
第一回の内容を遵守していない、把握していない疑義については一切認めない。
- ・欠席学生はGoogle Classroom 授業ページ内に掲載の授業資料を参照すること。教員が認めたやむを得ない事由による欠席者については状況に応じて申請ベースで個別に対応する場合がある。

授業コード	13108601	授業形態	演習	実務家教員	○
授業科目名	ツーリズムワークショップ [対面]				
シラバス執筆(全員)	森田 浩司				
シラバス執筆(主)	森田 浩司				
開講年次	3年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

【授業の目的】

観光学は数ある学問領域の中でも特に実学要素が強い学問である。したがって、観光研究や教育においては、机上論や空想話だけではなく、観光実務の経験を基にした内容を学んだり、実際に観光現場を見て、体験し、現状を知ることが重要である。

本講では、主に国際観光学科で各種ツーリズムや観光領域のテーマで卒業研究を予定・検討する学生を対象に、主な観光研究のテーマとなる内容、知識の修得に加え、実際に観光現場を見て、体験し、学び、まとめ、発表することで、各自の卒業研究に必要な実践力を身につけることを目的とする

【概要】

受講生が主要な観光テーマについて教室内で学習し、さらに可能な限り本学の近隣地域においてワークショップ（体験型プログラム）を実施するので参加し、それを基に企画立案やプレゼンテーションを行うといった、実践的な演習を進めていく。

なお本講では、担当教員が、旅行業に長く従事した観光実務経験を基に、実務家教員として、「ツーリズム」に関する理論と実践への応用を関連付けながら授業を展開する。

到達目標

1. 主要な観光領域のテーマについての内容、知識を修得し説明出来るようになる
2. 実際に観光現場を見て、体験し、学び、まとめ、発表することで、各自の卒業研究に必要な実践力を身につけ実践出来るようになる

授業計画

- 第1回 オリエンテーション、取組内容・ワークショップについてのディスカッション
 第2回 フィールドワーク・グループワークの基本学習・演習
 第3回 ワークショップ1* ①事前学習
 第4回 ワークショップ1 ②ワークショップ参加
 第5回 ワークショップ1 ③振りかえりと課題の整理
 第6回 ワークショップ1 ④課題発表
 第7回 ワークショップ2* ①事前学習
 第8回 ワークショップ2 ②ワークショップ参加
 第9回 ワークショップ2 ③振りかえりと課題の整理
 第10回 ワークショップ2 ④課題発表
 第11回 ワークショップ3* ①事前学習
 第12回 ワークショップ3 ②ワークショップ参加
 第13回 ワークショップ3 ③振りかえりと課題の整理
 第14回 ワークショップ3 ④課題発表
 第15回 総括

*ワークショップの対象は、インバウンド観光、コンテンツツーリズム、ヘルスツーリズム、グリーンツーリズム、産業観光、シャッター通り商店街等を想定している。

ただし、受講人数や受講生の研究対象・領域、学力や進捗状況、天候、交通事情、訪問先の都合等を踏まえ、かなり弾力的に対応することになるため、研究対象や取組内容、授業計画は変更になる可能性がある。

※受講および受講を検討する学生は、必ず第1回オリエンテーションで説明する授業のルール・評価基準を理解した上で受講すること

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

・授業内外で主体的に学び、時間外の復習で理解の定着に努める。授業の理解が難しい場合は、図書館等で参考書や関連書籍を入手し基礎学力・知識を補った上で授業に臨むこと。

・授業前に準備や調査や練習が、授業後に課題への取組や作業が必要な場合は、必ず実践し授業に参加すること

・また、学んだ内容に関するテレビ番組や本・雑誌を見たり、実際に旅行をして、各地で提供されているツーリズムのサービスを、授業内容を顧みながら体験・観察するなどして、主体的に楽しみながら理解を深めること

課題に対するフィードバックの方法

授業の中で教員から課題や発表等に対するフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

- ・授業内外での、授業内容の理解度や、演習や成果物の内容と取組状況、定期試験に代わるレポートにより総合的に評価する。
- ・教員が認めた正当な理由がない欠席の回数が、全授業回の3分の1を超過した場合は、「K」評価とし、単位を取得できない
(公欠などがなく通常の15回の受講機会の場合、教員が認めない欠席が6回となった時点で「K」評価となる)
- ・教員が認めた正当な理由なくワークショップに参加しなかった場合は「K」評価とする
- ・教員が認めた正当な理由なく定期試験に代わるレポートを期限内に提出しなかった場合は「K」評価とする
- ・学外での活動や人的交流に相応しいマナーや常識、言葉づかい、社会性、時間・期限・ルール厳守をはじめとした社会人基礎力を要求した授業進行や評価を行う。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	70	・授業内の活動での成果物・発表の内容(40) ・主体的で積極的な授業に係る活動への取組状況(ワークショップ中の活動や、課題の整理、ディスカッション等)(20) ・円滑な授業運営への貢献度(他者発表へのコメントなど)(10)	1, 2
授業外での評価	20	時間外でのワークショップや授業への準備・作業の取組状況	1, 2
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10	第15回授業を終了した後に期限までに提出するレポートの内容	1, 2
その他	0		

テキスト 必要に応じ、適宜資料を配付・案内する

参考書 必要に応じ、授業中に適宜案内する

履修条件・他の科目との関連

※特殊な授業であるため、以下の事項・条件について、全て了承の上で受講すること

- ・学外において実施されるワークショップへの参加が求められる。ワークショップは平日だけでなく、土曜日、日曜日、祝日に実施されることもある。
- ・ワークショップに参加するための交通費などの費用は、受講生が各自負担する必要がある。
- ・学外においてワークショップを実施する場合は、時間内に完結しない場合や現地解散になる場合がある。そのため、この授業の後の時間帯の授業には参加出来ない可能性がある。したがって、授業進行上、やむを得ず「この授業の後には授業を入れていない学生」を履修対象とする。十分に注意した上で履修すること(この条件を遵守しない場合の不具合等の疑義は一切認めない)。
- ・この科目は国際観光学科3年次開講科目なので、国際観光学科3年次レベル相応の観光や地理の専門性を有している前提で授業を行う。専門的な内容が多いため、他学科履修の学生は必要に応じ予復習など自習をして対応してもらう前提で進めるので、その点を了承の上で履修すること。
- ・専門的な内容が多いため、留学生や日本語を母国語としない学生は、授業内容の理解にはN1相当の日本語力が目安となる。
- ・ワークショップのために授業を学外で実施することがあるので、学外での活動や人的交流に相応しいマナーや常識、言葉づかい、社会性、時間・期限・ルール厳守をはじめとした社会人基礎力を有していることを履修条件とする。
- ・第一回授業で本授業のルールや履修条件、評価基準などを説明するため必ず出席すること。やむを得ない事情で出席出来なかった人は必ず第一回授業資料を確認し、全て承諾の上で履修すること。第一回の内容を遵守していない、把握していない疑義については一切認めない。
- ・欠席学生はGoogle Classroom 授業ページ内に掲載の授業資料を参照すること。教員が認めたやむを得ない事由による欠席者については状況に応じて申請ベースで個別に対応する場合がある。

授業コード	13099001	授業形態	講義	実務家教員	—
授業科目名	観光文化論 [対面]				
シラバス執筆(全員)	村田 隆志				
シラバス執筆(主)	村田 隆志				
開講年次	4年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

観光の産業的価値は、近年ますます高まりつつある。観光は日常生活に必要な不可欠なわけではなく、労働や生活以外の「余暇」の時間、余剰な資金を用いて、人生をより豊かに、深く楽しむことを目的とするものである。従来はいわゆる名所や旧跡、風光明媚な場所を訪れること、つまり「光（景）を観る」ことのみを「観光」と形容することが多かったが、現代、および未来においては「観光」の語はより多様な内容を含む。「観光文化」とは、観光の現場で出会う文化的事象を呼ぶが、各地域の文化を観光資源として発信するためには、どのような発想や手段が求められるのか、歴史学、芸術学、人文地理学、民俗学などの隣接諸分野のメソッドを活用しながら、巡検などをも行い、具体例に即して紹介する。そして、その発想に基づいた地域の文化的蓄積を活用した観光プランを作成できる能力を養う。

到達目標

1. 地域の文化的蓄積とは何かについて理解する。
2. 同じ地域であっても、視点の変化によって様々な意義を持ちうることを理解する。
3. 地域の文化的蓄積を魅力に変換できる観光プランを案出し、発信できる。

授業計画

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：イントロダクション
 内容・方法：本講義の進め方、注意点
- 【第2回】
 テーマ：「観光地」のグルーピング
 内容・方法：パワーポイントを用いての講義
- 【第3回】
 テーマ：自然美を魅力とする観光地と、文化的蓄積を魅力とする観光地
 内容・方法：パワーポイントを用いての双方向性講義
- 【第4回】
 テーマ：大阪の魅力を検討する—歴史学的アプローチ
 内容・方法：パワーポイントを用いての双方向性講義
- 【第5回】
 テーマ：大阪の魅力を検討する—芸術学的アプローチ
 内容・方法：パワーポイントを用いての双方向性講義
- 【第6回】
 テーマ：大阪の魅力を検討する—民俗学的アプローチ
 内容・方法：パワーポイントを用いての双方向性講義
- 【第7回】
 テーマ：大阪の魅力を検討する—人文地理学的アプローチ
 内容・方法：パワーポイントを用いての双方向性講義
- 【第8回】
 テーマ：巡検
 内容・方法：実地に大阪府内の観光地を巡る。
- 【第9回】
 テーマ：巡検
 内容・方法：実地に大阪府内の観光地を巡る。
- 【第10回】
 テーマ：観光文化論の視点を用いての観光プラン案出1
 内容・方法：実習
- 【第11回】
 テーマ：観光文化論の視点を用いての観光プラン案出2
 内容・方法：実習
- 【第12回】
 テーマ：受講生プレゼンテーション1
 内容・方法：受講生の発表
- 【第13回】
 テーマ：受講生プレゼンテーション2
 内容・方法：受講生の発表
- 【第14回】
 テーマ：受講生プレゼンテーション2
 内容・方法：受講生の発表
- 【第15回】
 テーマ：総括
 内容・方法：総括

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

※毎回の授業において、2時間の事前学習と2時間の事後学習が必要である。

- 【第1回】
①事前学修課題：高校までの「日本史」「地理」の復習
②事後学修課題：配布資料・ノートの整理
- 【第2回】
①事前学修課題：今までの復習
②事後学修課題：配布資料・ノートの整理
- 【第3回】
①事前学修課題：今までの復習
②事後学修課題：配布資料・ノートの整理
- 【第4回】
①事前学修課題：今までの復習
②事後学修課題：配布資料・ノートの整理
- 【第5回】
①事前学修課題：今までの復習
②事後学修課題：配布資料・ノートの整理
- 【第6回】
①事前学修課題：今までの復習
②事後学修課題：配布資料・ノートの整理
- 【第7回】
①事前学修課題：今までの復習
②事後学修課題：巡検での訪問地の事前下調べ
- 【第8回】
①事前学修課題：巡検での訪問地の事前下調べ
②事後学修課題：巡検での訪問地の情報整理
- 【第9回】
①事前学修課題：巡検での訪問地の事前下調べ
②事後学修課題：巡検での訪問地の情報整理
- 【第10回】
①事前学修課題：プレゼンテーション準備
②事後学修課題：配布資料・ノートの整理
- 【第11回】
①事前学修課題：プレゼンテーション準備
②事後学修課題：配布資料・ノートの整理
- 【第12回】
①事前学修課題：プレゼンテーション準備
②事後学修課題：フィードバックの整理
- 【第13回】
①事前学修課題：プレゼンテーション準備
②事後学修課題：フィードバックの整理
- 【第14回】
①事前学修課題：プレゼンテーション準備
②事後学修課題：フィードバックの整理
- 【第15回】
①事前学修課題：本科目の総復習
②事後学修課題：本科目の学びの振り返り

課題に対するフィードバックの方法

12～14回の観光プランのプレゼンテーションにあたっては、実地にフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により、総合的に判定の上、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

正当な理由なく5回以上欠席した場合にはK評価とする。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	80	巡検での課題(20)質疑応答(20)観光プランのプレゼンテーション(40)	1, 2, 3
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	レポート	1, 2, 3
その他	0		

テキスト	指定しない
参考書	レジユメを配布する。
履修条件・他の科目との関連	「日本美術史」「芸術学」「日本文化史」「考古学」「民俗学」等の科目、博物館学芸員関係科目を履修すると学びが深まる。 土日を活用しての半日の巡検を実施する場合がありますので、その場合には参加すること。

授業コード	13108801	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	旅行業特講 [対面]				
シラバス執筆(全員)	松野 麻里子、小笹 誠司				
シラバス執筆(主)	松野 麻里子				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

国内旅行業務取扱管理者試験（国家資格）に関連する事項の学習科目。

受験科目「旅行業法」「旅行業約款」「国内運賃・料金」「国内観光地理」の総復習を集中講義で行う。そのため「資格対策講座Ⅰ（業法）」「資格対策講座Ⅱ（約款）」「旅行業実務」「国内観光資源」を既に履修した学生が受講すること。

本講義では旅行業務取扱管理者試験の過去問題を中心に解説を行う。

到達目標

- 国内旅行業務取扱管理者試験を受験する場合の、
1. 基礎的な事項(国家試験の内容や業法の目的など)を説明できる
 2. 旅行業法や旅行業約款について理解し、説明できる
 3. JR・国内航空・フェリー・貸切バス、それぞれの運賃・料金の計算ができる
- これらに加え、
4. 旅行会社の仕事(カウンター業務)に必要な知識をもっている

授業計画

- 【第1回】 旅行業法令 まとめと演習
旅行業法令の重要ポイントの復習
- 【第2回】 旅行業法令 まとめと演習
旅行業法令の重要ポイントの復習し、演習をおこなう
- 【第3回】 国内地理 演習・国内旅行業務（フェリー・貸し切りバス）演習
国内地理、国内旅行業務のそれぞれの演習問題を解く
- 【第4回】 国内旅行業務（宿泊・国内航空運賃）演習
国内旅行業務のそれぞれの演習問題を解く
- 【第5回】 国内旅行業務（宿泊・国内航空運賃）演習
国内旅行業務のそれぞれの演習問題を解く
- 【第6回】 国内観光地理 演習
ジャンル別や都道府県別など、様々な側面からの演習問題を解く
- 【第7回】 国内旅行実務（JR運賃）まとめと演習
JR運賃計算の重要ポイントの復習し、演習問題を解く
- 【第8回】 国内旅行実務（JR運賃）まとめと演習
JR運賃計算の重要ポイントの復習し、演習問題を解く
- 【第9回】 国内旅行実務（JR料金）まとめと演習
JR料金計算の重要ポイントの復習し、演習問題を解く
- 【第10回】 国内旅行実務（JR料金）まとめと演習
JR料金計算の重要ポイントの復習し、演習問題を解く
- 【第11回】 国内観光地理 演習
ジャンル別や都道府県別など、様々な側面からの演習問題を解く
- 【第12回】 約款 まとめと演習
旅行業約款と各種約款の重要ポイントを復習
- 【第13回】 約款 まとめと演習
旅行業約款と各種約款の重要ポイントを復習
- 【第14回】 模擬試験
これまでの総復習と疑問点の克服をおこない、本年度の試験に対応した模擬試験問題を本番と同様の環境でおこなう
- 【第15回】 模擬試験の解答・解説
模擬試験の欠点を検証

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

前回までの講義内容を確認し復習しておくこと。
分からない部分は次回必ず質問すること。

- 【第1回】
事前 国内旅行業務取扱管理者試験の過去問題を数多く行う。 1.5時間
事後 旅行業法の目的を理解する。 2.5時間
- 【第2回】
事前 旅行業登録・旅程管理・営業保証金を覚えてくる。 1.5時間

事後	旅行業法の全体を理解する。	2.5時間
【第3回】		
事前	フェリー・貸切バスについて調べる。	1.5時間
事後	フェリー・貸切バスの運賃料金を理解する。	2.5時間
【第4回】		
事前	宿泊約款を調べる。	1.5時間
事後	宿泊について確認し覚える。	2.5時間
【第5回】		
事前	国内航空運送約款を調べる。	1.5時間
事後	国内航空について確認し覚える。	2.5時間
【第6回】		
事前	国内観光資源を覚えてくる。	1.5時間
事後	都道府県別に観光資源を整理する。	2.5時間
【第7回】		
事前	JRの運賃計算の方法を復習する。	1.5時間
事後	幹線・地方交通線・そのミックスの計算方法を理解する。	2.5時間
【第8回】		
事前	鉄道会社をまたがる計算を覚えてくる。	1.5時間
事後	複雑な運賃計算ができるようにする。	2.5時間
【第9回】		
事前	JRの料金の種類を調べる。	1.5時間
事後	特急料金の種類を覚える。	2.5時間
【第10回】		
事前	グリーン料金・寝台料金を調べる。	1.5時間
事後	団体の計算方法を理解する。	2.5時間
【第11回】		
事前	国内観光資源を復習してくる。	1.5時間
事後	観光資源の種類ごとに整理する。	2.5時間
【第12回】		
事前	旅行業約款を復習してくる。	1.5時間
事後	旅行契約について理解する。	2.5時間
【第13回】		
事前	旅程保証を調べる。	1.5時間
事後	旅程保証について補償額を理解する。	2.5時間
【第14回】		
事前	過去問題を解いてくる。	1.5時間
事後	不得手な部分のあぶり出しを行う。	2.5時間
【第15回】		
事前	解答できなかった部分を復習する。	1.5時間
事後	国家試験受験に向けて学習を続ける。	2.5時間

課題に対するフィードバックの方法

毎回小テストを行う(国家試験の過去問題の場合あり)。
内容は前回の復習、または、当日の復習とする。
持ち帰り課題(宿題)とする場合もある。
採点后返却する

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

毎回行う演習問題、課題提出、定期試験、授業態度により総合的に判断し、60点以上を合格とする。
正当な理由がない欠席6回以上、課題提出が著しく悪い、最終日に実施する模擬試験を欠席した場合は評価対象とはしない。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	10	課題提出、指名の返答具合(復習具合)、授業内課題、これらについて真剣に講義に向かっているか判断する。	1, 2, 3, 4
授業外での評価	30	ほぼ毎回レポート課題や計算問題の課題を出すので、その場合は翌日に提出する。	1, 2, 3
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	60	国家試験形式の模擬試験を実施する。	1, 2, 3
その他	0		

テキスト	旅行業実務シリーズ「1. 旅行業法及びこれに基づく命令」・「2. 運送・宿泊約款」・「3. 国内運賃・料金」・「4. 国内観光資源」(株)JTB総合研究所
参考書	U-CAN「国内・総合旅行業務取扱管理者 速習レッスン(ユーキャンの資格試験シリーズ)」 U-CAN「旅行業務取扱管理者 : 観光資源(国内・海外)ポケット問題集・要点まとめ(ユーキャンの

参考書	資格試験シリーズ」
履修条件・他の科目との関連	<ul style="list-style-type: none">① 国家試験受験を前提とし、すでに「資格対策講座Ⅰ（業法）」「資格対策講座Ⅱ（約款）」「旅行業実務」「国内観光資源」を履修していること。② 集中講義の日程、模擬試験（教学・教職センターへ証紙納入での申込）については6月中旬頃、正式に決定する予定のためUNIPA、OIUメールを必ず確認すること。③ 直前合格対策である。国家試験受験希望者のみ受講すること。④ 演習中心であるため、復習は各自必ず行ない、集中講義以前にも事前に試験科目の勉強を十分しておくこと。

授業コード	13071451	授業形態	演習	実務家教員	○
授業科目名	セミナーⅢa [対面]				
シラバス執筆(全員)	長谷川 順一郎				
シラバス執筆(主)	長谷川 順一郎				
開講年次	3年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

国際級ホテルを中心とした観光ホスピタリティ経営、特に人的資源管理を主な研究領域とします。卒業後、観光ホスピタリティ業界にて活躍できる人材の育成も目標の一つに掲げます。そのためには、この分野の基礎理論をしっかりと学び、かつ、その実務についても大いに知見を広めておく必要があります。

本授業は卒業研究作成に向けての起点となるものですので、まず学術論文の基本的なルールについて説明します。各自興味ある論文（先行研究）を検索・選択し、精読し、そこから学んだことについて討議します。そのなかで、問いの立て方、研究方法などについて確認します。

担当教員が企業において観光ホスピタリティ業務に従事してきた経験をもとに、実務家教員として、観光ホスピタリティに関する理論と実践への応用を関連付けながら授業を展開します。

到達目標

1. 学術論文の基本的ルールについて説明できるようになります。
2. 先行研究を探し要点をまとめて発表できるようになります。

授業計画

- 第1回 ガイダンス
目標、課題、受講上の注意等について説明する。
- 第2回 学術論文の基礎知識Ⅰ
学術論文とレポート、エッセイなどとの違いについて説明する。
- 第3回 学術論文の基礎知識Ⅱ
学術論文におけるルールについて説明する。
- 第4回 学術論文の基礎知識Ⅲ
研究協力者へのお礼状等について説明する。
- 第5回 論文検索Ⅰ
先行研究にあたることの重要性について説明する。
- 第6回 論文検索Ⅱ
ライブラリー・ツアーを実施する。
- 第7回 ホスピタリティ関連の専門用語
研究において必要となる専門用語を解説する。(含 英語)
- 第8回 ホスピタリティの先行研究紹介Ⅰ(邦文)
ホスピタリティの先行研究(邦文)を紹介する。
- 第9回 ホスピタリティの先行研究紹介Ⅱ(邦文)
ホスピタリティの先行研究(邦文)について討議する。
- 第10回 ホスピタリティの先行研究紹介Ⅰ(英文)
ホスピタリティの先行研究(英文)を紹介する。
- 第11回 ホスピタリティの先行研究紹介Ⅱ(英文)
ホスピタリティの先行研究(英文)について討議する。
- 第12回 卒業研究の仮の題目、問い、研究方法の発表と討議Ⅰ
卒業研究の仮の題目、問い、研究方法を発表し、それをもとに討議する。
- 第13回 卒業研究の仮の題目、問い、研究方法の発表と討議Ⅱ
卒業研究の仮の題目、問い、研究方法を発表し、それをもとに討議する。
- 第14回 夏季休暇中の研究計画の確認
夏季休暇中の研究計画を発表し、それをもとに討議する。
- 第15回 まとめ
これまでの取り組み、今後の課題等について総括する。

*授業計画はクラスの状況、授業の進行状況によって変更することがあります。あらかじめご理解ください。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

本授業は2単位科目ですので、事前事後の学修としては、週あたり4時間必要となります。授業中に解説されたことはもちろん、授業を通じて気づいたこと、確認したいことなどをめれなくノートに記します。それをもとにした復習と、指示された課題（配布物の精読が中心となります）を含めた予習をしっかりと行います。そして、学んだこと、調べたことなどを常に整理し、意見発信できるよう準備することが大切です。

課題に対するフィードバックの方法

発表、討議後は講評を行います。提出物については随時講評を行います。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となります。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価となります。

以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定します。
総授業回数の1/3以上欠席した場合、また、連続3回欠席した場合、評価の対象とせず「K」評価となります。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	発表・討議	1, 2
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	50	期末レポート	1, 2
その他	0		

テキスト	テキストは使用しません。プリントを適宜配布します。
参考書	授業中に指示します。
履修条件・他の科目との関連	<p>授業時間厳守。遅刻することがないように注意してください。但し、公共交通機関の遅延等があった場合は考慮しますので申し出てください。 「観光学概論」「ホスピタリティ概論」「ホテル・宿泊マネジメント論」の単位修得済みか履修中であることが望ましいです。</p> <p>いずれの授業回においても、理由のいかんに関わらず欠席した場合は、本授業の履修者(複数)に授業内容を聞いてください。配布物は複写させてもらい、課題にも取り組んでください。講義時間は厳守とします。</p>

授業コード	13071452	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅢa [対面]				
シラバス執筆(全員)	韓 尚秀				
シラバス執筆(主)	韓 尚秀				
開講年次	3年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

レポート作成に必要な知識習得を目指す。前期では、仮テーマでレポート作成要領から発表までを学習し、後期には、本格的なレポート作成に取り組む。

到達目標

①リサーチプロジェクトを通じてレポート作成能力を身につける。

授業計画

【第1回】
 テーマ：講義紹介
 内容・方法：講義概要の紹介、受講中の注意点・方針を知らせる。

【第2回】
 テーマ：レポートの作成方法Ⅰ
 内容・方法：レポートの作成方法について講義する。

【第3回】
 テーマ：タイピングⅠ
 内容・方法：タイピング練習・テスト

【第4回】
 テーマ：グラフ作成練習Ⅰ
 内容・方法：グラフ作成練習

【第5回】
 テーマ：数式エディターの使用法Ⅰ
 内容・方法：数式エディターによる数式作成・入力練習をする。

【第6回】
 テーマ：データの収集
 内容・方法：指定テーマに関するデータを収集する

【第7回】
 テーマ：データの分析
 内容・方法：データの分析を行う

【第8回】
 テーマ：データの表現
 内容・方法：様々なデータの表現について学ぶ。

【第9回】
 テーマ：リサーチプロジェクトの仮テーマ決定
 内容・方法：リサーチプロジェクト用の仮テーマ決定し、議論する。

【第10回】
 テーマ：章建て
 内容・方法：仮テーマに対する章建てを行う。

【第11回】
 テーマ：レポート作成練習(1)
 内容・方法：各自レポートを作成する。

【第12回】
 テーマ：レポート作成練習(2)
 内容・方法：各自レポートを作成する。

【第13回】
 テーマ：レポート作成練習(3)
 内容・方法：各自レポートを作成する。

【第14回】
 テーマ：中間発表会
 内容・方法：リサーチプロジェクト中間発表会を行う。

【第15回】
 テーマ：総括
 内容・方法：同じテーマに関するリサーチプロジェクトを評価する。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間

【第2回】

- ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間
 【第3回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間
 【第4回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間
 【第5回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間
 【第6回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間
 【第7回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間
 【第8回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間
 【第9回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間
 【第10回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間
 【第11回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間
 【第12回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間
 【第13回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間
 【第14回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間
 【第15回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
 ②事後学修課題：提出された課題を評価する。2時間

課題に対するフィードバックの方法

Google Classのレポート機能を活用する。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

平常点 30%・レポート課題30%・授業内試験 0%・期末試験 20%・その他 タイピング20%評価を義務付ける。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	30	平常点	1
授業外での評価	30	レポート点	1
定期試験	0	なし	なし
定期試験に代わるレポート等	20	期末レポート点	1
その他	20	タイピング点	1

テキスト	テキストなし
参考書	必要に応じて、授業中に紹介する。
履修条件・他の科目との関連	意欲的に取り組み、予習復習を行うこと。

授業コード	13071453	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅢa [対面]				
シラバス執筆(全員)	村田 隆志				
シラバス執筆(主)	村田 隆志				
開講年次	3年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

本セミナーで取り扱うのは日本・東洋の芸術。中でも、目で見ることが出来る視覚芸術である。様々な芸術家の残した優れた作品を分析することによってその本質を理解し、過去の作品と比較することによってその個性や意義を明らかにすることが重要である。人間の営みの中でも非常に大きな価値を持つ芸術について、その特質を理解し、自らの言葉で語る事ができる能力を養うことができれば、それは必ず参加者の人生に益する。また、鑑賞の場である博物館をめぐる諸問題についても研究対象とする。

前期は研究の前提となる資料読解の演習や、画家や作品を取り上げての研究手法の紹介を行い、後期は何らかの作品解説（キャプション）の執筆演習等を通じて、文章力を高める。

到達目標

1. 美術史・芸術学の「様式論」を理解する。
2. 「様式論」を、それぞれの興味関心に応じて援用し、物事を理解する上での基盤とする。
3. 思考を言語化し、的確な語彙を用いて論文とする能力を体得する。
4. 調査研究の成果を口頭で発信する能力を身に着ける。

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：イントロダクション
 内容・方法：本科目の目的について説明
- 【第2回】
 テーマ：芸術研究の意義 1
 内容・方法：芸術を研究することについて
- 【第3回】
 テーマ：芸術研究の意義 2
 内容・方法：芸術を研究することについて
- 【第4回】
 テーマ：「古典」作品の鑑賞 1
 内容・方法：作品鑑賞の着眼点について
- 【第5回】
 テーマ：「古典」作品の鑑賞 2
 内容・方法：作品鑑賞の着眼点について
- 【第6回】
 テーマ：教員模擬発表
 内容・方法：教員が取り組んでいるテーマについての口頭発表
- 【第7回】
 テーマ：研究計画の立て方
 内容・方法：研究計画の立て方
- 【第8回】
 テーマ：調査研究の手法 1
 内容・方法：調査研究の着想について
- 【第9回】
 テーマ：調査研究の手法 2
 内容・方法：調査研究の情報収集について
- 【第10回】
 テーマ：研究テーマ選択のプロセス
 内容・方法：テーマ選択について、実例と共に紹介
- 【第11回】
 テーマ：仮研究テーマ発表
 内容・方法：仮研究テーマ発表
- 【第12回】
 テーマ：作品解説執筆演習 1
 内容・方法：作品解説執筆上の注意点
- 【第13回】
 テーマ：作品解説執筆演習 2
 内容・方法：作品解説執筆と添削
- 【第14回】
 テーマ：作品解説執筆演習 3
 内容・方法：作品解説執筆と添削
- 【第15回】
 テーマ：学外見学会
 内容・方法：本科目の学びに関連する展覧会を見学する

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

※毎回の授業において、2時間の事前学習と2時間の事後学習が必要である。

- 【第1回】
①事前学修課題：自身がこのセミナーを選択した理由の再確認
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第2回】
①事前学修課題：自身の嗜好に合致する芸術について分析する
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第3回】
①事前学修課題：自身の嗜好に合致する芸術について分析する
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第4回】
①事前学修課題：自身の嗜好に合致する作品について分析する
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第5回】
①事前学修課題：自身の嗜好に合致する作品について分析する
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第6回】
①事前学修課題：自身の嗜好に合致する作家・作品について分析する
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第7回】
①事前学修課題：既習内容の確認
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第8回】
①事前学修課題：既習内容の確認
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第9回】
①事前学修課題：既習内容の確認
②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第10回】
①事前学修課題：既習内容の確認
②事後学修課題：口頭発表準備
- 【第11回】
①事前学修課題：口頭発表準備
②事後学修課題：指導内容の反映
- 【第12回】
①事前学修課題：作品解説執筆
②事後学修課題：指導内容の反映
- 【第13回】
①事前学修課題：作品解説執筆
②事後学修課題：指導内容の反映
- 【第14回】
①事前学修課題：作品解説執筆
②事後学修課題：指導内容の反映
- 【第15回】
①事前学修課題：訪問先について情報収集
②事後学修課題：見学先で得た知見についての振り返り

課題に対するフィードバックの方法

提出のつどフィードバックする。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により、総合的に判定の上、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

正当な理由なく5回以上欠席した場合にはK評価とする。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	100	授業内課題(40) 授業内口頭発表(60)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	0		

テキスト	テキストなし
参考書	授業中に指示する。
履修条件・他の科目との関連	「日本美術史」「芸術学」は必ず受講すること。また、博物館学芸員資格関連諸科目も履修することが望ましい。

授業コード	13071454	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅢa [対面]				
シラバス執筆(全員)	岸脇 誠				
シラバス執筆(主)	岸脇 誠				
開講年次	3年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

このセミナーでは、今の日本や世界が直面している問題の中から人々の間で意見が分かれている論点を取り上げ、事実関係とその背景について理解を深める。その際、学生自らが疑問点や課題を発見し、それを解決するために、よく調べた上で、いくつかの論点にまとめ、それを発表するという一連のプロセスを重視する。図書館の活用方法から、データや資料の集め方、コンピューターの利用法に至るまで丁寧に指導したい。

到達目標

1. 現代社会が直面しているさまざまな問題に関する基礎知識や分析枠組みを習得する。
2. その問題に関する情報やデータを収集し、論点を整理する。
3. その問題に関してどのような対策が必要か、自分なりの意見を表明できる。
4. レジュメやスライドを作成し、プレゼンテーションを行う。

授業計画

【第1回】

テーマ：ガイダンス

内容：セミナーの進め方、成績評価方法等について説明する。

【第2回】

テーマ：日本の新型コロナウイルス対応は適切だったか

内容：上記のテーマに基づいて担当者が論点を提示した後、全員でディスカッションを行う。

【第3回】

テーマ：コロナ禍でグローバリズムは衰退するのか

内容：上記のテーマに基づいて担当者が論点を提示した後、全員でディスカッションを行う。

【第4回】

テーマ：アフターコロナ時代の観光をどのように再構築するか

内容：上記のテーマに基づいて担当者が論点を提示した後、全員でディスカッションを行う。

【第5回】

テーマ：日本人は働き方を変えるべきか

内容：上記のテーマに基づいて担当者が論点を提示した後、全員でディスカッションを行う。

【第6回】

テーマ：地球温暖化対策をどのように進めるか

内容：上記のテーマに基づいて担当者が論点を提示した後、全員でディスカッションを行う。

【第7回】

テーマ：憲法第9条は改正すべきか

内容：上記のテーマに基づいて担当者が論点を提示した後、全員でディスカッションを行う。

【第8回】

テーマ：安楽死を認めるべきか

内容：上記のテーマに基づいて担当者が論点を提示した後、全員でディスカッションを行う。

【第9回】

テーマ：日本のLGBTQへの対応は十分か

内容：上記のテーマに基づいて担当者が論点を提示した後、全員でディスカッションを行う。

【第10回】

テーマ：ネット言論は規制すべきか

内容：上記のテーマに基づいて担当者が論点を提示した後、全員でディスカッションを行う。

【第11回】

テーマ：少子化対策をどのように進めるか

内容：上記のテーマに基づいて担当者が論点を提示した後、全員でディスカッションを行う。

【第12回】

テーマ：日本は移民・難民をもっと受け入れるべきか

内容：上記のテーマに基づいて担当者が論点を提示した後、全員でディスカッションを行う。

【第13回】

テーマ：日本はこのままアメリカの「核の傘」の下にいてよいのか
内容：上記のテーマに基づいて担当者が論点を提示した後、全員でディスカッションを行う。

【第14回】

テーマ：人間の仕事はAIに奪われてしまうのか
内容：上記のテーマに基づいて担当者が論点を提示した後、全員でディスカッションを行う。

【第15回】

テーマ：総括
内容：これまでの授業を振り返り、残された課題を確認する。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

毎回の授業において2時間の事前学習と2時間の事後学習が必要である。
事前学習としては普段から新聞やニュースなどを通して現代社会が直面しているさまざまな問題に関する情報を収集し、論点を整理しておくこと。事後学習としては、その日の授業で学んだことを整理し、次回の授業のキーワードについて調べておくこと。

課題に対するフィードバックの方法

レポートは添削し、改善点を指摘する。プレゼンテーションについては発表後に改善点を指摘する。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

下記の評価割合に基づいて総合的に評価する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	各回の授業内容に基づいて出題する小テストや課題で評価する。	1, 2, 3
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	30	期末試験に代わるレポート	1, 2, 3
その他	20	プレゼンテーション	4

テキスト 資料を配布する。

参考書 出口治明『自分の頭で考える日本の論点』幻冬舎、2020年。
落合陽一『2030年の世界地図帳：あたらしい経済とSDGs、未来への展望』SBクリエイティブ、2019年。

履修条件・他の科目との関連 欠席する場合は事前に連絡すること。

授業コード	13071455	授業形態	演習	実務家教員	○
授業科目名	セミナーⅢa [対面]				
シラバス執筆(全員)	森田 浩司				
シラバス執筆(主)	森田 浩司				
開講年次	3年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

- ・観光学（ヘルスツーリズムなどの〇〇ツーリズム等）、観光産業、観光まちづくり、国際観光または温泉研究に係るテーマで卒業研究を行う、あるいはこれらに関連する業界への就職意欲のある学生を対象とする。
- ・本セミナーでは、担当教員が長年に亘り、企業において「旅行業」業務に従事してきた経験をもとに、実務家教員として、適宜「観光」「観光業」に関する理論と実践への応用に関連付けながら授業や活動を展開する。
- ・本セミナーでは、テーマに係る卒業研究や関連産業で活かせるpracticalな能力を養うため、ただ教員から与えられた事をこなすだけの活動ではなく、自ら学び、学んだ事を応用し、実践していくPBL（Project based learning／課題解決型学習）をベースに行う。
- ・プロジェクト例として、例えば自分達で選んだ大学生対象の旅行商品企画コンテストや観光まちづくりコンテスト等に参戦し、アイデアの検討から、研究・調査、フィールドワークなどを行い、チームで討議しながらプランを作成し、効果的なプレゼンテーションを行うなど、取組を通じて調査力や発信力、協業力といった、社会で求められるスキルや実践力を高めていく。
- ・またプロジェクトを通して、自身の卒業研究のベースとなる関連知識やデータを蓄積し、個々で自らの卒業研究のテーマを定めていくように進める。
- ・プロジェクト内容・取組内容については、学生の関心や希望に基づき、メンバーで討議の上で決定し、学力や進捗、日程等を踏まえて弾力的に対応する。
- ・あわせて民間企業出身教員として、採用する側の観点を踏まえた就活に関連する指導も行う。

到達目標

- 本セミナーで取り扱うテーマに係る取組・活動を通じて、
1. 関連するテーマについて調査・研究を踏まえて理解し、説明できるようになる
 2. 来る卒業研究の題材を定め、卒業研究に必要な基礎知識や、事例、データを蓄積し執筆準備が出来るようになる
 3. 観光関連産業をはじめ社会で活躍していくために必要な社会人基礎力やスキルを修得し実践出来るようになる

授業計画

- 第1回 オリエンテーション、今期セミナーでの取組内容・プロジェクトについてのディスカッション
- 第2回 自己紹介、今期セミナーでの取組内容・プロジェクトについてのディスカッションおよび決定
- 第3回 グループワーク基本演習（基礎学習とケーススタディ）1
- 第4回 グループワーク基本演習（基礎学習とケーススタディ）2、観光トピックス発表の説明
- 第5回 フィールドワーク基本演習（現地調査、アンケート調査等の各種調査の基礎学習とケーススタディ）1
- 第6回 フィールドワーク基本演習（現地調査、アンケート調査等の各種調査の基礎学習とケーススタディ）2
- 第7回 観光まちづくり企画 基本演習（基礎学習とケーススタディ）1
- 第8回 観光まちづくり企画 基本演習（基礎学習とケーススタディ）2
- 第9回 観光トピックス発表1
- 第10回 観光トピックス発表2（つづき）
- 第11回 プロジェクト プラン概要ディスカッション
- 第12回 プロジェクト プラン概要作成
- 第13回 プロジェクト プラン研究・調査・企画・プレゼン資料作成
- 第14回 プロジェクト プラン研究・調査・企画・プレゼン資料作成
- 第15回 プロジェクト ゼミ内プレゼン発表、「夏期休暇中フィールドワーク&活動」計画策定

※取組内容・プロジェクト内容については、学生の関心や希望に基づき、メンバーで討議の上で決定し、学力や進捗、コンテスト日程等を踏まえて弾力的に対応する。
 ※合同セミナーの実施等により、授業計画が変更になる可能性がある。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

一定期間かけて継続的に取り組む活動が中心となるため、ゼミ時間内だけで対応・完結出来ないことが多く、時間外での学習・活動も必要になってくるので、その前提で主体的に前向きに取り組むこと。

課題に対するフィードバックの方法

取り組みの節目節目や、ゼミ内外でのディスカッションや発表、プレゼンテーション後に講評を行い、一連の取

り組みのフィードバックを行い進めていく

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

・研究テーマに関する科目の学業成績や知識もさることながら、主体的で積極的なゼミへの参加を最大の評価基準とし、ゼミへの貢献度、成果物やディスカッション・発表の内容、社会人基礎力の到達度合を踏まえて、総合的に判定して評価する。

(欠席・遅刻の頻発、居眠りの過多、不適切な受講態度などは、「主体的で積極的なゼミへの参加」部分に影響することとなるので十分理解して取り組むこと)

・教員が認めた正当な理由がない欠席の回数が、全授業回の3分の1を超過した場合は、「K」評価となり、単位を取得できない

(公欠などがなく通常の15回の受講機会の場合、教員が認めない欠席が6回となった時点で「K」評価となる)

・観光に係る実学として、マナーや常識をはじめ社会人基礎力を要求した授業進行や評価を行う。

・同じような指導・注意を複数回行なっても繰り返す場合、改善の意思や対応する社会人基礎力がないと判断して、著しく評価を下げることになるので、十分に注意して取り組むこと

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	0		
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	100	・ゼミ時間内外での主体的で積極的なゼミ活動への取組状況・円滑なゼミ活動のための貢献度(60) ・ゼミ時間内外の活動での成果物やディスカッション・発表の内容(20) ・社会人基礎力の到達度合(20)	1, 2, 3

テキスト	必要に応じ、授業中に資料を配布したり適宜案内する
------	--------------------------

参考書	必要に応じ、授業中に適宜案内する
-----	------------------

履修条件・他の科目との関連	<ul style="list-style-type: none">・セミナーⅢ・Ⅳの取組は、卒業研究に直結することから、数ある科目の中で最もプライオリティの高い科目であることを十分に理解し、最優先で取り組むことを条件とする(他の授業、部活やサークル活動、資格取得のための学習、ボランティア、就活、バイト、やむを得ない私用等よりも優先して取り組むことになる)・ゼミへの毎回の定時出席、授業内ルールの遵守は当然の条件となる(授業内ルールを守らない行為、主体的に前向きに学ぶ学生の学びの妨げになる行為を行った場合は、単位取得不可となり、卒業年次が遅れることになる)・コンテストのフィールドワークや大会出場等で、週末や夏期休暇中など、所定のゼミ時間外に活動が必要になる場合がある(原則、要実費負担)・研究テーマに関する卒業研究の実施が条件となる・欠席学生はGoogle Classroom 授業ページ内に掲載の授業資料を確認すること。
---------------	--

授業コード	13071456	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅢa [対面]				
シラバス執筆(全員)	五月女 賢司				
シラバス執筆(主)	五月女 賢司				
開講年次	3年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

1. 主に4年生で執筆・発表することになる卒業研究に向けて、調査・研究の方法、輪読、先行研究のレビュー、実際の調査などについて理解することを目的とする。

到達目標

1. 受講生間の討論を通じて各自が研究を進め、課題等を把握し、博物館や文化財を見学し、実物資料からも学んでいく。また、資料や文献を調査・収集する方法を身につけ、歴史を多角的に研究する能力を高めていく。後半には、次年度の卒業研究にむけた計画書を作成する。

授業計画

【第1回】
 テーマ：セミナーオリエンテーション
 内容・方法：セミナーにおける内容、進め方を説明する。

【第2回】
 テーマ：資料収集の方法
 内容・方法：資料をテーマにあわせてどのように収集するかを考える。

【第3回】
 テーマ：図書館の利用方法
 内容・方法：図書館において、文献・論文の探し方を学ぶ。

【第4回】
 テーマ：卒業研究の進め方
 内容・方法：卒業研究の進め方について一緒に考える。

【第5回】
 テーマ：引用文献について
 内容・方法：文献を引用するにあたってのマナーを学ぶ。

【第6回】
 テーマ：「各自のテーマについて」
 内容・方法：各自のテーマについて発表する。

【第7回】
 テーマ：「各自のテーマについて」
 内容・方法：各自のテーマについて発表する。

【第8回】
 テーマ：「各自のテーマについて」
 内容・方法：各自のテーマについて発表する。

【第9回】
 テーマ：「各自のテーマについて」
 内容・方法：各自のテーマについて発表する。

【第10回】
 テーマ：「各自のテーマについて」
 内容・方法：各自のテーマについて発表する。

【第11回】
 テーマ：「各自のテーマについて」
 内容・方法：各自のテーマについて発表する。

【第12回】
 テーマ：「各自のテーマについて」
 内容・方法：各自のテーマについて発表する。

【第13回】
 テーマ：「各自のテーマについて」
 内容・方法：各自のテーマについて発表する。

【第14回】
 テーマ：「各自のテーマについて」
 内容・方法：各自のテーマについて発表する。

【第15回】
 テーマ：前期の総括
 内容・方法：前期の総括をし、夏期休暇中の課題を設定する。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

- ①事前学修課題：なにを研究したいのかを考えておくこと。
 ②事後学修課題：復習すること。
 【第2回】
 ①事前学修課題：資料の収集方法を考えること。
 ②事後学修課題：復習すること。
 【第3回】
 ①事前学修課題：図書館の利用方法を知っておくこと。
 ②事後学修課題：復習すること。
 【第4回】
 ①事前学修課題：卒業研修の進め方について考えること。
 ②事後学修課題：復習すること。
 【第5回】
 ①事前学修課題：文献を引用することについて考えること。
 ②事後学修課題：復習すること。
 【第6回】
 ①事前学修課題：担当者は、発表の準備をすること。
 ②事後学修課題：復習すること。
 【第7回】
 ①事前学修課題：担当者は、発表の準備をすること。
 ②事後学修課題：復習すること。
 【第8回】
 ①事前学修課題：担当者は、発表の準備をすること。
 ②事後学修課題：復習すること。
 【第9回】
 ①事前学修課題：担当者は、発表の準備をすること。
 ②事後学修課題：復習すること。
 【第10回】
 ①事前学修課題：担当者は、発表の準備をすること。
 ②事後学修課題：復習すること。
 【第11回】
 ①事前学修課題：担当者は、発表の準備をすること。
 ②事後学修課題：復習すること。
 【第12回】
 ①事前学修課題：担当者は、発表の準備をすること。
 ②事後学修課題：復習すること。
 【第13回】
 ①事前学修課題：担当者は、発表の準備をすること。
 ②事後学修課題：復習すること。
 【第14回】
 ①事前学修課題：担当者は、発表の準備をすること。
 ②事後学修課題：復習すること。
 【第15回】
 ①事前学修課題：各自の課題を考えておくこと。
 ②事後学修課題：復習すること。

毎回の授業につき、2時間の事前学習、2時間の事後学習が必要である。

課題に対するフィードバックの方法

毎回の発表に対する教員・学生全員による討議と、新たな課題の発見に努める。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

発表・報告とレポート課題の総合評価による。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	発表・報告	1
授業外での評価	30	フィールド調査・報告	1
定期試験	0		1
定期試験に代わるレポート等	20		
その他	0		

テキスト	プリントを配布する
参考書	授業で各自に応じた図書を紹介する。
履修条件・他の科目との関連	他の受講生の発表をよく聞き、活発な発言、討論を期待します。

履修条件・他の科目との関連

日常的に新聞をよく読むこと。
特に授業後に各自の発表内容等をまとめるなど復習を重視します。

授業コード	13071457	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅢa [対面]				
シラバス執筆(全員)	A. E. リオン				
シラバス執筆(主)	A. E. リオン				
開講年次	3年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

The aim of this Seminar IIIa course is to improve academic reading and writing ability in both English and Japanese. In this course, we will read, discuss, and analyze research reports, focusing on the field of SLA and English for Tourism Purposes. Through this analysis, we will build literacy skills in both languages, practice translation skills, and also look at cultural viewpoints expressed through texts. Supplementary materials and exercises will be introduced to help you to develop your writing composition abilities in both English and Japanese language.

セミナーIIIaの目的は、英語と日本語の両方で学術的な読み書きの能力を向上させることです。このコースでは、第二言語習得論や観光のための英語（English for Tourism Purposes）に関する学術論文読み、議論し、分析します。この分析を通して、日英両言語の読み書き能力を養い、翻訳スキルを練習するとともに、多文化的な視線を育ちます。英語と日本語の両方で文章を書く能力を養うための補助教材・課題も紹介します。

到達目標

By actively participating in this course, learners will be able to:

1. Develop an understanding of key research findings relating to SLA and Travel English.
2. Analyze academic texts to identify key language features
3. Develop academic reading and writing skills in both English and Japanese
4. Engage in self-reflection activities to promote habit building that will support academic and personal growth.

このコースに積極的に参加することで、学習者は以下のことができるようになる：

1. 第二言語習得論と観光英語に関する主な研究結果について理解を深める。
2. 学術的なテキストを分析し、主要な言語的特徴を特定する。
3. 英語と日本語の両方で、アカデミックな読み書きのスキルを身につける。
4. 学問的・個人的成長を支える習慣作りを促進するため、自己を振り返る活動を行う。

授業計画

- 【第1回】
 テーマ： Course Introduction
 内容・方法： Discuss course policies, academic calendar, and grading scheme. Outline course goals and participation guidelines. Ice-breaker activity 1 (Self-intro in English, partner interview and group partner introductions) 成績・履修登録指導。
- 【第2回】
 テーマ： Introduction to SLA (第二言語習得論) 1
 内容・方法： Group ice-breaker activity. Begin group reading/reflection assignments. Academic Writing 1: アカデミックライティングとは
- 【第3回】
 テーマ： Intro to English for Tourism Purposes (観光英語) 1
 内容・方法： Research Reading & Summary Task 学術論文読み・要約
- 【第4回】
 テーマ： SLA (第二言語習得論) 2
 内容・方法： Research Reading & Analysis Task 学術論文の読み・分析 Academic Writing 2: Flow. アカデミックライティング2： 英文の流れ
- 【第5回】
 テーマ： ETP (観光英語) 2
 内容・方法： Research Reading & Summary Task 学術論文読み・要約。 Academic Writing 3: Order of information. アカデミックライティング3： 情報の配置を変える
- 【第6回】
 テーマ： SLA (第二言語習得論) 3
 内容・方法： Research Reading & Analysis Task 学術論文の読み・分析 Academic Writing 4: Cohesion. アカデミックライティング4： ディスコースを結束させる)
- 【第7回】
 テーマ： ETP (観光英語) 3
 内容・方法： Field work at local museum 歴史館でのフィールドワーク
- 【第8回】
 テーマ： SLA (第二言語習得論) 4
 内容・方法： Fieldwork Report フィールドワーク報告。 Quiz 1: Terms (クイズ1：用語)
- 【第9回】
 テーマ： ETP (観光英語) 4
 内容・方法： Research Reading & Summary Task 学術論文読み・要約。 Academic Writing 6: Discourse markers アカデミックライティング6： 文頭のメタディスコース)

【第10回】

テーマ： SLA (第二言語習得論) 5

内容・方法： Analysis Task 学術論文の読み・分析。 Academic Writing 7: Tense and stance アカデミックライティング7： 自制で示す書き手のスタンス)

【第11回】

テーマ： ETP (観光英語) 5

内容・方法： Research Reading & Summary Task 学術論文読み・要約。 Academic Writing 8: Hedging & Boosting. アカデミックライティング8： ヘッジとブースター

【第12回】

テーマ： Library Tour

内容・方法： Library Tour and searching for materials (Prep for final project). SA Survey Questionnaire.

【第13回】

テーマ： Final Report Prep

内容・方法： Academic Writing 9: Paragraph writing. アカデミックライティング9： パラグラフのまとめ方)

【第14回】

テーマ： Final Report Prep

内容・方法： Grade check and course reflection. Quiz 2: Terms. Academic Writing 10: Essay writing. Final Report Prep (アカデミックライティング10： エッセイの基本ムーヴ。用語クイズ。期末レポートの準備)

【第15回】

テーマ： Final Presentations: Study Abroad Research

内容・方法： Semester Review. Continue working on the Final Report.

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

この授業は2単位で、一学期につき90時間の学習が必要です。毎回の授業において、2時間の事前学習と2時間の事後学習が必要です。

第1回

【事前】： Read syllabus

【事後】： Pre-reading, Workbook exercises, 履修登録チェック

第2回

【事前】： Review notes & course readings

【事後】： Pre-reading, Workbook exercises

第3回

【事前】： Review notes & course readings

【事後】： Pre-reading, Workbook exercises

第4回

【事前】： Review notes & course readings

【事後】： Pre-reading, Workbook exercises

第5回

【事前】： Review notes & course readings

【事後】： Pre-reading, Workbook exercises

第6回

【事前】： Review notes & course readings

【事後】： Pre-reading, Workbook exercises

第7回

【事前】： Review notes & course readings

【事後】： Pre-reading, Workbook exercises

第8回

【事前】： Study for Quiz 1

【事後】： Check that all assignments are turned in

第9回

【事前】： Review notes & course readings

【事後】： Pre-reading, Workbook exercises

第10回

【事前】： Review notes & course readings

【事後】： Pre-reading, Workbook exercises

第11回

【事前】： Review notes & course readings

【事後】： Pre-reading, Workbook exercises

第12回

【事前】： Review notes & course readings

【事後】： Pre-reading, Workbook exercises

第13回

【事前】： Review notes & course readings

【事後】： Pre-reading, Workbook exercises

第14回

【事前】： Study for Quiz 2, Prepare for Presentation

【事後】： Check that all assignments are turned in

第15回

【事前】： Prepare for final report assignment

【事後】： Continue working on final report assignment

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, writing assignments completed as homework, and a final report and presentation. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse will be given a “K” (failing mark).

以下に示す通り、成績は要約・分析課題、小テスト及び期末プレゼンテーションとレポートの結果に基づく総合的な評価により決定される。60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。正当な理由のない欠席が4回を超える場合は、「K」評価（不合格）とする。

Grade Breakdown:

1. In-class participation & workbook (30%)
2. Quizzes/Presentations (20%)
3. Homework assignments (20%)
4. Final presentation and report (30%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	In-class participation & workbook Activities (30), Quizzes & Presentations (30)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	20	Homework assignments (20)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final Report (20)	1, 2, 3, 4
その他	0		

テキスト	None
参考書	中谷安男 (著)2016.「大学生のためのアカデミック英文ライティング: 検定試験対策から英文論文執筆まで」978-4469246025 Research papers and other materials will be provided by the instructor in class or on Google Classroom as needed.

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>2) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. It will be difficult to pass the course if you are absent more than three times. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。3回以上欠席すると合格は難しくなります。</p> <p>3) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされる。</p> <p>4) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできるが、欠席扱いとなる。</p> <p>5) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD - 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	---

授業コード	13071458	授業形態	演習	実務家教員	○
授業科目名	セミナーⅢa [対面]				
シラバス執筆(全員)	杉寄 聡紀				
シラバス執筆(主)	杉寄 聡紀				
開講年次	3年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

本セミナーで取り扱うのは「テーマパーク」「余暇」である。テーマパークを含む余暇活動は、私たちに何をもたらしているのかを考え、余暇視点からみた社会的意義や人生における幸福感・充実感をもたらす存在としての理解を深め、研究を進める力を養います。

- ・卒業研究や論文執筆に向けた準備を行い、4年次において卒業研究・論文執筆ができる知識や経験、スキルを身につける。
- ・ゼミ活動を通じて、社会人として必要となる基礎的な能力やルールについて身につける。
- ・担当教員がテーマパーク運営会社（合同会社ユー・エス・ジェイ）において立ち上げから19年にわたり、「テーマパーク運營業務」に従事してきた経験をもとに、実務家教員としてテーマパーク業界及び余暇研究を主とするが、その他業界の研究を妨げるものではない。
- ・発案・発言を必要とするグループワーク・プレゼンテーション、対話・対論などを組み合わせて進めていく。
- ・必要に応じてゲストスピーカーをお招きし、プロフェッショナル視点での解説や考えについて学ぶ機会を設ける。
- ・必要に応じてフィールドワークや学内・他大学との合同ゼミを実施することがある。（ゼミ内での相談を経て決定する）

到達目標

1. 自身の興味・関心のある分野を理解し、セミナーメンバーに体系的に説明することができる
2. 卒業論文執筆に向けて研究計画を策定し、セミナーメンバーに説明することができる
3. ゼミ活動に主体的かつ積極的に参画し、体験や経験した結果をまとめセミナーメンバーに説明することができる
4. 余暇活動について理解し、自分の言葉で「余暇」を説明することができる

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：ガイダンス・オリエンテーション
 内容：全15回の進め方・内容、到達目標、ルール、評価基準等の説明。セミナー運営方法について全員で相談し、セミナーとしての目標を設定する
- 【第2回】
 テーマ：ワークショップ・自己紹介・キャリアプランを考える
 内容：プレゼンテーション形式で自己紹介を行う。後半ではキャリアプランについて考える
- 【第3回】
 テーマ：「余暇」「テーマパーク」とは
 内容：余暇とテーマパークの関係について概説する
- 【第4回】
 テーマ：「余暇」「テーマパーク」とは
 内容：余暇とテーマパークの関係について概説する
- 【第5回】
 テーマ：情報収集の方法（ライブラリツアー）
 内容・方法：図書館のライブラリツアーに参加し、情報収集・探索の方法を知る
- 【第6回】
 テーマ：「余暇」「テーマパーク」についてのディスカッション
 内容：教科書を用いての輪読
- 【第7回】
 テーマ：「余暇」「テーマパーク」についてのプレゼンテーション
 内容：前週のディスカッションをまとめ、プレゼンテーションを行う
- 【第8回】
 テーマ：「余暇」の社会的意義についてのディスカッション
 内容：教科書を用いてディスカッションを行う
- 【第9回】
 テーマ：「余暇」の社会的意義についてのプレゼンテーション
 内容：各自の考える役割や意義についてプレゼンテーションを行う
- 【第10回】
 テーマ：卒業研究・論文とは
 内容：目的・目標設定、スケジュール管理の重要性、基本的な構成、リサーチクエスチョン、仮説、データの信憑性、引用・参考文献の大切さや表記方法について
- 【第11回】
 テーマ：実際の研究発表とは・研究テーマについて考える
 内容：教員や学会発表をもとに理解を深める。また、ディスカッションを通じてテーマ設定を行う
- 【第12回】
 テーマ：テーマパーク事例研究①

内容：テーマパークビジネスの現状及び余暇産業における位置付けについて考え、ディスカッションを行う
 【第13回】
 テーマ：テーマパーク事例研究②
 内容：フィールドワークに向けて調査を実施し、理解を深める
 【第14回】
 テーマ：キャリア・サポートセンター訪問
 内容：キャリア・サポートセンターの役割・使い方を知り、キャリアプランを実現するための一助とする
 【第15回】
 テーマ：前期の振り返り夏期課題についてもしくはフィールドワーク
 内容・方法：前期を振り返り夏期の課題について確認するもしくは学外フィールドワークの実施

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

毎回の授業前に必要と思われる事前調査や情報探索、プレゼンテーション実施の場合は準備をして臨む必要があります。
 また事後学習として授業の振り返りを行い、理解を深める必要があります。
 必要に応じて追加情報の収集や探索を行いまとめておく必要があります。

課題に対するフィードバックの方法

プレゼンテーションやレポートなどに関して、適宜コメントやフィードバックを行う

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

課題やプレゼンテーションへの積極的な取り組みを重視し、評価します。受け身ではなく、積極的にセミナーに参加するようにしてください。発表・報告とレポート課題により総合的に評価します。
 以下に示す評価方法により総合的に判定の上、60点以上を合格とし所定の単位を認定する。なお、正当な理由なく全授業回数の3分の1以上（5回以上）欠席した場合は「K」評価とする。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	90	発表・報告	1, 2, 3
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10	レポート課題	1, 2
その他	0		

テキスト	以下2冊のうち、いずれかを選択して使用する。詳細については個別に連絡する。 ・余暇学を学ぶ人のために（瀬沼 克彰・藺田 碩哉 / 世界思想社 / 2,090円(税込) / ISBN:978-4790710905） ・テーマパーク・アミューズメント事業 知っておきたい最新トレンドと成功の秘訣（清水群・杉崎聡紀 / セルバ出版 / 1,760円(税込) / ISBN:978-4863675223）
------	--

参考書	購入の必要はありません。必要に応じて各自で購入を判断してください。 ・基礎からわかる 論文の書き方（小熊 英二/講談社） ・社会科学系論文の書き方（明石芳彦/ミネルヴァ書房） ・文献レビューのきほん—看護研究・看護実践の質を高める（大木 秀一/医歯薬出版）
-----	---

履修条件・他の科目との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・「テーマパーク論」は必ず受講すること。また「イベント実務論」についても履修することが望ましい ・主体的で積極的な参加が必要です ・特段の理由がない限り、遅刻することなく積極的に毎回講義に参画するようにしてください ・授業内ルールを守らない行為、主体的に前向きに学ぶ学生の学びの妨げになる行為を行った場合は、単位取得不可とします ・セミナーに関する連絡や資料の共有、課題の提出は Google Classroomを使用します。PC(推奨)やスマートフォンで閲覧・回答することを前提に準備をお願いします
---------------	--

授業コード	13071459	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅢa [対面]				
シラバス執筆(全員)	辻 有美子				
シラバス執筆(主)	辻 有美子				
開講年次	3年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

本セミナーでは、時事をふまえ、観光産業に関連するテーマに沿って、ディスカッションやプレゼンテーションを行う。例えば航空業界、宿泊産業、サービス業などといった産業および観光地の地域資源やホスピタリティなどの事例をもって分析・考察に取り組む。チームでの協業や討論、メンバーから多様な意見を得ることにより幅広い視野を醸成する。卒業論文や将来の職業観にも活かせる知見を得られるよう進めていく。

到達目標

1. 現代社会が直面しているさまざまな問題に関する基礎知識や分析枠組みを習得する。
2. その問題に関する情報やデータを収集し、論点を整理する。
3. その問題に関してどのような対策が必要か、自分なりの意見を表明できる。
4. レジюмеやスライドを作成し、プレゼンテーションを行う。

授業計画

- 【第1回】オリエンテーション、自己紹介
【第2回】グループワーク基本演習：ディスカッションと考察、プレゼンテーション（テーマ：航空業界関連）
※テーマ詳細は、それぞれ時事をふまえて事前に設定します。以下の回も同様です。
【第3回】グループワーク基本演習：ディスカッションと考察、プレゼンテーション（テーマ：航空業界関連）
【第4回】グループワーク基本演習：ディスカッションと考察、プレゼンテーション（テーマ：宿泊産業関連）
【第5回】グループワーク基本演習：ディスカッションと考察、プレゼンテーション（テーマ：宿泊産業関連）
【第6回】グループワーク基本演習：ディスカッションと考察、プレゼンテーション（テーマ：ホスピタリティ関連）
【第7回】グループワーク基本演習：ディスカッションと考察、プレゼンテーション（テーマ：サービス関連）
【第8回】グループワーク基本演習：ディスカッションと考察、プレゼンテーション（テーマ：サービス関連）
【第9回】グループワーク基本演習：ディスカッションと考察、プレゼンテーション（テーマ：観光振興について）
【第10回】グループワーク基本演習：ディスカッションと考察、プレゼンテーション（テーマ：観光振興について）
【第11回】グループワーク基本演習：ディスカッションと考察、プレゼンテーション（テーマ：社会問題について）
【第12回】グループワーク基本演習：ディスカッションと考察、プレゼンテーション（テーマ：社会問題について）
【第13回】グループワーク基本演習：ディスカッションと考察、プレゼンテーション（テーマ：自由課題）
【第14回】グループワーク基本演習：ディスカッションと考察、プレゼンテーション（テーマ：自由課題）
【第15回】これまでの授業を振り返り、まとめ

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。
前回までの講義内容を確認し復習しておくこと。また、日頃より観光業界の動向について新聞や専門誌などを用いて情報収集を行うこと。

課題に対するフィードバックの方法

レポートは添削し、プレゼンテーションは発表後に改善点を指摘する。適宜、個人指導のためコメントする。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

主体的で積極的な参加を評価する。授業への貢献度や発表の内容も加味し、下記の授業評価割合に基づく。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	各回の授業内容について出題する小テストや課題で評価する。	1,2,3
授業外での評価	0		

定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	30	期末試験に代わるレポート	1,2,3
その他	20	プレゼンテーション	4

テキスト	適宜、資料を配布する
------	------------

参考書	佐藤望編著(2020)『アカデミック・スキルズ(第3版)——大学生のための知的技法入門』慶應義塾大学出版会 大出敦編著・直江健介著(2020)『アカデミック・スキルズ プレゼンテーション入門:学生のためのプレゼン上達術』慶應義塾大学出版会
-----	--

履修条件・他の科目との関連	卒業研究のための段階的な指導のため、自ら意欲的に取り組む姿勢が求められる。
---------------	---------------------------------------

授業コード	13071551	授業形態	演習	実務家教員	○
授業科目名	セミナーⅢb [対面]				
シラバス執筆(全員)	長谷川 順一郎				
シラバス執筆(主)	長谷川 順一郎				
開講年次	3年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

国際級ホテルを中心とした観光ホスピタリティ経営、特に人的資源管理を主な研究領域とします。卒業後、観光ホスピタリティ業界にて活躍できる人材の育成も目標の一つに掲げます。そのためには、この分野の基礎理論をしっかりと学び、かつ、その実務についても大いに知見を広めておく必要があります。

本セミナーの最大の特徴は、積極的に企業を訪問することです。このフィールドワークを通じ、業界の特性や魅力等を肌で感じ取ってもらいます。訪問先は学生の意向によって決まります。希望訪問先の例を挙げますと、国際級ホテル、国際空港、テーマパーク、プライダル会社などです。

フィールドワークでは施設を案内してもらっただけでなく、現地スタッフとの質疑応答も行います。事前準備は不可欠となります。フィールドワーク実施後は、学生がセミナーにてプレゼンテーション（口頭発表）し、それをもとに全員でディスカッション（討議）します。プレゼンテーションする学生は交替で行います。このプレゼンテーションとディスカッションを踏まえ、各自レポートを作成します。これらは卒業研究作成の基礎にもなります。なお、卒業研究のテーマは主にホスピタリティに関する事柄のなかから各自で設定します。

担当教員が企業において観光ホスピタリティ業務に従事してきた経験をもとに、実務家教員として、観光ホスピタリティに関する理論と実践への応用を関連付けながら授業を展開します。

なお、コロナの状況によって、フィールドワークは遠隔調査（リモートによる聞き取り調査）に変更することもあります。

到達目標

1. 研究調査のルール、手法について説明できるようになります。
2. 卒業研究の仮題目、問い、研究手段について説明できるようになります。

授業計画

- 第1回 ガイダンス
目標、課題、受講上の注意等について説明する。
- 第2回 夏期休暇中にて取り組んだ研究のふりかえりⅠ
夏期休暇中の研究成果について発表しそれをもとに討議する。
- 第3回 夏季休業中にて取り組んだ研究のふりかえりⅡ
夏期休暇中の研究成果について発表しそれをもとに討議する。
- 第4回 夏季休業中にて取り組んだ研究のふりかえりⅢ
夏季休業中にて取り組んだ研究について講評する。
- 第5回 フィールドワークの基礎Ⅰ
資料収集方法について概要を説明する。
- 第6回 フィールドワークの基礎Ⅱ
フィールドワークの計画策定について説明する。
- 第7回 フィールドワークの基礎Ⅲ
フィールドワークの準備について説明する。
- 第8回 フィールドワークの実施Ⅰ
フィールドワークを実施する。
- 第9回 フィールドワークの実施Ⅱ
フィールドワークを実施する。
- 第10回 フィールドワークのふりかえりⅠ
フィールドワークで学んだことについて発表しそれをもとに討議する。
- 第11回 フィールドワークのふりかえりⅡ
フィールドワークで学んだことについて発表しそれをもとに討議する。
- 第12回 卒業研究の仮の題目、問い、研究方法の発表と討議Ⅰ
卒業研究の仮の題目、問い、研究方法について発表しそれをもとに討議する。
- 第13回 卒業研究の仮の題目、問い、研究方法の発表と討議Ⅱ
卒業研究の仮の題目、問い、研究方法について発表しそれをもとに討議する。
- 第14回 春期休暇中の研究計画の確認
春期休暇中の研究計画を発表し、それをもとに討議する。
- 第15回 まとめ
これまでの取り組み、今後の課題等について総括する。

* 授業計画はクラスの状況、授業の進行状況によって変更することがあります。あらかじめご理解ください。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

本授業は2単位科目ですので、事前事後の学修としては、週あたり4時間必要となります。
授業中に解説されたことはもちろん、授業を通じて気づいたこと、確認したいことなどをめれなくノートに記します。それをもとにした復習と、指示された課題（配布物の精読が中心となります）を含めた予習をしっかりと行います。そして、学んだこと、調べたことなどを常に整理し、意見発信できるよう準備することが大切です。

課題に対するフィードバックの方法

発表、討議後は講評を行います。提出物については随時講評を行います。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となります。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価となります。

①毎回、提出物（レポート課題）があります。その多くはゼミで共有しますので、授業前に作成・配布（送信）する必要があります。授業計画はクラスの状況、授業の進行状況によって変更することがあります。あらかじめご理解ください。

②提出物（レポート課題）はもちろんのこと、積極的なゼミ活動への参加（討議での発言、協働など）が強く求められます。ゼミ活動を通じて涵養される社会人基礎力も評価の対象となります。

以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定します。総授業回数 of 1/3以上欠席した場合、また、連続3回欠席した場合、評価の対象とせず「K」評価となります。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	発表・討議	1, 2
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	50	期末レポート	1, 2
その他	0		

テキスト テキストは使用しません。プリントを適宜配布します。

参考書 授業中に指示します。

履修条件・他の科目との関連 授業時間厳守。遅刻することがないように注意してください。但し、公共交通機関の遅延等があった場合は考慮しますので申し出てください。

いずれの授業回においても、理由のいかんに関わらず欠席した場合は、本授業の履修者（複数）に授業内容を聞いてください。配布物は複写させてもらい、課題にも取り組んでください。講義時間は厳守とします。

授業コード	13071552	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅢb [対面]				
シラバス執筆(全員)	韓 尚秀				
シラバス執筆(主)	韓 尚秀				
開講年次	3年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

レポート作成に必要な知識習得を目指す。前期では、仮テーマでレポート作成要領から発表までを学習し、後期には、リサーチプロジェクトを通じて本格的なレポート作成に取り組む。

到達目標

①レポート作成と発表能力を身につける。

授業計画

【第1回】
 テーマ：講義紹介
 内容・方法：講義概要の紹介、受講中の注意点・方針を知らせる。

【第2回】
 テーマ：レポートの作成方法Ⅱ
 内容・方法：レポートの作成方法に詳細について講義する。

【第3回】
 テーマ：タイピングⅡ
 内容・方法：タイピング練習・テスト

【第4回】
 テーマ：グラフ作成練習Ⅱ
 内容・方法：詳細なグラフ作成練習

【第5回】
 テーマ：数式エディタの使用法Ⅱ
 内容・方法：詳細な数式エディタによる数式作成・入力練習をする。

【第6回】
 テーマ：データの収集
 内容・方法：自分のテーマに関するデータを収集する

【第7回】
 テーマ：データの分析
 内容・方法：自分のテーマに関するデータの分析を行う

【第8回】
 テーマ：データの表現
 内容・方法：詳細なデータの表現について学ぶ。

【第9回】
 テーマ：リサーチプロジェクトのテーマ決定
 内容・方法：各自リサーチプロジェクトテーマを確定する。

【第10回】
 テーマ：章建て
 内容・方法：各自レポートテーマに関する章建てを行う。

【第11回】
 テーマ：レポート作成Ⅰ
 内容・方法：各自レポートを作成する。

【第12回】
 テーマ：レポート作成Ⅱ
 内容・方法：各自レポートを作成する。

【第13回】
 テーマ：レポート作成Ⅲ
 内容・方法：各自レポートを作成する。

【第14回】
 テーマ：リサーチプロジェクト発表会
 内容・方法：リサーチプロジェクト発表会を行う。

【第15回】
 テーマ：総括
 内容・方法：各自のテーマに関するレポートを評価する。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間

【第2回】

- ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間
 【第3回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間
 【第4回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間
 【第5回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間
 【第6回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間
 【第7回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間
 【第8回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間
 【第9回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間
 【第10回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間
 【第11回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間
 【第12回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間
 【第13回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間
 【第14回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間
 【第15回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。2時間
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。2時間

課題に対するフィードバックの方法

Google Classのレポート機能を活用する。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

平常点 30%・レポート課題30%・授業内試験 0%・期末試験 20%・その他 タイピング20%評価を義務付ける。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	30	平常点	1
授業外での評価	30	レポート点	1
定期試験	0	なし	なし
定期試験に代わるレポート等	20	期末レポート点	1
その他	20	タイピング点	1

テキスト	テキストなし
参考書	必要に応じて、授業中に紹介する。
履修条件・他の科目との関連	意欲的に取り組み、予習復習を行うこと。

授業コード	13071553	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅢb [対面]				
シラバス執筆(全員)	村田 隆志				
シラバス執筆(主)	村田 隆志				
開講年次	3年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

本セミナーで取り扱うのは日本・東洋の芸術、中でも、目で見ることができ視覚芸術である。様々な芸術家の残した優れた作品を分析することによってその本質を理解し、過去の作品と比較することによってその個性や意義を明らかにすることが重要である。人間の営みの中でも非常に大きな価値を持つ芸術について、その特質を理解し、自らの言葉で語るができる能力を養うことができれば、それは受講者の人生に益する。また、鑑賞の場である博物館をめぐる諸問題についても研究対象となる。

後期は何らかの作品解説（キャプション）の執筆演習等を通じて、文章力を高める。

到達目標

1. 美術史・芸術学の「様式論」を理解する。
2. 「様式論」を、それぞれの興味関心に応じて援用し、物事を理解する上での基盤とする。
3. 思考を言語化し、的確な語彙を用いて論文とする能力を体得する。
4. 調査研究の成果を口頭で発信する能力を身に着ける。

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：作品解説執筆演習 4
 内容・方法：作品解説執筆と添削
- 【第2回】
 テーマ：作品解説執筆演習 5
 内容・方法：作品解説執筆と添削
- 【第3回】
 テーマ：作品解説執筆演習 6
 内容・方法：作品解説執筆と添削
- 【第4回】
 テーマ：展示作業実地見学
 内容・方法：展示作業に見学・参加することによって実地に学びを深める
- 【第5回】
 テーマ：ギャラリートークの実際
 内容・方法：教員のギャラリートークを見学
- 【第6回】
 テーマ：教育普及事業の実際
 内容・方法：教育普及についての体験
- 【第7回】
 テーマ：受講生発表 1
 内容・方法：受講生による口頭発表
- 【第8回】
 テーマ：受講生発表 2
 内容・方法：受講生による口頭発表
- 【第9回】
 テーマ：受講生発表 3
 内容・方法：受講生による口頭発表
- 【第10回】
 テーマ：受講生発表 4
 内容・方法：受講生による口頭発表
- 【第11回】
 テーマ：セミナーⅣに向けての諸注意
 内容・方法：セミナーⅣに向けての諸注意
- 【第12回】
 テーマ：分析的読書と要約 1
 内容・方法：研究遂行に必要な読書の手法と要約の執筆方法
- 【第13回】
 テーマ：要約発表
 内容・方法：要約発表
- 【第14回】
 テーマ：教員模範発表
 内容・方法：教員模範発表
- 【第15回】
 テーマ：総括
 内容・方法：本科目の総括

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

※毎回の授業において、2時間の事前学習と2時間の事後学習が必要である。

- 【第1回】
- ①事前学修課題：作品解説執筆
 - ②事後学修課題：指導内容の反映
- 【第2回】
- ①事前学修課題：作品解説執筆
 - ②事後学修課題：指導内容の反映
- 【第3回】
- ①事前学修課題：作品解説執筆
 - ②事後学修課題：指導内容の反映
- 【第4回】
- ①事前学修課題：博物館学関係科目の既習内容の復習
 - ②事後学修課題：見学内容の振り返り
- 【第5回】
- ①事前学修課題：特に興味のある作品についての情報収集。
 - ②事後学修課題：ギャラリートーク実施の際の要点を理解
- 【第6回】
- ①事前学修課題：博物館学関係科目の既習内容の復習
 - ②事後学修課題：ワークショップ実施の際の要点を理解
- 【第7回】
- ①事前学修課題：口頭発表準備
 - ②事後学修課題：指導内容の反映
- 【第8回】
- ①事前学修課題：口頭発表準備
 - ②事後学修課題：指導内容の反映
- 【第9回】
- ①事前学修課題：口頭発表準備
 - ②事後学修課題：指導内容の反映
- 【第10回】
- ①事前学修課題：口頭発表準備
 - ②事後学修課題：指導内容の反映
- 【第11回】
- ①事前学修課題：既習内容の復習
 - ②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第12回】
- ①事前学修課題：参考文献を探しておく
 - ②事後学修課題：要約原稿の執筆
- 【第13回】
- ①事前学修課題：要約発表準備
 - ②事後学修課題：指導内容の原稿への反映
- 【第14回】
- ①事前学修課題：既習内容の確認
 - ②事後学修課題：資料・ノートの整理
- 【第15回】
- ①事前学修課題：既習内容の確認
 - ②事後学修課題：参考文献要約レポートの執筆

課題に対するフィードバックの方法

各課題については、提出のつどフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により、総合的に判定の上、60点を合格とし、所定の単位を認定する。

正当な理由なく5回以上欠席した場合にはK評価とする。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	80	授業内課題(40) 授業内口頭発表(40)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	20	卒業研究発表会コメントシート(20)	3

テキスト	テキストなし
参考書	授業中に指示する。
履修条件・他の科目との関連	「日本美術史」「芸術学」は必ず受講すること。また、博物館学芸員資格関連諸科目も履修することが望ましい。

授業コード	13071554	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅢb [対面]				
シラバス執筆(全員)	岸脇 誠				
シラバス執筆(主)	岸脇 誠				
開講年次	3年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

このセミナーでは、今の日本や世界が直面している問題の中から人々の間で意見が分かれている論点を取り上げ、事実関係とその背景について理解を深める。その際、学生自らが疑問点や課題を発見し、それを解決するために、よく調べた上で、いくつかの論点にまとめ、それを発表するという一連のプロセスを重視する。図書館の活用方法から、データや資料の集め方、コンピューターの利用法に至るまで丁寧に指導したい。

到達目標

1. 現代社会が直面しているさまざまな問題に関する基礎知識や分析枠組みを習得する。
2. その問題に関する情報やデータを収集し、論点を整理する。
3. その問題に関してどのような対策が必要か、自分なりの意見を表明できる。
4. レジюмеやスライドを作成し、プレゼンテーションを行う。

授業計画

【第1回】

テーマ：ガイダンス

内容：セミナーの進め方、成績評価方法等について説明する。

【第2回】

テーマ：経済成長は必要なのか

内容：上記のテーマに基づいて担当者が論点を提示した後、全員でディスカッションを行う。

【第3回】

テーマ：自由貿易を推進することは世界経済にとって好ましいのか

内容：上記のテーマに基づいて担当者が論点を提示した後、全員でディスカッションを行う。

【第4回】

テーマ：投資はした方がよいか、それとも貯蓄をする方がよいか

内容：上記のテーマに基づいて担当者が論点を提示した後、全員でディスカッションを行う。

【第5回】

テーマ：生活保護とベーシックインカム、貧困対策はどちらがよいのか

内容：上記のテーマに基づいて担当者が論点を提示した後、全員でディスカッションを行う。

【第6回】

テーマ：食料廃棄を削減するにはどうしたらよいか

内容：上記のテーマに基づいて担当者が論点を提示した後、全員でディスカッションを行う。

【第7回】

テーマ：プラスチックごみを削減するにはどうしたらよいか

内容：上記のテーマに基づいて担当者が論点を提示した後、全員でディスカッションを行う。

【第8回】

テーマ：財政赤字は解消すべきか

内容：上記のテーマに基づいて担当者が論点を提示した後、全員でディスカッションを行う。

【第9回】

テーマ：公的年金制度は破綻してしまうのか

内容：上記のテーマに基づいて担当者が論点を提示した後、全員でディスカッションを行う。

【第10回】

テーマ：日本の大学教育は世界で通用しないのか

内容：上記のテーマに基づいて担当者が論点を提示した後、全員でディスカッションを行う。

【第11回】

テーマ：海外留学はした方がよいのか

内容：上記のテーマに基づいて担当者が論点を提示した後、全員でディスカッションを行う。

【第12回】

テーマ：英語力を向上させるためにはどうしたらよいか

内容：上記のテーマに基づいて担当者が論点を提示した後、全員でディスカッションを行う。

【第13回】

テーマ：発展途上国の貧困対策はどのように進めればよいか
内容：上記のテーマに基づいて担当者が論点を提示した後、全員でディスカッションを行う。

【第14回】

テーマ：日本の少子高齢化対策には何が必要か
内容：上記のテーマに基づいて担当者が論点を提示した後、全員でディスカッションを行う。

【第15回】

テーマ：総括
内容：これまでの授業を振り返り、残された課題を確認する。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

毎回の授業において2時間の事前学習と2時間の事後学習が必要である。
事前学習としては普段から新聞やニュースなどを通して現代社会が直面しているさまざまな問題に関する情報を収集し、論点を整理しておくこと。事後学習としては、その日の授業で学んだことを整理し、次回の授業のキーワードについて調べておくこと。

課題に対するフィードバックの方法

レポートは添削し、改善点を指摘する。プレゼンテーションについては発表後に改善点を指摘する。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

下記の評価割合に基づいて総合的に評価する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	各回の授業内容に基づいて出題する小テストや課題で評価する。	1, 2, 3
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	30	期末試験に代わるレポート	1, 2, 3
その他	20	プレゼンテーション	4

テキスト 資料を配布する。

参考書 出口治明『自分の頭で考える日本の論点』幻冬舎、2020年。
落合陽一『2030年の世界地図帳：あたらしい経済とSDGs、未来への展望』SBクリエイティブ、2019年。

履修条件・他の科目との関連 欠席する場合は事前に連絡すること。

授業コード	13071555	授業形態	演習	実務家教員	<input type="radio"/>
授業科目名	セミナーⅢb [対面]				
シラバス執筆(全員)	森田 浩司				
シラバス執筆(主)	森田 浩司				
開講年次	3年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

- ・観光学（ヘルスツーリズムなどの〇〇ツーリズム等）、観光産業、観光まちづくり、国際観光または温泉研究に係るテーマで卒業研究を行う、あるいはこれらに関連する業界への就職意欲のある学生を対象とする
- ・本セミナーでは、担当教員が長年にわたり、企業において「旅行業」業務に従事してきた経験をもとに、実務家教員として、適宜「観光」「観光業」に関する理論と実践への応用を関連付けながら授業や活動を展開する。
- ・本セミナーでは、テーマに係る卒業研究や関連産業で活かせるpracticalな能力を養うため、ただ教員から与えられた事をこなすだけの活動ではなく、自ら学び、学んだ事を応用し、実践していくPBL（Project based learning／課題解決型学習）をベースに行う
- ・セミナーⅢbでは、学生の関心や希望に基づき、「観光関連テーマのケーススタディやフィールドワーク+プレゼン・ディスカッション+レポート・小論文作成」を軸とした取組、または前期に引き続き「各種プロジェクト」への参加の取組を予定している。学生の希望や意欲によりこれらを並行して行う場合もある。
- ・後半回には来たる卒業研究や就職活動に係るテーマの取組も予定している
- ・プロジェクト内容・取組内容については、学生の関心や希望に基づき、メンバーで討議の上で決定し、学力や進捗、日程等を踏まえて弾力的に対応する

到達目標

- 本セミナーで取り扱うテーマに係る取組・活動を通じて、
1. 関連するテーマについて調査・研究を踏まえて理解し、説明できるようになる
 2. 来たる卒業研究の題材を定め、卒業研究に必要な基礎知識や、事例、データを蓄積し執筆準備が出来るようになる
 3. 観光関連産業をはじめ社会で活躍していくために必要な社会人基礎力やスキルを修得し実践出来るようになる

授業計画

- 第1回 取組研究テーマについての討議・決定
- 第2回 プロジェクトの研究計画策定、観光トピックス研究発表& ディスカッション
- 第3回 プロジェクトのプラン概要作成、観光トピックス研究発表& ディスカッション
- 第4回 プロジェクトのプラン概要完成、観光トピックス研究発表& ディスカッション
- 第5回 プロジェクトの研究・調査、観光トピックス研究発表& ディスカッション
- 第6回 プロジェクトの研究・調査、観光トピックス研究発表& ディスカッション
- 第7回 プロジェクトの研究・調査、観光トピックス研究発表& ディスカッション、
- 第8回 プロジェクトのゼミ内発表資料作成、観光トピックス研究発表& ディスカッション
- 第9回 プロジェクトのゼミ内発表、観光トピックス研究発表& ディスカッション
- 第10回 プロジェクトの完成に向けた取組、観光トピックス研究発表& ディスカッション
- 第11回 観光トピックス研究発表& ディスカッション
- 第12回 観光トピックス研究発表& ディスカッション
- 第13回 就職活動について
- 第14回 卒業研究について
- 第15回 春期休暇中の課題について、春期休暇中の活動計画の作成・発表

- ※取組内容・プロジェクト内容については、学生の関心や希望に基づき、メンバーで討議の上で決定し、学力や進捗、コンテスト日程等を踏まえて弾力的に対応する。
 ※プロジェクトの日程、ゼミ生のプロジェクトへの参画状況により、複数の取組を並行して進める場合、チーム毎に異なる取組をする場合、授業計画が変更になる場合がある。
 ※また合同セミナーの実施等により、授業計画が変更になる可能性がある。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

一定期間かけて継続的に取り組む活動が中心となるため、ゼミ時間内だけで対応・完結出来ないことが多く、時間外での学習・活動も必要になってくるので、その前提で主体的に前向きに取り組むこと。

課題に対するフィードバックの方法

取り組みの節目節目や、ゼミ内外でのディスカッションや発表、プレゼンテーション後に講評を行い、一連の取り組みのフィードバックを行い進めていく

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

・研究テーマに関する科目の学業成績や知識もさることながら、主体的で積極的なゼミへの参加を最大の評価基準とし、ゼミへの貢献度、成果物やディスカッション・発表の内容、社会人基礎力の到達度合を踏まえて、総合的に判定して評価する。

(欠席・遅刻の頻発、居眠りの過多、不適切な受講態度などは、「主体的で積極的なゼミへの参加」部分に影響することとなるので十分理解して取り組むこと)

・教員が認めた正当な理由がない欠席の回数が、全授業回の3分の1を超過した場合は、「K」評価となり、単位を取得できない

(公欠などがなく通常の15回の受講機会の場合、教員が認めない欠席が6回となった時点で「K」評価となる)

・観光に係る実学として、マナーや常識をはじめ社会人基礎力を要求した授業進行や評価を行う。

・同じような指導・注意を複数回行なっても繰り返す場合、改善の意思や対応する社会人基礎力がないと判断して、著しく評価を下げることになるので、十分に注意して取り組むこと

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	0		
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	100	<ul style="list-style-type: none"> ・ゼミ時間内外での主体的で積極的なゼミ活動への取組状況・円滑なゼミ活動のための貢献度(60) ・ゼミ時間内外の活動での成果物やディスカッション・発表の内容(20) ・社会人基礎力の到達度合(20) 	1, 2, 3

テキスト	必要に応じ、授業中に資料を配布したり適宜案内する
参考書	必要に応じ、授業中に適宜案内する
履修条件・他の科目との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・セミナーⅢ・Ⅳの取組は、卒業研究に直結することから、数ある科目の中で最もプライオリティの高い科目であることを十分に理解し、最優先で取り組むことを条件とする(他の授業、部活やサークル活動、資格取得のための学習、ボランティア、就活、バイト、やむを得ない私用等より優先して取り組むことになる) ・ゼミへの毎回の定時出席、授業内ルールの遵守は当然の条件となる(授業内ルールを守らない行為、主体的に前向きに学ぶ学生の学びの妨げになる行為を行った場合は、単位取得不可となり、卒業年次が遅れることになる) ・コンテストのフィールドワークや大会出場等で、週末や冬期・春期休暇中など、所定のゼミ時間外に活動が必要になる場合がある(原則、要実費負担) ・研究テーマに関する卒業研究の実施が条件となる ・欠席学生はGoogle Classroom 授業ページ内に掲載の授業資料を確認すること。

授業コード	13071556	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅢb [対面]				
シラバス執筆(全員)	五月女 賢司				
シラバス執筆(主)	五月女 賢司				
開講年次	3年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

1. 主に4年生で執筆・発表することになる卒業研究に向けて、調査・研究の方法、輪読、先行研究のレビュー、実際の調査などについて理解することを目的とする。

到達目標

1. 受講生間の討論を通じて各自が研究を進め、課題等を把握し、博物館や文化財を見学し、実物資料からも学んでいく。また、資料や文献を調査・収集する方法を身につけ、歴史を多角的に研究する能力を高めていく。後半には次年度の卒業研究にむけた計画書を作成する。

授業計画

【第1回】
 テーマ：夏期休暇中の課題について発表
 内容・方法：夏期休暇中の課題について発表する。

【第2回】
 テーマ：「各自のテーマについて」
 内容・方法：各自のテーマについて発表する。

【第3回】
 テーマ：「各自のテーマについて」
 内容・方法：各自のテーマについて発表する。

【第4回】
 テーマ：「各自にテーマについて」
 内容・方法：各自のテーマについて発表する。

【第5回】
 テーマ：「各自のテーマについて」
 内容・方法：各自のテーマについて発表する。

【第6回】
 テーマ：「各自のテーマについて」
 内容・方法：各自のテーマについて発表する。

【第7回】
 テーマ：「各自のテーマについて」
 内容・方法：各自のテーマについて発表する。

【第8回】
 テーマ：「各自のテーマについて」
 内容・方法：各自のテーマについて発表する。

【第9回】
 テーマ：「各自のテーマについて」
 内容・方法：各自のテーマについて発表する。

【第10回】
 テーマ：「各自のテーマについて」
 内容・方法：各自のテーマについて発表する。

【第11回】
 テーマ：「各自のテーマについて」
 内容・方法：各自のテーマについて発表する。

【第12回】
 テーマ：「各自のテーマについて」
 内容・方法：各自のテーマについて発表する。

【第13回】
 テーマ：「各自のテーマについて」
 内容・方法：各自のテーマについて発表する。

【第14回】
 テーマ：後期の総括
 内容・方法：後期の総括をし、各自の課題を考える。

【第15回】
 テーマ：セミナーⅣにむけて
 内容・方法：セミナーⅣにむけて、各自の課題を設定する。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

- ①事前学修課題：各自の課題発表を考えておくこと。
 ②事後学修課題：復習すること。
 【第2回】
 ①事前学修課題：担当者は、発表の準備をすること。
 ②事後学修課題：復習すること。
 【第3回】
 ①事前学修課題：担当者は、発表の準備をすること。
 ②事後学修課題：復習すること。
 【第4回】
 ①事前学修課題：担当者は、発表の準備をすること。
 ②事後学修課題：復習すること。
 【第5回】
 ①事前学修課題：担当者は、発表の準備をすること。
 ②事後学修課題：復習すること。
 【第6回】
 ①事前学修課題：担当者は、発表の準備をすること。
 ②事後学修課題：復習すること。
 【第7回】
 ①事前学修課題：担当者は、発表の準備をすること。
 ②事後学修課題：復習すること。
 【第8回】
 ①事前学修課題：担当者は、発表の準備をすること。
 ②事後学修課題：復習すること。
 【第9回】
 ①事前学修課題：担当者は、発表の準備をすること。
 ②事後学修課題：復習すること。
 【第10回】
 ①事前学修課題：担当者は、発表の準備をすること。
 ②事後学修課題：復習すること。
 【第11回】
 ①事前学修課題：担当者は、発表の準備をすること。
 ②事後学修課題：復習すること。
 【第12回】
 ①事前学修課題：担当者は、発表の準備をすること。
 ②事後学修課題：復習すること。
 【第13回】
 ①事前学修課題：担当者は、発表の準備をすること。
 ②事後学修課題：復習すること。
 【第14回】
 ①事前学修課題：各自の課題を考えておくこと。
 ②事後学修課題：復習すること。
 【第15回】
 ①事前学修課題：各自の課題を設定すること。
 ②事後学修課題：復習すること。

毎回の授業につき、2時間の事前学習、2時間の事後学習が必要である。

課題に対するフィードバックの方法

毎回の発表に対する教員・学生全員による討議と、新たな課題の発見に努める。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

発表・報告とレポート課題の総合評価による。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	発表・報告	1
授業外での評価	30	フィールド調査・報告	1
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	レポート課題	1
その他	0		

テキスト	プリントを配布する
参考書	授業で各自に応じた図書を紹介する。
履修条件・他の科目との関連	他の受講生の発表をよく聞き、活発な発言、討論を期待します。

履修条件・他の科目との関連

日常的に新聞をよく読むこと。
特に授業後に各自の発表内容等をまとめるなど復習を重視します。

授業コード	13071557	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅢb [対面]				
シラバス執筆(全員)	A. E. リオン				
シラバス執筆(主)	A. E. リオン				
開講年次	3年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

The aim of this Seminar IIIb course is to improve academic reading and writing ability in both English and Japanese. In this course, we will analyze research papers related to job hunting and English Education. Through this analysis, we will build literacy skills in both languages. Supplementary materials and exercises will be introduced to help you to develop your writing composition abilities in both English and Japanese language. Students will complete a short literature review paper on their tentative research topic.

セミナーIIIaの目的は、英語と日本語の両方で学術的な読み書きの能力を向上させることです。このコースでは就職活動と英語教育に関する学術論文を読み、議論し、分析します。この分析を通して、日英両言語の読み書き能力を養います。英語と日本語の両方で文章を書く能力を養うための補助教材・課題も紹介します。自ら選んだ仮テーマについて文献レビューを中心にレポートを作成し、発表します。

到達目標

By actively participating in this course, learners will be able to:

1. Write a short academic paper and present on a self-selected topic.
2. Analyze tourism texts and academic papers to identify key language features
3. Develop academic reading and writing skills in both English and Japanese
4. Engage in self-reflection activities to promote habit building that will support academic and personal growth.

このコースに積極的に参加することで、学習者は以下のことができるようになる：

1. 自分で選んだテーマについてレポートを書き、発表する。
2. 観光テキストや学術論文を分析し、主要な言語的特徴を特定する。
3. 英語と日本語の両方で、アカデミックな読み書きのスキルを身につける。
4. 学問的・個人的成長を支える習慣作りを促進するため、自己を振り返る活動を行う。

授業計画

【第1回】

テーマ： Course Introduction

内容・方法： Discuss course policies, academic calendar, and grading scheme. 成績・履修登録指導。共通プログラムとして「学修目標の設定、学修目標に達成に関する振り返り」等の講義及び作業

【第2回】

テーマ： Introduction to Job Hunting (就職活動に関する研究の紹介)

内容・方法： Workbook activities and genre analysis. Academic Writing 12: Academic Paper Elements 学術論文の構成

【第3回】

テーマ： Job Hunting Report (就職活動研究)

内容・方法： Workbook activities and genre analysis. Academic Writing 13: Introduction writing 1 インタロダクションの書き方1

【第4回】

テーマ： Job Hunting Report (就職活動研究)

内容・方法： Workbook activities and genre analysis. Academic Writing 14: Introduction writing 2 インタロダクションの書き方2

【第5回】

テーマ： Job Hunting Report (就職活動研究)

内容・方法： Workbook activities and genre analysis. 4th year student interview activity. Academic Writing 15: Introduction writing 3 インタロダクションの書き方3.

【第6回】

テーマ： Job Hunting Report (就職活動研究)

内容・方法： Workbook activities and genre analysis. 4th year student interview results report preparation.

【第7回】

テーマ： Job Hunting Report (就職活動研究) (合同授業)

内容・方法： 合同授業 Report preparation.

【第8回】

テーマ： CSC Tour / Individual Counseling

内容・方法： CSC Tour/ Individual Counseling

【第9回】

テーマ： Individual Topics (個人のテーマ)

内容・方法： Workbook activities and genre analysis. Academic Writing 16: Methods 1 メソッドの書き方1

【第10回】

テーマ： Individual Topics (個人のテーマ)

内容・方法 : Workbook activities and genre analysis. Academic Writing 17: Methods 2 メソッドの書き方2
 【第11回】
 テーマ : Individual Topics (個人のテーマ)
 内容・方法 : Workbook activities and genre analysis. Academic Writing 18: Methods 3 メソッドの書き方3
 【第12回】
 テーマ : Individual Topics (個人のテーマ)
 内容・方法 : Workbook activities and genre analysis. Academic Writing 19: Results 結果の書き方
 【第13回】
 テーマ : Individual Topics (個人のテーマ)
 内容・方法 : Workbook activities and genre analysis. Academic Writing 20: Discussion 1 考察の書き方1
 【第14回】
 テーマ : Individual Topics (個人のテーマ)
 内容・方法 : Workbook activities and genre analysis. Academic Writing 21: Discussion 2 考察の書き方2
 【第15回】
 テーマ : Final Presentations, Semester Review
 内容・方法 : Presentation of individual topic reports 最終発表

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

この授業は2単位で、一学期につき90時間の学習が必要です。毎回の授業において、2時間の事前学習と2時間の事後学習が必要です。

第1回
 【事前】 : Read syllabus
 【事後】 : Pre-reading, Workbook exercises, 履修登録チェック

第2回
 【事前】 : Review notes & course readings
 【事後】 : Pre-reading, Workbook exercises

第3回
 【事前】 : Review notes & course readings
 【事後】 : Pre-reading, Workbook exercises

第4回
 【事前】 : Review notes & course readings
 【事後】 : Pre-reading, Workbook exercises

第5回
 【事前】 : Review notes & course readings
 【事後】 : Pre-reading, Workbook exercises

第6回
 【事前】 : Review notes & course readings
 【事後】 : Pre-reading, Workbook exercises

第7回
 【事前】 : Review notes & course readings
 【事後】 : Pre-reading, Workbook exercises

第8回
 【事前】 : Prepare for presentation 1
 【事後】 : Check that all assignments are turned in

第9回
 【事前】 : Review notes & course readings
 【事後】 : Pre-reading, Workbook exercises

第10回
 【事前】 : Review notes & course readings
 【事後】 : Pre-reading, Workbook exercises

第11回
 【事前】 : Review notes & course readings
 【事後】 : Pre-reading, Workbook exercises

第12回
 【事前】 : Review notes & course readings
 【事後】 : Pre-reading, Workbook exercises

第13回
 【事前】 : Review notes & course readings
 【事後】 : Pre-reading, Workbook exercises

第14回
 【事前】 : Prepare for Presentation 2
 【事後】 : Check that all assignments are turned in

第15回
 【事前】 : Prepare for final report assignment
 【事後】 : Continue working on final report assignment

課題に対するフィードバックの方法

1. Feedback on assignments will be provided regularly in class and via Google Classroom.
2. Overall course progress and feedback will be given at midterm and before the final class.
3. Students can contact their teacher for an appointment if they need advice or assistance.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

As described below, grades will be calculated based on in-class activities and quizzes, writing assignments completed as homework, and a final report and presentation. Students with marks over 60 will pass and get credit for the course. Students who are absent more than 4 times without a valid excuse will be given a “K” (failing mark).

以下に示す通り、成績は要約・分析課題、小テスト及び期末プレゼンテーションとレポートの結果に基づく総合的な評価により決定される。60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。正当な理由のない欠席が4回を超える場合は、「K」評価（不合格）とする。

Grade Breakdown:

1. In-class participation & Workbook Activities (30%)
2. Quizzes & Presentations (20%)
3. Homework assignments (20%)
4. Final presentation and report assignment (30%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	60	In-class participation & workbook activities (30%), Quizzes & Presentations (30%)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	20	Homework assignments (20)	1, 2, 3, 4
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	20	Final Report (20)	1, 2, 3, 4
その他	0		

テキスト	None
------	------

参考書	中谷安男 (著)2016.「大学生のためのアカデミック英文ライティング: 検定試験対策から英文論文執筆まで」978-4469246025 Research papers and other materials will be provided by the instructor as needed.
-----	---

履修条件・他の科目との関連	<p>Attendance Policy & Notes:</p> <p>1) You will get more information from the teacher during the first class. This syllabus is subject to change. Changes will be announced in class. 詳細は、初回授業時にコース担当者から説明します。このシラバスは変更される可能性があります。変更された場合は、授業中にお知らせします。</p> <p>2) You are expected to attend EVERY class and arrive on time. It will be difficult to pass the course if you are absent more than three times. 授業には毎回出席し、時間通りに来ることが求められます。3回以上欠席すると合格は難しくなります。</p> <p>3) If you are late 3 times, it will be counted as one absence. 遅刻3回は、欠席1回としてみなされる。</p> <p>4) If you arrive more than 30 minutes late to a 90-minute class, you may study, but you will be marked as absent. 90分の授業の場合遅刻は30分までとし、それを超えて遅刻した場合は、授業に参加することはできるが、欠席扱いとなる。</p> <p>5) BYOD: Bring Your Own Device. Be sure to bring all necessary materials with you to class, including a charged laptop. A smartphone is not suitable for class activities. BYOD – 充電済みのノート型パソコンなど、授業に必要なものは持参すること。スマートフォンは授業に適しません。</p>
---------------	---

授業コード	13071558	授業形態	演習	実務家教員	<input type="radio"/>
授業科目名	セミナーⅢb [対面]				
シラバス執筆(全員)	杉寄 聡紀				
シラバス執筆(主)	杉寄 聡紀				
開講年次	3年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

本セミナーで取り扱うのは「テーマパーク」「余暇」である。テーマパークを含む余暇活動は、私たちに何をもたらしているのかを考え、余暇視点からみた社会的意義や人生における幸福感・充実感をもたらす存在としての理解を深め、研究を進める力を養います。

後期は、研究テーマを決めその内容について文章にまとめるとともに、複数回のプレゼンテーションを通じて自身及び他者からの理解を深めることを最大の目的とする。

- ・卒業研究や論文執筆に向けた準備を行い、4年次において卒業研究・論文執筆ができる知識や経験、スキルを身につける。
- ・ゼミ活動を通じて、社会人として必要となる基礎的な能力やルールについて身につける。
- ・担当教員がテーマパーク運営会社（合同会社ユー・エス・ジェイ）において立ち上げから19年にわたり、「テーマパーク運営業務」に従事してきた経験をもとに、実務家教員としてテーマパーク業界及び余暇研究を主とするが、その他業界の研究を妨げるものではない。
- ・発案・発言を必要とするグループワーク・プレゼンテーション、対話・対論などを組み合わせて進めていく。
- ・必要に応じてゲストスピーカーをお招きし、プロフェッショナル視点での解説や考えについて学ぶ機会を設ける。
- ・必要に応じてフィールドワークや学内・他大学との合同ゼミを実施することがある。（ゼミ内での相談を経て決定する）

到達目標

1. 「余暇」「テーマパーク」について理解し、セミナーメンバーに体系的に説明することができる
2. 卒業論文執筆に向けて研究計画書を策定し、セミナーメンバーに説明することができる
3. ゼミ活動に主体的かつ積極的に参画し、体験や経験した結果をまとめセミナーメンバーに説明することができる
4. 卒業論文の書き方や構造を理解しプレ卒論（長文レポート）を完成させる

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：ガイドダンス・オリエンテーション、フィールドワークの振り返り
 内容：全15回の進め方・内容、到達目標、ルール、評価基準等の説明。夏期課題について確認する。
- 【第2回】
 テーマ：フィールドワークのまとめ
 内容：フィールドワークの学びをまとめ、プレゼンテーション及びディスカッションを行う
- 【第3回】
 テーマ：夏期課題「研究テーマ」の発表
 内容：プレゼンテーション形式で夏期課題を発表・共有・議論する
- 【第4回】
 テーマ：「余暇」研究の歴史と今後
 内容・方法：今までの余暇研究を振り返り、現状の課題や今後取り組むべき問題についてディスカッションする
- 【第5回】
 テーマ：事例研究①
 内容・方法：調査したテーマパークや余暇に関する事例を発表・共有・議論する
- 【第6回】
 テーマ：事例研究②
 内容・方法：調査したテーマパークや余暇に関する事例を発表・共有・議論する
- 【第7回】
 テーマ：事例研究③
 内容・方法：調査したテーマパークや余暇に関する事例を発表・共有・議論する
- 【第8回】
 テーマ：研究テーマについて
 内容・方法：各自のテーマについて再考し、発表・共有・議論する
- 【第9回】
 テーマ：卒業研究の進捗報告
 内容・方法：各自の進捗について発表・共有・議論する
- 【第10回】
 テーマ：卒業研究の進捗報告
 内容・方法：各自の進捗について発表・共有・議論する
- 【第11回】
 テーマ：卒業研究の進捗報告
 内容・方法：各自の進捗について発表・共有・議論する
- 【第12回】

テーマ：卒業研究の進捗報告
 内容・方法：各自の進捗について発表・共有・議論する
 【第13回】
 テーマ：卒業研究の進捗報告
 内容・方法：各自の進捗について発表・共有・議論する
 【第14回】
 テーマ：卒業研究の進捗報告
 内容・方法：各自の進捗について発表・共有・議論する
 【第15回】

テーマ：セミナーⅢの振り返り及びセミナーⅣに向け
 内容・方法：セミナーⅢを振り返りセミナーⅣに向けた課題について確認する

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

毎回の授業前に必要と思われる事前調査や情報探索、プレゼンテーション実施の場合は準備をして臨む必要があります。
 また事後学習として授業の振り返りを行い、理解を深める必要があります。
 必要に応じて追加情報の収集や探索を行いまとめておく必要があります。

課題に対するフィードバックの方法

プレゼンテーションやレポートなどに関して、適宜コメントやフィードバックを行う

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

課題やプレゼンテーションへの積極的な取り組みを重視し、評価します。受け身ではなく、積極的にセミナーに参加するようにしてください。発表・報告とレポート課題により総合的に評価します。
 以下に示す評価方法により総合的に判定の上、60点以上を合格とし所定の単位を認定する。なお、正当な理由なく全授業回数の3分の1以上(5回以上)欠席した場合は「K」評価とする。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	発表・報告	1, 2, 3
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	50	課題レポート(長文レポート)	4
その他	0		

テキスト
 以下2冊のうち、いずれかを選択して使用する。詳細については個別に連絡する。
 ・余暇学を学ぶ人のために (瀬沼 克彰・藺田 碩哉/世界思想社)
 ・テーマパーク・アミューズメント事業 知っておきたい最新トレンドと成功の秘訣 (清水群・杉崎聡紀/セルバ出版)

参考書
 購入の必要はありません。必要に応じて各自で購入を判断してください。
 ・基礎からわかる 論文の書き方 (小熊 英二/講談社)
 ・社会科学系論文の書き方 (明石芳彦/ミネルヴァ書房)
 ・文献レビューのきほん—看護研究・看護実践の質を高める (大木 秀一/医歯薬出版)

履修条件・他の科目との関連
 ・主体的で積極的な参加が必要です
 ・特段の理由がない限り、遅刻することなく積極的に毎回講義に参画するようにしてください
 ・授業内ルールを守らない行為、主体的に前向きに学ぶ学生の学びの妨げになる行為を行った場合は、単位取得不可となります
 ・セミナーに関する連絡や資料の共有、課題の提出は Google Classroomを使用します。PC(推奨)やスマートフォンで閲覧・回答することを前提に準備をお願いします

授業コード	13071559	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅢb [対面]				
シラバス執筆(全員)	辻 有美子				
シラバス執筆(主)	辻 有美子				
開講年次	3年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

本セミナーでは、次年度の卒業論文作成の準備をベースに、社会調査について学ぶ。フィールドワーク実施に伴いデータ収集を行い、その分析・考察に取り組む。収集データを可視化するなど作業を通しチームでの協業を行う。メンバーから多様な意見を得ることにより幅広い視野を醸成する。卒業論文や将来の職業観にも活かせる知見を得られるよう進めていき、卒業論文構想の基礎作りにつなげる。

到達目標

1. 現代社会が直面しているさまざまな問題に関する基礎知識や分析枠組みを習得する。
2. その問題に関する情報やデータを収集し、論点を整理する。
3. その問題に関してどのような対策が必要か、自分なりの意見を表明できる。
4. レジюмеやスライドを作成し、プレゼンテーションを行う。

授業計画

- 【第1回】オリエンテーション、受講上の注意など
- 【第2回】地域の課題を考える
- 【第3回】基本演習：社会調査について①
- 【第4回】基本演習：社会調査について②
- 【第5回】基本演習：社会調査について③
- 【第6回】フィールドワーク①フィールドワークの意義や概要の説明
- 【第7回】フィールドワーク②フィールドワークの計画・準備を行う
- 【第8回】フィールドワーク③フィールドワークの実施
- 【第9回】フィールドワーク④フィールドワークの実施
- 【第10回】フィールドワーク⑤フィールドワークのふりかえりとまとめ
- 【第11回】フィールドワーク⑥プレゼンテーション
- 【第12回】卒業論文に向けた構想について
- 【第13回】卒業論文に向けた構想について
- 【第14回】卒業論文に向けた構想について
- 【第15回】これまでの授業を振り返り、まとめ、今後の課題

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。
前回までの講義内容を確認し復習しておくこと。また、日頃より観光業界の動向について新聞や専門誌などを用いて情報収集を行うこと。

課題に対するフィードバックの方法

レポートは添削し、プレゼンテーションは発表後に改善点を指摘する。適宜、個人指導のためコメントする。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

主体的で積極的な参加を評価する。授業への貢献度や発表の内容を加味し、下記に示した授業評価割合に基づく。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	各回の授業内容について出題する小テストや課題で評価する。	1,2,3
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	30	期末試験に代わるレポート	1,2,3
その他	20	プレゼンテーション	4

テキスト	適宜、資料を配布する。
参考書	佐藤望編著(2020)『アカデミック・スキルズ(第3版)——大学生のための知的技法入門』慶應義塾大学出版会 大出敦編著・直江健介著(2020)『アカデミック・スキルズ プレゼンテーション入門:学生のためのプレゼン上達術』慶應義塾大学出版会
履修条件・他の科目との関連	卒業研究に向けた段階的な指導のため、自ら意欲的に取り組む姿勢が求められる。次年度の卒業論文の構想作りに繋がられるよう、熱意をもって取り組んでください。

授業コード	13099121	授業形態	演習	実務家教員	<input type="radio"/>
授業科目名	セミナーⅣa (卒業研究を含む) [対面]				
シラバス執筆(全員)	長谷川 順一郎				
シラバス執筆(主)	長谷川 順一郎				
開講年次	4年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

観光ホスピタリティに関する知識を活用し、卒業研究の執筆を段階的に進めます。口頭発表の準備も行います。その際、学生自らが問いを立て、調査し、まとめ、発表・討議するという一連のプロセスを重視します。

担当教員が企業において観光ホスピタリティ業務に従事してきた経験をもとに、実務家教員として、観光ホスピタリティに関する理論と実践への応用を関連付けながら授業を展開します。

到達目標

1. パワーポイント、配布資料等を駆使し、研究内容を口頭発表できるようになります。
2. これまでの自分の研究を卒業研究として所定の書式にのっとり、まとめられるようになります。

授業計画

- 【第1回】
テーマ：ガイダンス
内容・方法：本セミナーの内容について説明する。
- 【第2回】
テーマ：春休み中の研究成果発表
内容・方法：春期休暇中の課題を提出し、春期休暇中に学んだことを述べる。
- 【第3回】
テーマ：図書館の利用法
内容・方法：卒論を書くための図書館の利用法について説明する。
- 【第4回】
テーマ：卒業研究の論文構成について
内容・方法：過去の卒業論文を事例にして構成を確認する。
- 【第5回】
テーマ：参考文献の書き方について
内容・方法：参考文献の書き方について説明する。
- 【第6回】
テーマ：参考文献のリストアップ
内容・方法：参考文献のリストアップ法を説明する。
- 【第7回】
テーマ：研究概要の発表（1）
内容・方法：各自の研究の進捗状況を発表する。
- 【第8回】
テーマ：研究概要の発表（2）
内容・方法：各自の研究の進捗状況を発表する。
- 【第9回】
テーマ：中間発表の準備
内容・方法：中間発表の準備をする。
- 【第10回】
テーマ：中間発表原稿の作成
内容・方法：中間発表の原稿を作成する。
- 【第11回】
テーマ：中間発表のセミナー内リハーサル
内容・方法：中間発表のために、セミナー内でリハーサルを行う。
- 【第12回】
テーマ：中間発表
内容・方法：卒業研究の中間発表を行う。
- 【第13回】
テーマ：中間発表のふりかえり
内容・方法：中間発表で指摘された点について検討する。
- 【第14回】
テーマ：夏期休暇中の論文執筆の計画
内容・方法：夏期休暇中に行う論文執筆の計画を立てる。
- 【第15回】
テーマ：夏期休暇中の論文執筆の計画発表
内容・方法：夏期休暇中に行う論文執筆の計画を発表する。

* 授業計画はクラスの状況、授業の進行状況によって変更することがあります。あらかじめご理解ください。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。授業中に解説されたことはもちろん、授業を通じて気づいたこと、確認したいことなどを漏れなくノートに記します。それをもとにした復習と、指示された課題（配布物の精読が中心となります）を含めた予習をしっかりと行います。そして、学んだこと、調べたことなどを常に整理し、意見発信できるよう準備することが大切です。

課題に対するフィードバックの方法

発表、討議後は講評を行います。提出物については随時講評を行います。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となります。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価となります。

①毎回、提出物（レポート課題）があります。その多くはゼミで共有しますので、授業前に作成・配布（送信）する必要があります。授業計画はクラスの状況、授業の進行状況によって変更することがあります。あらかじめご理解ください。

②提出物（レポート課題）はもちろんのこと、積極的なゼミ活動への参加（討議での発言、協働など）が強く求められます。ゼミ活動を通じて涵養される社会人基礎力も評価の対象となります。

以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定します。総授業回数1/3以上欠席した場合、また、連続3回欠席した場合、評価の対象とせず「K」評価となります。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	発表・討議	1
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	50	期末レポート	1
その他	0		

テキスト テキストは使用しません。プリントを適宜配布します。

参考書 授業中に指示します。

履修条件・他の科目との関連 授業時間厳守。遅刻することがないように注意してください。但し、公共交通機関の遅延等があった場合は考慮しますので申し出てください。

授業コード	13099122	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅣa (卒業研究を含む) [対面]				
シラバス執筆(全員)	韓 尚秀				
シラバス執筆(主)	韓 尚秀				
開講年次	4年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

卒論作成に必要な知識習得を目指す。前期では、仮テーマで卒論作成要領から発表までを学習し、後期には、本格的な卒論作成に取り組む。

到達目標

①卒業論文作成能力を身につける。

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：講義紹介
 内容・方法：講義概要の紹介、受講中の注意点・方針を知らせる。
- 【第2回】
 テーマ：卒論の作成方法Ⅰ
 内容・方法：卒論の作成方法について講義する。
- 【第3回】
 テーマ：タイピングⅠ
 内容・方法：タイピング練習・テスト
- 【第4回】
 テーマ：グラフ作成練習Ⅰ
 内容・方法：グラフ作成練習
- 【第5回】
 テーマ：数式エディタの使用法Ⅰ
 内容・方法：数式エディタによる数式作成・入力練習をする。
- 【第6回】
 テーマ：データの収集
 内容・方法：指定テーマに関するデータを収集する
- 【第7回】
 テーマ：データの分析
 内容・方法：データの分析を行う
- 【第8回】
 テーマ：データの表現
 内容・方法：様々なデータの表現について学ぶ。
- 【第9回】
 テーマ：卒論仮テーマ決定
 内容・方法：卒論用の仮テーマ決定し、議論する。
- 【第10回】
 テーマ：章建て
 内容・方法：仮テーマに対する章建てを行う。
- 【第11回】
 テーマ：卒論作成練習(1)
 内容・方法：各自卒論を作成する。
- 【第12回】
 テーマ：卒論作成練習(2)
 内容・方法：各自卒論を作成する。
- 【第13回】
 テーマ：卒論作成練習(3)
 内容・方法：各自卒論を作成する。
- 【第14回】
 テーマ：卒論中間発表会
 内容・方法：卒論中間発表会を行う。
- 【第15回】
 テーマ：総括
 内容・方法：同じテーマに関する卒論を評価する。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

- 【第1回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。
- 【第2回】

- ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。
 【第3回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。
 【第4回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。
 【第5回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。
 【第6回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。
 【第7回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。
 【第8回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。
 【第9回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。
 【第10回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。
 【第11回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。
 【第12回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。
 【第13回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。
 【第14回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。
 【第15回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。
 ②事後学修課題：提出された課題を評価する。

毎回の授業において、3.5時間の事前学習と3.5時間の事後学習が必要です。

課題に対するフィードバックの方法

Google Classのレポート機能を活用する。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

平常点30%、発表またはレポート(年2回)30%の総合評価、期末試験(20%)。ただし、欠席過多(3回以上)の場合には単位を与えない。毎回タイピング評価を行う(20%)。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	30	平常点	1
授業外での評価	30	レポート点	1
定期試験	0	なし	なし
定期試験に代わるレポート等	20	期末レポート課題	1
その他	20	タイピング点	1

テキスト	テキストなし
参考書	必要に応じて、授業中に紹介する。
履修条件・他の科目との関連	意欲的に取り組み、予習復習を行うこと。

授業コード	13099123	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅣa (卒業研究を含む) [対面]				
シラバス執筆(全員)	久保 由加里				
シラバス執筆(主)	久保 由加里				
開講年次	4年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

このセミナーでは、卒業論文完成に向けての研究・調査、また論文作成、ならびに発表について指導をおこなうと同時に、就職活動のための指導もおこなう

到達目標

1. 卒業論文完成と卒業研究発表を通して、目標達成力、探求力、プレゼンテーション力を身につけ、実行できる
2. 文献調査や現地調査研究の方法を習得することができる
3. 観光業界、ならびに地域における観光振興について知識を深め、論理的に説明できる

授業計画

- 【第1回】
テーマ：セミナーガイダンス
キャリア教育
内容・方法：自己分析
- 【第2回】
テーマ：キャリア教育
内容・方法：自己分析
- 【第3回】
テーマ：論文作成と研究
内容・方法：個人指導
- 【第4回】
テーマ：論文作成と研究
内容・方法：個人指導
- 【第5回】
テーマ：論文作成と研究
内容・方法：各自の研究と論文作成指導
- 【第6回】
テーマ：論文作成と研究
内容・方法：各自の研究と論文作成指導
- 【第7回】
テーマ：論文作成と研究
内容・方法：各自の研究と論文作成指導
- 【第8回】
テーマ：論文作成と研究
内容・方法：各自の研究と論文作成指導
- 【第9回】
テーマ：論文作成と研究
内容・方法：各自の研究と論文作成指導
- 【第10回】
テーマ：論文作成と研究
内容・方法：各自の研究と論文作成指導
- 【第11回】
テーマ：論文作成と研究
内容・方法：各自の研究と論文作成指導
- 【第12回】
テーマ：論文作成と研究
内容・方法：各自の研究と論文作成指導
- 【第13回】
テーマ：論文作成 中間発表
内容・方法：資料による発表
- 【第14回】
テーマ：論文作成 中間発表
内容・方法：資料による発表
- 【第15回】
テーマ：論文作成 中間発表
内容・方法：資料による発表

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要
 授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり70時間が必要

【第1回】

- ①事前学修課題：自己分析のための文献を読んでおく
- ②事後学修課題：学んだ点を復習する

【第2回】

- ①事前学修課題：自己分析のための文献を読んでおく
学んだ点を復習する

- ②事後学修課題：学んだ点を復習する

【第3回】

- ①事前学修課題：就職活動に関連する書籍を読む

- ②事後学修課題：学んだ事柄を実践する

【第4回】

- ①事前学修課題：研究テーマをレポートにまとめる

- ②事後学修課題：テーマの検証

【第5回】

- ①事前学修課題：スケジュールに従って研究と論文作成をおこなう

- ②事後学修課題：指導を受けた点を改善する

【第6回】

- ①事前学修課題：スケジュールに従って研究と論文作成をおこなう

- ②事後学修課題：指導を受けた点を改善する

【第7回】

- ①事前学修課題：スケジュールに従って研究と論文作成をおこなう

- ②事後学修課題：指導を受けた点を改善する

【第8回】

- ①事前学修課題：スケジュールに従って研究と論文作成をおこなう

- ②事後学修課題：指導を受けた点を改善する

【第9回】

- ①事前学修課題：スケジュールに従って研究と論文作成をおこなう

- ②事後学修課題：指導を受けた点を改善する

【第10回】

- ①事前学修課題：スケジュールに従って研究と論文作成をおこなう

- ②事後学修課題：指導を受けた点を改善する

【第11回】

- ①事前学修課題：スケジュールに従って研究と論文作成をおこなう

- ②事後学修課題：指導を受けた点を改善する

【第12回】

- ①事前学修課題：スケジュールに従って研究と論文作成をおこなう

- ②事後学修課題：指導を受けた点を改善する

【第13回】

- ①事前学修課題：発表の準備

- ②事後学修課題：指導を受けた点を改善する

【第14回】

- ①事前学修課題：発表の準備

- ②事後学修課題：指導を受けた点を改善する

【第15回】

- ①事前学修課題：発表への準備

- ②事後学修課題：指導を受けた点を改善する

課題に対するフィードバックの方法

個人指導をおこなうとともに、ゼミ内で定期的に研究発表をおこなう

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

卒業論文作成と発表に対する取り組みにおいて、総合的に判定の上、60点以上を合格として所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	80	卒業研究 50 (① 研究 20) (② 分析 20) (③ 執筆 10) 卒業研究発表 30	1, 2, 3
授業外での評価	10	毎週指導された研究ならびに調査をしているか	1, 2, 3
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	0		

その他	10	卒業研究への取り組み姿勢	1, 2, 3
テキスト	随時 資料を配布する		
参考書	随時、研究内容によって個別に指導する		
履修条件・他の科目との関連	大学における研究・学びの集大成が卒業論文である。計画性を持って充実した研究をおこなうことが求められる		

授業コード	13099124	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅣa (卒業研究を含む) [対面]				
シラバス執筆(全員)	村田 隆志				
シラバス執筆(主)	村田 隆志				
開講年次	4年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

本セミナーで取り扱うのは、日本・東洋の芸術、中でも、目で見ることが出来る視覚芸術である。

本講義においては、セミナーⅢで得た基本的な知識を元に、卒業研究に向けて各自の興味関心に基づいて研究を深めていく。研究対象について、その価値や意義を正しく認識するための審美眼・鑑識眼を養うことは美術史研究の前提となるため、不断のトレーニングが要求される。

社会へ出る時期が直前に迫っている学年でもあるため、自身の思考を正しく言語化して、他者に伝える能力を養うことにも留意する。

到達目標

1. 美術史・芸術学の「様式論」を理解する。
2. 「様式論」を、それぞれの興味関心に応じて援用し、物事を理解する上での基盤とする。
3. 思考を言語化し、的確な語彙を用いて論文とする能力を体得する。
4. 調査研究の成果を口頭で発信する能力を身に着ける。

授業計画

※毎回の授業において、2時間の事前学習と2時間の事後学習が必要である。

- 【第1回】
 テーマ：イントロダクション
 内容・方法：本講義において何を教授するのかについての紹介
- 【第2回】
 テーマ：文献読解演習1
 内容・方法：指定した文献についての解説と担当指定
- 【第3回】
 テーマ：文献読解演習2
 内容・方法：文献の読解
- 【第4回】
 テーマ：文献読解演習3
 内容・方法：文献の読解
- 【第5回】
 テーマ：文献読解演習4
 内容・方法：文献の読解
- 【第6回】
 テーマ：学術論文の作法1
 内容・方法：学術論文の作法・着想
- 【第7回】
 テーマ：学術論文の作法2
 内容・方法：情報収集について
- 【第8回】
 テーマ：卒業論文の執筆1
 内容・方法：章立て・註の使い方
- 【第9回】
 テーマ：卒業論文の執筆2
 内容・方法：参考文献の取り扱い
- 【第10回】
 テーマ：卒業論文の執筆3
 内容・方法：盗用・剽窃について
- 【第11回】
 テーマ：受講生口頭発表1
 内容・方法：卒業研究中間発表に向けての模擬口頭発表
- 【第12回】
 テーマ：受講生口頭発表2
 内容・方法：卒業研究中間発表に向けての模擬口頭発表
- 【第13回】
 テーマ：受講生口頭発表3
 内容・方法：卒業研究中間発表に向けての模擬口頭発表
- 【第14回】
 テーマ：卒業研究中間発表

内容・方法：卒業研究中間発表に向けての口頭発表

【第15回】

テーマ：夏期レポートの注意点

内容・方法：夏期レポート執筆上の注意点について

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

①事前学修課題：「セミナーⅢ」の復習

②事後学修課題：ノート作成・整理。

【第2回】

①事前学修課題：前年度の復習

②事後学修課題：ノート作成・整理。

【第3回】

①事前学修課題：読解演習準備

②事後学修課題：読解演習準備

【第4回】

①事前学修課題：読解演習準備

②事後学修課題：読解演習準備

【第5回】

①事前学修課題：読解演習準備

②事後学修課題：ノート作成・整理

【第6回】

①事前学修課題：興味を持っている分野の参考文献を探す

②事後学修課題：ノート作成・整理。

【第7回】

①事前学修課題：参考文献を読む

②事後学修課題：ノート作成・整理。

【第8回】

①事前学修課題：卒業論文の執筆

②事後学修課題：卒業論文の執筆

【第9回】

①事前学修課題：卒業論文の執筆

②事後学修課題：卒業論文の執筆

【第10回】

①事前学修課題：卒業論文の執筆

②事後学修課題：卒業論文の執筆

【第11回】

①事前学修課題：口頭発表準備

②事後学修課題：口頭発表への指導内容の反映

【第12回】

①事前学修課題：口頭発表準備

②事後学修課題：口頭発表への指導内容の反映

【第13回】

①事前学修課題：口頭発表準備

②事後学修課題：口頭発表への指導内容の反映

【第14回】

①事前学修課題：口頭発表準備

②事後学修課題：論文への指導内容の反映

【第15回】

①事前学修課題：卒業論文の内容充実

②事後学修課題：夏期レポートの執筆

課題に対するフィードバックの方法

各課題については、提出のつどフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により、総合的に判定の上、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

セミナー科目であるため、平常点を重視する。卒業研究中間発表で総合的に評価する。

正当な理由なく5回以上欠席した場合にはK評価とする。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	100	卒業研究準備発表(40) 卒業中間発表研究(60)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	0		

定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	0		

テキスト	プリントを配布する。
------	------------

参考書	辻惟雄監修『増補新装 カラー版 日本美術史』(美術出版社、2003年) 中村興二・岸文和編『日本美術を学ぶ人のために』(世界思想社、2001年)ほか。
-----	--

履修条件・他の科目との関連	正当な理由がなく欠席をした場合には、必要に応じて個別に課題の提出を要求する。 「日本美術史」「芸術学」については必ず履修しておくこと。また博物館学芸員科目も履修すること。
---------------	--

授業コード	13099125	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅣa（卒業研究を含む） [対面]				
シラバス執筆(全員)	岸脇 誠				
シラバス執筆(主)	岸脇 誠				
開講年次	4年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

このセミナーでは経済問題を中心とした社会科学系の卒業研究を段階的に進める。まず、学生自らが研究テーマを設定し、資料やデータを収集する。次に、資料やデータを十分に分析した上で、レジュメやスライドに論点をまとめる。最後に、研究した内容を卒業研究の成果としてまとめ、それに基づいたプレゼンテーションを行い、質疑応答を通じて議論を深める。

到達目標

1. 現代社会が直面しているさまざまな問題に関する基礎知識や分析枠組みを習得する。
2. その問題に関する情報やデータを収集し、論点を整理する。
3. その問題に関してどのような対策が必要か、自分なりの意見を表明できる。
4. レジュメやスライドを作成し、プレゼンテーションを行う。

授業計画

第1回

テーマ：ガイダンス

内容：セミナーの進め方、成績評価方法等について説明する。

第2回

テーマ：課題の発見と資料収集（1）

内容：各自の研究テーマに基づいて課題を設定し、図書館などで資料収集を行う。

第3回

テーマ：課題の発見と資料収集（2）

内容：各自の研究テーマに基づいて課題を設定し、図書館などで資料収集を行う。

第4回

テーマ：課題の発見と資料収集（3）

内容：各自の研究テーマに基づいて課題を設定し、図書館などで資料収集を行う。

第5回

テーマ：情報と論点の整理（1）

内容：各自の研究テーマに基づいて論点を整理し、集めた情報の分析を行う。

第6回

テーマ：情報と論点の整理（2）

内容：各自の研究テーマに基づいて論点を整理し、集めた情報の分析を行う。

第7回

テーマ：情報と論点の整理（3）

内容：各自の研究テーマに基づいて論点を整理し、集めた情報の分析を行う。

第8回

テーマ：草稿執筆（1）

内容：これまでの研究内容を文章化し、必要な図表も作成する。

第9回

テーマ：草稿執筆（2）

内容：これまでの研究内容を文章化し、必要な図表も作成する。

第10回

テーマ：草稿執筆（3）

内容：これまでの研究内容を文章化し、必要な図表も作成する。

第11回

テーマ：草稿執筆（4）

内容：これまでの研究内容を文章化し、必要な図表も作成する。

第12回

テーマ：中間発表（1）

内容：これまでの研究内容をスライドにまとめて、発表を行う。質疑応答や議論を通して今後の研究の進め方を再検討する。

第13回

テーマ：中間発表（2）

内容：これまでの研究内容をスライドにまとめて、発表を行う。質疑応答や議論を通して今後の研究の進め方を再検討する。

第14回

テーマ：中間発表（3）

内容：これまでの研究内容をスライドにまとめて、発表を行う。質疑応答や議論を通して今後の研究の進め方を再検討する。

第15回

テーマ：総括

内容：前期の研究を振り返り、残された課題を確認する。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

毎回の授業において2時間の事前学習と2時間の事後学習が必要である。
事前学習としては普段から新聞やニュースなどを通して経済問題に関する情報を収集し、論点を整理しておくこと。事後学習としては、その日の授業で学んだことを整理し、次回の授業のキーワードについて調べておくこと。

課題に対するフィードバックの方法

提出された課題を添削し、改善点を指摘する。プレゼンテーションについては発表後に改善点を指摘する。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

下記の評価割合に基づいて総合的に評価する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	30	卒業研究の進捗状況に応じて課題を提示し、その完成度で評価する。	1, 2, 3
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	40	期末試験に代わるレポート	1, 2, 3
その他	30	プレゼンテーション	2, 3, 4

テキスト	必要に応じて資料を配布する。
参考書	戸田山和久『最新版 論文の教室：レポートから卒論まで』NHK出版、2022年。
履修条件・他の科目との関連	欠席する場合は事前に連絡すること。

授業コード	13099126	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅣa（卒業研究を含む） [対面]				
シラバス執筆(全員)	森田 浩司				
シラバス執筆(主)	森田 浩司				
開講年次	4年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

卒業研究の基本や進め方についての講義を行い、研究内容の個別指導、学生による研究内容発表・議論を重ね、卒業研究の完成に向けた指導を行う。

到達目標

1. 自らが選んだテーマの文献読解・調査・研究・執筆を通じて、卒業研究や中間発表原稿の完成に向けて取り組み、その研究内容を発表し説明出来るようになる
2. 4年間の学修の成果として卒業研究を行い、課題の発見と、独自の調査・分析に基づき、その解決策の策定に向けた取り組みが出来るようになる
3. 翌年からの社会人生活を見据え、時間や期限・常識・マナーの遵守、ゼミ活動における協業・社交性・積極性など、社会人として相応しい社会人基礎力を身につける

授業計画

- 第1回 オリエンテーション、卒業研究と就活について、春期休暇課題の発表とディスカッション
 第2回 春期休暇課題の発表（つづき）、卒業研究に関する講義とワーク1（論文・卒論とは、論文の基本ルール、論文の型）
 第3回 卒業研究に関する講義とワーク2（剽窃・引用・参考文献リスト）
 第4回 卒業研究に関する講義とワーク3（論文の表現・論文執筆のための情報収集）
 第5回 卒業研究に関する講義とワーク4（卒業研究テーマの設定・絞り込み・リサーチクエスションの精査）
 第6回 前期個別指導1（テーマ設定とアウトラインの作成など、個々の進捗に合わせて個別指導）
 第7回 前期個別指導2（テーマ設定とアウトラインの作成など、個々の進捗に合わせて個別指導）
 第8回 前期個別指導3（テーマ設定とアウトラインの作成など、個々の進捗に合わせて個別指導）
 第9回 集合指導（執筆上の注意事項等の説明・指導、個々の進捗状況の発表とディスカッション）
 第10回 前期個別指導4（中間発表原稿の完成に向けて、個々の進捗に合わせて個別指導）
 第11回 前期個別指導5（中間発表原稿の完成に向けて、個々の進捗に合わせて個別指導）
 第12回 前期個別指導6（中間発表原稿の完成に向けて、個々の進捗に合わせて個別指導）
 第13回 前期個別指導7（中間発表原稿の完成に向けて、個々の進捗に合わせて個別指導）
 第14回 中間発表（全員が卒業研究の中間発表を行う）
 第15回 中間発表の講評、夏期休暇中の課題説明、夏期休暇の研究計画書の作成・提出

※学生の進捗状況や理解度、学内行事等により授業計画を変更する場合があります

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

【講義】

講義中に確実に内容を理解し、今後の執筆においては、学修した内容を踏まえて進められるようにすること。

【個別指導】

- ・定められた日時までに原稿を作成する、あるいは指示があった場合は事前に作成原稿を定められた日時までに指導教員に提出する。
- ・個別指導当日は、作成または添削した原稿を基に指導を行う。したがって、当日までに原稿を作成していなかったり、指定日時までに添削用原稿の事前送付が無いと、個別指導時間が全くの無駄になるので、必ず定められた取組を進めること。
- ・指導された修正は次回までに修正し、さらに引き続き執筆を進めていくこと。

【発表】

- ・必ず事前に定められた様式の発表原稿を作成し、また事前に時間を測って自己リハーサルを行った上で、当日発表を行うこと。
- ・発表時や発表後のディスカッション等で指示された修正箇所は、必ず次回までに修正して進めていくこと。

課題に対するフィードバックの方法

各回において、作成した原稿、行われた発表や議論に対して、都度、必要なフィードバックを行いながら進めていく。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

- ・卒業研究中間発表提出原稿と中間発表のクオリティ
 - ・卒業研究への計画的ならびに主体的な取組状況度合
 - ・ゼミ・個別指導中の提出物・発表の内容およびゼミへの貢献度（議論中の発言、他者発表へのコメントなど）
 - ・社会人基礎力の到達度合
- を踏まえて総合的に評価する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	20	ゼミ・個別指導中の提出物・発表の内容およびゼミへの貢献度（議論中の発言、他者発表へのコメントなど）	1, 2, 3
授業外での評価	40	卒業研究への計画的ならびに主体的な取組状況度合	1, 2, 3
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	40	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業研究中間発表提出原稿と中間発表のクオリティ (30) ・社会人基礎力の到達度合 (10) 	1, 2, 3

テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて資料を配布する ・その他、個々の進捗状況や必要に応じて適宜案内する
------	---

参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・『学生のレポート・論文作成トレーニング改訂版:スキルを学ぶ21のワーク』桑田てるみ（実教出版、2015年、1,320円、ISBN:978-4-407-33614-6） ・その他、個々の進捗状況や必要に応じて適宜案内する
-----	---

履修条件・他の科目との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・セミナーⅣの取組は、卒業研究に直結することから、数ある科目の中で最もプライオリティの高い科目であることを十分に理解し、最優先で取り組むことを条件とする。（他の授業、部活やサークル活動、資格取得のための学習、ボランティア、バイト、やむを得ない私用等より優先して取り組むことになる） ・翌年からの社会人生活を見据え、義務教育のような手取り足取りの過保護な対応は行わない。各自が自らの責任の下で、主体的に計画を立て、自らで考え、研究・調査・執筆を進めること。 ・質問・相談がある場合は、適宜、自ら主体的に前広に教員にコンタクトを取って指導を受けること。 ・授業や個人指導日以外でも、卒業研究作成過程の節目ごとに、早めに教員とコンタクトを取って指導を仰ぐなど、計画性を持って研究・執筆・確認・修正を行いながら進めていくこと。 ・発表時に他の学生の発表を確認し議論していくことは、自分の卒業研究へのヒントや新たな発見ができる絶好のチャンスなので、積極的に参加して上手く活用すること。 ・翌年からの社会人生活を見据え、時間や期限・常識・マナーの遵守、ゼミ活動における協業・社交性・積極性など、社会人基礎力養成を踏まえた進行や評価を行う。 ・同じような指導・注意を複数回行なっても繰り返す場合、改善の意思や対応する社会人基礎力がないと判断して、著しく評価を下げることになるので、十分に注意して取り組むこと ・欠席学生はGoogle Classroom 授業ページ内に掲載の授業資料を確認すること。
---------------	---

授業コード	13099127	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅣa (卒業研究を含む) [対面]				
シラバス執筆(全員)	五月女 賢司				
シラバス執筆(主)	五月女 賢司				
開講年次	4年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

3年次ゼミで完成した各人の研究計画を基に、卒業研究論文作成を進め論文を完成する。また研究発表の準備と練習をする。

到達目標

1. 卒業論文を完成させる
2. 卒業研究中間発表をする
3. 要旨集原稿を作成する
4. 卒業研究発表資料を作成し、発表をする

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：Seminar Orientation
 内容・方法：セミナーにおける内容、進め方を説明する。
- 【第2回】
 テーマ：テーマ再考、方法の確定・修正
 内容・方法：セミナーIIIの期末レポートを復習し、訂正する
- 【第3回】
 テーマ：Library Resources Review (図書館の利用方法)
 内容・方法：図書館において、文献・論文の探し方を学ぶ。
- 【第4回】
 テーマ：就職活動
 内容・方法：CSCとの連携の大切さを再認識し、就職活動に向けて各自の目標を話し合う
- 【第5回】
 テーマ：卒業研究の中間発表準備
 内容・方法：形式を確認し、提出締め切りを決定する
- 【第6回】
 テーマ：卒業研究の中間発表準備
 内容・方法：各自のカウンセリングを行う
- 【第7回】
 テーマ：卒業研究の中間発表準備
 内容・方法：中間発表の資料提出
- 【第8回】
 テーマ：卒業研究の中間発表準備
 内容・方法：中間発表の練習発表・Feedback
- 【第9回】
 テーマ：後輩インタビュー
 内容・方法：セミナーIIIの学生とインタビューに協力する
- 【第10回】
 テーマ：卒業研究の期末レポートの準備
 内容・方法：各自のカウンセリングを行い、研究方法を確定する
- 【第11回】
 テーマ：卒業研究の期末レポートの準備
 内容・方法：各自のカウンセリングを行い、出展リストを準備する
- 【第12回】
 テーマ：卒業研究の期末レポートの準備
 内容・方法：各自のカウンセリングを行い、独自性チェック
- 【第13回】
 テーマ：卒業研究の期末レポートの準備
 内容・方法：各自のカウンセリングを行い、原稿に対するFeedback
- 【第14回】
 テーマ：卒業研究の中間発表準備
 内容・方法：中間発表の練習発表・Feedback
- 【第15回】
 テーマ：中間発表の反省
 内容・方法：中間発表の反省・原稿の再提出

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

事前学修課題：テーマ再考、方法の確定・修正
 事後学修課題：復習
 【第2回】
 事前学修課題：テーマ決定、方法の確定・修正
 事後学修課題：復習
 【第3回】
 事前学修課題：テーマ決定、方法の確定・修正
 事後学修課題：復習
 【第4回】
 事前学修課題：テーマ決定、方法の確定・修正
 事後学修課題：復習
 【第5回】
 事前学修課題：テーマ決定、方法の確定・修正
 事後学修課題：復習
 【第6回】
 事前学修課題：テーマ決定、方法の確定・修正
 事後学修課題：復習
 【第7回】
 事前学修課題：データ分析など
 事後学修課題：復習
 【第8回】
 事前学修課題：データ分析など
 事後学修課題：復習
 【第9回】
 事前学修課題：データ分析など
 事後学修課題：復習
 【第10回】
 事前学修課題：データ分析など
 事後学修課題：復習
 【第11回】
 事前学修課題：データ分析など、論文執筆
 事後学修課題：復習
 【第12回】
 事前学修課題：データ分析など、論文執筆
 事後学修課題：復習
 【第13回】
 事前学修課題：論文執筆
 事後学修課題：復習
 【第14回】
 事前学修課題：発表準備、論文執筆
 事後学修課題：反省
 【第15回】
 事前学修課題：論文執筆、論文修正、
 事後学修課題：反省。総括、夏休みの計画作成

課題に対するフィードバックの方法

Feedback will be provided in class and on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す通り、成績は授業への参加度、研究論文成果と研究発表、研究への取り組みを合わせて総合的な評価により決定される。60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。正当な理由のない欠席が多い場合は、「K」評価（不合格）とする。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	20	授業への参加度 (20)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	30	卒業研究中間原稿(30)	
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	50	卒業研究論文ドラフト(40) 中間発表 (10)	1, 2, 3, 4
その他	0		

テキスト	プリントを配布する
参考書	適宜、案内する
履修条件・他の科目との関連	セミナーⅢの研究計画に基づく研究を積極的に進める姿勢が大切

授業コード	13099128	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅣa (卒業研究を含む) [対面]				
シラバス執筆(全員)	A. E. リオン				
シラバス執筆(主)	A. E. リオン				
開講年次	4年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

3年次ゼミで完成した各人の研究計画を基に、卒業研究論文作成を進め論文を完成する。また研究発表の準備と練習をする。

到達目標

1. 卒業テーマについて先行研究を調査し続け、知識を深め、研究方法を決定する
2. 卒業論文の完成に向けて進める
3. 卒業研究中間発表の原稿を用意し、発表する

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：Seminar Orientation
 内容・方法：セミナーにおける内容、進め方を説明する。Academic Writing 11: Academic Paper Process 学術論文の掲載プロセス。セミナーIIIの期末レポートを見直し、訂正する
- 【第2回】
 テーマ：テーマ再考、方法の確定・修正
 内容・方法：Academic Writing 12: Academic Paper Elements 学術論文の構成。セミナーIIIの期末レポートを見直し、訂正する
- 【第3回】
 テーマ：Library Resources Review (図書館の利用方法)
 内容・方法：図書館において、文献・論文の探し方を学ぶ。Academic Writing 13: Introduction writing 1 イントロダクションの書き方1
- 【第4回】
 テーマ：就職活動
 内容・方法：CSCとの連携の大切さを再認識し、就職活動に向けて各自の目標を話し合う。Academic Writing 14: Introduction writing 2 イントロダクションの書き方2
- 【第5回】
 テーマ：研究方法
 内容・方法：Academic Writing 16: Methods 1 メソッドの書き方1。各自のカウンセリングを行い、研究方法を確定する
- 【第6回】
 テーマ：研究方法
 内容・方法：Academic Writing 17: Methods 2 メソッドの書き方2。各自のカウンセリングを行い、研究方法を確定する
- 【第7回】
 テーマ：研究方法
 内容・方法：Academic Writing 18: Methods 3 メソッドの書き方3。各自のカウンセリングを行い、研究方法を確定する
 中間発表の資料提出
- 【第8回】
 テーマ：中間発表準備
 内容・方法：中間発表についての説明、資料作成
- 【第9回】
 テーマ：中間発表準備
 内容・方法：Academic Writing 19: Results 結果の書き方。各自のカウンセリングを行い、中間発表の準備を行う。
- 【第10回】
 テーマ：中間発表準備
 内容・方法：Academic Writing 20: Discussion 1 考察の書き方1。各自のカウンセリングを行い、中間発表原稿を提出。
- 【第11回】
 テーマ：卒業研究の期末レポートの準備
 内容・方法：Academic Writing 21: Discussion 2 考察の書き方2。各自のカウンセリングを行い、中間発表原稿に対するフィードバック。オリジナリティレポートのチェック。
- 【第12回】
 テーマ：卒業研究の期末レポートの準備
 内容・方法：中間発表原稿の最終提出。中間発表のリハーサルを行う。
- 【第13回】
 テーマ：卒業研究の期末レポートの準備
 内容・方法：中間発表のリハーサルや期末レポートのフィードバック。「査読者」である先生の視点を予想する
- 【第14回】
 テーマ：卒業研究の中間発表

内容・方法：自分の教室を確認し、「査読者（先生）」に発表する

【第15回】

テーマ：中間発表の反省・卒業研究の期末レポート

内容・方法：中間発表の反省。卒業研究の期末レポートの締め切りを確認し、夏休みの課題（フィールドワーク等）を設定する。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

事前学修課題：テーマ再考、方法の確定・修正

事後学修課題：復習

【第2回】

事前学修課題：テーマ決定、方法の確定・修正

事後学修課題：復習

【第3回】

事前学修課題：テーマ決定、方法の確定・修正

事後学修課題：復習

【第4回】

事前学修課題：テーマ決定、方法の確定・修正

事後学修課題：復習

【第5回】

事前学修課題：テーマ決定、方法の確定・修正

事後学修課題：復習

【第6回】

事前学修課題：テーマ決定、方法の確定・修正

事後学修課題：復習

【第7回】

事前学修課題：データ分析など

事後学修課題：復習

【第8回】

事前学修課題：データ分析など

事後学修課題：復習

【第9回】

事前学修課題：データ分析など

事後学修課題：復習

【第10回】

事前学修課題：データ分析など

事後学修課題：復習

【第11回】

事前学修課題：データ分析など、論文執筆

事後学修課題：復習

【第12回】

事前学修課題：データ分析など、論文執筆

事後学修課題：復習

【第13回】

事前学修課題：論文執筆

事後学修課題：復習

【第14回】

事前学修課題：発表準備、論文執筆

事後学修課題：反省

【第15回】

事前学修課題：論文執筆、論文修正、

事後学修課題：反省。総括、夏休みの計画作成

課題に対するフィードバックの方法

Feedback will be provided weekly in class, in personal meetings in the teacher's office or via Zoom, and on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す通り、成績は授業への参加度、研究論文成果と研究発表、研究への取り組みを合わせて総合的な評価により決定される。60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。正当な理由のない欠席が多い場合は、「K」評価（不合格）とする。

Grade Breakdown:

1. 授業参加 (20%)
2. 中間発表原稿 (30%)
3. 中間発表 (10%)
4. 卒業研究の期末ドラフト (40%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	30	授業への参加度(20)、中間発表(10)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	30	中間発表原稿(30)	
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	40	卒業研究論文ドラフト(40)	1, 2, 3, 4
その他	0		

テキスト	プリントを配布する
参考書	適宜、案内する
履修条件・他の科目との関連	セミナーⅢの研究計画に基づく研究を積極的に進める姿勢が大切

授業コード	13099129	授業形態	演習	実務家教員	<input type="radio"/>
授業科目名	セミナーⅣa (卒業研究を含む) [対面]				
シラバス執筆(全員)	杉寄 聡紀				
シラバス執筆(主)	杉寄 聡紀				
開講年次	4年	開講期	前期	単位数	2単位

授業の目的・概要

本セミナーで取り扱うのは「テーマパーク」「余暇」である。余暇の社会的意義や人生における幸福感・充実感について調査し、他者からの理解を得られるようにまとめていくことを前期の目的とする。

- ・卒業研究や論文執筆を行うとともに、他者からの理解を得られる伝え方（プレゼンテーションスキル）を身につける。
- ・担当教員がテーマパーク運営会社（合同会社ユー・エス・ジェイ）において立ち上げから19年にわたり、「テーマパーク運営業務」に従事してきた経験をもとに、実務家教員としてテーマパーク業界及び余暇研究を主とするが、その他業界の研究を妨げるものではない。
- ・ゼミ活動を通じて、社会人として必要となる基礎的な能力やルールについて身につける。
- ・必要に応じてゲストスピーカーをお招きし、プロフェッショナル視点での解説や考えについて学ぶ機会を設ける。
- ・必要に応じてフィールドワークや学内・他大学との合同ゼミを実施することがある。（ゼミ内での相談を経て決定する）

到達目標

1. 論文の構成を理解し、文献探索や収集及び分析を行うことができる
2. 卒業研究・論文のテーマを決め、それらを理論的かつ体系的にまとめ、中間発表会で説明することができる
3. 論文執筆にあたって必要な文献や調査について理解し、準備を進めることができる

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：春期課題の発表
 内容：春期課題について、発表・共有・議論する
- 【第2回】
 テーマ：セミナーⅢb期末レポート（プレ卒論）についての発表
 内容：各自内容について発表、ディスカッション
- 【第3回】
 テーマ：卒業研究の経過報告
 内容・方法：前週の結果を受けて、再考・修正し、発表・共有・議論する
- 【第4回】
 テーマ：情報収集について（ライブラリツアー）
 内容・方法：ライブラリツアーに参加し、情報収集・探索の方法を再確認する
- 【第5回】
 テーマ：参考文献の取り扱い及び本格執筆に向けた確認
 内容・方法：論文の執筆方法や作法について再度確認し、提出締め切りを決定する
- 【第6回】
 テーマ：卒業研究の進捗報告
 内容・方法：各自の進捗について発表・共有・議論する
- 【第7回】
 テーマ：卒業論文執筆準備
 内容・方法：章立て・注釈・参考文献の取り扱い、Wordの機能説明
- 【第8回】
 テーマ：卒業研究の進捗報告
 内容・方法：各自の進捗について発表・共有・議論する
- 【第9回】
 テーマ：草稿提出準備
 内容・方法：草稿提出に向けた確認
- 【第10回】
 テーマ：卒業研究の進捗報告
 内容・方法：各自の進捗について発表・共有・議論する
- 【第11回】
 テーマ：卒業研究の進捗報告
 内容・方法：各自の進捗について発表・共有・議論する
- 【第12回】
 テーマ：卒業研究中間発表準備
 内容・方法：中間発表に向けたセミナー内での模擬発表を行う
- 【第13回】
 テーマ：卒業研究中間発表準備
 内容・方法：中間発表に向けたセミナー内での模擬発表を行う
- 【第14回】
 テーマ：卒業研究中間発表

内容・方法：卒業研究についての中間発表を行う

【第15回】

テーマ：夏期課題についての確認

内容・方法：夏期執筆についての確認を行う

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

毎回の授業前に必要と思われる事前調査や情報探索、プレゼンテーション実施の場合は準備をして臨む必要があります。

また事後学習として授業の振り返りを行い、理解を深める必要があります。

必要に応じて追加情報の収集や探索を行いまとめておく必要があります。

また、計画的に論文執筆を進め、必要に応じて個別に相談・指導を受けることが必要です。

課題に対するフィードバックの方法

プレゼンテーションや論文などに関して、適宜コメントやフィードバックを行う

成績評価の方法・基準(方針)

●全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。

●必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

卒業研究中間発表の資料やセミナー内でのプレゼンテーション内容、調査・分析の内容を踏まえ、総合的に評価します。

以下に示す評価方法により総合的に判定の上、60点以上を合格とし所定の単位を認定する。なお、正当な理由なく全授業回数の3分の1以上(5回以上)欠席した場合は「K」評価とする。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	90	授業内での発表・報告(20)、卒業研究発表準備(30)、卒業研究中間発表(40)	1, 2, 3
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	10	卒業研究中間発表資料	1, 3
その他	0		

テキスト テキストは使用しない

参考書 購入の必要はありません。必要に応じて各自で購入を判断してください。
・基礎からわかる 論文の書き方 (小熊 英二/講談社)
・社会科学系論文の書き方 (明石 芳彦/ミネルヴァ書房)
・文献レビューのきほん—看護研究・看護実践の質を高める (大木 秀一/医歯薬出版)

履修条件・他の科目との関連
・主体的で積極的な参加が必要です
・特段の理由がない限り、遅刻することなく積極的に毎回講義に参画するようにしてください
・授業内ルールを守らない行為、主体的に前向きに学ぶ学生の学びの妨げになる行為を行った場合は、単位取得不可となります
・セミナーに関する連絡や資料の共有、課題の提出は Google Classroomを使用します。PC(推奨)やスマートフォンで閲覧・回答することを前提に準備をお願いします

授業コード	13099221	授業形態	演習	実務家教員	<input type="radio"/>
授業科目名	セミナーⅣb（卒業研究を含む） [対面]				
シラバス執筆(全員)	長谷川 順一郎				
シラバス執筆(主)	長谷川 順一郎				
開講年次	4年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

これまでの集大成として、卒業研究を執筆し、卒業研究発表会で発表できるようにします。

担当教員が企業において観光ホスピタリティ業務に従事してきた経験をもとに、実務家教員として、観光ホスピタリティに関する理論と実践への応用を関連付けながら授業を展開します。

到達目標

1. パワーポイント、配布資料等を駆使し、研究内容を口頭発表できるようになります。
2. これまでの自分の研究を卒業研究として所定の書式にのっとり、まとめられるようになります。

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：夏期休暇中の研究成果発表（1）
 内容・方法：夏期休暇中の研究成果を発表し、それをもとに討議する。
- 【第2回】
 テーマ：夏期休暇中の研究成果発表（2）
 内容・方法：夏期休暇中の研究成果を発表し、それをもとに討議する。
- 【第3回】
 テーマ：論文作成の個別指導（1）
 内容・方法：卒業論文の作成の個別指導を行う。
- 【第4回】
 テーマ：論文作成の個別指導（2）
 内容・方法：卒業論文の作成の個別指導を行う。
- 【第5回】
 テーマ：論文作成の個別指導（3）
 内容・方法：卒業論文の作成の個別指導を行う。
- 【第6回】
 テーマ：論文作成の個別指導（4）
 内容・方法：卒業論文の作成の個別指導を行う。
- 【第7回】
 テーマ：論文のドラフト発表（1）
 内容・方法：卒業論文のドラフトを発表し、それをもとに討議する。
- 【第8回】
 テーマ：論文のドラフト発表（2）
 内容・方法：卒業論文のドラフトを発表し、それをもとに討議する。
- 【第9回】
 テーマ：論文の完成原稿の発表（1）
 内容・方法：卒業論文の完成原稿を発表し、それをもとに討議する。
- 【第10回】
 テーマ：論文の完成原稿の発表（2）
 内容・方法：卒業論文の完成原稿を発表し、それをもとに討議する。
- 【第11回】
 テーマ：論文の完成原稿の発表（3）
 内容・方法：卒業論文の完成原稿を発表し、それをもとに討議する。
- 【第12回】
 テーマ：卒業研究論文提出
 内容・方法：卒業研究論文を提出する。
- 【第13回】
 テーマ：要旨集原稿作成
 内容・方法：要旨集の原稿を作成する。
- 【第14回】
 テーマ：要旨集原稿提出
 内容・方法：要旨集の原稿を提出する。
- 【第15回】
 テーマ：卒業研究発表会の発表準備
 内容・方法：卒業研究発表会の準備をする。

* 授業計画はクラスの状況、授業の進行状況によって変更することがあります。あらかじめご理解ください。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要です。授業中に解説されたことはもちろん、授業を通して気づいたこと、確認したいことなどをめれなくノートに記します。それをもとにした復習と、指示された課題（配布物の精読が中心となります）を含めた予習をしっかりと行います。そして、学んだこと、調べたことなどを常に整理し、意見発信できるよう準備することが大切です。

課題に対するフィードバックの方法

発表、討議後は講評を行います。提出物については随時講評を行います。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となります。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価となります。

- ①毎回、提出物（レポート課題）があります。その多くはゼミで共有しますので、授業前に作成・配布（送信）する必要があります。授業計画はクラスの状況、授業の進行状況によって変更することがあります。あらかじめご理解ください。
 - ②提出物（レポート課題）はもちろんのこと、積極的なゼミ活動への参加（討議での発言、協働など）が強く求められます。ゼミ活動を通じて涵養される社会人基礎力も評価の対象となります。
- 以下に示す評価方法により総合的に判定のうえ、60点以上を合格とし、所定の単位を認定します。総授業回数のおよそ1/3以上欠席した場合、また、連続3回欠席した場合、評価の対象とせず「K」評価となります。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	50	発表・討議	1
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	50	卒業研究、要旨	2
その他	0		

テキスト	テキストは使用しません。プリントを適宜配布します。
参考書	授業中に指示します。
履修条件・他の科目との関連	授業時間厳守。遅刻することがないように注意してください。但し、公共交通機関の遅延等があった場合は考慮しますので申し出てください。

授業コード	13099222	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅣb（卒業研究を含む） [対面]				
シラバス執筆(全員)	韓 尚秀				
シラバス執筆(主)	韓 尚秀				
開講年次	4年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

卒論作成に必要な知識習得を目指す。前期では、仮テーマで卒論作成要領から発表までを学習し、後期には、本格的な卒論作成に取り組む。

到達目標

①卒業論文作成能力を身につける。

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：講義紹介
 内容・方法：講義概要の紹介、受講中の注意点・方針を知らせる。
- 【第2回】
 テーマ：卒論の作成方法Ⅱ
 内容・方法：卒論の作成方法について講義する。
- 【第3回】
 テーマ：タイピングⅡ
 内容・方法：タイピング練習・テスト
- 【第4回】
 テーマ：グラフ作成練習Ⅱ
 内容・方法：グラフ作成練習
- 【第5回】
 テーマ：数式エディタの使用法Ⅱ
 内容・方法：数式エディタによる数式作成・入力練習をする。
- 【第6回】
 テーマ：データの収集Ⅱ
 内容・方法：指定テーマに関するデータを収集する
- 【第7回】
 テーマ：データの分析Ⅱ
 内容・方法：データの分析を行う
- 【第8回】
 テーマ：データの表現Ⅱ
 内容・方法：様々なデータの表現について学ぶ。
- 【第9回】
 テーマ：卒論仮テーマ決定Ⅱ
 内容・方法：卒論用の仮テーマ決定し、議論する。
- 【第10回】
 テーマ：章建てⅡ
 内容・方法：仮テーマに対する章建てを行う。
- 【第11回】
 テーマ：卒論作成練習(1)Ⅱ
 内容・方法：各自卒論を作成する。
- 【第12回】
 テーマ：卒論作成練習(2)Ⅱ
 内容・方法：各自卒論を作成する。
- 【第13回】
 テーマ：卒論作成練習(3)Ⅱ
 内容・方法：各自卒論を作成する。
- 【第14回】
 テーマ：卒論中間発表会Ⅱ
 内容・方法：卒論中間発表会を行う。
- 【第15回】
 テーマ：総括Ⅱ
 内容・方法：同じテーマに関する卒論を評価する。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

- 【第1回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。
- 【第2回】

- ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。
 【第3回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。
 【第4回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。
 【第5回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。
 【第6回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。
 【第7回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。
 【第8回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。
 【第9回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。
 【第10回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。
 【第11回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。
 【第12回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。
 【第13回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。
 【第14回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。
 ②事後学修課題：授業中に指示された課題を次回までに提出すること。
 【第15回】
 ①事前学修課題：前回の授業内容を復習しておくこと。
 ②事後学修課題：提出された課題を評価する。

毎回の授業において、3.5時間の事前学習と3.5時間の事後学習が必要です。

課題に対するフィードバックの方法

Google Classのレポート機能を活用する。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

平常点30%、発表またはレポート(年2回)30%の総合評価、期末試験(20%)。ただし、欠席過多(3回以上)の場合には単位を与えない。毎回タイピング評価を行う(20%)。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	30	平常点	1
授業外での評価	30	レポート点	1
定期試験	0	なし	なし
定期試験に代わるレポート等	20	期末レポート課題	1
その他	20	タイピング点	1

テキスト	テキストなし
参考書	必要に応じて、授業中に紹介する。
履修条件・他の科目との関連	意欲的に取り組み、予習復習を行うこと。

授業コード	13099223	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅣb（卒業研究を含む） [対面]				
シラバス執筆(全員)	久保 由加里				
シラバス執筆(主)	久保 由加里				
開講年次	4年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

このセミナーでは、卒業論文完成に向けての研究・調査、また論文作成、ならびに発表について指導をおこなうと同時に、就職活動のための指導もおこなう

到達目標

1. 卒業論文完成と卒業研究発表を通して、目標達成力、探求力、プレゼンテーション力を身につけ、実行できる
2. 文献調査や現地調査研究の方法を習得することができる
3. 観光業界、ならびに地域における観光振興について知識を深め、論理的に説明できる

授業計画

【第16回】
 テーマ：論文作成 中間発表
 内容・方法：資料による発表

【第17回】
 テーマ：セミナーガイダンス
 内容・方法：論文執筆の進捗状況を報告する

【第18回】
 テーマ：論文作成指導
 内容・方法：論文の組み立て、研究資料の著し方などを指導

【第19回】
 テーマ：論文作成指導
 内容・方法：論文の組み立て、研究資料の著し方などを指導

【第20回】
 テーマ：論文作成指導
 内容・方法：論文の組み立て、研究資料の著し方などを指導

【第21回】
 テーマ：論文作成指導
 内容・方法：論文の組み立て、研究資料の著し方などを指導

【第22回】
 テーマ：論文作成指導
 内容・方法：論文の組み立て、研究資料の著し方などを指導

【第23回】
 テーマ：論文作成指導
 内容・方法：論文の組み立て、研究資料の著し方などを指導

【第24回】
 テーマ：論文作成指導
 内容・方法：論文の組み立て、研究資料の著し方などを指導

【第25回】
 テーマ：論文作成指導
 内容・方法：論文の組み立て、研究資料の著し方などを指導

【第26回】
 テーマ：論文作成指導
 内容・方法：論文の組み立て、研究資料の著し方などを指導

【第27回】
 テーマ：論文作成指導
 内容・方法：論文の組み立て、研究資料の著し方などを指導

【第28回】
 テーマ：論文サマリー発表
 内容・方法：資料とパワーポイントによる発表

【第29回】
 テーマ：論文サマリー発表
 内容・方法：資料とパワーポイントによる発表

【第30回】
 テーマ：論文サマリー発表
 内容・方法：資料とパワーポイントによる発表

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり45時間が必要

授業（1回につき2時間として計算）と事前事後のあわせて1単位あたり70時間が必要

【第16回】

- ①事前学修課題：スケジュールに従って論文を執筆する。
- ②事後学修課題：指導を受けた点を改善する

【第17回】

- ①事前学修課題：スケジュールに従い、論文を仕上げていく
- ②事後学修課題：指導を受けた点を改善する

【第18回】

- ①事前学修課題：スケジュールに従い、論文を仕上げていく
- ②事後学修課題：指導を受けた点を改善する

【第19回】

- ①事前学修課題：スケジュールに従い、論文を仕上げていく
- ②事後学修課題：指導を受けた点を改善する

【第20回】

- ①事前学修課題：スケジュールに従い、論文を仕上げていく
- ②事後学修課題：指導を受けた点を改善する

【第21回】

- ①事前学修課題：スケジュールに従い、論文を仕上げていく
- ②事後学修課題：指導を受けた点を改善する

【第22回】

- ①事前学修課題：スケジュールに従い、論文を仕上げていく
- ②事後学修課題：指導を受けた点を改善する

【第23回】

- ①事前学修課題：スケジュールに従い、論文を仕上げていく
- ②事後学修課題：指導を受けた点を改善する

【第24回】

- ①事前学修課題：スケジュールに従い、論文を仕上げていく
- ②事後学修課題：指導を受けた点を改善する

【第25回】

- ①事前学修課題：スケジュールに従い、論文を仕上げていく
- ②事後学修課題：指導を受けた点を改善する

【第26回】

- ①事前学修課題：論文と発表の両方を仕上げる
- ②事後学修課題：指導を受けた点を改善する

【第27回】

- ①事前学修課題：論文と発表の両方を仕上げる
- ②事後学修課題：指導を受けた点を改善する

【第28回】

- ①事前学修課題：論文と発表の両方を仕上げる
- ②事後学修課題：指導を受けた点を改善する

【第29回】

- ①事前学修課題：論文と発表の両方を仕上げる
- ②事後学修課題：指導を受けた点を改善する

【第30回】

- ①事前学修課題：論文と発表の両方を仕上げる
- ②事後学修課題：最終的に論文と論文発表内容を完成させる

課題に対するフィードバックの方法

個人指導をおこなうとともに、ゼミ内で定期的に研究発表をおこなう

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

卒業論文作成と発表に対する取り組みにおいて、総合的に判定の上、60点以上を合格として所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	80	卒業研究 50 (① 研究 20) (② 分析 20) (③ 執筆 10) 卒業研究発表 30	1, 2, 3
授業外での評価	10	毎週指導された研究ならびに調査をしているか	1, 2, 3
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	10	卒業研究への取り組み姿勢	1, 2, 3

テキスト	随時 資料を配布する
参考書	随時、研究内容によって個別に指導する
履修条件・他の科目との関連	大学における研究・学びの集大成が卒業論文である。計画性を持って充実した研究をおこなうことが求められる

授業コード	13099224	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅣb（卒業研究を含む） [対面]				
シラバス執筆(全員)	村田 隆志				
シラバス執筆(主)	村田 隆志				
開講年次	4年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

本セミナーで取り扱うのは、日本・東洋の芸術、中でも、目で見ることのできる視覚芸術である。

本講義においては、セミナーⅢで得た基本的な知識を元に、卒業研究に向けて各自の興味関心に基づいて研究を深めていく。研究対象について、その価値や意義を正しく認識するための審美眼・鑑識眼を養うことは美術史研究の前提となるため、不断のトレーニングが要求される。

社会へ出る時期が直前に迫っている学年でもあるため、自身の思考を正しく言語化して、他者に伝える能力を養うことにも留意する。

到達目標

1. 美術史・芸術学の「様式論」を理解する。
2. 「様式論」を、それぞれの興味関心に応じて援用し、物事を理解する上での基盤とする。
3. 思考を言語化し、的確な語彙を用いて論文とする能力を体得する。
4. 調査研究の成果を口頭で発信する能力を身に着ける。

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：夏期レポートの注意点
 内容・方法：夏期レポート執筆上の注意点について
- 【第2回】
 テーマ：夏期レポートの輪読・添削1
 内容・方法：各自の夏期レポートを輪読し、教員の添削を行う
- 【第3回】
 テーマ：夏期レポートの輪読・添削2
 内容・方法：各自の夏期レポートを輪読し、教員の添削を行う
- 【第4回】
 テーマ：受講生口頭発表5
 内容・方法：卒業研究発表に向けての口頭発表
- 【第5回】
 テーマ：受講生口頭発表6
 内容・方法：卒業研究発表に向けての口頭発表
- 【第6回】
 テーマ：学外見学会
 内容・方法：本科目の学びに関連する展覧会见学
- 【第7回】
 テーマ：受講生口頭発表7
 内容・方法：卒業研究発表に向けての口頭発表
- 【第8回】
 テーマ：受講生口頭発表8
 内容・方法：卒業研究発表に向けての口頭発表
- 【第9回】
 テーマ：ドラフト提出に向けて
 内容・方法：ドラフトの書式、文体、校正の方法について
- 【第10回】
 テーマ：教員模口頭発表
 内容・方法：教員による口頭発表
- 【第11回】
 テーマ：ドラフト提出
 内容・方法：ドラフトの書式、文体等についての最終確認
- 【第12回】
 テーマ：受講生口頭発表9
 内容・方法：卒業研究発表に向けての口頭発表
- 【第13回】
 テーマ：受講生口頭発表10
 内容・方法：卒業研究発表に向けての口頭発表
- 【第14回】
 テーマ：卒業論文体裁・内容等最終確認
 内容・方法：卒業論文体裁・内容等最終確認
- 【第15回】
 テーマ：卒業論文要旨集原稿提出
 内容・方法：要旨の書式、文体等についての最終確認

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

<後期>

※毎回の授業において、2時間の事前学習と2時間の事後学習が必要である。

【第1回】

①事前学修課題：夏期レポートの執筆・校正

②事後学修課題：指導・添削内容の反映

【第2回】

①事前学修課題：夏期レポートの執筆・校正

②事後学修課題：指導・添削内容の反映

【第3回】

①事前学修課題：口頭発表準備

②事後学修課題：指導内容の論文への反映

【第4回】

①事前学修課題：口頭発表準備

②事後学修課題：指導内容の論文への反映

【第5回】

①事前学修課題：見学先の情報収集

②事後学修課題：見学・解説内容の復習

【第6回】

①事前学修課題：口頭発表準備

②事後学修課題：指導内容の論文への反映

【第7回】

①事前学修課題：口頭発表準備

②事後学修課題：指導内容の論文への反映

【第8回】

①事前学修課題：ドラフトの執筆

②事後学修課題：指導・添削内容の反映

【第9回】

①事前学修課題：自身の口頭発表準備

②事後学修課題：聴講経験を自身の口頭発表に反映

【第10回】

①事前学修課題：ドラフト執筆

②事後学修課題：ドラフト内容の口頭発表への反映

【第11回】

①事前学修課題：口頭発表準備

②事後学修課題：指導内容の論文への反映

【第12回】

①事前学修課題：口頭発表準備

②事後学修課題：指導内容の論文への反映

【第13回】

①事前学修課題：卒業論文完成

②事後学修課題：要旨の執筆

【第14回】

①事前学修課題：要旨の執筆

②事後学修課題：卒業研究発表会準備

【第15回】

①事前学修課題：卒業研究発表会準備

②事後学修課題：大学4年間の学びを振り返る。

課題に対するフィードバックの方法

各課題については、提出のつどフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により、総合的に判定の上、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

セミナー科目であるため、平常点を重視する。卒業研究中間発表も含め、総合的に評価する。

正当な理由なく5回以上欠席した場合にはK評価とする。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	100	卒業研究準備発表(20) 卒業研究(60) 卒業研究発表会プレゼン(20)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	0		
定期試験	0		

定期試験に代わるレポート等	0		
その他	0		
テキスト	プリントを配布する。		
参考書	辻惟雄監修『増補新装 カラー版 日本美術史』(美術出版社、2003年) 中村興二・岸文和編『日本美術を学ぶ人のために』(世界思想社、2001年)ほか。		
履修条件・他の科目との関連	正当な理由がなく欠席をした場合には、必要に応じて個別に課題の提出を要求する。 「日本美術史」「芸術学」については必ず履修しておくこと。また博物館学芸員科目も履修すること。		

授業コード	13099225	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅣb（卒業研究を含む） [対面]				
シラバス執筆(全員)	岸脇 誠				
シラバス執筆(主)	岸脇 誠				
開講年次	4年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

このセミナーでは経済問題を中心とした社会科学系の卒業研究を段階的に進める。まず、学生自らが研究テーマを設定し、資料やデータを収集する。次に、資料やデータを十分に分析した上で、レジュメやスライドに論点をまとめる。最後に、研究した内容を卒業研究の成果としてまとめ、それに基づいたプレゼンテーションを行い、質疑応答を通じて議論を深める。

到達目標

1. 現代社会が直面しているさまざまな問題に関する基礎知識や分析枠組みを習得する。
2. その問題に関する情報やデータを収集し、論点を整理する。
3. その問題に関してどのような対策が必要か、自分なりの意見を表明できる。
4. レジュメやスライドを作成し、プレゼンテーションを行う。

授業計画

第1回	テーマ：ガイダンス 内容：後期のセミナーの進め方、成績評価方法等について説明する。
第2回	テーマ：課題の発見と資料収集（1） 内容：各自の研究テーマに基づいて課題を設定し、図書館などで資料収集を行う。
第3回	テーマ：課題の発見と資料収集（2） 内容：各自の研究テーマに基づいて課題を設定し、図書館などで資料収集を行う。
第4回	テーマ：課題の発見と資料収集（3） 内容：各自の研究テーマに基づいて課題を設定し、図書館などで資料収集を行う。
第5回	テーマ：情報と論点の整理（1） 内容：各自の研究テーマに基づいて論点を整理し、集めた情報の分析を行う。
第6回	テーマ：情報と論点の整理（2） 内容：各自の研究テーマに基づいて論点を整理し、集めた情報の分析を行う。
第7回	テーマ：情報と論点の整理（3） 内容：各自の研究テーマに基づいて論点を整理し、集めた情報の分析を行う。
第8回	テーマ：草稿執筆（1） 内容：これまでの研究内容を文章化し、必要な図表も作成する。
第9回	テーマ：草稿執筆（2） 内容：これまでの研究内容を文章化し、必要な図表も作成する。
第10回	テーマ：草稿執筆（3） 内容：これまでの研究内容を文章化し、必要な図表も作成する。
第11回	テーマ：草稿執筆（4） 内容：これまでの研究内容を文章化し、必要な図表も作成する。
第12回	テーマ：プレゼンテーション（1） 内容：これまでの研究内容をスライドにまとめて、発表を行う。質疑応答や議論を通して今後の研究の進め方を再検討する。

第13回

テーマ：プレゼンテーション（2）

内容：これまでの研究内容をスライドにまとめて、発表を行う。質疑応答や議論を通して今後の研究の進め方を再検討する。

第14回

テーマ：プレゼンテーション（3）

内容：これまでの研究内容をスライドにまとめて、発表を行う。質疑応答や議論を通して今後の研究の進め方を再検討する。

第15回

テーマ：総括

内容：卒業研究を振り返り、残された課題を確認する。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

毎回の授業において2時間の事前学習と2時間の事後学習が必要である。
事前学習としては普段から新聞やニュースなどを通して経済問題に関する情報を収集し、論点を整理しておくこと。事後学習としては、その日の授業で学んだことを整理し、次回の授業のキーワードについて調べておくこと。

課題に対するフィードバックの方法

提出された課題を添削し、改善点を指摘する。プレゼンテーションについては発表後に改善点を指摘する。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

下記の評価割合に基づいて総合的に評価する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	30	卒業研究の進捗状況に応じて課題を提示し、その完成度で評価する。	1, 2, 3
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	40	期末試験に代わるレポート	1, 2, 3
その他	30	プレゼンテーション	2, 3, 4

テキスト	必要に応じて資料を配布する。
参考書	戸田山和久『最新版 論文の教室：レポートから卒論まで』NHK出版、2022年。
履修条件・他の科目との関連	欠席する場合は事前に連絡すること。

授業コード	13099226	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅣb（卒業研究を含む） [対面]				
シラバス執筆(全員)	森田 浩司				
シラバス執筆(主)	森田 浩司				
開講年次	4年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

卒業研究内容の発表と議論、個別指導を重ねながら、卒業研究を完成するための指導を行う。

到達目標

1. 4年間の学修の成果として卒業研究を行い、自らが選んだテーマの文献読解・調査・研究・執筆を通じて、独自性のある新たな知見を見出した卒業研究を完成して、研究内容を発表・説明出来るようになる。
2. 翌年からの社会人生活を見据え、時間や期限・常識・マナーの遵守、ゼミ活動における協業・社交性・積極性など、社会人として相応しい社会人基礎力を身につける

授業計画

- 第1回 夏期休暇課題の発表とディスカッション1
 第2回 後期個別指導1（執筆中の卒業研究原稿に基づく添削と個別指導）
 第3回 後期個別指導2（執筆中の卒業研究原稿に基づく添削と個別指導）
 第4回 後期個別指導3（執筆中の卒業研究原稿に基づく添削と個別指導）
 第5回 集合指導（執筆中の卒業研究原稿の発表とディスカッション、執筆上の注意事項等の説明・指導）
 第6回 後期個別指導4（執筆中の卒業研究原稿に基づく添削と個別指導）
 第7回 後期個別指導5（執筆中の卒業研究原稿に基づく添削と個別指導）
 第8回 後期個別指導6（執筆中の卒業研究原稿に基づく添削と個別指導）
 第9回 後期個別指導7（執筆中の卒業研究原稿に基づく添削と個別指導）
 第10回 集合指導（執筆中の卒業研究原稿の発表とディスカッション、執筆上の注意事項等の説明・指導）
 第11回 後期個別指導8（卒業研究原稿提出に向けた最終確認の個別指導）
 第12回 後期個別指導9（卒業研究原稿提出に向けた最終確認の個別指導）
 第13回 後期個別指導10（卒業研究原稿提出に向けた最終確認の個別指導）
 第14回 卒業研究発表演習1（作成した卒業研究発表用のPPTでの予行演習とディスカッション）
 第15回 卒業研究発表演習2（作成した卒業研究発表用のPPTでの予行演習とディスカッション）

※学生の進捗状況や理解度、学内行事などにより授業計画を変更する場合があります。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

【発表】

- ・必ず事前に定められた様式の発表原稿を作成し、また事前に時間を測って自己リハーサルを行った上で、当日発表を行うこと。
- ・発表時や発表後のディスカッション等で指示された修正箇所は、必ず次回までに修正して進めていくこと。

【個別指導】

- ・定められた日時までに原稿を作成する、あるいは指示があった場合は事前に作成原稿を定められた日時までに指導教員に提出する。
- ・個別指導当日は、作成または添削した原稿を基に指導を行う。したがって、当日までに原稿を作成していなかったり、指定日時までに添削用原稿の事前送付が無いと、個別指導時間が全くの無駄になるので、必ず定められた取組を行うこと。
- ・指導された修正は次回までに修正し、さらに引き続き執筆を進めていくこと。

課題に対するフィードバックの方法

各回において、作成した原稿、行われた発表や議論に対して、都度、必要なフィードバックを行いながら進めていく。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

- ・卒業研究提出原稿と卒業研究発表のクオリティ
 - ・卒業研究への計画的ならびに主体的な取組状況度合
 - ・ゼミ・個別指導中の提出物・発表の内容およびゼミへの貢献度（議論中の発言、他者発表へのコメントなど）
 - ・社会人基礎力の到達度合
- を踏まえて総合的に評価する。

成績評価の種類	評価割合	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
---------	------	---------	-------------

	(%)		
授業内での評価	10	ゼミ・個別指導中の提出物・発表の内容およびゼミへの貢献度(議論中の発言、他者発表へのコメントなど)	1, 2
授業外での評価	30	卒業研究への計画的ならびに主体的な取組状況度合	1, 2
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	60	・卒業研究提出原稿と卒業研究発表のクオリティ(50) ・社会人基礎力の到達度合(10)	1, 2

テキスト	個々の進捗状況や必要に応じて適宜案内する
------	----------------------

参考書	個々の進捗状況や必要に応じて適宜案内する
-----	----------------------

履修条件・他の科目との関連	<p>・セミナーⅣの取組は、卒業研究に直結することから、数ある科目の中で最もプライオリティの高い科目であることを十分に理解し、最優先で取り組むことを条件とする。 (他の授業、部活やサークル活動、資格取得のための学習、ボランティア、就活、バイト、やむを得ない私用等より優先して取り組むことになる)</p> <p>・翌年からの社会人生活を見据え、義務教育のような手取り足取りの過保護な対応は行わない。各自が自らの責任の下で、主体的に計画を立て、自らで考え、研究・調査・執筆を進めること。</p> <p>・質問・相談がある場合は、適宜、自ら主体的に前広に教員にコンタクトを取って指導を受けること。</p> <p>・授業や個人指導日以外でも、卒業研究作成過程の節目ごとに、早めに教員とコンタクトを取って指導を仰ぐなど、計画性を持って研究・執筆・確認・修正を行いながら進めていくこと。</p> <p>・発表時に他の学生の発表を確認し討論していくことは、自分の卒業研究へのヒントや新たな発見ができる絶好のチャンスなので、積極的に参加して上手く活用すること。</p> <p>・翌年からの社会人生活を見据え、時間や期限・常識・マナーの遵守、ゼミ活動における協業・社交性・積極性など、社会人基礎力養成を踏まえた進行や評価を行う。</p> <p>・同じような指導・注意を複数回行なっても繰り返す場合、改善の意思や対応する社会人基礎力がないと判断して、著しく評価を下げることになるので、十分に注意して取り組むこと</p> <p>・欠席学生には欠席事由や個々の進捗状況に応じて、適宜、個別に指示・対応する。</p>
---------------	---

授業コード	13099227	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅣb (卒業研究を含む) [対面]				
シラバス執筆(全員)	五月女 賢司				
シラバス執筆(主)	五月女 賢司				
開講年次	4年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

3回生ゼミで完成した各人の研究計画を基に、卒業研究論文作成を進め論文を完成する。また研究発表の準備と練習をする。

到達目標

1. 卒業論文を完成させる
2. 卒業研究中間発表をする
3. 要旨集原稿を作成する
4. 卒業研究発表資料を作成し、発表をする

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：Seminar Orientation
 内容・方法：夏休みの活動報告
- 【第2回】
 テーマ：卒業論文の日程
 内容・方法：卒業論文の日程について講義を行い、各自のカウンセリングを行う
- 【第3回】
 テーマ：卒業論文の形式
 内容・方法：卒業論文の形式について講義を行い、各自のカウンセリングを行う
- 【第4回】
 テーマ：卒業論文の引用文献
 内容・方法：引用文献リストの形式、言い換え方法を再確認し、各自のカウンセリングを行う
- 【第5回】
 テーマ：卒業論文の形式
 内容・方法：卒論のモデル：形と参考文献リストを再確認し、各自のカウンセリングを行う
- 【第6回】
 テーマ：卒業論文の形式
 内容・方法：文中引用形式を再確認し、各自のカウンセリングを行う
- 【第7回】
 テーマ：情報源の注意点
 内容・方法：情報源の注意点を再確認し、各自のカウンセリングを行う
- 【第8回】
 テーマ：卒業論文のドラフト準備
 内容・方法：独自性の大切さを再確認し、各自のカウンセリングを行う
- 【第9回】
 テーマ：卒業論文のドラフト提出
 内容・方法：内容を簡単に報告し、各自のカウンセリングを行う
- 【第10回】
 テーマ：卒業論文の最終原稿の準備
 内容・方法：ドラフトに対してFeedbackを確認し、各自のカウンセリングを行う
- 【第11回】
 テーマ：卒業論文の最終原稿の準備
 内容・方法：ドラフトに対してFeedbackを確認し、各自のカウンセリングを行う
- 【第12回】
 テーマ：卒業論文の要旨集
 内容・方法：要旨集の形式を確認し、各自のカウンセリングを行う
- 【第13回】
 テーマ：卒業論文の最終原稿の準備
 内容・方法：独自性チェックを行い、各自のカウンセリングを行う
- 【第14回】
 テーマ：卒業論文の最終原稿の提出
 内容・方法：簡単に内容を報告し、原稿と要旨集を提出する。研究発表の準備をする。
- 【第15回】
 テーマ：研究発表の準備
 内容・方法：スライドを使用し、発表練習を行う。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

事前学修課題：論文執筆、論文修正
 事後学修課題：復習
 【第2回】
 事前学修課題：論文執筆、論文修正
 事後学修課題：復習
 【第3回】
 事前学修課題：論文執筆、論文修正
 事後学修課題：復習
 【第4回】
 事前学修課題：論文執筆、論文修正
 事後学修課題：復習
 【第5回】
 事前学修課題：論文執筆、論文修正
 事後学修課題：復習
 【第6回】
 事前学修課題：論文修正
 事後学修課題：復習
 【第7回】
 事前学修課題：論文執筆、論文修正
 事後学修課題：復習
 【第8回】
 事前学修課題：論文執筆、論文修正
 事後学修課題：復習
 【第9回】
 事前学修課題：論文執筆、論文修正
 事後学修課題：復習
 【第10回】
 事前学修課題：論文執筆、論文修正
 事後学修課題：復習
 【第11回】
 事前学修課題：論文執筆、論文修正
 事後学修課題：復習
 【第12回】
 事前学修課題：論文修正
 事後学修課題：復習
 【第13回】
 事前学修課題：要旨集原稿作成、論文修正
 事後学修課題：復習
 【第14回】
 事前学修課題：発表準備
 事後学修課題：復習
 【第15回】
 事前学修課題：発表準備
 事後学修課題：最終チェック

課題に対するフィードバックの方法

Feedback will be provided in class and on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す通り、成績は授業への参加度、研究論文成果と研究発表、研究への取り組みを合わせて総合的な評価により決定される。60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。正当な理由のない欠席が多い場合は、「K」評価（不合格）とする。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	20	授業への参加度 (20)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	30	中間ドラフト(20)、要旨集原稿(10)	
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	50	卒業論文(40)発表(10)	1, 2, 3, 4
その他	0		

テキスト プリントを配布する

参考書 適宜、案内する

履修条件・他の科目との関連 セミナーⅢの研究計画に基づく研究を積極的に進める姿勢が大切

授業コード	13099228	授業形態	演習	実務家教員	—
授業科目名	セミナーⅣb（卒業研究を含む） [対面]				
シラバス執筆(全員)	A. E. リオン				
シラバス執筆(主)	A. E. リオン				
開講年次	4年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

3回生ゼミで完成した各人の研究計画を基に、卒業研究論文作成を進め論文を完成する。また研究発表の準備と練習をする。

到達目標

1. 卒業論文を完成させる
2. 卒業研究中間発表をする
3. 要旨集原稿を作成する
4. 卒業研究発表資料を作成し、発表をする

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：Seminar Orientation
 内容・方法：夏休みの活動報告
- 【第2回】
 テーマ：卒業論文の日程
 内容・方法：卒業論文の日程について講義を行い、各自のカウンセリングを行う
- 【第3回】
 テーマ：後輩インタビュー：就職活動・卒業後の予定について
 内容・方法：セミナーIIIの学生のインタビューに答え、就活についてアドバイスをする
- 【第4回】
 テーマ：卒業論文の引用文献
 内容・方法：引用文献リストの形式、言い換え方法を再確認し、各自のカウンセリングを行う
- 【第5回】
 テーマ：卒業論文の形式
 内容・方法：卒論のモデル：形と参考文献リストを再確認し、各自のカウンセリングを行う
- 【第6回】
 テーマ：卒業論文の形式
 内容・方法：文中引用形式を再確認し、各自のカウンセリングを行う
- 【第7回】
 テーマ：情報源の注意点
 内容・方法：情報源の注意点を再確認し、各自のカウンセリングを行う
- 【第8回】
 テーマ：卒業論文のドラフト準備
 内容・方法：独自性の大切さを再確認し、各自のカウンセリングを行う
- 【第9回】
 テーマ：卒業論文のドラフト提出
 内容・方法：内容を簡単に報告し、各自のカウンセリングを行う
- 【第10回】
 テーマ：卒業論文の最終原稿の準備
 内容・方法：ドラフトに対してFeedbackを確認し、各自のカウンセリングを行う
- 【第11回】
 テーマ：卒業論文の最終原稿の準備
 内容・方法：ドラフトに対してFeedbackを確認し、各自のカウンセリングを行う
- 【第12回】
 テーマ：卒業論文の要旨集
 内容・方法：要旨集の形式を確認し、各自のカウンセリングを行う
- 【第13回】
 テーマ：卒業論文の最終原稿の準備
 内容・方法：独自性チェックを行い、各自のカウンセリングを行う
- 【第14回】
 テーマ：卒業論文の最終原稿の提出
 内容・方法：簡単に内容を報告し、原稿と要旨集を提出する。研究発表の準備をする。
- 【第15回】
 テーマ：研究発表の準備
 内容・方法：スライドを使用し、発表練習を行う。

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

【第1回】

事前学修課題：論文執筆、論文修正
 事後学修課題：復習
 【第2回】
 事前学修課題：論文執筆、論文修正
 事後学修課題：復習
 【第3回】
 事前学修課題：論文執筆、論文修正
 事後学修課題：復習
 【第4回】
 事前学修課題：論文執筆、論文修正
 事後学修課題：復習
 【第5回】
 事前学修課題：論文執筆、論文修正
 事後学修課題：復習
 【第6回】
 事前学修課題：論文修正
 事後学修課題：復習
 【第7回】
 事前学修課題：論文執筆、論文修正
 事後学修課題：復習
 【第8回】
 事前学修課題：論文執筆、論文修正
 事後学修課題：復習
 【第9回】
 事前学修課題：論文執筆、論文修正
 事後学修課題：復習
 【第10回】
 事前学修課題：論文執筆、論文修正
 事後学修課題：復習
 【第11回】
 事前学修課題：論文執筆、論文修正
 事後学修課題：復習
 【第12回】
 事前学修課題：論文修正
 事後学修課題：復習
 【第13回】
 事前学修課題：要旨集原稿作成、論文修正
 事後学修課題：復習
 【第14回】
 事前学修課題：発表準備
 事後学修課題：復習
 【第15回】
 事前学修課題：発表準備
 事後学修課題：最終チェック

課題に対するフィードバックの方法

Feedback will be provided in class, in personal meetings in the teacher's office or via Zoom, and on Google Classroom.

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す通り、成績は授業への参加度、研究論文成果と研究発表、研究への取り組みを合わせて総合的な評価により決定される。60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。正当な理由のない欠席が多い場合は、「K」評価（不合格）とする。

Grade Breakdown:

1. 授業参加度 (20%)
2. 卒業研究中間ドラフト (10%)
3. 要旨集原稿 (10%)
4. 卒業論文 (40%)
4. 卒業研究発表 (20%)

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	40	授業への参加度 (20) 研究発表 (20)	1, 2, 3, 4
授業外での評価	20	中間ドラフト(10) 要旨集原稿(10)	
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	40	卒業論文 (40)	1, 2, 3, 4

その他	0		
テキスト	プリントを配布する		
参考書	適宜、案内する		
履修条件・他の科目との関連	セミナーIVaの研究発表に基づく研究を積極的に進める姿勢が大切		

授業コード	13099229	授業形態	演習	実務家教員	<input type="radio"/>
授業科目名	セミナーⅣb（卒業研究を含む） [対面]				
シラバス執筆(全員)	杉寄 聡紀				
シラバス執筆(主)	杉寄 聡紀				
開講年次	4年	開講期	後期	単位数	2単位

授業の目的・概要

本セミナーで取り扱うのは「テーマパーク」「余暇」である。余暇の社会的意義や人生における幸福感・充実感について調査し・研究し、卒業論文を完成させ発表する事を目的とする。

- ・卒業研究や論文執筆を行い完成させるとともに、他者からの理解を得られる伝え方（プレゼンテーションスキル）を身につける。
- ・担当教員がテーマパーク運営会社（合同会社ユー・エス・ジェイ）において立ち上げから19年にわたり、「テーマパーク運営業務」に従事してきた経験をもとに、実務家教員としてテーマパーク業界及び余暇研究を主とするが、その他業界の研究を妨げるものではない。
- ・ゼミ活動を通じて、社会人として必要となる基礎的な能力やルールについて身につける。
- ・必要に応じてゲストスピーカーをお招きし、プロフェッショナル視点での解説や考えについて学ぶ機会を設ける。
- ・必要に応じてフィールドワークや学内・他大学との合同ゼミを実施することがある。（ゼミ内での相談を経て決定する）

到達目標

1. 論文の構成を理解し、文献探索や収集及び分析を行うことができる
2. 卒業研究・論文のテーマにそって、それらを理論的かつ体系的に卒業論文の形でまとめ発表できる
3. 卒業研究の内容について体系的に説明・発表することができる

授業計画

【第1回】

テーマ：夏期執筆課題についての確認

内容：夏期執筆課題について、発表・共有・議論する

【第2回】

テーマ：夏期執筆課題 ピアレビュー

内容：夏期執筆課題について、ピアレビュー（輪読・確認）の後、ディスカッションを行う。必要に応じて教員からの指導や添削を行う。

【第3回】

テーマ：夏期執筆課題 ピアレビュー

内容：夏期執筆課題について、ピアレビュー（輪読・確認）の後、ディスカッションを行う。必要に応じて教員からの指導や添削を行う。

【第4回】

テーマ：卒業研究の進捗報告

内容・方法：各自の進捗について発表・共有・議論する

【第5回】

テーマ：卒業研究の進捗報告

内容・方法：各自の進捗について発表・共有・議論する

【第6回】

テーマ：卒業研究の進捗報告

内容・方法：各自の進捗について発表・共有・議論する

【第7回】

テーマ：卒業研究の進捗報告

内容・方法：各自の進捗について発表・共有・議論する

【第8回】

テーマ：卒業研究の進捗報告

内容・方法：各自の進捗について発表・共有・議論する

【第9回】

テーマ：卒業研究の進捗報告

内容・方法：各自の進捗について発表・共有・議論する

【第10回】

テーマ：卒業研究の進捗報告

内容・方法：各自の進捗について発表・共有・議論する

【第11回】

テーマ：草稿提出及びピアレビュー

内容・方法：草稿について、ピアレビュー（輪読・確認）の後、ディスカッションを行う。必要に応じて教員からの指導や添削を行う。

【第12回】

テーマ：草稿ピアレビュー

内容・方法：草稿について、ピアレビュー（輪読・確認）の後、ディスカッションを行う。必要に応じて教員からの指導や添削を行う。

【第13回】

テーマ：卒業論文最終確認
 内容・方法：卒業論文最終提出に向けての確認を行う
 【第14回】
 テーマ：卒業論文要旨原稿 最終提出
 内容・方法：要旨原稿最終提出に向けての確認を行う
 【第15回】
 テーマ：卒業研究発表会準備
 内容・方法：卒業研究発表会に向けて、セミナー内での模擬発表を行う

事前事後の学習

授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要です。

毎回の授業前に必要と思われる事前調査や情報探索、プレゼンテーション実施の場合は準備をして臨む必要があります。
 また事後学習として授業の振り返りを行い、理解を深める必要があります。
 また、計画的に論文執筆を進め、必要に応じて個別に相談・指導を受けることが必要です。

課題に対するフィードバックの方法

プレゼンテーションや論文などに関して、適宜コメントやフィードバックを行う

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

卒業研究発表の資料やプレゼンテーション内容、卒業論文の内容を踏まえ、総合的に評価します。
 以下に示す評価方法により総合的に判定の上、60点以上を合格とし所定の単位を認定する。なお、正当な理由なく全授業回数の3分の1以上(5回以上)欠席した場合は「K」評価とする。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	55	授業内での発表・報告(10)、卒業研究準備発表(20)、卒業研究発表(25)	1, 2, 3
授業外での評価	0		
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	45	卒業論文	2
その他	0		

テキスト	テキストは使用しない
参考書	購入の必要はありません。必要に応じて各自で購入を判断してください。 ・基礎からわかる 論文の書き方 (小熊 英二/講談社) ・社会科学系論文の書き方 (明石 芳彦/ミネルヴァ書房) ・文献レビューのきほん—看護研究・看護実践の質を高める (大木 秀一/医歯薬出版)
履修条件・他の科目との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的で積極的な参加が必要です ・特段の理由がない限り、遅刻することなく積極的に毎回講義に参画するようにしてください ・授業内ルールを守らない行為、主体的に前向きに学ぶ学生の学びの妨げになる行為を行った場合は、単位取得不可となります ・セミナーに関する連絡や資料の共有、課題の提出は Google Classroomを使用します。PC(推奨)やスマートフォンで閲覧・回答することを前提に準備をお願いします

授業コード	15002501	授業形態		実務家教員	—
授業科目名	国内旅行業務取扱管理者資格取得対策講座Ⅰ [対面]				
シラバス執筆(全員)	小笹 誠司				
シラバス執筆(主)	小笹 誠司				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

毎年9月に実施される「国内旅行業務取扱管理者」、ならびに10月に実施される「総合旅行業務取扱管理者」の1科目である「旅行業法」の試験対策と「旅行業実務」の国内地理の試験対策で、条文の要点と法令用語を詳細に解説し、解答練習をすることで合格する実旅行を身につけます。さらには、毎授業時間内と第11回目以降の授業内に「国内地理小テスト」「国内地理・過去問題解答」を実施し、国家試験範囲の対応と、日本人としてぜひ知ってほしい観光地理の知識を積み上げます。将来、旅行業界人をはじめとしたホスピタリティ産業の業務に従事したいと考えている人にも役立つ授業です。

到達目標

1. 旅行業法の仕組みと条文の内容を理解する。
2. 試験問題において正解を導ける判断力を養う。
3. 他の法律や観光地理に関心を持てるようにする。
4. 「旅行業取扱管理者」の資格を取得できるようにする。

授業計画

【第1回】
ガイダンス：資格と試験の概要。試験の傾向と対策アドバイス。勉強方法。モチベーションの保ち方。
内容・方法：旅行者と業法の歴史、旅行業界人の仕事

【第2回】
旅行業法：総則
内容・方法：旅行業法の目的、旅行者の定義
国内地理小テスト

【第3回】
旅行業法：登録制度
内容・方法：登録範囲・申請・更新・拒否・変更

【第4回】
旅行業法：営業保証金制度
内容・方法：営業保証金の意味と供託制度、補償金額、追加と取り消し
国内地理小テスト

【第5回】
旅行業法：旅行業務取扱管理者と外務員
内容・方法：旅行業務取扱管理者と外務員の選任と職務
国内地理小テスト

【第6回】
旅行業法：業法の3つの掲示物
内容・方法：取扱料金表・標識（登録票）・旅行業約款
国内地理小テスト

【第7回】
旅行業法：取引の公正の為の措置
内容・方法：取引条件の説明、書面の交付
国内地理小テスト

【第8回】
旅行業法：取引の公正の為の措置2
内容・方法：広告の実施、誇大広告の禁止、旅程管理業務
国内地理小テスト

【第9回】
旅行業法：禁止行為・旅行者代理業者、受託業者
内容・方法：禁止行為、業務改善命令、代理業者の独自性と受託・委託の意味
国内地理小テスト

【第10回】
旅行業法：旅行業協会・罰則規定と罰金、聴聞
内容・方法：旅行業協会の法定業務、弁済業務、観光庁の取締まり事項
国内地理小テスト

【第11回】
国内地理分野・過去問題解答解説

【第12回】
国内地理分野・過去問題解答解説

【第13回】
国内地理分野・過去問題解答解説

【第14回】
旅行業法：まとめと演習問題

内容・方法：習得事項の再確認、過去問題解答解説など

【第15回】

旅行業法・国内地理：学習を通じての業界研究

内容・方法：法律の活用に向けた取り組みの実例紹介、業界関連情報の共有

事前事後の学習

各回、国家試験対策としての予習・復習については、それぞれ「1時間以上」は不可欠であると理解すること。特に、過去問題等を事前・事後に確認の上解答を試みたり、自己採点・再確認等の作業は必須とする。

【第1回】

①事前学習課題：特になし

②事後学習課題：使用教材等のチェック

【第2回】

①事前学習課題：前週分のテキストの復習

②事後学習課題：進んだ所までの演習問題・過去問題

【第3回】

①事前学習課題：前週分のテキストの復習

②事後学習課題：進んだ所までの演習問題・過去問題

【第4回】

①事前学習課題：前週分のテキストの復習

②事後学習課題：進んだ所までの演習問題・過去問題

【第5回】

①事前学習課題：前週分のテキストの復習

②事後学習課題：進んだ所までの演習問題・過去問題

【第6回】

①事前学習課題：前週分のテキストの復習

②事後学習課題：進んだ所までの演習問題・過去問題

【第7回】

①事前学習課題：前週分のテキストの復習

②事後学習課題：進んだ所までの演習問題・過去問題

【第8回】

①事前学習課題：前週分のテキストの復習

②事後学習課題：進んだ所までの演習問題・過去問題

【第9回】

①事前学習課題：前週分のテキストの復習

②事後学習課題：進んだ所までの演習問題・過去問題

【第10回】

①事前学習課題：前週分のテキストの復習

②事後学習課題：進んだ所までの演習問題・過去問題

【第11回】

①事前学習課題：前週分のテキストの復習・これまで実施した小テスト等の再確認

②事後学習課題：実施した過去問題の内容に関する見直し・情報収集

【第12回】

①事前学習課題：これまで実施した小テスト等の再確認

②事後学習課題：実施した過去問題の内容に関する見直し・情報収集

【第13回】

①事前学習課題：これまで実施した小テスト等の再確認

②事後学習課題：実施した過去問題の内容に関する見直し・情報収集

【第14回】

①事前学習課題：前週分のテキストの復習

②事後学習課題：進んだ所までの演習問題・過去問題

【第15回】

①事前学習課題：前週分のテキストの復習

②事後学習課題：試験の準備

課題に対するフィードバックの方法

各テーマの練習問題実施後、解答・解説をして自己採点をし、理解できていない点を明らかにして、不明点は積極的に質問することとする。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

授業時間中に実施される小テスト・まとめテストと授業内期末試験の結果と欠席回数・授業態度を総合的に判定の上評価する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	40	小テスト 15% まとめ小テスト 15% 出席態度・欠席率 10%	小テスト 1, 2, 3, 4 まとめ小テスト 1, 2, 3, 4 出席態度・欠席率 3, 4

授業外での評価	10	宿題への取り組み 10%	1, 2, 3, 4
定期試験	50	総まとめテスト(旅行業務取扱管理者試験問題に匹敵する難易度の問題) 50%	1, 2, 3, 4
定期試験に代わるレポート等	0		
その他	0		

テキスト	旅行業実務シリーズ1『旅行業法およびこれに基づく命令』JTB総合研究所		
------	-------------------------------------	--	--

参考書			
-----	--	--	--

履修条件・他の科目との関連	「旅行業約款・その他約款」「国内地理」等、旅行業務取扱管理者試験に関係する他授業を履修していることが望ましい。		
---------------	---	--	--

授業コード	15002601	授業形態		実務家教員	—
授業科目名	国内旅行業務取扱管理者資格取得対策講座Ⅱ [対面]				
シラバス執筆(全員)	松野 麻里子				
シラバス執筆(主)	松野 麻里子				
開講年次	1年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

国家資格・国内旅行業務取扱管理者において試験全3科目4分野中、本授業では「約款」を講義する。「約款」とは契約を締結する際に事業者（旅行業者）・消費者（旅行者）の立場から、あらかじめ作成されたモデル・パターンを意味する。

到達目標

1. 授業に関わる内容に関心や疑問を持ち、それらを自ら表現する
2. ”契約における約款”について基礎的内容を理解する
3. 国家資格・国内旅行業務取扱管理者試験に合格するレベルの知識を体得する

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：ガイダンス-国家資格と試験の概要：試験の傾向と合格のための対策
 内容・方法：資格の意義と実施概要についてガイダンスを実施し試験内容とその勉強法を講義する。
- 【第2回】
 テーマ：企画旅行・募集型①-総則と契約の締結
 内容・方法：契約の締結
- 【第3回】
 テーマ：企画旅行・募集型②-契約の締結
 内容・方法：契約の締結
- 【第4回】
 テーマ：企画旅行・募集型③-契約の変更
 内容・方法：契約の変更の条件
- 【第5回】
 テーマ：企画旅行・募集型④-契約の解除
 内容・方法：契約の解除の条件
- 【第6回】
 テーマ：企画旅行・募集型⑤-旅程管理・団体グループ契約
 内容・方法：旅程管理業務、旅程保証等
- 【第7回】
 テーマ：企画旅行・特別補償規程①
 内容・方法：旅行業者等の責任と特別補償規程
- 【第8回】
 テーマ：企画旅行・特別補償規程②-携帯品補償規程
 内容・方法：携帯品についての特別補償規程
- 【第9回】
 テーマ：企画旅行・募集型及び特別補償のまとめ、確認テスト
 内容・方法：これまでの総復習と確認テストによる理解度チェック
- 【第10回】
 テーマ：企画旅行・受注型
 内容・方法：受注型企画旅行全般を講義する。募集型との相違点を学ぶ
- 【第11回】
 テーマ：手配旅行
 内容・方法：手配旅行の特色を理解するとともに、企画旅行との相違点を明確にする
- 【第12回】
 テーマ：旅行相談契約、宿泊約款
 内容・方法：旅行相談契約、宿泊約款について学ぶ
- 【第13回】
 テーマ：国内航空約款
 内容・方法：国内航空約款について学ぶ
- 【第14回】
 テーマ：貸切バス、フェリー約款及びJR営業規則
 内容・方法：貸切バス、フェリー約款及びJR営業規則概要について学ぶ
- 【第15回】
 テーマ：企画旅行（募集型、特別補償）以降のまとめ、確認テスト
 内容・方法：これまでの総復習と確認テストによる理解度チェック

事前事後の学習

- ・ 国家資格受験対策科目のため、受験を希望する学生が受講すること。

・自らの知識と読解力に応じて、予習・復習及び演習を行い、試験合格に繋がる強い意志を持って努力することが求められる。

- 毎回の授業前（1.5時間）：予習として前回授業で学んだ内容を確認し条文に慣れておく。
- 毎回の授業後（2.5時間）：復習として学習内容、用語を確認しテキスト「理解度チェック」を解くことで知識を定着させる。

課題に対するフィードバックの方法

授業内でテキスト「理解度チェック」の解説等、適宜フィードバックを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により総合的に判定、60点以上を合格とし、所定の単位を認定する。

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	30	リアクションペーパー等(30)	1, 2
授業外での評価	20	課題(レポート)の提出等(20)	1, 2
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	40	筆記試験等(40)	3
その他	10	授業への取り組み姿勢等(10)	1, 2

テキスト 『2025旅行業実務シリーズ② 旅行業約款、運送・宿泊約款』JTB総合研究所(2025年3月刊)

参考書 『ユーキャンの旅行業務取扱管理者(国内・総合)速習レッスン』自由国民社
必要に応じて授業内で紹介する。

履修条件・他の科目との関連

1. 国家資格取得を目標とする学生が受講し、テキストを必ず購入すること。
2. 国家試験・受験のためには「国内旅行業務取扱管理者資格取得対策講座Ⅰ(旅行業法)」「旅行業実務(国内運賃・料金)」「国内観光資源(地理)」の知識が必須であるため必ず履修登録を確認すること。
3. 原則として授業内でパソコン、スマートフォンは使用しません。(合理的配慮が必要な場合は、遠慮なく申し出て下さい。)

授業コード	15002701	授業形態		実務家教員	—
授業科目名	総合旅行業特講 [対面]				
シラバス執筆(全員)	松野 麻里子				
シラバス執筆(主)	松野 麻里子				
開講年次	2年	開講期	前期	単位数	1単位

授業の目的・概要

- ・ 国家資格・総合旅行業務取扱管理者において試験科目全4科目中（旅行業法、約款、国内旅行実務、海外旅行実務）本授業では「海外旅行実務（5分野）国際航空運賃、出入国法令・実務、旅行実務、地理、語学」を講義する。
- ・ 基礎的知識や出題頻度の高い内容を重点的に学び合格レベルに達するための学習を行う。

到達目標

1. 観光に関する幅広い知識を深く修得する
2. 総合旅行業務取扱管理者試験（国家試験）に合格する

授業計画

- 【第1回】
 テーマ：ガイダンス-国家資格と試験の概要 / 学習方法
 内容・方法：資格の意義と実施方法についてガイダンスを実施、試験内容・概略と学習方法
- 【第2回】
 テーマ：海外地理
 内容・方法：頻出内容を中心に概要を把握する
- 【第3回】
 テーマ：国際航空運賃（1）基礎
 内容・方法：国際航空運賃の基礎を学ぶ
- 【第4回】
 テーマ：国際航空運賃（2）普通運賃
 内容・方法：国際航空運賃の算出法についての基礎的規則を学ぶ
- 【第5回】
 テーマ：国際航空運賃（3）普通運賃
 内容・方法：普通運賃の基本事項及び問題演習
- 【第6回】
 テーマ：国際航空運賃（4）特別運賃
 内容・方法：出題の中心である特別運賃の基本を学ぶ
- 【第7回】
 テーマ：国際航空運賃（5）特別運賃
 内容・方法：特別運賃の問題演習
- 【第8回】
 テーマ：海外旅行実務（時差、OAGの基本等）
 内容・方法：時差の算出、航空会社2レター・空港3レター等の基礎的用語等
- 【第9回】
 テーマ：海外旅行実務（所要時間の計算・OAGに関する問題）
 内容・方法：飛行所要時間やMCTの算出等
- 【第10回】
 テーマ：海外旅行実務（鉄道、クルーズ、宿泊等）
 内容・方法：頻出項目の鉄道、クルーズ、宿泊に関する知識等
- 【第11回】
 テーマ：出入国法令実務-法令
 内容・方法：旅券法に関して①
- 【第12回】
 テーマ：出入国法令実務-法令
 内容・方法：旅券法に関して②
- 【第13回】
 テーマ：出入国法令実務-実務
 内容・方法：日本入国時の税関に関する実務等

【第14回】

テーマ：出入国法令実務-実務

内容・方法：ワシントン条約や外国人の再入国に関して等

【第15回】

テーマ：総復習と弱点強化演習等

内容・方法：総復習と疑問点の見直し及び模擬試験問題での最終演習

事前事後の学習

・国家資格受験対策科目のため、合格に向けて予習・復習及び演習を行い強い意志を持って継続的に努力することが求められる。

- 毎回の授業前 (1.5時間) : 予習として前回学んだ内容や「課題」を確認する。
- 毎回の授業後 (2.5時間) : 復習として学習内容や用語を確認、問題演習を行い「課題」を解く。

・適宜、小テスト等を実施し知識の定着を図る。

課題に対するフィードバックの方法

小テストや課題については授業内で解説等、適宜フィードバックを行う。

成績評価の方法・基準(方針)

- 全ての授業に出席し、所定の学修をすることが単位修得の前提条件となる。
- 必要最低限の授業学修が確保できていないとみなした場合は、「K」評価とする。

以下に示す評価方法により、総合的に判定の上、60点以上を合格として所定の単位を認定する

成績評価の種類	評価割合 (%)	評価方法・割合	評価対象となる到達目標
授業内での評価	20	小テスト	1, 2
授業外での評価	20	課題問題	1, 2
定期試験	0		
定期試験に代わるレポート等	40	まとめの演習問題	1, 2
その他	20	課題に対する取り組み	1, 2

テキスト
 旅行業実務シリーズ 5『2025 出入国法令と実務、旅行実務』JTB総合研究所 (2025年3月刊)
 旅行業実務シリーズ 6『2025 国際航空運賃・旅行業英語』JTB総合研究所 (2025年3月刊)

参考書
 旅行業業務シリーズ7『海外観光資源』JTB総合研究所
 『ユーキャンの旅行業務取扱管理者<観光資源(国内・海外)>ポケット問題集&要点まとめ』自由国民社
 『ユーキャンの旅行業務取扱管理者(国内・総合)速習レッスン』自由国民社
 その他、随時授業内で紹介する。

履修条件・他の科目との関連

1. 国家試験受験のためには上記以外に「旅行業法」「旅行業約款」「国内旅行実務(運賃・料金+地理)」の知識が必要である
 (前年以前に“国内旅行業務旅行管理者”資格を取得している際は「旅行業法」「国内旅行実務」の2科目が免除され「約款」「海外旅行実務」の2科目で受験可能。)
2. 国家試験を受験し資格取得を目標とする学生が受講すること。
3. まず要点を理解し、多くの問題演習を行うことが合格には必須であるため計画を立てて勉強すること
4. 国家試験には英語も出題されるため、常に英語力を向上させる努力が必要である

※直前対策講座・模擬試験については今年度の試験概要が公表され次第(7月上旬頃)授業内にて説明する予定です。
 参考:試験日1ヵ月前頃以降、3回程度(1日2or3コマ)実施予定(教学・教職センターへ証紙納入での申込となります)